

令和4年度

全国体力・運動能力、運動習慣等調査

北海道版結果報告書

北海道教育委員会

令和5年(2023年)6月



## 【はじめに】

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査を詳細に分析し、北海道版結果報告書として取りまとめました。

本報告書では、実技に関する調査と児童生徒質問紙調査の結果をテーマ別に分け、関連する項目を多角的に分析したり、本道の結果と成果を上げている他の都府県の結果を比較したりすることにより、現状や課題を詳細に分析し、各教育委員会や学校等における体力向上の取組の参考となるよう、今後の取組の改善の方向性や具体的な取組などを掲載しています。

本道の状況は、小・中学校男女いずれも依然として全国平均より低い状況であるものの、小学校の男女では全国平均との差が縮まっており、改善の兆しが見られています。その一方で、中学校の男女においては、その差が広がっている状況にあります。また、本道の児童生徒は、授業の中で「わかった」「できた」を実感している割合が全国と比べて低い状況にあることから、運動やスポーツに意欲的に取り組む態度の醸成につながる体育・保健体育の授業改善を進めることが重要であると考えています。さらに、児童生徒質問紙調査の状況においては、前年度と同様に全国と比較し、1週間の総運動時間が短く、平日のスクリーンタイムが長い児童生徒が多いことなど、基本的な生活習慣に課題が見られることから、家庭や地域と連携した望ましい運動習慣や生活習慣の確立に向けた取組を一層充実させることが必要であると考えています。

道教委では、児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導を行い、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けることができるよう、市町村教育委員会、学校、家庭、地域との連携を一層深めるとともに、地域や学校の実態に応じた効果的な体力向上の取組を推進していきます。

教育関係者や保護者の方々をはじめ、広く道民の皆様には、本道教育の推進に向け、引き続き深い御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年(2023年)6月

北海道教育委員会教育長 倉本博史

## 【目次】

<b>I 全道の状況</b>	
1 実技に関する調査	4
2 体力合計点総合評価の児童生徒の割合	8
3 体格と肥満度に関する調査	10
4 児童生徒質問紙調査	12
5 学校質問紙調査	20
<b>II テーマ分析</b>	
1 テーマ1「本道児童生徒における体力の現状分析」	30
2 テーマ2「体力向上に向けた体育科・保健体育科の授業改善」	38
3 テーマ3「児童生徒の望ましい生活習慣や運動習慣の確立」	58
4 テーマ4「体力向上に向けた学校の組織的な取組」	72
<b>III 北海道の体力向上の取組に関する改善の方向性</b>	
1 体育・保健体育授業の改善・充実に向けた取組の方向性	76
2 令和4年度(2022年度)の道教委の取組	83
<b>IV 北海道の児童生徒の体力向上に向けた有識者の意見</b>	
1 北海道の小・中学校男女の体力向上に向けた有識者の意見	86
<b>V 各管内の状況</b>	
1 管内の体力合計点の分布	92
2 管内の状況、分析及び改善の方向性	94
<b>VI 各市町村の状況</b>	
1 市町村の体力合計点(T得点)の度数分布	124
2 市町村の状況及び体力向上策	125

## 調査の概要

### (1) 調査の目的

- 国が全国的な児童生徒の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、児童生徒の体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会が全国的な状況を踏まえ、児童生徒の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、児童生徒の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### (2) 調査の対象及び調査内容

	調査対象	調査内容
児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員</li> <li>・中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の2年生全員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体カテストと同様） 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン（中学校は20mシャトルランに替えて持久走も可）、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ（中学校はハンドボール投げ）</li> <li>・質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）</li> </ul>
学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び小学部もしくは中学部を置く特別支援学校の全校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問紙調査（児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の向上に係る学校の取組等）</li> </ul>

### (3) 調査の方法 悉皆調査

### (4) 調査の実施期間

令和4年（2022年）4月から令和4年（2022年）7月末までの期間で実施

### (5) 実施学校数・児童生徒数（札幌市を含む公立学校）

北海道	実施校数（校）	児童生徒数（人）	全国	実施校数（校）	児童生徒数（人）
小学校	980	38,085	小学校	18,435	973,545
中学校	597	35,278	中学校	9,192	857,594
合 計	1,577	73,363	合 計	27,627	1,831,139

### 【用語説明】

用 語	解 説
体力合計点	種目によって単位が異なる測定値を、単位が共通な10点満点の「ものさし（尺度）」に変換し、8種目の結果を合計した得点（80点満点）
T得点	全国平均値に対する相対的位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較（全国平均を50とした時の数値）
総合評価	体力合計点の高い順にA～Eの5段階で評価

### 【留意事項】

- 本資料において、北海道及び全国の状況は、いずれも公立学校について示したもの
- 国における実技調査、児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査の回答の精査に当たっては、性別不明など一部のデータは集計・分析の対象外
- 児童生徒質問紙と学校質問紙調査のレーダーチャートは、全国の割合を100とした場合の北海道の値（チャート指数：北海道の割合÷全国の割合×100）で表示
- 本調査結果は、児童生徒の体力・運動能力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと

# I 全道の状況

ここでは、令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本道の結果を掲載しています。

各市町村教育委員会、学校においては、本資料を参考に、全道的な傾向を把握するなど、各地域や学校の状況を分析する際の資料として御活用ください。

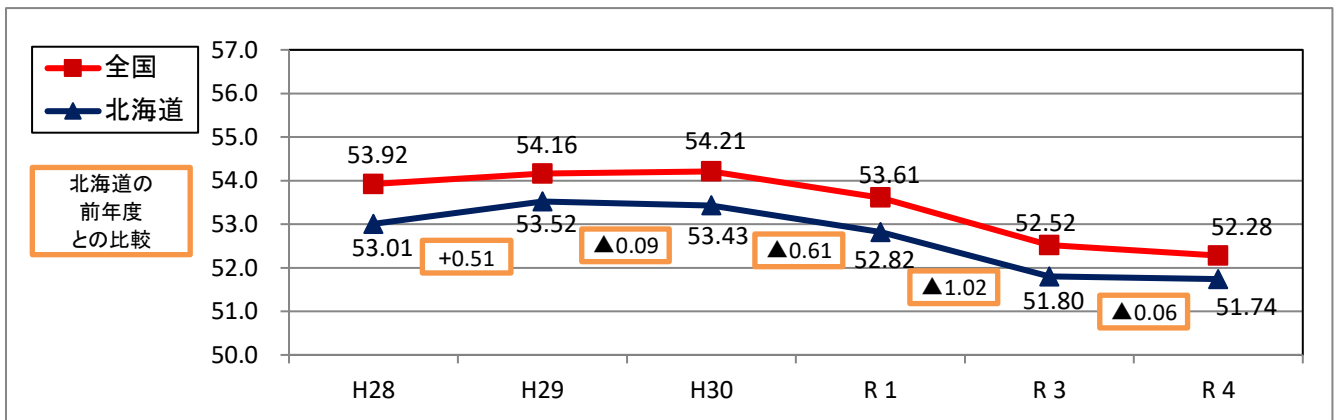
# 1 実技に関する調査 (～P7)

## (1) 小学校男子

### ① 体力合計点及び各種目の記録

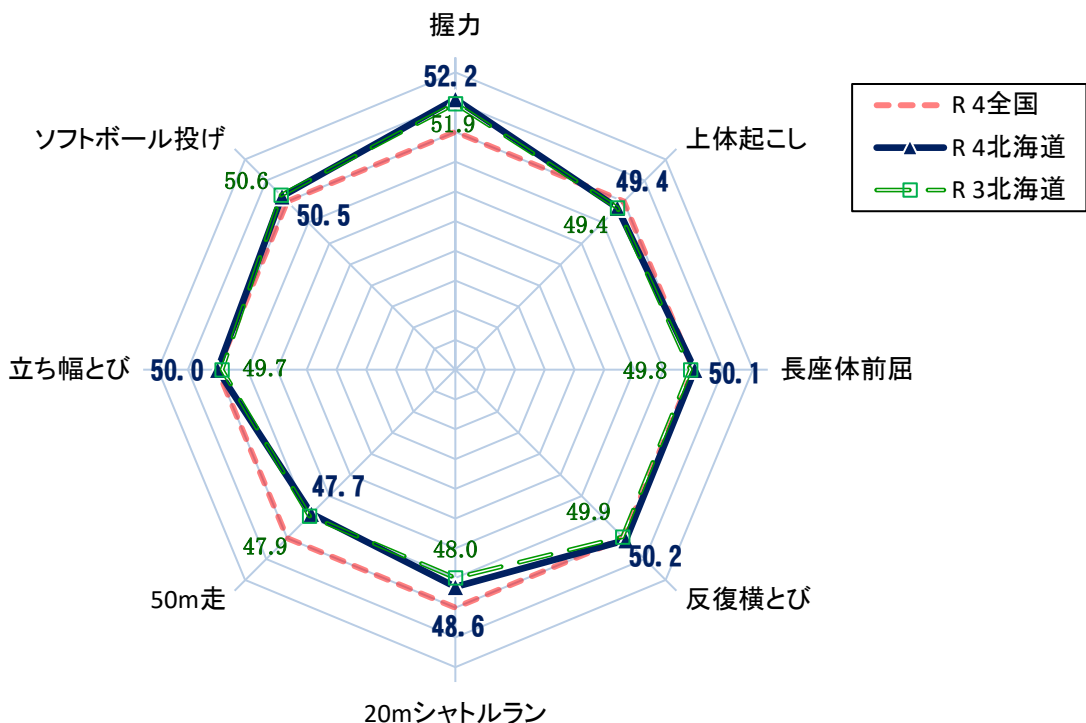
		握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点(点)
R4全国	記録	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
R4北海道	記録	17.07	18.49	33.92	40.51	42.93	9.82	150.87	20.68	51.74
	全国との差	0.86	▲0.37	0.13	0.15	▲2.99	▲0.29	0.04	0.37	▲0.54
	R3北海道からの増減	0.11	▲0.03	0.63	0.25	0.22	▲0.14	0.07	▲0.39	▲0.06
R3全国	記録	16.22	18.90	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
R3北海道	記録	16.96	18.52	33.29	40.26	42.71	9.68	150.80	21.07	51.80
	全国との差	0.74	▲0.38	▲0.19	▲0.09	▲4.12	▲0.23	▲0.61	0.49	▲0.72
	全国との差の増減(R4-R3)	0.12	0.01	0.32	0.24	1.13	▲0.06	0.65	▲0.12	0.18

### ② 体力合計点の推移



### ③ 各種目の昨年度及び全国との比較(T得点)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R4北海道	52.2	49.4	50.1	50.2	48.6	47.7	50.0	50.5	49.4
R3北海道	51.9	49.4	49.8	49.9	48.0	47.9	49.7	50.6	49.2

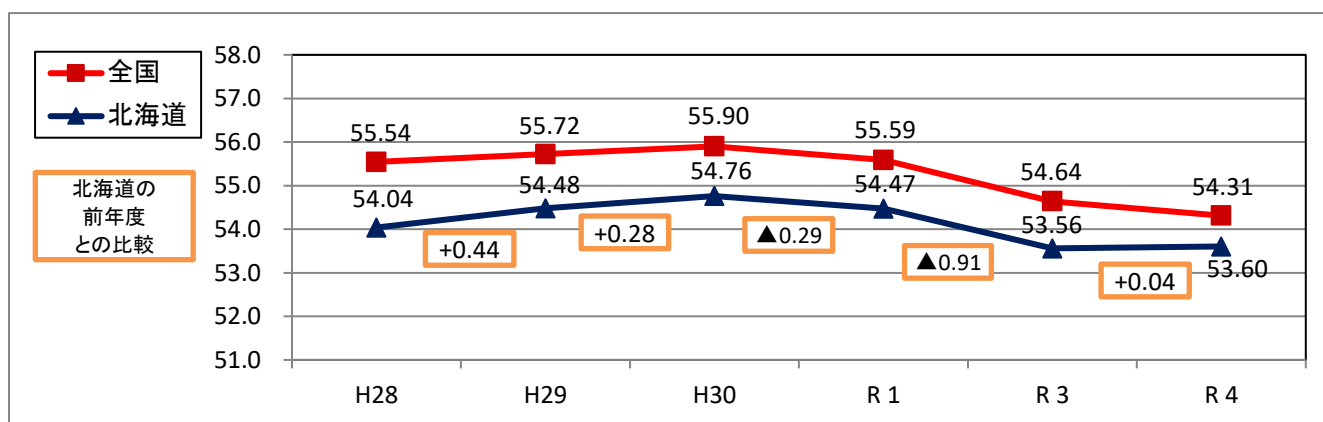


(2)小学校女子

①体力合計点及び各種目の記録

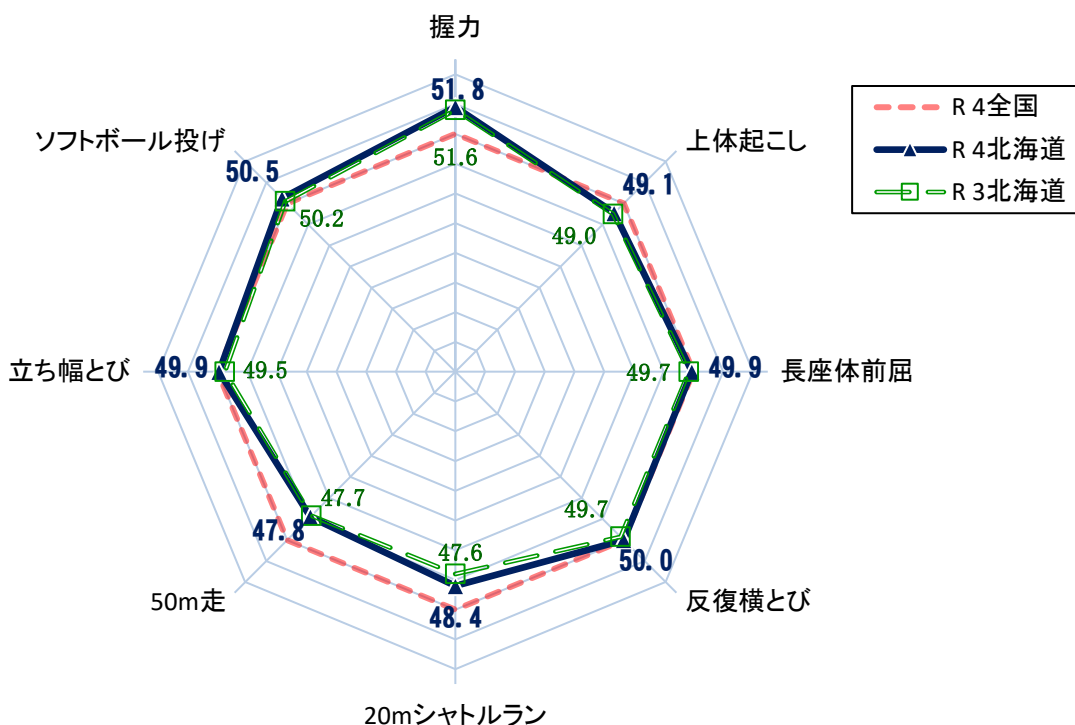
		握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点(点)
R 4全 国	記録	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
R 4北海道	記録	16.79	17.49	38.05	38.68	34.36	9.92	144.31	13.41	53.60
	全国との差	0.69	▲ 0.48	▲ 0.13	0.02	▲ 2.61	▲ 0.22	▲ 0.24	0.24	▲ 0.71
	R 3北海道からの増減	0.08	▲ 0.05	0.38	0.22	0.03	▲ 0.08	0.28	0.02	0.04
R 3全 国	記録	16.09	18.08	37.90	38.72	38.15	9.64	145.18	13.30	54.64
R 3北海道	記録	16.71	17.54	37.67	38.46	34.33	9.84	144.03	13.39	53.56
	全国との差	0.62	▲ 0.54	▲ 0.23	▲ 0.26	▲ 3.82	▲ 0.20	▲ 1.15	0.09	▲ 1.08
全国との差の増減(R 4-R 3)		0.07	0.06	0.10	0.28	1.21	▲ 0.02	0.91	0.15	0.37

②体力合計点の推移



③各種目の昨年度及び全国との比較(T得点)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R 4北海道	51.8	49.1	49.9	50.0	48.4	47.8	49.9	50.5	49.2
R 3北海道	51.6	49.0	49.7	49.7	47.6	47.7	49.5	50.2	48.8



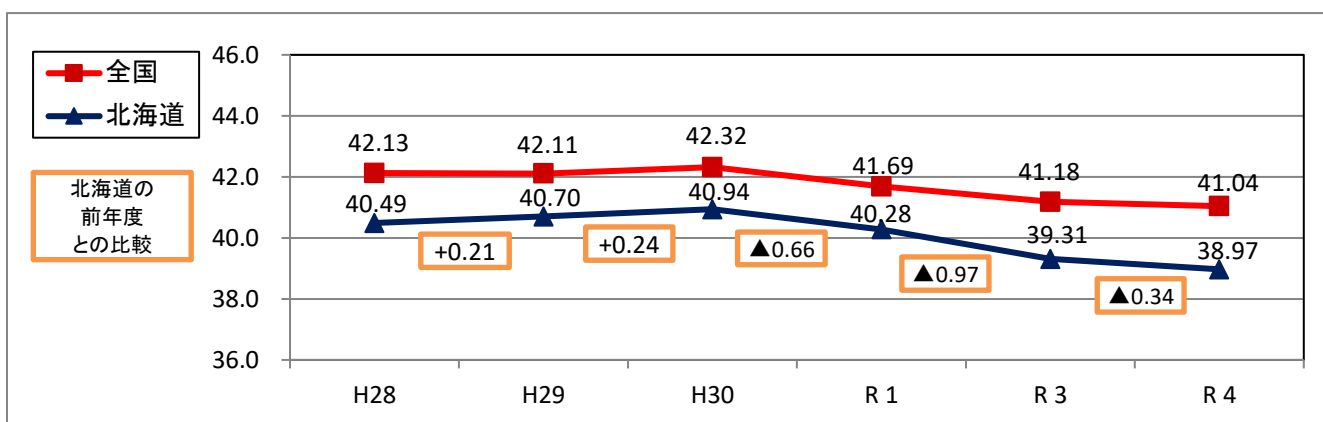
(3)中学校男子

①体力合計点及び各種目の記録

		握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	持久走(秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)	体力合計点(点)
R 4全 国	記録	28.99	25.74	43.87	51.05	409.81	78.07	8.06	196.89	20.28	41.04
R 4北海道	記録	29.29	24.96	42.39	48.89	428.90	72.18	8.25	192.53	19.69	38.97
	全国との差	0.30	▲ 0.78	▲ 1.48	▲ 2.16	▲ 19.09	▲ 5.89	▲ 0.19	▲ 4.36	▲ 0.59	▲ 2.07
	R3北海道からの増減	0.33	▲ 0.33	▲ 0.05	▲ 0.38	▲ 3.09	▲ 1.10	▲ 0.06	▲ 0.81	▲ 0.08	▲ 0.34
R 3全 国	記録	28.80	25.99	43.67	51.19	406.38	79.88	8.01	196.36	20.31	41.18
R 3北海道	記録	28.96	25.29	42.44	49.27	425.81	73.28	8.19	193.34	19.77	39.31
	全国との差	0.16	▲ 0.70	▲ 1.23	▲ 1.92	▲ 19.43	▲ 6.60	▲ 0.18	▲ 3.02	▲ 0.54	▲ 1.87
全国との差の増減(R 4-R 3)		0.14	▲ 0.08	▲ 0.25	▲ 0.24	0.34	0.71	▲ 0.01	▲ 1.34	▲ 0.05	▲ 0.20

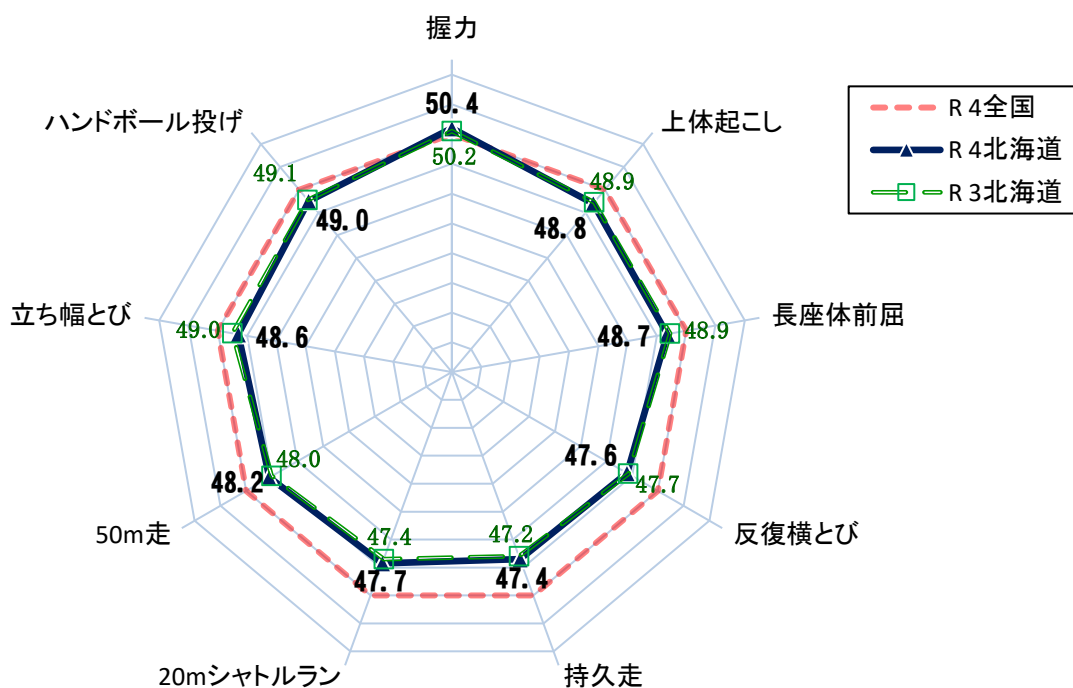
※中学校では、持久走か20mシャトルランのいずれかを選択して実施

②体力合計点の推移



③各種目の昨年度及び全国との比較(T得点)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R 4北海道	50.4	48.8	48.7	47.6	47.4	47.7	48.2	48.6	49.0	48.1
R 3北海道	50.2	48.9	48.9	47.7	47.2	47.4	48.0	49.0	49.1	48.2





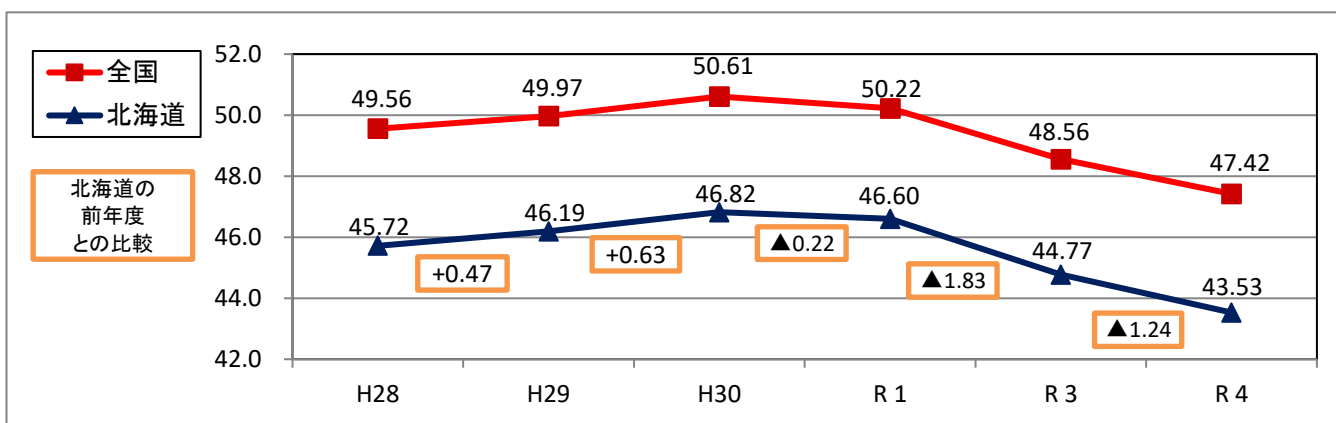
(4)中学校女子

①体力合計点及び各種目の記録

		握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	持久走(秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)	体力合計点(点)
R 4全 国	記録	23.21	21.67	46.07	45.81	302.89	51.60	8.96	167.04	12.45	47.42
R 4北海道	記録	22.65	20.18	44.72	43.29	315.85	44.96	9.21	159.69	11.72	43.53
	全国との差	▲ 0.56	▲ 1.49	▲ 1.35	▲ 2.52	▲ 12.96	▲ 6.64	▲ 0.25	▲ 7.35	▲ 0.73	▲ 3.89
	R 3北海道からの増減	▲ 0.22	▲ 0.68	▲ 0.05	▲ 0.62	▲ 0.55	▲ 2.06	▲ 0.11	▲ 1.57	▲ 0.27	▲ 1.24
R 3全 国	記録	23.43	22.32	46.20	46.25	297.62	54.24	8.88	168.15	12.72	48.56
R 3北海道	記録	22.87	20.86	44.77	43.91	315.30	47.02	9.10	161.26	11.99	44.77
	全国との差	▲ 0.56	▲ 1.46	▲ 1.43	▲ 2.34	▲ 17.68	▲ 7.22	▲ 0.22	▲ 6.89	▲ 0.73	▲ 3.79
全国との差の増減(R 4-R 3)		0.00	▲ 0.03	0.08	▲ 0.18	4.72	0.58	▲ 0.03	▲ 0.46	0.00	▲ 0.10

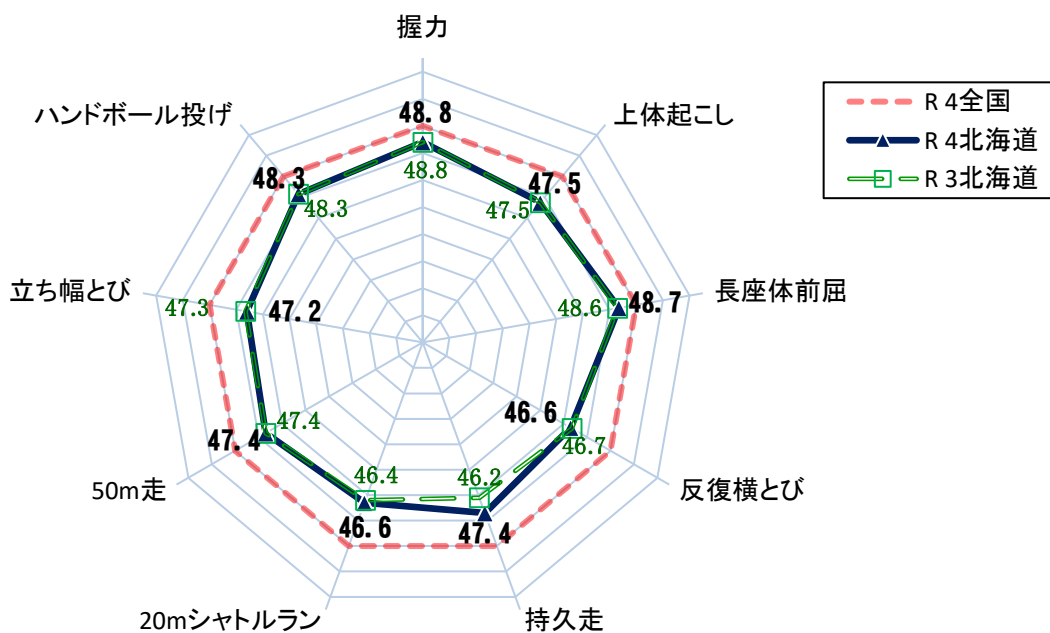
※中学校では、持久走か20mシャトルランのいずれかを選択して実施

②体力合計点の推移



③各種目の昨年度及び全国との比較(T得点)

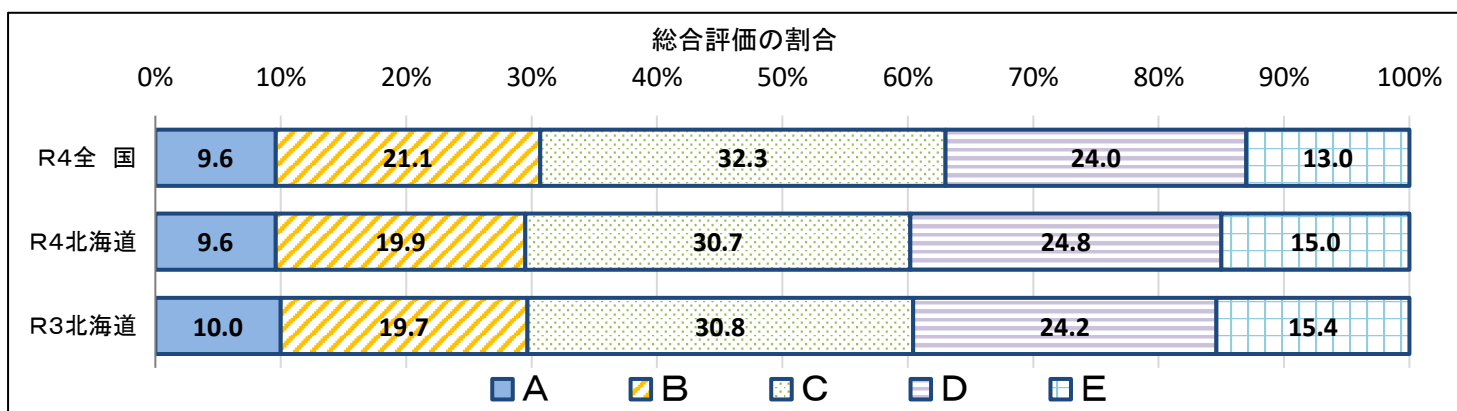
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R 4北海道	48.8	47.5	48.7	46.6	47.4	46.6	47.4	47.2	48.3	46.6
R 3北海道	48.8	47.5	48.6	46.7	46.2	46.4	47.4	47.3	48.3	46.7



(1) 小学校男子

(%)

	A	B	C	D	E	AB	DE	AB-DE
R4全国	9.6	21.1	32.3	24.0	13.0	30.7	37.0	▲ 6.3
R4北海道	9.6	19.9	30.7	24.8	15.0	29.5	39.8	▲ 10.3
R3北海道	10.0	19.7	30.8	24.2	15.4	29.7	39.6	▲ 9.9

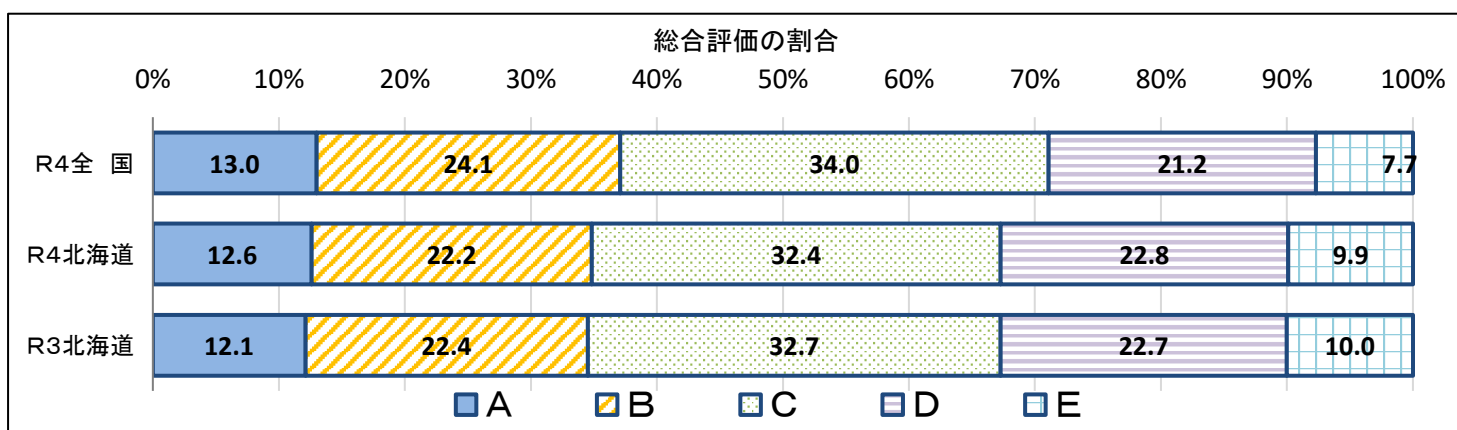


R4小学校男子のAB-DE層の状況	
R4全国との差	R3北海道との差
▲ 4.0	▲ 0.4

(2) 小学校女子

(%)

	A	B	C	D	E	AB	DE	AB-DE
R4全国	13.0	24.1	34.0	21.2	7.7	37.1	28.9	8.2
R4北海道	12.6	22.2	32.4	22.8	9.9	34.8	32.7	2.1
R3北海道	12.1	22.4	32.7	22.7	10.0	34.5	32.7	1.8

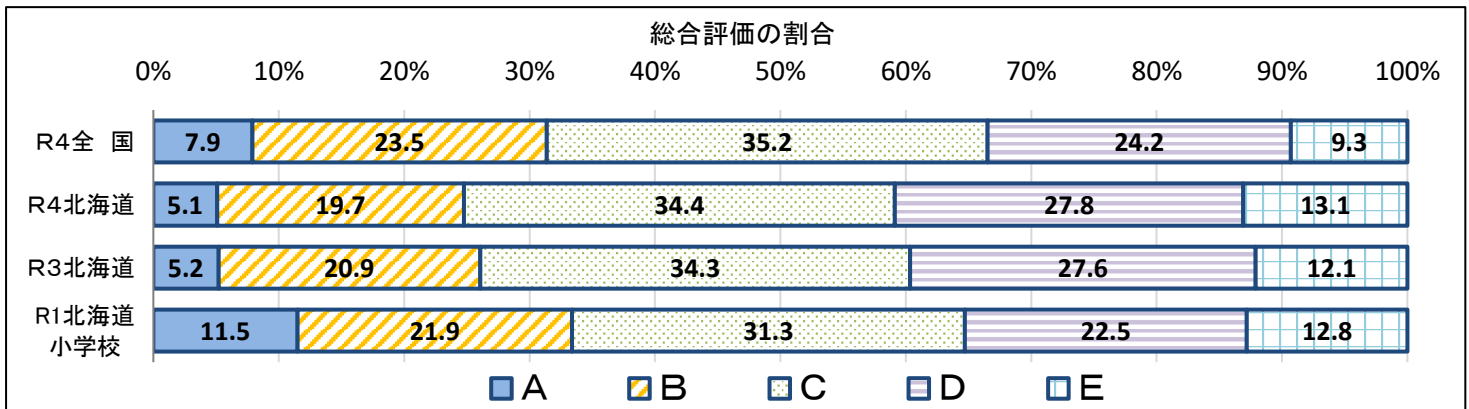


R4小学校女子のAB-DE層の状況	
R4全国との差	R3北海道との差
▲ 6.1	0.3

(3) 中学校男子

(%)

	A	B	C	D	E	AB	DE	AB-DE
R4全国	7.9	23.5	35.2	24.2	9.3	31.4	33.5	▲ 2.1
R4北海道	5.1	19.7	34.4	27.8	13.1	24.8	40.9	▲ 16.1
R3北海道	5.2	20.9	34.3	27.6	12.1	26.1	39.7	▲ 13.6
R1北海道 小学校	11.5	21.9	31.3	22.5	12.8	33.4	35.3	▲ 1.9

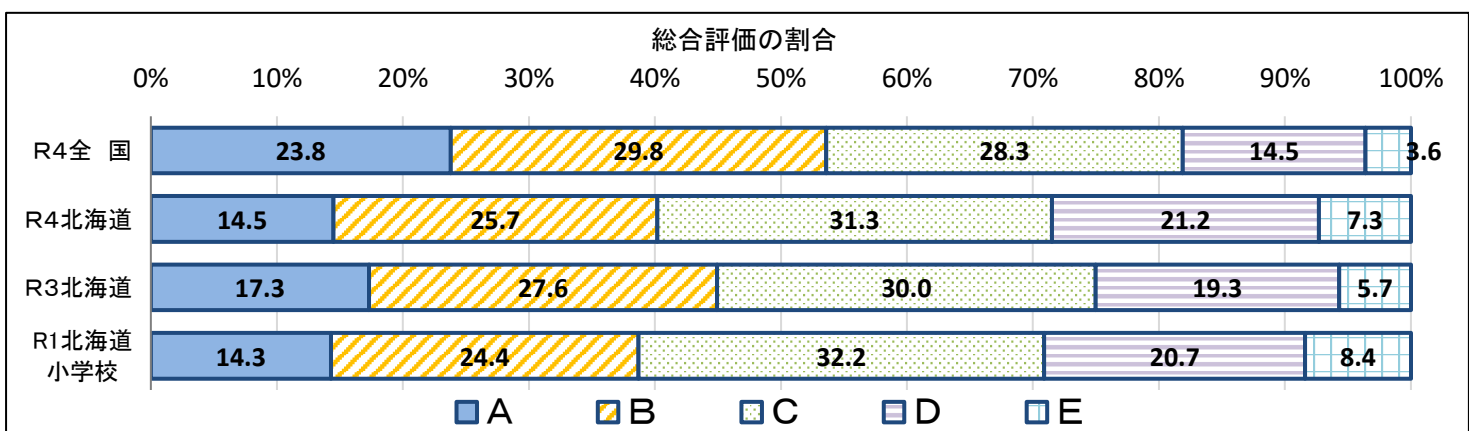


R4中学校男子のAB-DE層の状況		
R4全国との差	R3北海道との差	R1北海道小学校との差
▲ 14.0	▲ 2.5	▲ 14.2

(4) 中学校女子

(%)

	A	B	C	D	E	AB	DE	AB-DE
R4全国	23.8	29.8	28.3	14.5	3.6	53.6	18.1	35.5
R4北海道	14.5	25.7	31.3	21.2	7.3	40.2	28.5	19.8
R3北海道	17.3	27.6	30.0	19.3	5.7	44.9	25.0	19.9
R1北海道 小学校	14.3	24.4	32.2	20.7	8.4	38.7	29.1	11.8



R4中学校女子のAB-DE層の状況		
R4全国との差	R3北海道との差	R1北海道小学校との差
▲ 15.7	▲ 0.1	8.0

※「R1北海道小学校」は、R4中学校第2学年生徒が小学校第5学年児童のときの体力合計点総合評価の結果

### 3 体格と肥満度に関する調査 (～P11)

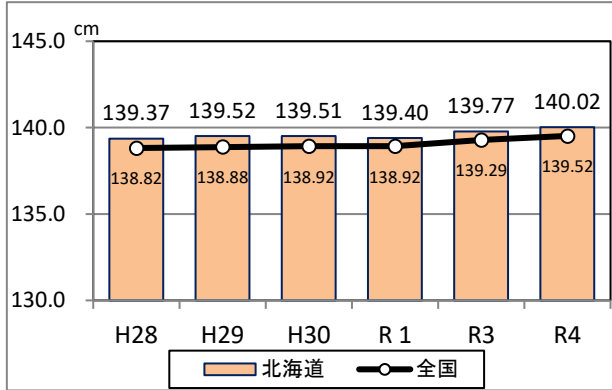
肥満傾向児・痩身傾向児の出現率の算出・判定方法

標準体重(kg) = a × 身長(cm) - b (※a, bは標準体重を求める係数)  
 肥満度(%) = [自分の体重(kg) - 標準体重(kg)] ÷ 標準体重(kg) × 100

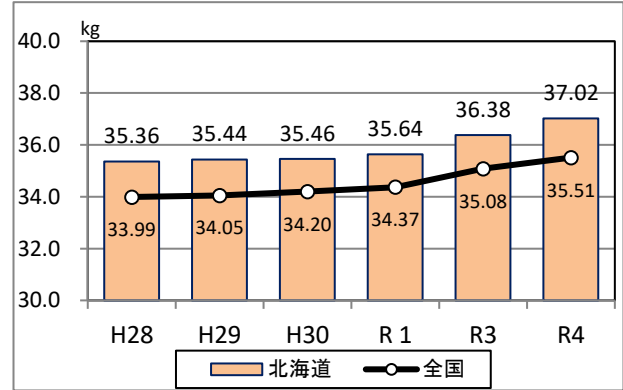
〔判定基準〕	
肥満度	判定
20%以上	肥満
-19.9～19.9%	正常
-20%以下	痩身

#### (1) 小学校男子

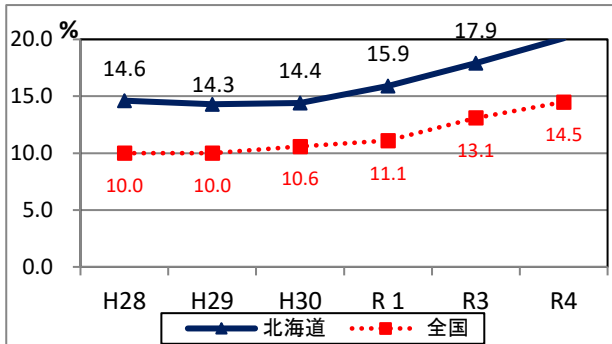
##### ①身長の推移



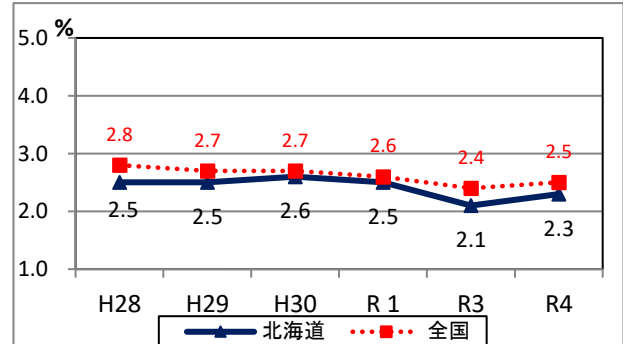
##### ②体重の推移



##### ③肥満傾向児出現率の推移

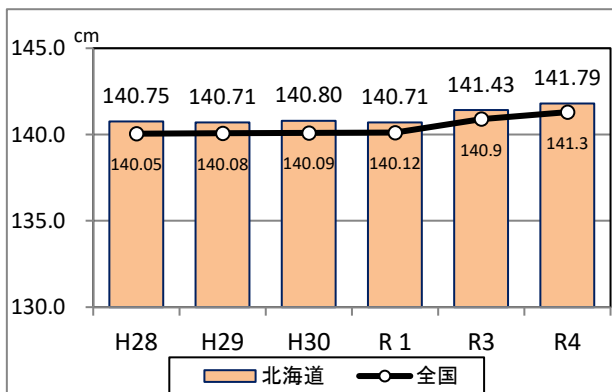


##### ④痩身傾向児出現率の推移

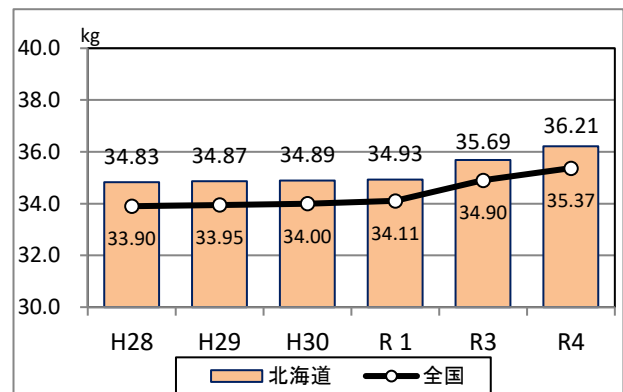


#### (2) 小学校女子

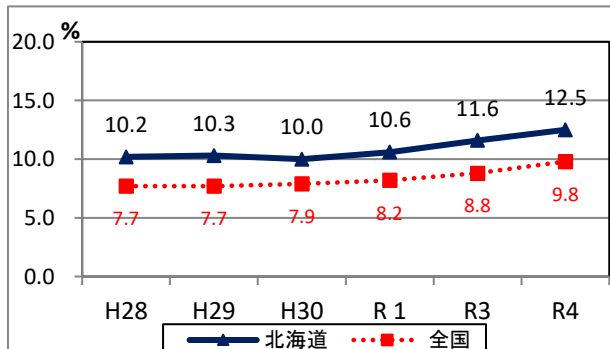
##### ①身長の推移



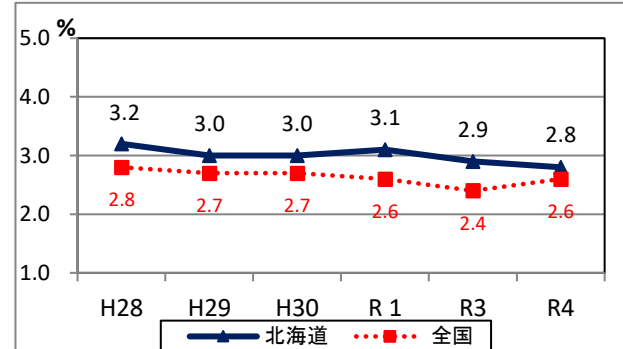
##### ②体重の推移



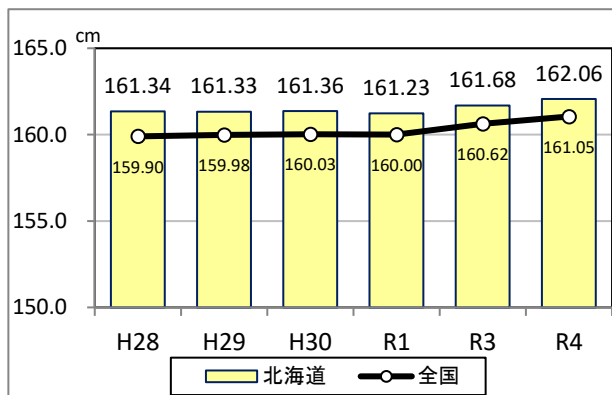
##### ③肥満傾向児出現率の推移



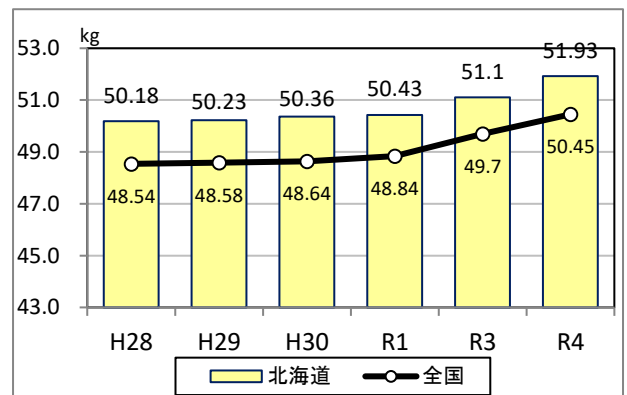
##### ④痩身傾向児出現率の推移



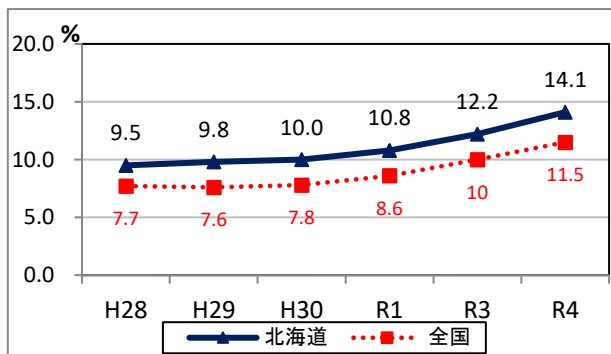
(3) 中学校男子  
①身長の推移



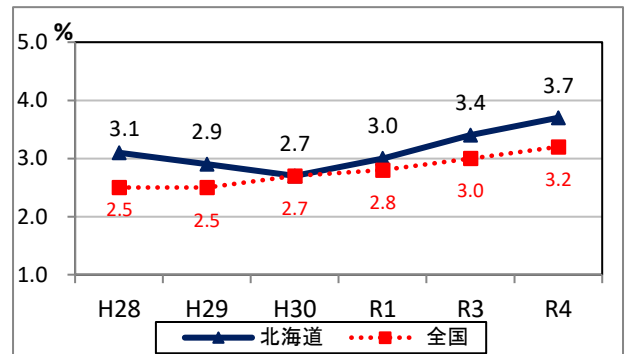
②体重の推移



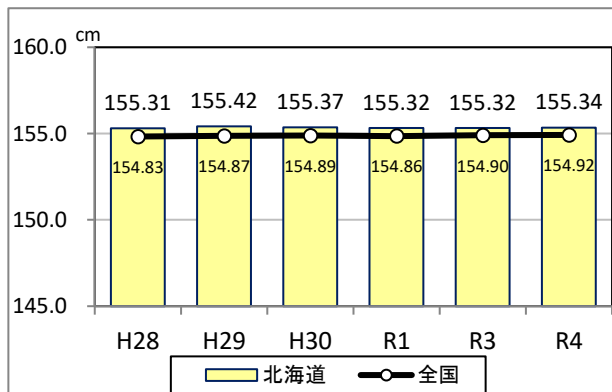
③肥満傾向児出現率の推移



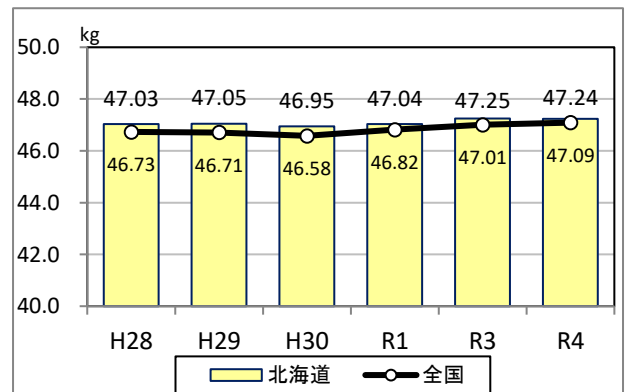
④痩身傾向児出現率の推移



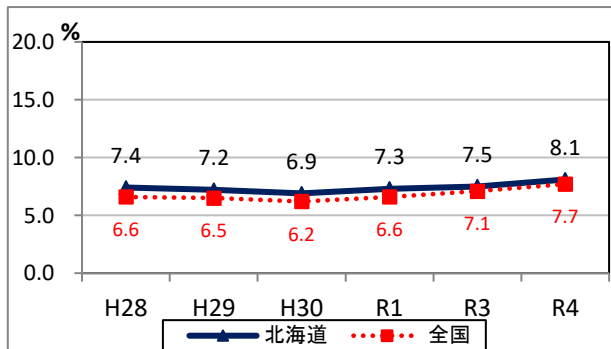
(4) 中学校女子  
①身長の推移



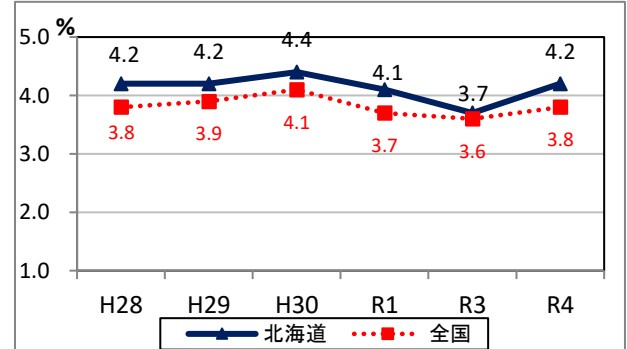
②体重の推移



③肥満傾向児出現率の推移



④痩身傾向児出現率の推移

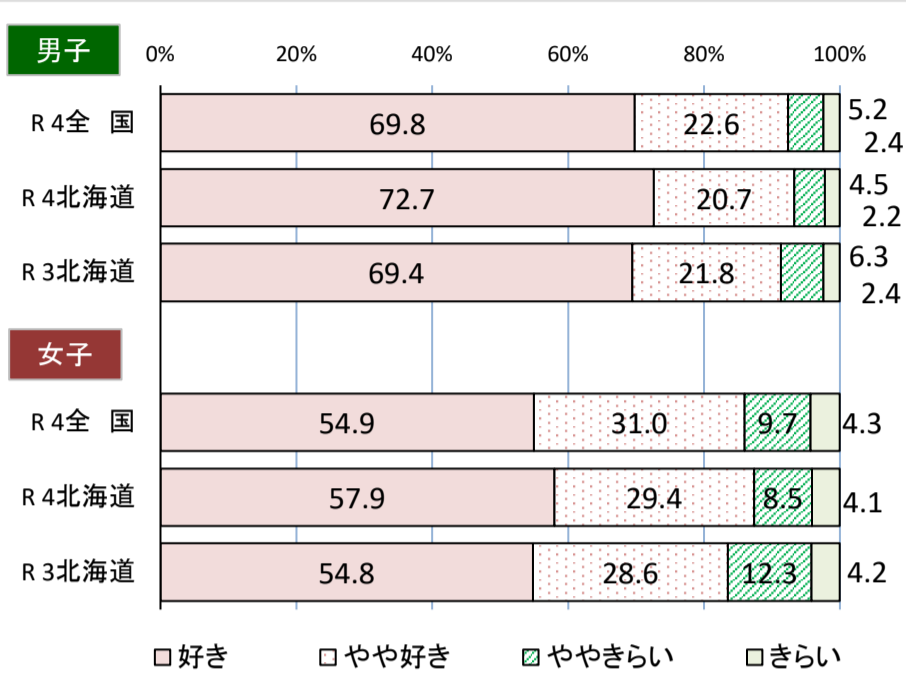


## 4 児童生徒質問紙調査 (～P19)

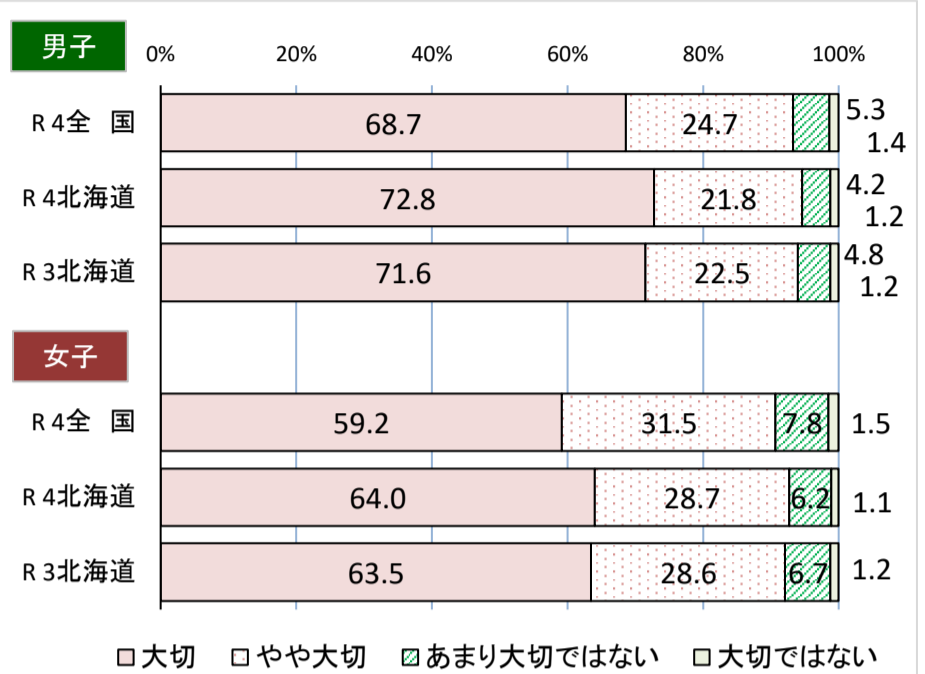
### (1) 運動に対する意識等

#### 【小学校】

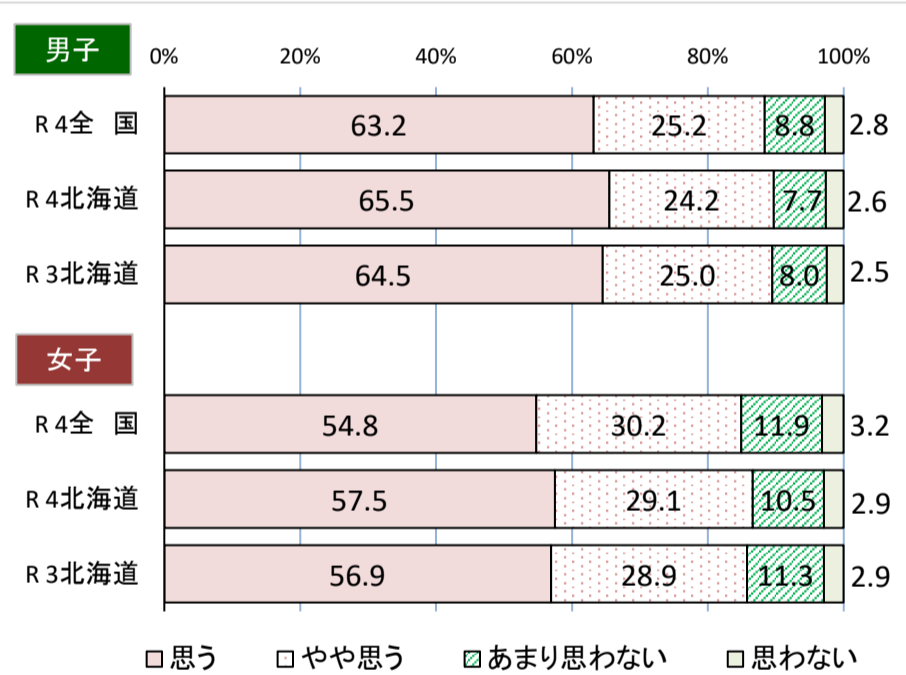
① 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。



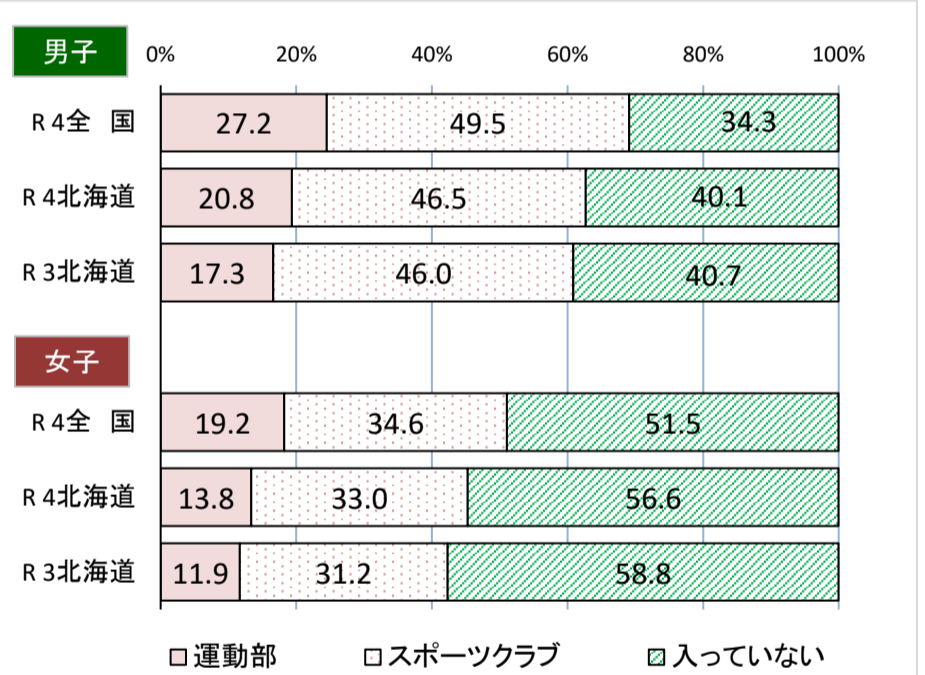
② あなたにとって運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツは大切なものですか。



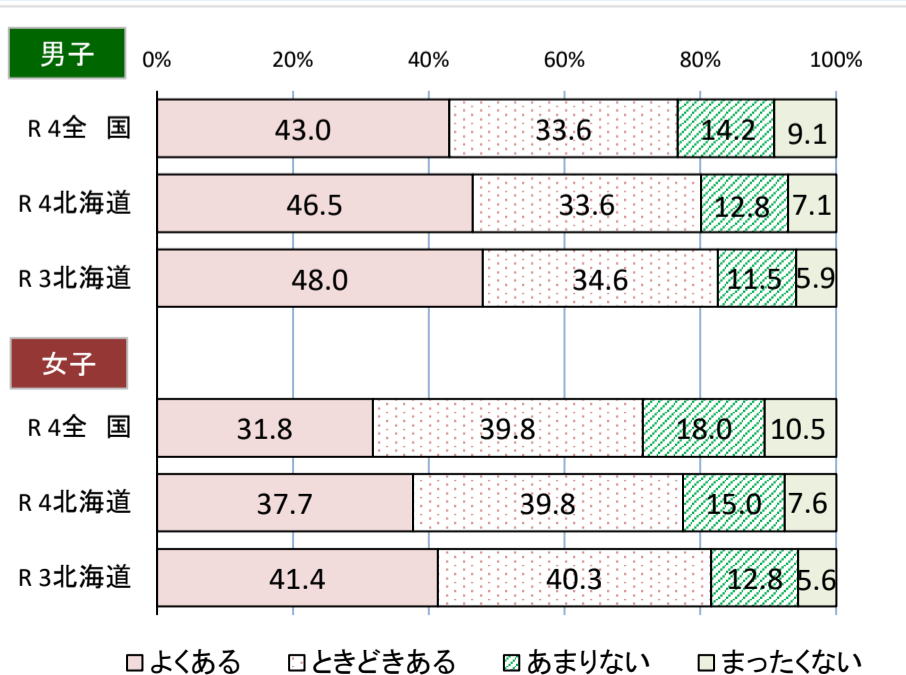
③ 中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



④ 学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っていますか。

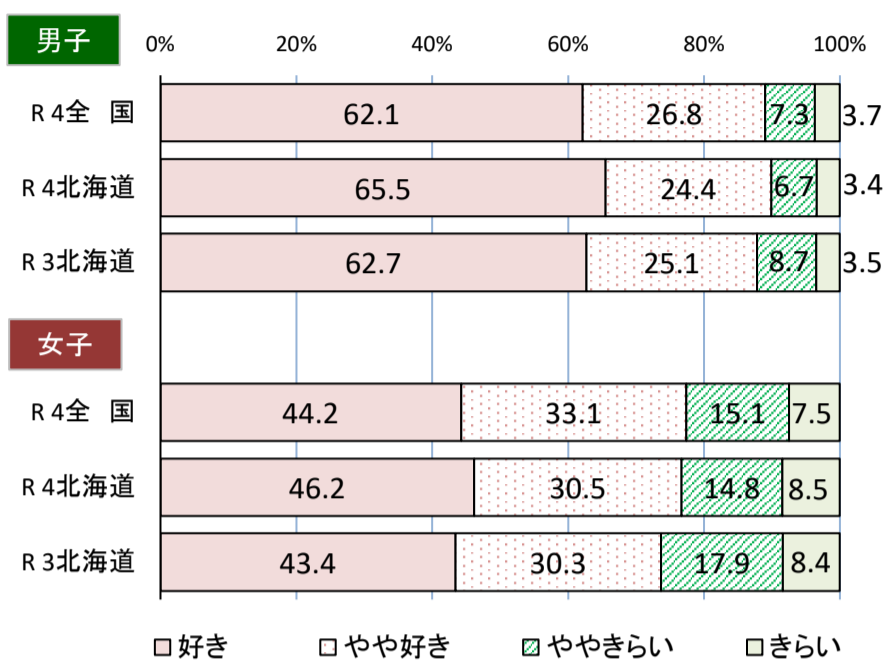


⑤ 放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることがありますか。

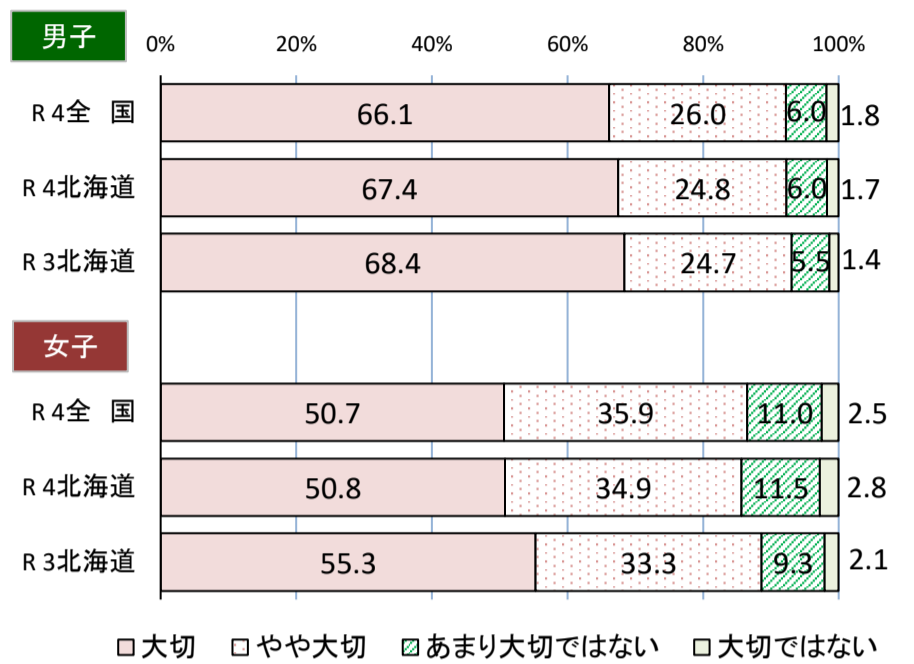


## 【中学校】

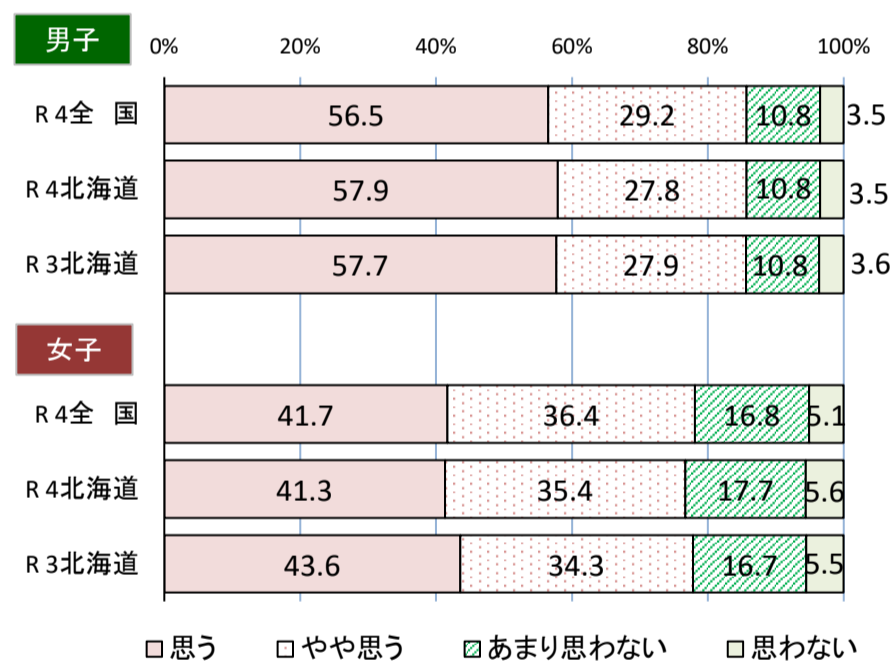
① 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。



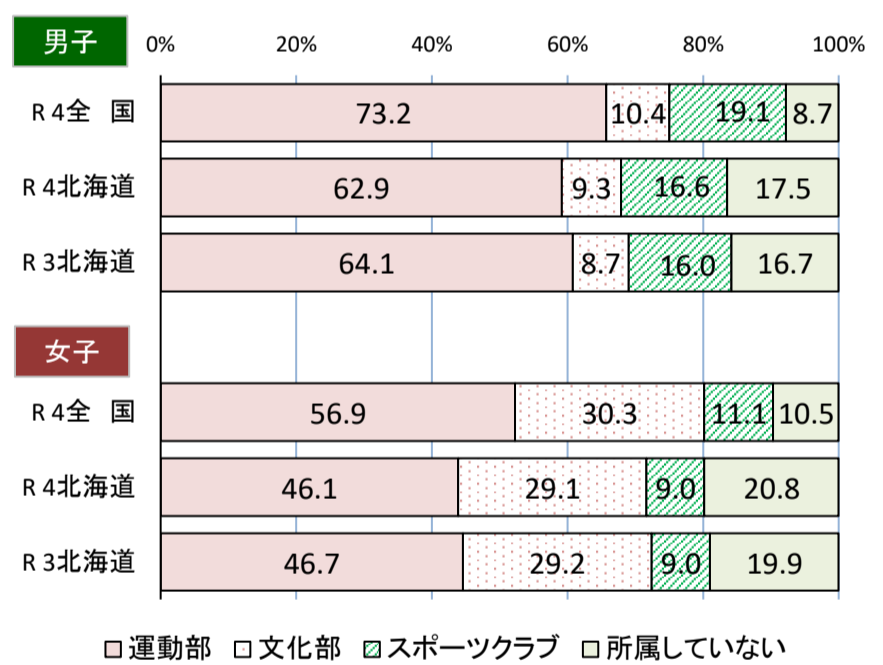
② あなたにとって運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツは大切なものですか。



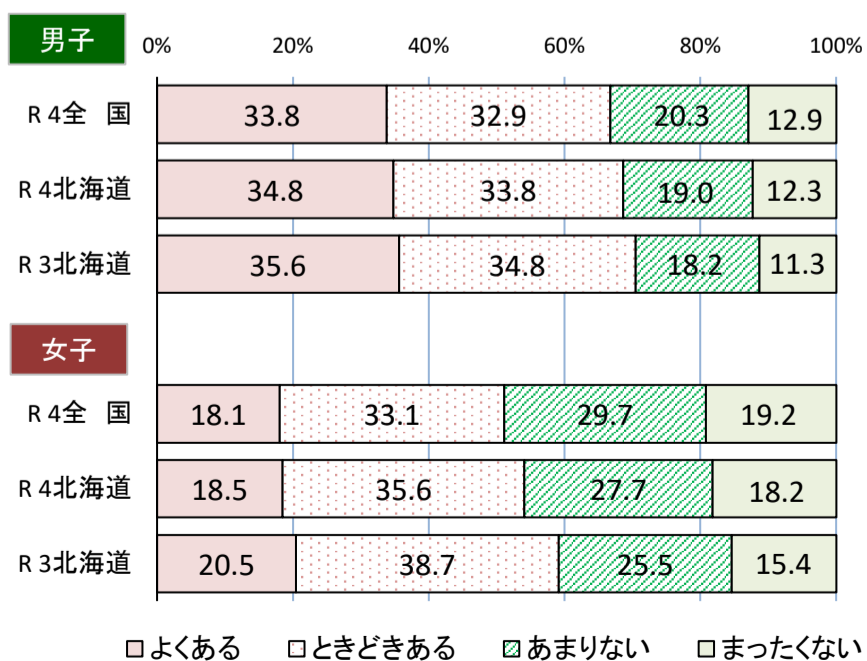
③ 中学校を卒業した後、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



④ 学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。



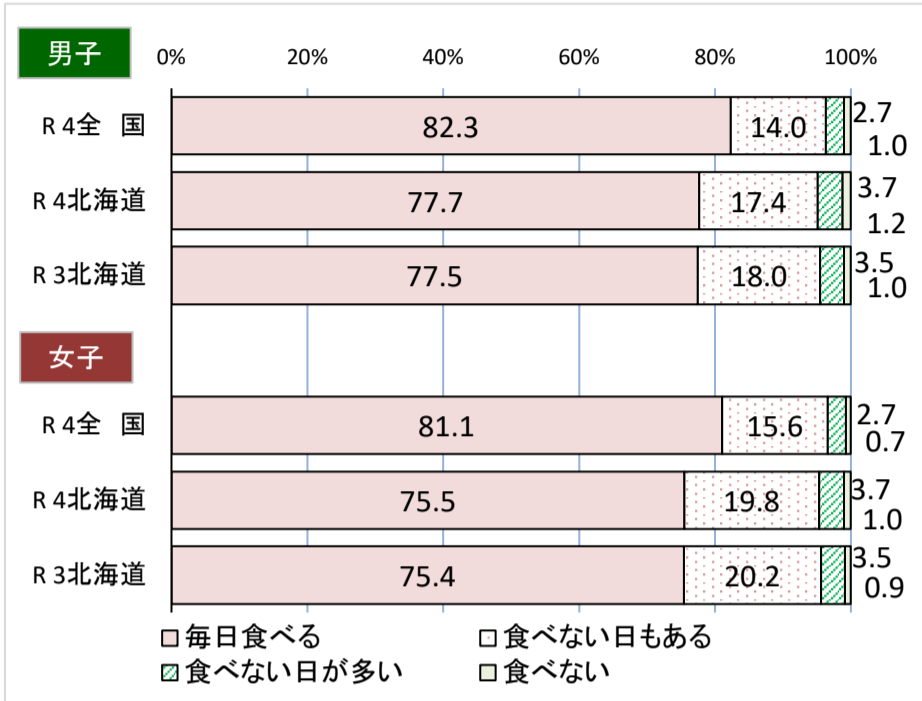
⑤ 放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることがありますか。



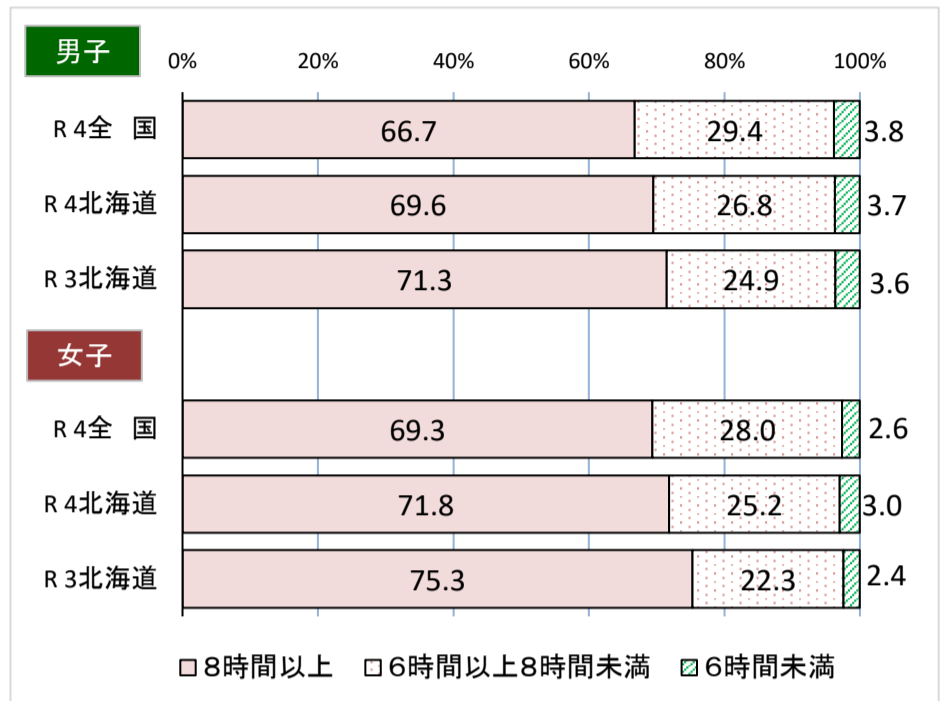
(2) 生活習慣に対する意識等

【小学校】

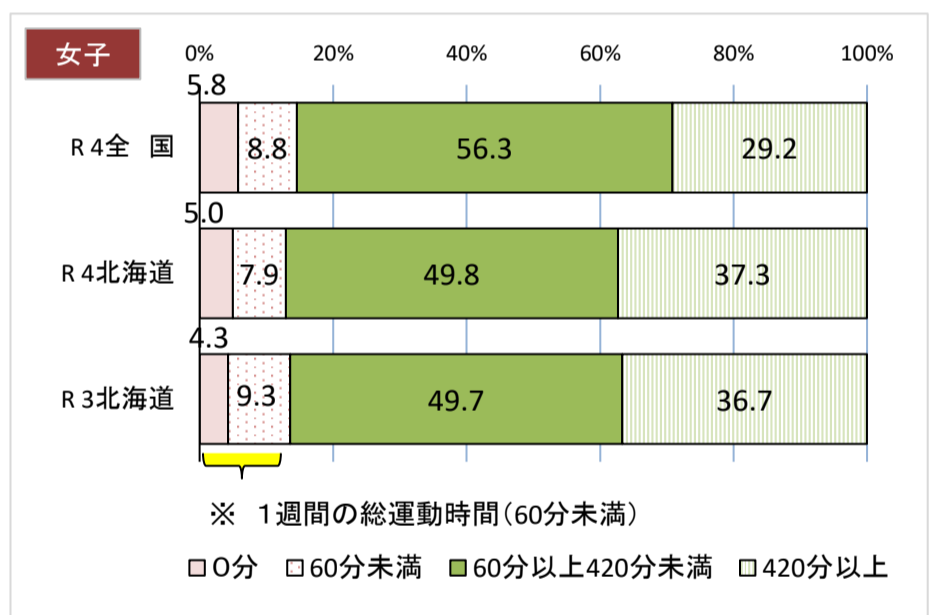
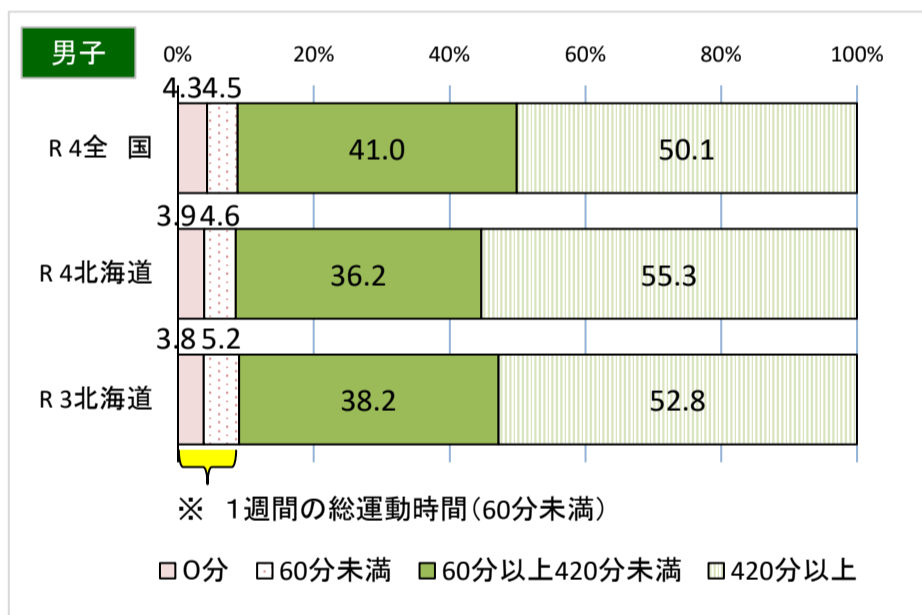
① 朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめます)



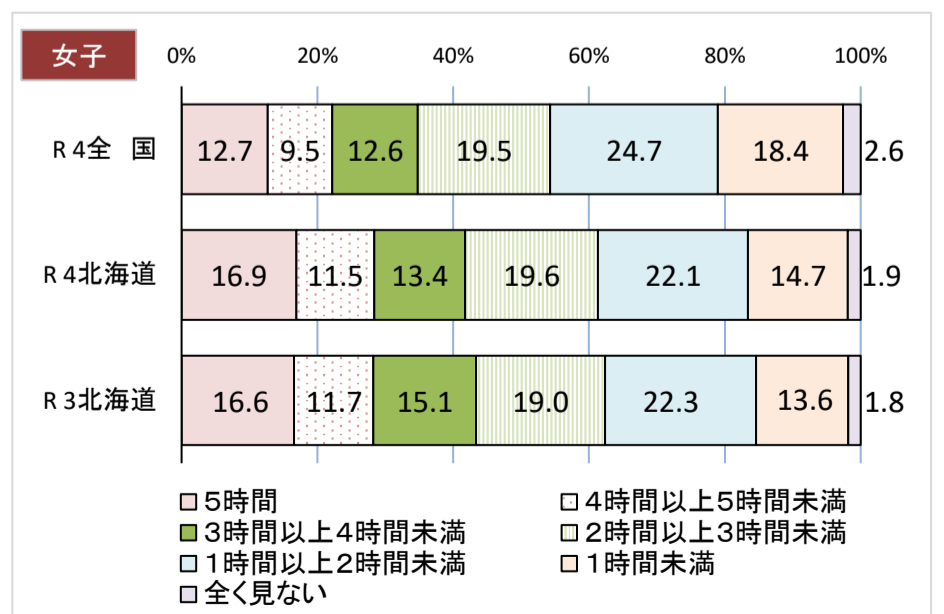
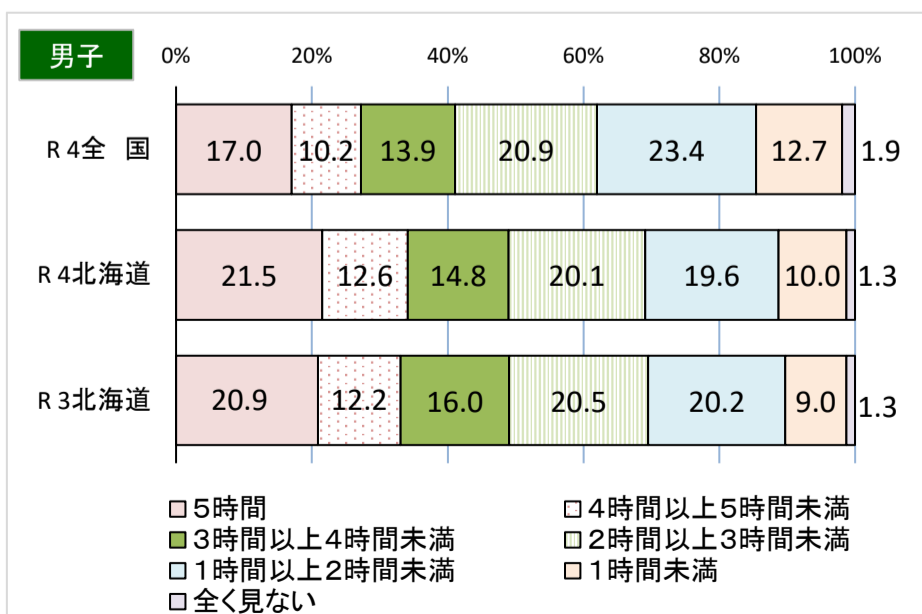
② 毎日どのくらいねていますか。



③ ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。(※月曜日から日曜日までの時間を合計し、1週間の総運動時間として表記)



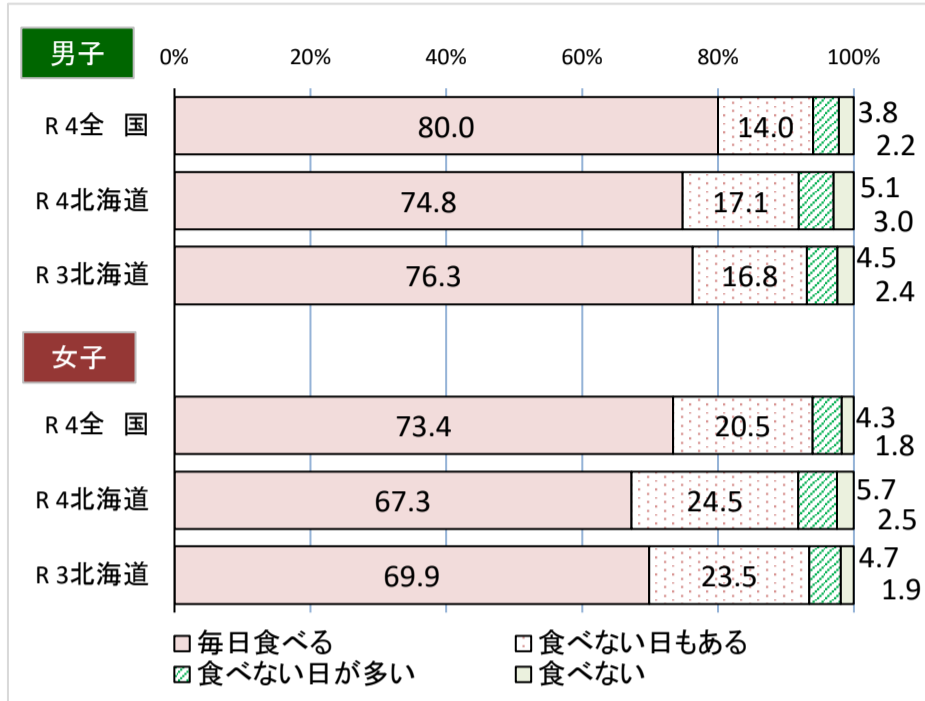
④ 平日、1日どのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



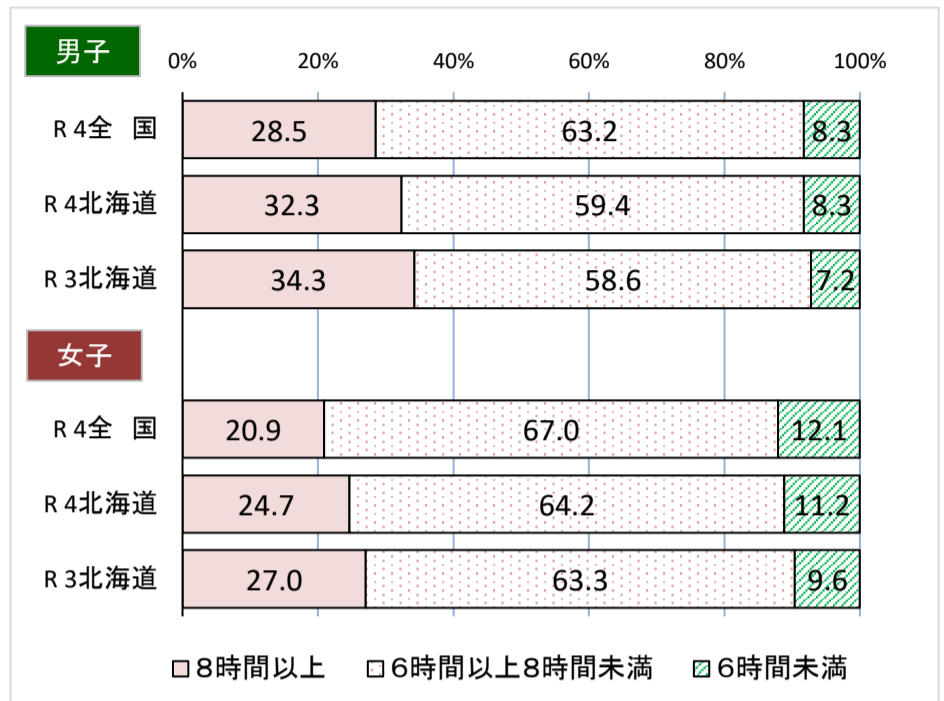


【中学校】

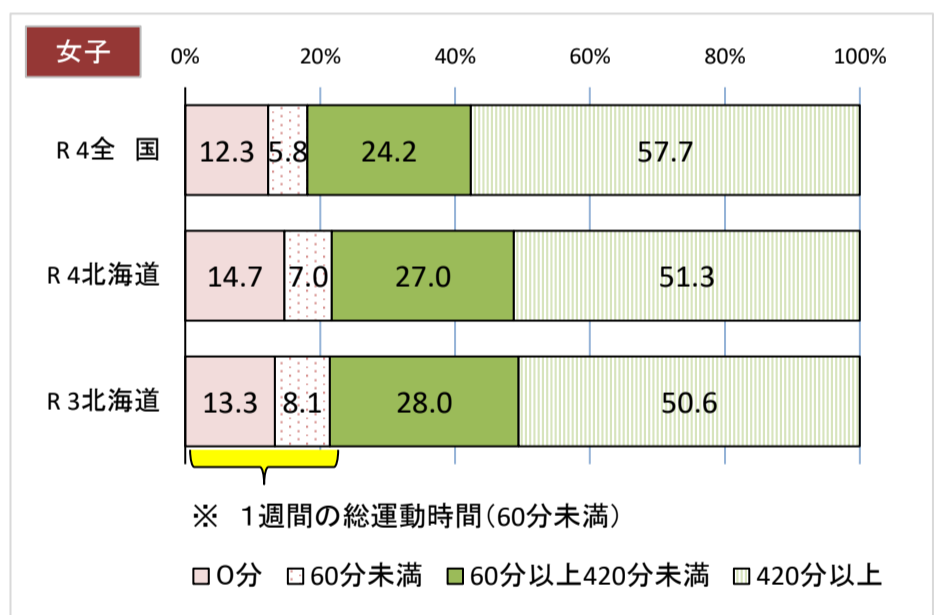
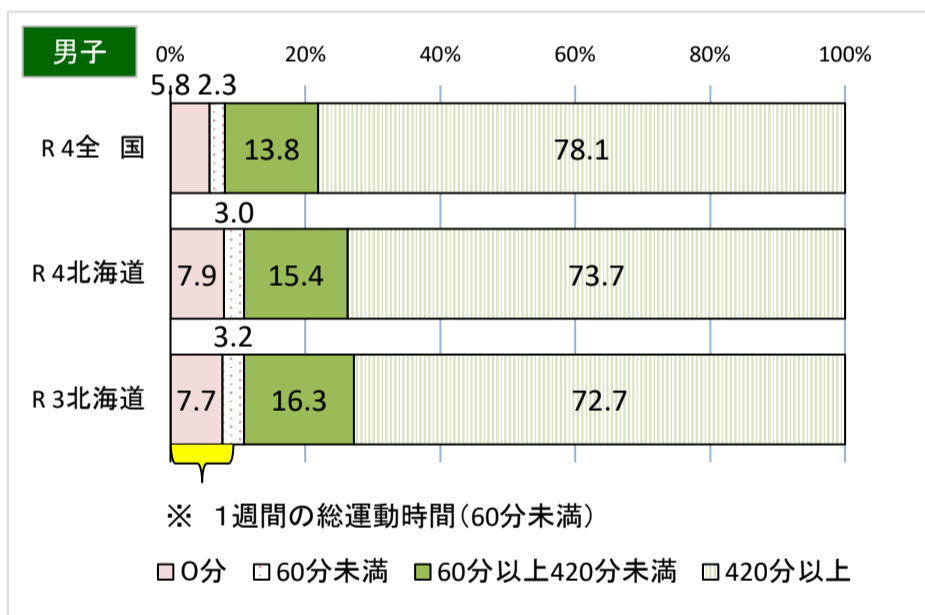
① 朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含めます)



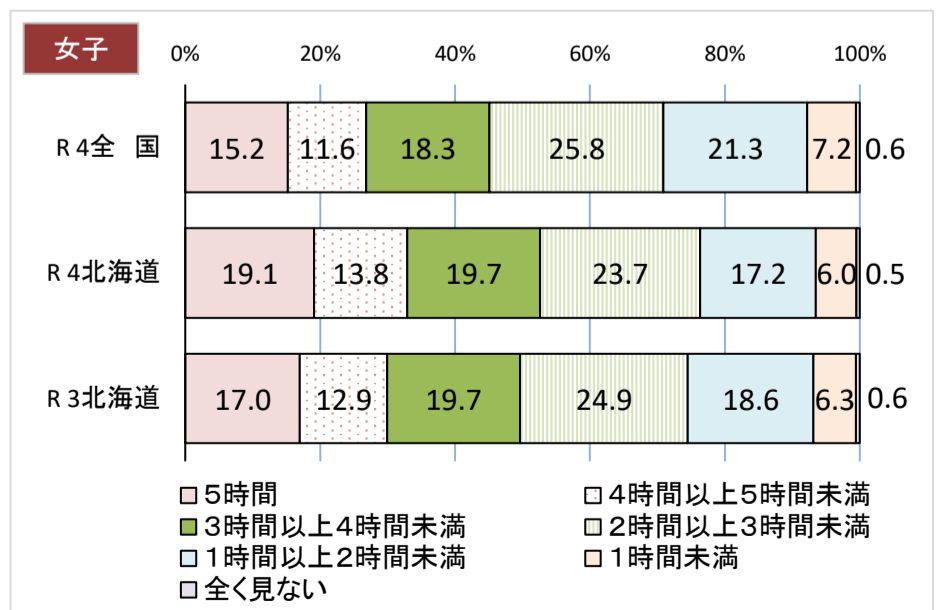
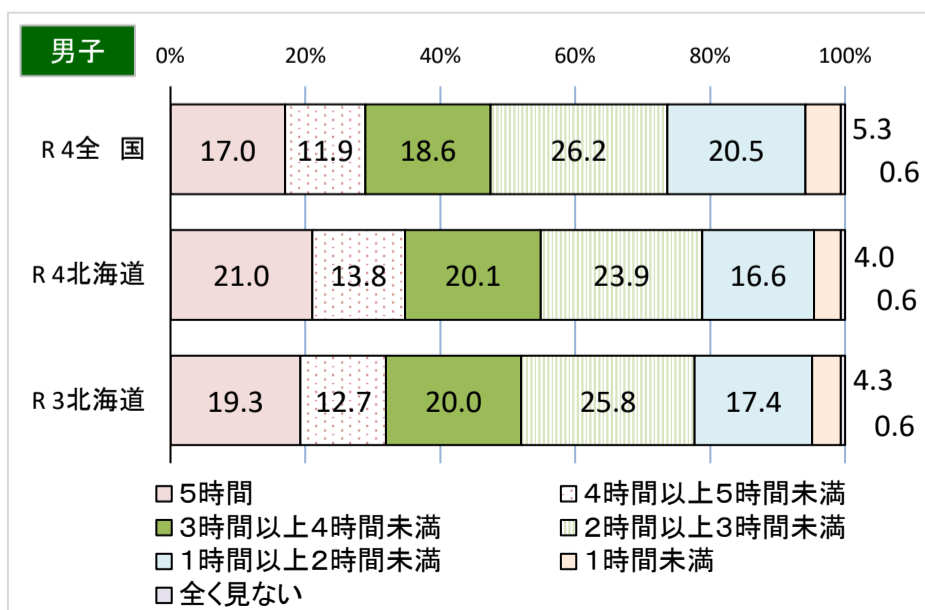
② 毎日どのくらい寝ていますか。



③ ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。(※月曜日から日曜日までの時間を合計し、1週間の総運動時間として表記)



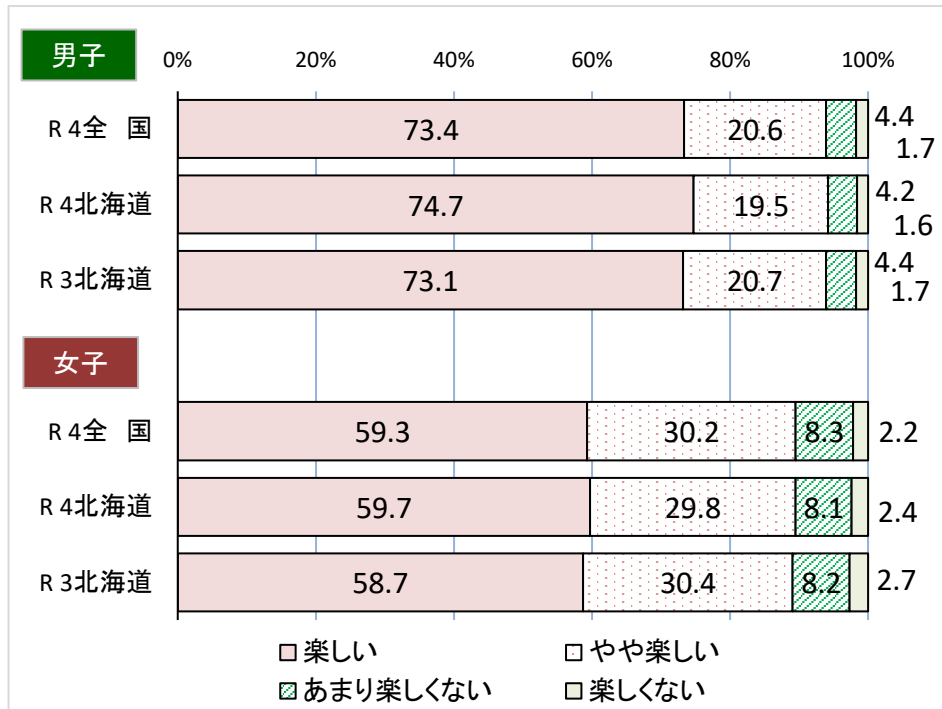
④ 平日、1日どのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



### (3) 体育・保健体育の授業に対する意識

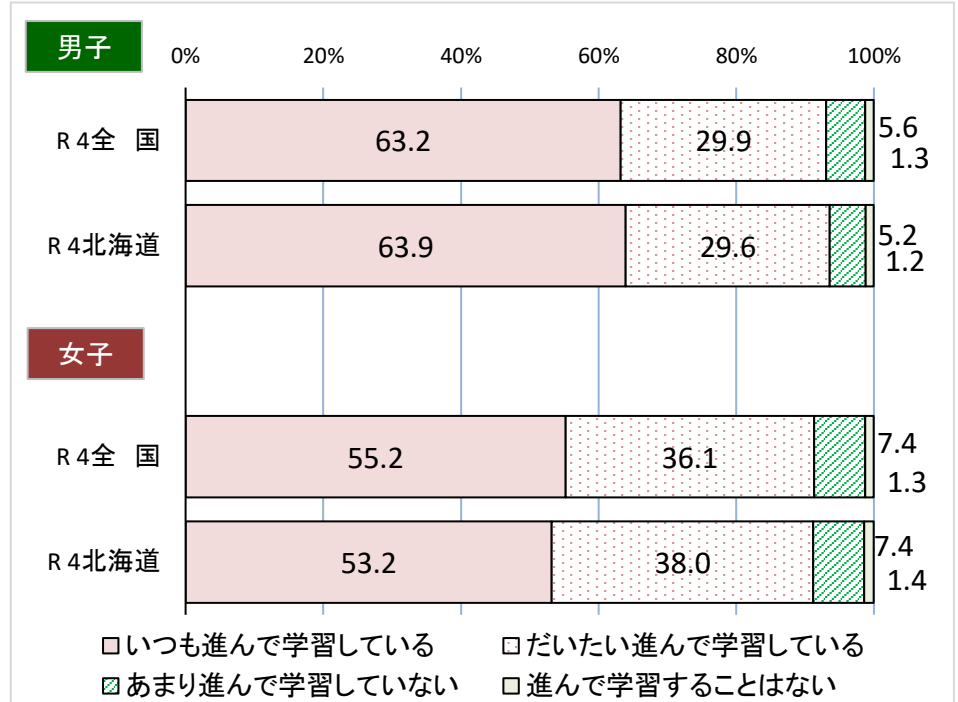
#### 【小学校】

① 体育の授業は楽しいですか。



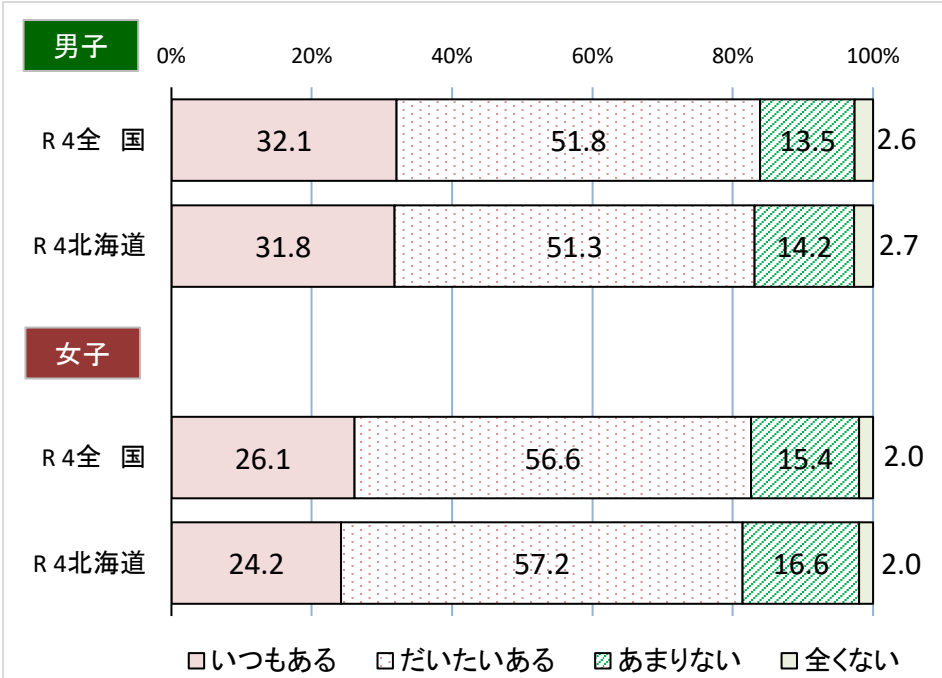
② 体育の授業では、進んで学習していますか。

R4新規項目



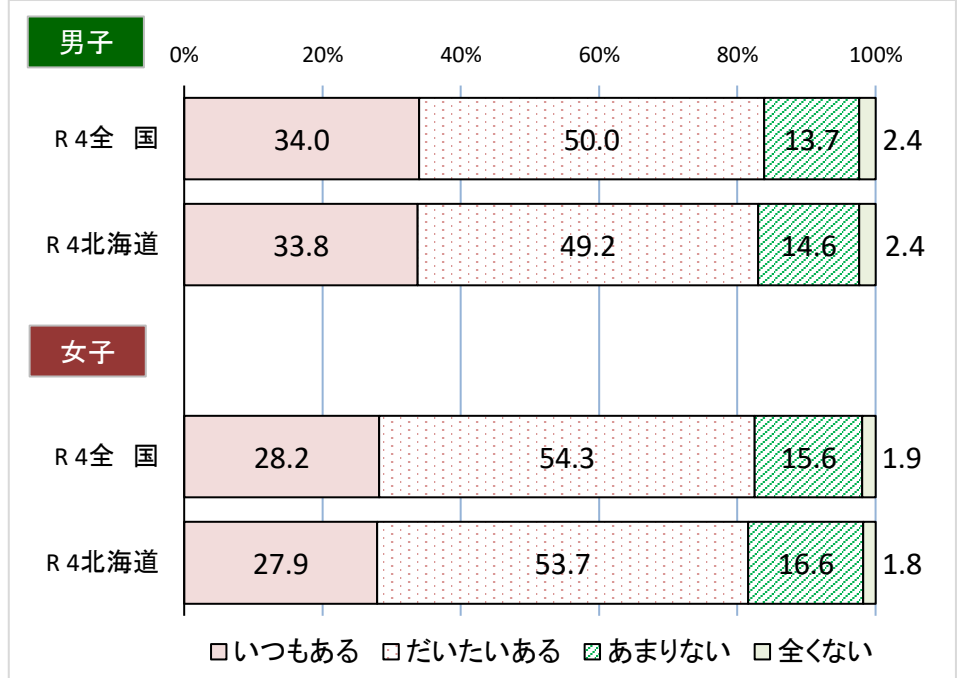
③ 体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

R4新規項目



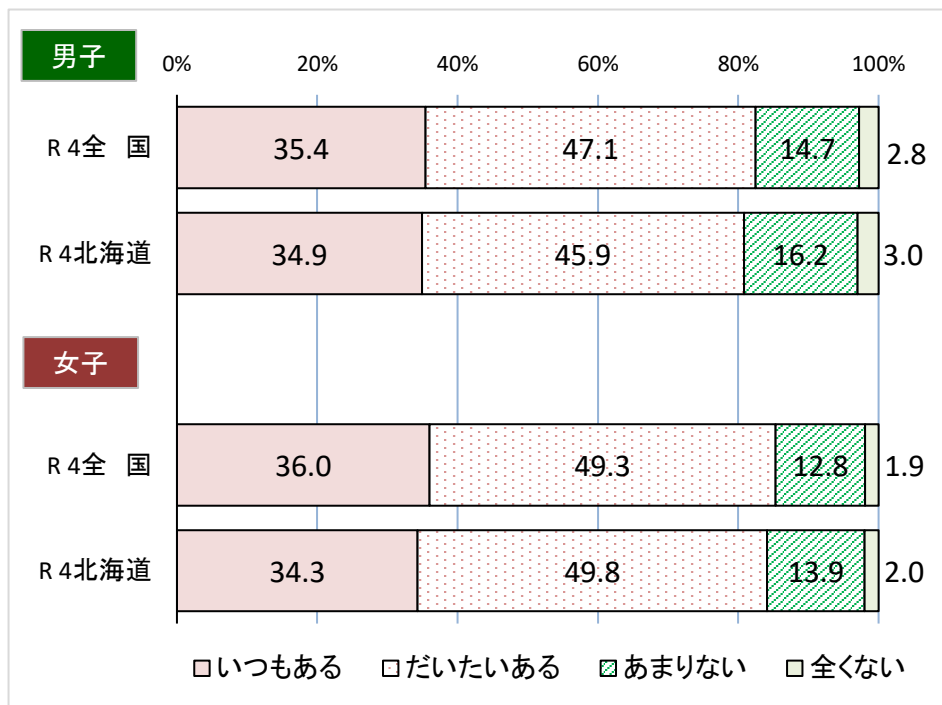
④ 体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

R4新規項目



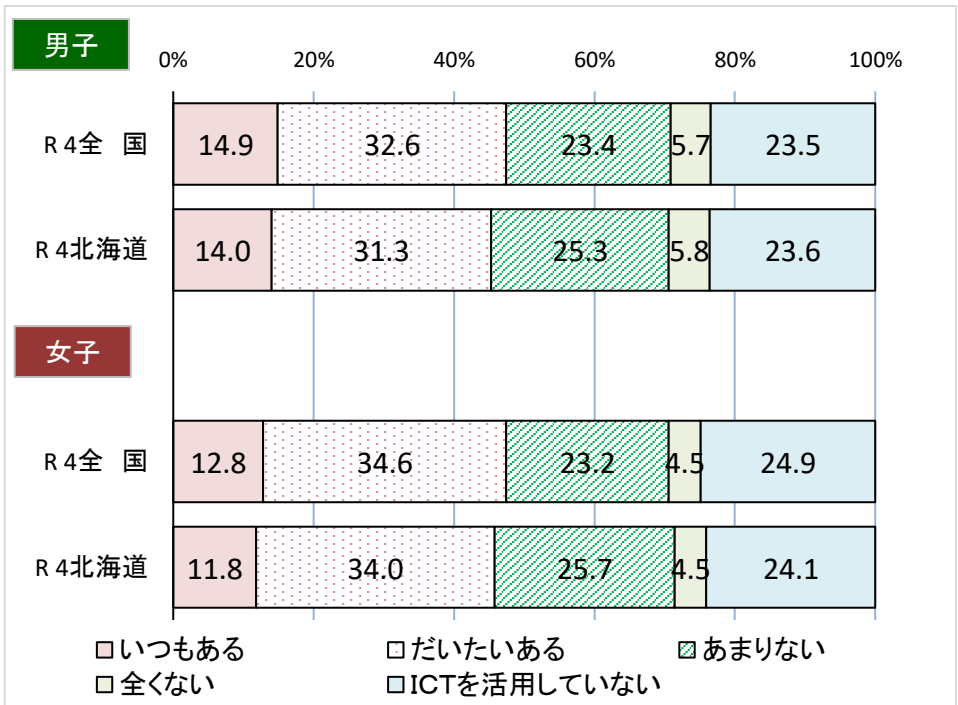
⑤ 体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

R4新規項目

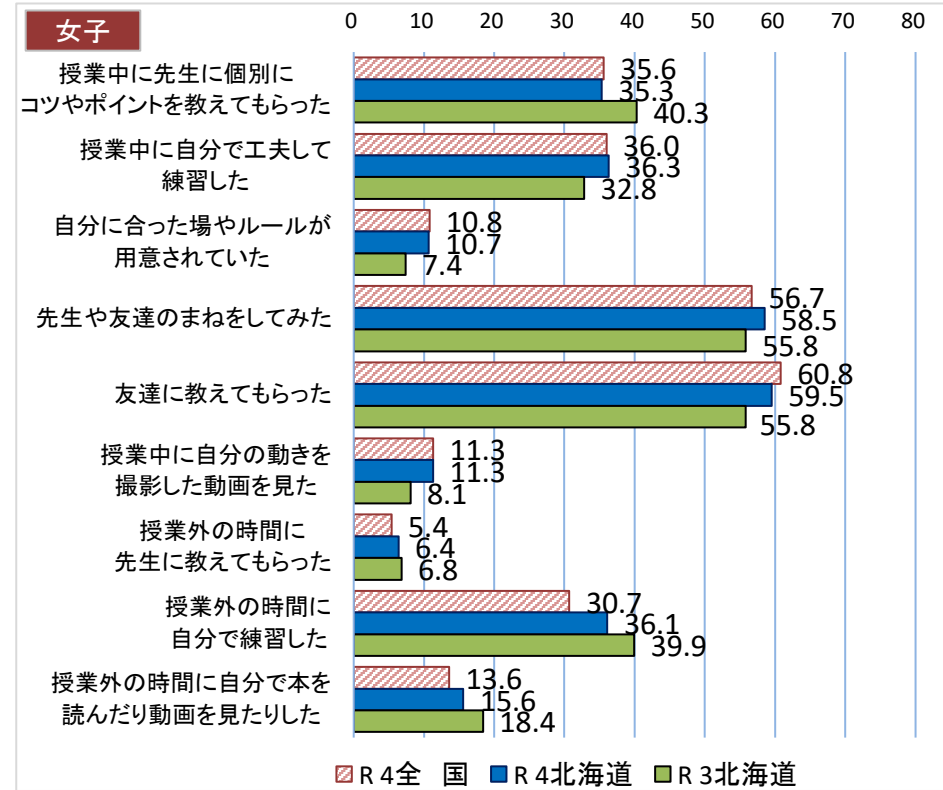
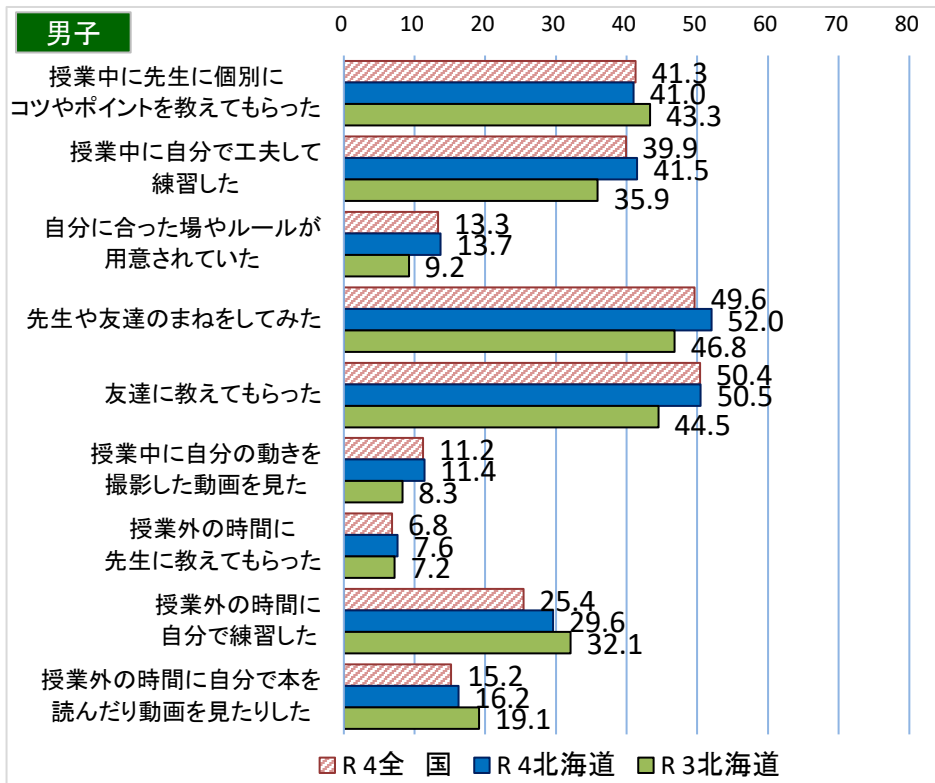


⑥ 体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

R4新規項目

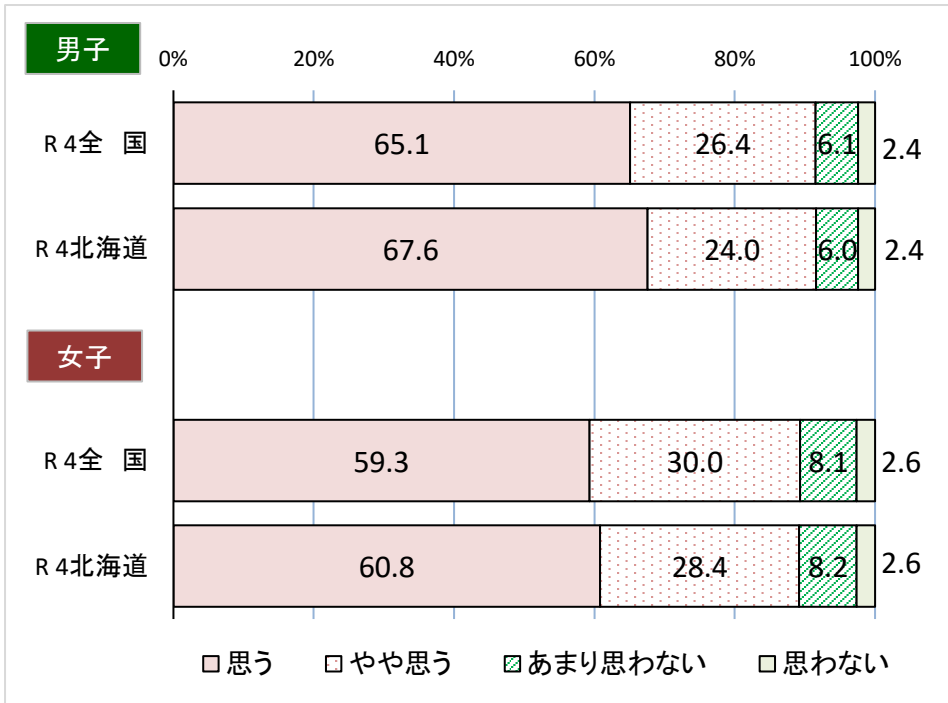


⑦ これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。(複数回答可)

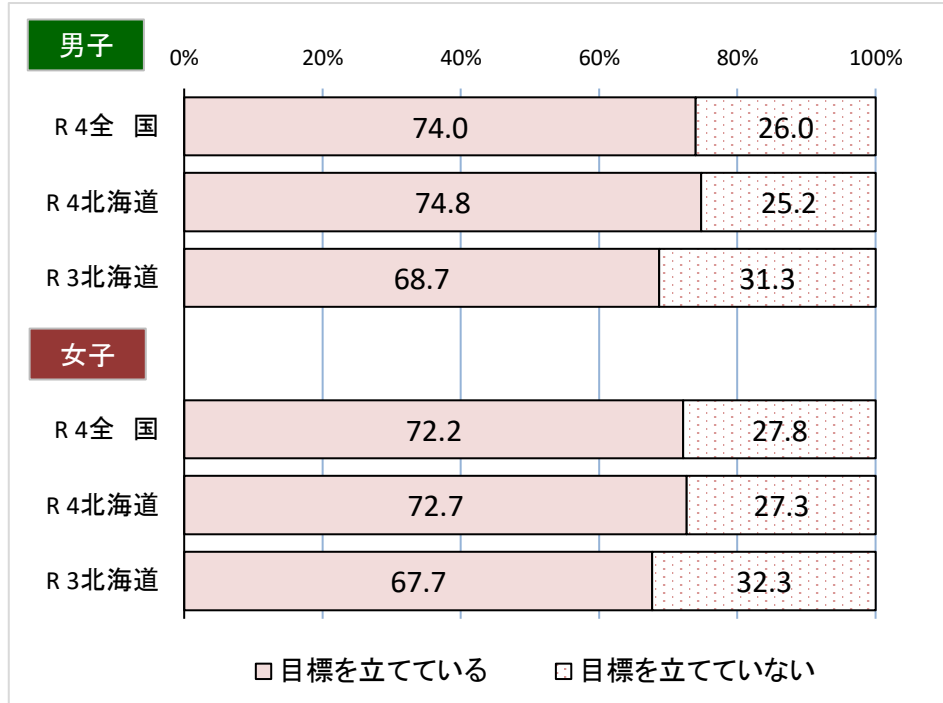


⑧ 体育の授業を受けることは、自分の生活を健康で明るいものにする1つの要素になっていますか。

R4新規項目

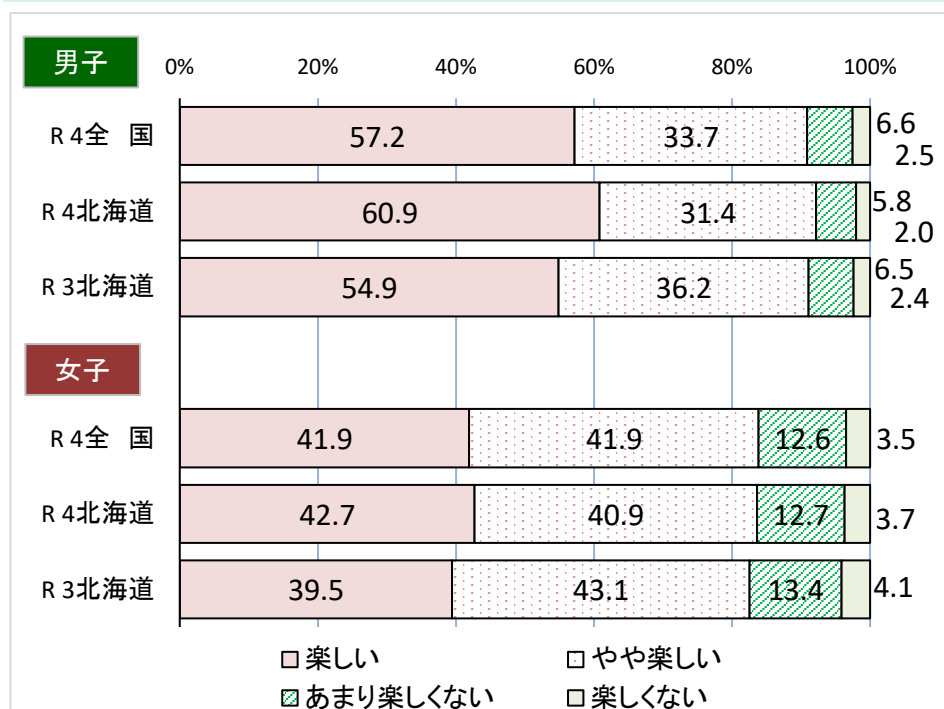


⑨ 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。



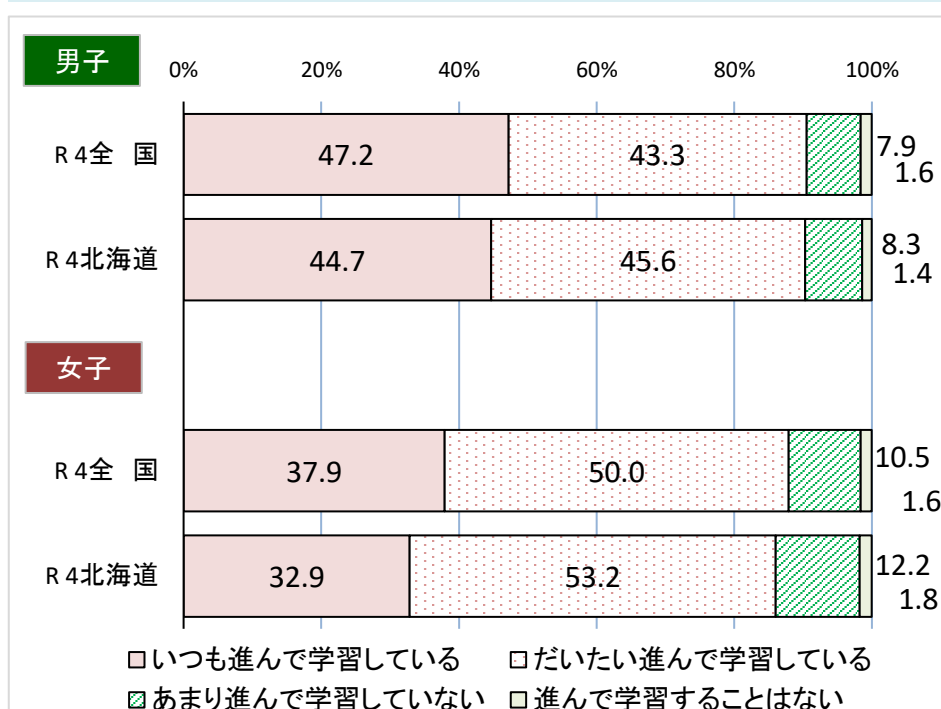
【中学校】

① 保健体育の授業は楽しいですか。



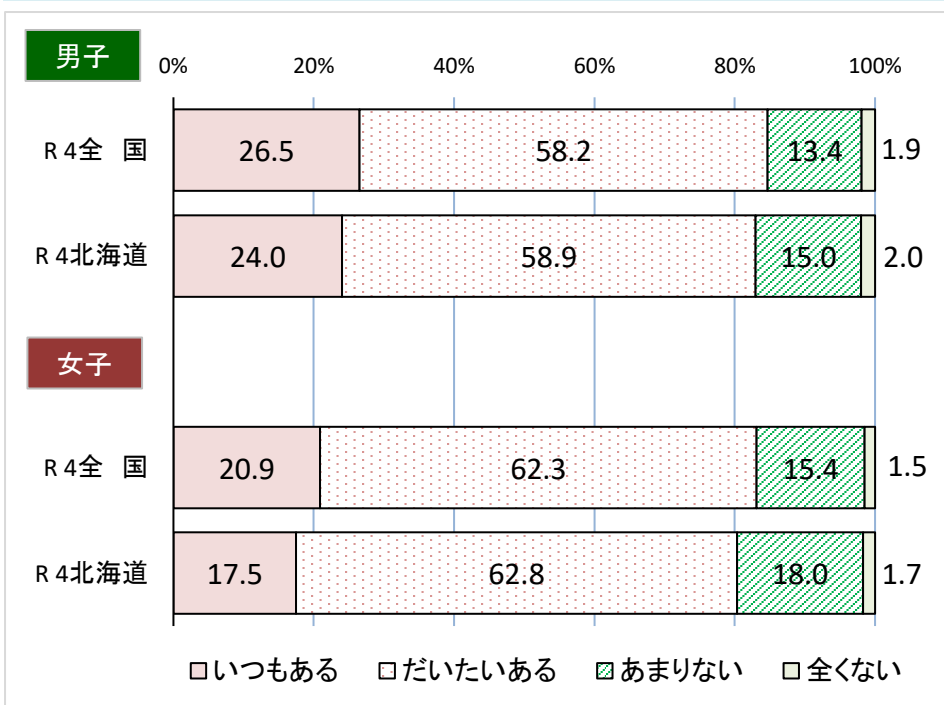
② 保健体育の授業では、進んで学習していますか。

R4新規項目



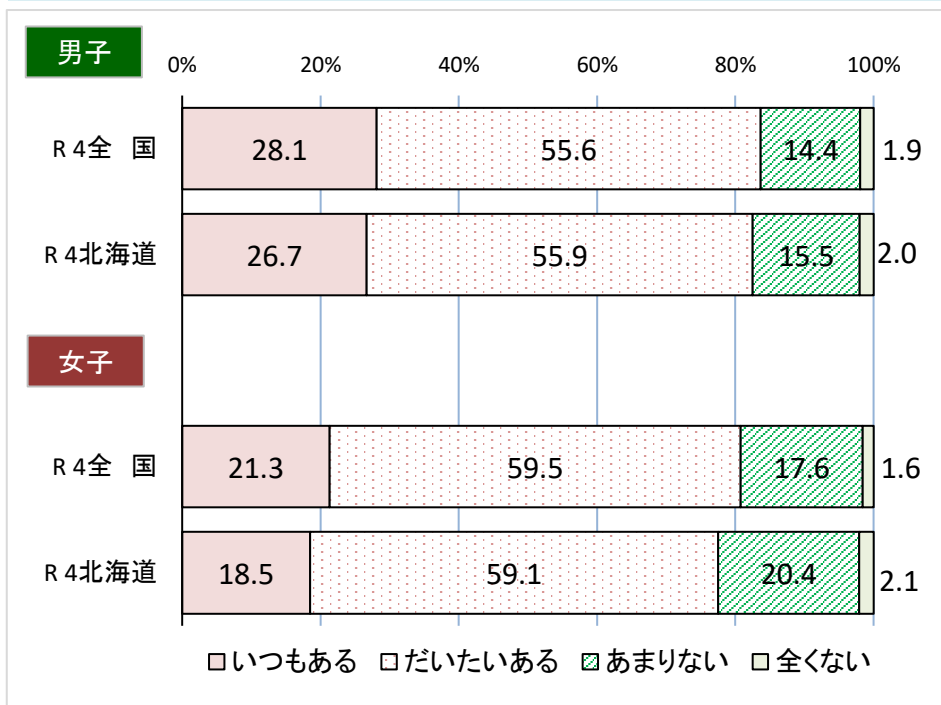
③ 保健体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

R4新規項目



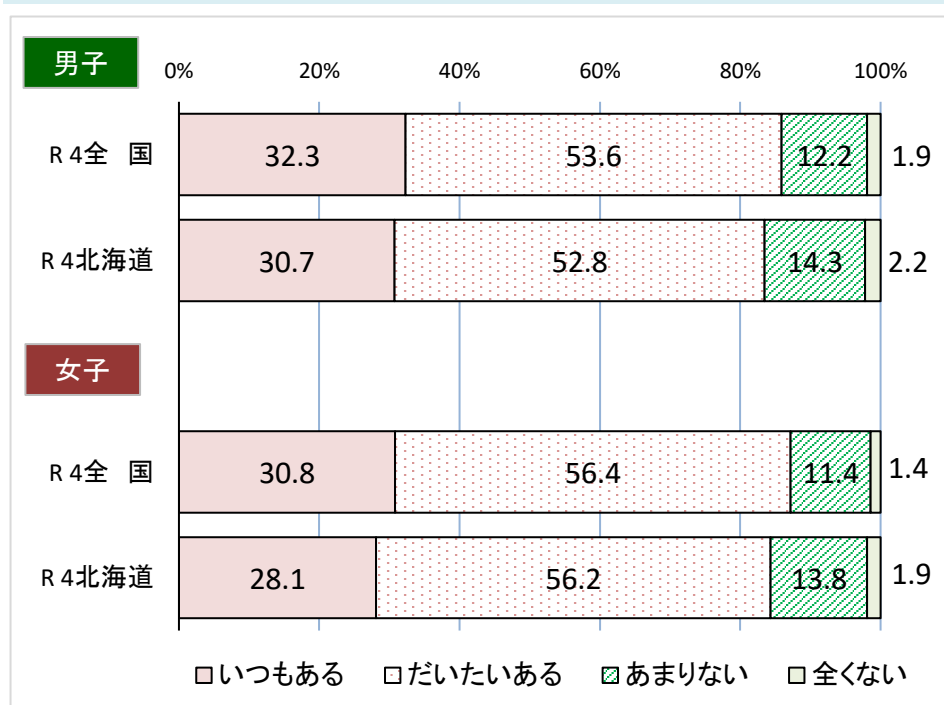
④ 保健体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

R4新規項目



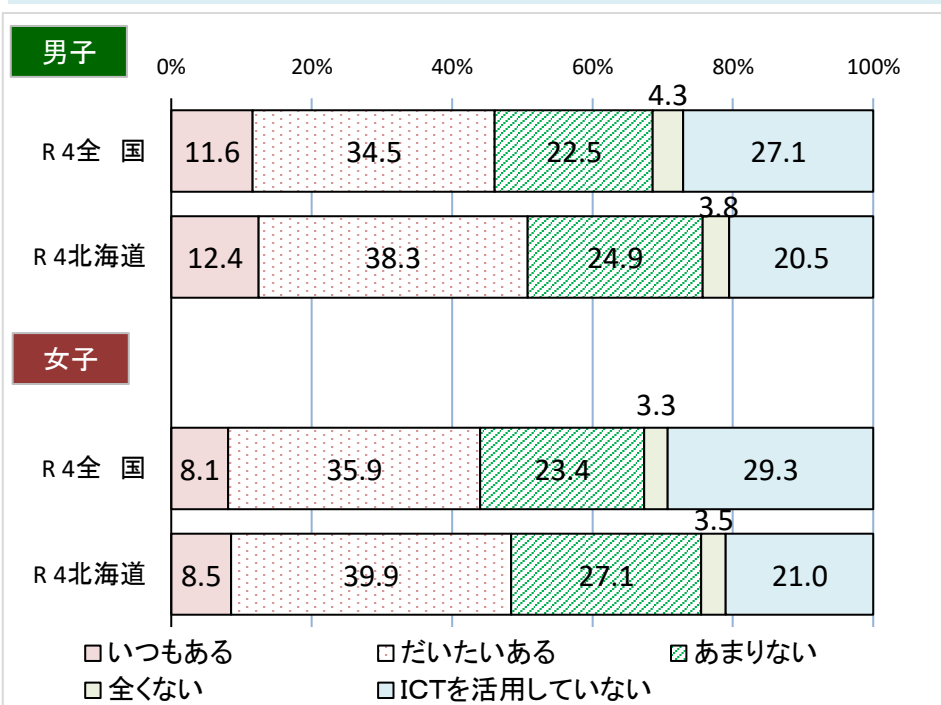
⑤ 保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

R4新規項目

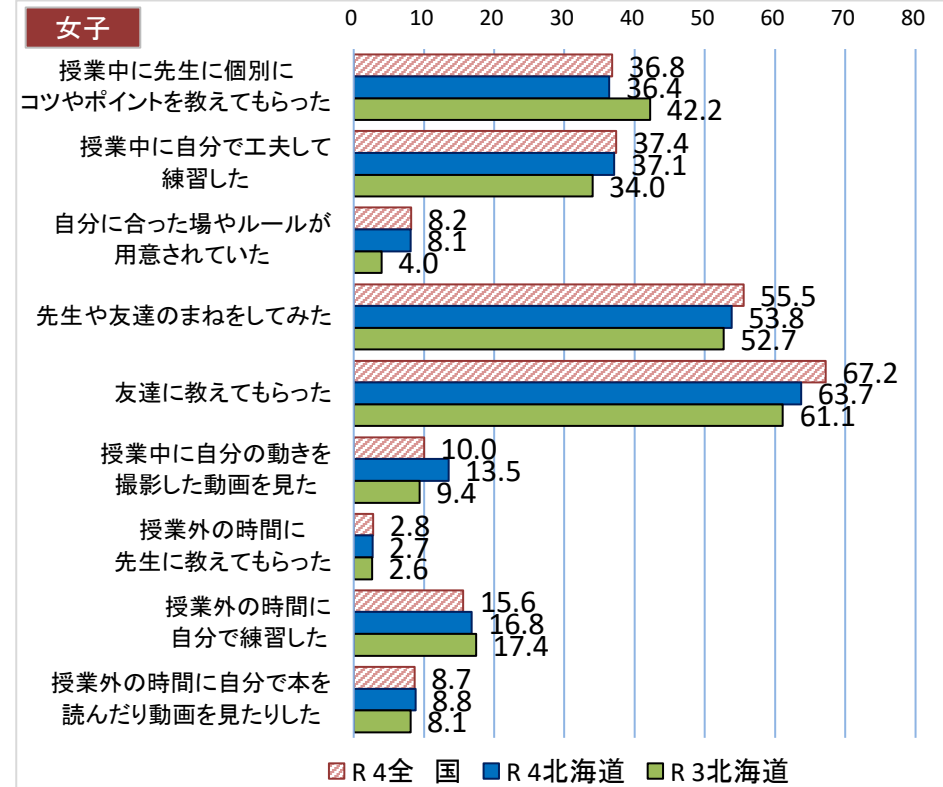
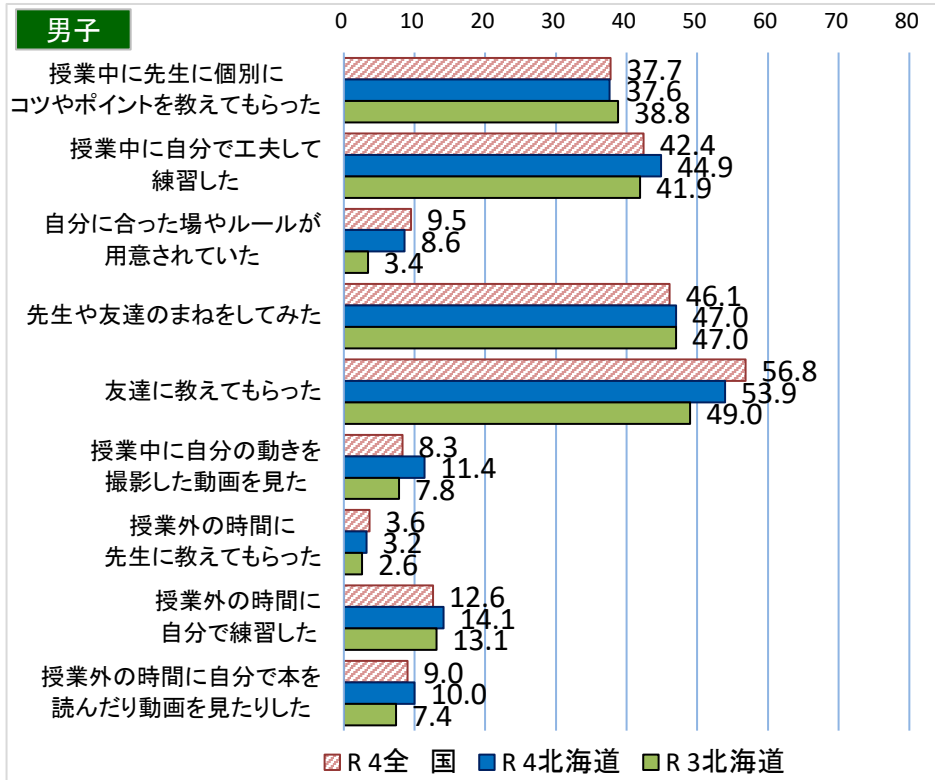


⑥ 保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

R4新規項目

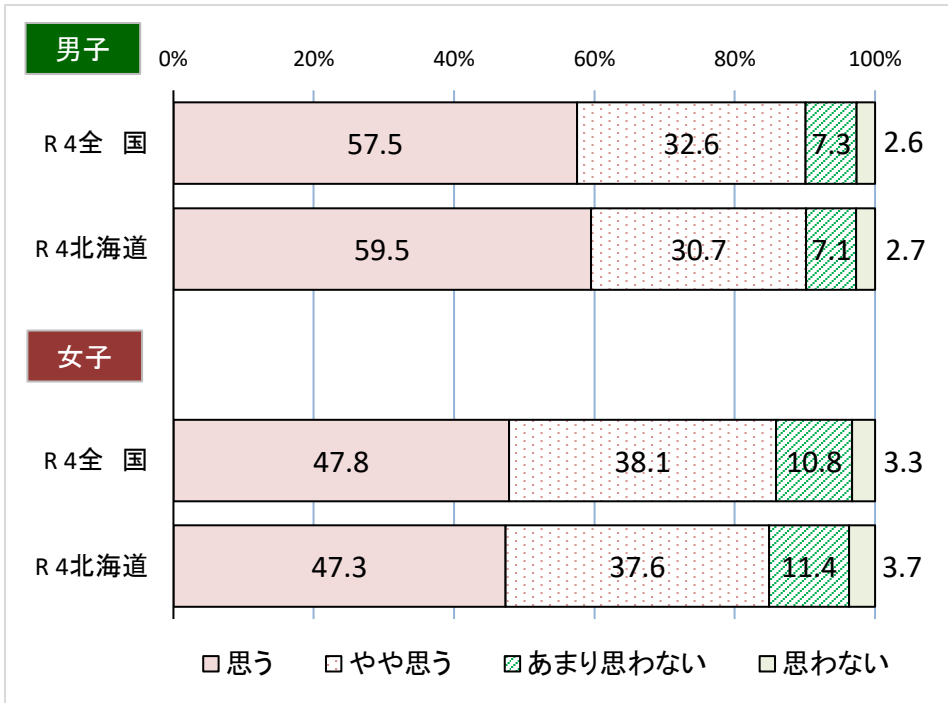


⑦ これまでの保健体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。(複数回答可)

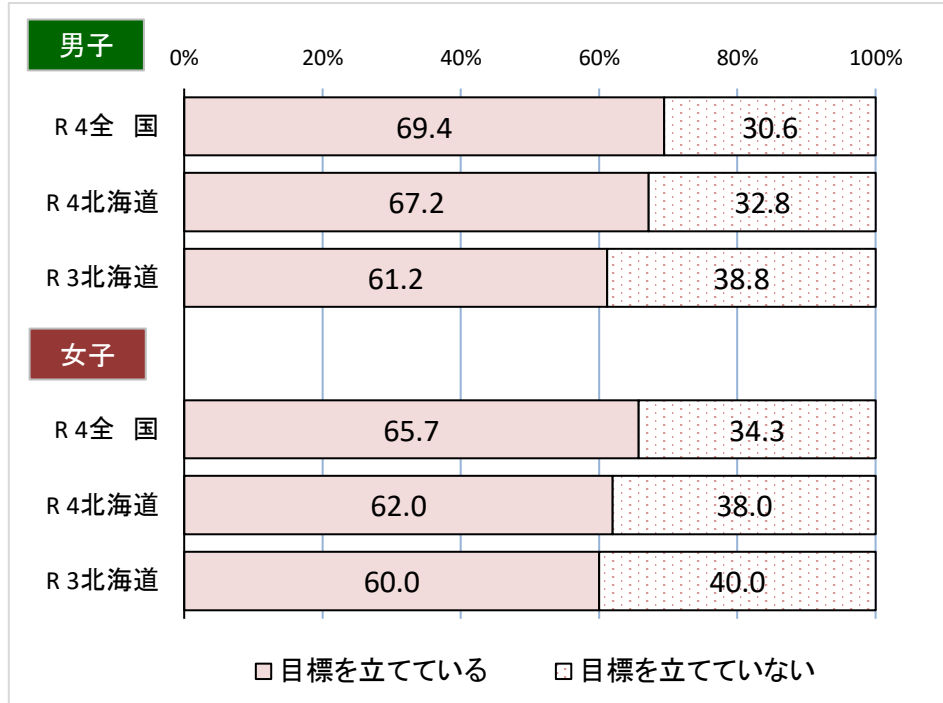


⑧ 保健体育の授業を受けることは、自分の生活を健康で明るいものにする1つの要素になっていますか。

R4新規項目



⑨ 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。

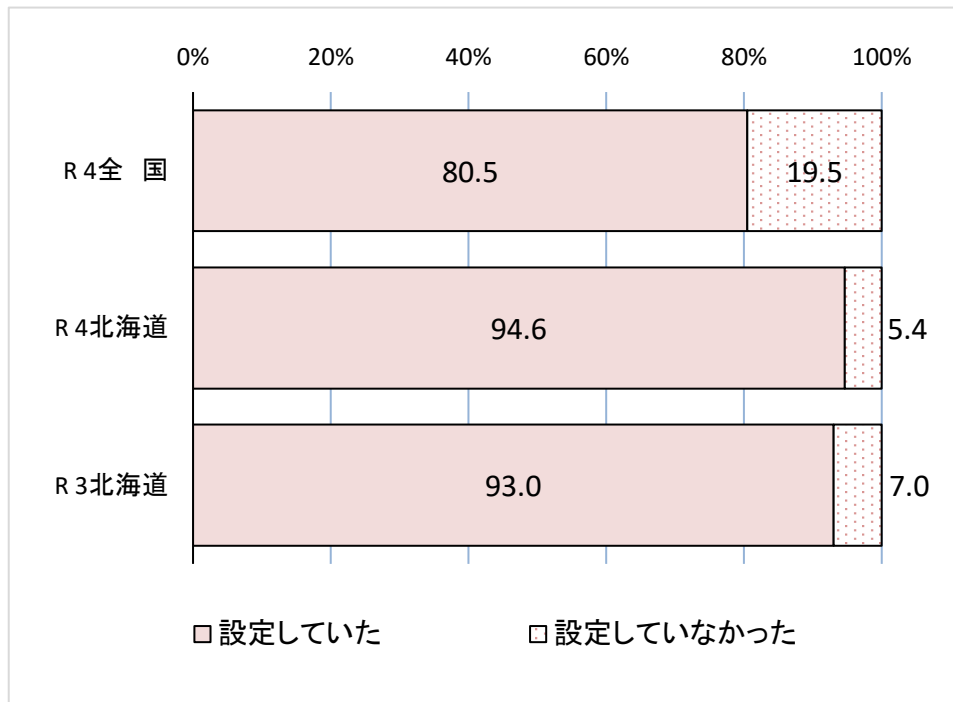


## 5 学校質問紙調査 (～P28)

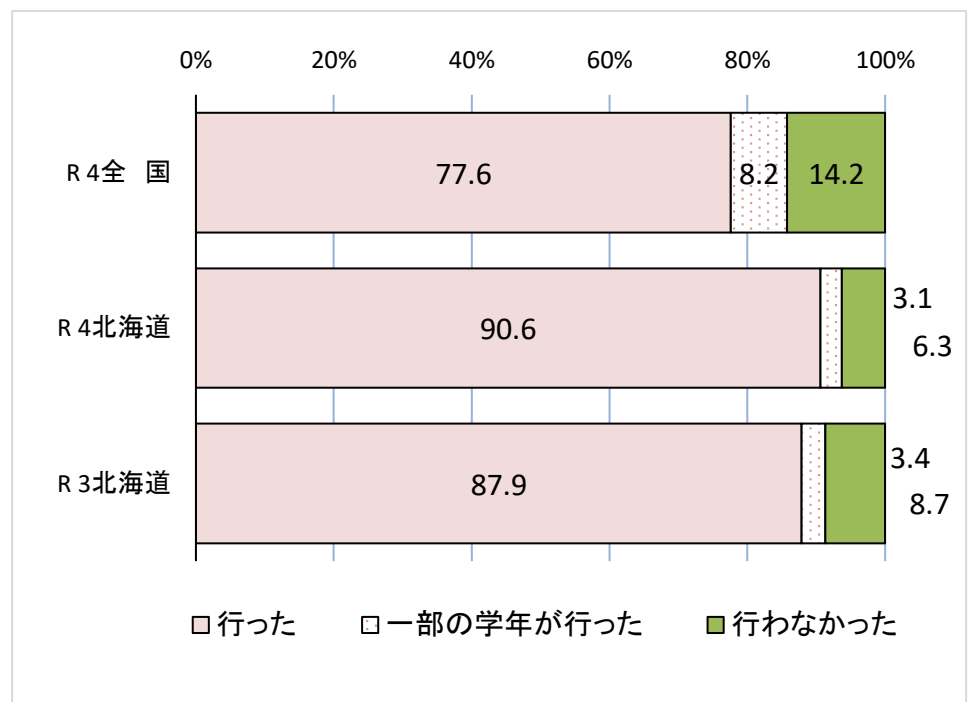
### (1) 体力向上の取組の状況

#### 【小学校】

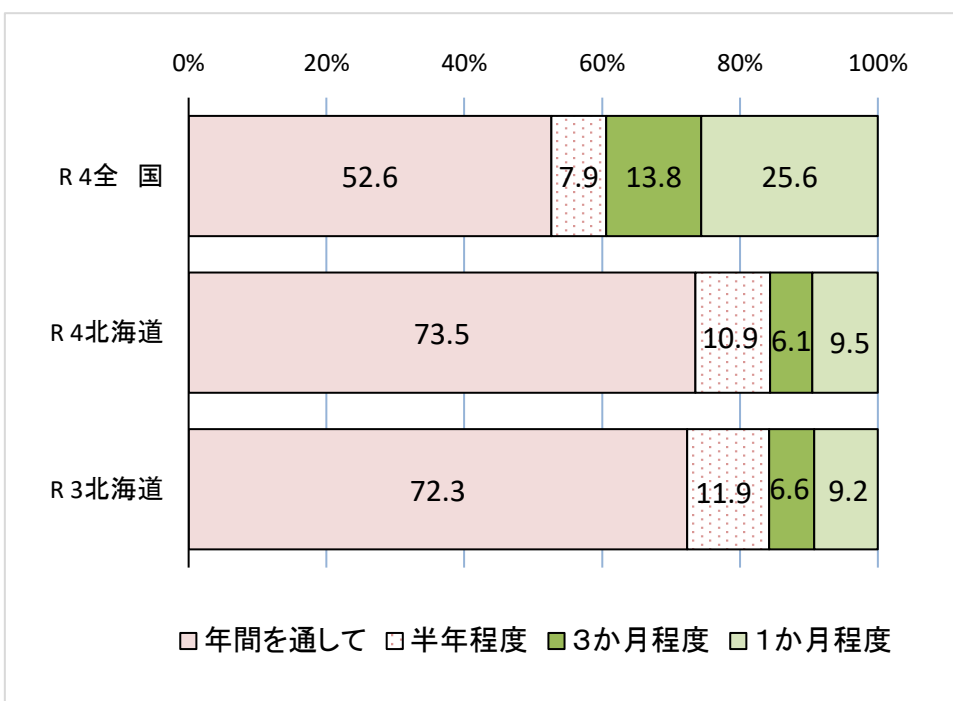
① 児童の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定していましたか。



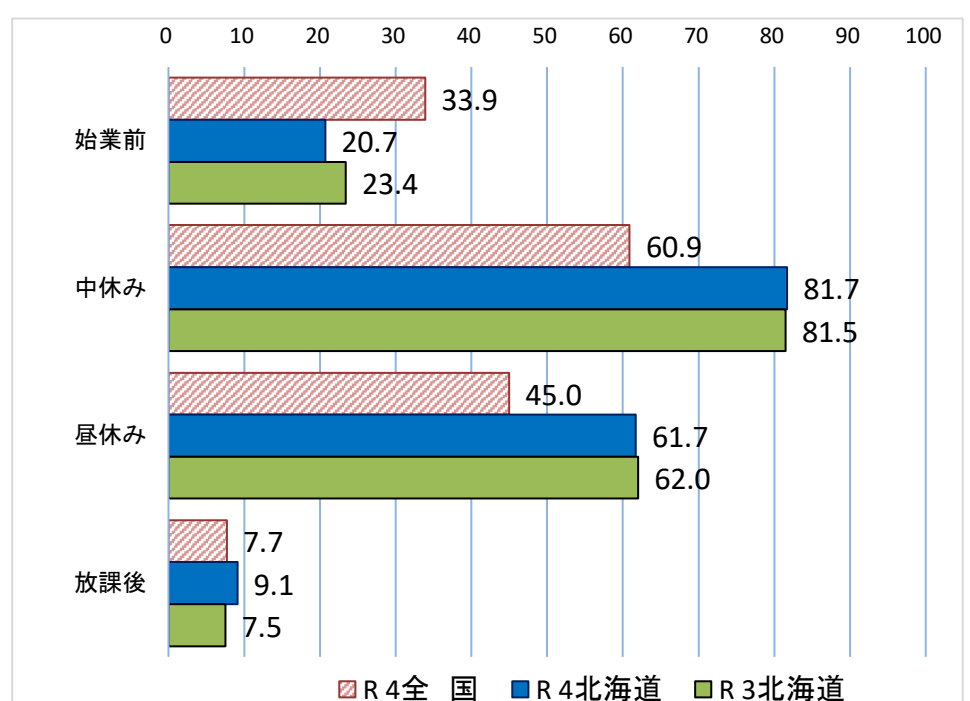
② 体育の授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。



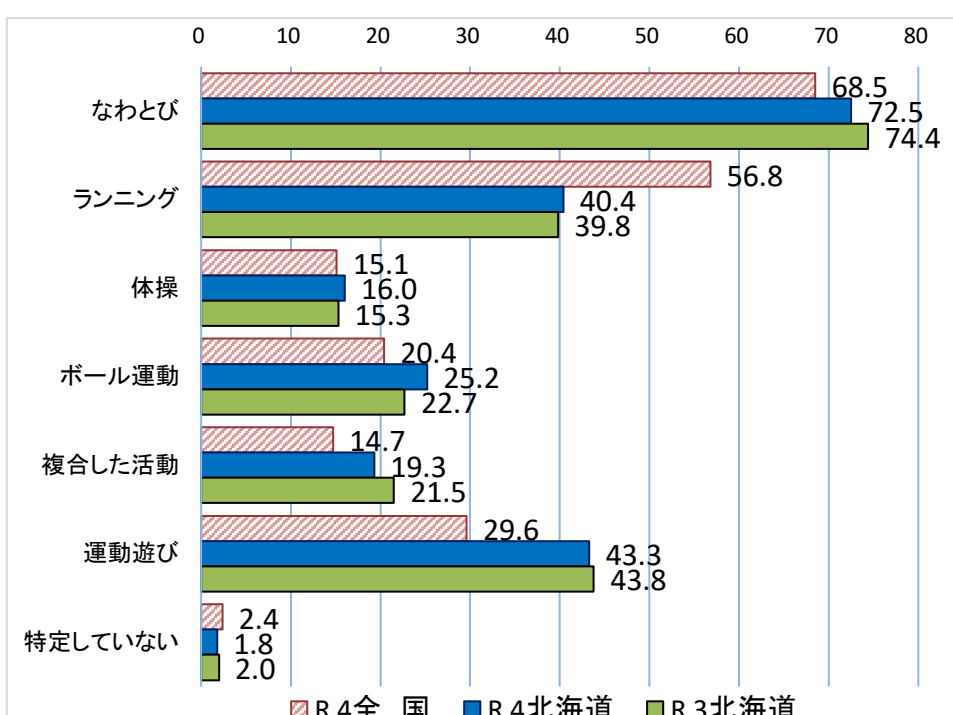
③ 体育の授業以外での取組をどのくらいの期間行いましたか。



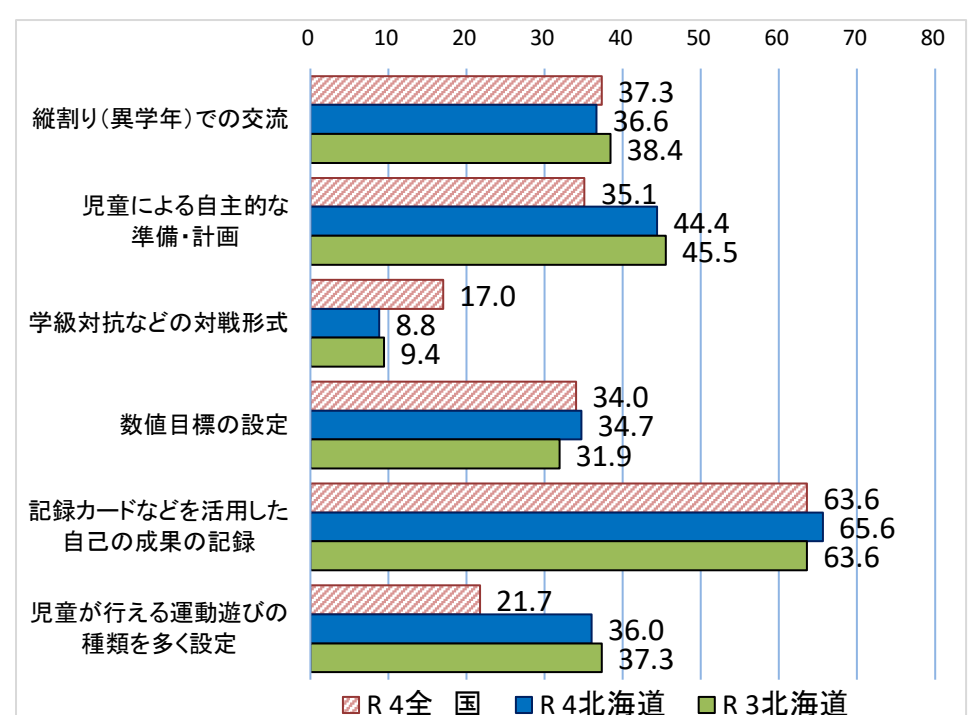
④ 体育の授業以外での取組をいつ行いましたか。



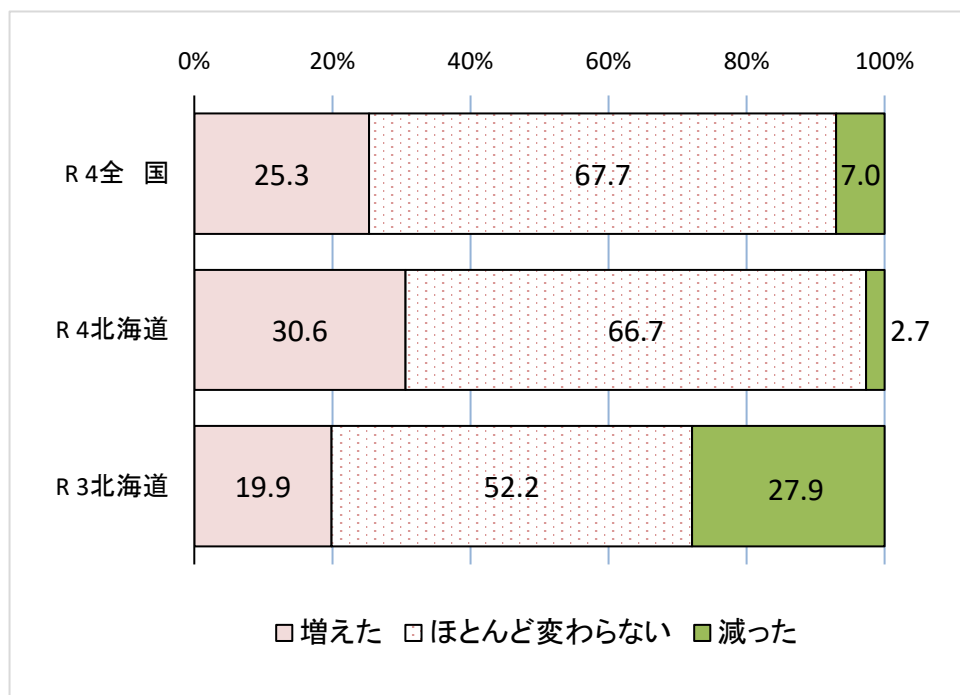
⑤ 体育の授業以外での取組でどのような活動を行いましたか。



⑥ 体育の授業以外における活動を行う上で、どのような取組をしましたか。

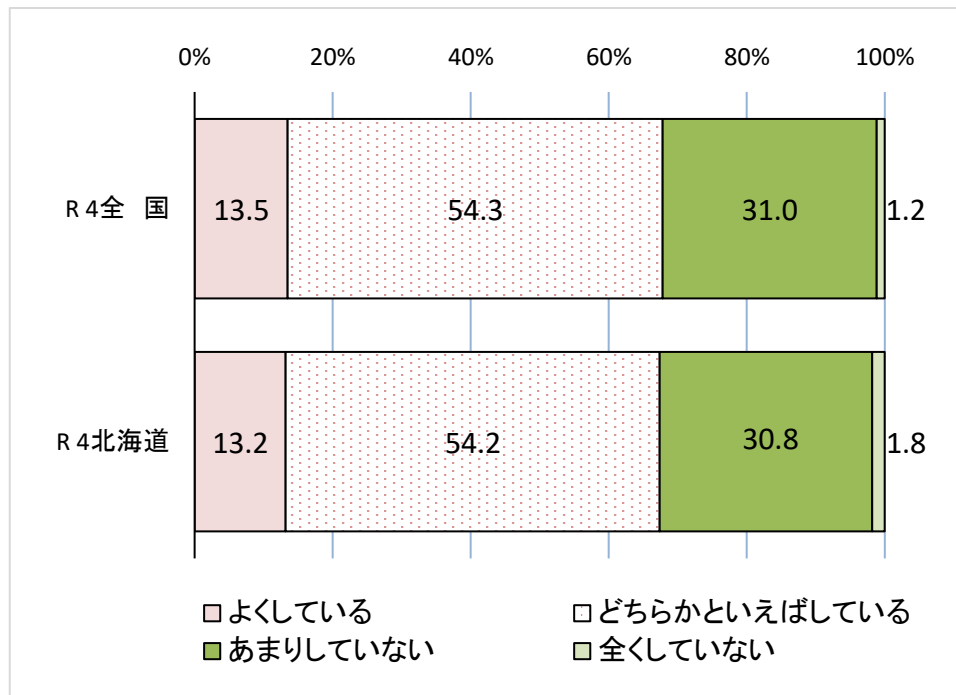


⑦ 体育の授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組時間は、前年度と比べて変わっている。

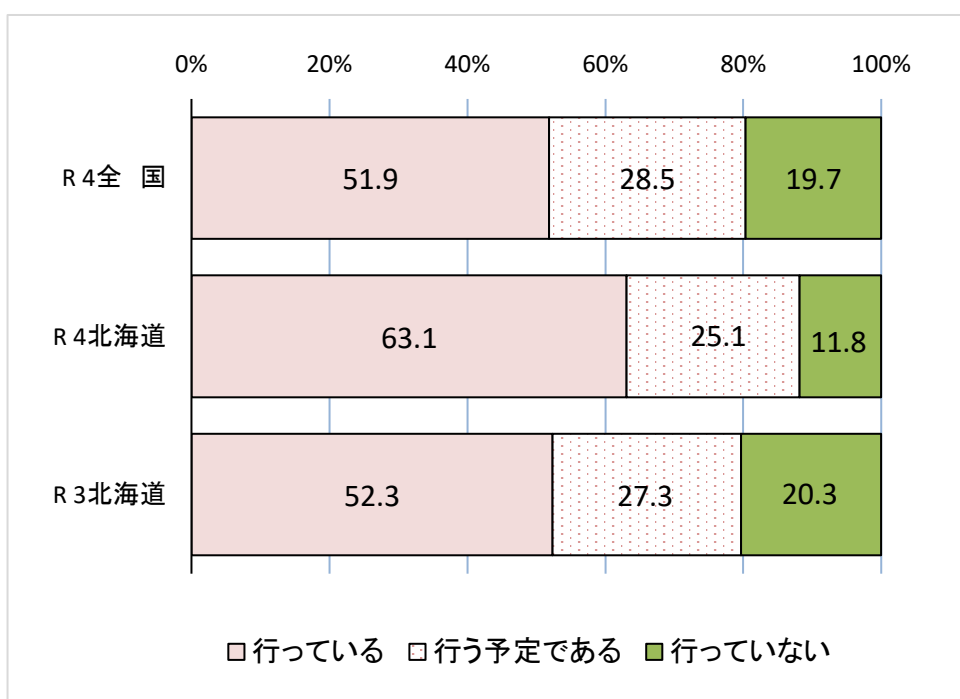


⑧ 自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映させるために、校内外の研修や研究会のような取組に積極的に参加している。

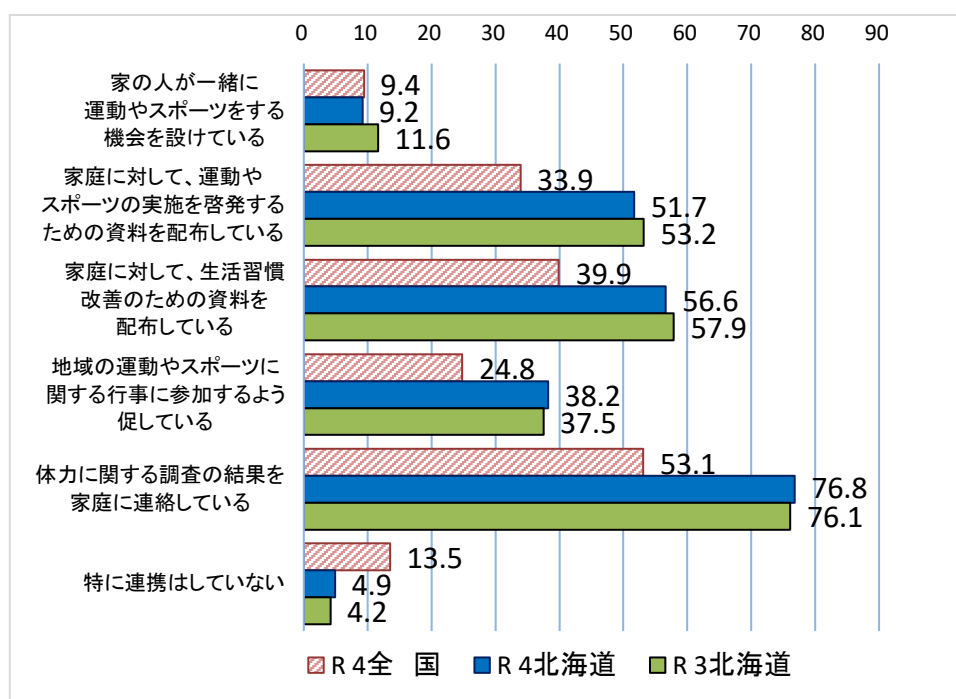
R4新規項目



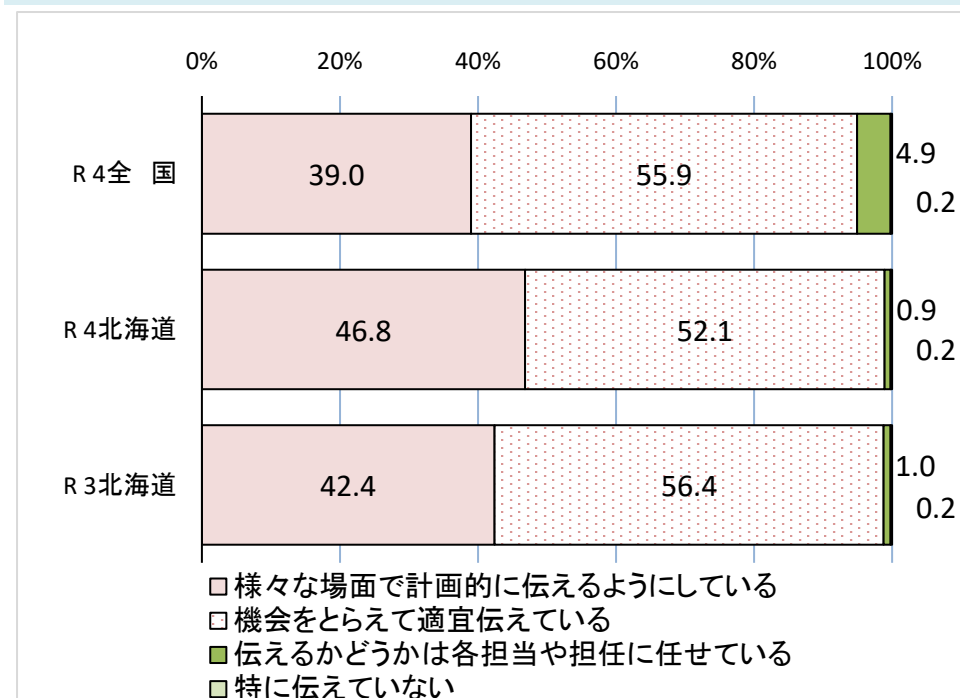
⑨ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童向けの取組、または能力差に応じた取組を現在行っていますか。



⑩ 運動やスポーツ、児童の体力について、家庭とどのような連携をしていますか。

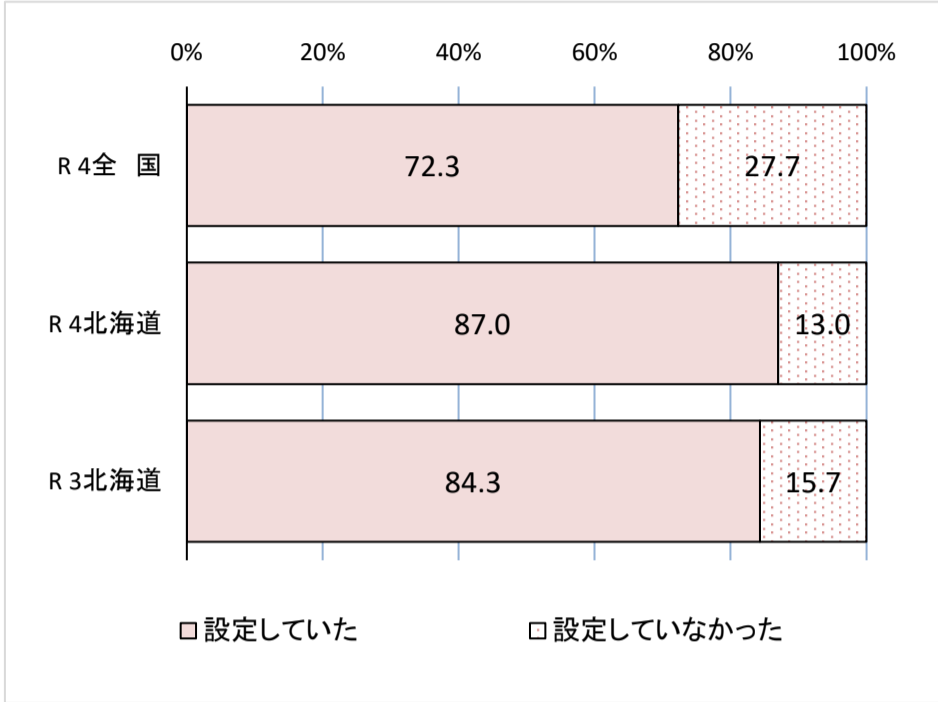


⑪ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童に伝えていますか。

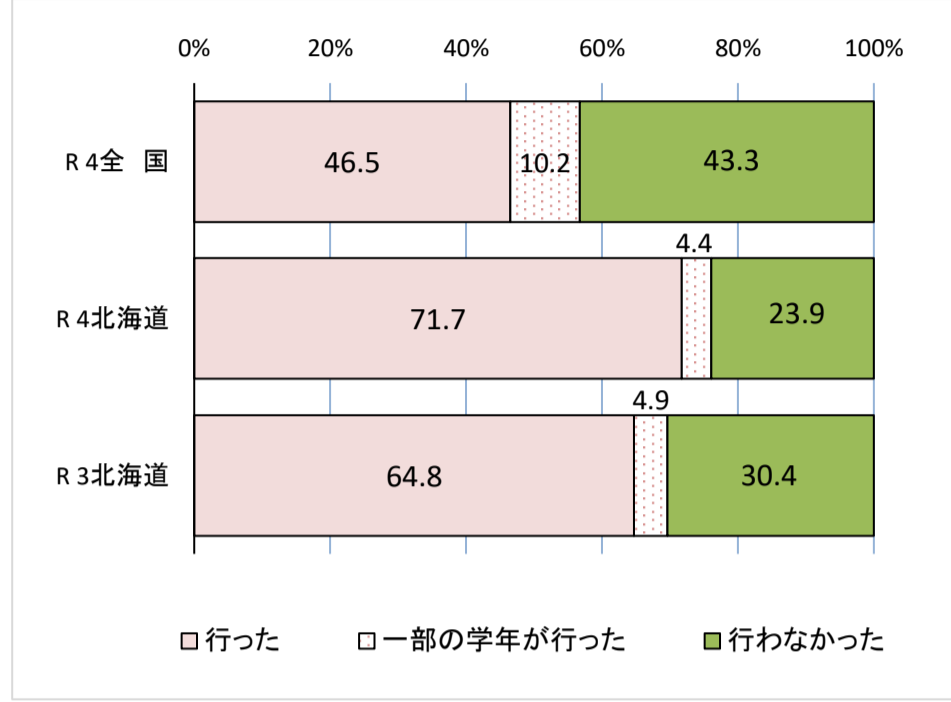


【中学校】

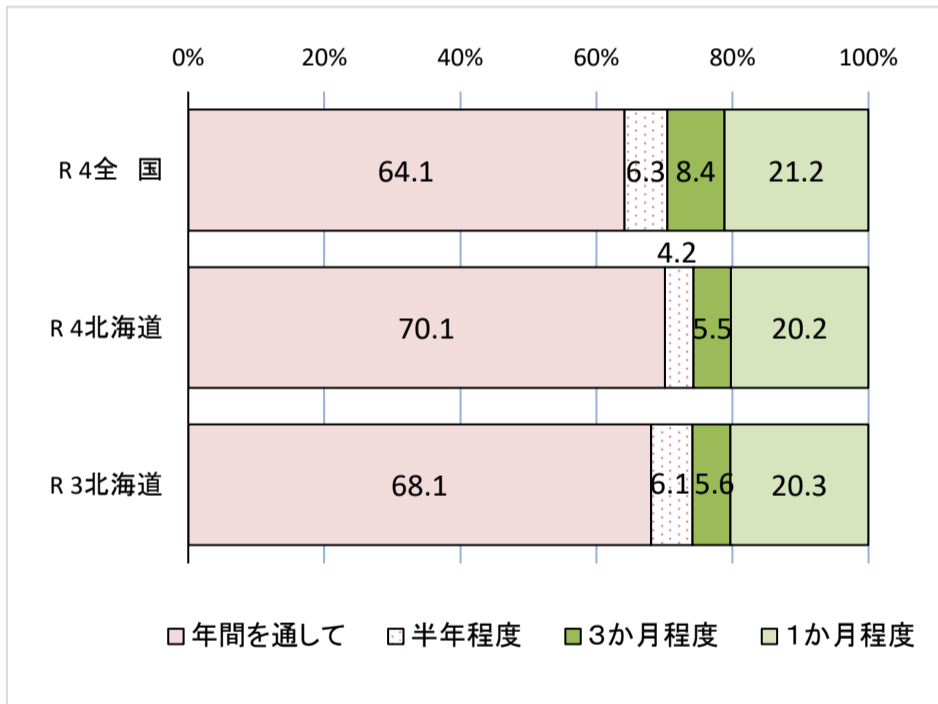
① 生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定していましたか。



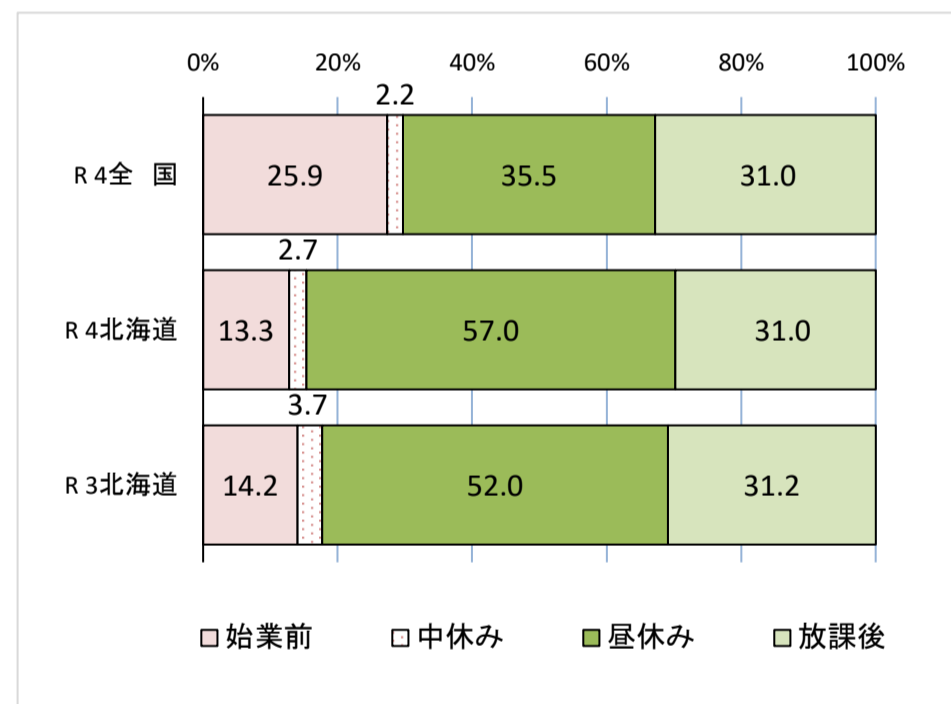
② 保健体育の授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。



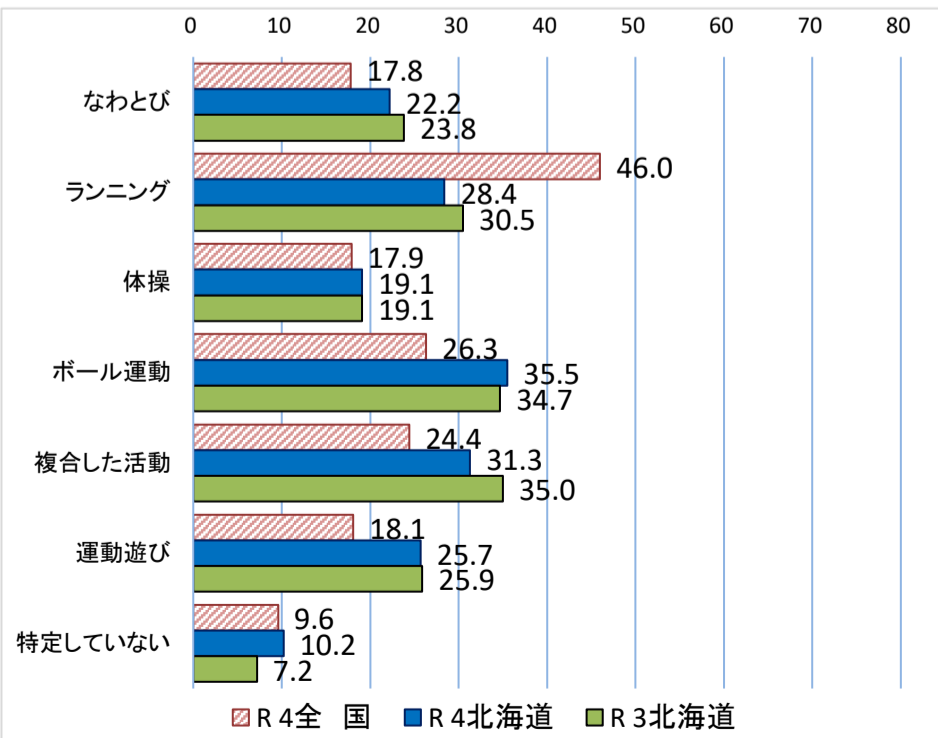
③ 保健体育の授業以外での取組をどのくらいの期間行いましたか。



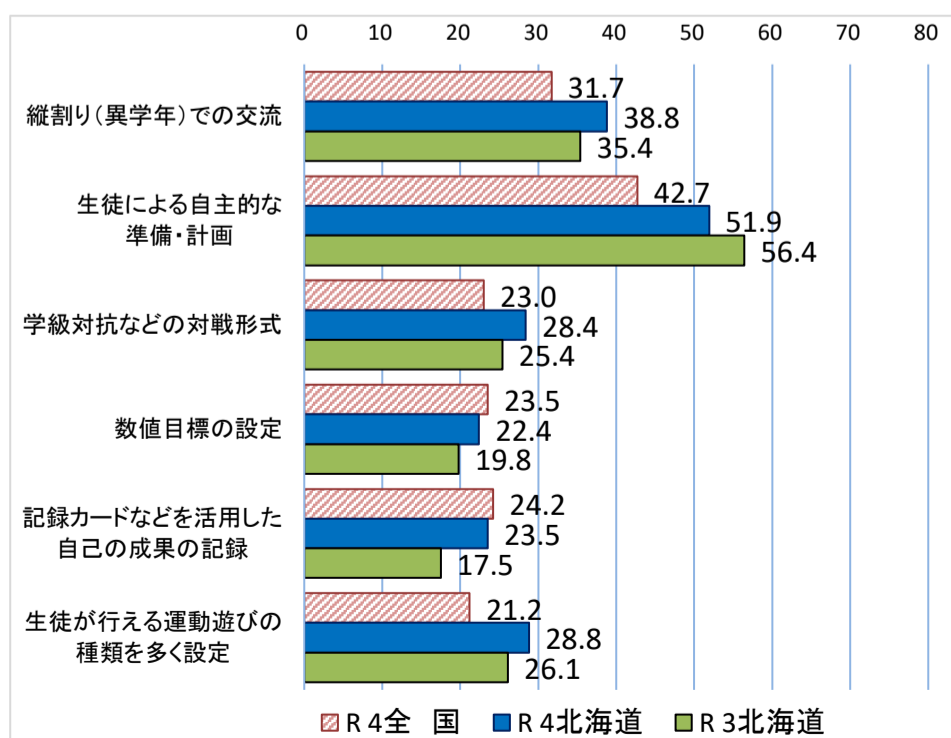
④ 保健体育の授業以外での取組をいつ行いましたか。



⑤ 保健体育の授業以外での取組でどのような活動を行いましたか。

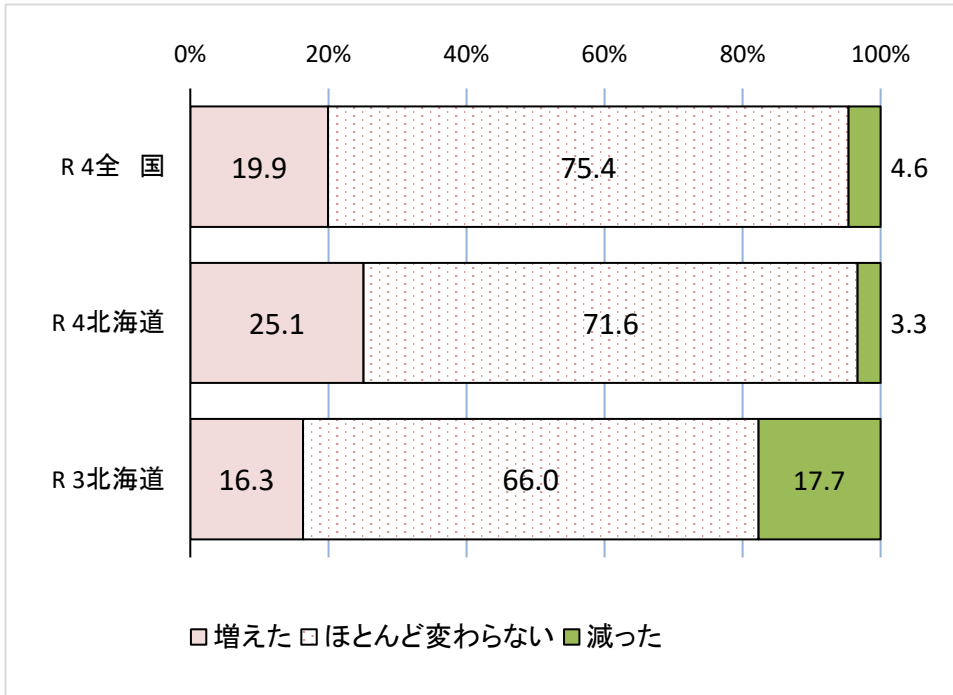


⑥ 保健体育の授業以外における活動を行う上で、どのような取組をしましたか。



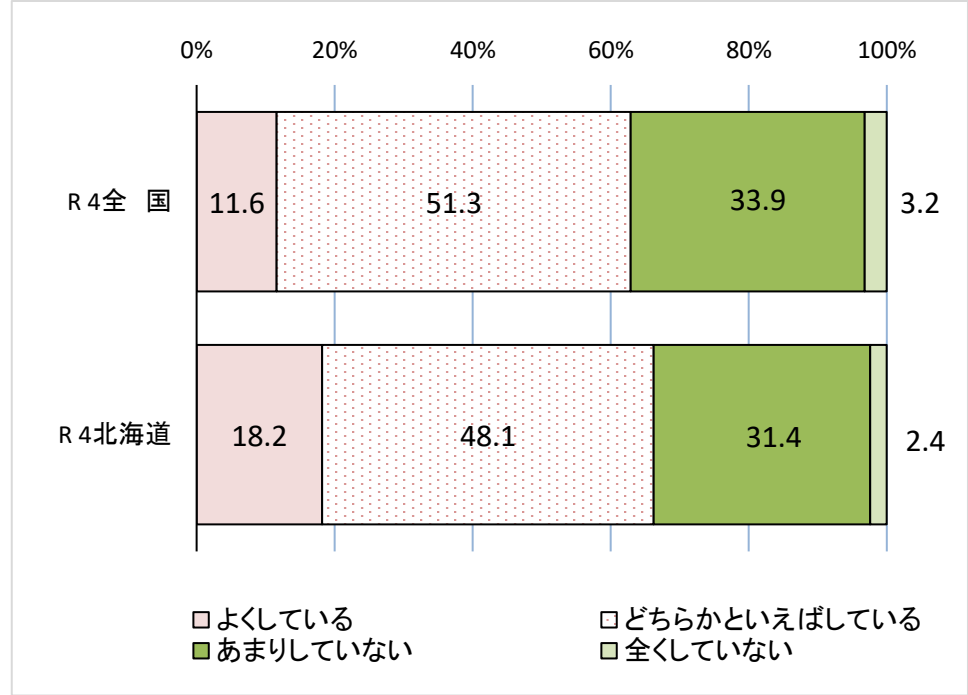


⑦ 保健体育の授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組時間は、前年度と比べて変わっている。

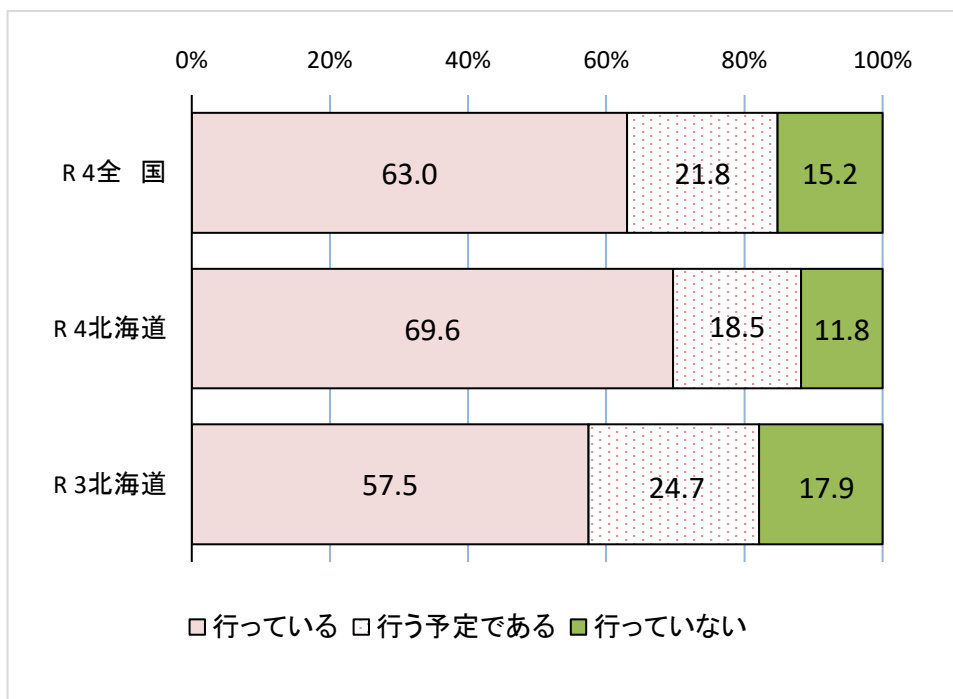


⑧ 自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映させるために、校外の研修や研究会のような取組に積極的に参加している。

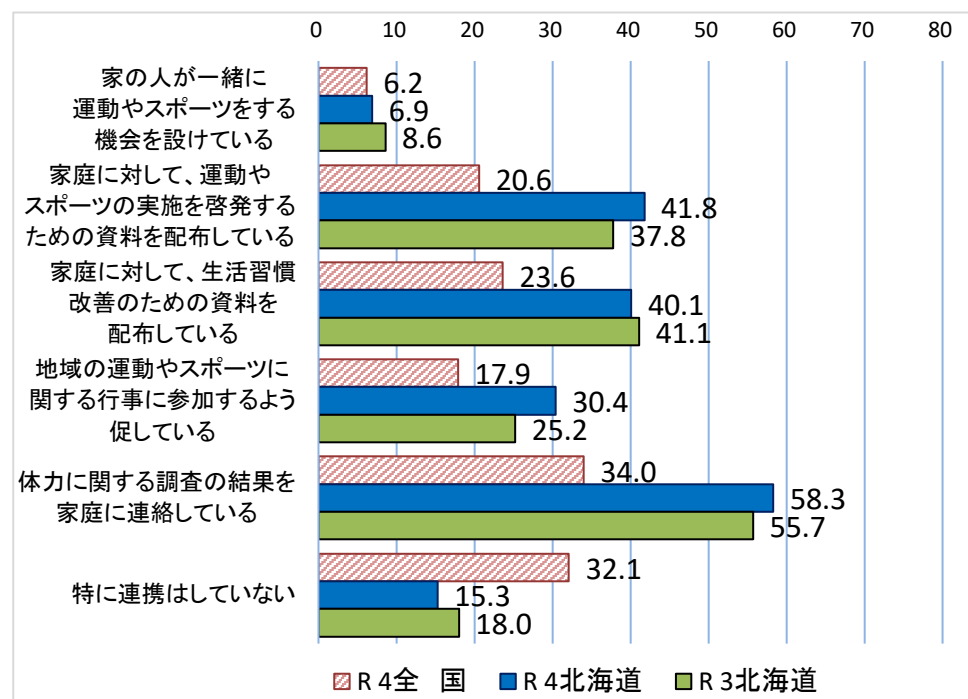
R4新規項目



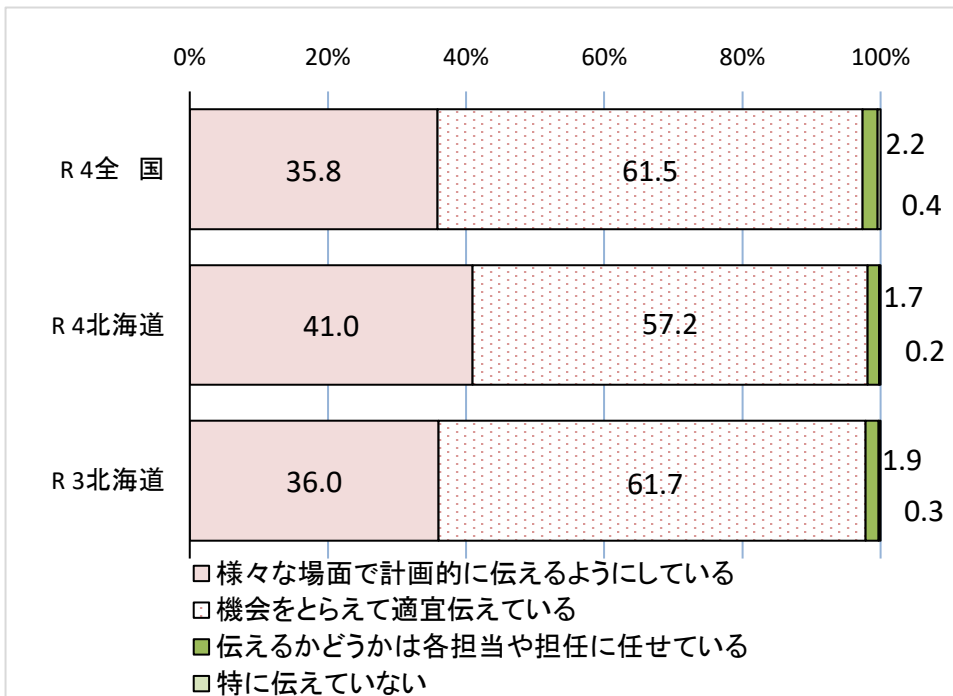
⑨ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を現在行っていますか。



⑩ 運動やスポーツ、生徒の体力について、家庭とどのような連携をしていますか。



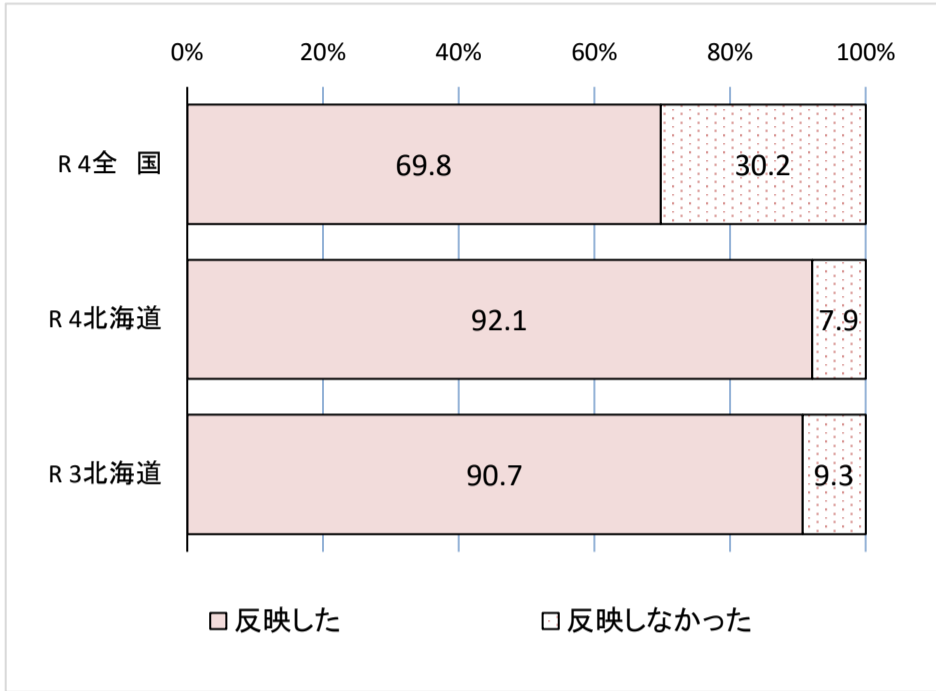
⑪ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、生徒に伝えていますか。



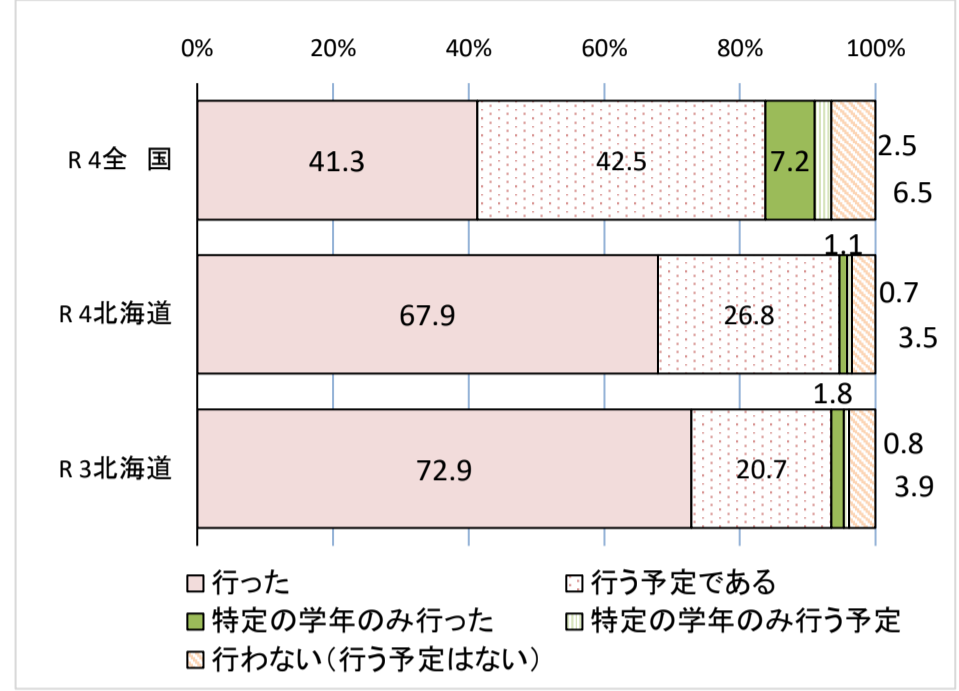
## (2) 体育・保健体育の授業の状況

### 【小学校】

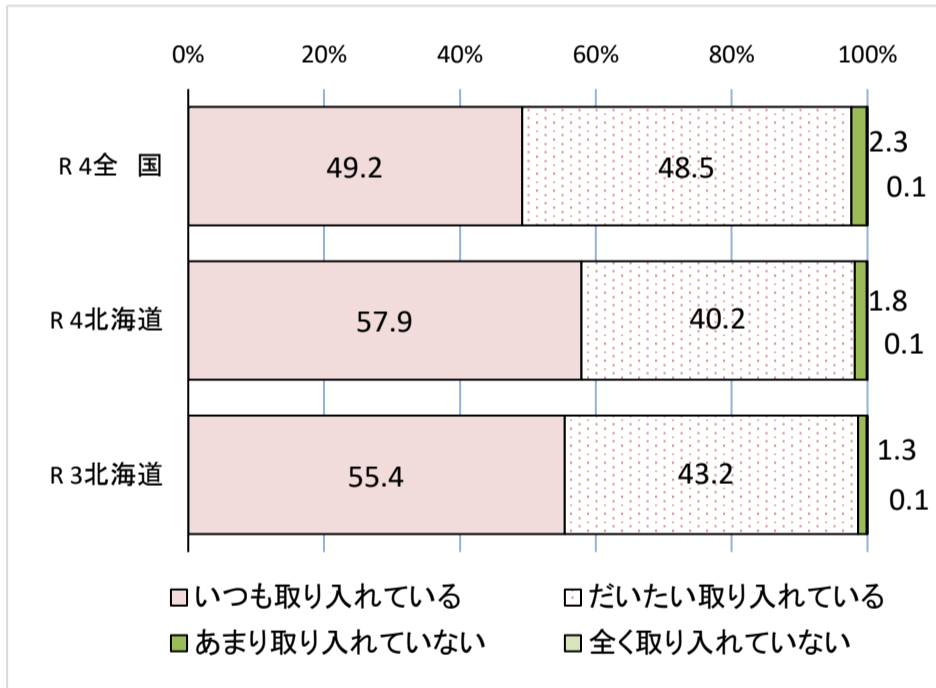
① 令和3年度の調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映しましたか。



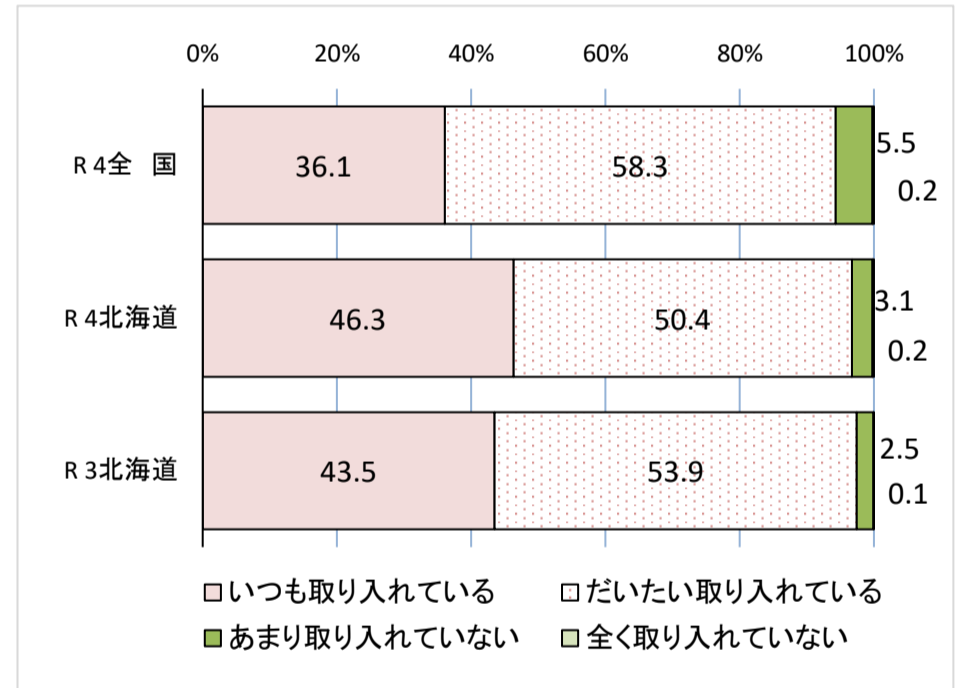
② 令和3年度の調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行いましたか。



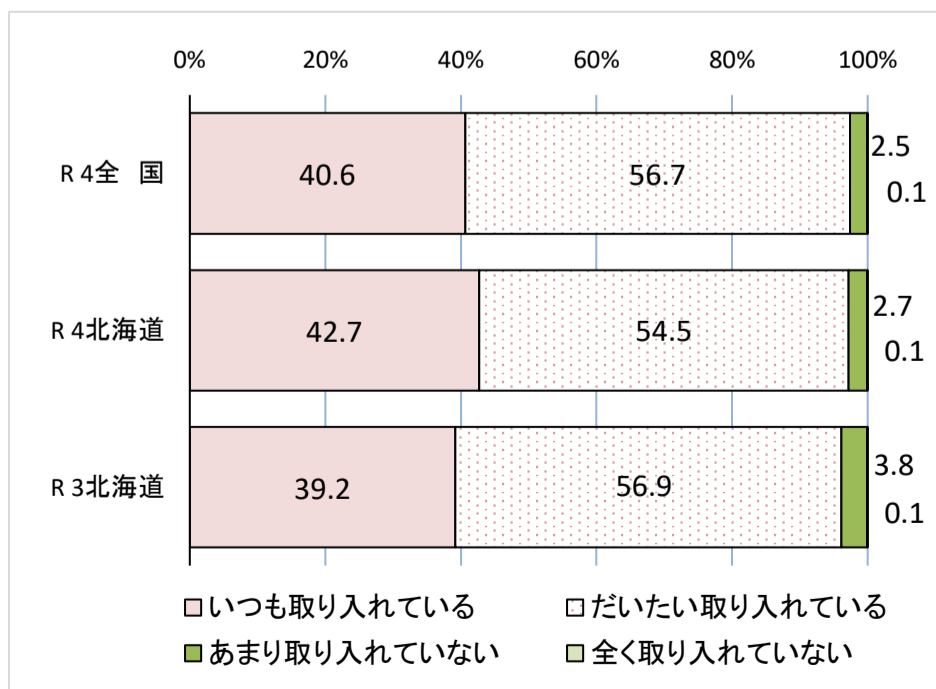
③ 体育の授業の冒頭で、その授業の目標を児童に示す活動を取り入れていますか。



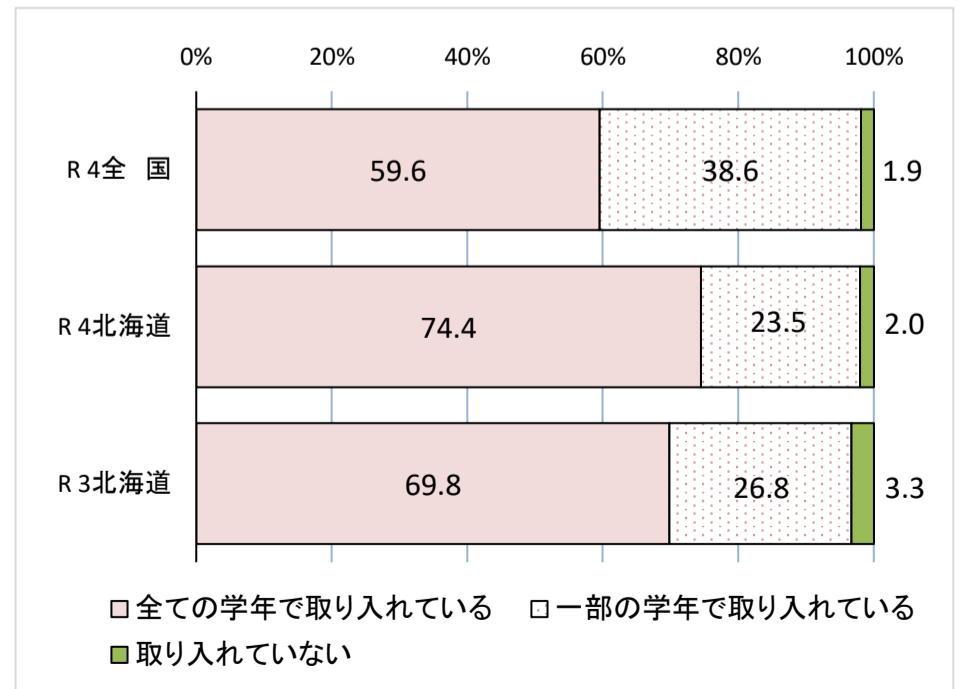
④ 体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れていますか。



⑤ 体育の授業では、児童同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。

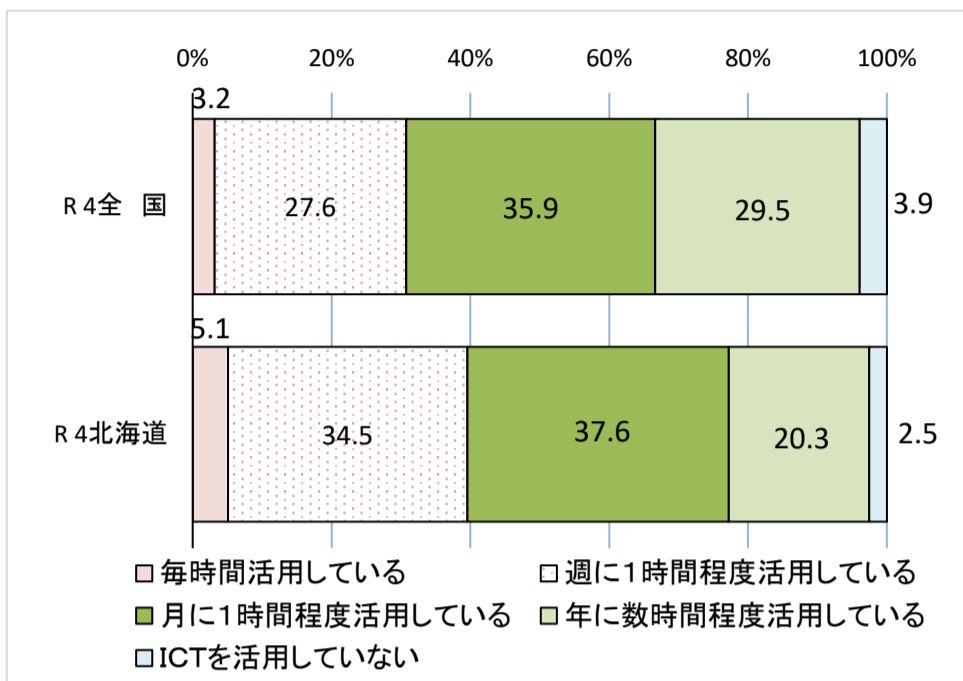


⑥ 体育の授業では、児童同士で話し合う活動を取り入れていますか。

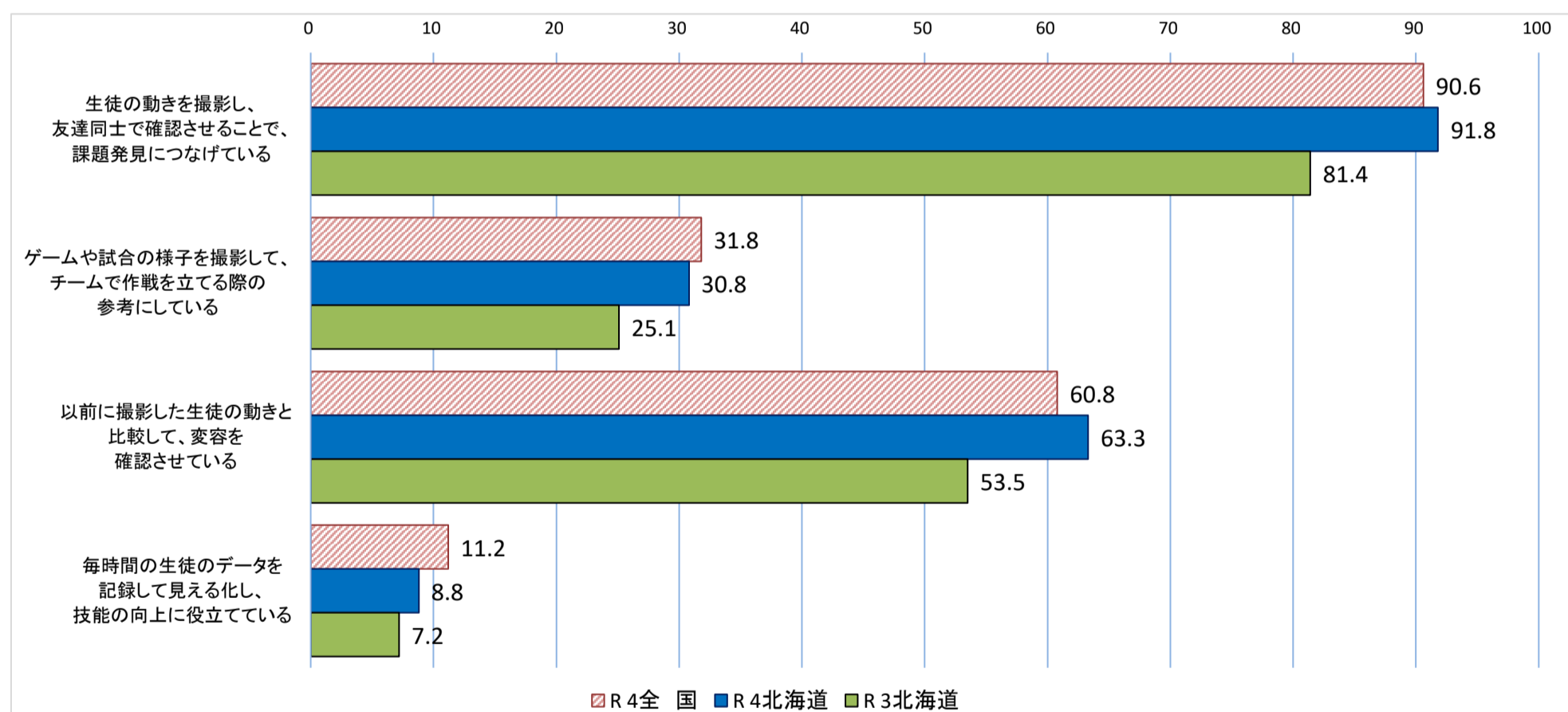


⑦ 体育授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか。

R4新規項目

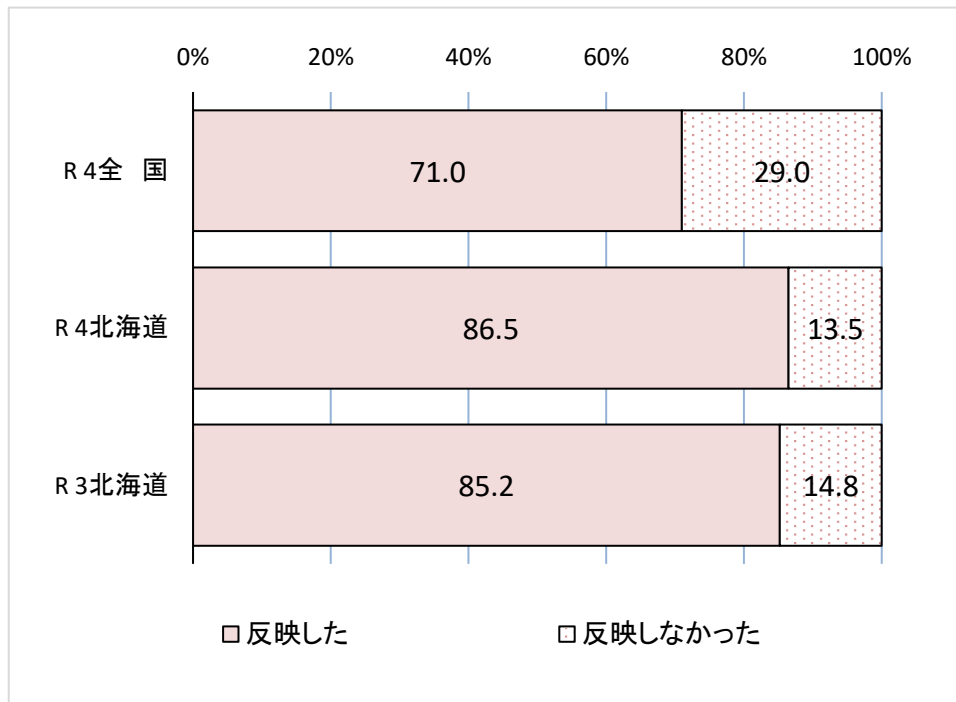


⑧ 体育の指導で、授業中にICTをどのように活用していますか。

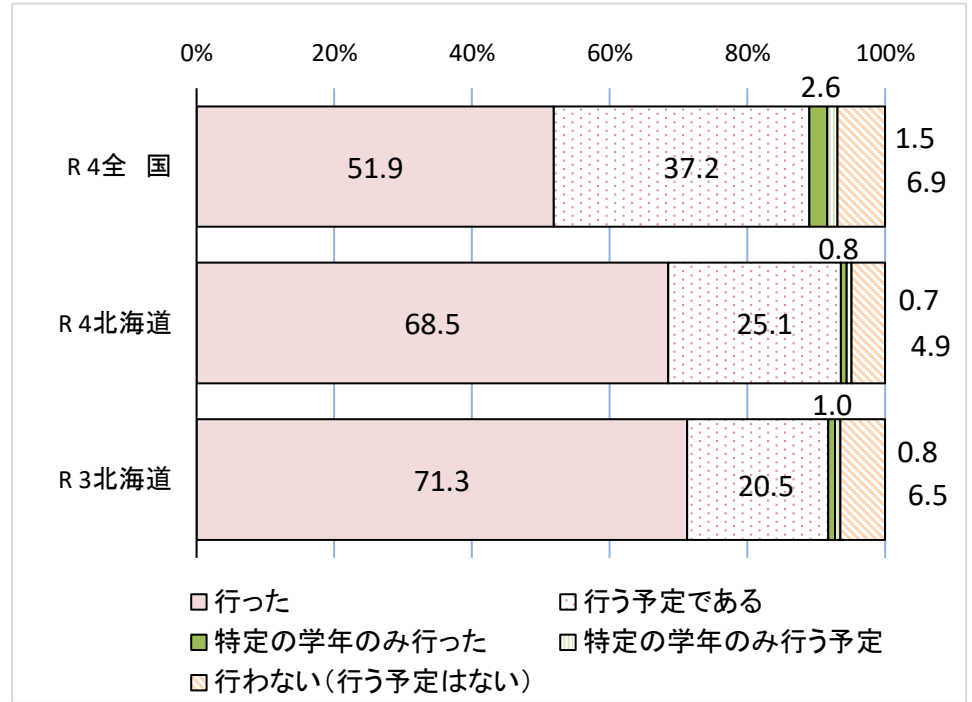


【中学校】

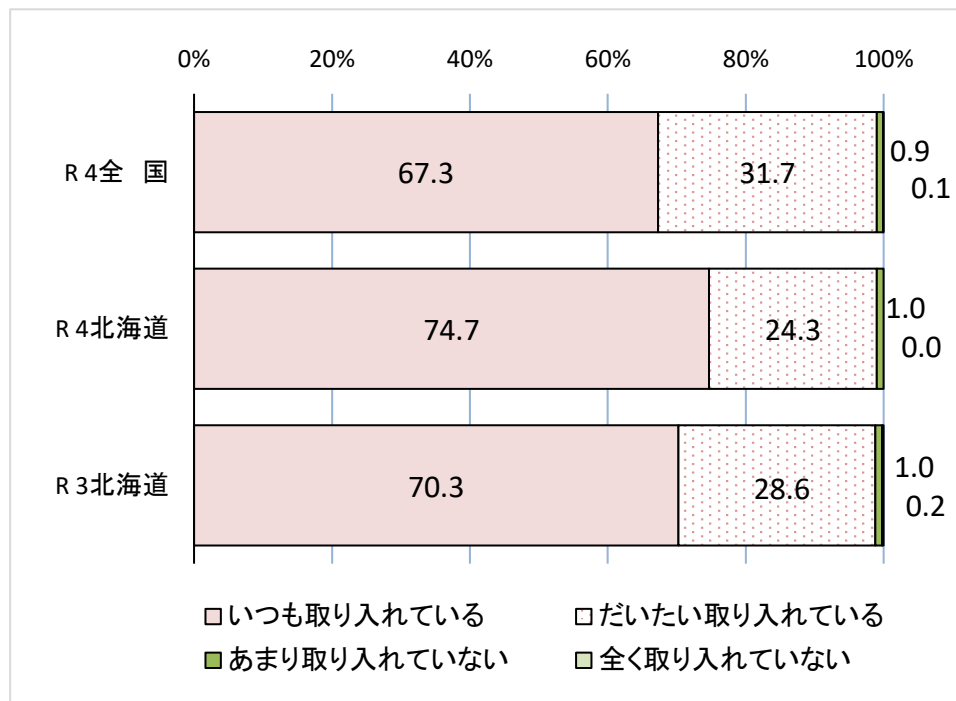
① 令和3年度の調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映しましたか。



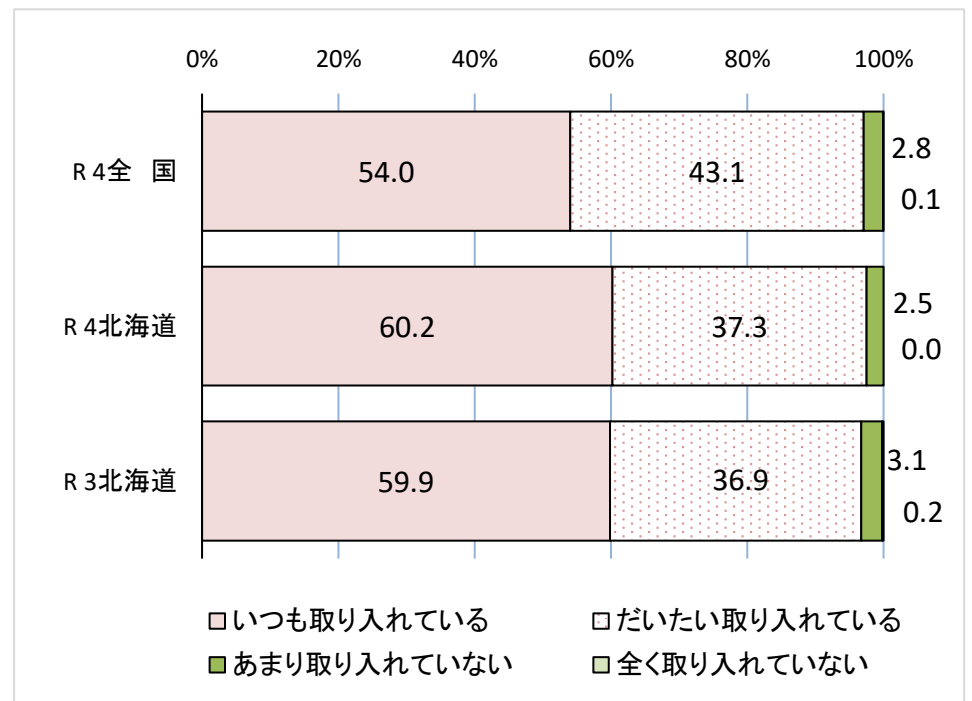
② 令和3年度の調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行いましたか。



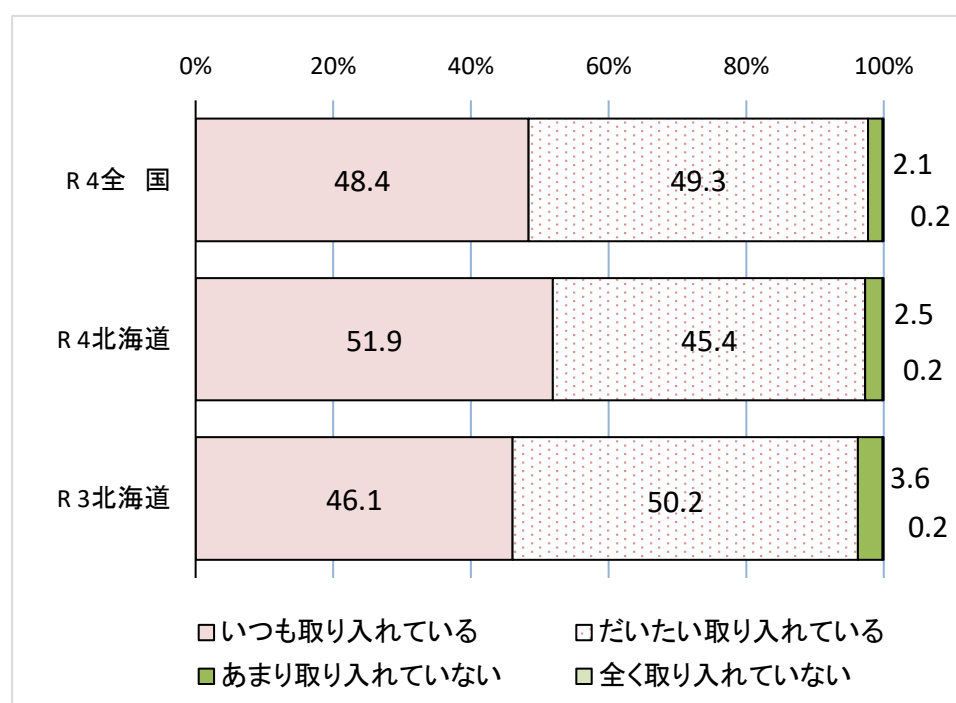
③ 保健体育の授業の冒頭で、その授業の目標を生徒に示す活動を取り入れていますか。



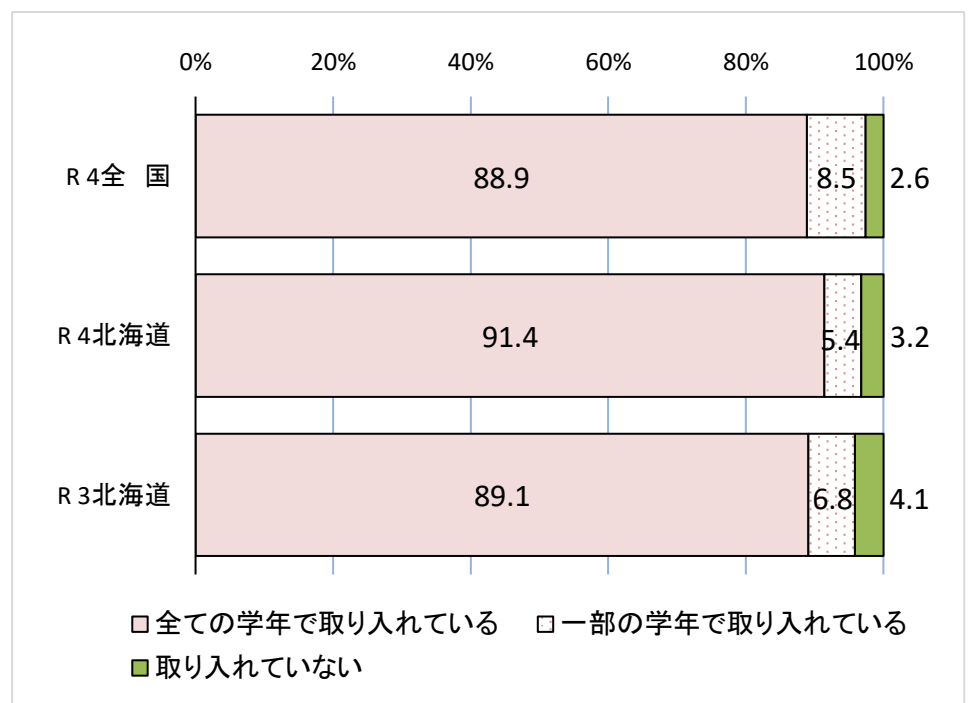
④ 保健体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れていますか。



⑤ 保健体育の授業では、生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。

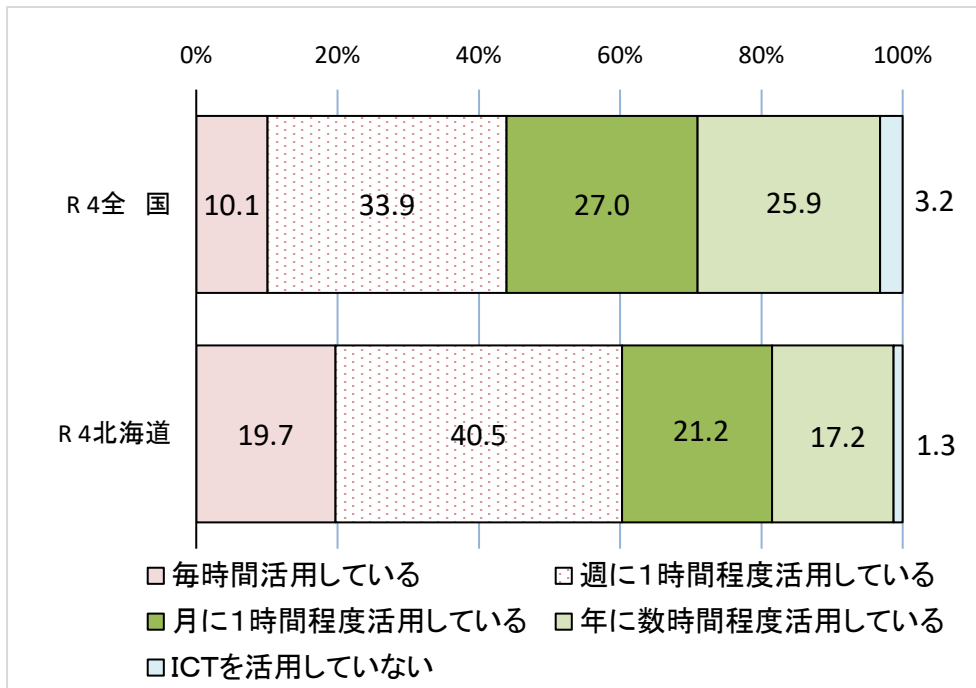


⑥ 保健体育の授業では、生徒同士で話し合う活動を取り入れていますか。

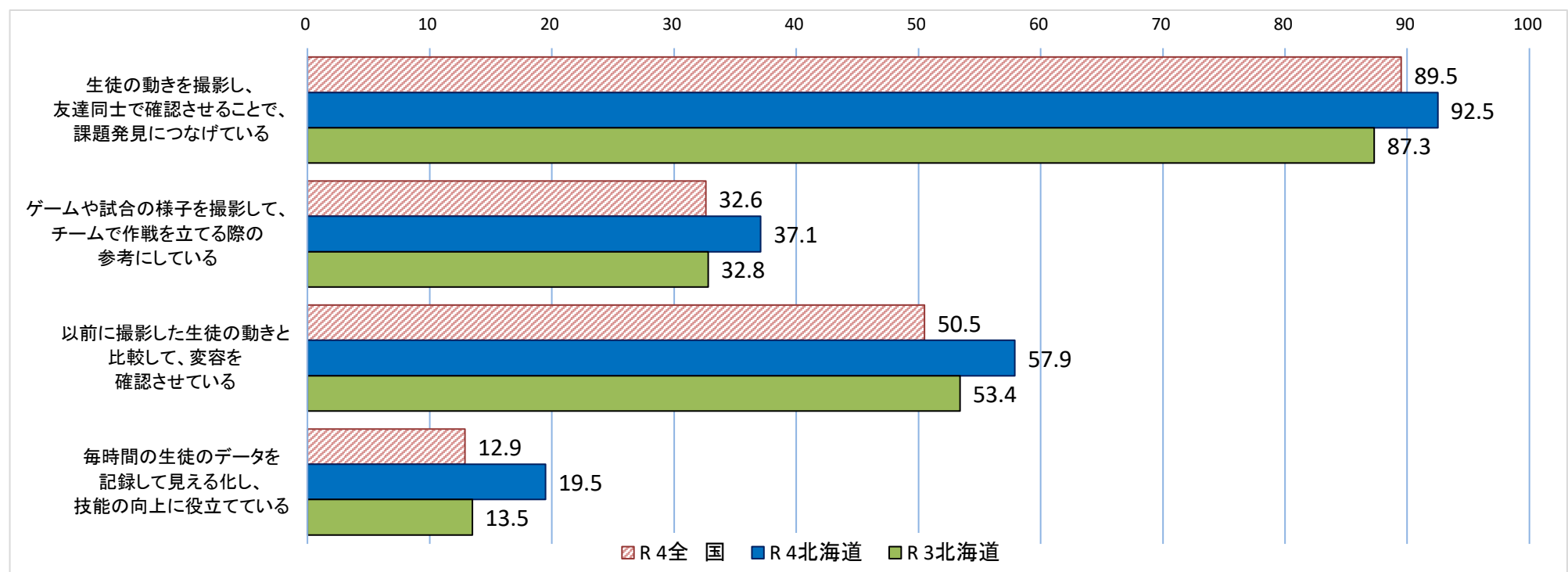


⑦ 保健体育授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか。

R4新規項目

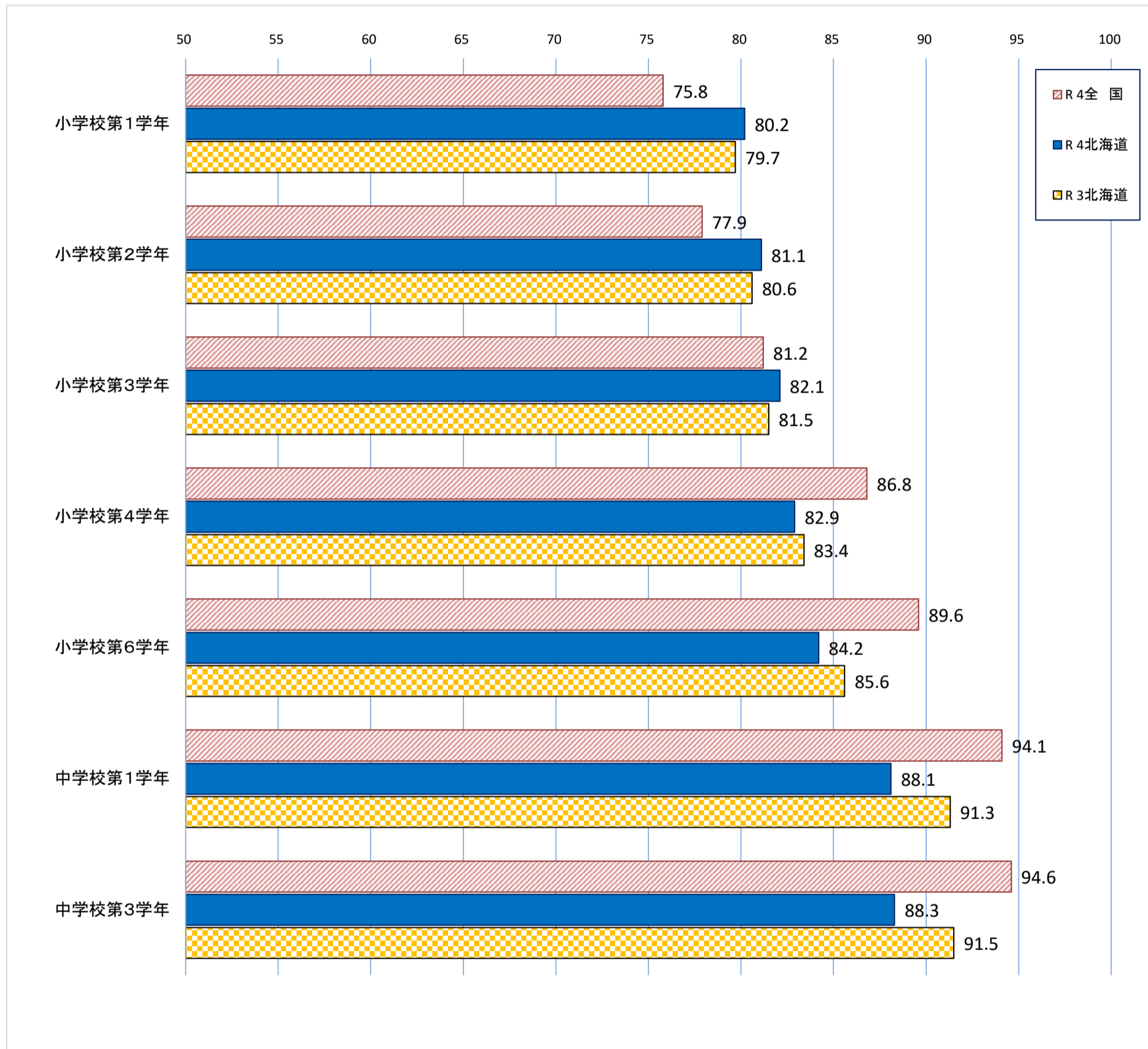


⑧ 保健体育の指導で、授業中にICTをどのように活用していますか。



### (3) 新体カテストの実施状況

○ 新体カテストの実施状況について聞きます。実施した学年を選んでください。(複数回答可)



## Ⅱ テーマ分析

ここでは、全国平均や体力合計点が上位の都府県と体力・運動能力の状況や質問紙調査の結果について比較し、クロス集計等により分析した結果を掲載しています。

市町村教育委員会においては、地域の児童生徒の実態把握や分析を行う際の資料として、御活用ください。

小・中学校においては、体力向上の取組の柱である体育科・保健体育科の授業改善はもとより、体育・保健体育授業以外の取組や、体育的行事を含めた教科等横断的な教育活動の一層の充実に向けた資料として、御活用ください。

# 本道児童生徒における体力の現状分析 (全国平均や他の都府県との比較及び各種目の経年変化)

ここでは、実技に関する調査の結果や結果の経年変化、全国や上位都府県との比較から、本道児童生徒の体力・運動能力の特徴に注目した。小・中学校ともに、全国平均を上回っている種目はあるものの、体力合計点が全国平均に届いていないなどの課題が見られた。ポイントは次のとおりである。

- Point 1 本道の児童生徒は、全国の児童生徒と比較し、「握力」の結果が上回っている傾向にあるが、小・中学校ともに、「上体起こし」や「20mシャトルラン」などに課題が見られた。
- Point 2 各種目の経年変化においては、小・中学校男女ともに、調査開始当初と比較し、「長座体前屈」において、記録の上昇が見られる。
- Point 3 R1の結果とR4の結果(同一母集団)を比較すると、中学校女子においては、体力合計点総合評価A・B群の生徒の割合が増加したが、体力合計点を含め、各種目のT得点がR1より減少している。

## (1) 実技に関する調査にかかわる本道の結果と全道及び全国の結果との関係

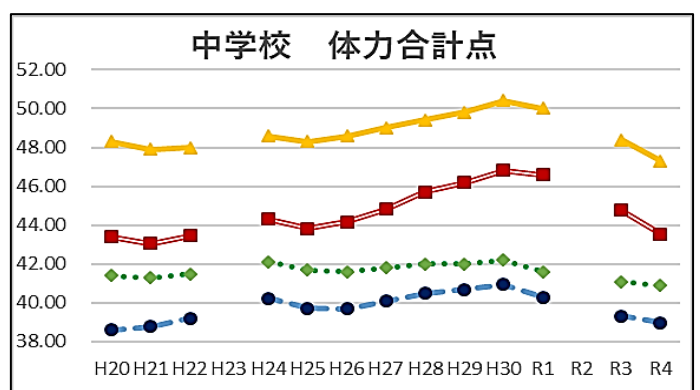
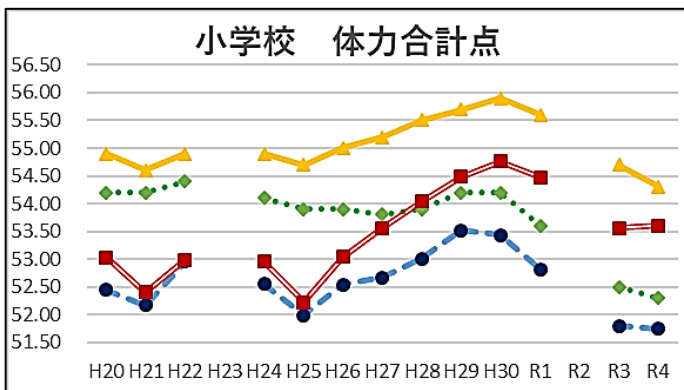
- 体力合計点の経年変化においては、小・中学校男女ともに調査開始当初からH30をピークに上昇していたが、H30から低下している。
- 小学校男女及び中学校男子においては、「握力」において、全国及び上位都府県を上回っている。
- 小・中学校男女ともに、体力合計点総合評価は、全国及び上位都府県と比較して、A・B群の割合が低く、D・E群の割合が高い。
- 各項目の経年変化において、小学校では、男女ともに「長座体前屈」において記録が上昇しており「握力」、「反復横とび」、「20mシャトルラン」、「立ち幅とび」において回復傾向が見られる。また、中学校では男子の「握力」において回復傾向が見られるものの、その他の種目においては、低下傾向である。

小・中学校男女ともに、回復傾向が見られる種目があるものの、体力合計点や各種目の記録が全国平均に届いておらず、全国や上位都府県と比較し、総合評価のD・E群を占める児童生徒の割合が高いことから、児童生徒がもてる力を十分に発揮することができるよう、道教委が公表している参考資料等を活用しながら、一人一人の課題に応じた指導を充実させる必要がある。

### ①全国及び全道の小学校男女及び中学校男女における体力合計点の経年変化

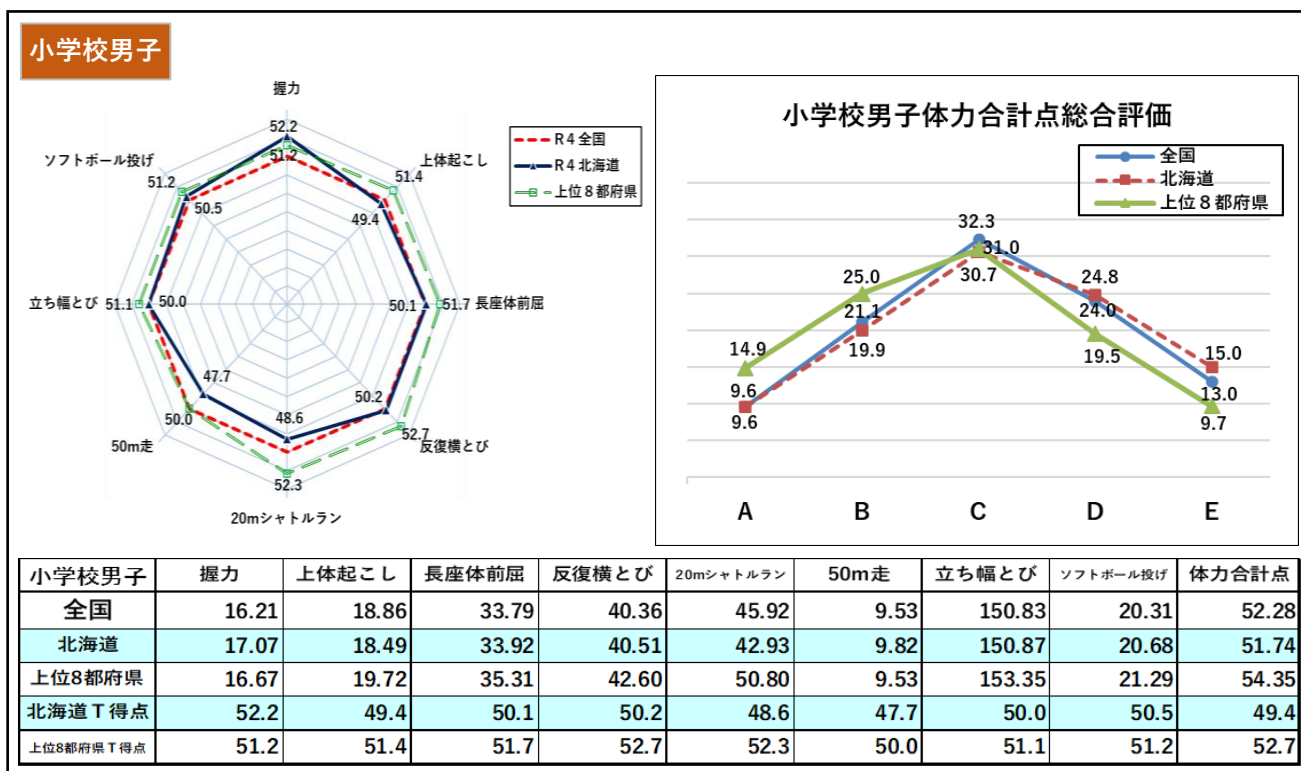
※H23(東日本大震災)及びR2(新型コロナウイルス感染症の感染拡大)については中止

※青点線：全道小学校男子 緑点線：全国小学校男子 赤二重線：全道小学校女子 黄色実線：全国小学校女子

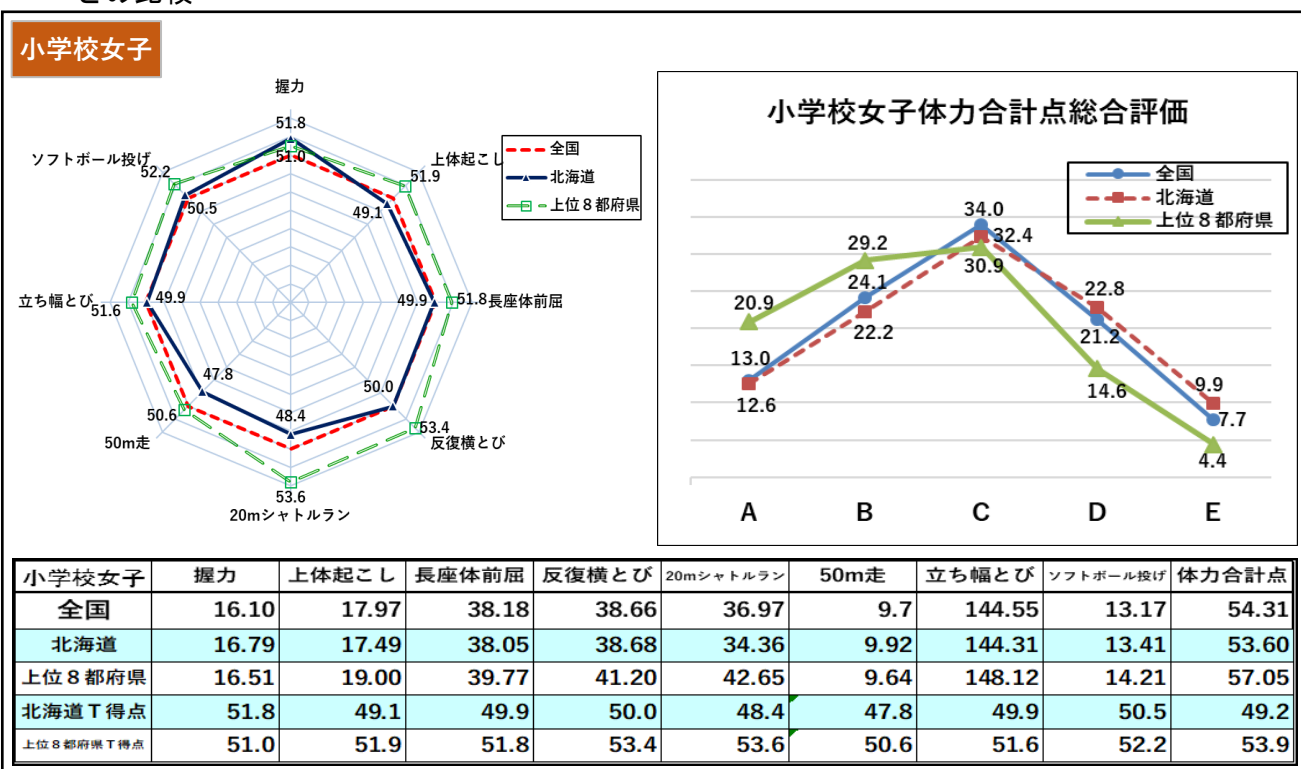




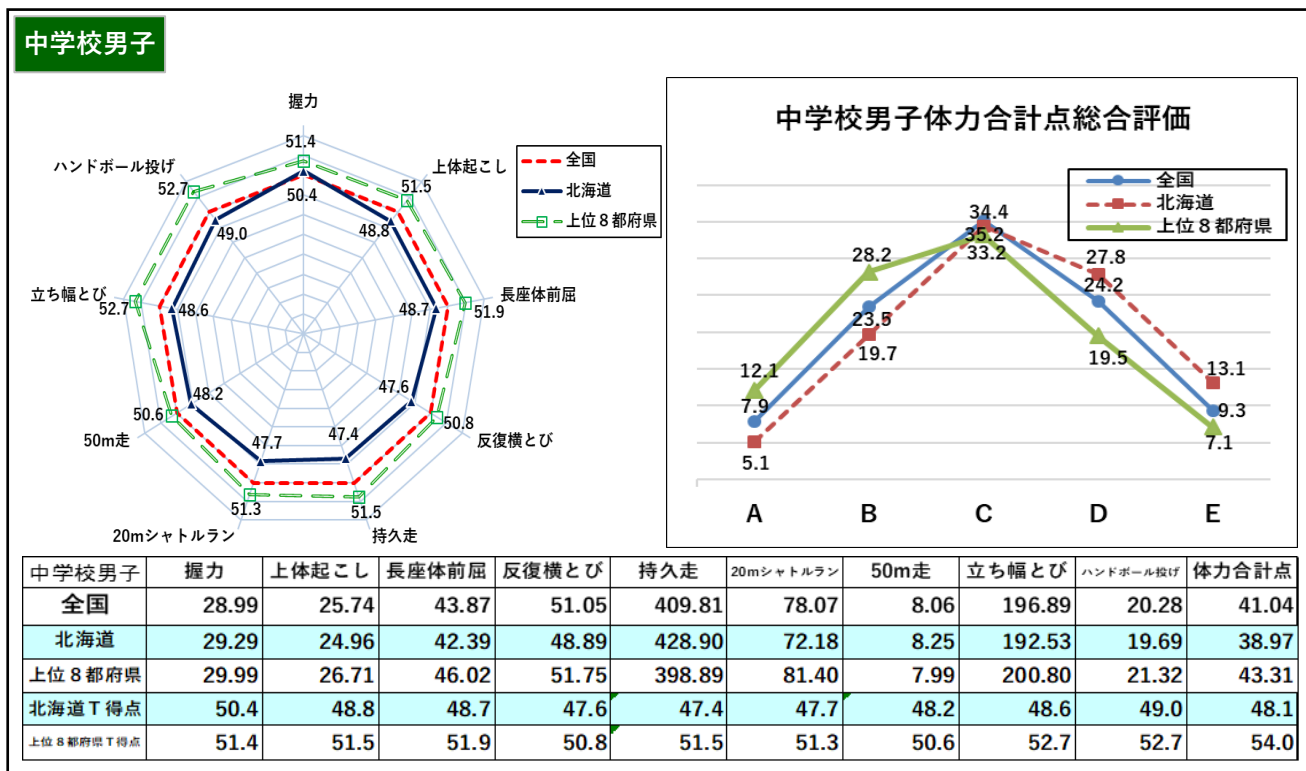
②本道小学校男子の体力合計点及び体力合計点総合評価と全国平均及び上位8都府県の平均値との比較



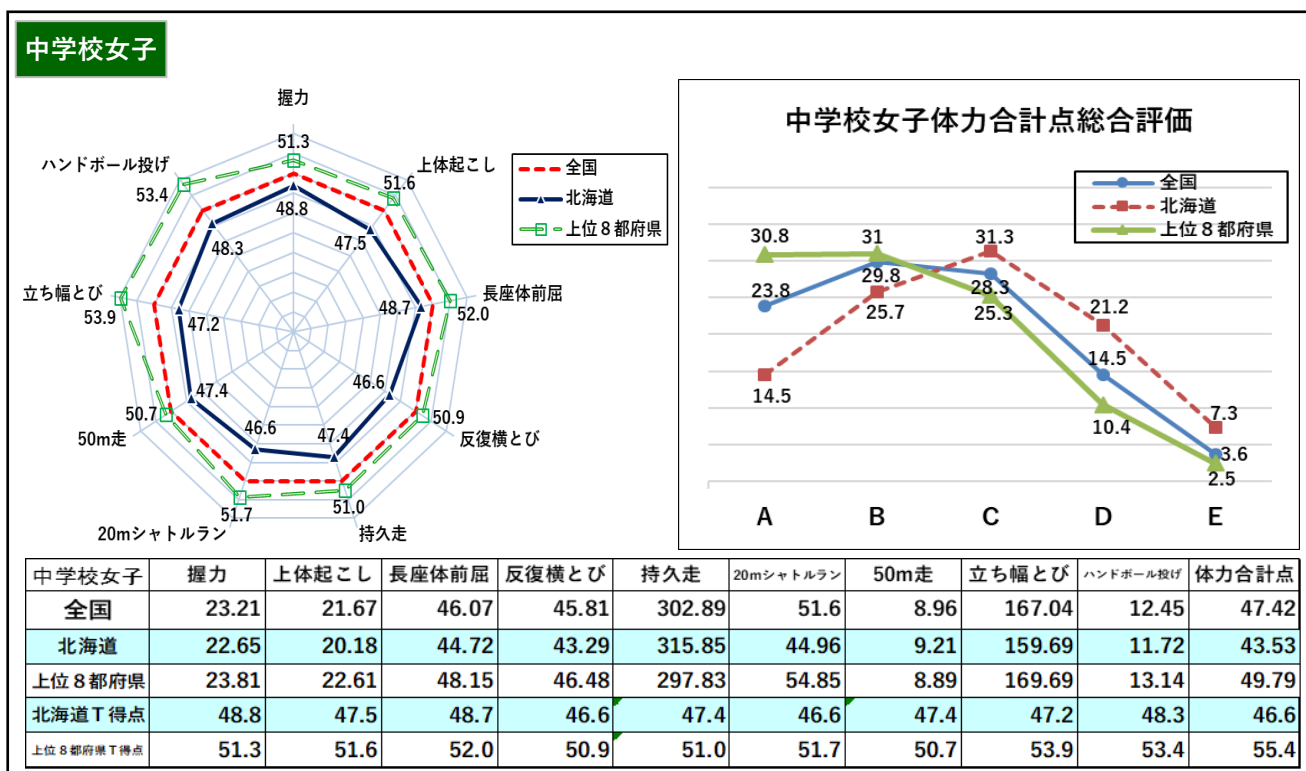
③本道小学校女子の体力合計点及び体力合計点総合評価と全国平均及び上位8都府県の平均値との比較



④本道中学校男子の体力合計点及び体力合計点総合評価と全国平均及び上位8都府県の平均値との比較



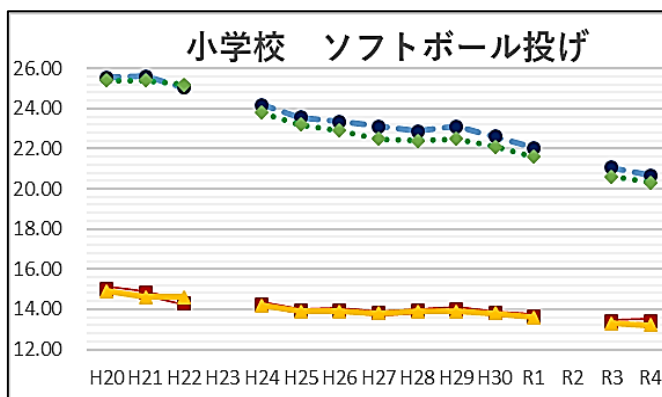
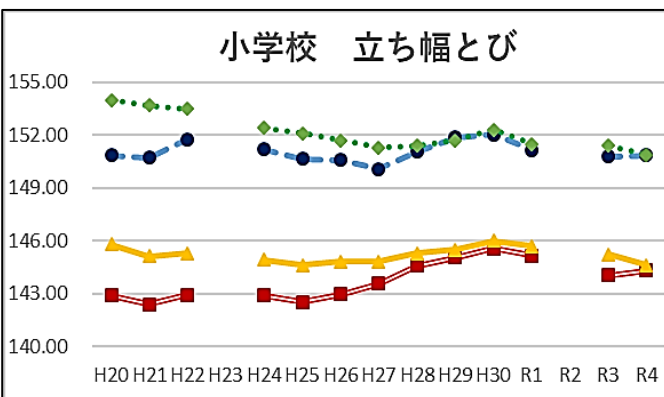
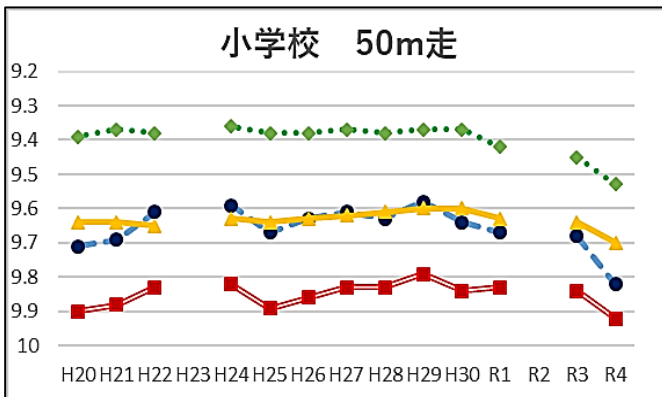
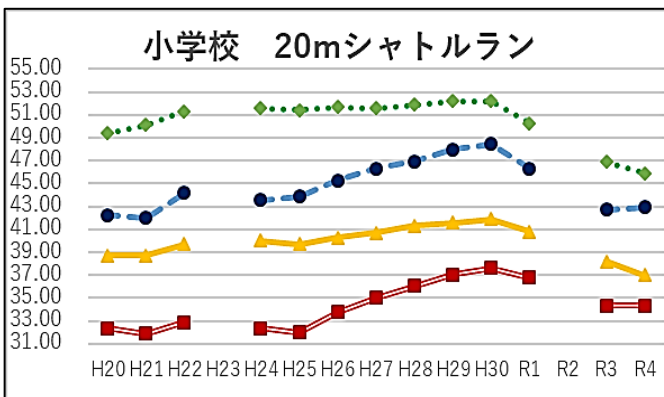
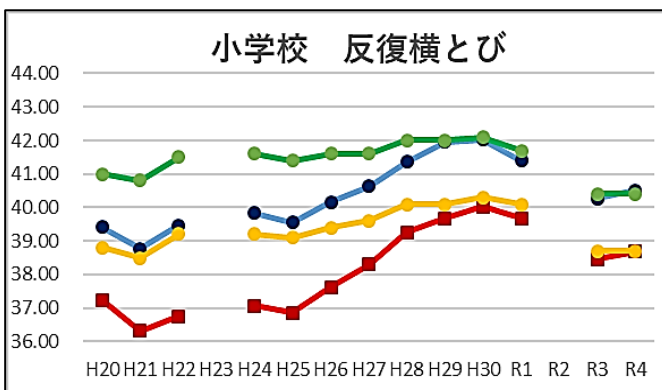
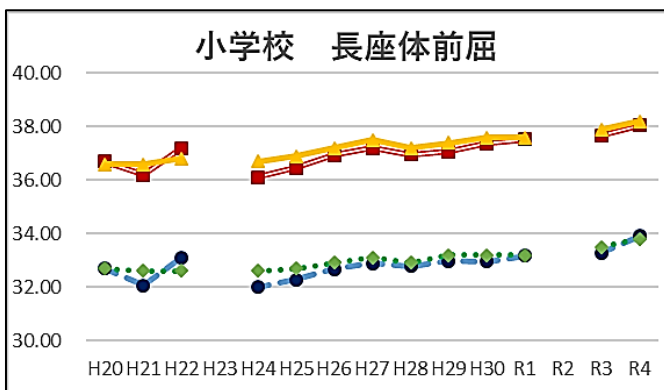
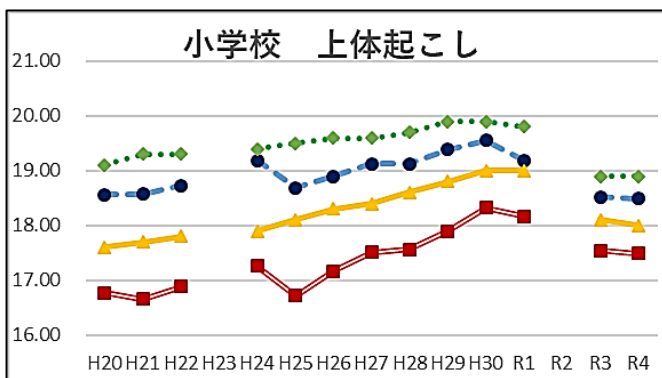
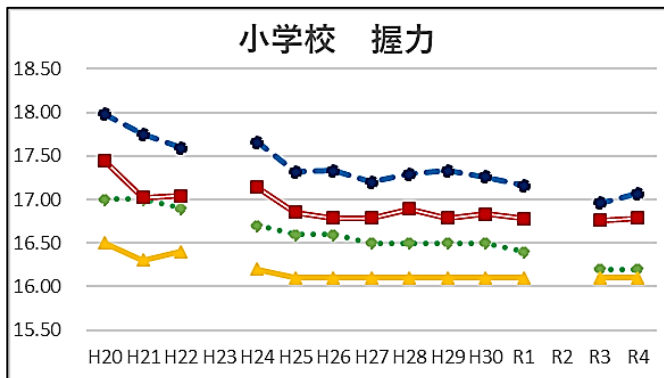
⑤本道中学校女子の体力合計点及び体力合計点総合評価と全国平均及び上位8都府県の平均値との比較



### ⑥全国及び全道の小学校男女の各項目における経年変化

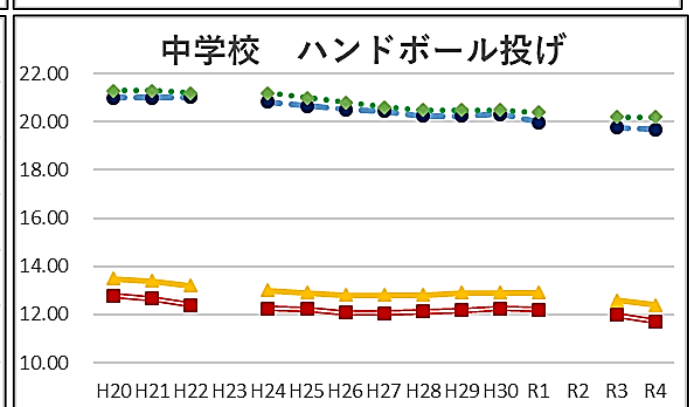
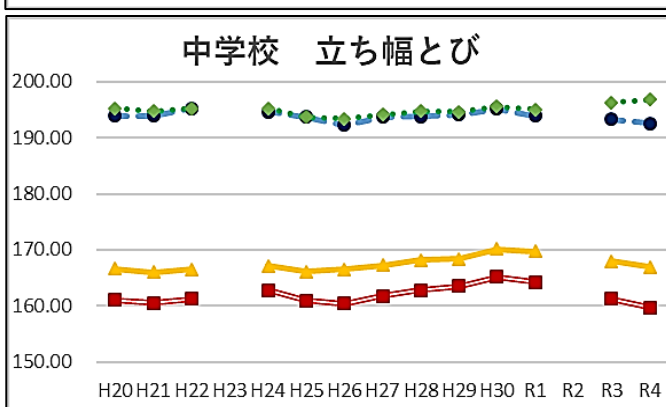
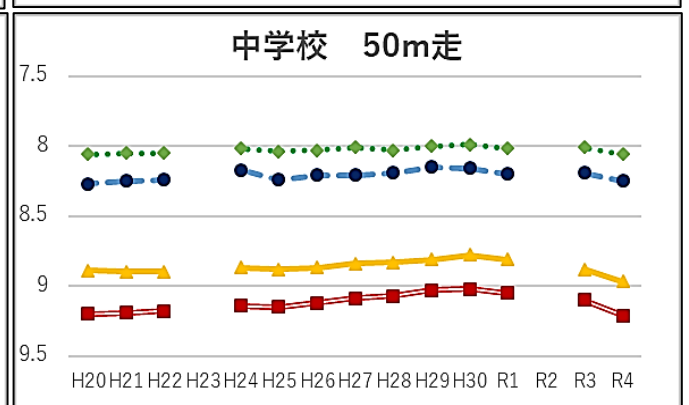
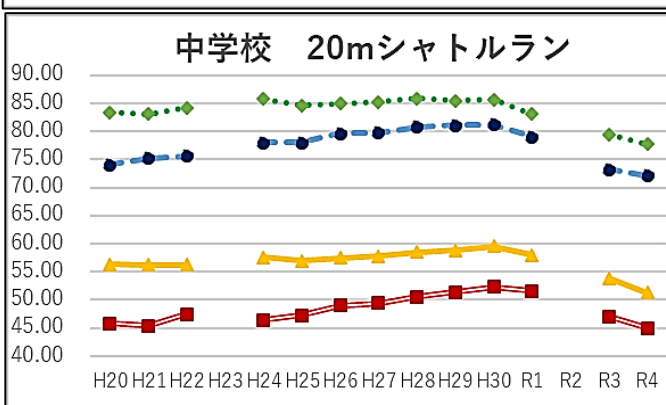
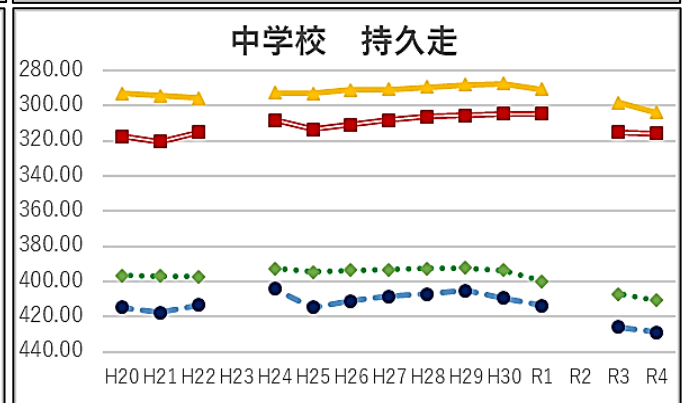
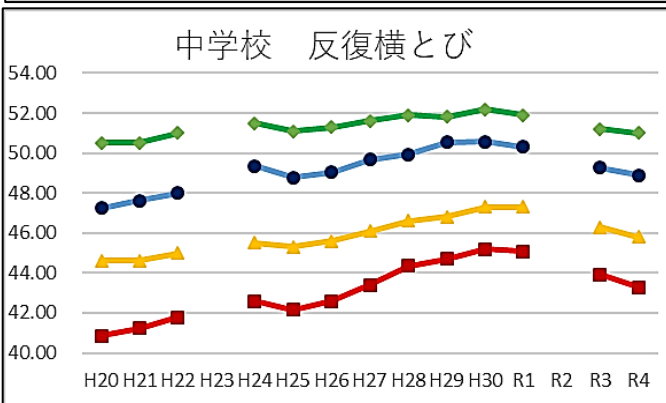
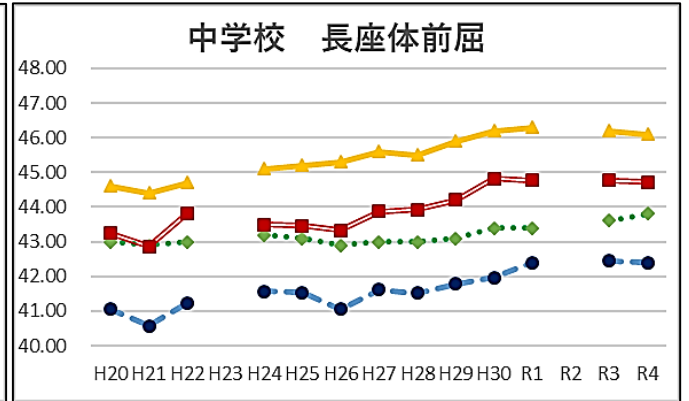
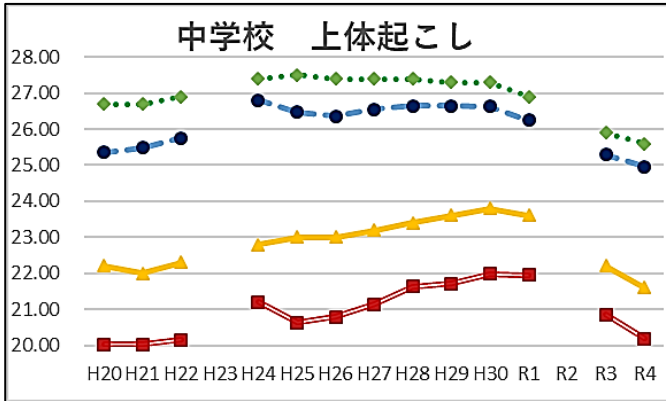
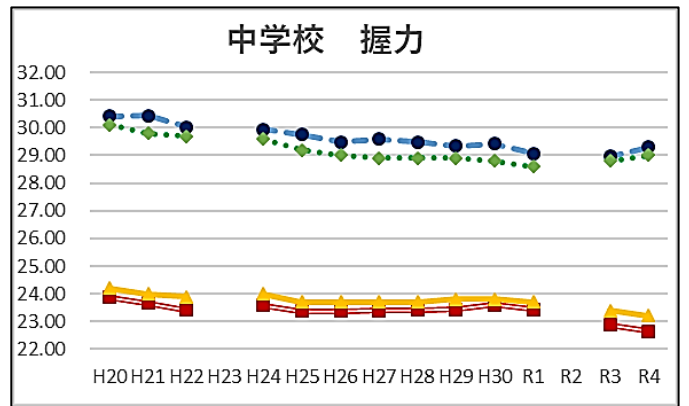
※H23（東日本大震災）及びR2（新型コロナウイルス感染症の感染拡大）については中止

※青点線：全道小学校男子 緑点線：全国小学校男子 赤二重線：全道小学校女子 黄色実線：全国小学校女子



⑦全国及び全道の中学校男女の各項目における経年変化

※H23（東日本大震災）及びR2（新型コロナウイルス感染症の感染拡大）については中止

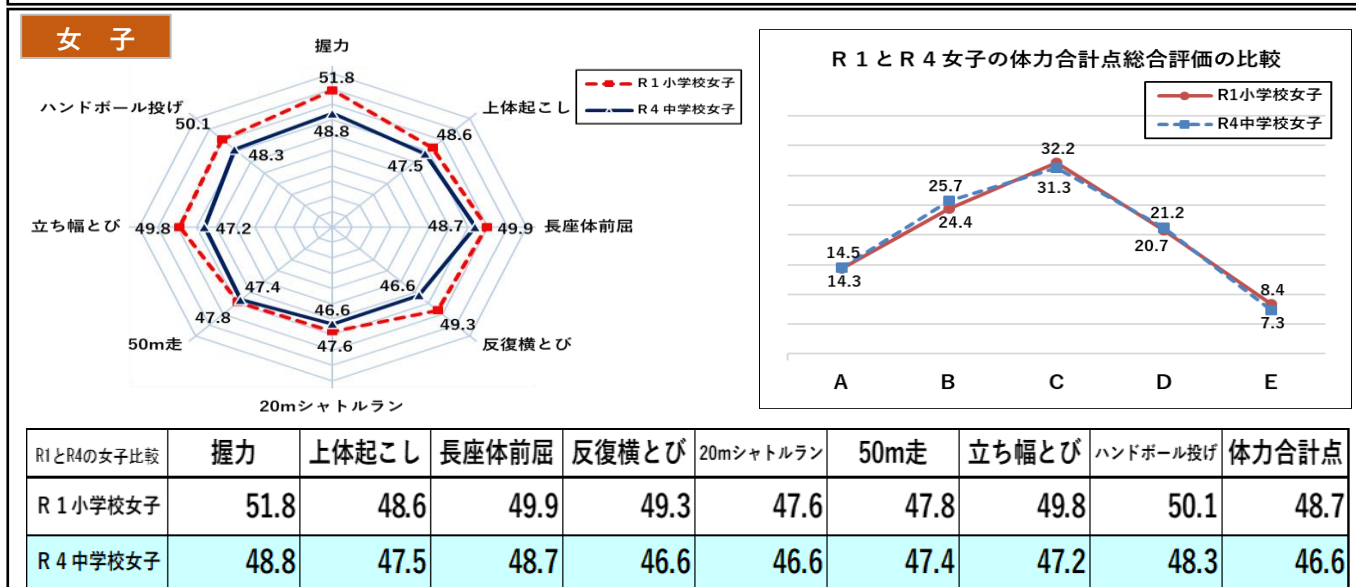
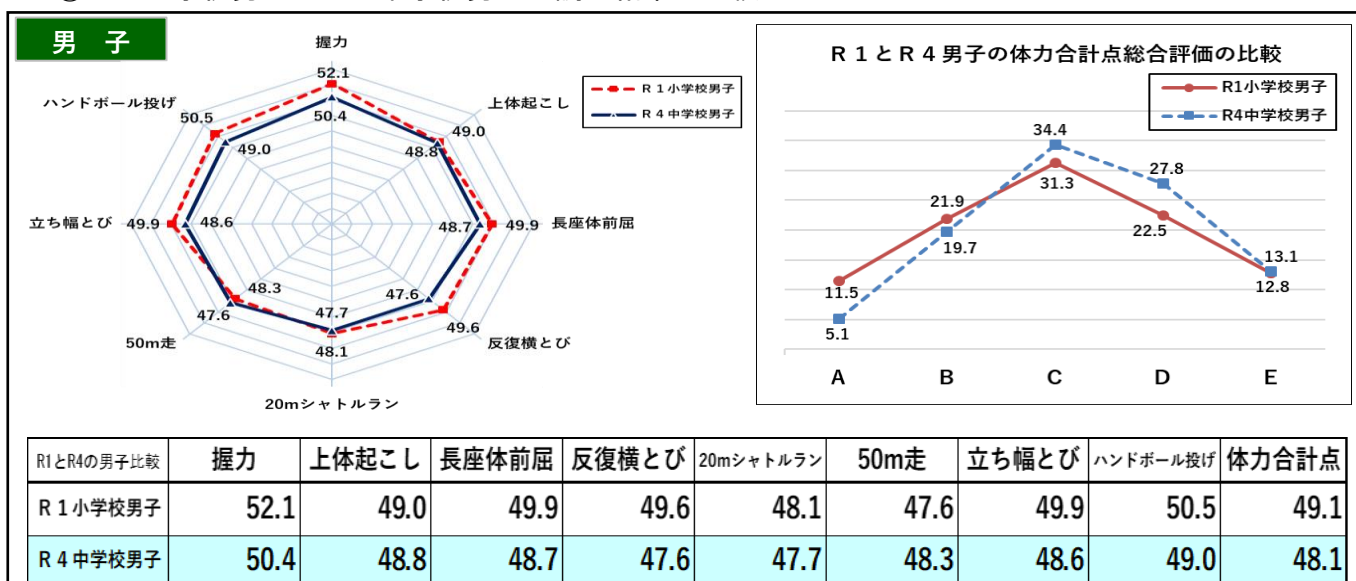


## (2) R1の小学校男女における調査結果とR4の中学校男女における調査結果の比較

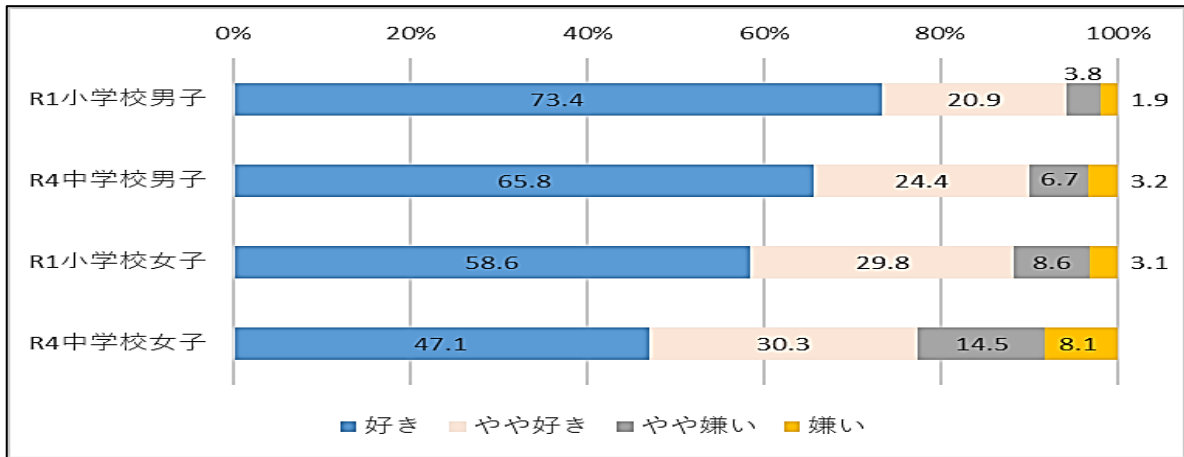
- 男子においては、R1及びR4の調査結果を比較し、50m走においてT得点がR1より上昇しているが、体力合計点を含め、その他の種目については、R1よりT得点が減少している。特に、反復横とびのT得点の減少が大きい。
- 女子においては、R1及びR4の調査結果を比較し、体力合計点総合評価「A」「B」の生徒が増加したが、体力合計点を含め、各種目のT得点がR1より減少している。特に、握力、反復横とび及び立ち幅とびの減少が大きい。
- 児童生徒質問紙調査における共通項目の経年変化においては、小・中学校男女ともに、各項目において肯定的に回答している児童生徒の割合が低下している。

小学校においては、全国平均と比較し、体力合計点の差が縮まるなど、改善の兆しが見られている一方、中学校においては、女子において総合評価A・Bの生徒が増加しているものの、全国平均との差が広がっていることから、小学校の成果が中学校に継続されるよう、小・中学校間における系統的な指導の充実が図られる必要があると考える。

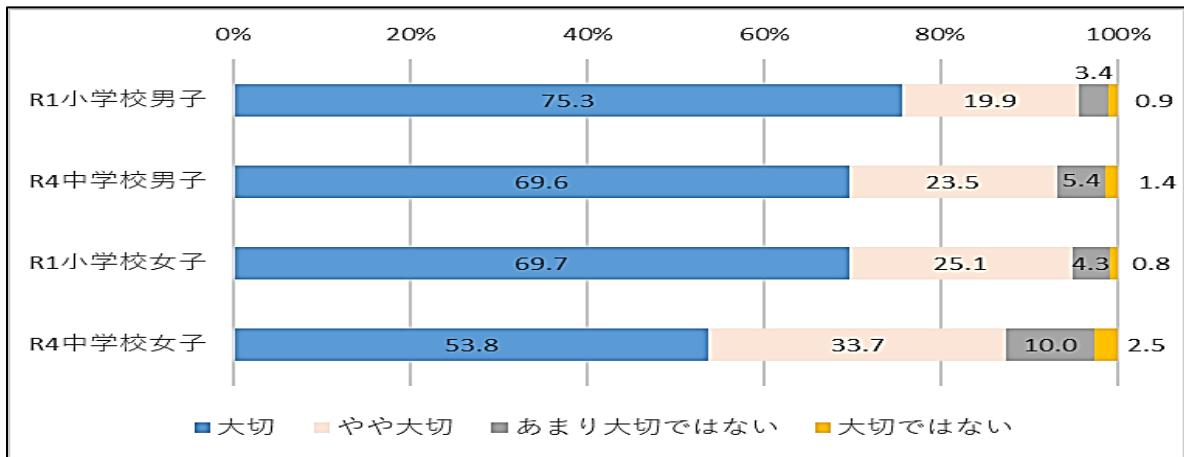
### ① R1小学校男女とR4中学校男女の調査結果の比較



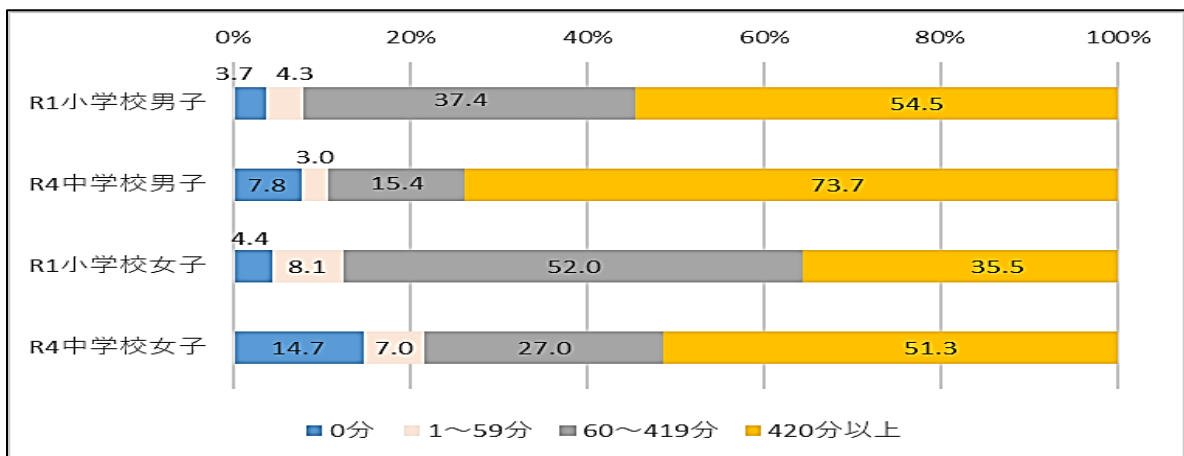
② R1小学校男女とR4中学校男女の「運動やスポーツに対する愛好的態度」の項目についての回答の比較



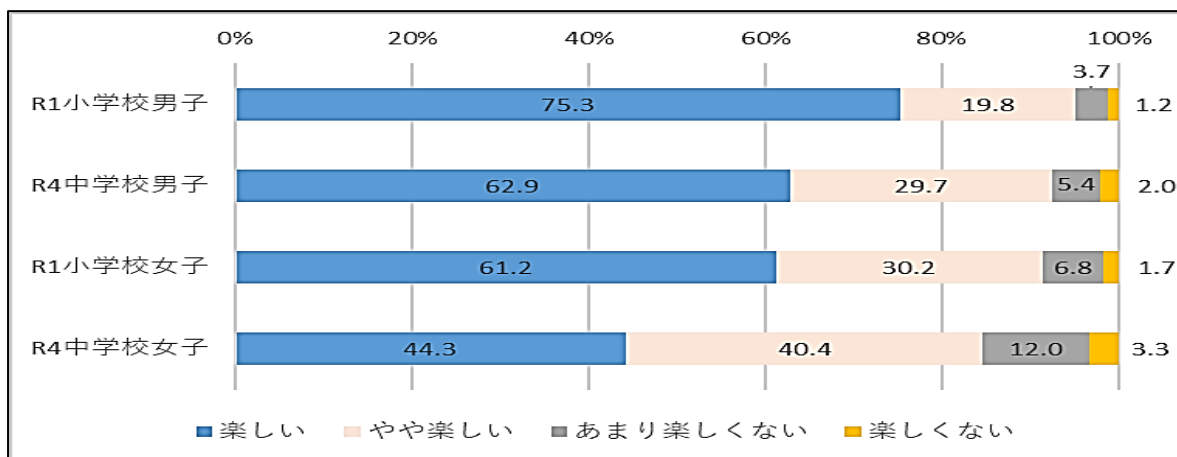
③ R1小学校男女とR4中学校男女の「運動やスポーツの必要性」の項目についての回答の比較



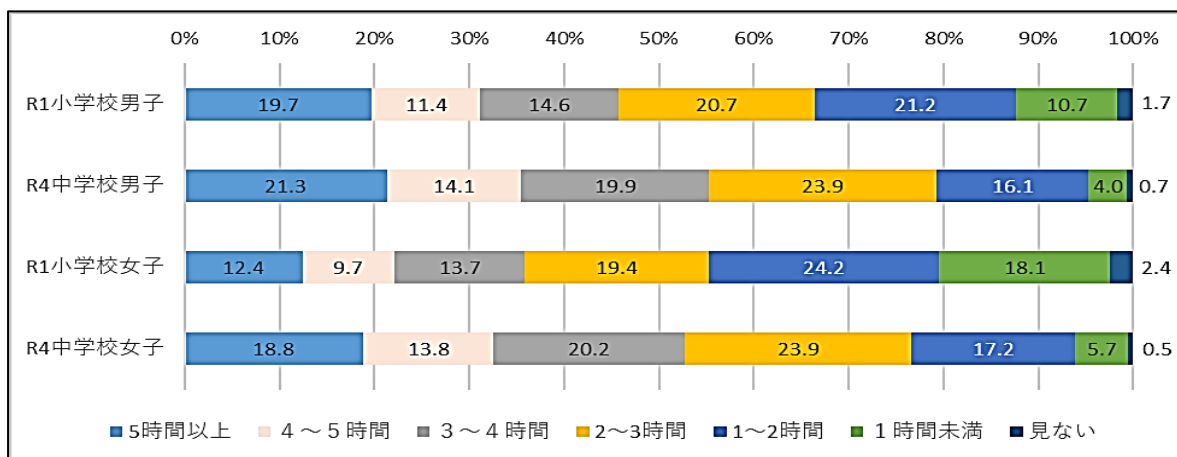
④ R1小学校男女とR4中学校男女の「1週間の体育の授業以外の運動時間」の項目についての回答の比較



⑤ R1 小学校男女と R4 中学校男女の「体育の授業に対する愛好的態度」の項目についての回答の比較



⑥ R1 小学校男女と R4 中学校男女の「平日の学習以外における画面の視聴時間」の項目についての回答の比較



## まとめ

「平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(スポーツ庁)では、テスト項目を「20m シャトルラン(持久走)」、「50m走」、「ボール投げ」の運動能力系と、「握力」、「上体起こし」、「長座体前屈」、「反復横とび」、「立ち幅とび」の体力系の2つのグループに分けて比較した際、運動能力系のテスト項目が平均値を超えている児童生徒は、体力系のテスト項目が平均値を超えている児童生徒よりも、運動や体育・保健体育授業に対する愛好的な回答の割合が高いことが分かっている。

本道児童生徒の実技調査の結果を分析すると、体力系(「大きな力を出す能力」や「大きく関節を動かす能力」)の項目においては、高い評価結果であったり、上昇傾向であったりするものの、運動能力系(「すばやく移動する能力」や「筋力を持続する能力」、「運動を持続する能力」)の項目に課題が見られることから、バランスのよい体力を育てていく必要がある。

小・中学校の時期は、体力・運動能力が大きく向上することから、児童生徒一人一人が課題を的確に把握するとともに、課題の解決に向け、体育科・保健体育科の授業改善を一層推進し、授業の質の向上を図るとともに、運動習慣や適切な生活習慣を身に付け、バランスよく体力・運動能力を高めることが、生涯の体力・運動能力を保つことにつながる。

II テーマ分析

# 体力向上に向けた 体育科・保健体育科の授業改善

ここでは、体力合計点と児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果から、体力合計点が高い児童生徒や学校の体育・保健体育授業に関わる質問紙の回答状況に注目した。体育・保健体育授業において、授業の中でいつも「できた」、「わかった」と実感している児童生徒ほど、体力合計点が高い傾向にあることや、組織的に授業改善を進めている学校ほど、体力合計点が高い傾向にあった。ポイントは次のとおりである。

- Point 1 体育・保健体育授業における指導の手立ての工夫により、「できた」、「わかった」を実感している児童生徒ほど体力合計点が高い。
- Point 2 体力合計点が上位の都府県に比べ、授業の中でいつも「できた」、「わかった」と実感している児童生徒の割合が低い。
- Point 3 体育・保健体育授業における指導の手立ての工夫により、「できた」、「わかった」を実感している児童生徒ほど、体育・保健体育の授業において進んで学習している。

## (1) 体育・保健体育授業における教師の指導の手立てと児童生徒の「できた」、「わかった」の実感との関係 ※上位都府県の値は参考値

### ■ 児童生徒質問紙調査結果から見た本道の体育・保健体育授業の現状についての分析

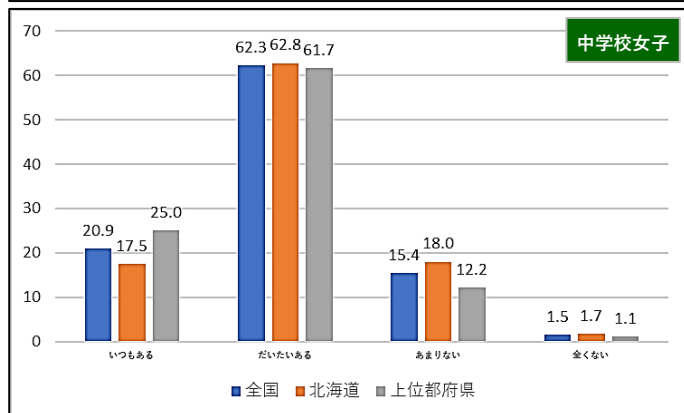
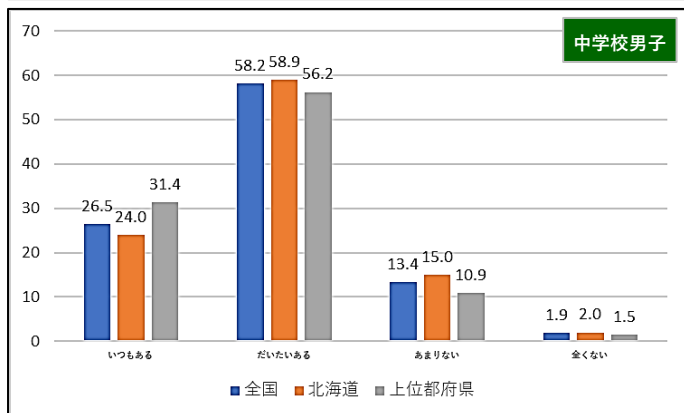
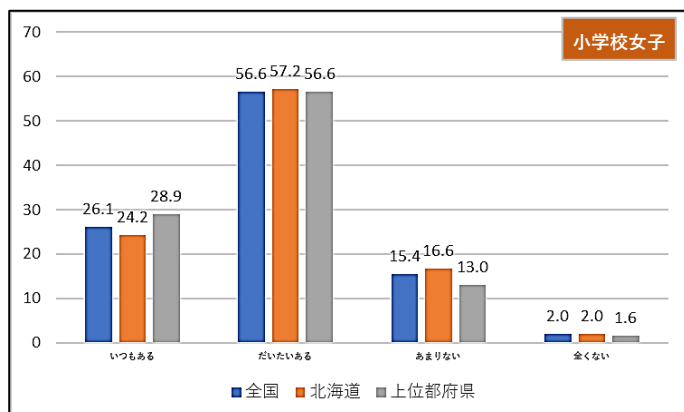
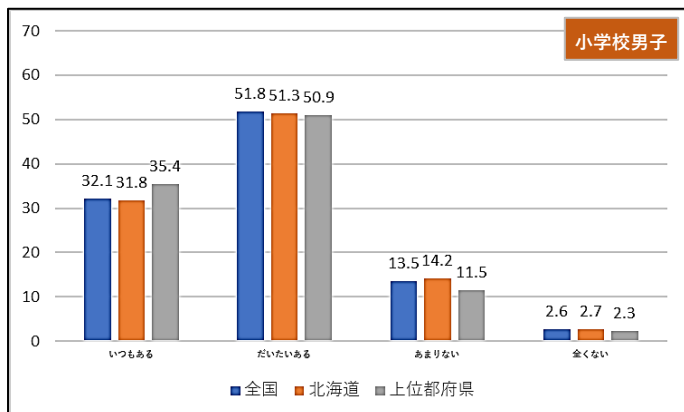
- 多くの項目（授業中におけるICTの活用成果の項目を除く）において、道内の児童生徒の80%以上が、「できた」、「わかった」と肯定的な回答をしている。
- 中学校男女においては、授業でICTを活用することにより、「できた」、「わかった」を実感していると肯定的に回答している生徒の割合が、全国と比較して高い状況にある。
- 小・中学校男女ともに、授業中のICTの活用成果の項目において、「ICTを活用していない」と回答している割合が、全国や上位都府県と同等もしくは全国よりも低い状況である。
- 小・中学校ともに、授業を通して「できた」、「わかった」を実感している児童生徒の割合が全国と比較して低い状況にあるとともに、体力合計点が上位の都府県と比較すると、全国との差よりもさらに差が開いている状況である。

体力合計点が高い都府県（以下、上位都府県）においては、児童生徒質問紙調査の授業に関わる各項目において高い結果となっていることから、体力の向上と「できた」、「わかった」を実感できる授業の実現には相関があることが考えられる。このことから、本道の児童生徒の体力向上に向けた取組の柱の1つとして、体育科・保健体育科の授業改善を一層推進していくことが必要である。

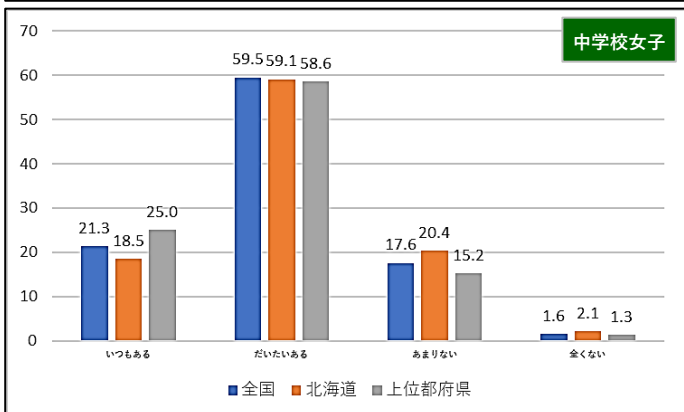
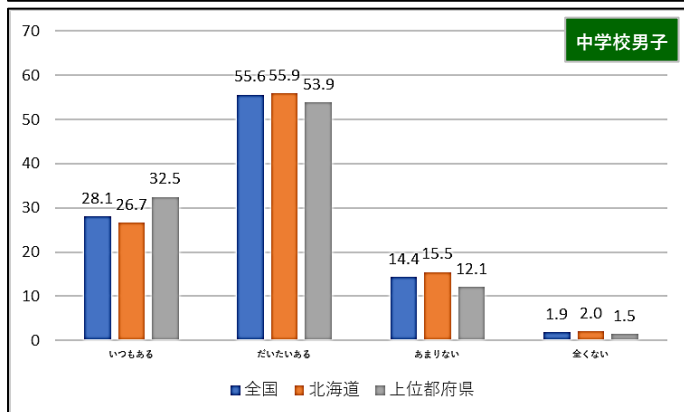
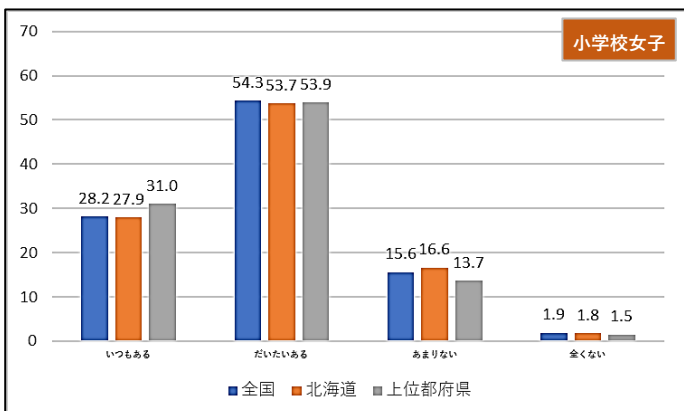
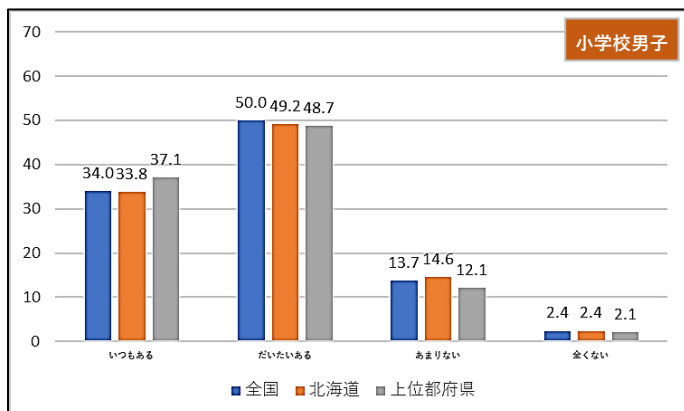
また、本道の体育・保健体育授業におけるICTの活用状況の割合は、全国平均や上位都府県よりも高い傾向にあるが、ICTを活用することで、「できた」、「わかった」と肯定的に回答している割合が50%程度であることから、「できた」、「わかった」につながるICTの効果的な活用について、実践を深めていく必要がある。



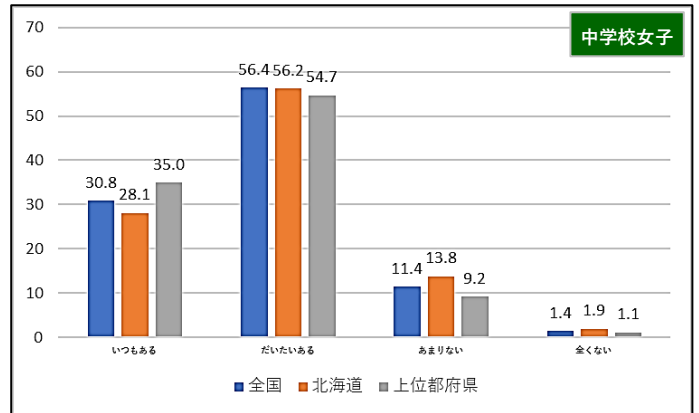
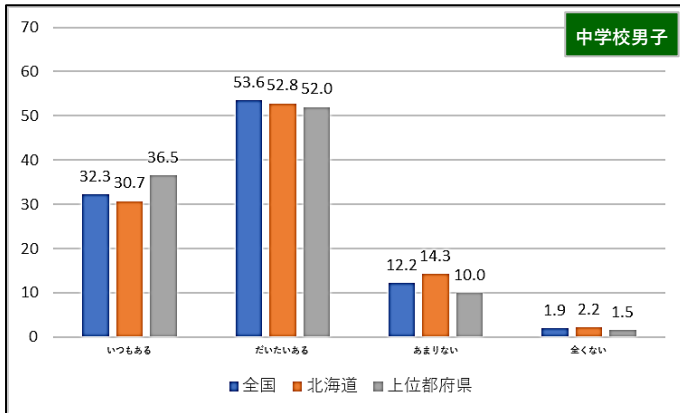
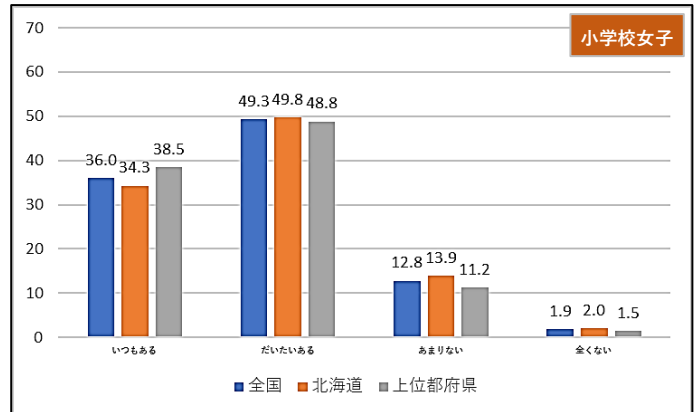
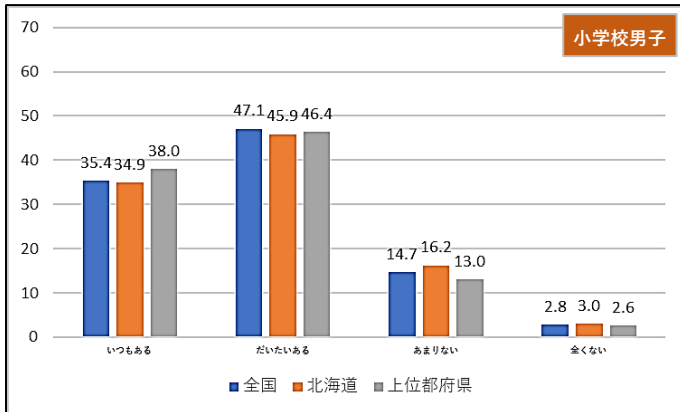
①「体育・保健体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、『できたり、わかったり』することがあるか」



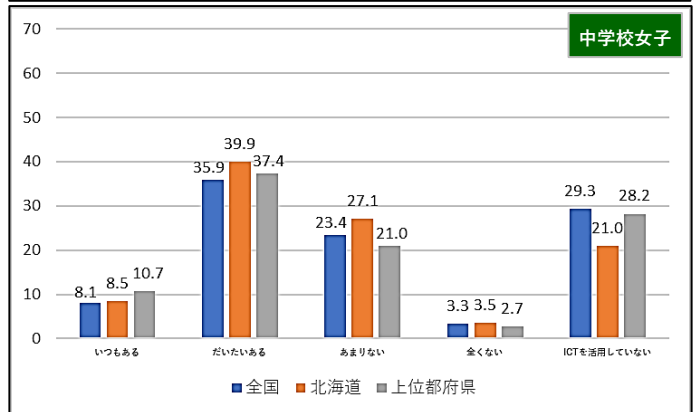
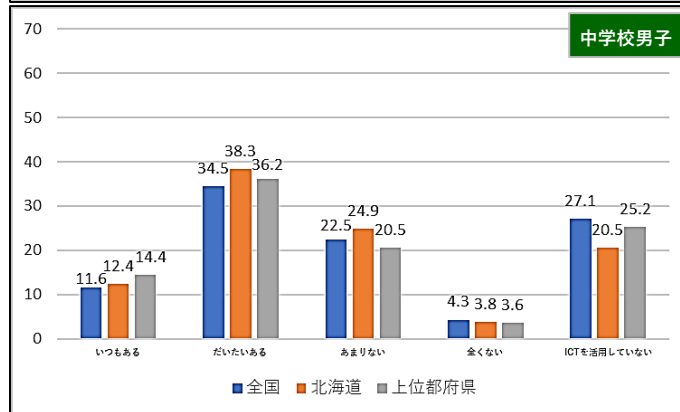
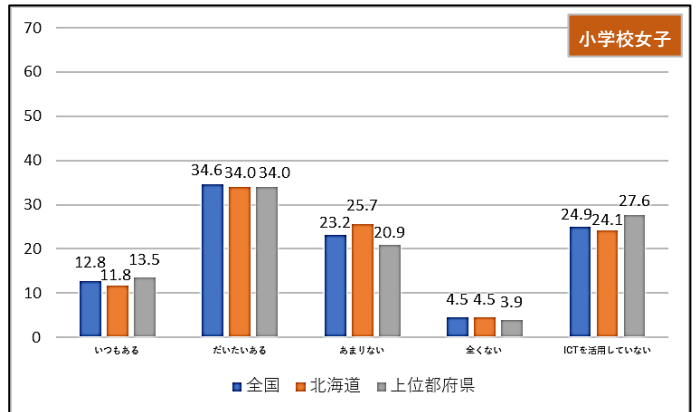
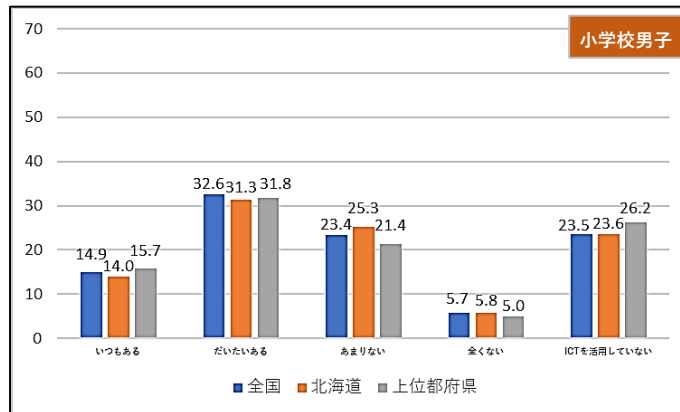
②「体育・保健体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、『できたり、わかったり』することがあるか」



③「体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがあるか」



④「体育・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、『できたり、わかったり』することがあるか」



(2) 児童生徒質問紙調査の体育・保健体育授業に関わる項目の回答と体力合計点の関係

■ 体育・保健体育授業に関わる項目の回答と体力合計点の関係についての分析

- 小学校男女においては、全ての項目において、「できたり、わかたり」することが「いつもある、だいたいある」と肯定的に回答している群において、体力合計点が全国平均を上回っている。
- 中学校男女においては、ICTの活用に関わる項目及び中学校女子の協働的な学びに関わる項目を除き、「できたり、わかたり」することが「いつもある」と回答している群においてのみ、体力合計点が全国平均を上回っている。
- 中学校男女においては、ICTの活用成果と体力合計点の関わりにおいて、全国平均を上回っている群がない状況である。

小学校男女では、肯定的回答群において、体力合計点が全国平均を上回っていることから、教師の指導の手立てが、児童の「できる」、「わかる」保健体育授業の実現や、体力向上につながっていると考えられる。

一方、中学校男女においては、「いつもある」と回答している群でのみ、全国平均を上回る結果であることから、「できた」、「わかった」を実感する保健体育授業の実現に向け、一層の質の向上を図っていく必要があると考えられる。

また、保健体育授業におけるICTの活用頻度は多いものの、活用が成果につながっていない現状が見られることから、前頁同様、「できた」、「わかった」につながるICTの効果的な活用について、実践を深めていく必要があると考えられる。

① 「体育・保健体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、『できたり、わかたり』することがあるか」という項目の回答と体力合計点の関係

※オレンジ：項目ごとの体力合計点 緑：肯定的回答群における体力合計点 青：体力合計点の全国平均



② 「体育・保健体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、『できたり、わかったり』することがあるか」という項目の回答と体力合計点の関係

※オレンジ：項目ごとの体力合計点 緑：肯定的回答群における体力合計点 青：体力合計点の全国平均



③ 「体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがあるか」という項目の回答と体力合計点の関係

※オレンジ：項目ごとの体力合計点 緑：肯定的回答群における体力合計点 青：体力合計点の全国平均



④「体育・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、『できたり、わかったり』することがあるか」という項目の回答と体力合計点の関係  
 ※オレンジ：項目ごとの体力合計点 緑：肯定的回答群における体力合計点 青：体力合計点の全国平均



### 体育科における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

**①「知識及び技能」の習得の場面**  
 技ごとの動画を繰り返し視聴したり、スローで再生したり、前時までの動きと比較したりすることにより、運動の行い方の理解が深まり、技能の習得を図ることができます。

**②「思考力、判断力、表現力等」の育成の場面**  
 各自の視点でゲームの撮影動画を確認し、自己や友達の課題を発見したり、練習方法を工夫・改善したりすることにより、自己の考えを深めて対話することができます。

**③「学びに向かう力、人間性等」の涵養の場面**  
 過去の自分の記録や動き、単元の学習履歴を確認させるなど、自己の変容に気付かせる場面を設定することにより、運動に対する愛好的な態度の涵養につなげることができます。

**効果的に活用した授業改善のポイント**

1. 動画で動きを比較  
2. 動画を重ねて動きを比較

→ 動画を確認し、手本となる動きを発見することにより、運動の行い方を理解することができます。

→ 自身の動きや友達の動きを比較し、課題を発見したり、練習方法を工夫・改善点を整り、自己の考えを深めて対話することができます。

→ 過去の自分の記録や動き、単元の学習履歴を確認させるなど、自己の変容に気付かせる場面を設定することにより、運動に対する愛好的な態度の涵養につなげることができます。

**【参考資料】**  
 ・GIGAスクール構想のもとでの小学校体育科の指導について（文部科学省）

**・StuDX Style**  
 各教科等における1人1台端末の活用  
 各教科等での活用【小学校 体育】（文部科学省）

**【参考資料】**  
 ・GIGAスクール構想のもとでの中学校保健体育科の指導について（文部科学省）

**・StuDX Style**  
 各教科等における1人1台端末の活用  
 各教科等での活用【中学校 保健体育】（文部科学省）

### (3) 児童生徒質問紙調査における体育・保健体育授業に関わる項目と体力合計点総合評価のクロス集計

#### ■ 体育・保健体育授業に関わる質問紙調査項目の回答と体力合計点総合評価の関係及び質問紙調査項目同士の関係についての分析

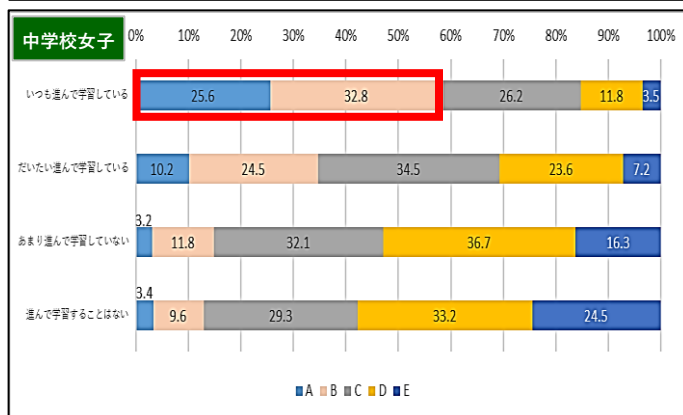
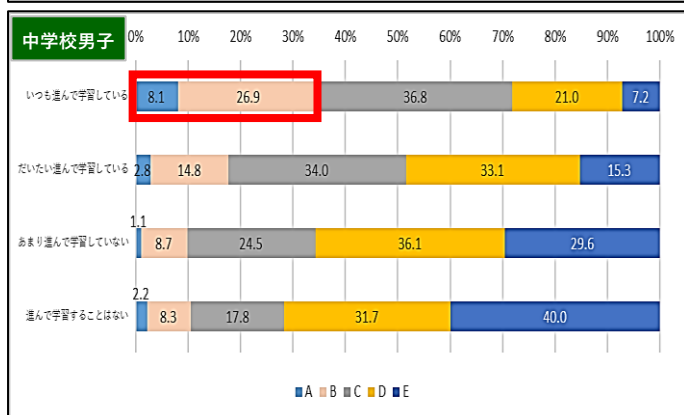
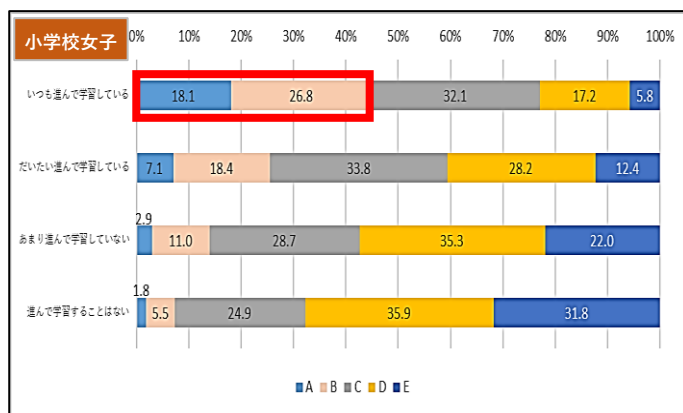
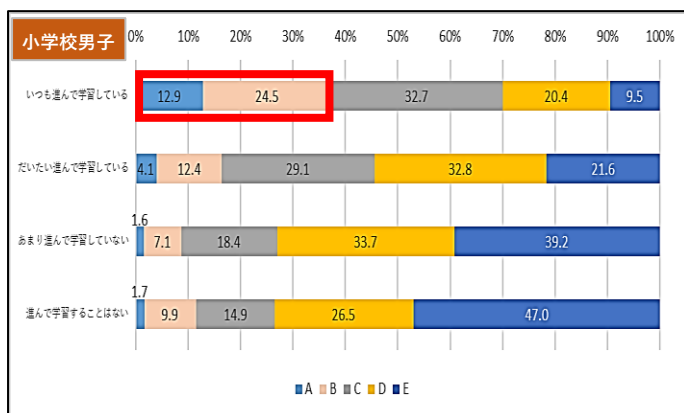
- 小・中学校男子では、全ての項目で「できたり、わかったり」することが「いつもある」と回答している群において、体力合計点総合評価 A・B群の児童生徒の割合がC・D群を上回っている。
- 小・中学校女子では、「進んで体育・保健体育の学習をしている」を除く全ての項目で「できたり、わかったり」することが「いつもある・だいたいある」と肯定的に回答している群において、体力合計点総合評価 A・B群の児童生徒の割合がC・D群を上回っている。  
(※「進んで体育・保健体育の学習をしている」においては、「いつもある」と回答している群において、体力合計点総合評価 A・B群の児童生徒の割合が C・D群を上回っている。)
- 小・中学校男女ともに、全ての項目で「できたり、わかったり」することが「いつもある」と回答している群においては、「体育・保健体育の授業が楽しい」と回答している児童生徒の割合が最も高い。  
その中でも、小学校男子では、「目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで『できたり、わかったり』することがある」という項目、小学校女子及び中学校男女では、「自分に合った練習方法を選んで学習することで『できたり、わかったり』することがある」という項目における「いつもある」と回答している群において、「体育・保健体育の授業が楽しい」と回答している児童生徒の割合が最も高い。
- 体力合計点 T 得点が 50 以上の学校と 50 以下の学校の児童生徒における各項目の回答状況を比較すると、小・中学校男女ともに、全ての項目において、T 得点 50 以上の学校のほうが「できたり、わかったり」することが「いつもある・だいたいある」と肯定的に回答している児童生徒の割合が高い。
- 各項目について肯定的に回答している児童生徒において、体力合計点総合評価が A・B群と D・E群の「できなかったことができるようになったきっかけ」の回答状況を比較すると、A・B群と D・E群ともに、「先生や友達の真似をしてみた」、「友達に教えてもらった」と回答している児童生徒の割合が高い。  
その中でも、小学校男女においては、「授業中に自分で工夫して練習した」、「授業外の時間に自分で練習した」と回答した割合が、中学校男女においては、「授業中に先生にコツやポイントを教えてもらった」、「授業中に自分で工夫して練習した」という項目において、A・B群と D・E群との間に差が見られる。
- 「タブレットなどの ICT を使って学習することで『できたり、わかったり』することがある」という項目において、小・中学校男女ともに「できたり、わかったり」することが「いつもある・だいたいある」と肯定的に回答している児童生徒ほど体力合計点総合評価が高い一方、小・中学校ともに 20%以上の学校が「ICT を活用していない」と回答している。

小・中学校男女ともに、体育・保健体育の授業において、「できた、わかった」を実感している児童生徒ほど、体力合計点が高い結果であった。その中でも、児童生徒に「目標を意識させること」、「自己の課題に応じた練習方法を選んで学習すること」により、児童生徒が「できた、わかった」をより実感している傾向にあった。

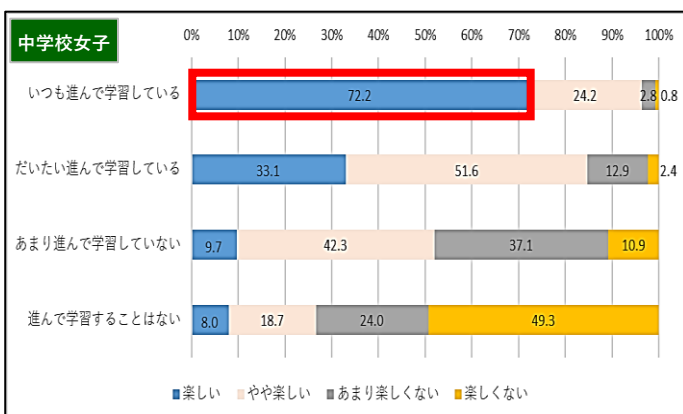
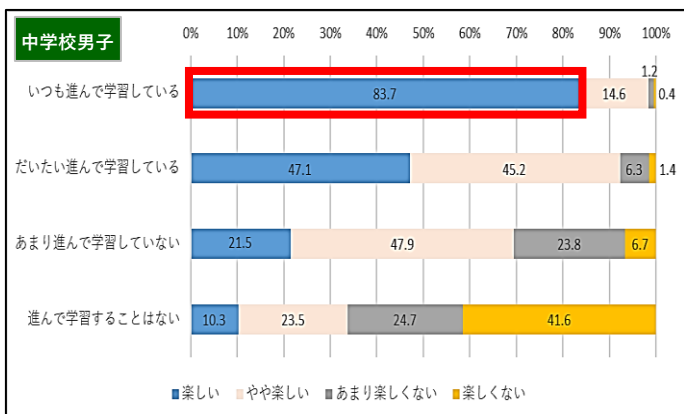
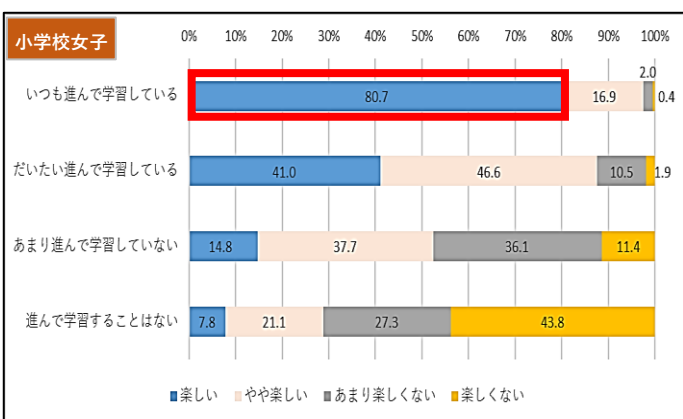
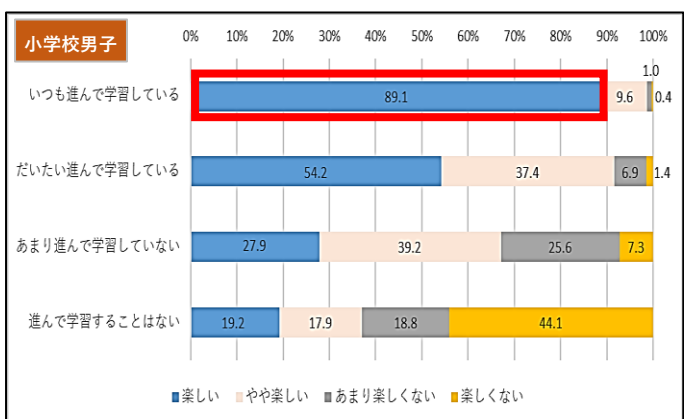
また、各質問項目の回答状況における総合評価 A・B群と D・E群の「できなかったことができるようになったきっかけ」を比較すると、「授業中に自分で工夫して練習した」と回答した割合に大きな差が見られるとともに、中学校男女において、小学校男女と比較し、「授業中に先生にコツやポイントを教えてもらった」の項目において、両群の差が広がっている。

## 【進んで体育・保健体育の学習に参加している×各項目のクロス集計】

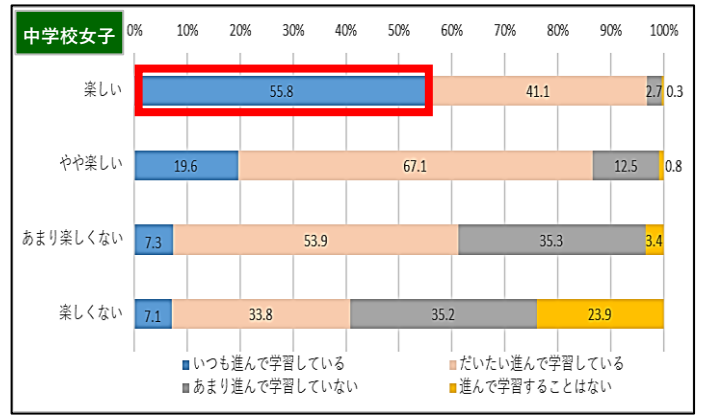
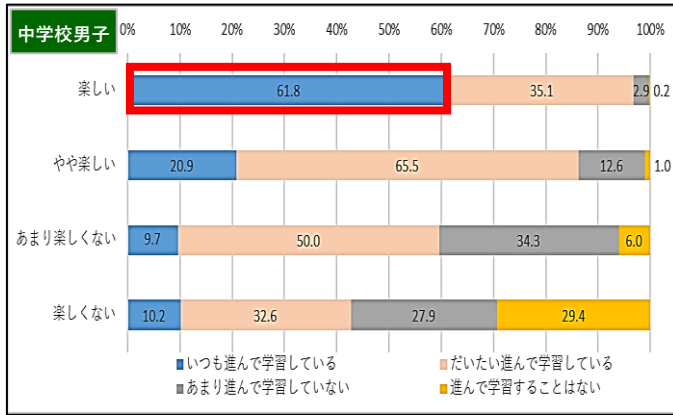
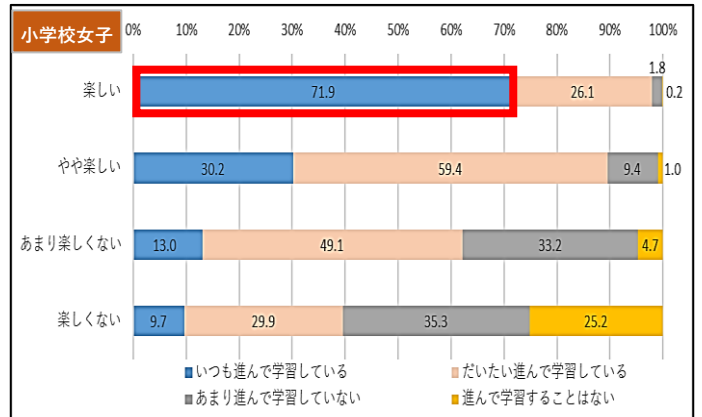
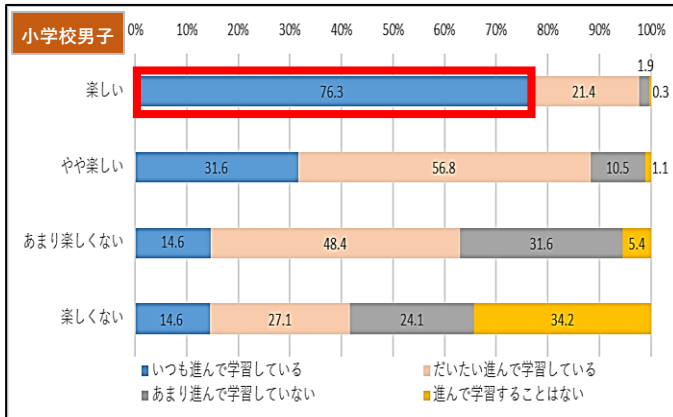
### ① 「体育・保健体育の授業では進んで学習に参加しているか」という項目の回答と体力合計点総合評価の関係



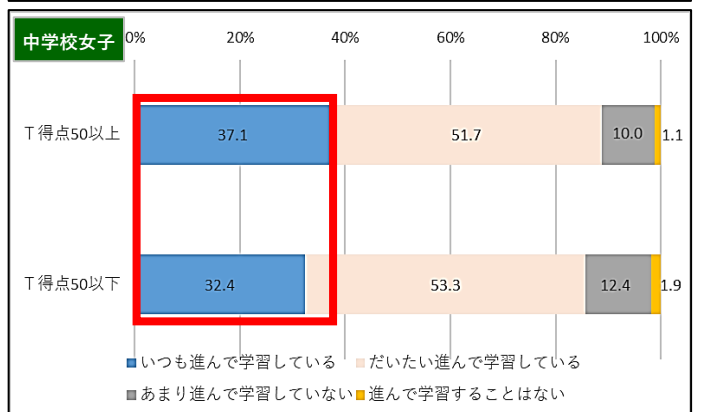
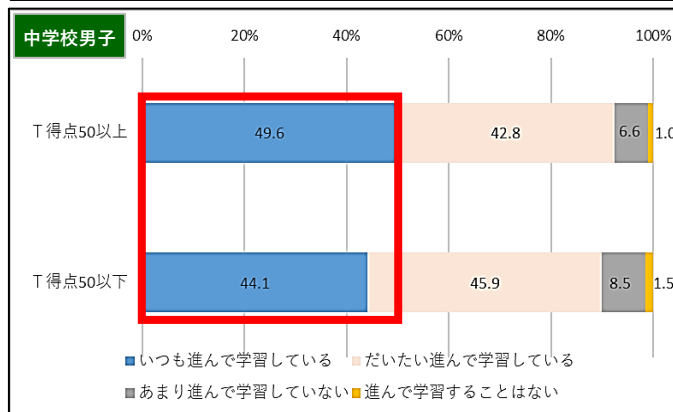
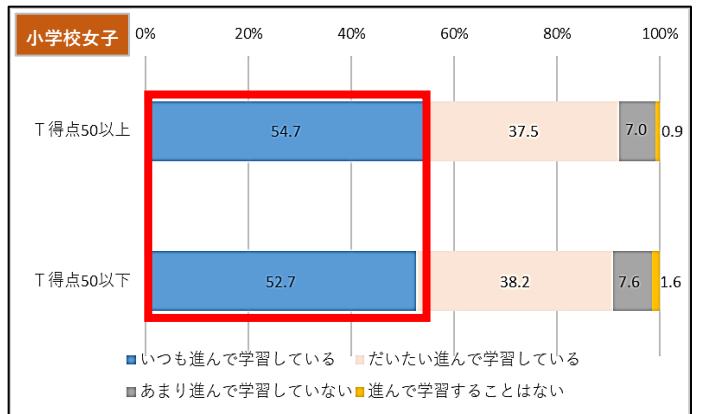
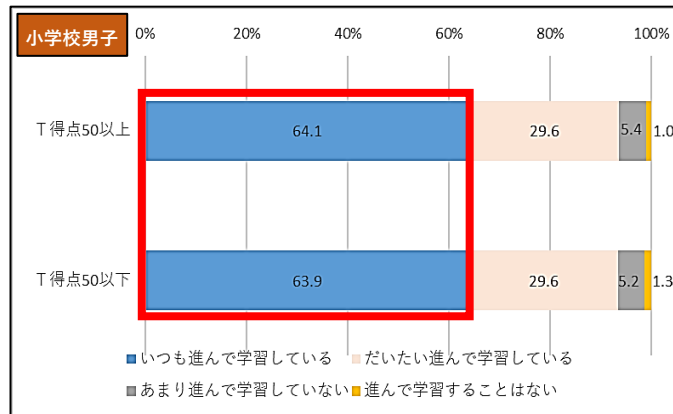
### ② 「体育・保健体育の授業では進んで学習に参加しているか」という項目の回答と「体育・保健体育の授業は楽しいか」という項目の回答とのクロス集計



③「体育・保健体育の授業は楽しいか」という項目の回答と「体育・保健体育の授業では進んで学習に参加しているか」という項目の回答とのクロス集計

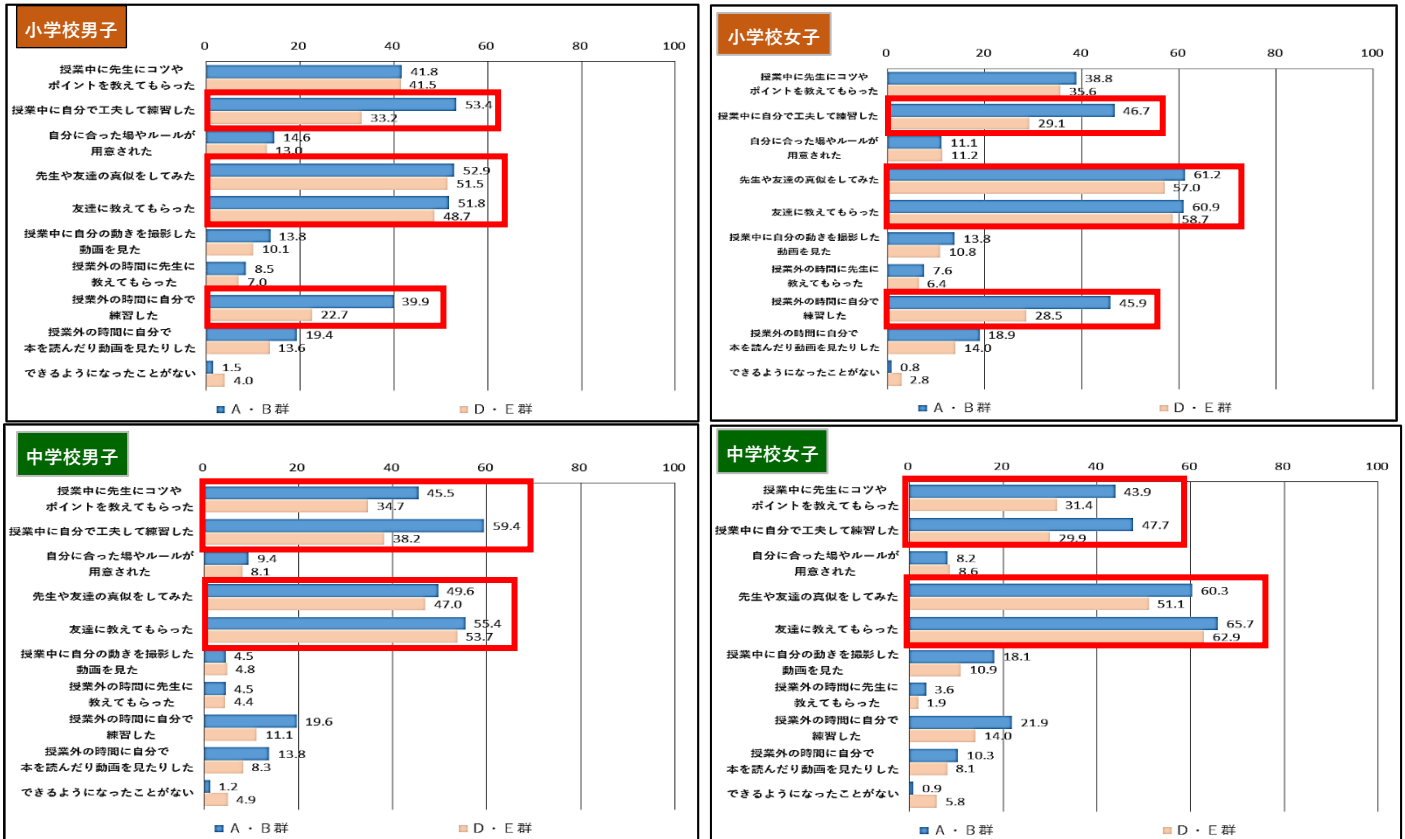


④各学校の体力合計点と全国平均との関係と「体育・保健体育の授業では進んで学習に参加しているか」という項目の回答とのクロス集計



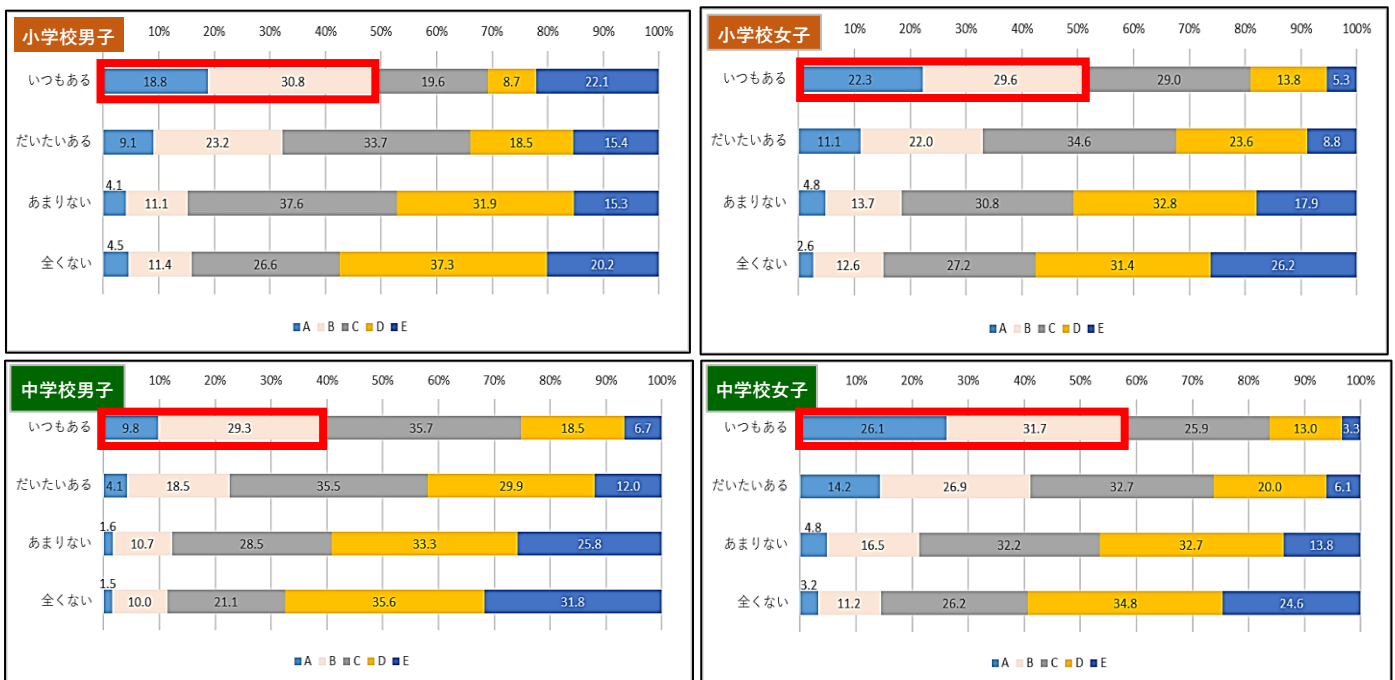


⑤ 「体育・保健体育の授業では進んで学習に参加しているか」という項目に対する肯定的回答の中の体力合計点総合評価A・B層及びD・E層と「体育・保健体育の授業で『できなかったことができるようになったきっかけ、理由』」の項目の回答とのクロス集計

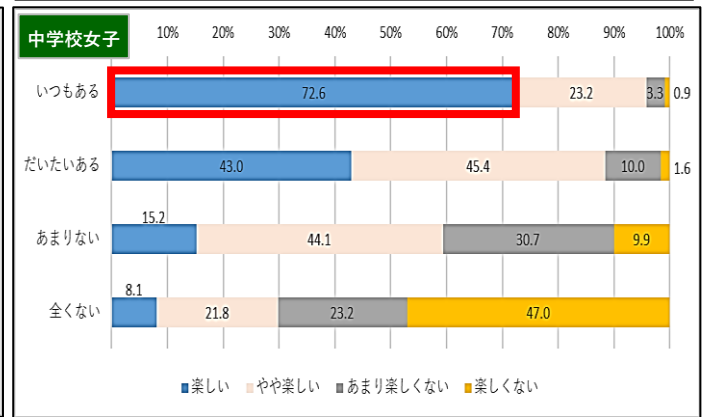
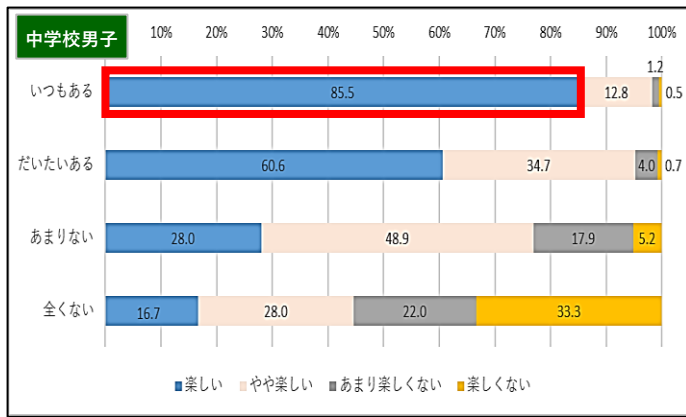
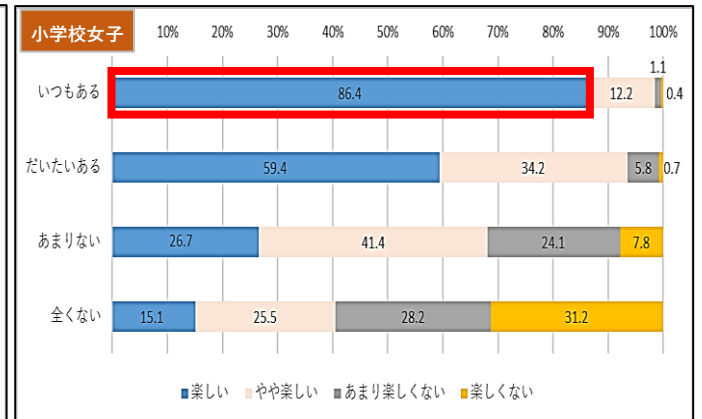
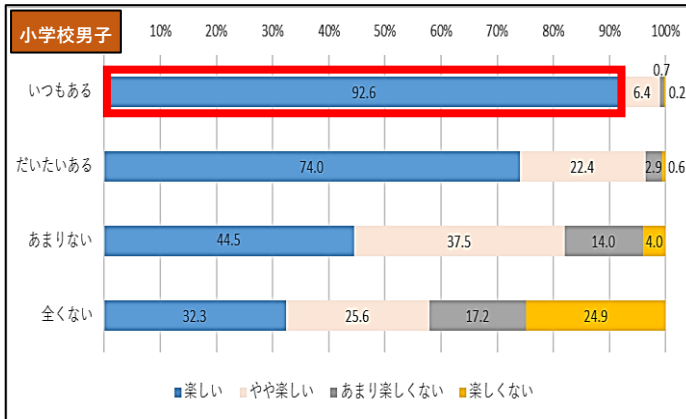


【目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで「できたり、わかったり」することがある×各項目のクロス集計】

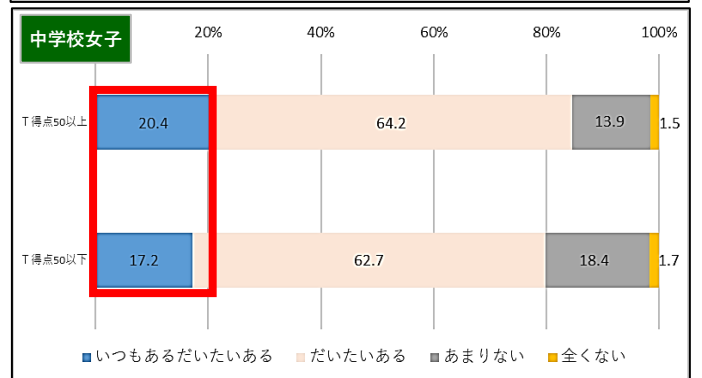
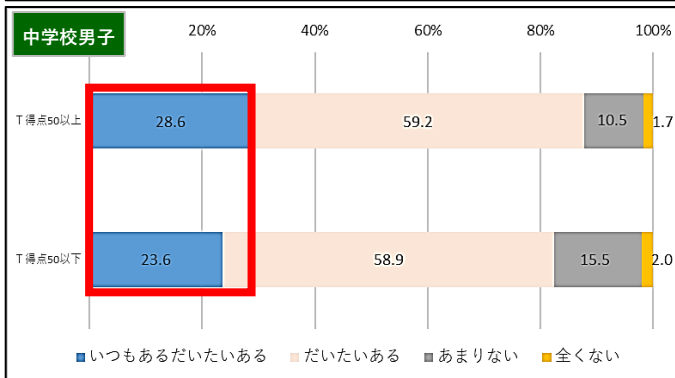
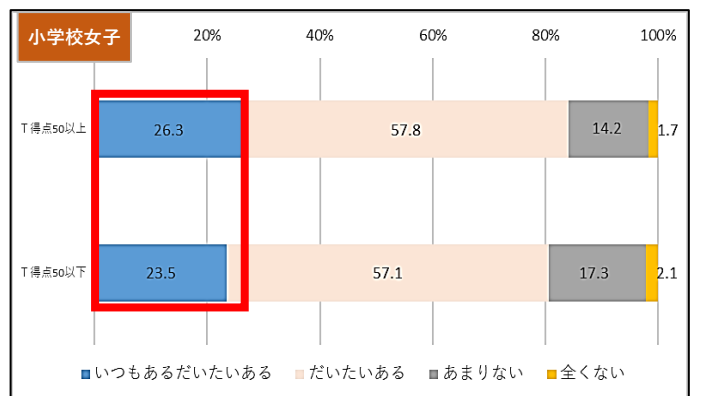
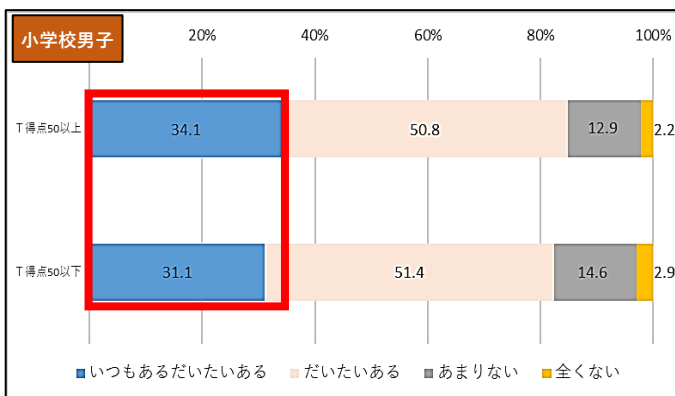
⑥ 「体育・保健体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、『できたり、わかったり』することがあるか」という項目の回答と体力合計点の関係



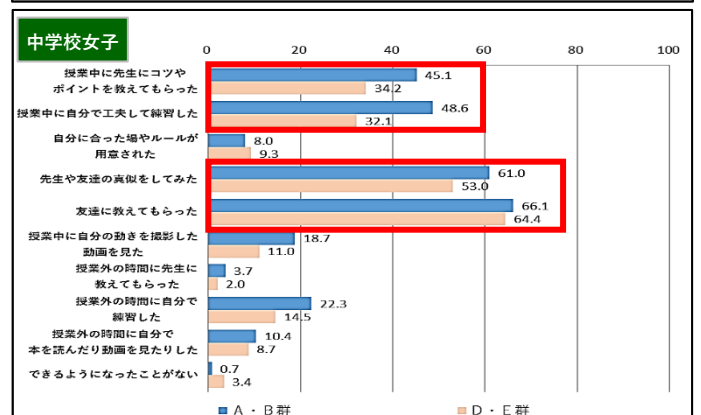
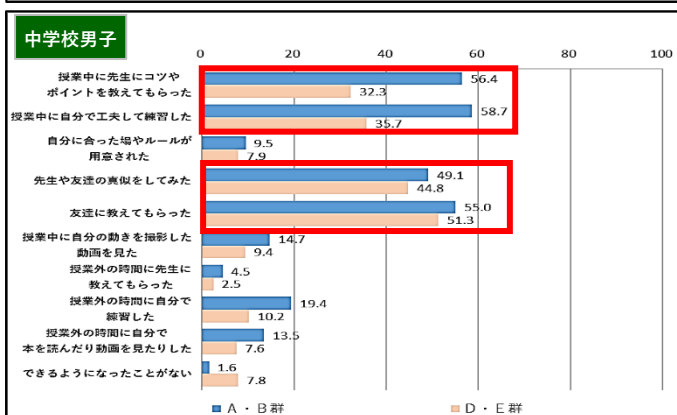
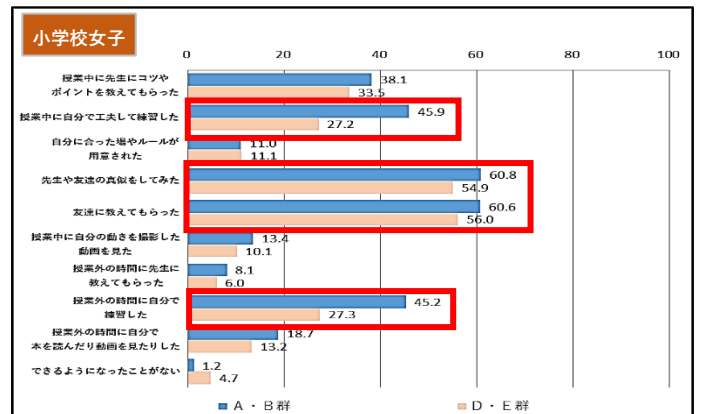
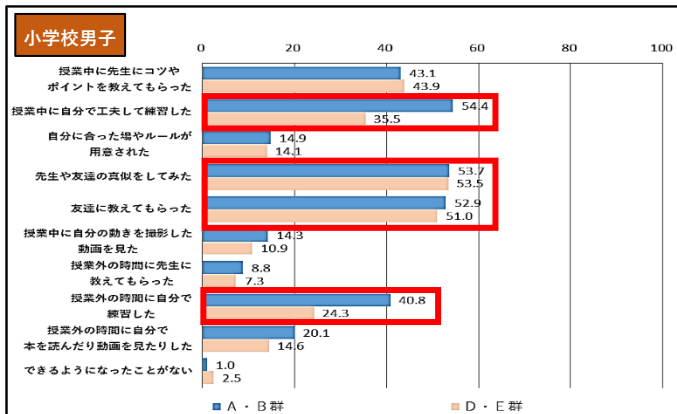
⑦「体育・保健体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、『できたり、わかったり』することがあるか」という項目の回答「体育・保健体育の授業の授業は楽しいか」という項目の回答とのクロス集計



⑧各学校の体力合計点と全国平均との関係と「目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、『できたり、わかったり』することがあるか」という項目の回答とのクロス集計

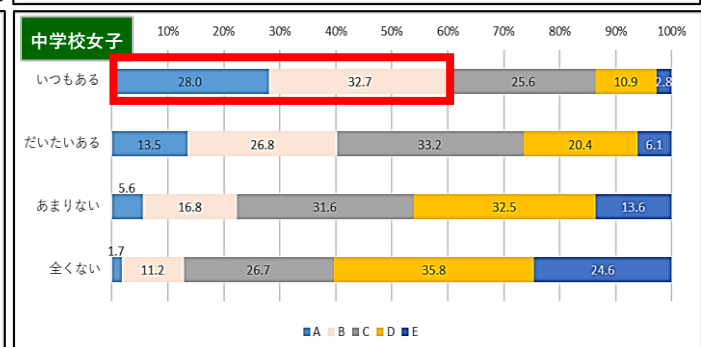
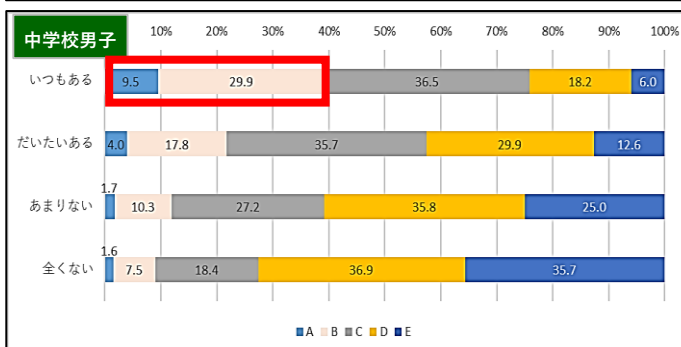
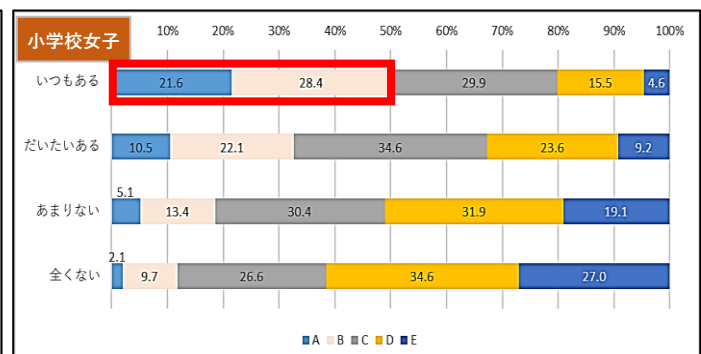
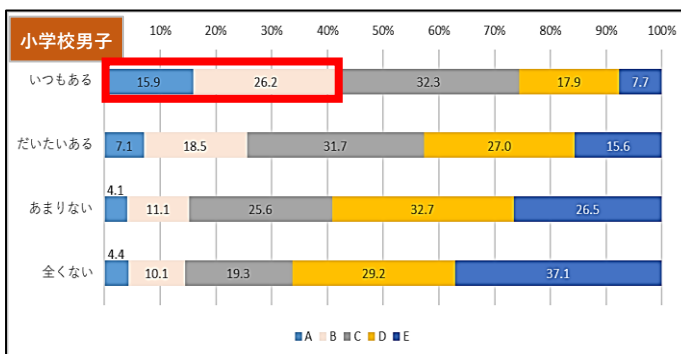


⑨ 「目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、『できたり、わかったり』することがあるか」という項目に対する肯定的回答の中の体力合計点総合評価A・B層及びD・E層と「体育・保健体育の授業で『できなかったことができるようになったきっかけ、理由』」の項目の回答とのクロス集計

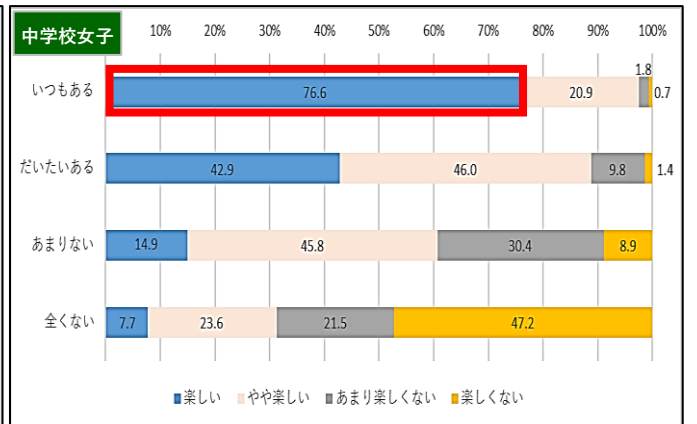
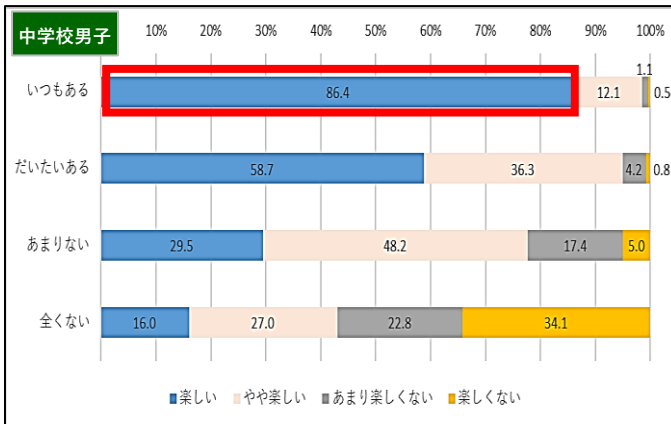
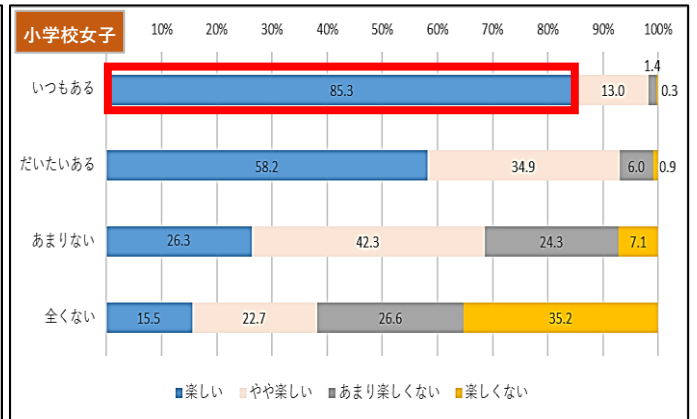
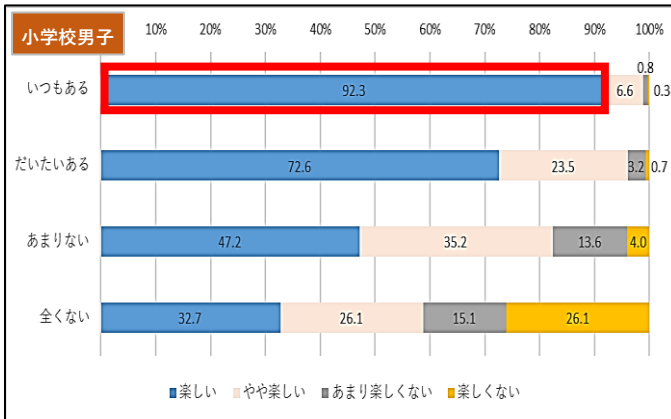


【自分に合った練習方法を選んで学習することで「できたり、わかったりする」ことがある×各項目のクロス集計】

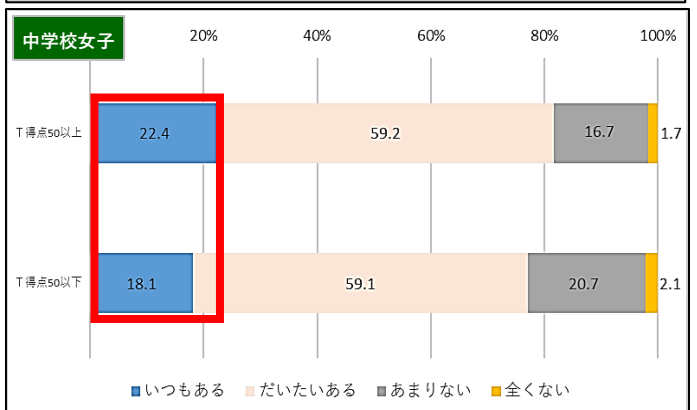
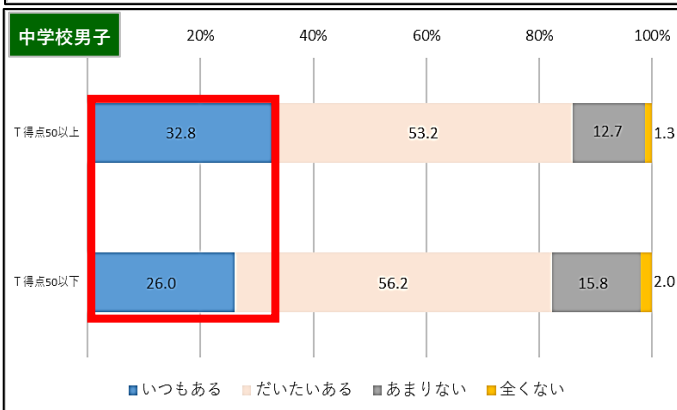
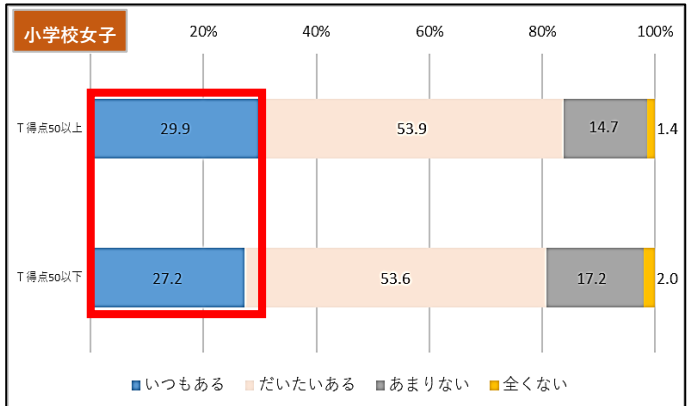
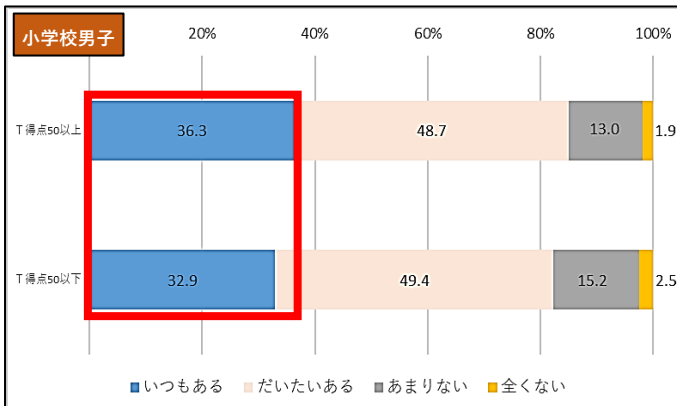
⑩ 「自分に合った練習の方法を選んで学習することで『できたり、わかったりする』ことがあるか」という項目の回答と体力合計点の関係



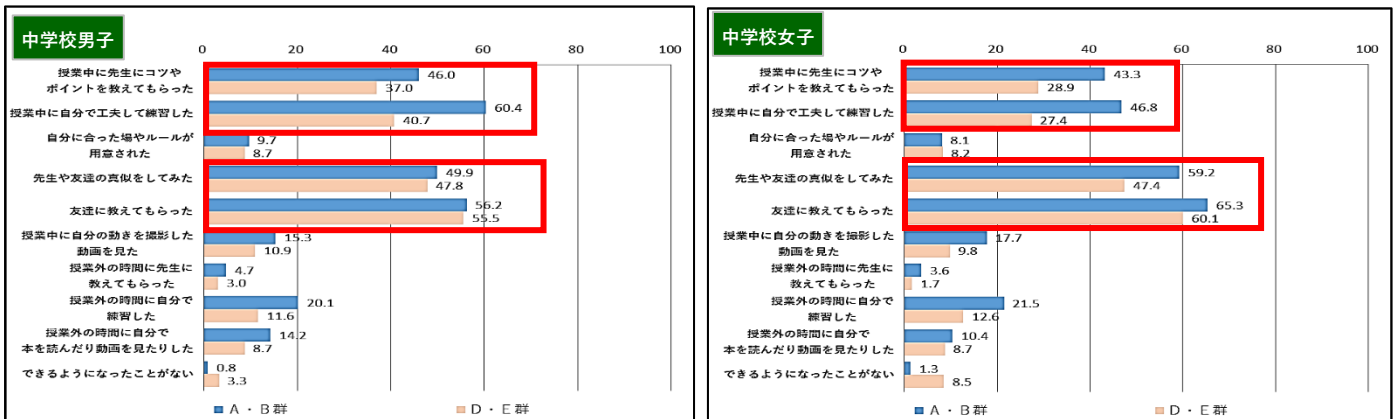
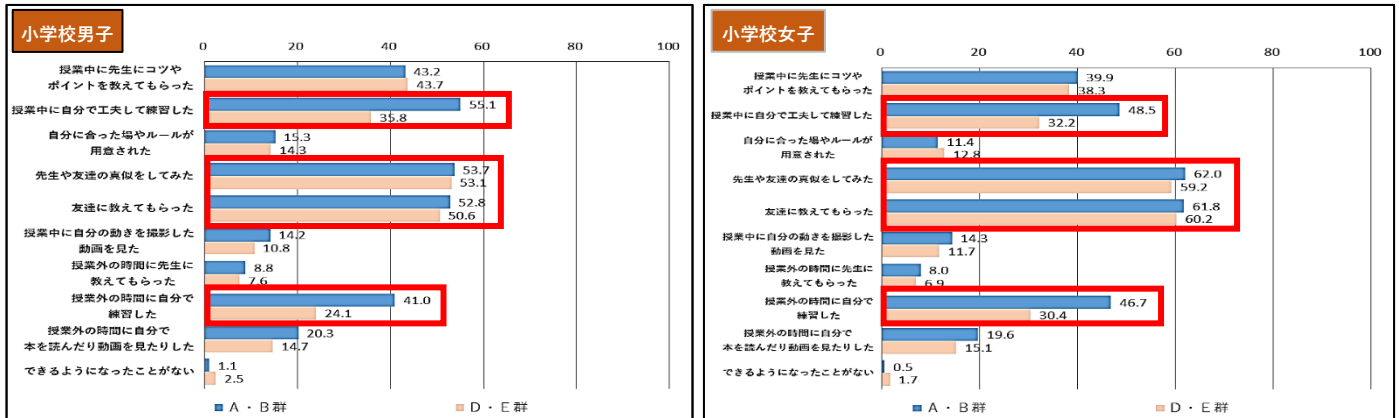
⑪ 「自分に合った練習の方法を選んで学習することで『できたり、わかったりする』ことがあるか」という項目の回答と「体育・保健体育の授業の授業は楽しいか」という項目の回答とのクロス集計



⑫ 各学校の体力合計点と全国平均との関係と「自分に合った練習の方法を選んで学習することで『できたり、わかったりする』ことがあるか」という項目の回答とのクロス集計

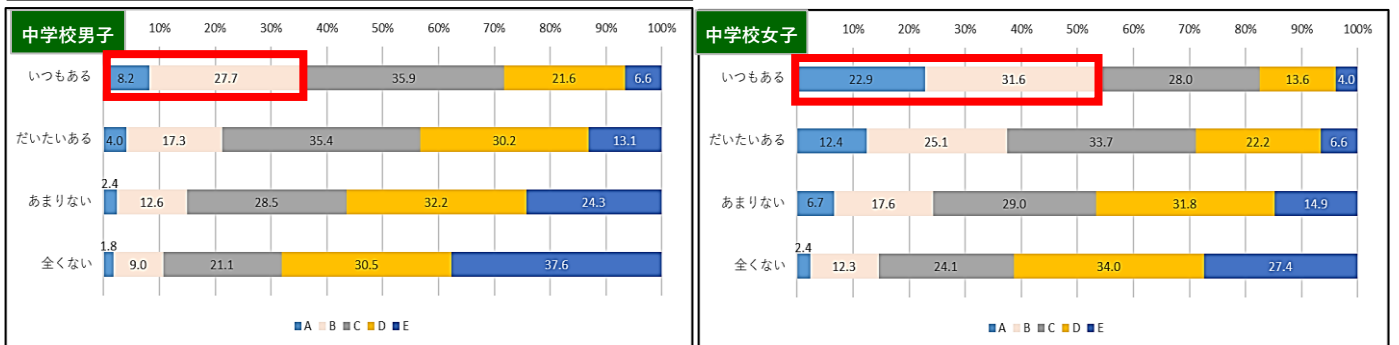
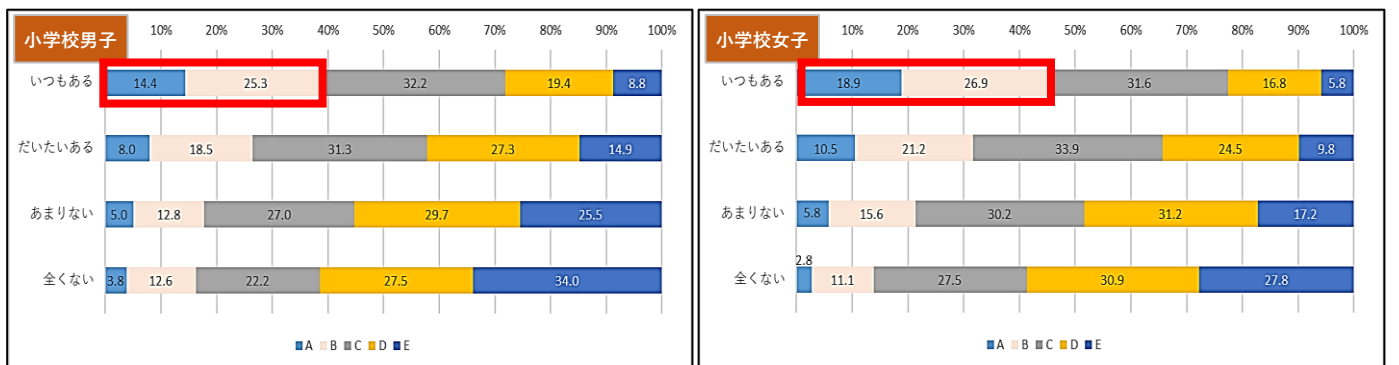


⑬「自分に合った練習の方法を選んで学習することで、『できたり、わかったり』することがあるか」という項目に対する肯定的回答の中の体力合計点総合評価A・B層及びD・E層と「体育・保健体育の授業で『できなかったことができるようになったきっかけ、理由』」の項目の回答とのクロス集計

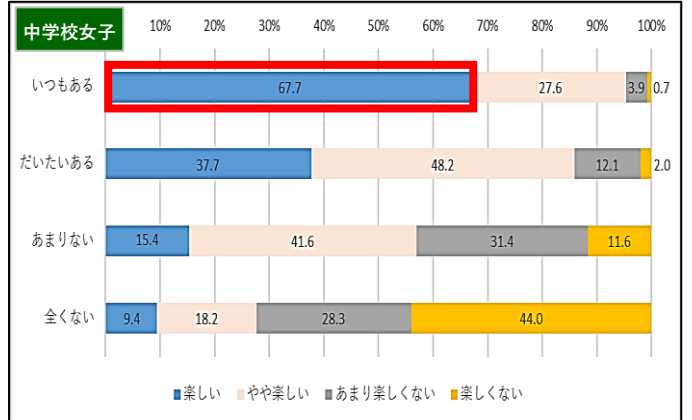
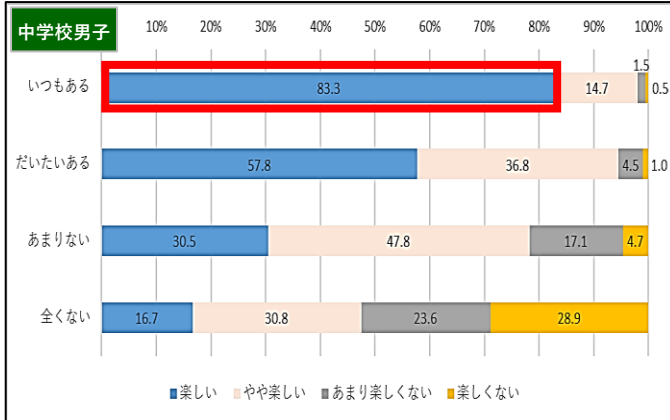
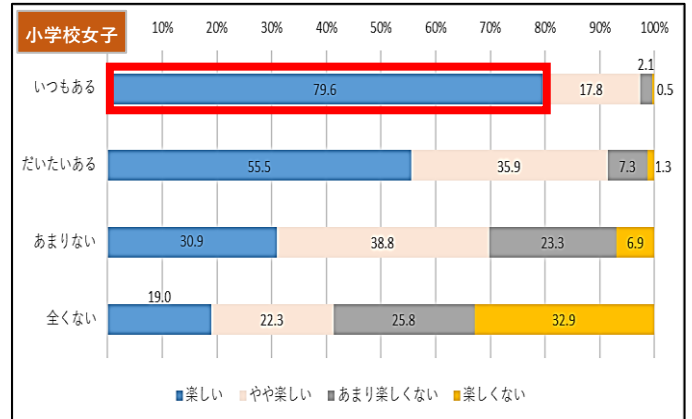
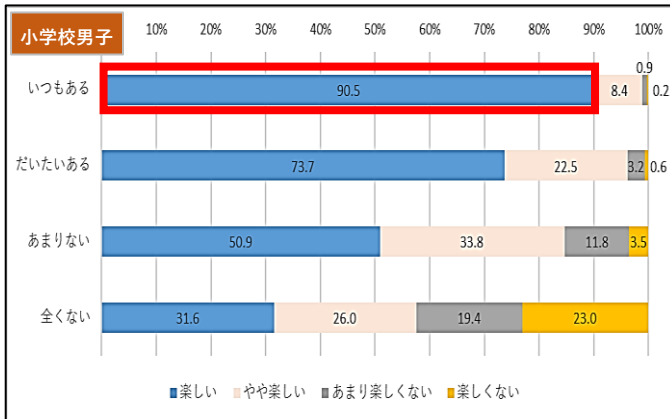


【友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで「できたり、わかったりする」ことがある×各項目のクロス集計】

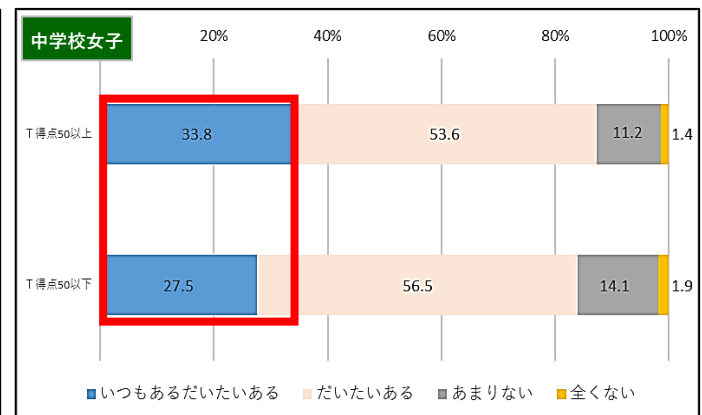
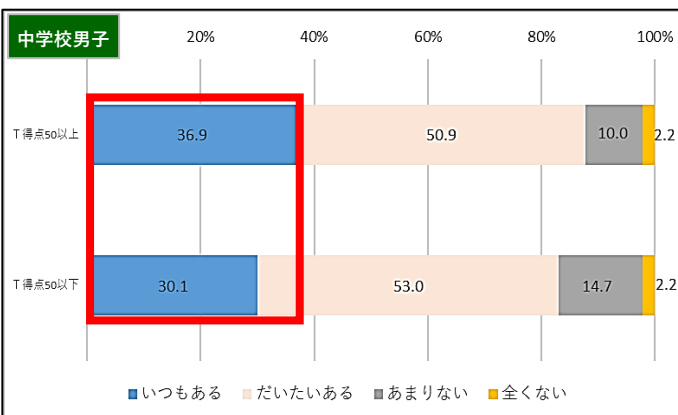
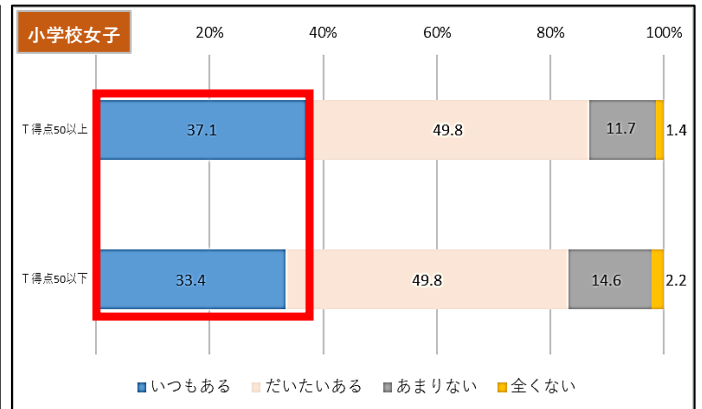
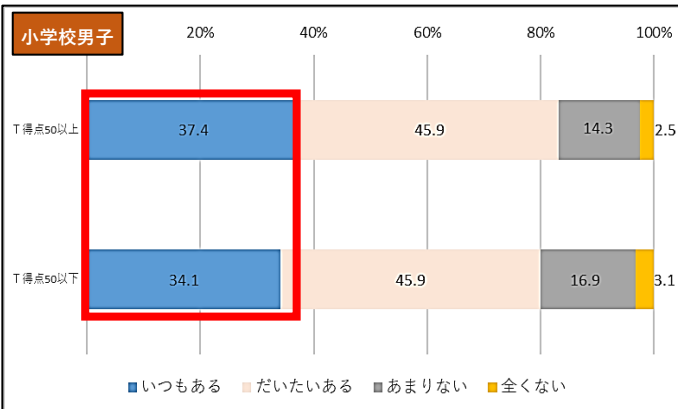
⑭「友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで『できたり、わかったりする』ことがあるか」という項目の回答と体力合計点の関係



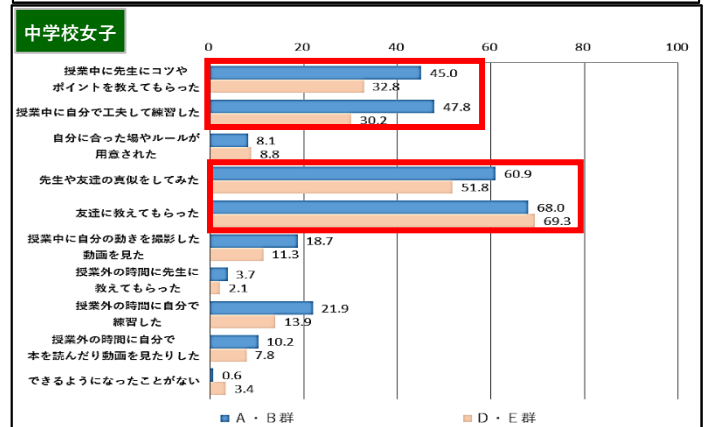
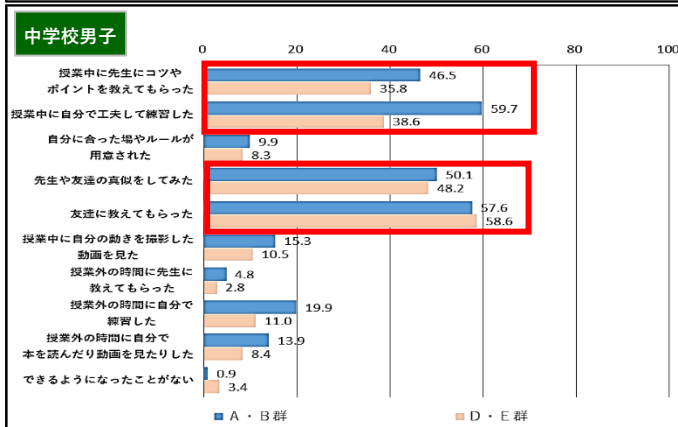
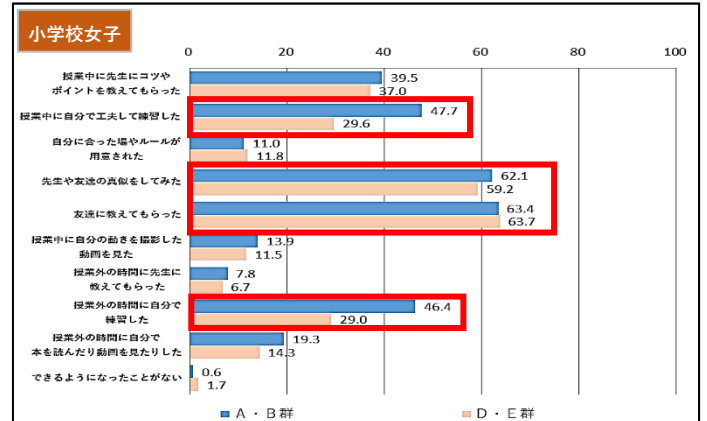
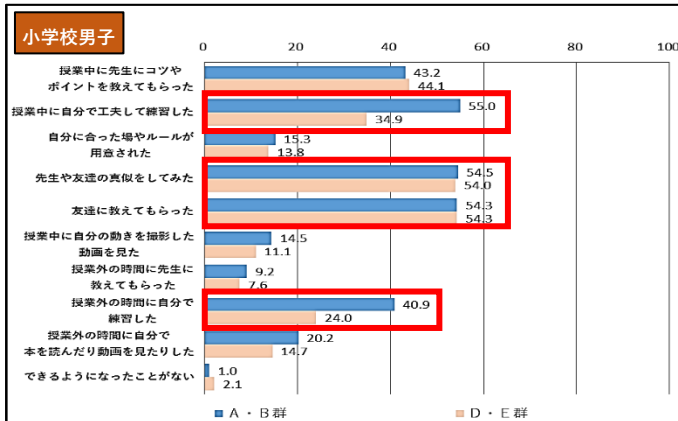
⑮「友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで『できたり、わかったりする』ことがあるか」という項目の回答と「体育・保健体育の授業の授業は楽しいか」という項目の回答とのクロス集計



⑯各学校の体力合計点と全国平均との関係と「友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで『できたり、わかったりする』ことがあるか」という項目の回答とのクロス集計

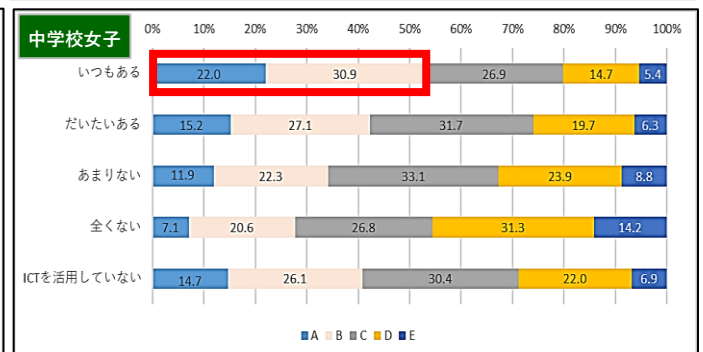
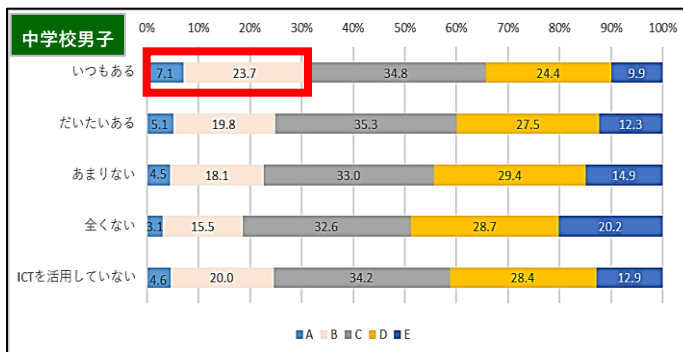
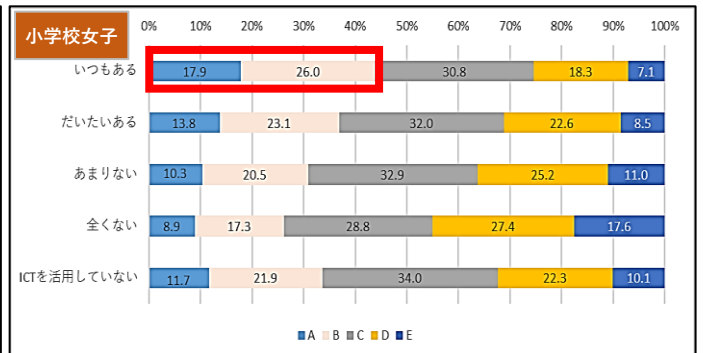
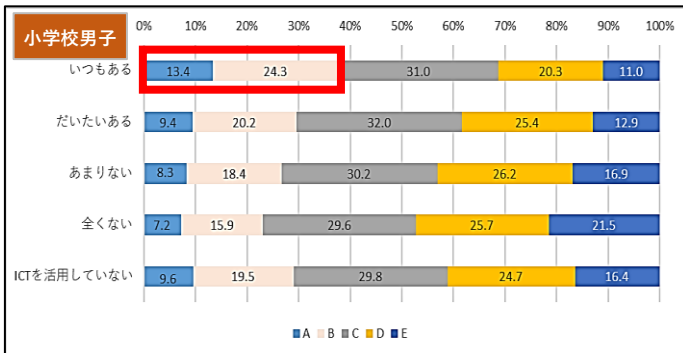


⑰「友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがあるか」という項目に対する肯定的回答の中の体力合計点の総合評価A・B層及びD・E層と「体育・保健体育の授業で『できなかったことができるようになったきっかけ、理由』」の項目の回答とのクロス集計

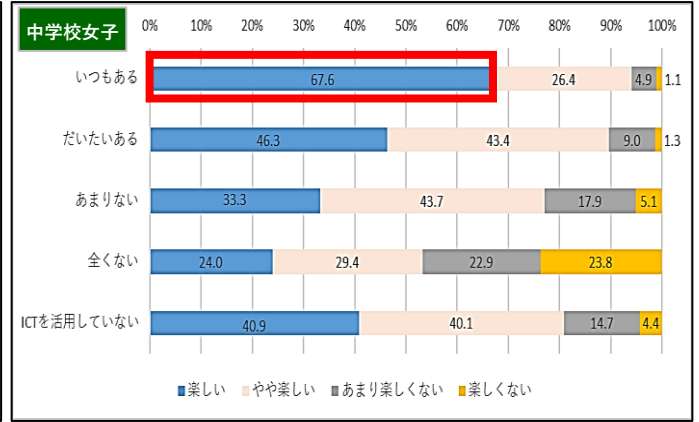
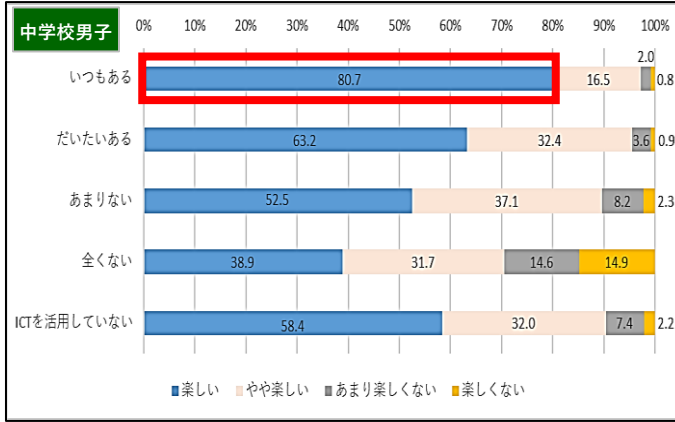
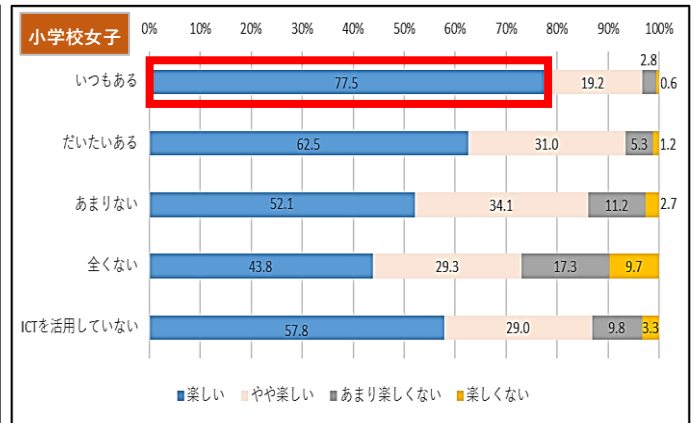
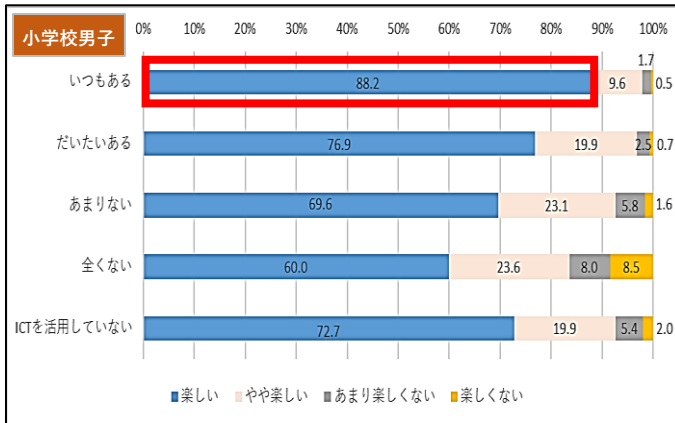


【ICTを使って学習することで「できたり、わかったりする」ことがある×各項目のクロス集計】

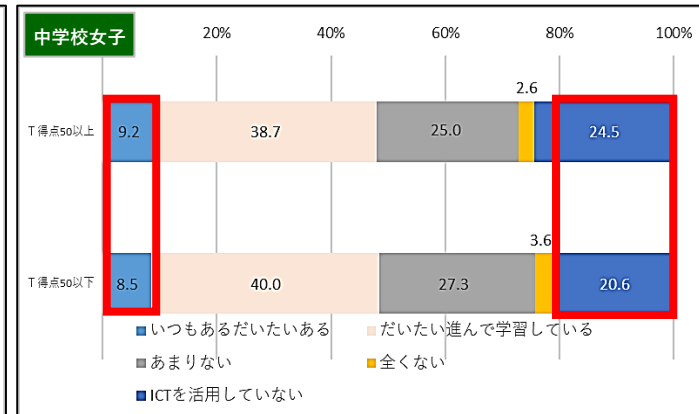
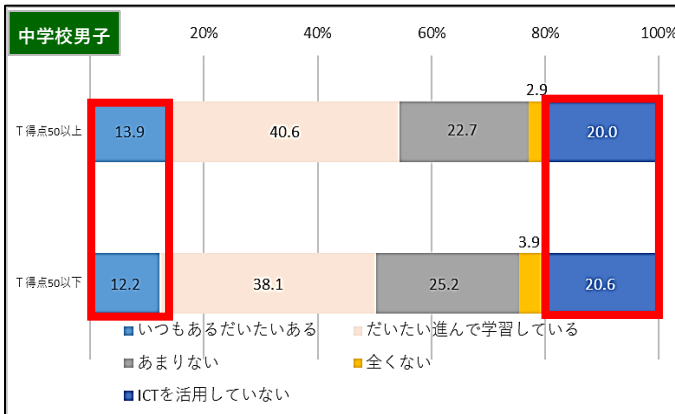
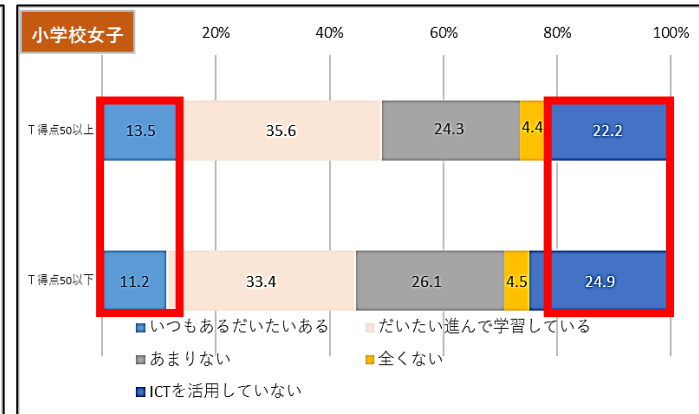
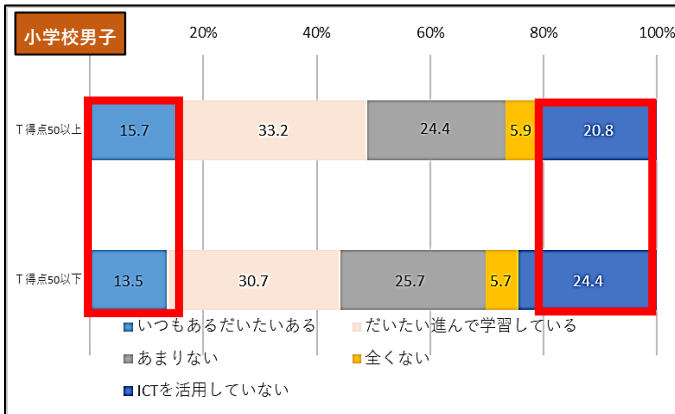
⑱「タブレットなどのICTを活用して学習することで『できたり、わかったりする』ことがあるか」という項目の回答と体力合計点の関係



⑱ 「タブレットなどのICTを使って学習することで『できたり、わかったりする』ことがあるかという項目の回答と「体育・保健体育の授業の授業は楽しいか」という項目の回答とのクロス集計

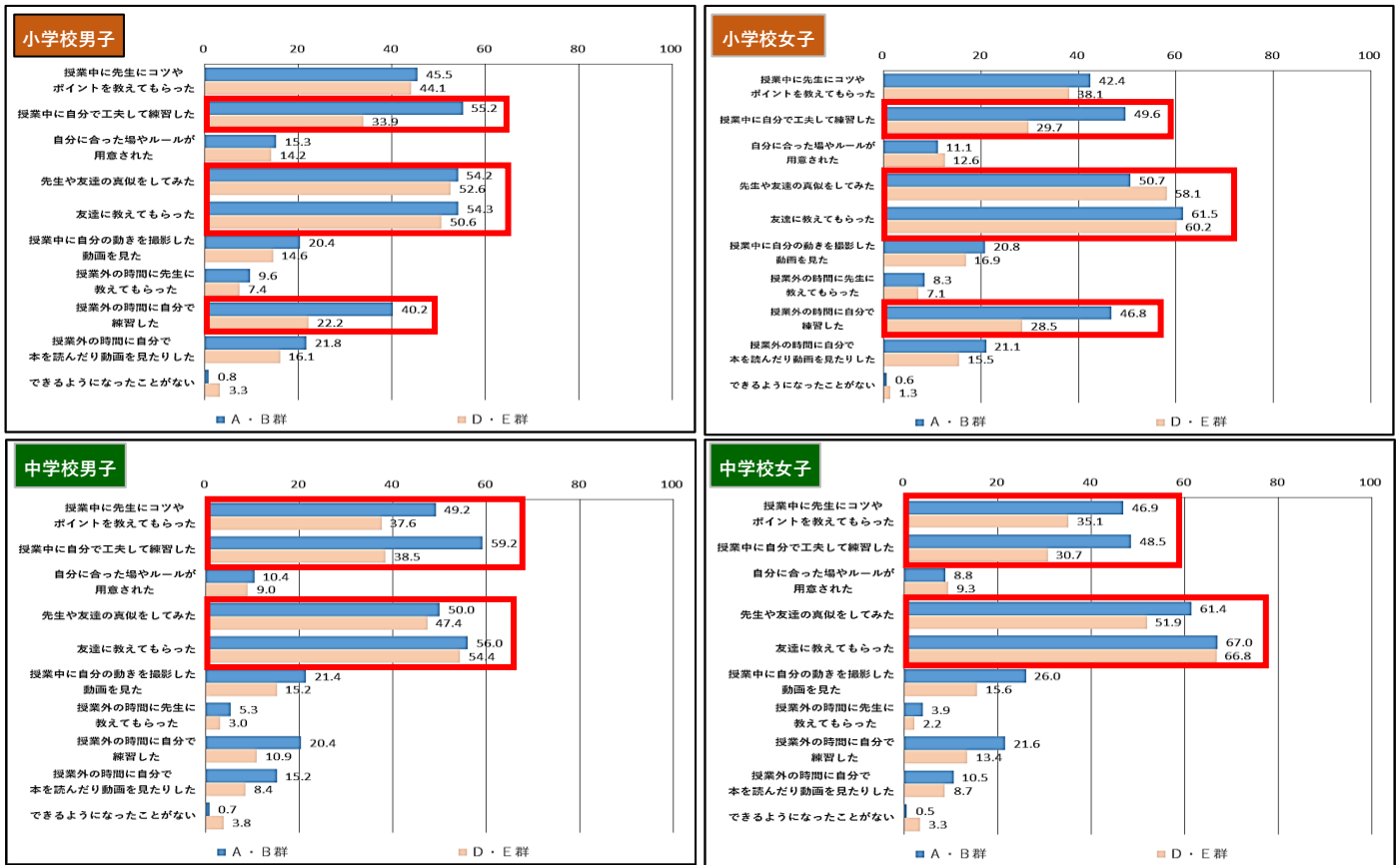


⑳ 「各学校の体力合計点と全国平均との関係と「タブレットなどのICTを使って学習することで『できたり、わかったりする』ことがあるか」という項目の回答とのクロス集計





⑳「タブレットなどのICTを使って学習することで、『できたり、わかったり』することがあるか」という項目に対する肯定的回答の中の体力合計点総合評価A・B層及びD・E層と「体育・保健体育の授業で『できなかったことができるようになったきっかけ、理由』」の項目の回答とのクロス集計



#### (4) 児童生徒質問紙調査の体育・保健体育授業に対する愛好的態度の項目の分析

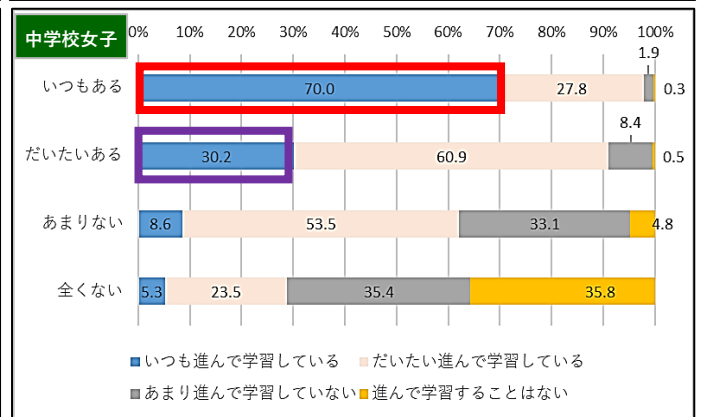
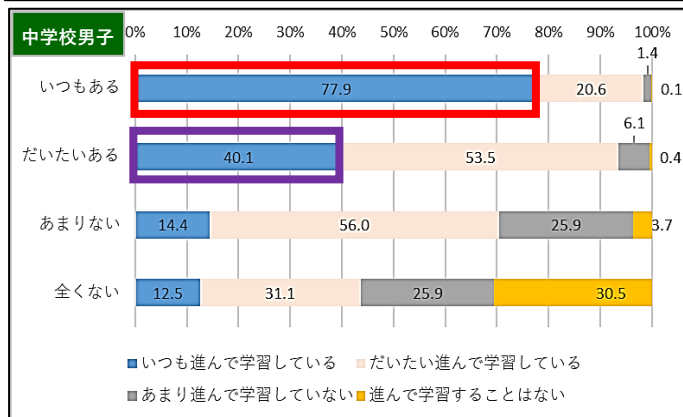
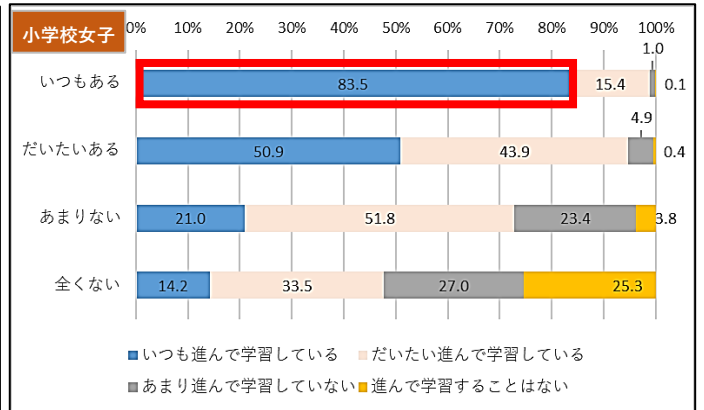
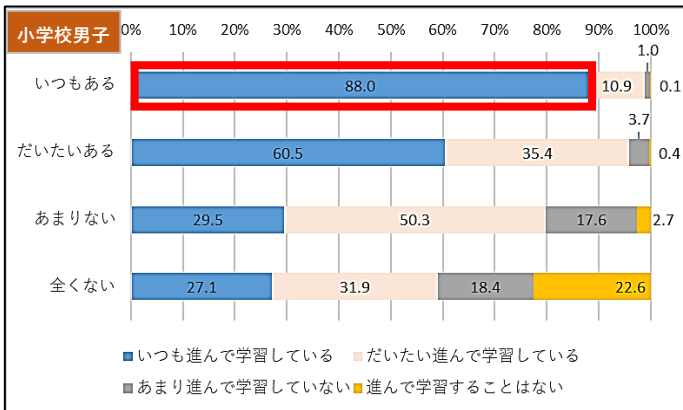
##### ■ 体育・保健体育授業の指導の手立てに関わる項目とのクロス集計

- 体育・保健体育授業の指導の手立ての工夫によって「できた」「わかった」ことが「いつもある」と回答した児童生徒の7割以上が「いつも進んで学習している」と回答している。
- 中学校男女において、体育・保健体育授業の手立ての工夫によって「できた」「わかった」ことが「だいたいある」と回答した生徒のうち、「いつも進んで学習している」と回答した生徒の割合は、男子が4割程度、女子が3割程度である。

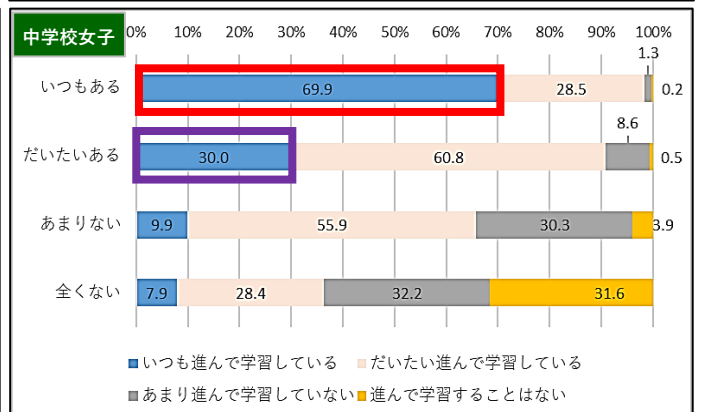
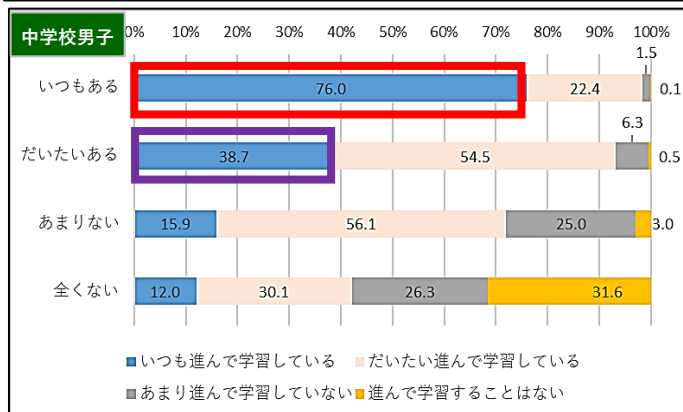
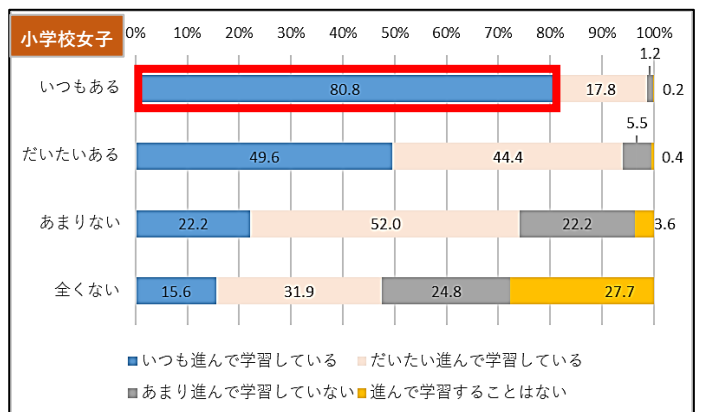
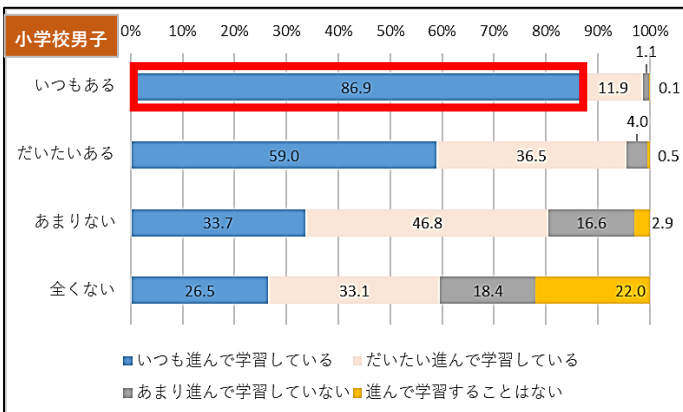
小・中学校男女ともに、教師の指導の手立てにより「できる」、「わかる」体育・保健体育授業の実現が、授業に対する愛好的態度につながっていると考えられる。

一方、中学校男女においては、教師の指導の手立てにより「できた」、「わかった」ことが「だいたいある」と肯定的に回答していても、愛好的態度に十分つながっていない状況があることから、教師の手立ての工夫の仕方について、一層の改善・充実を図る必要があると考えられる。

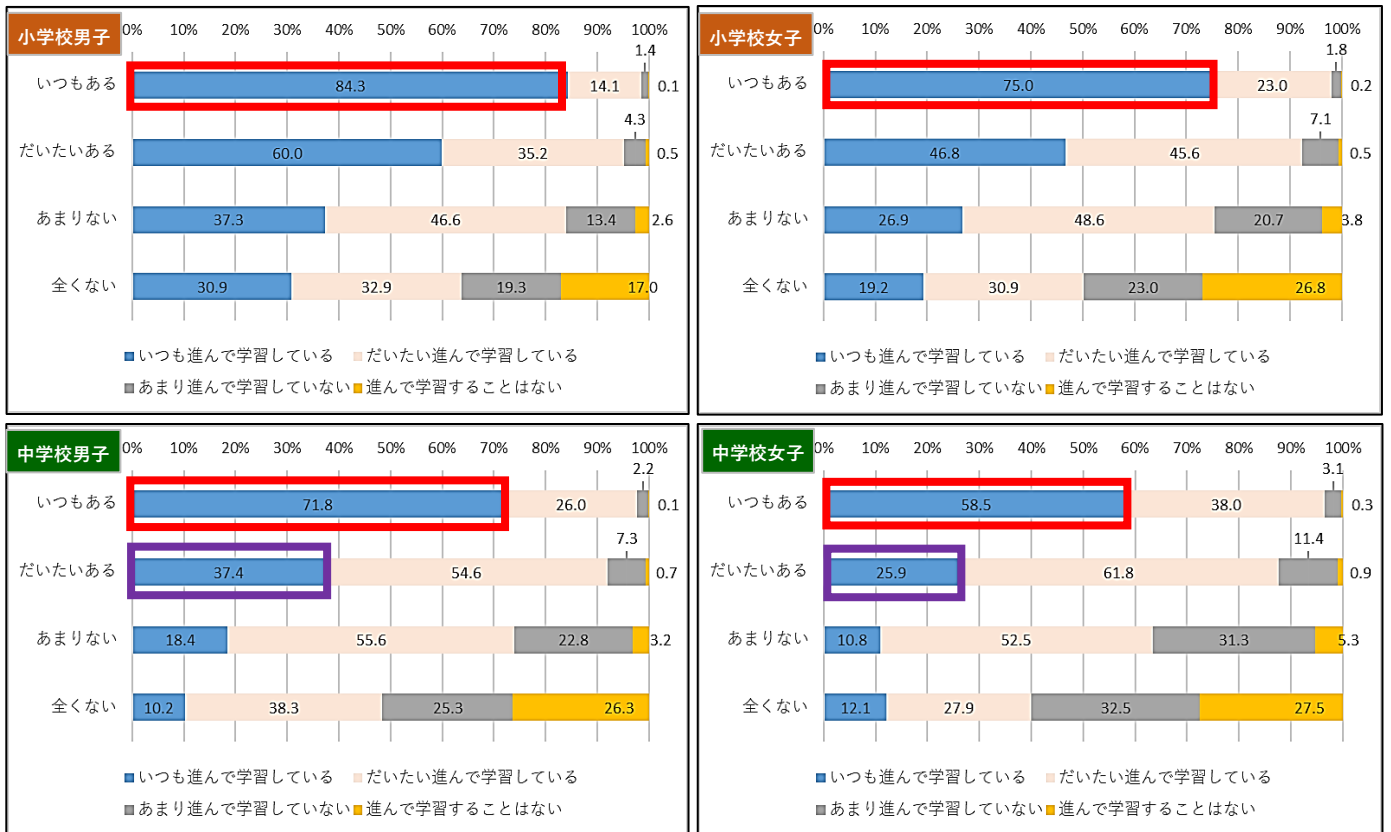
① 「目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで『できたり、わかったり』することがある」という項目と「体育・保健体育の授業では進んで学習に参加しているか」という項目のクロス集計



② 「自分に合った練習の方法を選んで学習することで『できたり、わかったりする』ことがある」という項目と「体育・保健体育の授業では進んで学習に参加しているか」という項目のクロス集計



③ 「友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで『できたり、わかったりする』ことがある」という項目と「体育・保健体育の授業では進んで学習に参加しているか」という項目のクロス集計



## まとめ

『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）（令和3年1月26日 中教審）では、「個別最適な学び」について「指導の個別化」と「学習の個性化」に整理され、児童生徒が自己調整しながら学習を進めていくことができるよう指導することの重要性が指摘されており、「個別最適な学び」について、「これまで以上に子供の成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することや子供が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することが求められる」ことが示されている。

また、「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう協働的な学びを充実することも重要であることが示されており、「協働的な学び」において、集団の中で個が埋没してしまうことがないように、「一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考えが組み合わさり、よりよい学びを生み出していくこと」が大切であることも示されている。

本分析結果においては、教師の指導の手立ての工夫が、体力合計点や体育・保健体育授業に対する愛好的態度につながっていることが明らかになった一方で、教師の指導の手立ての工夫の仕方について、今後、より一層の改善・充実が必要であることも明らかになったところである。

体育・保健体育授業の改善に向けては、Ⅲ－１「体育・保健体育授業の改善・充実に向けた取組の方向性」を踏まえ、自己の課題に応じた活動を選択することができる場の設定や、解決方法の工夫により成功体験の積み重ねができるようにすること、仲間とともに課題解決に向け、最も適した考えや、「なるほど」と納得できる考えを生み出し、「できた」、「わかった」を実感することができる協働的な課題解決場面を設定することなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善につなげていくことが重要なポイントとなる。

# 児童生徒の望ましい生活習慣や運動習慣の確立

ここでは、児童生徒質問紙調査の結果や体力合計点から、児童生徒の生活習慣と体力合計点等との関係に注目した。小・中学校ともに、適切な生活習慣を確立させている児童生徒のほうが、体力合計点が高い傾向にあった。ポイントは次のとおりである。

- Point 1 小・中学校男女ともに、**体力合計点総合評価A・Bの児童生徒ほど、適切な生活習慣が確立されている割合が高い。**
- Point 2 小・中学校男女ともに、**適切な生活習慣を確立している児童生徒ほど、肥満度が「普通」の児童生徒の割合が高い。**
- Point 3 **運動部等に所属していない児童生徒においては、「運動やスポーツが好き」と回答している児童生徒ほど、1週間の体育授業以外の運動時間が長く、放課後や学校の休みの日に運動やスポーツをしている割合が高い。**

## (1) 児童生徒質問紙調査の生活習慣に関わる各項目と体力合計点の関係

### ■ 児童生徒質問紙調査結果から見た本道の児童生徒における生活習慣の現状と課題についての分析

- 小・中学校ともに、**朝食を欠食する頻度が増加すると、体力合計点総合評価D・Eの児童生徒の割合が増加する傾向にある。**
- 体力合計点総合評価A・Bの児童生徒の割合が高いのは、**小学校男女の睡眠時間が8～10時間の群、中学校男子の睡眠時間が8～9時間の群、中学校女子の睡眠時間が7～8時間の群**である。
- **小学校男女及び中学校男子においては、平日の学習以外での画面の視聴時間が1時間未満の群、中学校女子においては、1～2時間の群を基準として、視聴時間が増えるほど、体力合計点総合評価A・Bの児童生徒の割合が低くなる。**
- 小・中学校男女ともに、**運動時間が増加するにつれて、体力合計点総合評価A・Bの児童生徒の割合が高くなる。**
- 小・中学校男子においては、**1週間の体育の授業以外の運動時間が60分未満である児童生徒の80%前後が体力合計点総合評価D・Eであり、小・中学校女子においては、60分未満の児童生徒の50～70%が体力合計点総合評価D・Eである。**
- 小・中学校男女ともに、**適切な生活習慣（毎日朝食を食べる・睡眠時間8～9時間（中学校女子は7～8時間）・視聴時間1時間未満（中学校女子は1～2時間））が確立されているほど、体力合計点総合評価A・Bの児童生徒の割合が高くなる。**

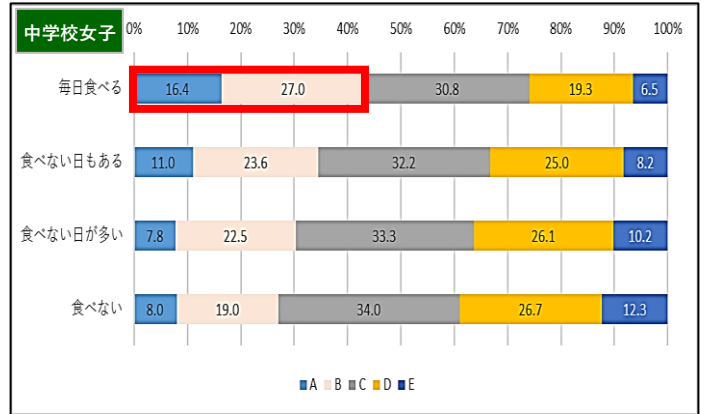
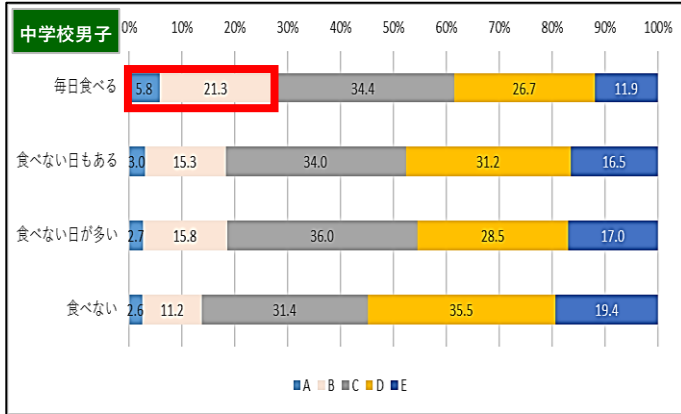
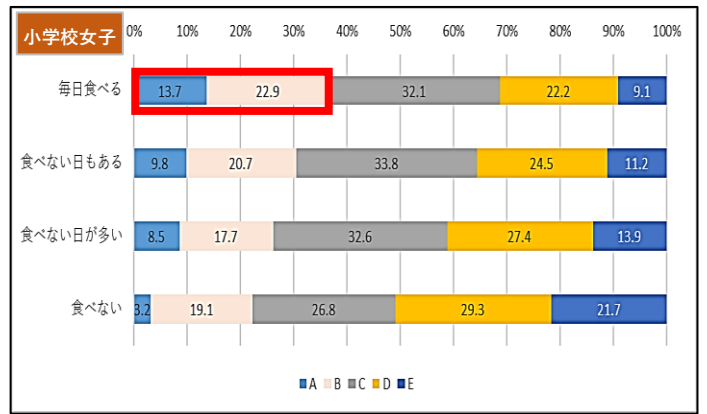
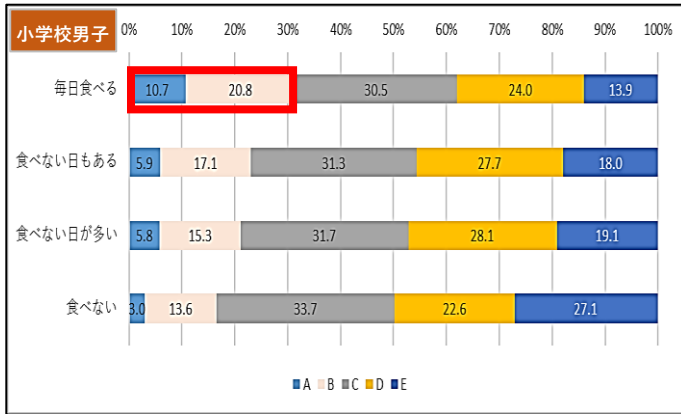
朝食の摂取状況においては、朝食を毎日食べている児童生徒ほど体力合計点が高いことから、朝食摂取が体力の維持・向上のための重要な要素の1つであると考えられる。

また、睡眠時間の状況においては、小学校においては9時間前後、中学校においては8時間前後の睡眠時間における児童生徒の体力合計点が高い傾向が見られることから、体力向上に向けては、適切な睡眠時間を確保することが重要であると考えられる。

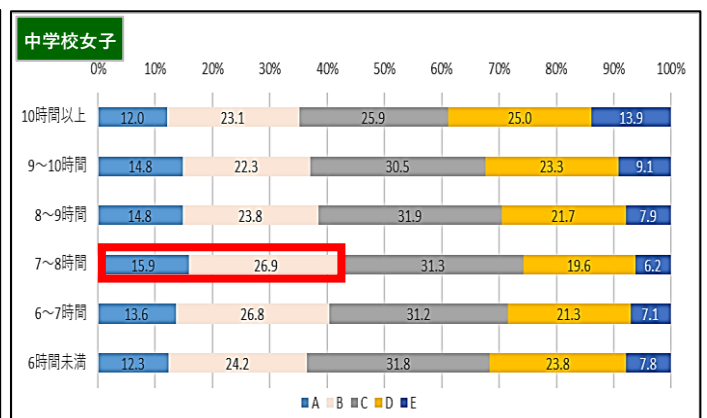
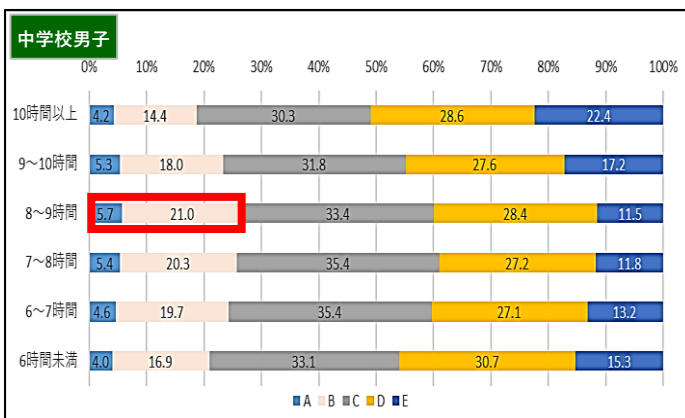
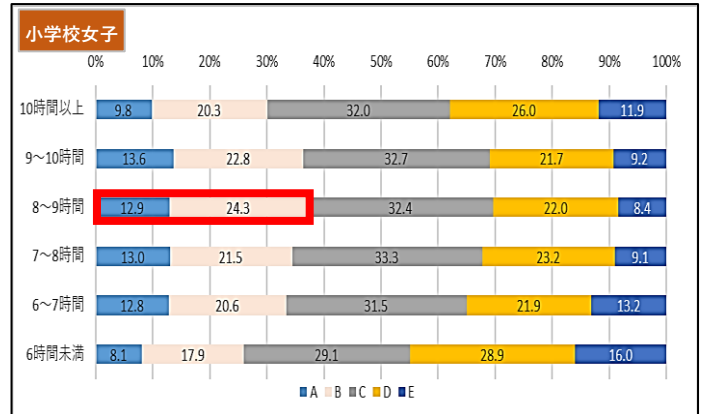
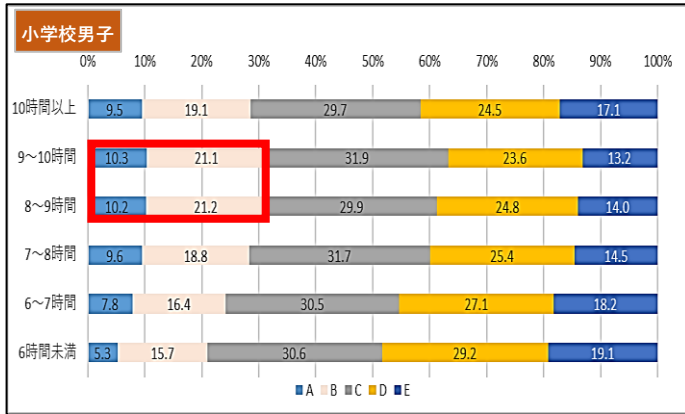
さらに、小・中学校男女ともに、平日の画面の視聴時間が長いほど、A・B群の割合が少ないことから、平日の視聴時間を1時間前後に留める必要があると考えられる。

また、小・中学校男女ともに、1週間の運動時間が60分未満の児童生徒ほど、D・E群の割合が高いことから、適切な運動時間を確保する必要がある。

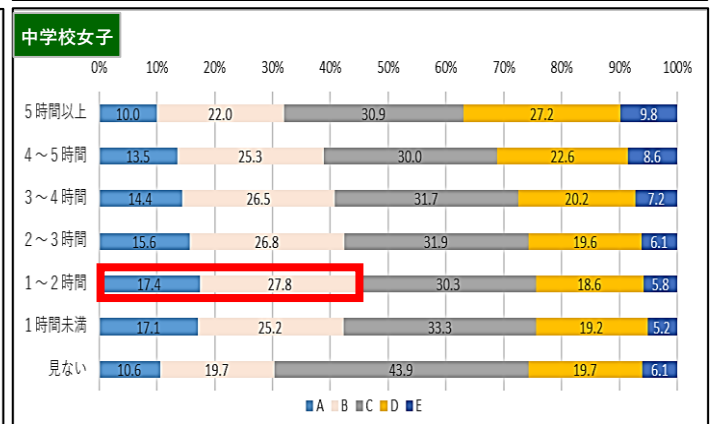
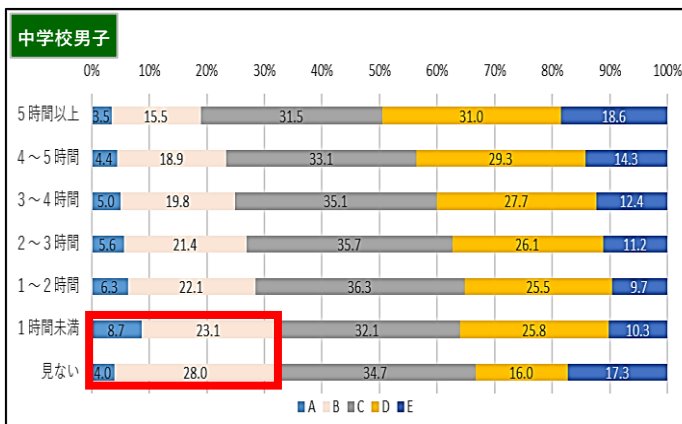
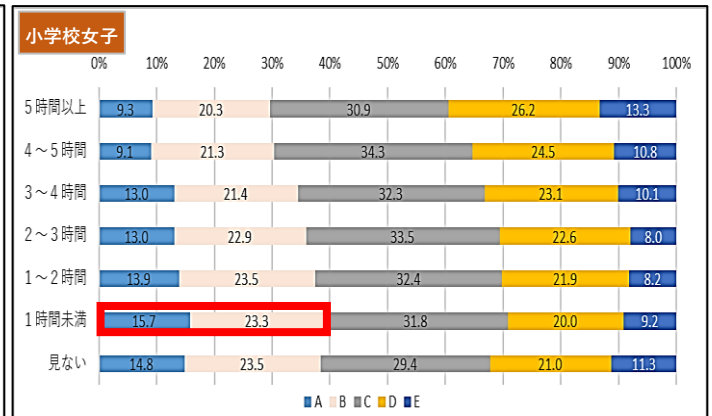
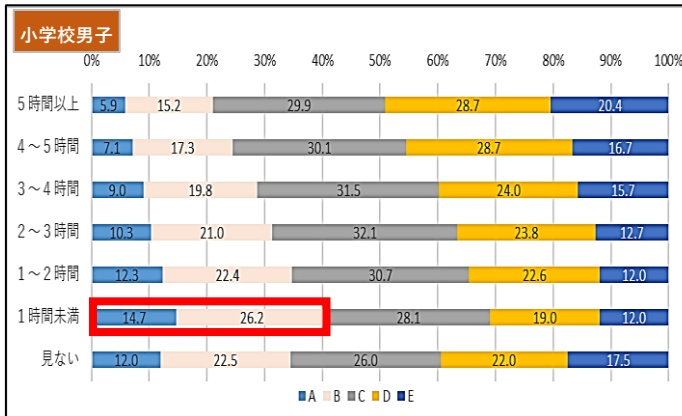
① 「朝食は毎日食べますか」という項目の回答と体力合計点総合評価の関係



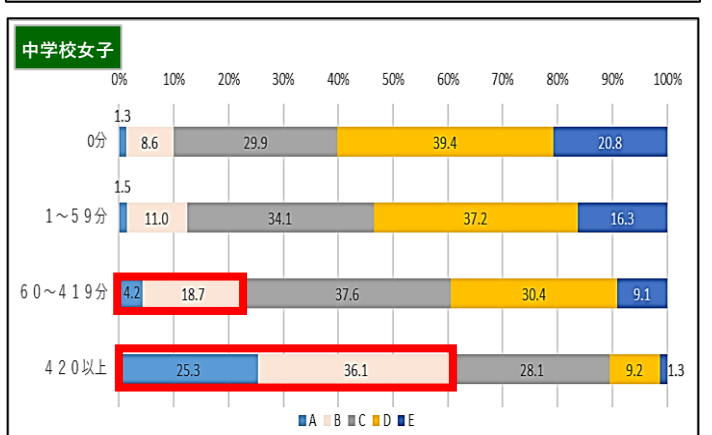
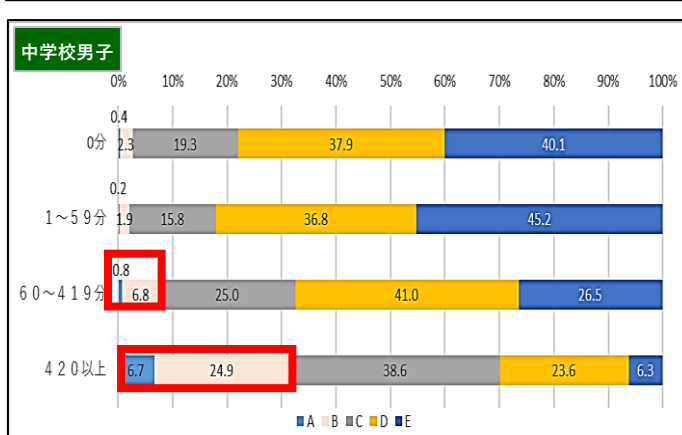
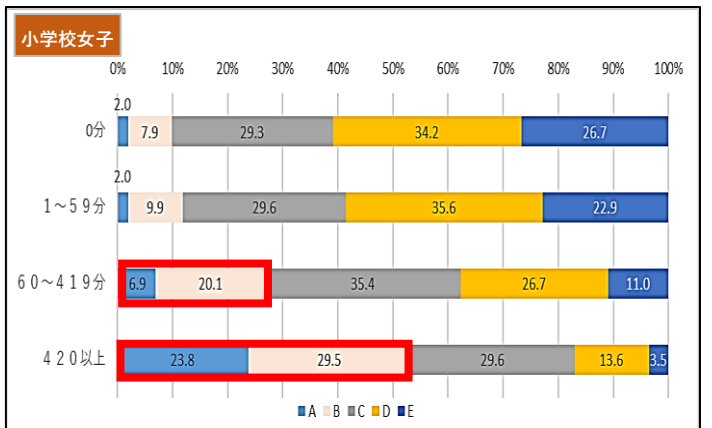
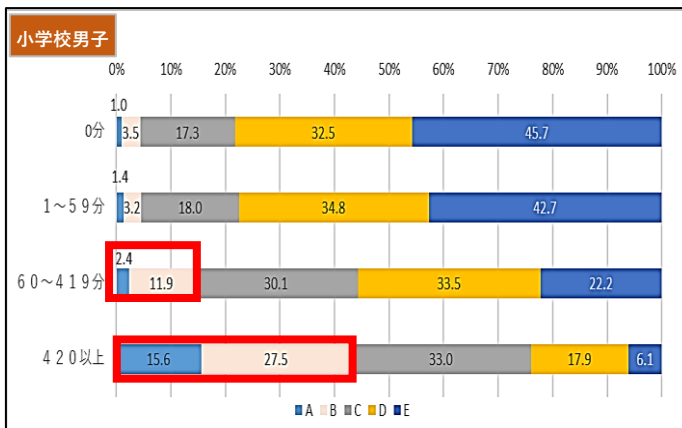
② 「毎日どのくらい寝ていますか」という項目の回答と体力合計点総合評価の関係



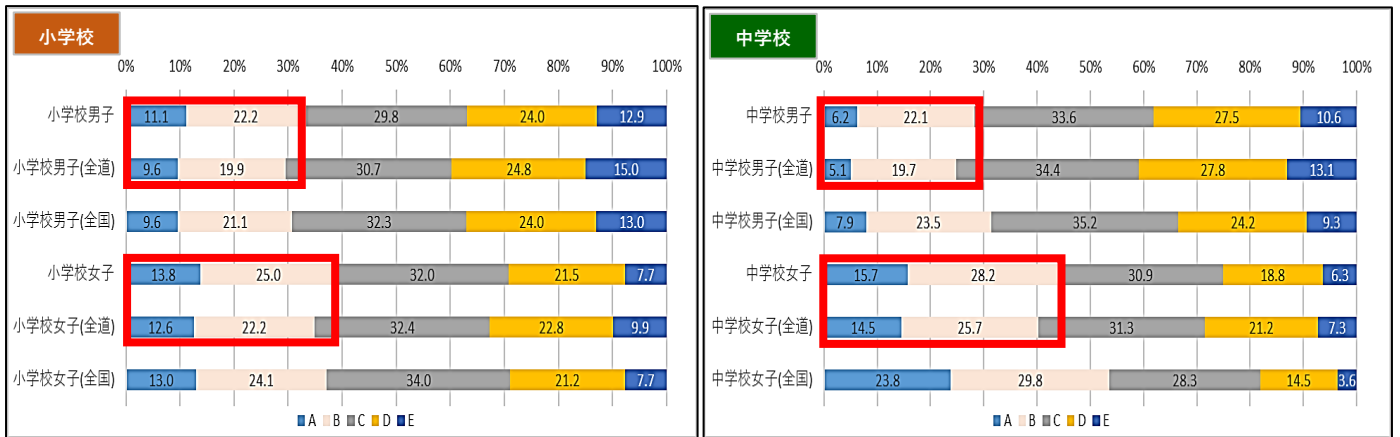
③「平日に学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか」という項目の回答と体力合計点総合評価の関係



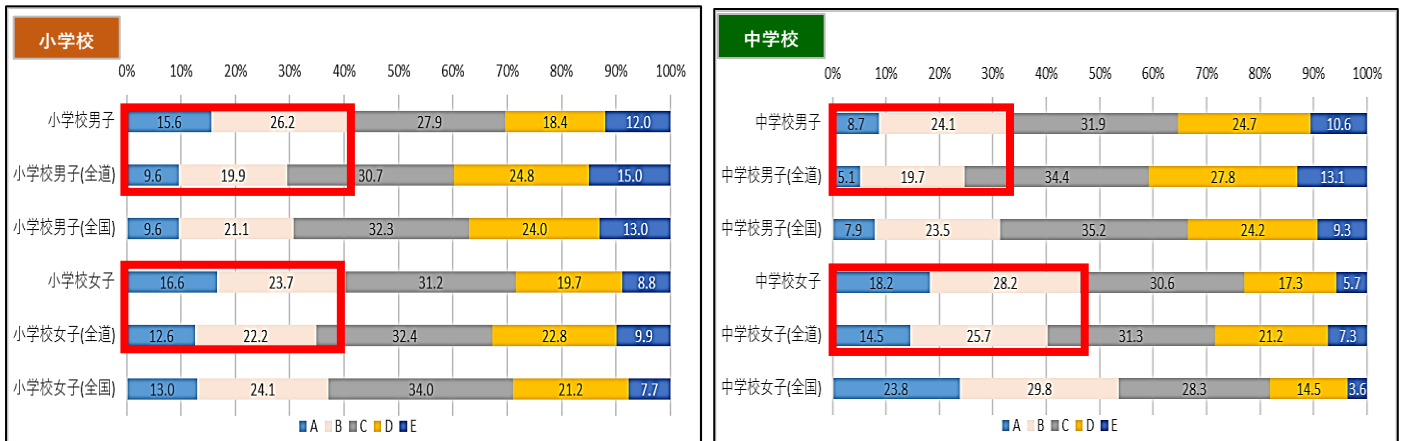
④「ふだん1週間で、学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをしていますか」という項目の回答と体力合計点総合評価の関係



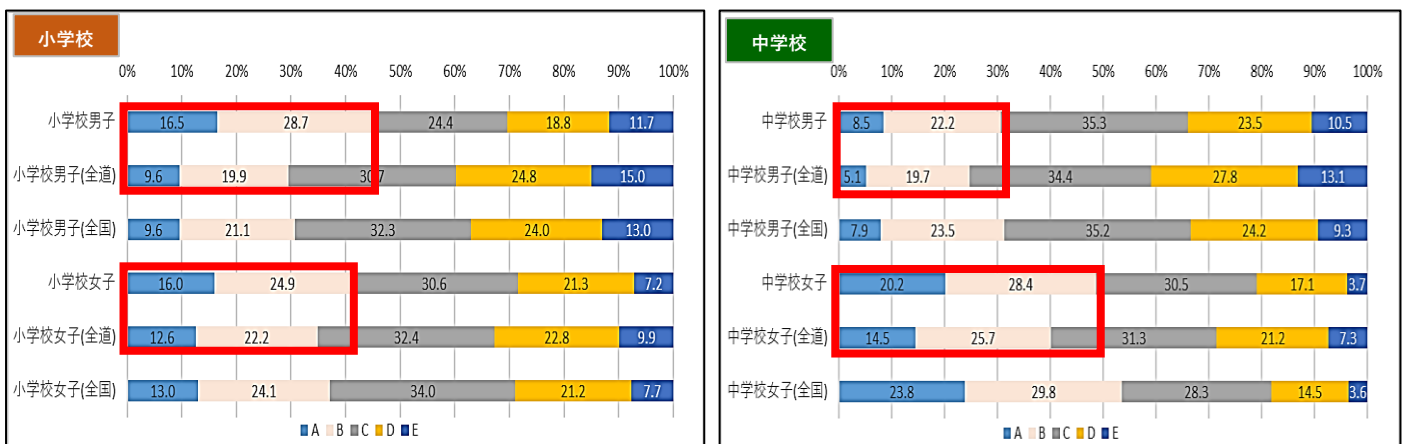
⑤ 「朝食を毎日食べる」かつ「睡眠時間が8～9時間」（中学校女子は7～8時間）と回答した群と体力合計点総合評価の関係 ※全国・全道の値は詳細な条件設定をしていない数値



⑥ 「朝食を毎日食べる」かつ「平日に学習以外で画面を見ている時間が1時間未満」（中学校女子は1～2時間）と回答した群と体力合計点総合評価の関係 ※全国・全道の値は詳細な条件設定をしていない数値

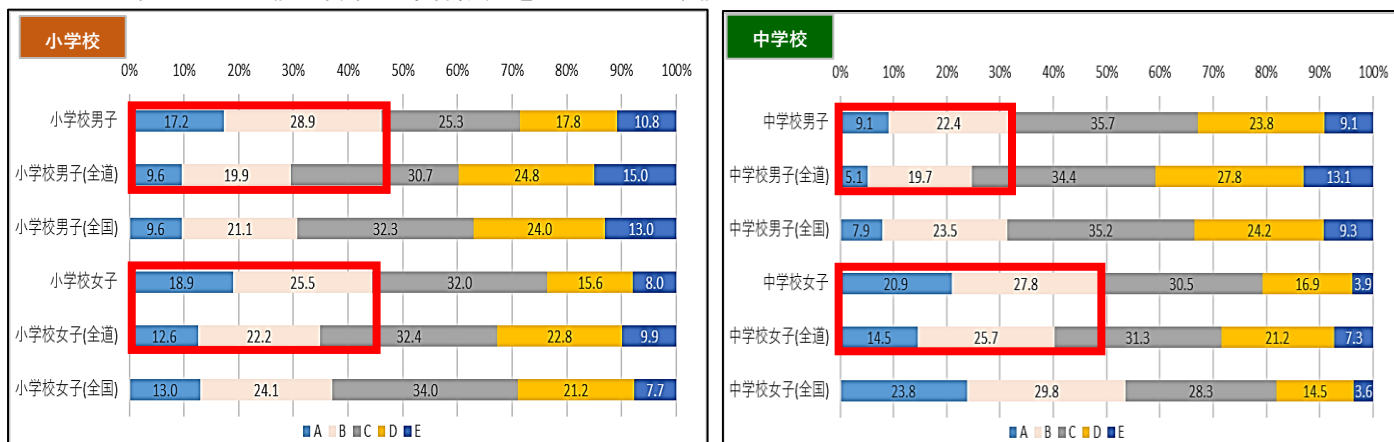


⑦ 「睡眠時間が8～9時間」（中学校女子は7～8時間）かつ「平日に学習以外で画面を見ている時間が1時間未満」（中学校女子は1～2時間）と回答した群と体力合計点総合評価の関係 ※全国・全道の値は詳細な条件設定をしていない数値



⑧「朝食を毎日食べる」かつ「睡眠時間が8～9時間」（中学校女子は7～8時間）かつ「平日に学習以外で画面を見ている時間が1時間未満」（中学校女子は1～2時間）と回答した群と体力合計点総合評価の関係

※全国・全道の値は詳細な条件設定をしていない数値



(2) 児童生徒質問紙調査の朝食の摂取状況に関わる項目と体力合計点等との関係

■ 児童生徒の朝食の摂取状況と体力合計点や体格、他の生活習慣に関わる項目との関係についての分析

- 「朝食を毎日食べている」と回答している群ほど、肥満度における「肥満」（軽度・中等度・高度含む）の体格の児童生徒の割合が低い。
- 肥満度と体力合計点総合評価の関係においては、体格が「普通」の群においては、体力合計点総合評価A・Bの児童生徒の割合が高く、朝食を毎日食べている児童生徒の割合も多い。
- 朝食を毎日食べている群においては、小学校男女で9時間前後、中学校男女で8時間前後の睡眠時間を確保している児童生徒の割合が高い。
- 朝食を毎日食べている群においては、平日の学習以外における画面の視聴時間が「5時間以上」の児童生徒の割合が低く、「2時間未満」の児童生徒の割合が多い。
- 朝食を毎日食べている群においては、1週間の運動時間が60分未満の児童生徒の割合が少ない。

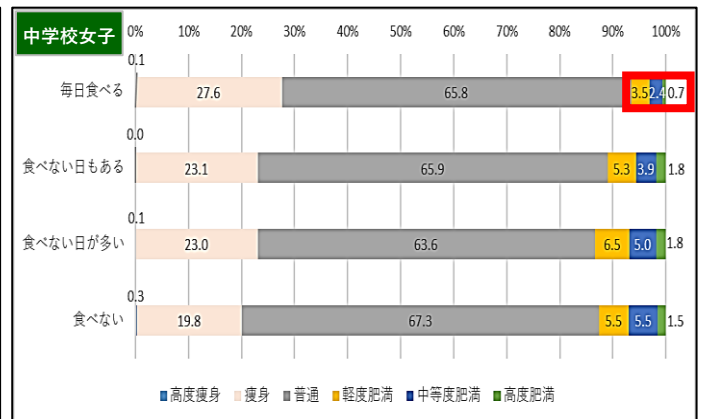
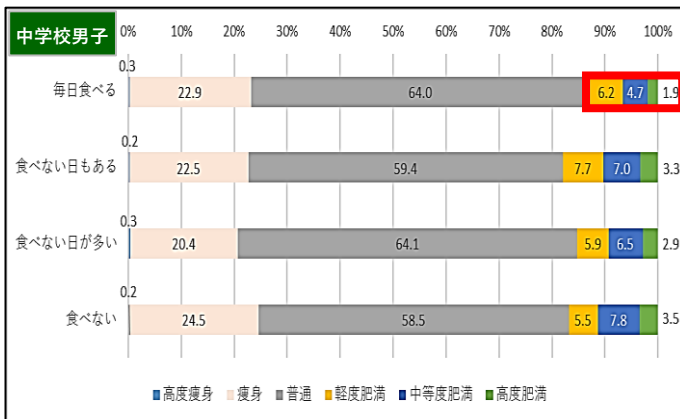
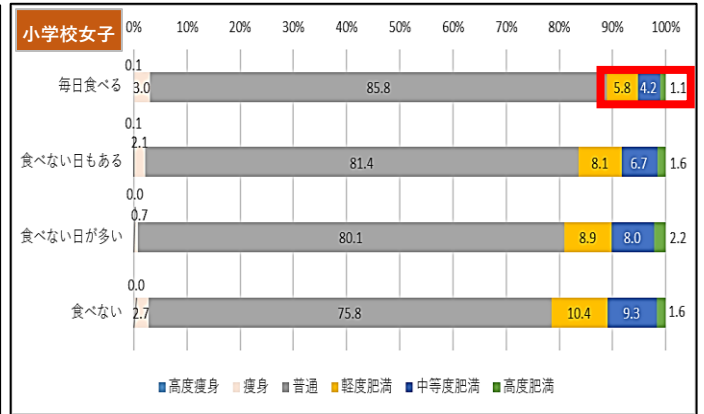
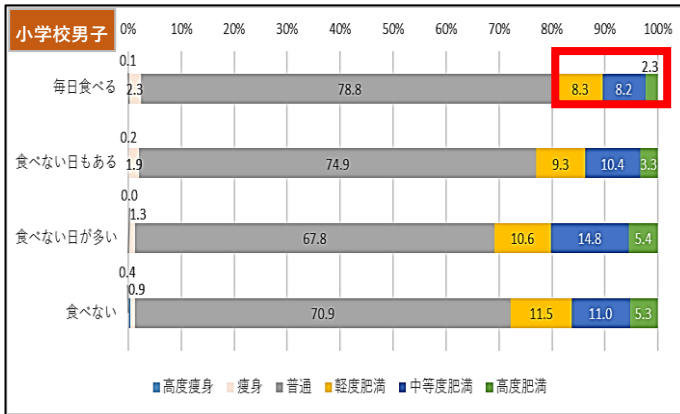
朝食を毎日食べる児童生徒は、「肥満」の割合が少なく、「普通」の体型が多く見られるとともに、体力合計点が高い傾向が見られることから、適切な時間における食事の摂取が体格はもとより、体力の向上にも影響を与えている要因の1つと考えられる。

また、朝食を毎日食べる児童生徒は、適切な睡眠時間を確保しているとともに、摂取頻度が少ない児童生徒ほど、睡眠時間が少ない傾向が見られる。

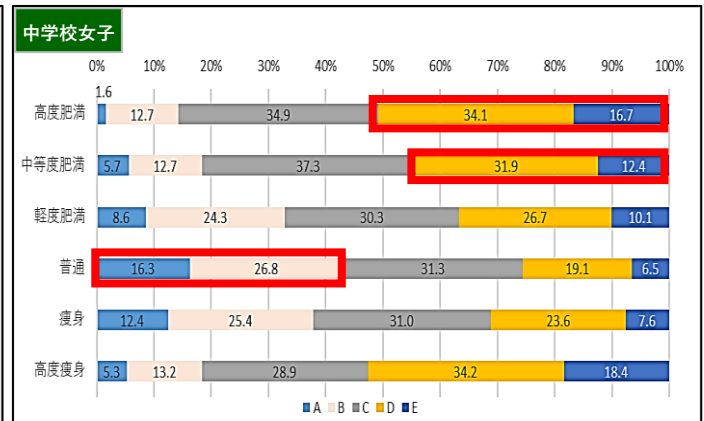
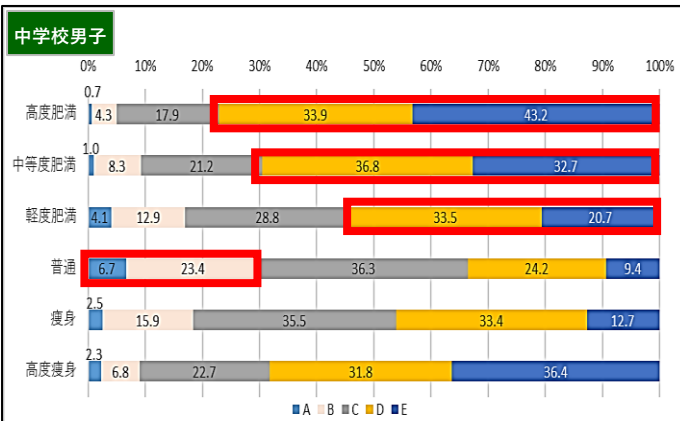
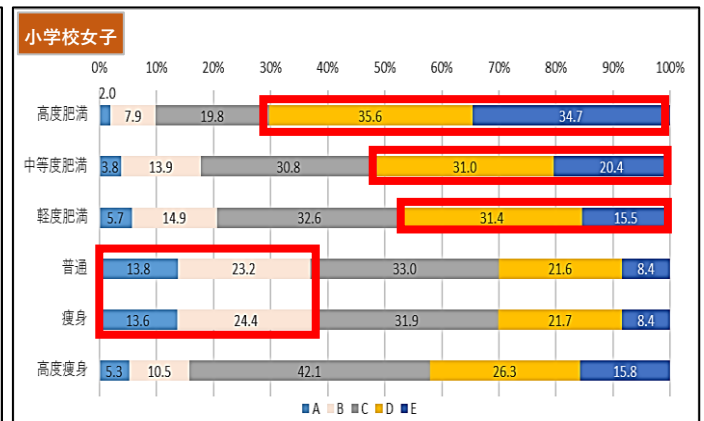
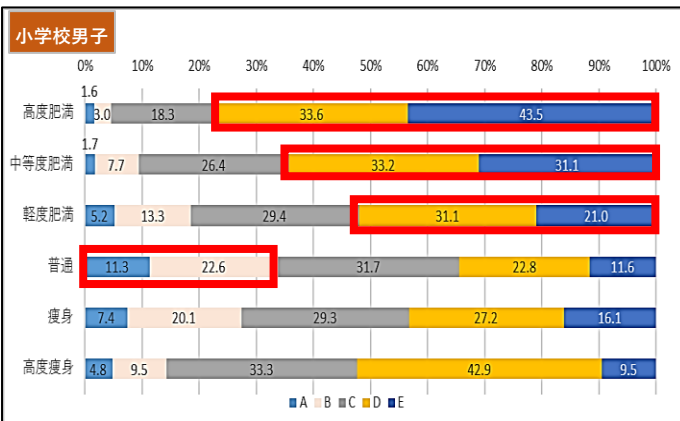
さらに、朝食を毎日食べる児童生徒は、平日の学習以外における画面の視聴時間が少なく、体育の授業以外での1週間の運動時間が長い傾向にあることから、朝食を摂取する頻度が生活リズムにも影響を与えていると考えられる。



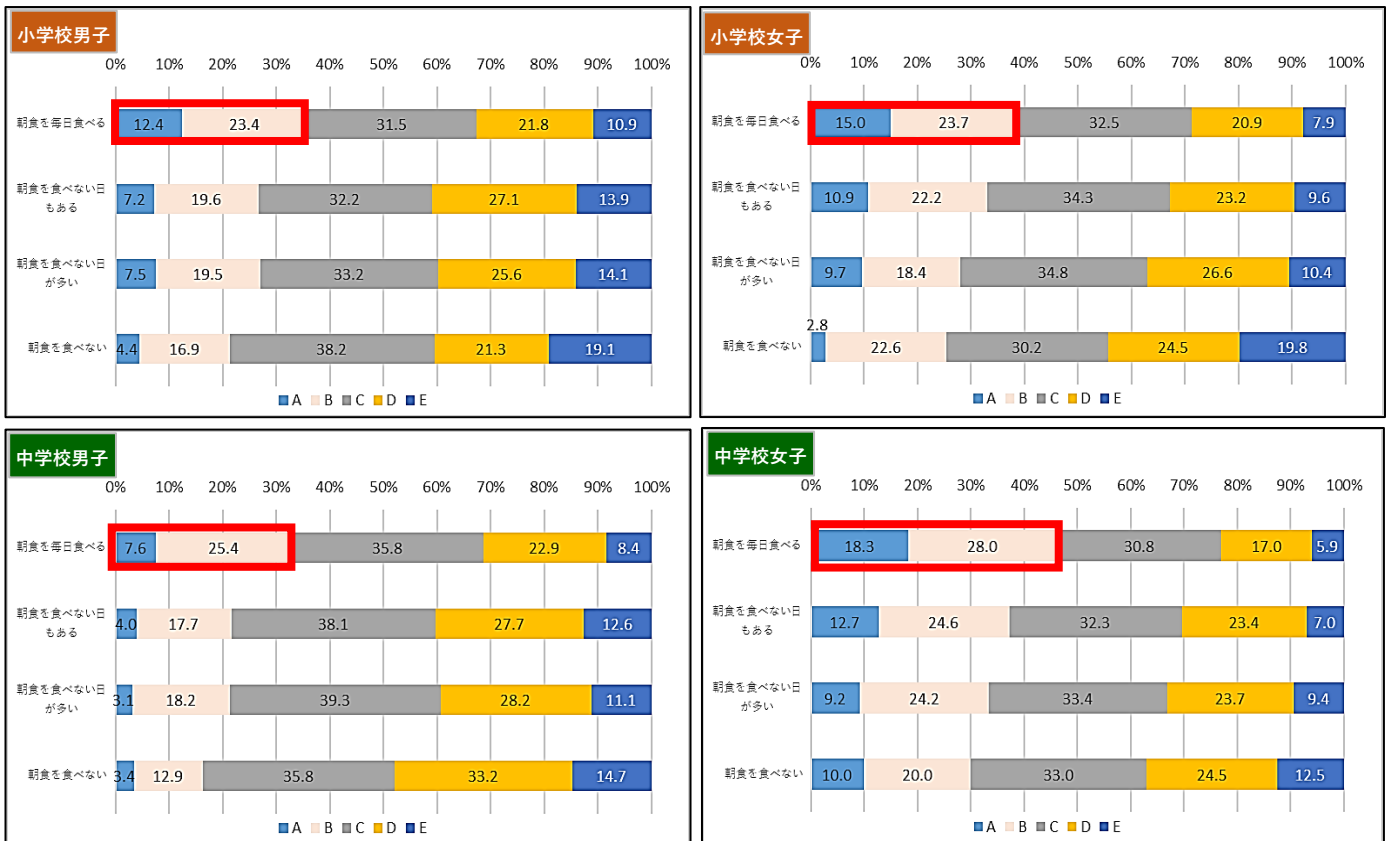
①「朝食は毎日食べますか」という項目の回答と肥満度との関係



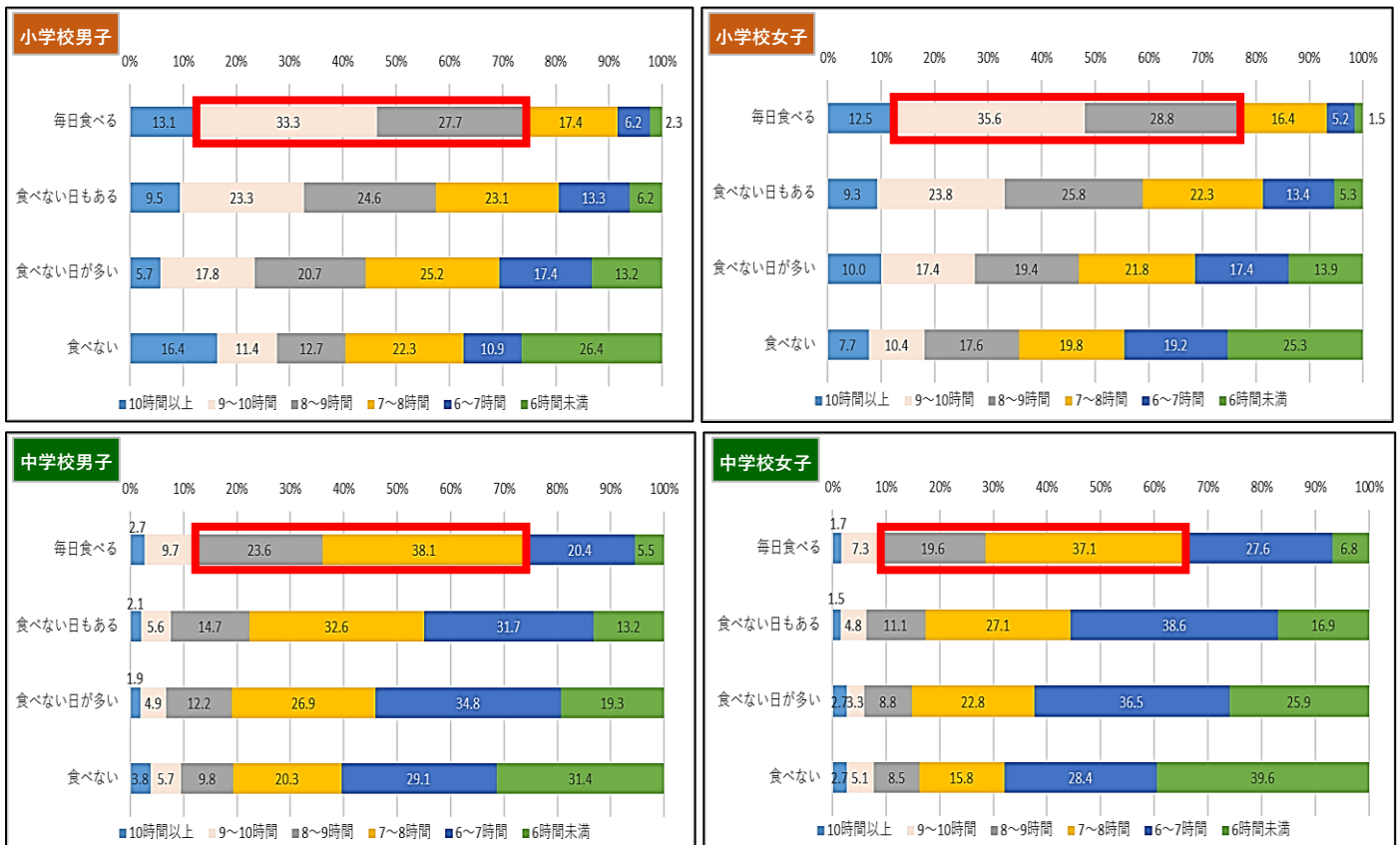
②肥満度と体力合計点総合評価の関係



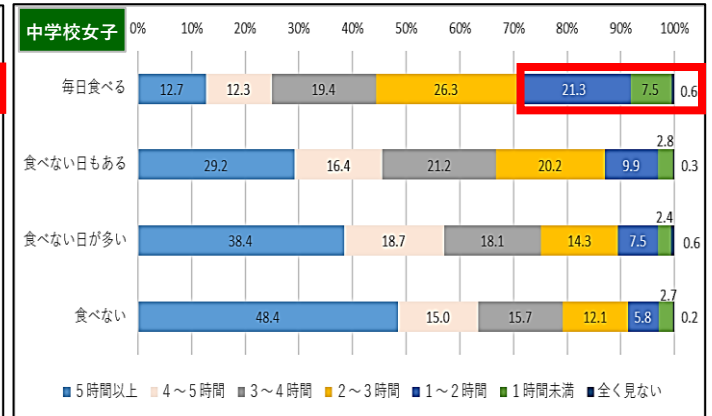
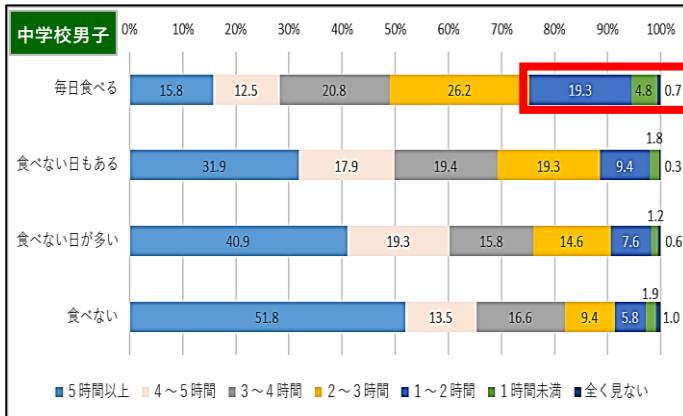
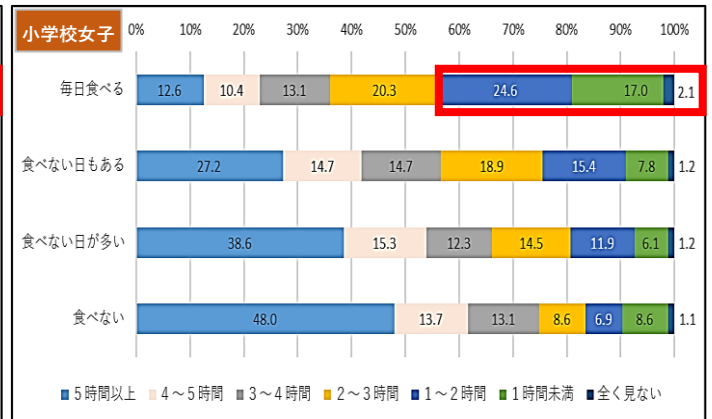
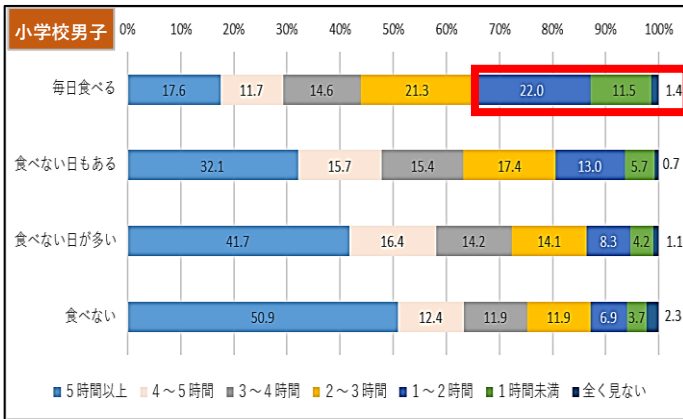
### ③肥満度が「普通」の児童生徒における朝食の摂取状況と体力合計点総合評価の関係



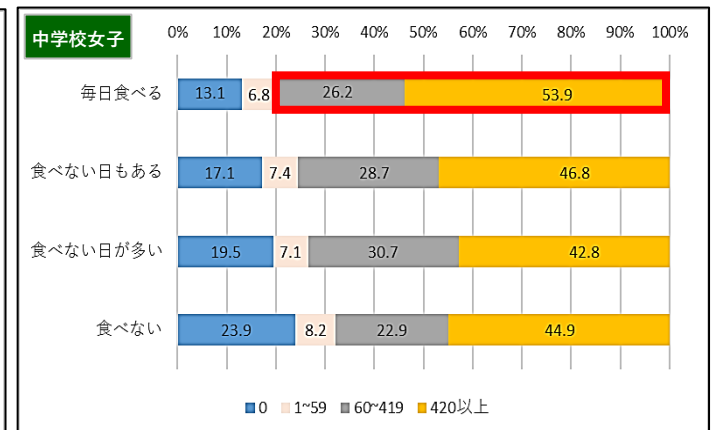
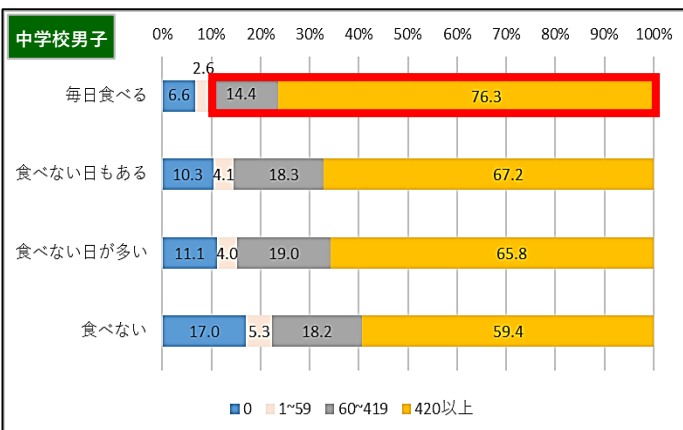
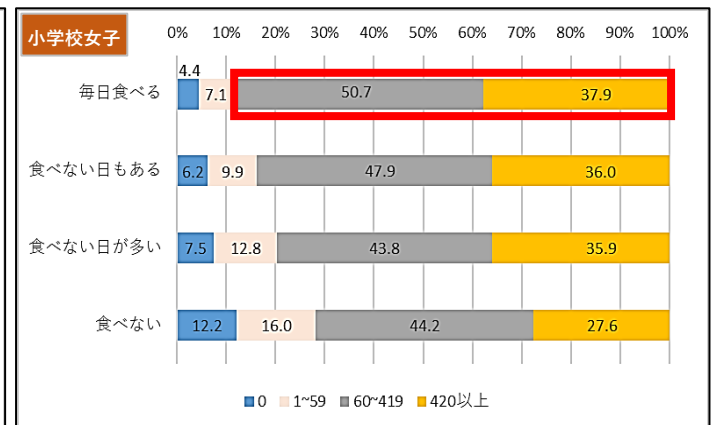
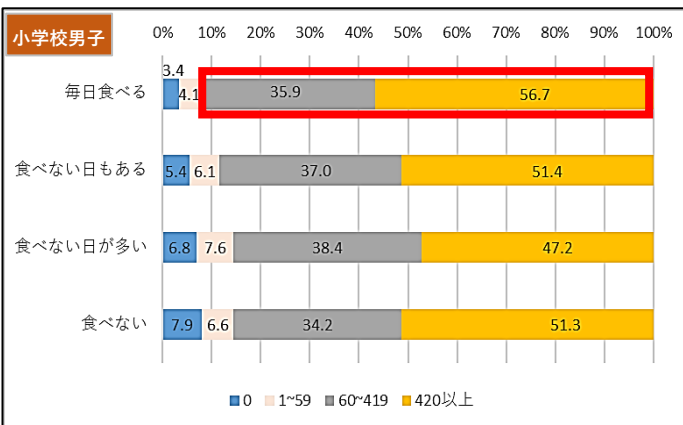
### ④「朝食は毎日食べますか」という項目の回答と睡眠時間の関係



⑤ 「朝食は毎日食べますか」という項目の回答と平日の学習以外の画面の視聴時間の関係



⑥ 「朝食は毎日食べますか」という項目の回答と運動時間の関係



(3) 児童生徒質問紙調査の運動頻度に関わる項目と体力合計点等との関係

■ 児童生徒の運動時間と体力合計点や体格、他の生活習慣に関わる項目との関係についての分析

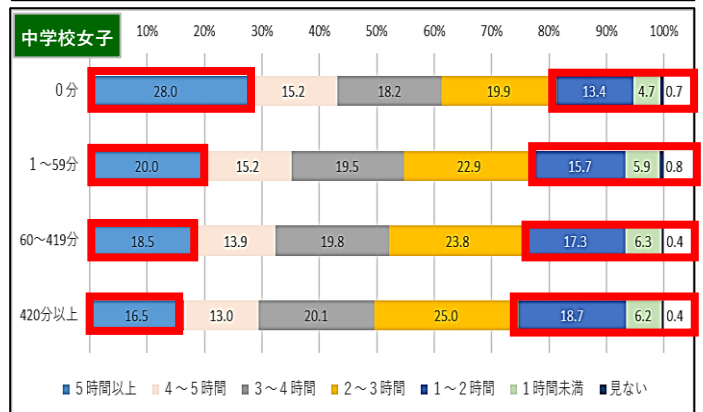
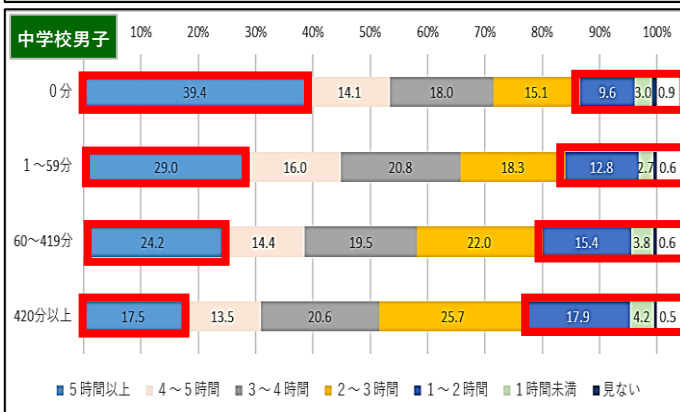
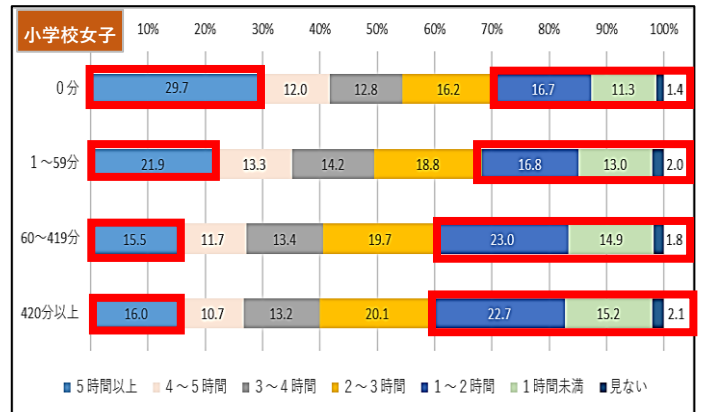
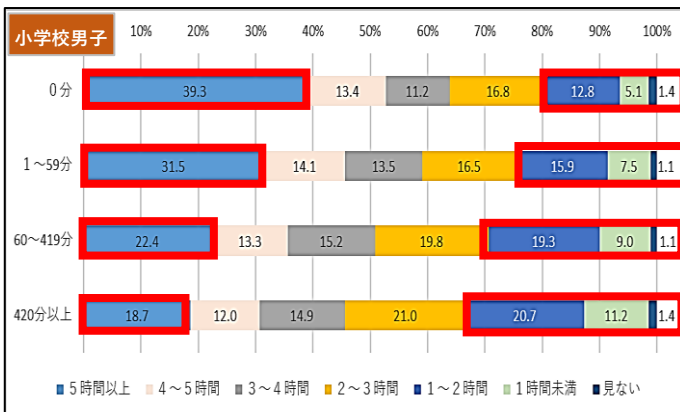
- 1週間の体育の授業以外の運動時間が長いほど、平日の学習以外の画面の視聴時間が5時間以上の児童生徒の割合が少なく、2時間以下の児童生徒の割合が多い。
- 小・中学校男女においては、1週間の体育の授業以外の運動時間が長いほど、概ね適切な睡眠時間を確保している割合が高く、肥満度が「普通」の児童生徒の割合が高い。
- 学校の運動部や部活動、地域のスポーツクラブに所属していない児童生徒において、1週間の体育の授業以外の運動時間が長いほど、「放課後や学校の休みの日に、運動やスポーツをすることがよくある・時々ある」と回答している割合が高く、「運動やスポーツが好き」と回答している児童生徒の割合が高い。

平日の学習以外の画面の視聴時間が長くなると、体力合計点と関わりのある1週間の運動時間が少なくなる傾向が見られることから、視聴時間を適切に管理する必要があると考える。

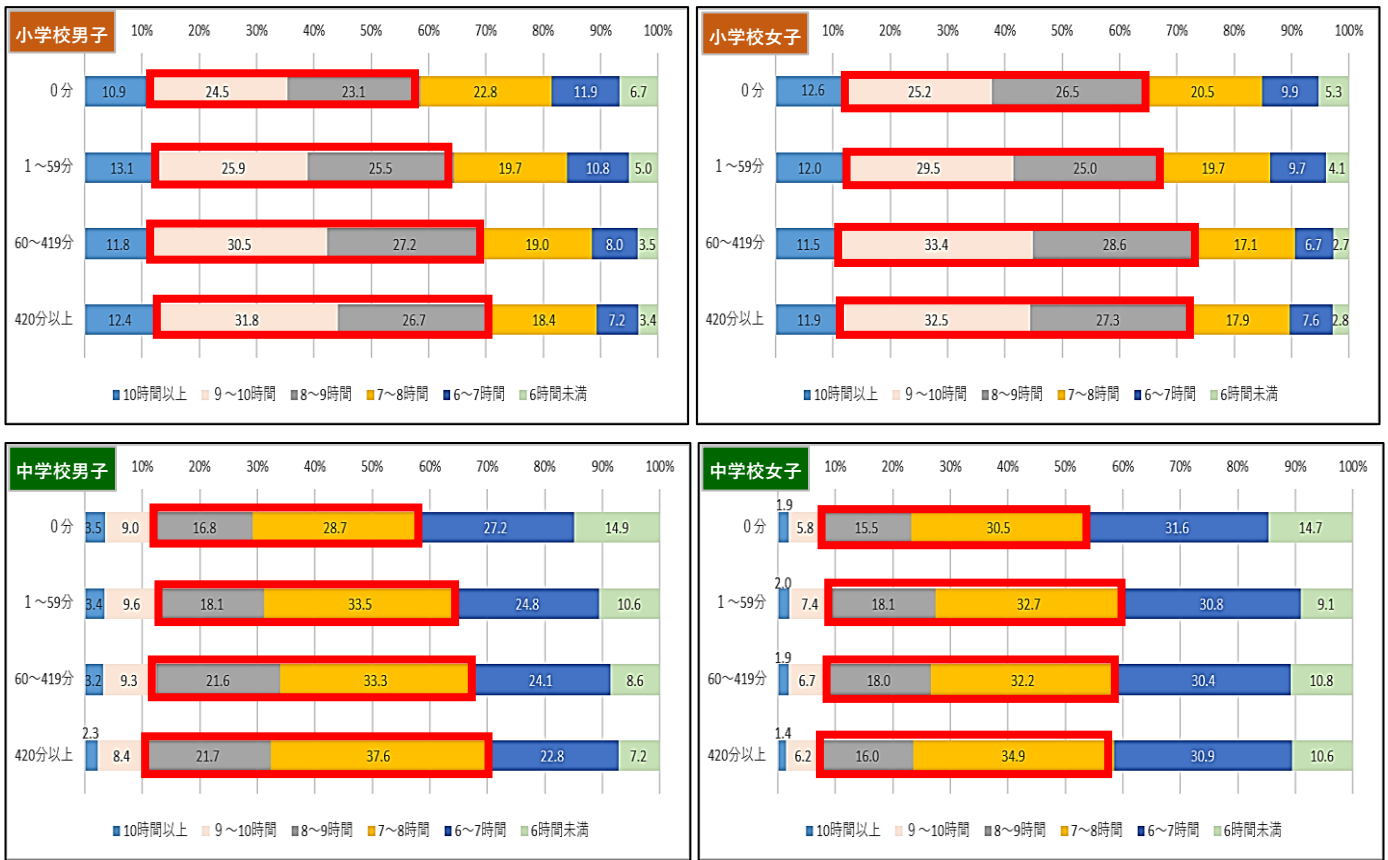
また、運動時間の長さや適切な睡眠時間や体格（肥満度）との間には、関連がある可能性が考えられることから、健やかな体の育成の観点からも適切な運動時間を確保する必要があると考える。

さらに、学校の運動部や部活動、地域のスポーツクラブに所属していない児童生徒において、運動やスポーツに対する愛好的態度が高い児童生徒ほど、放課後や学校の休みの日に運動やスポーツを行っていることから、運動時間を確保する要因の1つとして、運動に対する愛好的態度の涵養を図ることが重要であると考えます。

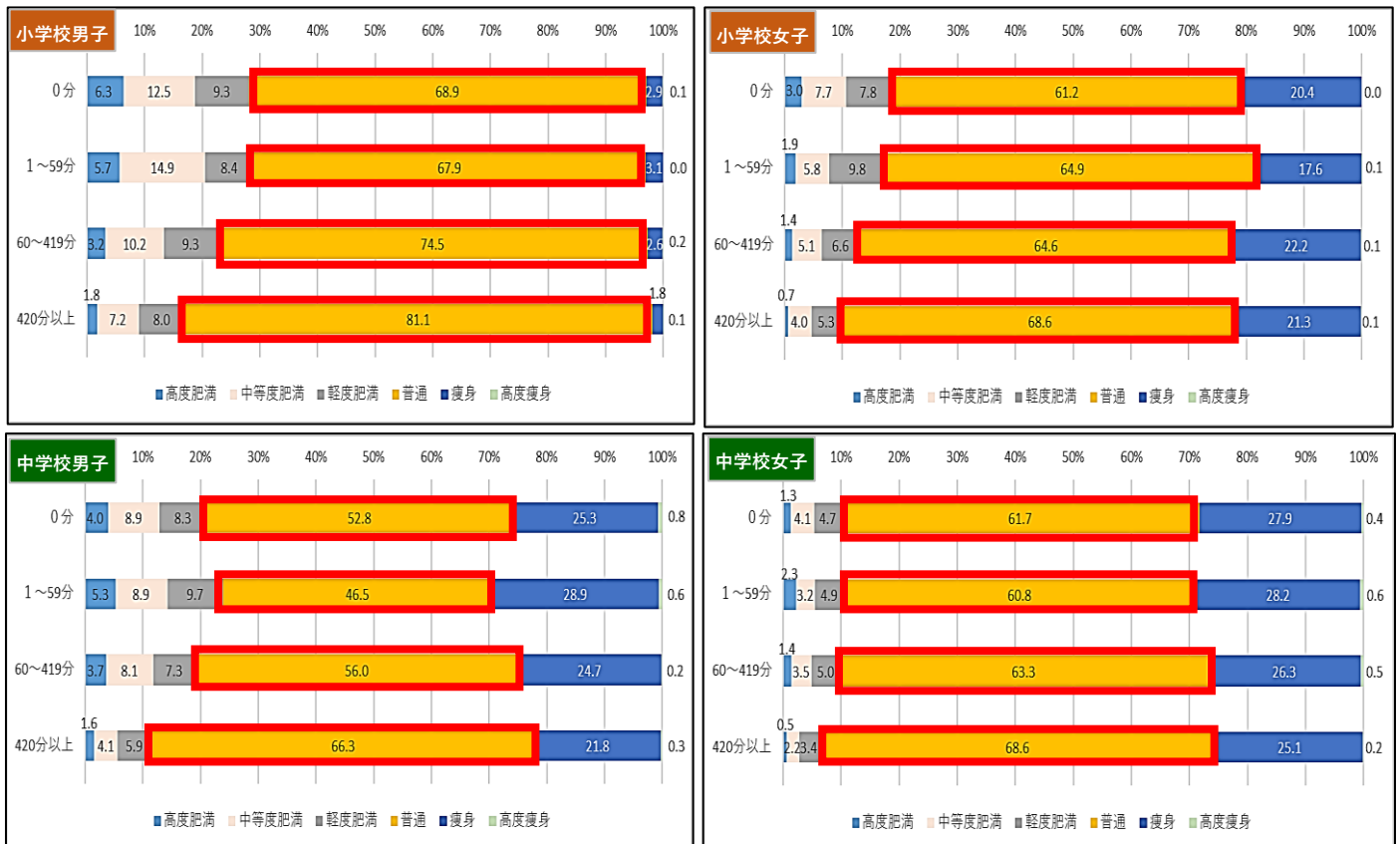
① 「ふだん1週間で、学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをしていますか」という項目の回答と平日の学習以外における視聴時間との関係



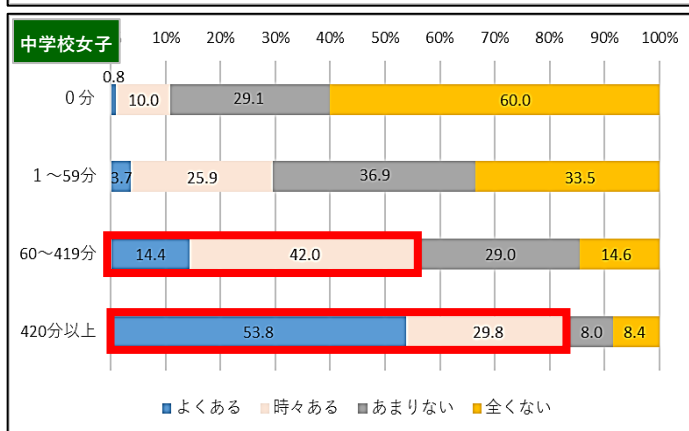
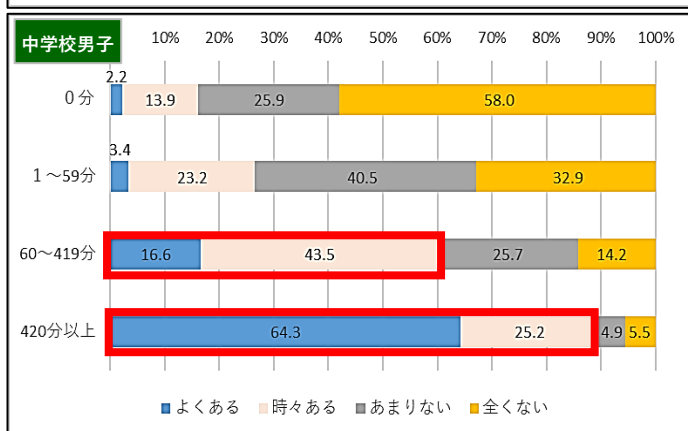
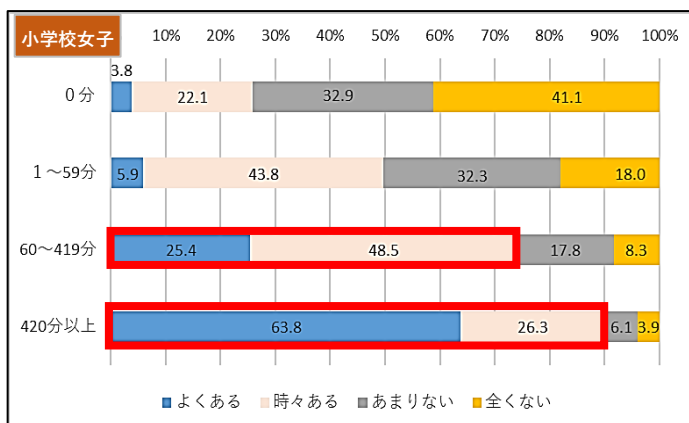
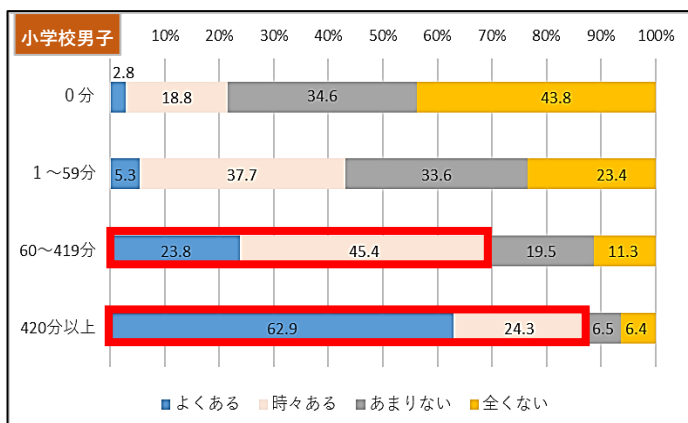
②「ふだん1週間で、学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをしていますか」という項目の回答と睡眠時間との関係



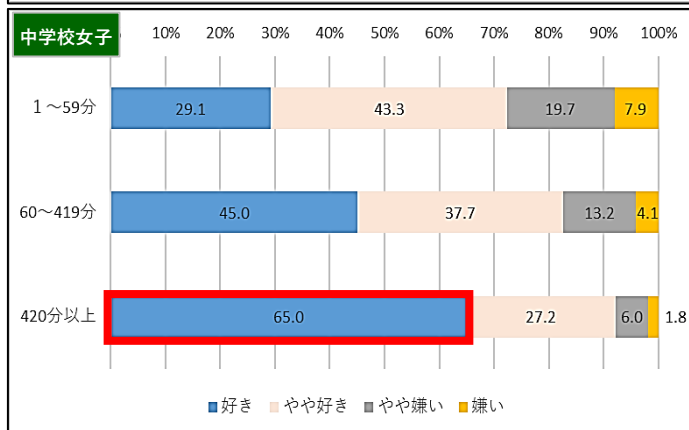
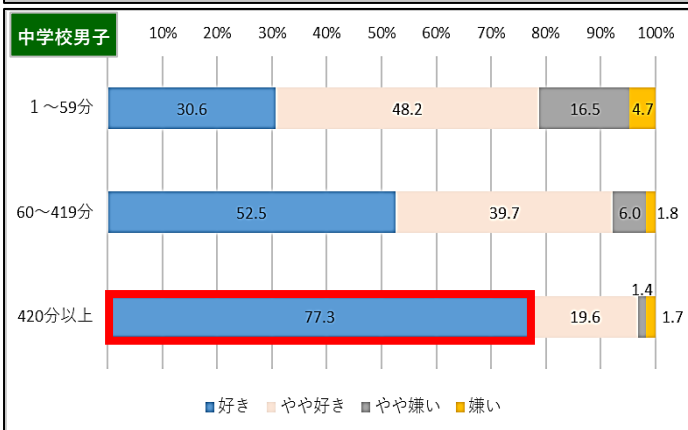
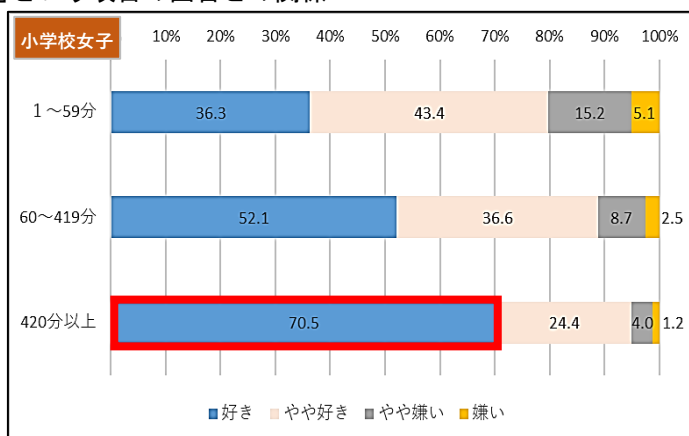
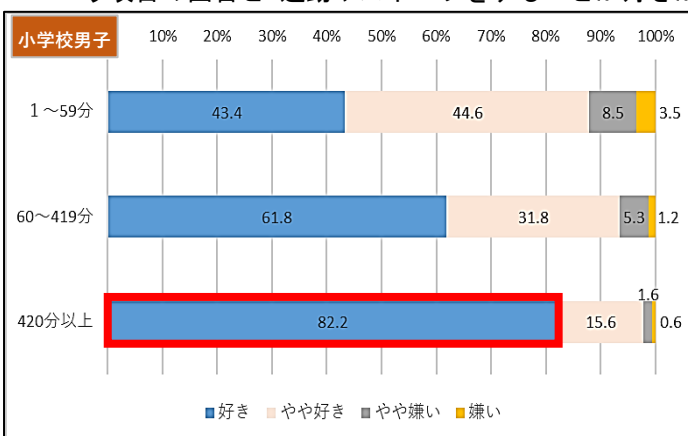
③「ふだん1週間で、学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをしていますか」という項目の回答と肥満度との関係



④学校の運動部や部活動、地域のスポーツクラブに所属していない児童生徒の「ふだん1週間で、学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをしていますか」という項目の回答と「放課後や学校の休みの日に、運動やスポーツをすることがあるか」という項目の回答との関係



⑤学校の運動部や部活動、地域のスポーツクラブに所属していない児童生徒の中で、「放課後や学校の休みの日に、運動やスポーツをすることがよくある・時々ある」と肯定的に回答している児童生徒の「ふだん1週間で、学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをしていますか」という項目の回答と「運動やスポーツをすることが好きか」という項目の回答との関係



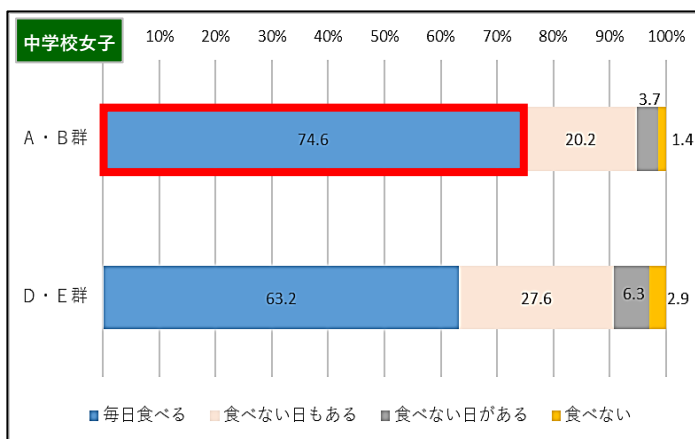
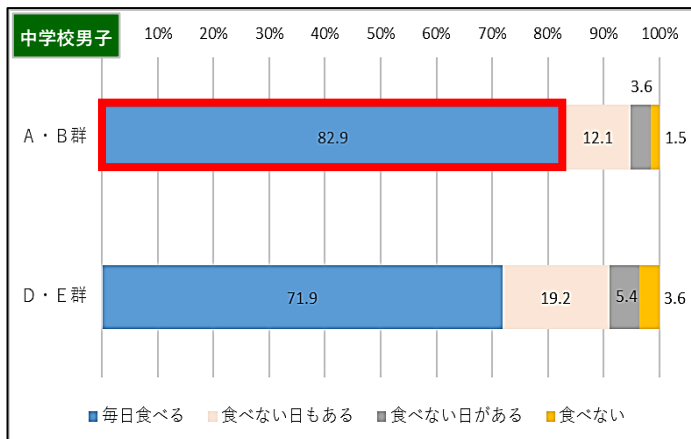
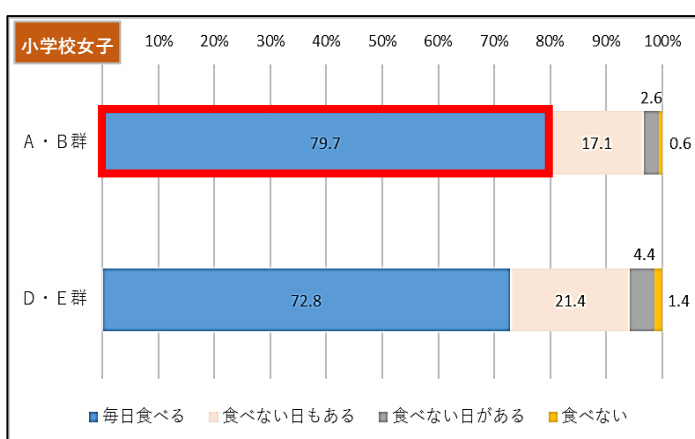
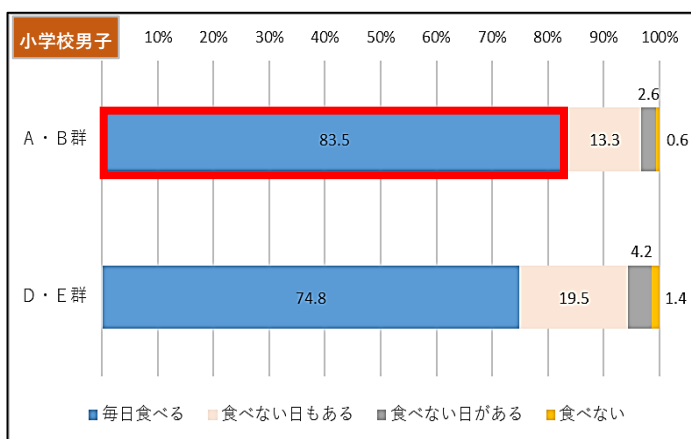
#### (4) 体力合計点と児童生徒質問紙調査の比較

### ■ 体力合計点総合評価 A・B 群と D・E 群の児童生徒質問紙調査結果の比較 による体力と生活習慣の関係についての分析

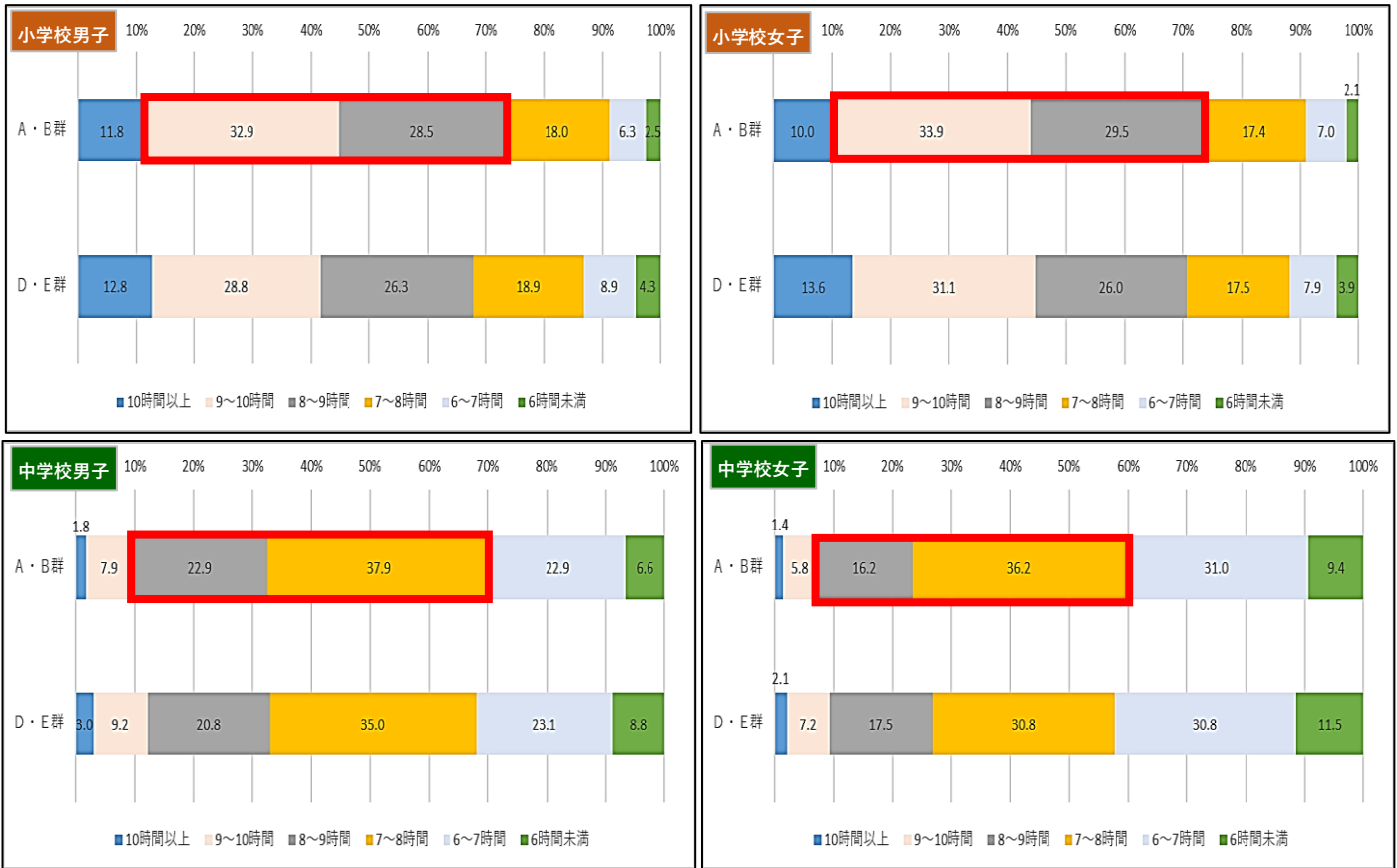
- 体力合計点総合評価 A・B 群と D・E 群の朝食の摂取状況を比較すると、A・B 群のほうが「朝食を毎日食べる」と回答している児童生徒の割合が多い。
- 体力合計点総合評価 A・B 群と D・E 群の睡眠時間を比較すると、A・B 群のほうが小学校では「9 時間前後」、中学校では「8 時間前後」と回答している児童生徒の割合が多い。
- 体力合計点総合評価 A・B 群と D・E 群の平日の学習以外の画面の視聴時間を比較すると、A・B 群のほうが「2 時間未満」と回答している児童生徒の割合が多い。
- 体力合計点総合評価 A・B 群と D・E 群の1 週間の体育の授業以外の運動時間を比較すると、A・B 群のほうが1 週間の運動時間が「60 分未満」と回答している児童生徒の割合が少ない。

体力合計点の上位層及び下位層の児童生徒質問紙調査における生活習慣の各項目を比較すると、体力合計点の上位層のほうが、全ての項目において、適切な生活習慣に該当する回答をしていることから、体力を向上させるための1つの要因として、適切な生活習慣の確立が重要であると考えられる。

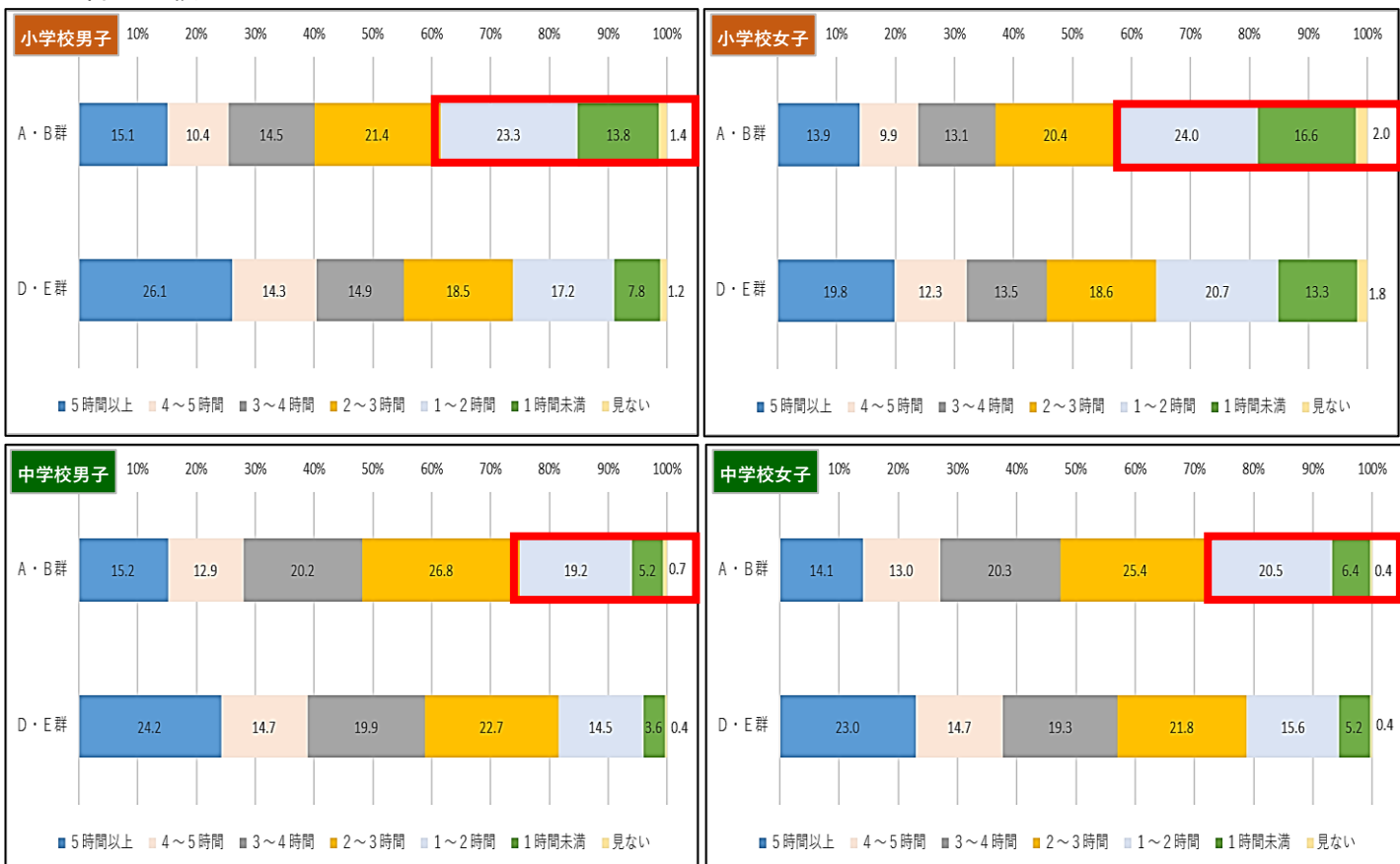
#### ① 体力合計点総合評価 A・B 群と D・E 群における「朝食は毎日食べますか」という項目の回答の比較



②体力合計点総合評価A・B群とD・E群における「毎日どのくらい寝ていますか」という項目の回答の比較

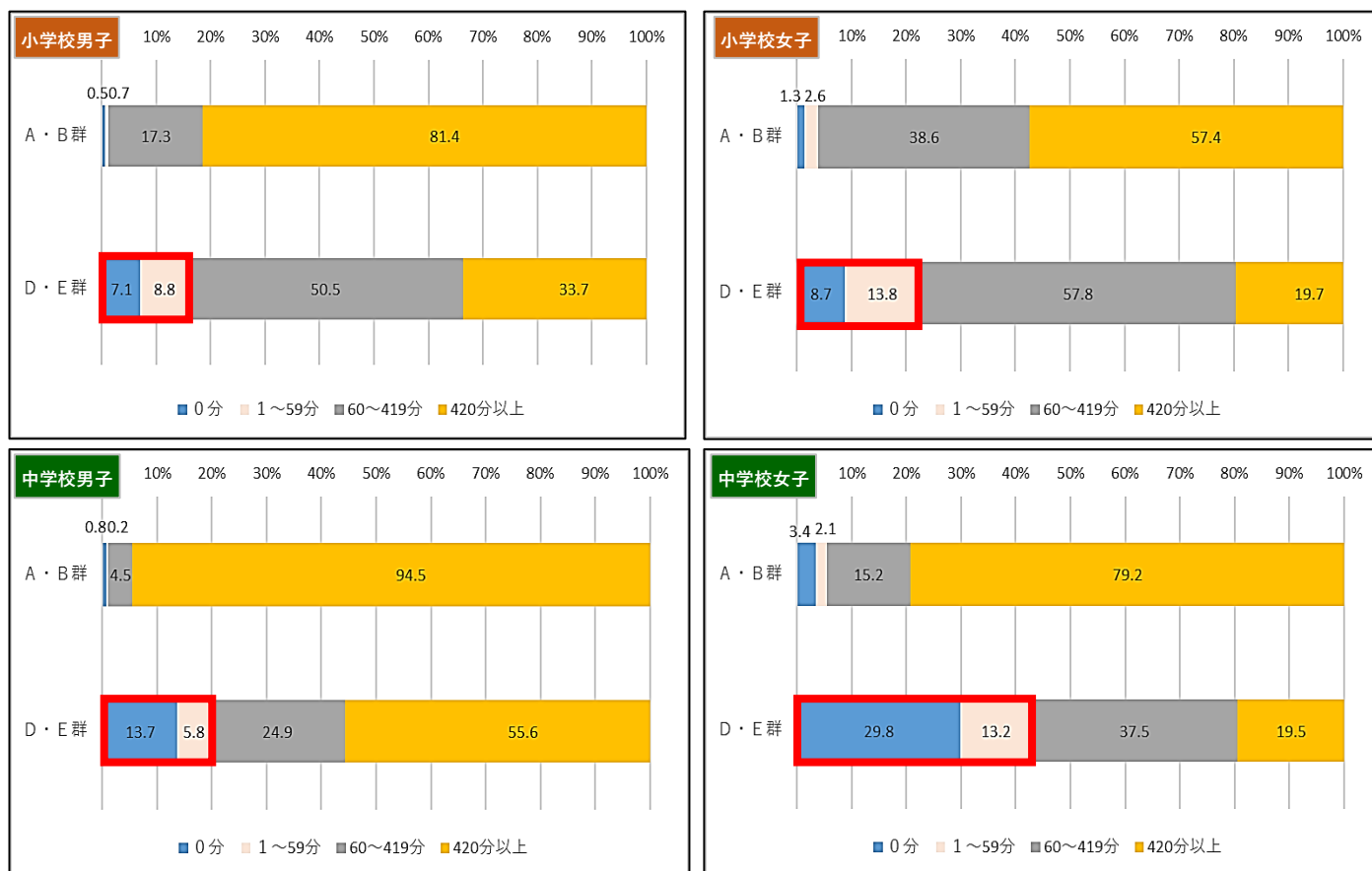


③体力合計点総合評価A・B群とD・E群における「平日に学習以外で1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか」という項目の回答の比較





④体力合計点総合評価A・B群とD・E群における「1週間に体育の授業以外で、どのくらいの時間運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをしていますか」という項目の回答の比較



## まとめ

小・中学校学習指導要領解説総則編「第3章 教育課程の編成及び実施」の「2 生きる力を育む各学校の特色ある教育活動の展開」の「(3) 健やかな体」には、「**体力は、人間の活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実に大きく関わっており、「生きる力」を支える重要な要素である。児童（生徒）の心身の調和的発達を図るためには、(中略) 健康的な生活習慣を形成することが必要である**」と示されている。

本分析結果においても、朝食を毎日食べている、平日におけるタブレット等の画面の視聴時間が1時間未満である、8～9時間の睡眠時間が確保されているなど、日常生活の中のそれぞれの習慣が、適切に確立されている児童生徒ほど、体力合計点が高い傾向が見られた。

このことから、体力向上に向け、各学校においては、児童生徒に生活習慣に係る正しい知識を理解させたり、適切な生活習慣を意識付けたりするなど、基本的な生活習慣を確立するための組織的な取組を一層充実させていくことが重要であると考えられる。

また、適切な運動習慣を形成するためには、運動やスポーツに対する愛好的態度の醸成が重要なポイントであることから、愛好的態度の醸成に向けた体育・保健体育授業における指導の工夫はもとより、学校の教育活動全体を通じて、仲間と楽しく運動する機会を確保したり、自己の課題や興味・関心に応じて日常的に運動に取り組んだりすることができる運動環境の整備を工夫する必要があると考える。

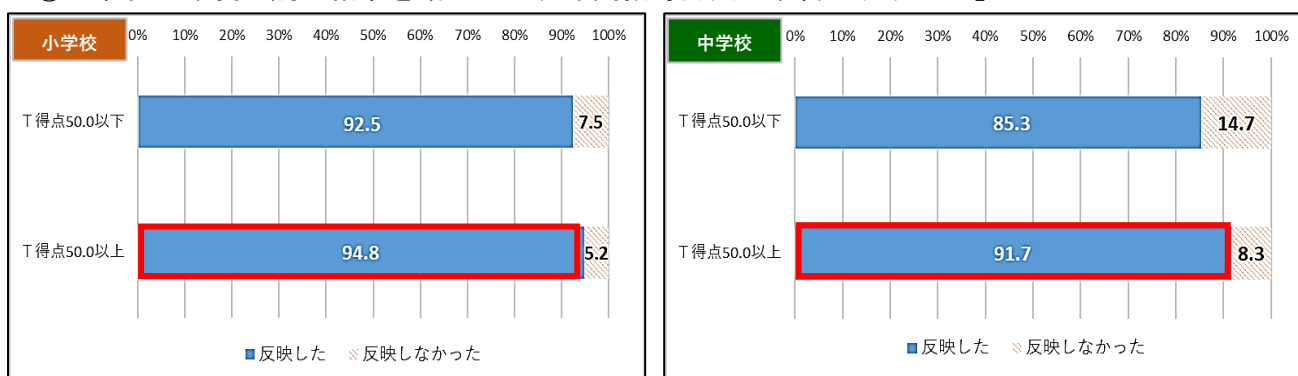
# 体力向上に向けた 学校の組織的な取組

ここでは、体力合計点と学校質問紙調査の結果から、体力合計点が全国平均以上の学校における組織的な取組の取組状況に注目した。組織的な取組を充実させている小・中学校においては、体力合計点が全国平均よりも高い傾向にあった。ポイントは次の通りである。

- Point 1 体力合計点が全国平均以上の学校においては、**昨年度の全国調査の結果を踏まえ、年間指導計画の改善**を図ったり、**授業等を工夫・改善**したりしている割合が高い。
- Point 2 小学校の体力合計点が全国平均以上の学校においては、「**苦手（嫌い）な傾向がある児童向けの取組、または能力差に応じた取組を行った**」と回答している割合が高い。
- Point 3 中学校の体力合計点が全国平均以上の学校においては、特に、「**体育授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った**」、「**苦手（嫌い）な傾向がある生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行った**」と回答している割合が高い。

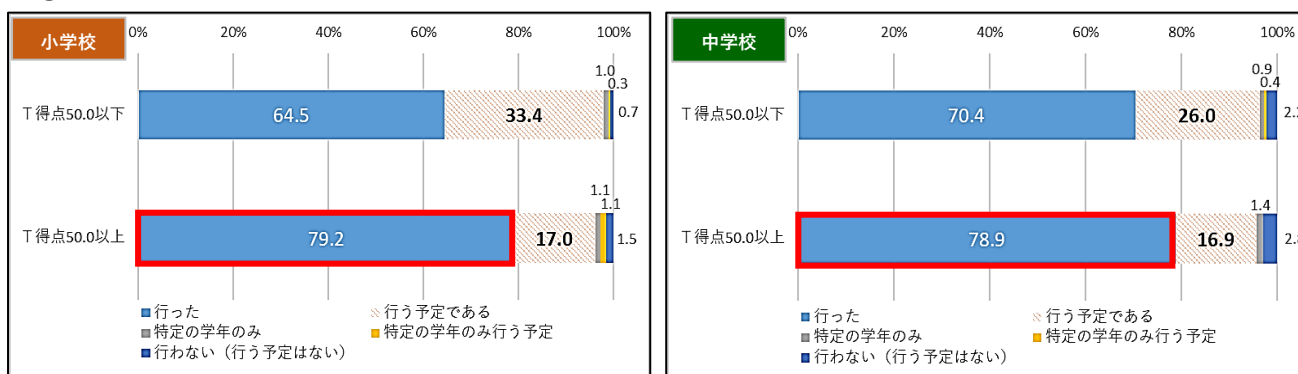
体力合計点が全国平均を上回っている学校においては、下回っている学校と比較し、「令和3年度の調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映した」と回答している割合が、小学校で2.3ポイント、中学校で6.4ポイント高い結果であった。

## ① 「令和3年度の調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映した」



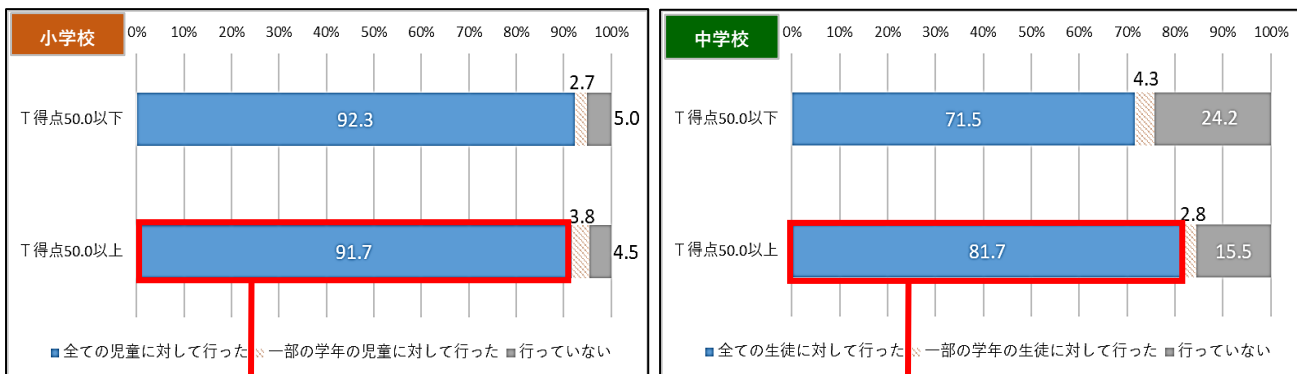
また、「令和3年度の調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答している割合が、小学校で14.7ポイント、中学校で8.5ポイント高い結果であった。

## ② 「令和3年度の調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」

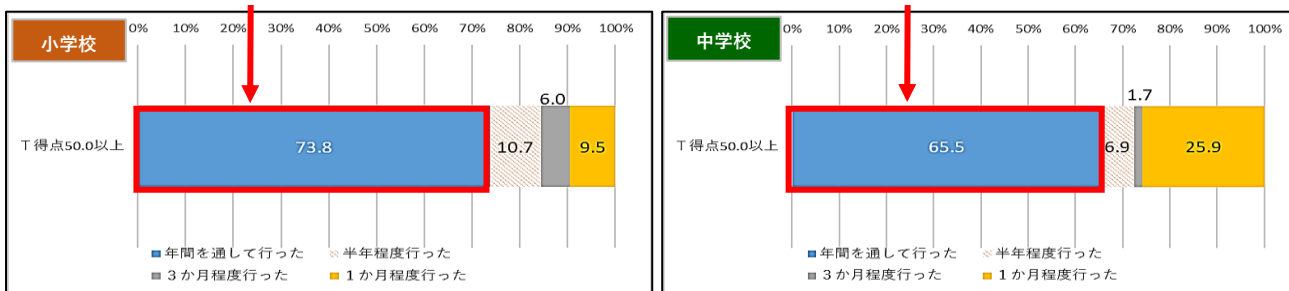


次に、体力合計点が全国平均を上回っている学校と下回っている学校における「全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った」という項目の回答状況を比較すると、小学校においては、「行った」学校の割合はほぼ同等であるのに対し、中学校においては、全国平均を上回っている学校の方が10.2ポイント高い結果であった。

③「全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った」



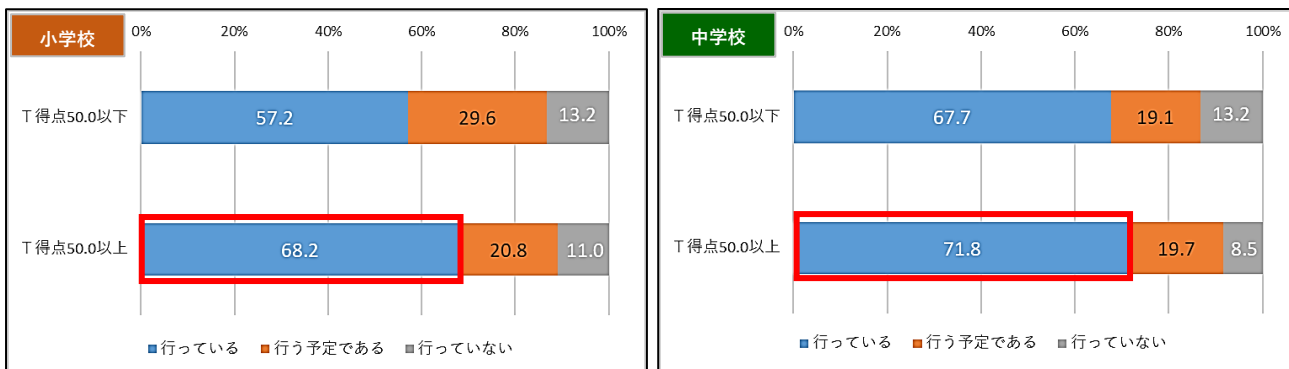
④「全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組をどのくらいの期間行ったか」



また、体力合計点が全国平均を上回っている学校の多くは、「年間を通して取組を行っている」と回答していることから、成果を上げている学校では、年間を通して計画的・継続的に体力向上に向けた取組を推進している傾向が見られる。

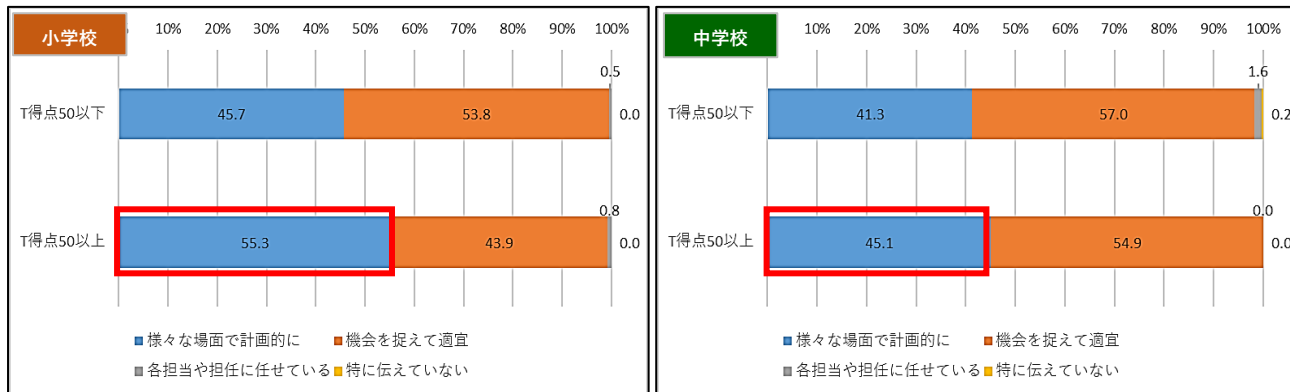
続いて、「運動やスポーツが苦手（嫌い）な傾向がある児童生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を現在行っている」という項目の回答状況を比較すると、小学校においては、全国平均を上回っている学校の方が11.0ポイント高く、中学校においては、4.1ポイント高い結果であった。

⑤「運動やスポーツが苦手（嫌い）な傾向がある児童生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を現在行っている」



最後に、「健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）の大切さを、児童生徒に伝えていますか」という項目の回答状況を比較すると、小学校において、全国平均を上回っている学校の方が9.6ポイント高く、中学校において、3.8ポイント高い結果であった。

⑥「健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）の大切さを、児童生徒に伝えていますか」



## まとめ

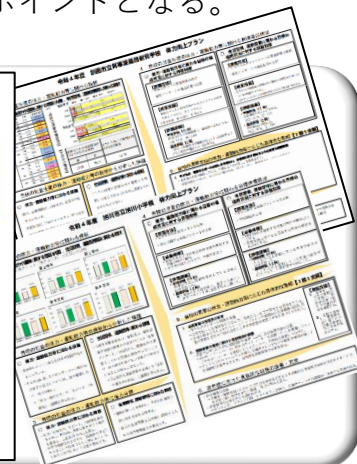
小・中学校学習指導要領解説総則編「第3章 教育課程の編成及び実施」の「2 生きる力を育む各学校の特色ある教育活動の展開」の「(3) 健やかな体」には、「各学校において、**体育・健康に関する指導を効果的に進めるためには、全国体力・運動能力、運動習慣等調査などを用いて児童生徒の体力や健康状態等を的確に把握し、学校や地域の実態を踏まえて、それにふさわしい学校の全体計画を作成し、地域の関係機関・団体の協力を得つつ、計画的、継続的に指導することが重要である。**」と示されている。

本分析結果においても、全国調査の結果などの客観的なデータを活用し、児童生徒の現状や課題、自校の取組の進捗状況を把握し、次年度の取組に反映させるなど、**検証改善サイクルを確立**している学校のほうが、児童生徒の体力・運動能力の向上につながっている傾向がみられる。このことから、新体力テスト分析ツールを活用して、より詳細に自校の児童生徒の体力・運動能力に係るよさや可能性、課題を把握したり、各学校の実態を踏まえた全体計画や体力向上プランを作成して全教職員で共有し、共通理解を図ったりした上で、児童生徒が主体的に運動に取り組む運動機会を創出したり、運動環境を整備したりするなど、**組織的・計画的に取組を進めていくことが体力・運動能力の向上に向けた重要なポイントとなる。**

### ★ 体力向上プラン ★

右の実践概要報告集には、小学校体育専科教員等配置校における検証改善サイクルを生かした体力向上に向けた組織的な取組をまとめた「体力向上プラン」が掲載されておりますので、各学校の計画的・組織的な取組の充実に向け、ぜひ参考にしてください！

(令和5年(2023年)3月31日付け事務連絡)



## Ⅲ 北海道の体力向上の取組に関する改善の方向性

ここでは、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本道の実技調査及び質問紙調査の結果について、全国平均や上位の都府県の結果と比較・分析した結果に基づいた改善の方向性や具体的な取組事例等を掲載しています。

各市町村教育委員会及び学校においては、本資料を参考にし、体育・保健体育の授業改善や体育・保健体育授業以外の取組の改善・充実を図るなど、児童生徒の体力向上に向けた取組の更なる充実に向け、御活用ください。

# 1 体育・保健体育授業の改善・充実に向けた取組の方向性

## 北海道の体育・保健体育授業における現状と課題

※令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より

### 【本道の現状】

- 体育の授業が楽しいと感じている児童生徒の割合が全国平均よりも高い。
- 小・中学校ともに、
  - ・前年度の調査結果を踏まえて授業等を工夫・改善
  - ・授業の冒頭に目標を提示
  - ・授業の最後に学習内容の振り返り
  - ・助け合ったり、役割を果たしたり、話し合ったりする活動を設定している
 と回答している学校の割合が全国平均よりも高い。

### 【本道の課題】

- 体育の授業に進んで取り組んでいる児童生徒の割合が全国平均よりも低い。
- 授業の中で、
  - ・目標(ねらい・めあて)を意識した学習
  - ・自分に合った練習方法を選択
  - ・友達と助け合ったり、教え合ったりする活動
 により、「できたり、分かたり」することがあると実感している児童生徒の割合が全国平均よりも低い。

### これからの授業改善の方向性

### 児童生徒が「できる」、「わかる」を一層実感することができる授業の実現に向けて

- ・体力向上プラン等による現状把握及び授業改善の方向性の共有
- ・授業の中でICT機器を効果的に活用するなどして、自己の課題に応じて主体的に練習に取り組んだり、友達と関わりながら課題を解決したりする機会の意図的・計画的な設定

### 年度当初には…

- ・客観的なデータ（新体力テスト、児童生徒アンケート、学校評価、キャリアパスポートなど）を基にして、児童生徒の体力・運動能力の状況や授業改善の状況を把握
- ・「体力向上プラン」などを作成・活用し、全教職員で現状や課題、解決に向けた方向性を共有

「体力向上プラン」による検証改善サイクルの確立（※詳細はP80の実践概要報告集を参照）

年度当初における組織体制の整備

#### 1 自校の児童生徒の体力・運動能力等に関わる現状

○ 体力・運動能力や運動に関する意識(内面)、生活習慣、運動習慣等に関わる現状

項目	H27	H28	H29	H30	RE	RI
体力	58.2	48.9	58.3	59.8	58.4	47.2
上肢起こし	47.6	39.9	55.5	46.6	53.8	54.3
長座体前屈	46.7	39.4	52.0	46.2	48.2	47.2
反復横跳び	45.8	40.0	52.8	50.1	48.6	46.1
20mシャトルラン	43.2	29.9	48.6	34.3	47.0	49.2
50m走	50.9	49.2	47.7	49.3	45.3	49.1
立ち幅跳び	49.7	49.9	51.3	56.2	49.4	55.5
ソフトボール投げ	52.6	45.9	65.3	55.6	42.6	56.6

【運動やスポーツが好きですか】

【平日のスクリーンタイム】

#### 4 自校の児童生徒の体力・運動能力等に関わる目標達成状況

○ 体力・運動能力等に関わる目標の達成状況に対する評価指標

【評価方法】  
・新体力テスト

【成果指標】  
・全種目において全国比-2ポイント以内

【評価結果(10月)及び最終評価(2月)】  
・中間評価(10月)及び最終評価(2月)は、全国比-2ポイント以内であった種目は、全種目中85%であったことから、目標を達成できなかった。

○ 生活習慣、運動達成状況に対する評価指標

【評価方法】  
・運動習慣に関するアンケート

【成果指標】  
・「運動が好き」の項目とする児童の割合が0.5%以上、「体育の授業が好き」と回答する児童の割合が5%以上

【評価結果(10月)及び最終評価(2月)】  
・「運動が好き」と回答した児童の割合は0.5%未満であったことから、目標を達成できなかった。

2 自校の児童生徒の体力・運動能力等の現状から分析した課題

○ 体力・運動能力等に関わる課題  
・男女ともに、腕力、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン及び50m走において、全国平均を下回っている。  
・体育の授業において、自分の動きの質の向上を感じている児童の割合が少ない。

○ 生活習慣、運動習慣に関わる課題  
・「運動やスポーツが嫌い」と回答する児童の割合は6.7%であり、全国平均を上回っている。  
・男女ともに、平日のスクリーンタイム時間が長い児童の割合が多い。

3 自校の児童生徒の体力・運動能力等に係る目標

○ 体力・運動能力等に関する目標  
・新体力テストを全学年・全種目実施することにより、分析と授業改善を図る。  
・児童が自己実感を覚えるよう、目標の設定と個人へのフィードバックを行う。

○ 生活習慣、運動習慣に関する目標  
・運動習慣に関するアンケート調査を全学年において実施し、家庭と連携した取組を推進する。  
・スクリーンタイムを減少させ、生活習慣の改善を図る。

6 次年度に向けた具体的な取組の改善・充実

・「体育が好き」と回答する児童の割合が増えるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と校内研修の実施

・「個別最適化学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る

各学校の課題や目標に応じた取組（一校一実践）を設定・推進

取組の進捗状況の評価時期や評価方法を具体的に設定・実施・取組改善

性取えーと年  
組次々々  
ののの  
明の年を  
確の年度踏  
化向のま  
化向のま



### 単元開始前には…

- ・児童生徒の「できる」、「わかる」の目指す姿を明確化（身に付けさせたい資質・能力）
- ・各単元における学習の流れを明確化（1単位時間ごとの学習内容のつながり）
- ・いつ、何を、どのように指導し、指導した内容をいつ、どのような規準で、どのような方法で評価するのかを明確化（指導と評価の一体化）

### 単元構造図による明確化（単元の目標から学習の流れ、評価機会及び評価規準をまとめたもの）

領域 球 技「ゴール型：バスケットボール」

学年〔 第1学年 〕

児童生徒の目指す姿を明確化

知識及び技能	次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、（その運動に関連して高まる体力など）を理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。 ア ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすること。
思考力、判断力、表現力等	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間力等	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、（一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、）仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。

### 単元を通した学習内容及びそのつながりを明確化

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	授業づくりのポイント
0	オリエンテーション 単元の目標、学習内容等 の共有（VTR視聴）	・体調確認 ・前時の学習内容の振り返り ・本時の課題の確認 ・感覚づくりの運動（ハンドリング・ボールキャッチ・ドリブル）	・体調確認 ・前時の学習内容の振り返り ・本時の課題の確認 ・自己の課題に応じたボール操作の定着（ハンドリング・パス・ドリブル・シュート）	・ミニゲーム① （オリジナルコートでの5対5のゲーム）	・ミニゲーム② （オリジナルコートでの5対5のゲーム）	・ミニゲーム③ （オリジナルコートでの5対5のゲーム）	・ミニゲーム④ （オリジナルコートでの5対5のゲーム）	・ミニゲーム⑤ （オリジナルコートでの5対5のゲーム）	・ミニゲーム⑥ （オリジナルコートでの5対5のゲーム）	・ミニゲーム⑦ （オリジナルコートでの5対5のゲーム）	・ミニゲーム⑧ （オリジナルコートでの5対5のゲーム）	・次年度以降の学習に円滑につながるよう、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を重視 ・前時の簡易ゲームやタスクゲームが次時の課題につながるよう単元構成を工夫 ・ねらいに応じたICT活用となるよう、1単位時間における活用場面を単元構造図の中に明記 ・知識と技能の往還を図ることができるよう、学習したボール操作や空間に走り込む動きを集団の中で生かすことができる場面を設定
10	知①	知②	知③	知④	知⑤	知⑥	知⑦	知⑧	知⑨	知⑩	知⑪	
20	技①	技②	技③	技④	技⑤	技⑥	技⑦	技⑧	技⑨	技⑩	技⑪	
30	思①	思②	思③	思④	思⑤	思⑥	思⑦	思⑧	思⑨	思⑩	思⑪	
40	態①	態②	態③	態④	態⑤	態⑥	態⑦	態⑧	態⑨	態⑩	態⑪	
50	・本時の学習の振り返り ICT					・次時の学習の確認						

単元開始前の指導の見通しの明確化

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	評価方法	
知識	①特性		②運動の行い方		②運動の行い方	②運動の行い方						総合的評価	学習カード
技能			②パス		①シュート	③空間の移動							観察、ICT（動画）
態度	①愛好的態度	④安全		②協力			①課題発見	③参画	②協力				学習カード、観察
態度							③責任			①愛好的態度		観察、学習カード	

単元の評価規準（赤枠下段）と1単位時間における評価機会（赤枠上段）及び評価内容等のつながりを明確化

知識	① 球技は、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。（特性） ② バスケットボールで用いられる技術の名称や、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。（運動の行い方）
技能	① ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができる。（シュート） ② 得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。（パス） ③ パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動くことができる。（空間の移動）
態度	① 指示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。（課題発見） ② 仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。（協力） ③ 仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。（参画）
態度	① バスケットボールの学習に積極的に取り組もうとしている。（愛好的態度） ② 練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。（協力） ③ 分担した役割を果たそうとしている。（責任） ④ 健康・安全に留意している。（安全）

- ・単元構造図の内容を児童生徒と共有し、**単元における学習の見通しを立てさせましょう！**
- ・各時間に評価した内容を単元途中の**児童生徒の学習改善・教師の授業改善**につなげましょう！







### 「展開」の場面では…

- ・ 自己の課題に応じた解決方法の選択（「個別最適な学び」の実現）
- ・ 自己や仲間、グループの課題の効果的な解決に向けた役割分担や協力場面の設定（「協働的な学び」の実現）
- ・ 効果的・効率的に自己や仲間、グループの課題を解決するためのICT機器の活用

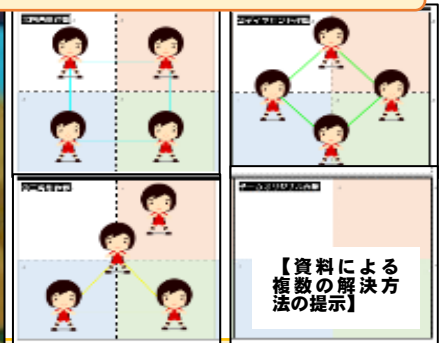
#### 自己の課題に応じた活動を選択することができる場の設定や教材・教具の工夫



### +Point

- ・ 児童生徒が自己の運動課題の解決に向け、**自分の考えをまとめたり、自分で具体的な解決方法を考えたりする場面を意図的・計画的に設定しましょう！**
- ・ 自己の運動課題に応じて資料や練習の場を選択して自ら運動に取り組み、成功体験を積み重ねることができるよう、**教材・教具を工夫して多様な課題解決の方法を提示しましょう！**

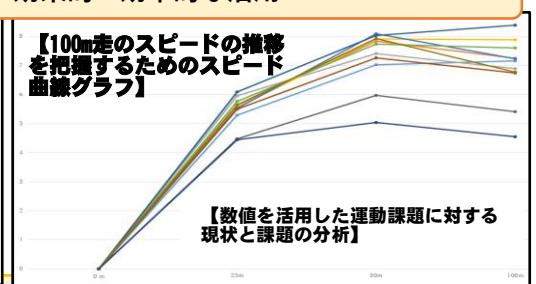
#### 仲間とともに「できた」、「わかった」を実感するための協働的な課題解決場面の設定



### +Point

- ・ 児童生徒が自己の考えを深めたり、仲間やグループの課題をよりよく解決したりすることができるよう、**自分たちの考えを伝え合い、根拠を基に最適解や納得解について話し合う場面を計画的に設定するとともに、資料やICT機器、ホワイトボードなどの教具を効果的に活用しましょう！**

#### 「展開」場面における課題解決に向けたICTの効果的・効率的な活用



### +Point

- ・ 進んで運動に取り組んだり、自己の運動課題を解決するための道筋や根拠を明確にしたりすることができるよう、**ICT機器を積極的に活用しましょう！**

「展開」場面における指導の手立て



### 「終末」の場面では…

- ・本時の学びや「知識及び技能」等の自己変容を**振り返る場面の設定**
- ・自己変容を効果的に実感させるための**ICT機器の活用**

### 単元や本時の目標に応じた「できた」、「わかった」や自分の成長を実感するための振り返りの工夫

		ステップ 1 ○○がわかった。 ○○がわかってよかった。	手の付く位置や飛ぶ力などを考えて、とぶので意外と難しかった。でもまだまだ高いのが飛べると思うので、挑戦してみたい。 ビタッと着地を止められるように、助走スピードや踏み切りの強さ、空中姿勢のバランスを調整しよう。
【身に付いた学習内容の振り返り（個人やグループ、全体） 身に付いた技能を授業の最後に再度実践して振り返り】		ステップ 2 はじめは○○だったけど○○と思った。 ○○さんの○○の意見になるほどと思った。 次は○○をやりたい。	抱え込み跳びは、前につきすぎると跳び箱が斜めってうまく飛べないのでちょうどいい真ん中に手をつくことがいいと分かった。台上前転は、前転をうまくしないといけない。 かかえこみ跳び、跳び箱の向きが縦になると、着手の位置がまた若干変わってくるかもね。台上前転は、切り返し系の技よりも力強く踏み切って、回転力につなげよう。

【学習内容の定着に向けた具体的な振り返り方法の提示】

【児童生徒の振り返りを学びの定着や次時の意欲につなげるための教師からのフィードバック（上記赤字）】

### +Point

- ・学習内容に応じて振り返り場面の形態を工夫したり、具体的な振り返りの仕方を提示したりするなど、**学習内容のより一層の定着を図るための振り返り方法を工夫しましょう！**
- ・児童生徒の振り返りに対する教師からのフィードバックにより、**自分のよさや可能性、自己変容の実感による自己肯定感の育成を図る**とともに、**次時の課題解決や自ら運動に取り組む意欲へとつなげましょう！**

### 「終末」場面における課題解決に向けたICTの効果的・効率的な活用

<p>【自己変容を実感するための学習前の動画と学習後の動画の比較】</p>	<p>【1人1台端末による振り返りの内容の共有】</p>
---------------------------------------	------------------------------

### +Point

- ・学習内容に応じてアプリケーションの活用を工夫するなど、**積極的・効果的なICT機器の活用により、自己変容を実感させ、自己肯定感や挑戦心を育成しましょう！**
- ・児童生徒同士がお互いの振り返りを共有するなど、**新たな気付きや知識・理解の定着を図る方法を工夫しましょう！**

好事例がたくさん掲載されています！ぜひご活用ください！

### ★ 令和4年度（2022年度）実践概要報告集 ★

上記の内容について、小学校体育専科教員、小学校体育エキスパート教員及び中学校体力向上推進教員による体育・保健体育授業の改善・充実に向けた取組や児童生徒が意欲的に運動に取り組むことができる環境整備の例などが掲載されていますので、参考資料としてご活用ください！

（令和5年（2023年）3月31日付け事務連絡）



## 2 体育・保健体育授業以外の組織的な取組の充実に向けた方向性

### 北海道の体育・保健体育授業以外の取組における**現状と課題**

※ 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より

#### 【本道の学校質問紙調査における現状】

- 体力・運動能力の向上のための**学校の全体目標を設定している**と回答している学校の割合が小・中学校ともに全国平均よりも高い。
- 体育・保健体育の授業以外で、**全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った**と回答している学校の割合が小・中学校ともに全国平均よりも高い。
- **運動・スポーツが苦手（嫌い）な傾向がある児童生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行っている**と回答している学校の割合が小・中学校ともに全国平均よりも高い。

#### 【本道の課題】

- **基本的な生活習慣**（朝食を毎日食べる・平日の学習以外の画面の視聴時間が長い）が**確立していない児童生徒の割合**が全国平均よりも高い。
- 学校質問紙調査において、肯定的な回答が全国平均を上回っているものの、関連のある児童生徒質問紙調査における肯定的な回答との差が見られる。

### これからの体力向上の取組の方向性

#### 体力・運動能力の課題を踏まえた組織的な取組の充実に向けて

- ・ 自校の体力・運動能力の課題を踏まえた全ての児童生徒が参加できる運動機会の創出
- ・ 児童生徒が主体的に運動に取り組むことができる運動環境の整備
- ・ 養護教諭や栄養教諭、家庭と連携した望ましい生活習慣の確立に向けた取組の充実

#### 運動・スポーツの楽しさの実感や運動習慣の定着に向けた全ての児童生徒が参加できる運動機会の創出

小学校の事例



朝の会や帰りの会を活用した取組



授業の中で明確になった課題の解決に向けた「学び直しの時間」の設定



中学校の事例



主体的に運動に取り組むことができる環境整備



生徒会と連携した運動機会の設定



中学校区内の小・中学校が連携した運動機会の設定

### +Point

- ・ 体力向上プランなどを活用し、**自校の体力・運動能力に係る課題の明確化及び全教職員による共有を図るとともに、その課題に基づいて年間を通した取組を計画的に進めていきましょう！**
- ・ 児童会や生徒会、地域や近隣の小・中学校等と連携し、体力・運動能力の向上や運動習慣の定着に向けた取組を企画するなど、**児童生徒が主体的に運動する機会を創出しましょう！**

## 児童生徒が日常的・主体的に運動に取り組むことができる運動環境の整備

あるこう  
歩校チェックポイント!

体育館まで m

体育館までの距離を示す掲示

端から端まで 250m  
ある広い校舎を活用

校内体育コーナー

**学校の一部を利用した日常的に運動に親しむための工夫**

**休み時間などを活用して仲間と主体的に運動に取り組むことができる環境づくりの工夫**

**グラウンドの設計の工夫**

### +Point

- 児童生徒が休み時間等を利用し、**自己の課題や目標に応じて日常的に運動に取り組むことができる運動の場を設定しましょう!**
- 児童生徒の「ちょっとやってみようかな」という**意欲を喚起する運動環境の整備を工夫しましょう!**

## 児童生徒の望ましい運動習慣・生活習慣の確立に向けた組織的な取組

2月 生活習慣スケジュール表

新設	起床時間	寝る時間	家庭学習(宿業、塾を含む)	読書	テレビ、ゲーム、ネットなど	運動時間			
2/13月	7:00	21:00	27	25	30	15			
2/14火	8:30	21:00	40	20	1	15			
2/15水	6:45	21:00	22	10	30	15			
2/16木	7:00	21:00	28	20	1	15			
2/17金	7:00	22:10		10	30	10			
2/18土	7:57	20:48	24	5	2	10			
2/19日	8:30	21:00			30	5			
今日の平均	100.0%	6:57	29:30	0	20	0	55	0	10
1日の目標時間			30		10	2			

〇生活リズムチェックシートの結果

「姿勢」の指導

一人一台端末による生活リズムチェックシートの活用及び家庭との結果の共有

栄養教諭や企業等の地域専門家と連携を図った望ましい生活習慣の定着に向けた学習

養護教諭及び栄養教諭と連携した「朝体育」の取組

### +Point

- 児童生徒が望ましい運動習慣・生活習慣の確立に向けた自己指導能力を身に付けることができるよう、**一人一台端末を効果的に活用するなどして、継続的した取組を工夫しましょう!**
- 養護教諭や栄養教諭、地域の専門家と連携を図り、児童生徒の望ましい運動習慣・生活習慣の確立に向けた**組織的な取組の充実を図りましょう!**

## 2 令和4年度（2022年度）の道教委の取組

目的	事業等名	概要																
体育・保健体育授業の改善・充実	小学校体育専科教員活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校に体育を専門とする教員を配置し、学級担任とのTT等による授業改善や近隣の学校の体力向上の取組への指導助言</li> <li>・配置状況</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>空知(2名)</td> <td>石狩(2名)</td> <td>後志(3名)</td> <td>胆振(3名)</td> </tr> <tr> <td>日高(2名)</td> <td>渡島(1名)</td> <td>檜山(1名)</td> <td>上川(2名)</td> </tr> <tr> <td>宗谷(1名)</td> <td>オホーツク(3名)</td> <td>十勝(1名)</td> <td>釧路(1名)</td> </tr> <tr> <td>根室(1名)</td> <td></td> <td></td> <td>合計 23名</td> </tr> </table>	空知(2名)	石狩(2名)	後志(3名)	胆振(3名)	日高(2名)	渡島(1名)	檜山(1名)	上川(2名)	宗谷(1名)	オホーツク(3名)	十勝(1名)	釧路(1名)	根室(1名)			合計 23名
	空知(2名)	石狩(2名)	後志(3名)	胆振(3名)														
	日高(2名)	渡島(1名)	檜山(1名)	上川(2名)														
宗谷(1名)	オホーツク(3名)	十勝(1名)	釧路(1名)															
根室(1名)			合計 23名															
小学校体育エキスパート教員巡回指導事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管内の複数市町村の小学校を巡回指導する教員(小学校体育専科教員を経験済の教員)を配置し、巡回市町村や学校はもとより、管内全体の体力向上に向けた取組の改善・充実を図る。</li> <li>・配置状況</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>石狩(1名)</td> <td>後志(1名)</td> <td>渡島(1名)</td> <td>上川(1名)</td> <td>留萌(1名)</td> </tr> <tr> <td>宗谷(1名)</td> <td>林岬(1名)</td> <td>十勝(1名)</td> <td>釧路(1名)</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">合計 9名</p>	石狩(1名)	後志(1名)	渡島(1名)	上川(1名)	留萌(1名)	宗谷(1名)	林岬(1名)	十勝(1名)	釧路(1名)								
石狩(1名)	後志(1名)	渡島(1名)	上川(1名)	留萌(1名)														
宗谷(1名)	林岬(1名)	十勝(1名)	釧路(1名)															
中学校授業実践セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力向上の要となる保健体育授業の改善・充実を図るための教員研修を実施</li> <li>・10～11月、道内4会場で実施(道央・道東・道北・道南)</li> <li>・中学校保健体育科教諭を対象に1日日程で実施</li> <li>・公開授業、講義、研究協議及び演習の実施</li> </ul>																	
運動習慣の定着に向けた取組の充実	どさん子体力アップ強調月間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 10月の「どさん子体力アップ強調月間」に向けて、学校、家庭、地域、行政が一体となって、子どもたちの体力づくりを進める機運を高める取組の実施</li> <li>・「どさん子体力アップ強調月間」の周知</li> <li>・各市町村におけるスポーツイベント等の紹介</li> </ul>																
	学校等が活用できる取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちが運動に親しみ、楽しく運動を行う態度の育成や体力の向上を図ることができるよう、学校や家庭において活用できる取組を実施</li> <li>・短縄跳び全道大会(学校部門、家庭・地域部門)</li> <li>・みんなでムーブ リズム運動動画コンテスト など</li> </ul>																
	運動動画の配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常生活において、子どもが家庭等で手軽に取り組める運動動画の配信</li> <li>・みんなでムーブ、ダンスエクササイズ(チョコ・ダン)、なわとびなど</li> </ul>																
その他	体力向上に係る普及啓発資料の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教員向け資料</li> <li>・小学校体育専科教員、小学校エキスパート教員及び中学校授業実践スペシャリスト実践事例集及び授業動画の作成、配付</li> <li>○ 児童生徒及び保護者向け普及啓発資料</li> <li>・運動習慣を含む適切な生活運動習慣の定着に向けた資料の作成、配付</li> </ul>																



## IV 北海道の児童生徒の体力向上 に向けた有識者の意見

ここでは、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本道の実技調査及び質問紙調査の結果を踏まえた今後の取組の方向性について、有識者からいただいた意見を掲載しています。

各市町村教育委員会及び学校においては、本意見を参考にして、今後の取組を企画・立案いただくなど、児童生徒の実態に応じた体力向上の取組の充実に向け、御活用ください。

## 体育・保健体育授業の授業改善と子供の体力向上

北海道教育大学札幌校

教授 中 島 寿 宏

### ○体育・保健体育の授業改善と体力向上の関係

体育・保健体育の授業を担当する先生たちは、子供たちに運動やスポーツに親しんでほしいと考えていることと思います。学習指導要領においても、体育・保健体育の目標は「豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成」と示されており、先生たちは子供たちが授業の中で成長し充実感を得ながら運動・スポーツを好きになってもらいたいと考えて授業づくりをしていることでしょう。子供たちが運動・スポーツに親しむことによって運動する機会が多くなり、結果として体力の向上につながっていくものと考えられます。

実際に、文部科学省が示した令和 4 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析結果においても、運動やスポーツが好きという意識を持つ児童・生徒や運動する時間の多い児童生徒は、体力合計点が高いことが報告されています。また、体育・保健体育の授業の中で友達と関わりながら、できないことができるようになったり、工夫して挑戦したりする楽しい経験が運動好きを育むことや、学校を卒業した後も豊かなスポーツライフを切り拓く契機となることについて指摘されています。

それでは、北海道の状況はどうなっているのでしょうか。北海道教育委員会が令和 4 年度の調査データを分析した結果、体力ポイントについては小学校児童では男女いずれも全国との差が縮まっている傾向が見られました。種目によっては全国平均を上回るものも見られるようになってきています。道教委が推進している小学校体育専科教員・小学校体育エキスパート教員の配置をはじめとする取組の成果が、体力ポイントの結果としても成果につながってきていることが窺えます。また、「運動やスポーツをすることが好き」、「体育（保健体育）の授業は楽しい」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校男女いずれも全国平均より高いポイントを示していました。北海道の子供たちが体育・運動に前向きであることが窺える結果だと感じます。しかし一方で、「体育（保健体育）の授業で目標（ねらい・めあて）を意識して学習すること」、「友達と助け合ったり、教え合ったりして学習すること」によって「できたり、わかたりする」と回答している児童生徒は小・中学校男女いずれも全国平均より低い傾向にあることも報告されています。特に中学校女子ではこの傾向が強く表れており、体力ポイントについても中学校女子が全国を上回る種目はありません。学校としての回答では、体育・保健体育授業において「目標を示す活動を取り入れている」ことや「学習したことを振り返る活動を取り入れている」という項目は全国平均よりも高くなっていますので、体育・保健体育を担当されている先生たちの意識は高いことが窺えますが、学習活動として子供たちの意識も高まっていくにはもう少しの時間と、さらなる授業改善が必要になるのかもしれない。



## ○体育・保健体育の授業力向上につながる5つの要素

体育の授業が上手な先生はなぜ授業力を高めてこられたのでしょうか。これまでの我々の研究室での熟練教師を対象とした調査・分析では、体育授業が上手な先生たち共通する要素として、①子供たちをよくみて子供たちの視点から授業をとらえている、②他の先生の授業を多くみてきている、③自身の授業を

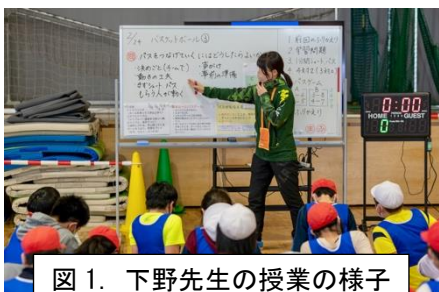


図 1. 下野先生の授業の様子



図 2. ICT の効果的な活用

他の先生たちにみてもらってきている、④自身の授業について省察（リフレクション）している、⑤授業がよくなることを楽しんでいる、という5つの要素が抽出されました。これら5要素は単独で経験されるのではなく、教師の中で相補的に関連しながら授業力が向上しているようです。例えば、岩見沢市立南小学校の下野里紗先生は素晴らしい体育授業を実践されていますが、授業後のインタビューでは自身の授業をよく省察していることや子供たちの学習が深まることを楽しんでいる姿がありました。特に印象に残ったのは、「授業実施前に作成した体育の指導案を、授業後に書き直して残すことがあります」という言葉です。自身の授業を省察し、授業での気づきを次に活かすことで、下野先生は授業力を高めてこられたのだと感じました。

## ○北海道でのオンラインでの授業共有の取組

令和4年度は、北海道教育委員会・各教育局・各学校・大学が連携して、授業実践や各校での取組事例をオンラインで共有する取組を行いました。北海道内の先生たちが各学校で取り組まれていることがオンライン上に集積・共有されています。また、コメント機能の活用で相互に意見の交流なども可能です。これまで、北海道はその広域性の問題から、先生たちが研修参加や授業見学の機会を得ることが難しいという課題がありました。オンラインでは先生たちが可能な時間にアクセスして動画や資料を閲覧したり、全道各地の先生たちとやりとりしたりできるため、「授業をみる」、「授業をみてもらう」、「授業を省察する」といったことが実施しやすくなります。このような試みが今後の北海道の体育・保健体育の発展につな

がることを期待しています。



図 3. 美瑛町立美瑛小学校・植村先生の授業



図 4. 幌延町立幌延中学校・八鍬先生の資料

## 子どもたちの体力向上に向け、チーム北海道として組織的な取り組みを！

北海道教育大学旭川校

教授 高瀬 淳也

令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を見ると、北海道は全国平均よりも数値の低い種目がいくつか見られました。しかし、私は「実際はもっと高いのではないか」という期待を抱いています。多くの学校で体育授業を拝見した限り、元気いっぱい一生懸命に取り組む子どもたちの姿を見ると、「本当にそんなに低いのかな…」と感じずにはられません。私は、調査で行われる新体力テストにおいて、子どもたちが本当の力を発揮できていない可能性があると考えています。この点は、多くの先生方も同じように感じているのではないのでしょうか。

北海道教育庁学校教育局健康・体育課が発行する METs の第38号には、檜山管内の厚沢部町立厚沢部小学校の「体力向上」の3つの取組が掲載されていました。「新体力テストの各種目のワンポイントアドバイス」には、実に端的に各種目について書かれています。体育授業に一生懸命取り組まれている先生方にとっては当たり前の内容に見えるかもしれませんが、それを実際に指導しているかと問われると、自信をもって「はい」と答えられるでしょうか。私が小学校教員の時には、子どもたちには申し訳ないのですが、限られた時間で効率的に新体力テストを実施することに注力し、このような指導をすることはありませんでした。しかし、20m シャトルランにおいて、一人の子が走り終わると周りの子たちもそれに合わせるかのように走り終えてしまう光景を見ると、「もっと頑張れるはずなのに」とも感じていました。もし、当時の私がワンポイントアドバイスである「ラスト1回をダッシュ」と声を掛けていたら、子どもたちの意欲が高まり、より頑張れたのかなと思います。

厚沢部町立厚沢部小学校のもう1つの取り組みとして、「学校・家庭・地域が一体となった組織的な取組」が紹介されていますが、これも大変興味深いものがあります。この取り組みでは、体力向上に向けた年間計画が作成されており、いつ、どのような取り組みを行うかが具体的に示されています。また、家庭・地域と連携した生活習慣の改善やアウトメディアなども年間計画に組み込まれており、学校・家庭・地域の組織的な取り組みが目指されていることがわかります。このような組織的な取り組みを推進することで、子どもたちは日々の学校生活や家庭生活の中で適切な運動習慣を身につけていく

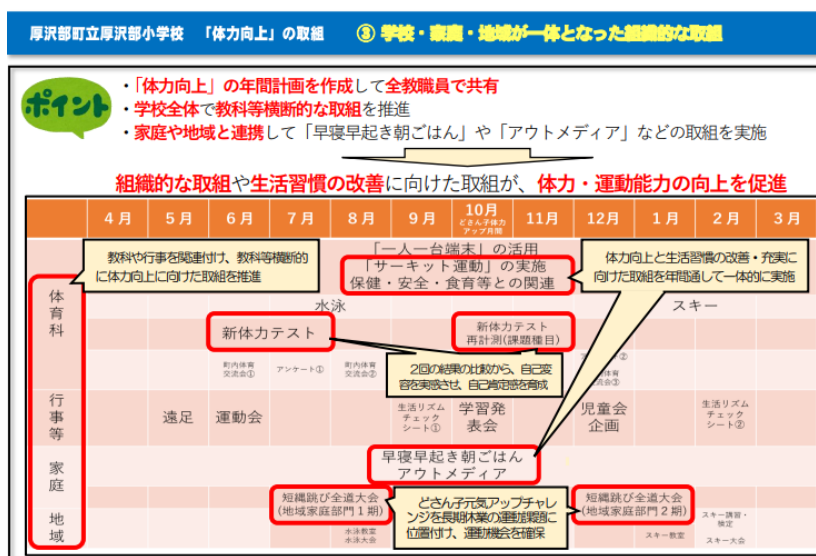


図1 北海道教育庁学校教育局健康・体育課 METs 第38号



図2 ちやれんじ NO.2 (忠類学園保健体育通信)

体が子どもの成長を支える役割を果たす必要があるという意味が込められていると思います。このことは、子どもたちの体力向上にも同様のことが言え、先生方をはじめ、家庭や地域、社会全体で協力して、組織的に取り組んでいくことが重要と言えます。

これまで、先ほど紹介した北海道教育庁学校教育局健康・体育課が配信する METs をはじめ、体育専科・エキスパートの先生方の実践報告集や体育授業の動画など、子どもたちの体力向上に向けた様々な情報が発信されています。これらの資料は、誰でも活用することができ、内容も大変充実しております。私自身も大学の講義で学生に指導する際の参考資料として、いつも活用させていただいています。ぜひ、先生方だけではなく、家庭や地域でも活用いただき、チーム北海道として子どもたちの体力向上に向けて組織的に取り組んでいくことができるよう、お声かけをしていただけたらと思います。

今後ともお力添えをどうぞよろしくお願い致します!

ことが大いに期待できます。

十勝管内の澤辺渉先生は、図2のような通信を作成し小・中学校の子どもたちに配布しています。通信では、低学年でも読めるように振り仮名も振られています。昨年度は、全部で20号を発行したそうです。運動会や体育祭が近い時期には速く走る方法について、水泳授業の時期には泳ぎ方の他に着衣泳を実施する意図などについても書かれており、時期に合わせて記事の内容が工夫されています。おそらく、この通信をきっかけに学校、家庭、地域の組織的な取り組みへと発展していくことも考えられ、こちらは大変素晴らしい取り組みだと思えます。

「学校だけで子どもを育てる時代は終わった」という言葉が、一時期よく耳にしました。この言葉には、学校だけが子どもの教育を担うのではなく、家庭や地域、社会全体



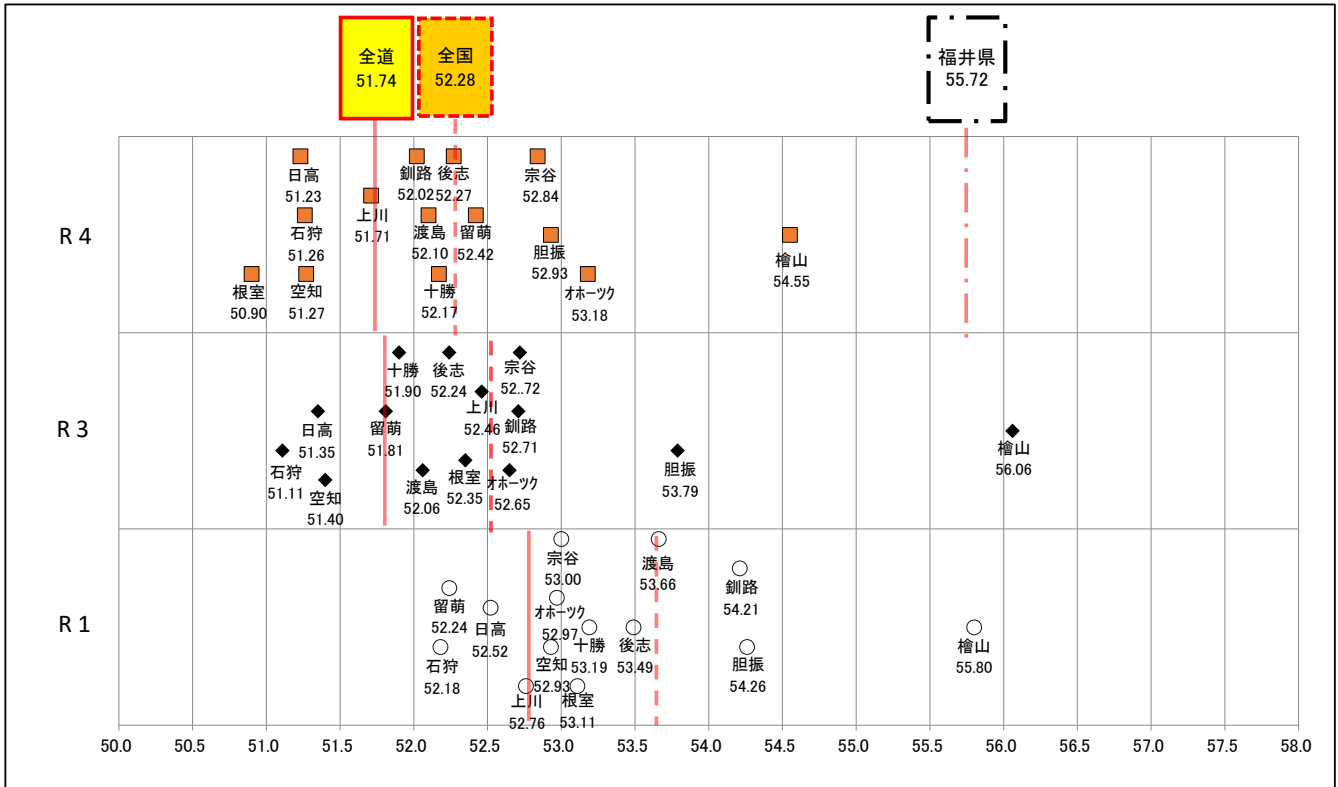
## V 各管内の状況

ここでは、令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における各管内の結果を分析し、「管内の体力合計点の分布」「管内の状況、分析及び体力向上策」を掲載しています。

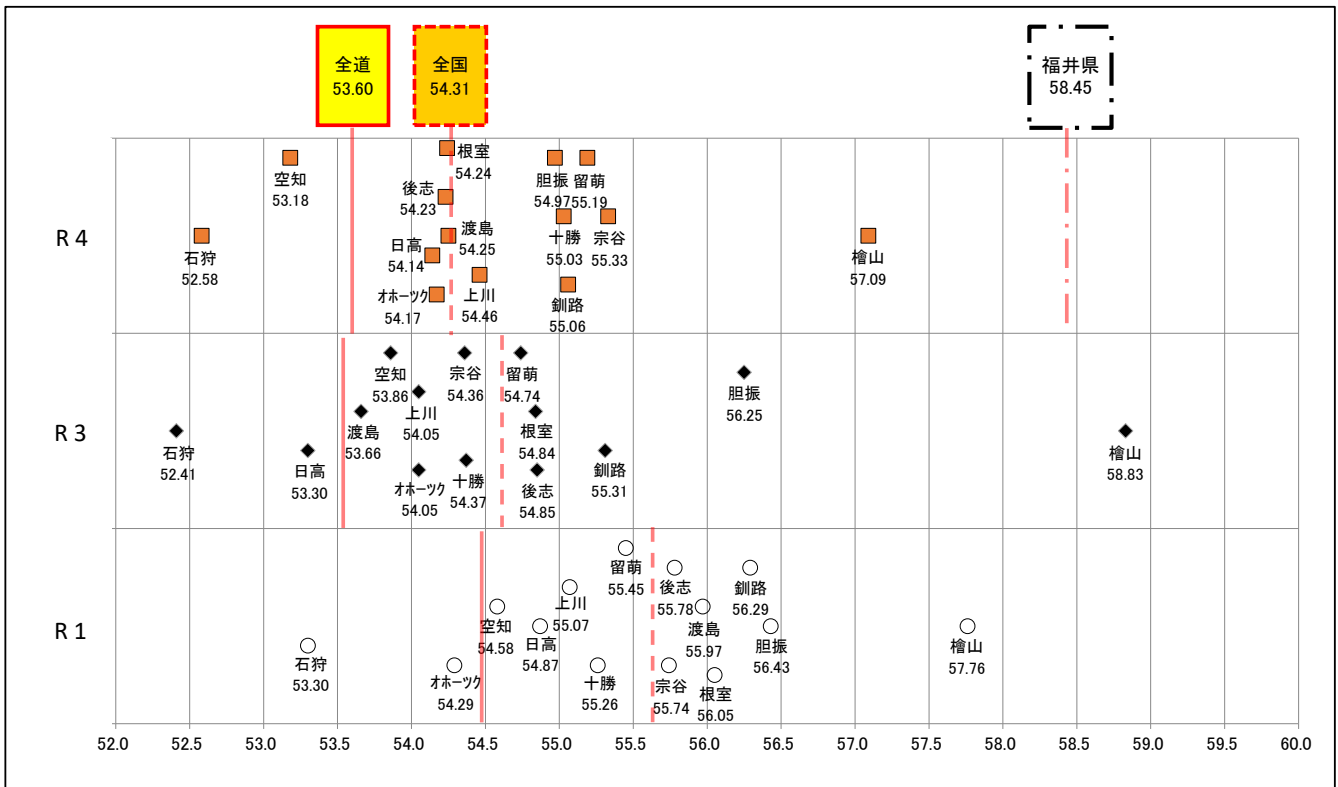
各市町村教育委員会、学校においては、本資料を参考に、各管内の状況や改善の方向性等を把握し、今後の取組を工夫・改善するなど、各地域や学校における取組の更なる充実に向け、ご活用ください。

# 1 管内の体力合計点の分布

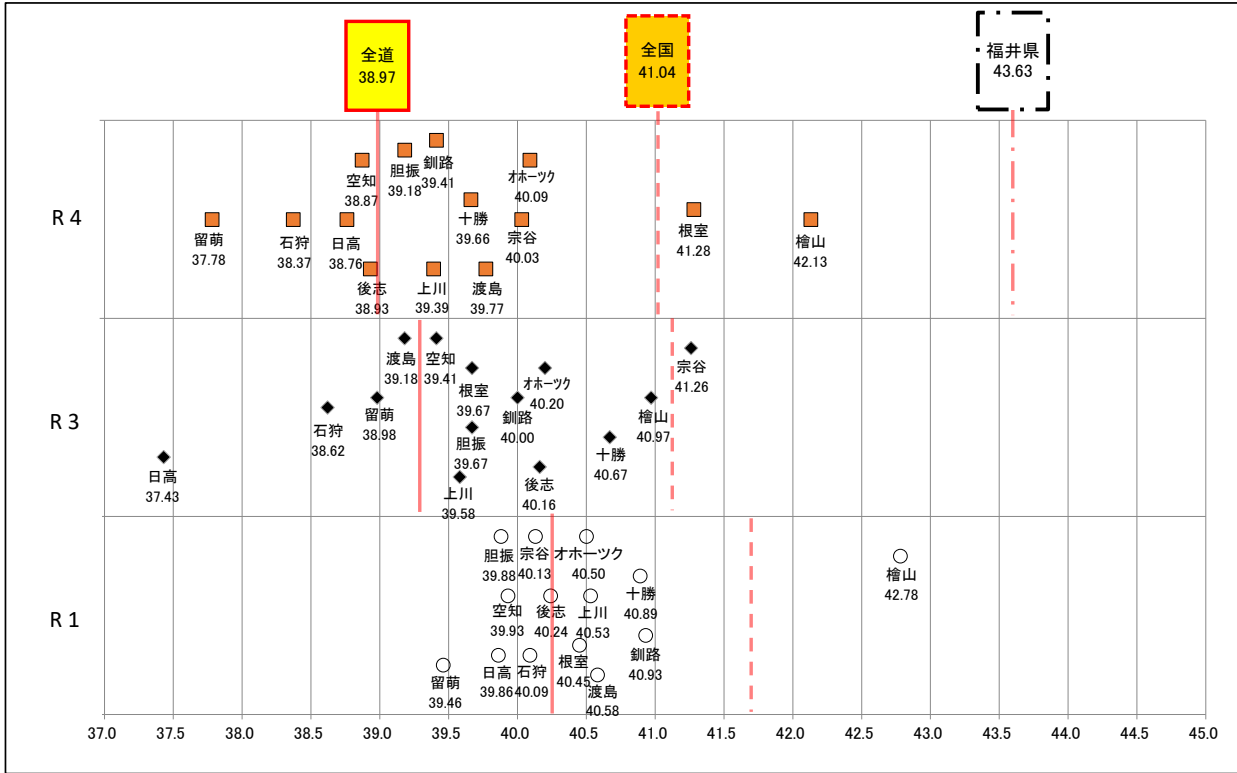
## (1) 小学校男子



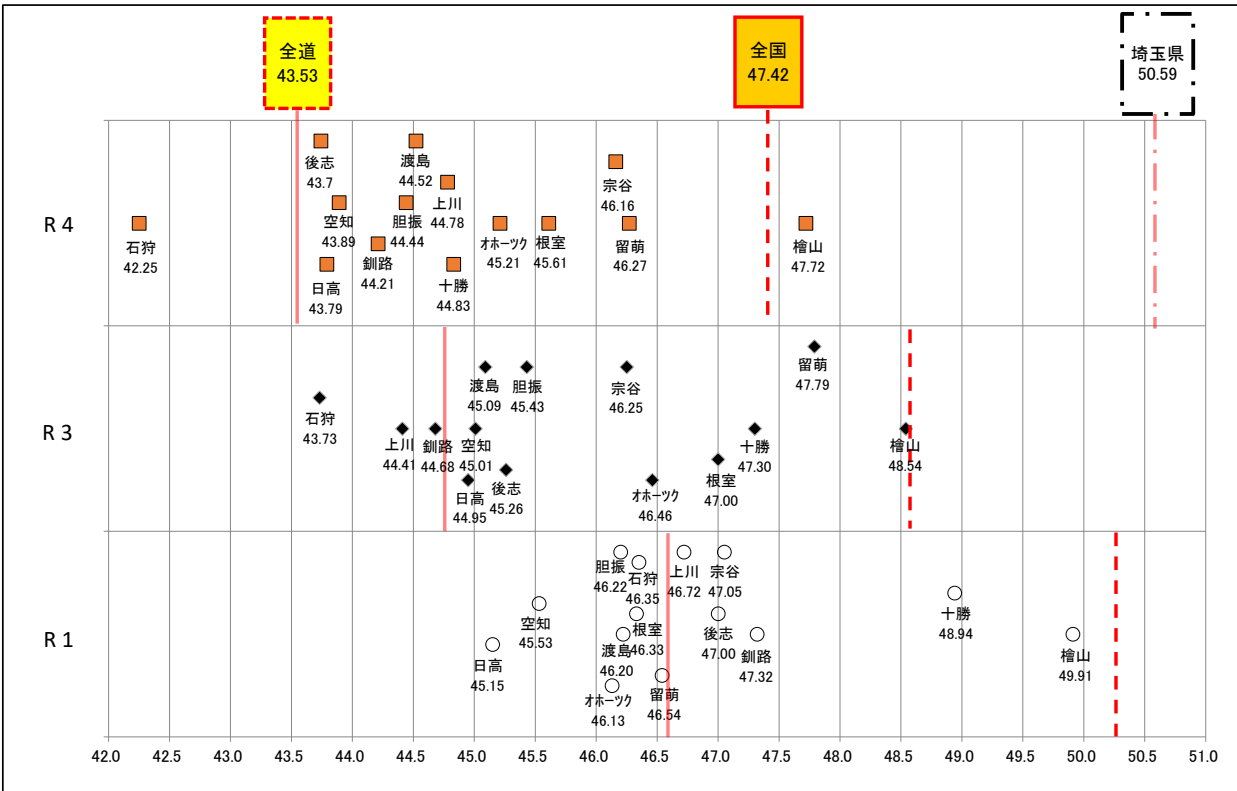
## (2) 小学校女子



(3) 中学校男子



(4) 中学校女子



## 2 各管内の状況

# 空知管内の状況

10市14町

### 小・中学校

(小学校数:56校 児童数:1,778人、中学校数:39校 生徒数:1,654人)

#### 実技に関する調査

##### 【体力合計点】

###### ○ 小学校

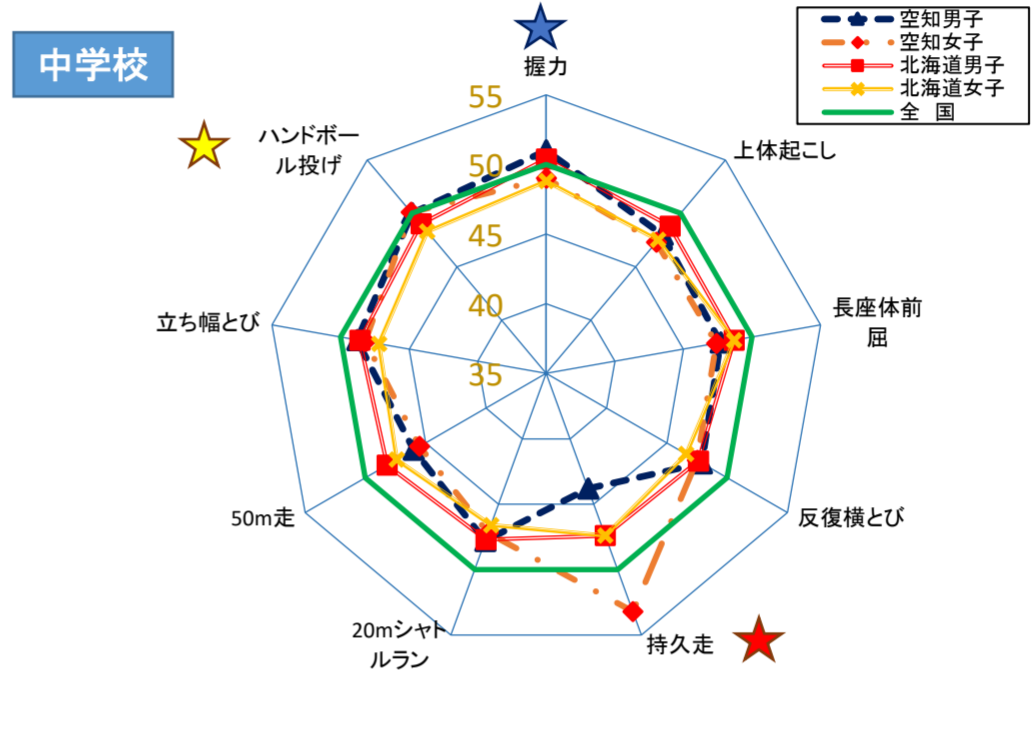
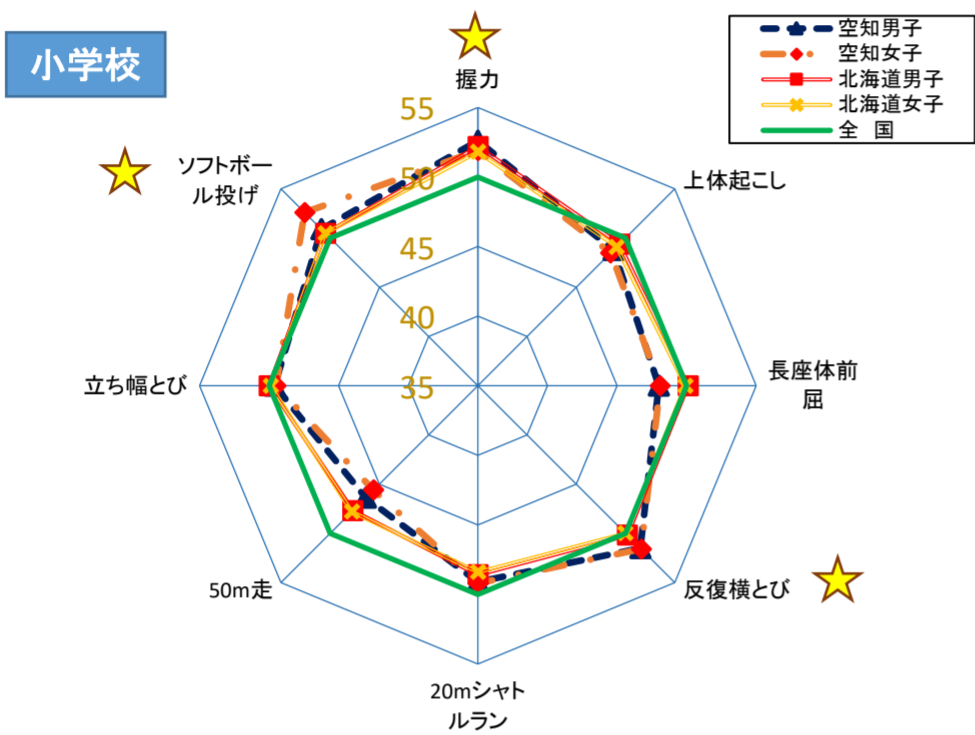
	男子	女子
空知	51.27	53.18
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

###### ○ 中学校

	男子	女子
空知	38.87	43.89
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

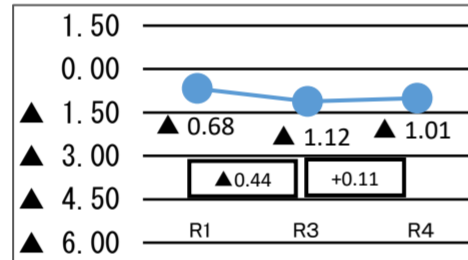
##### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆ は男女ともに全国平均以上の種目 ★ は男子のみ全国平均以上の種目 ★ は女子のみ全国平均以上の種目

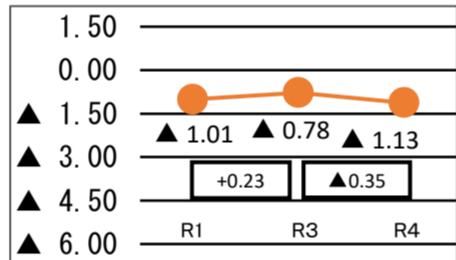


##### 【体力合計点の全国との差とその推移】

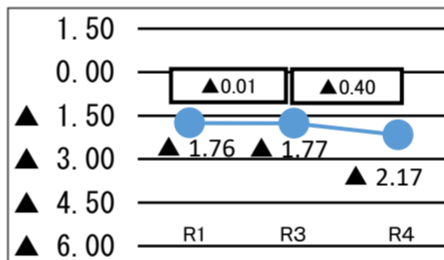
###### 小学校男子



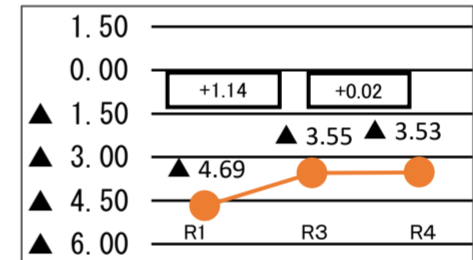
###### 小学校女子



###### 中学校男子



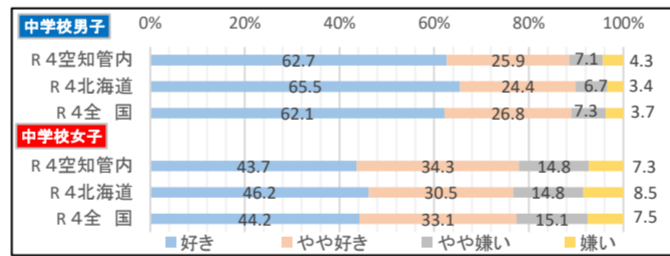
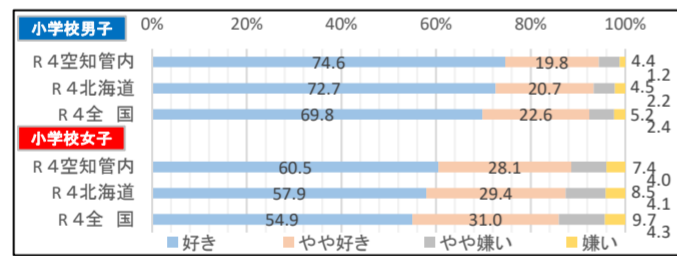
###### 中学校女子



##### 【質問紙調査の状況】

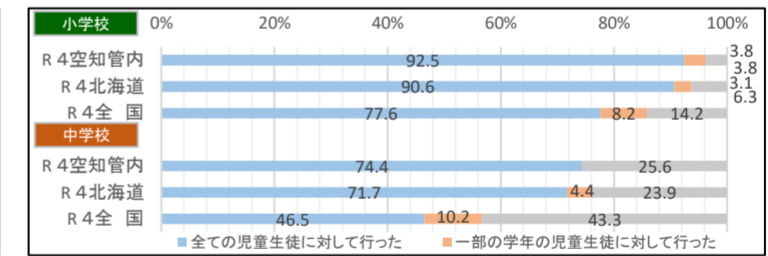
###### <児童生徒質問紙>

###### ○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

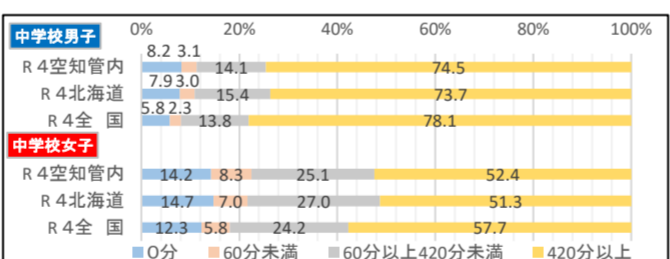
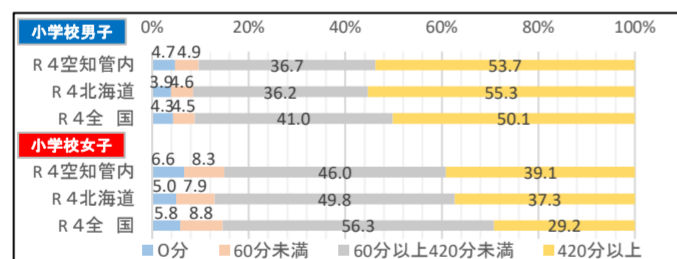


###### <学校質問紙>

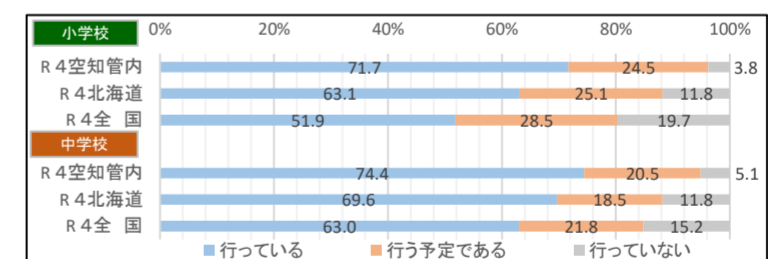
###### ○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



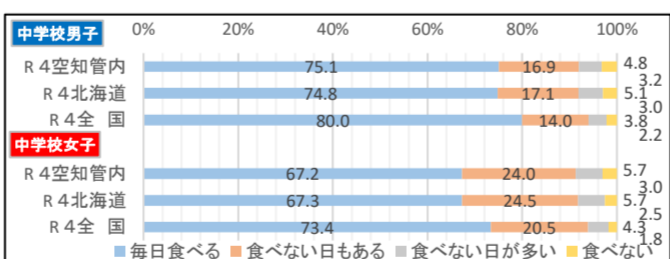
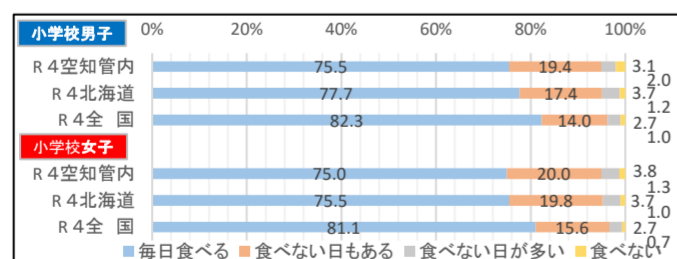
###### ○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計して1週間おおよそのくらの時間していますか。



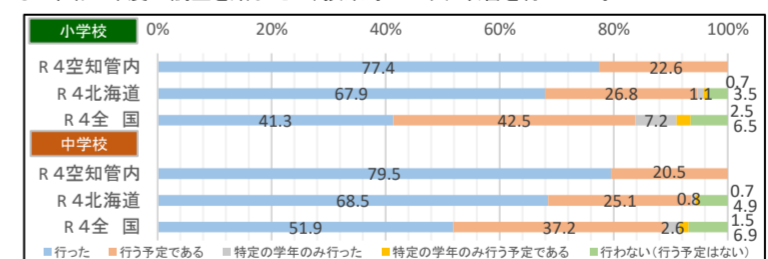
###### ○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行っているか。



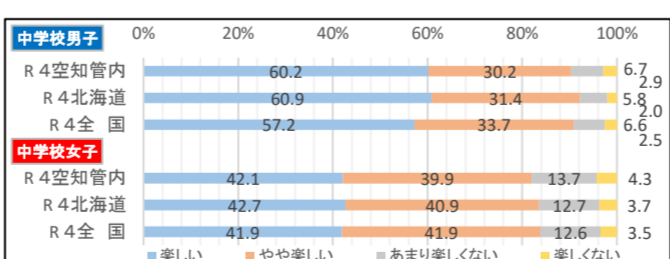
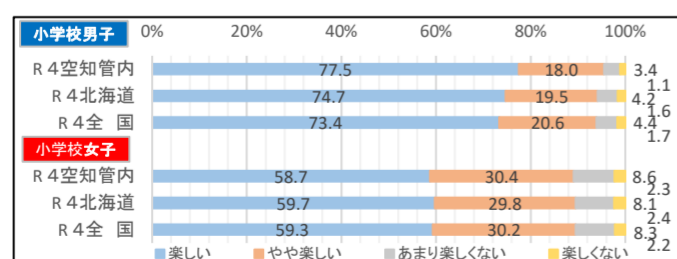
###### ○ 朝食は毎日食べますか。



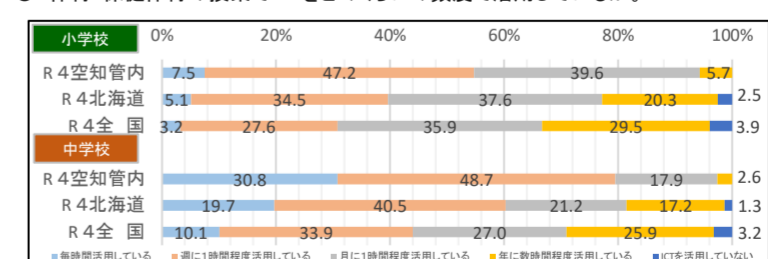
###### ○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



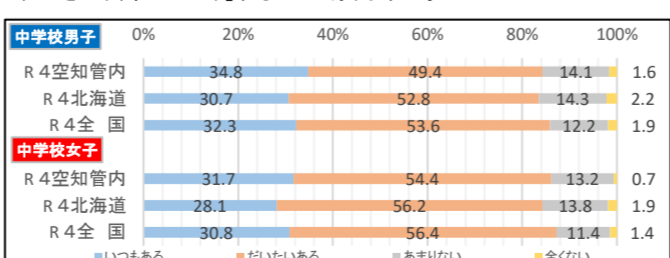
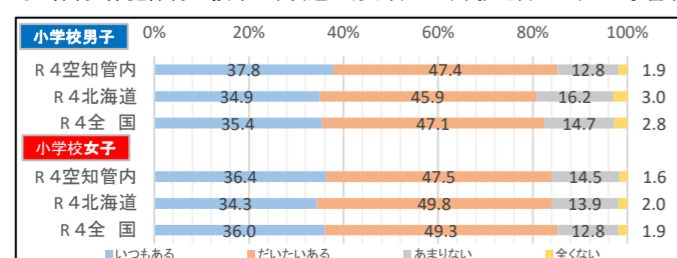
###### ○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



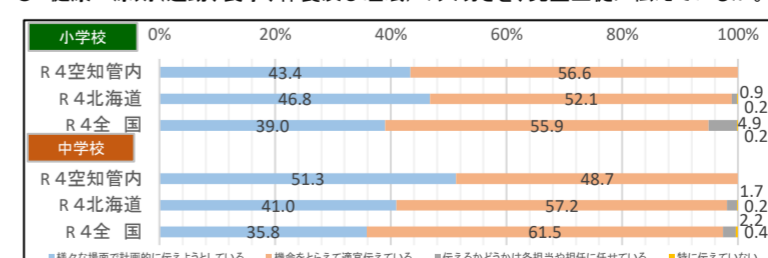
###### ○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているか。



###### ○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



###### ○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。





# 実技調査及び質問紙調査の分析

< 小学校 >		< 中学校 >	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較し、男子で1.01ポイント下回り、女子で1.13ポイント下回った。</li> <li>○ 各種目の状況は、男女ともに、「握力」「反復横とび」「ソフトボール投げ」の種目で、全国平均以上となった。</li> <li>○ 体力合計点の全国との差とその推移は、令和3年度と比較し、男子で、0.11ポイント差が縮まり、女子で、0.35ポイント差が広がった。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較し、男子で2.17ポイント下回り、女子で3.53ポイント下回った。</li> <li>○ 各種目の状況は、男女ともに、「ハンドボール投げ」の種目で、全国平均以上となり、男子で、「握力」の種目、女子で、「持久走」の種目で、全国平均以上となった。</li> <li>○ 体力合計点の全国との差とその推移は、令和3年度と比較し、男子で、0.40ポイント差が広がり、女子で、0.02ポイント差が縮まった。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校において、運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童向けの取組、または性別に応じた取組を行ったり、令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったりしたことにより、男女ともに、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きだと思う児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。</li> <li>○ 各学校において、体育の授業でICTを毎時間活用したことにより、男子で、体育の授業は楽しいと思う児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校において、運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行ったり、令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったりしたことにより、男女ともに、保健体育の授業は楽しいと思う生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。</li> <li>○ 各学校において、授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、男子で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きだと思う生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>

## 空知管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

#### 【令和3年度の管内の課題】

- 小学校男女ともに「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」、中学校男女ともに「握力」を除く全ての種目でT得点が全国を下回っている。
- 特に、中学校女子においては、改善傾向が見られるものの、全種目でT得点が全国を下回り、早急な対応が必要である。
- 日常的な体力向上の取組につなげていくために、児童生徒の主体的な活動を促す場の設定などにより、進んで運動に親しむ態度の育成を図る必要がある。

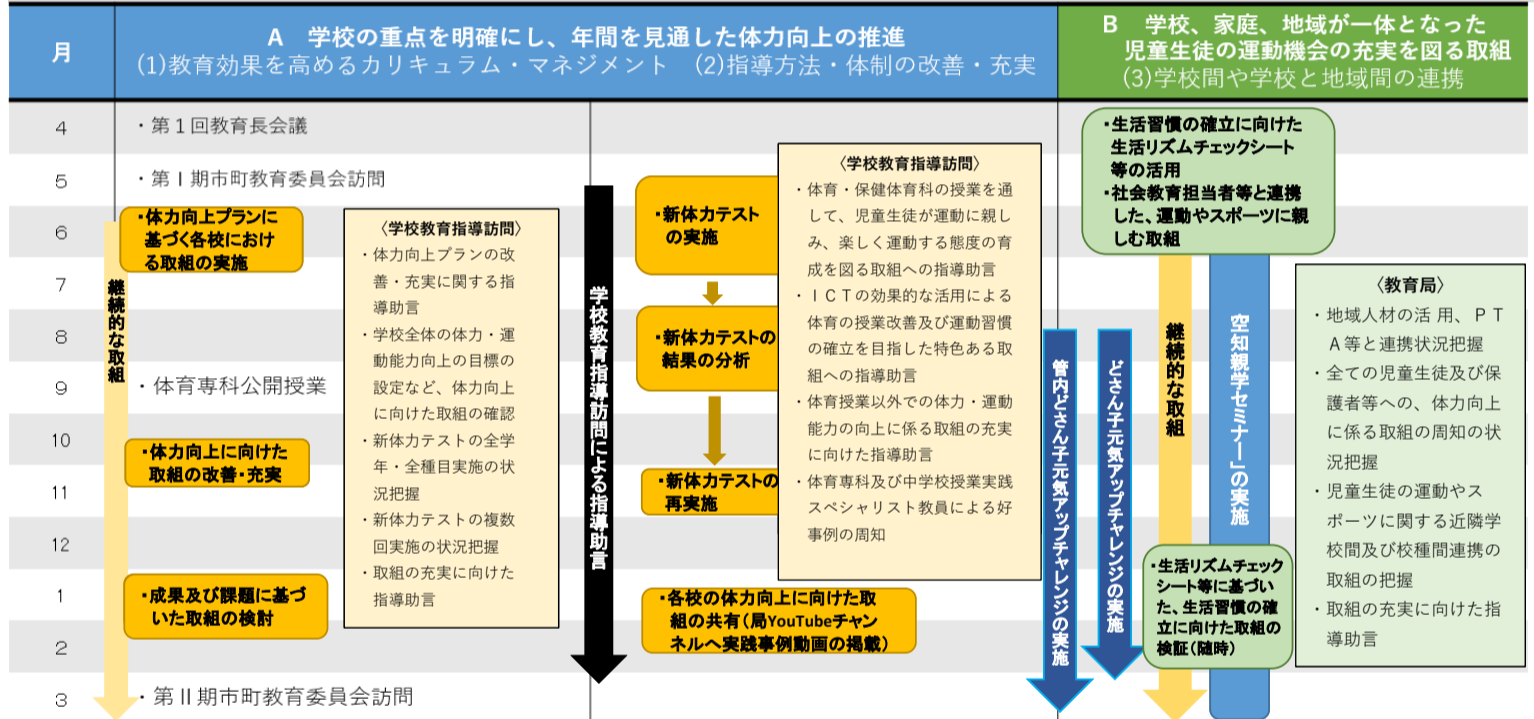
#### A 学校の重点を明確にし、年間を見通した体力向上の推進

- 教育効果を高めるカリキュラム・マネジメント
  - 新体力テストの全学年・全種目実施及び複数回実施による結果の分析に基づくカリキュラム・マネジメントの確立
  - 各学校の実情を踏まえて作成された体力向上プランに関する指導助言
- 指導方法・体制の改善・充実
  - 新体力テストの経年比較の分析など、客観的な指標に基づく校内体制の確立及び体育・保健体育科の授業改善の推進
  - 体育専科教員及び中学校授業実践スペシャリスト教員等と連携を図った体力向上に係る研修の実施や好事例の周知
  - 1人1台端末の積極的な活用による体育・保健体育科の授業改善の推進

#### B 学校、家庭、地域が一体となった児童生徒の運動機会の充実を図る取組

- 学校間や学校と地域間の連携
  - 地域人材の活用やPTA等と連携・協働した家庭の体力向上への関心を高める取組の推進
  - 運動やスポーツに関する学校、家庭、地域が一体となった取組の推進
  - 道内や管内における好事例の周知

### 2 具体的な取組



### 3 取組の評価 ※ ( ) は目標値

<p>(1) 教育効果を高めるカリキュラム・マネジメント</p> <p>① 体力・運動能力向上の目標を設定している児童生徒の割合 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…男子：76.4% (80.0%) 女子：75.5% (80.0%)</li> <li>・中学校…男子：66.6% (80.0%) 女子：59.7% (80.0%)</li> </ul> <p>② 新体力テストを全学年実施している学校の割合 【公立小・中学校の体育・保健・安全に関する調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校… 89.3% (50.0%)</li> <li>・中学校…100.0% (80.0%)</li> </ul> <p>③ 自校の重点を明確にし、年間を見通した体力向上の推進を行っている学校の割合 【管内教育推進の重点に係る評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…100.0% (100.0%)</li> <li>・中学校…100.0% (100.0%)</li> </ul>	<p>(2) 指導方法・体制の改善・充実</p> <p>① 体育の授業は楽しいと回答した児童生徒の割合 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…男子：95.5% (80.0%) 女子：89.1% (80.0%)</li> <li>・中学校…男子：90.4% (75.0%) 女子：82.0% (75.0%)</li> </ul> <p>② これまでの調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った学校の割合 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…100.0% (100.0%)</li> <li>・中学校…100.0% (100.0%)</li> </ul> <p>③ 体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがあると回答した児童生徒の割合 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…男子：87.2% (80.0%) 女子：83.1% (80.0%)</li> <li>・中学校…男子：84.9% (80.0%) 女子：80.1% (80.0%)</li> </ul>	<p>(3) 学校間や学校と地域間の連携</p> <p>① 運動やスポーツ、児童生徒の体力について、家庭との連携を行っている学校の割合 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…100.0% (80.0%)</li> <li>・中学校… 92.3% (80.0%)</li> </ul> <p>② 授業以外で運動やスポーツを1日およそ60分以上していると回答した児童生徒の割合 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…男子：90.4% (95.0%) 女子：85.1% (95.0%)</li> <li>・中学校…男子：88.6% (95.0%) 女子：77.5% (95.0%)</li> </ul> <p>③ 学校、家庭、地域が一体となった児童生徒の運動習慣、運動機会の充実を図っている学校の割合 【管内教育推進の重点に係る評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…100.0% (100.0%)</li> <li>・中学校… 89.7% (100.0%)</li> </ul>
--	---	---

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p>(1) 教育効果を高めるカリキュラム・マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校の課題に応じて作成した「体力向上プラン」等に基づく取組について、新体力テストの結果分析等の経年変化を踏まえ、取組内容の検証及び重点化を進め、次年度に向けた実施内容の改善・充実を図る。</li> <li>○ 新体力テストの全学年全種目及び複数回の実施により、全ての児童生徒の継続的な体力の状況把握、具体的な数値目標の設定など、学校全体の体力向上に向けた取組のゴールを明らかにした継続的な取組を進め、各学校におけるカリキュラム・マネジメントを促進していく。</li> <li>○ 学校教育指導訪問等において、各学校の「体力向上プラン」等に基づく取組について指導助言する。</li> </ul>	<p>(2) 指導方法・体制の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管内の体育エキスパート教員、体育専科教員及び中学校授業実践スペシャリスト教員など管内のミドルリーダーによるICTを活用した授業改善について、局独自のYouTubeチャンネル「学んDeそらち」で積極的に動画配信し、校内研修での活用等により各学校における授業改善を促進していく。</li> <li>○ 個々の児童生徒の課題に応じた1人1台端末の活用により体育・保健体育科の授業改善を進めるなど、個別最適な学びに向けたICTを活用した授業改善を進める。</li> <li>○ 管内の課題解決に向けた「管内どさん子元気アップチャレンジ」の実施内容となるよう改善を図り、各学校における体力向上の取組を支援する。</li> <li>○ 学校教育指導訪問等において、1人1台端末を活用した体育・保健体育科の授業改善を中心に指導助言を行う。</li> </ul>	<p>(3) 学校間や学校と地域間の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新体力テストなど、児童生徒の体力・運動能力や運動習慣に関わる経年状況や「体力向上プラン」について、小学校と中学校で成果や課題を共有しながら共通の取組を推進するなど、学校間の連携を深め、小・中学校9年間を見通した体力向上の取組を進める。</li> <li>○ 家庭と連携した「生活リズムチェックシート」等の活用により、生活習慣の改善を図る取組を促進する。</li> <li>○ 運動習慣や生活習慣の状況、各学校が進めている体力向上の取組の成果や課題、改善策を家庭や地域に積極的に発信し、協力を求めるなど、家庭や地域と連携を図った取組を推進する。</li> <li>○ 地域人材を生かした体力向上の取組について、管内の好事例を発信する。</li> </ul>
---	---	---

# 石狩管内の状況

6市1町1村

## 小・中学校

(小学校数:262校 児童数:17,888人、中学校数:133校 生徒数:15,982)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

##### ○ 小学校

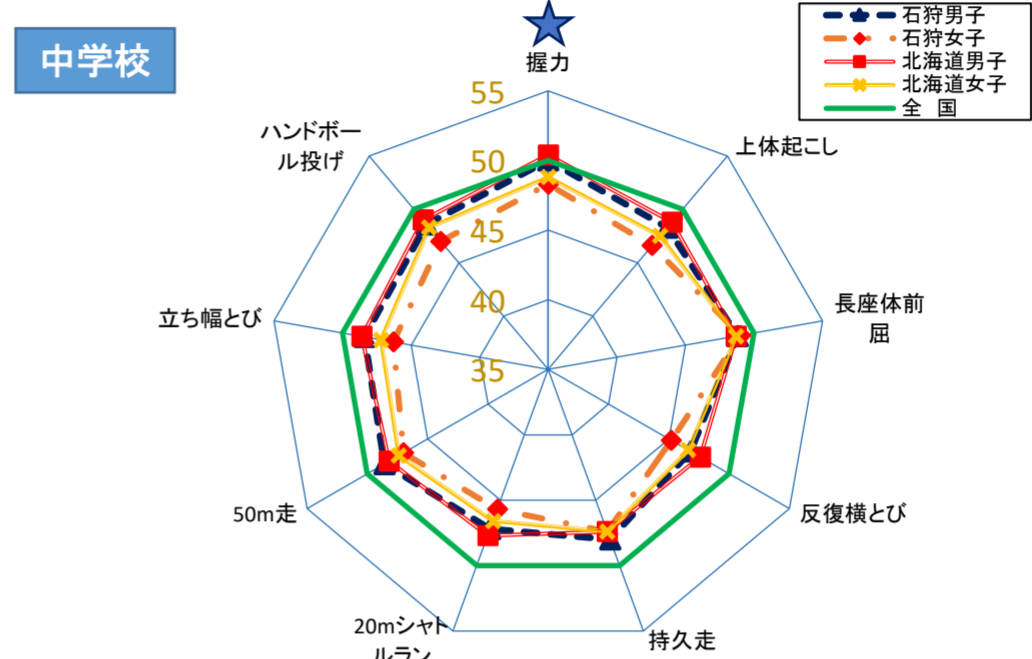
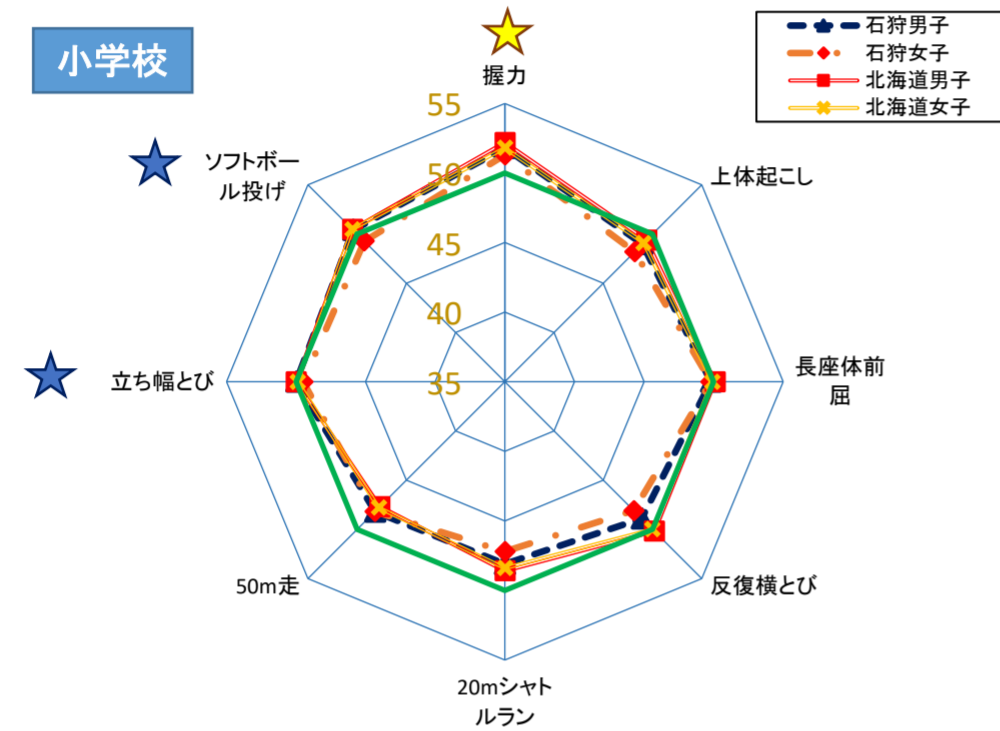
	男子	女子
石狩	51.26	52.58
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

##### ○ 中学校

	男子	女子
石狩	38.37	42.25
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

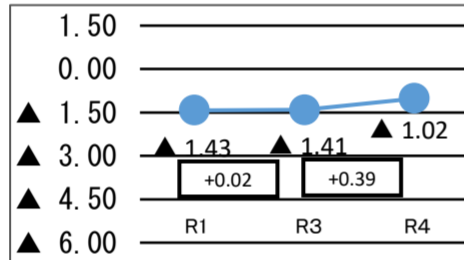
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆は男女ともに全国平均以上の種目 ★は男子のみ全国平均以上の種目 ★は女子のみ全国平均以上の種目

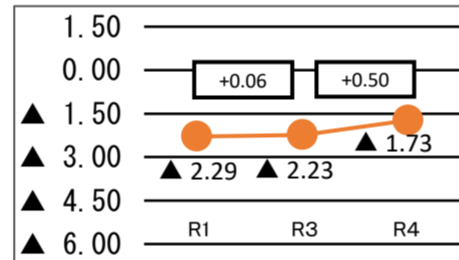


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

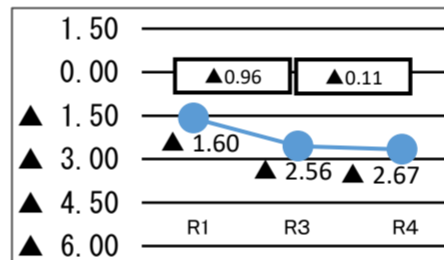
##### 小学校男子



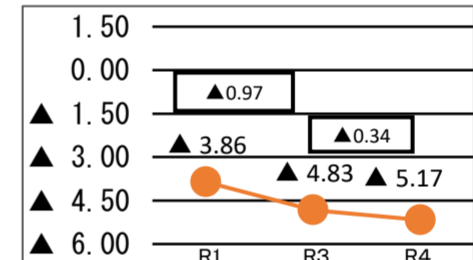
##### 小学校女子



##### 中学校男子



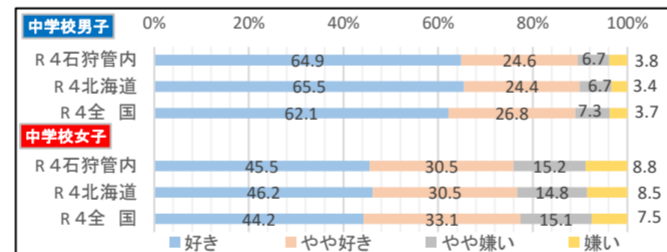
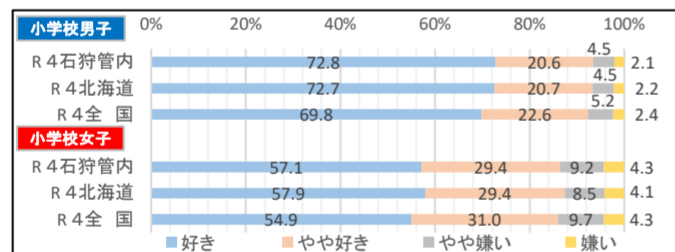
##### 中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

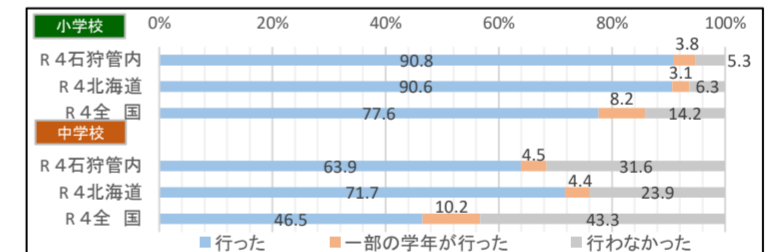
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

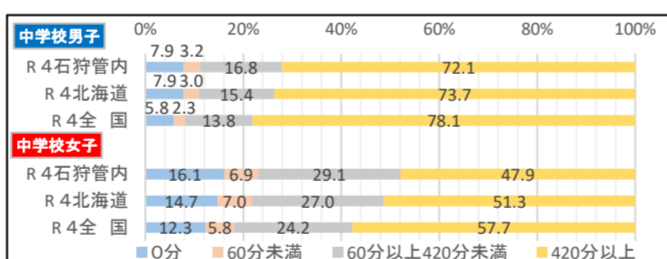
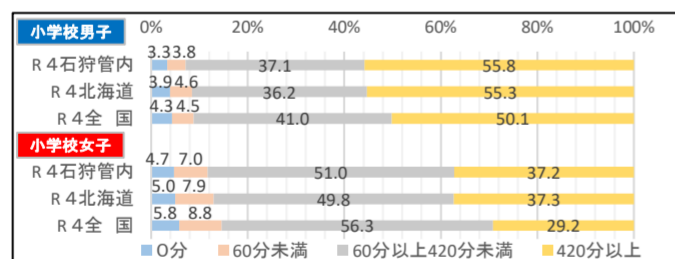


##### <学校質問紙>

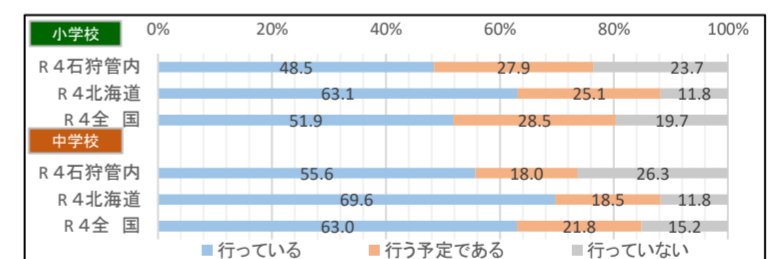
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



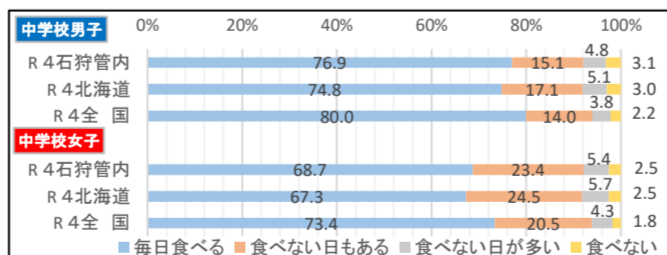
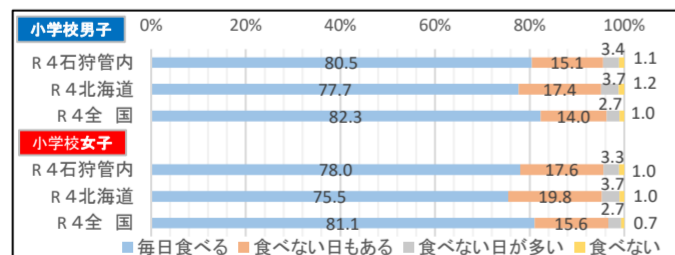
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間およそどのくらいの時間していますか。



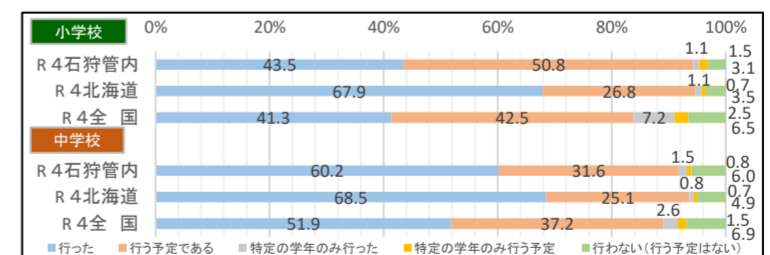
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



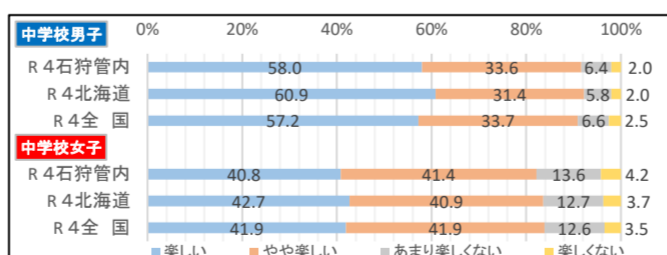
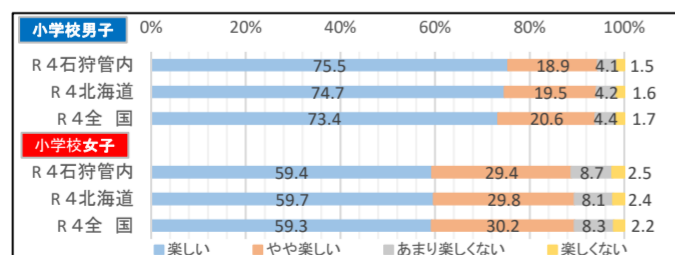
○ 朝食は毎日食べますか。



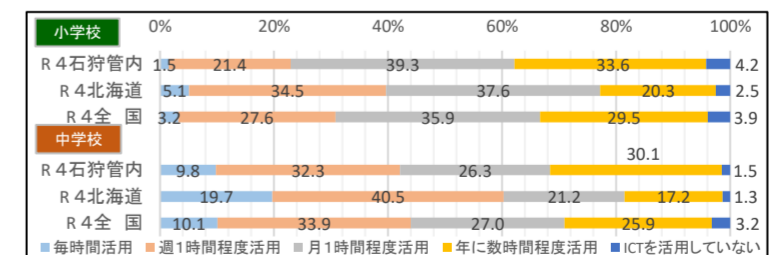
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



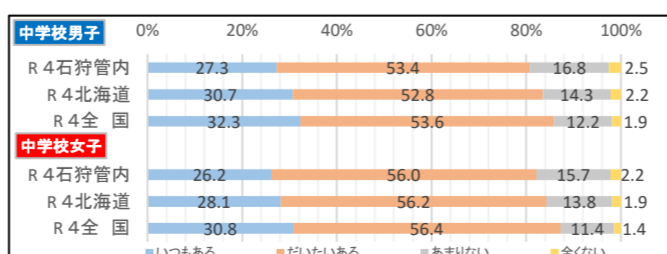
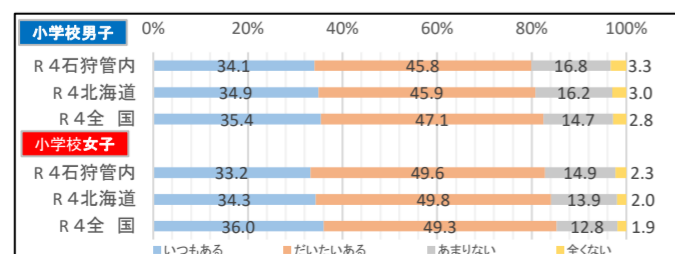
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



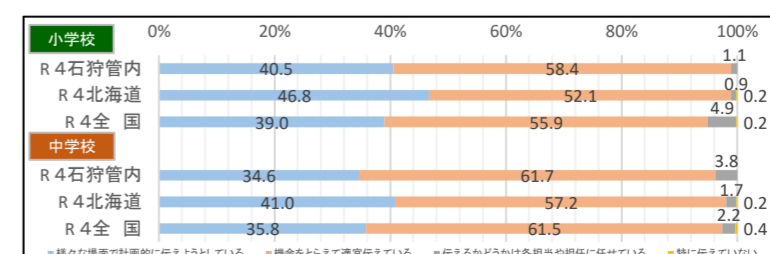
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が1.02ポイント、女子が1.73ポイント低く、課題である。</li> <li>○ 体力合計点は、昨年度と比較して、男子が0.39ポイント、女子が0.5ポイント、全国との差を縮めた。</li> <li>○ 種目別に全国平均以上となったのは、男子が3種目、女子が1種目である。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が2.67ポイント、女子が5.17ポイント低く、課題である。</li> <li>○ 体力合計点は、昨年度と比較して、男子が0.11ポイント、女子が0.34ポイント、全国との差が広がっており、課題である。</li> <li>○ 種目別に全国平均以上となったのは、男子が1種目である。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行った」と回答した学校の割合は、90.8%であり、全国より13.2ポイント高い。</li> <li>○ 「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、43.5%であり、全国より2.2ポイント高い。</li> <li>○ 「体育の授業が楽しい」と回答した児童の割合は、男子が、75.5%であり、全国より2.1ポイント高い。女子が、59.4%であり、全国より0.1ポイント高い。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った」と回答した学校の割合は、63.9%であり、全国より17.4ポイント高い。</li> <li>○ 「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、60.2%であり、全国より8.3ポイント高い。</li> <li>○ 「保健体育の授業が楽しい」と回答した生徒の割合は、男子が、58.0%であり、全国より0.8ポイント高い。女子が、40.8%であり、全国より1.1ポイント低い。</li> </ul>

## 石狩管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

<p><b>(1) A 学校における体力向上の取組の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 小学校では、体育の授業における教員の指導力の向上を図るとともに、中学校では、生徒の運動に対する意欲を高めることに重点をおいた指導の充実を図る必要がある。</li> <li>・体育、保健体育の授業における「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の充実について指導助言</li> <li>・新体力テストを全学年・全種目で実施するための環境や実施体制の整備について指導助言</li> </ul>
<p><b>(2) B 学校、家庭、地域が一体となった児童生徒の運動機会の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 児童生徒の運動時間の確保について、学校、家庭、地域が目標を共有し、連携を図りながら運動機会の充実にに向けた取組を推進する必要がある。</li> <li>・コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、子どもの体力の現状や体力向上の目標を家庭や地域と共有するよう社会教育指導班と連携して指導助言</li> <li>・体育、保健体育の授業や「1校1実践」の取組と関連付けた家庭での運動機会の確保に向けた好事例を、社会教育指導班と連携し家庭や地域にも普及・啓発</li> </ul>
<p><b>(3) C 体力向上に向けた検証改善サイクルの確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 新体力テストを全学年・全種目で実施し、全ての児童生徒の体力の状況を把握するとともに、結果分析を踏まえた授業改善や体力向上の取組の充実を図る必要がある。</li> <li>・新体力テストの結果分析に基づく検証改善サイクルの充実及び全校で統一した体力向上の取組の推進について指導助言</li> <li>・児童生徒が自己の運動能力や運動習慣等を適切に把握するとともに、運動習慣等の改善に主体的に取り組むことができるよう、個人記録の蓄積や活用について指導助言</li> </ul>

### 2 具体的な取組

月	(1)A	(2)B	(3)C
4	教育長会議、校長会、教頭・主幹教諭会議において、体力向上に向けた検証改善サイクル確立について周知		
5			
6	学校教育指導において、体力向上に成果が見られる学校の取組、継続して課題が見られる学校の種目を把握		
7	校長会・教頭会幹事研修会において、新体力テストの実施について指導助言		
8	家庭や地域との連携による児童生徒の運動機会の充実にに向けた取組の推進について社会教育の視点から指導助言		
9	各指定事業の実施について指導助言		
9	体力向上に成果が見られる学校の取組、継続して課題が見られる種目の原因の分析及び改善に向けた取組を「いしかりWebチャンネル」により周知		
10			
11	体育専科教員や体育エキスパート教員を活用した、授業力向上を図る研修の実施		
12	(令和4年度石狩管内体力向上指導力向上研修の実施)		
1	管内教育推進の重点に係る取組の評価、次年度の重点の検討		
2	各指定事業における取組の評価		
3			

### 3 取組の評価 ※ ( ) は目標値

<p><b>(1) A 各学校における体力向上の取組の推進</b></p> <p>① 体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」する児童生徒の状況 (目標値：全小・中学校、義務教育学校100%) ■小：83.5%、中：82.9%、義務：89.3%</p> <p>② 体育の授業が楽しいと感じる児童生徒の状況 (目標値：全小・中学校、義務教育学校100%) ■小：91.3%、中：87.5%、義務：91.3%</p> <p>③ 新体力テストの全学年・全種目実施の状況 (目標値：R3年度比+15p：小のみ) ※前年度 小学校：57.8%、中学校：100% ■小学校：70.8%、中学校：100%</p>	<p><b>(2) B 学校、家庭、地域が一体となった児童生徒の運動機会の充実</b></p> <p>① 体育、保健体育の授業以外の総運動時間の増加に向けた取組の状況 (目標値：前年度比+10p) ※前年度 小学校：70.3%、中学校：61.5% ■小学校：81.5%、中学校：71.8%</p> <p>② 体育、保健体育の授業や「1校1実践」の取組と関連付けた家庭での運動機会の確保に向けた取組の状況 (目標値：全小・中学校、義務教育学校100%) ■小・中学校、義務教育学校：100%</p>	<p><b>(3) C 体力向上に向けた検証改善サイクルの確立</b></p> <p>① 新体力テストの結果分析に基づく体力向上に向けた検証改善サイクルの確立の状況 (目標値：全小・中学校、義務教育学校100%) ■小・中学校、義務教育学校：100%</p> <p>② 児童生徒による自己の運動能力や運動習慣等の適切な把握及び運動習慣等の改善に向けた取組の状況 (目標値：全小・中学校、義務教育学校100%) ■小・中学校、義務教育学校：100%</p>
--	--	---

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p><b>(1) 各学校における体力向上の取組の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒が、授業でできたりわかったりすることができるよう、身に付けさせたい資質・能力を明確にして本時の目標を設定する等の授業改善を推進する必要がある。</li> <li>○ 体育の授業が楽しいと感じることができるよう、児童生徒が自身の学びや変容を自覚できる指導方法の工夫・改善を図る必要がある。</li> <li>○ 小学校において、新体力テストの全学年・全種目実施の取組を推進する必要がある。</li> </ul>	<p><b>(2) 学校、家庭、地域が一体となった児童生徒の運動機会の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校で実施されている、「どさん子元気アップチャレンジ」等を活用した総運動時間の増加に向けた好事例を周知するなど、授業以外の体力向上の取組を推進する必要がある。</li> <li>○ 「1校1実践」の取組と関連付けた家庭での運動機会の確保に向けた取組を一層充実させる必要がある。</li> </ul>	<p><b>(3) 体力向上に向けた検証改善サイクルの確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校で実施されている体力向上に向けた検証改善サイクルについて学校全体で見直しを図るなど、組織的な改善を推進し、取組を一層充実させる必要がある。</li> <li>○ 各学校が、新体力テストの結果を活用した指導方法の工夫・改善を図るため、年間指導計画に全学年・全種目の実施を位置付けるよう働きかける必要がある。</li> </ul>
---	---	---

# 後志管内の状況

1市13町6村

## 小・中学校

(小学校数:57校 児童数:1,306人、中学校数:35校 生徒数:1,255)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

##### ○ 小学校

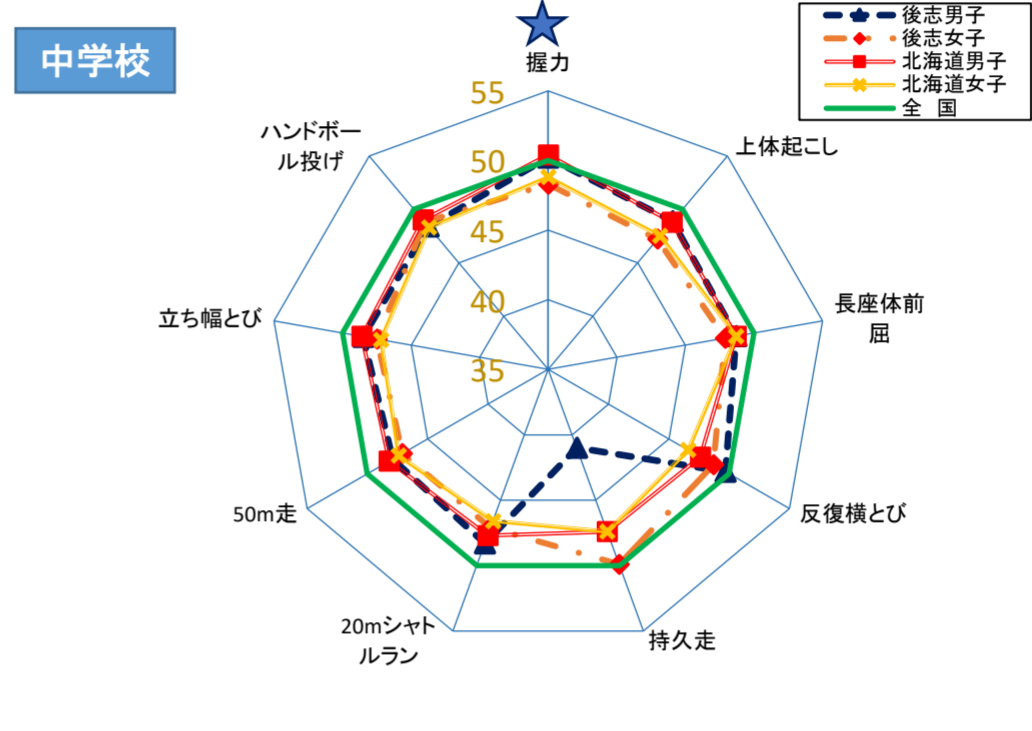
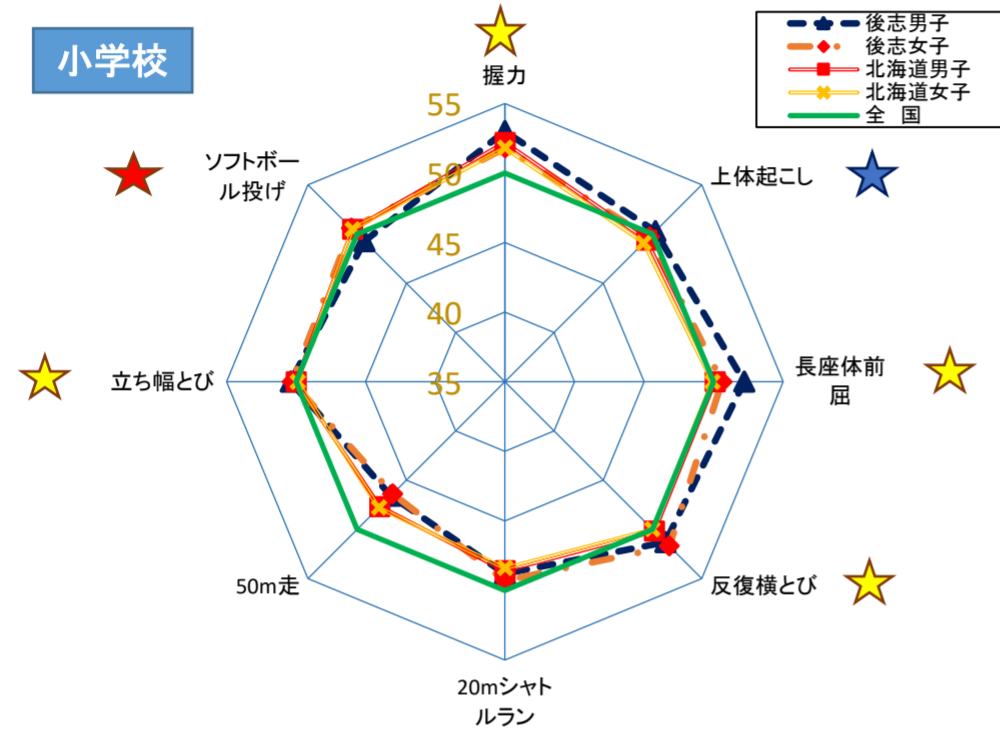
	男子	女子
後志	52.27	54.23
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

##### ○ 中学校

	男子	女子
後志	38.93	43.74
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

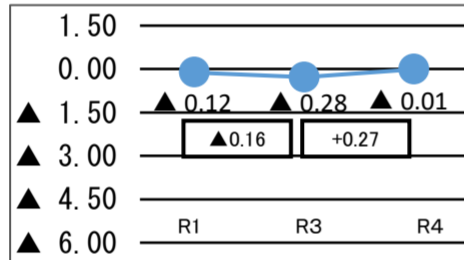
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ★は男女ともに全国平均以上の種目 ☆は男子のみ全国平均以上の種目 ☆は女子のみ全国平均以上の種目

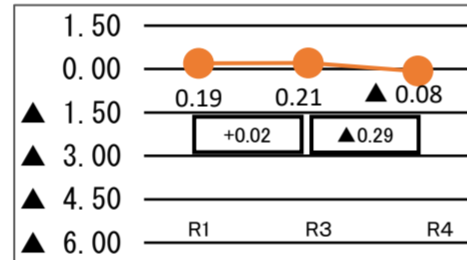


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

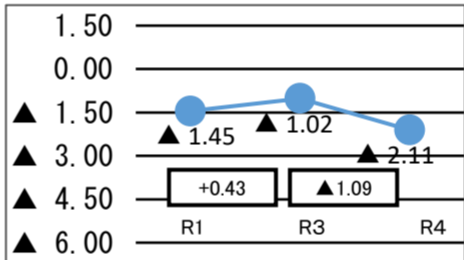
##### 小学校男子



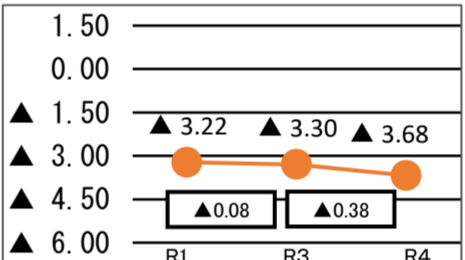
##### 小学校女子



##### 中学校男子



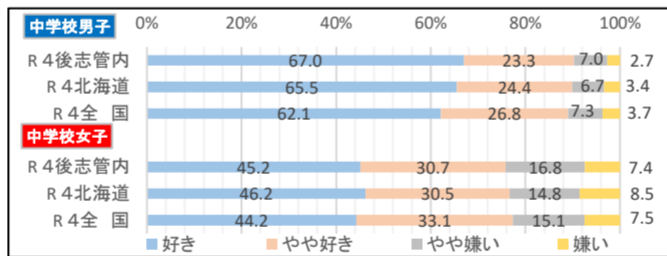
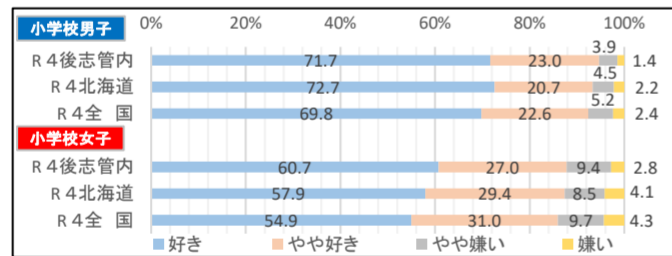
##### 中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

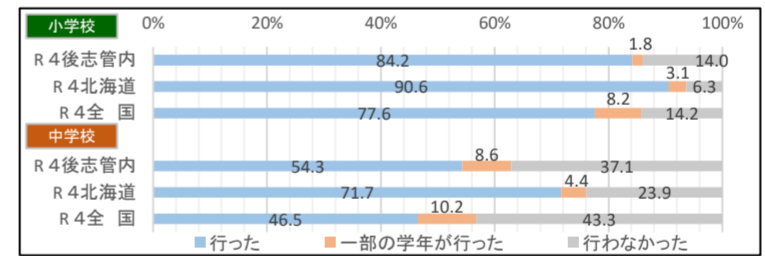
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

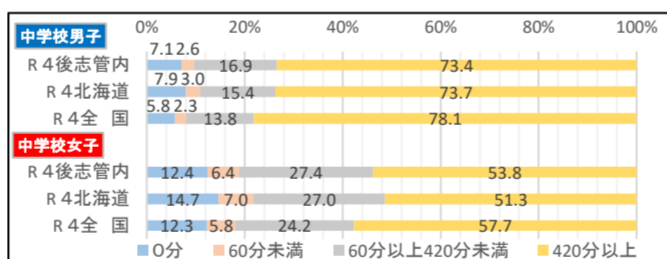
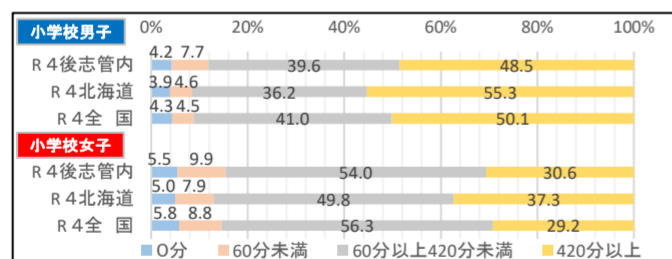


##### <学校質問紙>

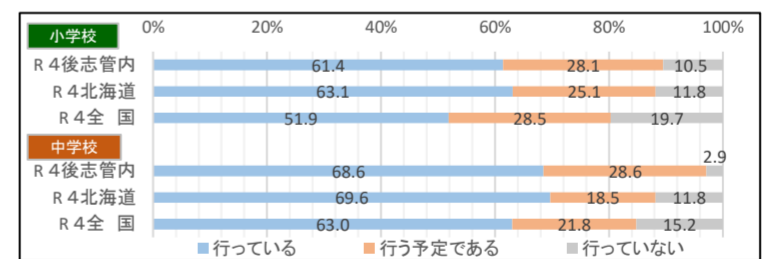
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



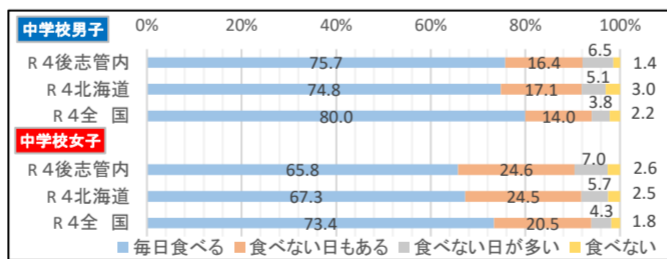
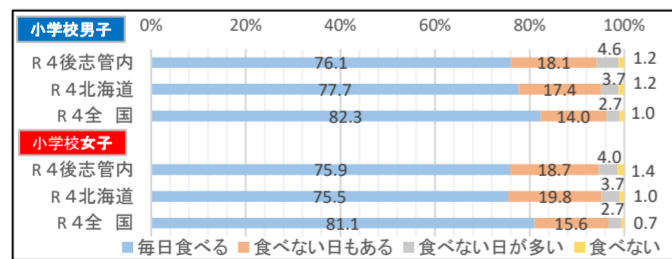
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間およそどのくらいの時間していますか。



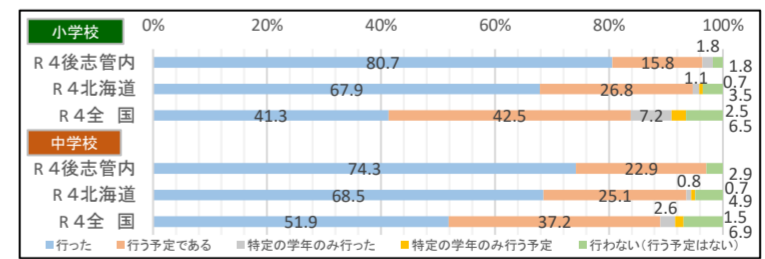
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



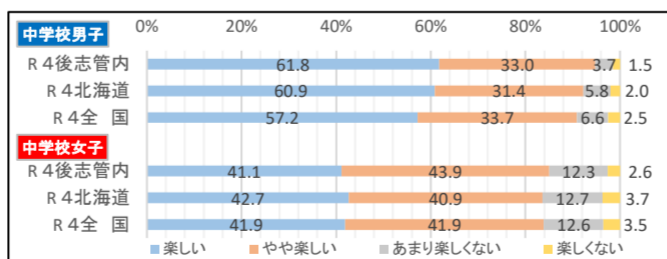
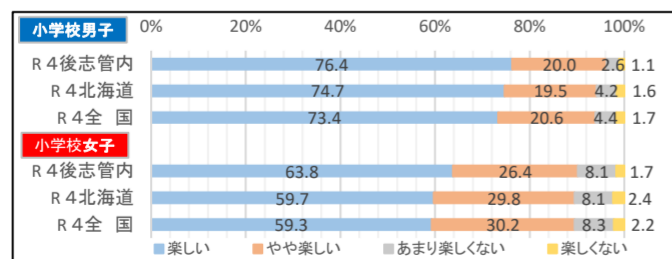
○ 朝食は毎日食べますか。



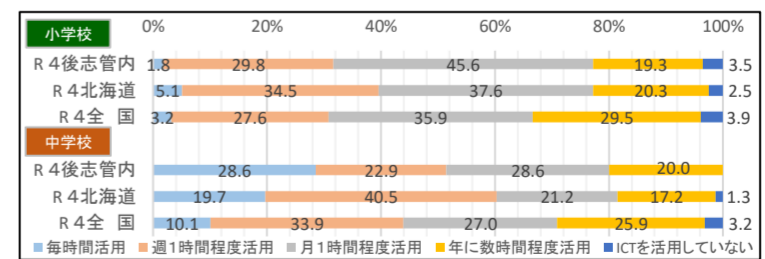
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



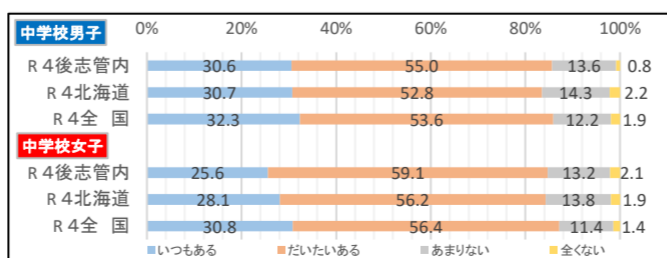
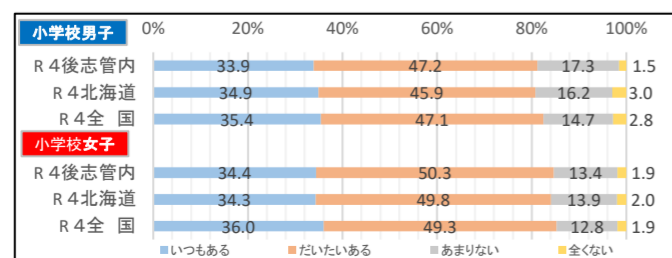
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



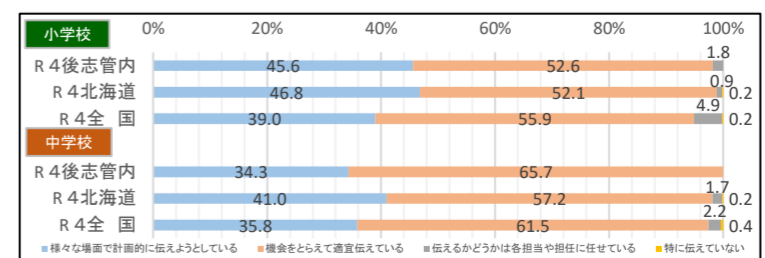
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が0.01ポイント低く、女子が0.08ポイント低く課題である。</li> <li>○ 種目別で全国を上回ったのは、男子が5種目、女子が5種目である。</li> <li>○ 体力合計点の差の推移は、男子は全国との差を縮めているが、女子はR3より0.29ポイント下がっており課題である。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が2.11ポイント低く、女子が3.68ポイント低く課題である。</li> <li>○ 種目別で全国を上回ったのは、男子が1種目である。</li> <li>○ 体力合計点の差の推移は、男女共に前回よりも差が広がっており課題である。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているかという設問において、毎時間活用していると回答した学校の割合は全国より1.4ポイント低く課題である。</li> <li>○ 運動やスポーツが好きと回答した児童の割合は、全国と比較して、男子が1.9ポイント、女子が5.8ポイント高い。</li> <li>○ 体育の授業が楽しいと回答した児童の割合は、全国と比較して男子が3.0ポイント、女子が4.5ポイント高い。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているかという設問において、毎時間活用していると回答した学校の割合は全国より18.5ポイント高い。</li> <li>○ 運動やスポーツが好きと回答した生徒の割合は、全国と比較して、男子が4.9ポイント、女子が1.0ポイント高い。</li> <li>○ 体育の授業が楽しいや楽しいと回答した生徒の割合は、全国と比較して男子が3.9ポイント、女子が1.2ポイント高い。</li> </ul>

## 後志管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

#### (1) 組織的な体力向上

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や新体力テストの結果分析に基づいた組織的・計画的な体力向上の取組が十分でない
- 新体力テストの結果等を活用した、子ども自身が目標を設定し、運動したり望ましい生活習慣を意識したりする取組の推進
- 新体力テストの結果等の分析で明らかになった課題の改善に向けた体力向上の取組の見直しと実践

#### (2) 授業改善

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や新体力テストの結果分析に基づく体育授業の改善が十分でない
- ICTの効果的な活用による体育・保健体育の授業の中で自分の動きの質の向上を実感させる場の意図的な設定
- 体育専科教員、体育エキスパート教員、中学校体力向上推進教員による管内への授業実践の紹介及び好事例の普及

### 2 具体的な取組

月	(1) 組織的な体力向上	(2) 授業改善
4		
5		
6		体力向上お悩み相談
7		
8	全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び新体力テスト等の調査結果活用に向けた教職員向け資料の配付	
9		体力向上オンラインセッション
10		学校訪問における全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施状況の把握と授業改善に向けた指導助言
11		体育専科教員による公開授業及び成果普及の取組（中学校体力向上推進教員の発表を含む）
12		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の調査結果を活用した、成果と課題の把握・検証</li> <li>○ 新体力テスト分析ツールによる分析による成果と課題の把握・検証</li> <li>○ 次年度の管内教育推進の重点の検討</li> </ul>	
2		
3		

### 3 取組の評価

<p><b>(1) 組織的な体力向上</b></p> <p>① 体力向上プラン等の作成・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小100% 中100%</li> <li>・目標 小100% 中100%</li> <li>・達成 小100% 中100%</li> </ul> <p>② 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について児童生徒自身が自分なりの目標を立てて取り組んでいる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小69.1% 中62.0%</li> <li>・目標 小100% 中100%</li> <li>・達成 小74.7% 中68.4%</li> </ul> <p>③ どさん子元気アップチャレンジの参加状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小17校 中7校</li> <li>・目標 小18校 中8校</li> <li>・達成 小7校 中3校</li> </ul>	<p><b>(2) 授業改善</b></p> <p>① ICTの効果的な活用による体育・保健体育授業の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小100% 中100%</li> <li>・目標 小100% 中100%</li> <li>・達成 小100% 中100%</li> </ul> <p>② 局独自研修後の授業改善の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 新規項目のためデータなし</li> <li>・目標 小90.0% 中90.0%</li> <li>・達成 小97.0% 中100%</li> </ul>
---	---

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p><b>(1) 組織的な体力向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力向上プラン等の作成・活用が行われているが、更なる充実を図るため、各学校において体力向上プランを短いサイクルで見直すなどし、継続的な検証改善サイクルを確立できるよう、学校教育指導等において指導助言を行う。</li> <li>○ 児童生徒の朝食摂取率や運動時間に課題が見られることから、生活習慣に係るアンケートや全国体力・運動能力、運動習慣等調査、新体力テスト等の各種調査結果を分析し、望ましい生活習慣や運動習慣が確立できるよう学校教育指導や局独自研修で指導助言を行う。</li> </ul>	<p><b>(2) 授業改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業改善の意識が高いが、更なる充実を図るため、体育エキスパート教員、体育専科教員等を講師とした局独自研修（ShiriBeshi Learning BOX・市町村と連携した研修等）を実施し、悩みを解決したり、好事例を紹介したりしていくことで、体育・保健体育の授業改善に向けた支援をしていく。</li> <li>○ ICTを効果的に活用した体育・保健体育の授業が行われているが、更に効果的な活用を促進するために、学校教育指導においてICT活用の好事例を紹介しながら指導助言を行う。</li> </ul>
--	---

# 胆振管内の状況

4市7町

## 小・中学校

(小学校数:67校 児童数:2,803人、中学校数:44校 生徒数:2,713)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

##### ○ 小学校

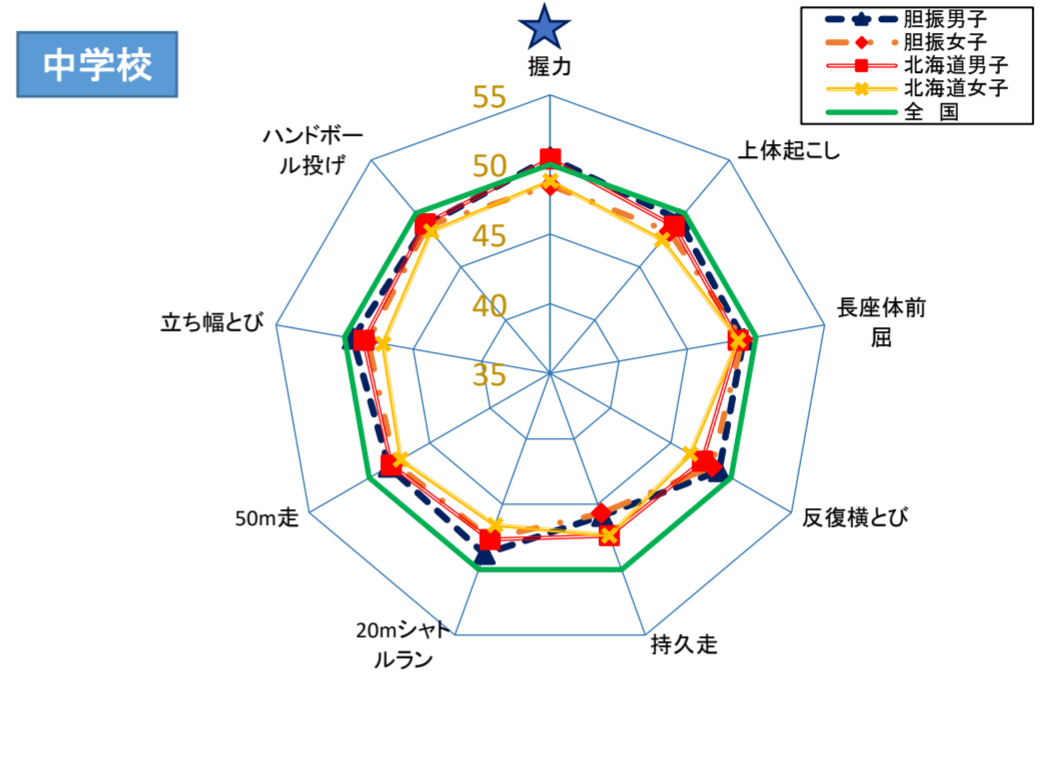
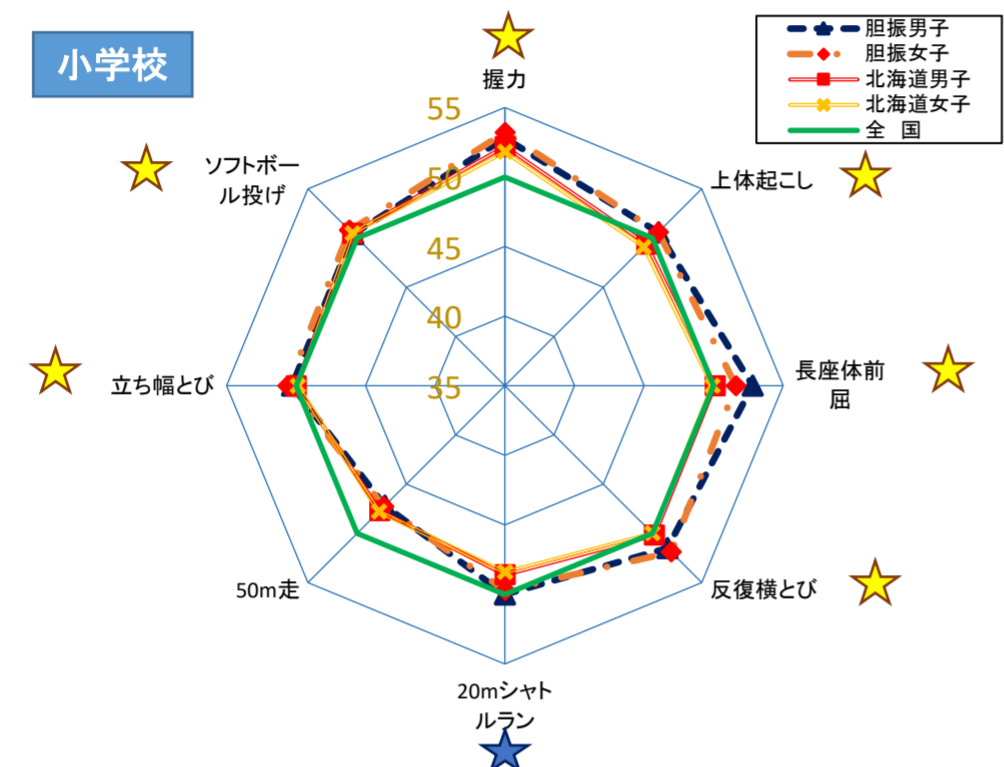
	男子	女子
胆振	52.93	54.97
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

##### ○ 中学校

	男子	女子
胆振	39.18	44.44
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

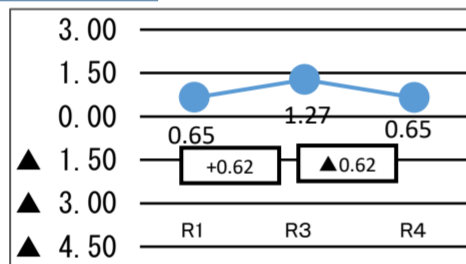
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆ は男女ともに全国平均以上の種目 ★ は男子のみ全国平均以上の種目 ★ は女子のみ全国平均以上の種目

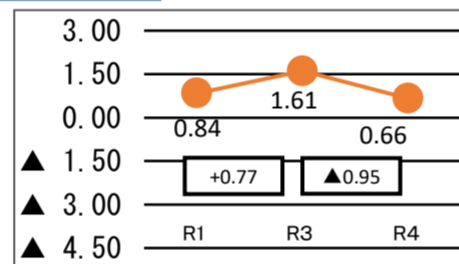


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

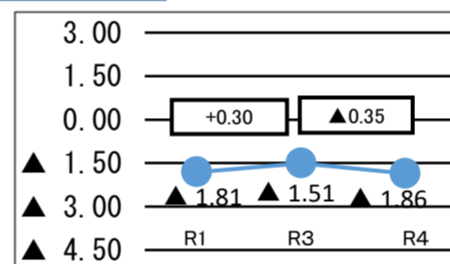
##### 小学校男子



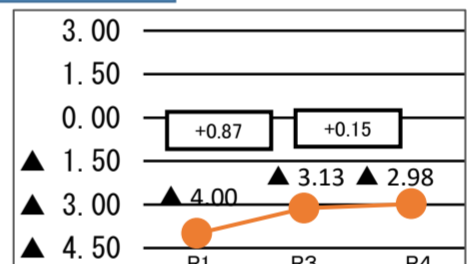
##### 小学校女子



##### 中学校男子



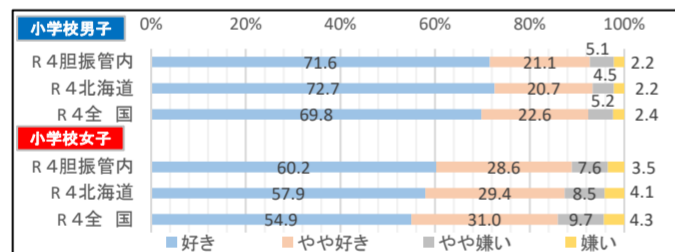
##### 中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

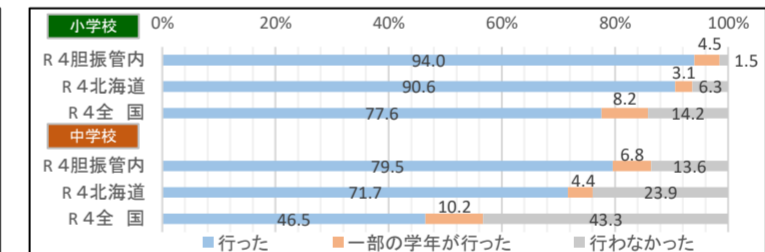
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

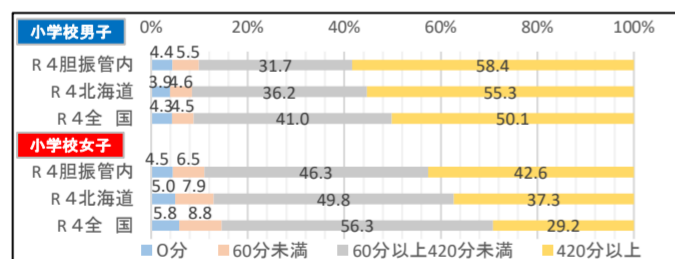


##### <学校質問紙>

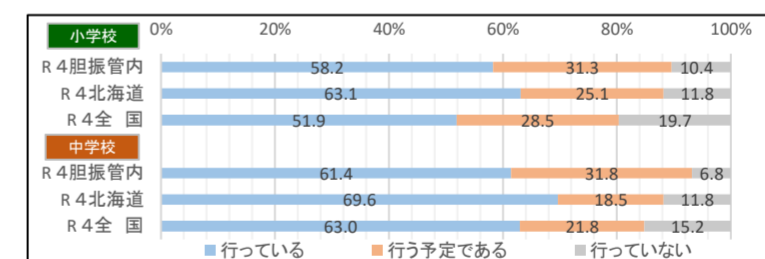
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



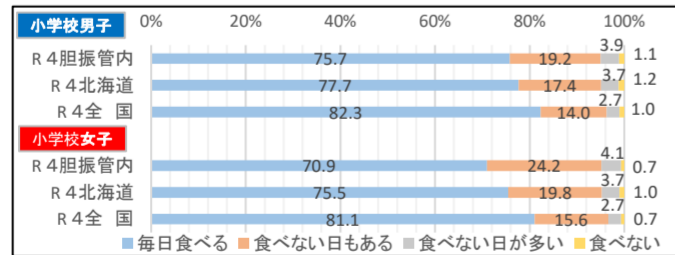
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間およそどのくらいの時間していますか。



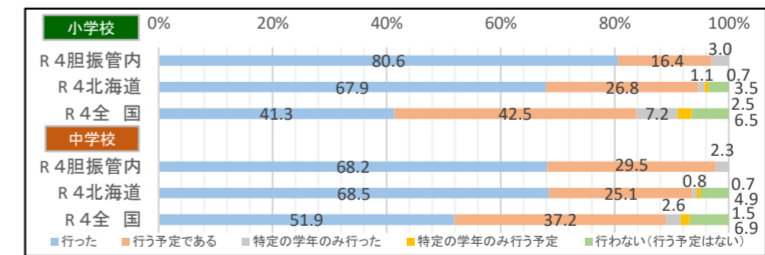
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



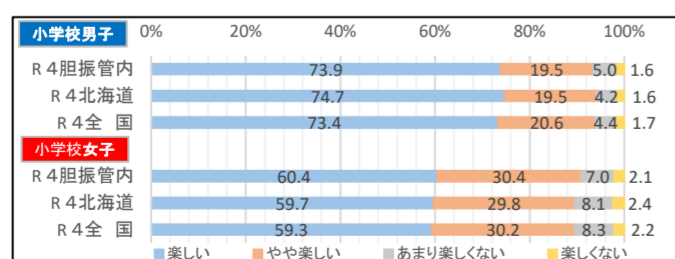
○ 朝食は毎日食べますか。



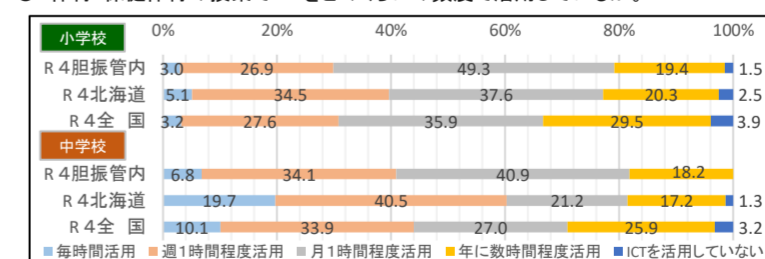
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



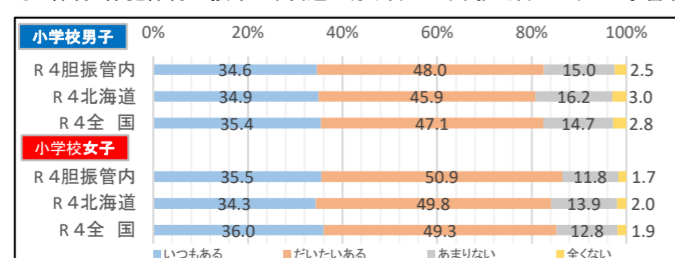
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



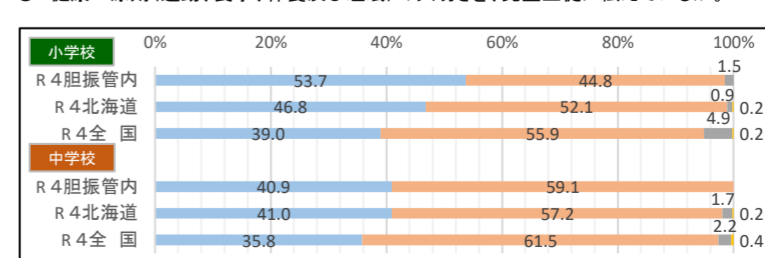
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が0.65ポイント、女子が0.66ポイント高い。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男女いずれも6種目である。</li> <li>○ 体力合計点の全国との差とその推移は、令和3年度と比較して、男子が0.62ポイント、女子が0.95ポイント下降している。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が1.86ポイント、女子が2.98ポイント低く、課題である。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男子が1種目である。</li> <li>○ 体力合計点の全国との差とその推移は、令和3年度と比較して、男子が0.35ポイント下降、女子が0.15ポイント上昇している。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運動やスポーツをすることが好き。」と回答した児童の割合は、全国と比較して男子が1.8ポイント、女子が5.3ポイント高い。</li> <li>○ 「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫改善を行った。」と回答した学校の割合は、全国と比較して39.3ポイント高い。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運動やスポーツをすることが好き。」と回答した生徒の割合は、全国と比較して男子が6.0ポイント、女子が5.0ポイント高い。</li> <li>○ 「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫改善を行った。」と回答した学校の割合は、全国と比較して16.3ポイント高い。</li> </ul>

## 胆振管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

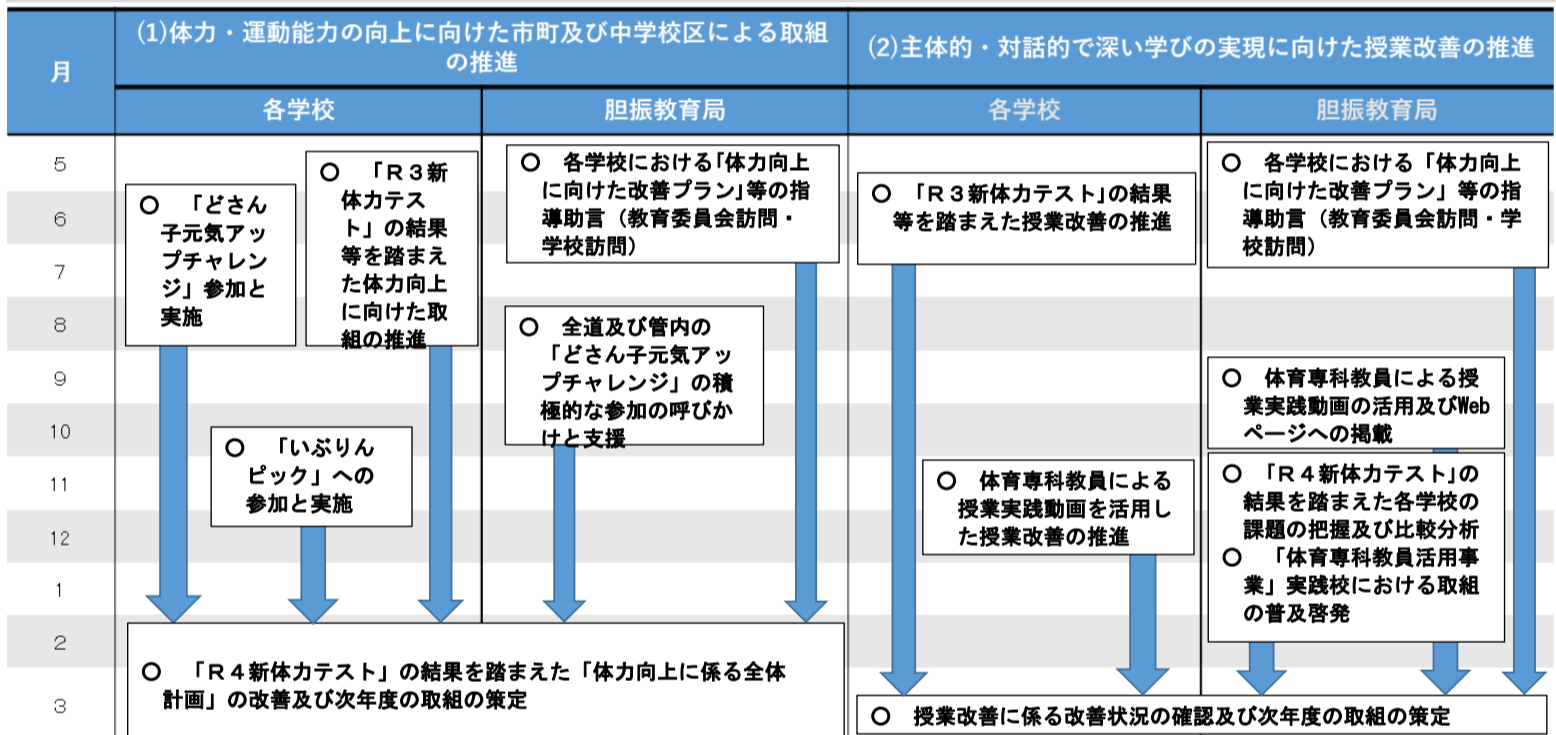
#### (1) 体力・運動能力の向上に向けた市町及び中学校区による取組の推進

- 教育課程の実施状況を評価してその改善を図る検証改善サイクルの確立
- 「どさん子元気アップチャレンジ」及び「いぶりンピック」への参加奨励による運動機会の提供

#### (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進

- ICT等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- 体育専科教員活用事業及び中学校体力向上推進教員活用事業の成果の普及・啓発
- 体育専科教員による授業実践動画の活用及び胆振教育局Webページへの掲載

### 2 具体的な取組



### 3 取組の評価 ※（ ）は目標値

<p>(1) 体力・運動能力の向上に向けた市町及び中学校区による取組の推進</p> <p>① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査学校調査票の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映している」の項目において、肯定的な回答が小・中学校共に100% (R3結果 小学校…98.6%、中学校…97.7%) R4 小学校…98.5%、中学校93.2%</p> <p>② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査児童・生徒調査票において、「平日（月～金曜日）、学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ているか」の項目において、2時間以上の児童生徒が小・中学校ともに70%以下 (R3結果 小学校…88.6%、中学校…78.4%) R4 小学校男子…81.2%、小学校女子…64.0%、 中学校男子…69.3%、中学校女子…77.8%</p>	<p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進</p> <p>① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査学校調査票の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行っている」の項目において、肯定的な回答が小・中学校ともに100% (R3結果 小学校…73.9%、中学校…84.1%) R4 小学校…97.1%、中学校…97.8%</p> <p>② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査学校調査票の「体育の授業でICTを活用している場合、ゲームや試合の様子を撮影して、チームで作戦を立てる参考にするようにしている」の項目において、児童生徒が小・中学校ともに50%以上 (R3結果 小学校…29.0%、中学校…34.1%) R4 小学校…32.4%、中学校…27.3%</p>
---	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p>(1) 体力・運動能力の向上に向けた市町及び中学校区による取組の推進</p> <p>○ ①、②において、目標値を下回った内容があることから、引き続き学校教育指導訪問等で客観的指標を踏まえた体力向上の取組の充実について指導するとともに、望ましい電子メディアの利活用に向けた啓蒙活動の推進を市町及び中学校区で取り組む必要がある。</p>	<p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進</p> <p>○ ①、②において、改善傾向が見られることから、児童生徒の実態に応じた段階的な運動課題の提示、ICTを効果的に活用した自己や仲間の課題の共有及び協働的に課題解決を図る場面の設定について指導助言するとともに、組織的な授業改善に向け、体育専科教員による授業動画を活用した好事例の普及を図る必要がある。</p>
---	---

# 日高管内の状況

7町

## 小・中学校

(小学校数:26校 児童数:469人、中学校数:14校 生徒数:463)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

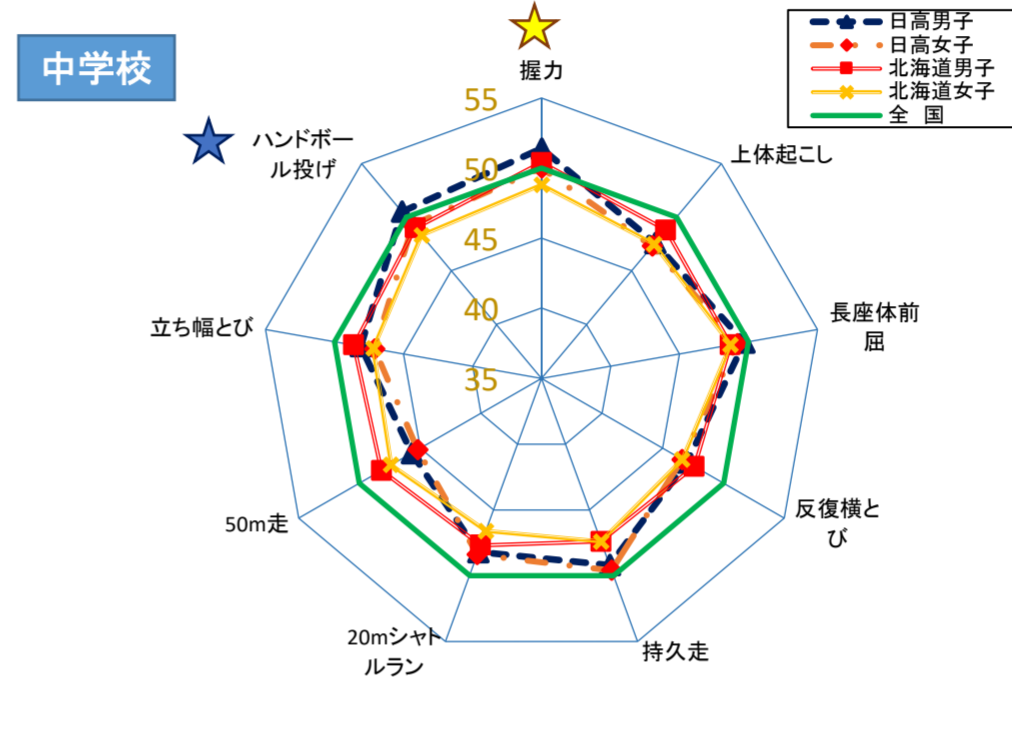
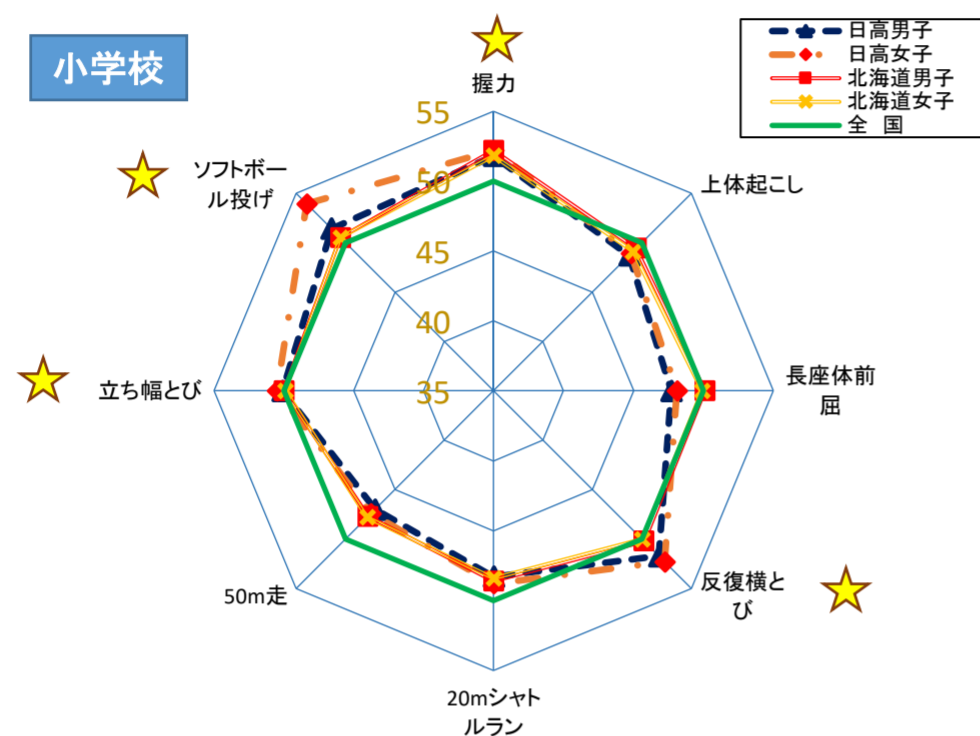
	男子	女子
日高	51.23	54.14
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
日高	38.76	43.79
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

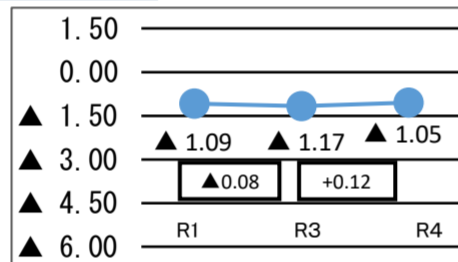
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆ は男女ともに全国平均以上の種目 ★ は男子のみ全国平均以上の種目 ★ は女子のみ全国平均以上の種目

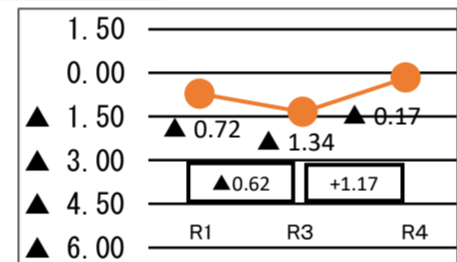


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

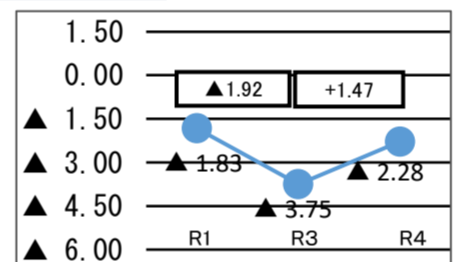
小学校男子



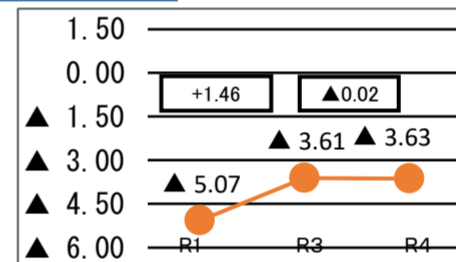
小学校女子



中学校男子



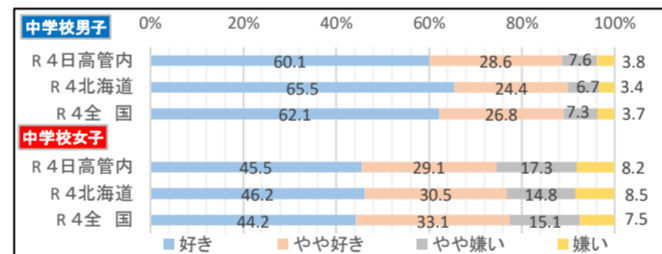
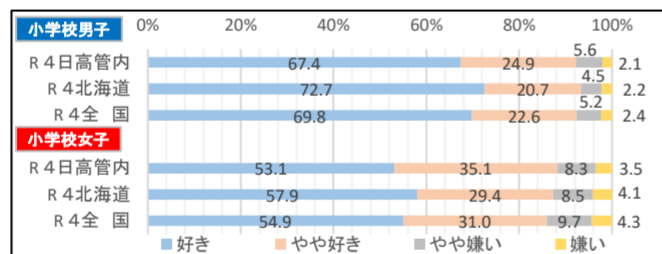
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

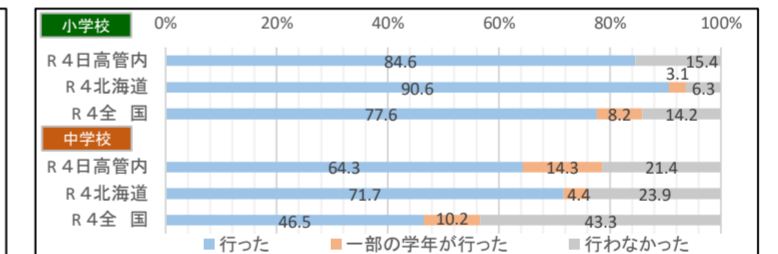
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

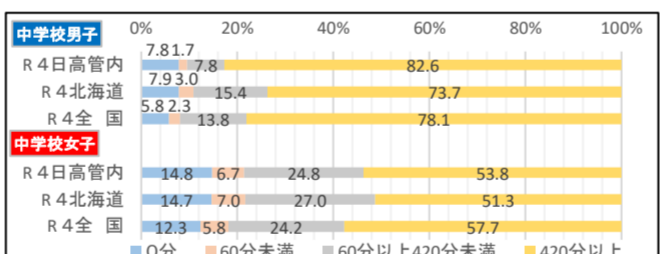
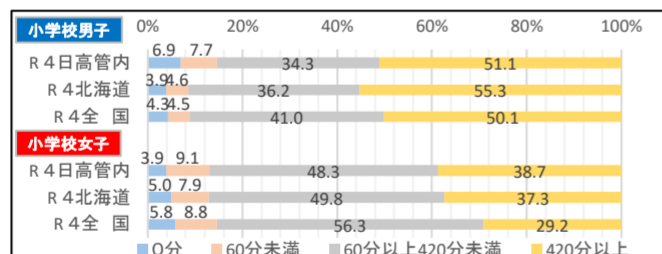


##### <学校質問紙>

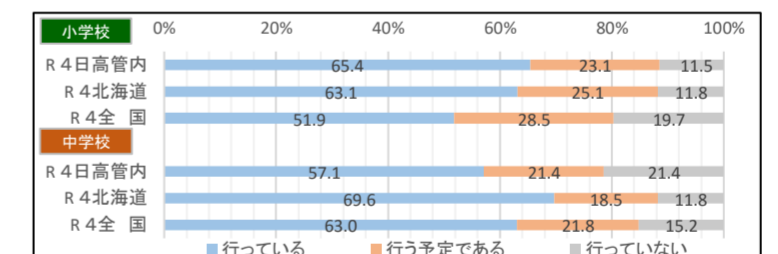
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



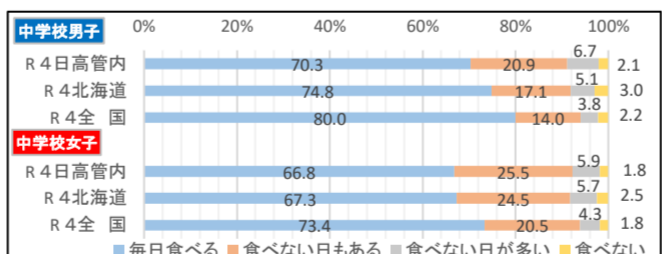
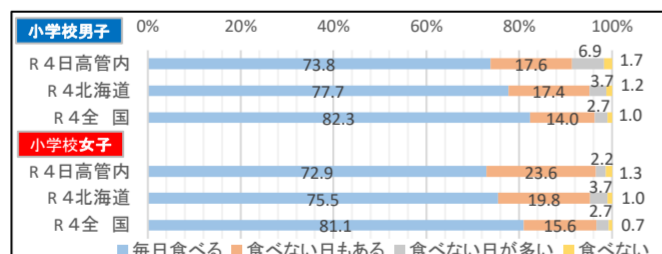
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそのくらの時間していますか。



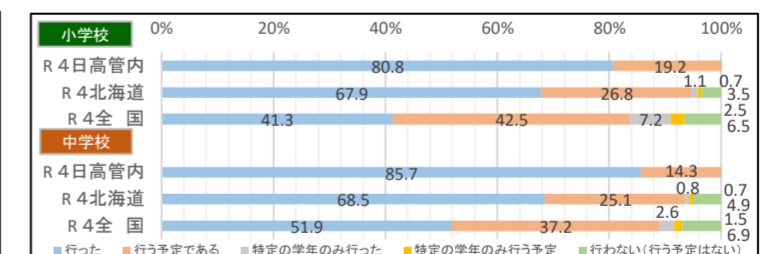
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行っているか。



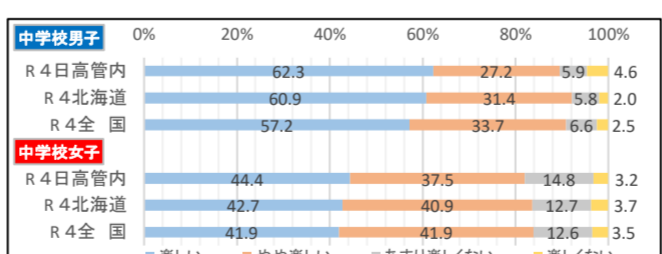
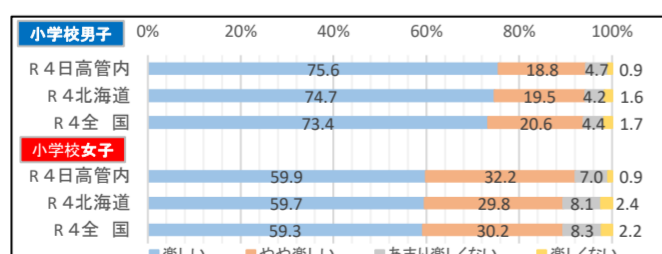
○ 朝食は毎日食べますか。



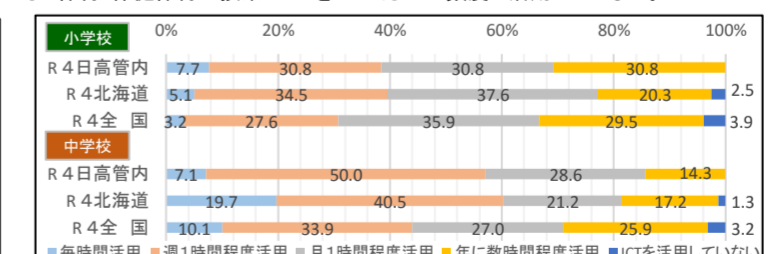
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



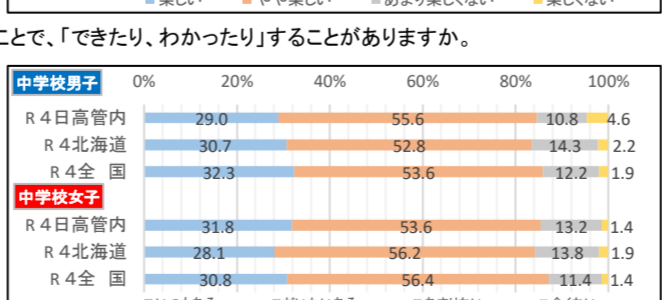
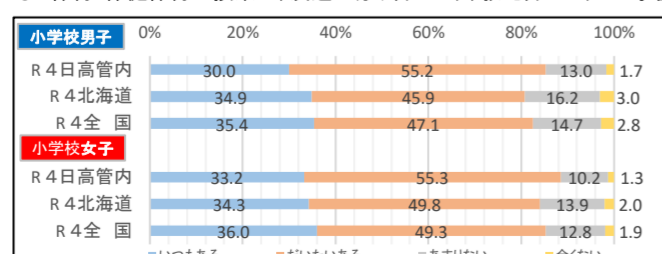
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



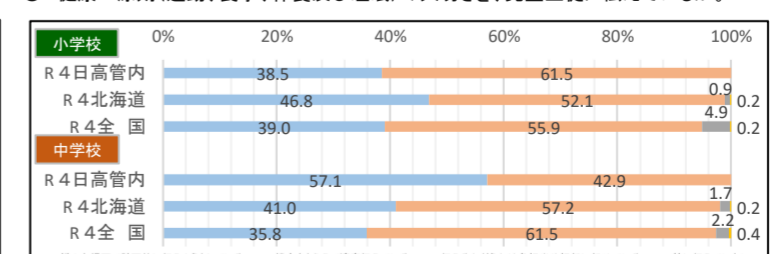
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。





## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小学校 ＞		＜ 中学校 ＞	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が1.05ポイント、女子が0.17ポイント低く、課題である。</li> <li>○ 体力合計点は、昨年度と比較して、男子が0.12ポイント、女子が1.17ポイント、全国との差を縮めた。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男子が3種目、女子が4種目である。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が2.28ポイント、女子が3.63ポイント低く、課題である。</li> <li>○ 体力合計点は、昨年度と比較して、男子が1.47ポイント差を縮めているが、女子が0.02ポイント、全国との差を広げた。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男子が2種目である。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った」と回答した学校の割合は、全国と比較して7.0ポイント高い。</li> <li>○ 「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合は、全国と比較して、男子は2.2ポイント、女子は0.6ポイント高い。</li> <li>○ 「体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した児童の割合は、全国と比較して、男子は5.4ポイント、女子は2.8ポイント低く、課題である。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、全国と比較して33.8ポイント高い。</li> <li>○ 「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒の割合は、全国と比較して、男子は5.1ポイント、女子は2.5ポイント高い。</li> <li>○ 「体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した生徒の割合は、全国と比較して、女子は1.0ポイント高いが、男子は3.3ポイント低く、課題である。</li> </ul>

## 日高管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

- (1) A 体力向上に係る検証改善サイクルの構築
- 体力向上に係る具体的な方策を十分に明確にした取組を行っていない学校があることから、児童生徒の体力・運動能力に係る特性や状況等にに応じた検証改善サイクルの構築を図る必要がある。
    - 体力向上の取組の現状分析に基づく、数値目標の設定及び検証改善サイクルの構築に係る指導助言
    - 各種調査結果等に基づく、PDCAサイクルの確立による体力向上に係る取組の推進
- (2) B ICT機器の効果的な活用による指導の充実
- 体育科の授業でICT機器を活用する際、学習評価情報を効果的に収集するための授業の振り返りについて課題が見られることから、「個別最適な学び」の視点を取り入れた授業改善を図る必要がある。
    - 児童生徒1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集等を活用した、体育・保健体育科の指導方法について、指導助言
    - 体力向上に係る授業実践とICT機器の効果的な活用を組み合わせたことによる「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する授業改善の取組の推進
- (3) C 多様な人材等と連携した、体力向上に係る組織的・協働的な取組の推進
- 体力向上に係る取組を管内に普及することに課題があったことから、多様な専門性をもつ人材と効果的に連携し、体力向上に係る取組について、校内研修等の共通理解を図る場を設定するなどして、組織的・協働的な体力向上に係る取組の普及を推進する必要がある。
    - 小学校体育専科教員や中学校体力向上推進教員等、体力向上に係る多様な人材や関係機関との連携及び協働について、指導助言
    - 体力向上に係る取組や指導方法の工夫等について共通理解を図る校内研修等の取組の推進

### 2 具体的な取組

月	(1) A 体力向上に係る検証改善サイクルの構築	(2) B ICT機器の効果的な活用による指導の充実	(3) C 多様な人材等と連携した、体力向上に係る組織的・協働的な取組の推進
4	小学校体育専科教員・中学校体力向上推進教員との連携、体力向上に係る取組をクラウドストレージ上で共有、授業改善の推進（通年）		
5	義務教育指導監訪における体力向上に係る検証改善サイクルについての指導助言	学校教育指導訪問（1次訪問）における体育・保健体育科の授業でのICT機器の効果的な活用について、指導助言	学校教育指導訪問（1次訪問）で小学校体育専科教員及び中学校体力向上推進教員を含む体力向上に係る学校外の人材の活用について、指導助言
6	学校教育指導訪問（1次訪問）における体力向上の取組の現状分析に基づく、数値目標の設定について指導助言	指導主事の学校教育指導訪問（出張講座）及び町教育委員会主催の研修会等における各学校のICT機器の効果的な活用について、指導助言	
7	第1回北海道体力向上推進会議		
8			
9	学校教育指導訪問（2次訪問）における体力向上の取組の現状分析に基づく、数値目標の設定及び検証改善サイクルの構築について、指導助言	学校教育指導訪問（2次訪問）における児童生徒1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育科の授業での事例集等を活用した、体育・保健体育科の指導方法について、指導助言	学校教育指導訪問（2次訪問）における小学校体育専科教員や中学校体力向上推進教員等、多様な人材や関係機関との連携及び協働について、指導助言
10	第2回北海道体力向上推進会議		
11	どさん子体力アップ強調月間の取組の推進		
12	日高管内教育課程編成協議会		
1	どさん子元気アップチャレンジの取組の推進		
2	小学校体育専科教員、中学校体力向上推進教員による体力向上に係る取組事例の普及		
3	第3回北海道体力向上推進会議		

### 3 取組の評価 ※（ ）は目標値

<p>(1) A 体力向上に係る検証改善サイクルの構築</p> <p>① 体力向上に係る現状分析に基づく、検証改善サイクルを確立している学校の割合（管内教育推進の重点評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…96.2% 中…80.0%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…96.2% 中…93.3%</li> </ul> <p>② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における、1週間の総運動時間が60分以上の児童生徒の割合（全国体力・運動能力、運動習慣等調査 児童生徒質問紙結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…81.7% 中…81.5%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…86.2% 中…84.7%</li> </ul>	<p>(2) B ICT機器の効果的な活用による指導の充実</p> <p>① ICT機器の効果的な活用及び教員のICT活用、指導力の一層の向上に取り組んでいる学校の割合（管内教育推進の重点評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…100% 中…86.7%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…100% 中…86.7%</li> </ul> <p>② 体育・保健体育の授業において、ICTを活用している学校の割合（全国体力・運動能力、運動習慣等調査学校質問紙結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…100% 中…96.2%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…100% 中…100%</li> </ul>	<p>(3) C 多様な人材等と連携した、体力向上に係る組織的・協働的な取組の推進</p> <p>① 体育・保健体育の授業において、学校外の人材を活用している学校の割合（全国体力・運動能力、運動習慣等調査学校質問紙結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…30.8% 中…69.2%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…23.1% 中…71.4%</li> </ul> <p>② 自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映させるために校内外の研修や研究会のような取組に、積極的に参加している学校の割合（全国体力・運動能力、運動習慣等調査学校質問紙結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…69.2% 中…46.7%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…69.2% 中…64.3%</li> </ul>
--	--	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p>(1) A 体力向上に係る検証改善サイクルの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1週間の総運動時間が60分以上の児童生徒の割合に課題が見られることから、体力向上に係る取組及び具体的な数値目標の設定の状況について把握するとともに、ゴールを明確にした体力向上の取組を計画的に推進するよう、学校教育指導訪問等で指導・助言を行う必要がある。</li> </ul>	<p>(2) B ICT機器の効果的な活用による指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT機器を効果的に活用した体育・保健体育科の授業改善が、児童生徒の体力・運動能力の向上に結びついていない学校があることから、ICT機器を効果的に活用し、自分の体力や運動能力を自己評価し、主体的に改善を図ることができるよう、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点から授業改善の取組を推進する必要がある。</li> </ul>	<p>(3) C 多様な人材等と連携した、体力向上に係る組織的・協働的な取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育・保健体育の授業において、学校外の人材を活用している学校の割合に課題があることから、多様な専門性をもつ人材及び家庭や地域住民等と、運動習慣や生活習慣の状況、各学校の体力向上の取組の成果や課題を共有するとともに、各校の実践の成果を参考に、組織的・協働的な体力向上に取り組むよう、指導助言する必要がある。</li> </ul>
--	---	--

# 渡島管内の状況

2市9町

## 小・中学校

(小学校数:77校 児童数:2,537人、中学校数:39校 生徒数:2,384人)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

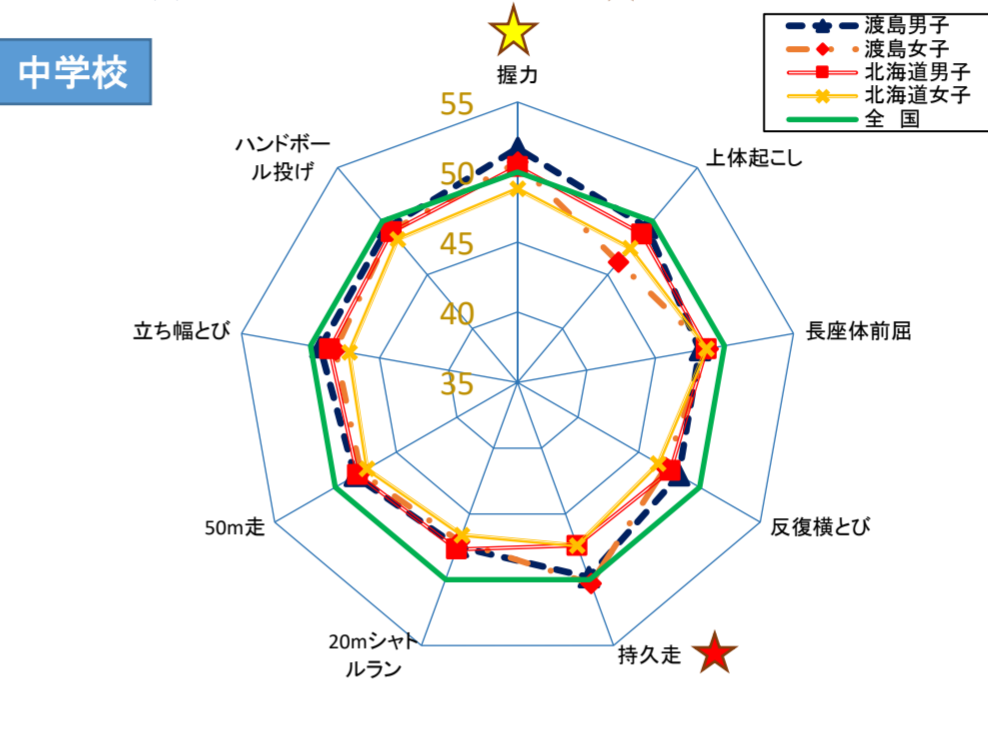
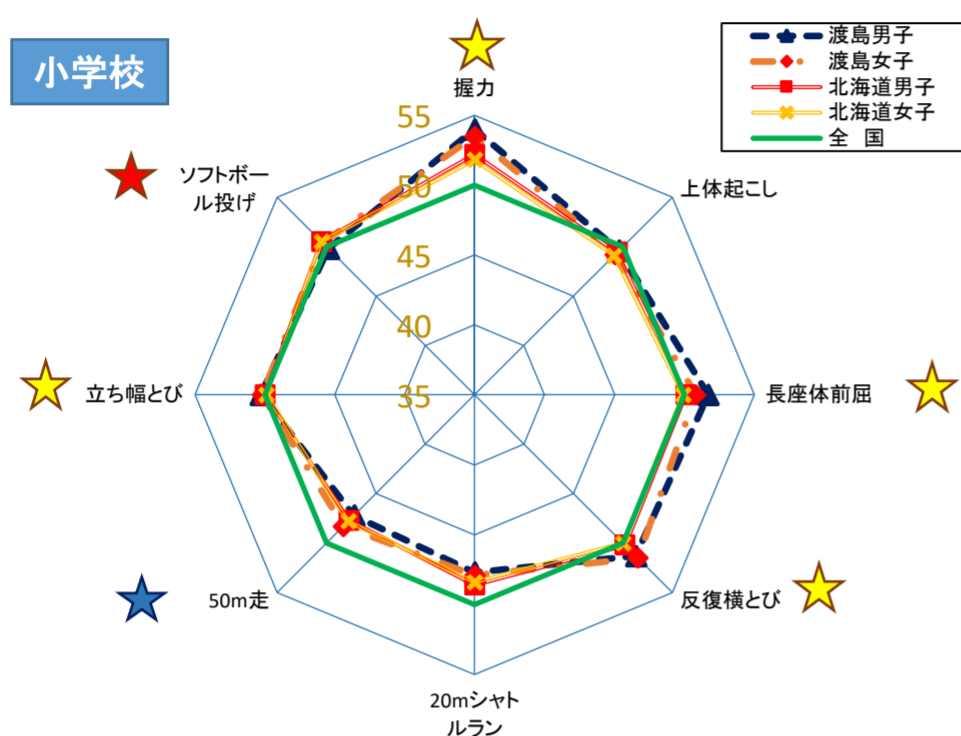
	男子	女子
渡島	52.10	54.25
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
渡島	39.77	44.52
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

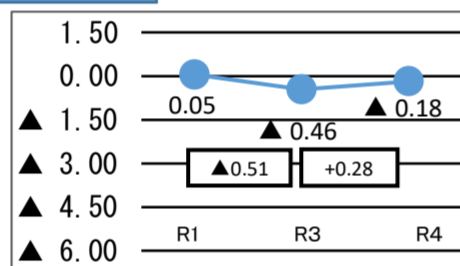
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆は男女ともに全国平均以上の種目 ★は男子のみ全国平均以上の種目 ★は女子のみ全国平均以上の種目

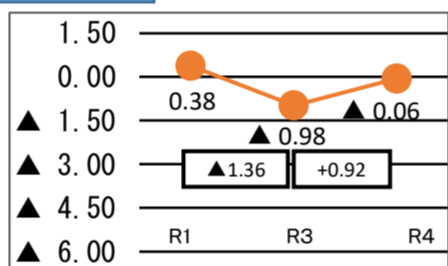


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

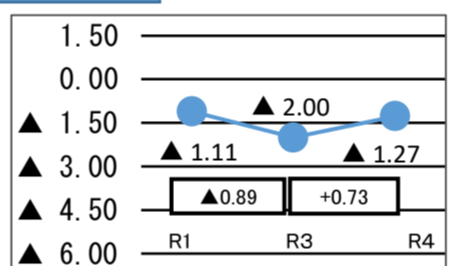
小学校男子



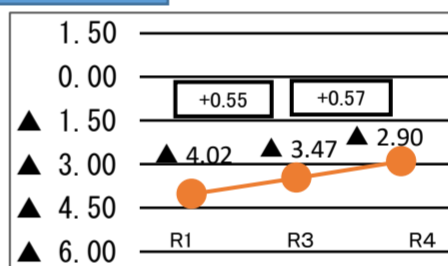
小学校女子



中学校男子



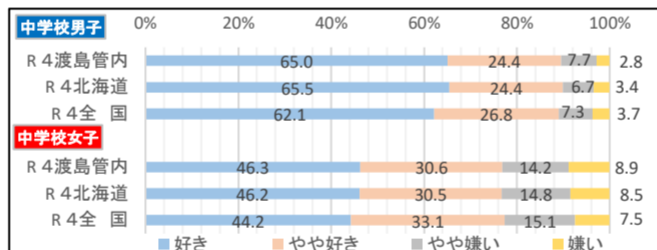
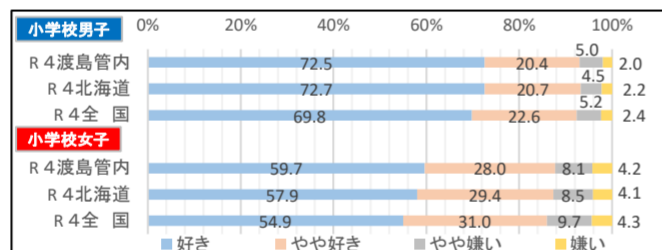
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

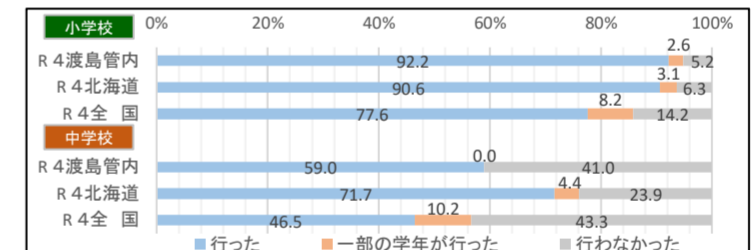
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

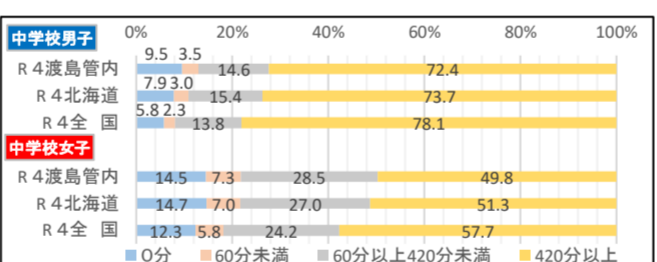
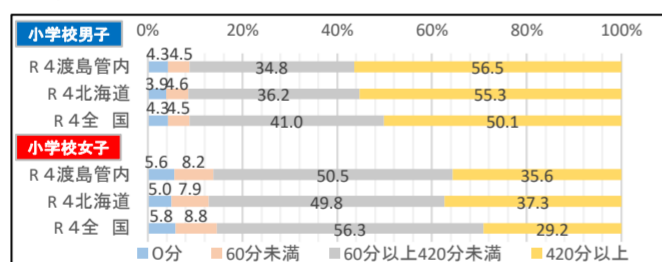


##### <学校質問紙>

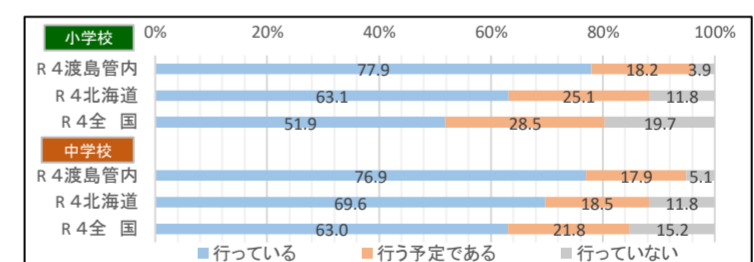
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



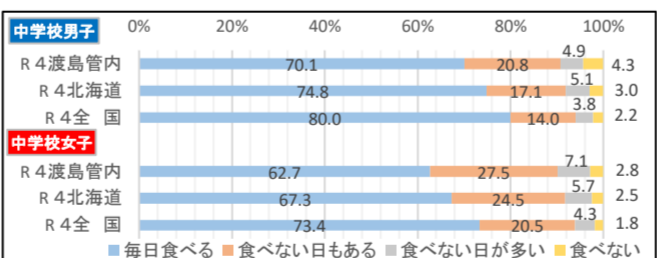
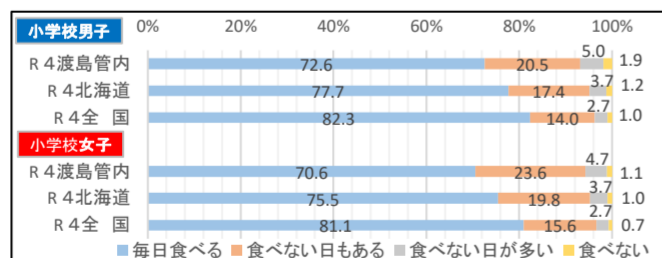
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間およそどのくらいの時間していますか。



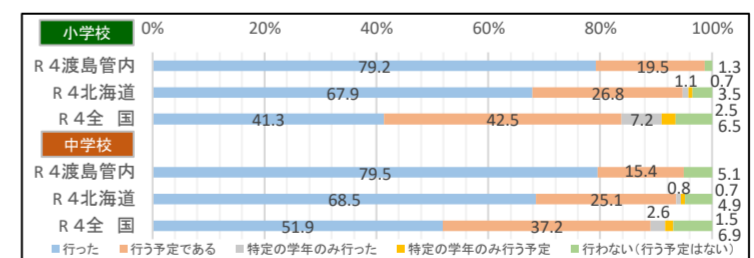
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



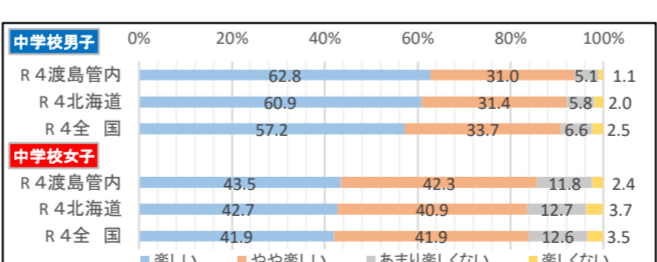
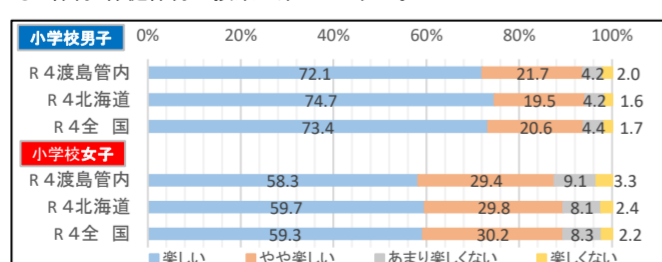
○ 朝食は毎日食べますか。



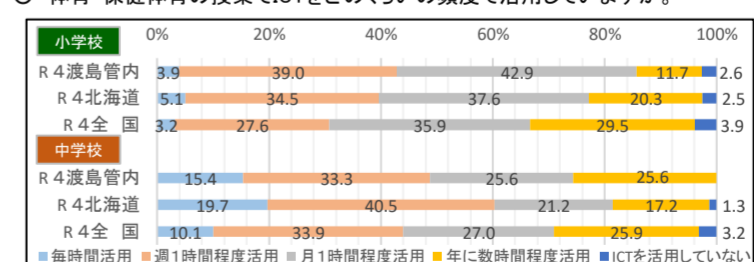
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



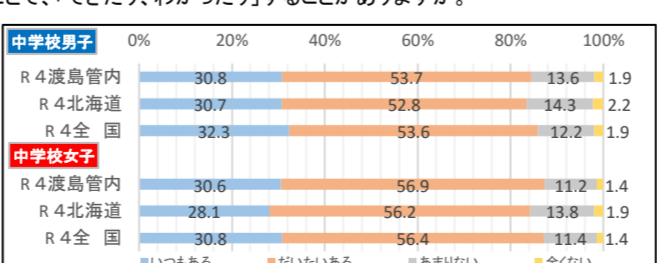
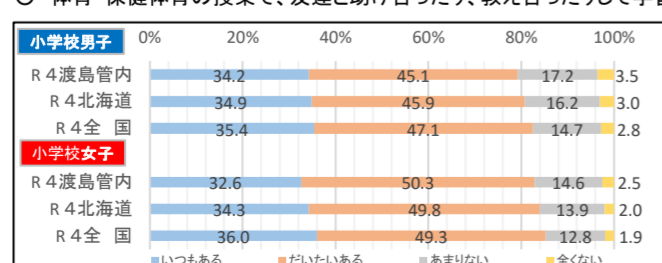
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



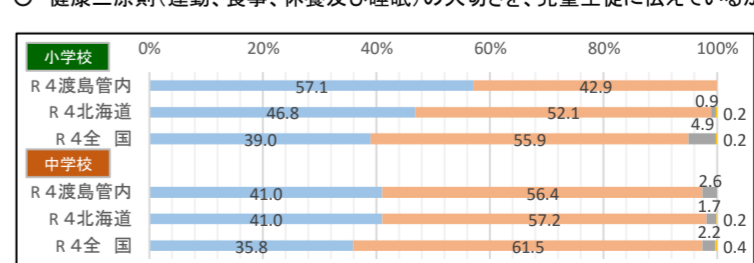
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用していますか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が0.18ポイント、女子が0.06ポイント低い。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男子が握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とびの4種目、女子が握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび、ソフトボール投げの5種目である。</li> <li>○ 体力合計点の差は、R3調査から、男子が0.28ポイント、女子が0.92ポイント縮まっている。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が1.27ポイント、女子が2.90ポイント低い。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男子が握力の1種目、女子が握力、持久走の2種目である。</li> <li>○ 体力合計点の差は、R3調査から、男子が0.73ポイント、女子が0.57ポイント縮まっている。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動やスポーツをすることは好きであると回答した児童の割合は、男子が72.5%であり、全国より2.7%高く、女子が59.7%であり全国より4.8%高い。</li> <li>○ 体育授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校の割合は、92.2%であり、全国より14.6%高い。</li> <li>○ これまでの調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った学校の割合は、79.2%であり、全国より37.9%高い。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動やスポーツをすることは好きであると回答した生徒の割合は、男子が65.0%であり、全国より2.9%高く、女子が46.3%であり全国より2.1%高い。</li> <li>○ 保健体育授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校の割合は、59.0%であり、全国より12.5%高い。</li> <li>○ これまでの調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った学校の割合は、79.5%であり、全国より27.6%高い。</li> </ul>

## 渡島管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

#### (1) A 検証改善サイクルの確立

- 児童生徒の体力・運動能力についての実態把握に基づいた目標を学年別に設定するとともに、児童生徒の個々の体力向上に係る課題設定及び課題解決を図る取組を推進する。
- 新体力テストの結果を活用した授業等の工夫・改善を図るため、全学年の年間指導計画に新体力テストの全種目実施を位置付けるとともに、児童生徒の実態を継続的に把握して学校全体の課題を分析し、体力・運動能力の向上を図る授業の構築を図る。

#### (2) B 体育・保健体育科の授業改善

- 授業において、資質・能力の育成に向けてICTを効果的に活用した授業改善を図る。
- 体育専科教員活用事業、体育エキスパート教員巡回指導事業、中学校体力向上推進事業における取組を、各学校の授業改善に直結する効果的な実践事例として普及する。

#### (3) C 望ましい生活習慣、運動習慣の確立

- 健康の三原則である「運動」「食事」「睡眠」の大切さを理解させることができるよう、栄養教諭、養護教諭と連携した生活習慣及び運動習慣の改善に向けた授業づくりを推進する。
- 体育の授業以外における運動の機会を拡大するため、保護者や地域住民等と連携するとともに、日常的な運動の機会を設定し、望ましい生活習慣及び運動習慣の確立のための取組を推進する。

### 2 具体的な取組

月	(1)A 検証改善サイクルの確立	(2)B 体育・保健体育科の授業改善	(3)C 望ましい生活習慣、運動習慣の確立
4			
5	・学校教育指導における指導助言		・学校教育指導における指導助言
6	① 児童生徒の体力・運動能力についての実態把握に基づいた目標を学年別に設定することについての指導助言	・学校教育指導における指導助言 授業において、資質・能力の育成に向けてICTを効果的に活用した授業改善についての指導助言	① 健康の三原則である「運動」「食事」「睡眠」の大切さを理解させることができるよう、栄養教諭、養護教諭を中心とした生活習慣及び運動習慣の改善を図る授業の構築を普及
7	② 全学年の年間計画に新体力テストの全種目実施を位置付けるとともに、児童生徒の実態を継続的に把握して学校全体の課題を分析し、体力・運動能力の向上を図る授業等の工夫・改善を推進する取組について指導助言		② 体育の授業以外の運動機会の設定についての指導助言
8			・どさん子元気アップチャレンジについて各市町教育委員会へ周知
9	・学校教育指導における指導助言	・学校教育指導において新体力テストの結果を活用した授業改善の状況に応じて指導助言	
10	① 新体力テストの結果を活用した体力向上策の検証改善状況の把握及び指導助言	・授業実践スペシャリストを活用した実践セミナーを基に、児童生徒の体力や運動能力を高める効果的な授業モデルを提示	
11	② 新体力テストの結果分析を生かした教育課程の改善に向けた指導助言	・体育エキスパート教員及び体育専科教員の公開授業を基に、児童生徒の体力や運動能力を高める効果的な授業モデルを普及	
12	・体育エキスパート教員及び体育専科教員の公開授業の際に、検証改善サイクルの確立に向けた説明を実施		・冬期間の望ましい生活習慣・運動習慣の確立に向けた学校への指導助言
1			
2	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果分析及び体力向上策の検証改善に向けた指導助言	・体育エキスパート教員及び体育専科教員を活用した授業改善の事例を管内に周知	
3			

### 3 取組の評価 ※ ( ) は目標値

<p><b>(1) A 検証改善サイクルの確立</b></p> <p>① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「調査結果を踏まえ年間指導計画の改善に反映した」と回答する学校の割合を、小・中学校ともに90%以上とする。</p> <p>■小学校96%、中学校87%</p> <p>② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行なった」と回答する学校の割合を、小・中学校ともに90%以上とする。</p> <p>■小学校99%、中学校95%</p>	<p><b>(2) B 体育・保健体育科の授業改善</b></p> <p>① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「体育指導及び保健体育の授業でICTを活用している」と回答する学校の割合を、小・中学校ともに90%とする。</p> <p>■小学校97%、中学校100%</p>	<p><b>(3) C 望ましい生活習慣、運動習慣の確立</b></p> <p>① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「運動やスポーツ、児童生徒の体力について家庭と連携する取組を行っている」と回答する学校の割合を、小・中学校ともに80%以上とする。</p> <p>■小学校97%、中学校87%</p> <p>② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を行っている」と回答する学校の割合を、小学校80%以上、中学校60%以上とする。</p> <p>■小学校95%、中学校59%</p>
--	---	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p><b>(1) A 検証改善サイクルの確立</b></p> <p>○ 体力向上に向けた検証改善サイクルの確立のために、把握した児童生徒の体力の状況に基づいて目標を新たに設定するとともに、児童生徒一人一人の課題解決を図る取組を充実させる必要がある。</p> <p>○ 新体力テストの結果を活用した授業等の工夫・改善を図るために、児童生徒の実態を継続的に把握するとともに、体力・運動能力の向上を図る授業を構築する必要がある。</p>	<p><b>(2) B 体育・保健体育科の授業改善</b></p> <p>○ 身に付けさせたい資質・能力の確実な育成に向けた授業改善を促進させるために、ICTを積極的に活用し、各領域の特質に応じた学習活動を実践する必要がある。</p> <p>○ 体力向上に向けた授業改善を促進させるために、体育専科教員活用事業、体育エキスパート教員巡回指導事業、中学校体力向上推進事業における授業実践事例の普及を図る必要がある。</p>	<p><b>(3) C 望ましい生活習慣、運動習慣の確立</b></p> <p>○ 健康の三原則である「運動」「食事」「睡眠」の理解を深めるために、栄養教諭、養護教諭と連携した授業の構築を推進する必要がある。</p> <p>○ 望ましい生活習慣、運動習慣の確立のために、「どさん子元気アップ強調月間」における各種団体等と連携した取組など、体育の授業以外における運動機会の拡大に向けて、保護者や地域等と連携した取組を推進する必要がある。</p>
--	--	---

# 檜山管内の状況

7町

## 小・中学校

(小学校数:17校 児童数:208人、中学校数:10校 生徒数:180)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

##### ○ 小学校

	男子	女子
檜山	54.55	57.09
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

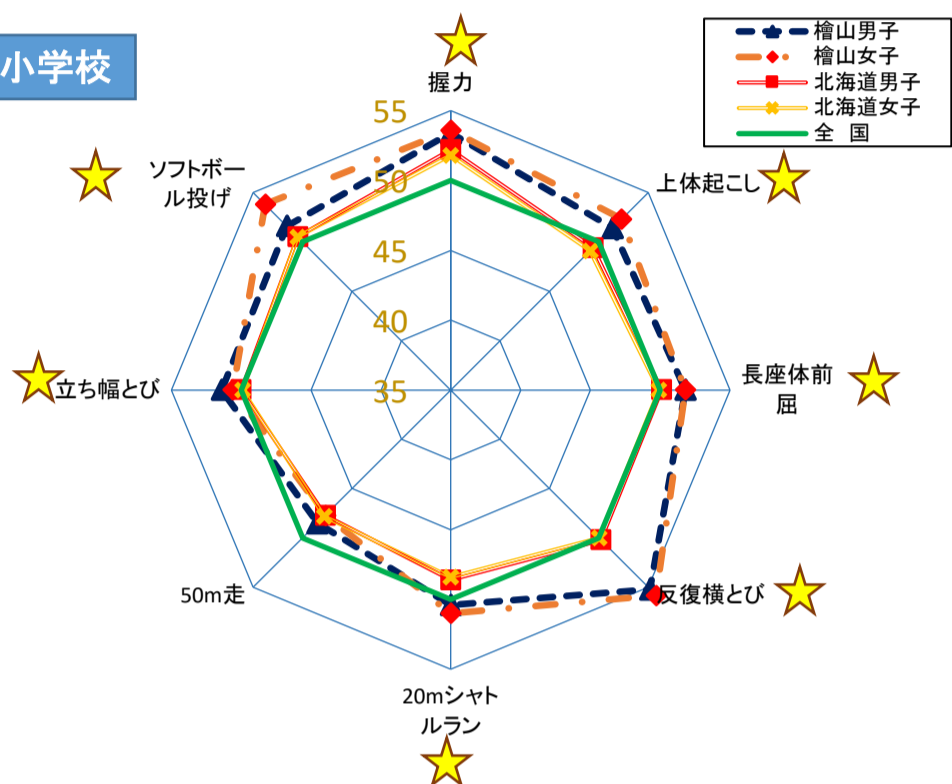
##### ○ 中学校

	男子	女子
檜山	42.13	47.72
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

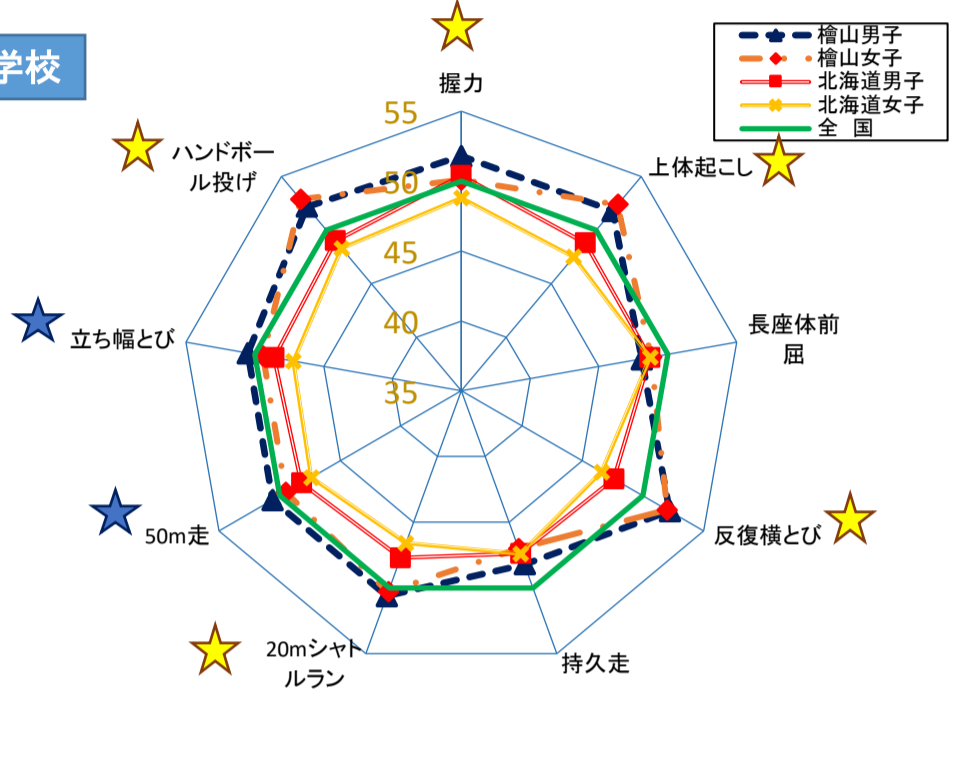
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ★ は男女ともに全国平均以上の種目 ★ は男子のみ全国平均以上の種目 ★ は女子のみ全国平均以上の種目

##### 小学校

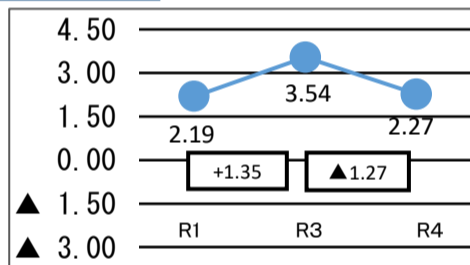


##### 中学校

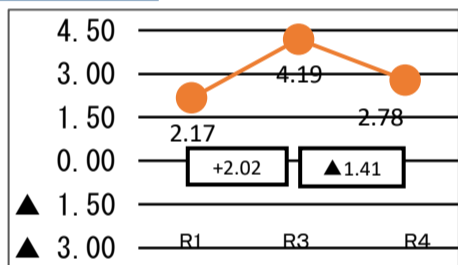


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

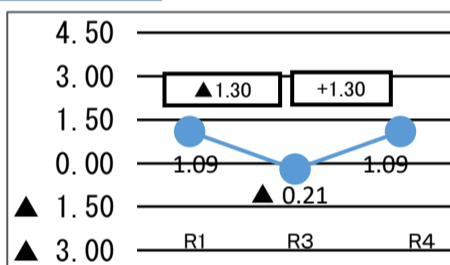
##### 小学校男子



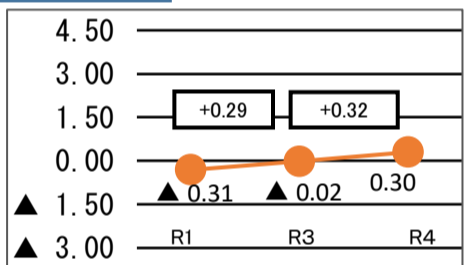
##### 小学校女子



##### 中学校男子



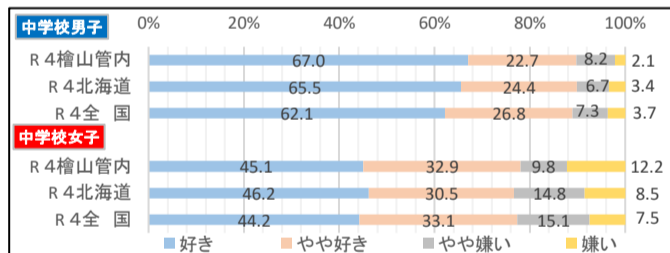
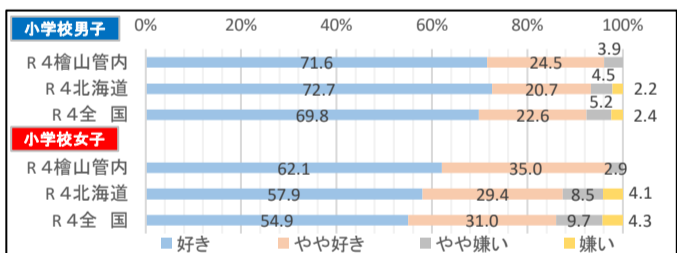
##### 中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

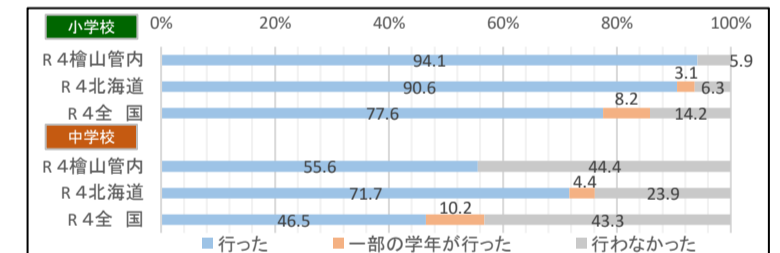
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

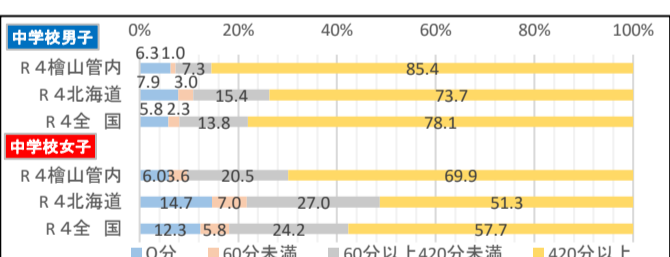
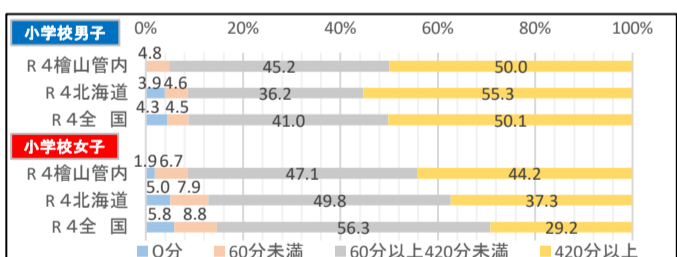


##### <学校質問紙>

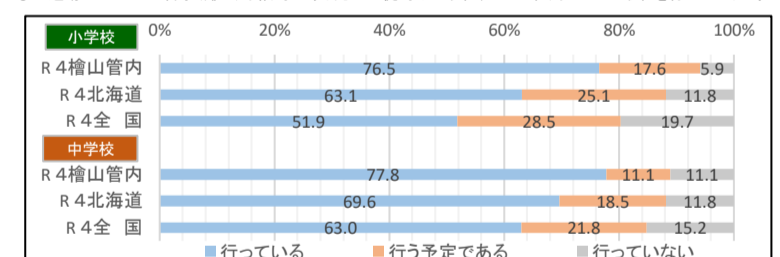
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



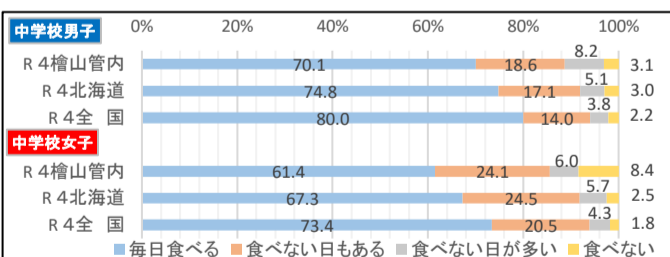
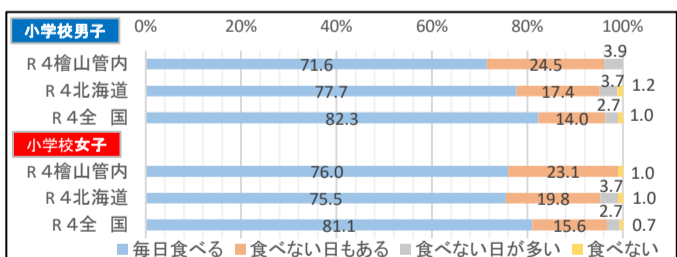
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間およそののくらの時間していますか。



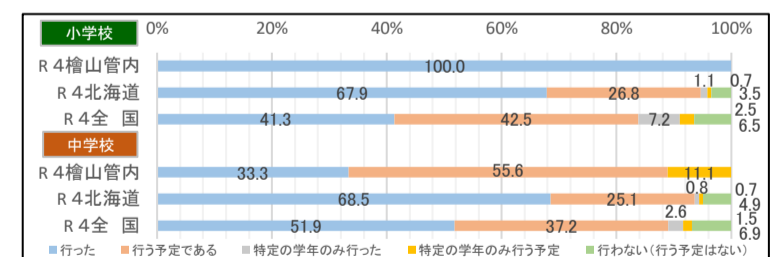
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



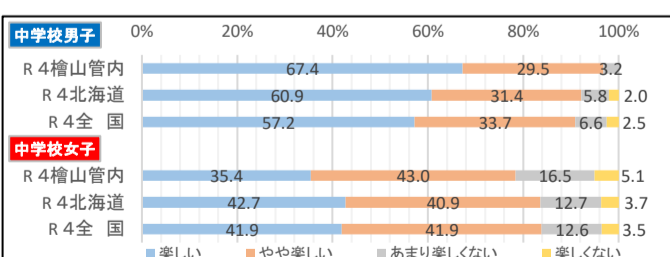
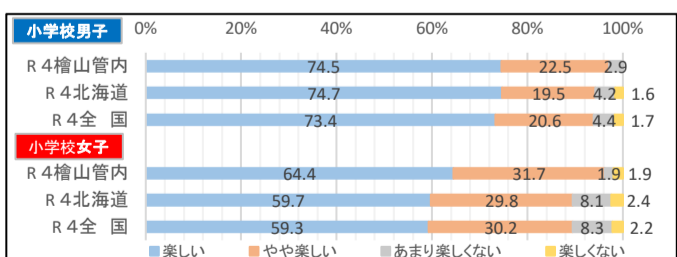
○ 朝食は毎日食べますか。



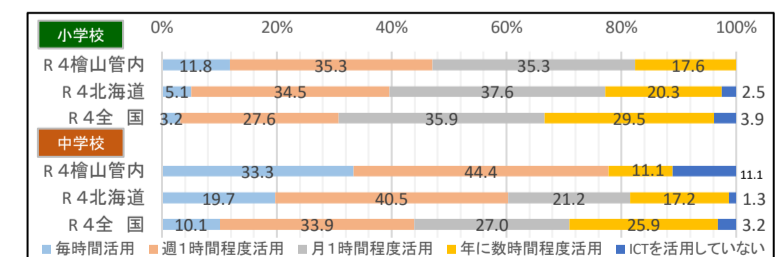
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



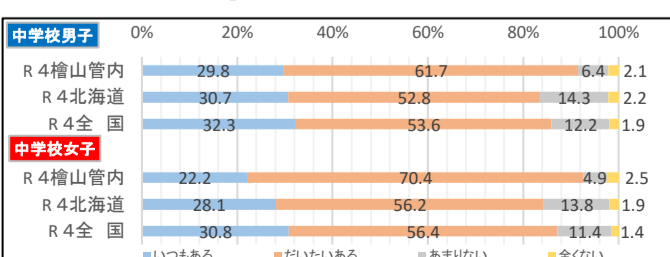
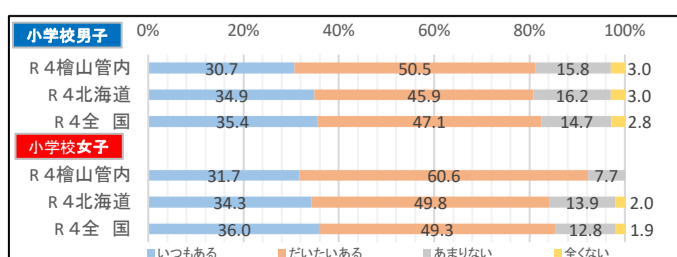
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



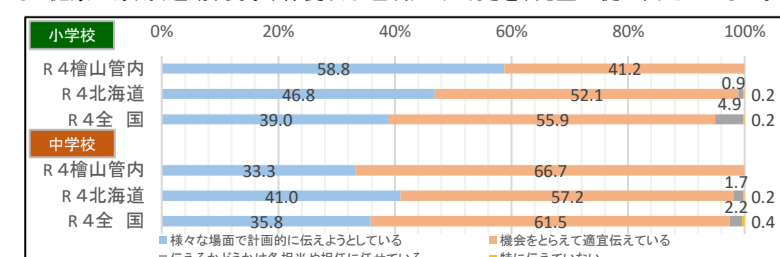
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用していますか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
実技調査	○ 管内の全ての小学校において、令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったことにより、体力合計点が全国平均より男子で2.27ポイント、女子では2.78ポイント上回るとともに、男女の長座体前屈において新たに全国平均を上回ったと考えられる。	実技調査	○ 管内の多くの中学校において、運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある生徒向けの取組、または性別に応じた取組を進めたことにより、体力合計点が全国平均より男子で1.09ポイント、女子で0.30ポイント上回るとともに、男子の立ち幅跳びと50m走と女子の20mシャトルランにおいて新たに全国平均を上回ったと考えられる。
質問紙調査	○ 管内の多くの小学校において、運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある生徒向けの取組、または性別に応じた取組を進めたことにより、運動に対する理解や自信を深め、「自分にはよいところがある」と肯定的に回答した児童の割合が昨年度より12.3%上回ったと考えられる。	質問紙調査	○ 管内の多くの中学校において、運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある生徒向けの取組、または性別に応じた取組を進めたことにより、運動に対する理解や自信を深め、「自分にはよいところがある」と肯定的に回答した児童の割合が昨年度より11.3%上回ったと考えられる。

## 檜山管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

- (1) A 新たな時代に対応できる資質・能力の育成**
- 児童生徒が主体的に運動に取り組むために、他者評価を活用するなどして、最後まで粘り強く取り組むよう指導助言する。
  - 運動に対して「する・みる・支える・知る」等の多様な関わり方により、発達の段階に応じた資質・能力を身に付ける指導の充実を図るよう指導助言する。
- (2) B 一人一人に寄り添ったきめ細かな授業づくり**
- 児童生徒が自分の成長を実感するために、子ども一人一人の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析結果をもとに、一人一人の児童生徒の実態に即したきめ細かな指導をするよう指導助言する。
  - 自分の成長を実感できる場面を取り入れた授業改善を進めるよう指導助言する。
- (3) C 学びをつなぐ学校間の連携の強化**
- 体力向上の取組を効率的に進めるために、中学校区における課題を共有したり、明確にしたりすることで、専門性の高い授業づくりを進めるよう指導助言する。
  - 体育専科教員や中学校体力向上推進教員が中心となり、体力・運動能力を高める視点を取り入れた授業づくりの方法を管内に積極的に発信することで、管内の授業の質の向上を図るよう指導助言する。

### 2 具体的な取組

月	(1)A新たな時代に対応できる資質・能力の育成	(2)B一人一人に寄り添ったきめ細かな授業づくり	(3)C学びをつなぐ学校間の連携の強化
4		<b>オール檜山「学び合い」プロジェクトを活用した新体カテストに係る研修の実施</b>	
5			
6	<b>全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施</b>		
7			
8		<b>要請訪問(学校教育指導訪問)</b>	
9			
10	<b>どさん子元気アップチャレンジや運動習慣形成プログラム「ススンde運動」を参考にした体力向上や運動習慣の形成に向けた取組の実施</b>		
11		<b>中学校体力向上推進教員を活用したミニ研修の実施</b>	
12			
1			
2	<b>体力調査結果に基づく教育課程及び指導方法の改善</b>		
3			

### 3 取組の評価 ※ ( ) は目標値

<p><b>(1) A 新たな時代に対応できる資質・能力の育成</b></p> <p>① 「自分にはよいところがある(肯定的評価)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小73.2% 中71.3%</li> <li>・目標 小85.0% 中85.0%</li> <li>・達成 小85.5% 中82.6%</li> </ul> <p>② 「体育の授業では、助け合ったり役割を果たしたりする活動を取り入れている(よく行った)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小45.0% 中40.0%</li> <li>・目標 小85.0% 中85.0%</li> <li>・達成 小41.2% 中44.4%</li> </ul>	<p><b>(2) B 一人一人に寄り添ったきめ細かな授業づくり</b></p> <p>① 「授業の中でできたり、わかったりすることがありますか。(肯定的評価)」4項目の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小80.0% 中73.5%</li> <li>・目標 小90.0% 中90.0%</li> <li>・達成 小78.7% 中80.3%</li> </ul> <p>② 調査結果を踏まえた授業等の工夫、改善を行ったか。(行ったの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小85.0% 中80.0%</li> <li>・目標 小100% 中100%</li> <li>・達成 小100% 中100%</li> </ul>	<p><b>(3) C 学びをつなぐ学校間の連携の強化</b></p> <p>① 体育の授業では、進んで学習に参加していますか。(肯定的に評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標 小90.0% 中90.0%</li> <li>・達成 小95.2% 中88.3%</li> </ul> <p>② 自分の体力・向上に係る取組を反映させるために校外の研修や研究会に積極的に参加していますか。(肯定的に評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小90.0% 中60.0%</li> <li>・目標 小100% 中100%</li> <li>・達成 小94.1% 中77.8%</li> </ul>
---	---	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p><b>A 新たな時代に対応できる資質・能力の育成</b></p> <p>自分の良さを実感できない児童生徒が依然としていことから、児童生徒が「できたり、わかったりする」成功体験や達成感を多く味わうことができるよう、研修会等への積極的な参加を呼びかけ、授業の工夫・改善を進める必要がある。</p> <p>※オール檜山「学び合い」プロジェクト等における体育の授業づくりに係る研修会の実施。</p> <p>※学校訪問等での優れた実践の紹介</p>	<p><b>B 一人一人に寄り添ったきめ細かな授業づくり</b></p> <p>「授業の中でできたり、わかったりする」ことが感じられない児童生徒の割合が一定数あり、特に「ICTを活用してできたり、わかったりする」児童生徒の割合が低いことから、練習前と後の自身の様子を動画で撮影し、自身の姿を感じられるよう、ICTを効果的に活用した授業の工夫・改善を進める必要がある。</p> <p>※児童生徒の1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集(スポーツ庁作成)の紹介と活用の促進</p> <p>※学校訪問等でのICTを効果的に活用した優れた実践の紹介</p>	<p><b>C 学びをつなぐ学校間の連携の強化</b></p> <p>体育の授業で、進んで学習に参加している児童生徒の割合において、小学校と中学校の割合に差が見られることから、中学校区で目指す授業像を共有するなどの連携を図ることに、児童生徒が進んで学習に参加できる授業の工夫・改善を進める必要がある。また、校外の研修や研究会への積極的な参加の割合においても、小学校と中学校で差が見られることから、研修等への参加を促すとともに、体育専科教員を中心とした授業交流を図る必要がある。</p> <p>※オール檜山「学び合い」プロジェクト等の研修機会の充実や参加の促進</p>
--	---	---

# 上川管内の状況

4市17町2村

## 小・中学校

(小学校数:113校 児童数:3,483人、中学校数:61校 生徒数:3,318)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

##### ○ 小学校

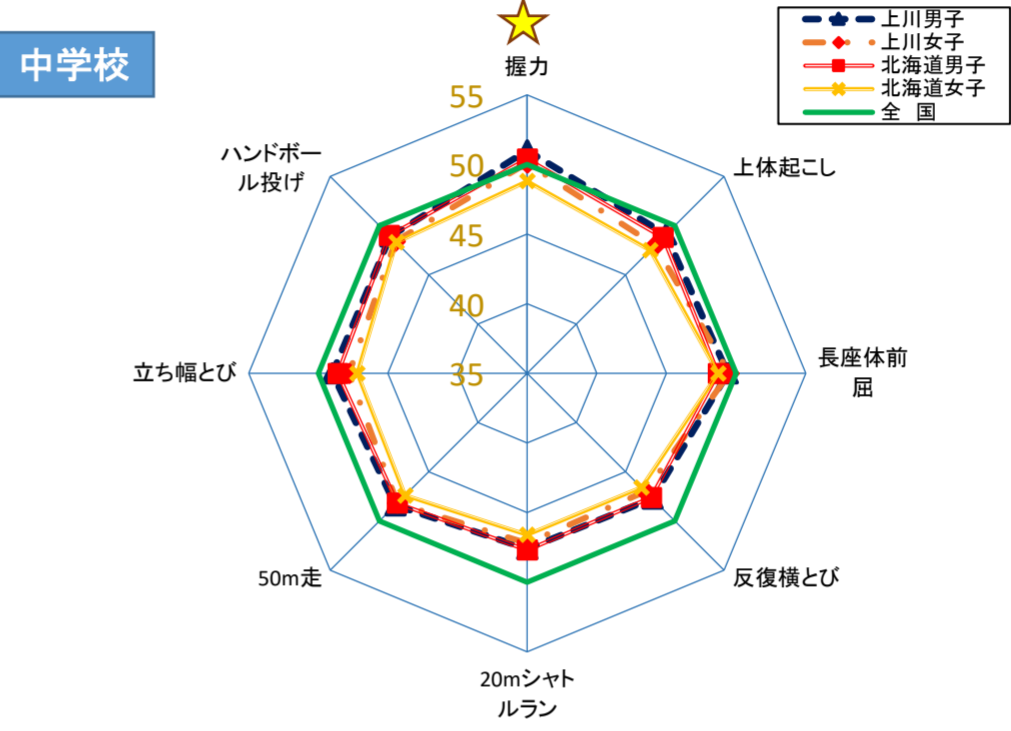
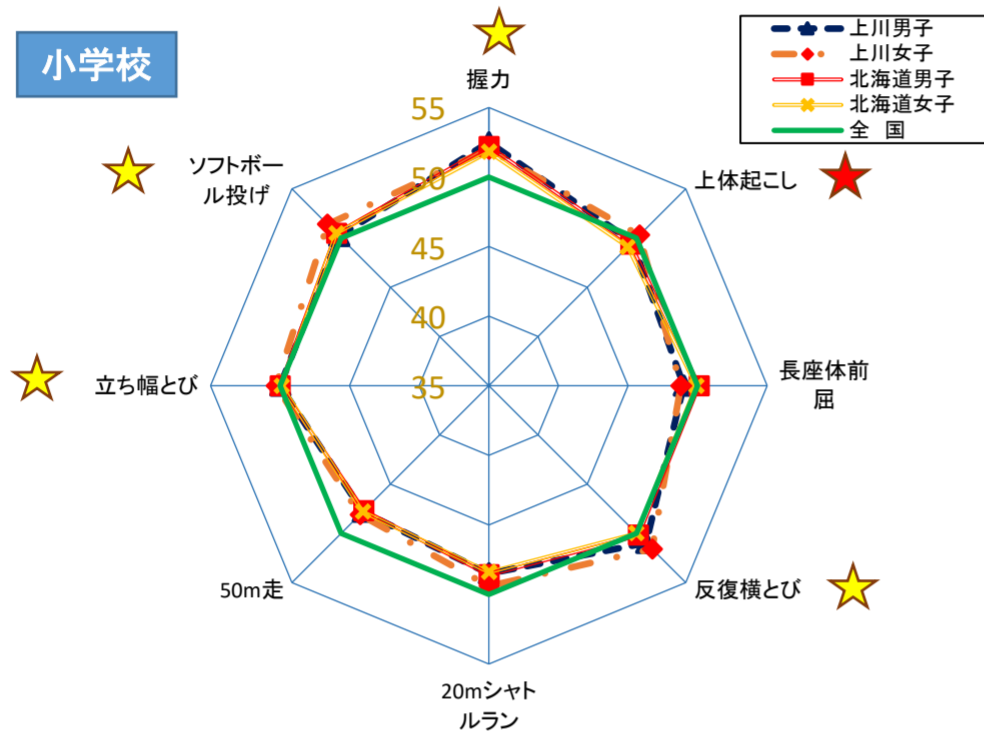
	男子	女子
上川	51.71	54.46
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

##### ○ 中学校

	男子	女子
上川	39.39	44.78
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

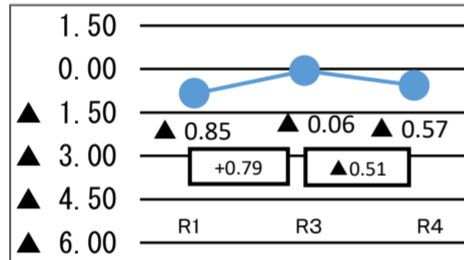
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆は男女ともに全国平均以上の種目 ★は男子のみ全国平均以上の種目 ★は女子のみ全国平均以上の種目

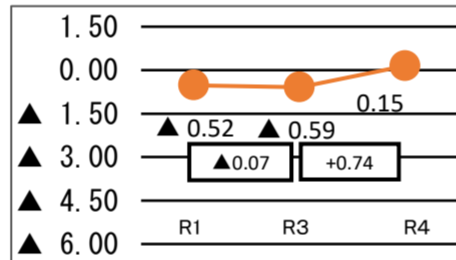


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

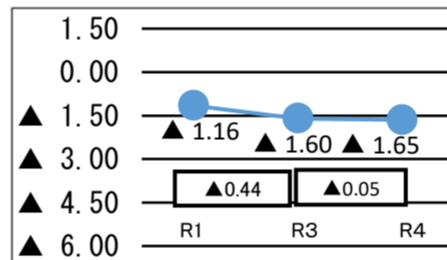
##### 小学校男子



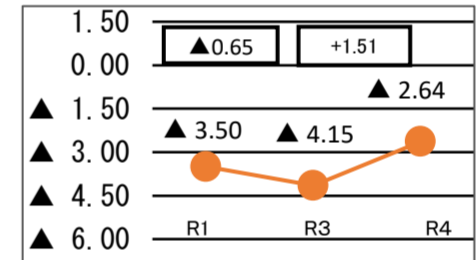
##### 小学校女子



##### 中学校男子



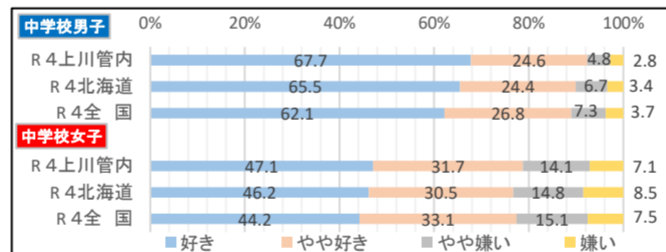
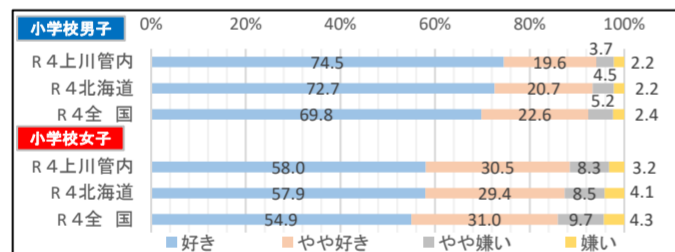
##### 中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

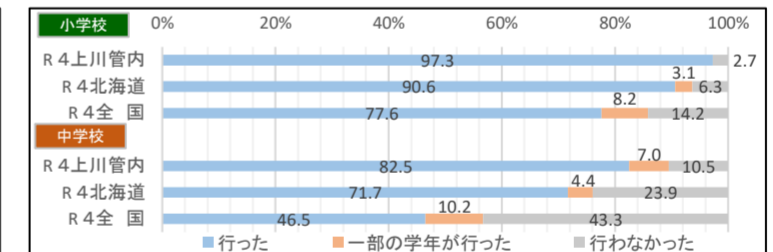
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

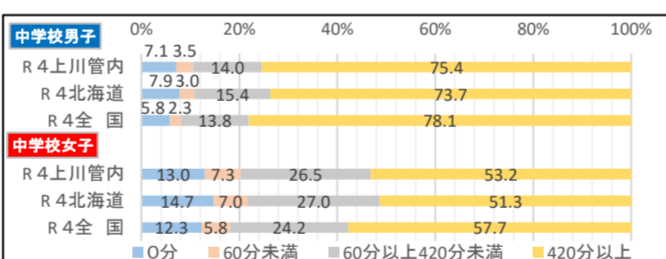
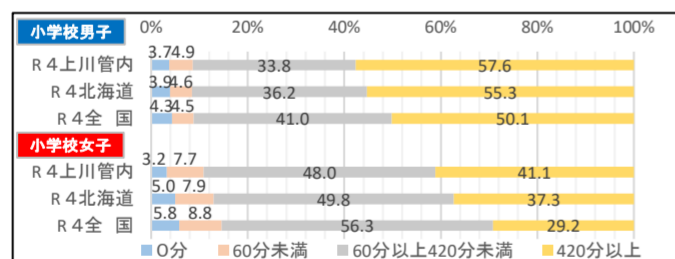


##### <学校質問紙>

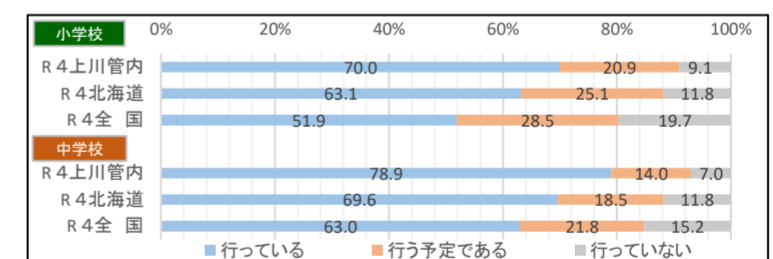
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行っていますか。



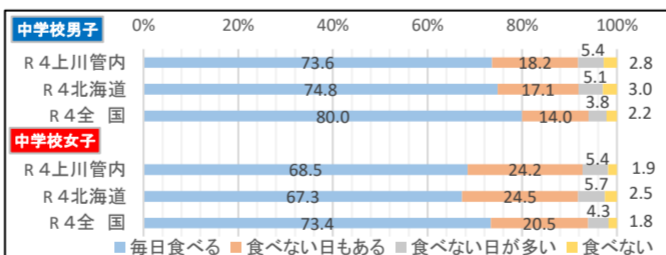
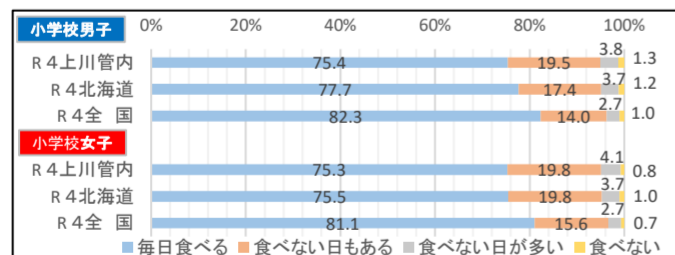
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間およそどのくらいの時間していますか。



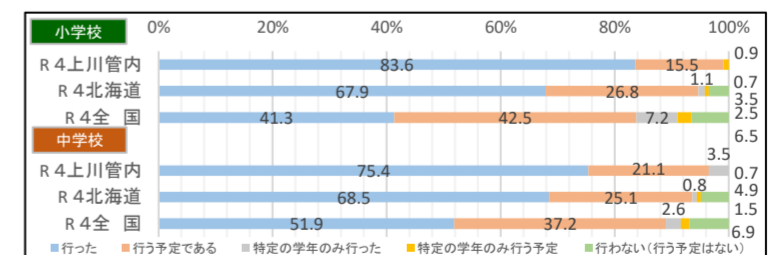
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っていますか。



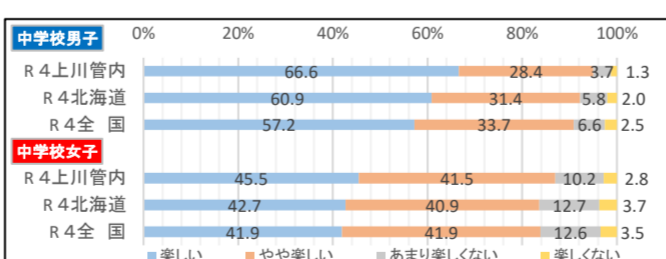
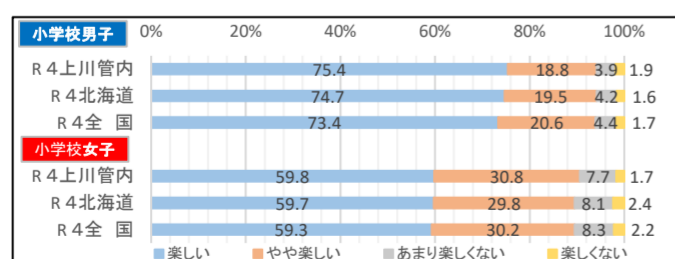
○ 朝食は毎日食べますか。



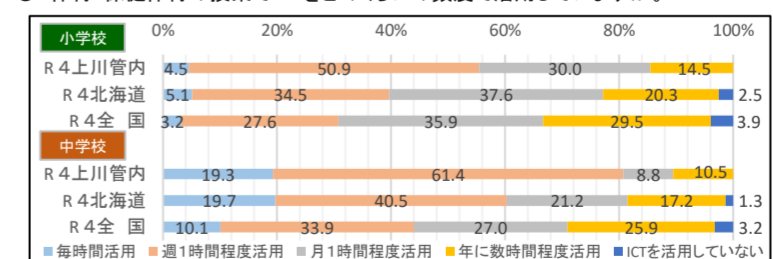
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行いましたか。



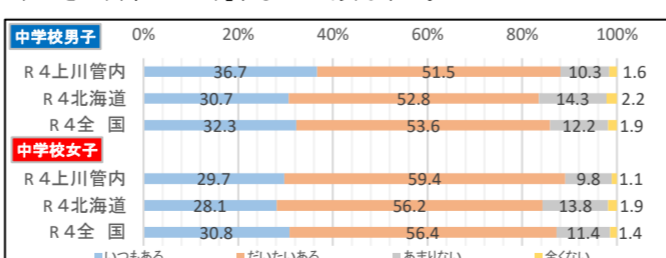
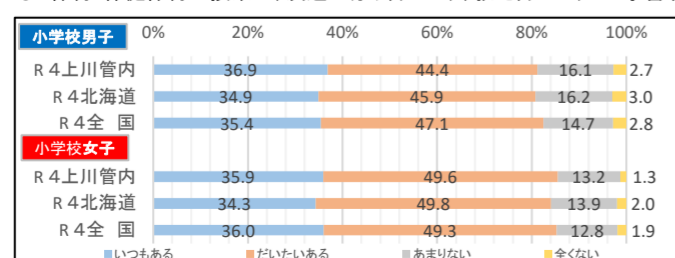
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



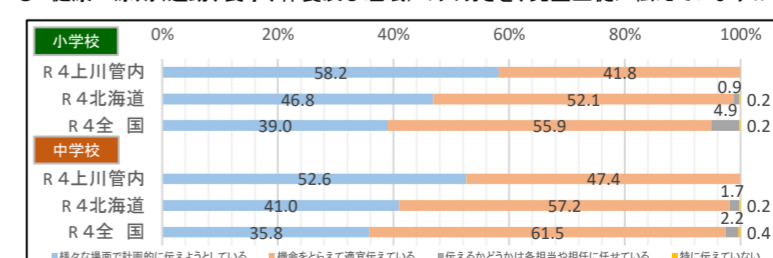
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用していますか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えていきますか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
<b>実技調査</b> ○ 各学校において、授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組や、通信や参観日等の機会を活用し、保護者に対して児童の体力向上についての理解を図る取組を行ったことより、男女ともに握力、反復横跳びの記録、女子では、体力合計点が全国平均を上回ったと考える。	<b>実技調査</b> ○ 各学校において、生活習慣改善の取組や異学年が一緒に活動する取組など授業以外で全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことより、男女ともに握力が全国平均を上回るとともに、女子では、昨年度より全国平均との差が縮まったと考える。	<b>質問紙調査</b> ○ 多くの学校において、運動・スポーツが苦手な傾向がある児童向けの取組、または性別に応じた取組の充実を図ったことにより、運動やスポーツをすることが好きと回答した児童が、全国平均を上回ったと考える。 ○ 多くの学校において、ICTを活用して以前に撮影した動きと比較し、姿勢を確認するなどこれまでの調査を踏まえ授業の工夫・改善を行ったことにより、体育の授業は楽しいと回答した児童が全国平均を上回ったと考える。	<b>質問紙調査</b> ○ 多くの学校において、運動・スポーツが苦手な傾向がある生徒向けの取組、性別に応じた取組の充実を図ったことにより、保健体育の授業は楽しいと回答した生徒が、全国平均を上回ったと考える。 ○ 多くの学校において、週1回以上保健体育の授業においてICTを活用し、生徒の動きを撮影して生徒同士で確認させたことにより、男女ともに保健体育の授業で、友達と助け合ったり教え合ったりして学習することで「できたり、わかったり」することがあると回答した生徒が全国平均を上回ったと考える。

## 上川管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

<b>(1) A 運動の楽しさ喜びを味わうことができる授業の充実</b> ■ 「運動・スポーツが苦手な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組」を実施している小学校が64.6%、中学校が62.3%である。この値は全国平均を上回っているが、全ての児童生徒が運動が楽しいと実感することができるよう、授業改善をより一層推進する必要がある。 □ 児童生徒が運動の楽しさを実感できる授業づくりを促進するために、体育専科教員及びエキスパート教員を活用した研修会を実施するなど、研修事業の充実を図る。 □ 学校教育指導訪問等において、各学校の状況について把握するとともに、見通しと振り返りや発問の工夫、ICT端末の活用など、質の高い体育・保健体育の授業に係る指導・助言を行う。
<b>(2) B 学校の創意工夫による体力向上の取組</b> ■ 「授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組」を実施していないと回答した学校が中学校において10.5%あることから、学校の課題に応じた取組を推進する必要がある。 □ 「1校1実践」等の授業以外の取組を推進することができるよう、優良実践や体育専科教員及びエキスパート教員による学校の教育活動全体を通じた体力向上に関する効果的な取組を周知する。
<b>(3) C 家庭・地域と連携した組織的な取組</b> ■ 「1週間の中で授業以外で運動やスポーツを全くしない」と回答した児童生徒の割合が小学校女子で3.2%、中学校女子で13.0%あることから、学校だけでなく、家庭・地域と連携し、多様な場面で運動する機会の拡充を図る必要がある。 □ 日常的に運動する機会を拡充するため、各学校と家庭・地域や各市町村の教育委員会等との連携を強化する。

### 2 具体的な取組

月	(1)A 運動の楽しさや喜びを味わうことができる授業の充実	(2)B 学校の創意工夫による体力向上の取組	(3)C 家庭・地域と連携した組織的な取組
4			
5			
6	学校教育指導計画訪問における指導助言	学校教育指導計画訪問における指導助言	学校教育指導計画訪問における指導助言
7			
8	学校教育指導要請訪問における指導助言	学校教育指導要請訪問における指導助言	学校教育指導要請訪問における指導助言
9			
10		体育専科教員等を活用した研修会の実施	社会教育主事会各ブロック別研究会における情報提供
11			
12			
1			
2			
3			

### 3 取組の評価 ※（ ）は目標値

<b>(1) A 運動の楽しさや喜びを味わうことができる授業の充実</b> ① 授業における運動・スポーツが苦手な傾向がある児童生徒向けの取組、性別に応じた取組（全国体力・運動能力、運動習慣等調査） （小学校100%、中学校100%） ■小学校70.0%、中学校78.9% ② 体育の授業でICT端末を使って学習することで「できたり、わかったり」する 〈全国体力・運動能力、運動習慣等調査〉 （小学校70.0%、中学校60.0%） ■小学校 男子57.8%、女子59.8% 中学校 男子67.5%、女子64.3%	<b>(2) B 学校の創意工夫による体力向上の取組</b> ① 学校全体で授業以外の時間における子どもの体力向上や運動習慣の確立に関する取組 〈体育・保健・安全に関する調査〉 （小学校100%、中学校100%） ■小学校100%、中学校100% ② 運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好き 〈全国体力・運動能力、運動習慣等調査〉 （小学校70.0%、中学校60.0%） ■小学校男子94.1%、女子88.5% 中学校男子92.3%、女子78.8%	<b>(3) C 家庭・地域と連携した組織的な取組</b> ① 保護者等に対して、子どもの体力向上について理解を図る取組 〈体育・保健・安全に関する調査〉 （小学校100%、中学校100%） ■小学校100%、中学校100% ② 放課後や学校が休みの日に、部活動やスポーツクラブ以外でスポーツをすることがある 〈全国体力・運動能力、運動習慣等調査〉 （小学校70.0%、中学校60.0%） ■小学校男子82.6%、女子79.8% 中学校男子70.0%、女子55.2%
--	--	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<b>(1) A 運動の楽しさや喜びを味わうことができる授業の充実</b> ○ 児童生徒全員が授業において「できた・わかった」と実感することができるよう、見通しと振り返りの充実、ICT端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実など質の高い体育・保健体育の授業の普及を目指し、体育専科教員及びエキスパート教員を活用し、研修会を実施する。 ○ 小・中学校が連携し、系統性を重視した授業改善を行うため、同中学校区の小・中学校教員等を対象とした研修事業を実施し、小・中学校教員間における学習内容に関することや授業改善の視点の共有を行う。	<b>(2) B 学校の創意工夫による体力向上の取組</b> ○ 体力向上に向け、学校全体で体制づくりの充実を図り、組織的な取組とするために、各種調査等の結果を活用し、各学校の課題を明確にするとともに、体力向上に向けた全体計画を全教職員で共有し、適宜見直すなど、検証改善サイクルの確立を図るよう学校教育指導訪問で指導助言を行う。	<b>(3) C 家庭・地域と連携した組織的な取組</b> ○ 各学校が保護者等に対して、運動の重要性や、スクリーンタイムの短縮、睡眠時間の確保等、望ましい生活習慣の確立を含めた体力向上の取組の理解を図るための取組が充実するよう、学校教育指導訪問等で好事例を紹介する。 ○ 児童生徒の体育・保健体育の授業以外における運動の機会を増やすため、社会教育主事等と連携し、望ましい生活習慣や運動習慣の確立のための取組を推進する。
---	---	--

# 留萌管内の状況

1市6町1村

## 小・中学校

(小学校数:17校 児童数:288人、中学校数:12校 生徒数:275)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

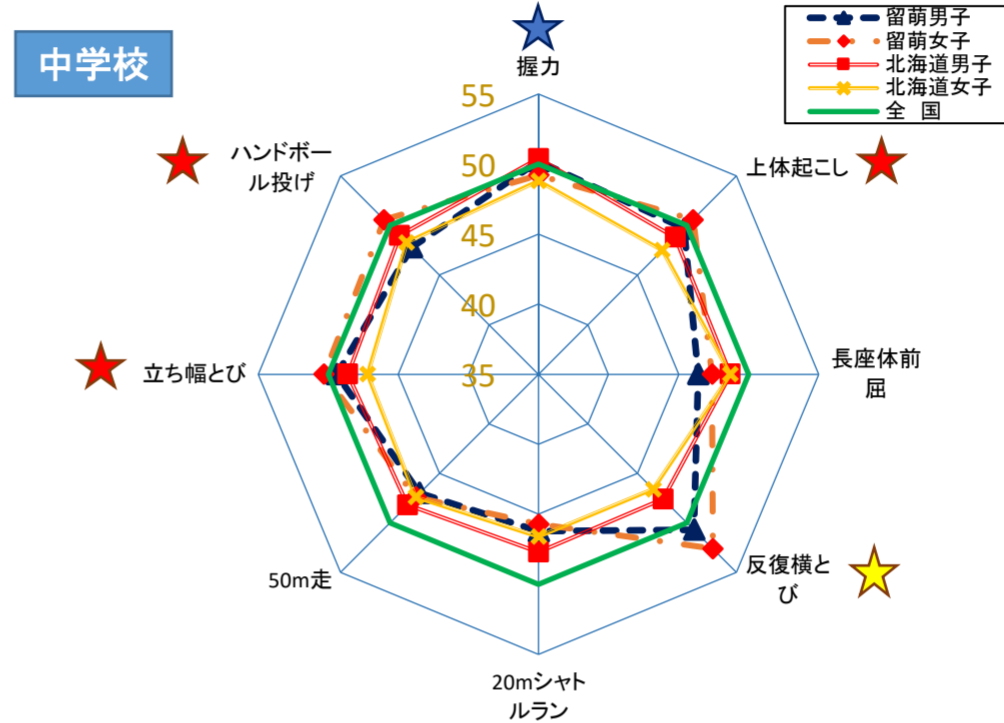
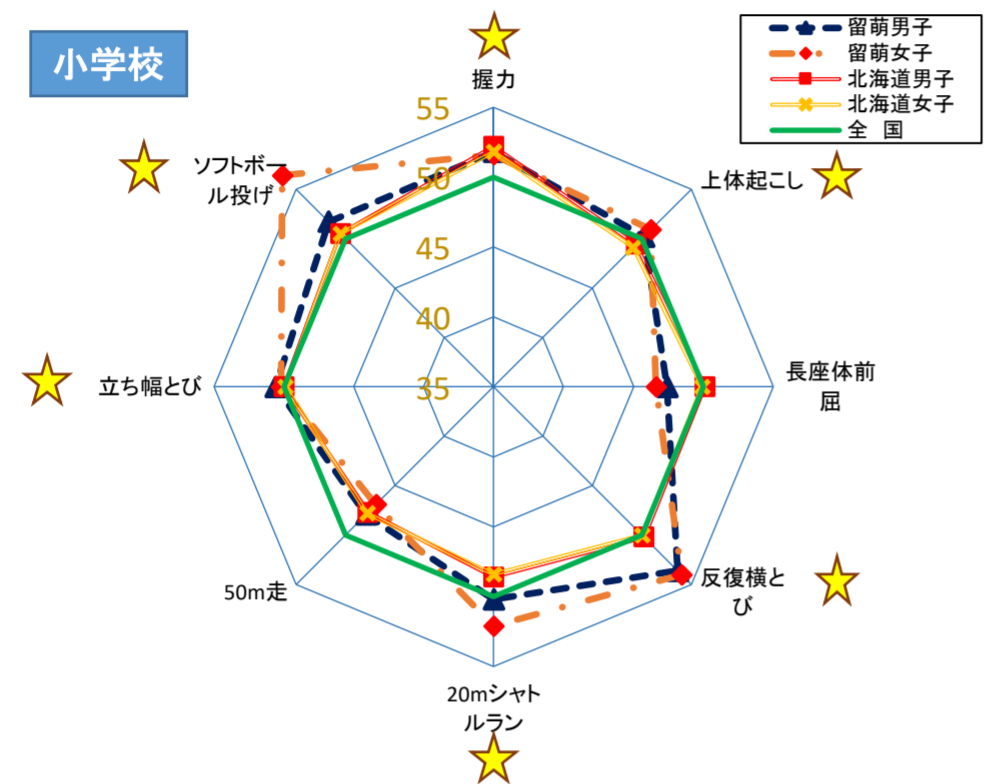
	男子	女子
留 萌	52.42	55.19
北海道	51.74	53.60
全 国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
留 萌	37.78	46.27
北海道	38.97	43.53
全 国	41.04	47.42

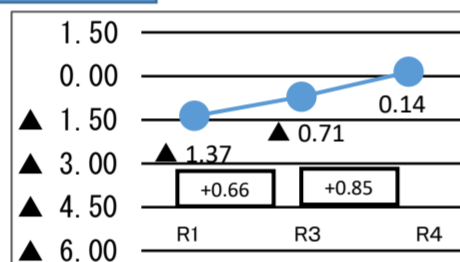
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆ は男女ともに全国平均以上の種目 ★ は男子のみ全国平均以上の種目 ★ は女子のみ全国平均以上の種目

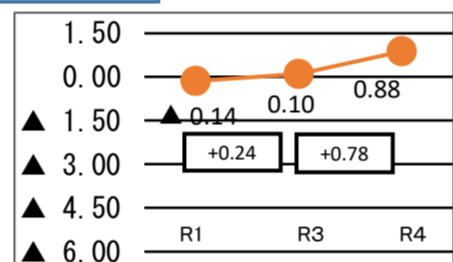


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

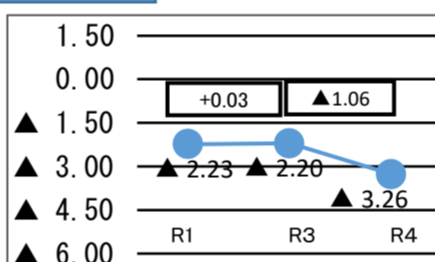
小学校男子



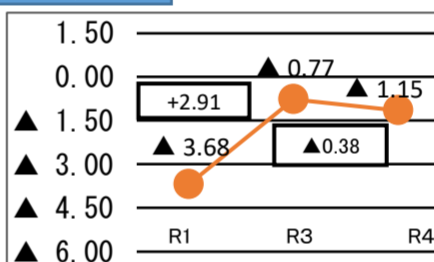
小学校女子



中学校男子



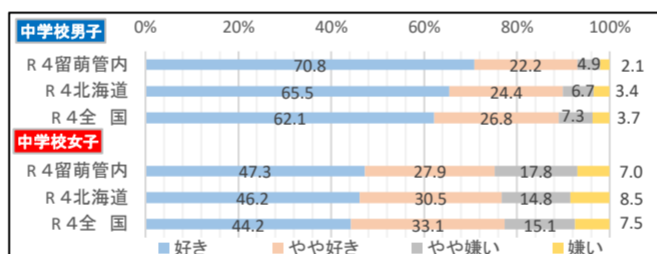
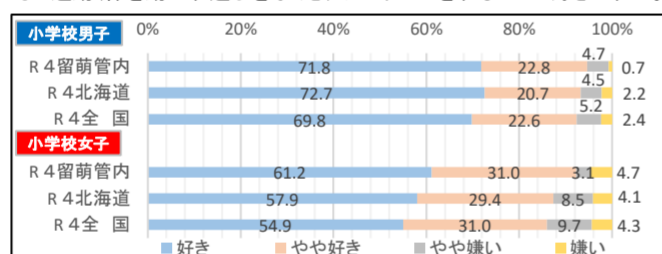
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

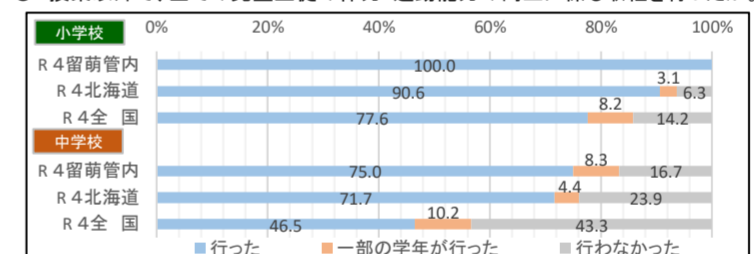
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

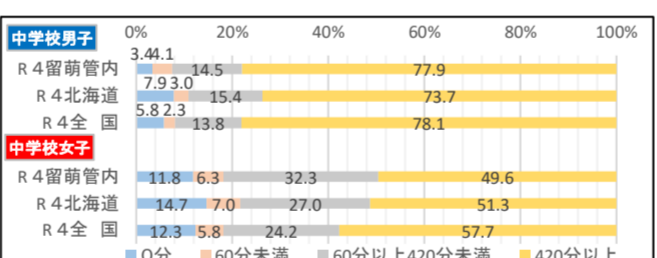
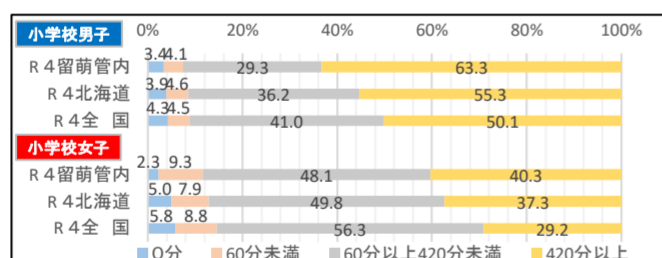


##### <学校質問紙>

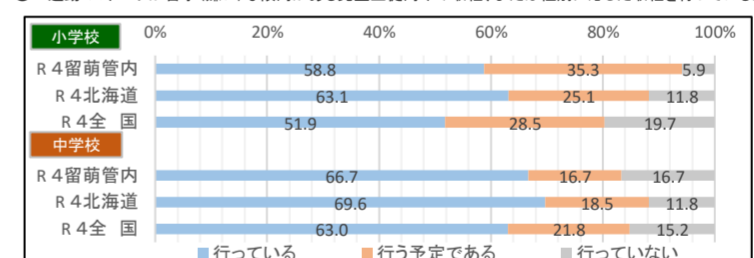
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



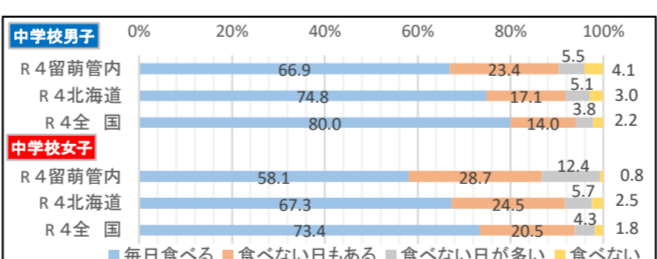
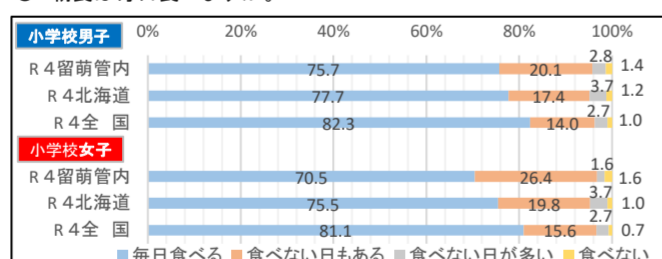
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそのくらの時間していますか。



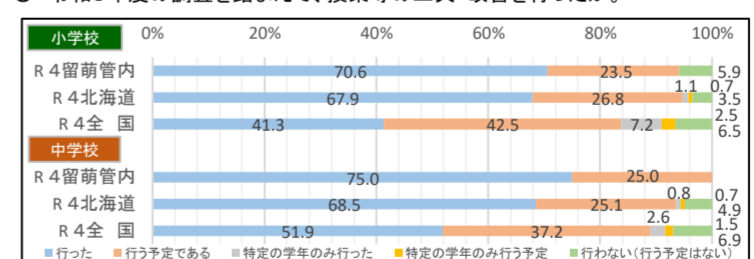
○ 運動・スポーツが苦手(嫌いな傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



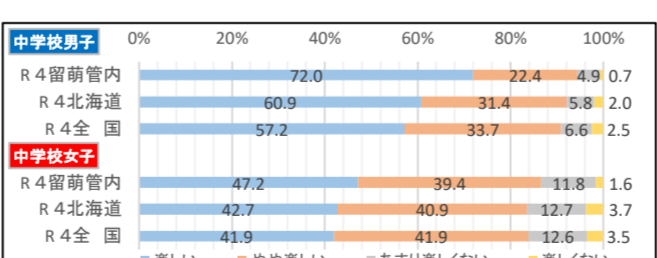
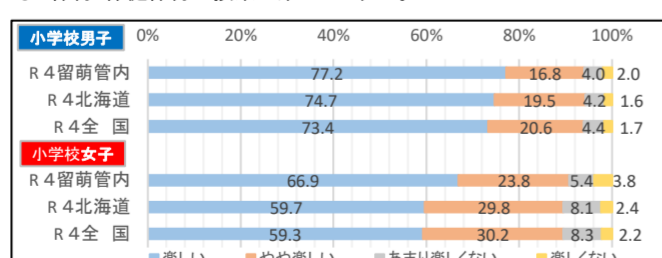
○ 朝食は毎日食べますか。



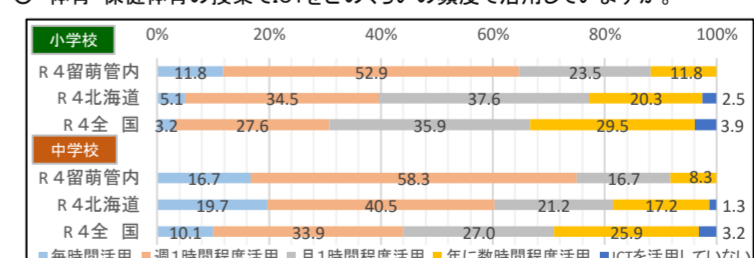
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



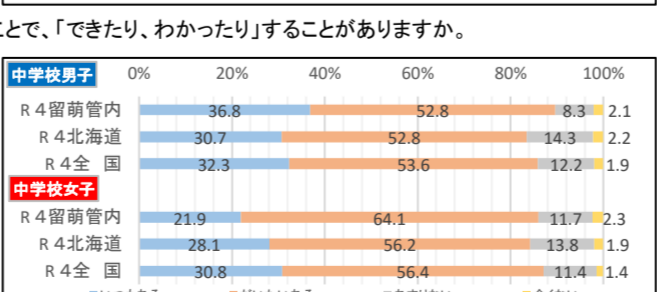
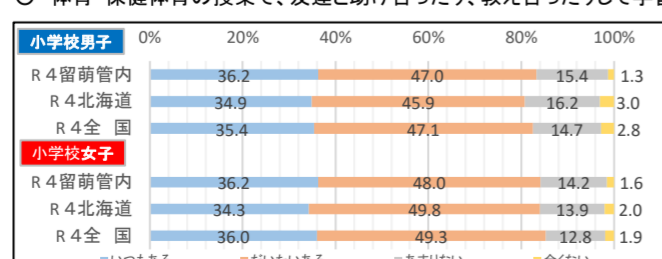
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



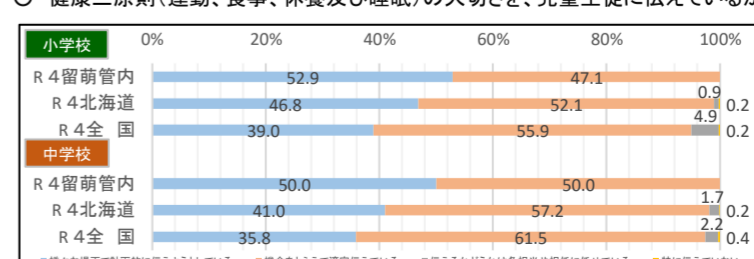
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用していますか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。





## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計ポイントは、全国と比較して、男子が0.14ポイント、女子が0.88ポイント高い。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男子が5種目、女子が6種目である。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計ポイントは、全国と比較して、男子が3.26ポイント、女子が1.15ポイント低く課題である。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男子が1種目、女子が5種目である。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行った」と回答した学校の割合は、100.0%であり、全国と比べて28.3ポイント高い。</li> <li>○ 「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合は、男子が77.2%であり、全国より3.4ポイント高く、女子が66.9%であり、7.6ポイント高い。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った」と回答した学校の割合は、75.0%であり、全国と比べて28.5ポイント高い。</li> <li>○ 「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒の割合は、男子が72.0%であり、全国より14.8ポイント高く、女子が47.2%であり、5.3ポイント高い。</li> </ul>

## 留萌管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

- (1) A 全ての教職員が当事者意識をもった「カリキュラム・マネジメント」の推進**
- 新体力テストを活用・分析し、学校における個々の課題解決に向けた組織的な取組を継続していくとともに、市町村教育委員会や学校、校長会や教頭会と連携した検証改善サイクルの質的向上
  - 体力・運動能力の向上のための学校全体での数値目標の設定
  - 各学校の課題に応じた創意工夫ある「1校1実践」の組織的な取組の推進
- (2) B 体育・保健体育や休み時間・場を活用した体力向上の取組の推進**
- 小学校体育エキスパート教員巡回指導事業における成果の普及による児童生徒の興味や関心を高める体育・保健体育の授業改善
  - 新体力テストの測定に関わる研修会の実施
  - 新体力テストで課題の見られる種目に係る運動機会の確保に向けた授業改善の推進
- (3) C 学校・家庭・地域が一体となった子どもの運動機会の設定**
- 児童生徒会活動を中心とした異年齢集団等による運動遊びの推進
  - 地域やスポーツ諸団体と連携した地域スポーツ等の行事への積極的な参加促進
  - 学校だよりや学級通信等による体力向上の取組の積極的な周知
  - 各学校の特色を生かした、家庭と連携した体力向上の取組の充実

### 2 具体的な取組

月	(1) A 全ての教職員が当事者意識をもった「カリキュラム・マネジメント」の推進	(2) B 体育・保健体育や休み時間・場を活用した体力向上の取組の推進	(3) C 学校・家庭・地域が一体となった子どもの運動機会の設定
4	・教育長会議・校長会議・教頭（主幹教諭）会議	・教育長会議・校長会議・教頭（主幹教諭）会議	・教育長会議・校長会議・教頭（主幹教諭）会議
5	・校長会理事研（指導監）		
6	・学校経営訪問（指導監） ・学校教育指導（計画） ・管内小中学校教頭会研究協議会	・学校教育指導（計画） ・管内小中学校教頭会研究協議会	・学校教育指導（計画） ・管内小中学校教頭会研究協議会
7	・教育長会議 ・教頭会理事研（支援課長） ・北海道体力向上推進会議	・新体力テスト研修会 ・北海道体力向上推進会議 ・局独自研修令和4年度留萌管内体力向上に係る取組（～10月）	
8	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の活用	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の活用	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の活用
9	・校長会理事研（指導監）	・北海道体力向上推進会議	・北海道体力向上推進会議
10	・どさん子体力アップ強化月間（予定） ・管内どさん子元気アップチャレンジ	・管内研究団体等での指導助言 ・どさん子体力アップ強化月間（予定） ・管内どさん子元気アップチャレンジ	・管内研究団体等での指導助言 ・どさん子体力アップ強化月間（予定） ・管内どさん子元気アップチャレンジ
11	・体育エキスパート教員巡回指導事業研修会（東光小）	・体育エキスパート教員巡回指導事業研修会（東光小）	
12	・教育長会議 ・校長会理事研（指導監） ・教頭会理事研（支援課長）	・教育長会議	・教育長会議
1	・北海道学力・体力向上推進会議 ・教育委員会訪問 ・冬季教頭研修会	・北海道学力・体力向上推進会議 ・教育委員会訪問	・北海道学力・体力向上推進会議 ・教育委員会訪問
2	・校長会理事研（指導監）		
3	・教育長会議 ・教頭会理事研（支援課長）		

### 3 取組の評価 ※（ ）は目標値

<p><b>(1) 全ての教職員が当事者意識をもった「カリキュラム・マネジメント」の推進</b></p> <p>① 全ての教職員が当事者意識をもった「カリキュラム・マネジメント」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現状：小2.9、中2.9（3点中）</li> <li>○ 目標：小3.0、中3.0</li> </ul> <p>・学校教育指導訪問等により継続的な指導助言</p> <p>・教育活動に位置付けた取組の推進</p> <p>・学校評価等の外部評価を活用した取組の推進</p>	<p><b>(2) 体育・保健体育や休み時間・場を活用した体力向上の取組の推進</b></p> <p>① 授業等の工夫・改善を行った（行う予定である）学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現状：小100.0%、中100.0%</li> <li>○ 目標：小100.0%、中100.0%</li> </ul> <p>・エキスパート教員派遣による授業改善の支援</p> <p>・どさん子元気アップチャレンジの活用による取組の実施</p> <p>・外部講師を活用した指導法に係る管内における研修の実施</p>	<p><b>(3) 学校・家庭・地域が一体となった子どもの運動機会の設定</b></p> <p>① 家庭・地域が一体となった子どもの運動機会の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現状：小2.7、中2.5（3点中）</li> <li>○ 目標：小3.0、中3.0</li> </ul> <p>・健康や体育と関連を図った学校行事等における保護者や地域と連携した取組の推進</p>
--	--	---

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p>(1) 全教職員によるカリキュラム・マネジメントや検証改善サイクルの取組がとぎれることのないよう継続的に指導助言する。</p>	<p>(2) 指定事業等を活用した授業改善や課題の見られる種目に係る運動機会の確保に向け指導助言する。</p>	<p>(3) 各学校の特色を生かした体力づくりや家庭・地域が連携した体力向上の取組が推進されるよう指導助言する。</p>
--	---	--

# 宗谷管内の状況

1市8町1村

## 小・中学校

(小学校数:35校 児童数:402人、中学校数:22校 生徒数:411)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

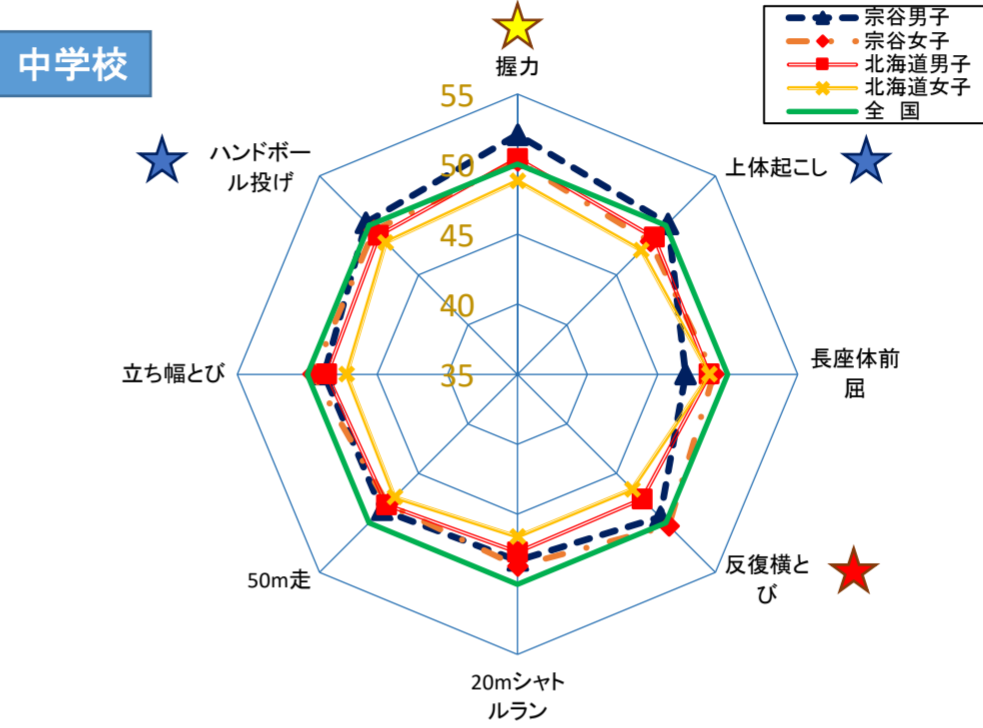
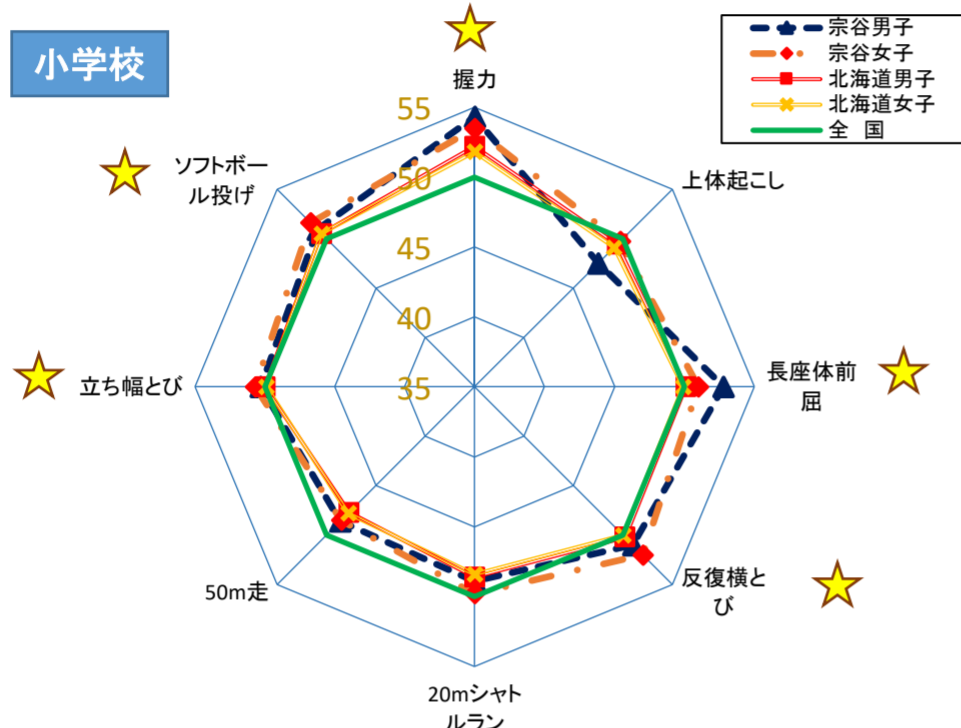
	男子	女子
宗谷	52.84	55.33
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
宗谷	40.03	46.16
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

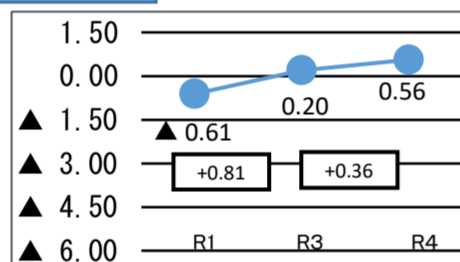
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆は男女ともに全国平均以上の種目 ★は男子のみ全国平均以上の種目 ★は女子のみ全国平均以上の種目

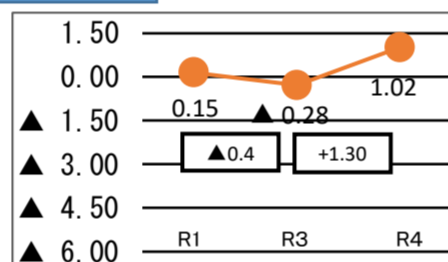


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

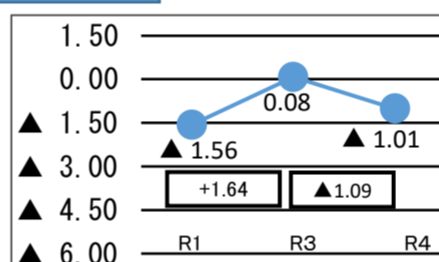
小学校男子



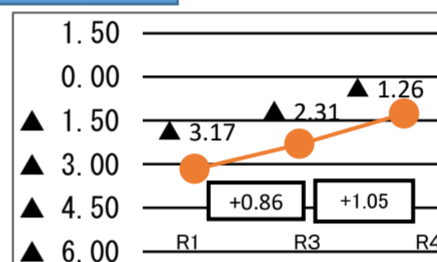
小学校女子



中学校男子



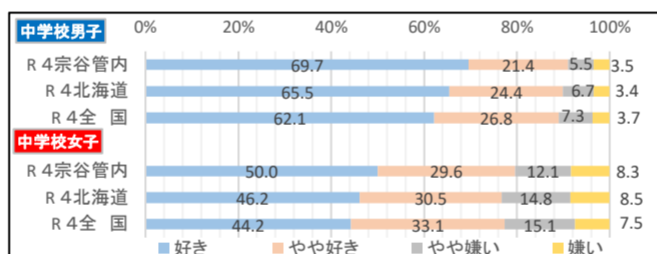
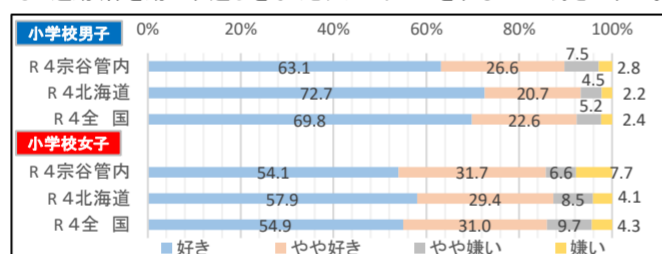
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

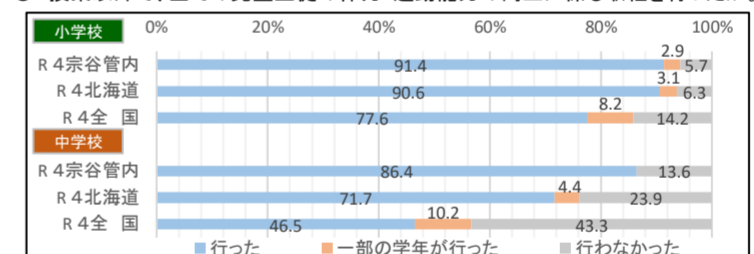
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

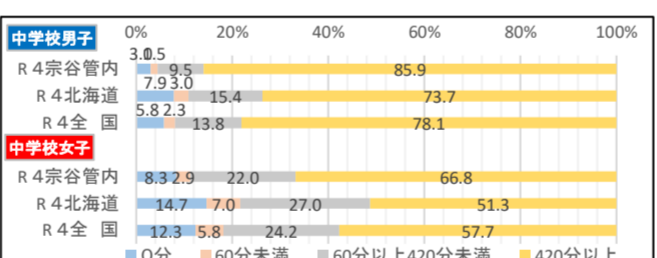
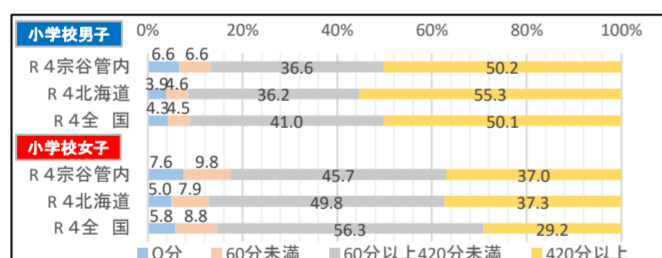


##### <学校質問紙>

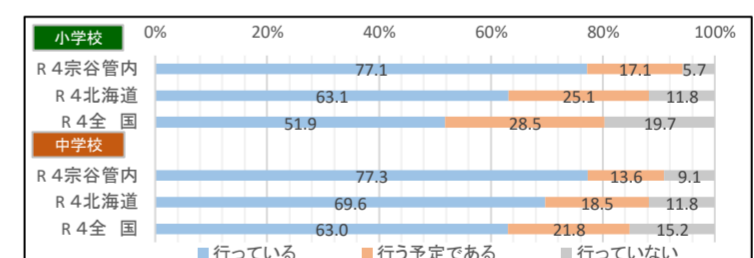
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



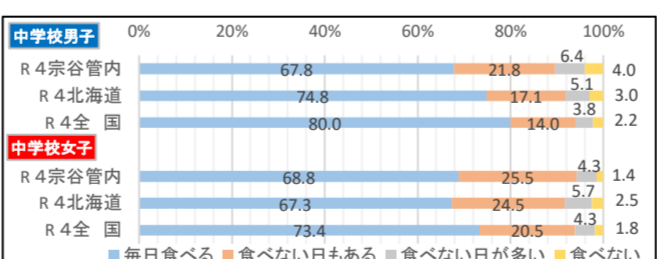
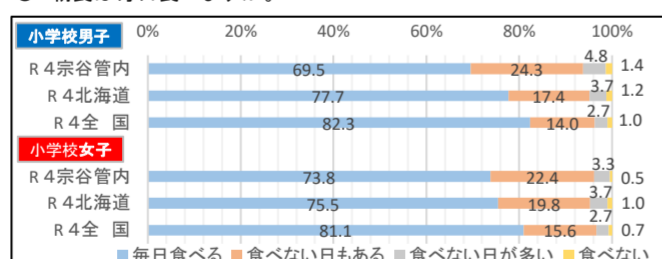
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそのくらの時間していますか。



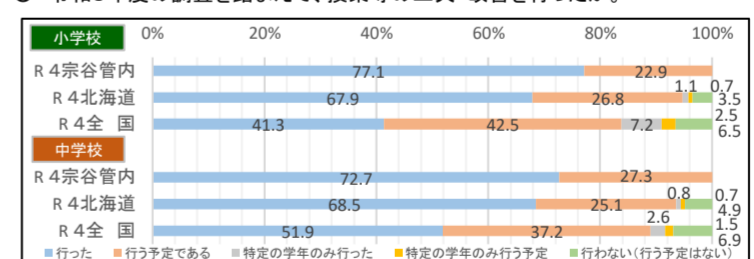
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



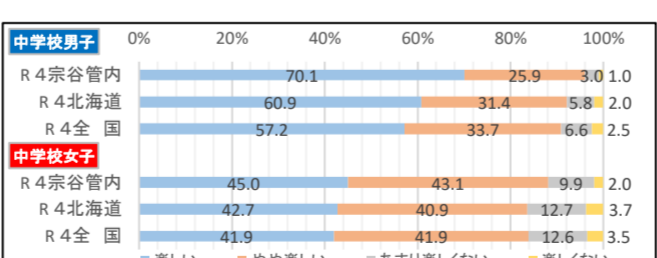
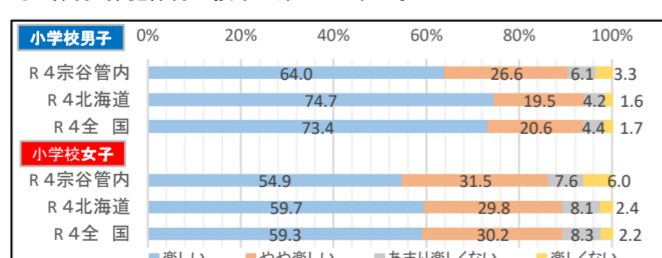
○ 朝食は毎日食べますか。



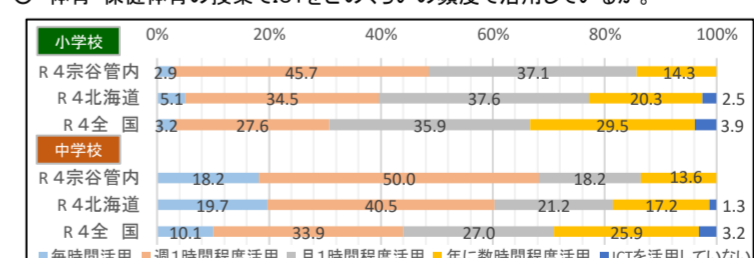
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



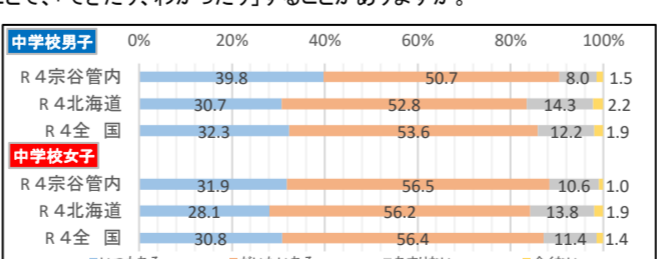
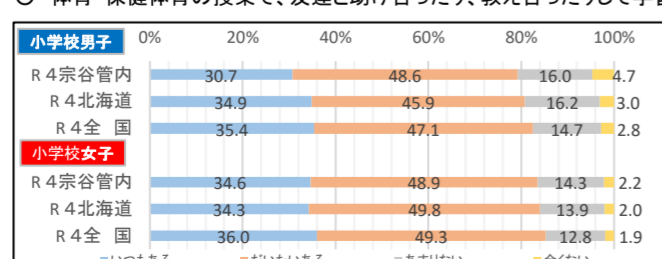
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



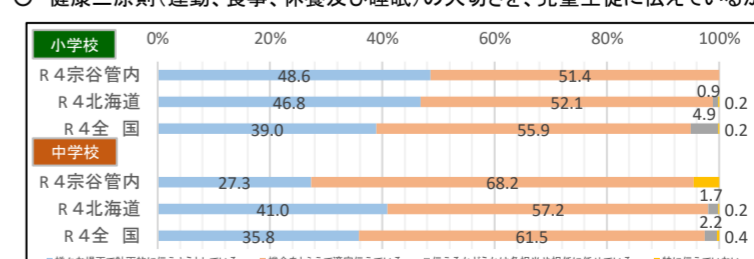
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞	＜ 中 学 校 ＞
<p><b>実技調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国平均と比較して、男子が0.56ポイント、女子が1.02ポイント高く、各学校で取り組んでいる体力向上に向けた取組の成果が表れていると考えられる。</li> <li>○ 過去3回の体力合計点の推移においても、男女とも向上しており、継続的な取組の成果と考えられる。</li> <li>○ 種目別に全国平均を上回ったのは、男女とも、握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび、ソフトボール投げの5種目である。</li> </ul> <p><b>質問紙調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校において、「運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童向けの取組、または性別に応じた取組」及び「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善」について、「行った」と回答したものの、「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合は、男子が64.0%(全国比+9.4ポイント)、女子が54.9%(全国比+4.4ポイント)で、全国平均を下回っており、課題である。</li> </ul>	<p><b>実技調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国平均と比較して、男子が1.01ポイント、女子が1.26ポイント低く、課題である。</li> <li>○ 過去3回の体力合計点の推移では、女子において、全国平均との差が縮まり、各学校で実施している体力向上に向けた取組の成果が表れていると考えられる。</li> <li>○ 種目別に全国平均を上回ったのは、男子が、握力、長座体前屈、ハンドボール投げの3種目、女子が、握力の1種目である。</li> </ul> <p><b>質問紙調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校において、「運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある生徒向けの取組、または性別に応じた取組」及び「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善」について、「行った」、「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒の割合は、男子が70.1%(全国比+12.9ポイント)、女子が45.0%(全国比+3.1ポイント)で、全国平均を上回っており、授業改善の成果が表れていると考えられる。</li> </ul>

## 宗谷管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

#### (1) 年間複数回の検証改善サイクルの確立

- 新体力テスト等の結果を活用した実態把握及び重点的な取組の明確化
- 明確な目標指標を位置付けた「体力向上プラン」の作成・実施・改善

#### (2) 体育・保健体育の授業改革

- 体育専科教員、体育エキスパート教員、中学校体力向上推進教員を活用した授業改革に資する研修資料の作成及び研修会の実施
- 基本的な学習過程に基づき、めあてを生かしながら運動のよさを実感させる体育・保健体育授業の推進

#### (3) 日常的な運動機会の創出

- 学校や家庭等における運動に親しむ機会の充実
- 体育授業以外の運動に親しむ場の設定、運動・生活習慣の確立に向けた保護者への啓発

### 2 具体的な取組

月	(1)年間複数回の検証改善サイクルの確立	(2)体育・保健体育の授業改革	(3)日常的な運動機会の創出
4	○ 新体力テストの効果的な実施に向けた取組の周知(局独自通信の発出)		
5	○ 学校教育指導訪問【一次訪問】 ・新体力テストの全学年・全種目実施に向けた体力向上プランに係る指導助言 ・体力向上プランの共有 ・体育・保健体育授業に係る取組の共有及び指導助言		
6			
7			○ 全道どさん子元気アップチャレンジの周知
8	○ 新体力テスト結果の取りまとめ		○ 管内どさん子元気アップチャレンジⅠ 「マラソン2022チャレンジ」
9	○ 学校教育指導訪問【二次訪問】 ・新体力テストの結果の共有 ・課題解決に向けた取組への指導助言		
10			○ 管内どさん子元気アップチャレンジⅡ 「運動意欲アップチャレンジ」 ※実践事例の収集
11		○ 体育専科教員、体育エキスパート教員、中学校体力向上推進教員を活用した「SOYA ALL体力向上指導力向上研修」の実施	
12			
1			
2	○ 宗谷管内新体力テストの結果周知		
3	○ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における宗谷管内の分析結果及び改善の方向性の周知		○ 実践事例の交流 ※局ホームページへの掲載

### 3 取組の評価 ※ ( ) は目標値

(1) 年間複数回の検証改善サイクルの確立	(2) 体育・保健体育の授業改革	(3) 日常的な運動機会の創出
<p>① 新体力テストの全学年・全種目実施 (小・中学校：100%) ■ 小：100% 中：100%</p> <p>② 体力向上プランを作成している (小・中学校：100%) ■ 小：100% 中：100%</p> <p>③ 教員同士で体力向上に係る取組や指導方法の工夫・改善について検討する機会がある (小・中学校：肯定的回答100%) ■ 小：100% 中：100%</p>	<p>① 体育(保健体育)の授業が楽しい (小・中学校：70%以上) ■ 小：男64.0% 女54.9% 中：男70.1% 女45.0%</p> <p>② 進んで学習に参加している (小・中学校：肯定的回答70%以上) ■ 小：男86.4% 女91.2% 中：男89.6% 女86.0%</p> <p>③ 目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがある (小・中学校：肯定的回答70%以上) ■ 小：男77.9% 女80.1% 中：男87.1% 女88.9%</p>	<p>① 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好き (小・中学校：80%以上) ■ 小：男63.1% 女54.1% 中：男69.7% 女50.0%</p> <p>② 1週間の総運動時間が60分以上 (小・中学校：100%) ■ 小：男86.8% 女82.7% 中：男95.4% 女88.8%</p>

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p>(1) 年間複数回の検証改善サイクルの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新体力テスト等の結果を踏まえ作成した「体力向上プラン」に基づいた効果的な検証改善の具体について、管内の好事例を示し、学校教育指導訪問等において指導助言を行う。</li> </ul>	<p>(2) 体育・保健体育の授業改革</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育専科教員等を講師とした1人1台端末を効果的に活用した体育・保健体育科の授業改革に関する実技研修会を実施する。</li> <li>○ 引き続き学校教育指導訪問等において指導助言を行う。</li> </ul>	<p>(3) 日常的な運動機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管内における体力向上や日常の運動習慣の確立に向け、「管内どさん子元気アップチャレンジ」への参加を一層促進する。</li> <li>○ 地域人材を生かした体力向上の取組について管内の好事例を発信する。</li> </ul>
--	---	--

# オホーツク管内の状況

3市14町1村

## 小・中学校

(小学校数:78校 児童数:1,977人、中学校数:49校 生徒数:1,918人)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

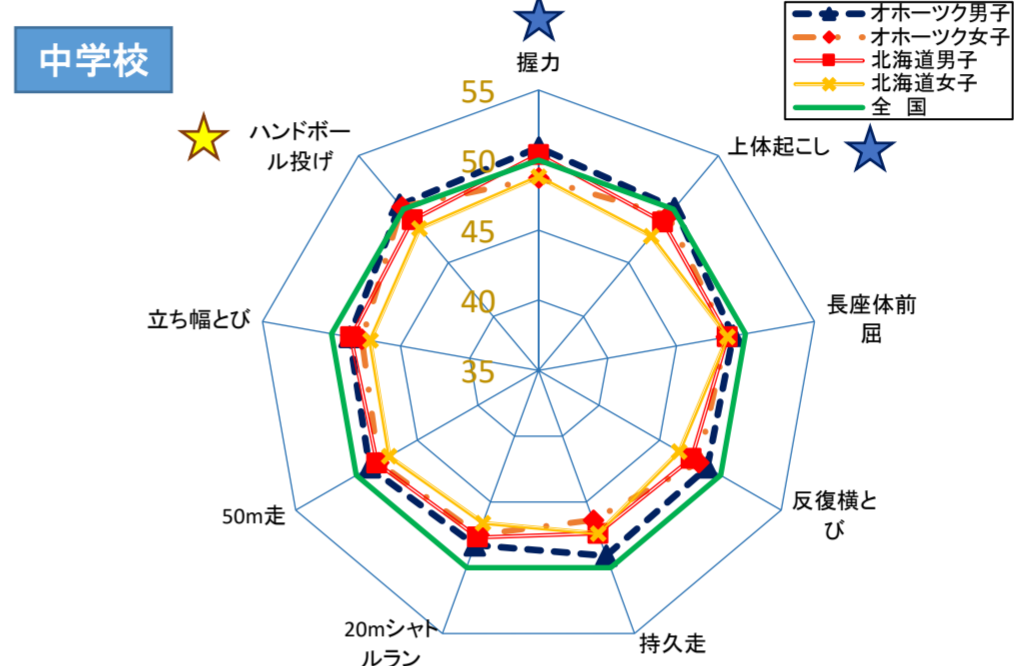
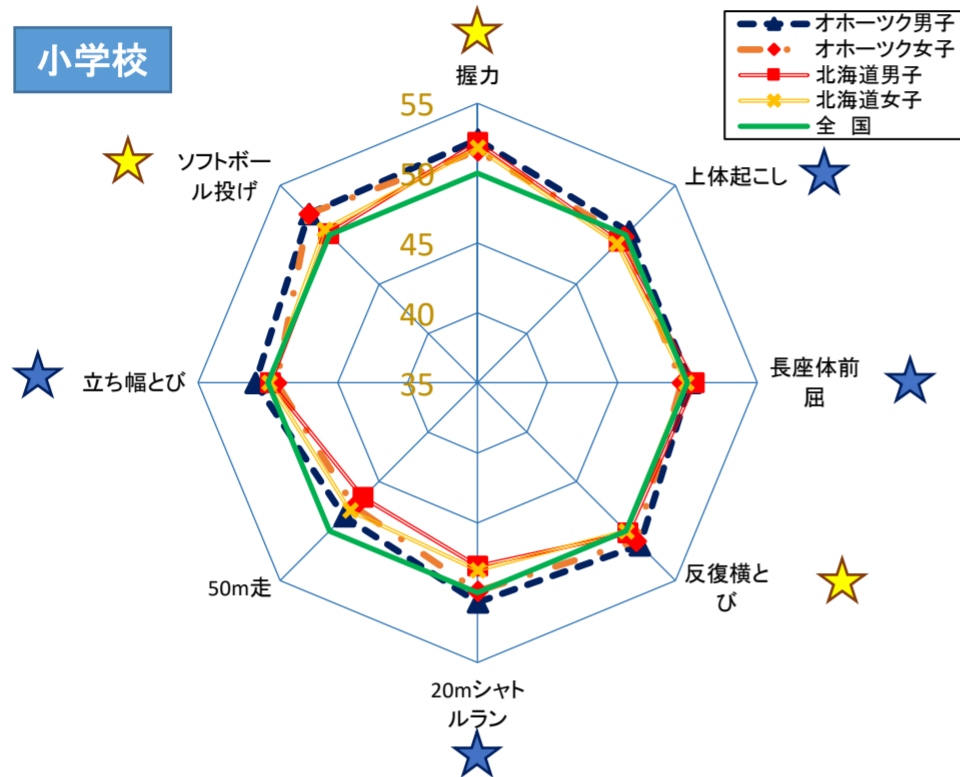
	男子	女子
オホーツク	53.18	54.17
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
オホーツク	40.09	45.21
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

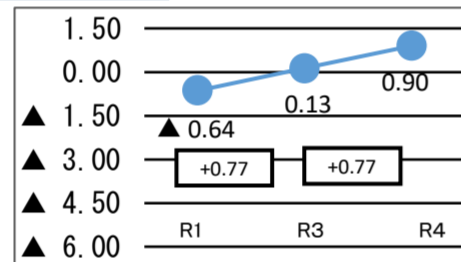
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆は男女ともに全国平均以上の種目 ★は男子のみ全国平均以上の種目 ★は女子のみ全国平均以上の種目

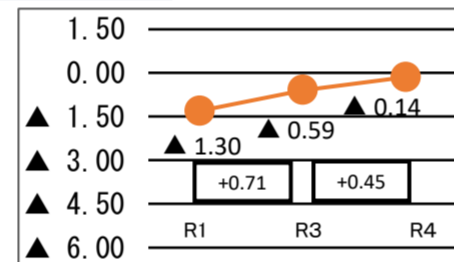


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

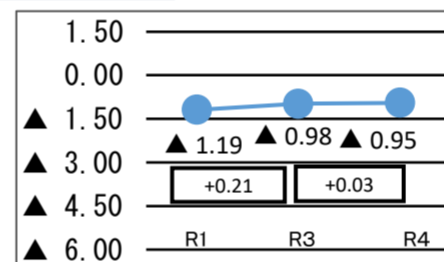
小学校男子



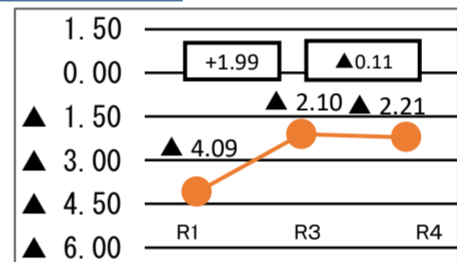
小学校女子



中学校男子



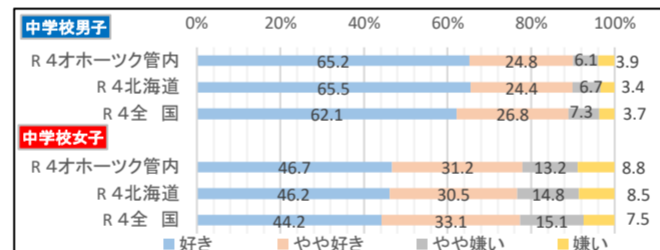
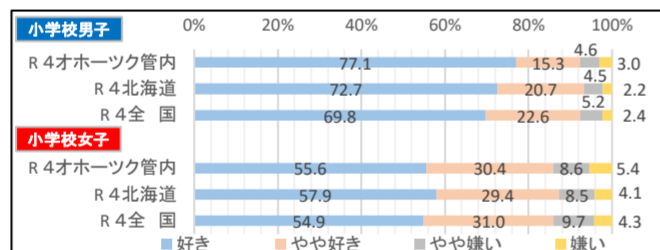
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

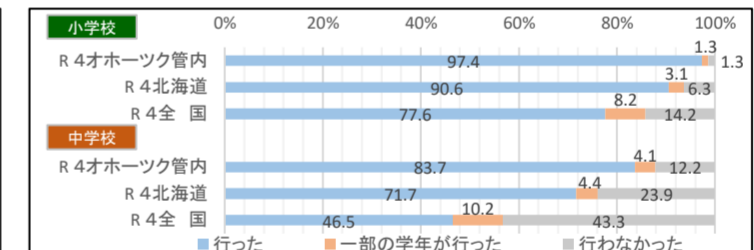
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

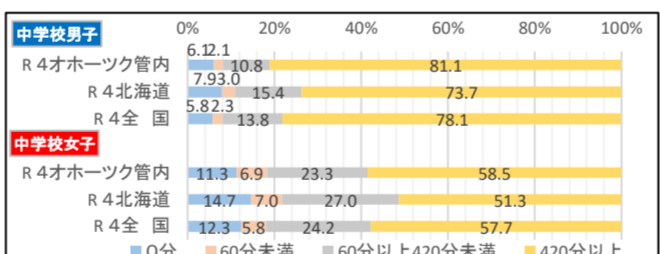
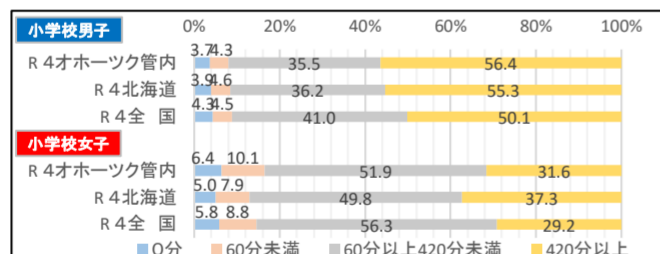


##### <学校質問紙>

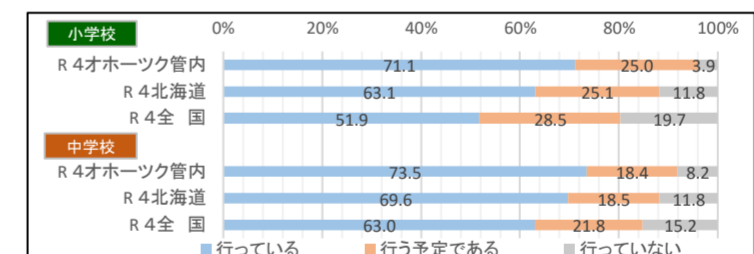
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



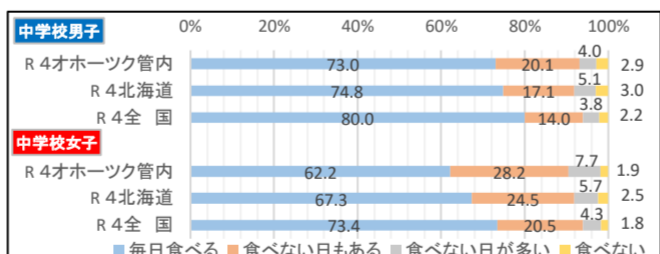
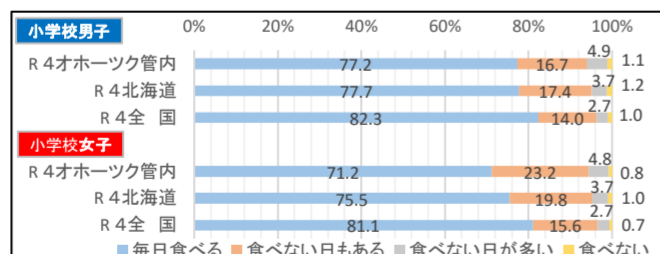
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそどのくらいの時間していますか。



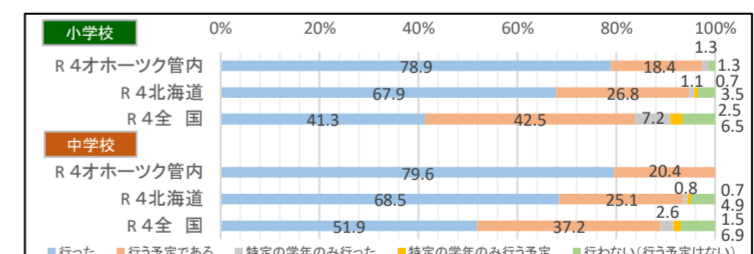
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行ったか。



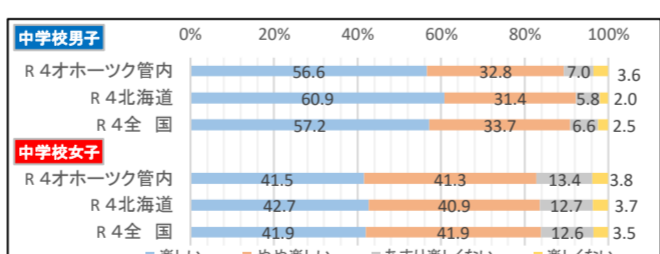
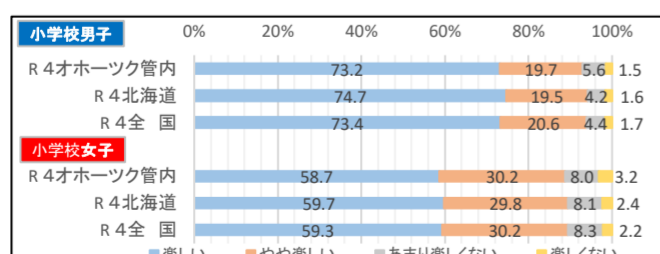
○ 朝食は毎日食べますか。



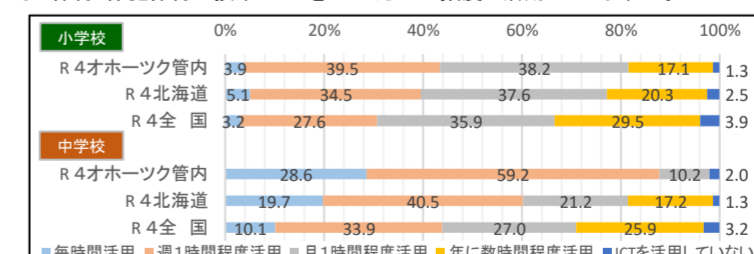
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



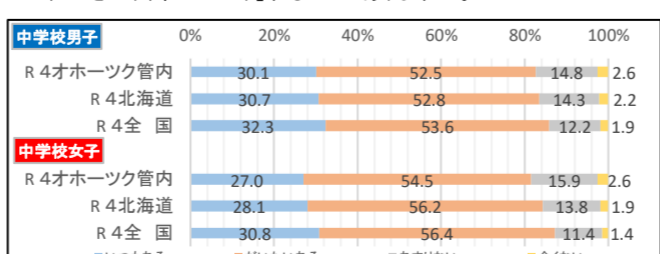
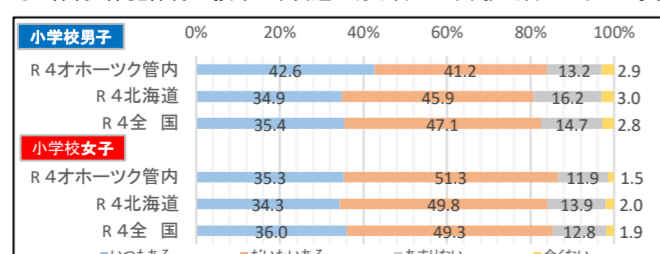
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



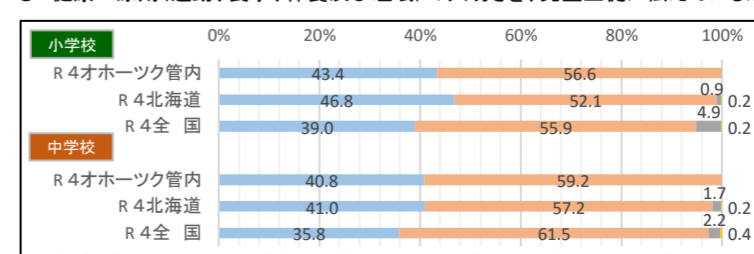
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用していますか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞	＜ 中 学 校 ＞
<p><b>実技調査</b></p> <p>○ 体力合計点は、昨年度と比較して、男女ともに高くなっており、全国と比較して、男子が0.90ポイント高いが、女子が0.14ポイント低く、課題である。</p> <p>○ 種目別で全国を上回ったのは、男子が7種目、女子が3種目である。</p>	<p><b>実技調査</b></p> <p>○ 体力合計点は、昨年度と比較して、男女ともに低くなっており、全国と比較して、男子が0.95ポイント、女子が2.21ポイント低く、課題である。</p> <p>○ 種目別で全国を上回ったのは、男子が3種目、女子が1種目である。</p>
<p><b>質問紙調査</b></p> <p>○ 「これまでの調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、全国と比較して、37.6ポイント高いが、「体育の授業は、楽しい」と回答した児童の割合は、全国と比較して、男子が0.2ポイント、女子が0.6ポイント低く、課題である。</p>	<p><b>質問紙調査</b></p> <p>○ 「これまでの調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、全国と比較して、27.7ポイント高いが、「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、できたり、わかったりする」と回答した生徒の割合は、全国と比較して、男子が2.2ポイント、女子が3.8ポイント低く、課題である。</p>

## オホーツク管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策 (課題：●、改善策：□)

- (1)A 検証改善サイクルに基づいた体育・保健体育科の授業改善**
- 「各種調査やデータ等に基づき、学校全体で体力・運動能力の向上に向けた検証改善サイクルの確立をしている」と回答した学校の割合が65%程度にとどまっていることから、検証改善サイクルの一層の充実を図る必要がある。
  - 学校教育指導において、新体力テスト等の結果を踏まえ、学校全体で体力・運動能力の向上を図れるよう継続的な指導及び助言を行う。
  - 関係研究団体及び体育専科教員と連携し、ICT端末を効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた各種セミナーを実施する。
- (2)B 体育・保健体育授業以外の学校の創意工夫による取組の充実**
- 「体育・保健体育授業以外の学校の創意工夫による体力・運動能力の向上の取組を推進している」と回答した学校の割合が45%程度にとどまっていることから、一層の取組の充実を図る必要がある。
  - 各種調査結果等を踏まえ、「オホーツク運動プログラム」等の活用や、研修事業等を活用した授業改善の取組の充実が図られるよう指導及び助言を行う。
- (3)C 家庭や地域と連携を図った取組の充実**
- 「家庭や地域と連携して児童生徒の体力・運動能力の向上を図っている」と回答した学校の割合が40%程度にとどまっていることから、地域と連携した取り組みの充実を図る必要がある。
  - 社会教育指導班と連携し、教育委員会及び地域住民に運動習慣形成に係る情報提供及び、学校と地域が連携した実践事例を、教育局Webページに掲載する。

### 2 具体的な取組

月	(1)A 検証改善サイクルに基づいた体育・保健体育科の授業改善	(2)B 体育・保健体育授業以外の学校の創意工夫による取組の充実	(3)C 家庭や地域と連携を図った取組の充実
4		「オホーツク運動プログラム」取組（通年）	
5	学校教育指導（1次協議）において、学校課題の改善状況を確認	学校教育指導（1次協議）において、「オホーツク運動プログラム」の活用状況を確認	「オホーツク運動プログラム」を教育局Webページに掲載し、家庭での運動機会の確保を啓発
6	↓	↓	↓
7			
8	◇夏の教育セミナー 学校教育指導（2次協議）において、学校課題の改善状況を確認	学校教育指導（2次協議）において、「オホーツク運動プログラム」の活用状況を確認	
9	↓	↓	↓
10			市町村教育委員会社会体育担当者研修会での管内状況に係る情報提供
11	↓	↓	↓
12		「オホーツク運動プログラム」に係る活用事例集の作成及び配信	
1	◇冬の教育セミナー 各学校へのコンサルティング（3次協議）において、学校課題の改善状況を確認	各学校へのコンサルティング（3次協議）において、達成状況を確認	体力向上に係る学校と地域が連携した実践事例を教育局Webページに記載
2	↓	↓	↓
3			

### 3 取組の評価 ※（ ）は目標値

<p><b>(1)A 検証改善サイクルに基づいた体育・保健体育科の授業改善</b></p> <p>① 「各種調査やデータ等に基づき一連のPDCAサイクルを確立している」 (R4管内教育推進の重点3(1)①)</p> <p>・現状：小…63.8%、中…65.3%</p> <p>・目標：小…70.0%、中…70.0%</p> <p>■達成値：小…62.8%、中…61.2%</p> <p>② 「調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行っている」 (R4全国調査＜学校質問紙調査＞)</p> <p>・現状：小…78.8%、中…77.6%</p> <p>・目標：小…80.0%、中…80.0%</p> <p>■達成値：小…78.9%、中…79.6%</p>	<p><b>(2)B 体育・保健体育授業以外の学校の創意工夫による取組の充実</b></p> <p>① 「体育・保健体育授業以外の学校の創意工夫による体力・運動能力の向上の取組を推進している」 (R4管内教育推進の重点3(1)③)</p> <p>・現状：小…46.3%、中…26.5%</p> <p>・目標：小…70.0%、中…70.0%</p> <p>■達成値：小…41.0%、中…18.4%</p> <p>② 「1週間の総運動時間が60分以上である」 (R4全国調査＜児童生徒質問紙調査＞)</p> <p>・現状：小男子…87.7%、小女子…81.9%</p> <p style="text-align: center;">中男子…91.6%、中女子…78.9%</p> <p>・目標：小・中男子…90.0%</p> <p style="text-align: center;">小・中女子…90.0%</p> <p>■達成値：小男子…91.9%、小女子…83.5%</p>	<p><b>(3)C 家庭や地域と連携を図った取組の充実</b></p> <p>① 「家庭や地域と連携して児童生徒の体力・運動能力の向上を図っている」 (R4管内教育推進の重点3(1)②)</p> <p>・現状：小…37.5%、中…40.8%</p> <p>・目標：小…50.0%、中…50.0%</p> <p>■達成値：小…44.9%、中…53.1%</p> <p>② 「中学校進学後（卒業後）、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思う」 (R4全国調査＜児童生徒質問紙調査＞)</p> <p>・現状：小男子…64.7%、小女子…54.8%</p> <p style="text-align: center;">中男子…58.6%、中女子…39.6%</p> <p>・目標：小・中男子…90.0%</p> <p style="text-align: center;">小・中女子…75.0%</p> <p>■達成値：小男子…67.3%、小女子…54.4%</p>
---	---	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p>(1) 新体力テスト等の各種調査結果の分析を踏まえ、体育・保健体育科の授業改善に組織的に取り組むよう学校教育指導等で指導助言するとともに、検証改善サイクルの充実に向け、教師力向上セミナー等を活用した公開授業等を行い、小学校体育専科教員活用事業等の好事例を共有す</p>	<p>(2) 「どさん子元気アップチャレンジ」の取組や「オホーツク運動プログラム」の活用等、授業以外の学校の創意工夫による1校1実践の取組の確実な実施等の体力向上策を推進し、運動機会の充実が図られるよう指導助言する。</p>	<p>(3) 義務教育指導班と社会教育指導班が連携し、子どもの体力向上に向けた資料や望ましい生活習慣の確認に向けたリーフレットを各研修会等で紹介、活用するなど、児童生徒の生活スタイルを踏まえた日常的な運動習慣の形成を図る。</p>
---	--	---

# 十勝管内の状況

1市16町2村

## 小・中学校

(小学校数:84校 児童数:2,776人、中学校数:48校 生徒数:2,606)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

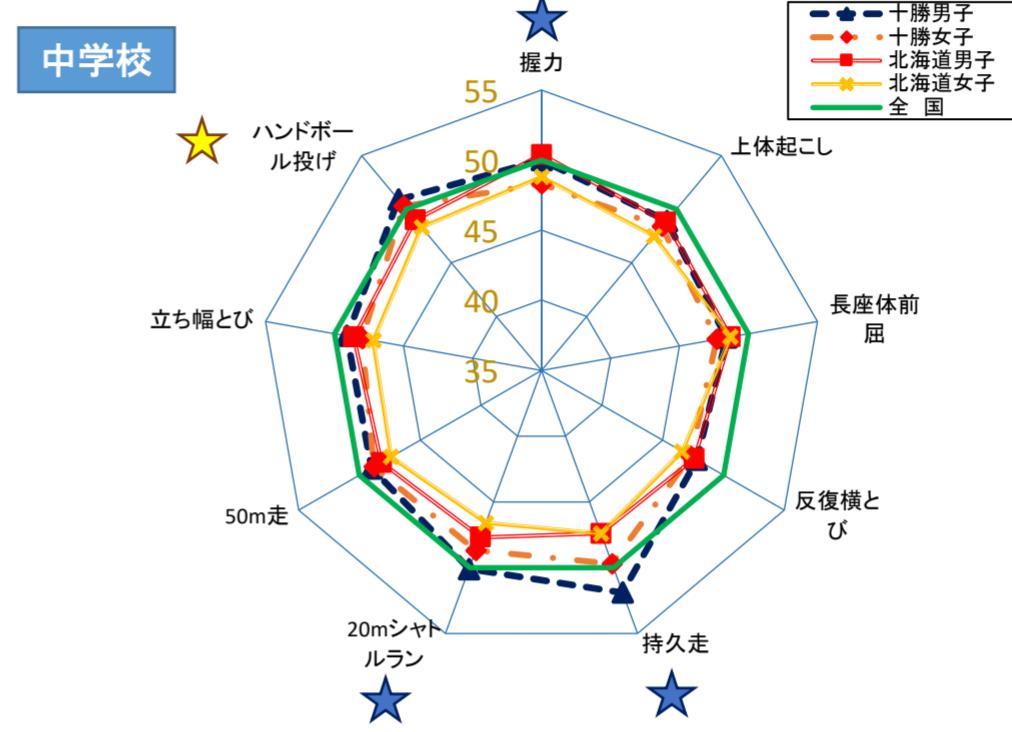
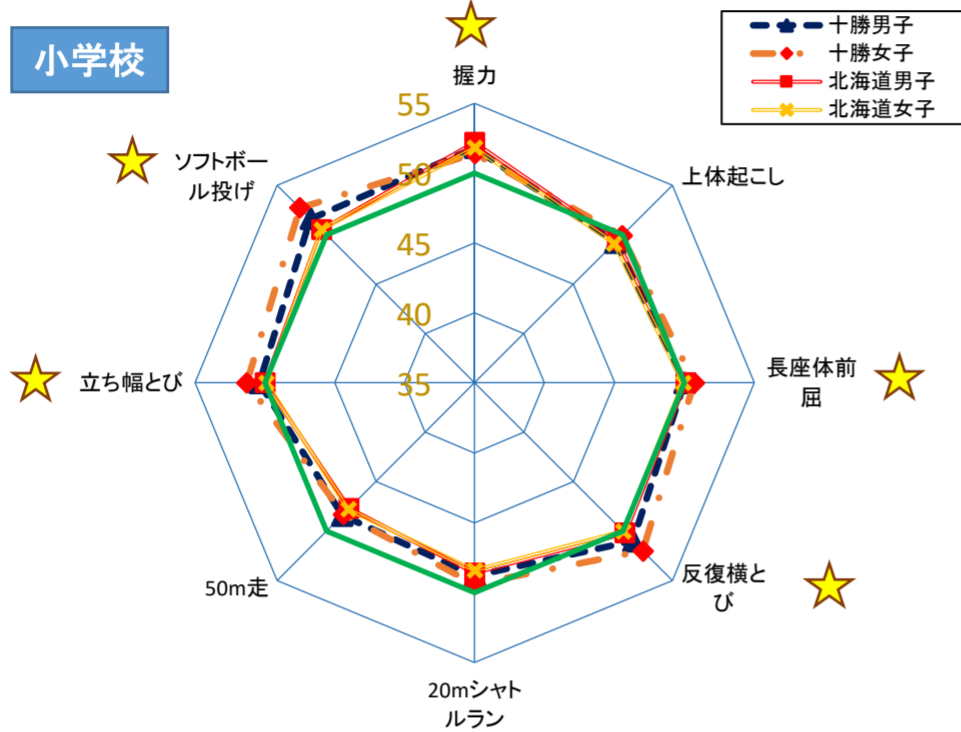
	男子	女子
十勝	52.17	55.03
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
十勝	39.66	44.83
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

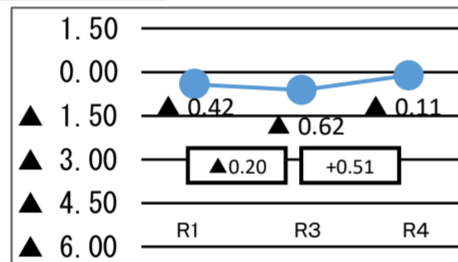
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆は男女ともに全国平均以上の種目 ★は男子のみ全国平均以上の種目 ★は女子のみ全国平均以上の種目

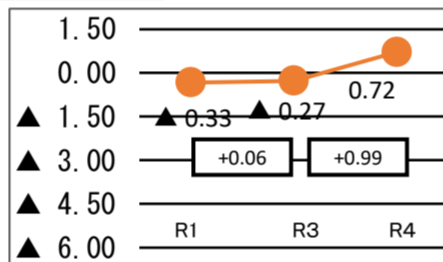


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

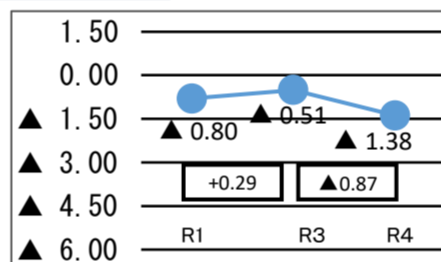
小学校男子



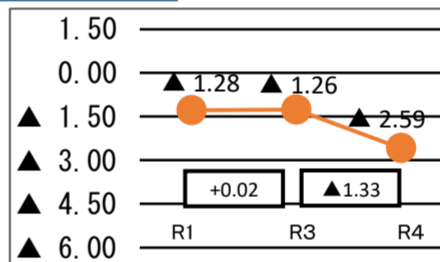
小学校女子



中学校男子



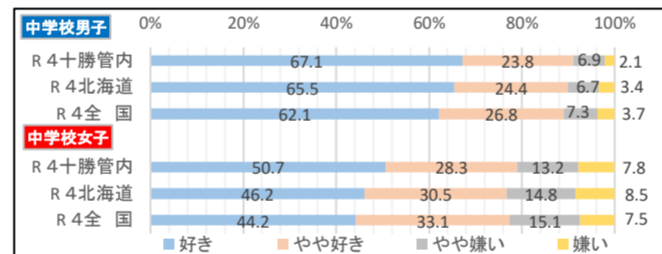
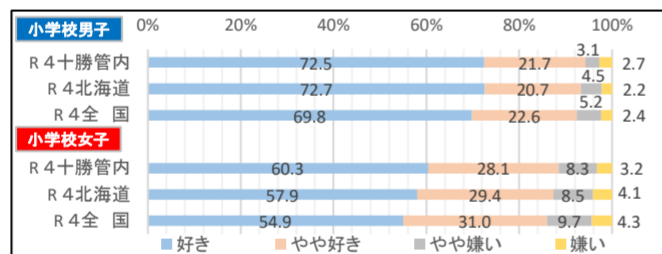
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

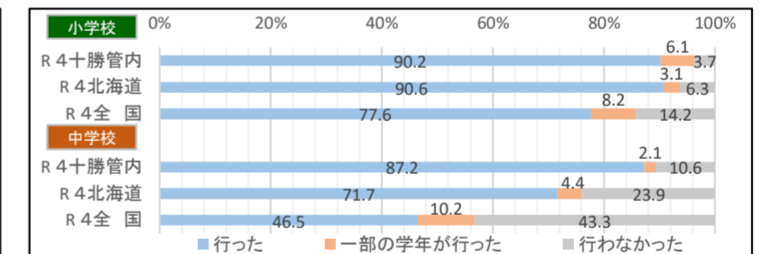
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

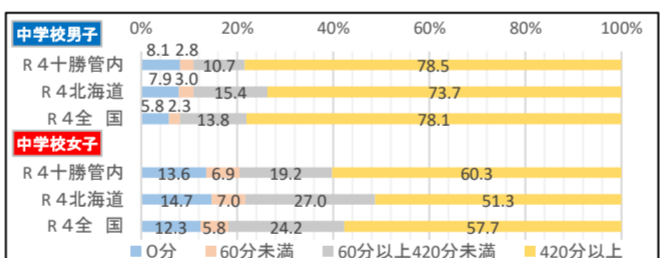
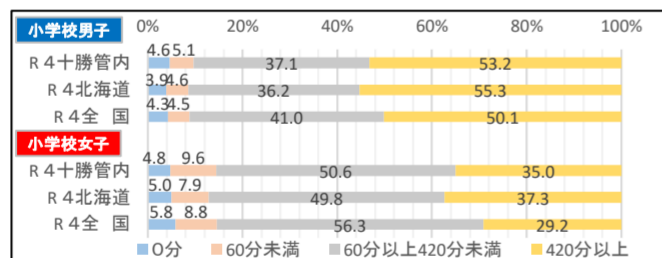


##### <学校質問紙>

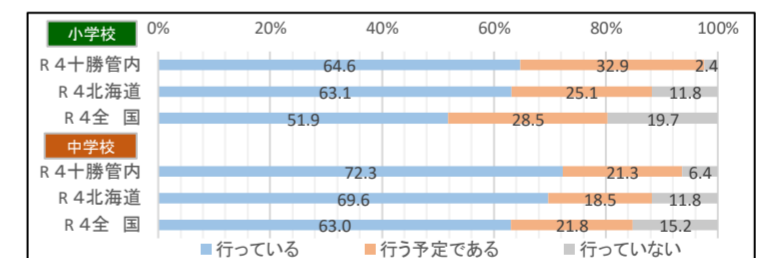
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



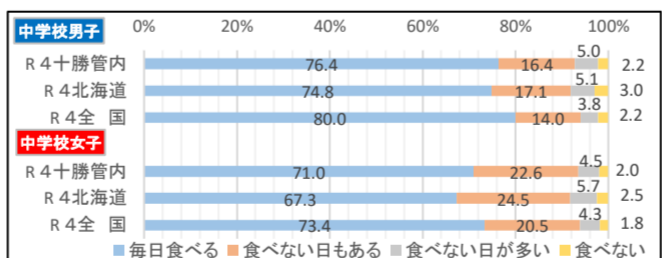
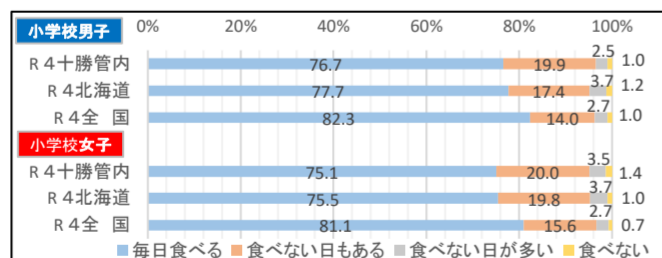
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそのくらの時間していますか。



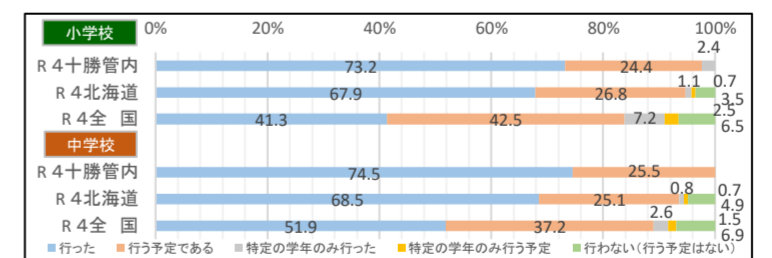
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行っているか。



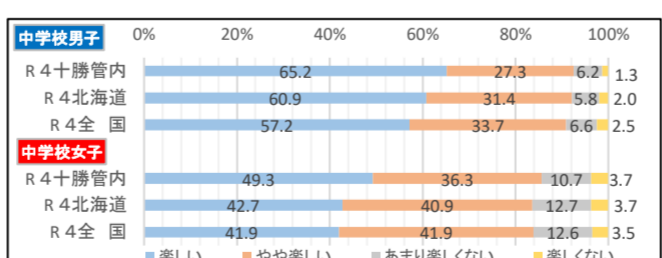
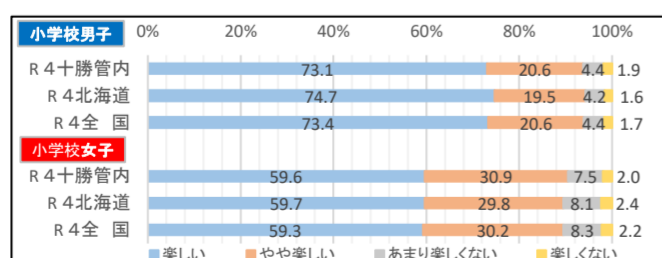
○ 朝食は毎日食べますか。



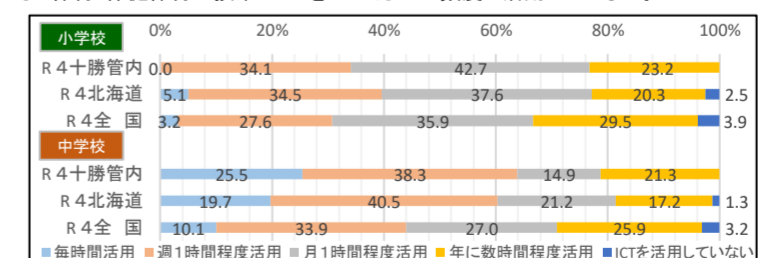
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



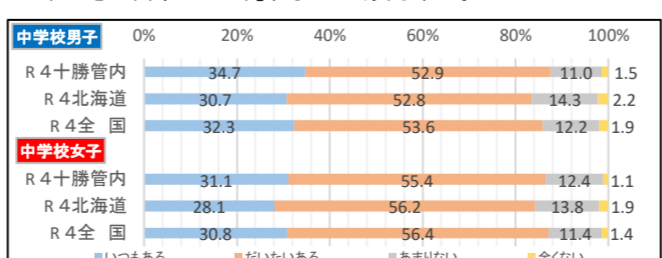
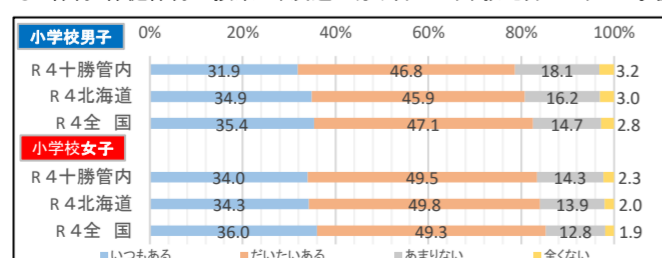
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



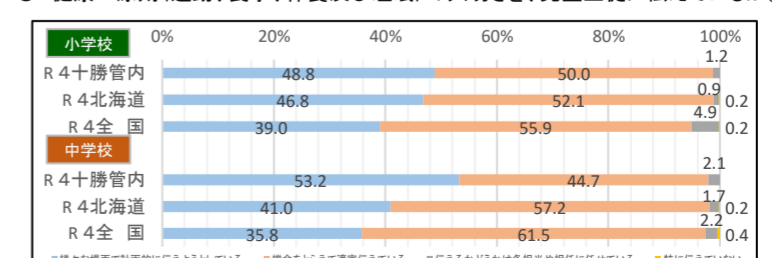
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



# 実技調査及び質問紙調査の分析

< 小学校 >		< 中学校 >	
実技調査	各学校において、令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善などを行うとともに、授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、「筋力」、「柔軟性」、「瞬発力」、「巧緻性」、「敏捷性」に係る5項目において、男女ともに全国平均を上回ったと考える。	実技調査	各学校において、令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善などを行うとともに、授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、「巧緻性」、「瞬発力」に係る1項目において、男女ともに全国平均を上回り、「筋力」、「全身持久力」に係る3項目において、男子の数値が全国平均を上回ったと考える。
質問紙調査	健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さについて児童に指導を行うとともに、授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、男女ともに運動やスポーツをすることは好きと回答する児童の割合が全国平均を上回るとともに、授業以外で運動やスポーツを行う1週間の合計時間が420分以上であると回答する児童の割合が全国平均を上回ったと考える。	質問紙調査	ICTの活用や協働的な学びの場の設定などの授業等の工夫・改善を行ったことにより、男女ともに保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、達成感や成就感を得ているとともに、保健体育の授業が楽しいと回答する生徒の割合が、全国平均を上回ったと考える。

## 十勝管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

<b>(1)A 検証改善サイクルの確立</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体力向上に係る組織的な検証改善サイクルの確立に課題のある学校があることから、児童生徒の体力向上に係る資質・能力を明確にし、学校教育活動全体を通じた体力向上の取組の推進を図る必要がある。</li> <li>□ 学校教育指導訪問等において、各学校の体力向上の取組に係る課題を管理職と共有し、新体力テストの複数回実施による体力向上の取組の検証等、各学校における検証改善サイクルの確立に向けた取組について指導助言する。</li> <li>□ 組織力向上に関する中間及び最終評価を実施し、取組の成果及び課題の改善状況をマネジメントする。</li> </ul>
<b>(2)B 授業改善の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体育科、保健体育科の授業において、体育の見方・考え方を働かせる学習過程を適切に設定していない学校があることから、自己の適性に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けた体育科、保健体育科の授業改善及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践を推進する必要がある。</li> <li>□ 体育専科教員による体育科、保健体育科の授業改善に向けた研修会及び体育専科教員等による出前授業を実施し、教員の指導力向上を図る。</li> <li>□ 学校教育指導訪問や研修会等において、サーキットトレーニングを活用した実践事例を情報提供するとともに、各学校の体育科、保健体育科の授業における指導資料の活用の促進を図ることにより、児童生徒の実態に応じた授業改善を推進する。</li> </ul>
<b>(3)C 運動習慣形成のための環境整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 児童生徒の日常的な運動機会の確保に向けた取組が十分でない学校があることから、家庭や地域と連携し、児童生徒の運動習慣の形成に向けた取組を推進する必要がある。</li> <li>□ 学校教育指導訪問等において、「どさん子元気アップチャレンジ」等を活用した体力向上に係る継続的な取組の推進について指導助言を行う。</li> <li>□ 児童生徒が日常的に運動に親しむ環境整備に係る好事例について、HP等を活用し、通年を通して情報提供する。</li> </ul>

### 2 具体的な取組

月	(1)A 検証改善サイクルの確立	(2)B 授業改善の推進	(3)C 運動習慣形成のための環境整備
4	第1回市町村教育委員会訪問、学校経営指導訪問、教育局計画訪問(前期)において、体力向上に係る学校課題を管理職等と共有		
5	・第1回市町村教育委員会訪問、学校経営指導訪問、教育局計画訪問(前期)において、「前年度の調査結果等を活用した年間計画の改善」、「新体力テストの計画的な実施」等の組織的な取組への指導助言	・教育局計画訪問(前期)における、体育科及び保健体育科に係る「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進への指導助言	・第1回市町村教育委員会訪問、学校経営指導訪問、教育局計画訪問(前期)における、「運動習慣形成のための環境整備」に向けた組織的な取組への指導助言
6	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施等		
7	・組織力向上に関する中間評価を実施し、各学校における体力向上マネジメントの推進状況を把握	・体育専科教員等の指導力及び資質能力向上に係る研修会①の実施 ・学校経営指導訪問、学校教育指導訪問における、学校課題改善に向けた授業改善の取組への指導助言(～11月)	・社会教育主事派遣事業(～2月) ・学校経営指導訪問、学校教育指導訪問における「運動習慣形成のための環境整備」に向けた組織的な取組への指導助言(～11月)
8		・体育専科教員等による体育科、保健体育科の授業改善に向けた研修会①の実施	
9	・学校経営指導訪問2回目の実施(～2月) ・新体力テスト実施状況の把握	・体育専科教員等の指導力及び資質能力向上に係る研修会②の実施	
10		・体育専科教員等の指導力及び資質能力向上に係る研修会③の実施	・「どさん子元気アップ強調月間(10月)」の実施
11		・体育専科教員等による体育科、保健体育科の授業改善に向けた研修会②の実施	
12	・組織力向上に関する最終評価を実施し、各学校における組織的な体力向上マネジメントの進捗状況を把握		
1	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の提供等		
2		・体育専科教員等による体育科、保健体育科の授業改善に向けた研修会②の実施	
3	第2回教育委員会訪問において、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた年間指導計画改善状況及び各学校における組織的な体力向上マネジメントの進捗状況を管理職と共有及び成果と課題の明確化		

### 3 取組の評価

<b>(1)A 検証改善サイクルの確立</b>	<b>(2)B 授業改善の推進</b>	<b>(3)C 運動習慣形成のための環境整備</b>
<p>① 数値目標を設定し、達成状況を検証する時期や方法等を含めて全員で共有した学校の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…66.3% 中…52.0%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…69.0% 中…56.3%</li> </ul> <p>② 担当者等が校内研修等で分析結果を説明するとともに、全員で改善策について協議し、共有した学校の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…46.5% 中…35.4%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…41.7% 中…33.3%</li> </ul>	<p>① 調査結果を踏まえた授業改善の工夫・改善した学校の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…72.1% 中…85.4%</li> <li>・目標 小…90.0% 中…90.0%</li> <li>・達成値 小…97.6% 中…95.8%</li> </ul> <p>② 体育及び保健体育の授業は楽しいと考える児童生徒の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…63.2% 中…53.9%</li> <li>・目標 小…90% 中…90%</li> <li>・達成値 小…65.6% 中…56.0%</li> </ul>	<p>① 体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…89.5% 中…79.2%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…97.6% 中…95.8%</li> </ul> <p>② 家庭や社会教育と連動して、児童生徒が日常的に運動に親しむ機会を増やす取組を行った学校の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…91.9% 中…83.3%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…94.0% 中…89.6%</li> </ul>

### 4 改善に向けた今後の方向性

<b>(1)A 検証改善サイクルの確立</b>	<b>(2)B 授業改善の推進</b>	<b>(3)C 運動習慣形成のための環境整備</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育指導訪問等において体力向上プランを用いた検証改善サイクルの確立について指導助言</li> <li>・組織力向上等に関するアンケートの最終評価の結果を全ての市町村教育委員会及び学校へ周知し、市町村教育委員会訪問及び学校教育指導訪問において改善策を協議</li> <li>・次年度の市町村教育委員会訪問において改善に向けた取組について指導助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校体育専科教員等を講師とした体育や保健の見方・考え方を働かせた授業改善に係る研修会の充実</li> <li>・体育科・保健体育科の授業における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導事項の理解及び指導方法の吟味や自己に適した課題の設定や他者との協働により運動意欲を高める学習展開の工夫等、授業改善に係る指導助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育局が主催する体育科の研修会等において、運動習慣の形成に係る環境整備の好事例を普及</li> <li>・どさん子元気アップチャレンジや運動習慣確立啓発動画「みんなでムーブ キタキツネ」を活用した取組の充実</li> </ul>

# 釧路管内の状況

1市6町1村

## 小・中学校

(小学校数:54校 児童数:1,485人、中学校数:37校 生徒数:1,397人)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

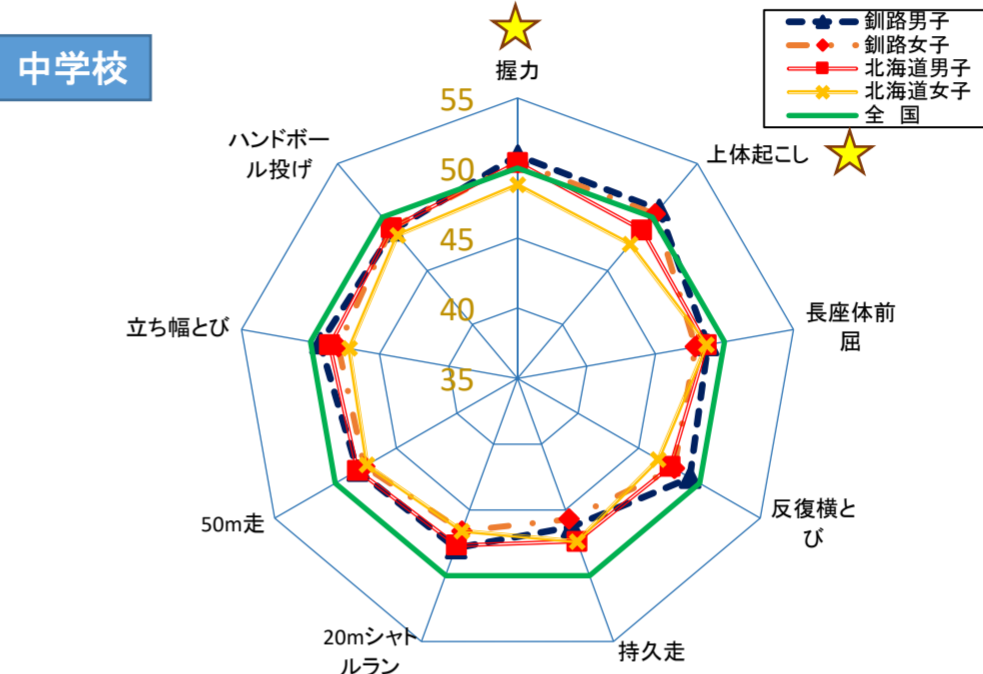
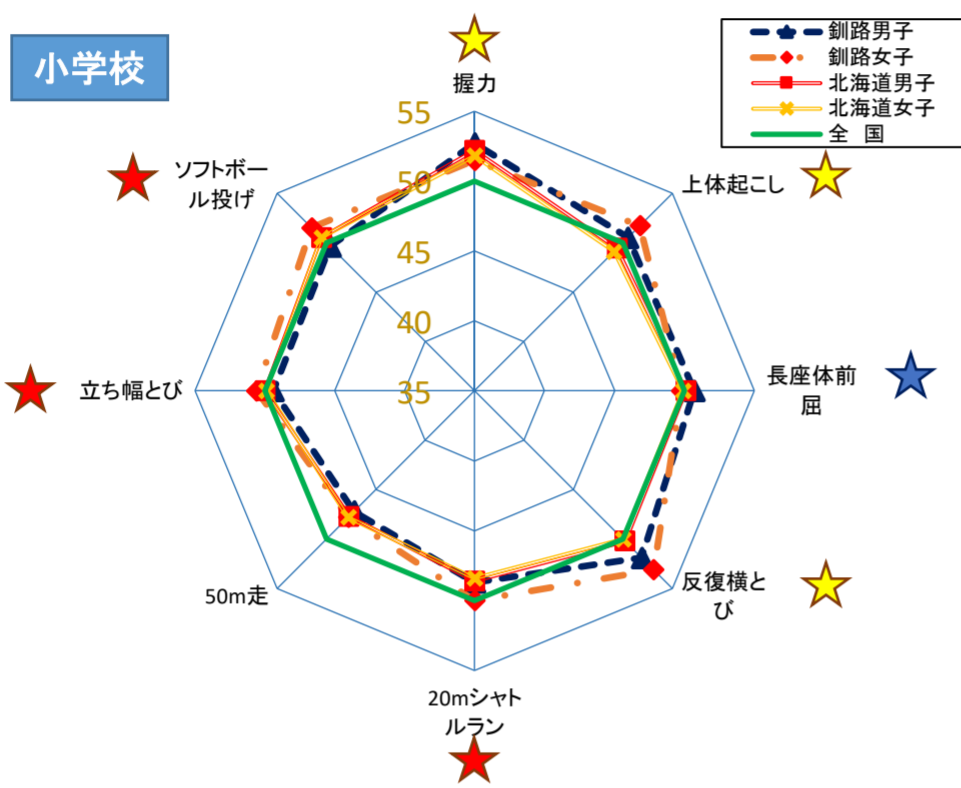
	男子	女子
釧路	52.02	55.06
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
釧路	39.41	44.21
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

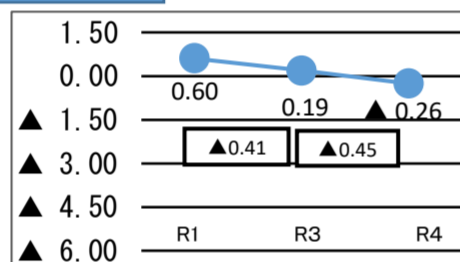
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示★は男女ともに全国平均以上の種目★は男子のみ全国平均以上の種目★は女子のみ全国平均以上の種目

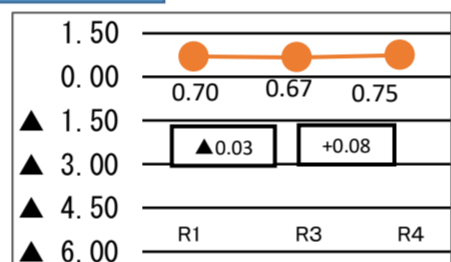


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

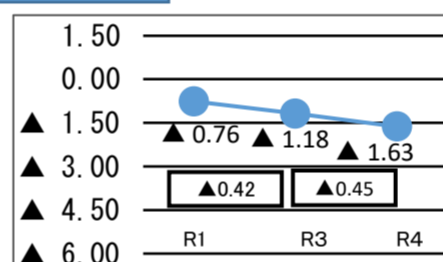
小学校男子



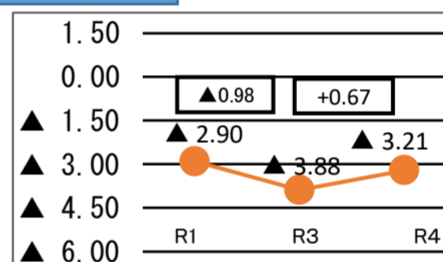
小学校女子



中学校男子



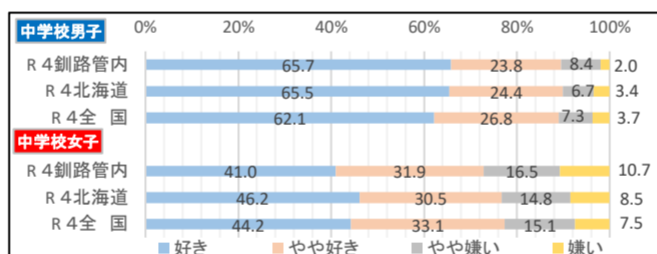
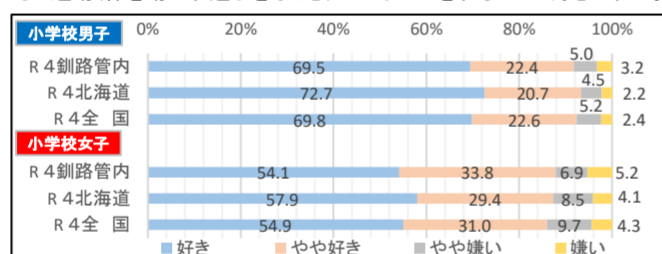
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

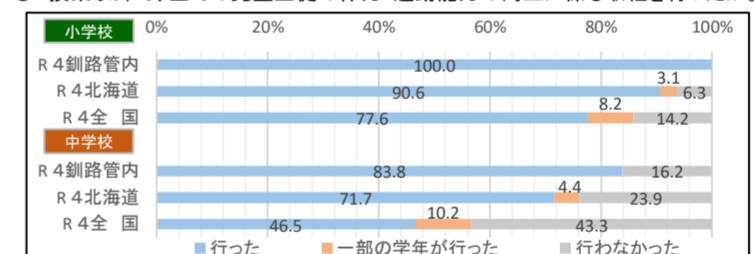
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

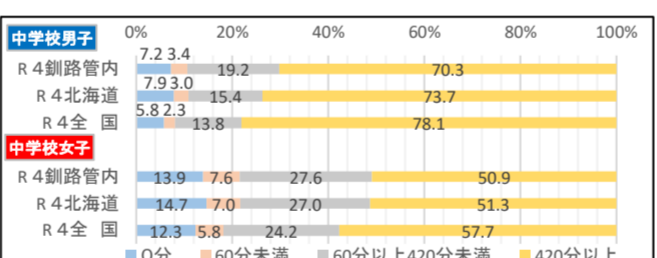
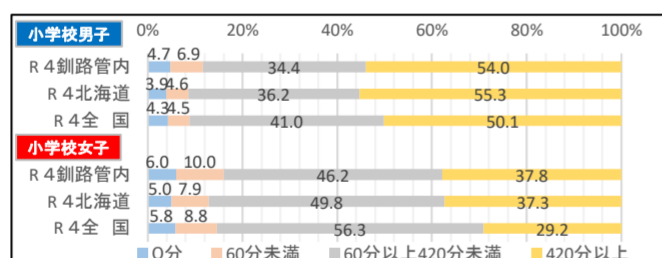


##### <学校質問紙>

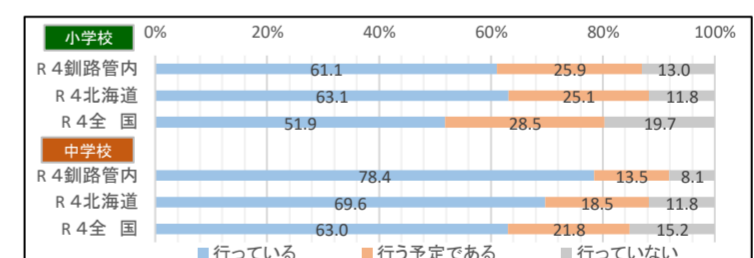
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



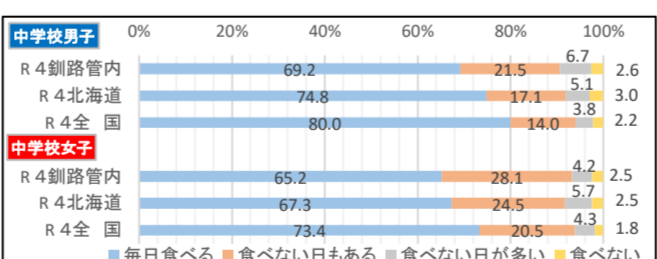
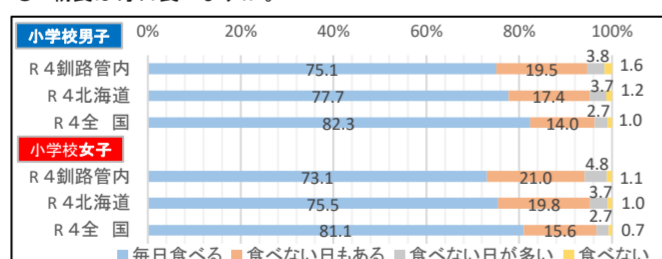
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそのくらの時間していますか。



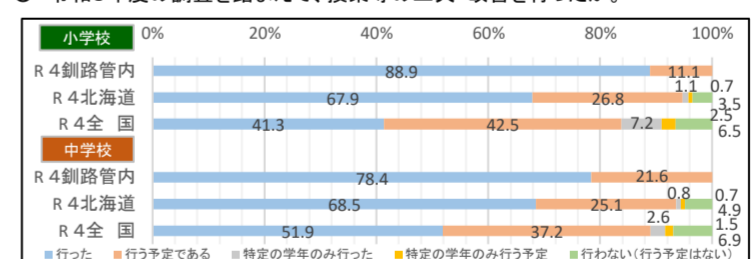
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



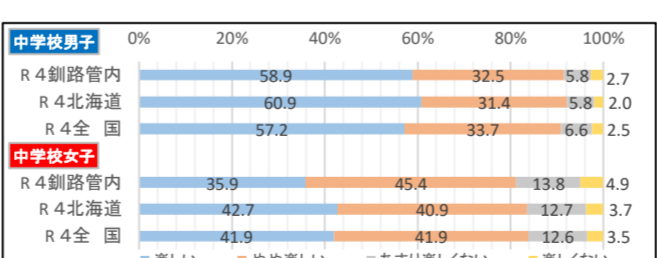
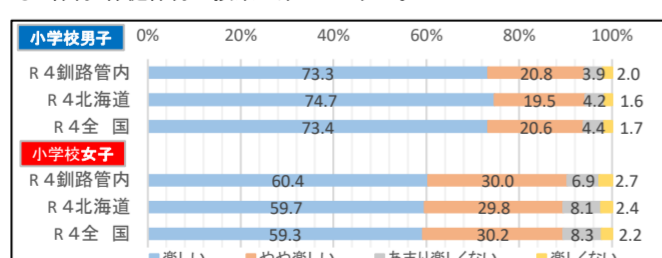
○ 朝食は毎日食べますか。



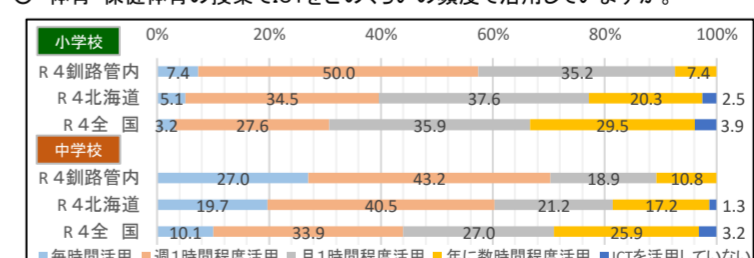
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



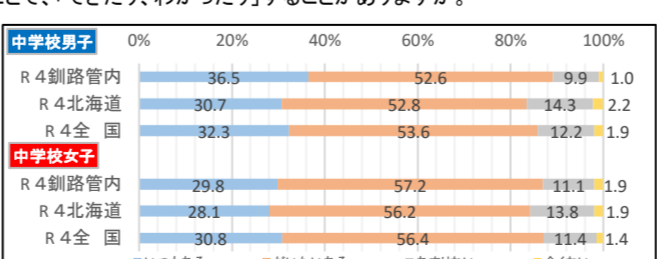
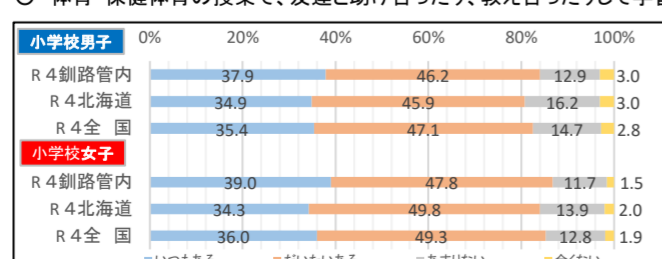
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



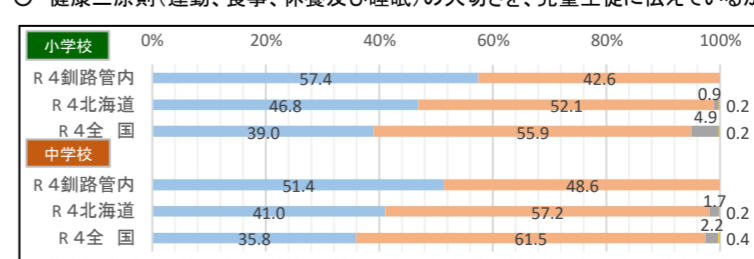
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用していますか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。





## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞	＜ 中 学 校 ＞
<p><b>実技調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が0.26ポイント低く、女子が0.75ポイント高い。</li> <li>○ 種目別で全国を上回ったのは、男子が4種目、女子が6種目である。</li> <li>○ 体力合計点は、男子が全国を下回ったが、女子は継続して全国を上回っている。</li> </ul> <p><b>質問紙調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、全国を上回っており、「タブレットなどのICTを使って学習すること」、「できたり、わかったりする」と回答した児童の割合は、男女ともに全国を上回っている。</li> <li>○ 「運動やスポーツ、児童の体力について家庭と連携している」と回答した学校の割合は、全国を上回っており、「授業以外で、運動やスポーツを1週間に420分以上している」と回答した児童の割合は、男女ともに全国を上回っているが、「平日、学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間が3時間以上」と回答した児童の割合は、男女ともに全国を上回っている。</li> </ul>	<p><b>実技調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が1.63ポイント、女子が3.21ポイント低い。</li> <li>○ 種目別で全国を上回ったのは、男女ともに2種目である。</li> <li>○ 体力合計点は、男女ともに継続して全国を下回り、差は男子が拡大し、女子は縮小している。</li> </ul> <p><b>質問紙調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、全国を上回っており、「タブレットなどのICTを使って学習すること」、「できたり、わかったりする」と回答した生徒の割合は、男子で全国を上回っているが、「保健体育の授業は楽しくない」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国を上回っている。</li> <li>○ 「運動やスポーツ、生徒の体力について家庭と連携している」と回答した学校の割合は、全国を上回っているが、「授業以外で、運動やスポーツを1週間に420分以上している」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国を下回り、「平日、学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間が3時間以上」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国を上回っている。</li> </ul>

## 釧路管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

<p><b>(1) 健康な生活を実践する資質・能力の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の経年変化の結果から、小学校は男女ともに全国平均を上回っているが、中学校は男女ともに全国平均を下回っており、体力向上に係る目標を明確にした組織的な取組の充実に課題が見られる。</li> <li>□ 体力向上に向けた検証改善サイクルの継続的な推進</li> <li>□ ICTの活用による個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業改善</li> <li>□ 感染症や多様化する健康課題への対応など学校保健委員会の活性化による健康教育の充実</li> </ul> <p><b>(2) マネジメント機能の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 指導計画の作成に当たって、教科等横断的な視点で組み立てたり、教育課程の実施状況を評価・改善したりするなど、教育活動の質の向上を図る取組に課題が見られる。</li> <li>□ 「社会に開かれた教育課程」を実現する「カリキュラム・マネジメント」の推進</li> <li>□ ICT活用指導力チェックリスト等に基づく教職員のICT活用指導力の向上を図る研修の充実</li> <li>□ 将来を担うミドルリーダーや管理職候補者の育成とキャリアアップへの意欲の醸成</li> </ul> <p><b>(3) 地域とともにある学校づくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「授業以外で運動やスポーツをしている時間」が男女ともに全国を下回っており、家庭や地域との連携を生かした体力向上に関する取組等に課題が見られる。</li> <li>□ コミュニティ・スクール及び「地域学校協働活動」の取組の充実</li> <li>□ 地域住民による子どもたちの学びを支える取組の充実</li> <li>□ 運動習慣や望ましい生活習慣の定着を図る取組の推進</li> </ul>
---

### 2 具体的な取組

月	(1)健康な生活を実践する資質・能力の育成	(2)マネジメント機能の強化	(3)地域とともにある学校づくりの推進
4		第1回初任段階教員オンライン交流会	地学協働の推進に向けた局内ミーティング①
5		Zoomを活用した学校訪問事前・事後相談	義務班・社教班による学校訪問
6	どさん子元気アップチャレンジ(学校部門)の実施		局長による道立学校訪問（CS導入に向けた説明・協議） 地学協働の推進に向けた局内ミーティング②
7	管内指導主事研修会（体力向上ロードマップに基づく体力向上に向けた取組に係る協議）		
8	ICT研修会（Google Workspaceの基本操作等） ICT研修会（ロイロノートの活用） ICT研修会（1人1台端末の効果的な活用）	校長のマネジメント力の向上に係る資料の作成	地学協働の推進に向けた局内ミーティング③
9	体育エキスパート教員による研修会の実施	管内スクールリーダー研修会	
10			次長による道立学校訪問（地学協働体制構築に向けた説明・協議）
11			子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業
12	ICT研修会（1人1台端末の効果的な活用）	第2回初任段階教員オンライン交流会	
1	体育エキスパート教員、体育専科教員、中学校体力向上推進教員による研修会の実施		
2	管内指導主事研修会（体力向上に向けた取組の成果と課題の共有）		
3			地学協働の推進に向けた局内ミーティング④

### 3 取組の評価 ※ ( ) は目標値

<p><b>(1) 健康な生活を実践する資質・能力の育成</b></p> <p>推進マップに基づく自己評価 ＊各項目4点満点</p> <p>① 「検証改善サイクルの継続的な推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状 (R3) 小…3.74、中…3.54</li> <li>・ 目標 (R4) 小…4.00、中…4.00</li> <li>■ 達成値 (R4) 小…3.77、中…3.65</li> </ul> <p>② 「ICTの活用による授業改善の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状 (R3) 小…3.63、中…3.54</li> <li>・ 目標 (R4) 小…4.00、中…4.00</li> <li>■ 達成値 (R4) 小…3.57、中…3.62</li> </ul>	<p><b>(2) マネジメント機能の強化</b></p> <p>推進マップに基づく自己評価 ＊各項目4点満点</p> <p>① 「カリキュラム・マネジメントの推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状 (R3) 小…3.54、中…3.51</li> <li>・ 目標 (R4) 小…4.00、中…4.00</li> <li>■ 達成値 (R4) 小…3.56、中…3.49</li> </ul> <p>② 「ミドルリーダーや管理職候補者の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状 (R3) 小…3.61、中…3.62</li> <li>・ 目標 (R4) 小…4.00、中…4.00</li> <li>■ 達成値 (R4) 小…3.67、中…3.72</li> </ul>	<p><b>(3) 地域とともにある学校づくりの推進</b></p> <p>推進マップに基づく自己評価 ＊各項目4点満点</p> <p>① 「コミュニティ・スクール及び『地域学校協働活動』の取組の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状 (R3) 小…3.39、中…3.35</li> <li>・ 目標 (R4) 小…4.00、中…4.00</li> <li>■ 達成値 (R4) 小…3.45、中…3.49</li> </ul> <p>② 「望ましい生活習慣の定着を図る取組の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状 (R3) 小…3.22、中…3.16</li> <li>・ 目標 (R4) 小…4.00、中…4.00</li> <li>■ 達成値 (R4) 小…3.46、中…3.60</li> </ul>
---	--	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p><b>(1) 健康な生活を実践する資質・能力の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「検証改善サイクルの継続的な推進」については、小・中学校とも昨年度より改善しているが、「ICTの活用による授業改善の推進」については、中学校は昨年度より改善したものの、小学校は昨年度より低下しており、引き続き改善に向けた取組が必要。</li> <li>・ 学校教育指導計画訪問、管内指導主事研修会及び管内指導室長会議等において、学校が各種調査の結果分析に基づいたPDCAサイクルを一層推進するよう働きかける。</li> <li>・ ICT研修会、局独自の体力向上に係る研修会等において、体育・保健体育授業におけるICTの効果的な活用事例の普及を図る。</li> </ul>	<p><b>(2) マネジメント機能の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「ミドルリーダーや管理職候補者の育成」については、小・中学校とも昨年度より改善しているが、「カリキュラム・マネジメントの推進」については、小学校は昨年度より改善したものの、中学校は昨年度より低下しており、引き続き改善に向けた取組が必要。</li> <li>・ 学校教育指導計画訪問、管内指導主事研修会及び管内指導室長会議等において、学校が教育課程の実施状況を評価・改善するカリキュラム・マネジメントを推進し、教育活動の質の向上を図るよう働きかける。</li> <li>・ 各種研修会等において、キャリア・ステージに応じた資質・能力の向上とキャリアアップへの意欲の醸成を図る。</li> </ul>	<p><b>(3) 地域とともにある学校づくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「コミュニティ・スクール及び『地域学校協働活動』の取組の充実」については小・中学校とも昨年度より改善しているが、目標値に達していないことから、引き続き改善に向けた取組が必要。</li> <li>・ 社会教育指導班と連携し、管内社会教育指導主事研修会等において、家庭における運動習慣の確立や児童生徒の体力向上に向けて協働して取組を推進するよう働きかける。</li> <li>・ 社会教育指導班と連携した学校教育指導計画訪問、局独自の体力向上に係る研修会等において、望ましい生活習慣の定着に向けた小・中学校が連携した取組や家庭と連携した取組の効果的な事例の普及を図る。</li> </ul>
--	---	---

# 根室管内の状況

1市4町

## 小・中学校

(小学校数:24校 児童数:615人、中学校数:19校 生徒数:573)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

##### ○ 小学校

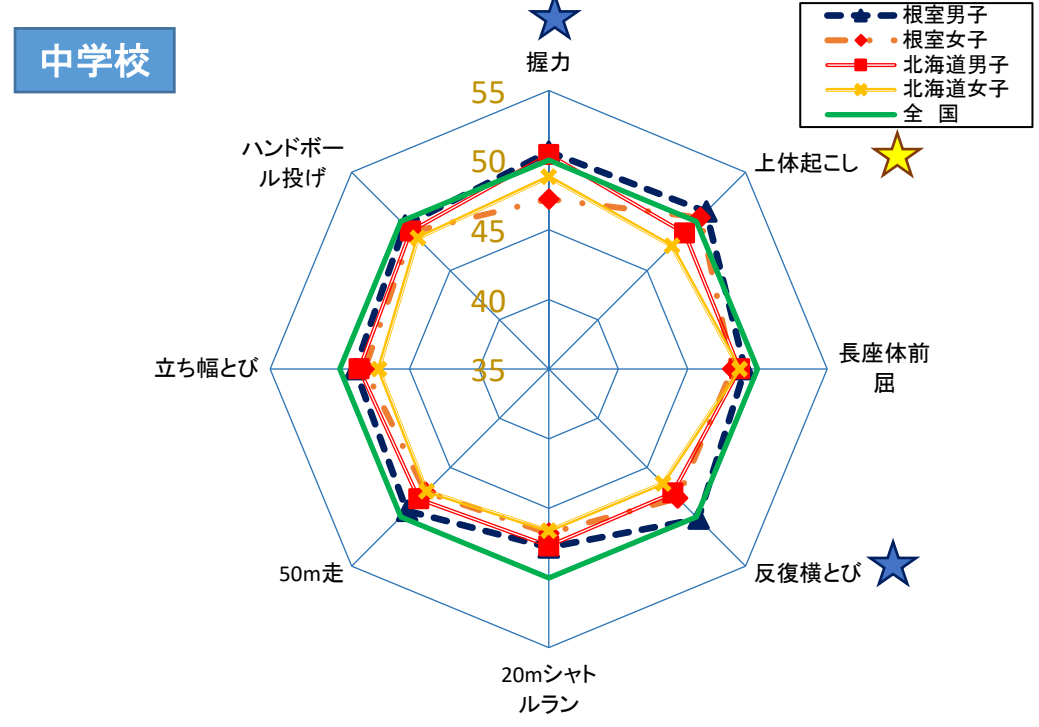
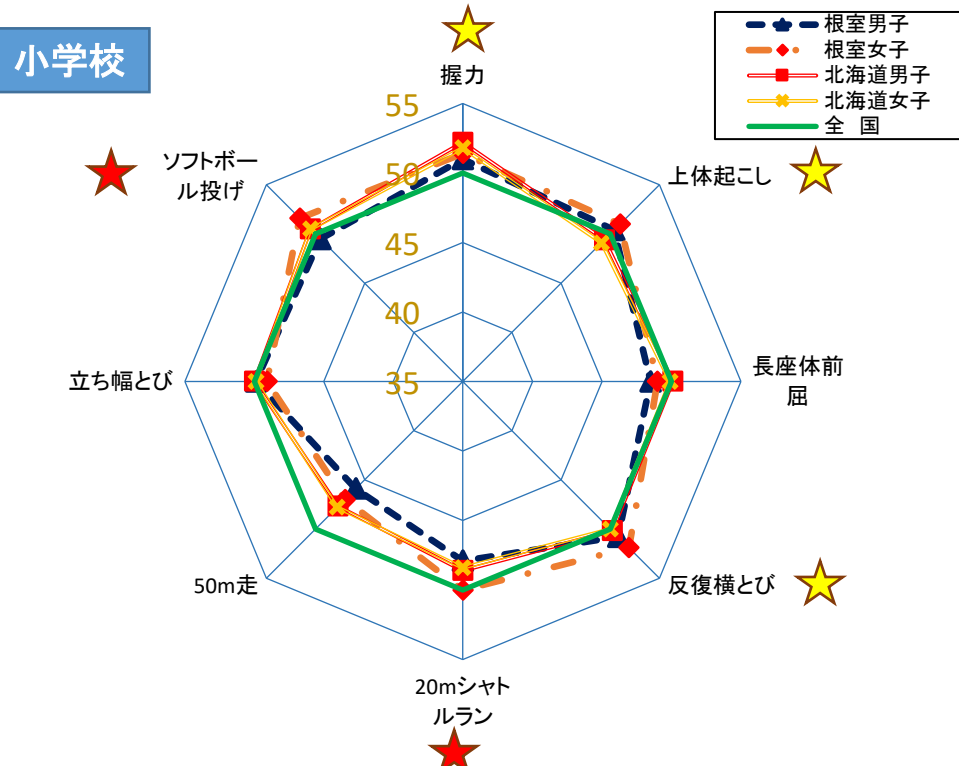
	男子	女子
根室	50.90	54.24
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

##### ○ 中学校

	男子	女子
根室	41.28	45.61
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

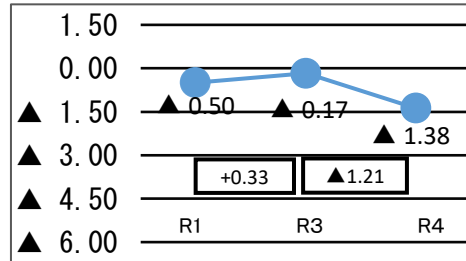
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆ は男女ともに全国平均以上の種目 ★ は男子のみ全国平均以上の種目 ★ は女子のみ全国平均以上の種目

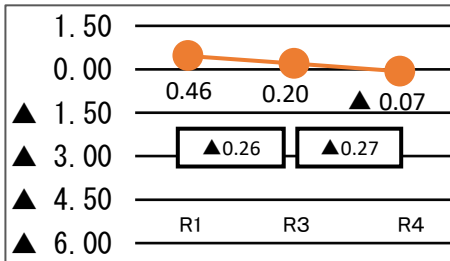


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

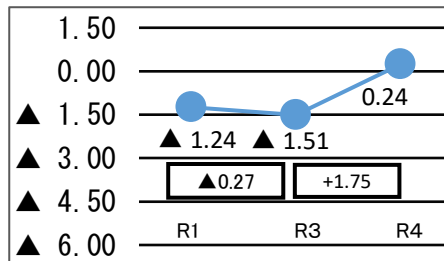
##### 小学校男子



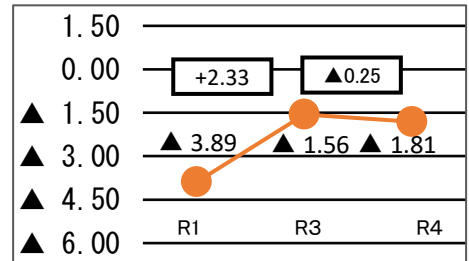
##### 小学校女子



##### 中学校男子



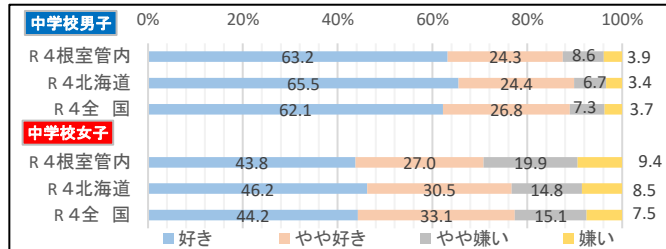
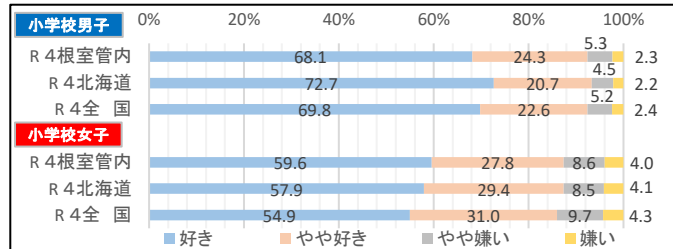
##### 中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

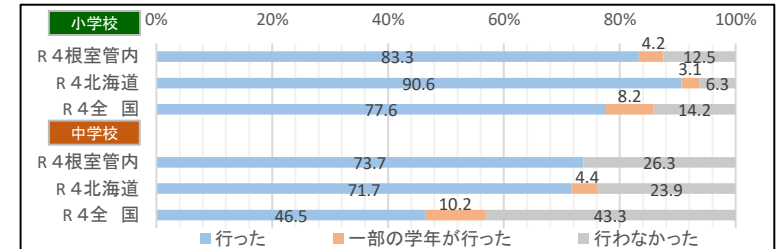
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

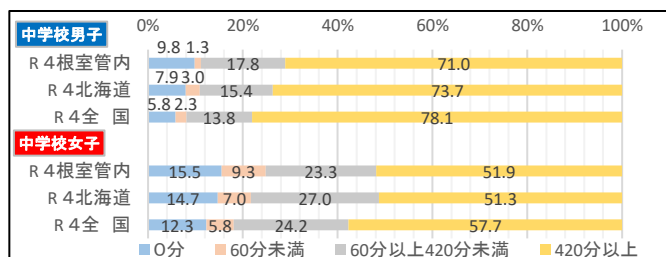
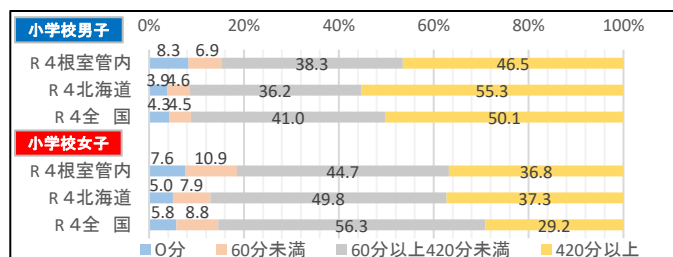


##### <学校質問紙>

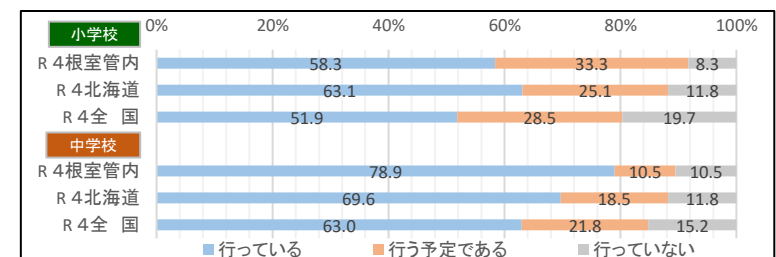
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



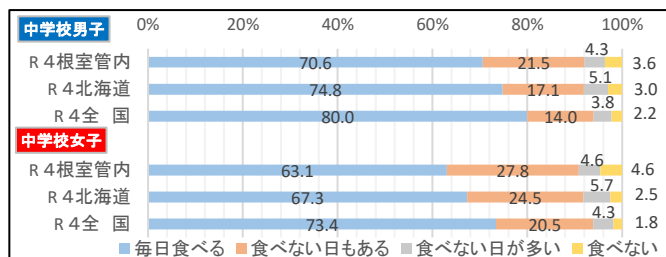
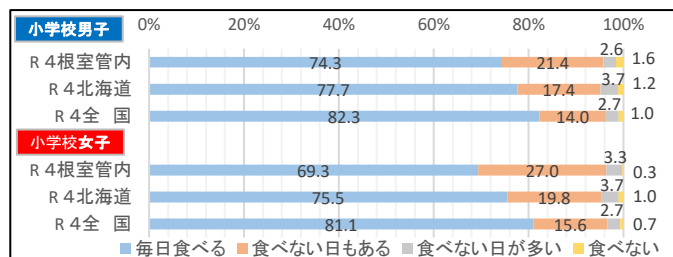
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそののくらの時間していますか。



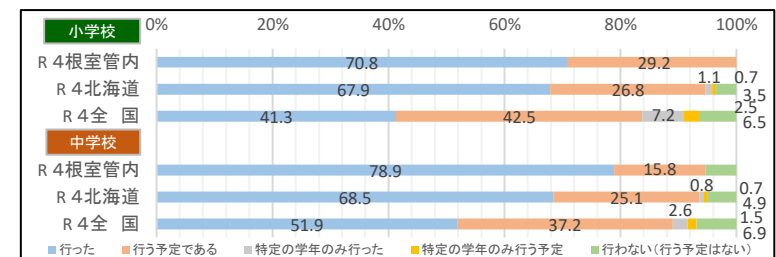
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



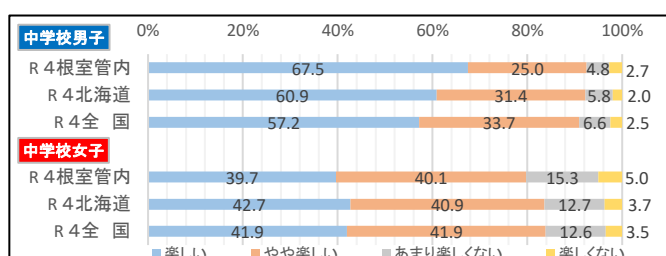
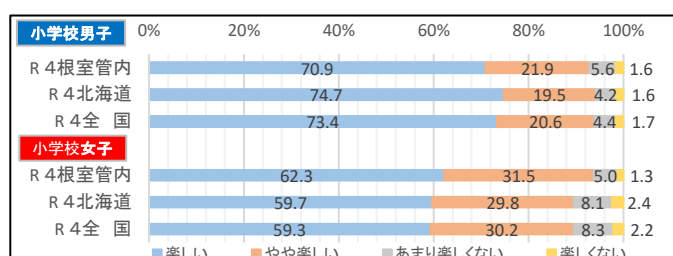
○ 朝食は毎日食べますか。



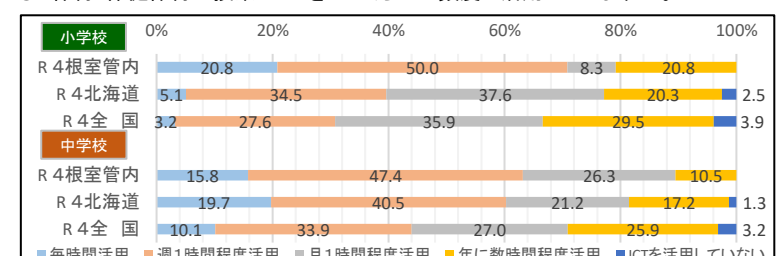
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



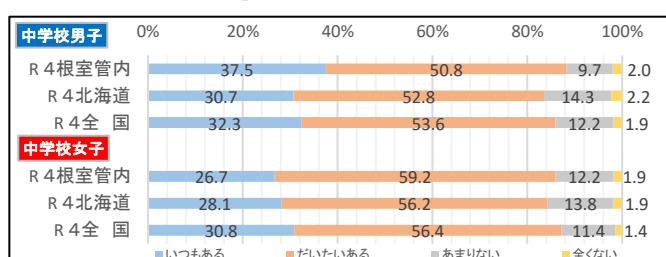
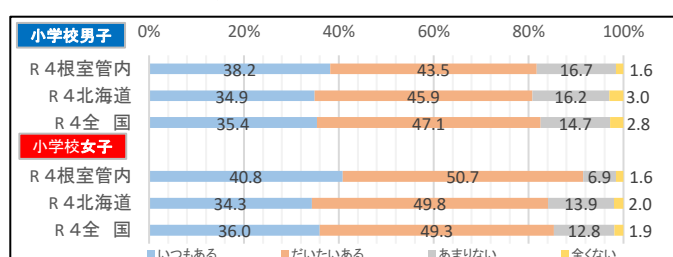
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



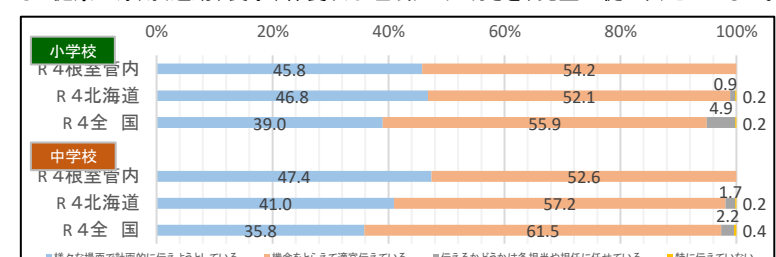
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用していますか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力合計点は、全国と比較して、小学校男子が1.38ポイント、女子が0.07ポイント低く、課題である。</li> <li>・種目別に全国を上回ったのは、男子が3種目、女子が5種目である。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力合計点は、全国と比較して、中学校男子が0.24ポイント高いが、女子は1.81ポイント低く、課題である。</li> <li>・種目別に全国を上回ったのは、男子が3種目、女子が1種目である。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した児童の割合は、男子が38.2%であり、全国と比べて2.8ポイント高い。女子が40.8%であり、全国と比べて4.8ポイント高い。</li> <li>・「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、70.8%であり、全国と比べて29.5ポイント高い。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した生徒の割合は、男子が37.5%であり、全国と比べて5.2ポイント高い。女子が26.7%であり、全国と比べて4.1ポイント低い。</li> <li>・「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、78.9%であり、全国と比べて27.0ポイント高い。</li> </ul>

## 根室管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

#### (1) 組織的・継続的な検証改善サイクルの確立

- 新体力テスト分析ツールを効果的に活用し、自校の実態に応じた体力向上プランを作成するなどしながら、自校の教育目標や各種調査結果を踏まえた学校全体で一貫した継続的な取組を推進するよう指導助言する。
- 運動が苦手な児童生徒への対応等、課題解決に向けた組織的・継続的な取組の検証改善を図る組織体制を構築することを指導助言する。

#### (2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

- 児童生徒が自らの学習を調整し、粘り強く取り組むとともに、異なる考え方を組み合わせたよりよい学びを生み出す授業改善を推進するよう指導助言する。
- 「体育専科教員活用事業」や「中学校体力向上推進事業」等の成果を普及する。
- 「ミドルリーダーによる授業への支援」及び日常の授業改善につながる校内研修を充実するよう指導助言する。

#### (3) 学校・家庭・地域の連携協働

- 家庭や地域と連携し、生活習慣・学習習慣の確立を図った好事例を普及し、自校の課題解決につなげるよう指導助言する。
- 「どさん子元気アップチャレンジ」における各種団体等と連携した体力向上を取組の推進するよう指導助言する。

### 2 具体的な取組

月	(1)組織的・継続的な検証改善サイクルの確立	(2)「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	(3)学校・家庭・地域の連携協働
4			
5	全国体力・運動能力、運動習慣等調査（～7月）		
6	学校教育指導訪問（計画・要請・リモート訪問） 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた体力向上に向けた取組の把握	学校教育指導訪問（計画・要請・リモート訪問）、ミドルリーダーによる授業への支援 「授業づくりの基本研修」フリースタイル研修（学習評価、課題とまとめ、対話的な学び等）	学校教育指導訪問（計画・要請・リモート訪問）、「根室教育局『親学』UP!プロジェクト」市町独自事業への支援
7			「どさん子元気アップチャレンジ」の実施
8			
9	管内教育推進の重点に係る評価① 管内教育推進の重点に係る好事例の普及		
10		「中学校体力向上推進事業」公開授業・講義・ワークショップ及び演習	
11			
12	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果に基づく分析及び改善方針に係る資料作成及び普及		
1	管内教育推進の重点に係る評価② 管内教育推進の重点に係る好事例の普及		
2	管内教育推進の重点評価シートによる取組状況の把握及び評価結果を踏まえた改善方針の策定		
3			

### 3 取組の評価 ※（ ）は目標値

<p><b>(1) 組織的・継続的な検証改善サイクルの確立</b></p> <p>① 根室管内教育推進の評価「自校の現状と課題を踏まえた全教職員による検証改善サイクルの確立」（全小・中学校3.2点以上） ■小：3.46（4点中） 中：3.40（4点中）</p> <p>② 令和4年度根室管内教育推進の重点「質の高い教育」に向けた取組事項「自校の教育目標や各種調査結果を踏まえた学校全体で一貫した継続的な取組」（全小・中学校80%以上） ■小：100.0% 中：90.0%</p>	<p><b>(2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善</b></p> <p>① 根室管内教育推進の評価「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた絶え間ない授業改善の推進」（全小・中学校3.2点以上） ■小：3.63（4点中） 中：3.15（4点中）</p> <p>② 「令和4年度根室管内教育推進の重「質の高い教育」に向けた取組事項「児童生徒が自らの学習を調整し、粘り強く取り組むと共に、異なる考え方を組み合わせたよりよい学びを生み出す授業改善の促進」（全小・中学校80%以上） ■小：100.0% 中：85.0%</p>	<p><b>(3) 学校・家庭・地域の連携協働</b></p> <p>① 管内教育推進の評価「学校・家庭・地域の連携協働による生活習慣・学習習慣の確立」（全小・中学校3.2点以上） ■小：3.04（4点中） 中：2.80（4点中）</p> <p>② 令和4年度根室管内教育推進の重点「質の高い教育」に向けた取組事項「児童生徒が自ら計画を立てて学習し、規則正しい生活を送ることができる環境づくりに向けた家庭・地域との協働体制の確立」（全小・中学校80%以上） ■小：83.3% 中：80.0%</p>
---	--	---

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p><b>(1) 組織的・継続的な検証改善サイクルの確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒の変容を即時的に評価する継続的な検証改善サイクルの確立</li> <li>○ 目指す子ども像を共有した異校種間の連携及び一貫教育の推進</li> </ul>	<p><b>(2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教員の実践的指導力や専門性の向上に関する研修の計画的な実施</li> <li>○ 児童生徒一人一人の個性や多様性を認め合う支持的な風土で学びが展開される環境の整備</li> </ul>	<p><b>(3) 学校・家庭・地域の連携協働</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭や地域と課題を共有した児童生徒の生活習慣・学習習慣の確立に向けた取組の推進</li> <li>○ 「どさん子元気アップチャレンジ」の活用を含む体力向上に向けた1校1実践の取組の推進</li> </ul>
---	--	--



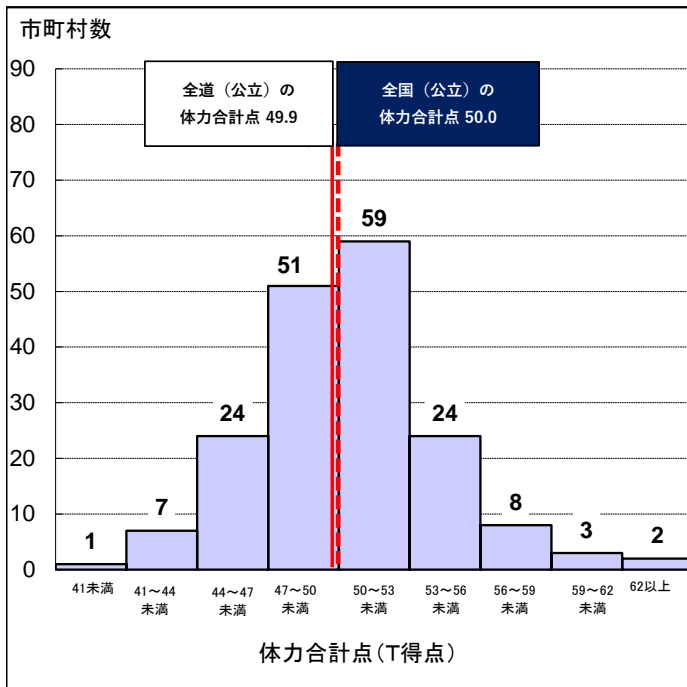
## VI 各市町村の状況

ここでは、令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における各市町村の結果を分析し、「市町村の体力合計点（T得点）の度数分布」「市町村の状況及び体力向上策」を掲載しています。

各市町村教育委員会、学校においては、本資料を参考に、各管内の状況や改善の方向性等を把握し、今後の取組を工夫・改善するなど、各地域や学校における取組の更なる充実に向け、ご活用ください。

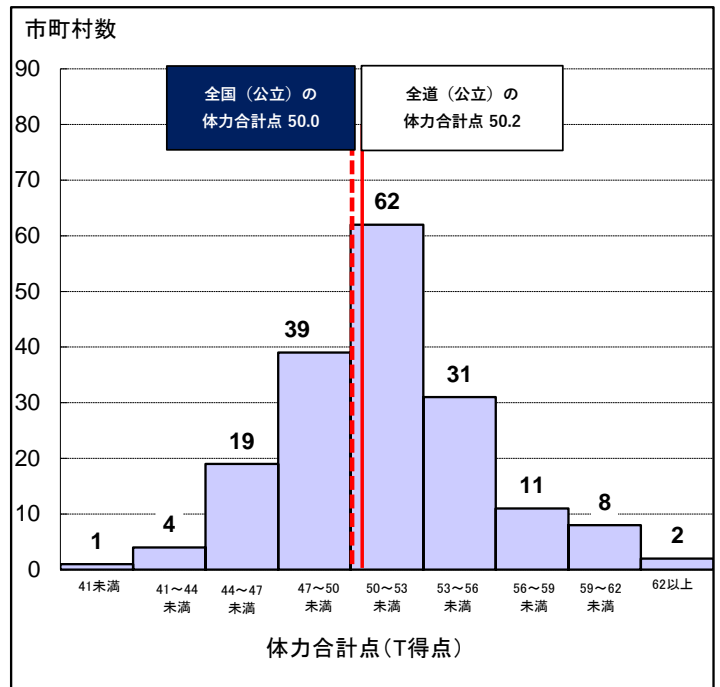
# 1 市町村の体力合計点（T得点）の度数分布

(1) 小学校男子



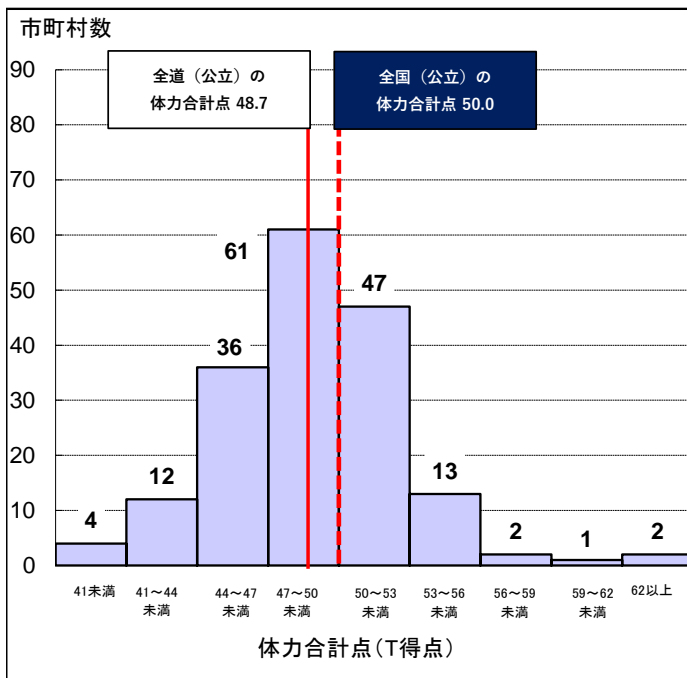
全国の体力合計点を上回った市町村数	
R3	R4
90(50.8%)	96(53.6%)

(2) 小学校女子



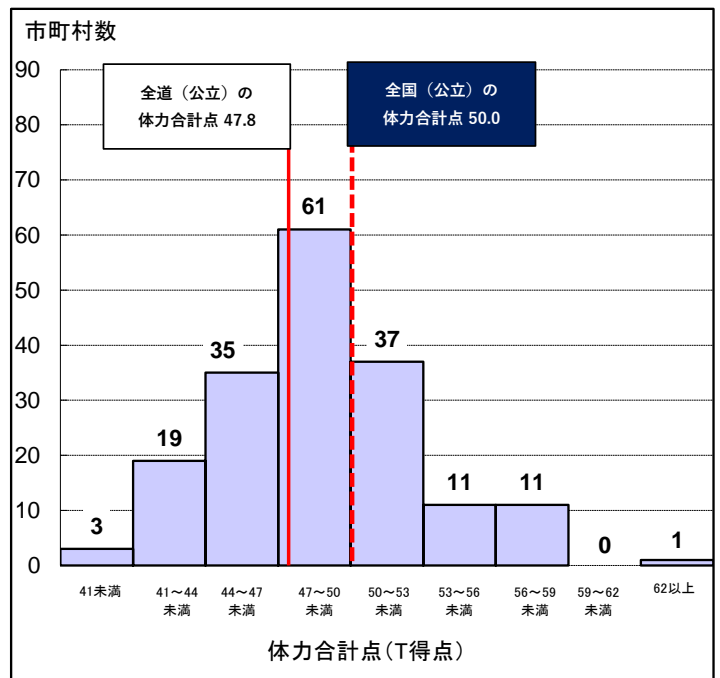
全国の体力合計点を上回った市町村数	
R3	R4
99(55.9%)	99(55.9%)

(3) 中学校男子



全国の体力合計点を上回った市町村数	
R3	R4
68(38.9%)	65(36.5%)

(4) 中学校女子



全国の体力合計点を上回った市町村数	
R3	R4
58 (32.8%)	60 (33.7%)

## 2 市町村の状況及び体力向上策

### (1) 「市町村の状況及び体力向上策」の掲載内容について

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領において、都道府県教育委員会は、域内の市町村教育委員会の同意を得た場合は、当該市町村名を明らかにした公表を行うことは可能であるとされています。

ここでは、同意を得た179市町村の調査結果を掲載しています。

なお、掲載に当たっては、国の実施要領に基づき、単に体力合計点などの数値の公表は行わず、調査結果について分析を行い、その分析結果と今後の改善方策を示しています。

#### □ 掲載内容

項目	内容
各種目の状況	・全国を50とした時の全国と北海道、市町村の数値（T得点）を示したレーダーチャート。 ※中心点は35（点）、上限は60（点）、目盛の間隔は5（点）を基本としているが、状況によって異なる市町村もある。
分析	・実技、児童生徒質問紙、学校質問紙に関する調査の分析結果。 ・児童生徒の傾向や学校の取組の特色など、学校・家庭・地域・行政が共有すべき内容。
体力向上策	・市町村内の体力の課題など、分析を踏まえた体力向上策。

以上のほか、体力合計点や児童生徒質問紙、学校質問紙に関する調査結果の状況を示す様々なデータの中から、市町村の児童生徒の傾向や学校の取組の特色などを表す内容を掲載しています。

従って、市町村ごとに取り上げた内容が異なります。

※1 市町村の並び順は、管内ごとに、国が設定している全国地方公共団体コード順で示しています。

※2 学校数は、調査を実施した学校数、児童生徒数は、実技を実施した児童生徒数を掲載しています。

※3 本書に掲載した内容は、市町村の結果の一部です。

本書への掲載の有無にかかわらず、市町村によっては、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を分析し、より詳細な内容を独自に公表していますので、各市町村のホームページなどでご確認ください。

## (2) 掲載した市町村名及び掲載ページ

夕張市 … 127	泊村 … 172	名寄市 … 217	清里町 … 262
岩見沢市 … 128	神恵内村 … 173	富良野市 … 218	小清水町 … 263
美唄市 … 129	積丹町 … 174	鷹栖町 … 219	訓子府町 … 264
芦別市 … 130	古平町 … 175	東神楽町 … 220	置戸町 … 265
赤平市 … 131	仁木町 … 176	当麻町 … 221	佐呂間町 … 266
三笠市 … 132	余市町 … 177	比布町 … 222	遠軽町 … 267
滝川市 … 133	赤井川村 … 178	愛別町 … 223	湧別町 … 268
砂川市 … 134	室蘭市 … 179	上川町 … 224	滝上町 … 269
歌志内市 … 135	苫小牧市 … 180	東川町 … 225	興部町 … 270
深川市 … 136	登別市 … 181	美瑛町 … 226	西興部村 … 271
南幌町 … 137	伊達市 … 182	上富良野町 … 227	雄武町 … 272
奈井江町 … 138	豊浦町 … 183	中富良野町 … 228	大空町 … 273
上砂川町 … 139	壮瞥町 … 184	南富良野町 … 229	帯広市 … 274
由仁町 … 140	白老町 … 185	占冠村 … 230	音更町 … 275
長沼町 … 141	厚真町 … 186	和寒町 … 231	士幌町 … 276
栗山町 … 142	洞爺湖町 … 187	剣淵町 … 232	上士幌町 … 277
月形町 … 143	安平町 … 188	下川町 … 233	鹿追町 … 278
浦臼町 … 144	むかわ町 … 189	美深町 … 234	新得町 … 279
新十津川町 … 145	日高町 … 190	音威子府村 … 235	清水町 … 280
妹背牛町 … 146	平取町 … 191	中川町 … 236	芽室町 … 281
秩父別町 … 147	新冠町 … 192	幌加内町 … 237	中札内村 … 282
雨竜町 … 148	浦河町 … 193	留萌市 … 238	更別村 … 283
北竜町 … 149	様似町 … 194	増毛町 … 239	大樹町 … 284
沼田町 … 150	えりも町 … 195	小平町 … 240	広尾町 … 285
札幌市 … 151	新ひだか町 … 196	苫前町 … 241	幕別町 … 286
江別市 … 152	函館市 … 197	羽幌町 … 242	池田町 … 287
千歳市 … 153	北斗市 … 198	初山別村 … 243	豊頃町 … 288
恵庭市 … 154	松前町 … 199	遠別町 … 244	本別町 … 289
北広島市 … 155	福島町 … 200	天塩町 … 245	足寄町 … 290
石狩市 … 156	知内町 … 201	稚内市 … 246	陸別町 … 291
当別町 … 157	木古内町 … 202	猿払村 … 247	浦幌町 … 292
新篠津村 … 158	七飯町 … 203	浜頓別町 … 248	釧路市 … 293
小樽市 … 159	鹿部町 … 204	中頓別町 … 249	釧路町 … 294
島牧村 … 160	森町 … 205	枝幸町 … 250	厚岸町 … 295
寿都町 … 161	八雲町 … 206	豊富町 … 251	浜中町 … 296
黒松内町 … 162	長万部町 … 207	礼文町 … 252	標茶町 … 297
蘭越町 … 163	江差町 … 208	利尻町 … 253	弟子屈町 … 298
ニセコ町 … 164	上ノ国町 … 209	利尻富士町 … 254	鶴居村 … 299
真狩村 … 165	厚沢部町 … 210	幌延町 … 255	白糠町 … 300
留寿都村 … 166	乙部町 … 211	北見市 … 256	根室市 … 301
喜茂別町 … 167	奥尻町 … 212	網走市 … 257	別海町 … 302
京極町 … 168	今金町 … 213	紋別市 … 258	中標津町 … 303
倶知安町 … 169	せたな町 … 214	美幌町 … 259	標津町 … 304
共和町 … 170	旭川市 … 215	津別町 … 260	羅臼町 … 305
岩内町 … 171	士別市 … 216	斜里町 … 261	

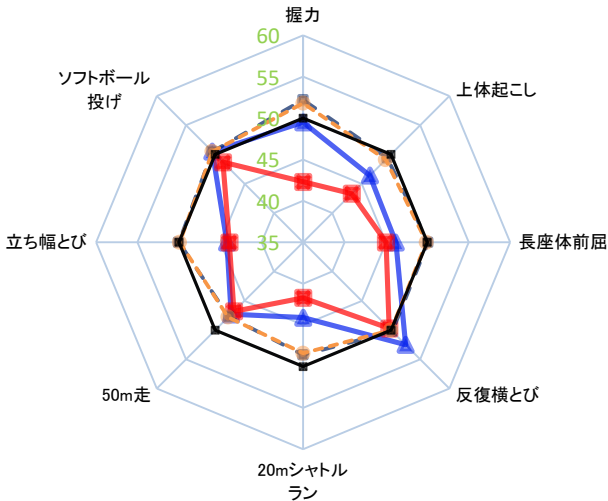


■ 夕張市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数35名、中学校1校・生徒数33名)

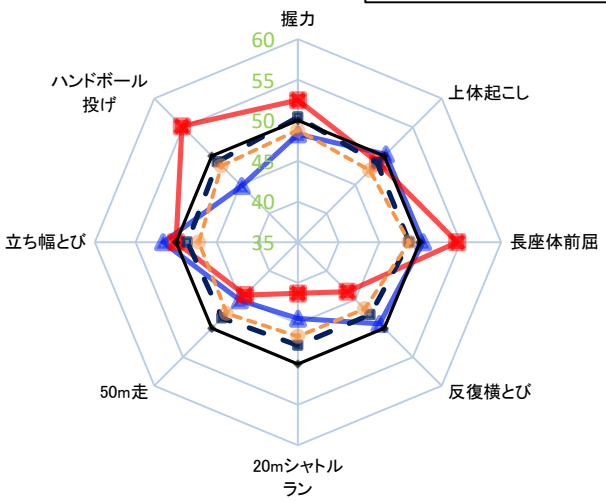
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

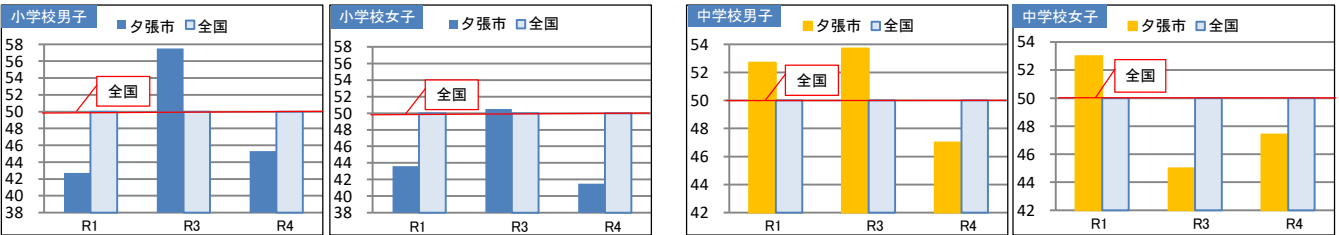
【小学校】



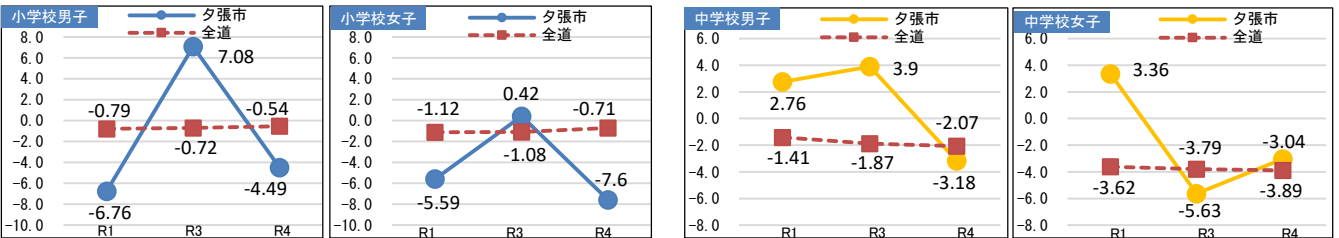
【中学校】



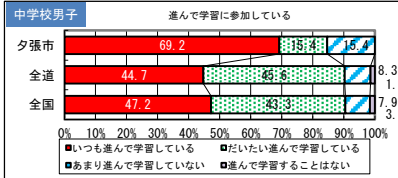
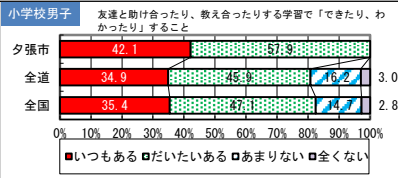
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



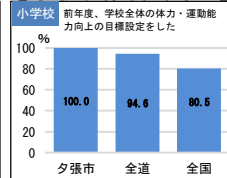
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】

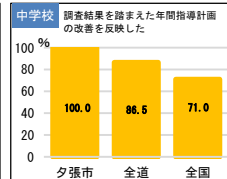
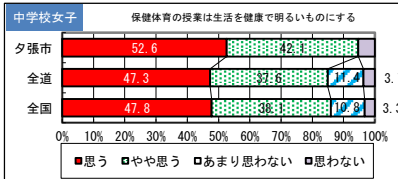
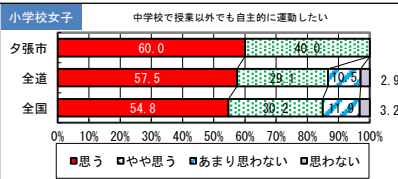


【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
学校全体で、前年度、体力・運動能力向上の目標設定をしたことにより、男子で友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがいつもあったり、女子で中学校で授業以外でも自主的に運動したいと思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。



<中学校>  
学校全体で、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を反映したことにより、男子でいつも進んで学習に参加したり、女子で保健体育の授業は生活を健康で明るいものにすると思ったりする生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

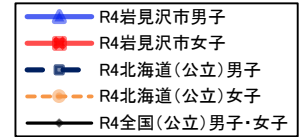
【夕張市の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた体力向上に向けた取組の推進
- ◎ 体育協会との連携による総合型地域スポーツクラブの活用による健康維持及び促進
- ◎ 市内スキー場を活用したスキー授業の実施による地域の特色を生かした魅力ある教育課程の推進
- ◎ 「外部指導者活用事業」の活用による魅力ある部活動の実施及び活性化

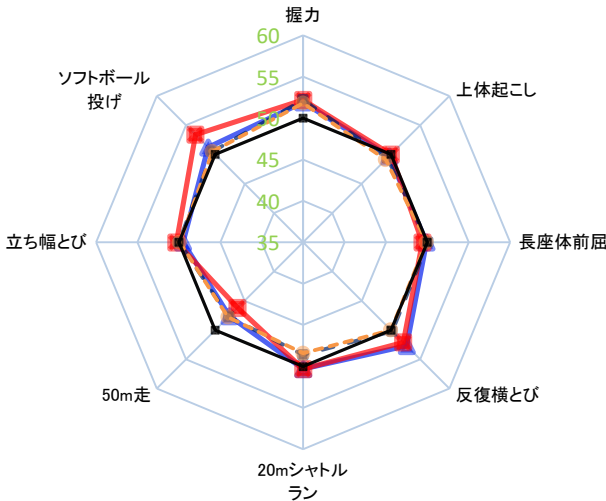
■ 岩見沢市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校14校・児童数589名、中学校9校・生徒数518名)

【各種目の状況】

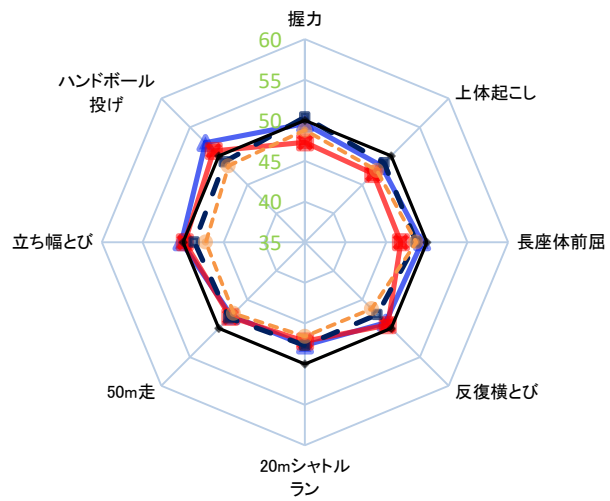
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



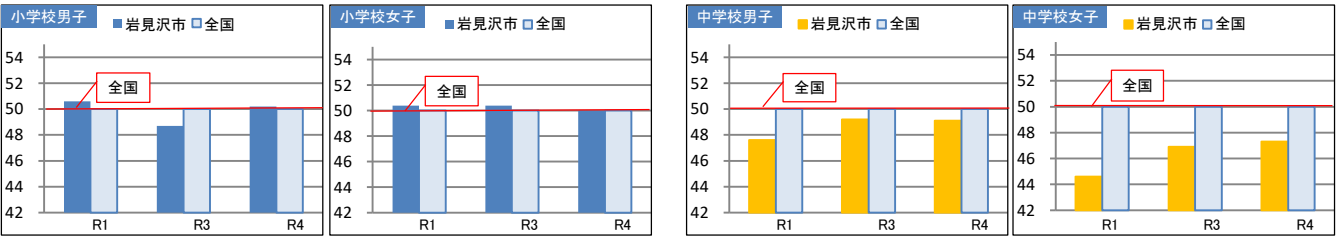
【小学校】



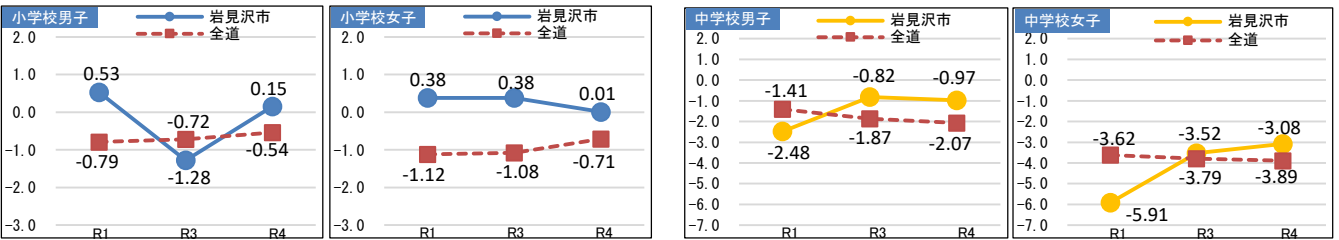
【中学校】



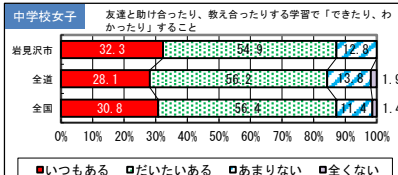
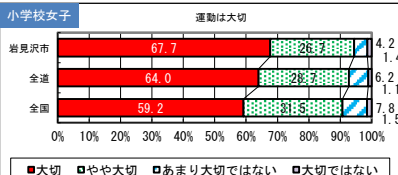
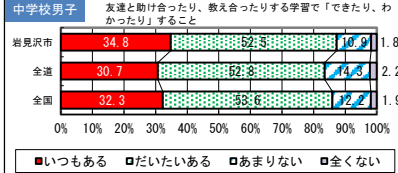
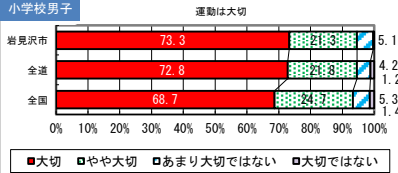
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



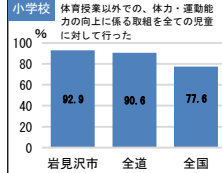
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
学校全体で、体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を全ての児童に対して行ったことにより、男女ともに運動は大切だと思う児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

<中学校>  
学校全体で、保健体育授業での生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れていることにより、男女ともに友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できた、わかったりする」ことがいつもあると思う生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

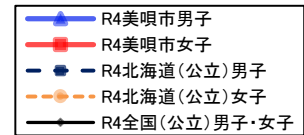
【岩見沢市の体力向上策】

- ◎ 保健体育科の授業改善及び体力づくりの取組による体力向上、運動の習慣化の推進
- ◎ 新体力テストの全学年実施と小中9年間の体力向上を実感できる「体力カード」の活用
- ◎ 「楽しいキッズスポーツ教室」や「ウォーキングマラソン大会」等の開催によるスポーツをする機会の充実
- ◎ 各種スポーツ団体の活動や全国大会出場者、強化指定選手に認定された子どもへの支援

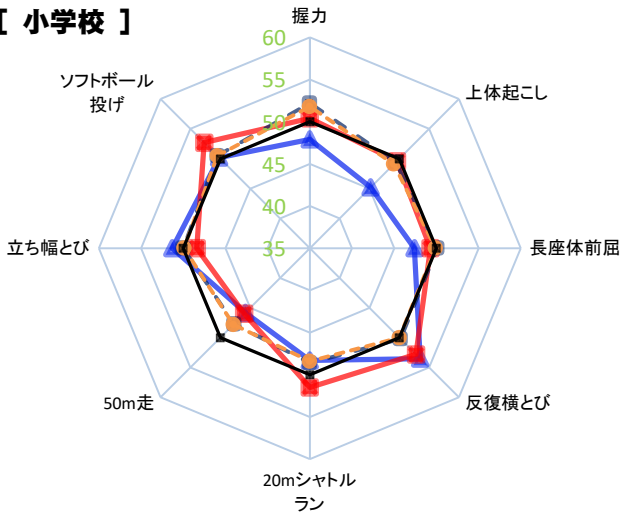
■ 美唄市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数92名、中学校2校・生徒数107名)

【各種目の状況】

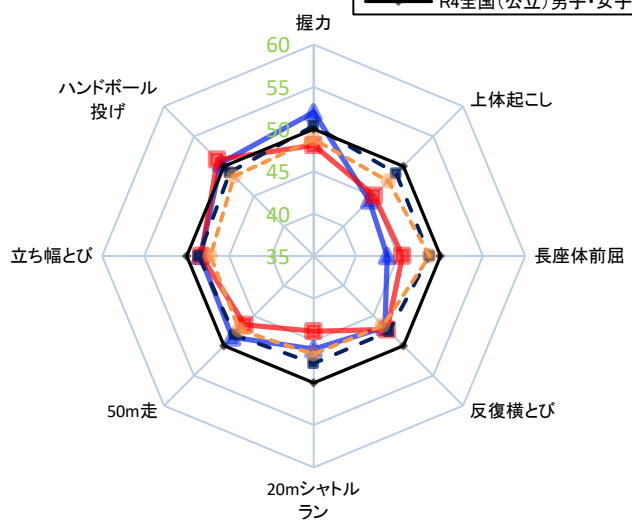
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



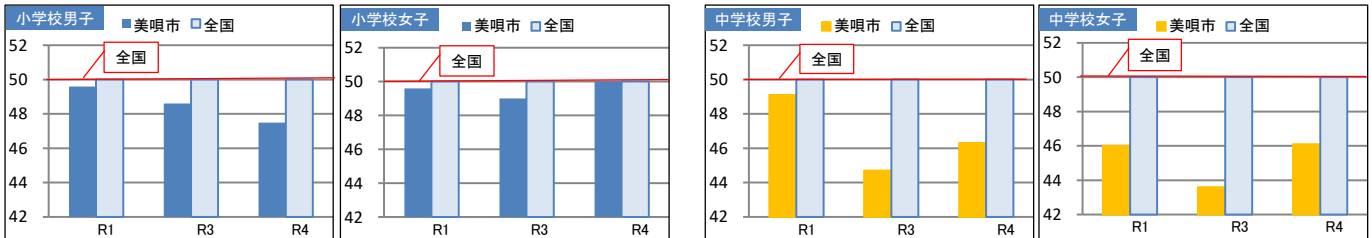
【小学校】



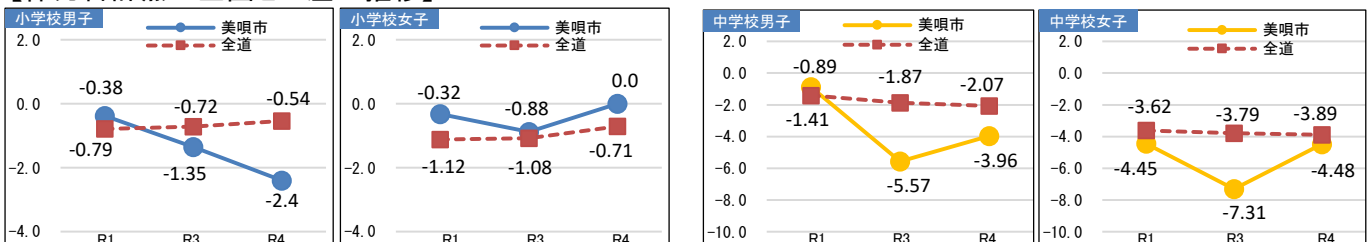
【中学校】



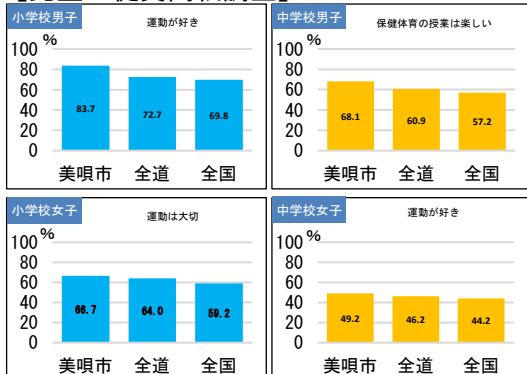
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



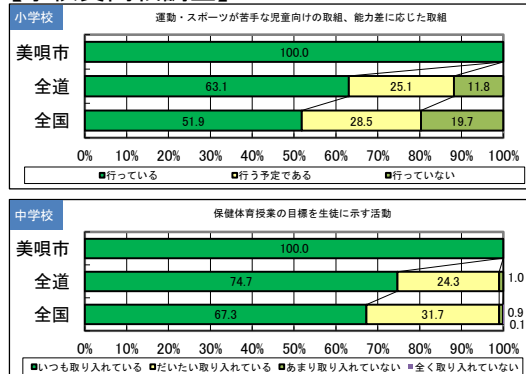
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
学校全体で、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行っていることにより、男子で運動が好きだと思ったり、女子で運動は大切だと思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

<中学校>  
学校全体で、保健体育授業の目標を生徒に示す活動をいつも取り入れていることにより、男子で保健体育の授業は楽しいと思ったり、女子で運動が好きだと思ったりする生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

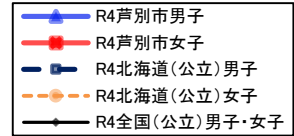
【美唄市の体力向上策】

- ◎ 全学年全種目で行う新体力テストの分析に基づく授業改善
- ◎ 市や各種団体が行うスポーツ教室などへの参加の奨励や大学生を含めた外部講師・ボランティアを活用した1校1実践の取組
- ◎ 健康(運動・食事・睡眠)について理解を深めながらの基本的な生活習慣の確立

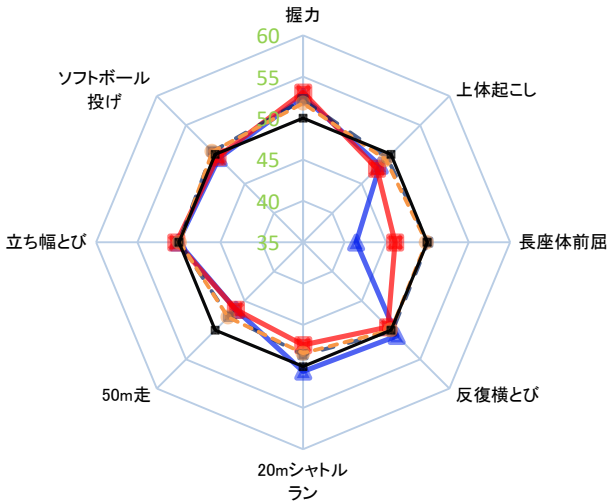
■ 芦別市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数55名、中学校2校・生徒数49名)

【各種目の状況】

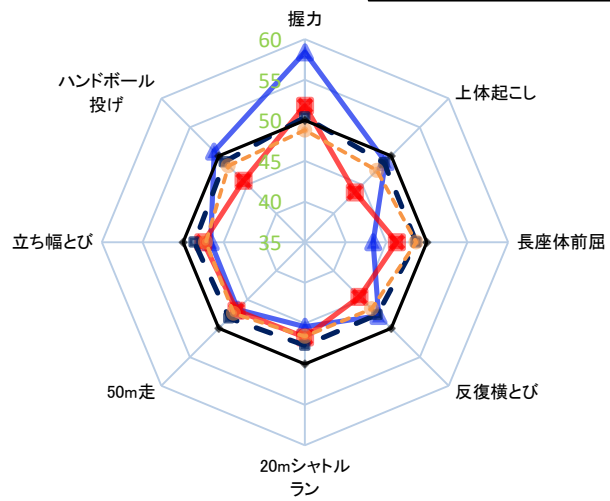
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



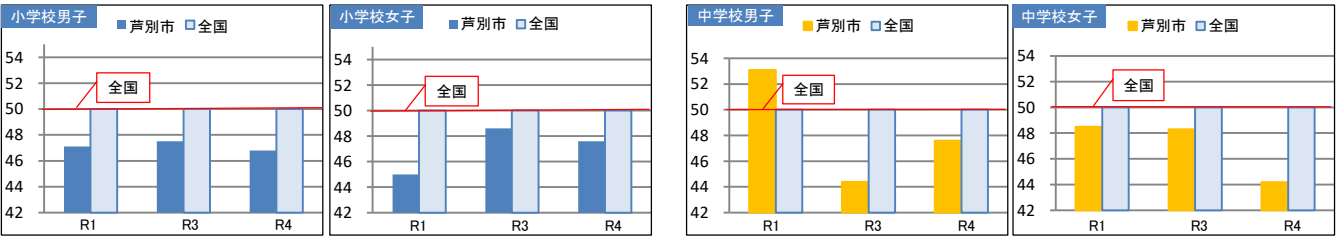
【小学校】



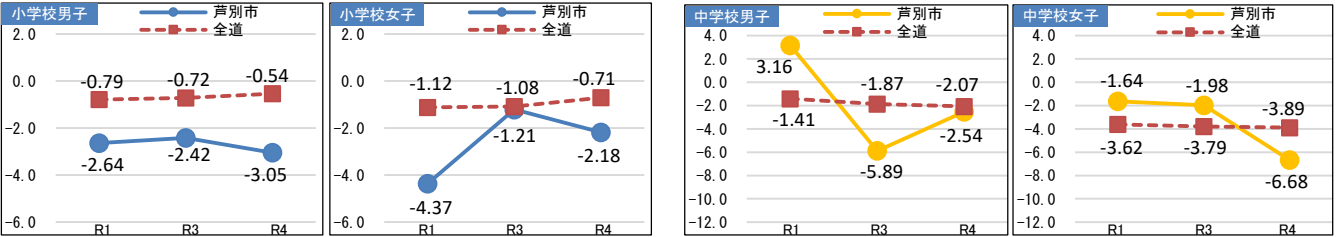
【中学校】



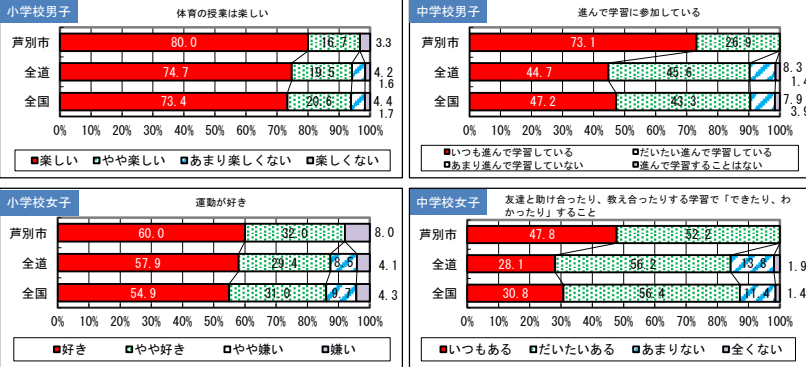
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



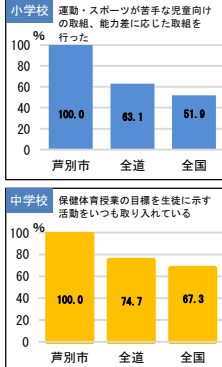
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



**＜小学校＞**  
 学校全体で、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、男子で体育の授業は楽しいと思ったり、女子で運動が好きだと思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

**＜中学校＞**  
 学校全体で、保健体育授業の目標を生徒に示す活動をいつも取り入れていることにより、男子でいつも進んで学習していたり、女子で友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると思ったりする生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【芦別市の体力向上策】

- ◎ 1校1実践の取組の日常化による体力・運動能力の向上
- ◎ 家庭と連携した「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発など、望ましい生活習慣の定着を図る取組の充実

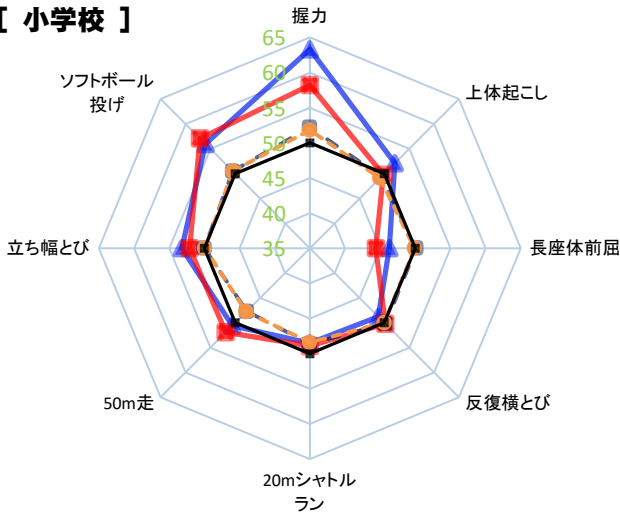
■ 赤平市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数47名、中学校1校・生徒数46名)

【各種目の状況】

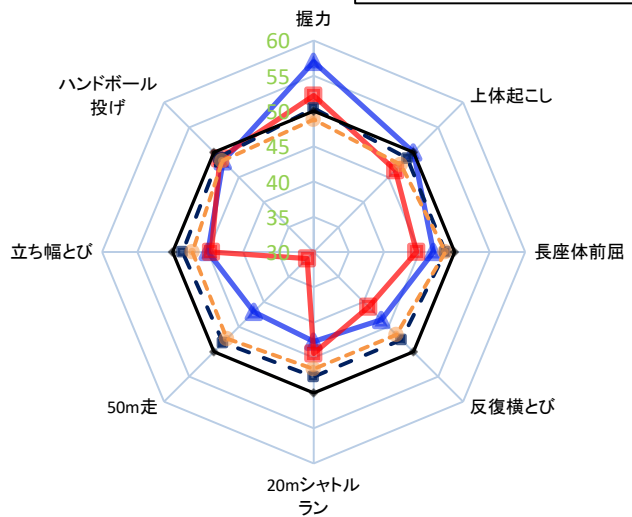
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



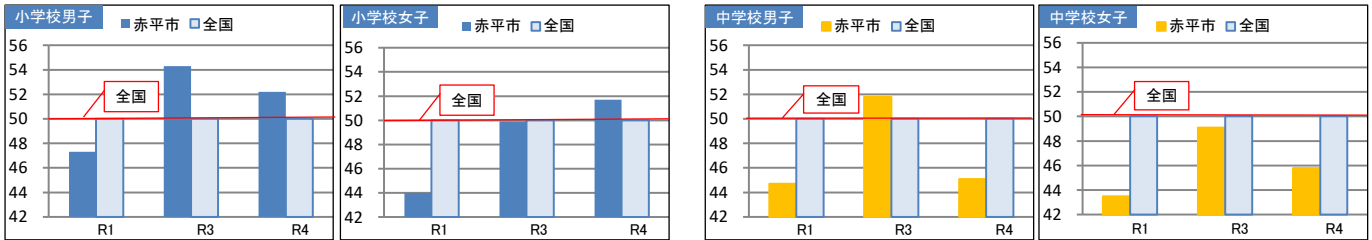
【小学校】



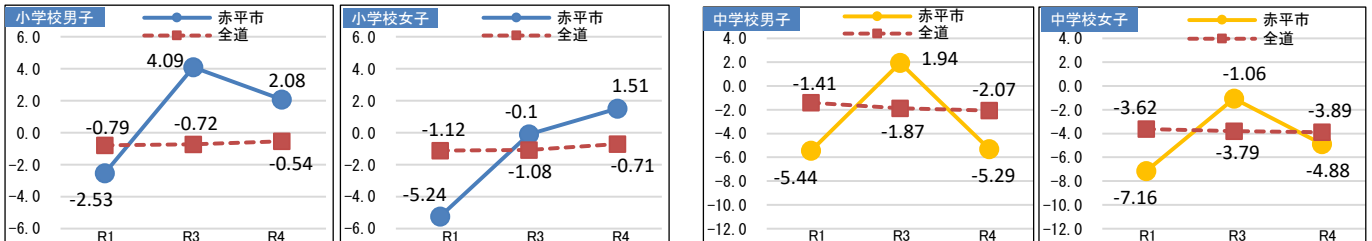
【中学校】



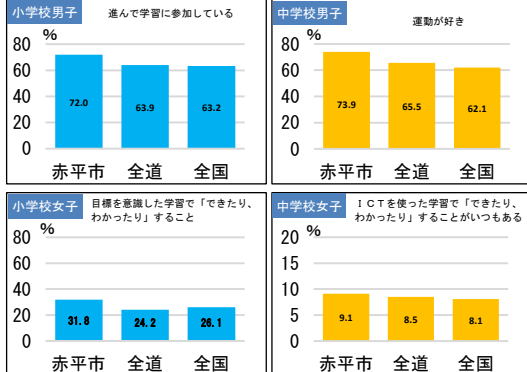
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



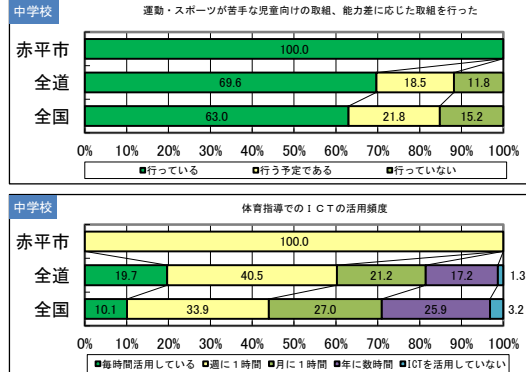
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
学校全体で、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行っていることにより、男子でいつも進んで学習に参加したり、女子で目標を意識した学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

<中学校>  
学校全体で、週に1時間程度、体育指導でICTを活用したことにより、男子で運動が好きだと思ったり、女子でICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると思ったりする生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

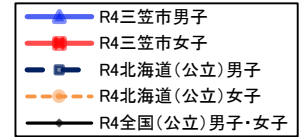
【赤平市の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた体力向上に向けた取組の推進
- ◎ 家庭における生活習慣の改善に向けた取組の継続

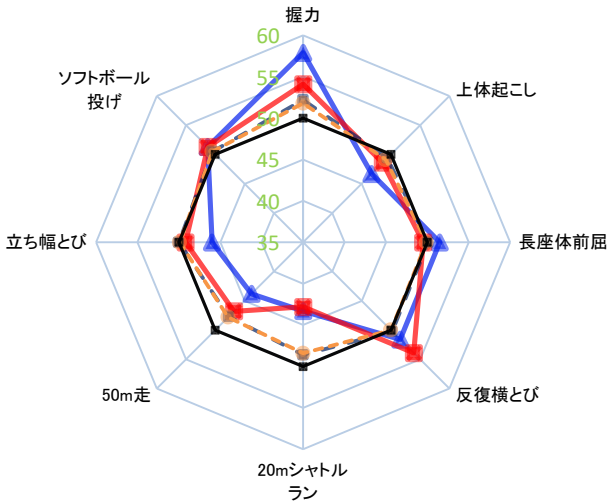
■ 三笠市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数33名、中学校2校・生徒数40名)

【各種目の状況】

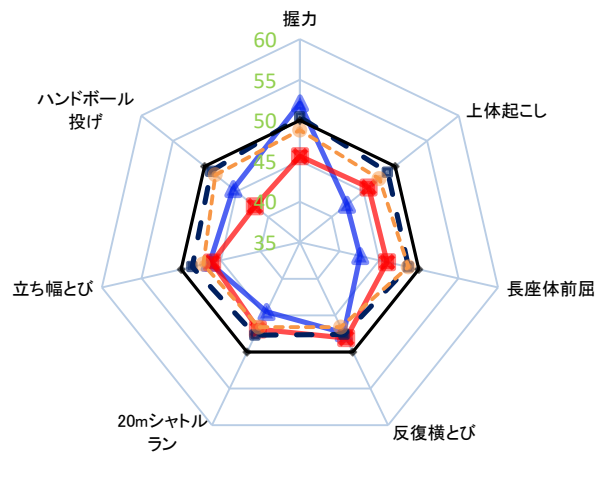
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



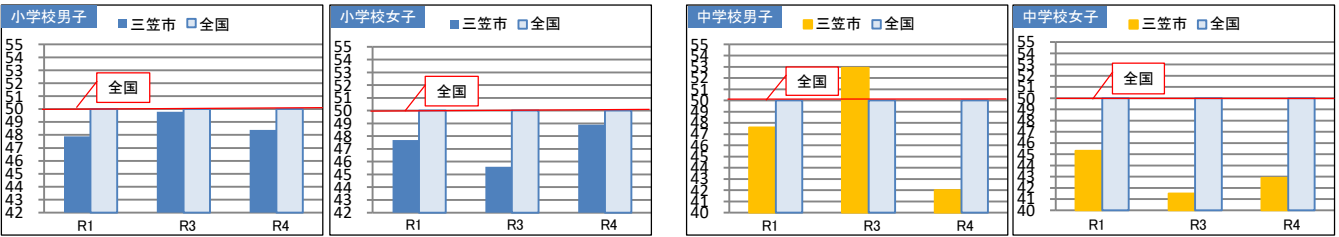
【小学校】



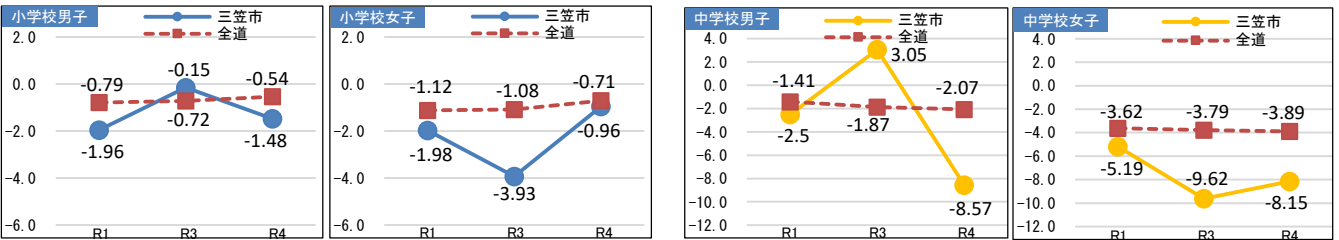
【中学校】



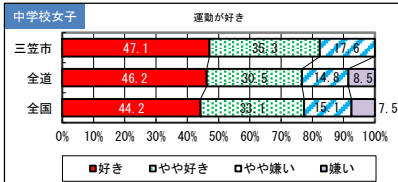
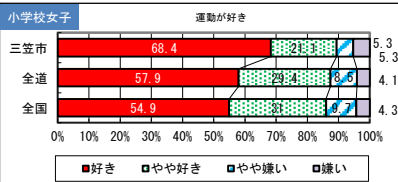
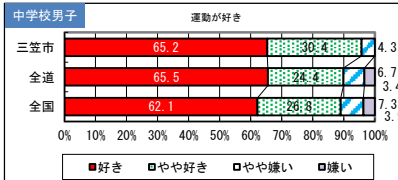
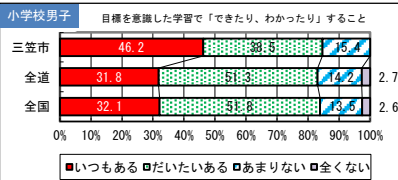
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



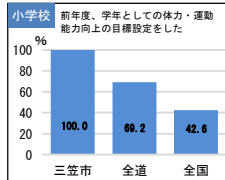
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

＜小学校＞  
学校全体で、前年度、学年としての体力・運動能力向上の目標設定をしたことにより、男子で目標を意識した学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると思ったり、女子で運動が好きだと思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校全体で、運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組を行っていることにより、男女ともに運動が好きだと思ふ生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【三笠市の体力向上策】

- ◎ 児童生徒自らに目標をもたせ、仲間と競い合うことで基礎体力を向上させる取組の推進
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 地域や外部機関と連携を図った運動の環境づくり及び体育施設の整備

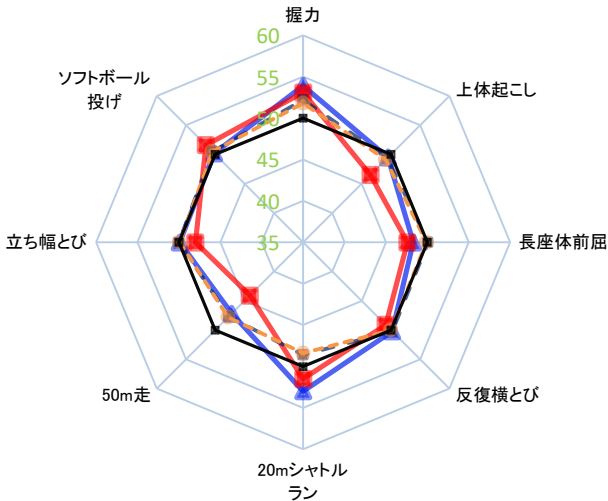
■ 滝川市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校6校・児童数293名、中学校3校・生徒数240名)

【各種目の状況】

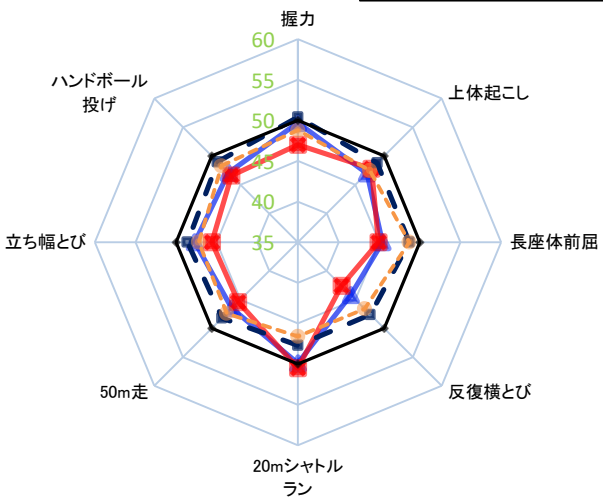
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



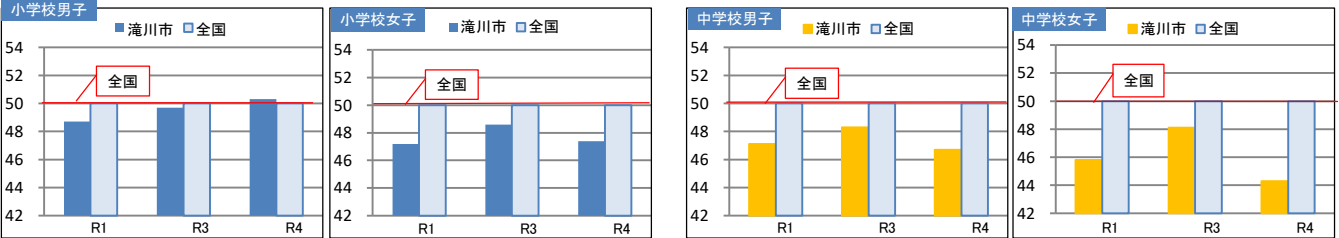
【小学校】



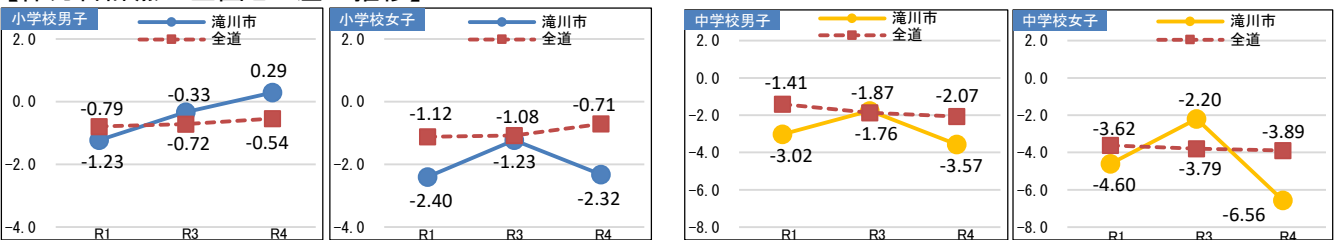
【中学校】



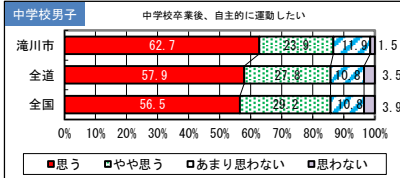
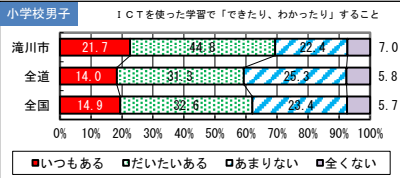
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



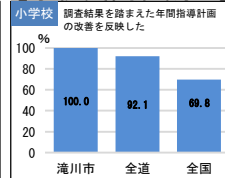
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】

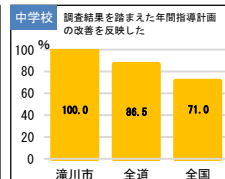
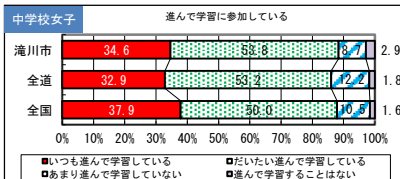
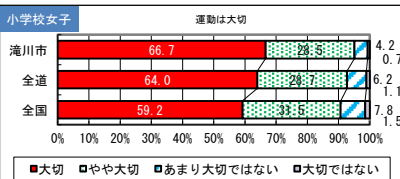


【学校質問紙調査】



**＜小学校＞**  
 学校全体で、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を反映したことにより、男子でICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがいつもあったり、女子で運動は大切だと思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

**＜中学校＞**  
 学校全体で、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を反映したことにより、男子で中学校卒業後、自主的に運動したいと思ったり、女子でいつも進んで学習している、だいたい進んで学習していたりする生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。



【滝川市の体力向上策】

- ◎ 身体状況に合わせてルールを柔軟に設定する運動機会の設定
- ◎ 小学校において、障害のあるなしに関わらず楽しむことができるアダプテッドスポーツについて学ぶ出前授業の実施
- ◎ 体育専科教員活用事業による体育専科教諭の取組の水平展開

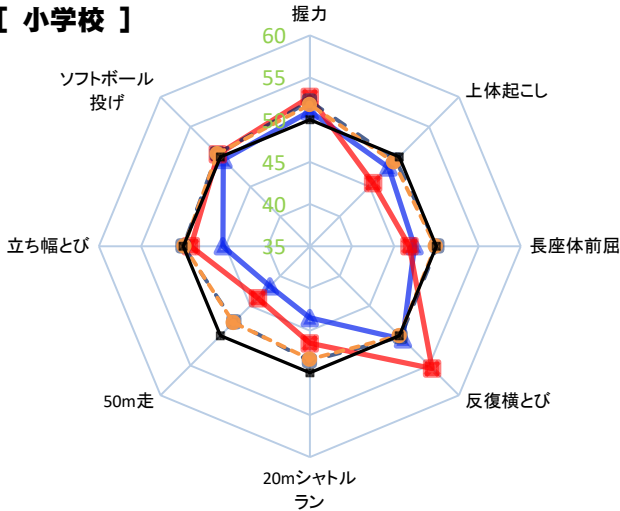
■ 砂川市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校5校・児童数83名、中学校2校・生徒数112名)

【各種目の状況】

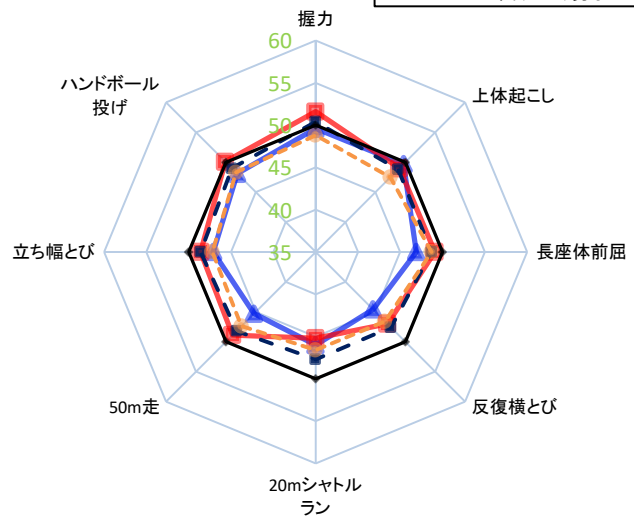
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



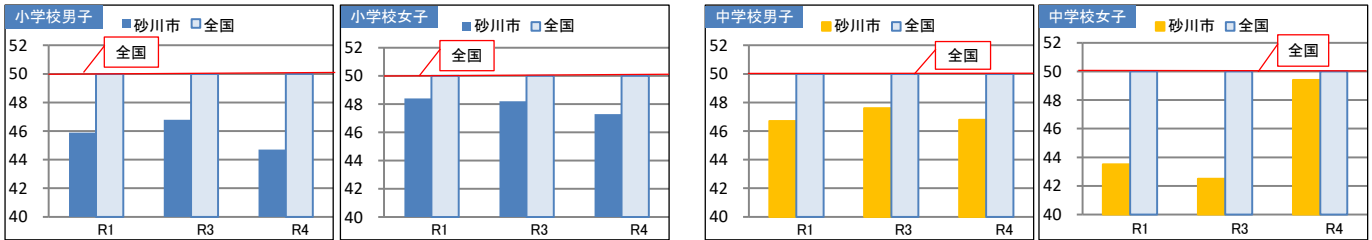
【小学校】



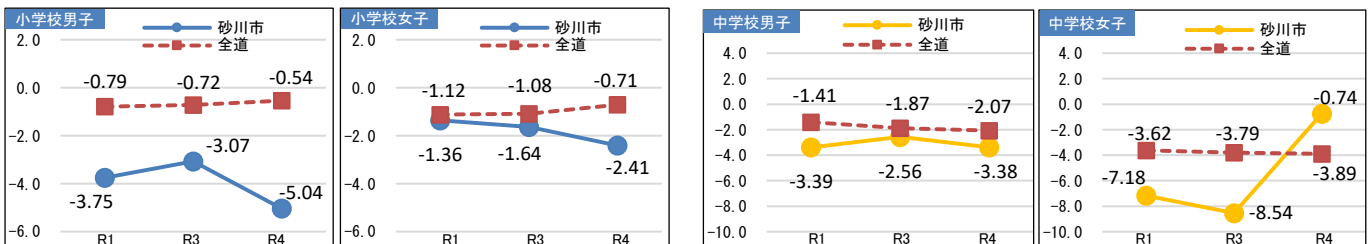
【中学校】



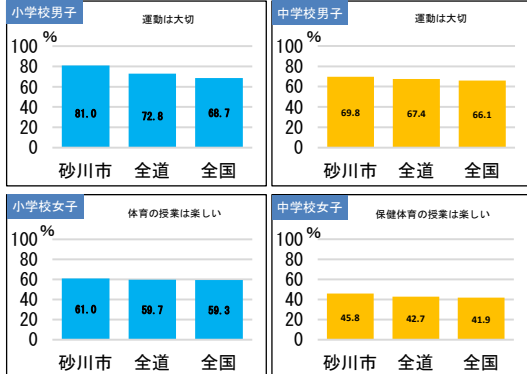
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



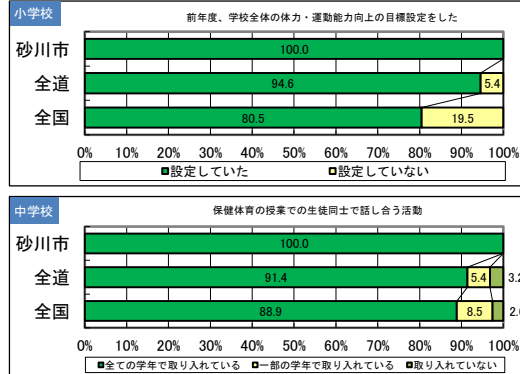
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
学校全体で、前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標設定をしていたことにより、男子で運動は大切だと思ったり、女子で体育の授業は楽しいと思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

<中学校>  
学校全体で、保健体育の授業での生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れていることにより、男子で運動は大切だと思ったり、女子で保健体育の授業は楽しいと思ったりする生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【砂川市の体力向上策】

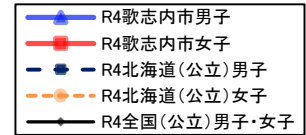
- ◎ 全学年・全種目実施の新体カテストの結果を踏まえた体育科及び保健体育科における授業改善の推進
- ◎ スポーツ施設の機能を生かしたレクリエーション活動の充実及びパラスポーツの推進



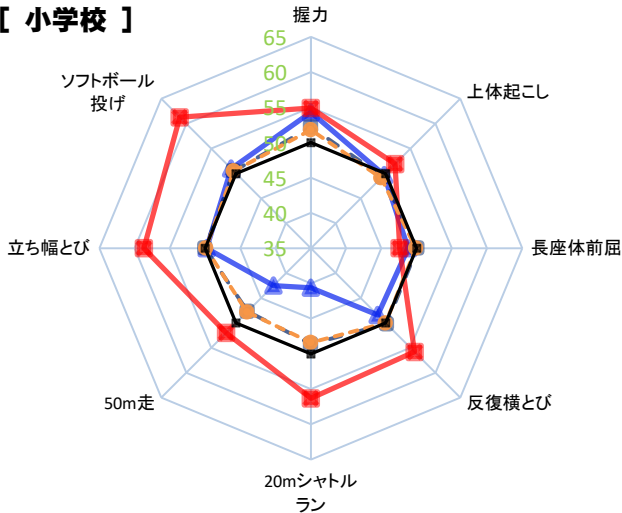
■ 歌志市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:義務教育学校1校・前期課程児童数11名、後期課程生徒数13名)

【各種目の状況】

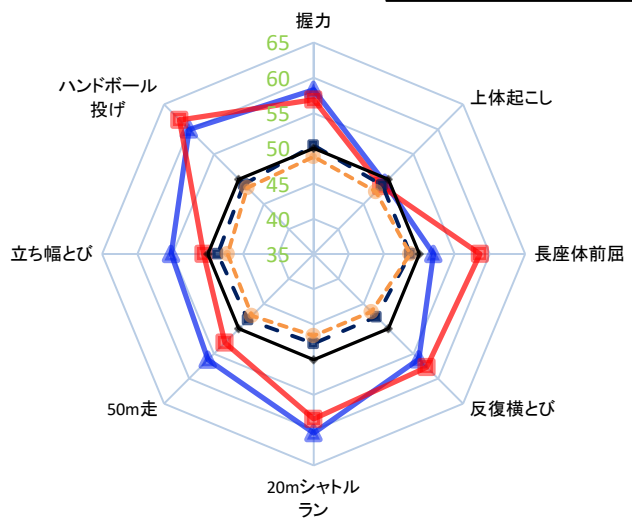
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



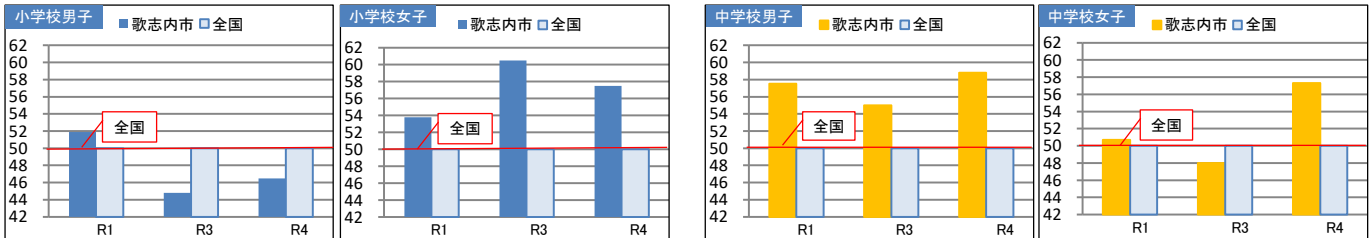
【小学校】



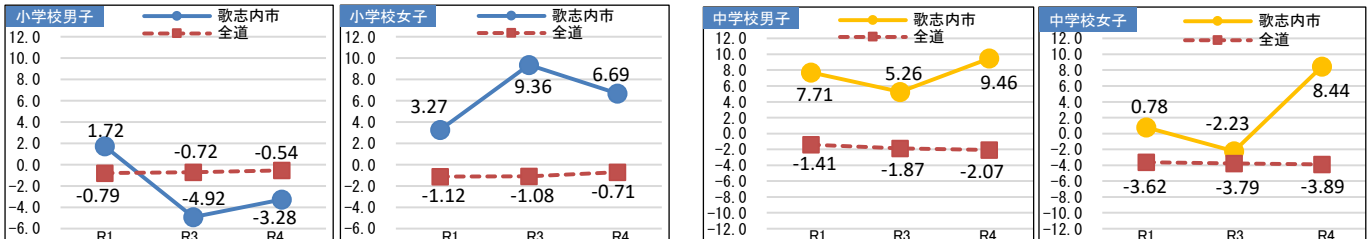
【中学校】



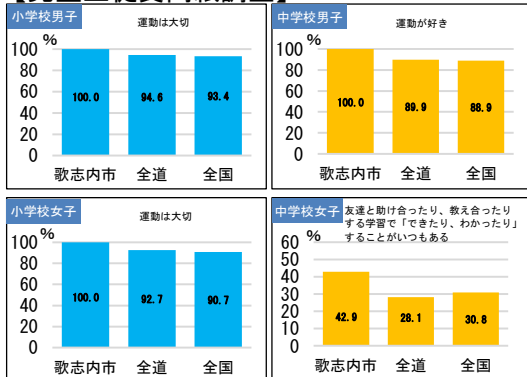
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



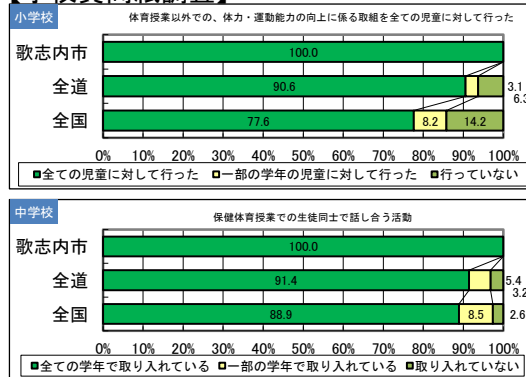
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
学校全体で、体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を全ての児童に対して行ったことにより、男女ともに運動は大切だと思ふ児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

<中学校>  
学校全体で、保健体育授業での生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れていることにより、男子で運動が好きだと思ったり、女子で友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると思ったりする生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【歌志内市の体力向上策】

- ◎ 全学年で共通した運動プログラムの実施や9年間を通した体育科及び保健体育科における系統的な指導の充実
- ◎ 外部講師の派遣等、地域と連携した体力向上に向けた取組の充実
- ◎ 休み時間や放課後など、体育・保健体育の授業以外の運動時間を確保する取組の充実

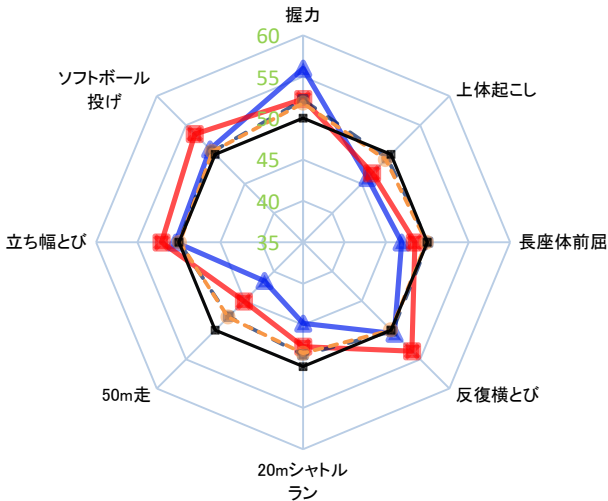
■ 深川市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校6校・児童数101名、中学校2校・生徒数107名)

【各種目の状況】

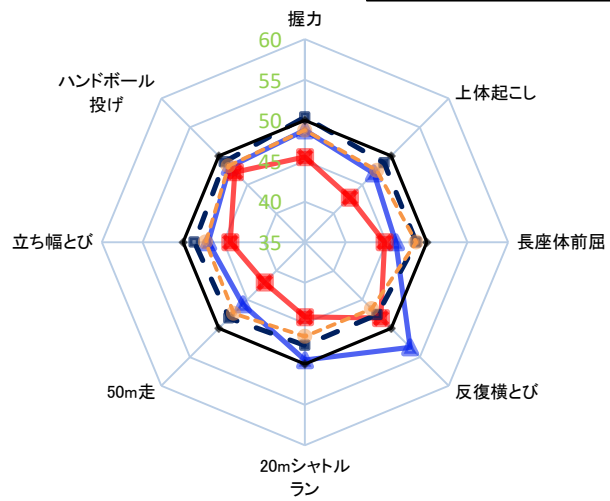
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



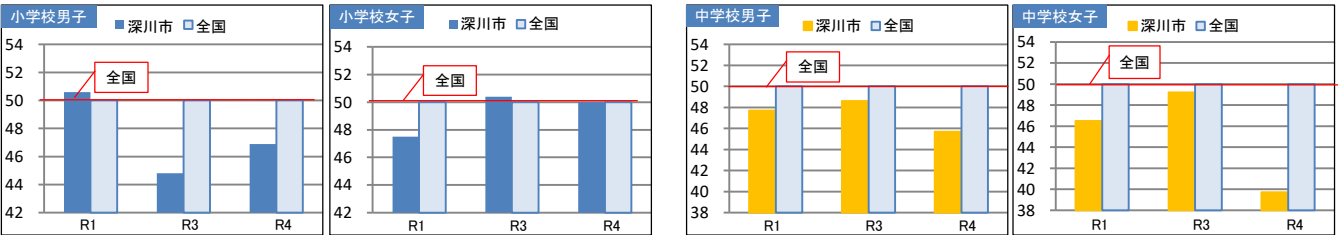
【小学校】



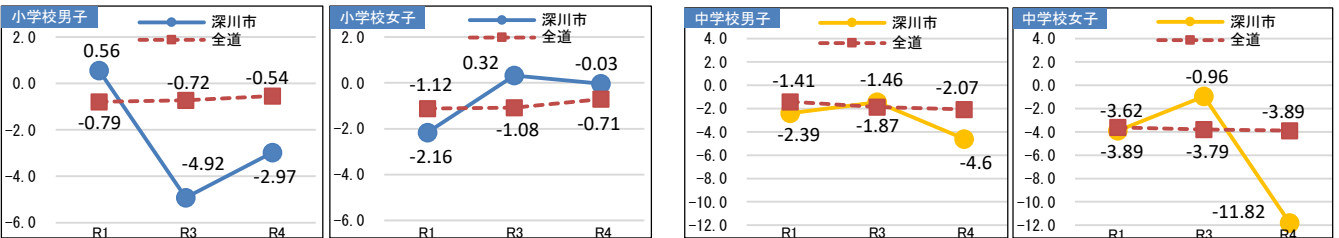
【中学校】



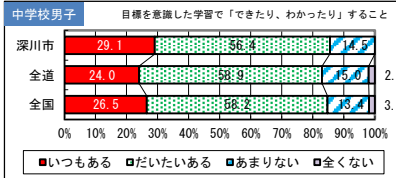
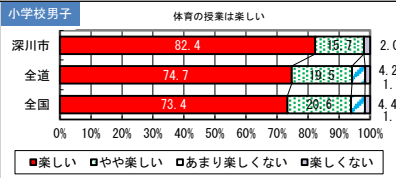
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



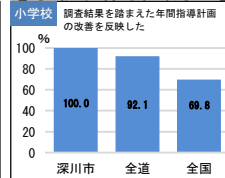
【体力合計点の全国との差の推移】



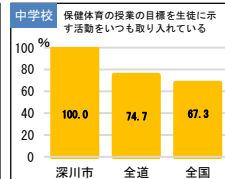
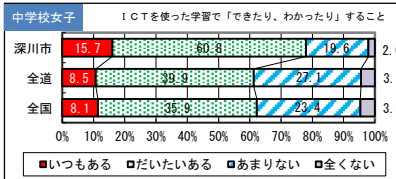
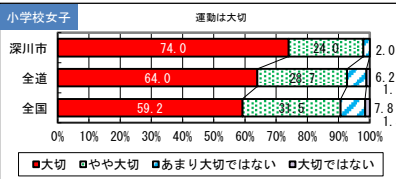
【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



＜小学校＞  
学校全体で、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を反映したことにより、男子で体育の授業は楽しいと思ったり、女子で運動は大切だと思ったりする児童の割合が全国及び全国を上回ったと考えられる。



＜中学校＞  
学校全体で、保健体育の授業の目標を生徒に示す活動をいつも取り入れていることにより、男子で目標を意識した学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると思ったり、女子でICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると思ったりする生徒の割合が全国及び全国を上回ったと考えられる。

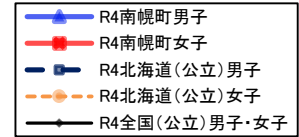
【深川市の体力向上策】

- ◎ 全学年・全種目実施の新体カテストの結果を踏まえた体育科及び保健体育科における授業改善の推進
- ◎ スポーツ環境についての情報発信や、スポーツに関する事業の推進

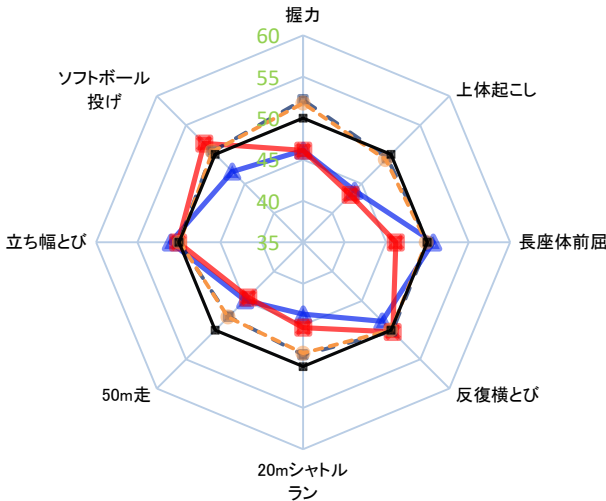
■ 南幌町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数52名、中学校1校・生徒数30名)

【各種目の状況】

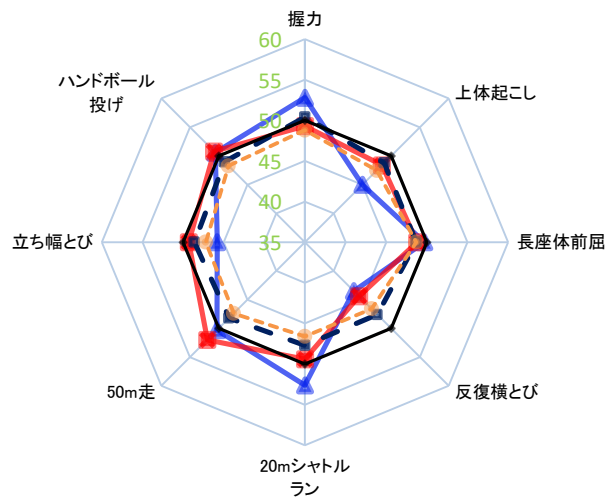
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



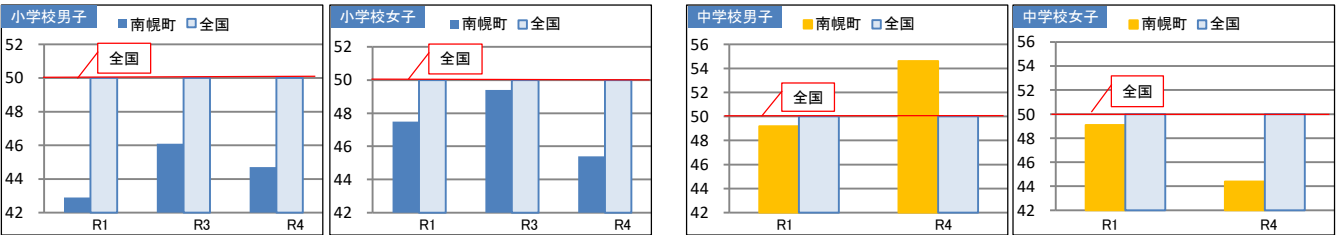
【小学校】



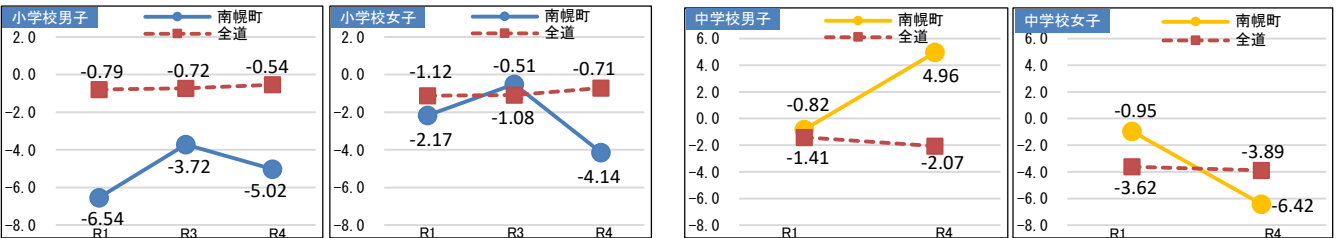
【中学校】



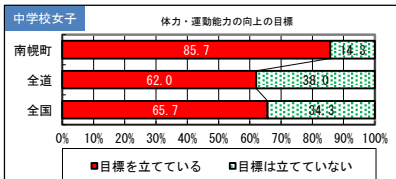
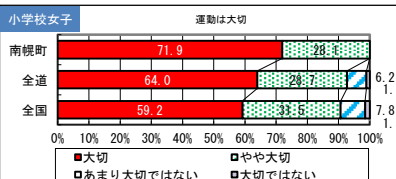
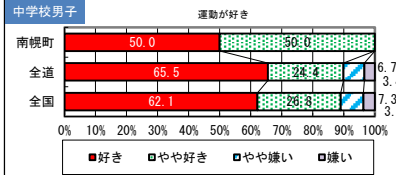
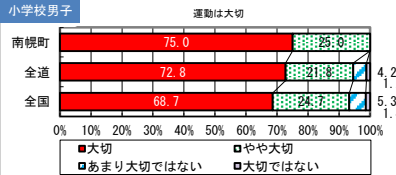
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



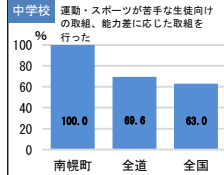
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

＜小学校＞  
学校全体で、教育活動全体を通じて、体力の向上を図る取組を行ったり、体育授業の改善を行ったことにより、男女ともに運動は大切だと思う児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
保健体育授業で学習したことを振り返る活動をも取り入れている。学校全体で、運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、男子で運動が好きだと思ったり、女子で体力・運動能力の向上の目標を立てたりしている生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

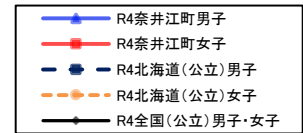
【南幌町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえ、教育活動全体を通して運動や遊びを推奨する取組
- ◎ 小学校低学年を対象としたスポーツ教室の開催等、低年齢期からスポーツに親しむ環境づくりの取組

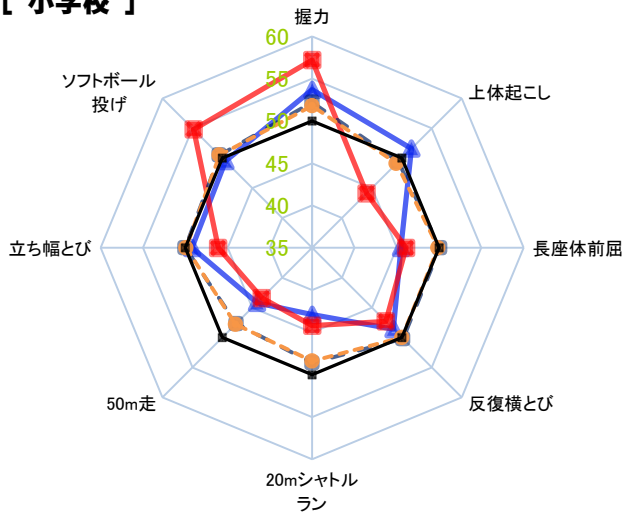
■ 奈井江町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校1校・児童数25名、中学校1校・生徒数29名)

【各種目の状況】

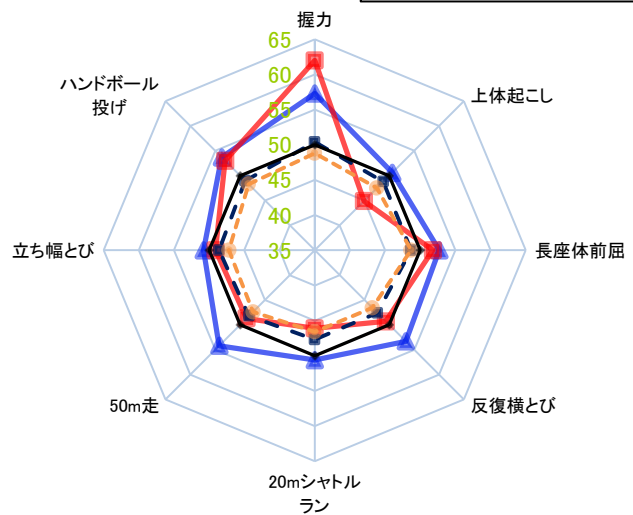
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



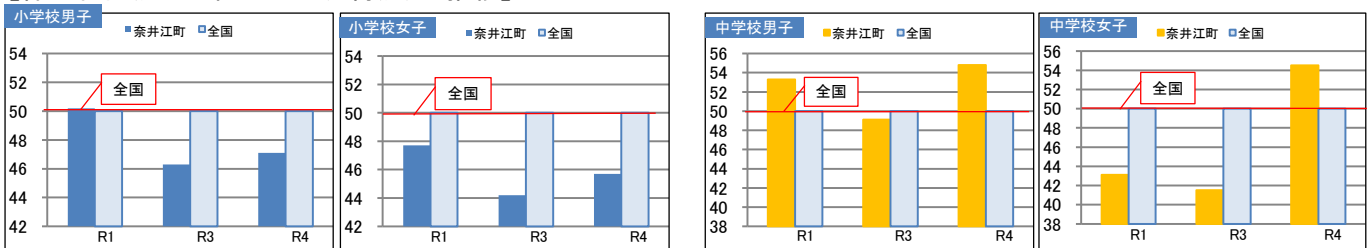
【小学校】



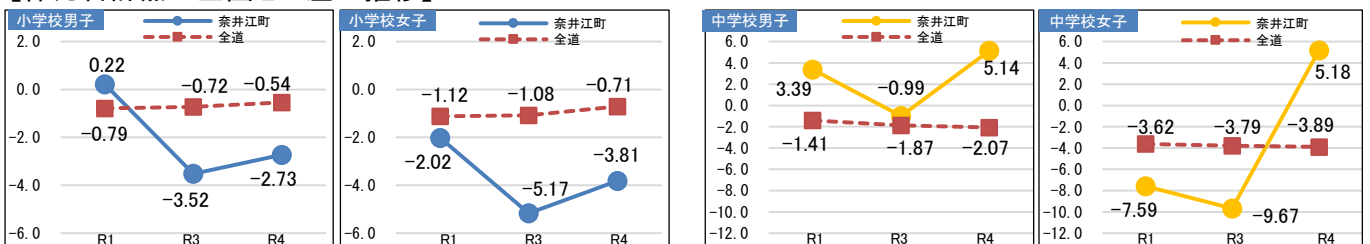
【中学校】



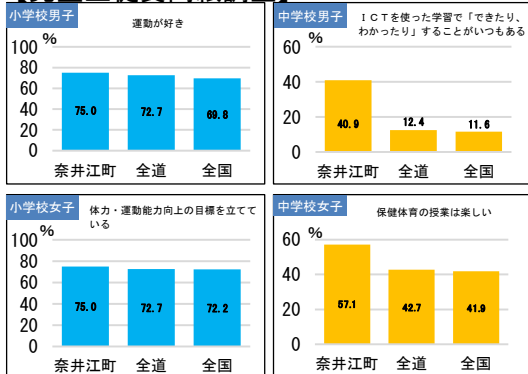
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



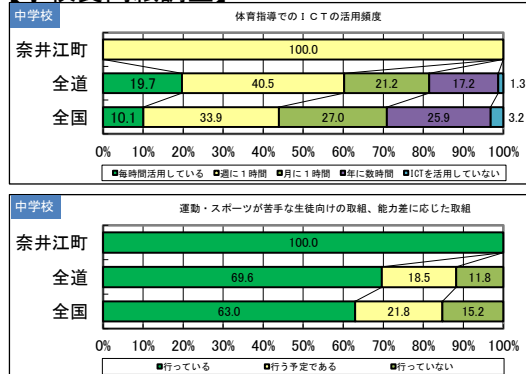
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

＜小学校＞  
学校全体で、体力向上に関する取組を推進したことにより、男子で運動が好きだと思ったり、女子で体力・運動能力向上の目標を立てたりしている児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校全体で、週に1時間程度、体育指導でICTを活用したことにより、男子でICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると思ったり、女子で保健体育の授業は楽しいと思ったりする生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【奈井江町の体力向上策】

- ◎ 長期休業中の生活習慣の乱れを防止するための「朝活推進事業」の実施
- ◎ 学校体育館や町の体育施設を活用した、地域住民も含めた体力向上の推進
- ◎ 各学校における具体的体力向上策
  - 奈井江小学校～全学年での縄跳びチャレンジの実施
  - 奈井江中学校～全体計画に基づいた「体を動かすことが好きな子どもを育てる授業づくりと教育活動の充実」の推進

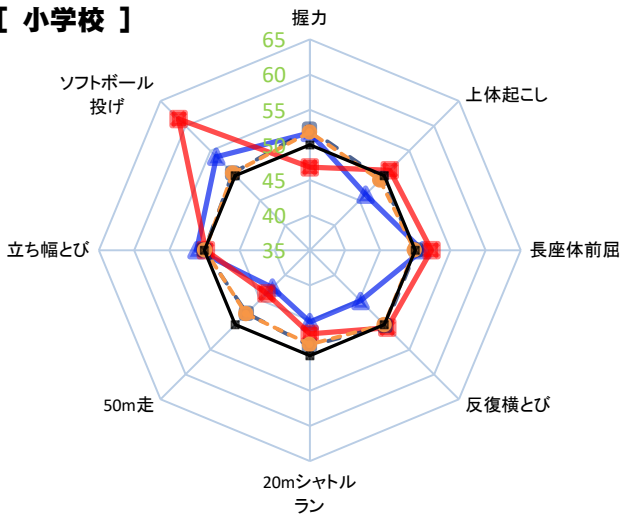
■ 上砂川町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数14名、中学校1校・生徒数15名)

【各種目の状況】

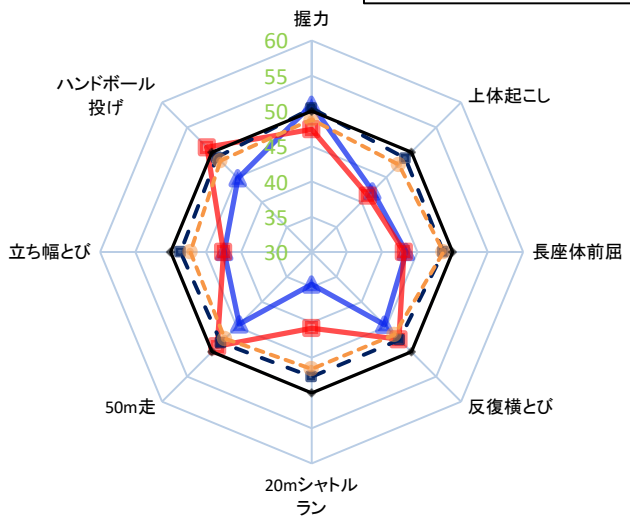
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



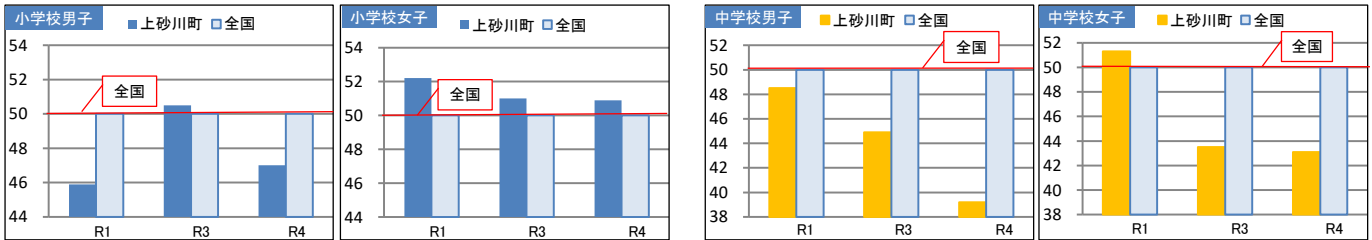
【小学校】



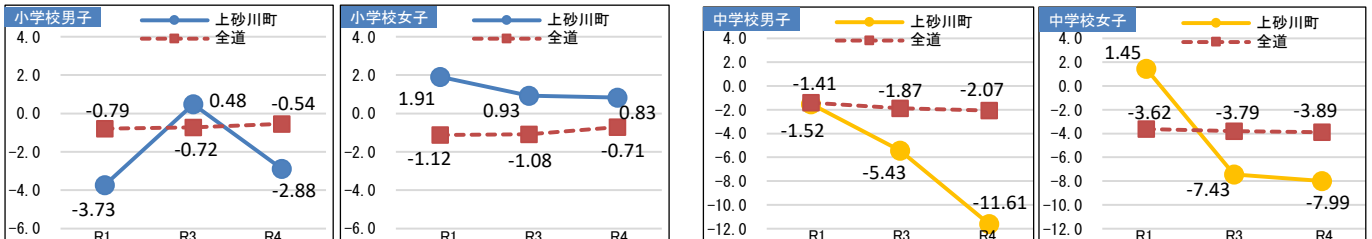
【中学校】



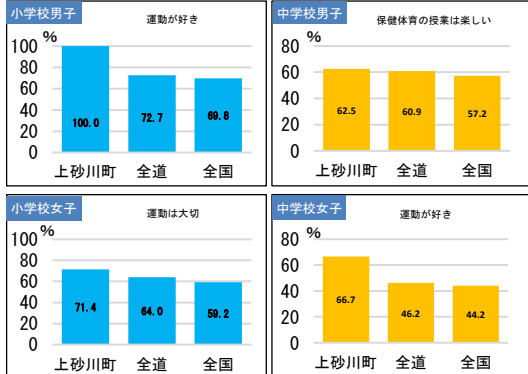
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



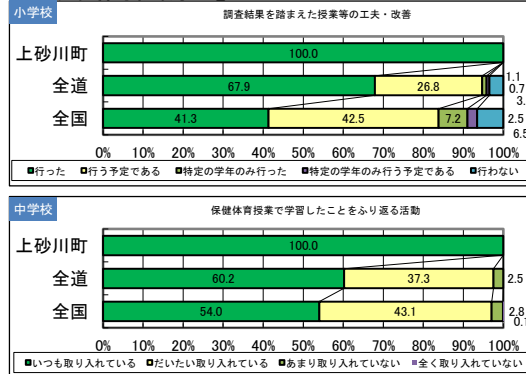
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
学校全体で、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、男子で運動が好きだと思ったり、女子で運動は大切だと思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

<中学校>  
学校全体で、保健体育授業で学習したことをふり返る活動をいつも取り入れたことにより、男子で保健体育の授業は楽しいと思ったり、女子で運動が好きだと思ったりする生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

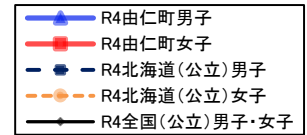
【上砂川町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ スキー学習リフト代等の全額公費負担

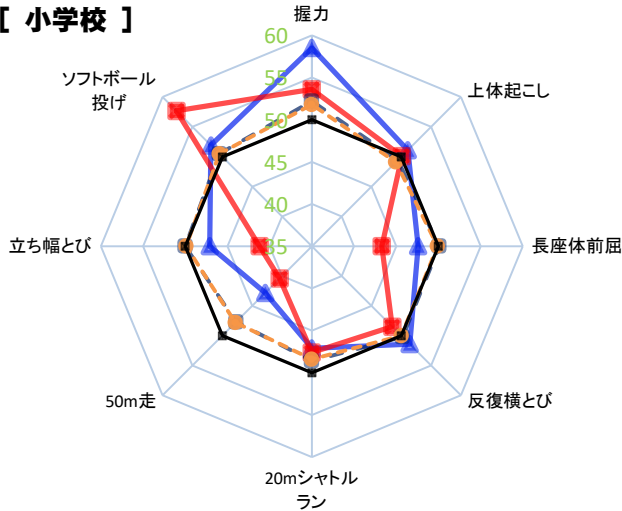
■ 由仁町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数31名、中学校1校・生徒数27名)

【各種目の状況】

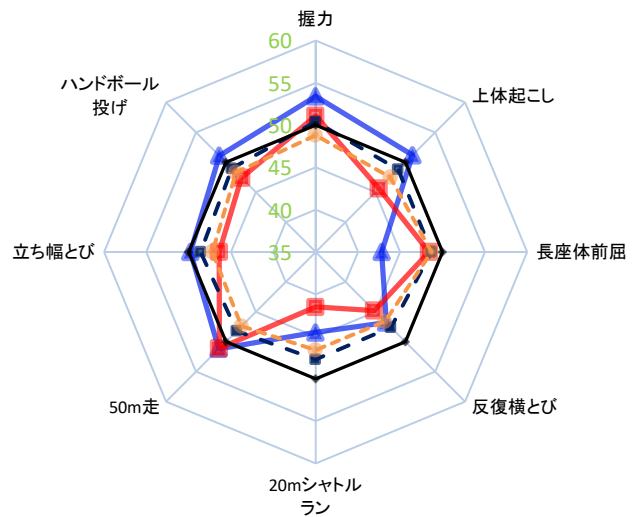
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



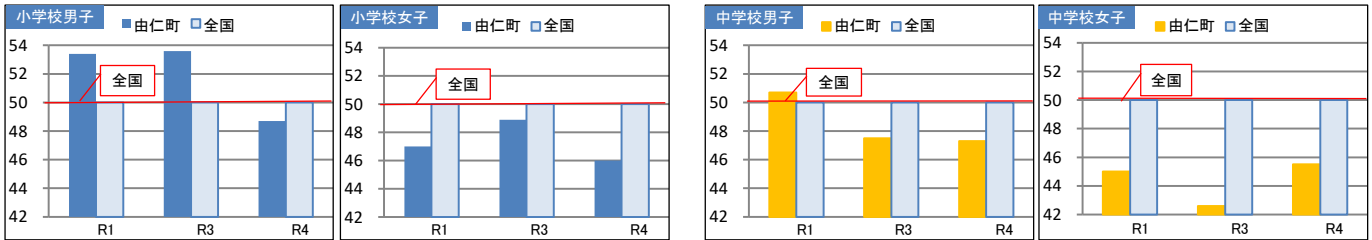
【小学校】



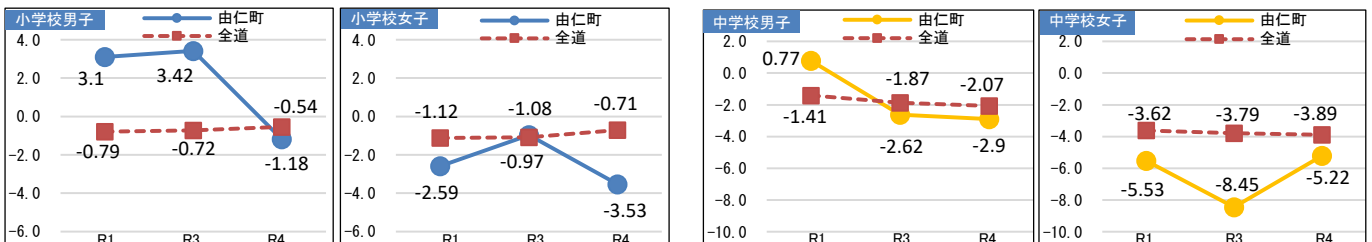
【中学校】



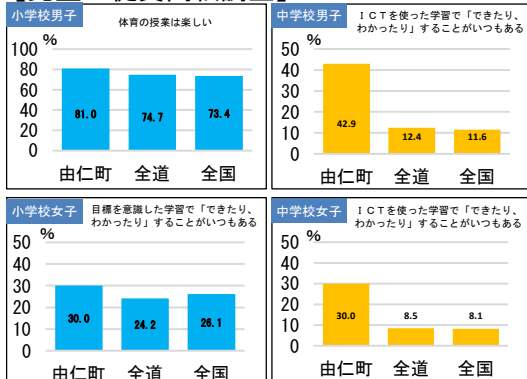
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



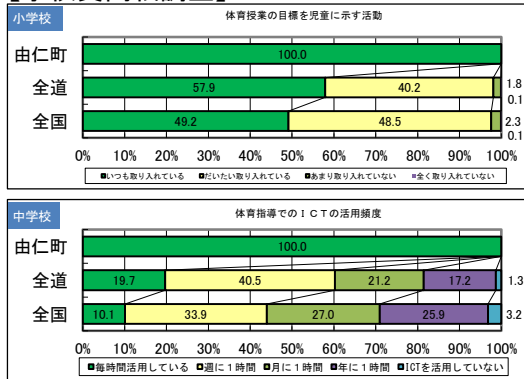
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
学校全体で、体育授業の目標を児童に示す活動をいつも取り入れていることにより、男子で体育の授業は楽しいと思ったり、女子で目標を意識した学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

<中学校>  
学校全体で、毎時間、体育指導でICTを活用したことにより、男女ともにICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると思う生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

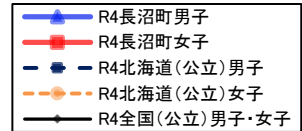
【由仁町の体力向上策】

- ◎ 体力、運動習慣の向上を図る全学年での新体カテストの実施及び学校における運動習慣の定着
- ◎ スポーツにおける由仁の子どもたちの活躍を支援する「がんばれ子ども応援基金」の活用
- ◎ 朝食をきちんと食べて元気に一日がはじめられる規則正しい生活習慣の定着

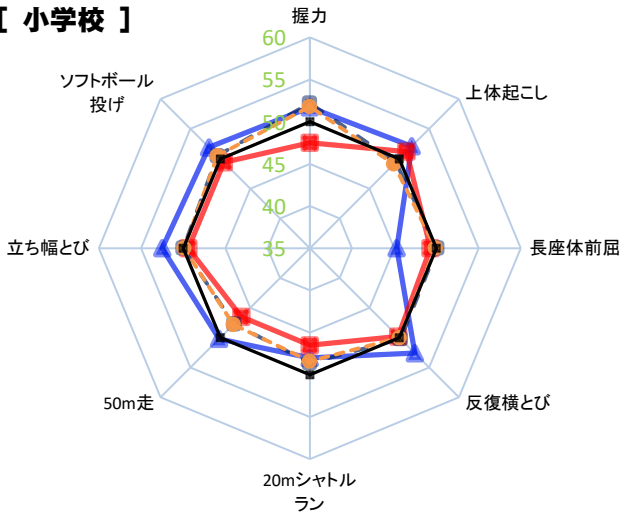
■ 長沼町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数93名、中学校1校・生徒数68名)

【各種目の状況】

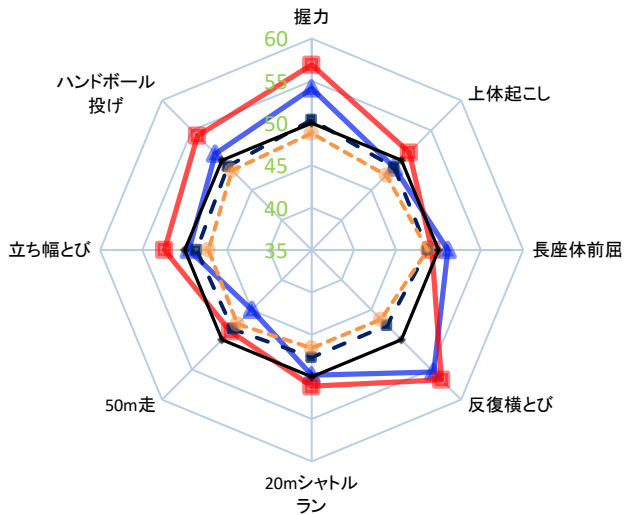
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



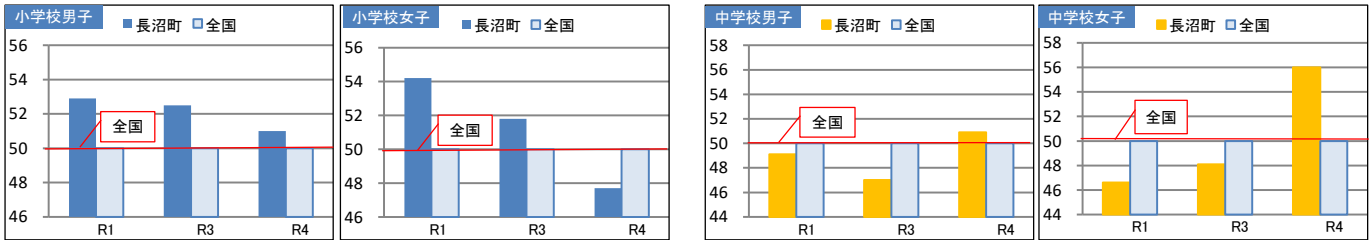
【小学校】



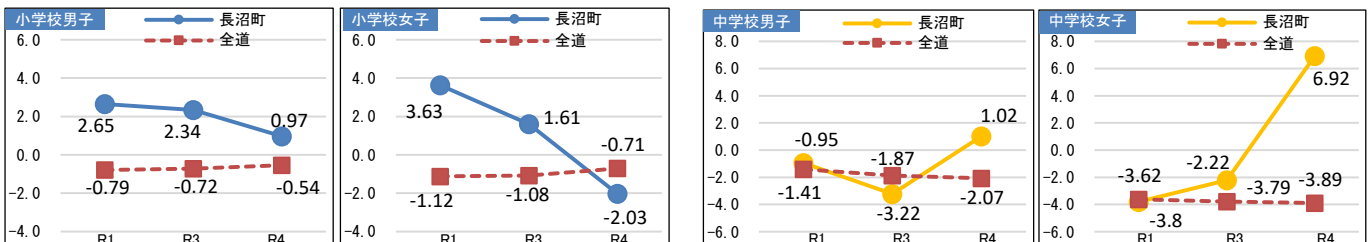
【中学校】



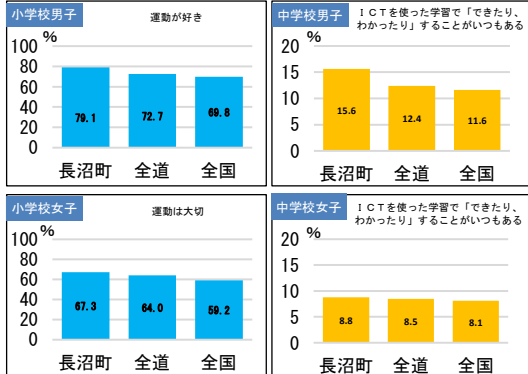
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



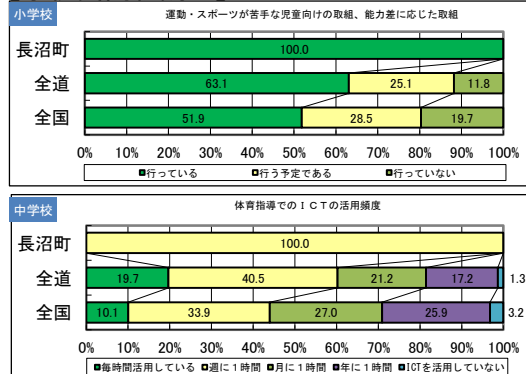
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
学校全体で、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、男子で運動が好きだと思ったり、女子で運動は大切だと思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

<中学校>  
学校全体で、週に1時間程度、体育指導でICTを活用したことにより、男女ともにICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると思う生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

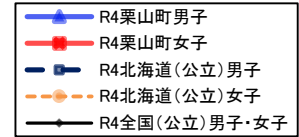
【長沼町の体力向上策】

- ◎ 全学年・全種目実施の新体力テストの結果を踏まえた体育科における授業改善の推進
- ◎ 1校1実践の取組、スキー授業、水泳授業への支援及び部活動等の支援を行い、体力向上や運動習慣化の取組の推進
- ◎ 「長沼町スポーツ推進計画」に基づく各種スポーツ大会やスポーツ教室の開催

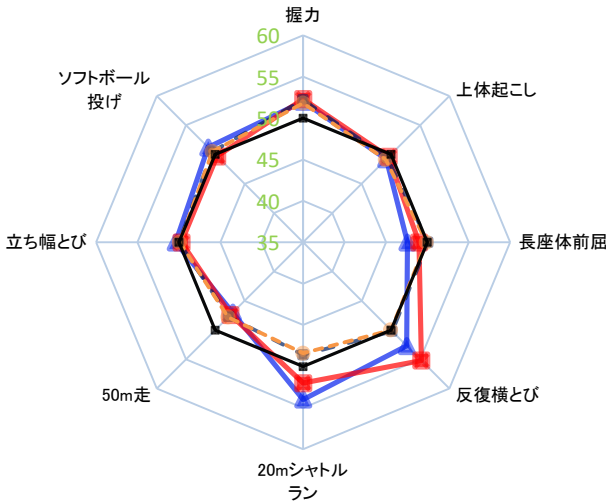
■ 栗山町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数81名、中学校1校・生徒数63名)

【各種目の状況】

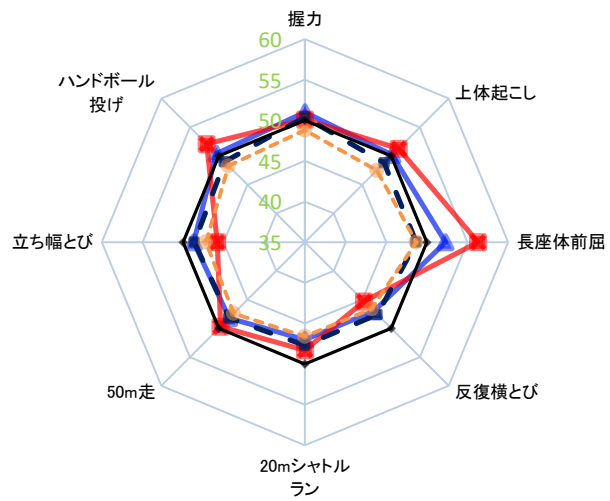
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



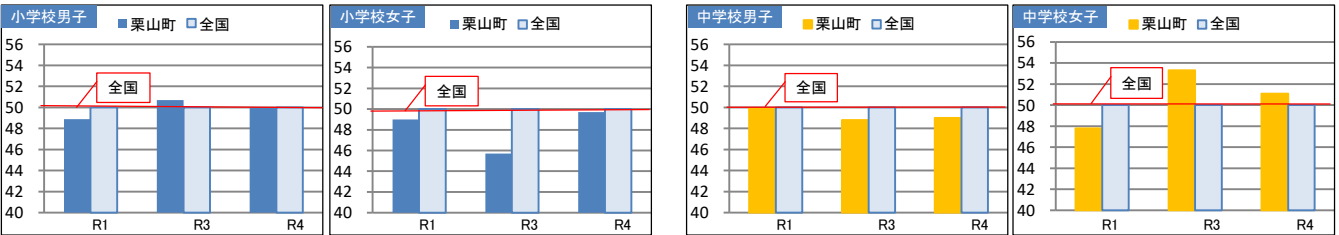
【小学校】



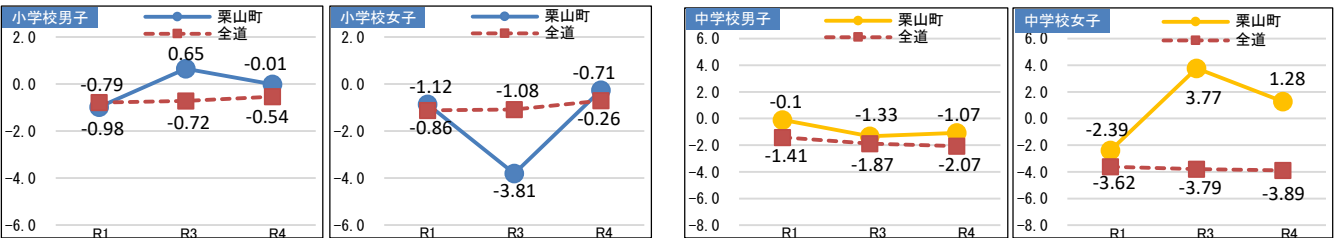
【中学校】



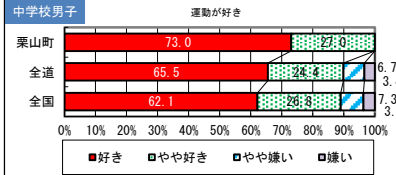
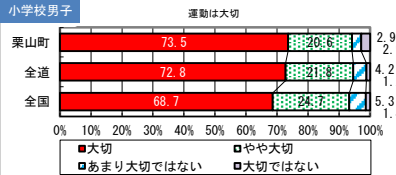
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



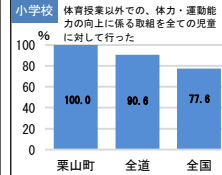
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
学校全体で、体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を全ての児童に対して行ったことにより、男女ともに運動は大切だと思う児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

<中学校>  
学校全体で、運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、男女ともに運動が好きだと思う生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【栗山町の体力向上策】

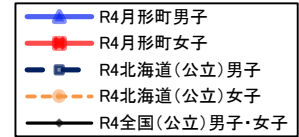
- ◎ 家族揃ってスポーツに親しむ運動習慣の日常化の啓発・推進
- ◎ スポーツ推進委員会と連携を図ったスポーツ事業の開催



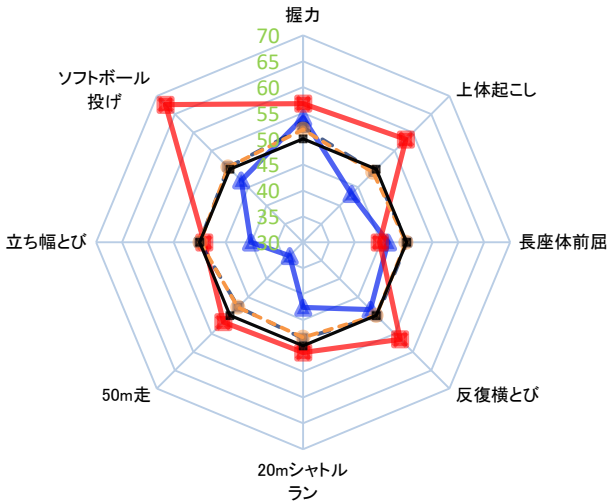
■ 月形町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数9名、中学校1校・生徒数13名)

【各種目の状況】

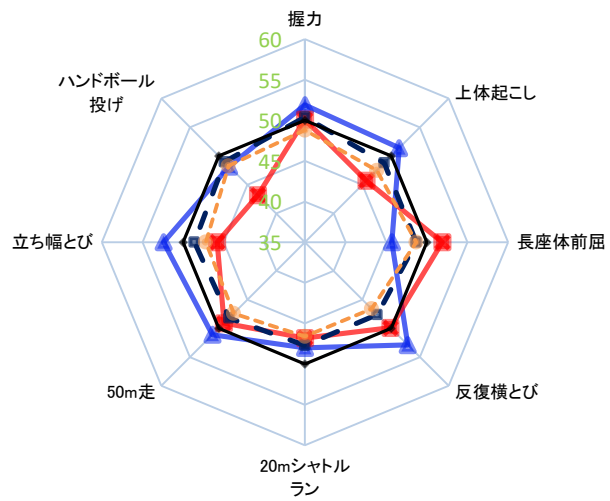
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



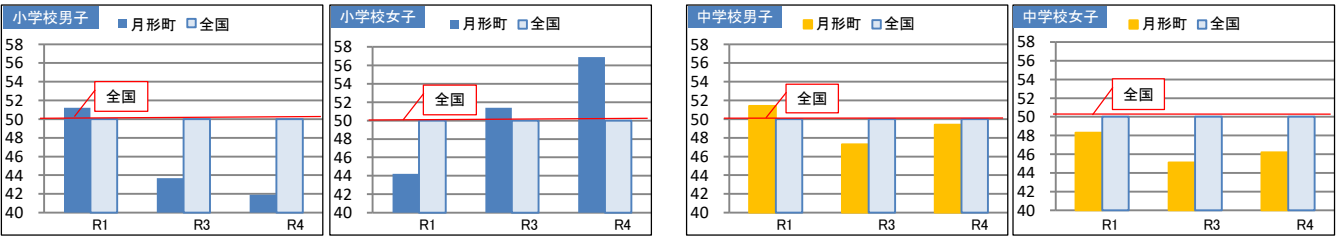
【小学校】



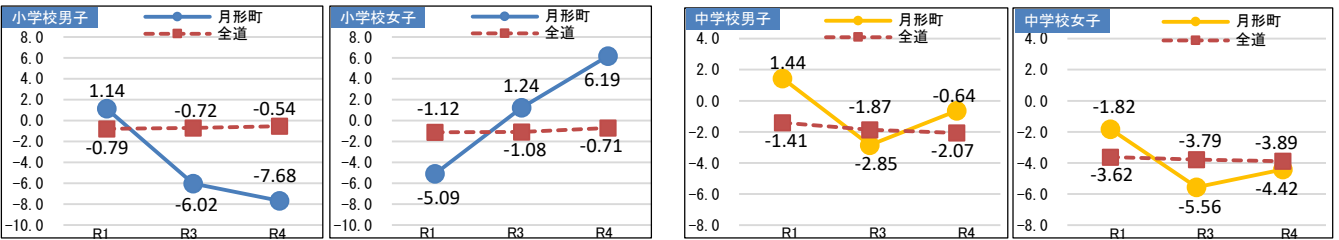
【中学校】



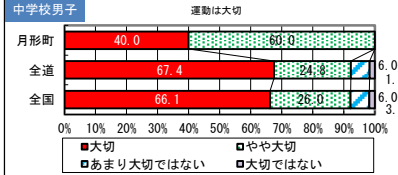
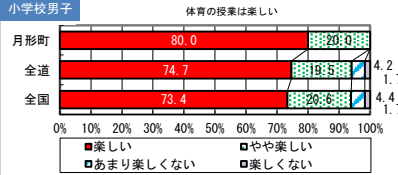
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



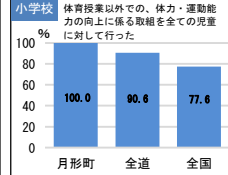
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

＜小学校＞  
学校全体で、体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を全ての児童に対して行ったことにより、男女ともに体育の授業は楽しいと思う児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校全体で、運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、男女ともに運動は大切だと思う生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【月形町の体力向上策】

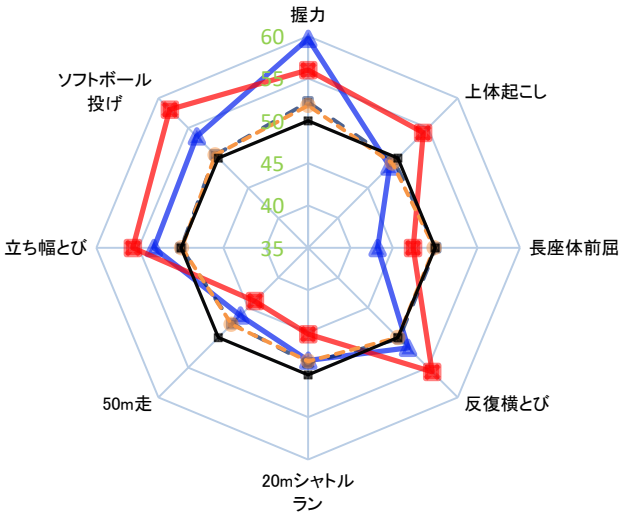
- ◎ 小学校低学年までを対象とした運動教室の開催
- ◎ 家庭や地域と連携を図った生活習慣の改善を図る取組

**浦臼町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数21名、中学校1校・生徒数11名)**  
 生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、浦臼町の各種目のデータは掲載していない

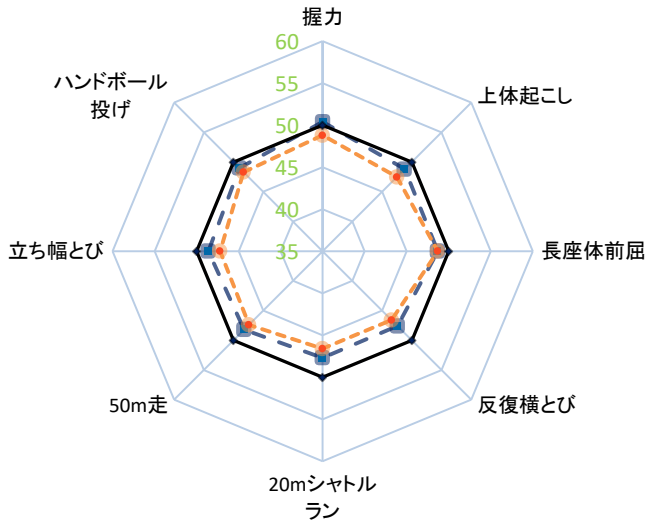
**【各種目の状況】**

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

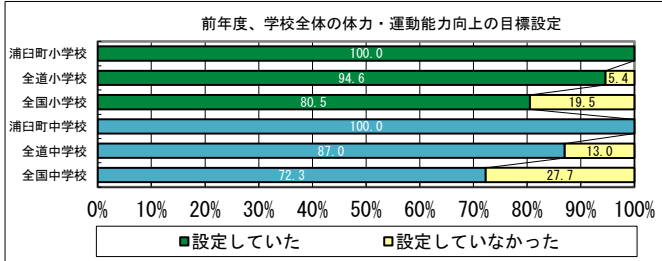
**【小学校】**



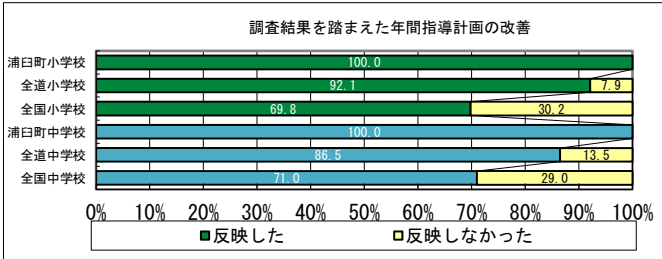
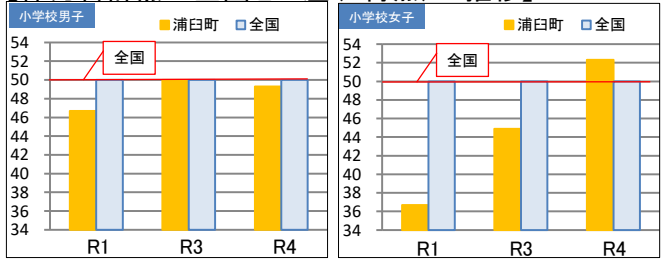
**【中学校】**



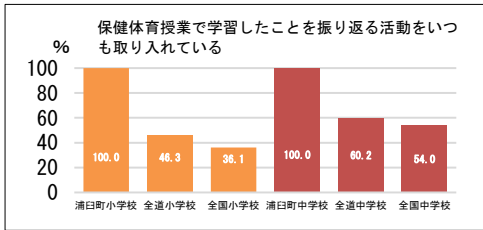
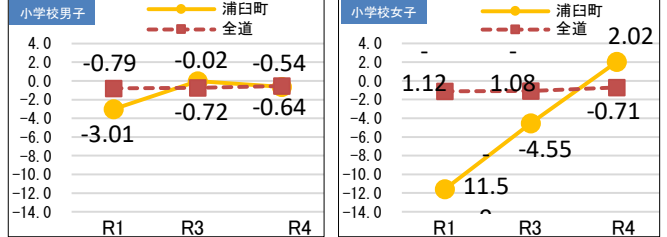
**【学校質問紙】**



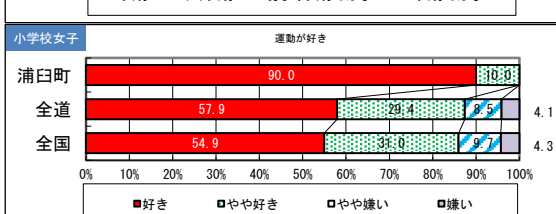
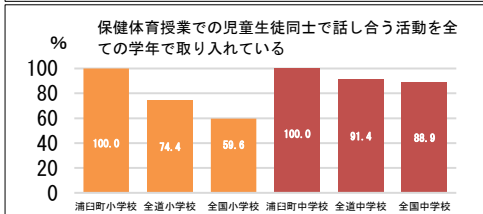
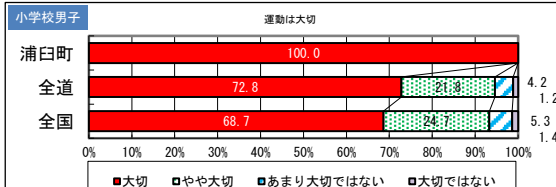
**【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】**



**【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】**



**【児童質問紙調査】**



**【分析】**

**<小学校>**  
 学校全体で、体育授業で学習したことを振り返る活動をいつも取り入れたり、体育授業での児童同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたりしたことにより、男子で運動は大切だと思ったり、女子で運動が好きだと思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

**<中学校>**  
 学校全体で、保健体育授業で学習したことを振り返る活動をいつも取り入れたり、保健体育授業での生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたりしたことにより、男女ともに保健体育の授業は楽しいと思う生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

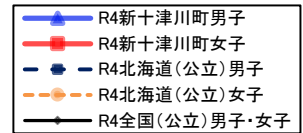
**【浦臼町の体力向上策】**

- ◎ 「子供たちの体力向上教室」を実施
- ◎ 新体力テストの結果分析を踏まえた体育授業の工夫改善
- ◎ 部活動と地域活動の連携による運動する機会の提供

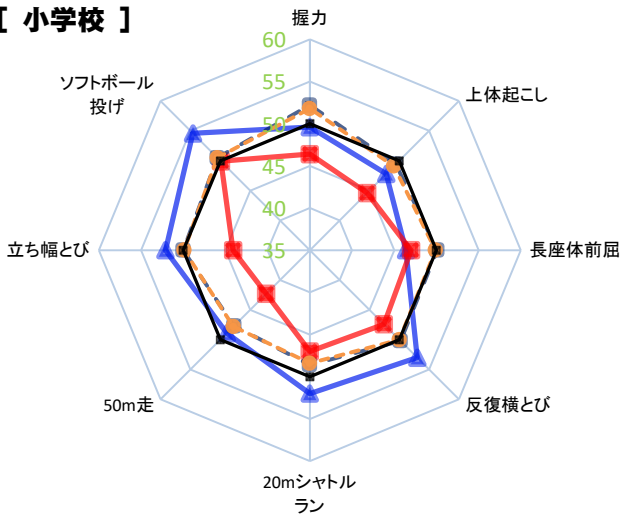
■ 新十津川町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数45名、中学校1校・生徒数49名)

【各種目の状況】

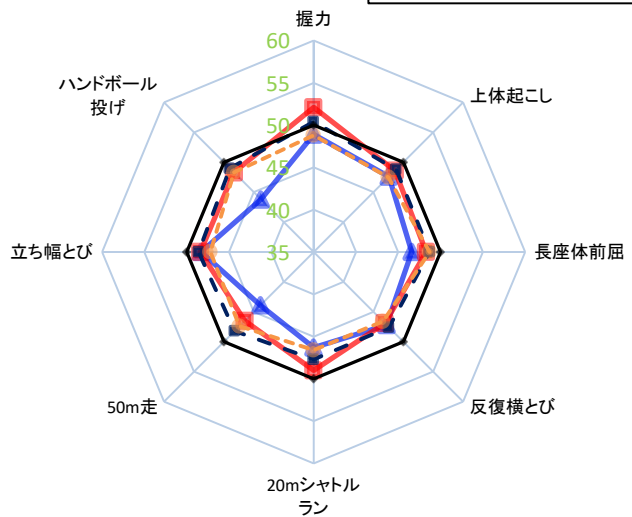
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



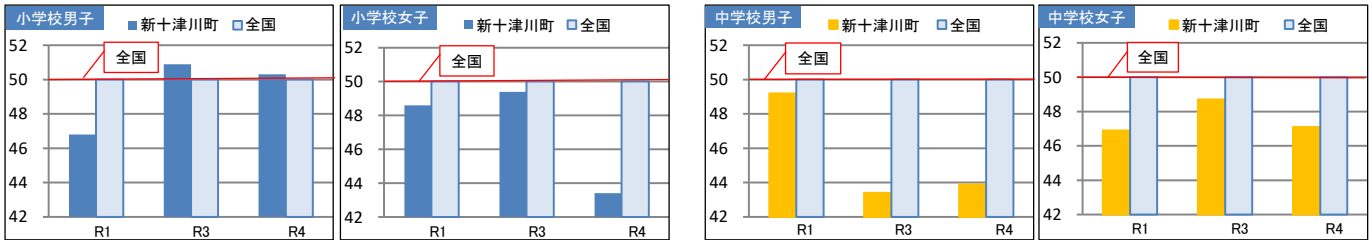
【小学校】



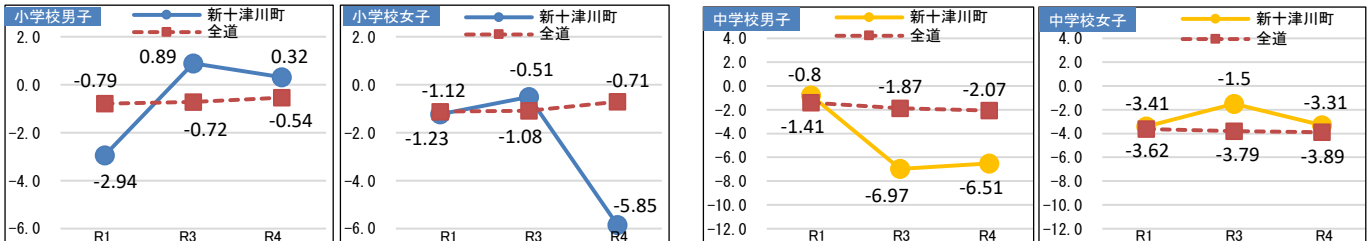
【中学校】



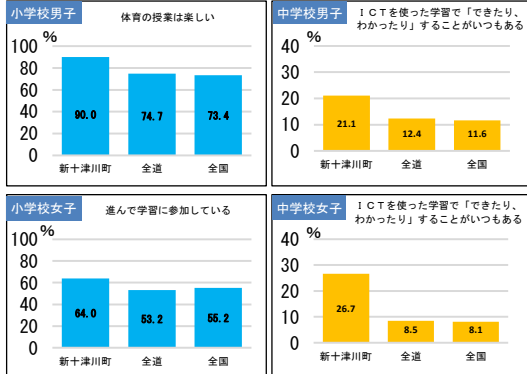
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



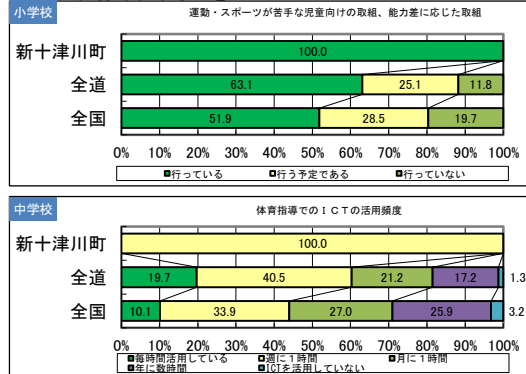
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
学校全体で、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、男子で体育の授業は楽しいと思ったり、女子で進んで学習に参加したりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

<中学校>  
学校全体で、週に1時間程度、体育指導でICTを活用したことにより、男女ともにICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると思う生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

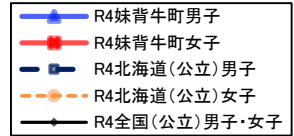
【新十津川町の体力向上策】

- ◎ 全学年・全種目実施の新体力テストの結果を踏まえた体育科及び保健体育科における授業改善の推進
- ◎ スポーツ少年団活動の充実など、運動に取り組むことができる機会の提供

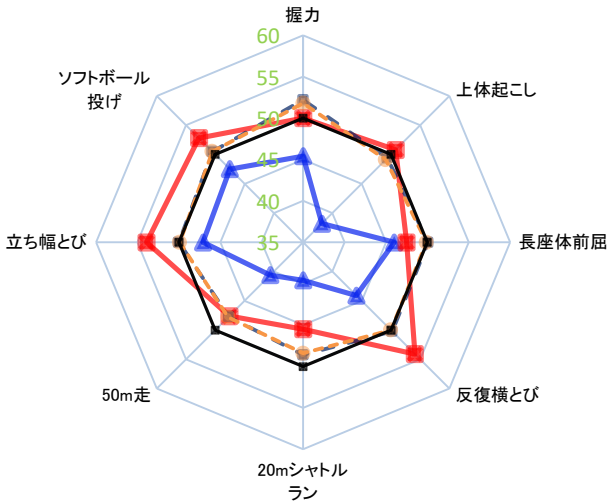
■ 妹背牛町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数20名、中学校1校・生徒数10名)

【各種目の状況】

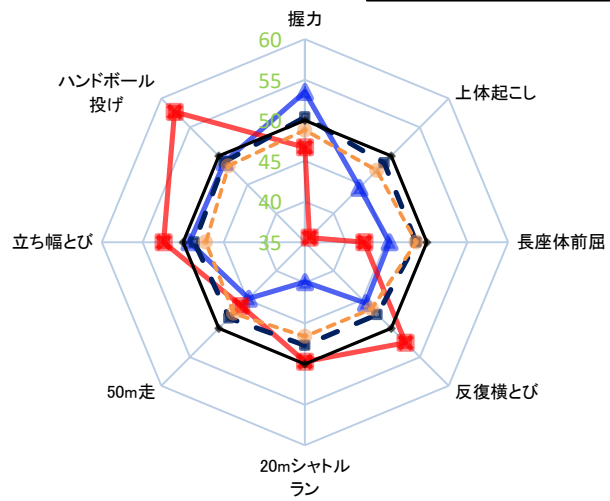
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



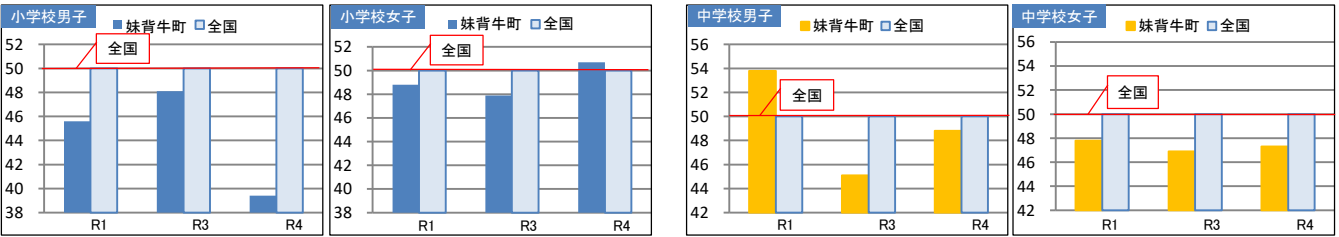
【小学校】



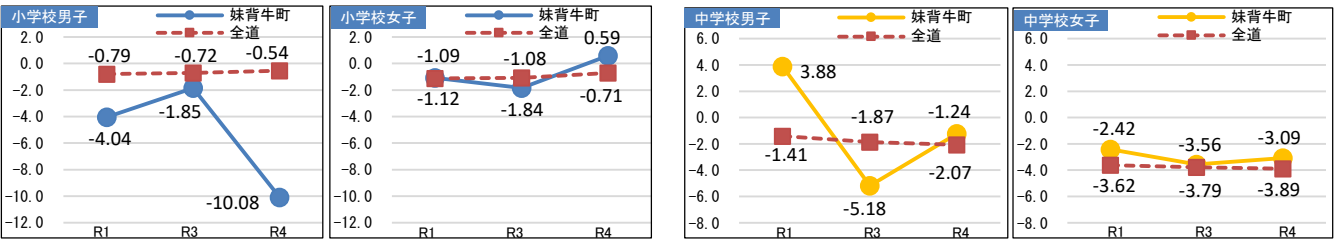
【中学校】



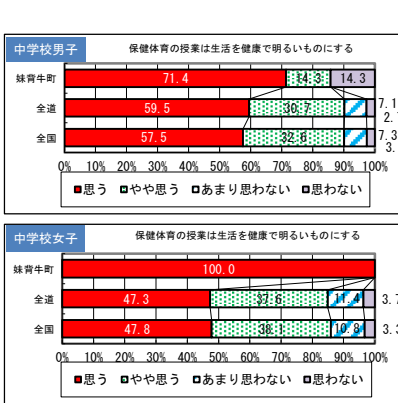
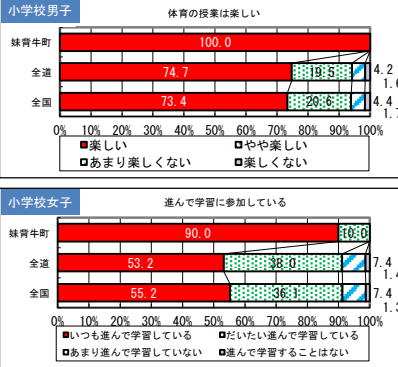
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



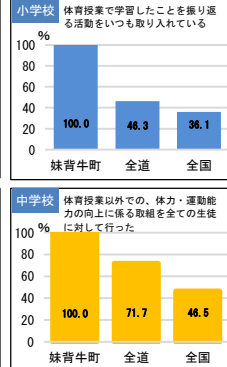
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

＜小学校＞  
学校全体で、体育授業で学習したことを振り返る活動をいつも取り入れたことにより、男子で体育の授業は楽しいと思ったり、女子で進んで学習に参加したりしている児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校全体で、体育授業以外の、体力・運動能力の向上に係る取組を全ての生徒に対して行ったことにより、男女ともに保健体育の授業は生活を健康で明るいものにすると思う生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【妹背牛町の体力向上策】

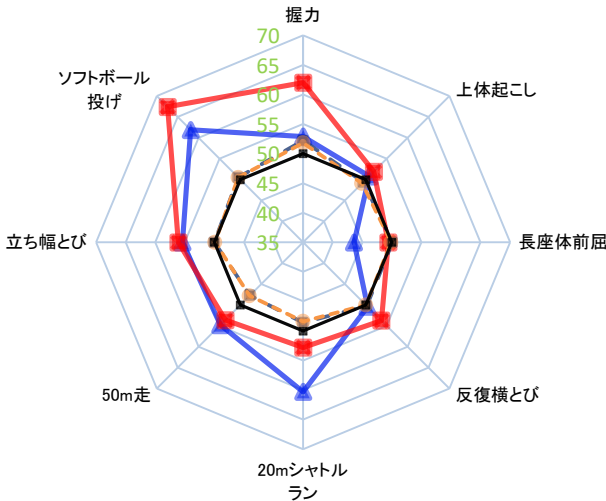
- ◎ 早寝早起きの習慣への啓発と安心・安全な学校給食を通した食育の充実等による、健やかな体の育成
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の継続実施による、発達の段階に応じた体力づくりの取組
- ◎ 少年団活動や中学校部活動への継続的支援

■ 秩父別町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数8名、中学校1校・生徒数30名)

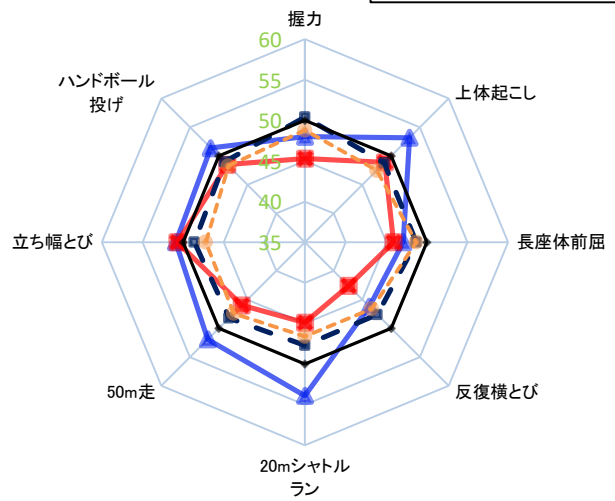
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

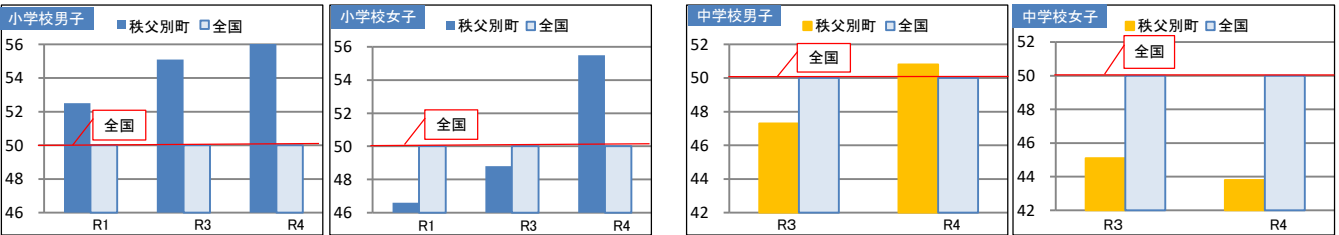
【小学校】



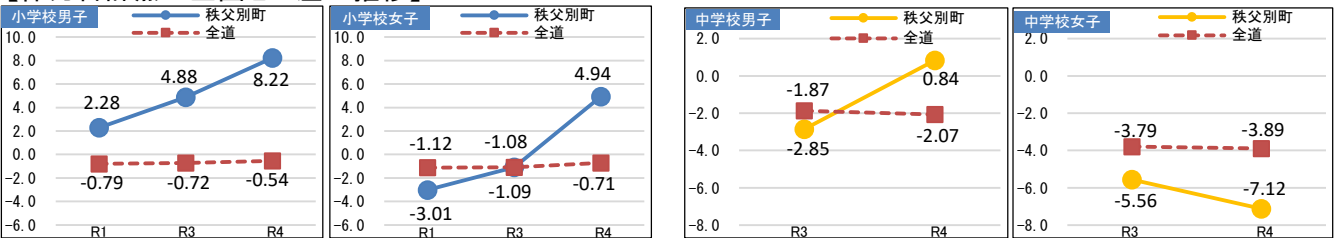
【中学校】



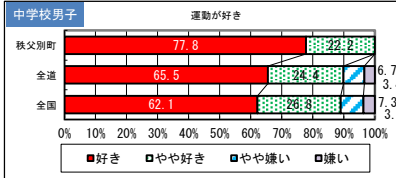
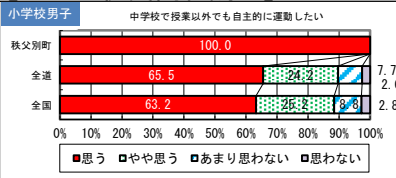
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



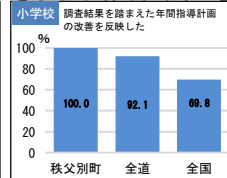
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

＜小学校＞  
学校全体で調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を反映したことにより、男子で中学校で授業以外でも自主的に運動したいと思ったり、女子で運動は大切だと思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校全体で、運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、男子で運動が好きだと思ったり、女子で運動は大切だと思ったりする生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【秩父別町の体力向上策】

- ◎ 健やかな体の育成はもとより生涯にわたって学び続ける意欲や態度の育成
- ◎ ファミリー・スポーツセンターなどを中心とした娯楽・教養施設や体育施設の一層の利用による、健康の促進

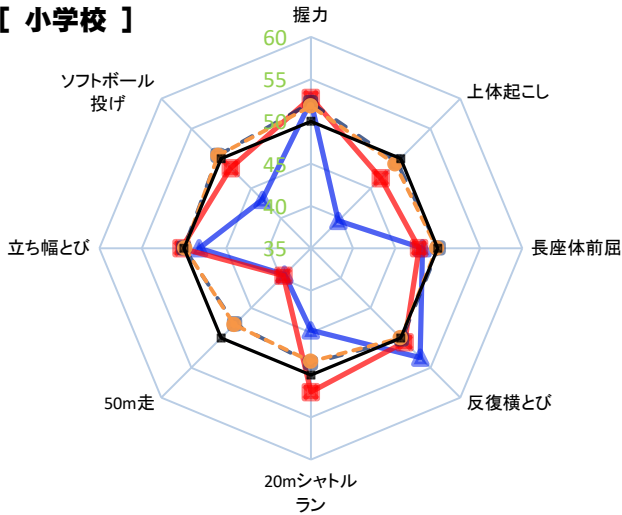
■ 雨竜町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数16名、中学校1校・生徒数14名)

【各種目の状況】

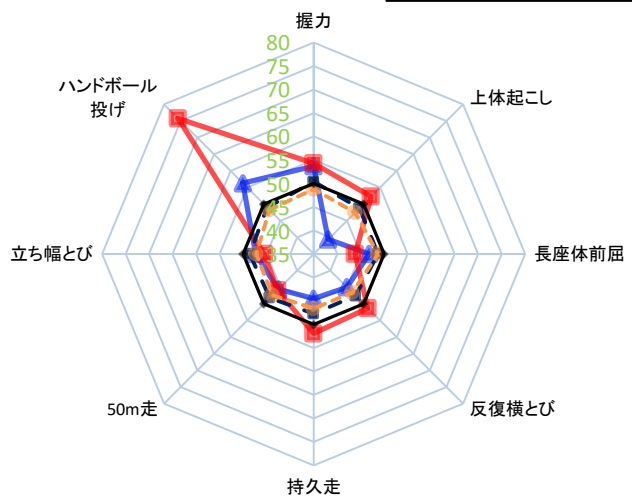
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



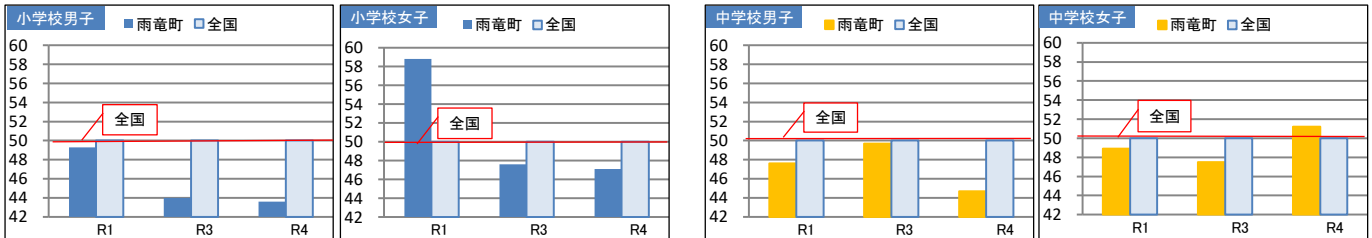
【小学校】



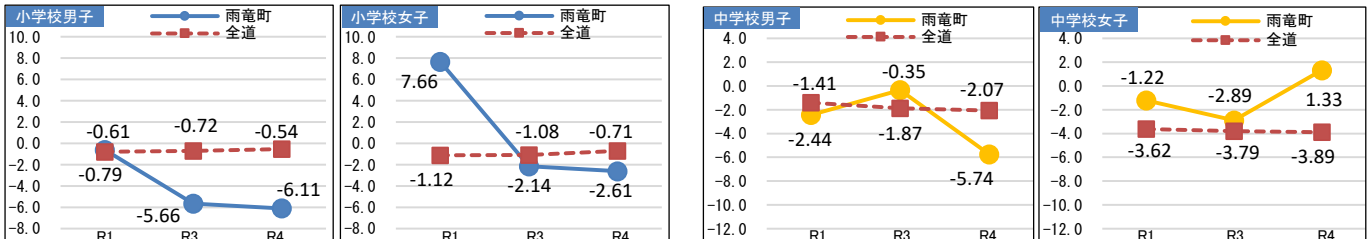
【中学校】



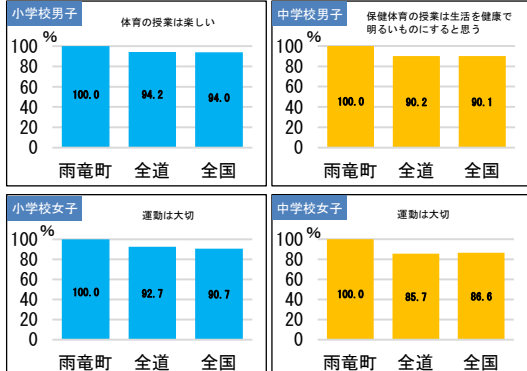
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



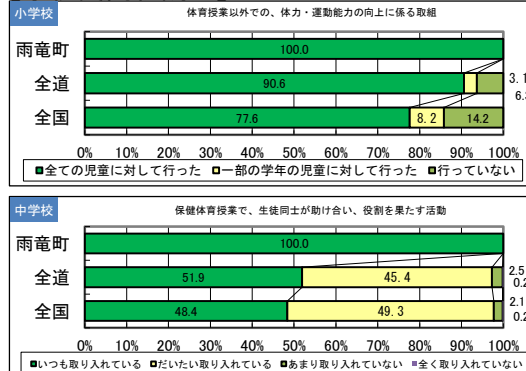
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
学校全体で、体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を全ての児童に対して行ったことにより、男子で体育の授業は楽しかったと思ったり、女子で運動は大切だと思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

<中学校>  
学校全体で、保健体育授業で、生徒同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れていることにより、男子で保健体育の授業は生活を健康で明るいものにすると思ったり、女子で運動は大切だと思ったりする生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

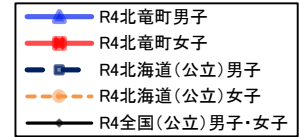
【雨竜町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた体力向上に向けた取組の推進
- ◎ 北海道日本ハムファイターズ球団との連携による運動体験教室の実施
- ◎ 経年変化を見る化した新体力テストの全学年実施

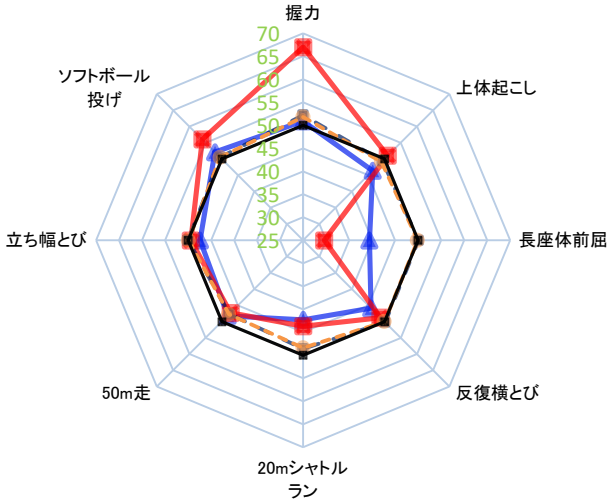
■ 北竜町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数11名、中学校1校・生徒数10名)

【各種目の状況】

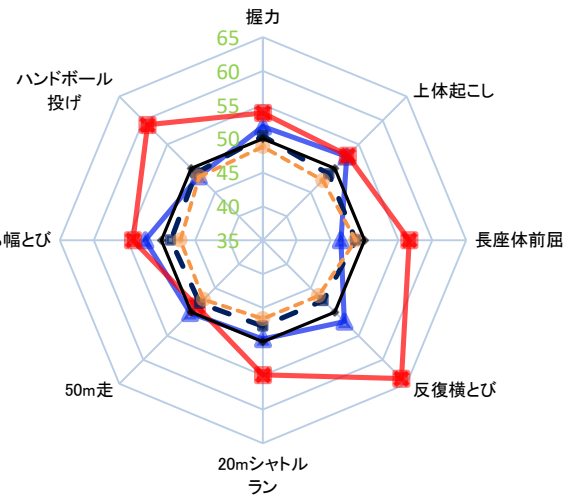
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



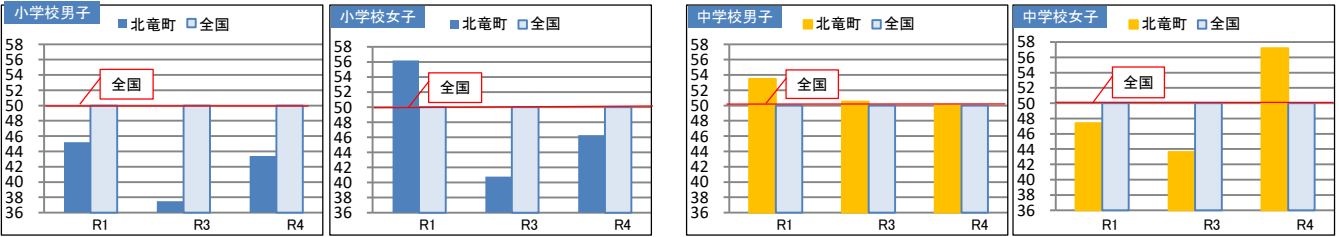
【小学校】



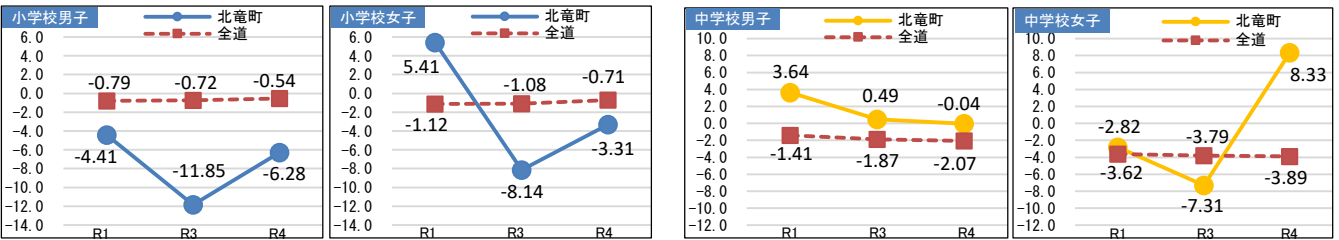
【中学校】



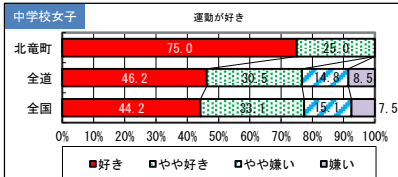
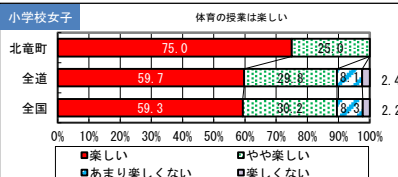
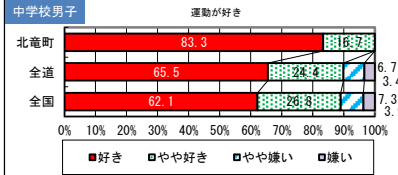
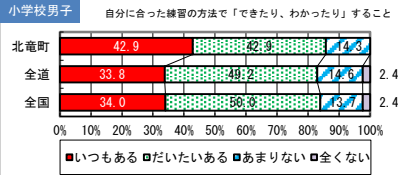
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



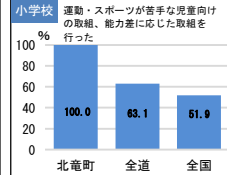
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】

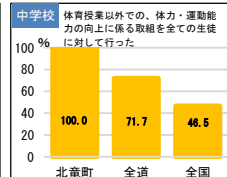


【学校質問紙調査】



【分析】

＜小学校＞  
学校全体で、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、男子で自分に合った練習方法で「できたり、わかったり」することがいつもあったり、女子で体育の授業は楽しいと思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。



＜中学校＞  
学校全体で、体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を全ての生徒に対して行ったことにより、男女ともに運動が好きだと思う生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【北竜町の体力向上策】

- ◎ 教育活動全体を通じた体力、運動能力の向上に向けた取組の推進
- ◎ スポーツ少年団や部活動における体力向上に向けた取組の支援
- ◎ 基本的な生活習慣の定着を図る「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進と生活リズムチェックシートの活用
- ◎ プロのスポーツ経験者を招き、各種スポーツ技術の習得を図る「アスリート塾」の実施

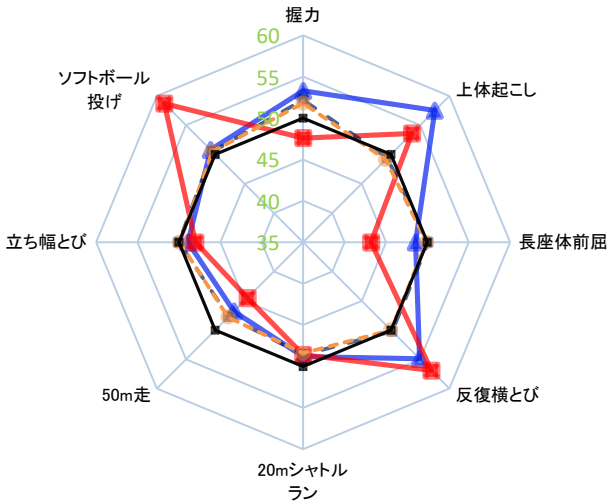
■ 沼田町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数13名、中学校1校・生徒数25名)

【各種目の状況】

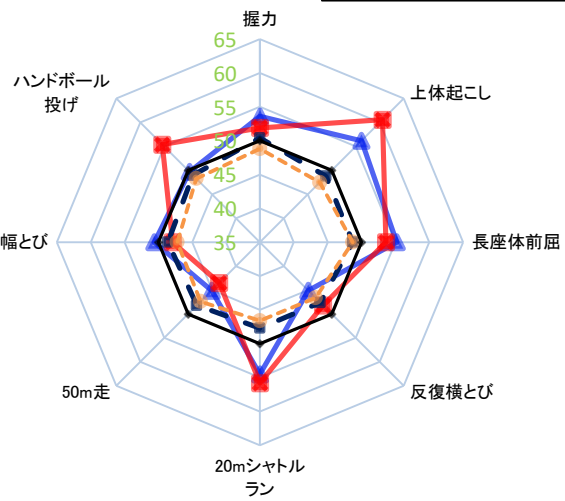
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



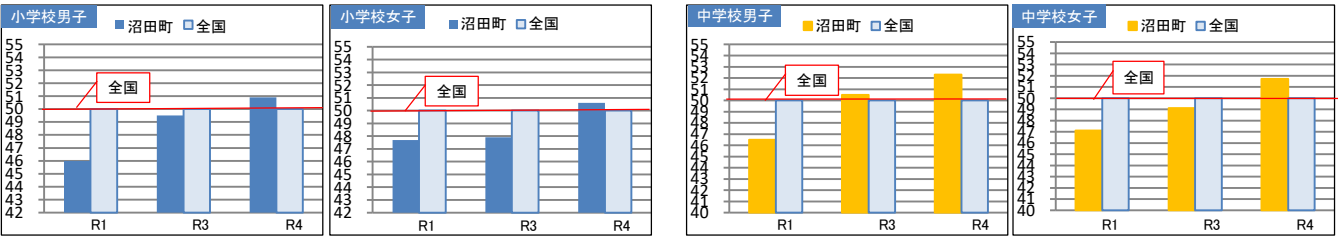
【小学校】



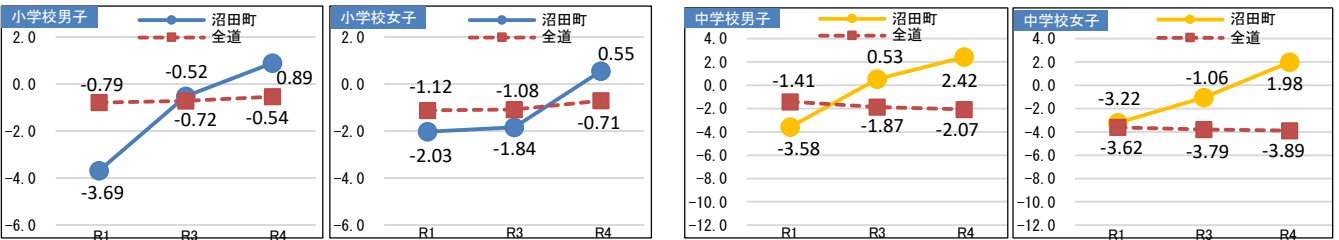
【中学校】



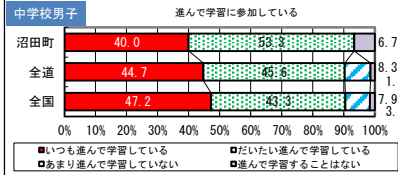
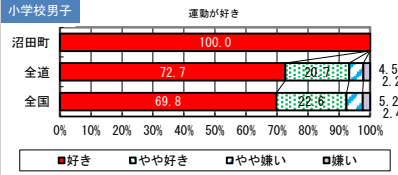
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



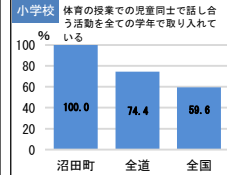
【体力合計点の全国との差の推移】



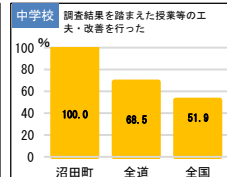
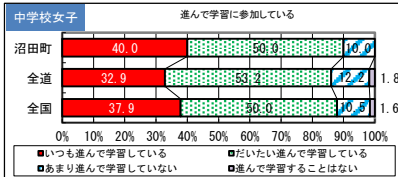
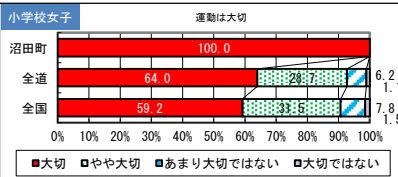
【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



＜小学校＞  
学校全体で、体育の授業での児童同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れていることにより、男子で運動が好きだと思ったり、女子で運動は大切だと思ったりする児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。



＜中学校＞  
学校全体で、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、男女ともにいつも進んで学習に参加している、だいたい進んで学習していると思う生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【沼田町の体力向上策】

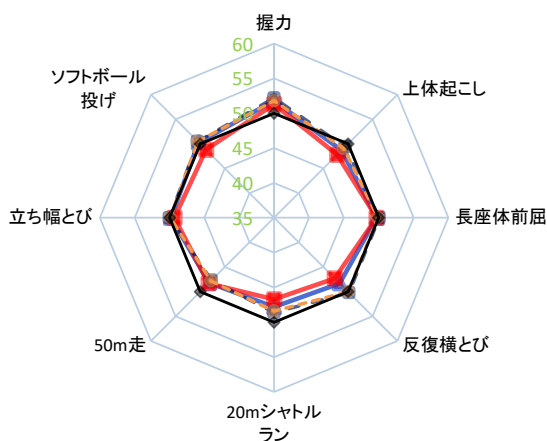
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上に向けた取組の検討及び促進
- ◎ 家庭や地域と連携を図った運動機会を確保する取組の充実



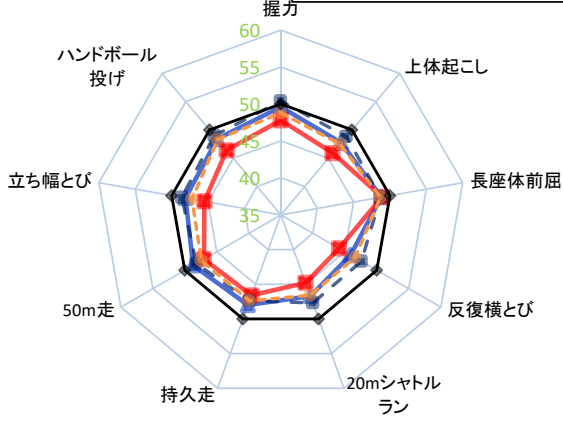
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】



【中学校】

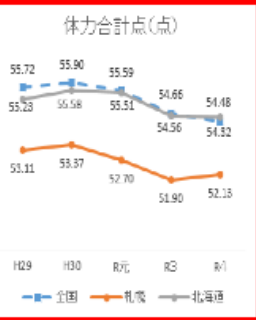


【実技の状況(体力合計点)の経年変化】

○小5男子



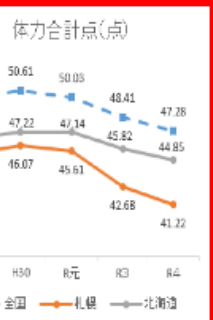
○小5女子



○中2男子



○中2女子



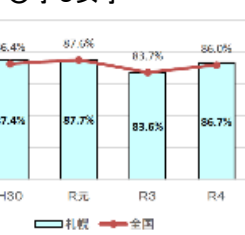
【質問紙調査の経年変化】

「運動やスポーツをすることが好き」と回答する児童生徒の割合

○小5男子



○小5女子



○中2男子



○中2女子



・体力合計点については、令和3年度までと比べて小学校は下げ止まり、男女ともに改善の兆しが見られている一方で、中学校は男女とも低下傾向が続いている。

・実技の状況について全国平均と比較すると、小中男女ともにほとんどの種目で全国平均に届いていない状況である。

・「運動やスポーツをすることが好き」「体育の授業は楽しい」と回答した児童生徒の割合は、全国平均と同様の7割5分～9割程度の水準を維持している。

・小中男女ともに「運動が好き・やや好き」と考えている児童生徒ほど、進学後や中学校卒業後に自主的に運動したいと思う割合が高い傾向が見られる。

【札幌市の体力向上策】

<さっぽろっ子「健やかな体」の育成プランに基づく取組の推進>

○授業の充実

子どもが運動の楽しさに触れ、感染予防に配慮した学習を推進する。

◎授業以外の運動機会を創出する取組の充実

三間(仲間・時間・空間)の創出により、子どもの運動機会の充実を図る取組を推進する。

○大学との連携による調査研究

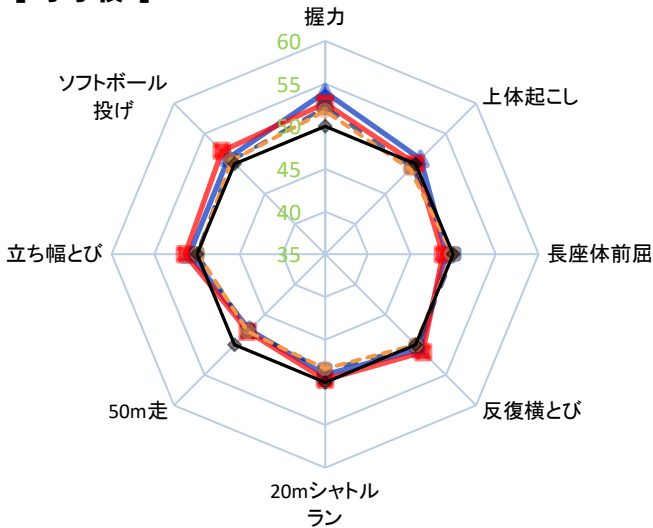
体力・運動能力の向上、運動習慣の形成、授業改善に係る大学との調査研究の深化を図る。

■ 江別市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校17校・児童数952名、中学校8校・生徒数880名)

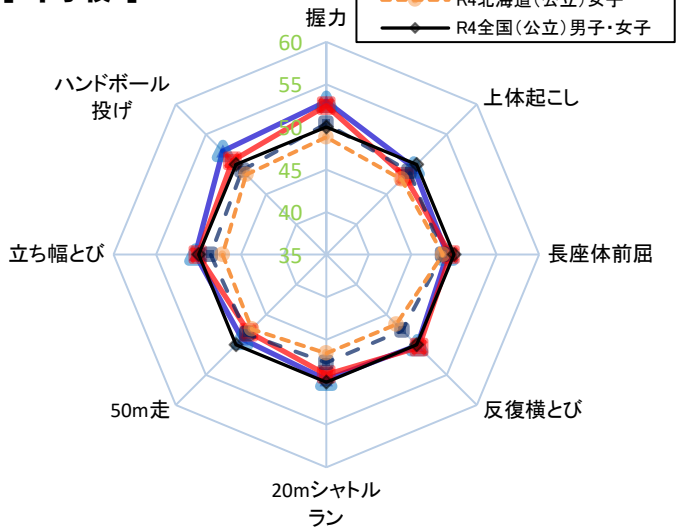
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

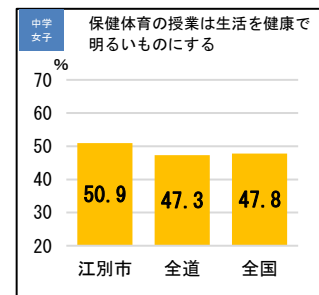
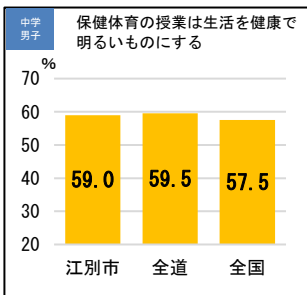
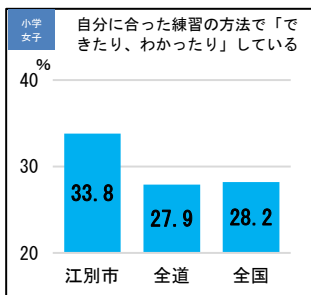
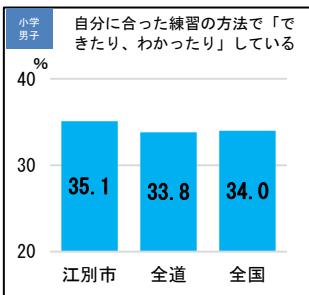
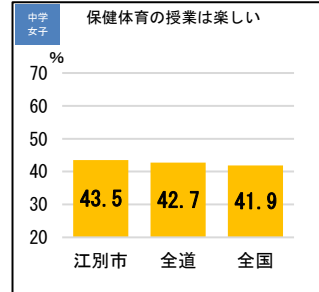
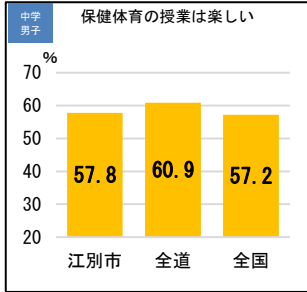
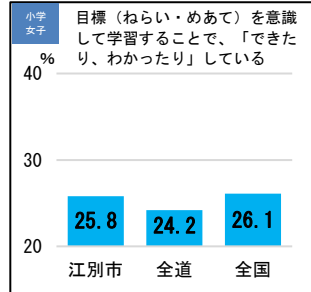
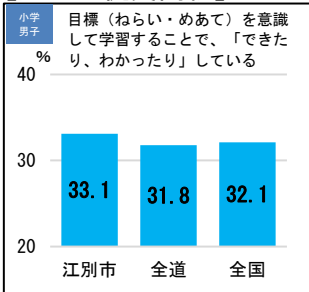
【小学校】



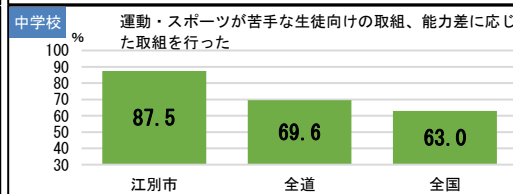
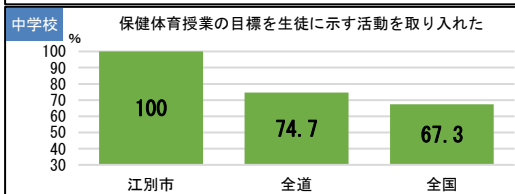
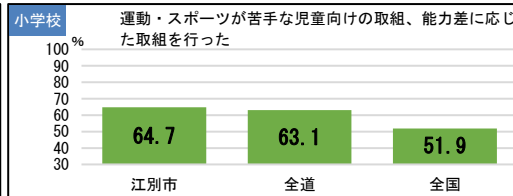
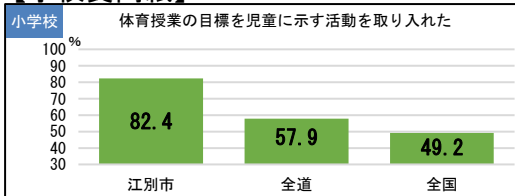
【中学校】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育授業の目標を児童に示す活動を取り入れるとともに、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組や能力差に応じた取組を行ったことにより、「自分に合った練習の方法でできたり、わかったりしている」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育授業の目標を生徒に示す活動を取り入れるとともに、運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組や能力差に応じた取組を行ったことにより、「保健体育の授業は楽しい」「保健体育の授業は生活を健康で明るいものにする」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【江別市の体力向上策】

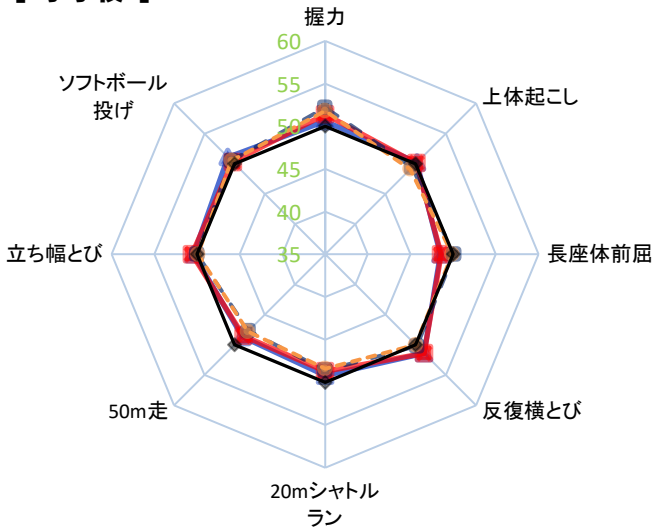
- ◎ 中学校区単位での乗り入れ授業など小中一貫教育に基づいた体力改善プランの実施
- ◎ 新体カテストの結果を踏まえたICTの活用などによる授業改善の推進
- ◎ 大学との連携による出前授業の実施と地域人材の活用

■ 千歳市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校18校・児童数886名、中学校9校・生徒数833名)

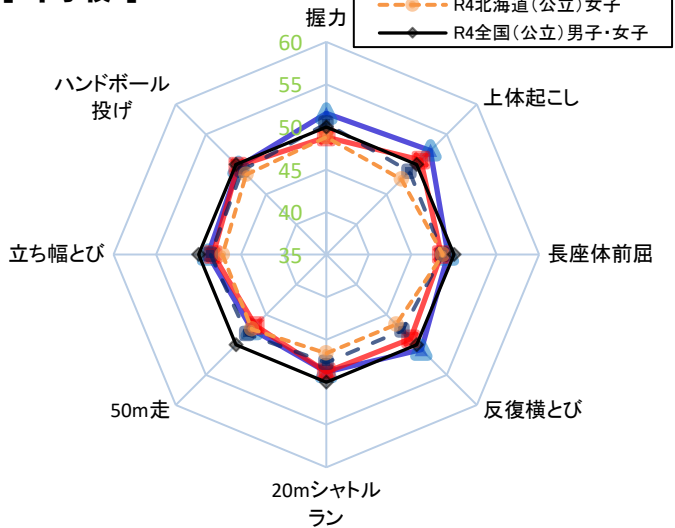
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

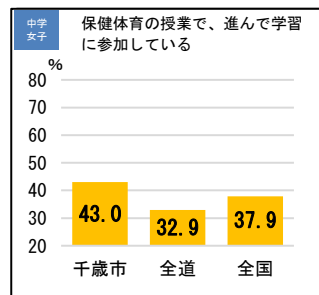
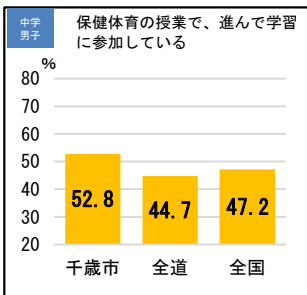
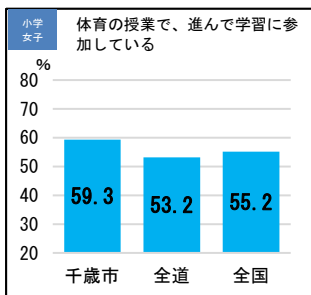
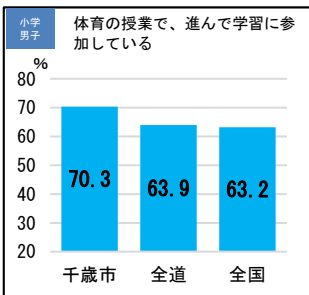
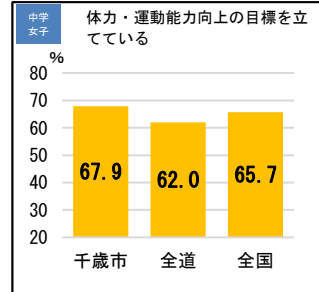
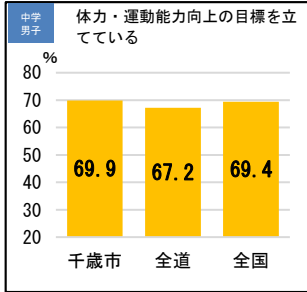
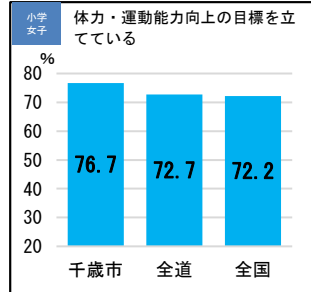
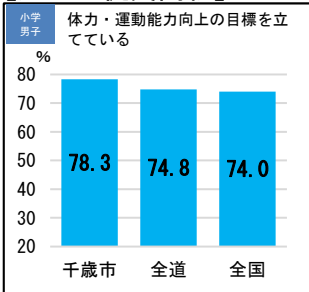
【小学校】



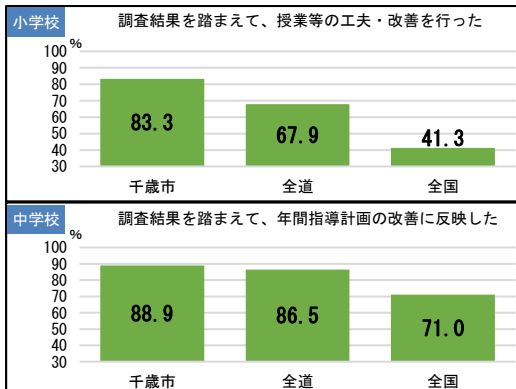
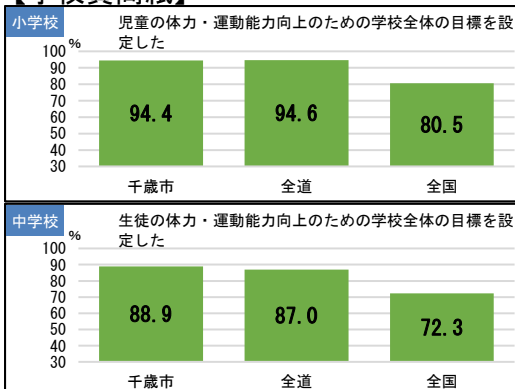
【中学校】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、児童の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定するとともに、調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行ったことにより、「体力・運動能力向上の目標を立てている」「体育の授業で、進んで学習に参加している」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

<中学校>  
各学校において、生徒の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定するとともに、調査結果を踏まえて年間指導計画の改善に反映したことにより、「体力・運動能力向上の目標を立てている」「保健体育の授業で、進んで学習に参加している」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【千歳市の体力向上策】

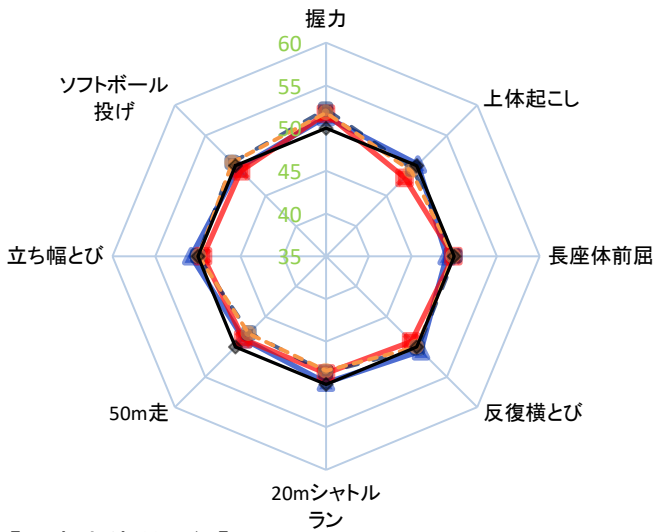
- ◎ 新体カテストの実施方法改善に向けた実践事業の委託及びリーフレットの作成・配付
- ◎ 新体カテストの結果などを踏まえた効果的な体育活動の普及・啓発

■ 恵庭市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校8校・児童数586名、中学校5校・生徒数549名)

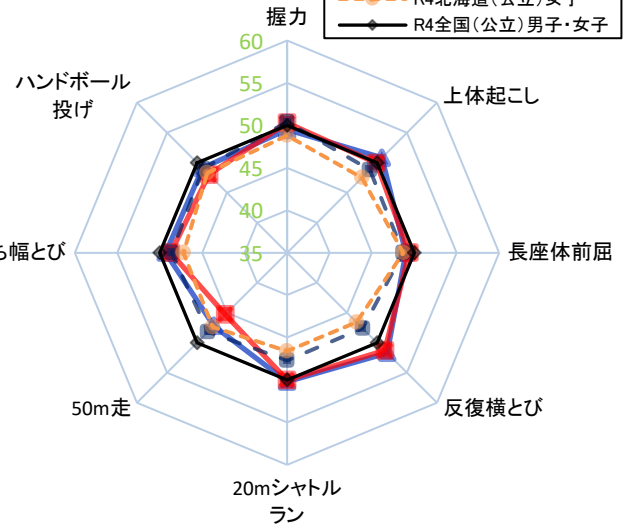
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

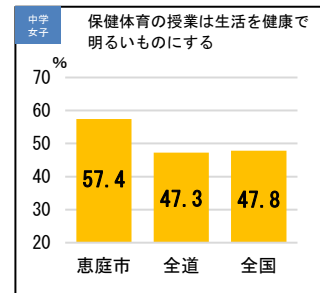
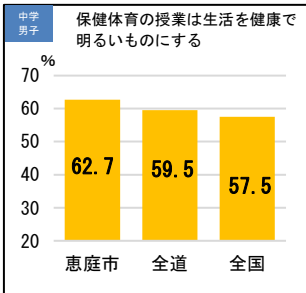
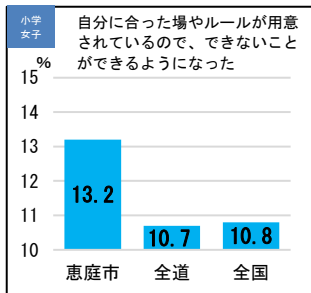
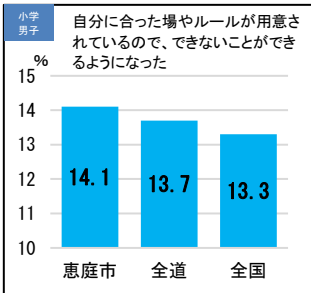
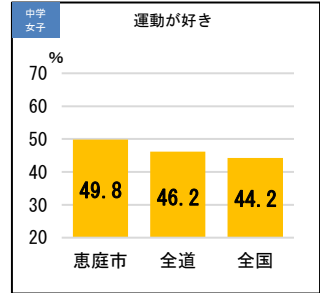
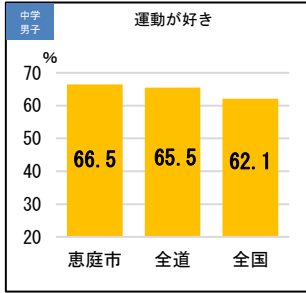
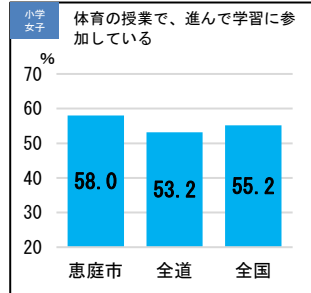
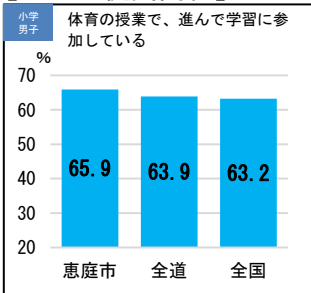
【小学校】



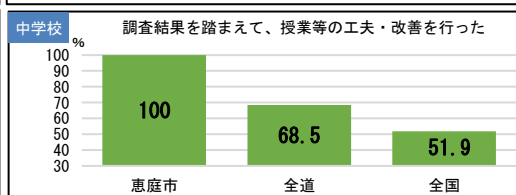
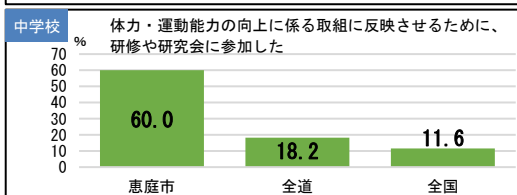
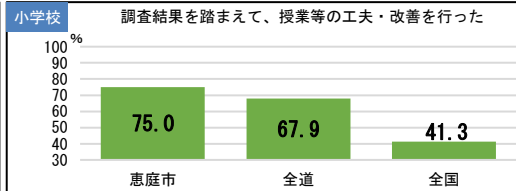
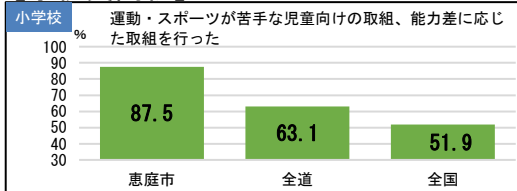
【中学校】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組や能力差に応じた取組を行うとともに、調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行ったことにより、「体育の授業で、進んで学習に参加している」「自分に合った場やルールが用意されているので、できないことができるようになった」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

<中学校>  
各学校において、教師が自校の体力・運動能力の向上のために、校内外の研修や研究会に、積極的に参加するとともに、調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったことにより、「運動が好き」「保健体育の授業は生活を健康で明るいものにする」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【恵庭市の体力向上策】

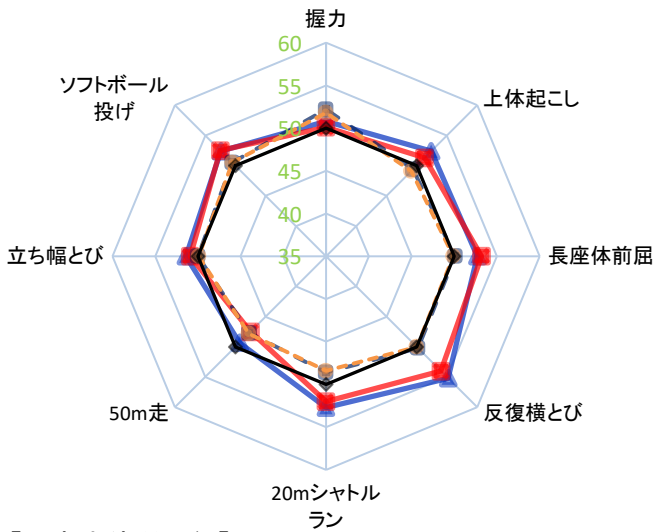
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査等の分析結果を踏まえた、各学校の体力向上プランの検証・改善
- ◎ 地域と連携を図った、運動機会の確保や、運動習慣の定着に向けた取組の推進

■ 北広島市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校9校・児童数474名、中学校7校・生徒数458名)

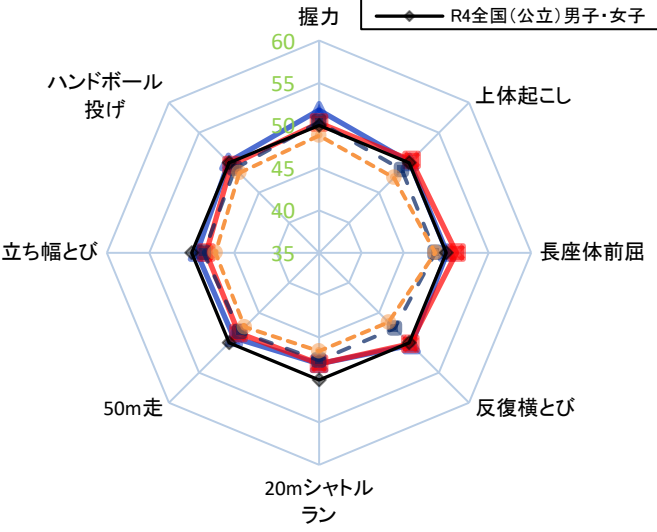
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

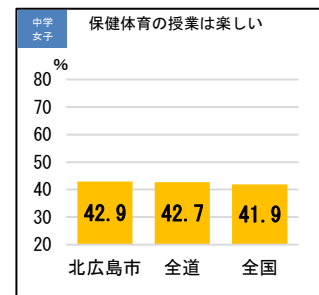
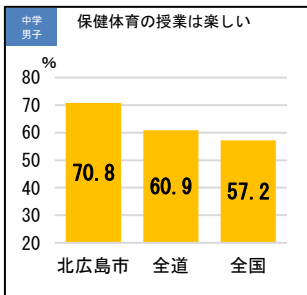
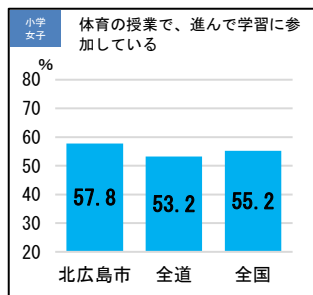
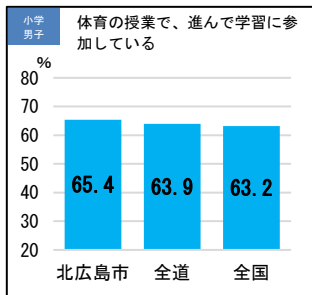
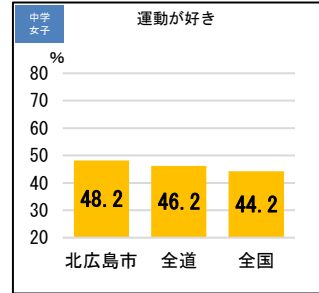
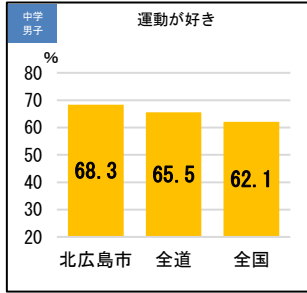
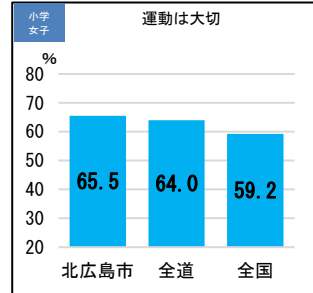
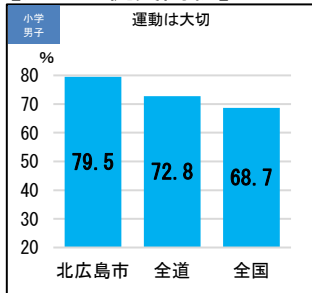
【小学校】



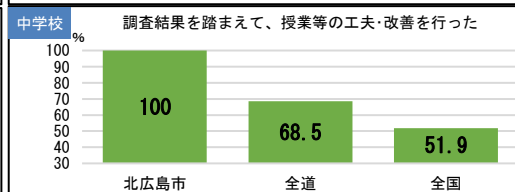
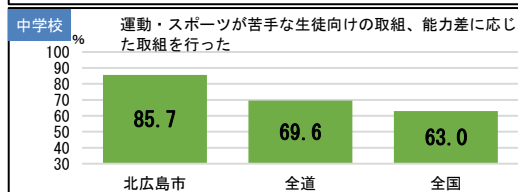
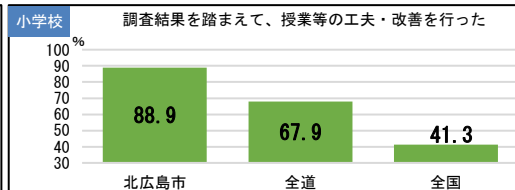
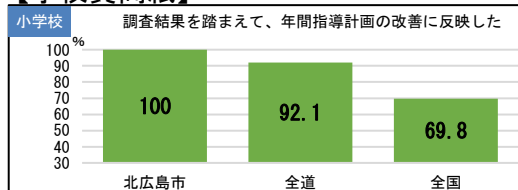
【中学校】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、調査結果を踏まえて年間指導計画の改善に反映するとともに、授業等の工夫・改善を行ったことにより、男女ともに全8種目中7種目において全国平均を上回るとともに、「運動は大切」「体育の授業で、進んで学習に参加している」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

<中学校>  
各学校において、運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組や能力差に応じた取組を行うとともに、調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行ったことにより、「運動が好き」「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【北広島市の体力向上策】

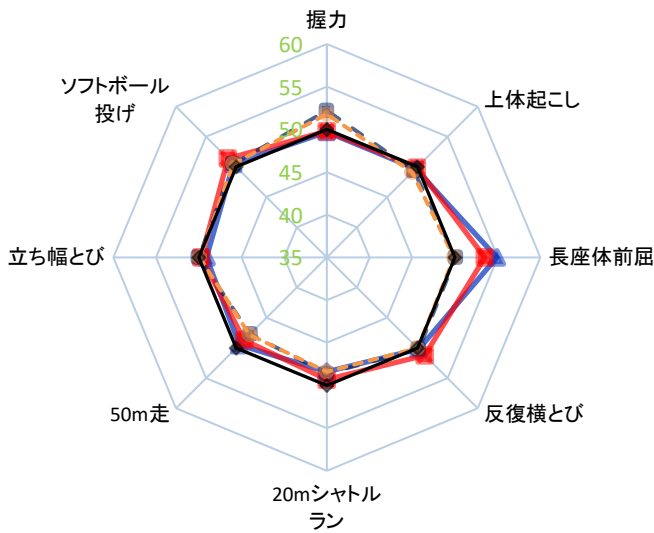
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた体力向上プランの作成
- ◎ 体育科・保健体育科の授業改善や日常における体力づくりの充実
- ◎ 小中一貫教育に基づく、小中学校が連携した体力向上の取組の推進

■ 石狩市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校10校・児童数466名、中学校7校・生徒数498名)

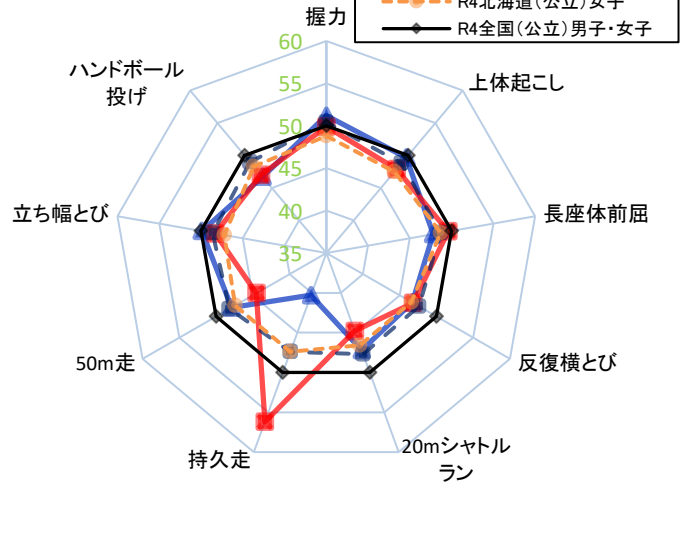
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

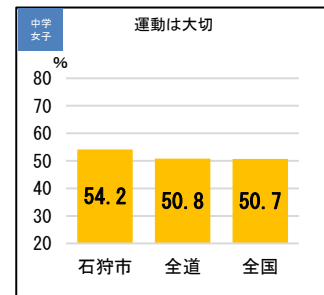
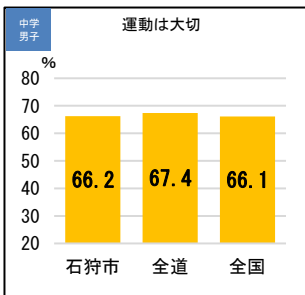
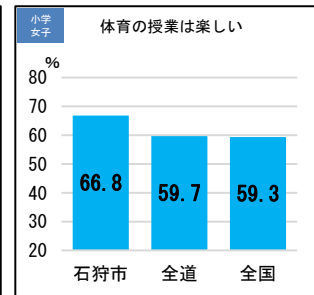
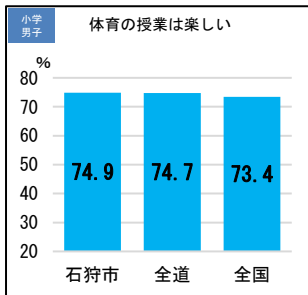
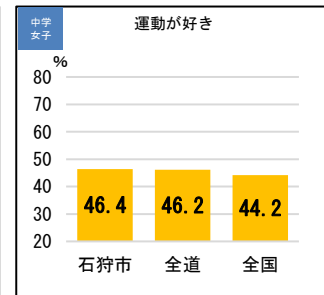
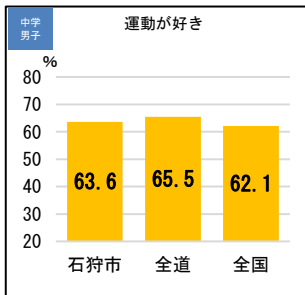
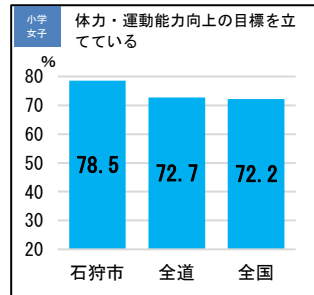
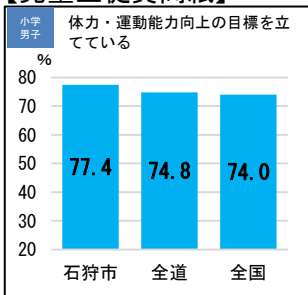
【小学校】



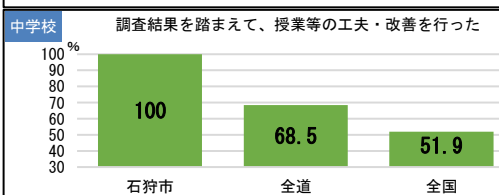
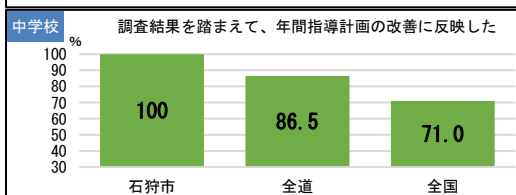
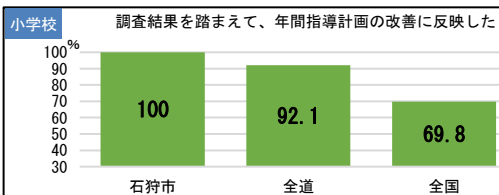
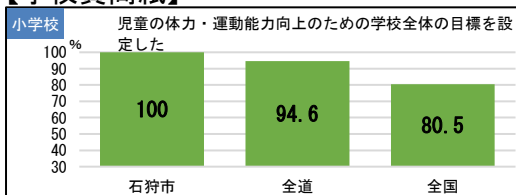
【中学校】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、児童の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定するとともに、調査結果を踏まえて年間指導計画の改善に反映したことにより、「体力・運動能力向上の目標を立てている」「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえて年間指導計画の改善に反映するとともに、授業等の工夫・改善を行ったことにより、「運動が好き」「運動は大切」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【石狩市の体力向上策】

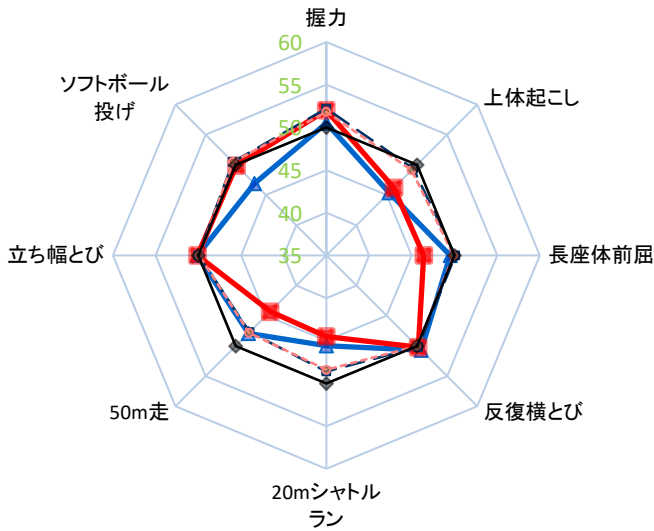
- ◎ 体力・運動能力向上に向けた各学校独自の「体力の1校1プラン」の推進
- ◎ 基本的な生活習慣の定着(いしかりふれあいDAY、生活リズムチェックシート等による家庭との連携)

■ 当別町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数82名、中学校2校・生徒数100名)

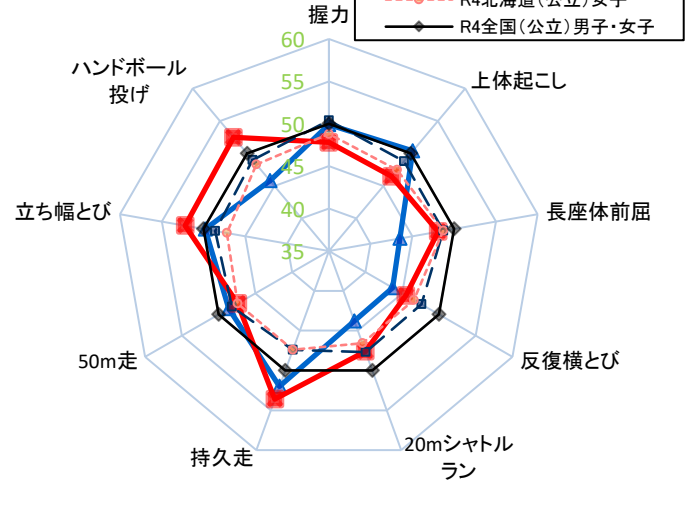
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

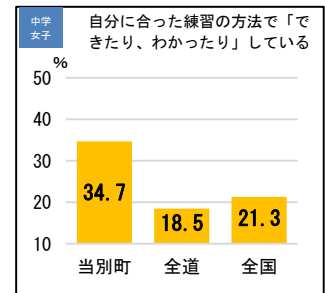
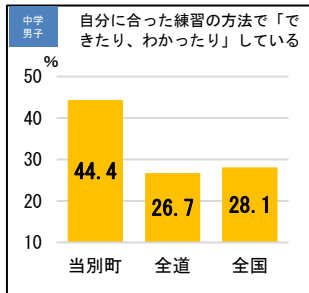
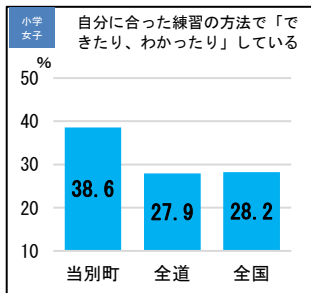
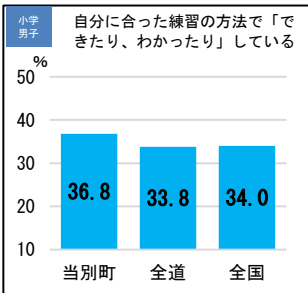
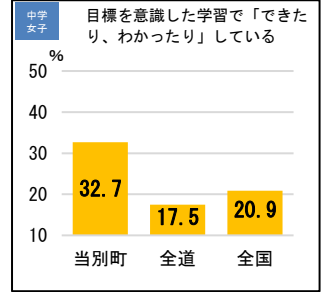
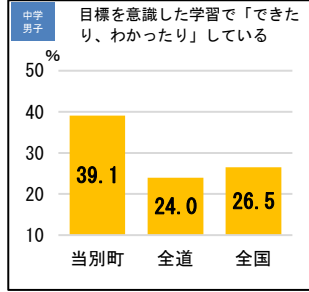
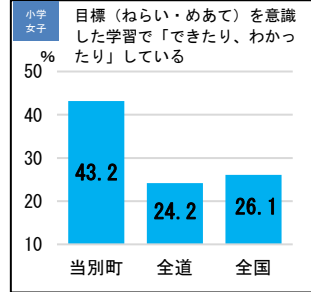
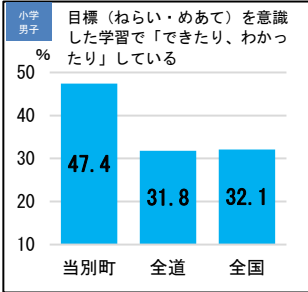
【小学校】



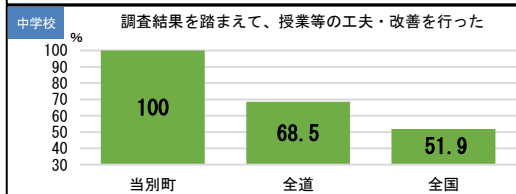
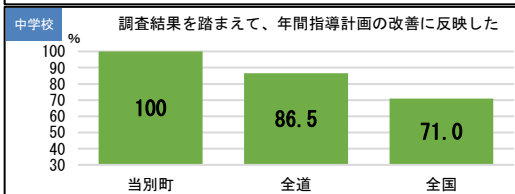
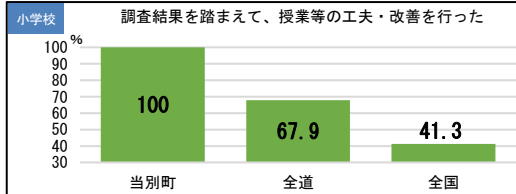
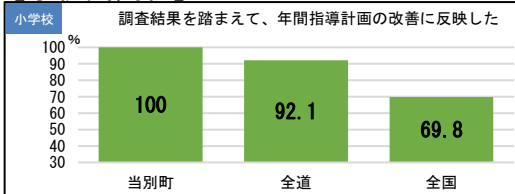
【中学校】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映するとともに、授業等の工夫・改善を行ったことにより、体育の授業で「目標を意識した学習でできたり、わかったりしている」「自分に合った練習の方法でできたり、わかったりしている」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映するとともに、授業等の工夫・改善を行ったことにより、保健体育の授業で「目標を意識した学習でできたり、わかったりしている」「自分に合った練習の方法でできたり、わかったりしている」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【当別町の体力向上策】

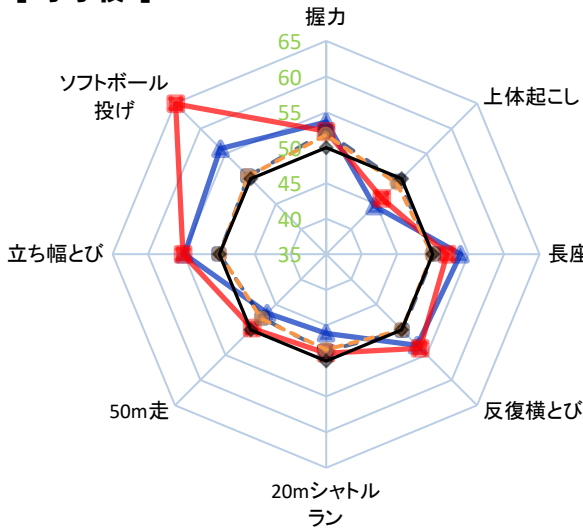
- ◎ 各学校の取組: 1校1実践の取組、どさん子元気アップチャレンジへの参加
- ◎ 地域の教育力の活用: ふれ・スポ・とうべつ(総合型地域スポーツクラブ)による実技指導の実施
- ◎ 町教委の支援: 体育専科教員などの人材確保、健康な体づくりのための食育指導の充実

■ 新篠津村内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数19名、中学校1校・生徒数18名)

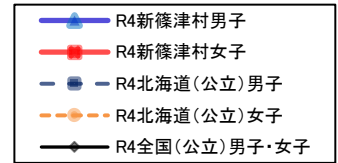
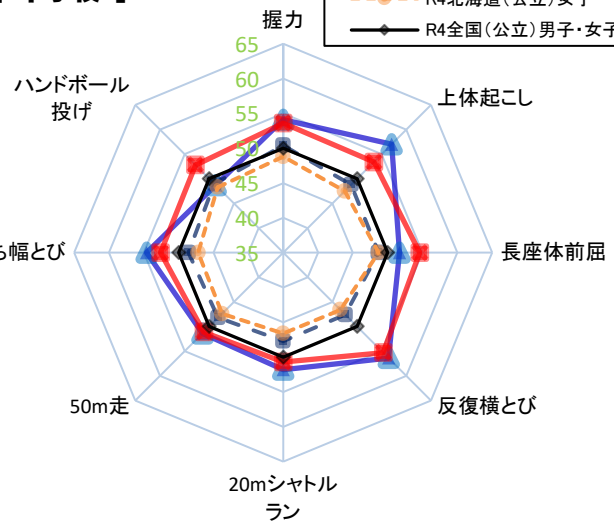
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

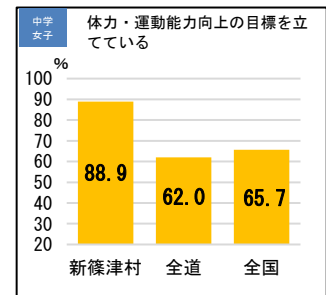
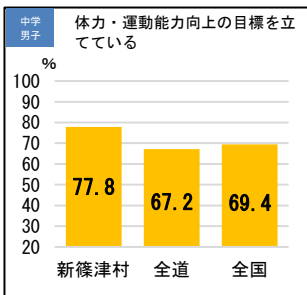
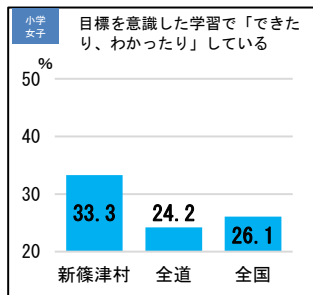
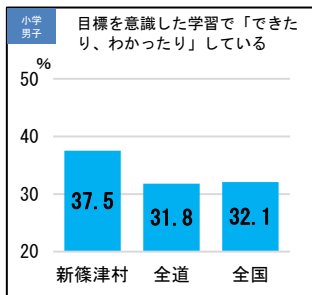
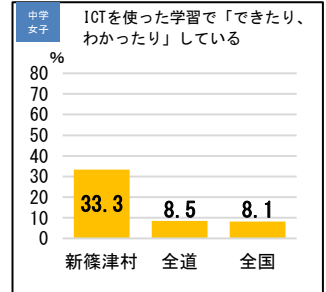
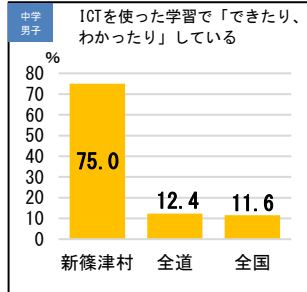
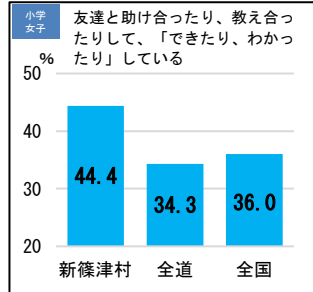
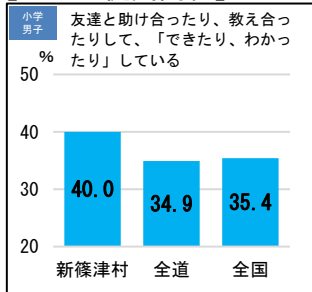
【小学校】



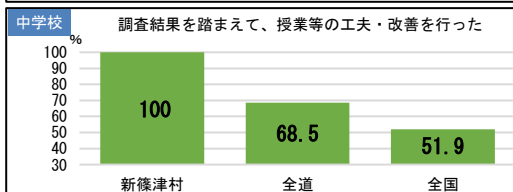
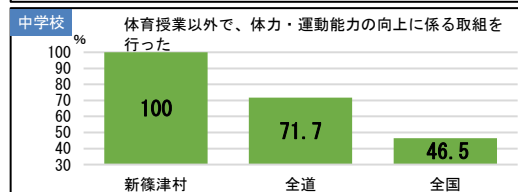
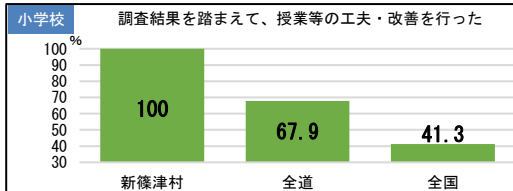
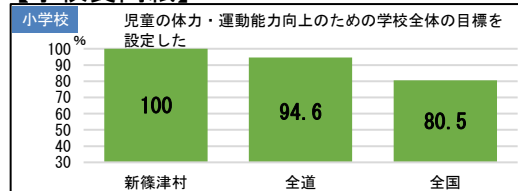
【中学校】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
児童の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定するとともに、調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行ったことにより、「友達と助け合ったり、教え合ったりすることにより、『できたり、わかったり』している」「目標を意識した学習で『できたり、わかったり』している」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

<中学校>  
体育授業以外で、体力・運動能力の向上に係る取組を行うとともに、調査結果を踏まえて授業の工夫・改善を行ったことにより、「ICTを使った学習で『できたり、わかったり』している」「体力・運動能力向上の目標を立てている」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

- ◎ 授業改善の推進及びICTを活用した学習活動の充実
- ◎ 小中一貫教育に基づく、小中学校が連携した体力向上の取組の推進

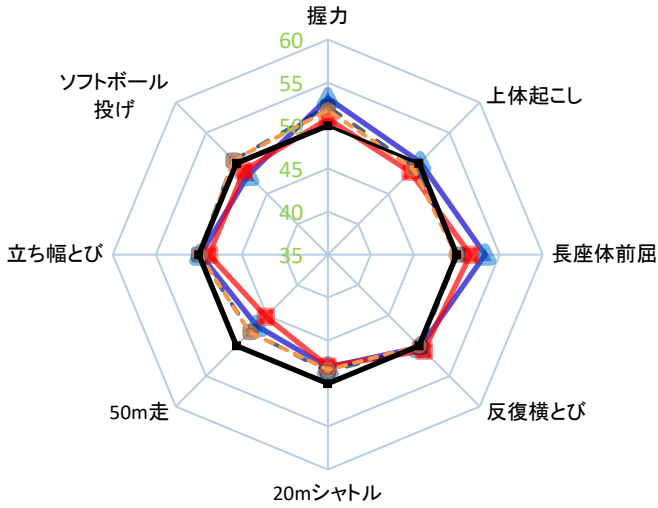


■ 小樽市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校17校・児童数691名、中学校12校・生徒数728名)

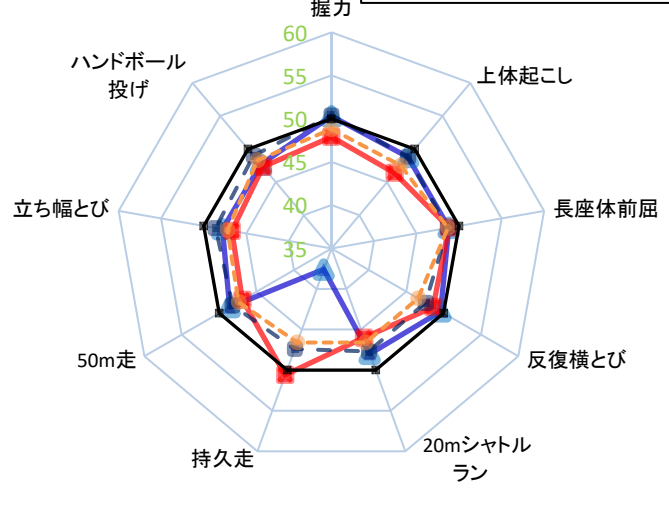
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

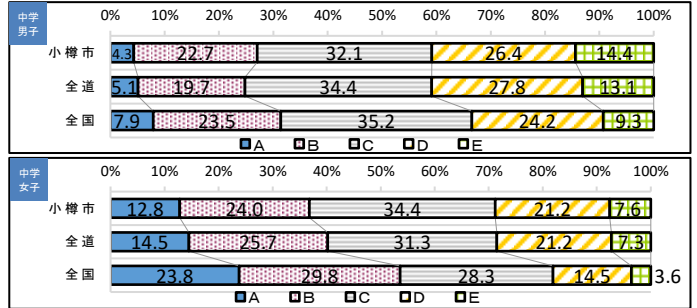
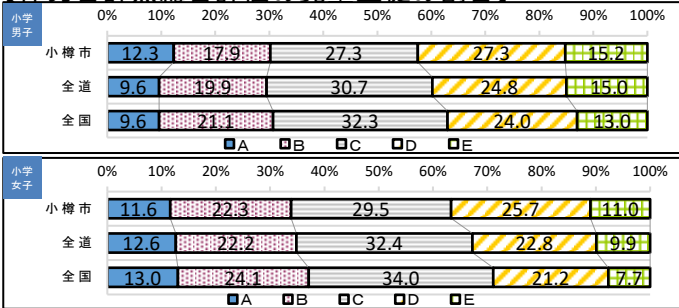
【小学校】



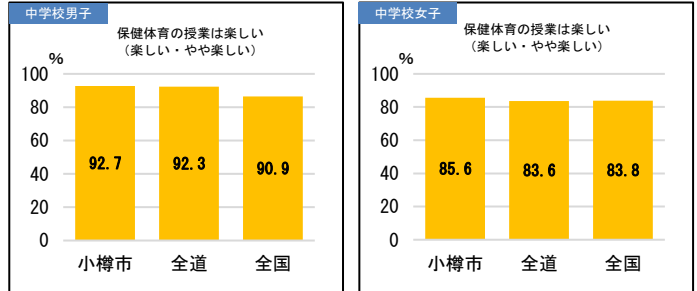
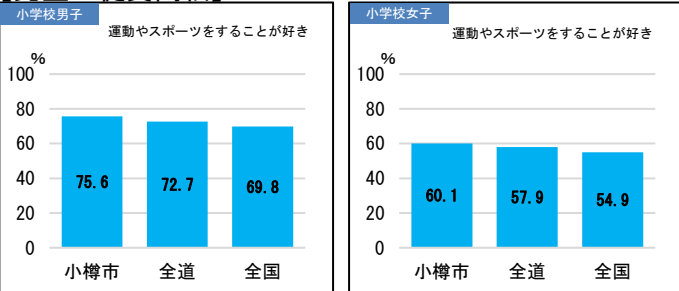
【中学校】



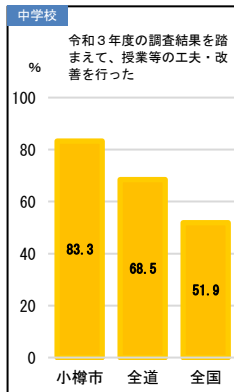
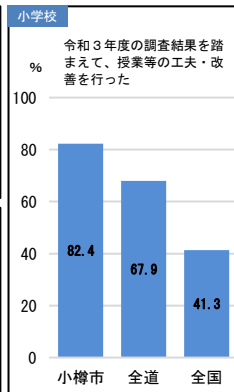
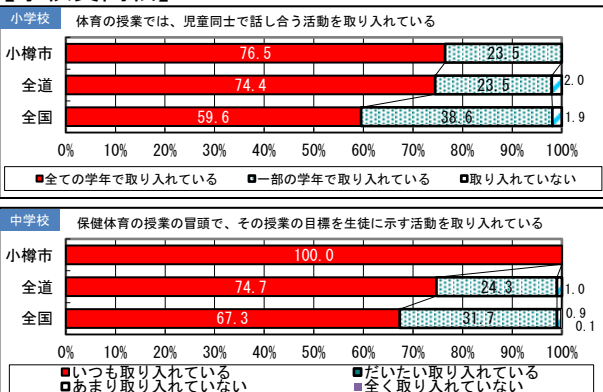
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
調査結果を踏まえ授業等の工夫・改善を行い、全ての学年で話し合う活動を充実させたことにより、運動やスポーツをすることが好きな児童が増え、男子の体力合計点の割合のA層が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
調査結果を踏まえ授業等の工夫・改善を行い、授業で目標をいつも示したことにより、体育の授業は楽しいと思う生徒が増え、男女ともに1種目において全国を上回ったと考えられる。

【小樽市の体力向上策】

- ◎ 体育専科教員等による体育科、保健体育科授業の公開及び外部講師を招聘した研修会の開催
- ◎ 小樽市小中学校体力向上検討委員会において、体力向上及び授業改善に資する指導資料等の作成と普及・啓発
- ◎ 部活動の在り方に関する検討委員会において、部活動改革の推進及び部活動の選択肢を少しでも増やす取組の実施
- ◎ 未就学児や小学校低学年児童を対象とした子ども体力向上事業、小・中学生を対象としたスポーツ教室等の実施

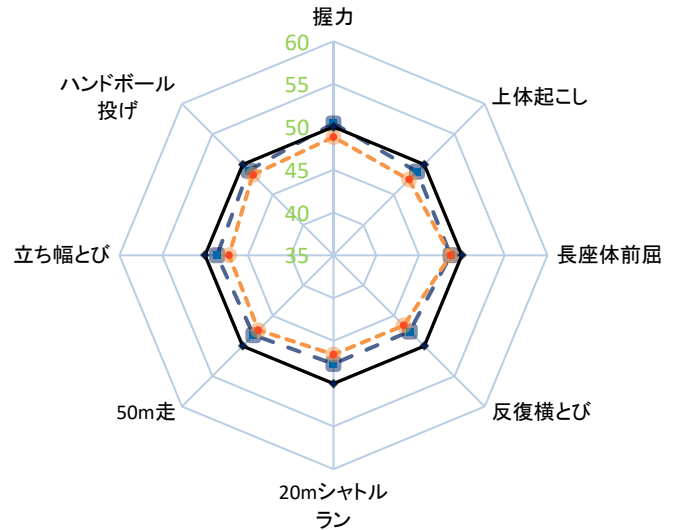
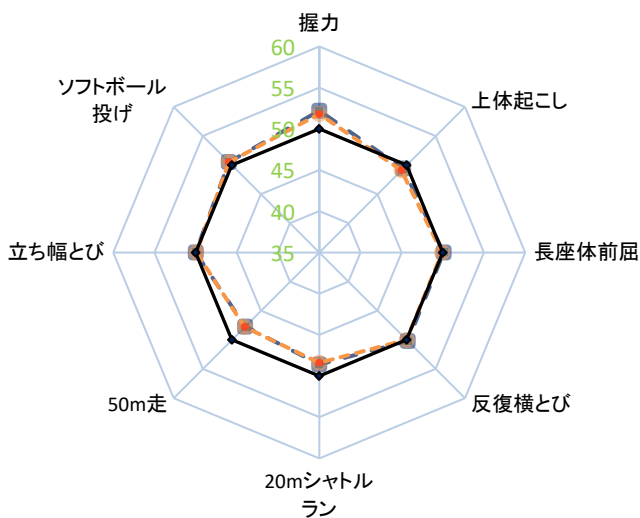
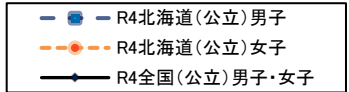
■ 島牧村内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数:5名、中学校1校・生徒数6名)  
 児童生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、島牧村の各種目のデータは掲載していない

【各種目の状況】

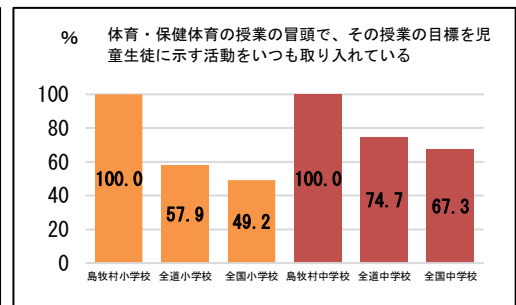
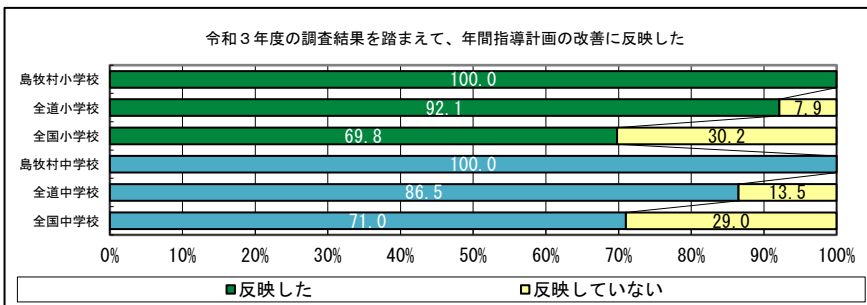
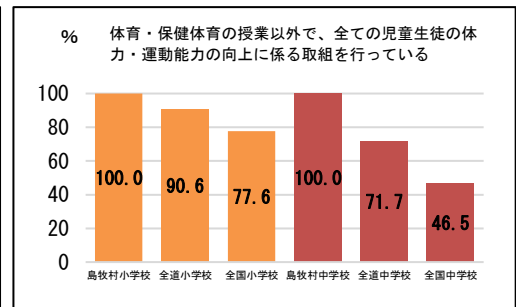
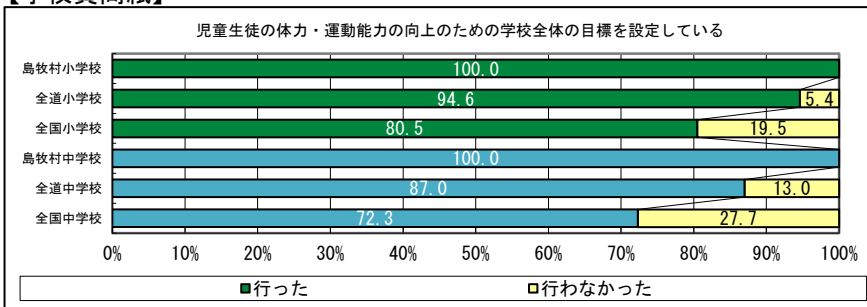
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

【中学校】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞

学校全体で目標を設定し、体力向上の取組を充実させるとともに、授業で目標を示す活動をいつも取り入れたり、授業以外で体力・運動能力の向上に取り組んだりしたことにより、運動は大切だと思う児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞

学校全体で目標を設定し、体力向上の取組を充実させるとともに、授業で目標を示す活動をいつも取り入れたり、授業以外で体力・運動能力の向上に取り組んだりしたことにより、卒業後、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【島牧村の体力向上策】

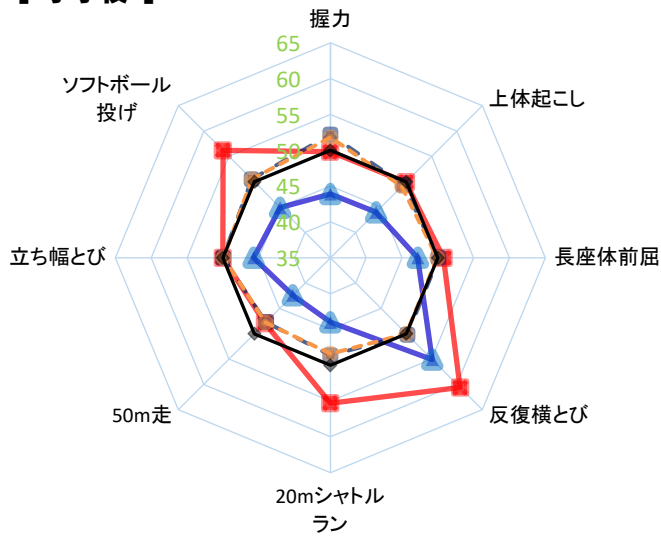
- ◎ 体育の授業や休み時間などでの体力づくりの取組(縄跳び等)
- ◎ 新体力テスト及びどさん子元気アップチャレンジなど道教委と連携した取組
- ◎ 小・中学校におけるマラソン大会及び耐久遠足等、児童生徒の持久力の向上を図る取組

■ 寿都町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数21名、中学校1校・生徒数21名)

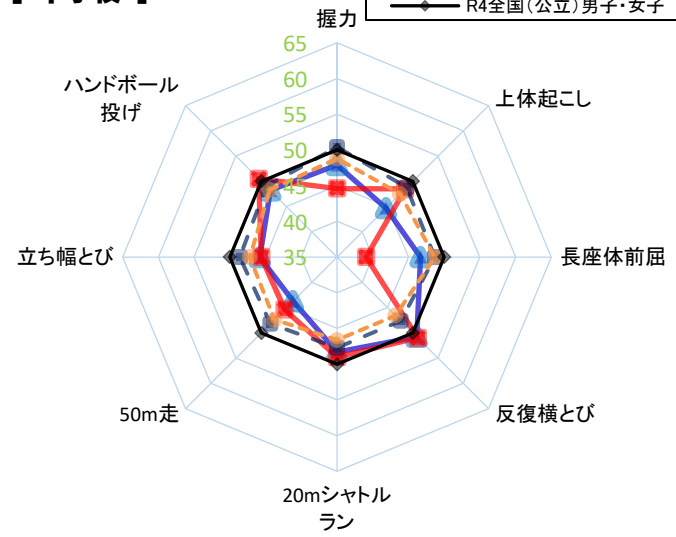
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

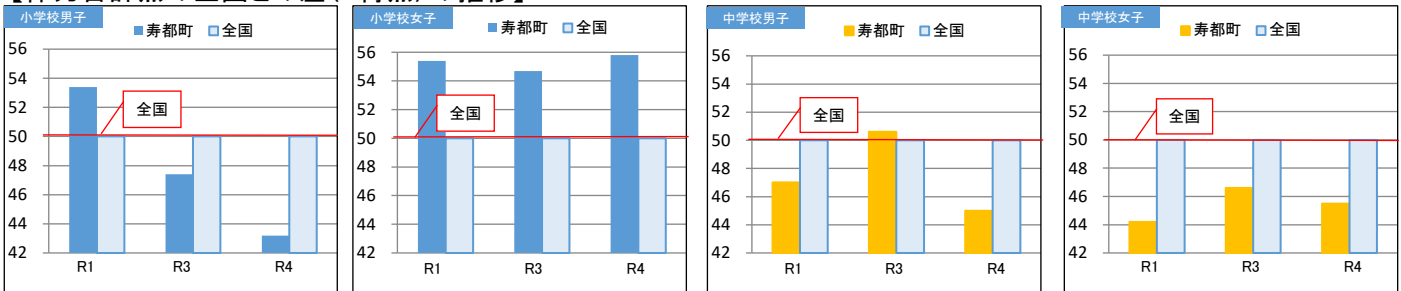
【小学校】



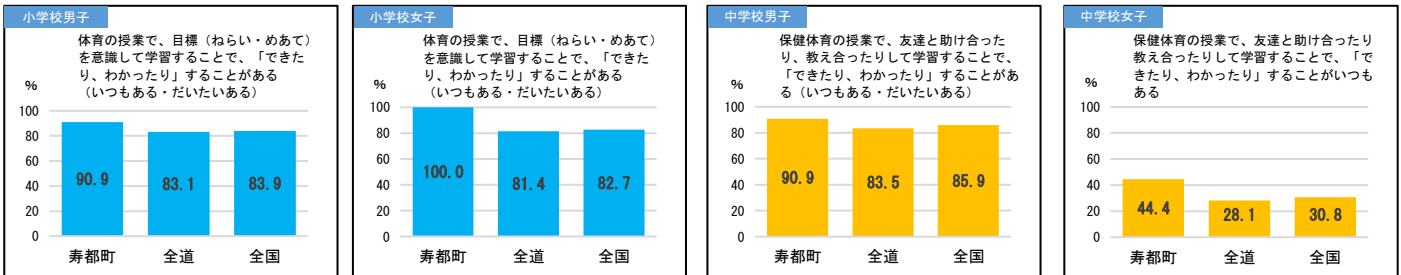
【中学校】



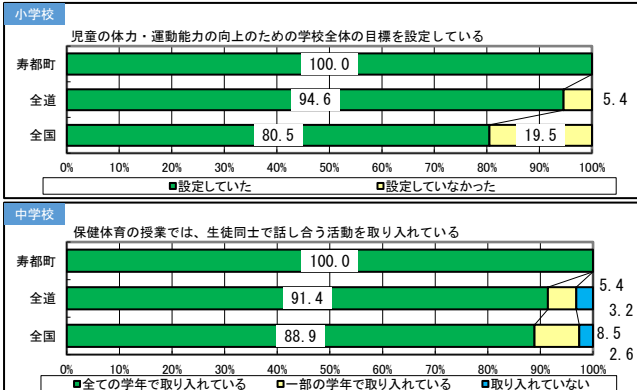
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



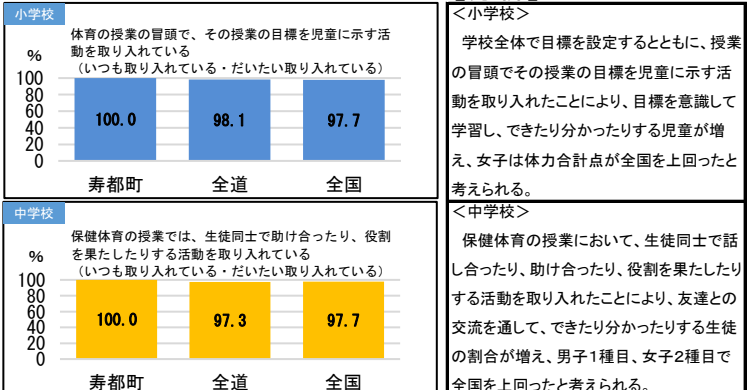
【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】



【寿都町の体力向上策】

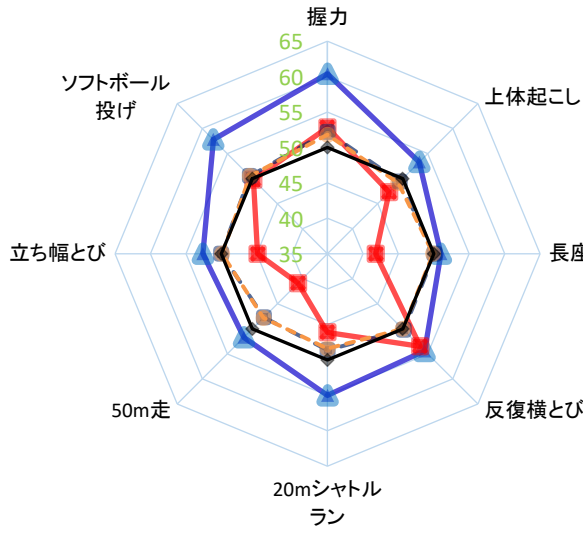
- ◎ 新体カテストを全学年で実施し、分析結果を指導に生かす取組
- ◎ 休み時間や放課後など、体育の授業以外の運動時間を確保する取組の充実
- ◎ 北翔大学と連携した運動教室や各種スポーツ教室の開催

■ 黒松内町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数24名、中学校2校・生徒数27名)

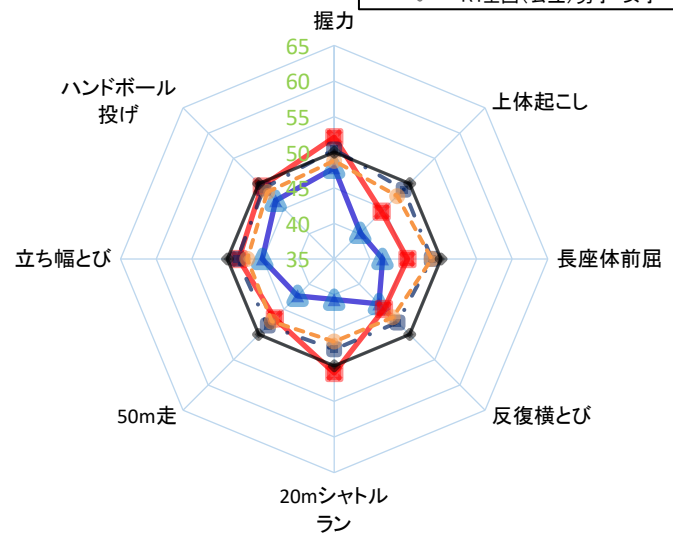
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

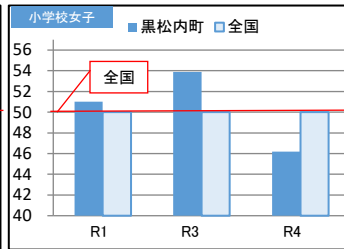
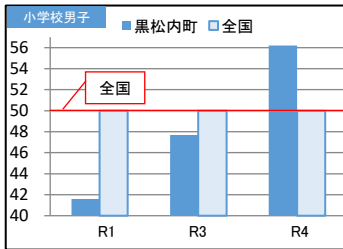
【小学校】



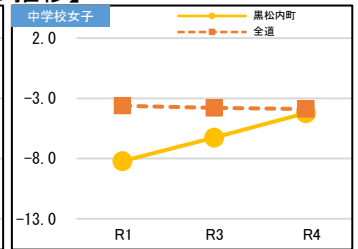
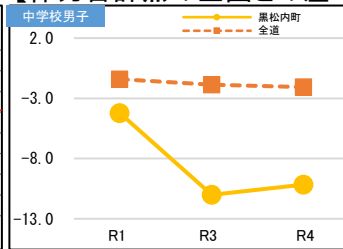
【中学校】



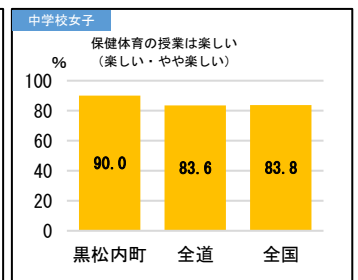
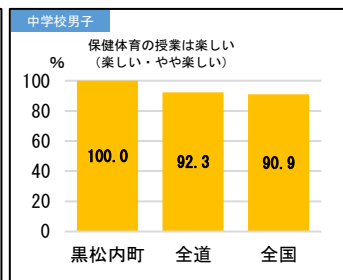
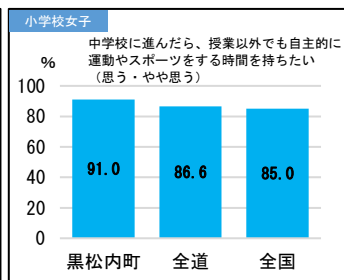
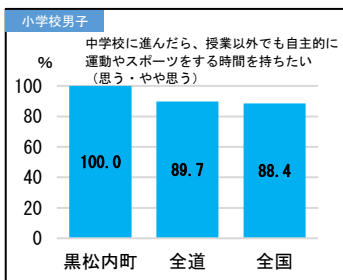
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



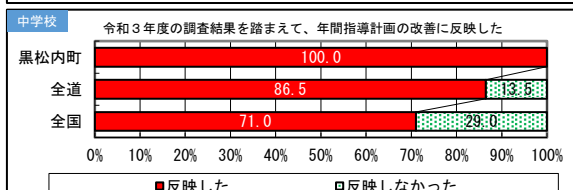
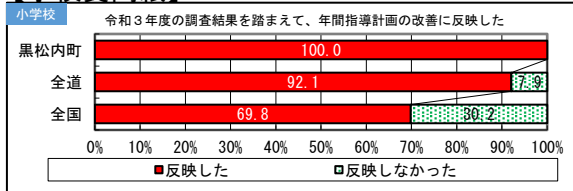
【体力合計点の全国との差の推移】



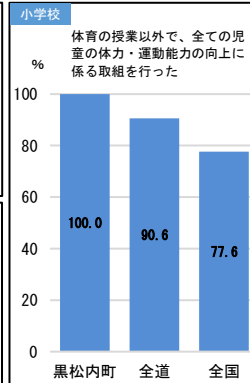
【児童生徒質問紙】



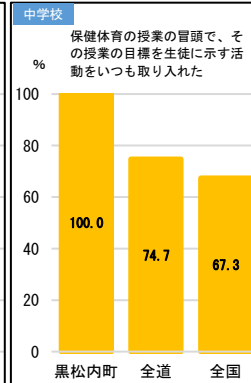
【学校質問紙】



【分析】



【分析】



＜小学校＞  
調査結果を踏まえて年間指導計画を改善するとともに、体育の授業以外でも体力・運動能力に向けた取組を充実させたことにより、中学校で自主的に運動したいと思う児童が増え、男子は体力合計点が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
調査結果を踏まえて年間指導計画を改善するとともに、いつも目標を示す活動を充実させたことにより、保健体育の授業は楽しいと感じる生徒が増え、男女ともに体力合計点の全国との差が縮まったと考えられる。

【黒松内町の体力向上策】

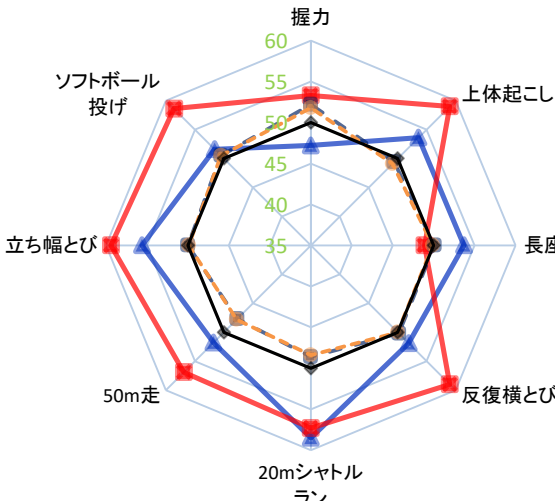
- ◎ 「健康スポーツフェスティバルin黒松内」事業の推進及び少年団活動・部活動への外部講師の導入等、町体育協会や社会教育と連携したスポーツ活動の推進
- ◎ 生涯スポーツに関わる環境の整備

■ 蘭越町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数26名、中学校1校・生徒数27名)

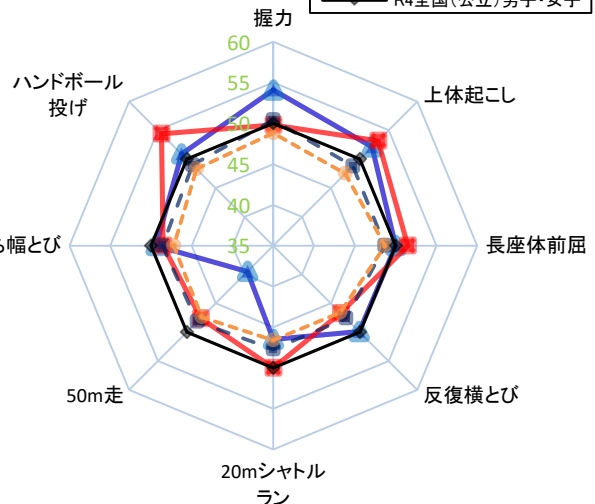
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

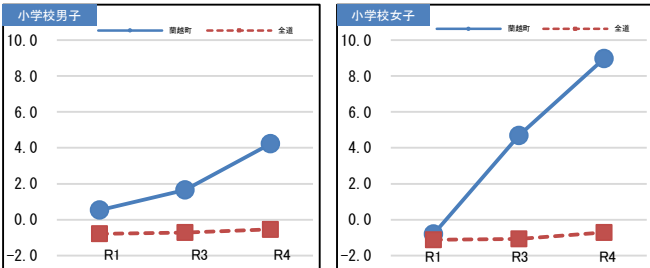
【小学校】



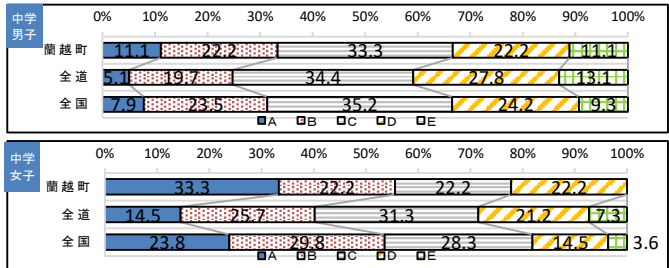
【中学校】



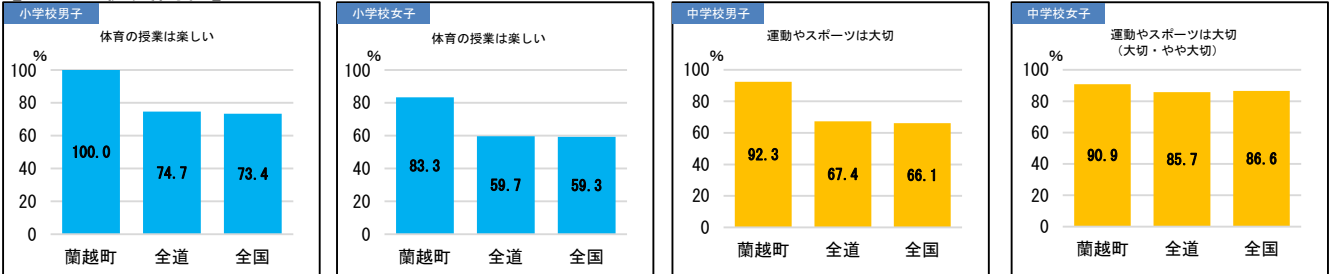
【体力合計点の全国との差の推移】



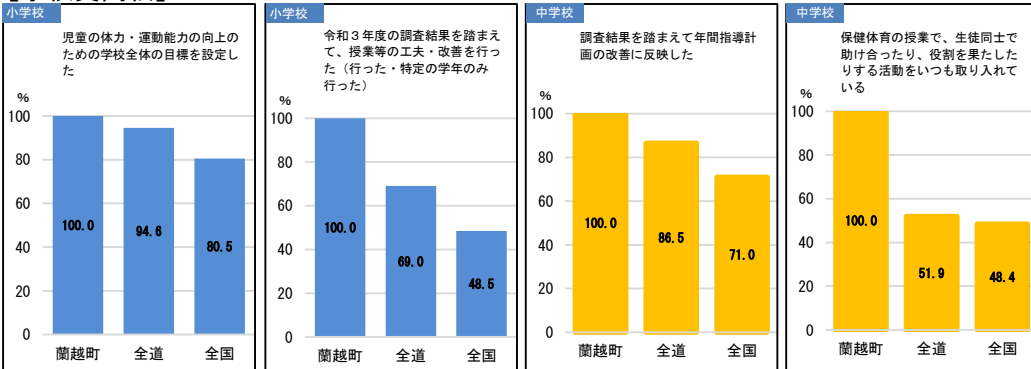
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
 体力・運動能力の向上のために目標を設定し、調査結果を踏まえて授業改善を図ることにより、体育の授業は楽しいと思う児童が増え、男女ともに体力合計点が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
 調査結果を踏まえて年間指導計画を改善し、生徒同士で助け合う活動や、役割を果たす活動を取り入れたことにより、運動やスポーツが大切だと思う生徒が増え、男女ともに体力合計総合評価のA・B層の割合が全国を上回ったと考えられる。

【蘭越町の体力向上策】

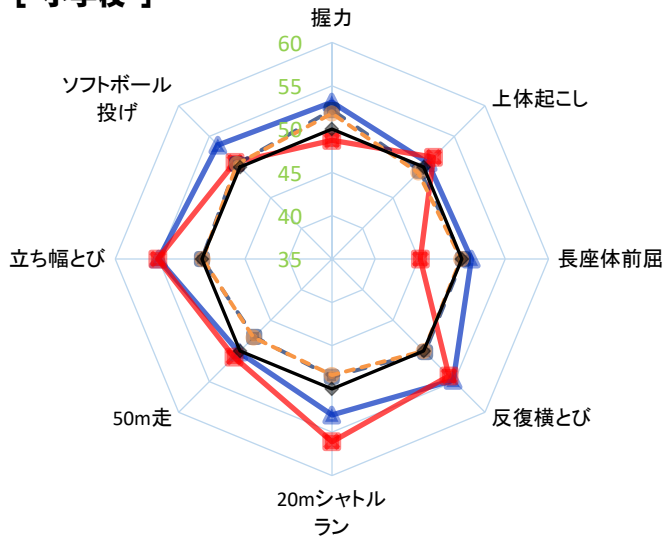
- ◎ 体育専科教員活用事業の成果を生かした組織的な取組及び授業改善の継続
- ◎ 児童生徒個々の課題を把握し、その改善や技能の習得に学習用タブレット端末を活用
- ◎ 総合型地域スポーツクラブ「らんスポ」の活動促進及び新体力テスト測定会の実施等、町体育協会と連携したスポーツ活動の推進

■ ニセコ町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数61名、中学校1校・生徒数32名)

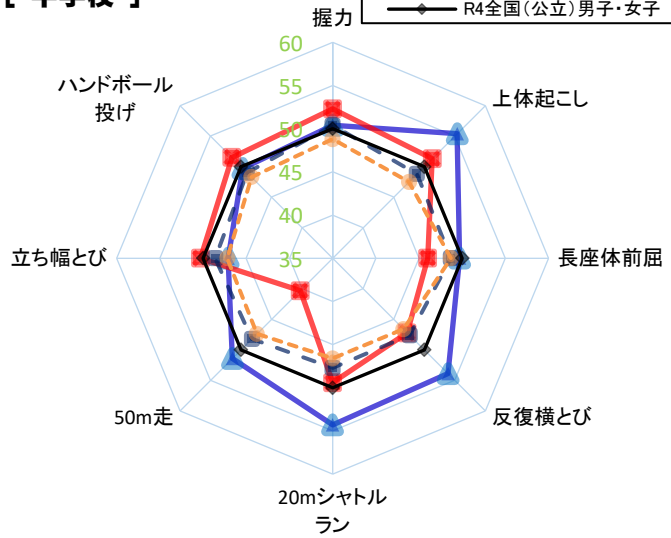
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

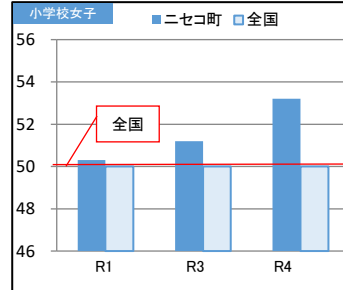
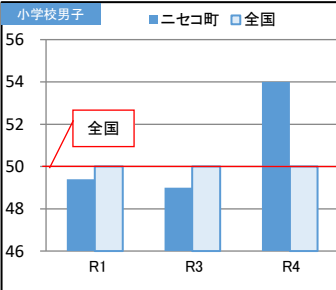
【小学校】



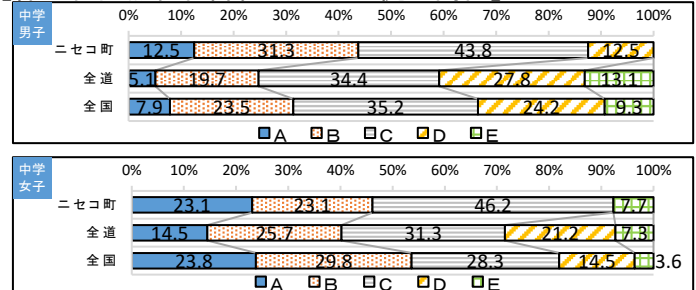
【中学校】



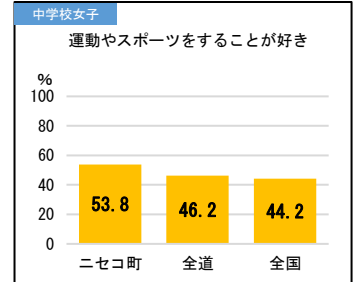
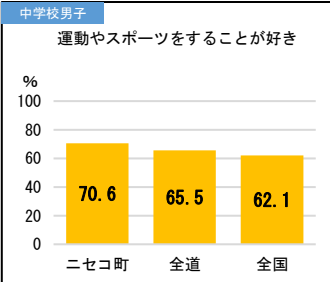
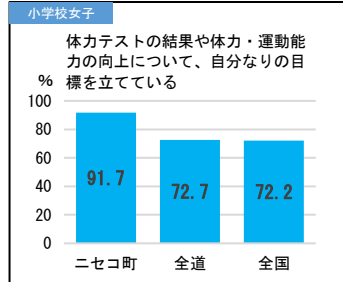
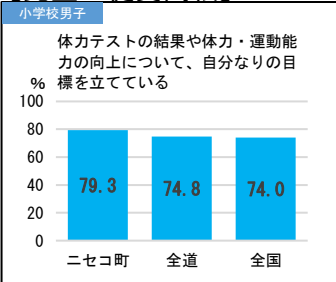
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



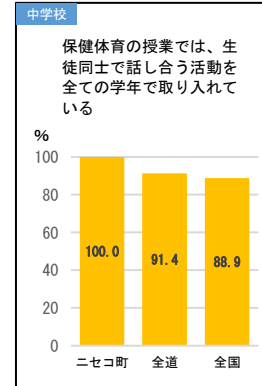
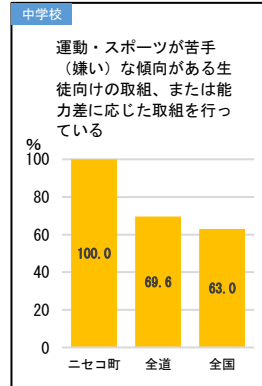
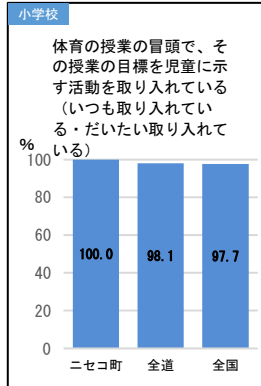
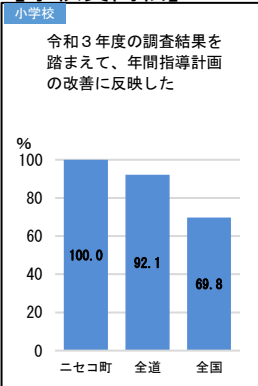
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
 体育の授業において、令和3年度の調査結果を踏まえて年間指導計画の改善に反映したり、目標を児童に示したりすることにより、自分なりの目標を立てる児童が増え、男女ともに体力合計点が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
 保健体育の授業において、運動・スポーツが苦手な生徒または能力差に応じた取組や生徒同士で話し合う活動を行ったことにより、運動やスポーツをすることが好きな生徒が増え、男子は体力合計点総合評価A層の割合が全国を上回ったと考えられる。

【ニセコ町の体力向上策】

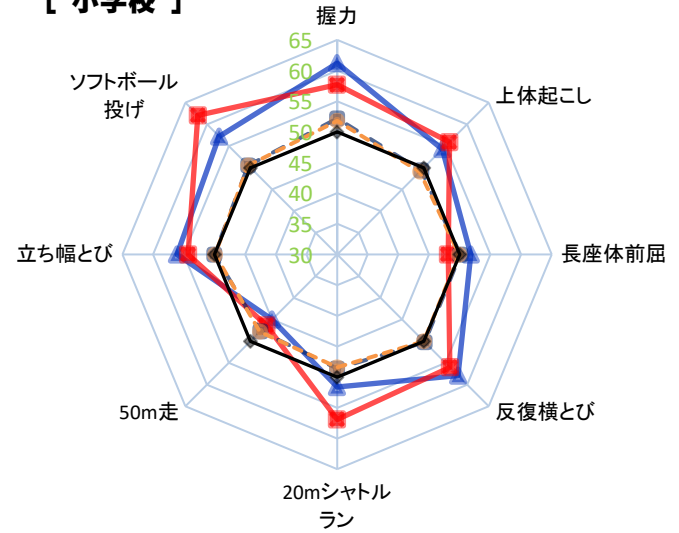
- ◎ トップアスリートを外聘講師として招聘し、専門的な技術を学んだり、スポーツへの関心を高めたりする機会の提供
- ◎ 北海道日本ハムファイターズと連携したスポーツ教室の開催
- ◎ スキーリフト券の購入費用を一部補助し、冬期間の体力づくりとスキー・スノーボード技術の向上
- ◎ スキー技術への関心を高め、学校種間の交流を図る全町スキーフェスティバル・児童生徒スキー大会の開催

■ 真狩村内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校2校・児童数15名、中学校1校・生徒数17名)

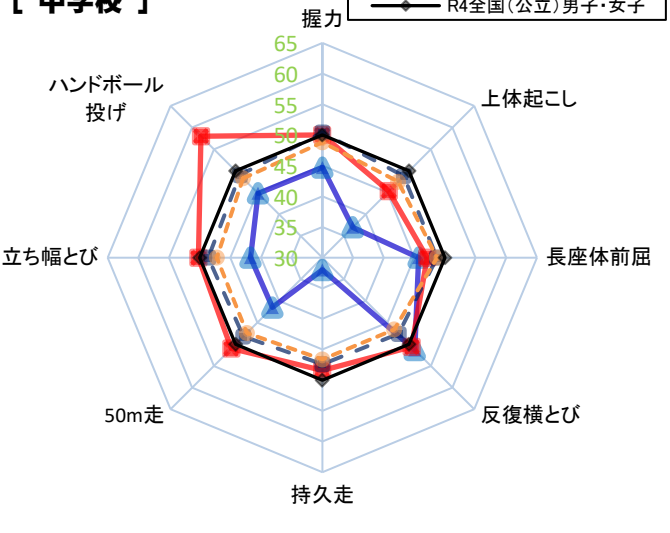
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

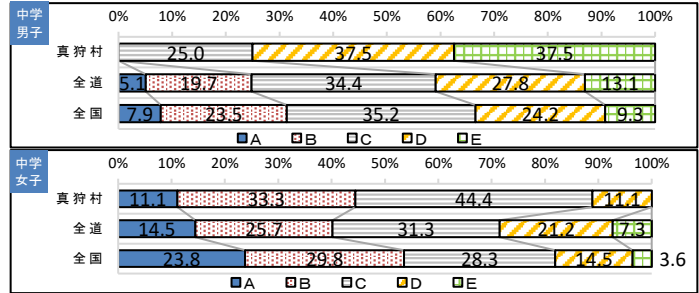
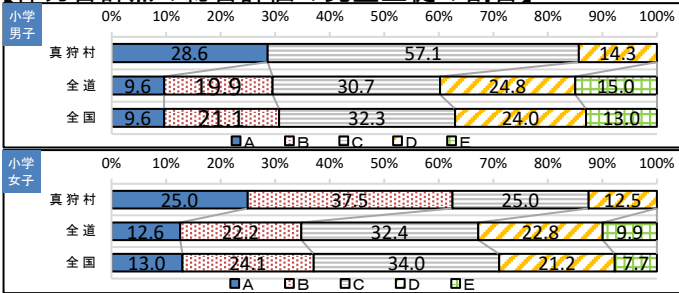
【小学校】



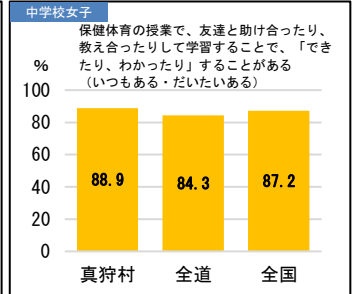
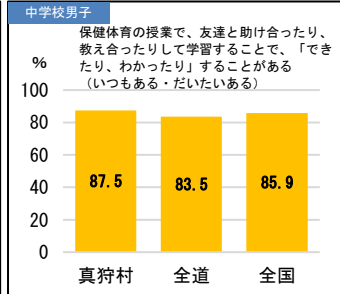
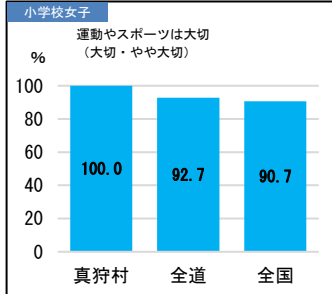
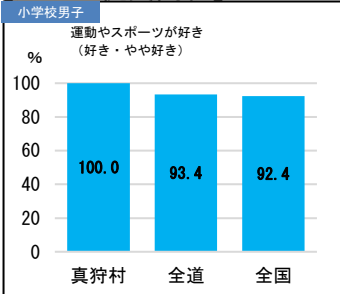
【中学校】



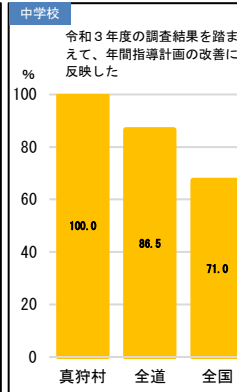
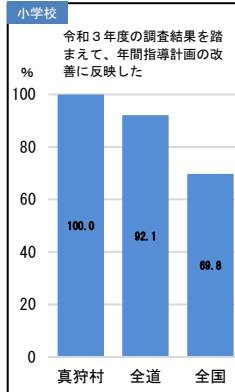
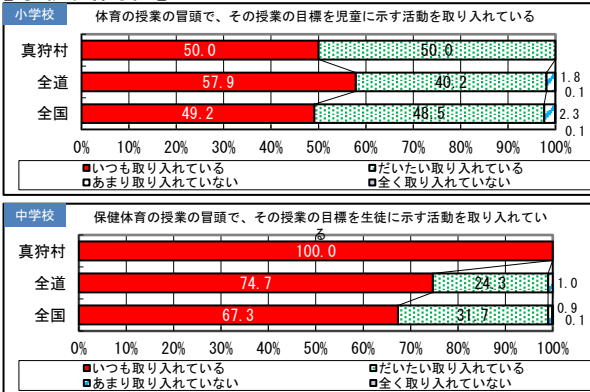
【体力合計点の総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
調査結果を踏まえて年間指導計画を改善し、授業の目標を児童に示す活動を取り入れたことにより、運動が好きな児童や大切と思う児童が増え、男女ともに体力合計点のA層の割合が、全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
調査結果を踏まえて年間指導計画を改善し、授業の目標を生徒に示す活動を取り入れたことにより、友達と助け合う学習で、できたり、分かたりすることがある生徒が増え、男子1種目、女子4種目で全国を上回ったと考えられる。

【真狩村の体力向上策】

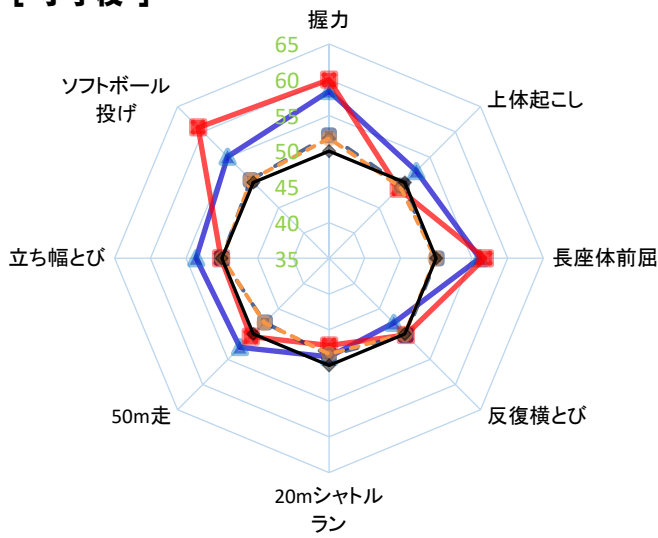
- ◎ 部活動、スポーツ少年団活動を通した、運動ができる環境を整備
- ◎ 体育授業の目標の明確化
- ◎ 基本的な生活習慣の定着を図る健康教育の推進

■ 留寿都村内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数11名、中学校1校・生徒数15名)

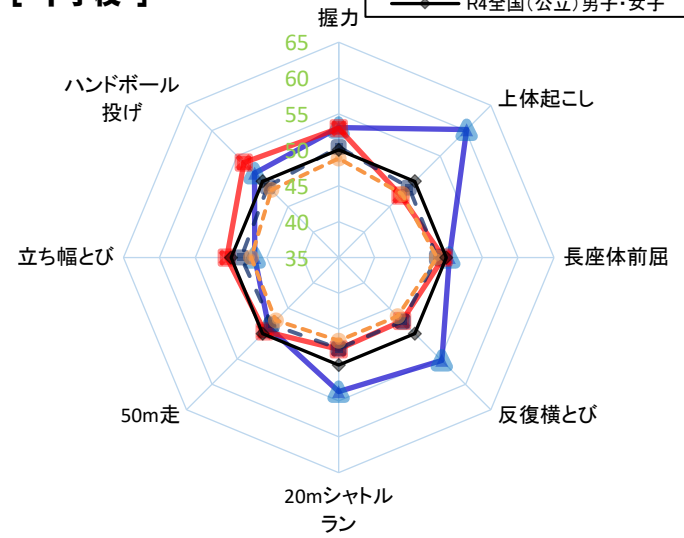
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

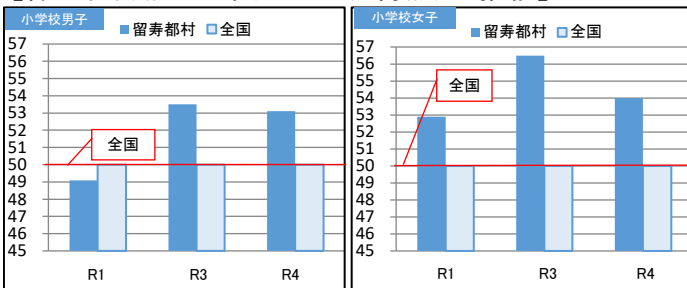
【小学校】



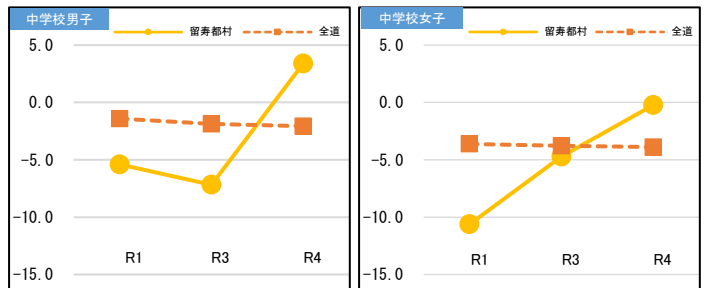
【中学校】



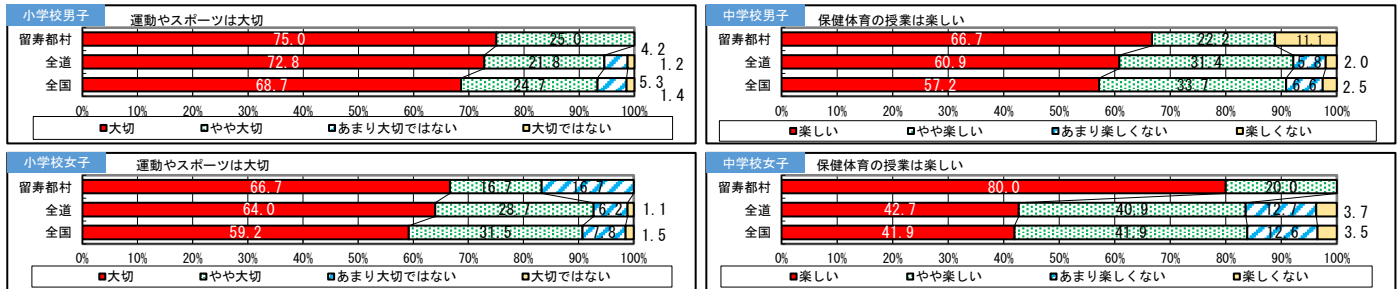
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



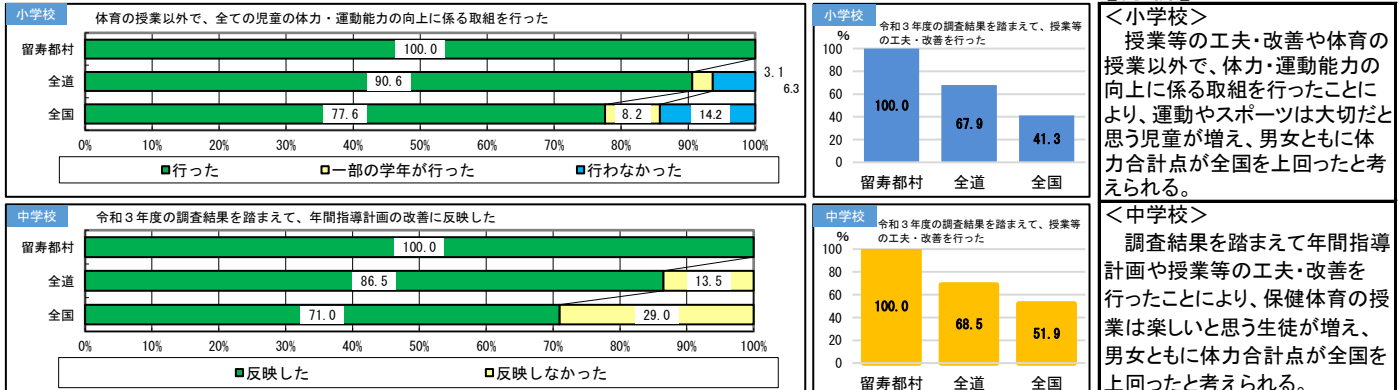
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
授業等の工夫・改善や体育の授業以外で、体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、運動やスポーツは大切だと思える児童が増え、男女ともに体力合計点が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
調査結果を踏まえて年間指導計画や授業等の工夫・改善を行ったことにより、保健体育の授業は楽しいと思う生徒が増え、男女ともに体力合計点が全国を上回ったと考えられる。

【留寿都村の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 冬季の体力増進を図るためのスキー授業への支援及びスキーリフト券の購入費用の一部補助
- ◎ スポーツ協会やスポーツ推進委員と連携し、各種スポーツ団体を奨励した生涯スポーツの振興



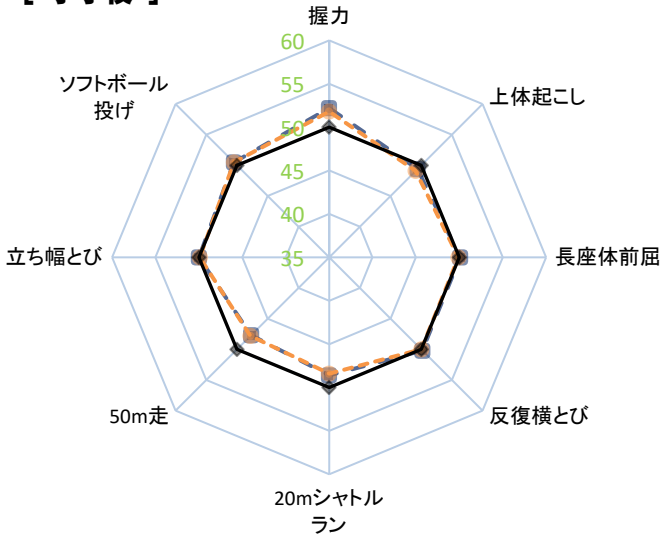
■ 喜茂別町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数9名、中学校1校・生徒数14名)

児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、喜茂別町の小学校の各種目のデータは掲載していない

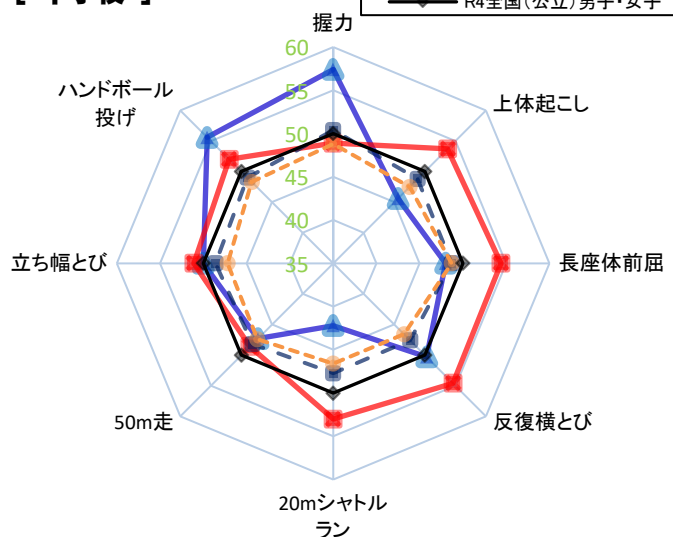
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

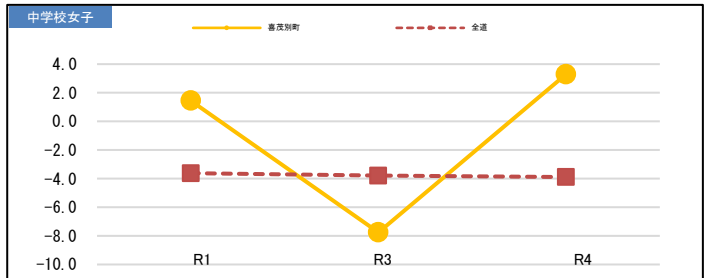
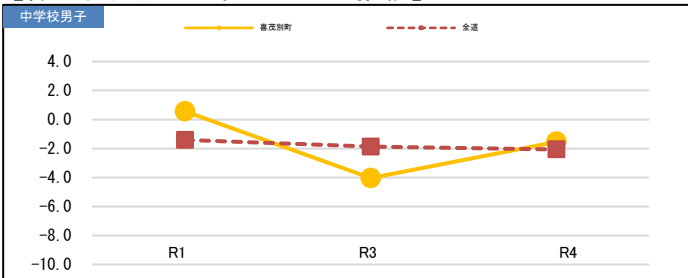
【小学校】



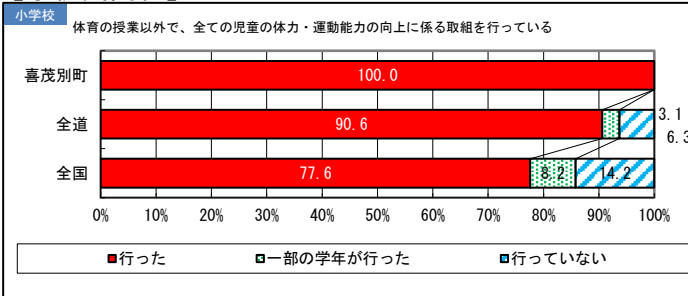
【中学校】



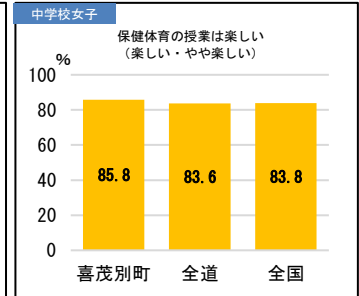
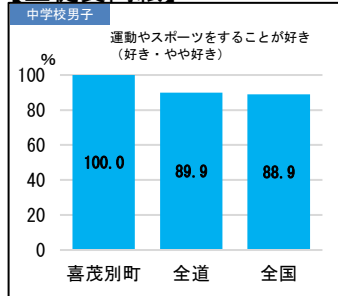
【体力合計点の全国との差の推移】



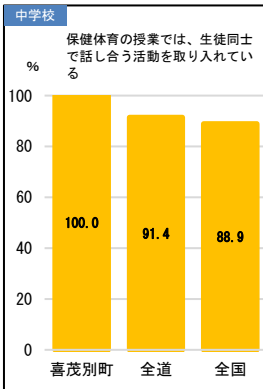
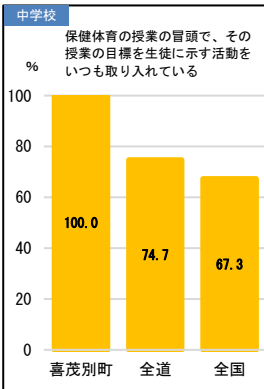
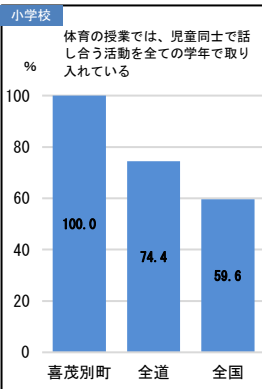
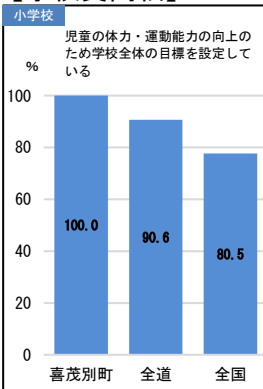
【学校質問紙】



【生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
体力向上に向けた学校全体の目標を示し、授業で話し合う活動を取り入れるとともに、授業以外でも全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、運動は大切・やや大切と思う児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
保健体育の授業で、生徒に目標を示し、話し合う活動を取り入れたことにより、運動が好きな生徒の割合や授業を楽しく感じる生徒の割合が増え、女子の体力合計点が全国を上回ったと考えられる。

【喜茂別町の体力向上策】

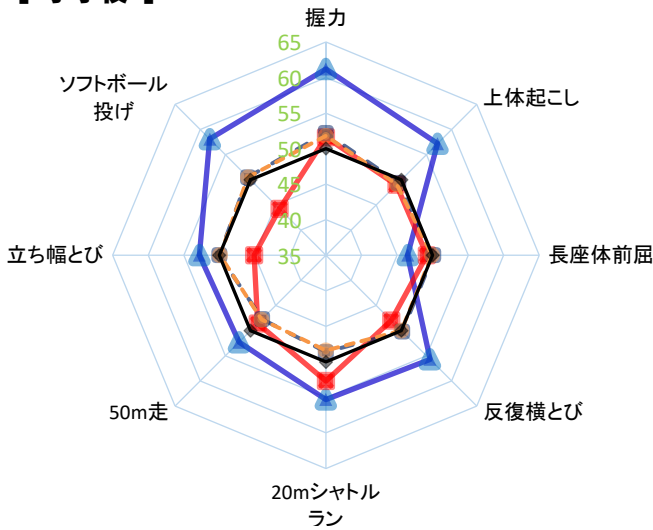
- ◎ どんさん元気アップチャレンジへの参加
- ◎ 授業以外の時間を活用した体力づくり
- ◎ 外部講師を活用した専門的な指導
- ◎ 生涯学習と連携した各種スポーツ教室や自然体験活動の実施

■ 京極町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校1校・児童数21名、中学校1校・生徒数28名)

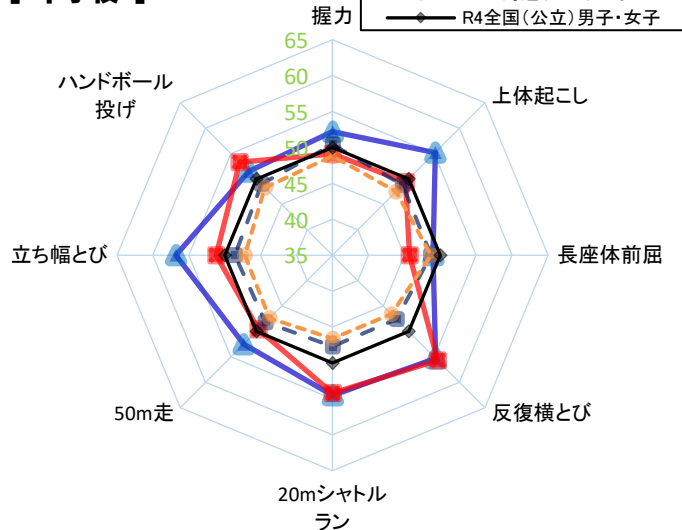
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

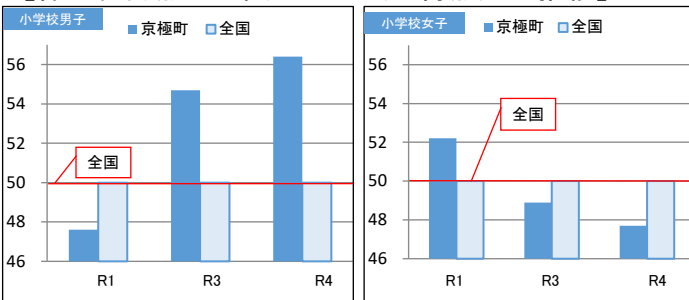
【小学校】



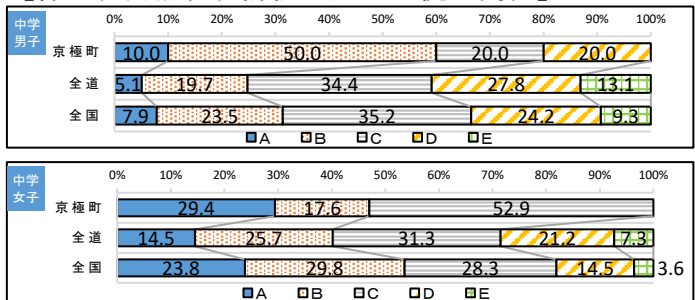
【中学校】



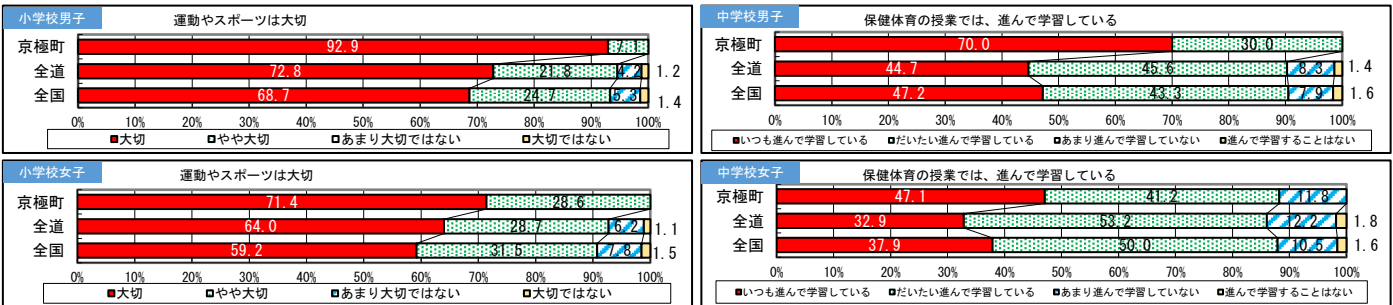
【体力合計点の全国との差 (T得点) の推移】



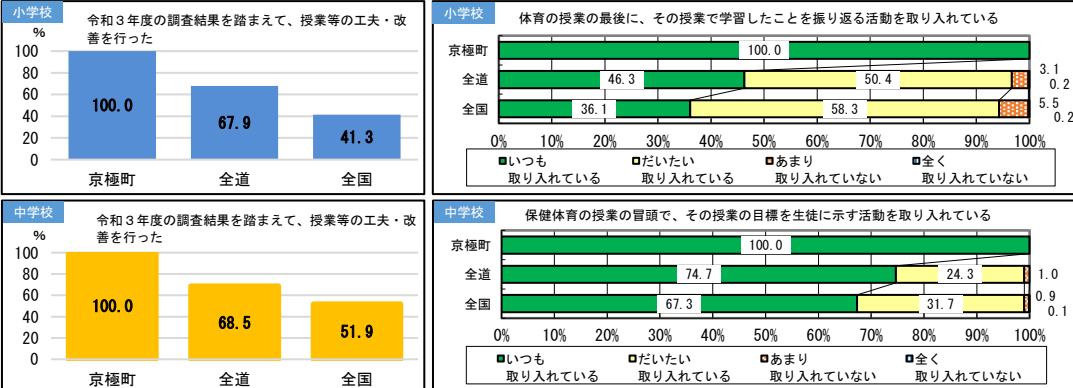
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
学習したことを振り返る活動を取り入れるなど、授業等の工夫・改善を行ったことにより、運動は大切と思う児童が増え、男子は体力合計点が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
授業の目標を示す活動を取り入れるなど、授業等の工夫・改善を行ったことにより、進んで学習に参加している生徒が増え、男女ともに体力合計点総合評価A層が全国を上回ったと考えられる。

【京極町の体力向上策】

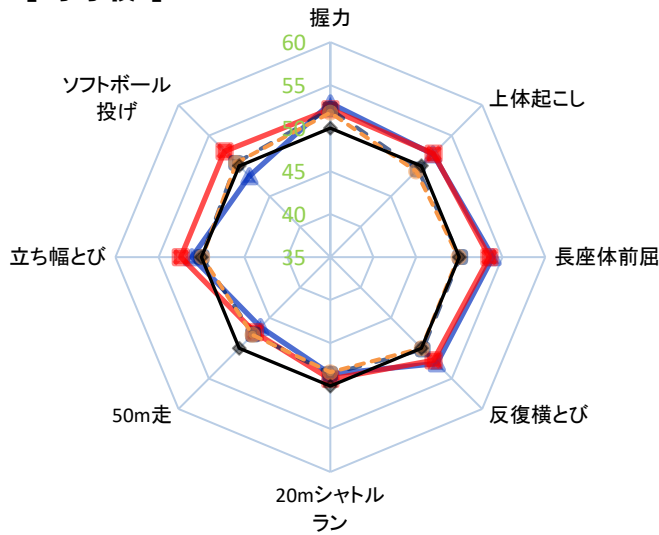
- ◎ 新体力テストの分析結果を生かし、児童生徒が楽しさや達成感を味わうことができる指導の工夫
- ◎ 目標をもって継続的に運動に取り組むことができる機会の創出
- ◎ 体育エキスパート教員活用事業・中学校体力向上推進教員による組織的な取組と授業改善の継続

■ 俱知安町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校5校・児童数134名、中学校1校・生徒数111名)

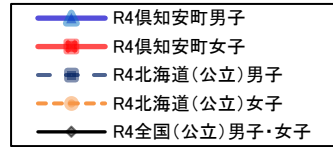
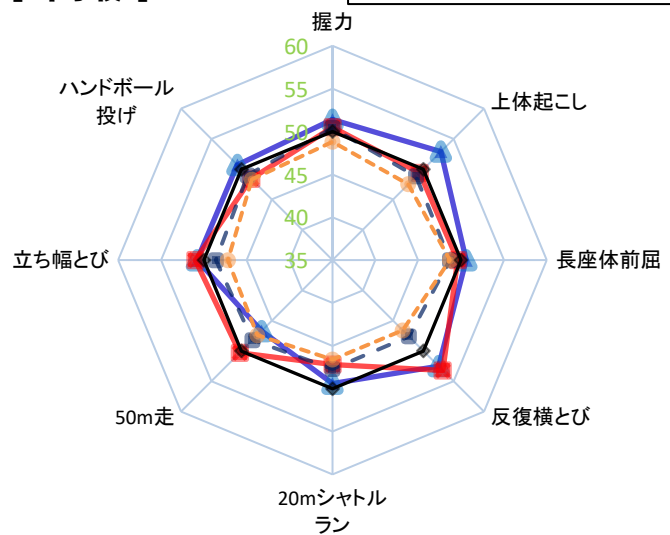
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

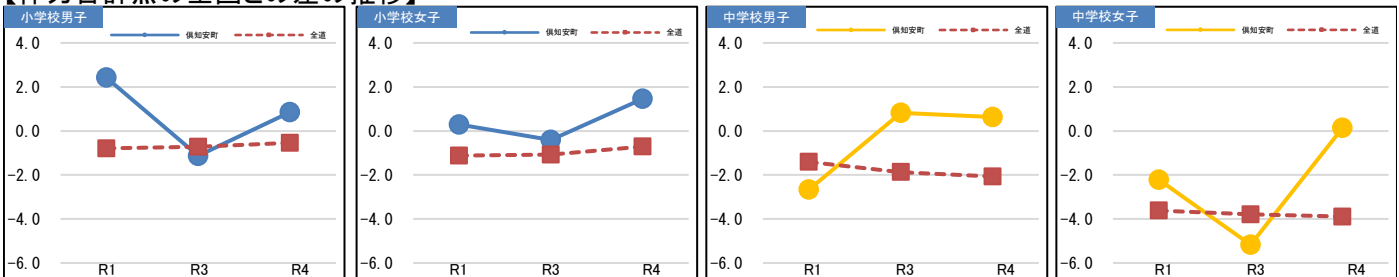
【小学校】



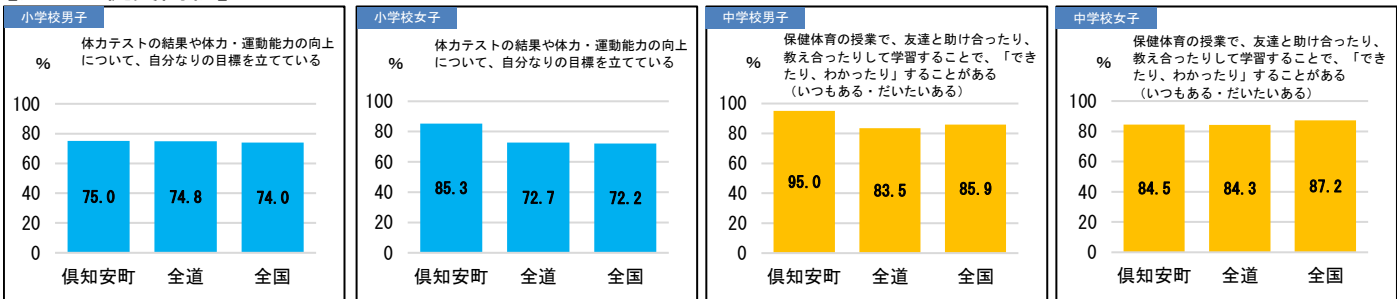
【中学校】



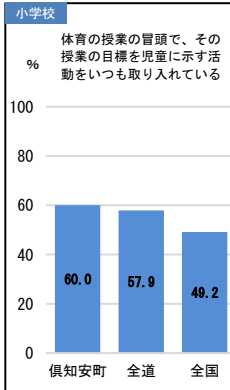
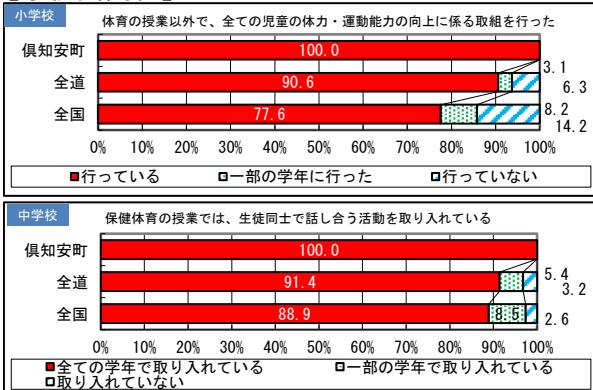
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
授業で児童にいつも目標を示したほか、授業以外で全ての児童の体力・運動能力向上に係る取組を行ったことにより、自分なりの目標を立てる児童が増え、男女ともに体力合計点が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
生徒同士で助け合う活動や、話し合う活動を取り入れたことにより、友達と助け合う学習で、できたり、わかったりすることがある生徒が増え、男女ともに体力合計点が全国を上回ったと考えられる。

【俱知安町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 体育エキスパート教員活用事業を活用した体育の授業改善及び体力向上の取組の充実
- ◎ スポーツ教室や総合型地域スポーツクラブ活動の推進による体力づくりへの支援

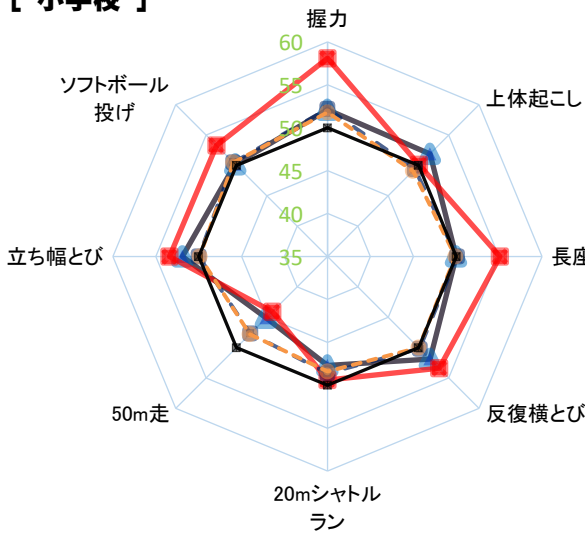
■ 共和町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校3校・児童数39名、中学校1校・生徒数36名)

【各種目の状況】

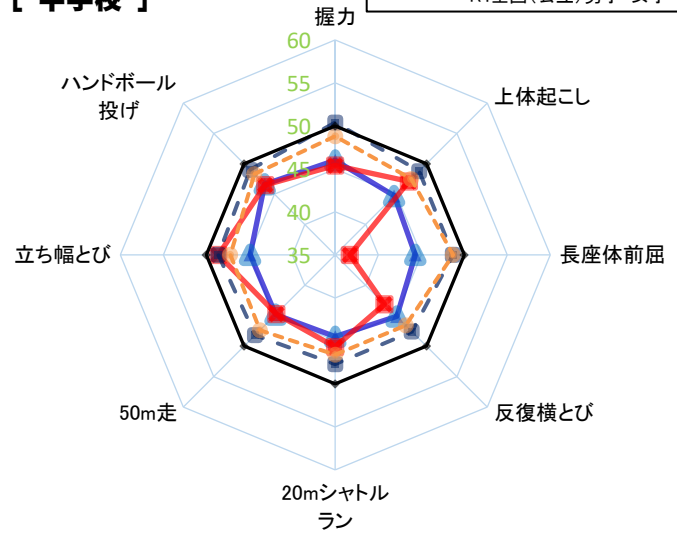
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



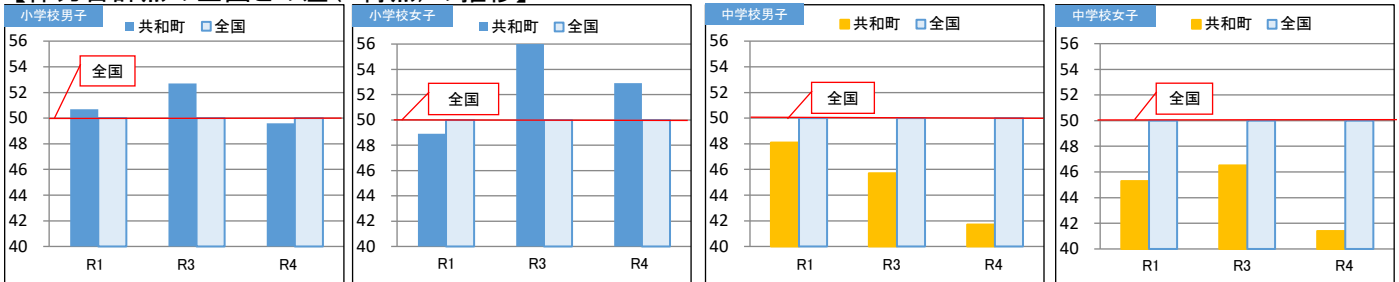
【小学校】



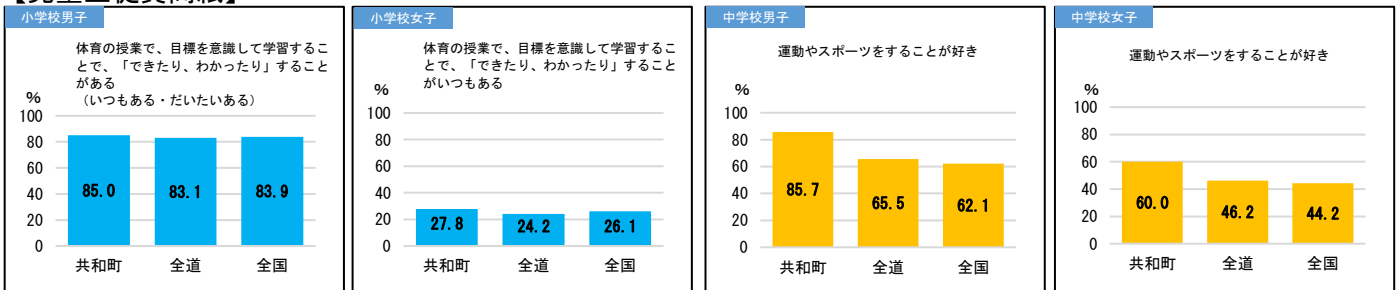
【中学校】



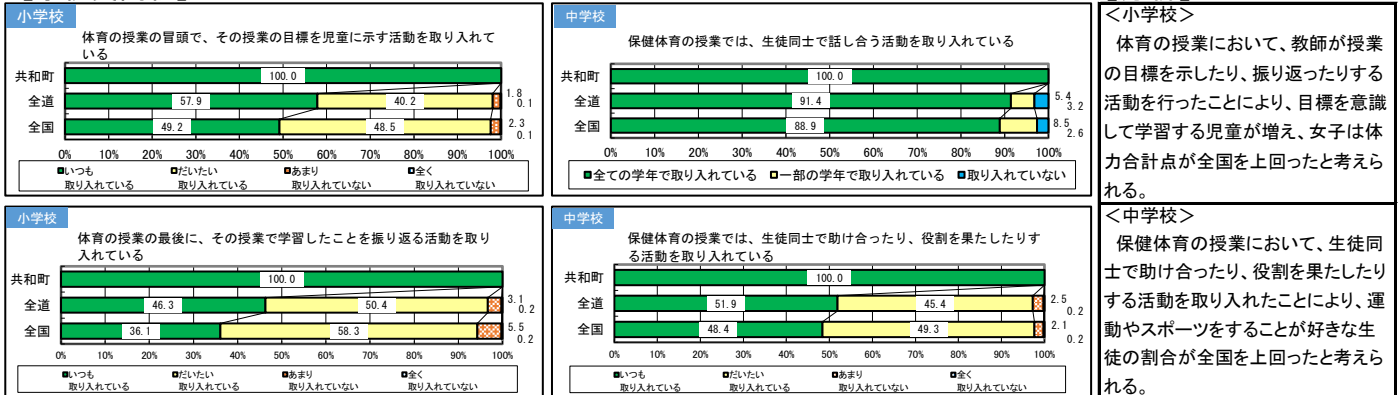
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
 体育の授業において、教師が授業の目標を示したり、振り返り活動を行ったことにより、目標を意識して学習する児童が増え、女子は体力合計点が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
 保健体育の授業において、生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れたことにより、運動やスポーツをすることが好きな生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【共和町の体力向上策】

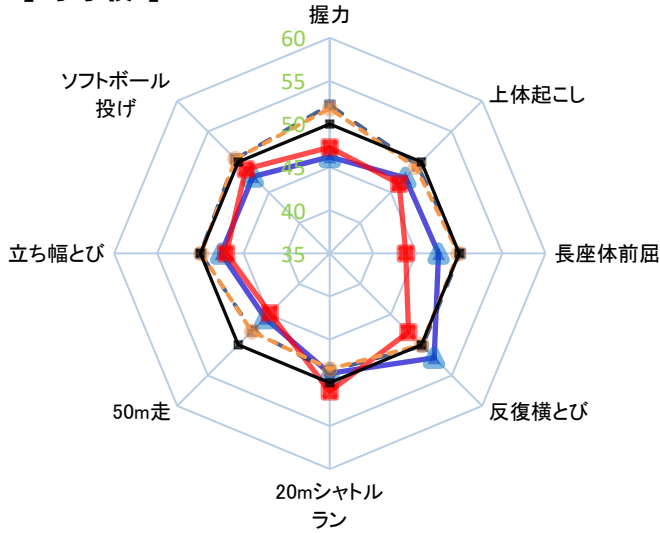
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 体育専科教員活用事業による組織的な取組と授業改善の継続
- ◎ 社会教育におけるスポーツ教室の開催

■ 岩内町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数93名、中学校2校・生徒数88名)

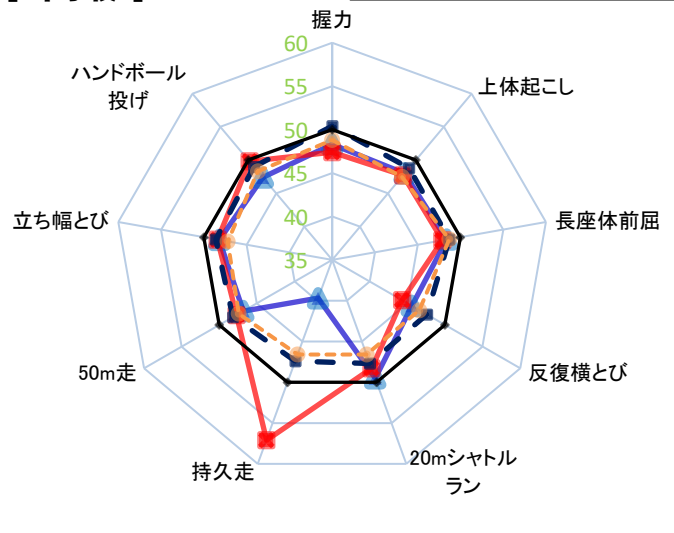
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

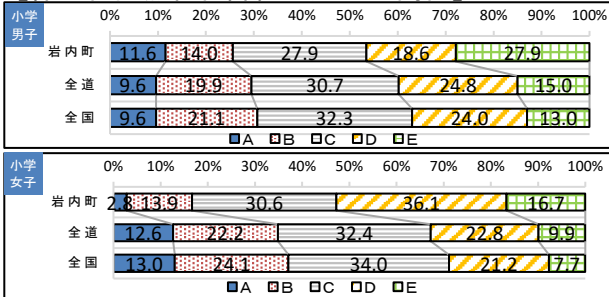
【小学校】



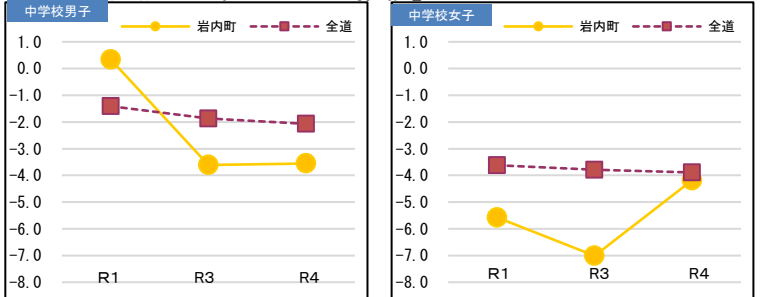
【中学校】



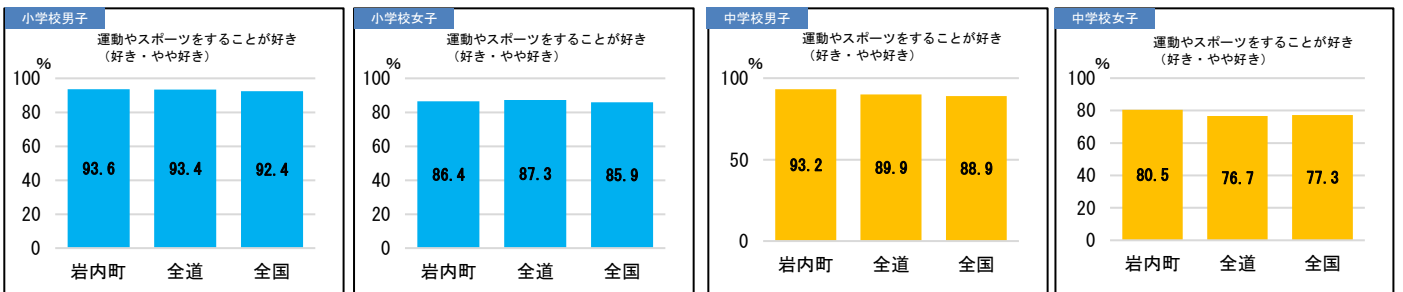
【体力合計点総合評価の児童の割合】



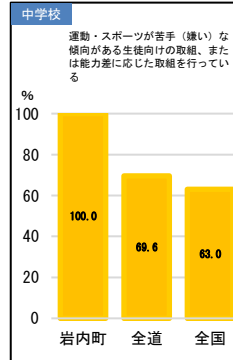
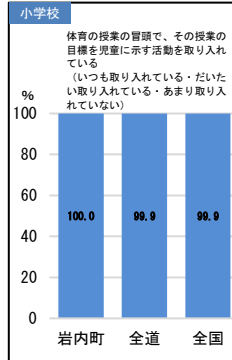
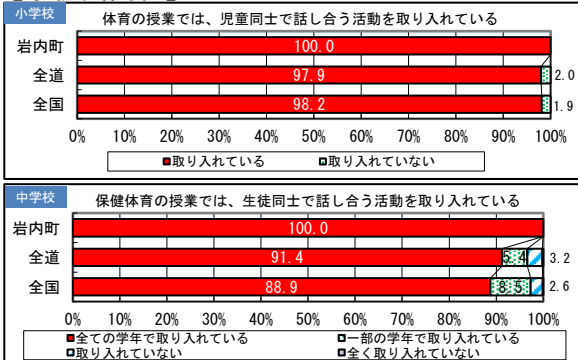
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
児童に目標を示し、話し合う活動を行ったことにより、運動やスポーツをすることが好きな児童及び男子の体力合計点の割合が北海道・全国を上回ったと考えられる。

<中学校>  
保健体育の運動の苦手な生徒に向けた取組を行ったり、話し合う活動を全ての学年で行ったことにより、運動が好きな生徒の割合が北海道・全国を上回り、女子は体力合計点の北海道との差が縮まったと考えられる。

【岩内町の体力向上策】

- ◎ 児童生徒が安全に学習することができる施設の整備及び管理の充実
- ◎ スポーツ推進委員や各種競技団体との連携
- ◎ スポーツ活動のための環境整備

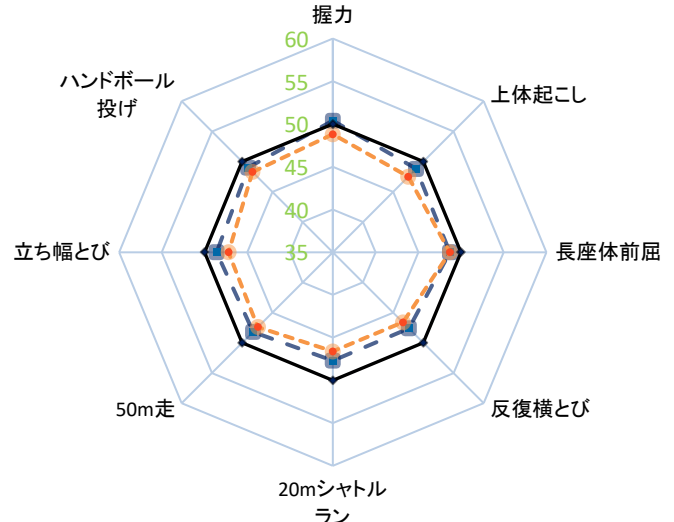
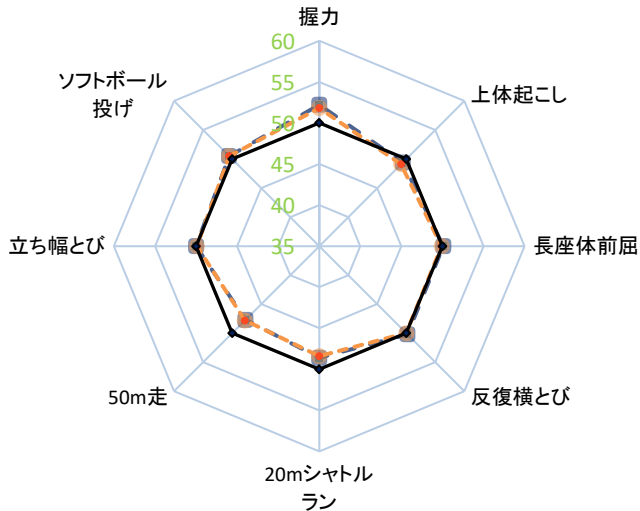
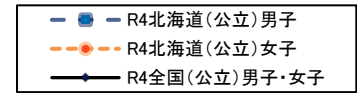
■ 泊村内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数:8名、中学校1校・生徒数14名)  
 児童生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、泊村の各種目のデータは掲載していない

【各種目の状況】

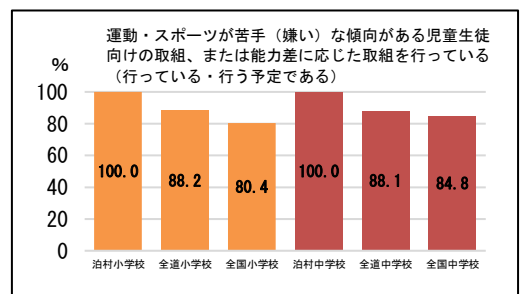
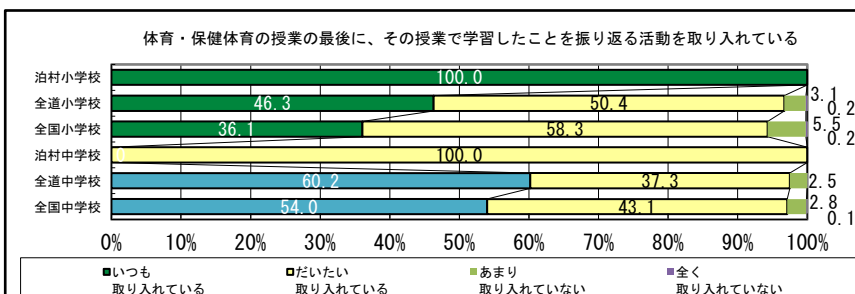
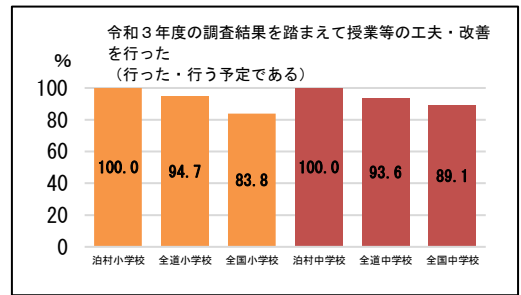
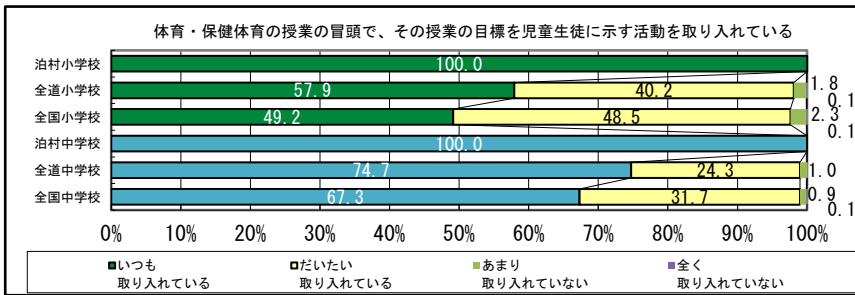
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

【中学校】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>

令和3年度の調査結果を踏まえて授業改善を行い、体育の授業の冒頭で目標を示したり、学習したことを振り返ったりしたことで、運動やスポーツをすることが好きだと感じた児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

<中学校>

令和3年度の調査結果を踏まえて授業改善を行い、体育の授業の冒頭で目標を示したり、学習したことを振り返ったりしたことで、運動やスポーツをすることが好きだと感じた生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【泊村の体力向上策】

- ◎ 楽しみながら体力づくりができるよう、工夫した取組の実施
- ◎ スポーツ少年団や運動系部活動、地域スポーツ行事への参加促進
- ◎ 小中連携して体育の授業改善の取組を実施

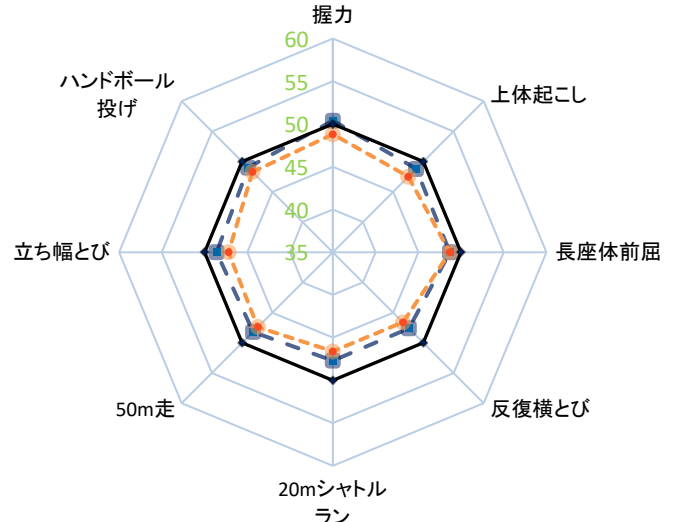
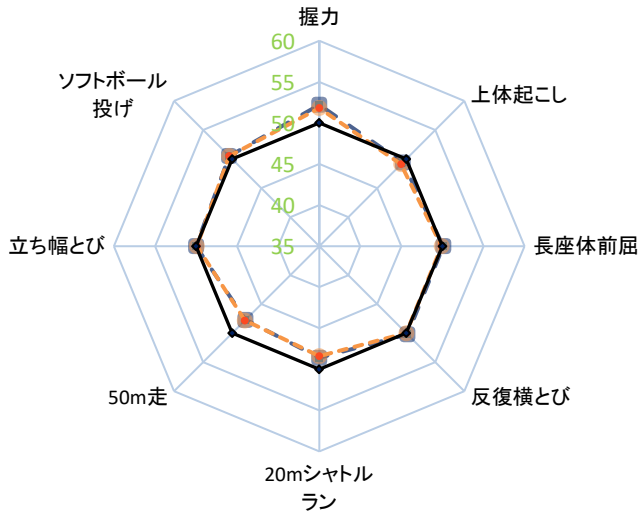
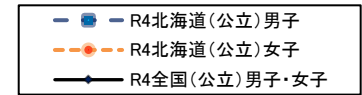
■ 神恵内村内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数:5名、中学校1校・生徒数9名)  
 児童生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、神恵内村の各種目のデータは掲載していない

【各種目の状況】

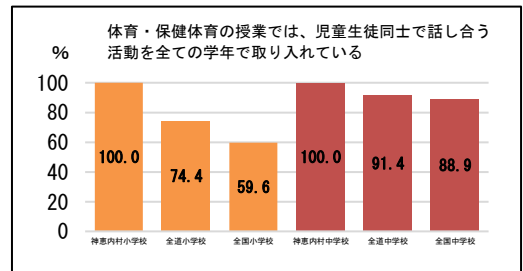
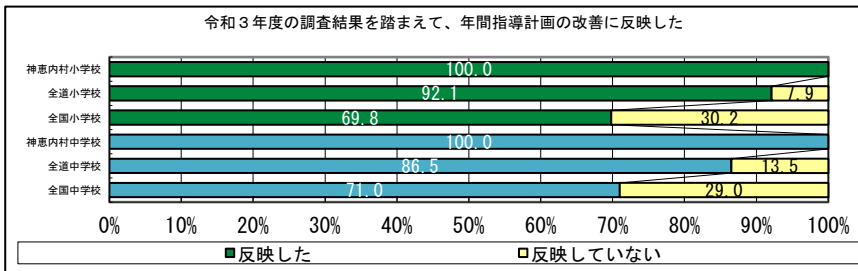
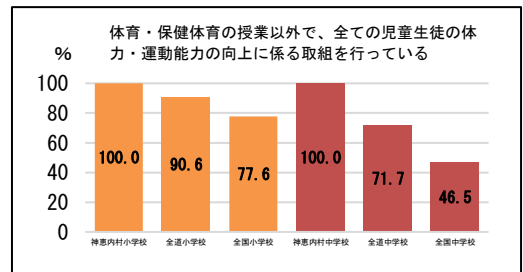
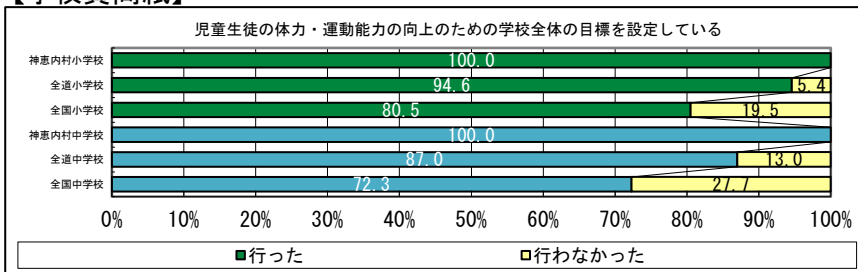
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

【中学校】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>

学校全体で目標を設定し、授業で話し合う活動を全学年で取り入れるとともに、授業以外で体力・運動能力の向上に取り組むなど、体力向上の取組を充実させたことにより、運動は好き・やや好きだと思う児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

<中学校>

学校全体で目標を設定し、授業で話し合う活動を全学年で取り入れるとともに、授業以外で体力・運動能力の向上に取り組むなど、体力向上の取組を充実させたことにより、保健体育の授業が楽しい・やや楽しいと思う生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【神恵内村の体力向上策】

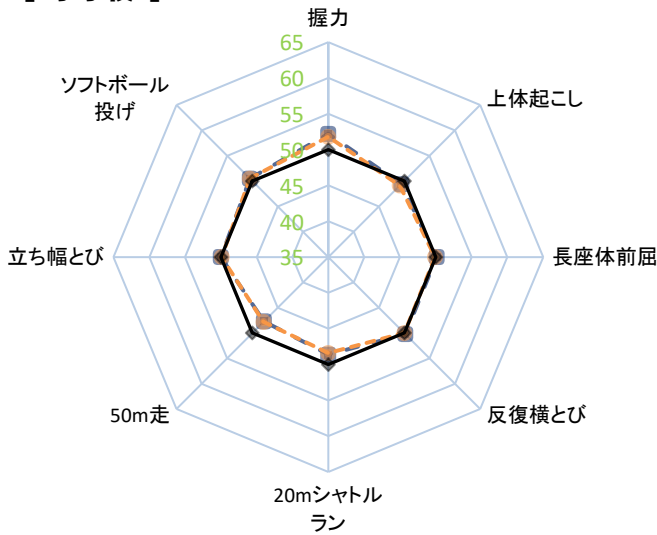
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の推進
- ◎ 社会教育を活用した、運動をしない児童生徒に対する運動機会の設定

■ 積丹町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校4校・児童数8名、中学校1校・生徒数12名)  
 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、積丹町の小学校の各種目のデータは掲載していない

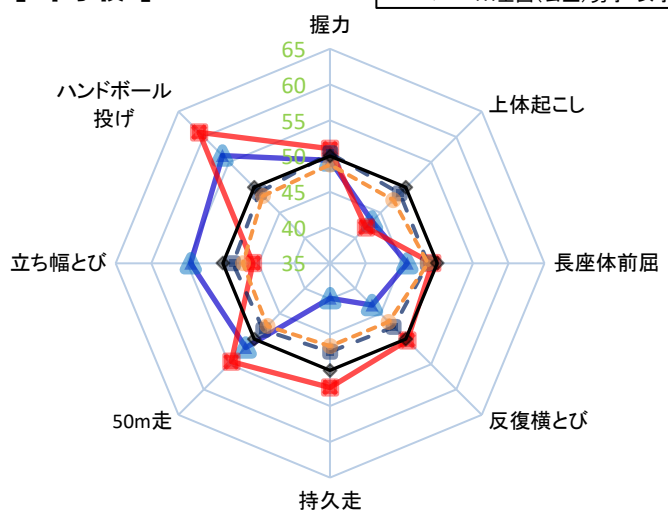
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

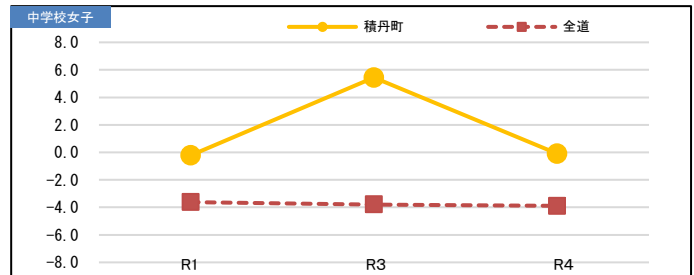
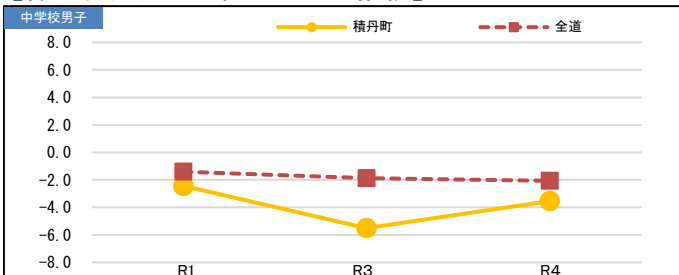
【小学校】



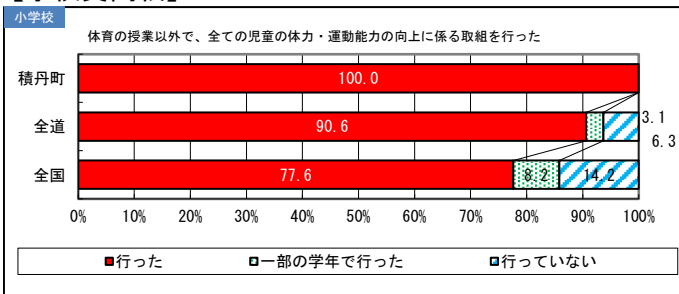
【中学校】



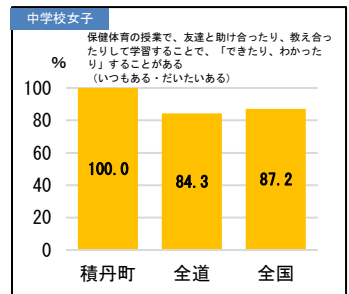
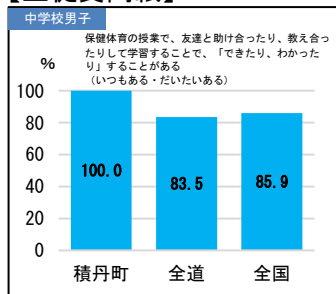
【体力合計点の全国との差の推移】



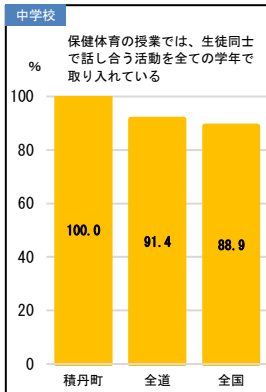
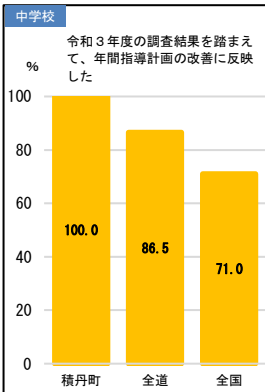
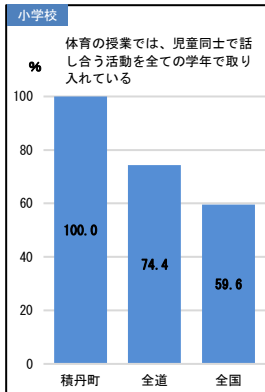
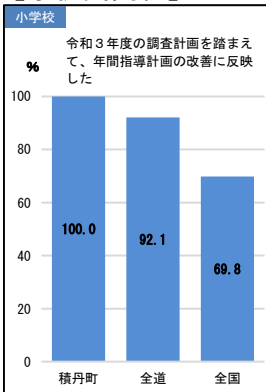
【学校質問紙】



【生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
 調査結果を踏まえて年間指導計画を改善し、授業で話し合う活動を取り入れるとともに、体育の授業以外でも体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、運動が好きだと思う児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
 調査結果を踏まえて年間指導計画を改善し、授業で話し合う活動を取り入れたことにより、授業で友達と助け合うことで、できるようになったと思う生徒が増え、男子の体力合計点の全国との差が縮まったと考えられる。

【積丹町の体力向上策】

- ◎ 体育専科教員を配置し、自ら進んで運動に取り組むことを促す学習指導や体力向上に取り組む環境づくりを推進
- ◎ 町内各スポーツ団体と連携した体育・スポーツの機会の提供と普及の促進



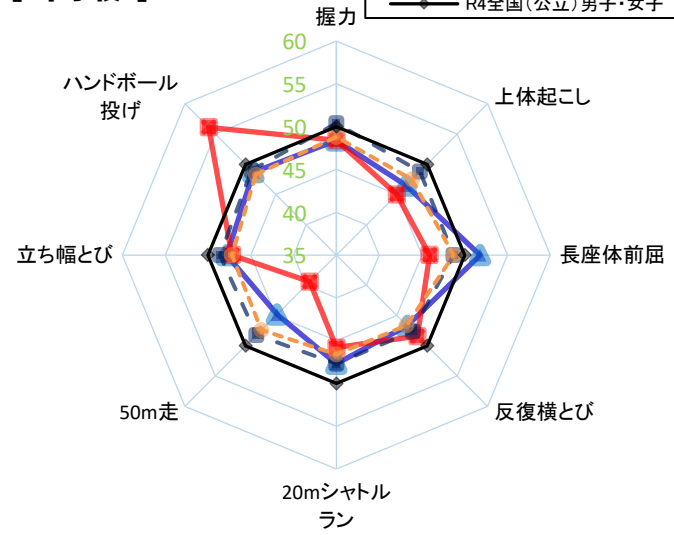
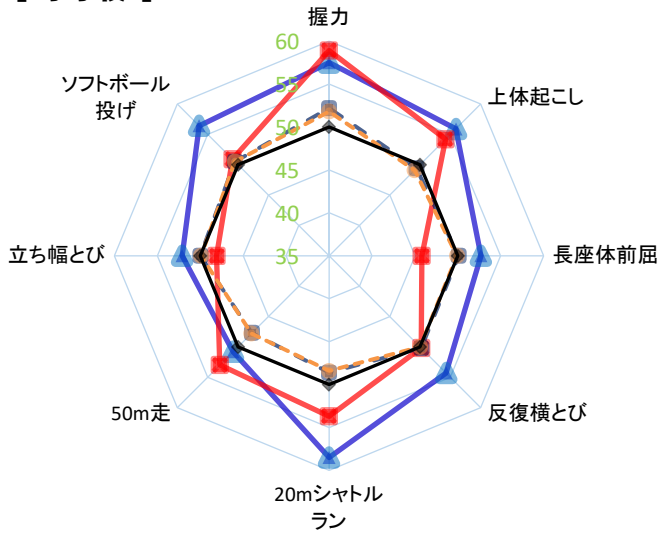
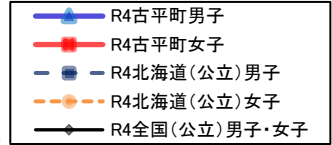
■ 古平町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数13名、中学校1校・生徒数21名)

【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

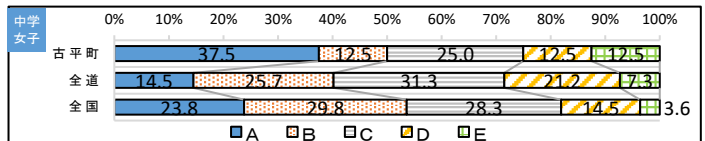
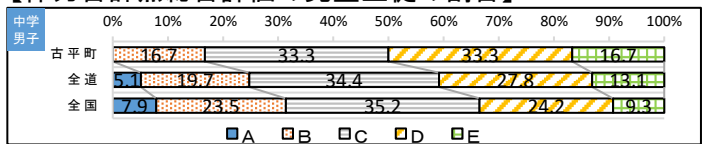
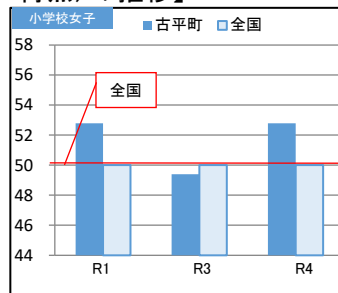
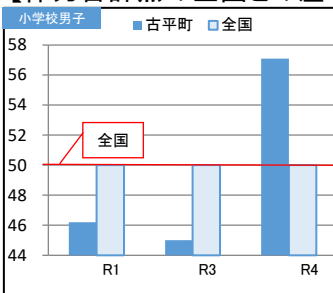
【小学校】

【中学校】

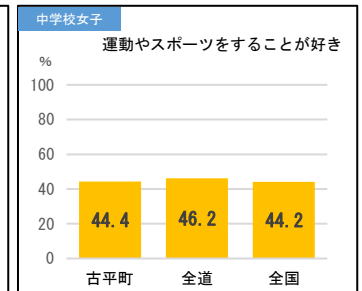
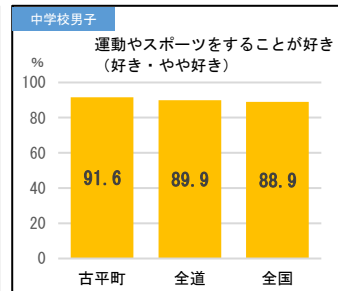
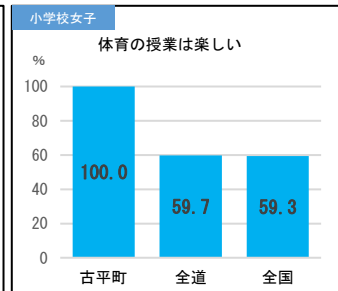
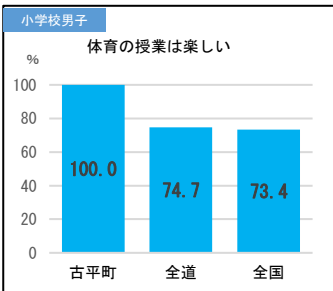


【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】

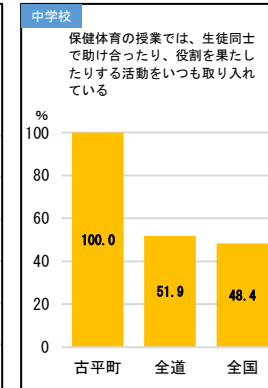
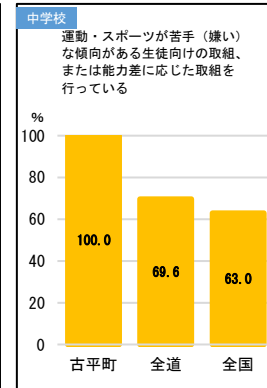
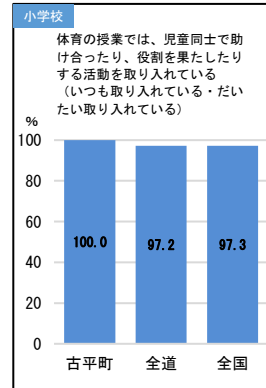
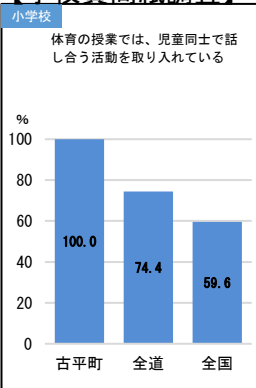
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

＜小学校＞  
 体育の授業で児童同士で話し合う活動を取り入れたり、児童同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を行ったことにより、体育の授業が楽しいと感じる児童が増え、男女ともに体力合計点が全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
 保健体育の授業で運動・スポーツが苦手な傾向にある生徒向けの取組を行ったことや、生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れたことにより、運動やスポーツをすることが好きな生徒が増え、男子1種目、女子1種目で全国を上回ったと考えられる。

【古平町の体力向上策】

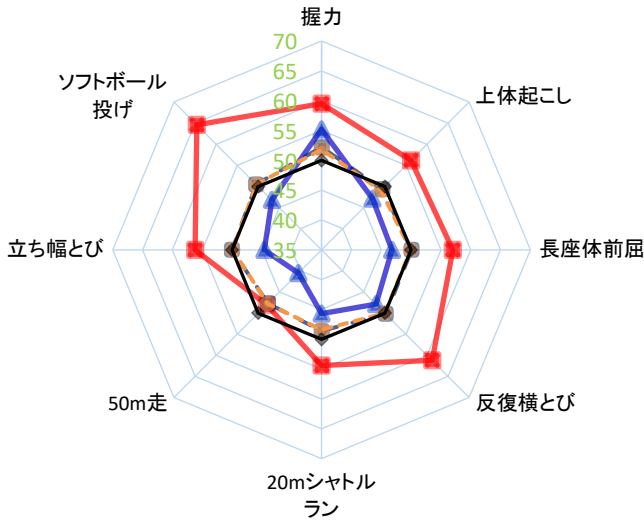
- ◎ 1人1台端末を活用し、児童生徒のそれぞれの課題を明確にした体力向上の取組
- ◎ 小・中学校9年間を見据えた児童生徒の体力向上の推進
- ◎ 体育授業以外の時間を活用した体力向上の環境の整備

■ 仁木町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数19名、中学校2校・生徒数29名)

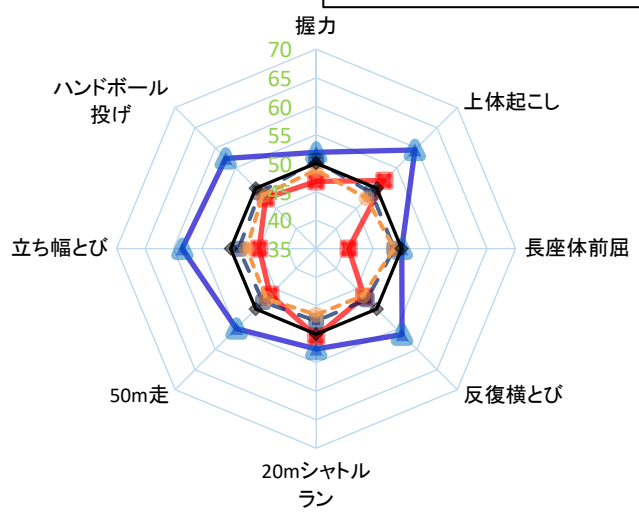
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

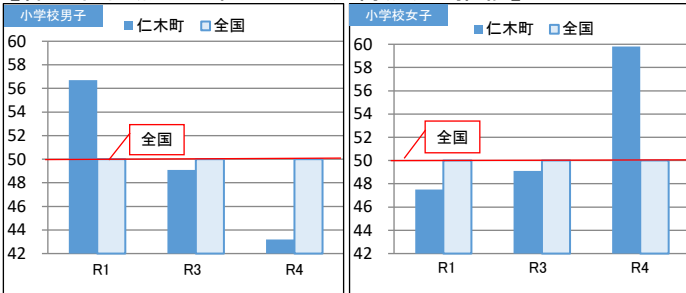
【小学校】



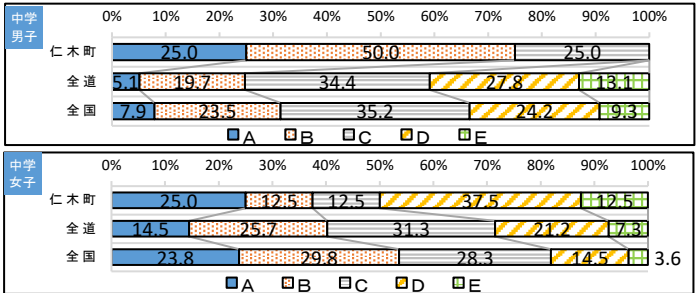
【中学校】



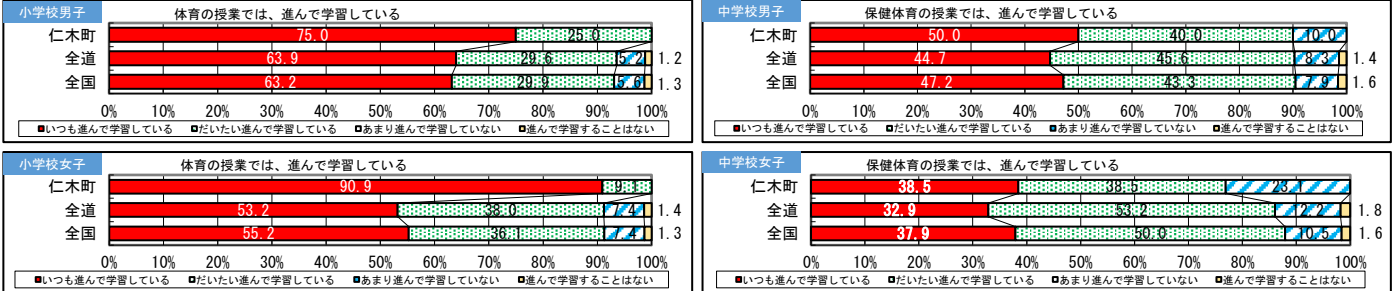
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



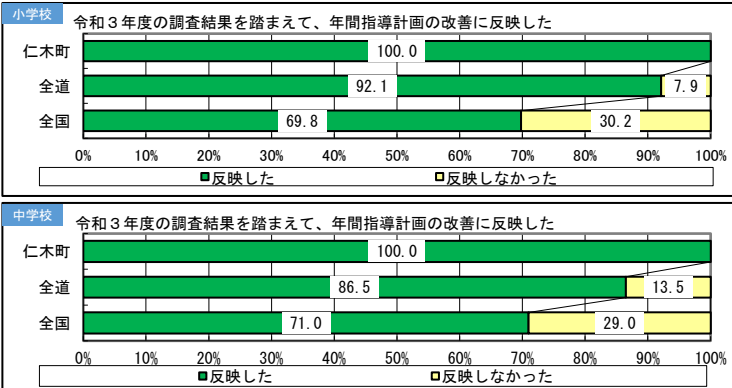
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



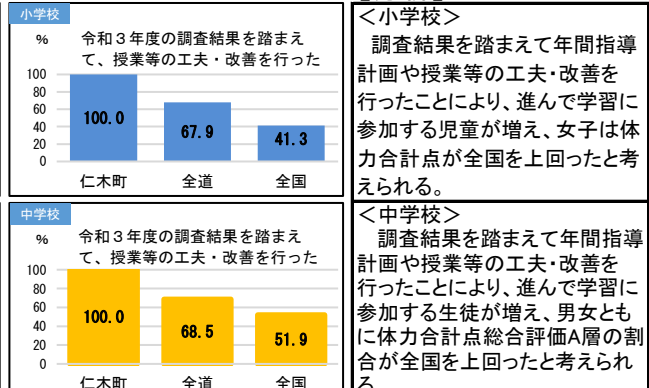
【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】



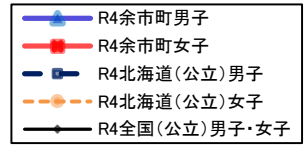
【仁木町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 学校及びスポーツ少年団等と連携を図った取組
- ◎ 部活動指導員を活用した専門的な指導

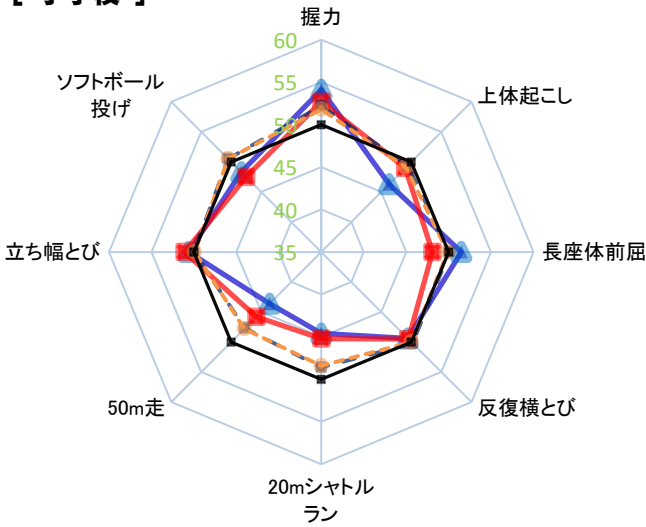
■ 余市町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校4校・児童数116名、中学校2校・生徒数87名)

【各種目の状況】

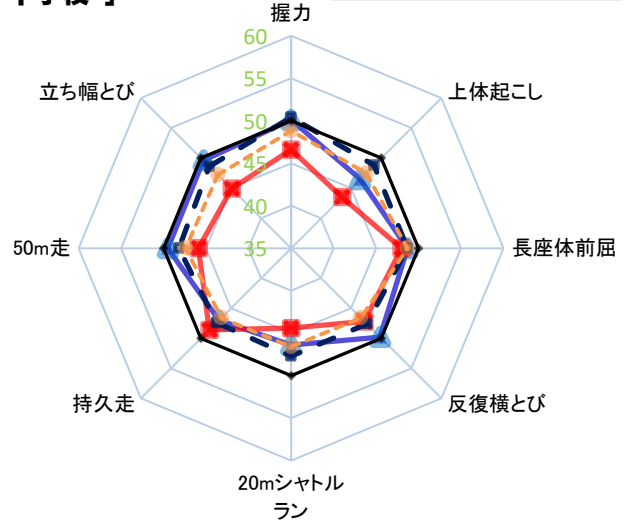
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



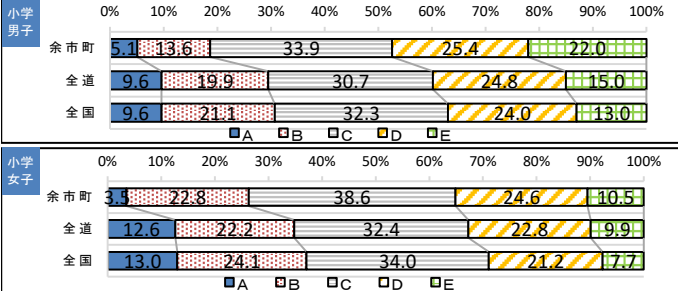
【小学校】



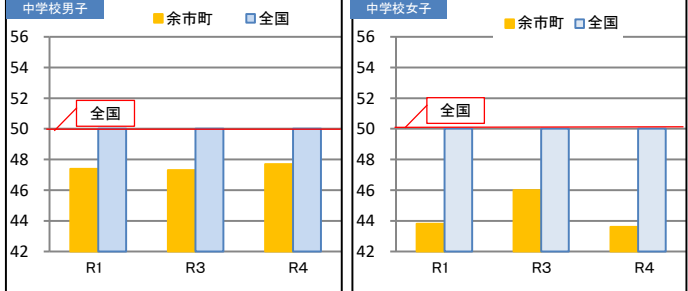
【中学校】



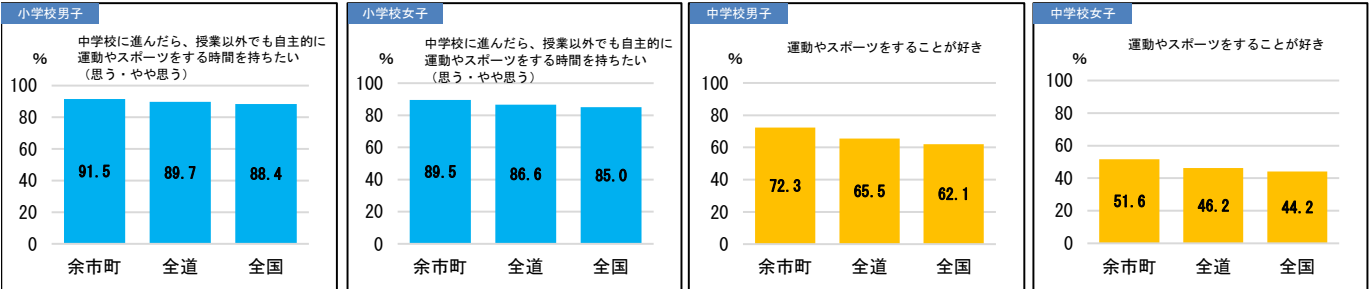
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



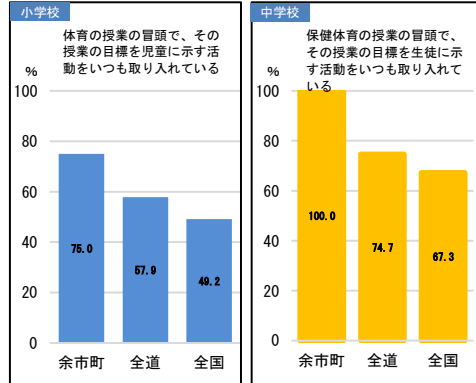
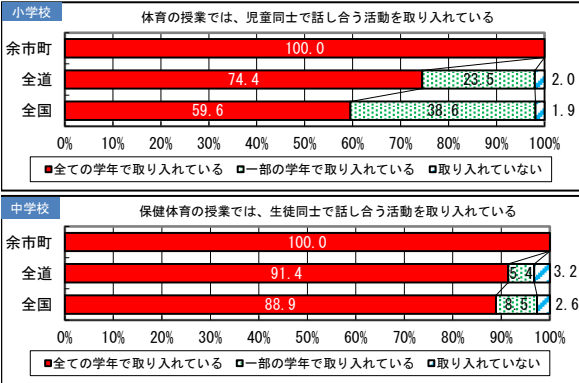
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
常に児童に目標を示したり、話し合う活動を充実させたりしたことにより、中学校で授業以外でも自主的に運動したいと思う児童が増え、男子3種目、女子2種目で全国を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
常に生徒に目標を示したり、話し合う活動を充実させたりしたことにより、運動が好きな生徒が増え、男子は体力合計点の全国との差が縮まったと考えられる。

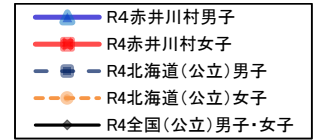
【余市町の体力向上策】

◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進

■ 赤井川村内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数8名、中学校1校・生徒数14名)

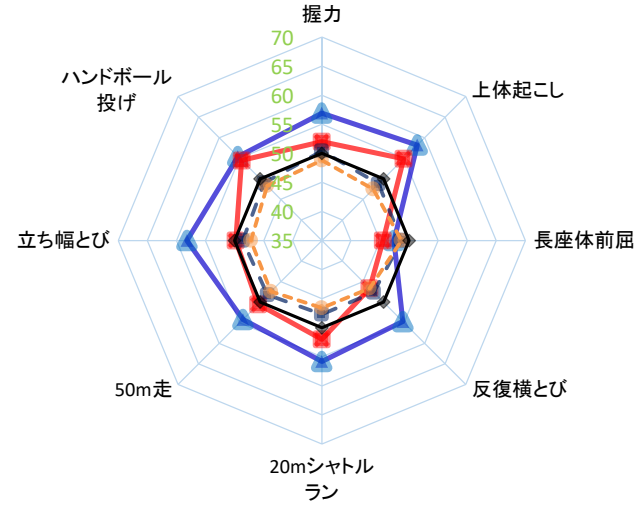
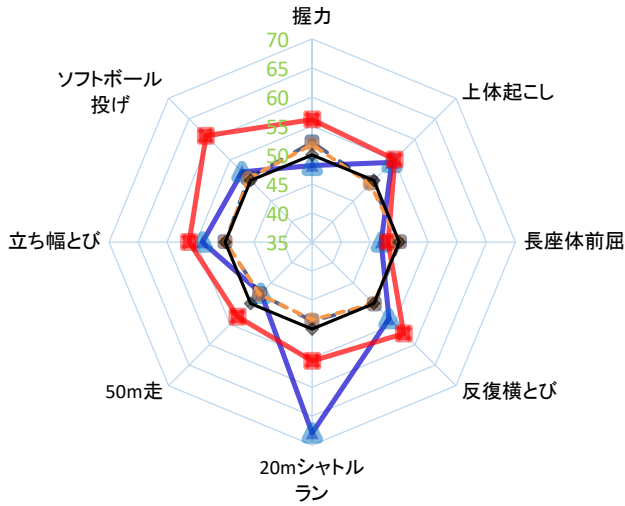
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

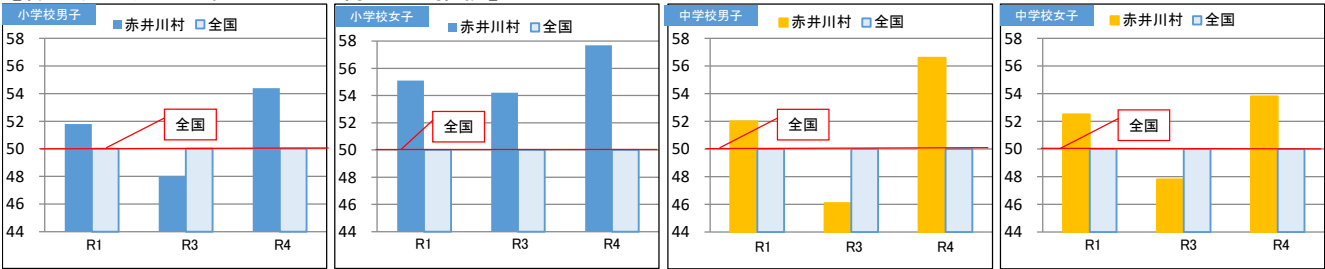


【小学校】

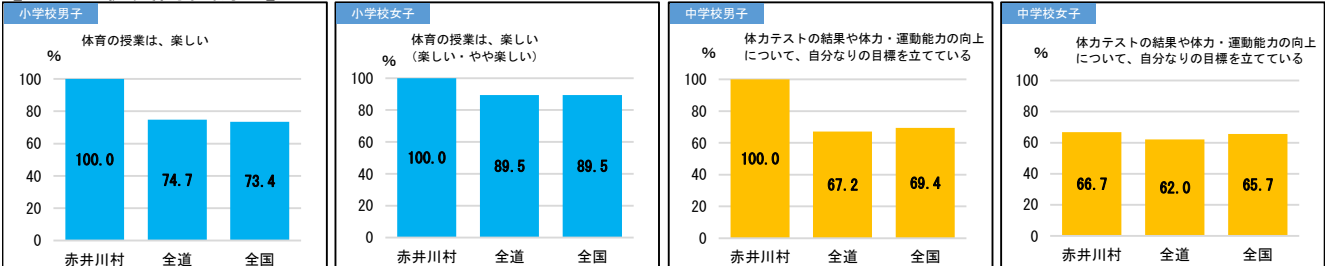
【中学校】



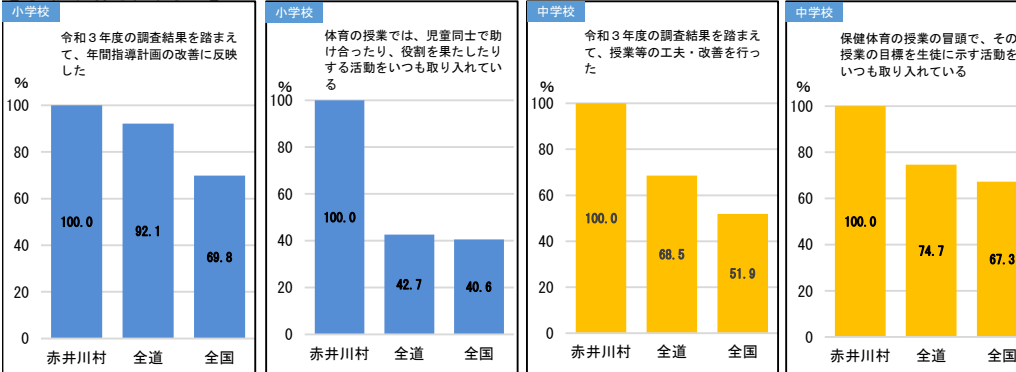
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
調査結果を踏まえて、年間指導計画を改善し、授業では、児童同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動をいつも取り入れたことにより、体育の授業は楽しいと思う児童が増え、男女ともに体力合計点が全国を上回ったと考えられる。

<中学校>  
調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行い、授業の目標を生徒に示す活動を取り入れたことにより、体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている生徒が増え、男女ともに体力合計点が全国を上回ったと考えられる。

【赤井川村の体力向上策】

- ◎ 体力の実態把握に基づいた体育活動の実施
- ◎ 児童生徒の運動への興味・関心を高める社会体育事業の実施

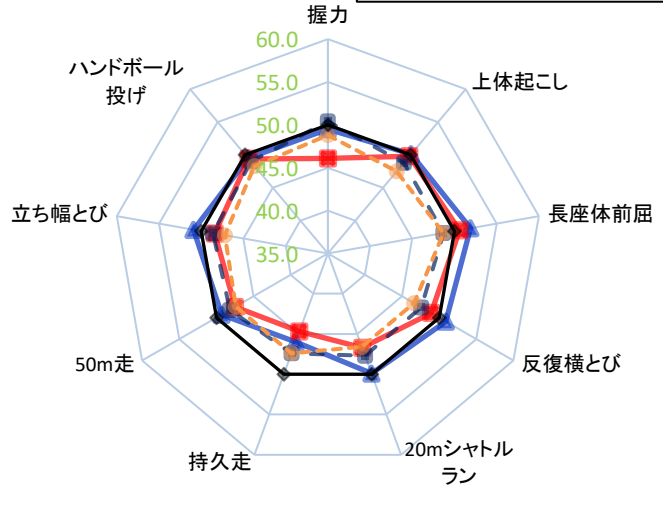
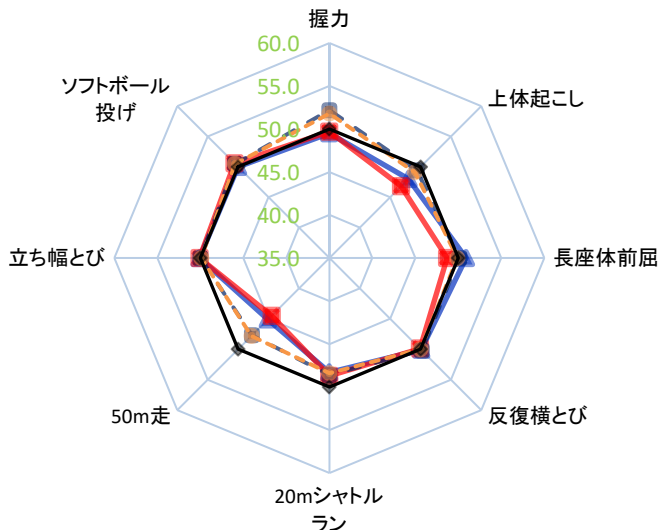
■ 室蘭市内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校9校・児童数556名、中学校7校・生徒数557名)

【各種目の状況】

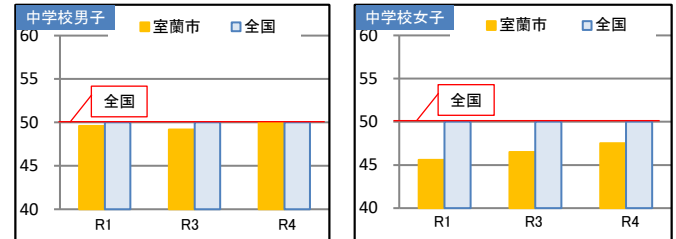
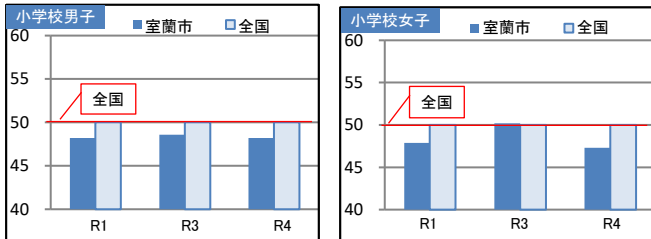
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

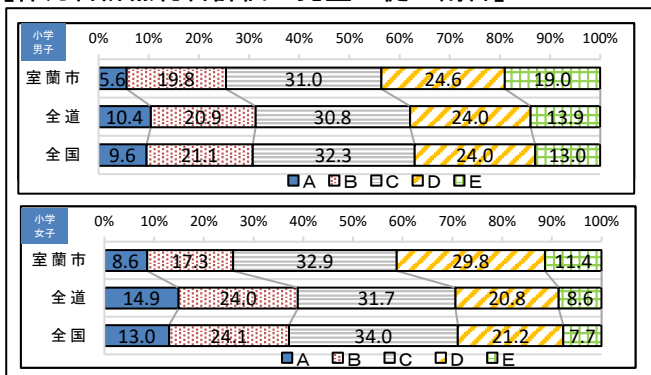
【中学校】



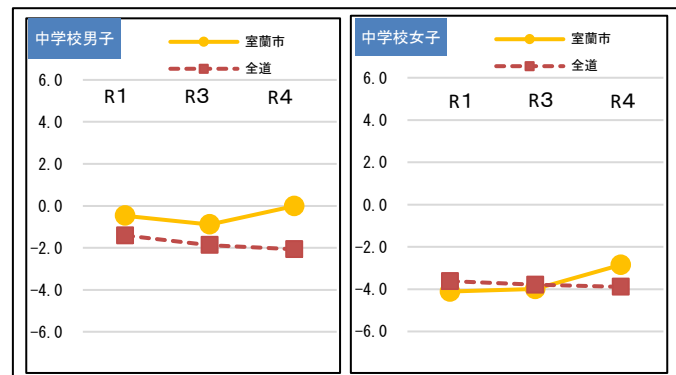
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



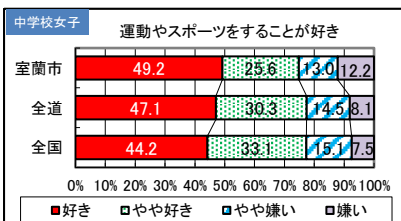
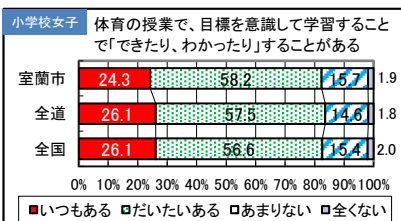
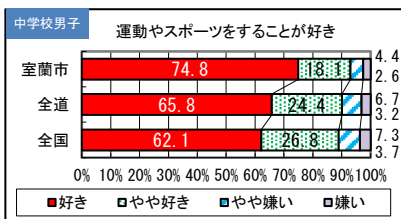
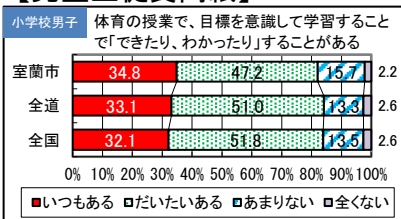
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



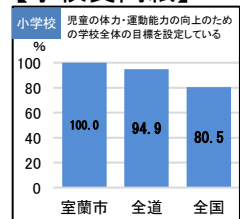
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
全ての学校において、児童の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定したことにより、体育の授業で、目標を意識して学習することが「できたり、わかったり」する児童の割合が全国及び全道を上回ったと考える。

＜中学校＞  
各学校において、生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定したことにより、男女ともに体力合計点が高くなってきたと考える。

【室蘭市の体力向上策】

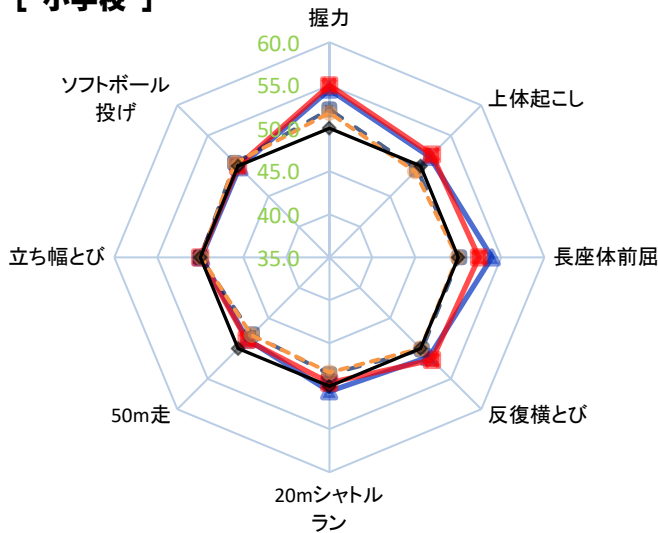
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 各校の体力向上プランを基に小・中学校9年間を見通した子どもたちの体力向上、運動習慣の定着

■ 苫小牧市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校23校・児童数1466名、中学校16校・生徒数1461名)

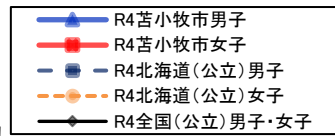
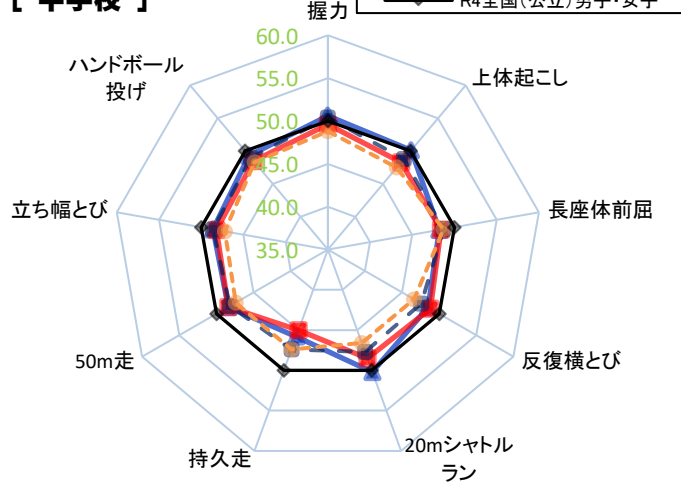
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

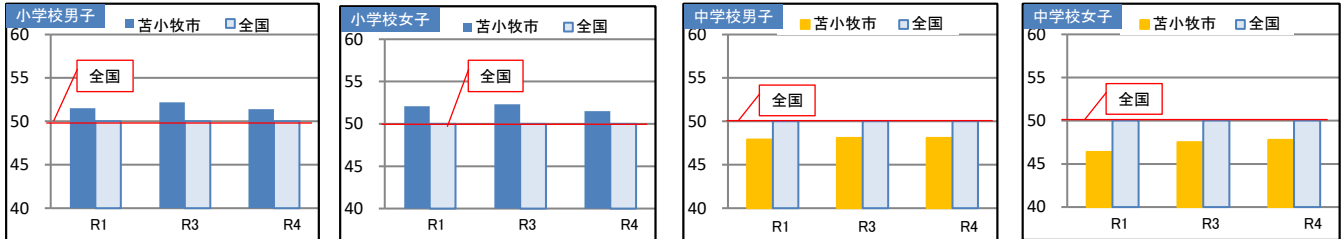
【小学校】



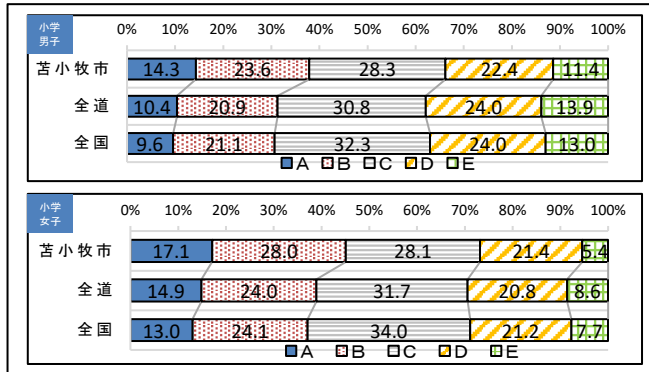
【中学校】



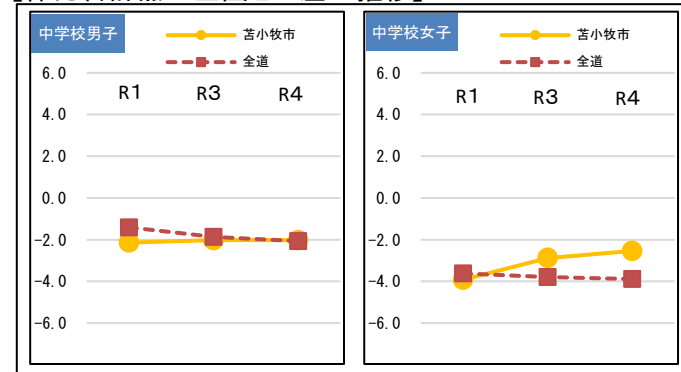
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



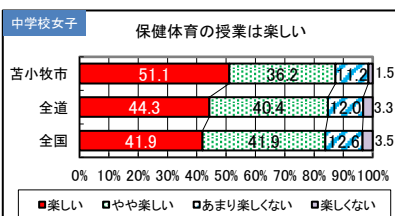
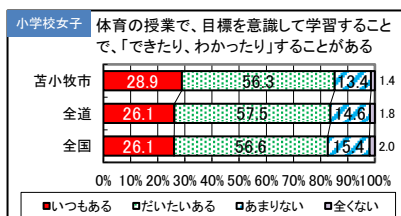
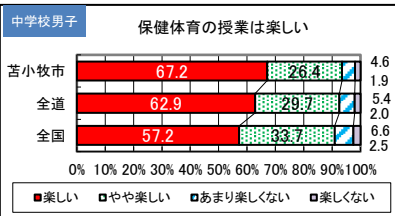
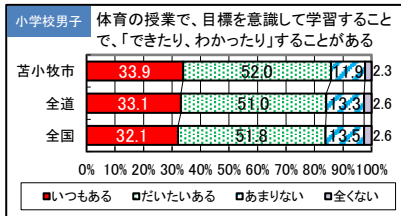
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



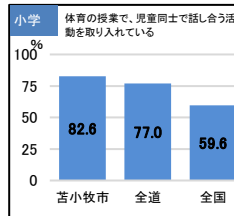
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育授業で、児童同士で話し合う活動を取り入れたことにより、男女ともに体力合計点総合評価のA層の児童が増加したと考える。

＜中学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえて年間指導計画の改善に反映したことにより、保健体育の授業は楽しいと回答した生徒が増加し、女子の体力合計点も高くなってきたと考える。

【苫小牧市の体力向上策】

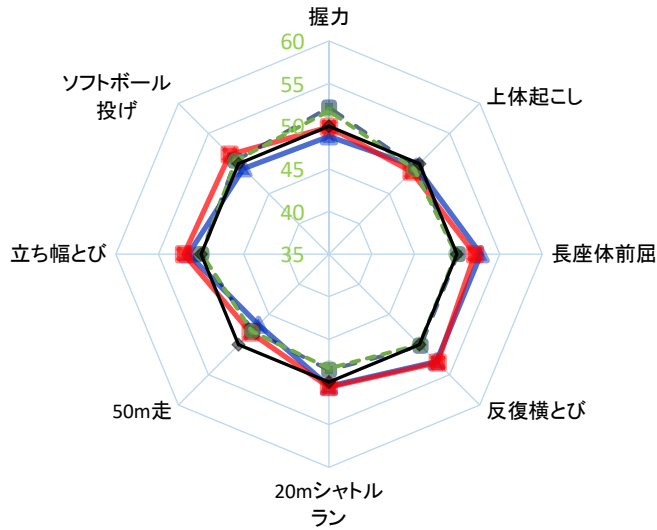
- ◎ 子どもたちが目標を持って積極的に運動するための「心と体の育成プラン」に基づく取組の推進
- ◎ 体力向上に向けた効果的な指導を行っている学校の実践事例の周知及び普及

■ 登別市内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校8校・児童数312名、中学校5校・生徒数297名)

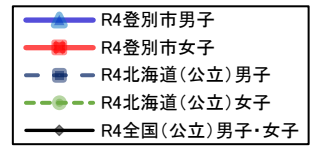
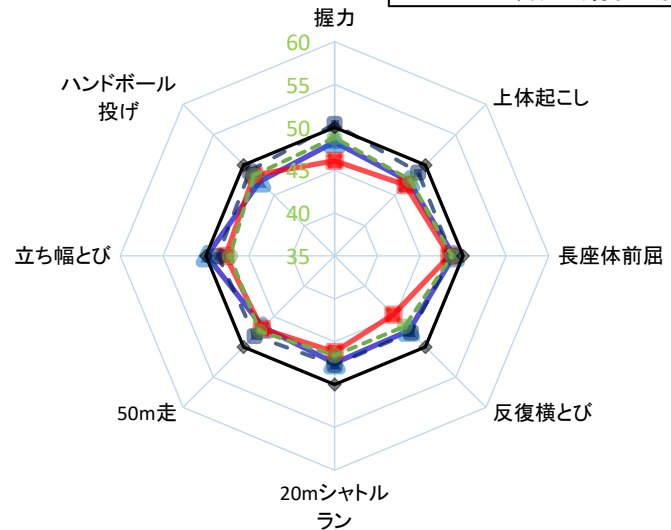
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

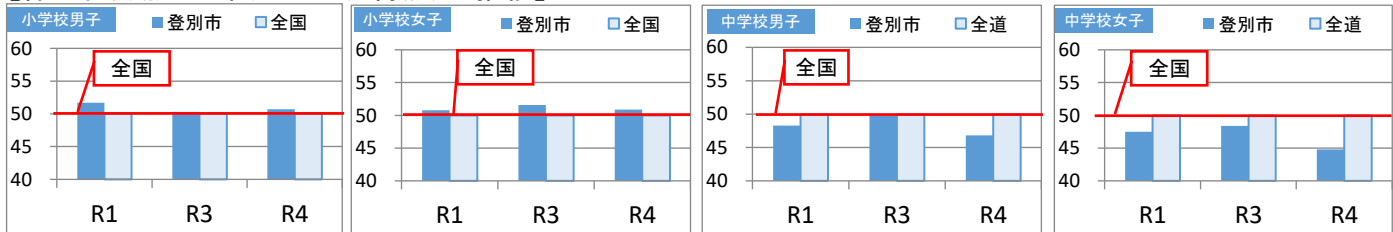
【小学校】



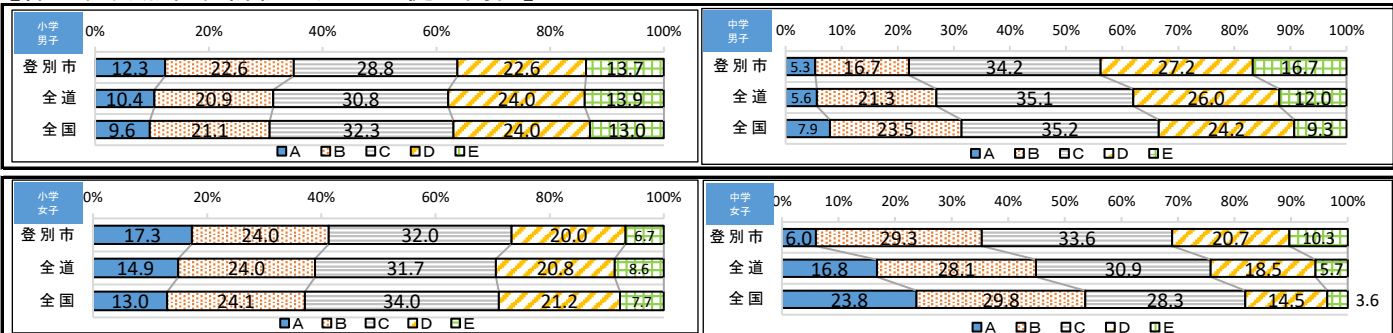
【中学校】



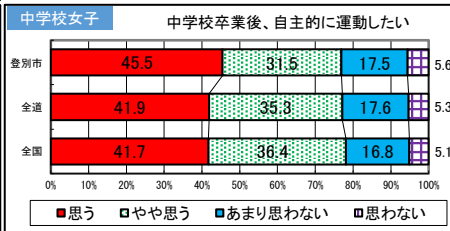
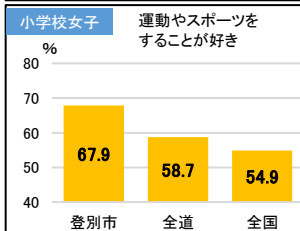
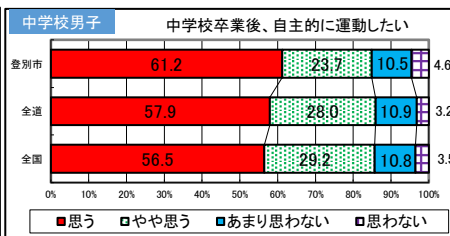
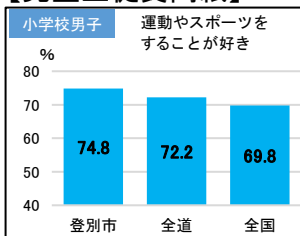
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



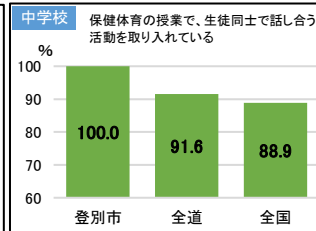
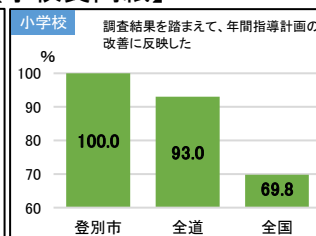
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
全ての学校において、調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映したことにより、男女ともに運動やスポーツをすることが好きと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考える。

＜中学校＞  
全ての学校において、保健体育の授業で、生徒同士で話し合う活動を取り入れたことにより、男女ともに中学校卒業後、自主的に運動したいと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考える。

【登別市の体力向上策】

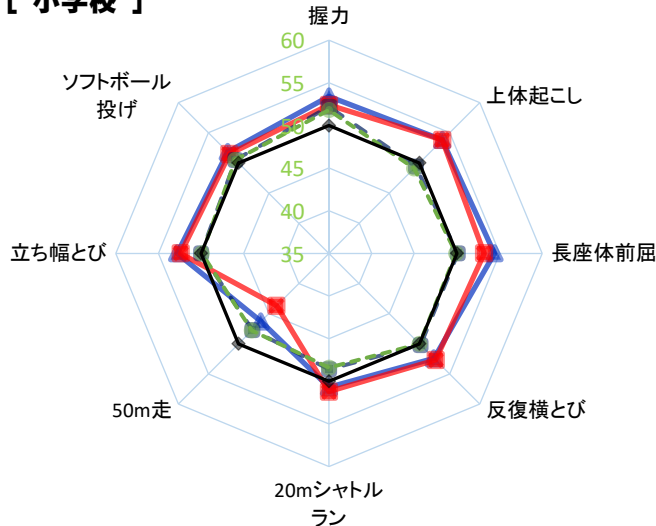
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- スポーツ指導員の派遣等を通じた学校における体育指導の充実や運動の習慣化

■ 伊達市内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校7校・児童数246名、中学校4校・生徒数229名)

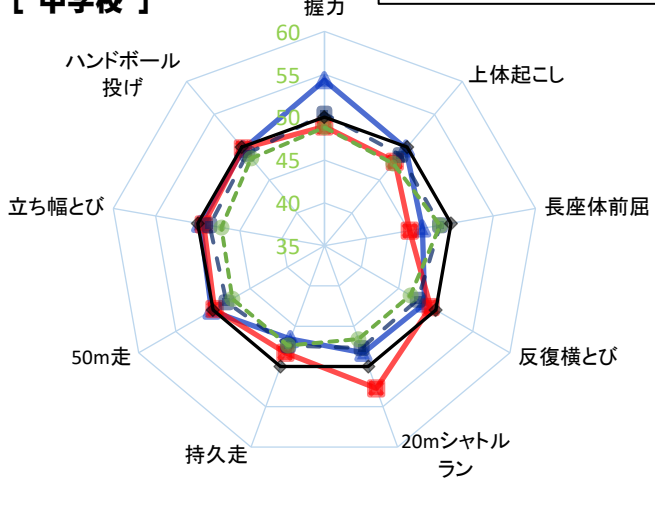
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

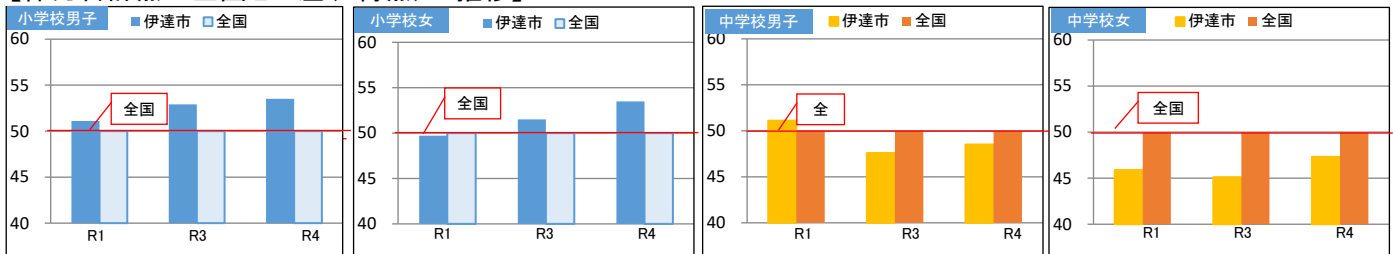
【小学校】



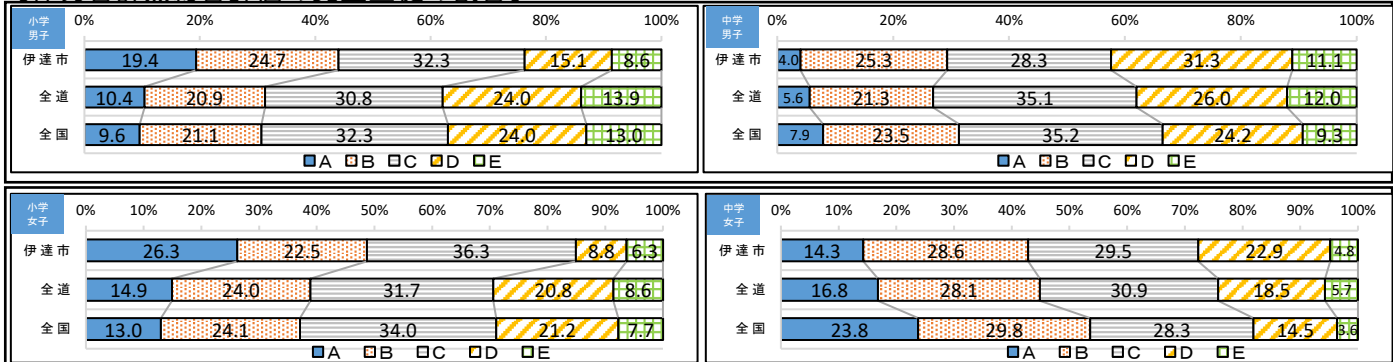
【中学校】



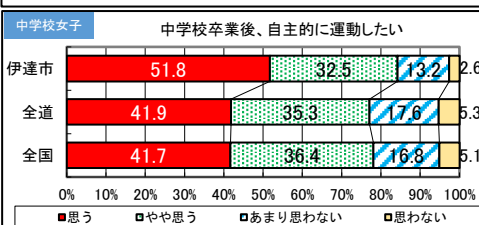
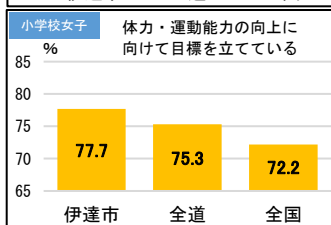
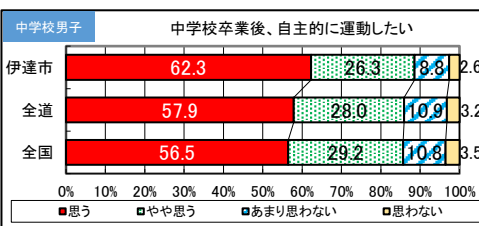
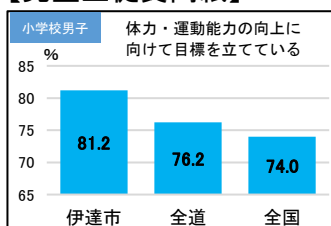
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



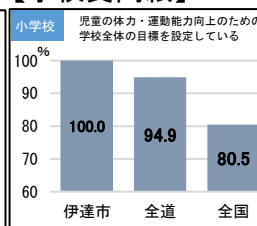
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】

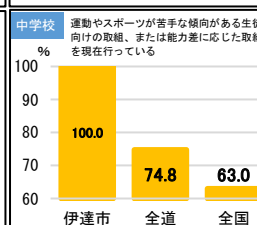


【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
全ての学校において、児童の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定したことにより、男女ともに、体力・運動能力向上の目標を立てている児童の割合が全国及び全道を上回ったと考える。



＜中学校＞  
全ての学校において、運動やスポーツが苦手な傾向がある生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行ったことにより、男女ともに、中学校卒業後、自主的に運動したいと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考える。

【伊達市の体力向上策】

- ◎ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」や「伊達市体カテスト」の結果を踏まえた体力向上プランの確立
- ◎ 運動部活動の地域移行を含めた、地域における新しいスポーツ環境の構築

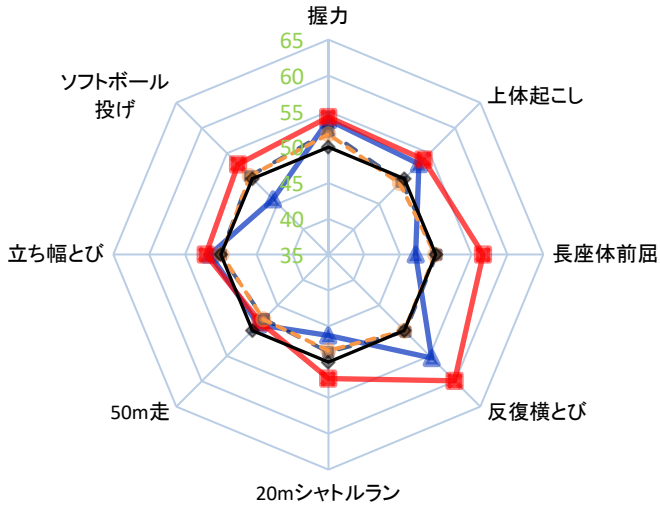


■ 豊浦町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校3校・児童数22名、中学校1校・生徒数17名)

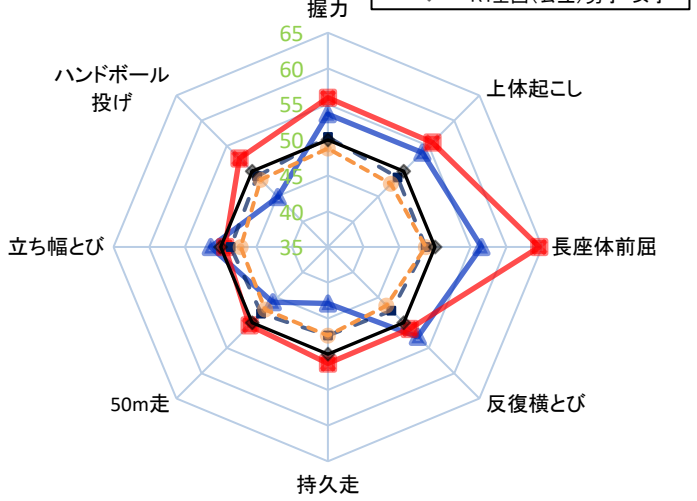
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

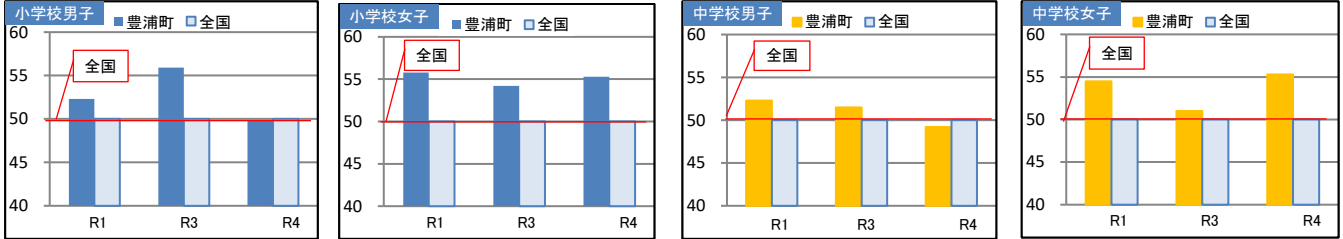
【小学校】



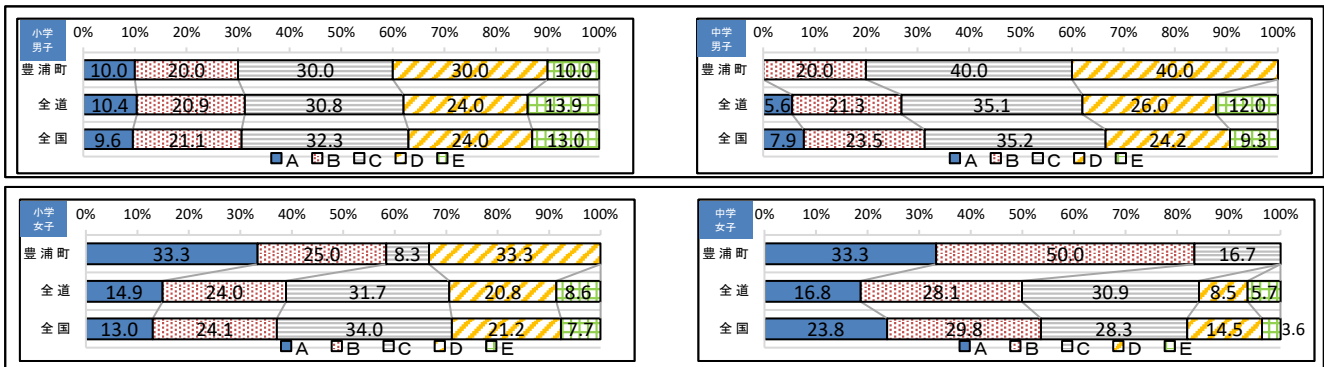
【中学校】



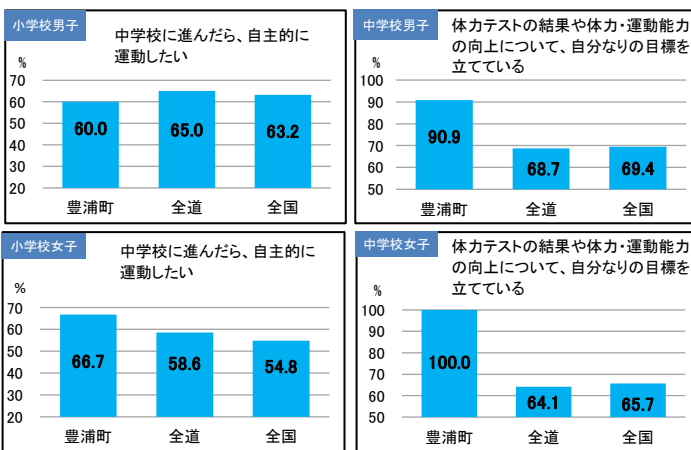
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



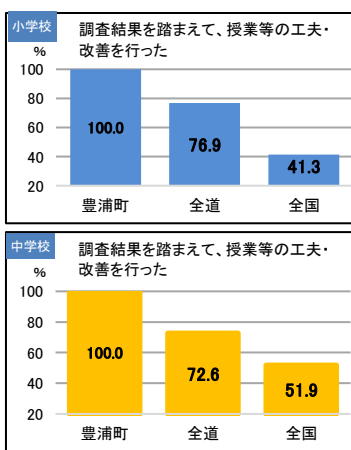
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
全ての学校において、これまでの調査結果を踏まえて、授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、女子の体力合計点総合評価のA層の児童の割合が全国を上回ったと考える。

＜中学校＞  
全ての学校において、これまでの調査結果を踏まえて、授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、女子の体力合計点総合評価のA層の生徒が全国を上回ったと考える。

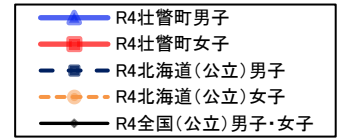
【豊浦町の体力向上策】

- ◎ 新体力テストの結果分析に基づく体育科・保健体育科の授業改善及び課題を踏まえた体力づくりの取組の推進
- ◎ 児童生徒の運動習慣定着を図ったスポーツ教室等の企画・実施

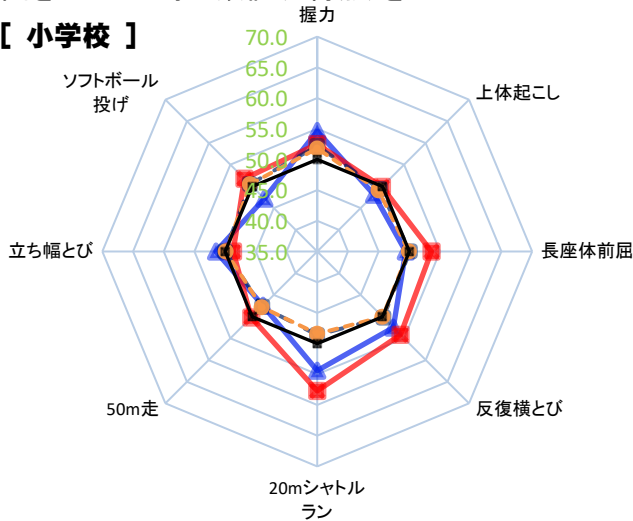
■ 壮警町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校1校・児童数17名、中学校1校・生徒数16名)

【各種目の状況】

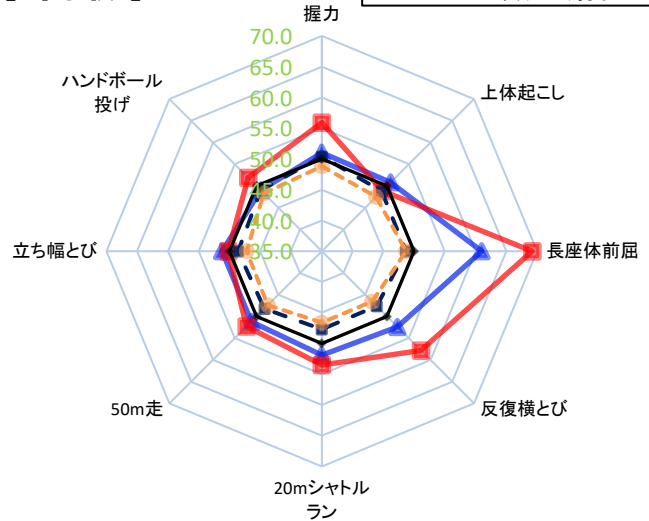
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



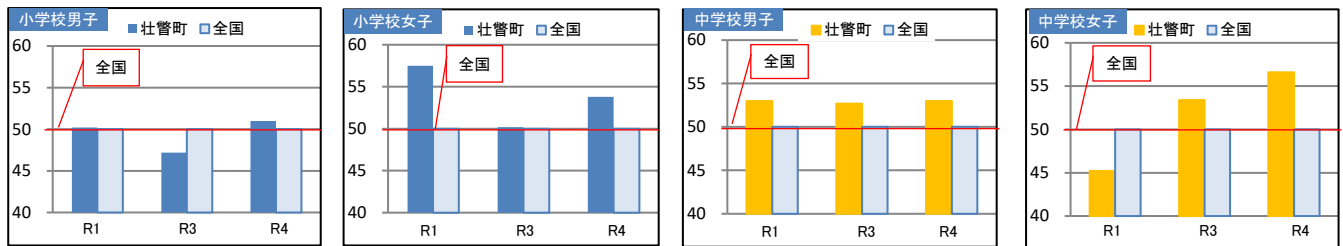
【小学校】



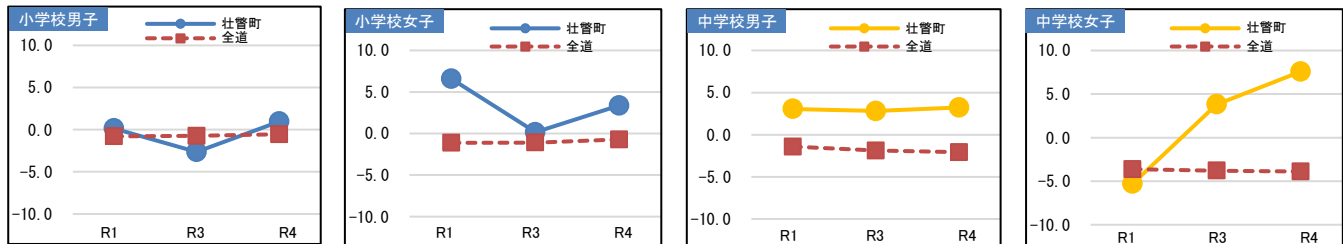
【中学校】



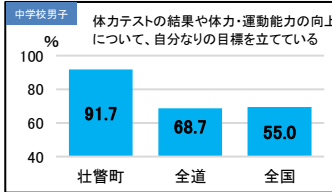
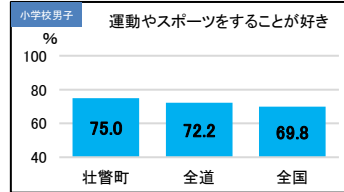
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



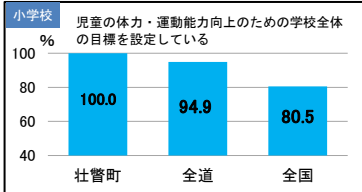
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



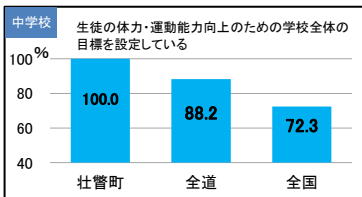
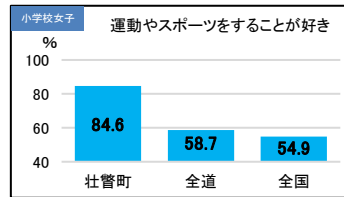
【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
全ての学校において、児童の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定したことにより、男女ともに体力合計点が全国及び全道を上回ったと考える。

<中学校>  
全ての学校において、生徒の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定したことにより、男女ともに体力合計点が全国及び全道を上回ったと考える。



【壮警町の体力向上策】

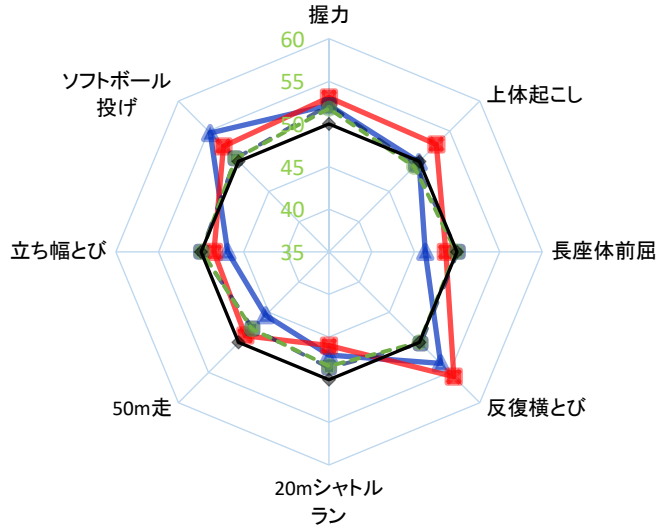
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の推進
- ◎ 少年団活動やスポーツクラブ等、地域と連携した体力・運動能力の向上

■ 白老町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校4校・児童数68名、中学校2校・生徒数76名)

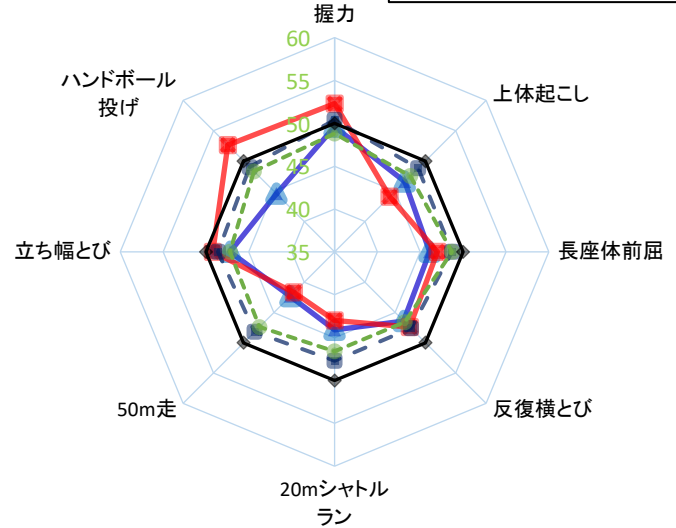
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

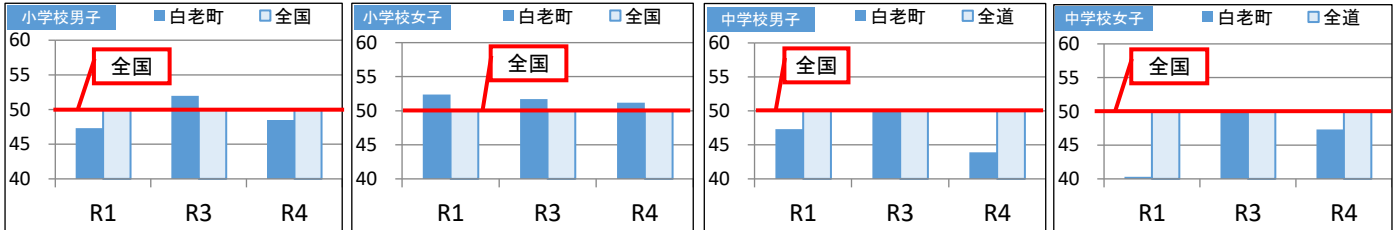
【小学校】



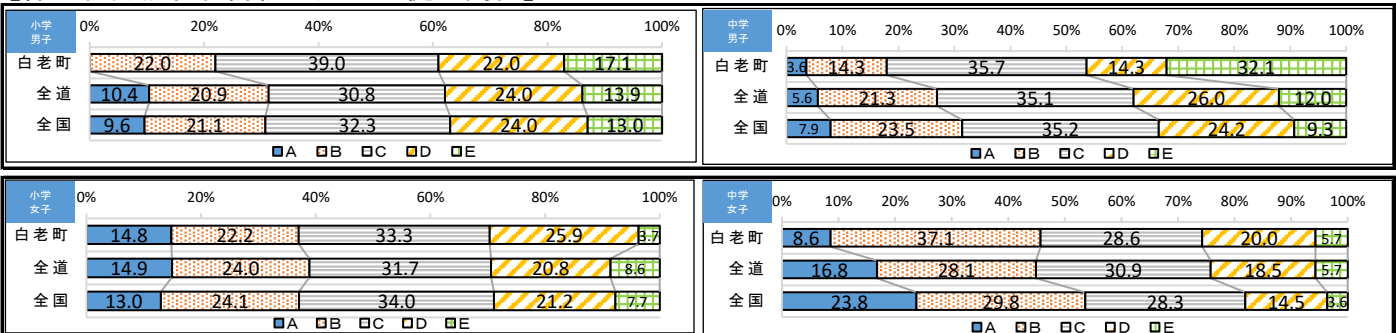
【中学校】



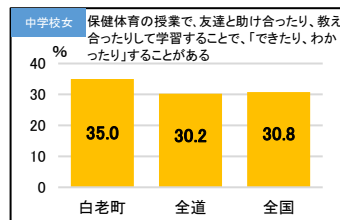
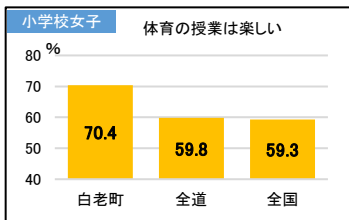
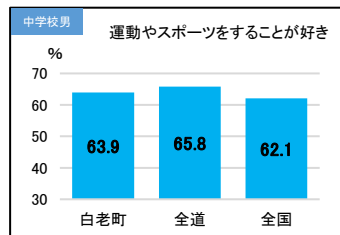
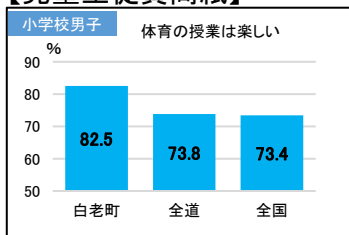
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



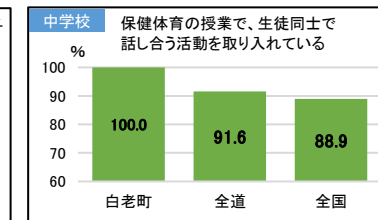
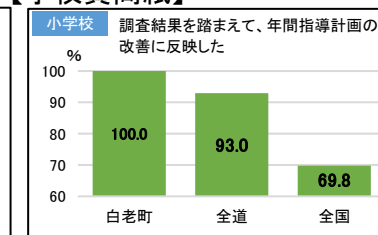
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
全ての学校において、調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映したことにより、男女ともに体育の授業は楽しいと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考える。

＜中学校＞  
全ての学校において、保健体育の授業で、生徒同士で話し合う活動を取り入れたことにより、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがあると回答した女子生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【白老町の体力向上策】

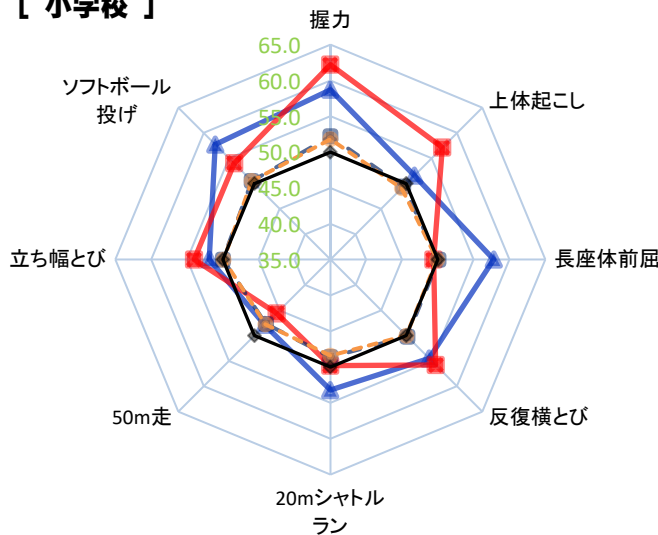
- 各学校における体力向上に向けた一校一実践の取組及び体育科や保健体育科の授業の充実
- 体育協会や町内のスポーツ団体と連携した体力向上につながるスポーツ団体活動の積極的な周知

■ 厚真町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校2校・児童数33名、中学校2校・生徒数42名)

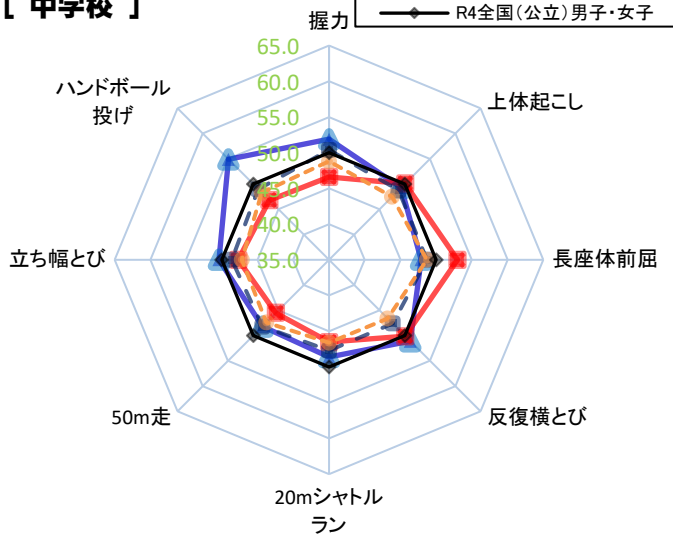
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

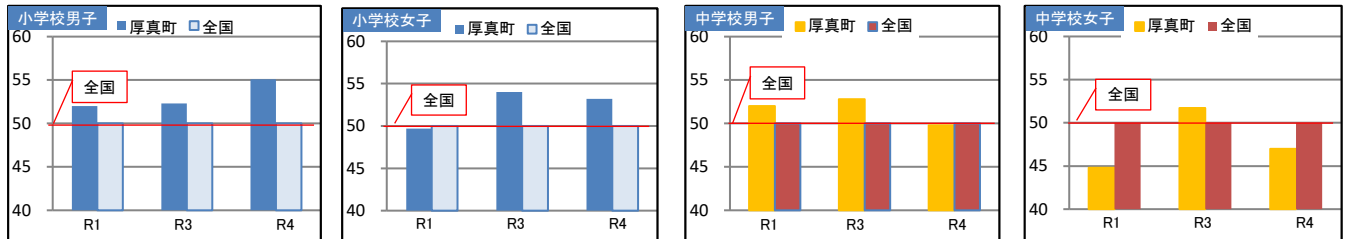
【小学校】



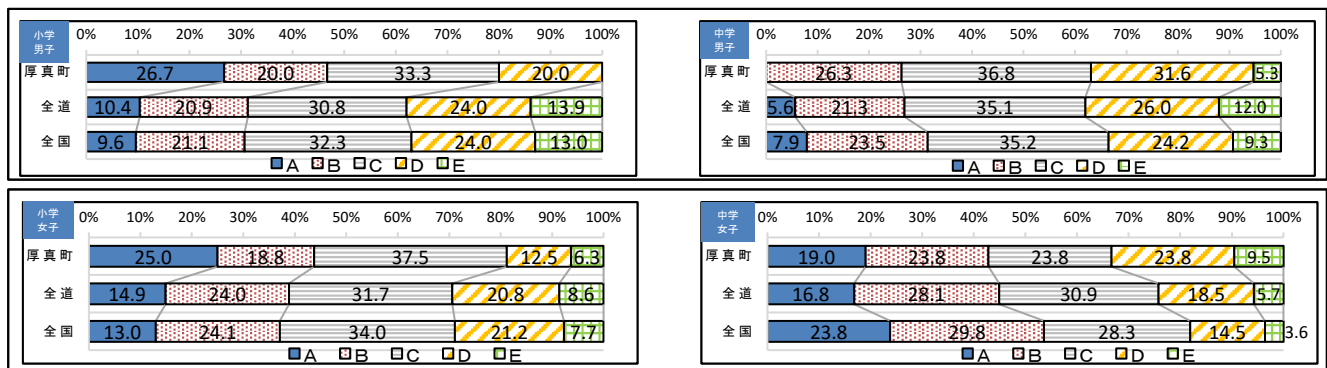
【中学校】



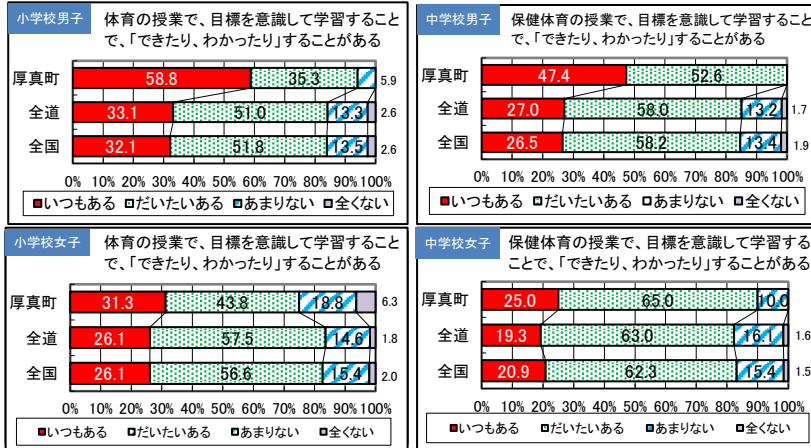
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



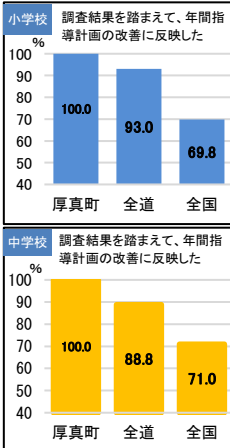
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
全ての学校において、調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映したことにより、男女ともに体力合計点総合評価のA層の児童が増加したと考える。

＜中学校＞  
全ての学校において、調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映したことにより、男女ともに保健体育の授業で、目標を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがあると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考える。

【厚真町の体力向上策】

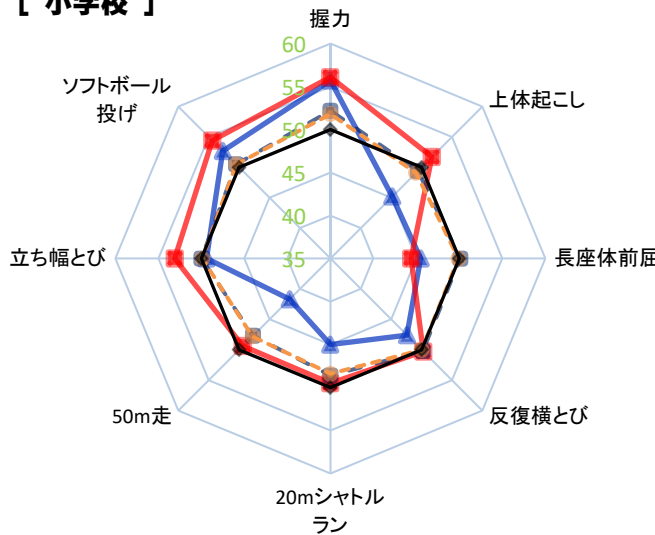
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 体育授業、部活動、休み時間や放課後活動の工夫など、学校、家庭、地域と連携した取組の充実

■ 洞爺湖町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数38名、中学校2校・生徒数46名)

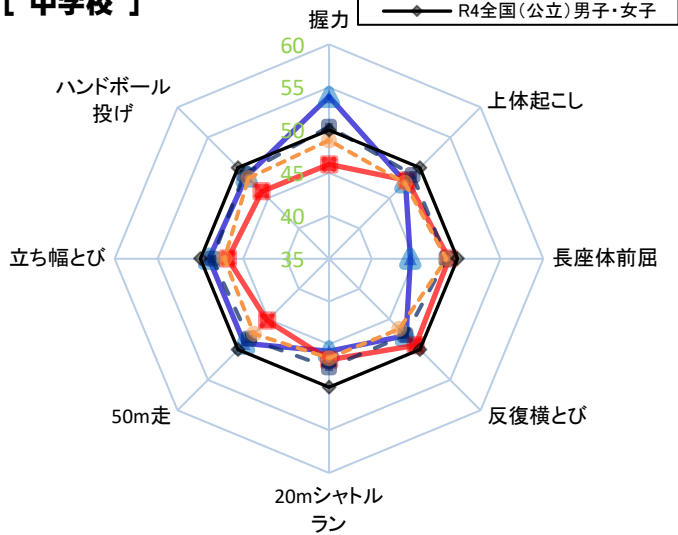
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

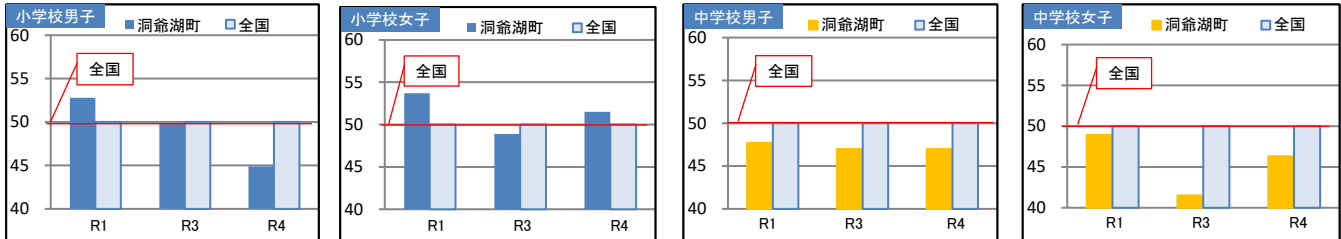
【小学校】



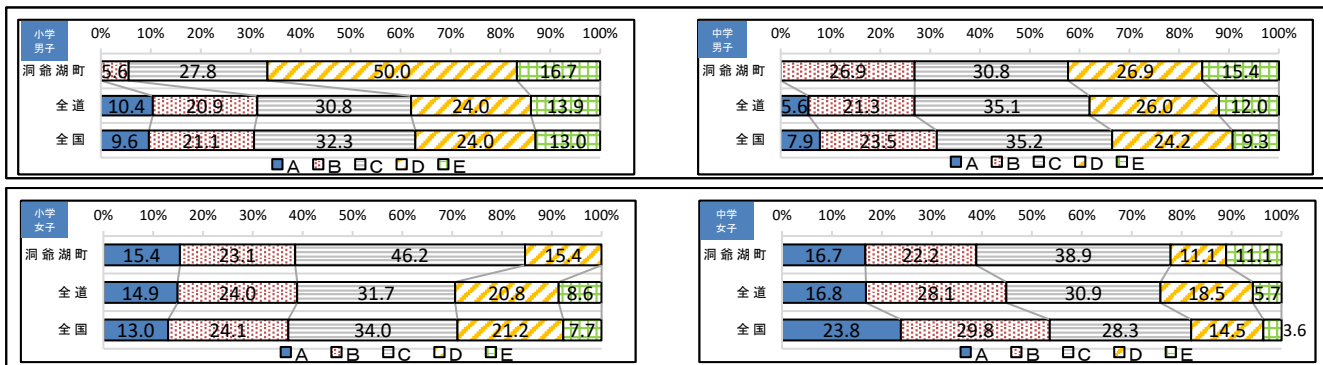
【中学校】



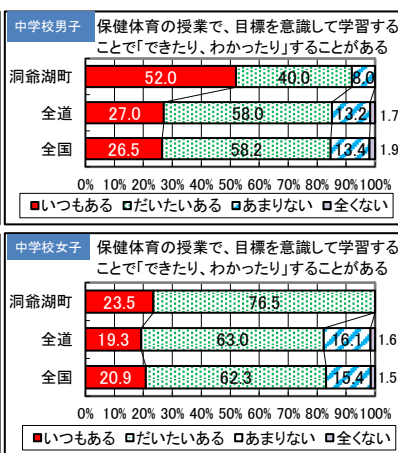
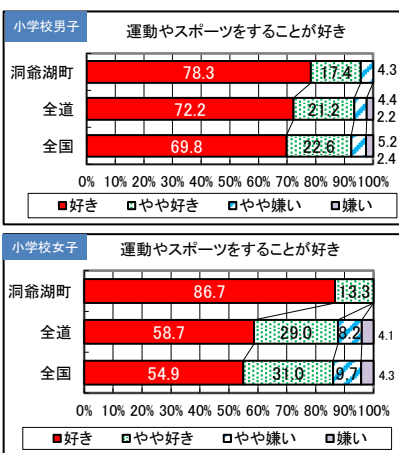
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



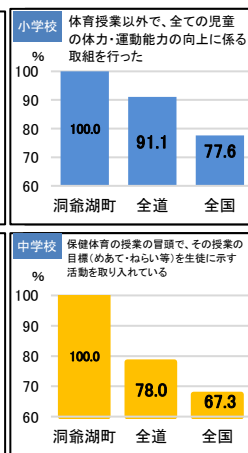
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
全ての学校において、体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、男女ともに体を動かすことが好きな児童の割合が全国及び全道を上回ったと考える。

＜中学校＞  
全ての学校において、保健体育の授業で目標を生徒に示す活動を取り入れたことにより、男女ともに目標を意識して学習することがある生徒が全国を上回ったと考える。

【洞爺湖町の体力向上策】

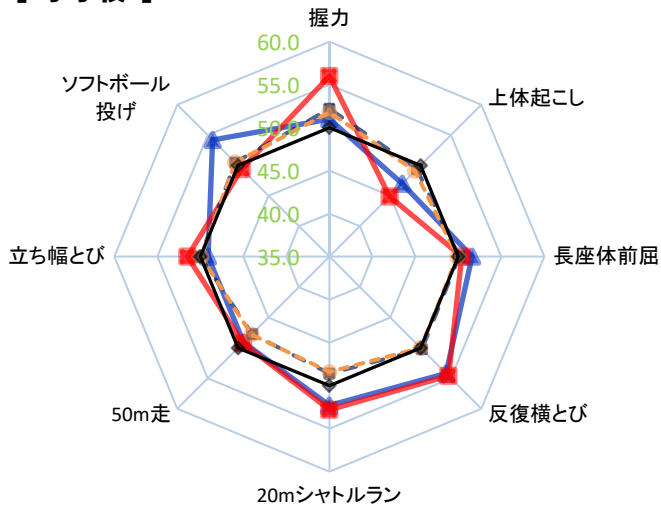
- ◎ 新体力テストの結果を踏まえた体育科、保健体育科の授業改善及び各学校における体力向上の取組の推進
- ◎ 関係団体との連携による体力向上や運動習慣確立に向けた取組の推進

■ 安平町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校4校・児童数43名、中学校2校・生徒数50名)

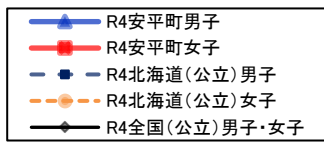
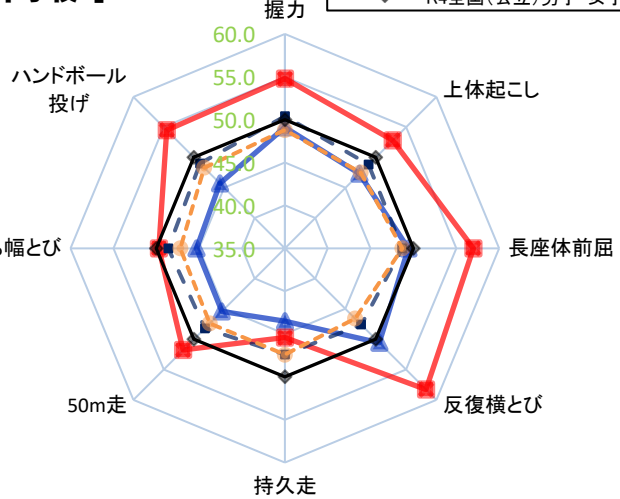
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

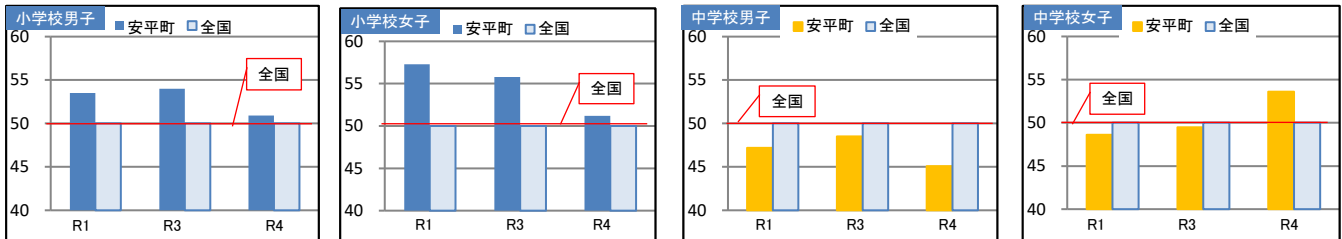
【小学校】



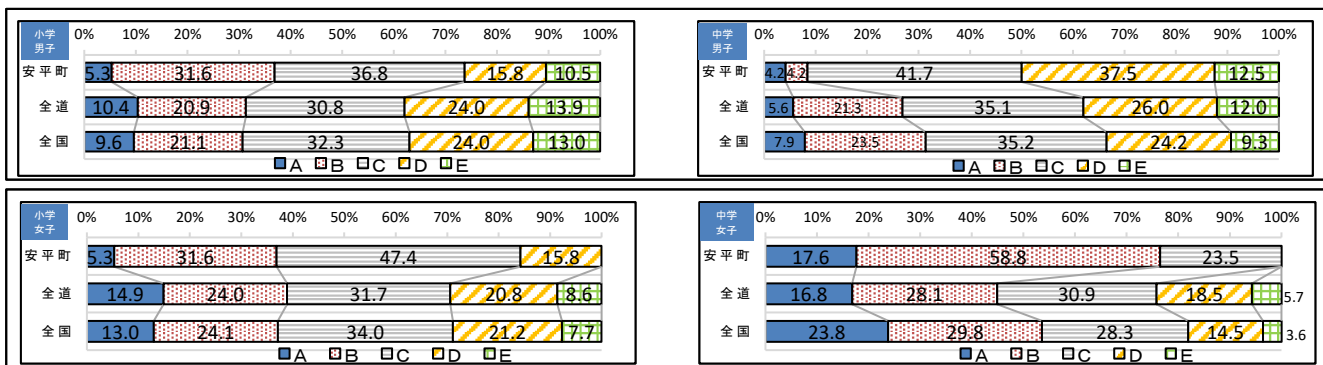
【中学校】



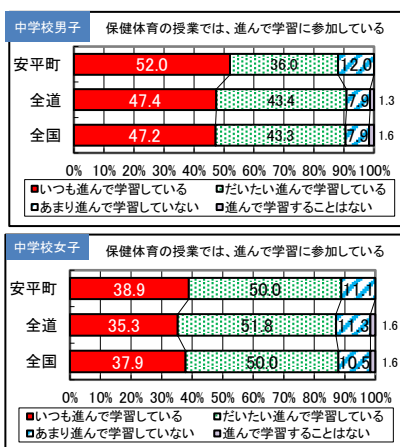
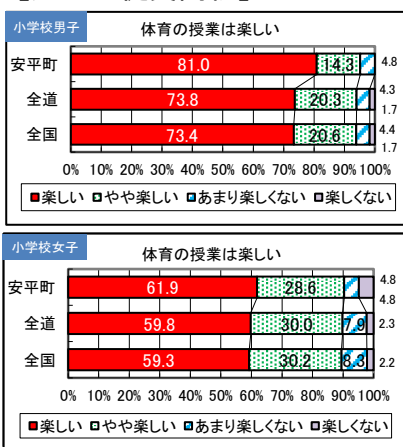
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



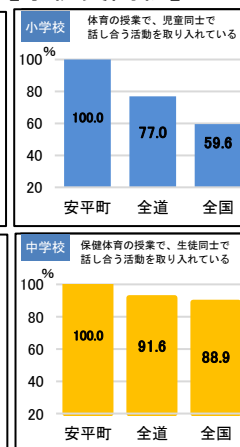
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
全ての学校において、体育の授業で児童同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、男女ともに体力合計点が全国を上回ったと考える。

＜中学校＞  
全ての学校において、保健体育の授業で生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、女子の体力合計点が全国を上回ったと考える。

【安平町の体力向上策】

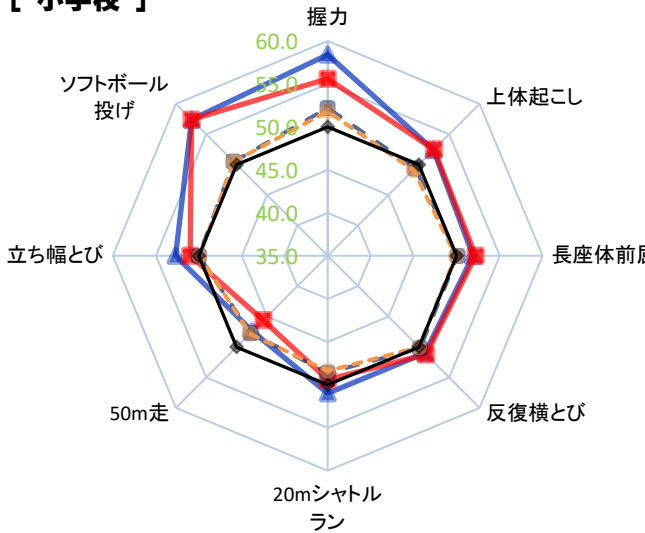
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ スポーツ事業や運動教室、各種スポーツ大会等民間企業と連携した取組の推進

■ むかわ町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数54名、中学校2校・生徒数45名)

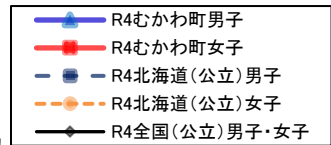
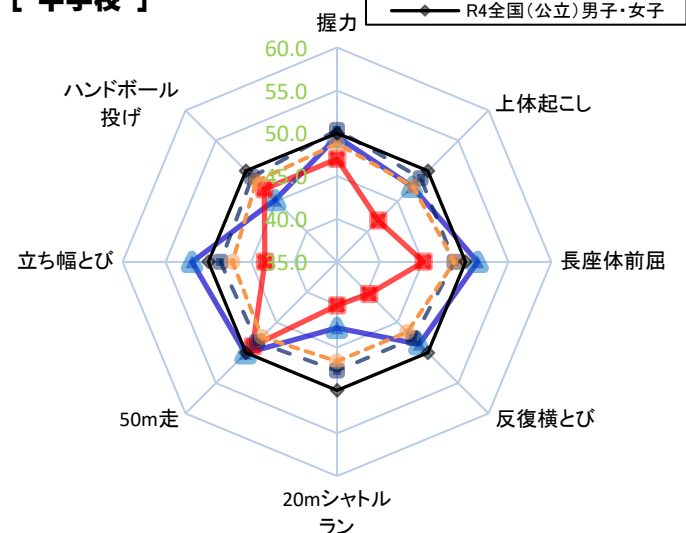
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

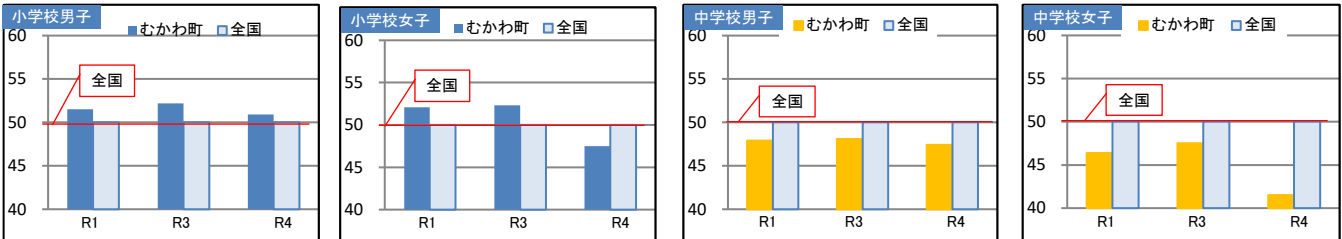
【小学校】



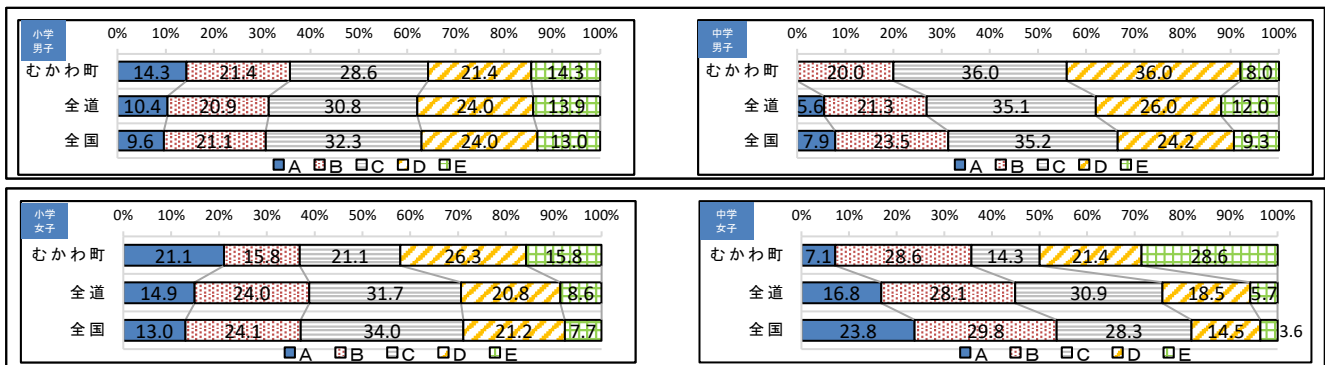
【中学校】



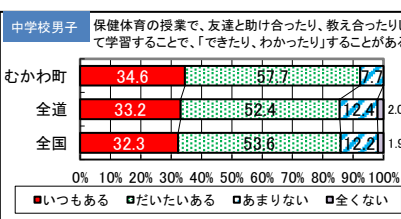
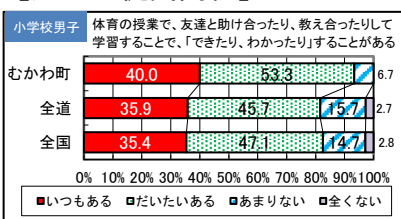
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



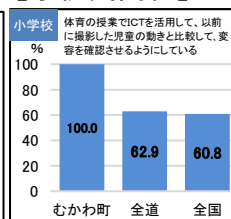
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
全ての学校において、以前に撮影した児童の動きと比較して、変容を確認させたことにより、男女ともに体力合計点総合評価のA層の児童の割合が全国及び全道を上回ったと考える。

＜中学校＞  
全ての学校において、保健体育の授業の目標を生徒に示す活動を取り入れたことにより、保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」と、回答する男子生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考える。

【むかわ町の体力向上策】

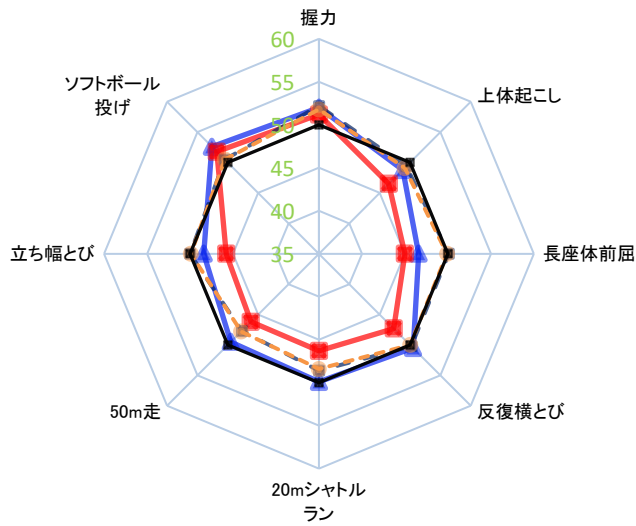
- ◎ 学校や放課後児童クラブ等におけるコーディネーショントレーニングの活用
- ◎ どん子元気アップチャレンジの取組や、町主催の体力・運動能力に関する行事への参加促進

■ 日高町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校4校・児童数92名、中学校4校・生徒数97名)

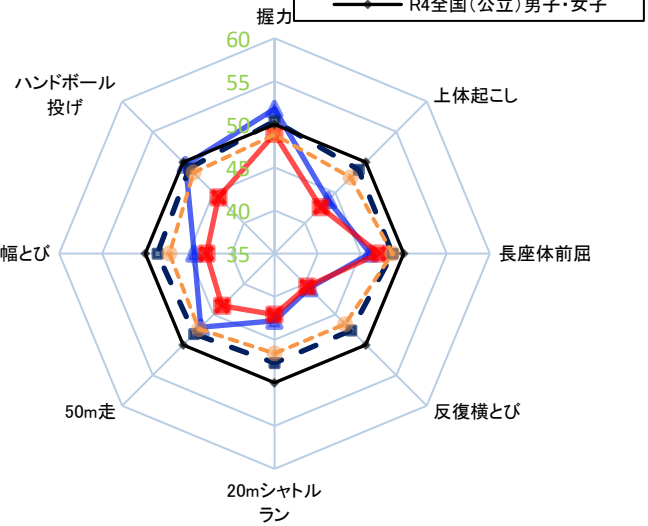
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

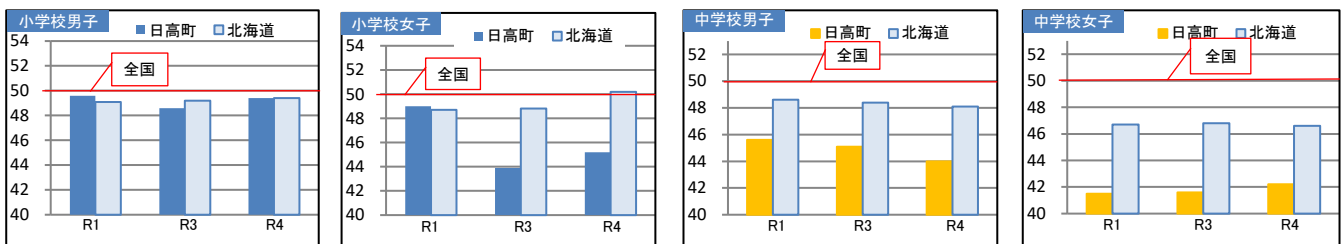
【小学校】



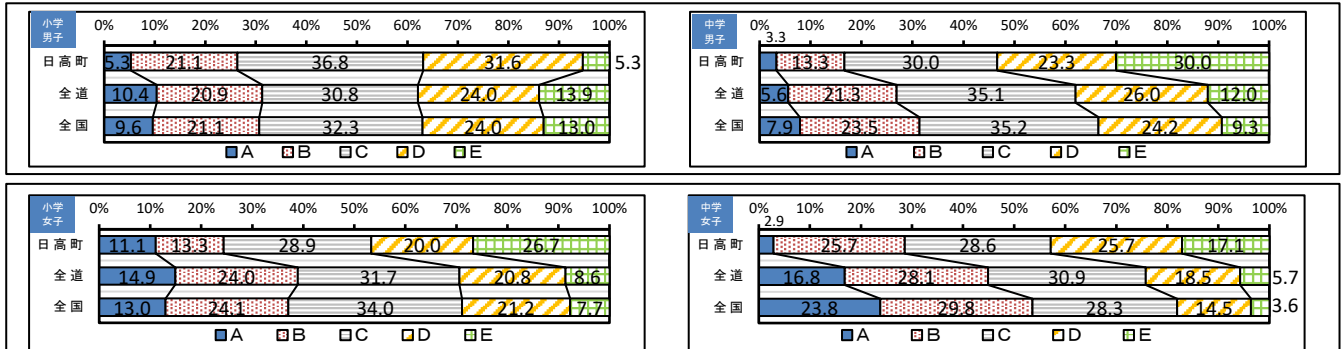
【中学校】



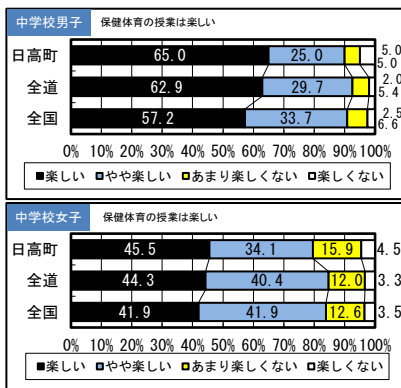
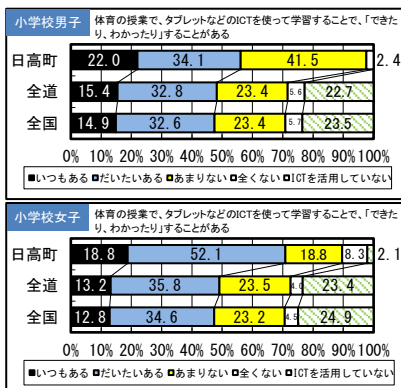
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



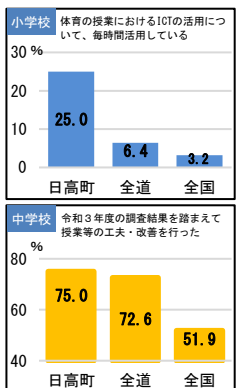
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、体育の授業でICTを毎時間活用したことにより、男女ともに、「体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することがいつもある」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
各学校において、令和3年度の調査結果を踏まえて授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、男女ともに「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【日高町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び新体力テストの結果に基づく、体力向上の取組の推進
- ◎ 幼年期から運動習慣を確立する、町独自の運動プログラムを活用した取組の推進

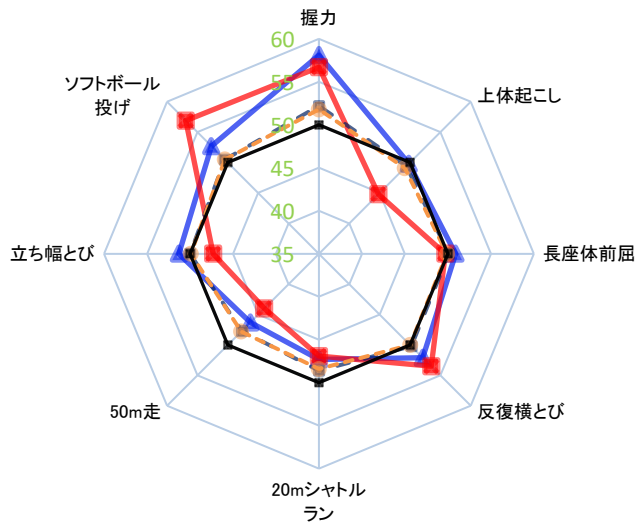


■ 平取町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校5校・児童数28名、中学校2校・生徒数33名)

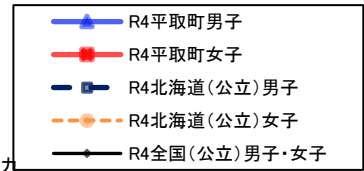
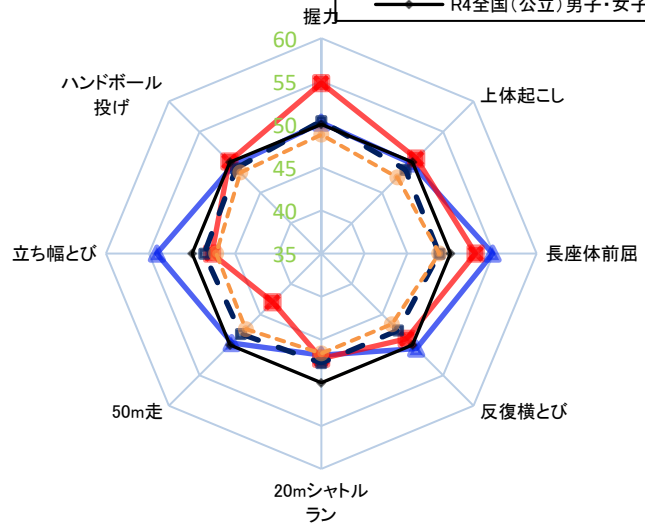
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

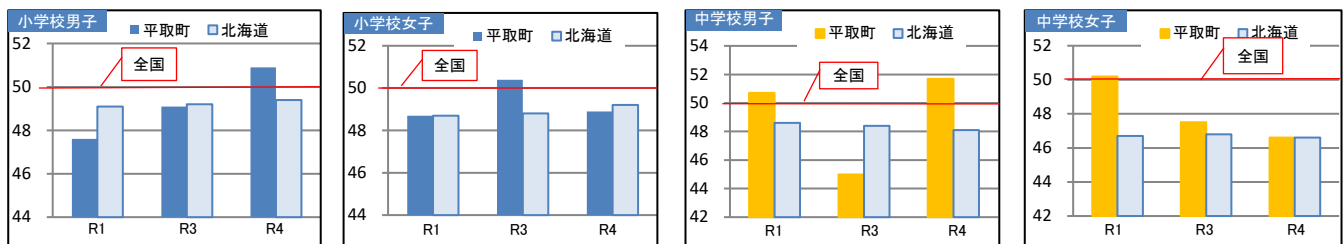
【小学校】



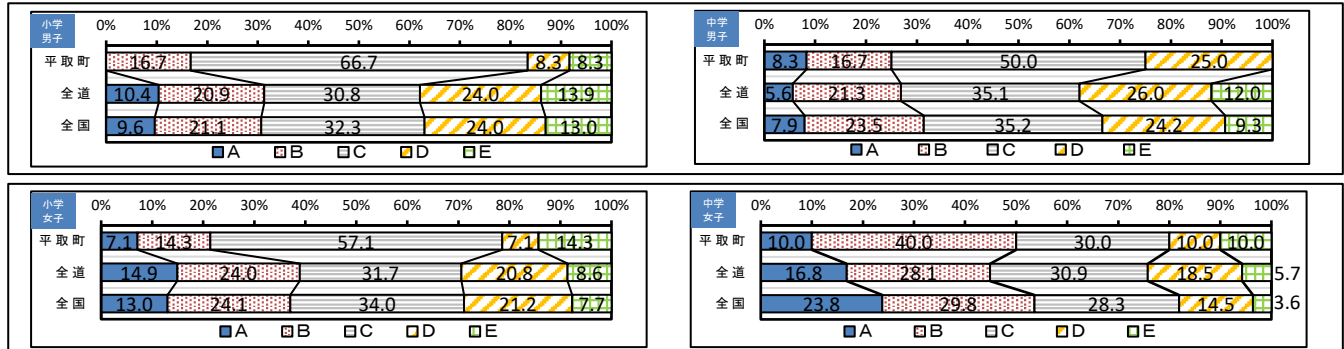
【中学校】



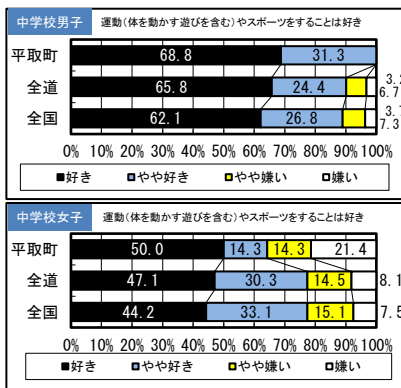
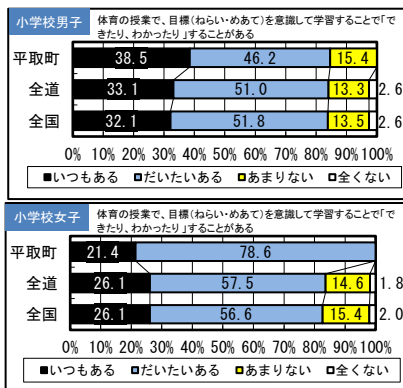
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



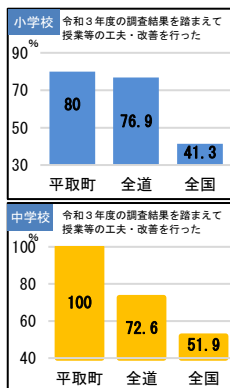
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、令和3年度の調査結果を踏まえて授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、男子の「体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで『できたり、わかったり』することがいつもある」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
各学校において、令和3年度の調査結果を踏まえて授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、男女ともに「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好き」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【平取町の体力向上策】

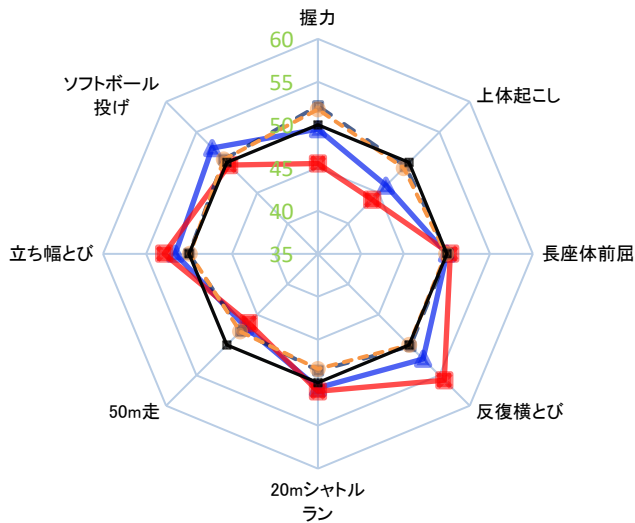
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた体育に関する指導の充実
- ◎ 各学校における特色ある体力づくり活動の実施による、運動習慣の定着に向けた取組の推進
- ◎ 体育専科教員を活用した指導体制の充実とICT活用による体育の授業改善の推進

■ 新冠町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校2校・児童数43名、中学校1校・生徒数47名)

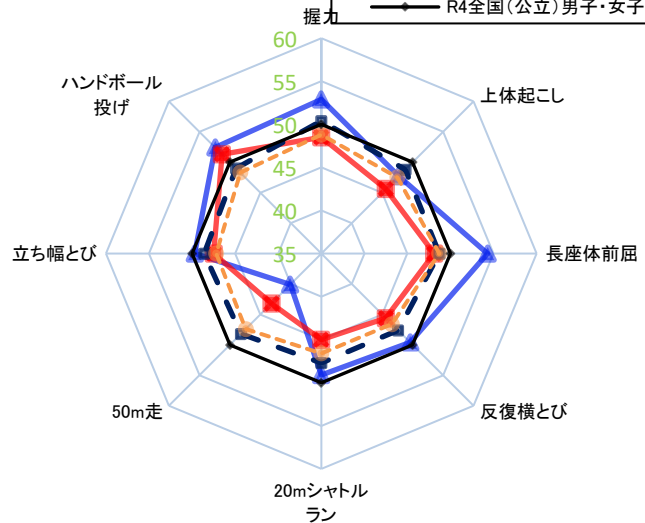
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

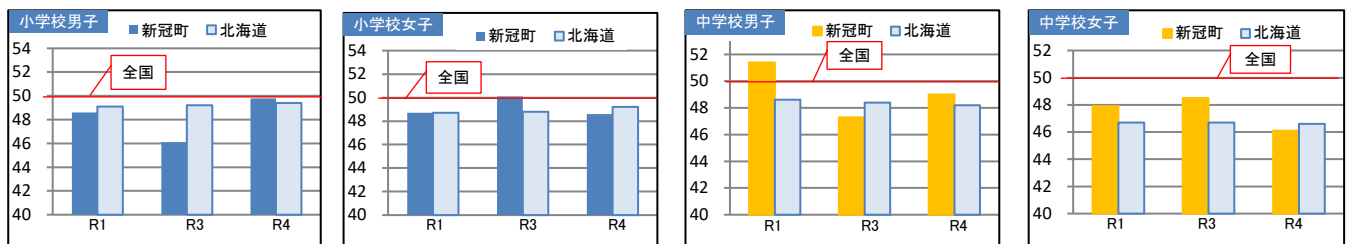
【小学校】



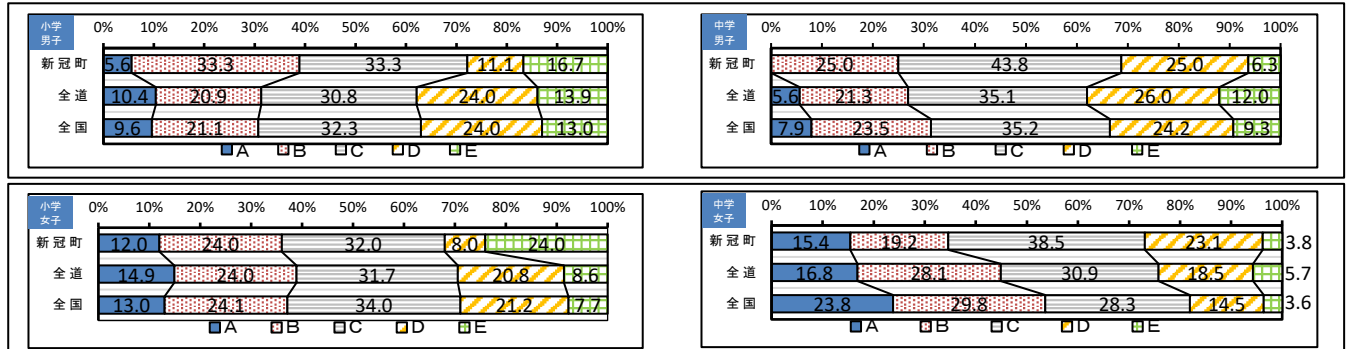
【中学校】



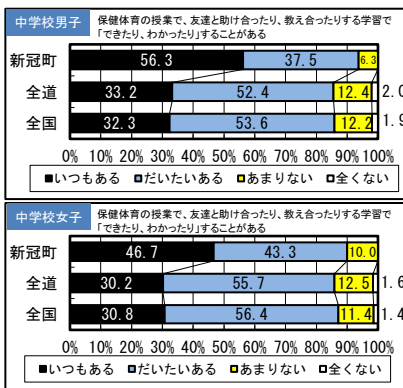
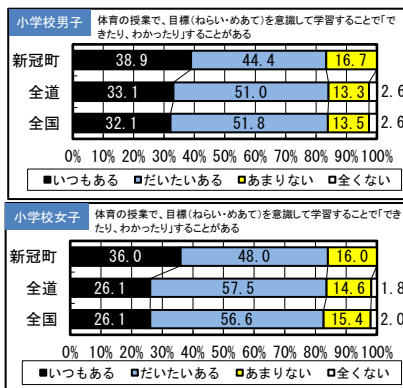
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



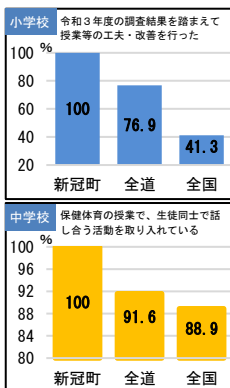
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、令和3年度の調査結果を踏まえて授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、男女ともに「体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで『できたり、わかったり』することがある」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
学校において、保健体育の授業で、生徒同士で話し合う活動を取り入れたことにより、男女ともに「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で『できたり、わかったり』することがある」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

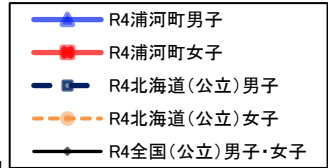
【新冠町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた、1校1実践による体力向上の取組の促進
- ◎ 主運動につながる補助運動の継続的な実施による基礎体力の向上と体育・保健体育科の授業の充実

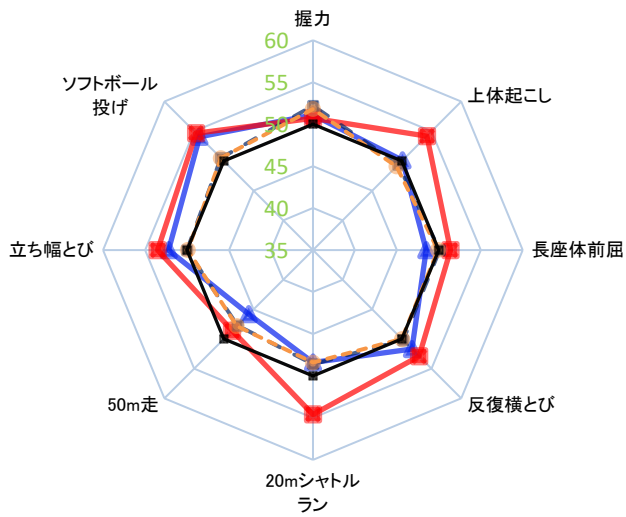
浦河町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校4校・児童数78名、中学校3校・生徒数93名)

【各種目の状況】

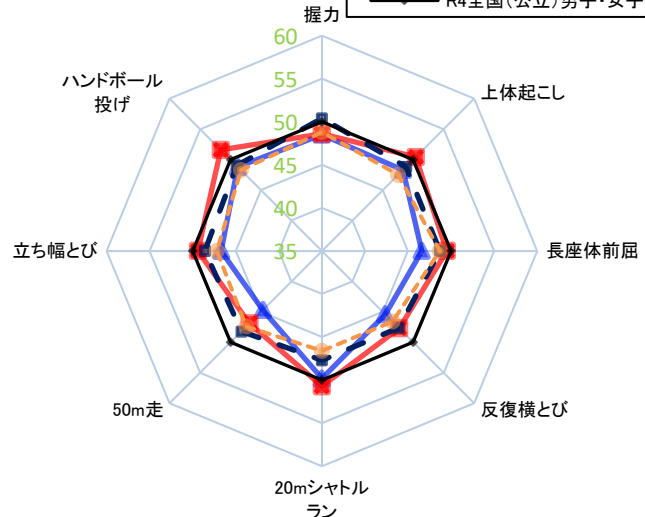
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



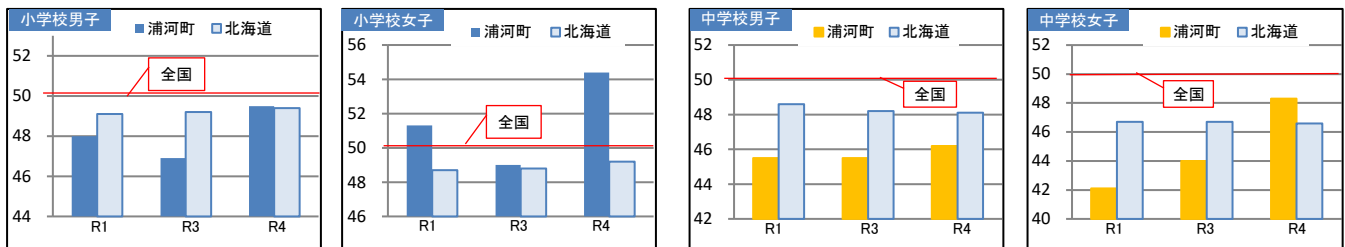
【小学校】



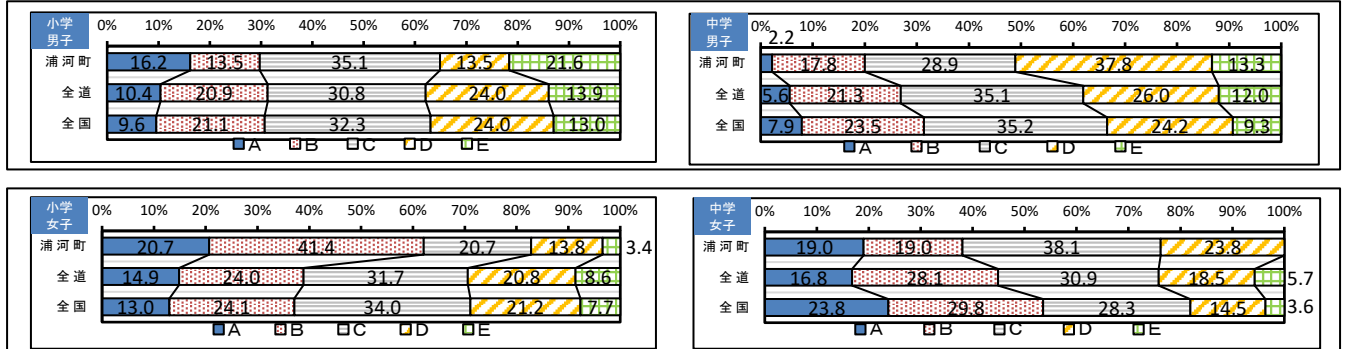
【中学校】



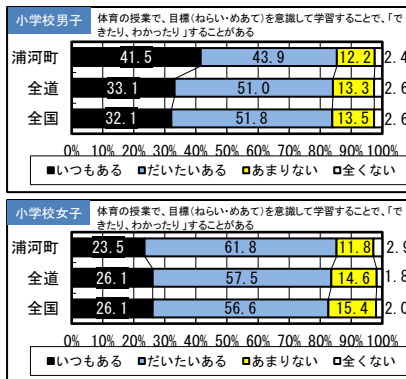
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



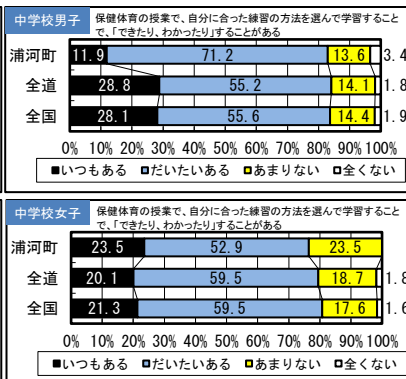
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育の授業の冒頭で、その授業の目標(めあて・ねらい等)を児童に示す活動をいつも取り入れたことにより、男子の「体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、『できたり、わかったり』することがいつもある」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育の授業で、生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、授業改善が図られ、女子で「保健体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、『できたり、わかったり』することがいつもある」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

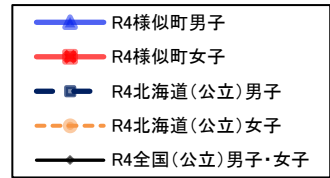
【浦河町の体力向上策】

- ◎ 各学校の特色ある「1校1実践」による、体力向上の取組の一層の充実
- ◎ スポーツ団体との連携及び協力による各種スポーツ教室や大会の開催などによる、スポーツ機会の提供と環境整備の推進

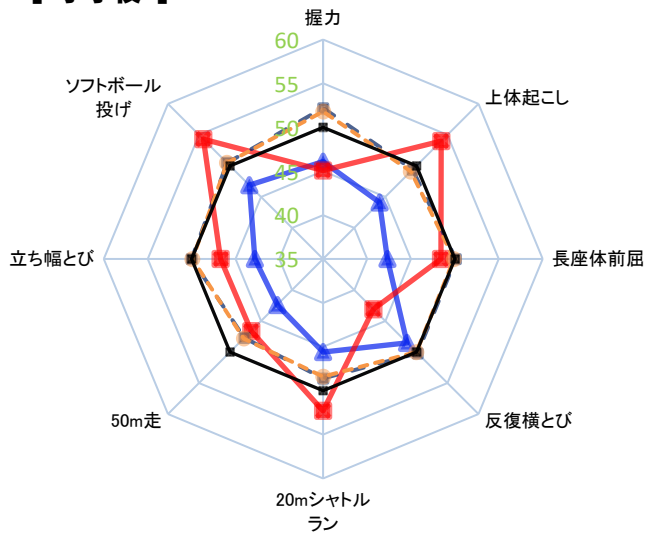
■ 様似町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数23名、中学校1校・生徒数23名)

【各種目の状況】

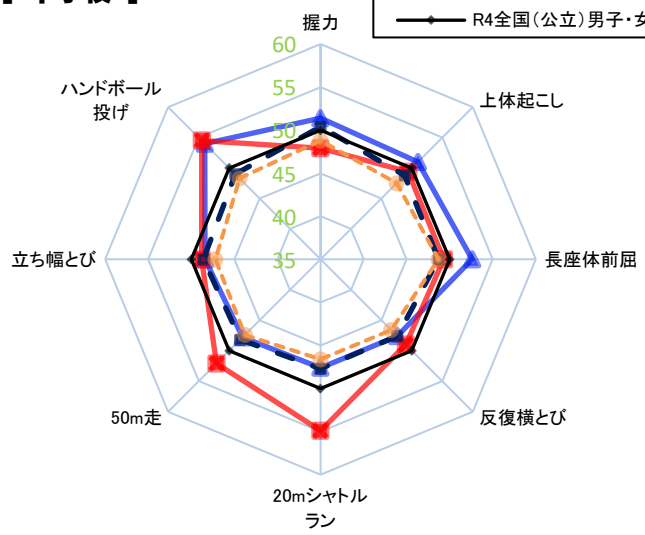
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



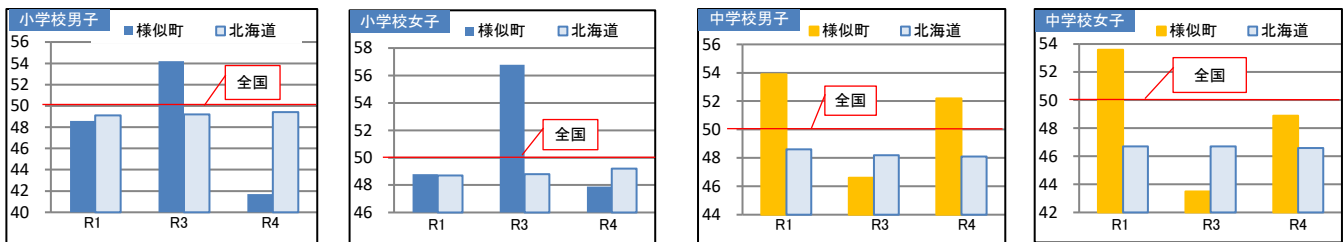
【小学校】



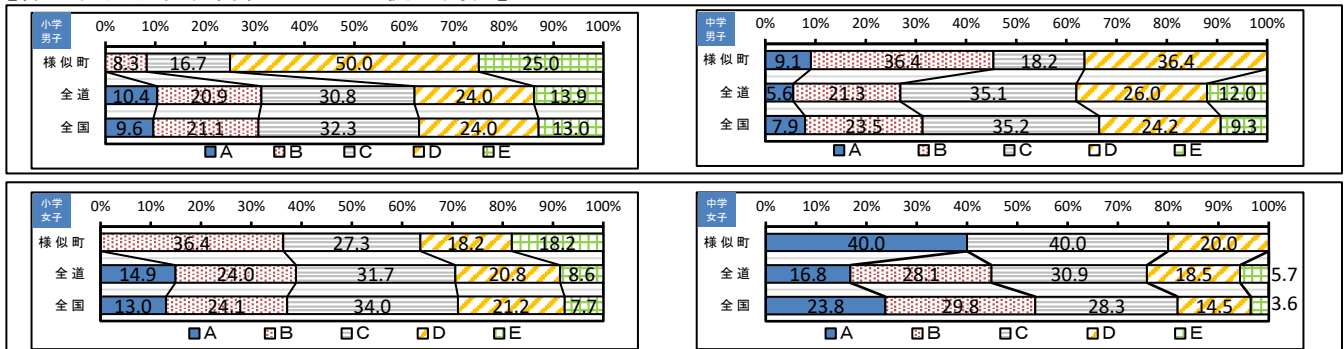
【中学校】



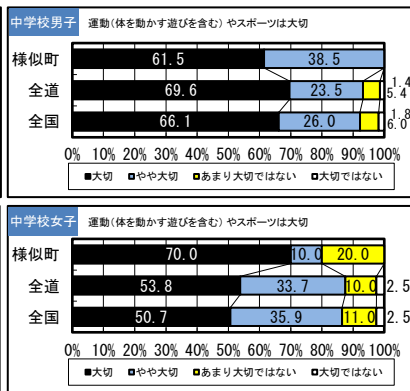
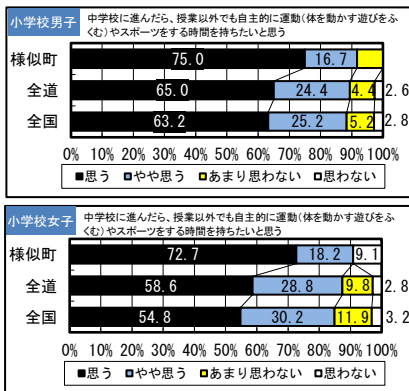
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



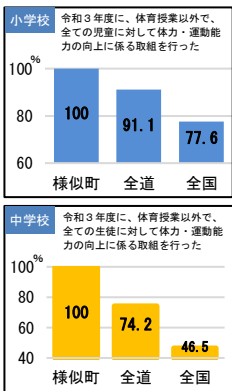
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
小学校において、令和3年度に、体育授業以外で、全ての児童に対して体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、男女ともに「中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをする時間を持たたいと思う」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

＜中学校＞  
中学校において、令和3年度に、体育授業以外で、全ての生徒に対して体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、女子の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

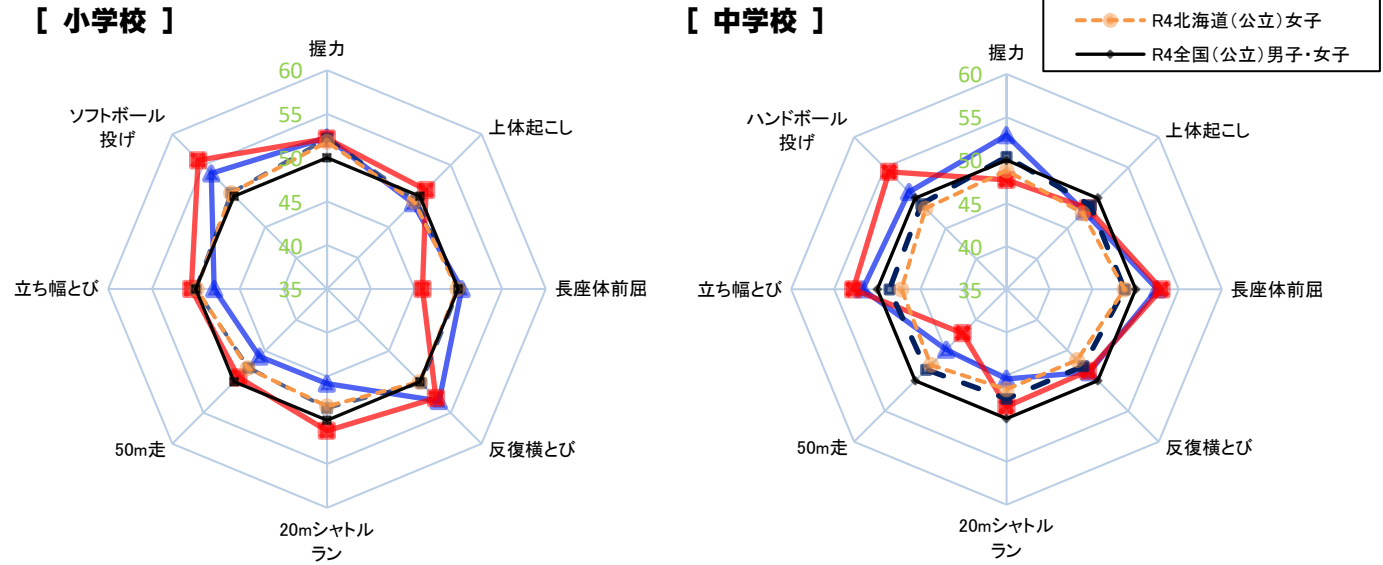
【様似町の体力向上策】

- ◎ 運動教室及びスポーツ教室の開催など、様々なスポーツに触れる機会の提供の充実
- ◎ 幼児教育における、全身を使った「運動遊び」や「リトミック」などを通して、体幹を鍛えることによる、体力・運動能力の向上

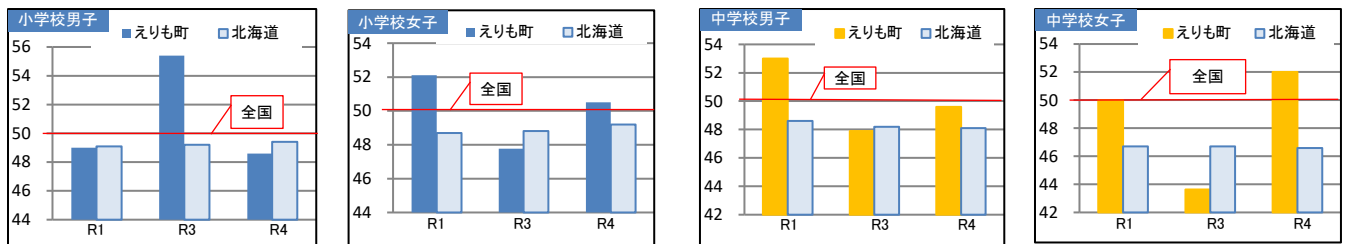
■ えりも町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校4校・児童数41名、中学校1校・生徒数41名)

【各種目の状況】

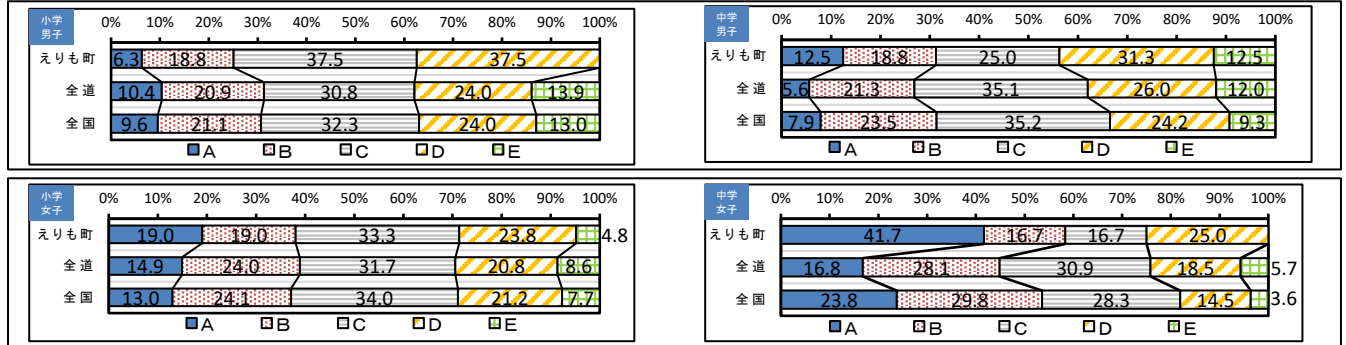
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



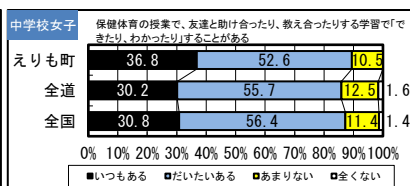
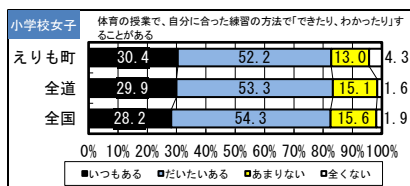
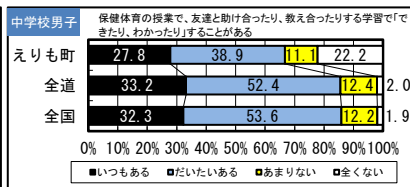
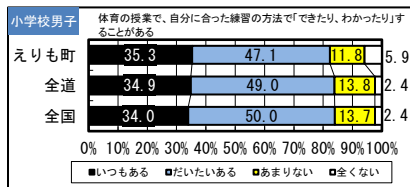
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



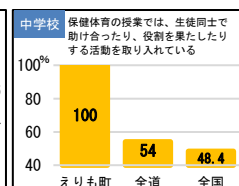
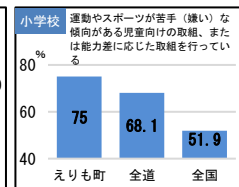
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、運動やスポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童向けの取組、または能力差に応じた取組を行ったことにより、男子の「体育の授業で、自分に合った練習の方法で『できたり、わかったり』することがいつもある」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
中学校において、保健体育の授業で、生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れたことにより、授業改善が図られ、女子の「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で『できたり、わかったり』することがいつもある」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

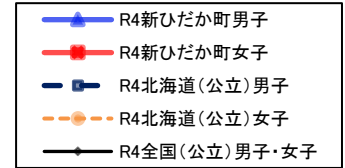
【えりも町の体力向上策】

- ◎ 新体力テストの全学年実施及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた、学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 学校プールを活用した、運動機会を確保する取組の充実

■ 新ひだか町小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校6校・児童数175名、中学校3校・生徒数151名)

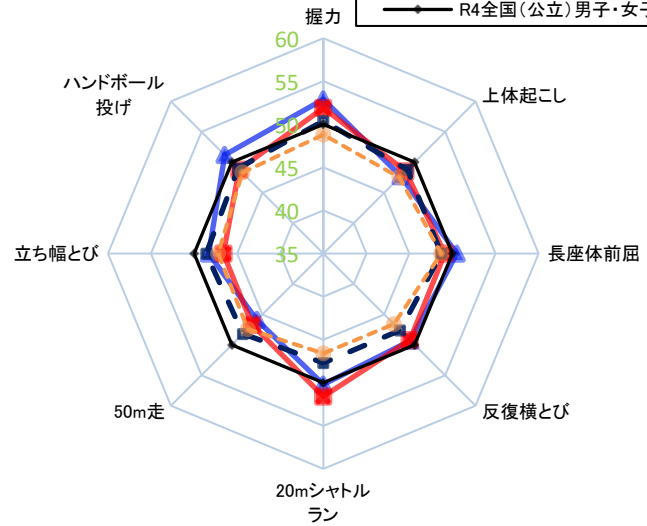
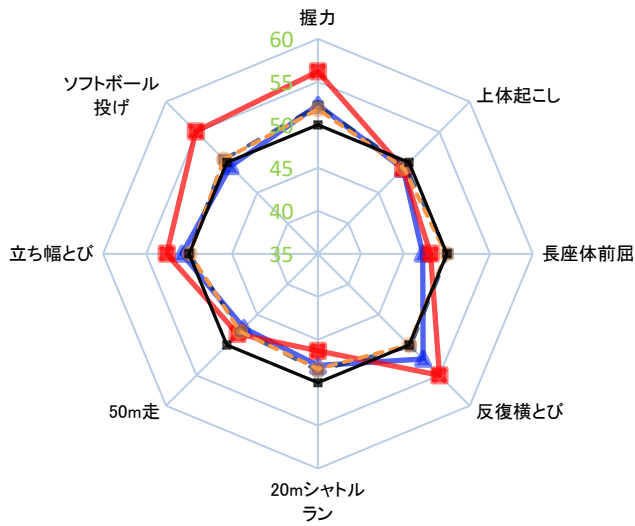
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

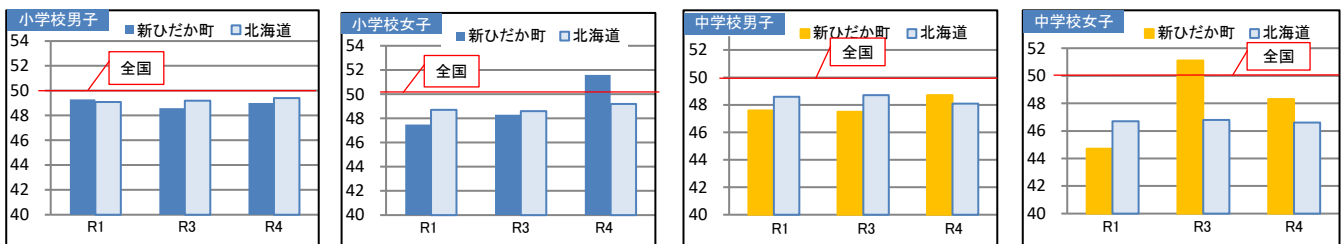


【小学校】

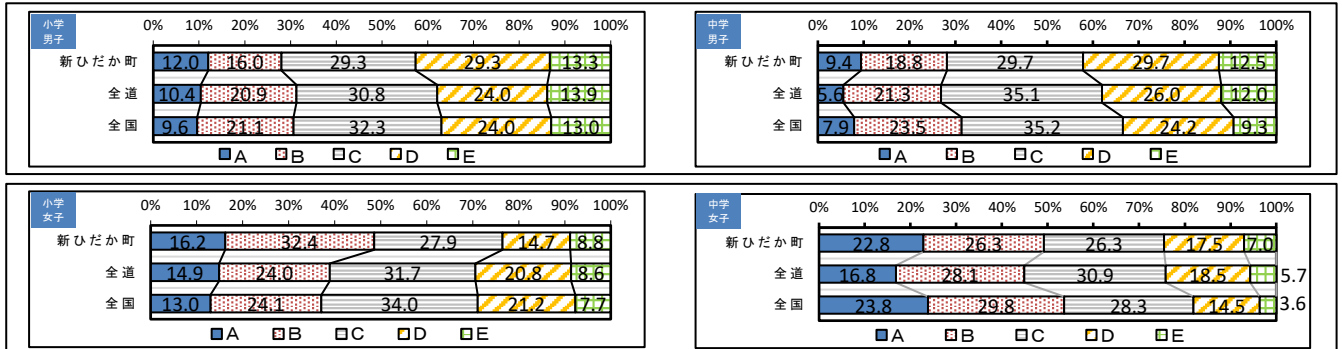
【中学校】



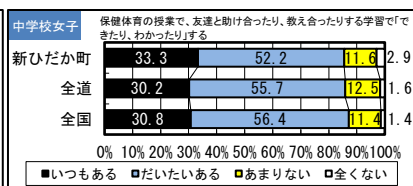
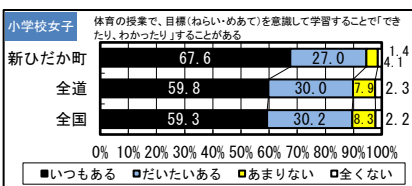
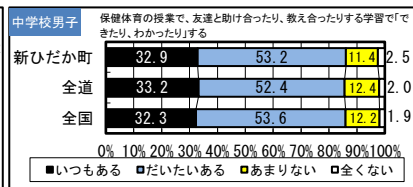
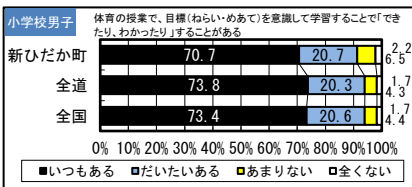
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



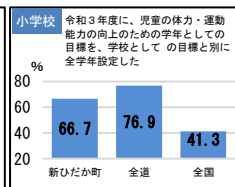
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、令和3年度の調査結果を踏まえて授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、女子の「体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで『できたり、わかったりする』ことがいつもある」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育の授業で、生徒同士で話し合う活動を取り入れたことにより、男女ともに「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で『できたり、わかったりする』」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

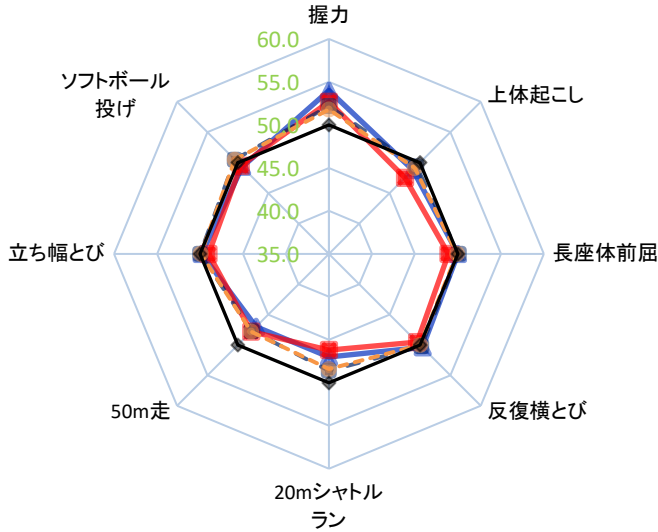
【新ひだか町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を基にした、新体力テストや体育、保健体育科の授業、体育的行事の改善
- ◎ 町独自の「体力向上活動サポーター派遣事業」による、体育、保健体育科の指導方法の改善

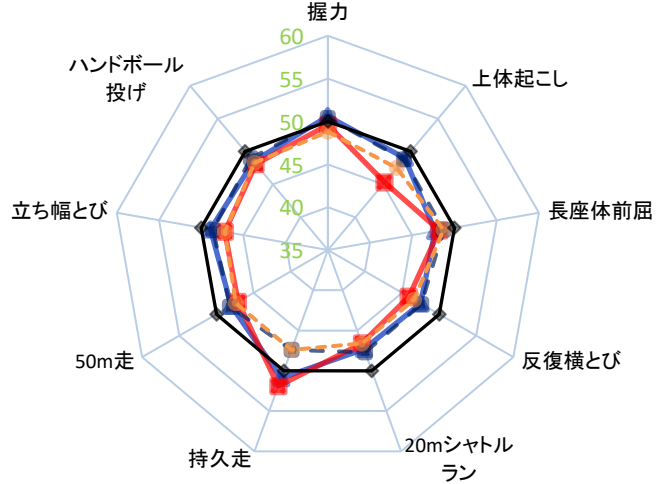
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

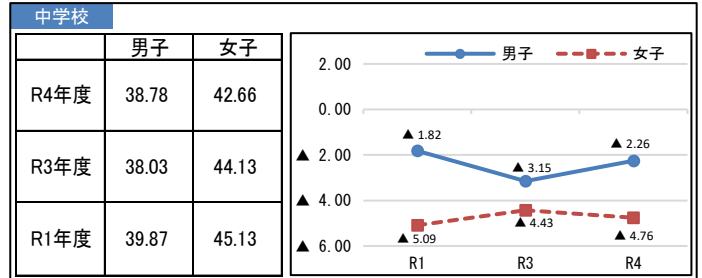
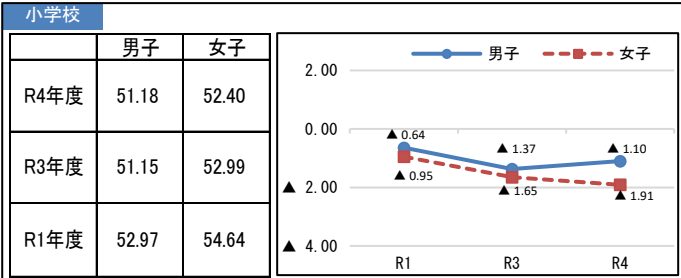
【小学校】



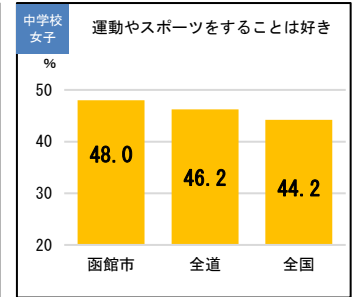
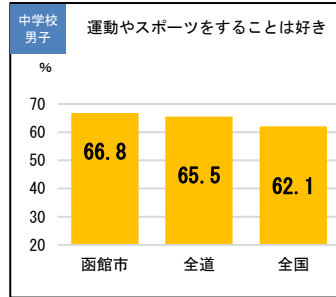
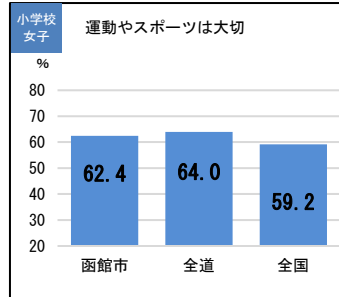
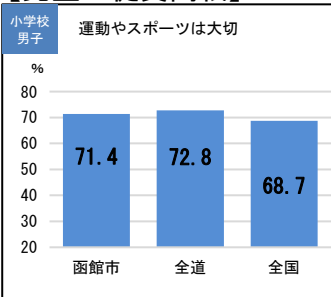
【中学校】



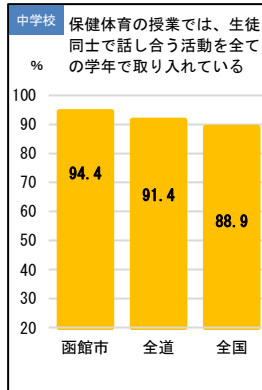
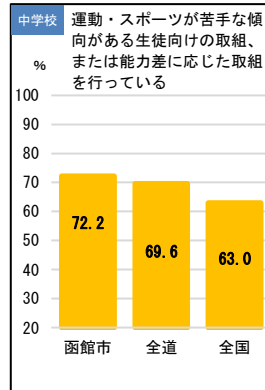
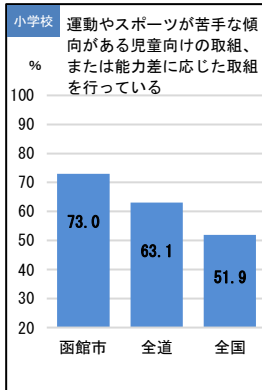
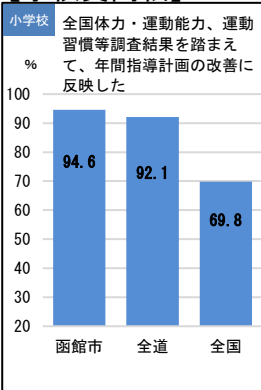
【体力合計点及び全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映するとともに、運動やスポーツが苦手な傾向がある児童向けの取組、または能力差に応じた取組を行ったことにより、運動やスポーツは大切と回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
運動・スポーツが苦手な傾向がある生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行うとともに、保健体育授業では、生徒同士で話し合う活動を取り入れたことにより、運動やスポーツをすることは好きと回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【函館市の体力向上策】

- ◎ 体育及び保健体育の授業において1人1台端末を活用し、きめ細かな支援を行うことによる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ◎ 各種スポーツ教室の開催など、スポーツへの関心の向上及び子どもがスポーツに参加する機会の充実

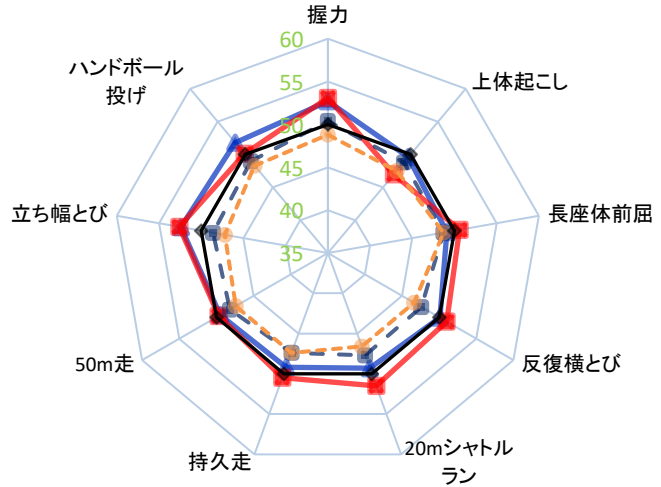
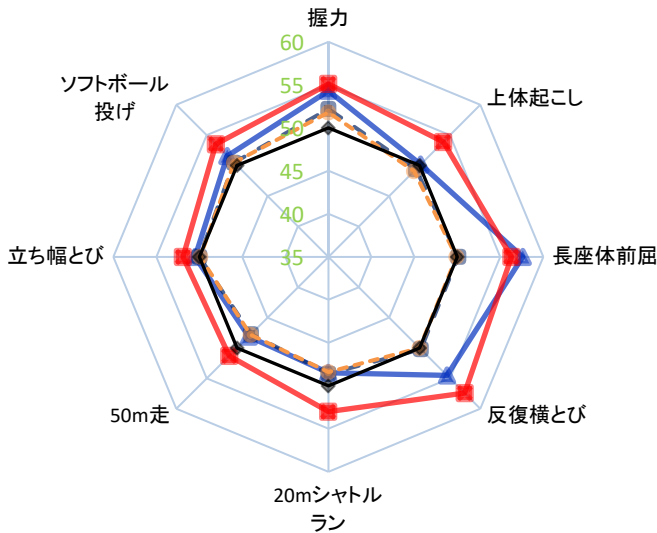
■ 北斗市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校11校・児童数366名、中学校5校・生徒数335名)

【各種目の状況】

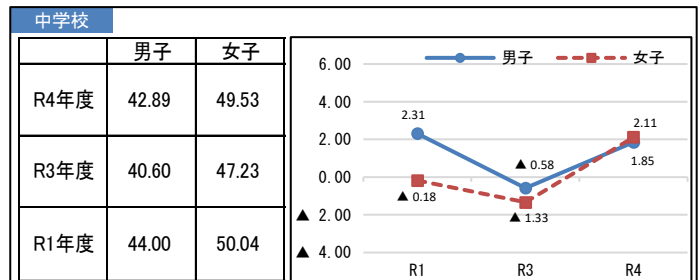
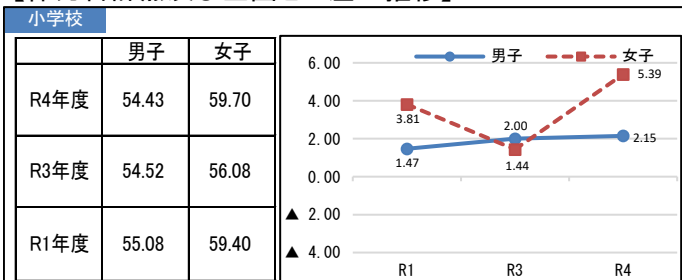
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

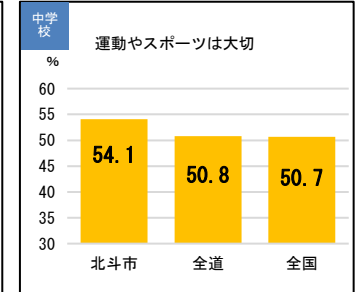
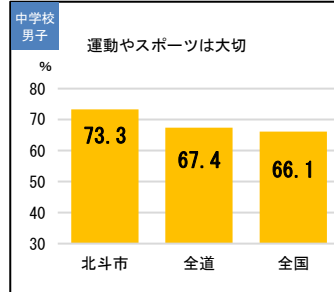
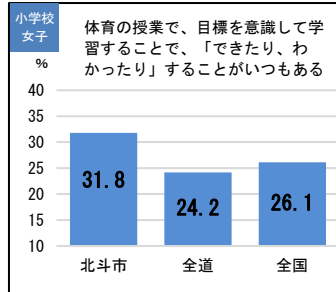
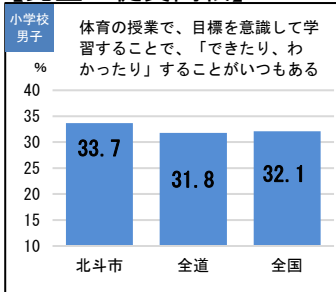
【中学校】



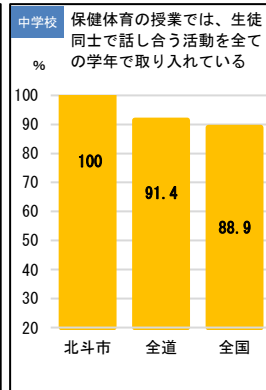
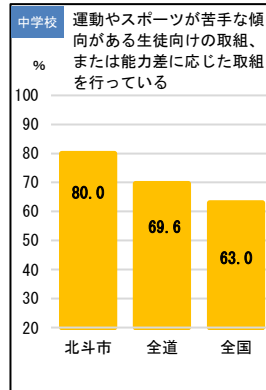
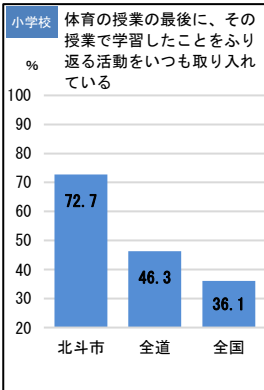
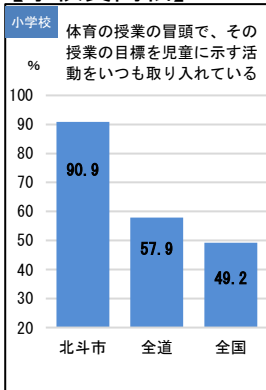
【体力合計点及び全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
 体育授業の冒頭で、授業の目標を児童に示す活動及び授業の最後に、学習したことをふり返る活動をいつも取り入れたことにより、体育授業で、目標を意識して学習を行い、「できたり、わかったり」することがいつもあると回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
 運動・スポーツが苦手な傾向がある生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行うとともに、保健体育授業では、生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、運動やスポーツは大切だと回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【北斗市の体力向上策】

- ◎ 目標をもって体力づくりに取り組めるよう、全ての小・中学校の全学年における新体力テストの実施
- ◎ ラジオ体操コンクールの開催など、体力向上と健康の保持・促進
- ◎ 市の行事(スポーツの集い、駅伝大会、早朝日曜マラソン、ドッジボール大会、スノーフェスティバル等)への積極的な参加

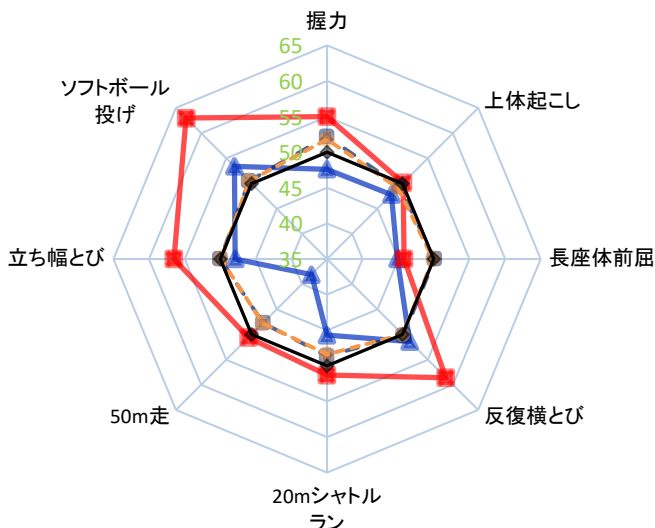


■ 松前町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数30名、中学校1校・生徒数29名)

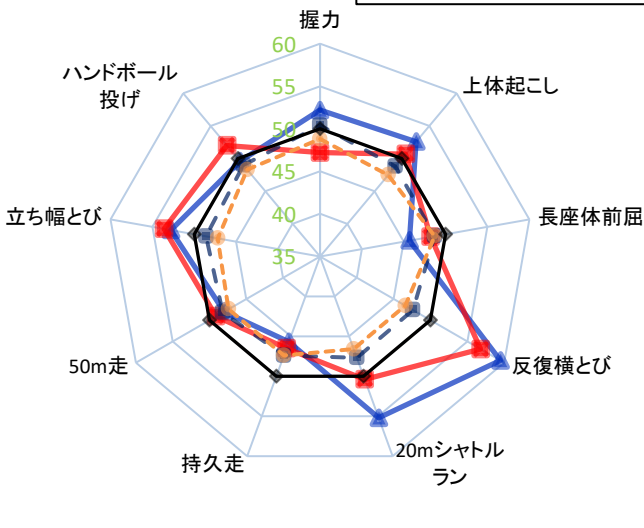
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

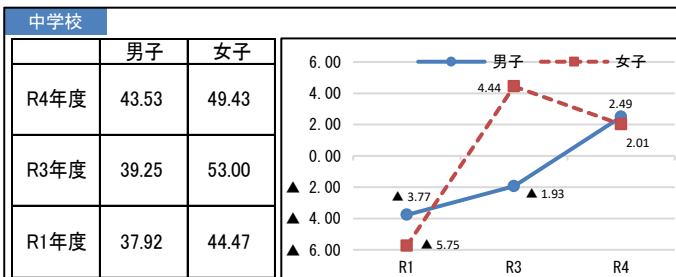
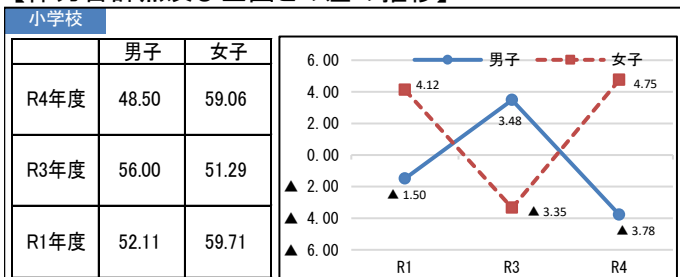
【小学校】



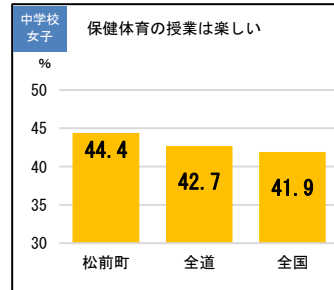
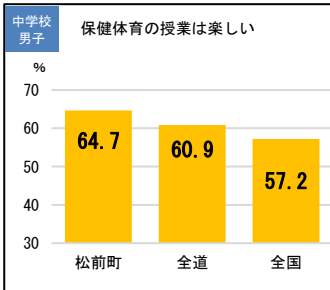
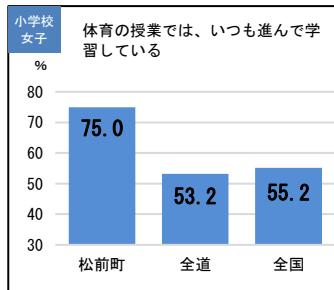
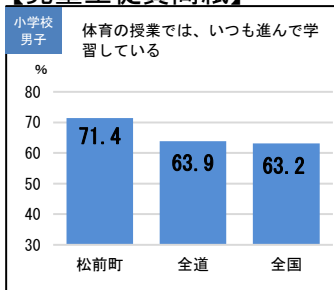
【中学校】



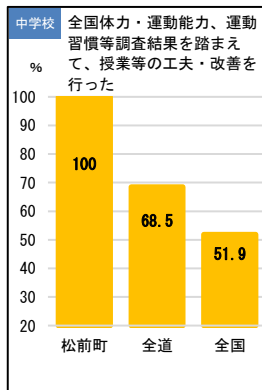
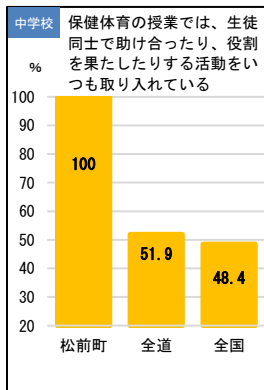
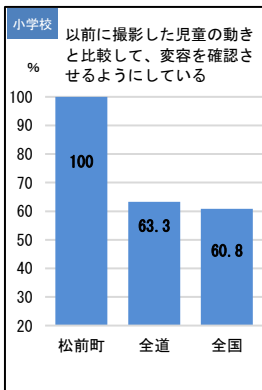
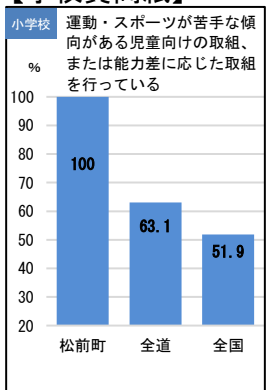
【体力合計点及び全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
全ての学校で、運動・スポーツが苦手な傾向がある児童向けの取組、または能力差に応じた取組を行うとともに、以前に撮影した児童の動きと比較して変容を確認させる活動を取り入れたことにより、体育授業でいつも進んで学習していると回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
保健体育授業で、生徒同士が助け合ったり、役割を果たしたりする活動をいつも取り入れるとともに、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったことにより、保健体育授業は楽しいと回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【松前町の体力向上策】

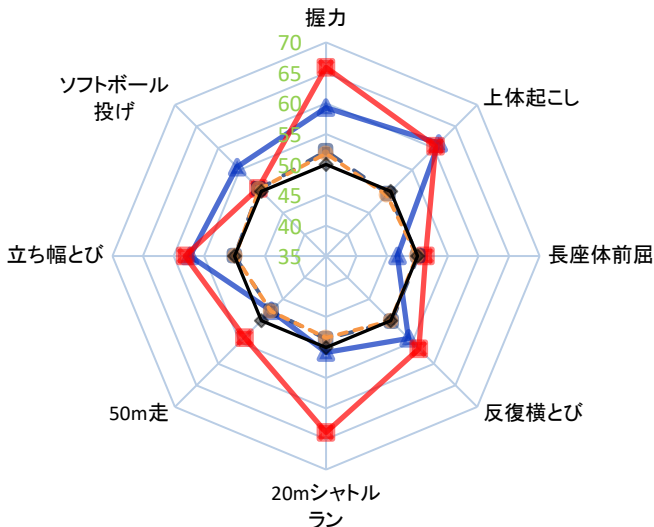
- ◎ 学校毎に目標を設定し、体育授業のほか、休み時間等を利用した「なわとび」など、運動習慣の定着を図り、体力及び運動能力の向上を図る取組の促進
- ◎ トップアスリートを招聘したスポーツ教室の開催など、スポーツに親しむ機会の充実

■ 福島町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数12名、中学校1校・生徒数10名)

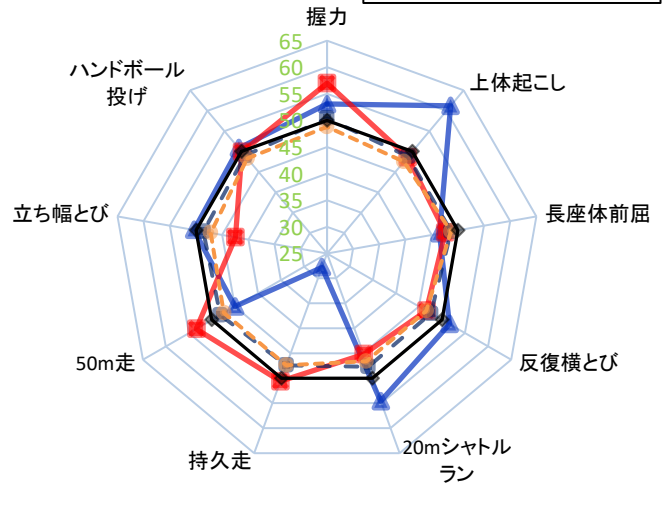
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

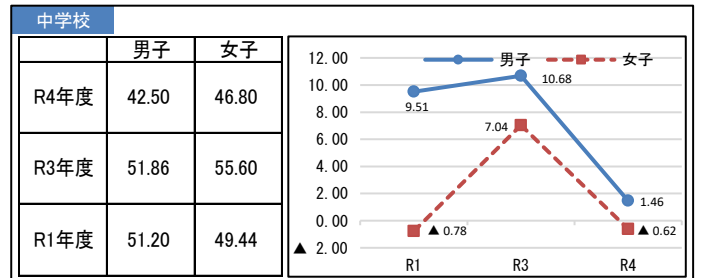
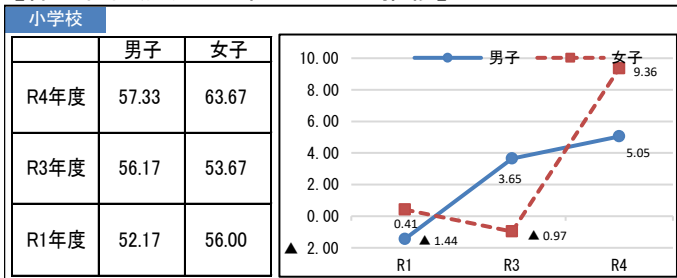
【小学校】



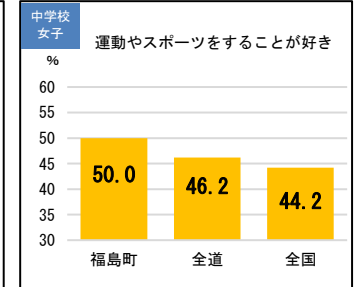
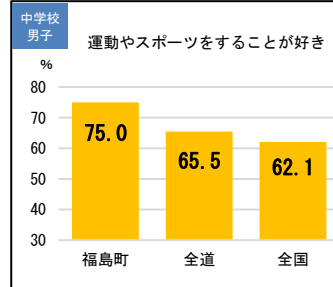
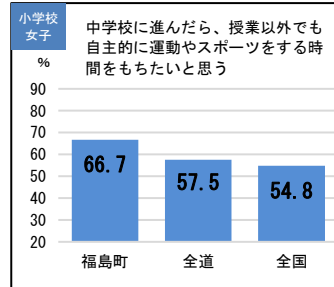
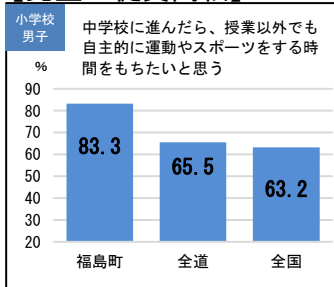
【中学校】



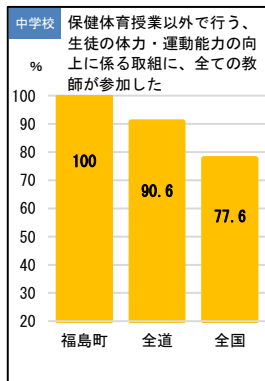
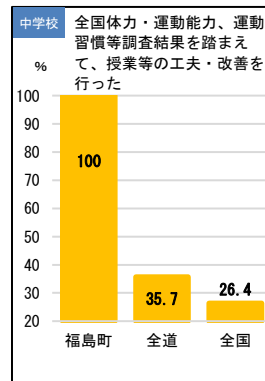
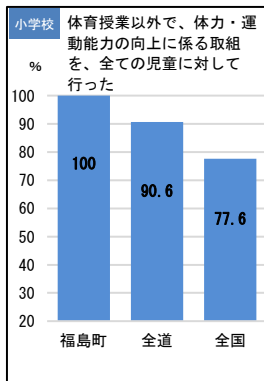
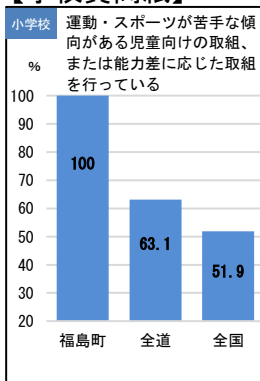
【体力合計点及び全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
全ての学校で、運動・スポーツが苦手な傾向がある児童向けの取組、または能力差に応じた取組や、体育授業以外で体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、中学校進学後において授業以外でも自主的に運動したいと回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行うとともに、保健体育授業以外で行った体力・運動能力の向上に係る取組に、全ての教師が参加したことにより、運動やスポーツをすることが好きと回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【福島町の体力向上策】

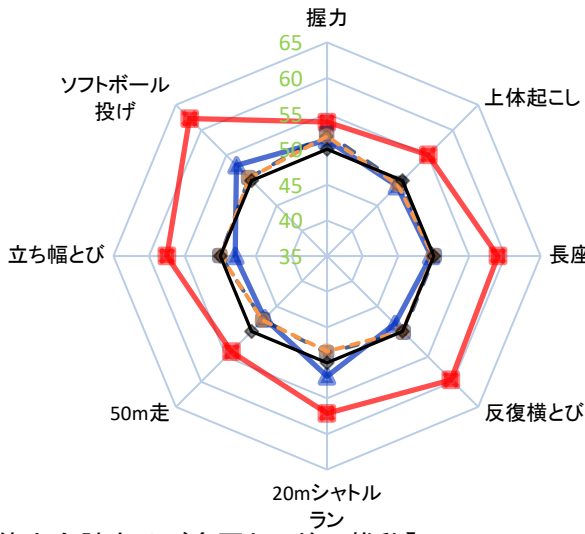
- ◎ 相撲やマラソンなど、体力向上に向けた取組の推進
- ◎ 学校及びスポーツ団体と連携した少年少女体カテストや縄跳び大会の実施など、体力向上に向けた取組の推進
- ◎ 「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉とした、生活習慣のリズムを整える取組の推進

■ 知内町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数21名、中学校1校・生徒数23名)

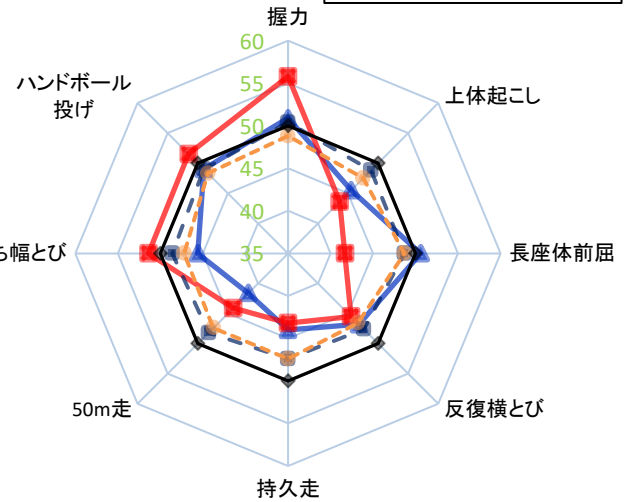
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

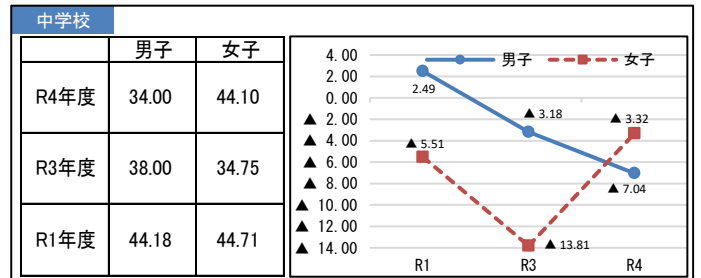
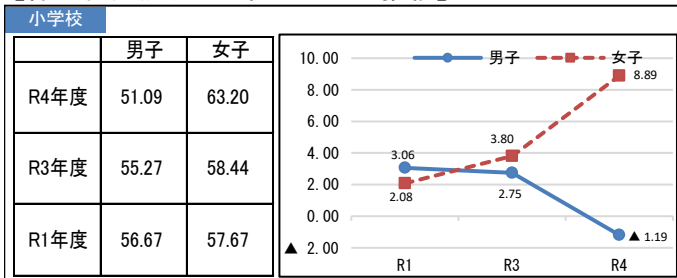
【小学校】



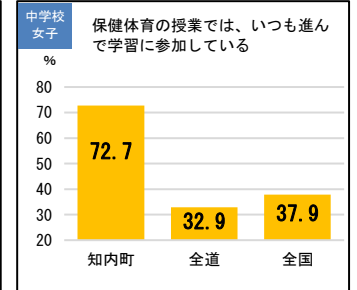
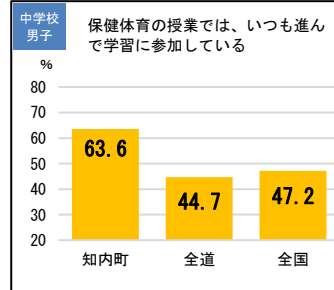
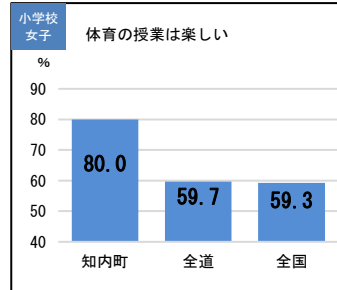
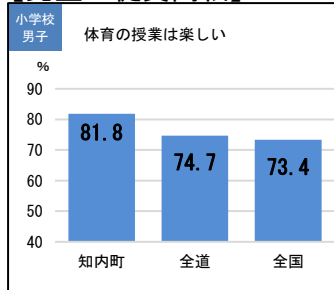
【中学校】



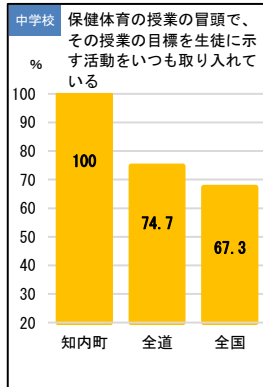
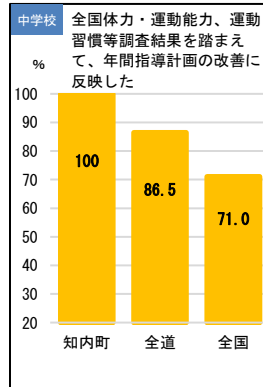
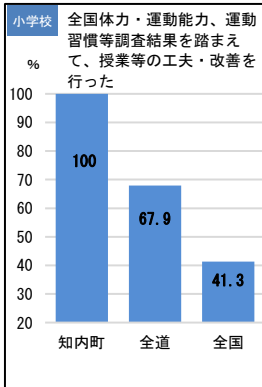
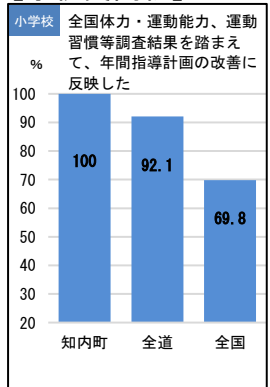
【体力合計点及び全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
全ての学校で、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善を行うとともに、授業等の工夫・改善を行ったことにより、体育授業は楽しいと回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善を行うとともに、保健体育授業の冒頭で、授業の目標を生徒に示す活動をいつも取り入れたことにより、保健体育授業では、いつも進んで学習に参加していると回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【知内町の体力向上策】

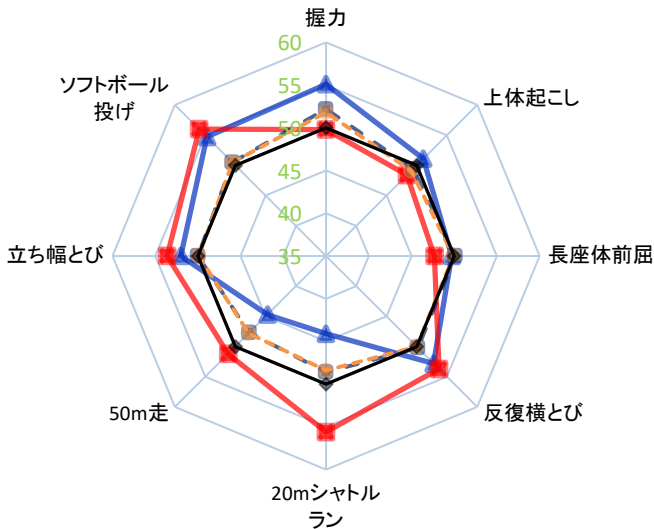
- ◎ 望ましい生活習慣・運動習慣の定着に向け、学校・家庭・関係団体が連携した徒歩通学等の取組の推進
- ◎ 「親子de運動あそび」や「青少年運動体験推進事業」など、「いつでも、どこでも、だれでも」自ら進んでスポーツ等に親しむことができる各種イベントの展開

■ 木古内町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数20名、中学校1校・生徒数14名)

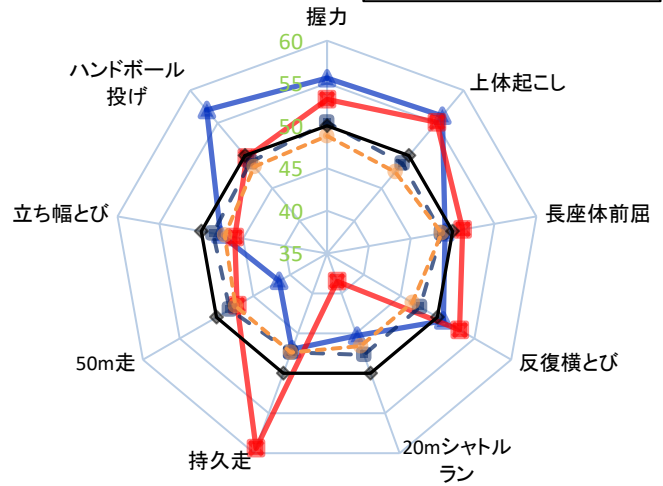
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

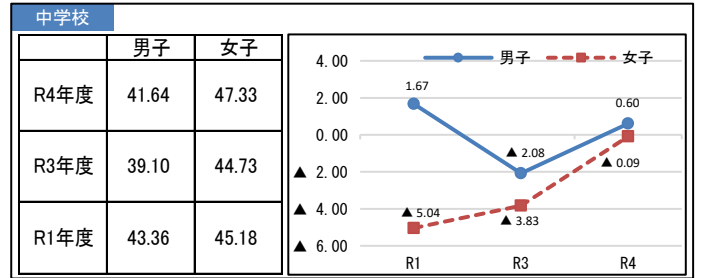
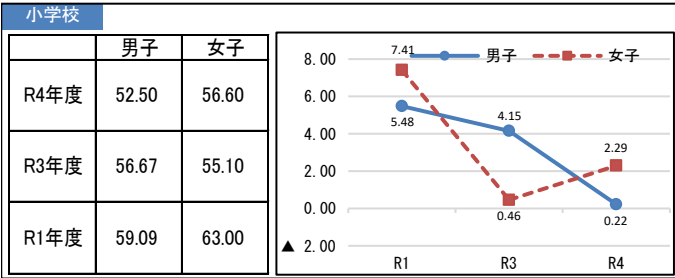
【小学校】



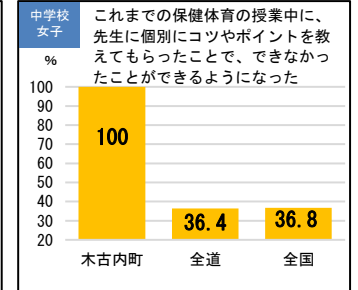
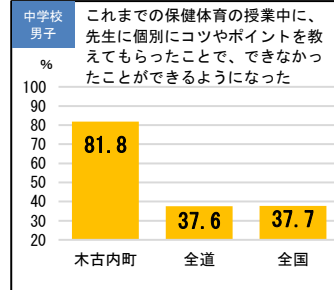
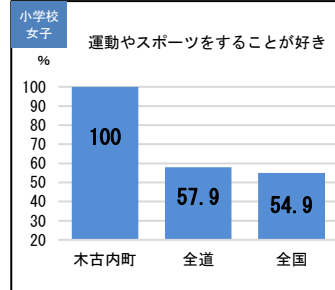
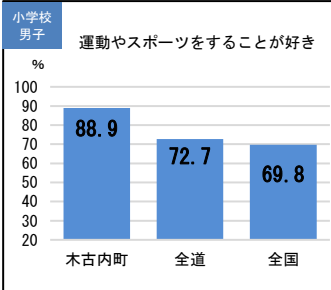
【中学校】



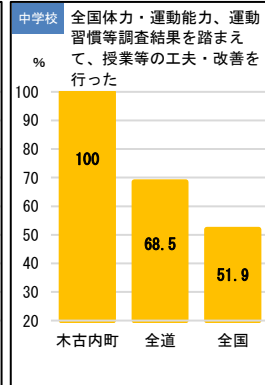
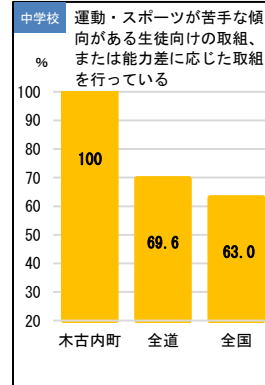
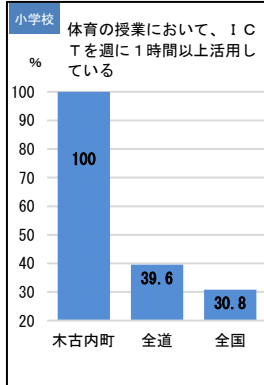
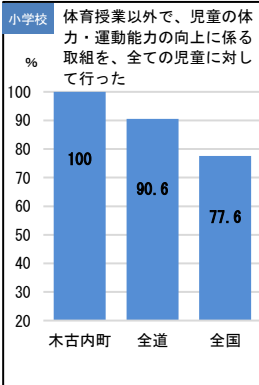
【体力合計点及び全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
 体育授業において、ICTを週に1時間以上活用するとともに、体育授業以外で、児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことで、運動やスポーツをすることが好きと回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
 運動・スポーツが苦手な傾向がある生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行うとともに、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったことにより、保健体育授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらったことで、できなかったことができるようになったと回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【木古内町の体力向上策】

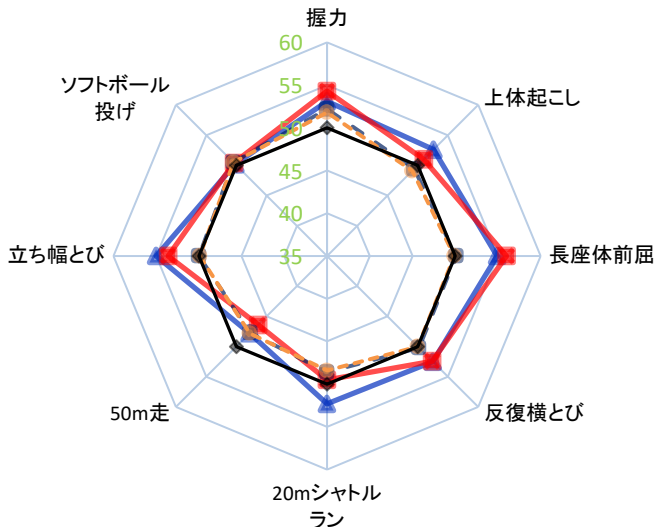
- ◎ 子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けた「早寝・早起き・朝ごはん・そと遊び」の推進及び運動習慣定着の取組の促進
- ◎ 生涯にわたってスポーツを楽しむことができるよう、各種大会や教室等の学習機会の充実及び体力向上の啓発

■ 七飯町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校6校・児童数230名、中学校4校・生徒数209名)

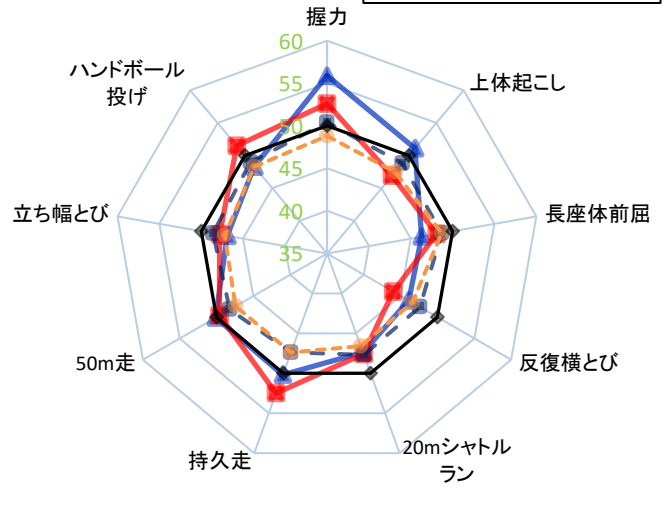
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

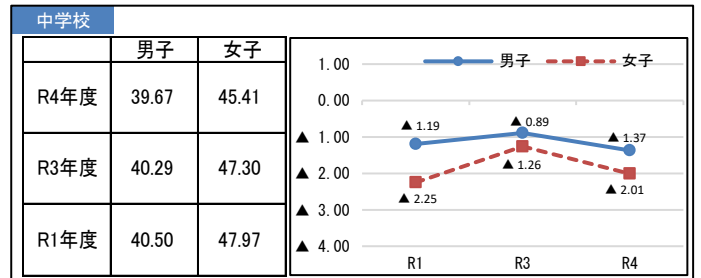
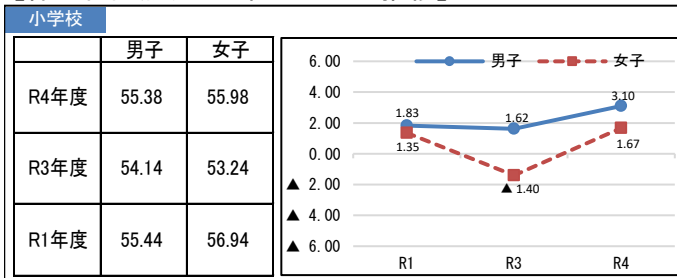
【小学校】



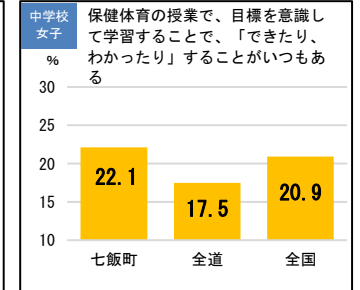
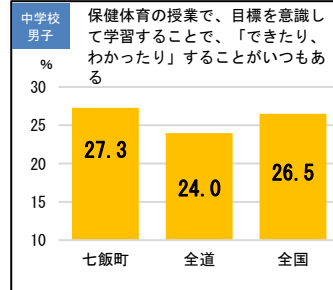
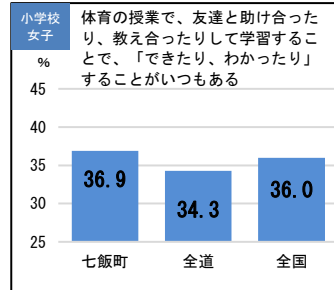
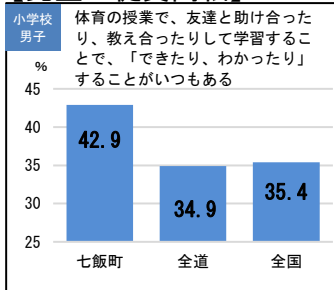
【中学校】



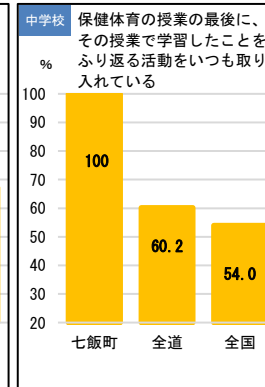
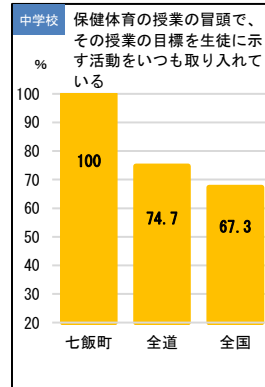
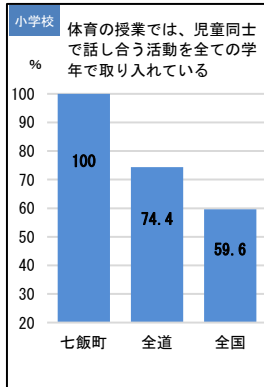
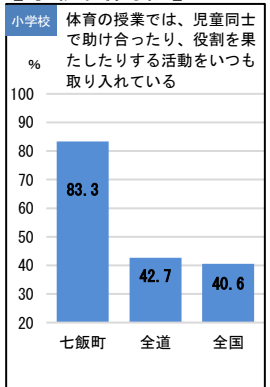
【体力合計点及び全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
 体育授業では、児童同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動や、児童同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、体育授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習では、「できたり、わかったり」することがいつもあると回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
 保健体育授業の冒頭で、授業の目標を生徒に示す活動及び授業の最後に授業で学習したことをふり返る活動をいつも取り入れたことにより、保健体育授業で、目標を意識して学習を行い、「できたり、わかったり」することがいつもあると回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【七飯町の体力向上策】

- ◎ 児童生徒の体力向上に向け、初心者向けのスポーツ教室や競技会の開催など、運動の習慣化を推進
- ◎ 児童生徒のスポーツへの興味・関心の向上に向け、プロチームや実業団のスポーツ合宿の積極的な誘致及びチームや選手によるスポーツ教室の開催

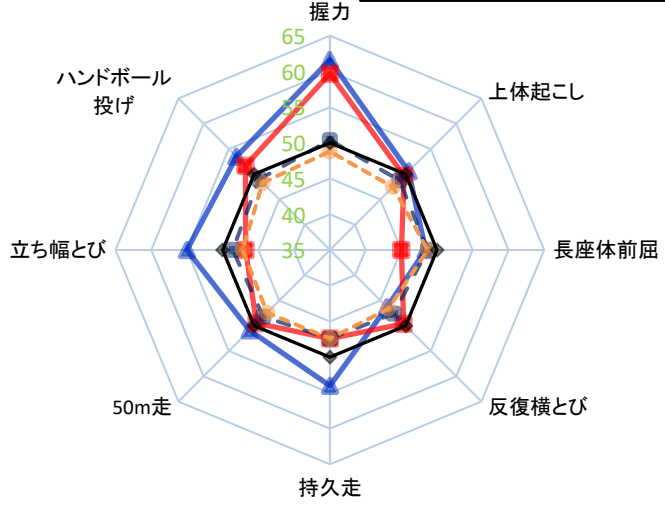
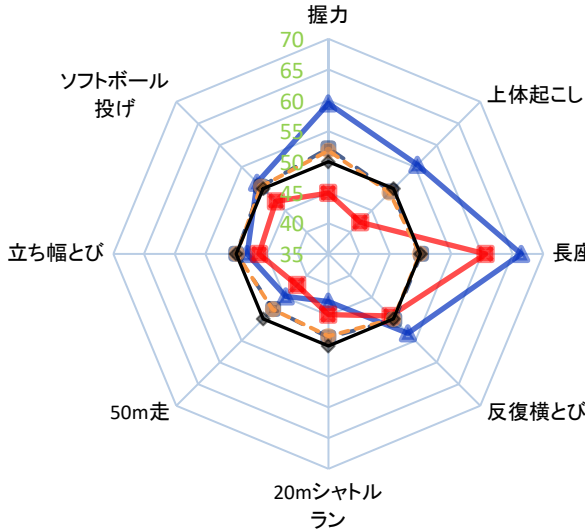
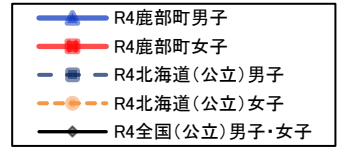
鹿部町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校1校・児童数24名、中学校1校・生徒数29名)

【各種目の状況】

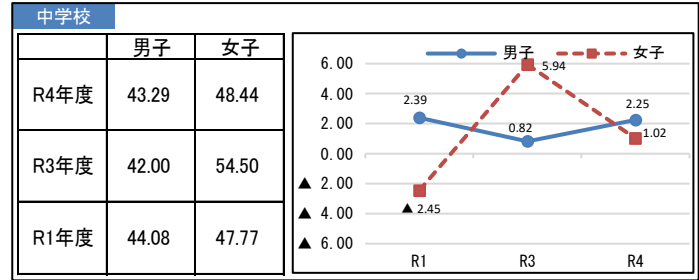
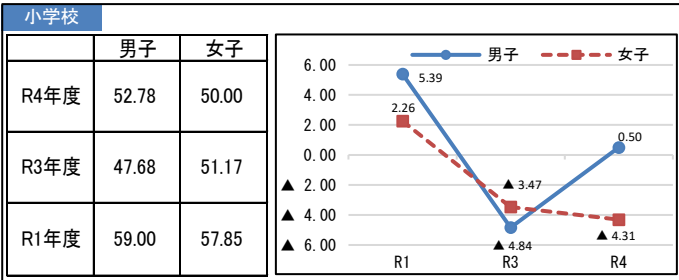
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

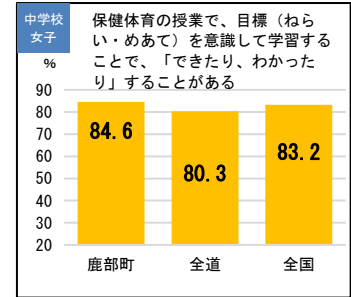
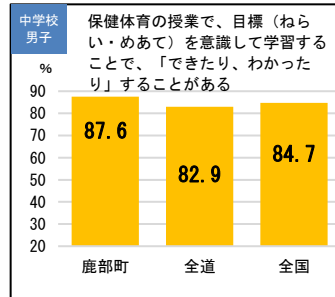
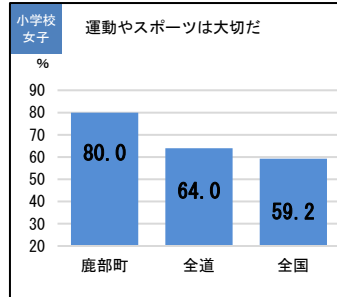
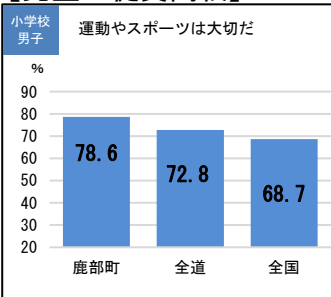
【中学校】



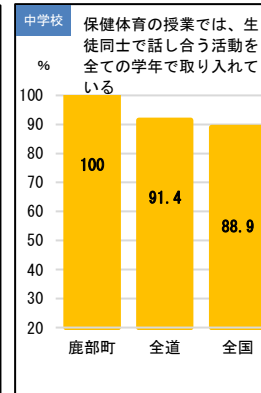
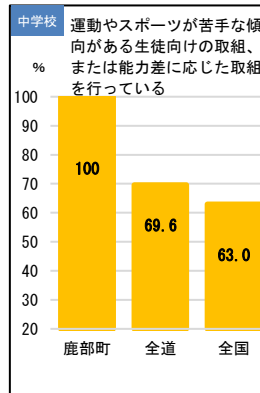
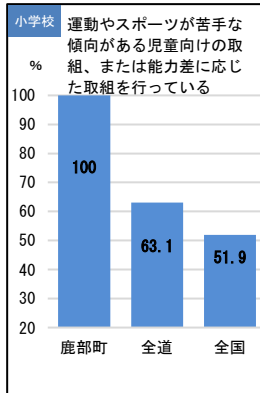
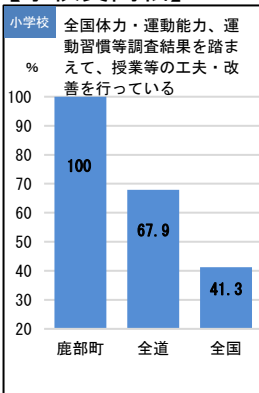
【体力合計点及び全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行うとともに、運動やスポーツが苦手な傾向がある児童向けの取組、または能力差に応じた取組を行ったことにより、運動やスポーツは大切だと回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
運動やスポーツが苦手な傾向がある生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行うとともに、保健体育授業で、生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、保健体育授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習を行い、「できたり、わかったり」することがあると回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【鹿部町の体力向上策】

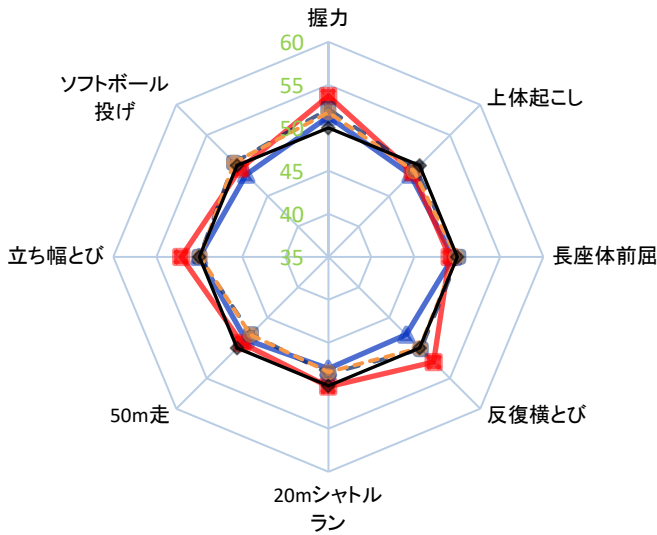
- ◎ 全ての町民が運動に取り組むことができる環境づくりの推進及び関係団体と協働した各種スポーツ教室の開催など、日頃から運動に親しむ機会の提供
- ◎ 児童生徒の体力・運動能力の向上やスポーツに対する意欲の高揚を図るスポーツ少年団活動のサポート及び町主催の大会の開催

■ 森町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校5校・児童数103名、中学校2校・生徒数95名)

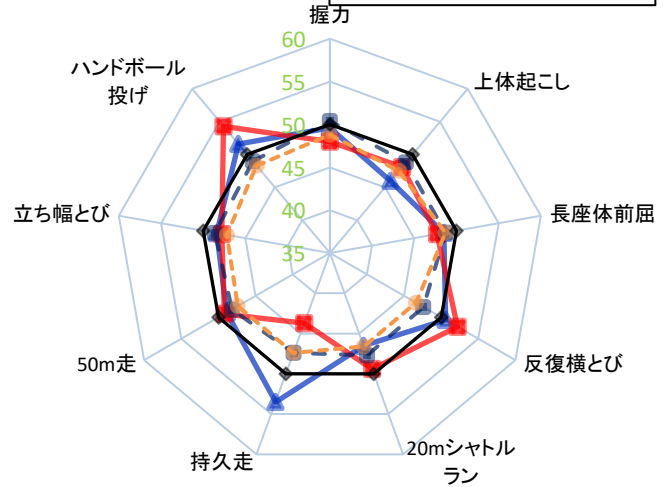
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

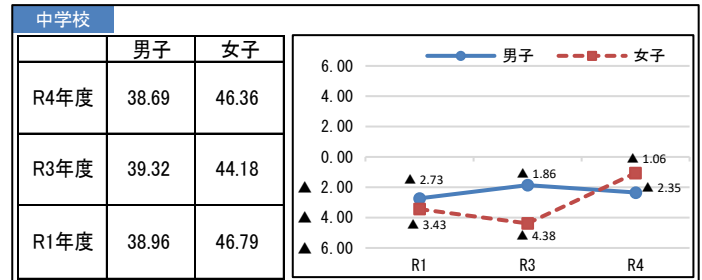
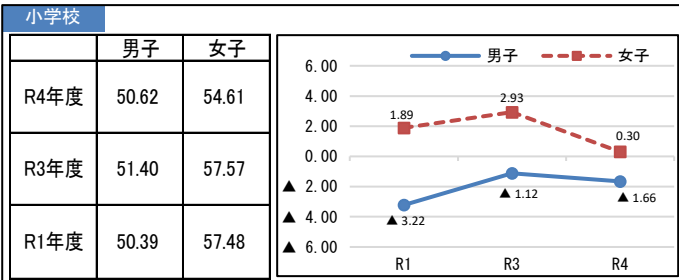
【小学校】



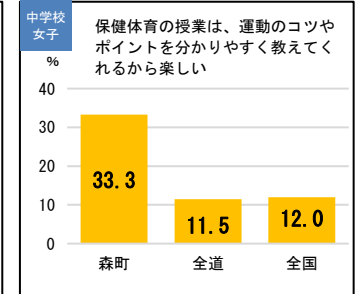
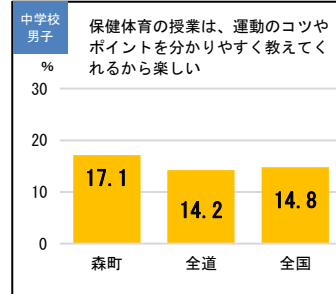
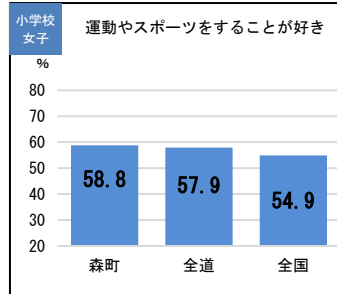
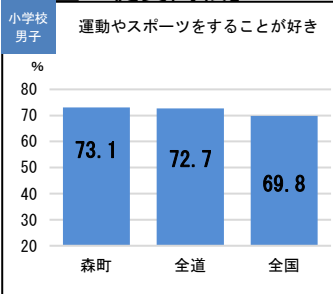
【中学校】



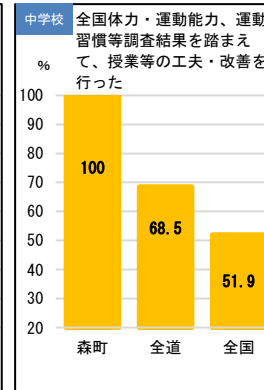
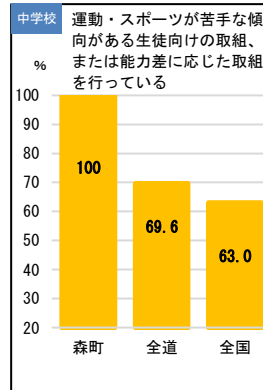
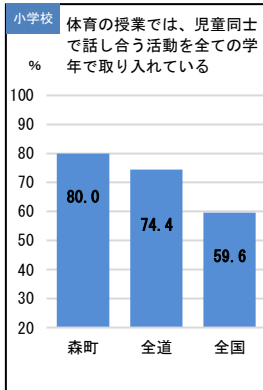
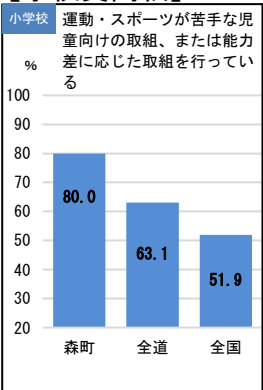
【体力合計点及び全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
運動・スポーツが苦手な傾向がある児童向けの取組、または能力差に応じた取組を行うとともに、体育授業では、児童同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、運動やスポーツをすることが好きと回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
運動・スポーツが苦手な傾向がある生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行うとともに、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったことにより、保健体育授業は、運動のコツやポイントを分かりやすく教えてくれるから楽しいと回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【森町の体力向上策】

- ◎ 新体力テストの全学年実施及び体育エキスパート教員の活用による体育・保健体育授業の授業改善の促進
- ◎ スポーツ推進委員や体育協会と連携したスポーツ教室や各種大会の開催及びスポーツ少年団活動への支援

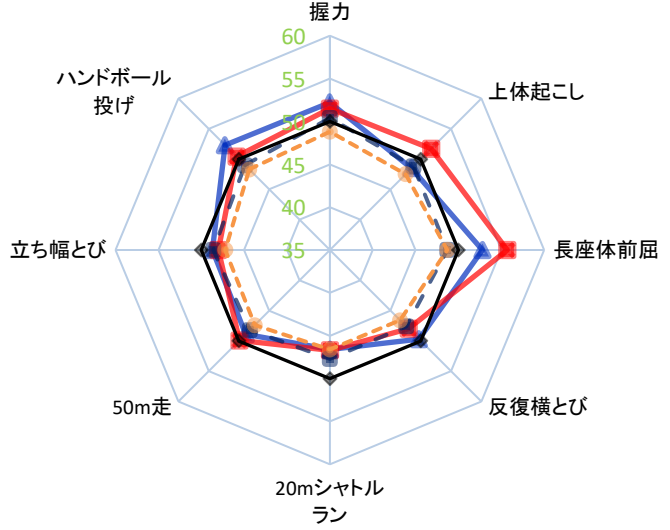
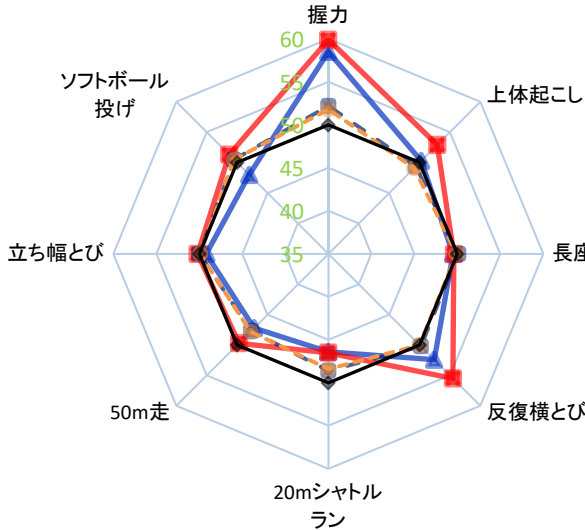
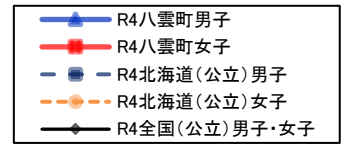
■ 八雲町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校7校・児童数101名、中学校4校・生徒数108名)

【各種目の状況】

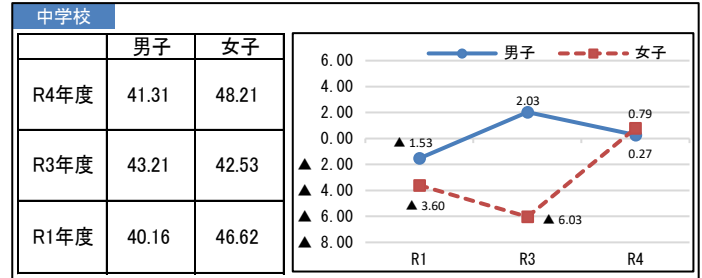
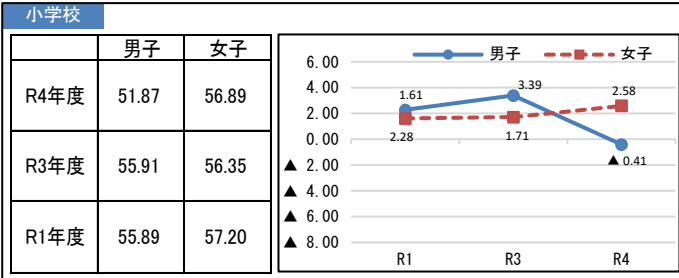
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

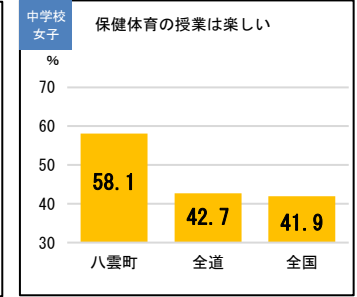
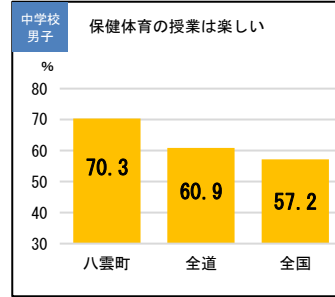
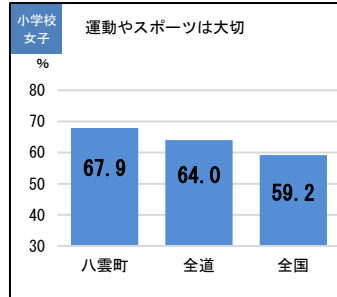
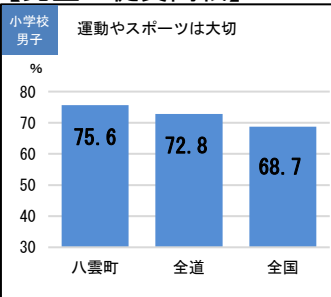
【中学校】



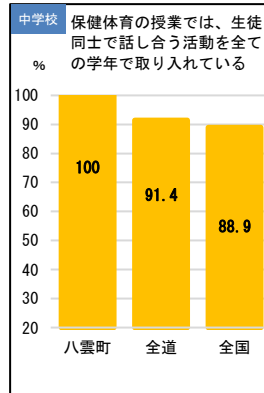
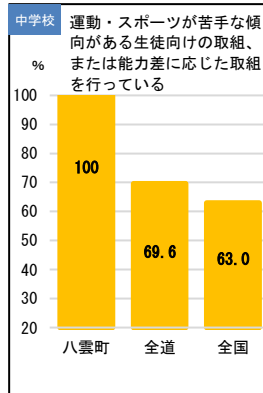
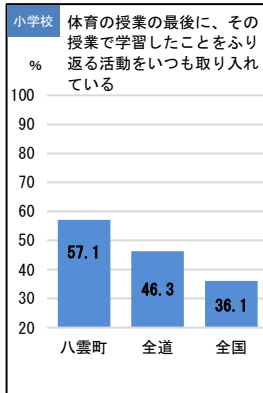
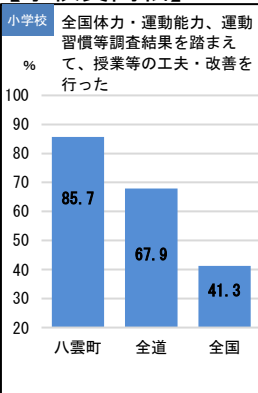
【体力合計点及び全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行うとともに、体育授業の最後に、授業で学習したことをふり返る活動をいつも取り入れたことにより、運動やスポーツは大切と回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
運動・スポーツが苦手な傾向がある生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行うとともに、保健体育授業では、生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、保健体育授業は楽しいと回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【八雲町の体力向上策】

- ◎ 町内の教員を対象とした町教委主催の「体力向上研修」を通じた教員の指導力向上の取組
- ◎ 町内の関係団体と連携したスポーツ大会及びスポーツ教室の企画と実施



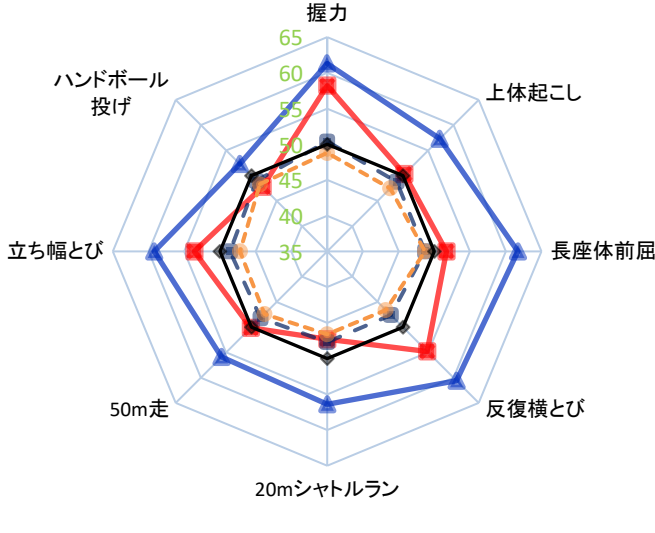
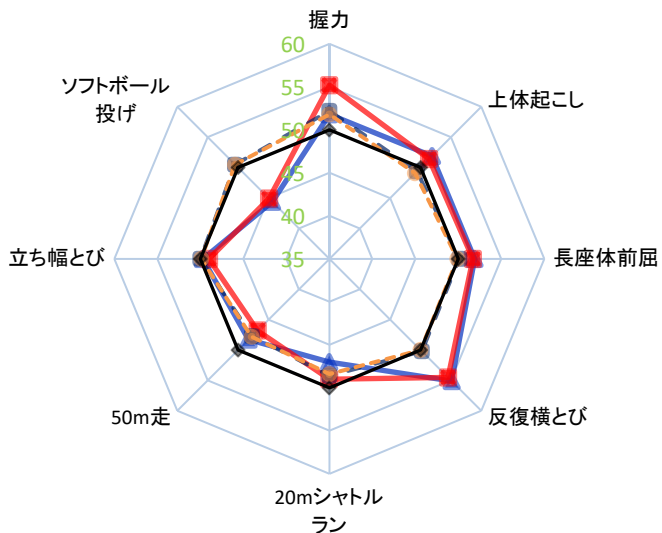
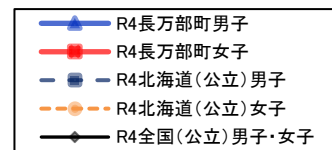
■ 長万部町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数30名、中学校1校・生徒数26名)

【各種目の状況】

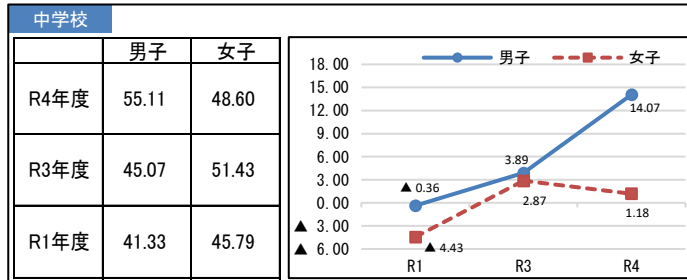
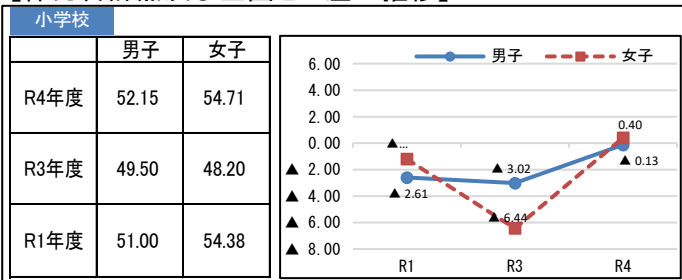
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

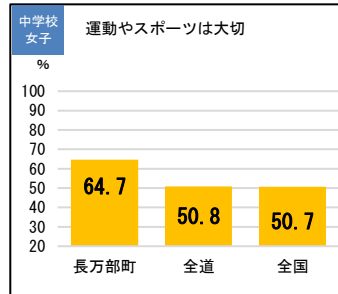
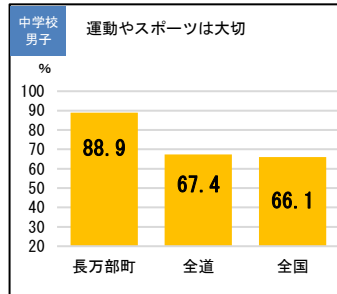
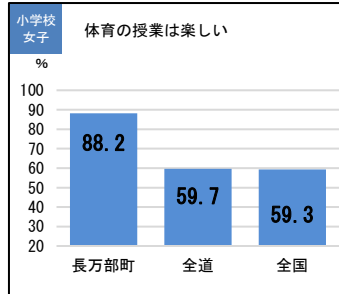
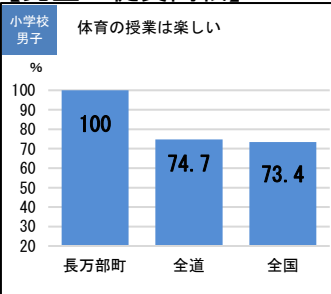
【中学校】



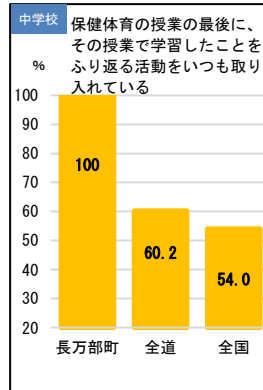
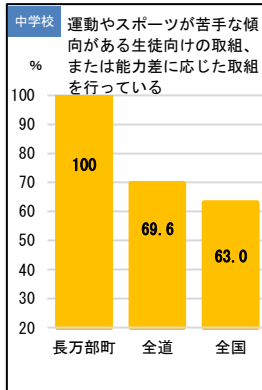
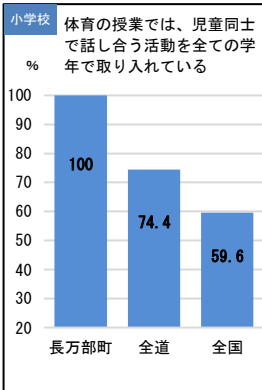
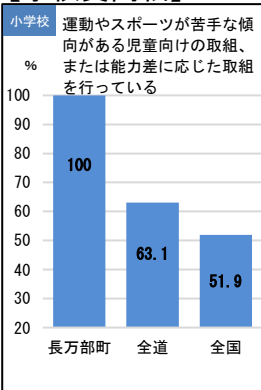
【体力合計点及び全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
運動やスポーツが苦手な傾向がある児童向けの取組、または能力差に応じた取組を行うとともに、体育授業では、児童同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、体育授業は楽しいと回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

<中学校>  
運動やスポーツが苦手な傾向がある生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行うとともに、保健体育授業の最後に、その授業で学習したことをふり返る活動をいつも取り入れたことにより、運動やスポーツは大切と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【長万部町の体力向上策】

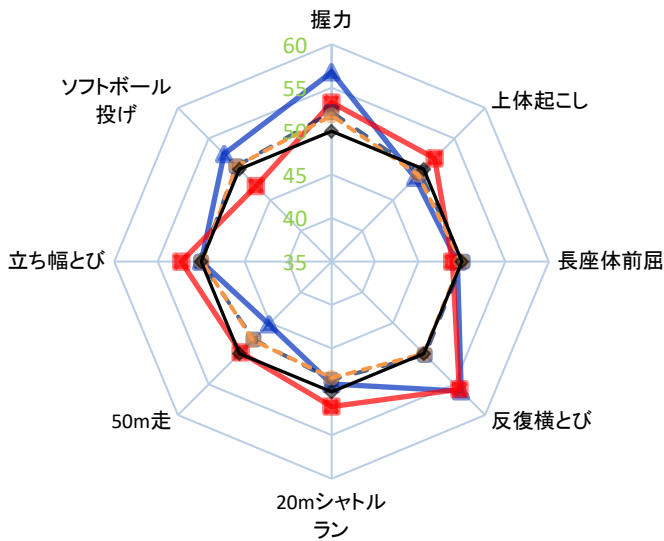
- ◎ 児童生徒の体力に係る実態と課題の分析及び課題の解決に向けた学校における体育・健康に関する指導方法の改善の促進
- ◎ スポーツ協会、スポーツ少年団、学校及び関係団体と連携した生涯スポーツの普及・定着を図る取組の推進

■ 江差町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数38名、中学校2校・生徒数42名)

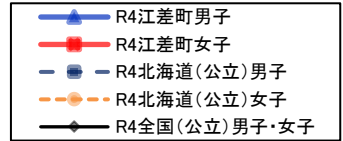
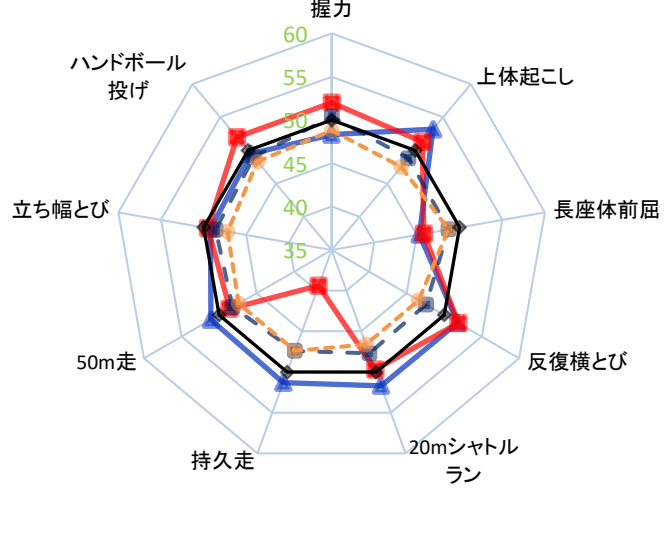
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

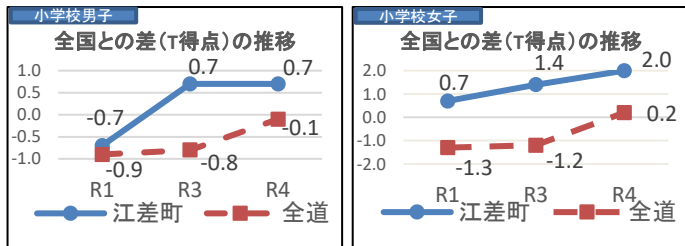
【小学校】



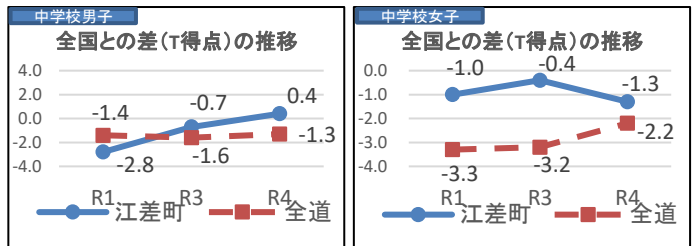
【中学校】



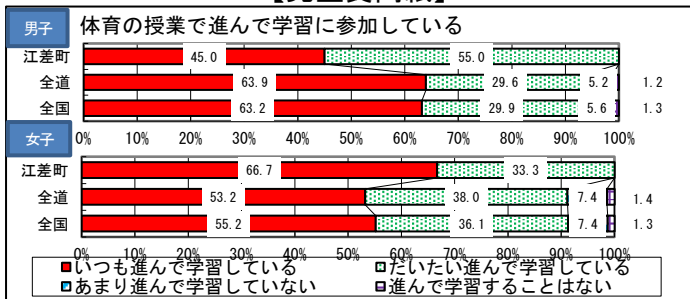
【小学校の全国との差(T得点)の推移】



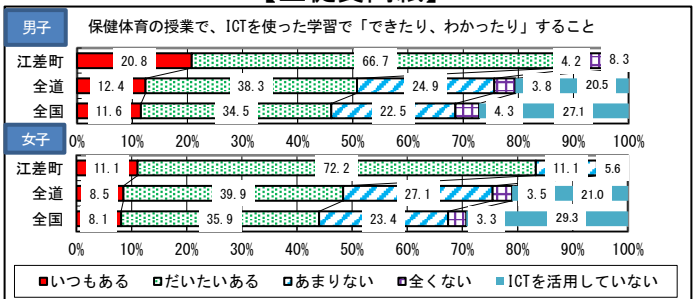
【中学校の全国との差(T得点)の推移】



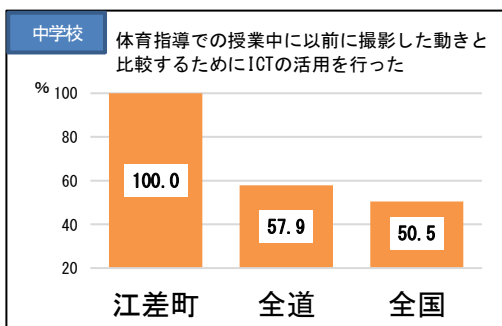
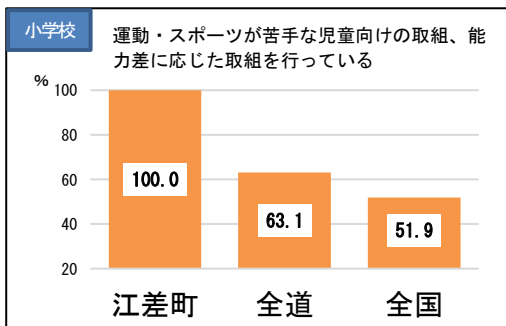
【児童質問紙】



【生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
町内の全ての小学校において、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組や能力差に応じた取組を行ったことにより、進んで学習していると肯定的に回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

<中学校>  
町内の全ての中学校において、体育指導での授業中に以前に撮影した動きと比較するためにICTの活用を行ったことにより、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」と肯定的に回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【江差町の体力向上策】

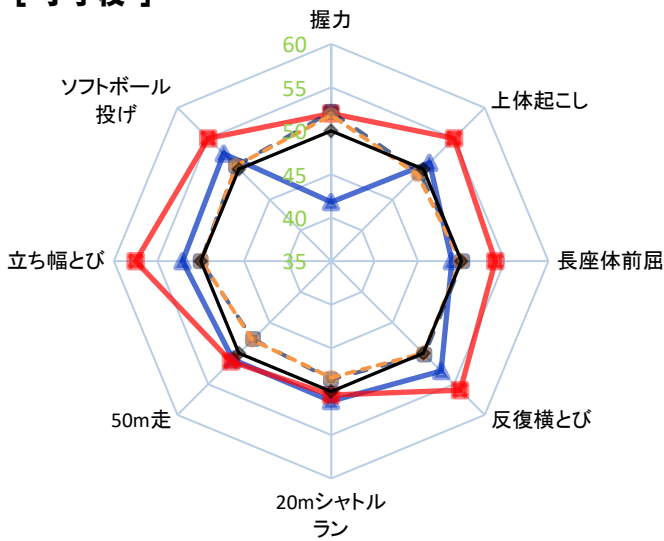
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を活用した、「一校一実践」の取組
- 「早寝、早起き、朝ごはん」運動の推進及びデジタルメディア使用時間の縮小を通じた、児童生徒の望ましい生活リズムの育成
- 「夏休みスイミングスクール」や「冬休みスキーレッスン」等の児童生徒がスポーツに親しむ環境の充実

■ 上ノ国町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数30名、中学校1校・生徒数20名)

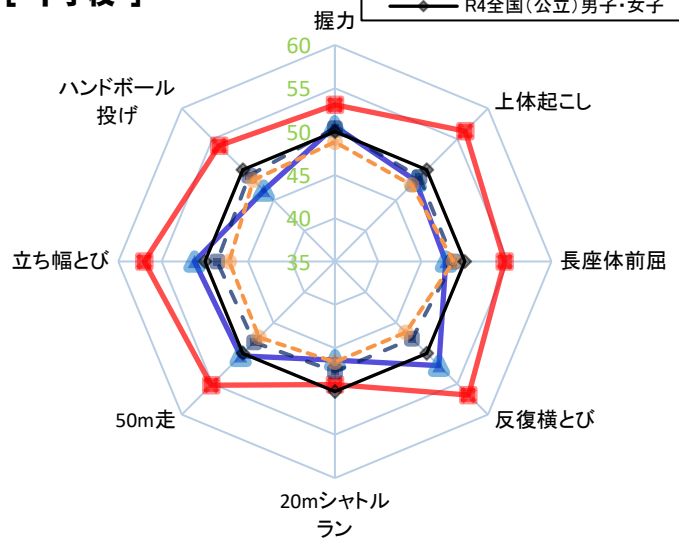
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

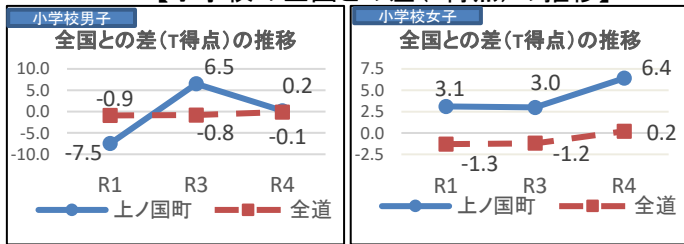
【小学校】



【中学校】



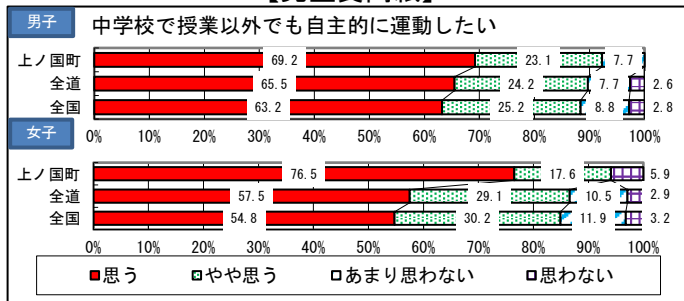
【小学校の全国との差(T得点)の推移】



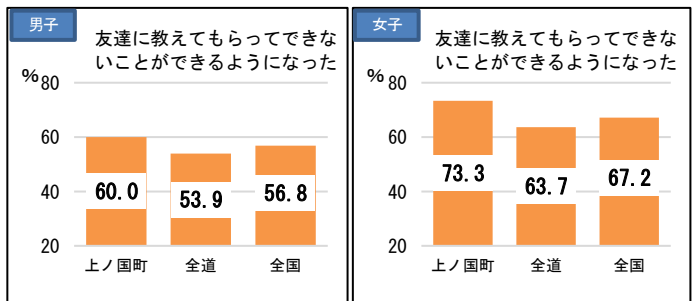
【中学校の体力合計点総合評価AB層-DE層】

	男子			女子		
	AB	DE	AB-DE	AB	DE	AB-DE
上ノ国町	40.0	20.0	20.0	64.3	0.0	64.3
全道	24.8	40.9	▲ 16.1	40.2	28.5	11.7
全国	31.4	33.5	▲ 2.1	53.6	18.1	35.5
上ノ国町の状況						
全国との差	22.1		36.1	全国との差	28.8	
				全道との差	52.6	

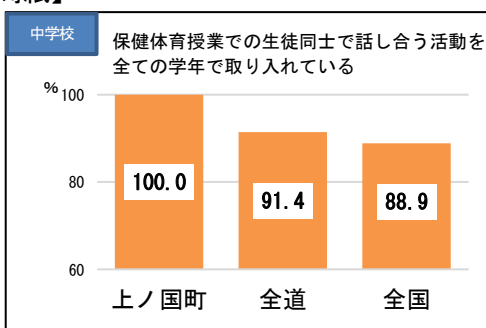
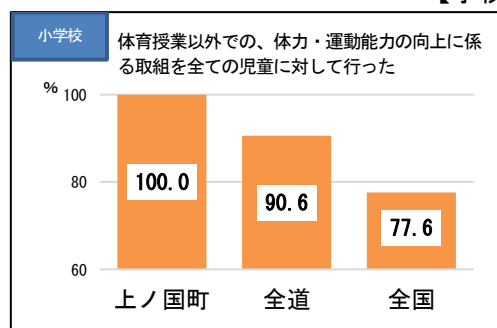
【児童質問紙】



【生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
町内の全ての小学校において、体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を全ての児童に対して行ったことにより、中学校で授業以外でも自主的に運動したいと思うと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
中学校において、保健体育授業での生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、友達に教えてもらってできないようになったと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【上ノ国町の体力向上策】

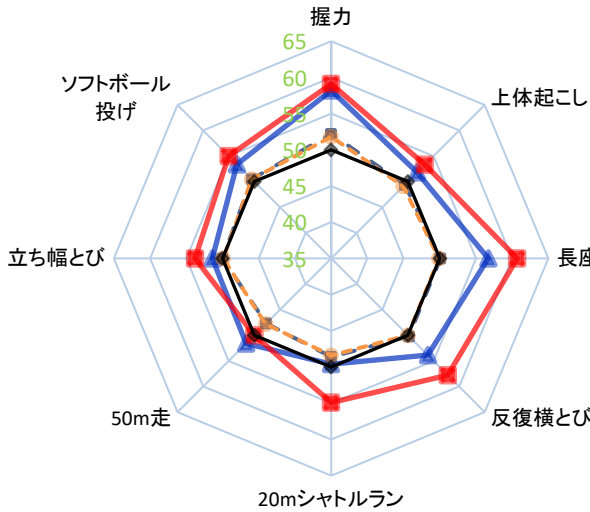
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果などに基づく、一層の体力向上を図る、授業づくりの推進
- スポーツセンターを拠点とした健康・体力づくり及び、スポーツ活動の推進

■ 厚沢部町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数32名、中学校1校・生徒数19名)

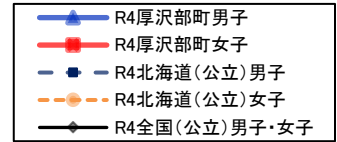
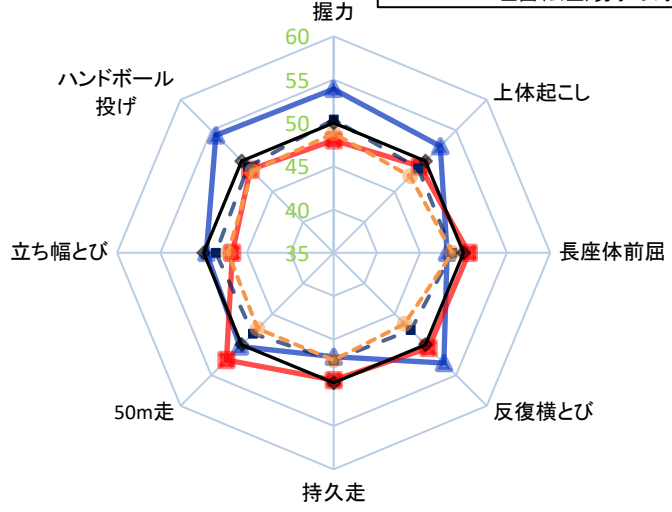
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

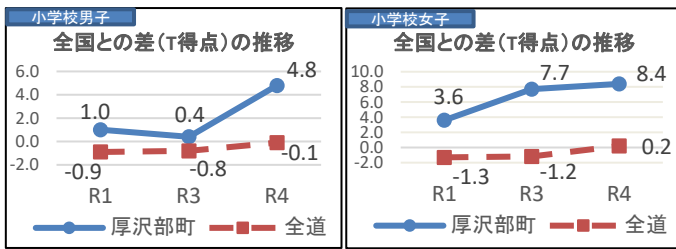
【小学校】



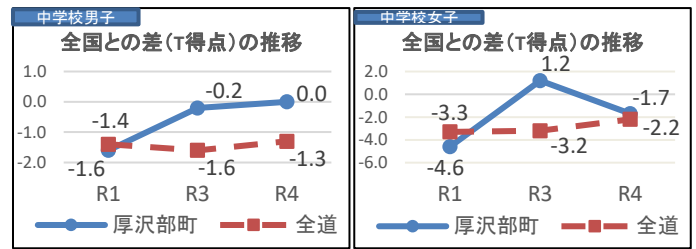
【中学校】



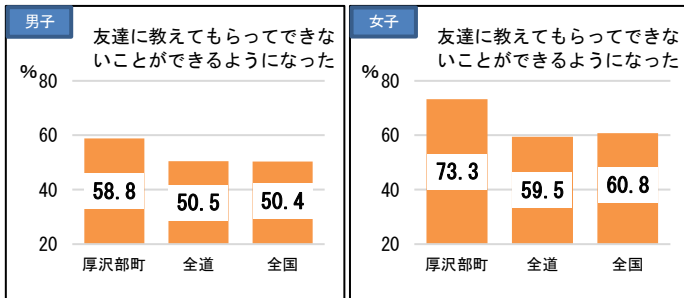
【小学校の全国との差(T得点)の推移】



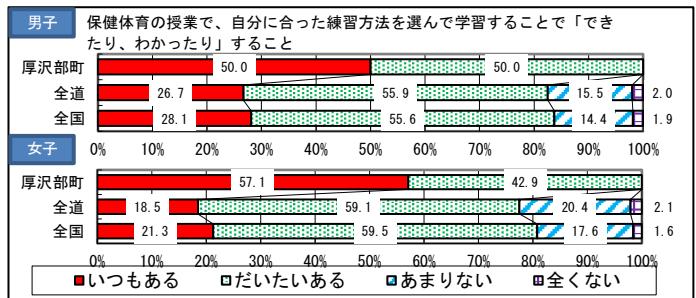
【中学校の全国との差(T得点)の推移】



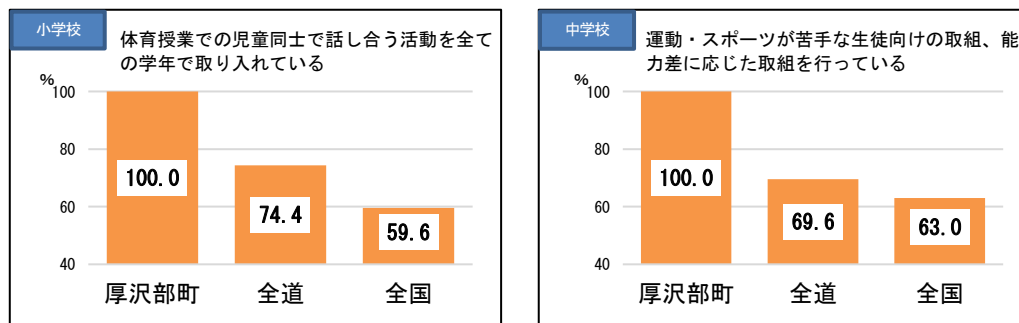
【児童質問紙】



【生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
町内の全ての小学校において、体育授業での児童同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、友達に教えてもらってできないことができるようになったと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
中学校において、運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、保健体育の授業で、自分に合った練習方法を選んで学習することで「できたり、わかったり」することがいつもあると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【厚沢部町の体力向上策】

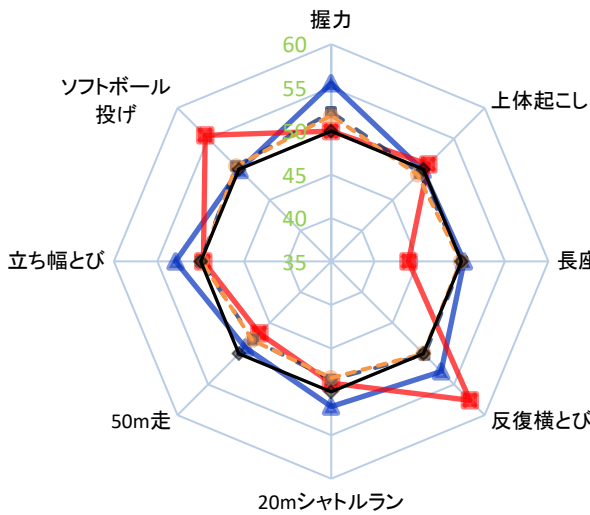
- 学習指導要領に基づいた各学校の体力向上に係る、取組の推進
- 小学校体育科における教員の指導力向上を図るため、体育専科教員による巡回指導の実施
- 「スイミングスクール」や「スキー教室」等の子どもがスポーツに親しむ取組の推進

■ 乙部町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数23名、中学校1校・生徒数10名)

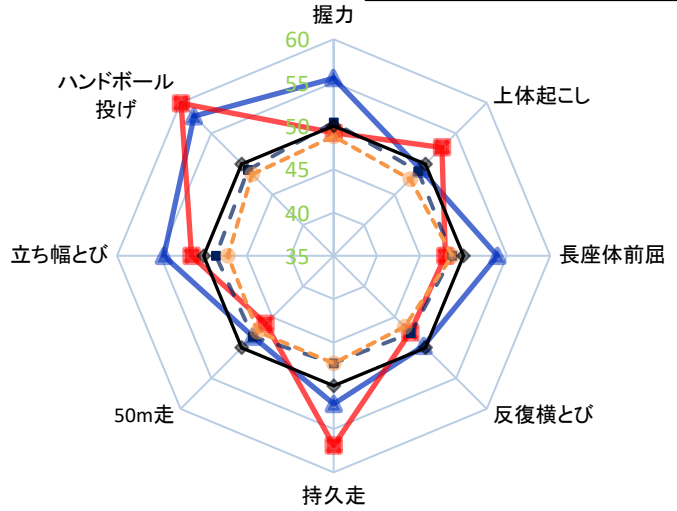
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

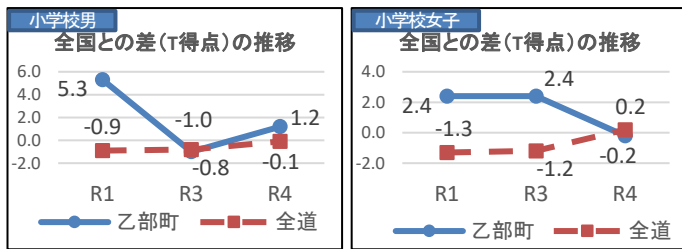
【小学校】



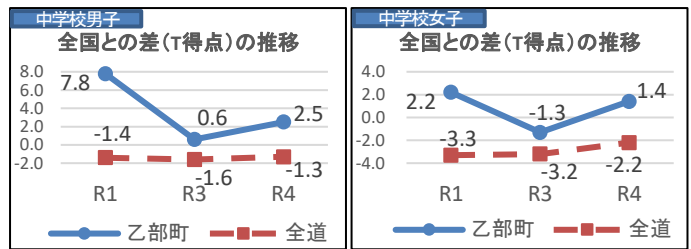
【中学校】



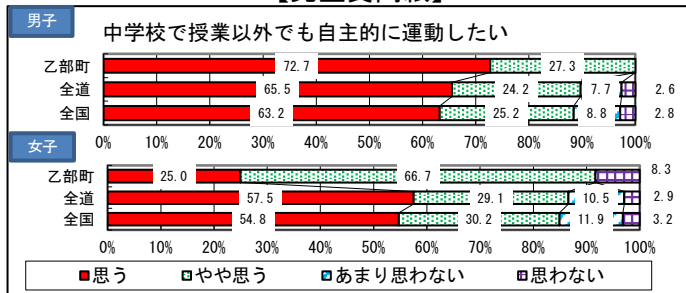
【小学校の全国との差(T得点)の推移】



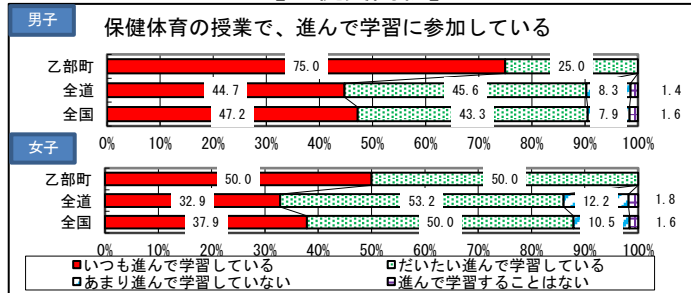
【中学校の全国との差(T得点)の推移】



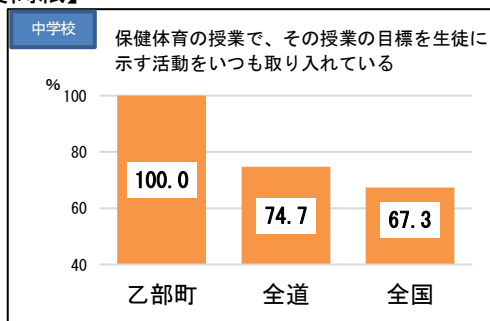
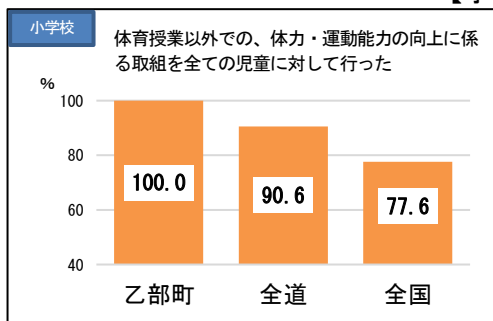
【児童質問紙】



【生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
町内の全ての小学校において、体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を全ての児童に対して行ったことにより、中学校で授業以外でも自主的に運動したいと思うと肯定的に回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

<中学校>  
中学校において、主体的な学習へつながるよう、体育授業で目標を提示することをいつも取り入れたことにより、体育の授業で進んで学習に参加していると肯定的に回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【乙部町の体力向上策】

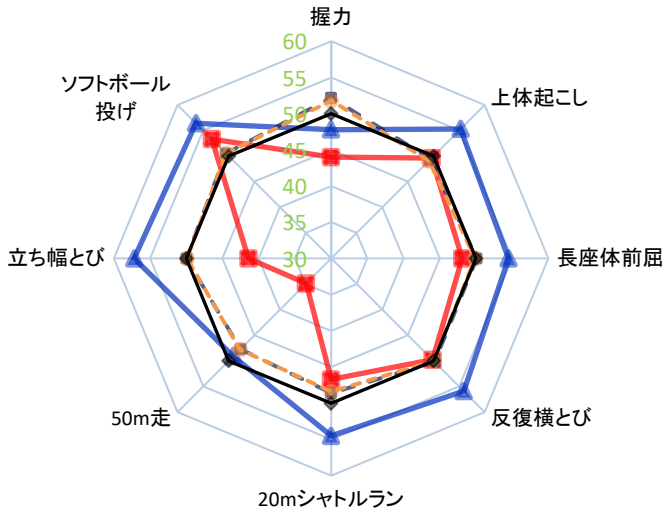
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査などの結果を踏まえた、学校全体での体力向上の取組の推進
- スポーツ少年団活動の奨励と、「水泳教室」や「スキー教室」などの社会教育事業の推進
- 家庭と連携を図った生活習慣の改善と児童生徒が目標を立てて取り組む体力づくりの推進

■ 奥尻町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数10名、中学校1校・生徒数11名)

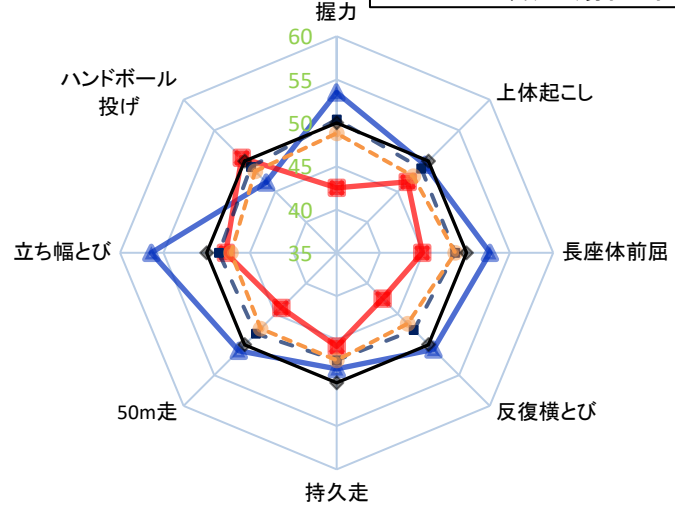
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

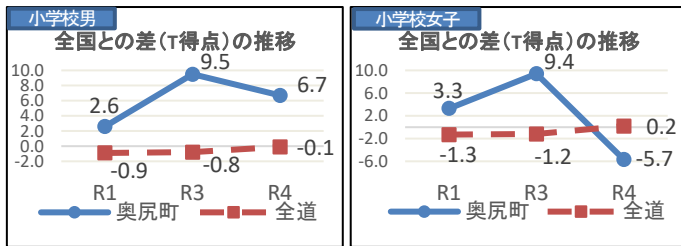
【小学校】



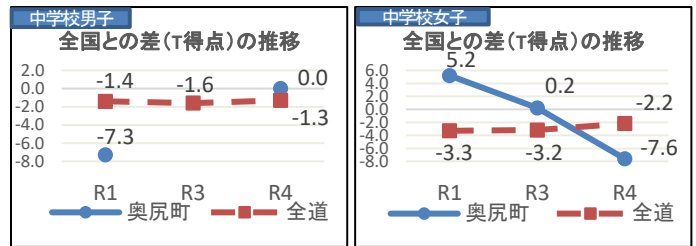
【中学校】



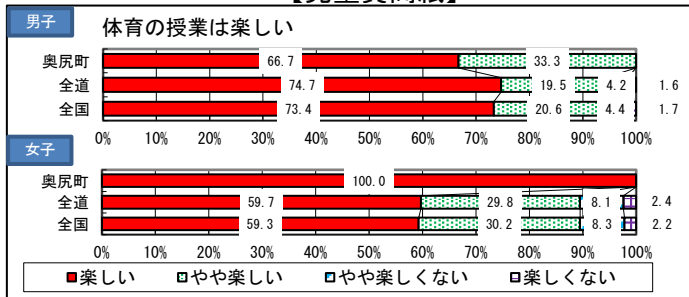
【小学校の全国との差(T得点)の推移】



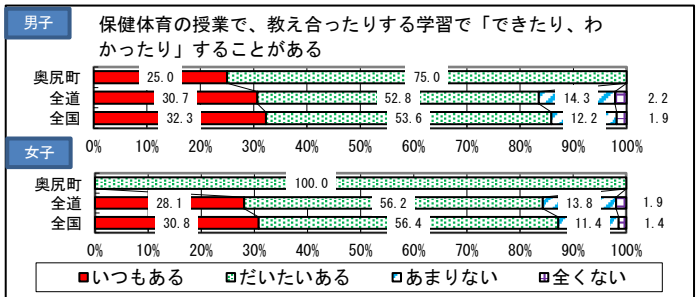
【中学校の全国との差(T得点)の推移】



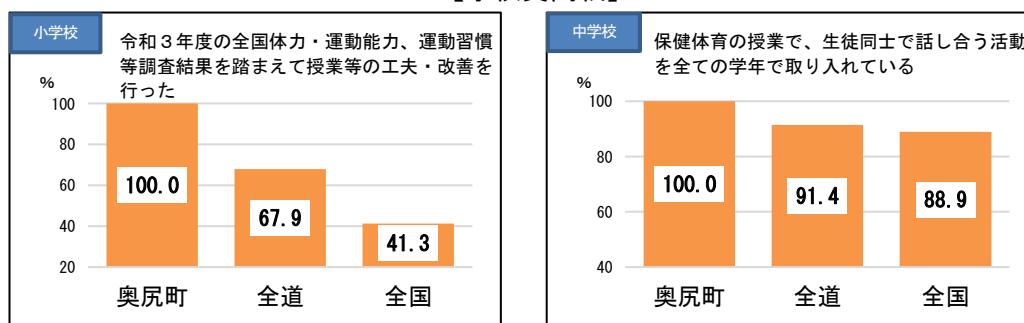
【児童質問紙】



【生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
町内の全ての小学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、体育の授業は楽しいと肯定的に回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
中学校において、体育授業での生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、友達と教え合ったりすることでできたり、わかったりすることがあると肯定的に回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【奥尻町の体力向上策】

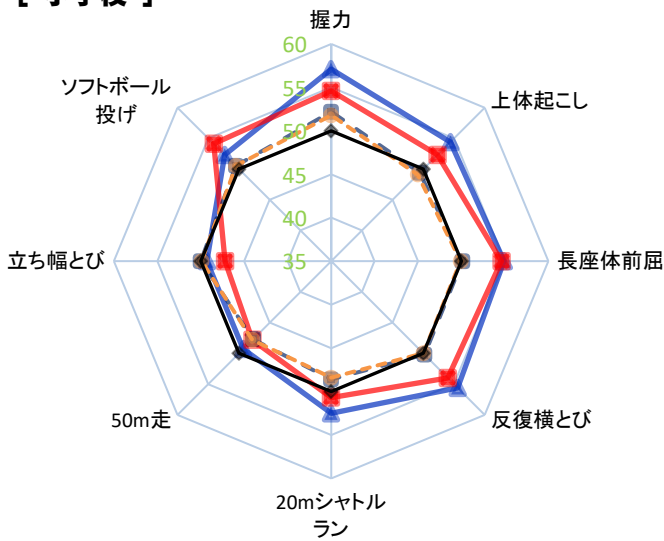
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査などの結果を踏まえた、社会教育との協働による青少年の心身の健やかな成長を目的とした活動の推進
- どさん子元気アップチャレンジ等の児童の体力向上に係る取組や町独自のスポーツ振興事業の推進

■ 今金町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数38名、中学校1校・生徒数28名)

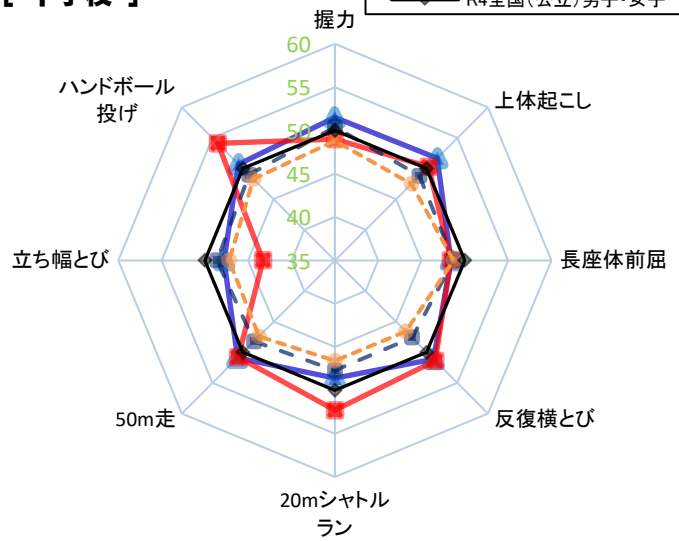
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

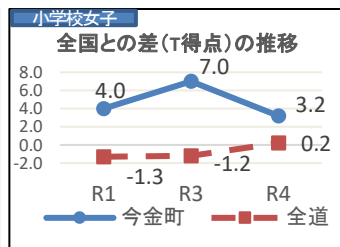
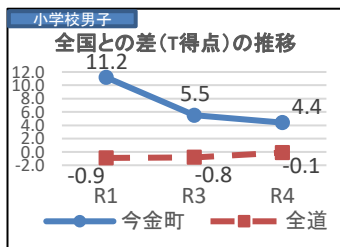
【小学校】



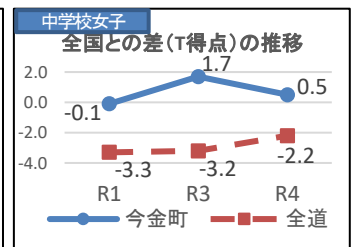
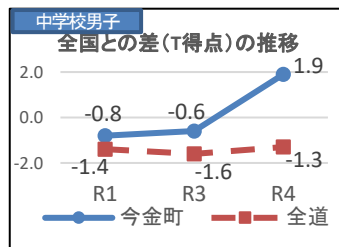
【中学校】



【小学校の全国との差(T得点)の推移】



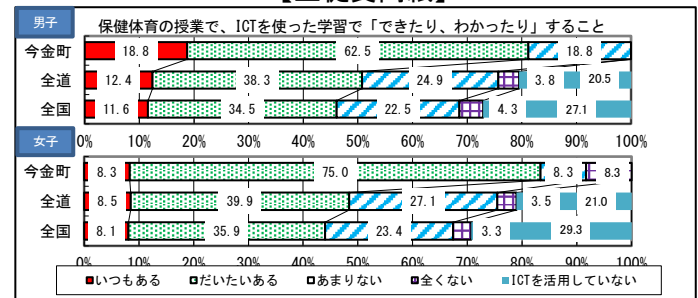
【中学校の全国との差(T得点)の推移】



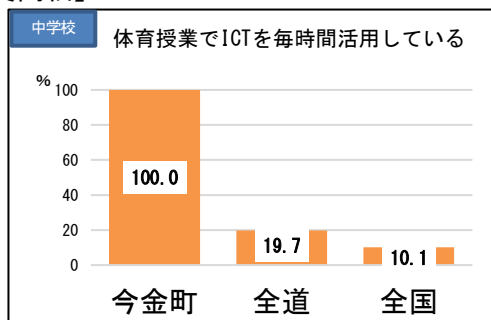
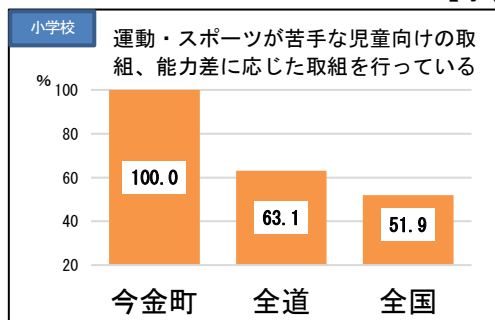
【小学校の体力合計点総合評価AB層-DE層】

性別	AB	DE	AB-DE
今金町	43.8	31.3	12.5
全道	31.3	37.9	▲6.6
全国	30.7	37.0	▲6.3
今金町の状況			
全国との差	全道との差		
18.8	19.1		
今金町	45.5	4.5	41.0
全道	38.9	29.4	9.5
全国	37.1	28.9	8.2
今金町の状況			
全国との差	全道との差		
32.8	31.5		

【生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
町内の全ての小学校において、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組や能力差に応じた取組を行ったことにより、体力下位層の児童数が減少し、体力上位層と体力下位層の割合の差が全国及び全道の割合を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
中学校において、生徒の課題発見につながるようするなど、体育授業でICTを毎時間活用したことにより、ICTを活用してできたりわかったりすることがあると肯定的に回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【今金町の体力向上策】

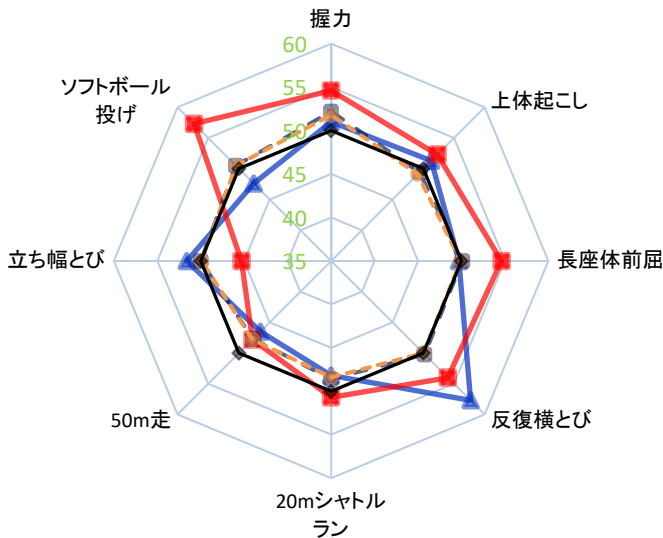
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査などの結果分析を踏まえた、どさん子元気アップチャレンジや中学校教員による小学校への乗り入れ授業の実施など児童生徒の体力向上に係る取組の推進
- スポーツ少年団と連携した研修会や社会教育を軸とした町独自のスポーツ振興事業の推進

■ せたな町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数37名、中学校3校・生徒数50名)

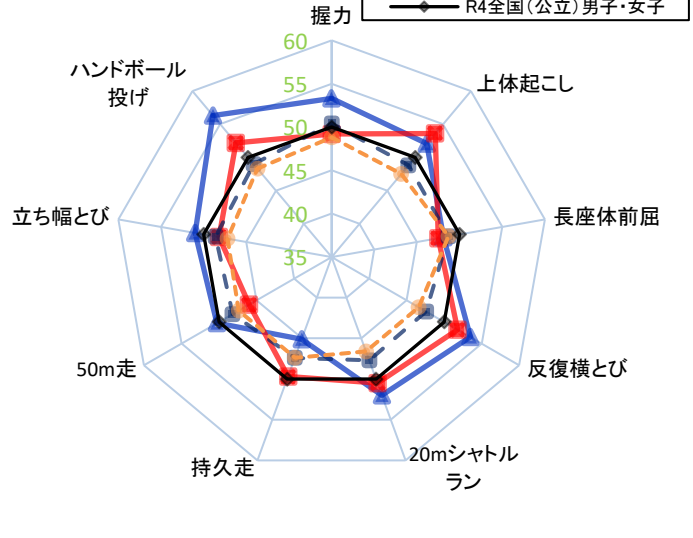
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

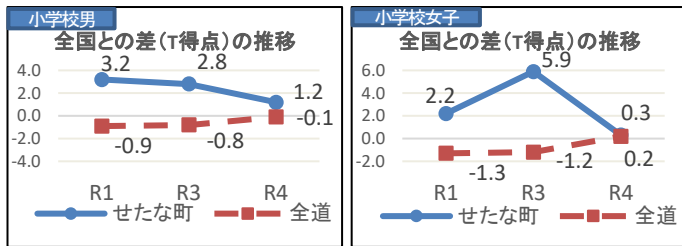
【小学校】



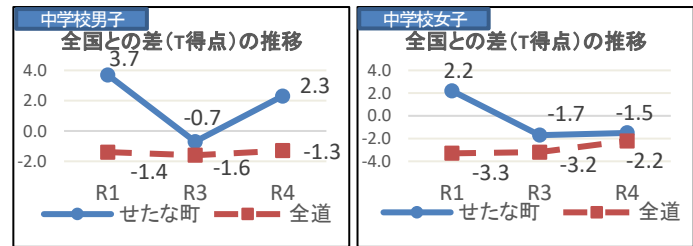
【中学校】



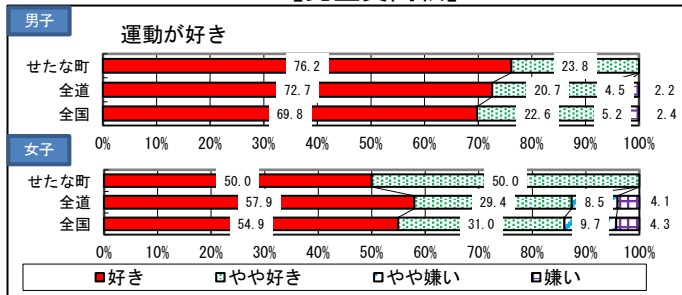
【小学校の全国との差(T得点)の推移】



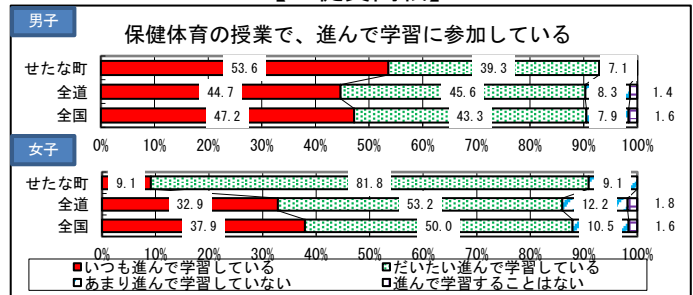
【中学校の全国との差(T得点)の推移】



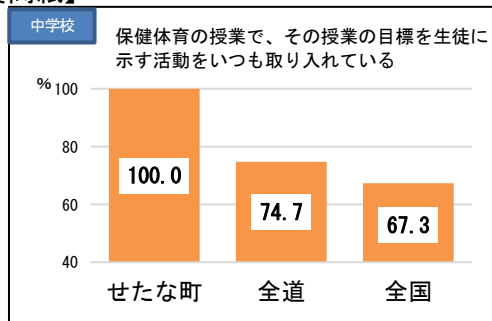
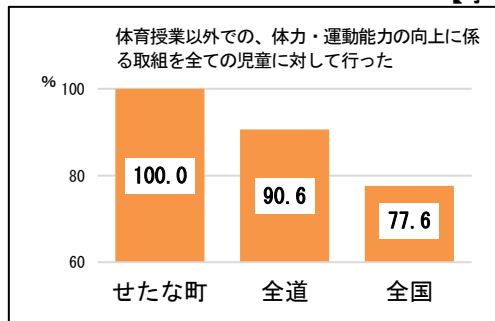
【児童質問紙】



【生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
町内の全ての小学校において、体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を全ての児童に対して行ったことにより、運動が好きと肯定的に回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
町内の全ての中学校において、主体的な学習へつながるよう、体育授業で目標を提示することをいつも取り入れたことにより、進んで学習していると肯定的に回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【せたな町の体力向上策】

- どんさん元気アップチャレンジや町教委主催の「子ども体力チャレンジ祭り」などの児童の体力向上に係る取組の推進
- 学校とスポーツ少年団が連携した実技教室など、運動能力のレベルアップに関わる学習機会の提供



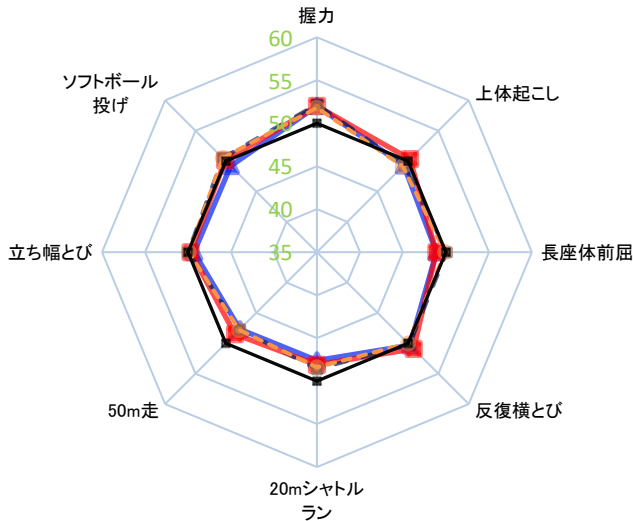
■ 旭川市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校52校・児童数2279名、中学校26校・生徒数2443名)

【各種目の状況】

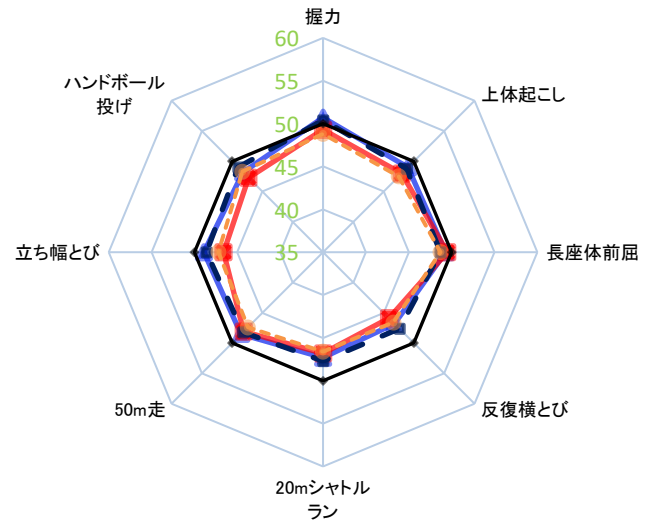
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



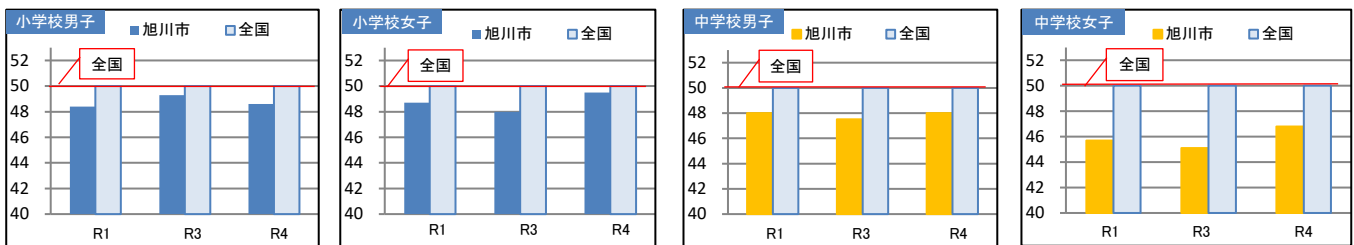
【小学校】



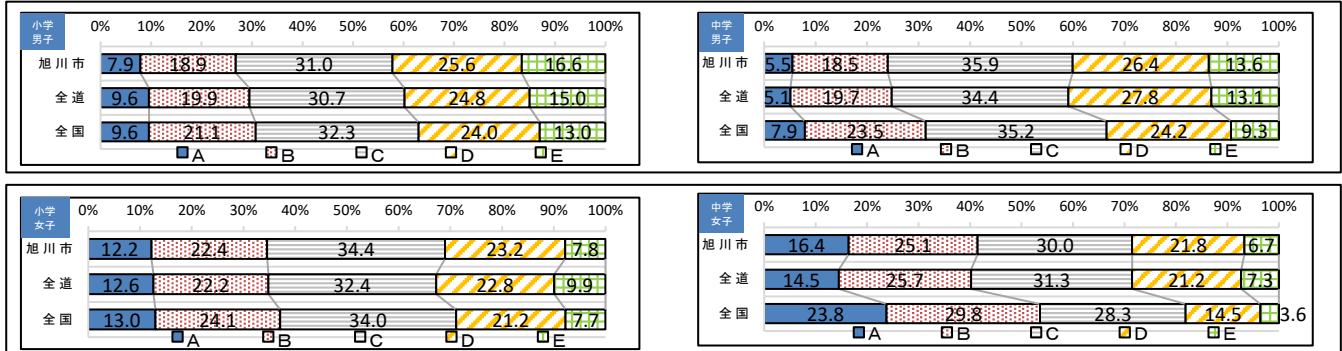
【中学校】



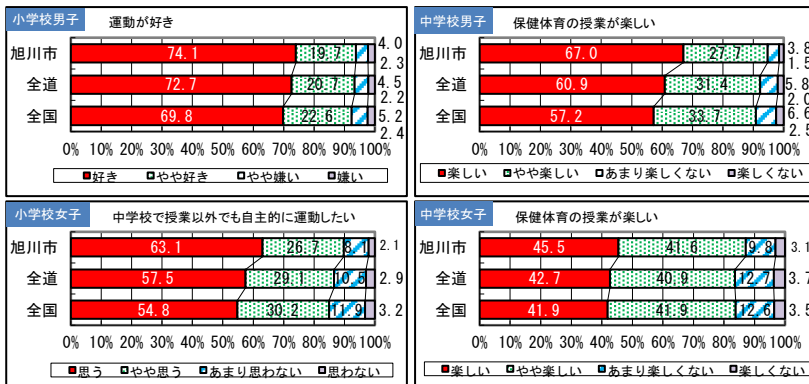
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



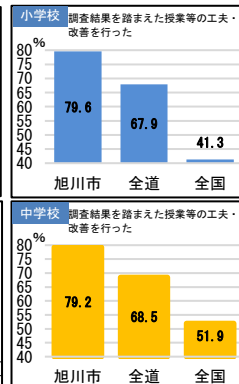
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえた授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、「運動が好き」「中学校で授業以外でも自主的に運動したい」と回答した児童が全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえた授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、「保健体育の授業が楽しい」と回答した生徒が男女ともに全国平均を上回ったと考える。

【旭川市の体力向上策】

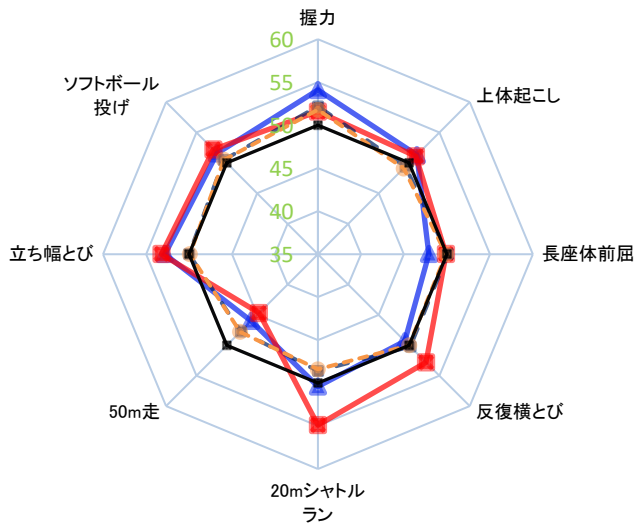
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた、各学校の「体力向上プラン」に基づく体力向上の取組の促進
- ◎ 体育の授業や体力づくりの充実を図るため、体育専科教員等を活用した「体力向上研修会」の実施
- ◎ 児童生徒の実態に応じた「一校一実践」の充実

■ 士別市内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校6校・児童数117名、中学校4校・生徒数113名)

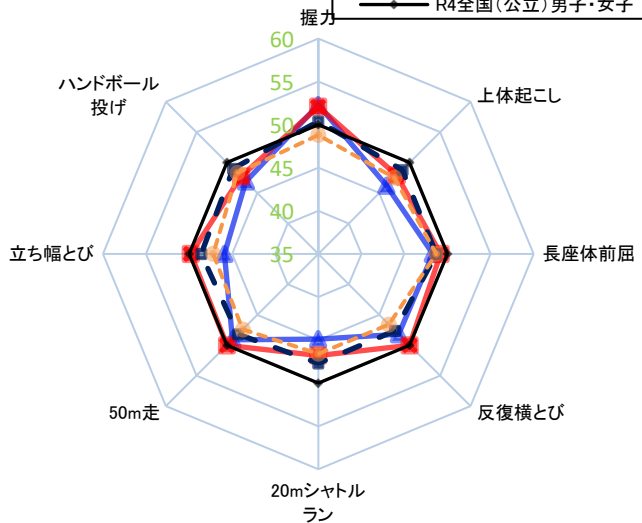
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

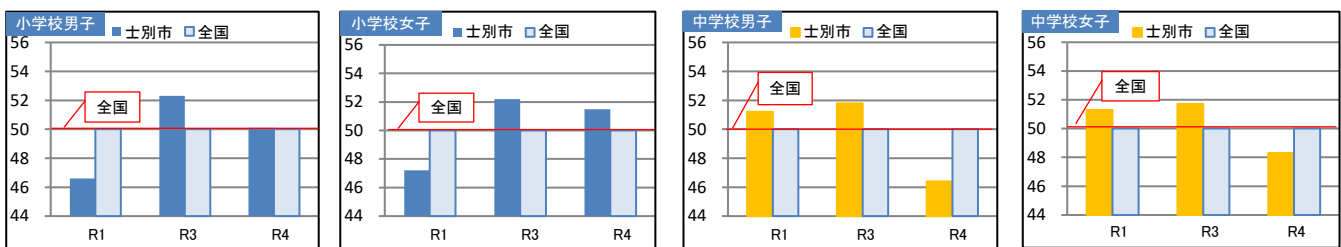
【小学校】



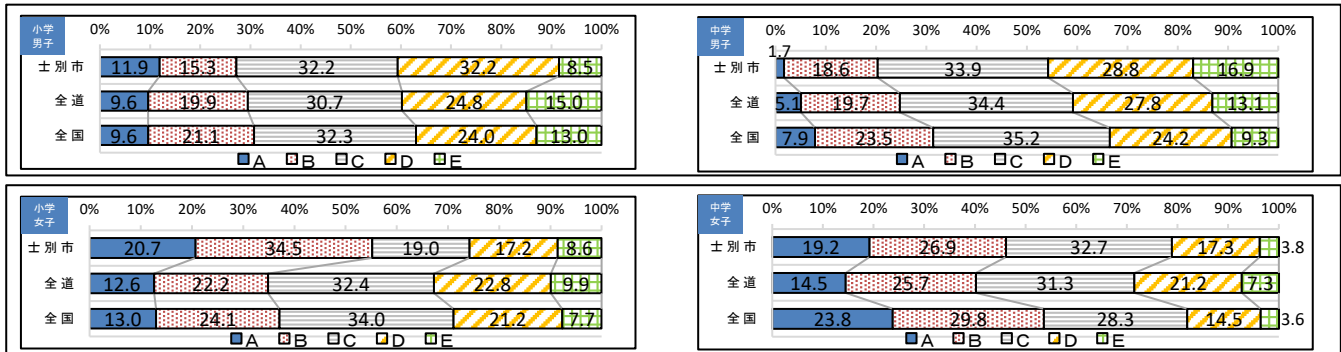
【中学校】



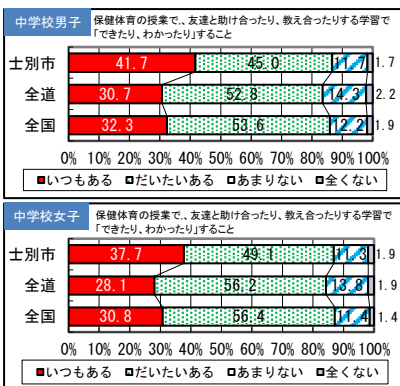
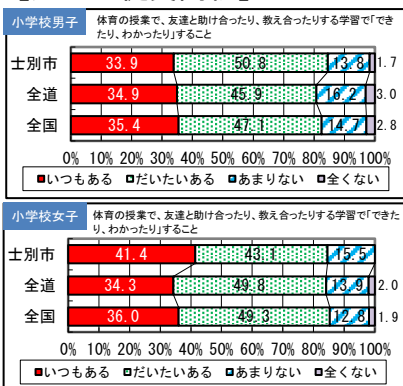
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



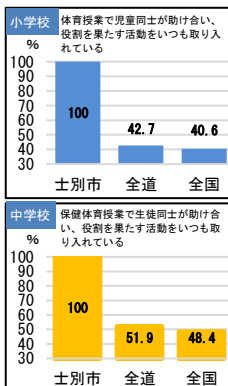
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

**＜小学校＞**  
各学校において、体育授業で児童同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れたことにより、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」するようになり、体力合計点が全国平均以上になったと考える。

**＜中学校＞**  
各学校において、保健体育授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れたことにより、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると回答する生徒が全国平均以上となったと考える。

【士別市の体力向上策】

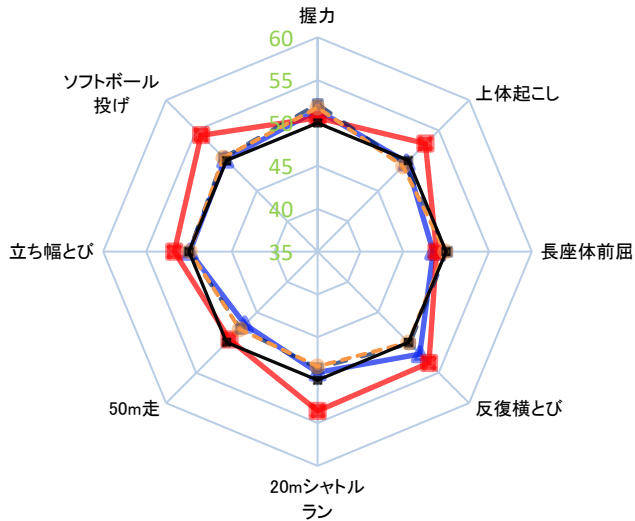
- ◎ 小・中学校ともに積極的にICT機器を活用し、体育の授業において1人1台端末や大型TV等を活用した実践を行う。
- ◎ 本市で合宿している実業団の協力により、陸上教室(実技や講義)を開催し、児童生徒の運動への意欲化を図る。
- ◎ 市が「健康・スポーツ都市宣言」の下、スポーツイベントを企画し、児童生徒が家族とともにスポーツに親しむ機会を創出する。

■ 名寄市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校7校・児童数189名、中学校4校・生徒数185名)

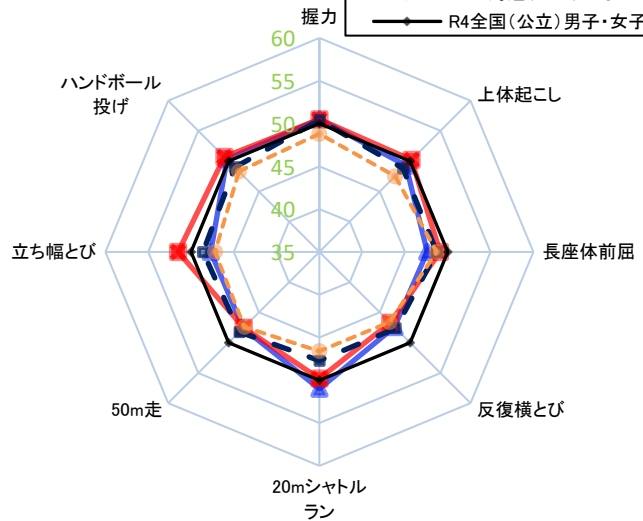
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

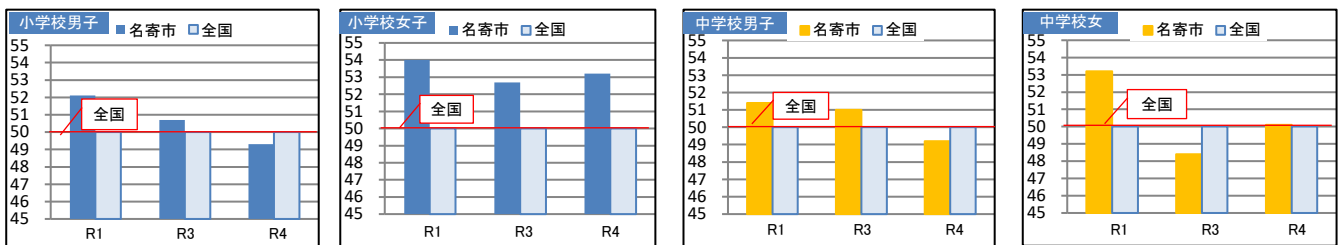
【小学校】



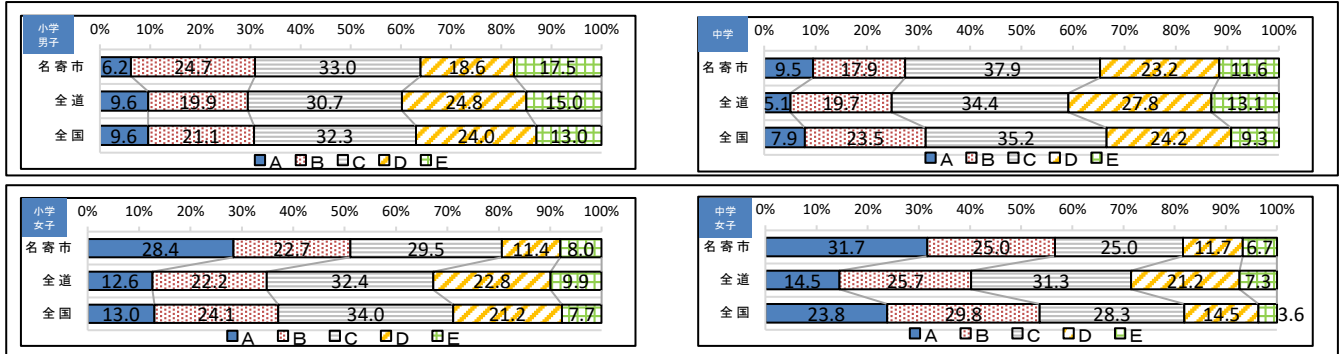
【中学校】



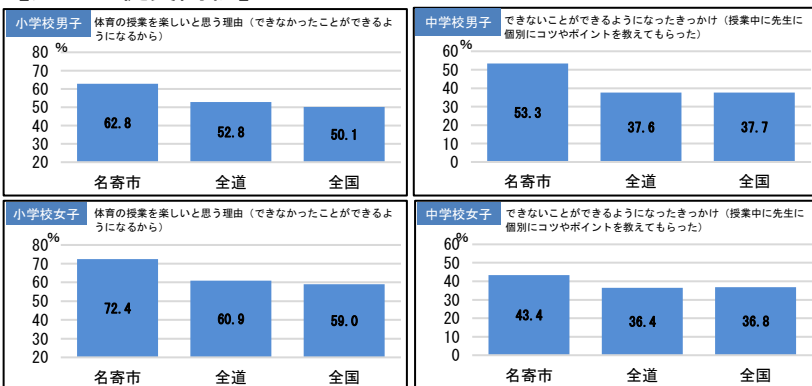
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



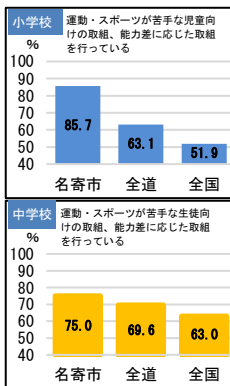
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、体育の授業を楽しいと思う理由として、「できなかったことができるようになるから」を挙げる児童が男女ともに多かつたと考える。

＜中学校＞  
各学校において、運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、できないことができるようになったきっかけとして、「授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらったこと」を挙げる生徒が男女ともに多かつたと考える。

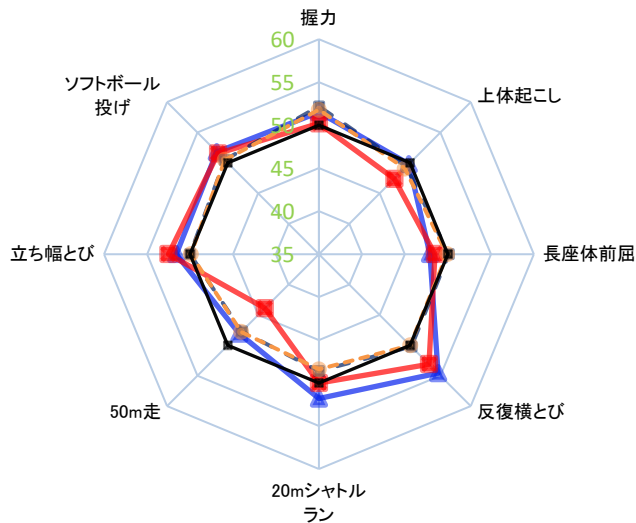
【名寄市の体力向上策】

- ◎ 名寄市教育研究所保健体育班による市内全学年児童生徒の調査結果分析及び実技研修会の実施
- ◎ ICTなどを積極的に活用した、個に応じた運動が楽しいと思える体育・保健体育の授業改善
- ◎ 各学校の特色を生かした体力づくりの取組である「1校1実践」の推進や、スキー・カーリングなど地域の教育資源を生かした活動
- ◎ 走力や柔軟性を高めるために、準備運動で体ほぐし運動を取り入れるなどの体育・保健体育の授業の工夫

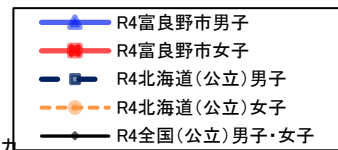
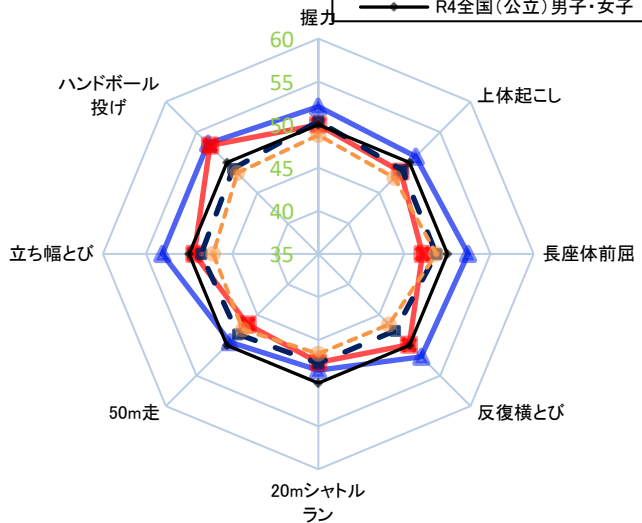
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

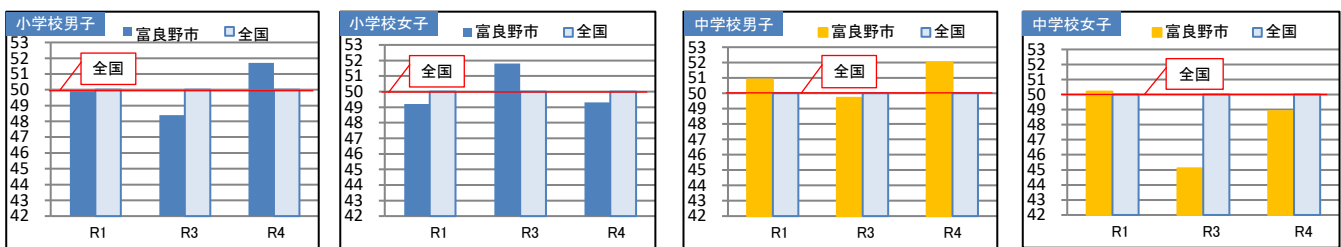
【小学校】



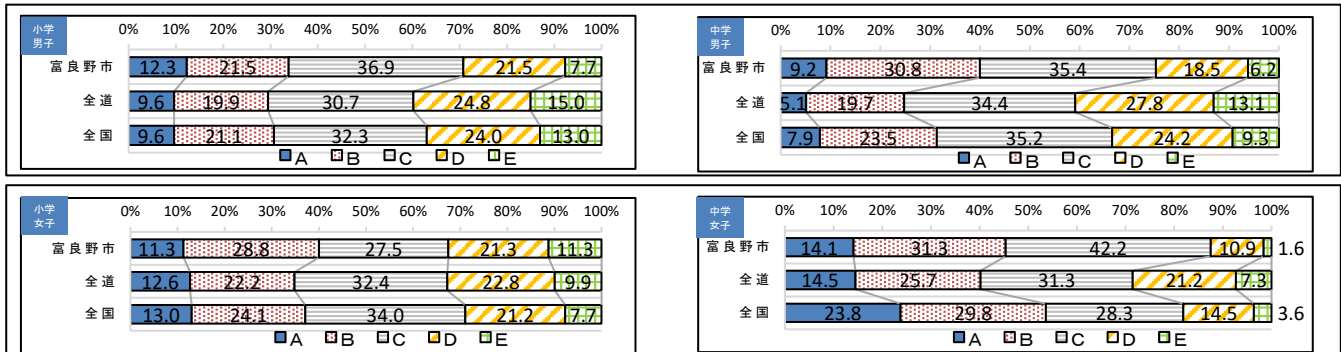
【中学校】



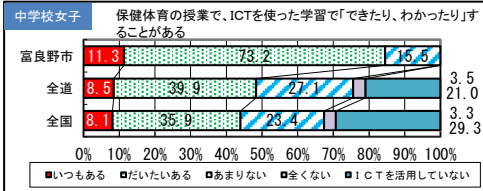
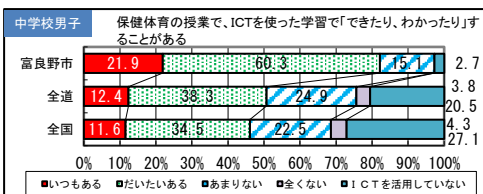
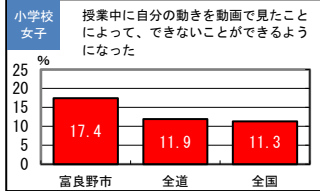
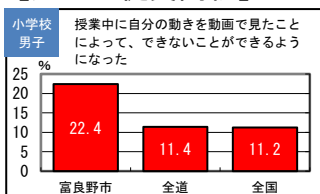
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



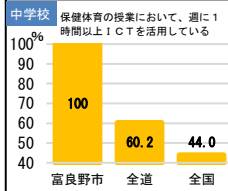
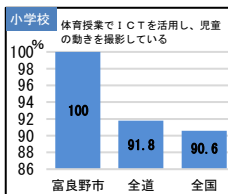
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育授業でICTを活用し、児童の動きを撮影したことにより、授業中に自分の動きを見たことによって、できないことができるようになったと回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育の授業において、週に1時間以上ICTを活用したことにより、授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがあると回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

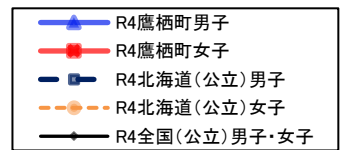
【富良野市の体力向上策】

- ◎ 新体力テストの結果を踏まえた休み時間や放課後を活用した運動時間の確保と運動意欲を高めるための全校的な取組(縄跳び、持久走、水泳、スキー、運動結果の個人票作成等)
- ◎ 少年団活動や部活動を通じた体力向上の取組(継続的な練習、練習の工夫等、小規模校合同の取組)
- ◎ NPO法人ふらのスポーツ協会を中心とした指導者の養成

■ 鷹栖町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校2校・児童数51名、中学校1校・生徒数57名)

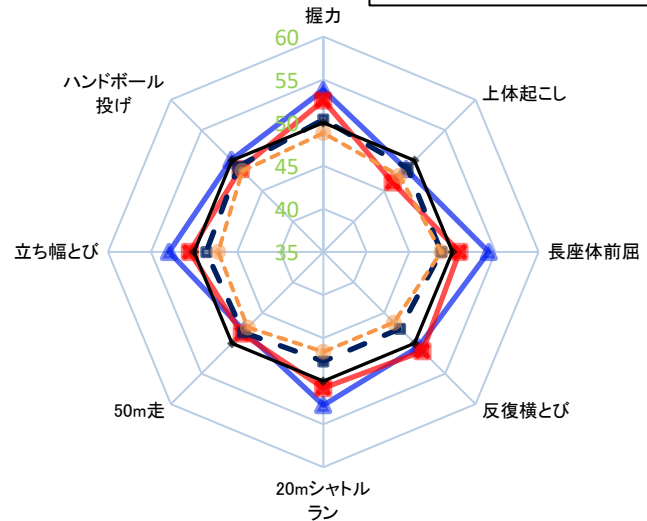
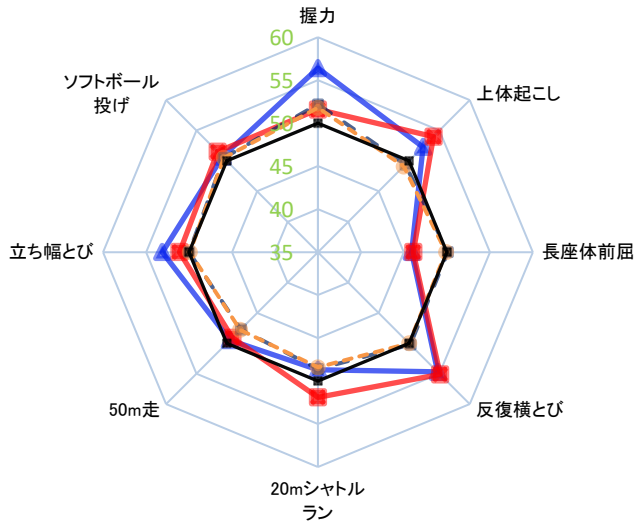
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

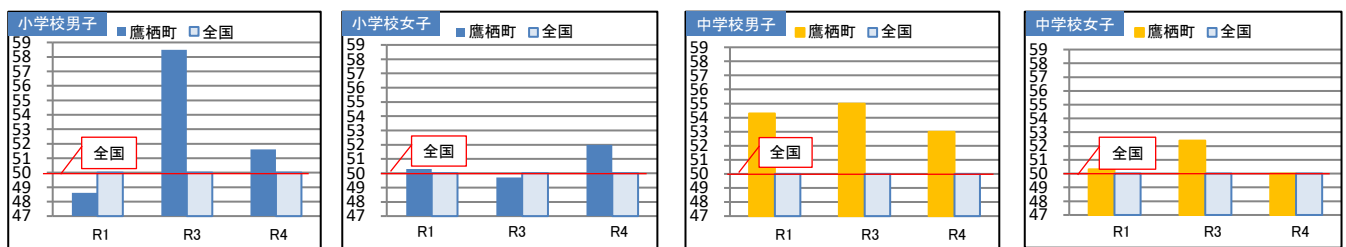


【小学校】

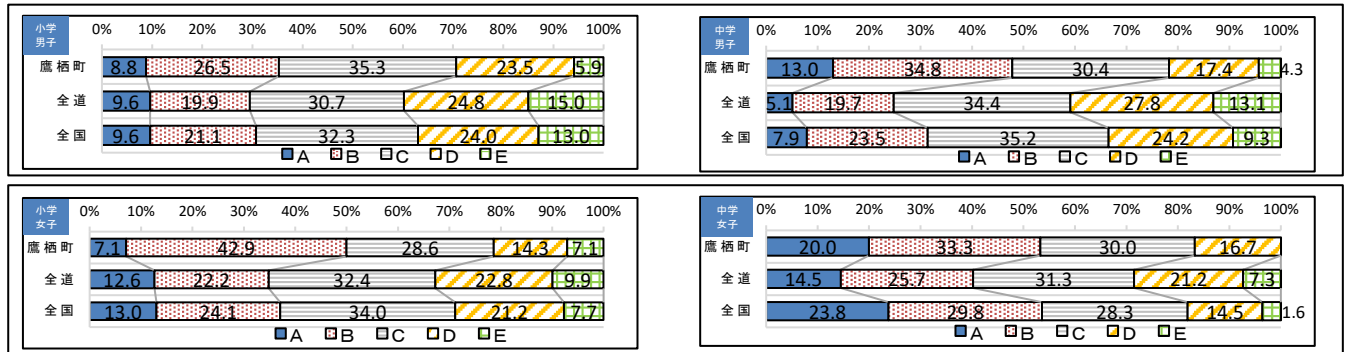
【中学校】



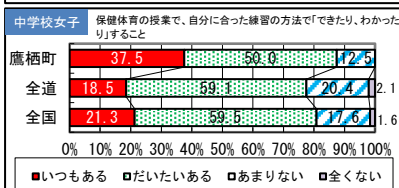
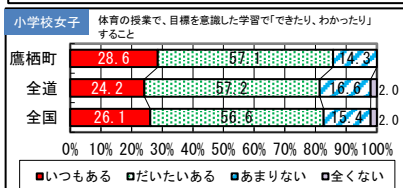
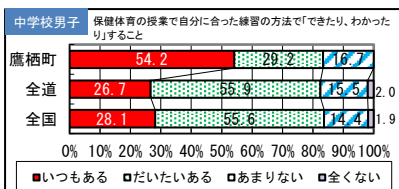
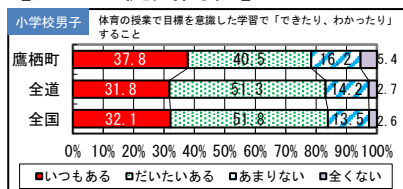
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



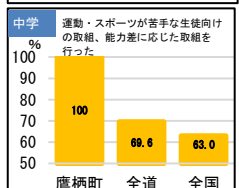
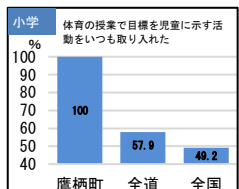
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育の授業で目標を児童に示す活動をいつも取り入れたことにより、授業において目標を意識することで「できたり、わかったり」することが「いつもある」と回答した児童が、全国平均以上になったと考える。

＜中学校＞  
学校において、運動が苦手な生徒向けの取組や能力差に応じた取組を行ったことにより、授業において自分に合った練習の方法で「できたり、わかったり」することが「いつもある」と回答した生徒が、全国平均以上になったと考える。

【鷹栖町の体力向上策】

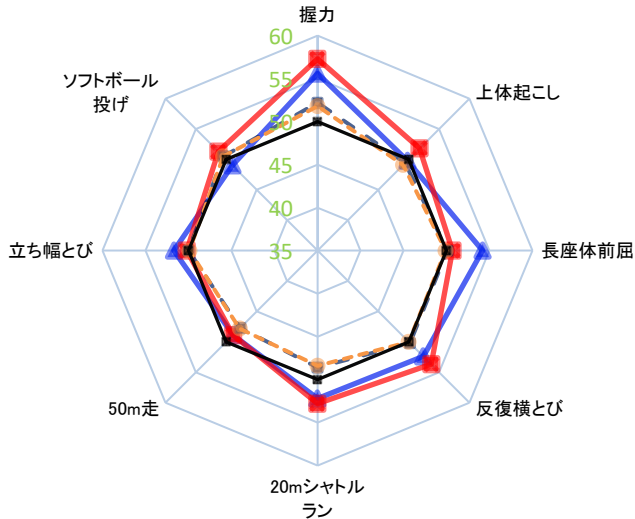
- ◎ 部活動や各体育団体、各種体育大会への支援の充実
- ◎ コーディネーション運動や水泳教室、歩くスキー等の事業を推進、運動習慣の定着化

東神楽町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数113名、中学校1校・生徒数96名)

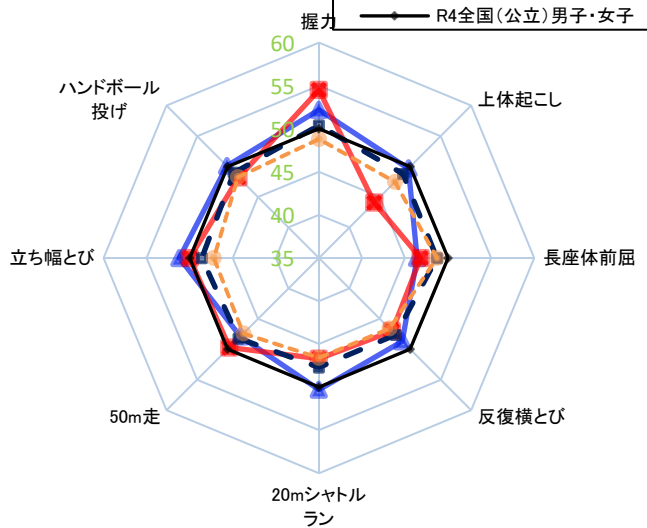
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

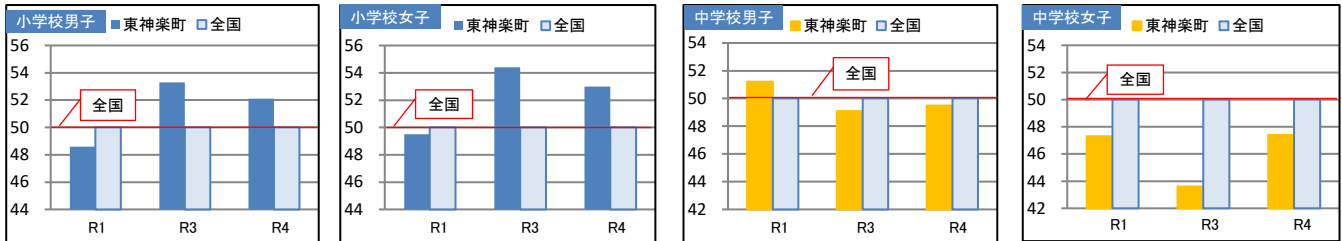
【小学校】



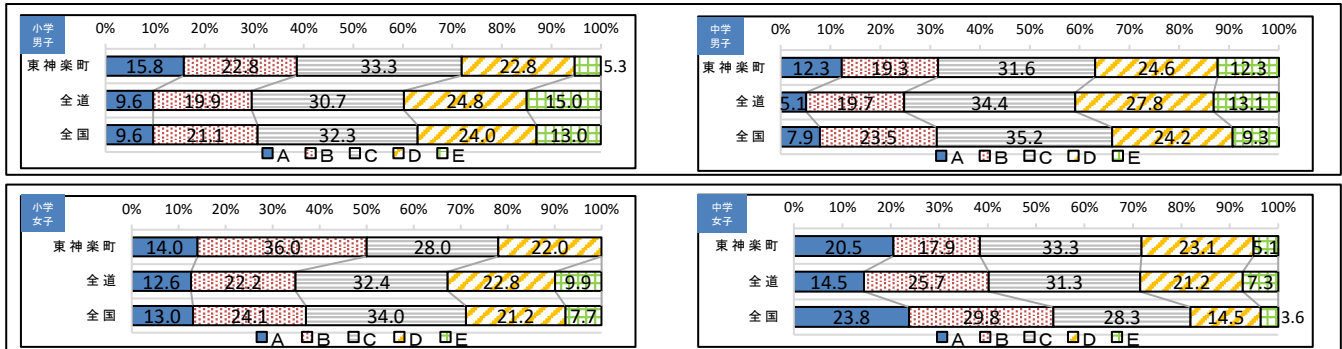
【中学校】



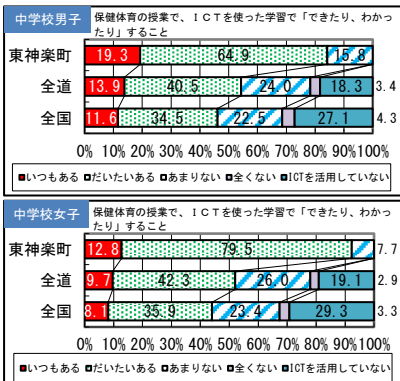
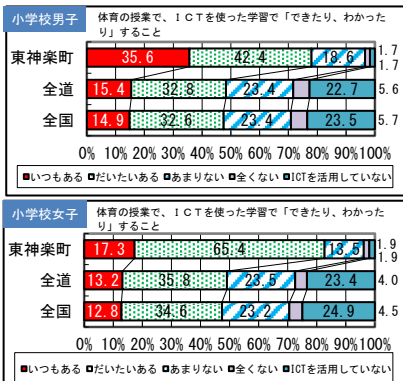
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



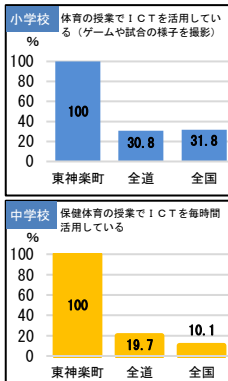
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育の授業でICTを活用したことにより、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」と回答する児童及び体力合計点が全国平均以上になったと考える。

＜中学校＞  
学校において、保健体育の授業でICTを毎時間活用したことにより、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」と回答する生徒が全国平均以上になったと考える。

【東神楽町の体力向上策】

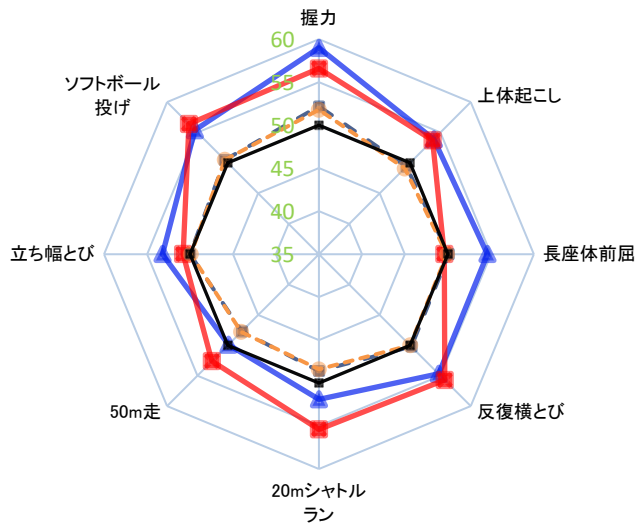
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた指導等の工夫・改善など体育の授業改善
- ◎ 休み時間や放課後など、体育の授業以外の運動時間の確保及び指導体制の充実
- ◎ 小学校の結果を踏まえた中学校での指導の工夫・改善等、小中連携による系統的な教育活動を展開するための組織体制の構築  
(東神楽町小中一貫教育イノベーションプログラム及び組織的な体力向上への取組についての普及啓発)

■ 当麻町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校2校・児童数54名、中学校1校・生徒数41名)

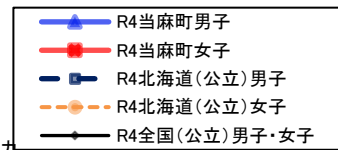
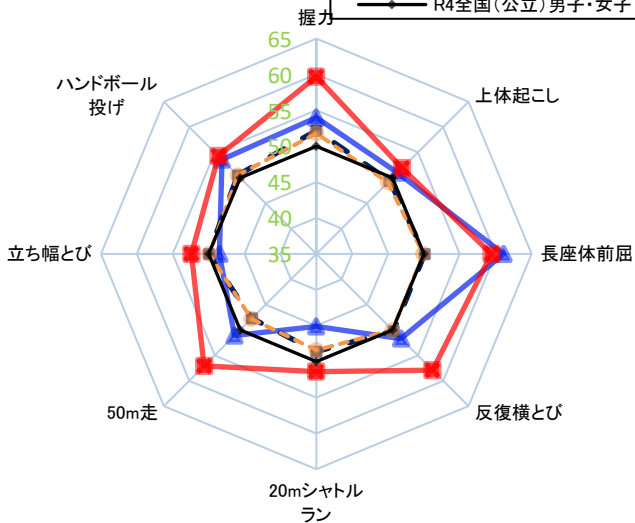
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

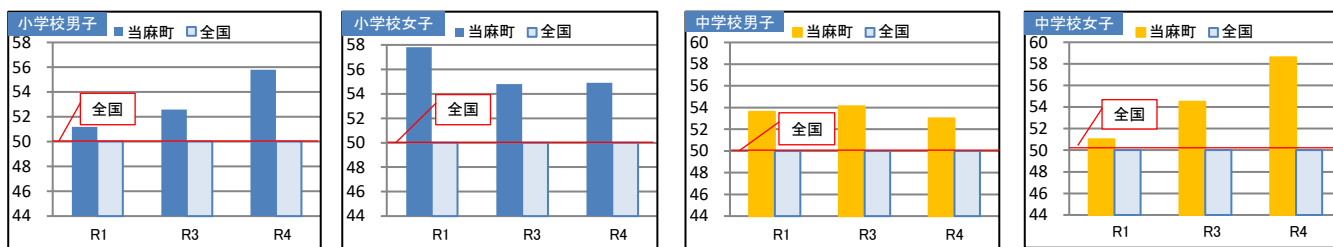
【小学校】



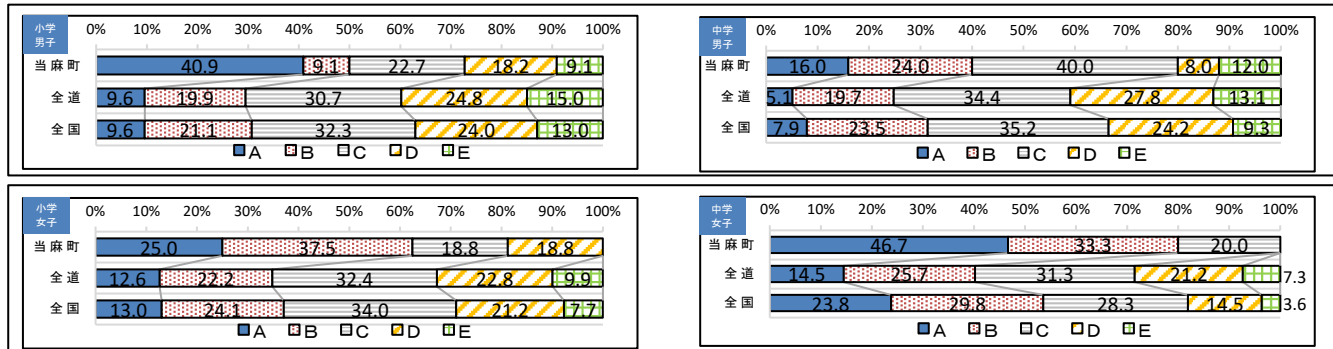
【中学校】



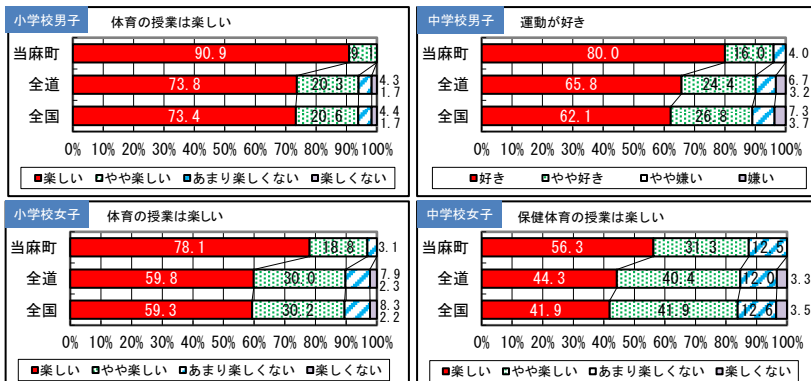
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



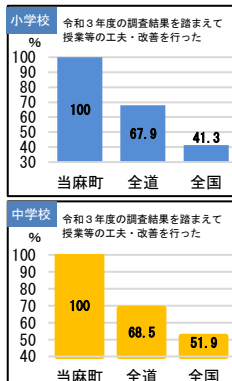
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

**<小学校>**  
各学校において、令和3年度の調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行ったことにより、体育の授業は楽しいと回答する児童及び体力合計点が全国平均以上となったと考える。

**<中学校>**  
令和3年度の調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行ったことにより、運動が好き、保健体育の授業は楽しいと回答する生徒及び体力合計点が全国平均以上となったと考える。

【当麻町の体力向上策】

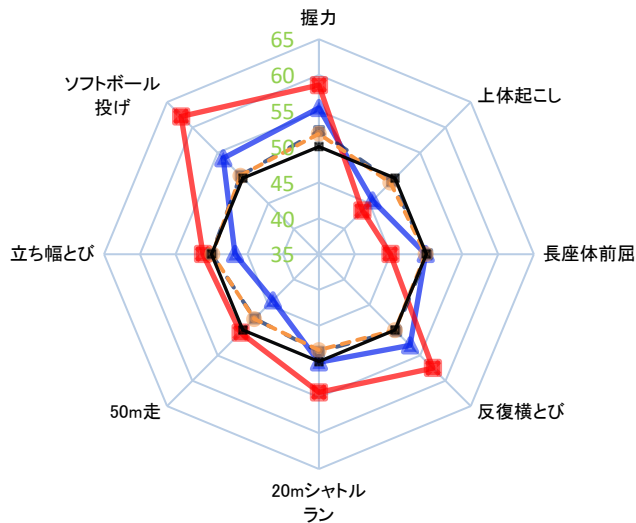
- ◎ 健康や体力の向上を目指し、体育の授業を中心とした発達の段階に応じた運動の充実
- ◎ 基本的な生活習慣の確立や正しい食生活の理解に向けた実践の推進
- ◎ スポーツ少年団活動の奨励

■ 比布町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数27名、中学校1校・生徒数23名)

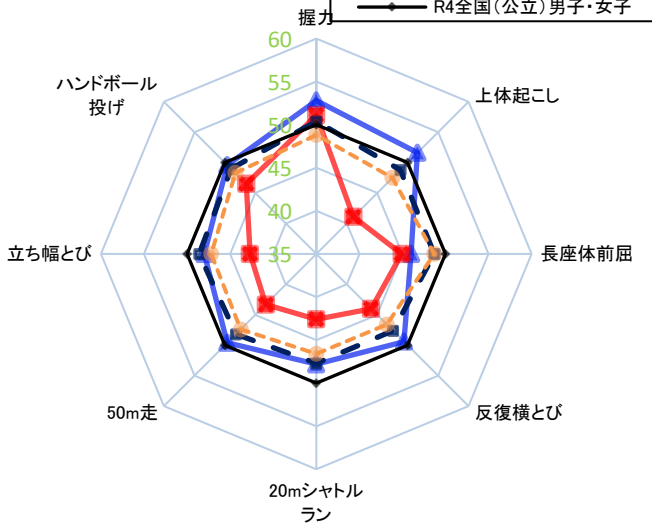
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

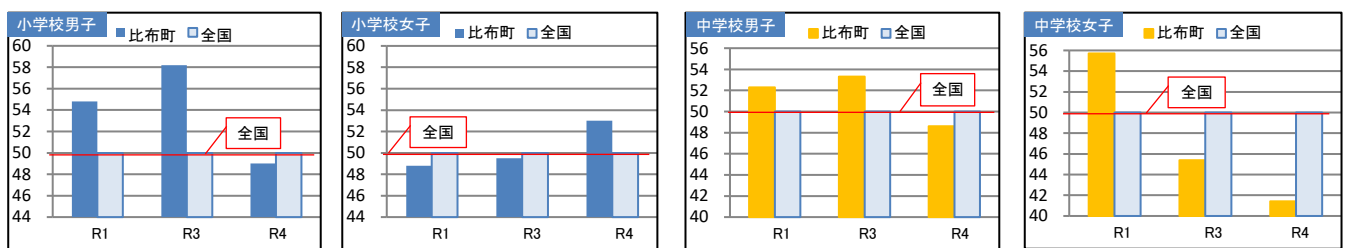
【小学校】



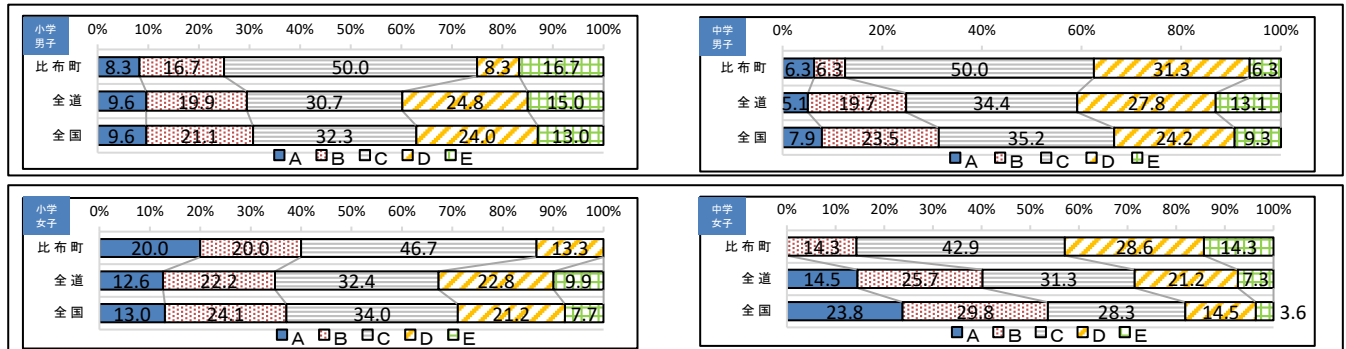
【中学校】



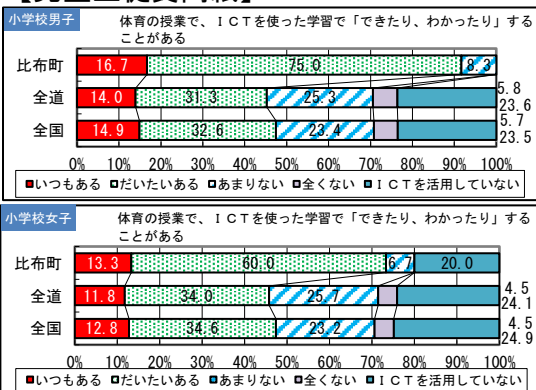
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



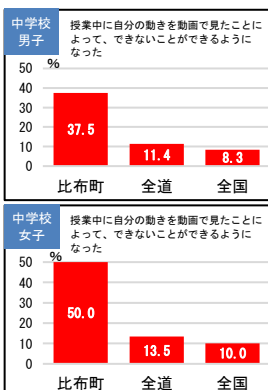
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

**＜小学校＞**  
学校において、体育の授業で週に1時間以上ICTを活用したことにより、体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがあると回答した児童の割合が全国平均を上回ったと考える。

**＜中学校＞**  
学校において、保健体育の授業で週に1時間以上ICTを活用したことにより、授業中に自分の動きを動画で見たことによって、できないことができるようになったと回答した生徒の割合が全国平均を上回ったと考える。

【比布町の体力向上策】

- ◎ ICTを効果的に活用し、自分を振り返り、課題を把握させ運動に取り組ませることで、達成感を味わい運動への意欲を高める
- ◎ 体育の授業において年間を通して柔軟性や持久力を高める運動の継続と、体力向上月間を設定し重点的な体力向上の取組の実施
- ◎ 町の施策であるピピカツ事業の一環として、プロバレーボールチームのトレーナーによる前後期児童生徒対象の運動教室を実施

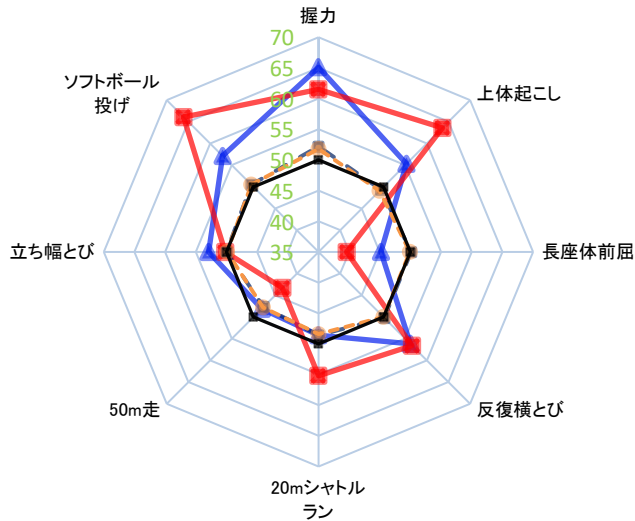


■ 愛別町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数13名、中学校1校・生徒数16名)

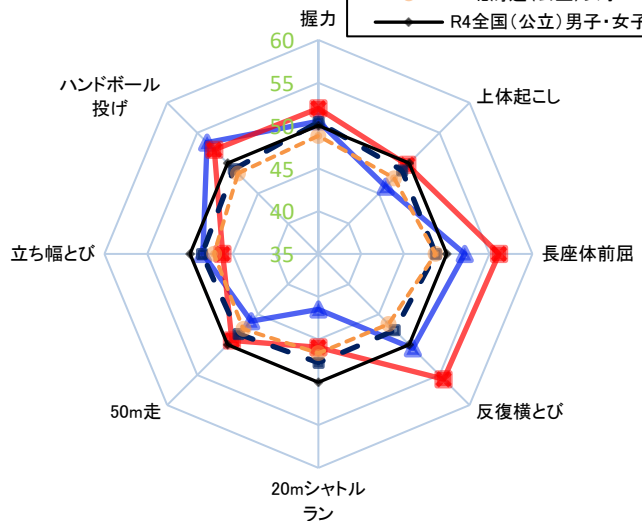
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

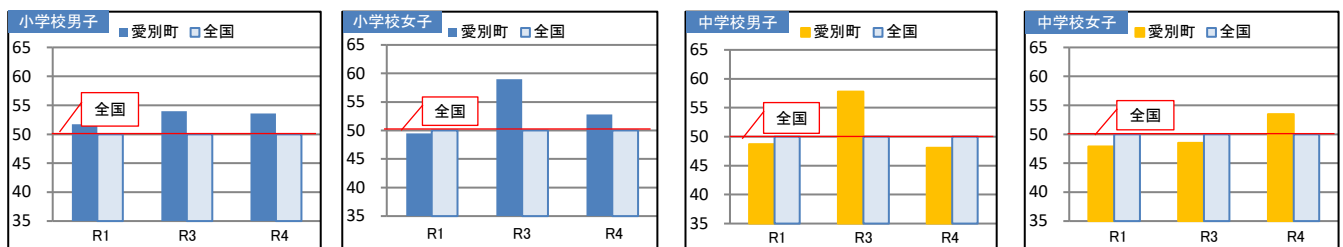
【小学校】



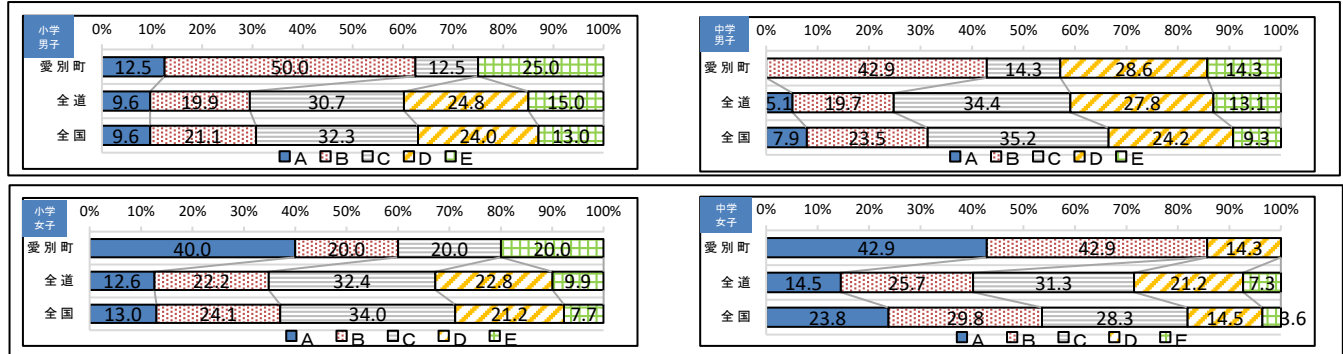
【中学校】



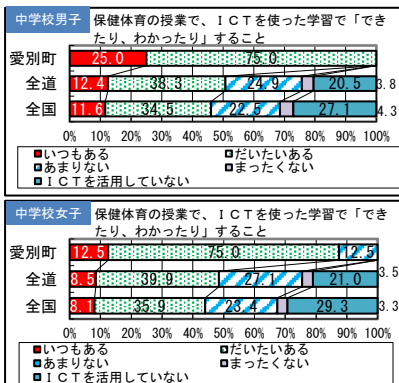
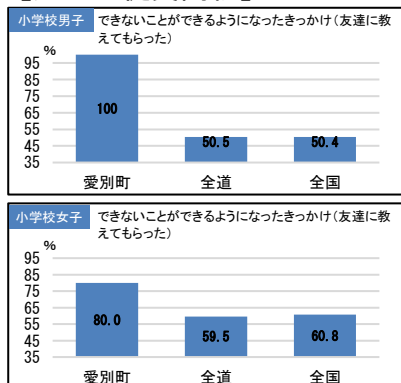
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



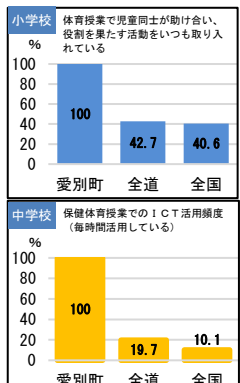
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
児童同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れた授業を行ったことにより、できないことができるようになったきっかけとして、「友達に教えてもらったこと」を挙げる児童の割合が男女ともに全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
ICTを活用した授業を毎時間行ったことにより、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」することが「いつもある」と回答する生徒の割合が男女ともに全国平均以上になったと考える。

【愛別町の体力向上策】

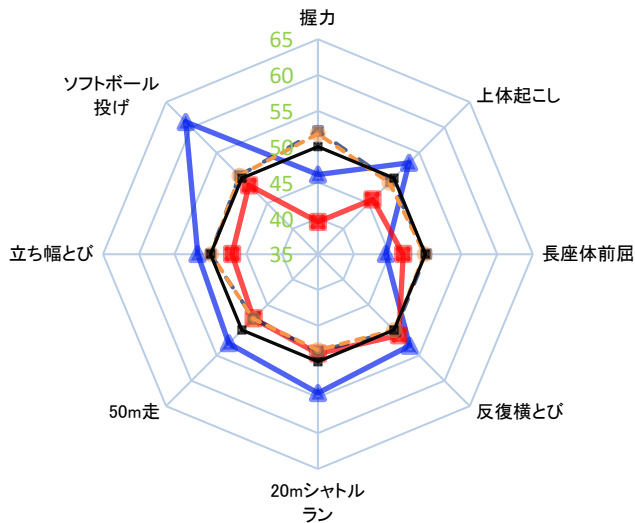
- ◎ 異年齢の生徒が一緒に行う少年団活動など、運動に親しむ機会の確保
- ◎ 小・中連携した運動習慣改善の推進
- ◎ 運動量の確保や目標設定・振り返りの実施など体育科授業改善の推進

■ 上川町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数18名、中学校1校・生徒数21名)

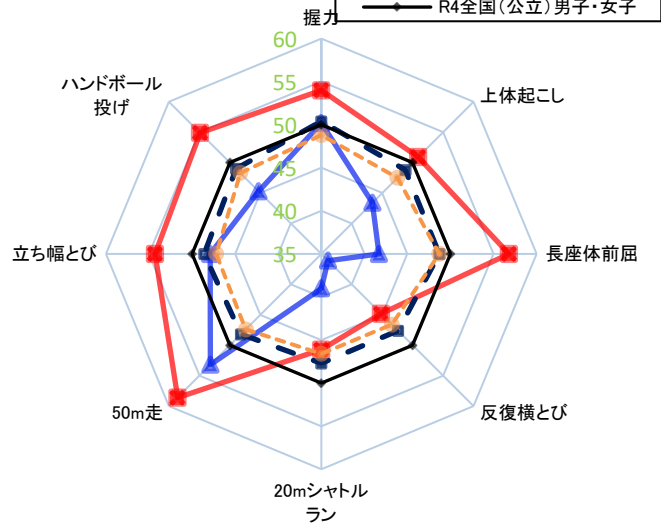
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

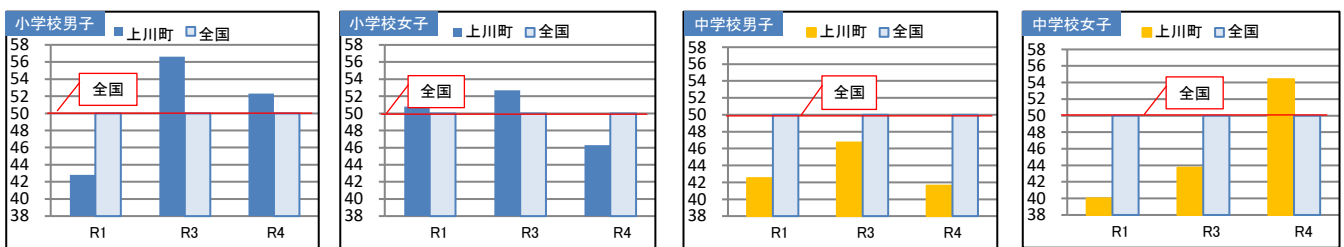
【小学校】



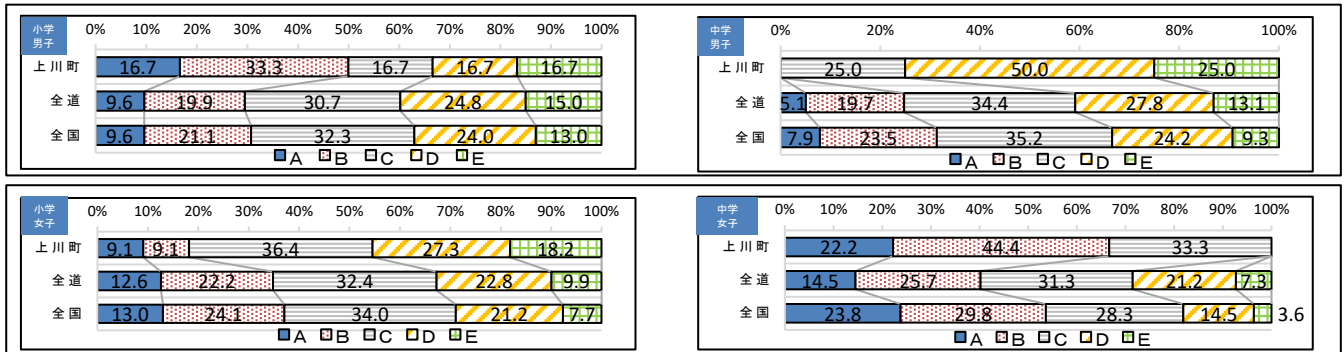
【中学校】



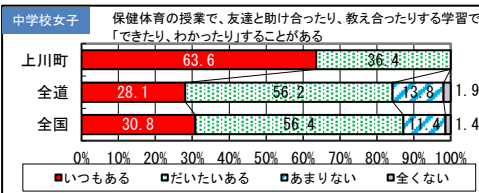
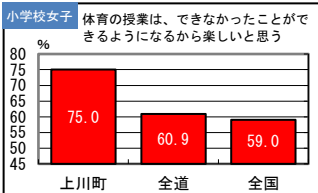
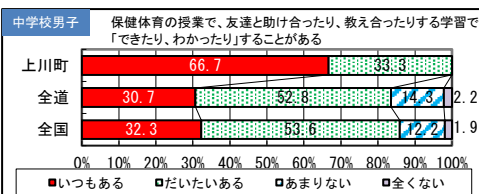
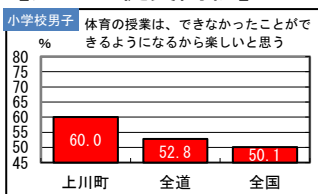
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



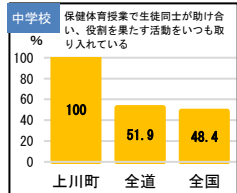
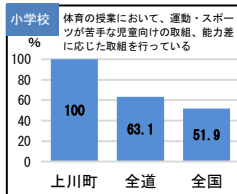
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
学校において、体育の授業で運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、体育の授業は、できないことができるようになるから楽しいと思うと回答した児童の割合が全国を上回ったと考える。

＜中学校＞  
学校において、保健体育授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れたことにより、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがあると回答した生徒の割合が全国を上回ったと考える。

【上川町の体力向上策】

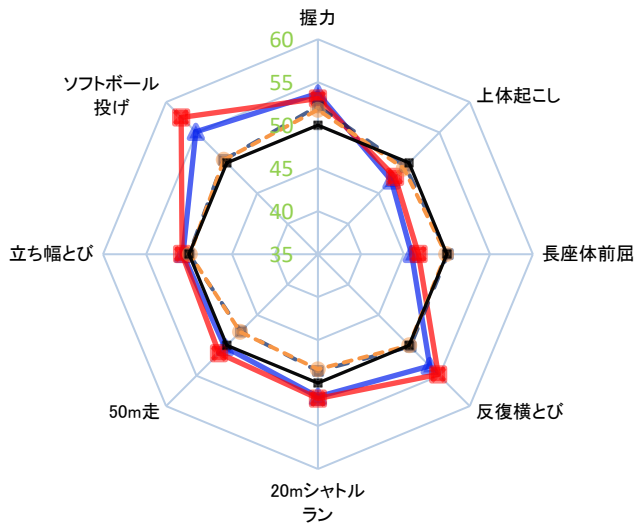
- ◎ 休み時間や放課後など、体育の授業以外の運動時間を確保する取組の推進
- ◎ 調査結果に基づき、社会教育・社会体育活動と連携した指導・対策・強化の推進
- ◎ 体力の向上を図る運動部活動や少年団活動の支援、冬季スポーツの積極的な参加促進に向けた取組の推進

■ 東川町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校4校・児童数76名、中学校1校・生徒数66名)

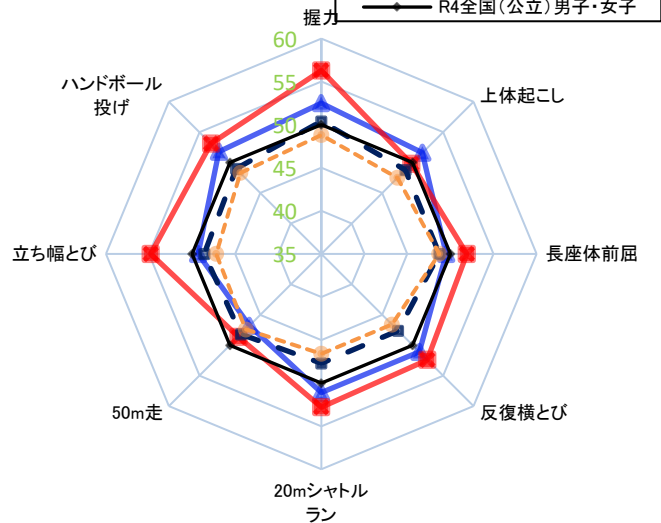
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

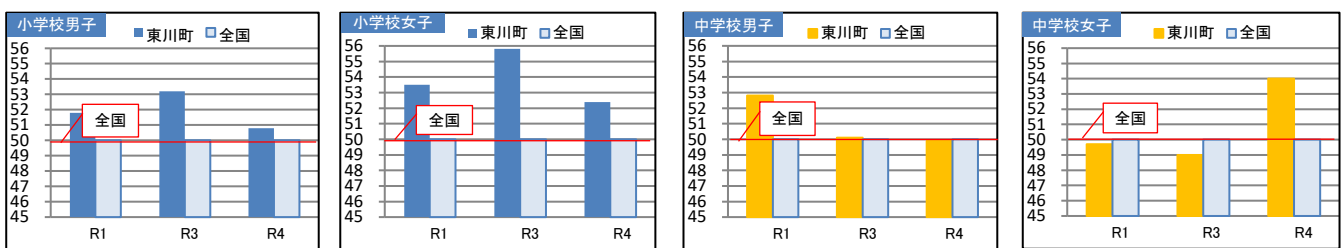
【小学校】



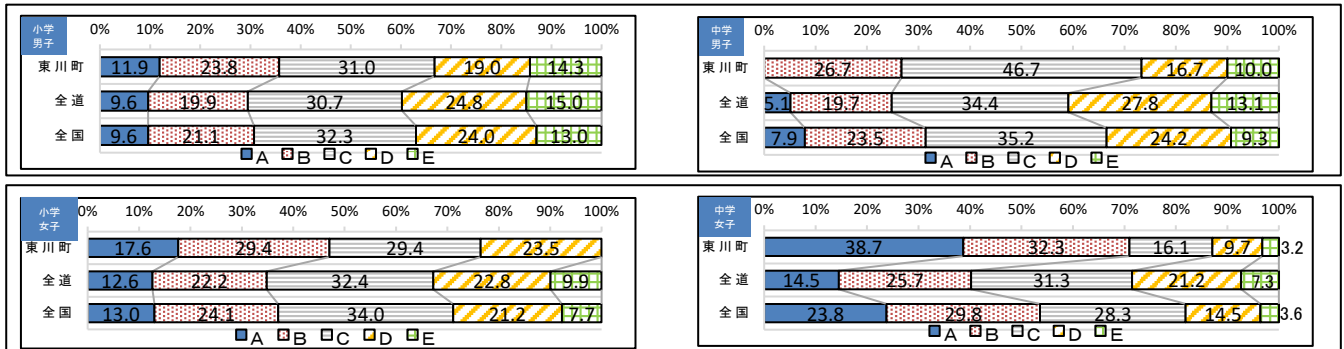
【中学校】



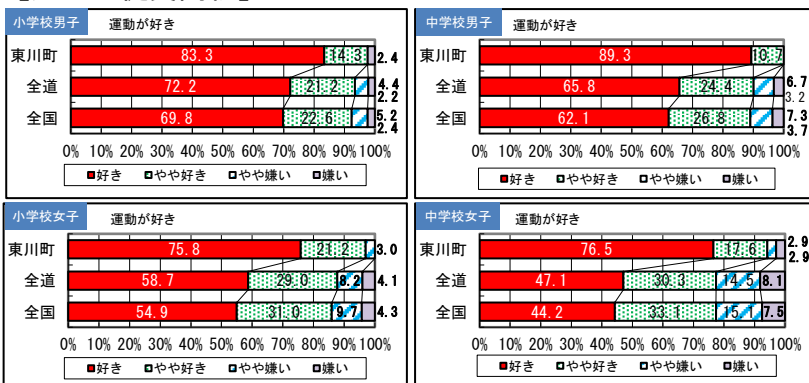
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



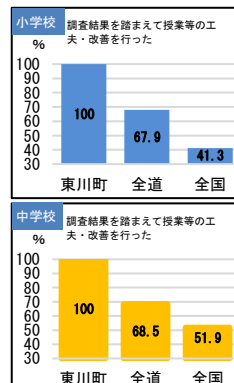
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、運動が好きと回答した児童が全国平均以上となったと考える。

＜中学校＞  
学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、運動が好きと回答した生徒が全国平均以上となったと考える。

【東川町の体力向上策】

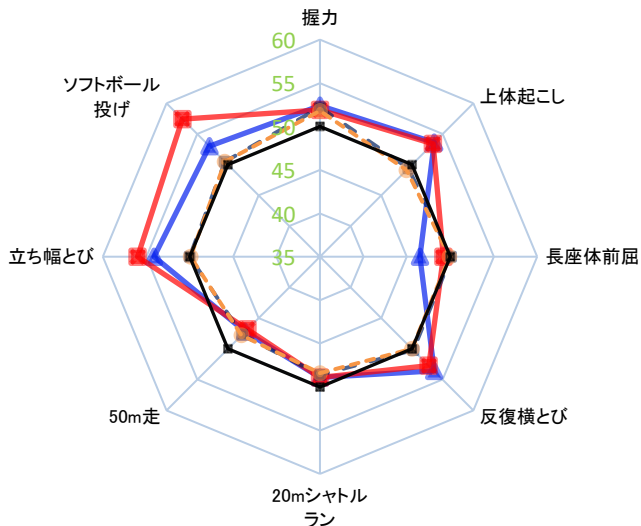
- ◎ 休み時間や放課後など、体育の授業以外の運動時間を確保する取組の推進
- ◎ スポーツ国際交流員(SEA)の活用によるスポーツ活動の推進
- ◎ 運動習慣の定着に向けた、家庭や地域・スポーツ団体等との連携による少年団活動等への支援

■ 美瑛町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校5校・児童数70名、中学校2校・生徒数62名)

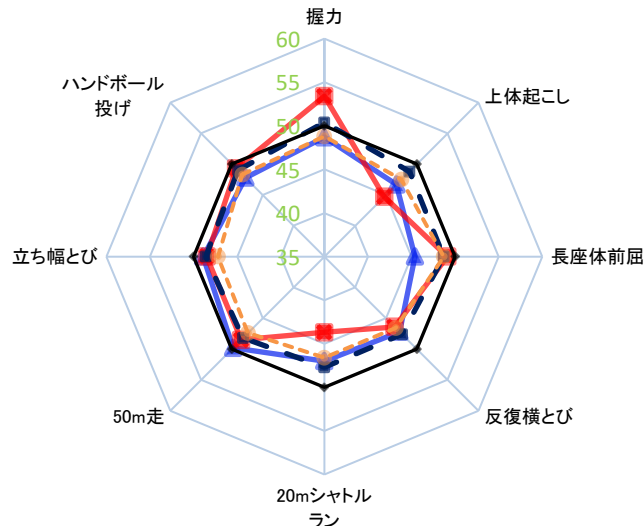
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

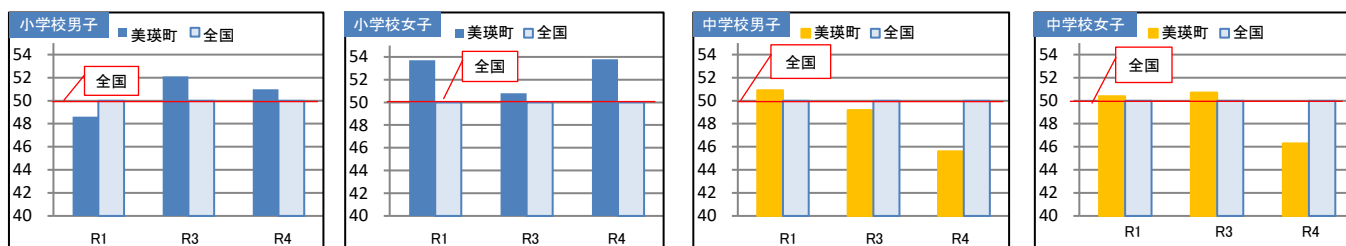
【小学校】



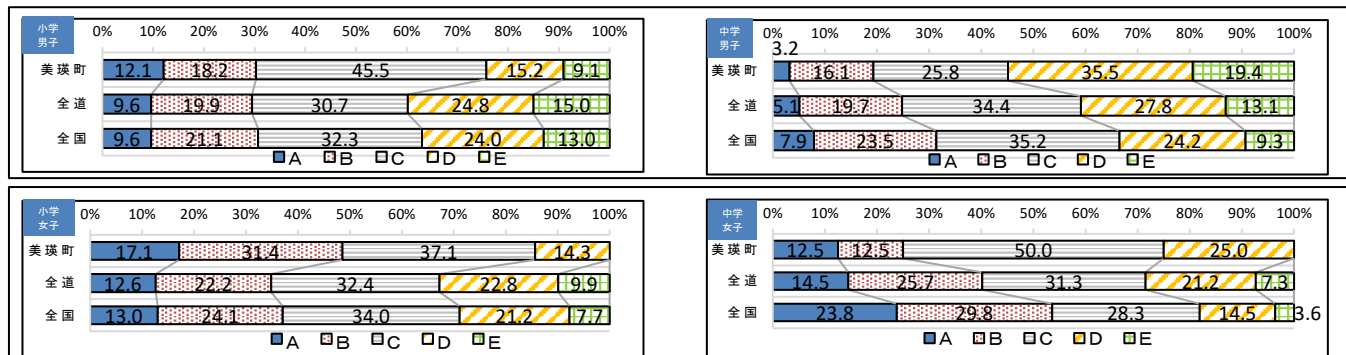
【中学校】



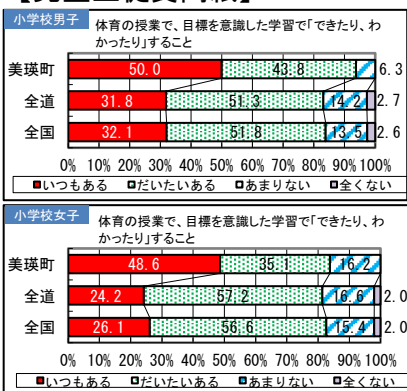
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



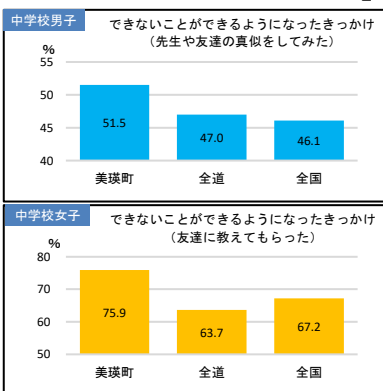
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育授業の目標を児童に示す活動をいつも取り入れたことにより、男女ともに体育の授業で、目標を意識した学習で「できたり、わかったり」することがあると回答した児童が全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育授業での生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、できないことができるようになったきっかけとして「先生や友達に真似をしてみた」、「友達に教えてもらった」と回答した生徒が全国平均を上回ったと考える。

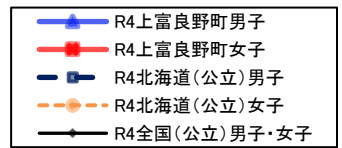
【美瑛町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を分析し、体力向上プランを改善・実施するなど、PDCAサイクルの推進
- ◎ 授業でICTを活用し、児童生徒に自分の動きを動画で見せるなど、動きの質の向上を実感させる指導の工夫
- ◎ 児童生徒・保護者に対し、運動やスポーツの行事への参加を促すなど、家庭と連携した取組の充実

■ 上富良野町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数93名、中学校1校・生徒数78名)

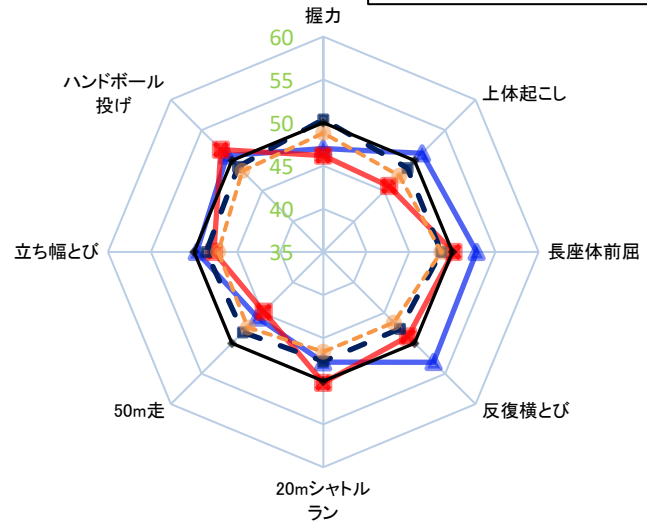
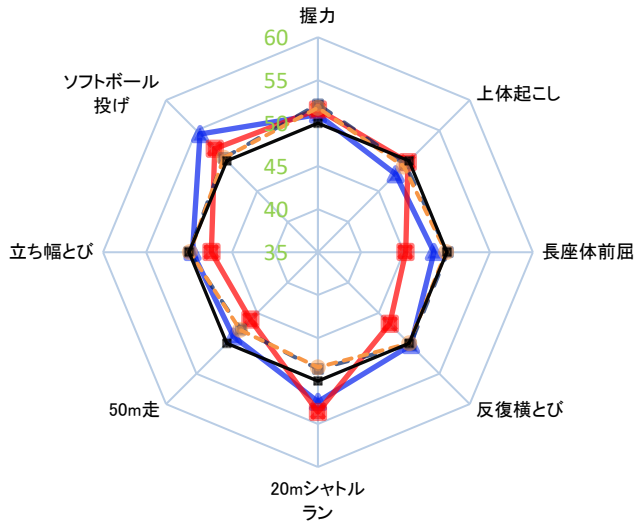
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

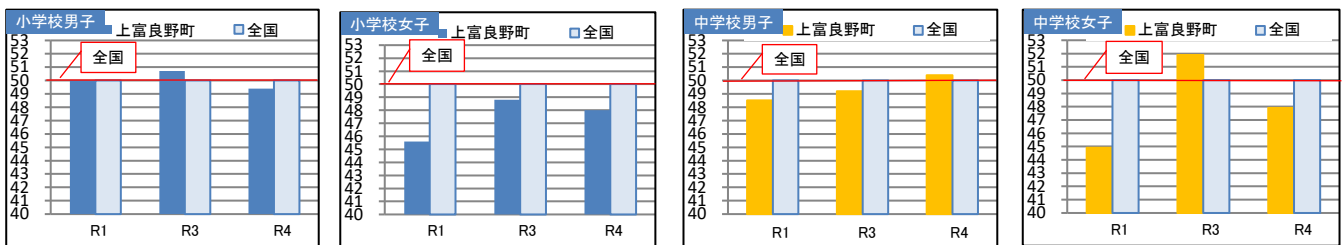


【小学校】

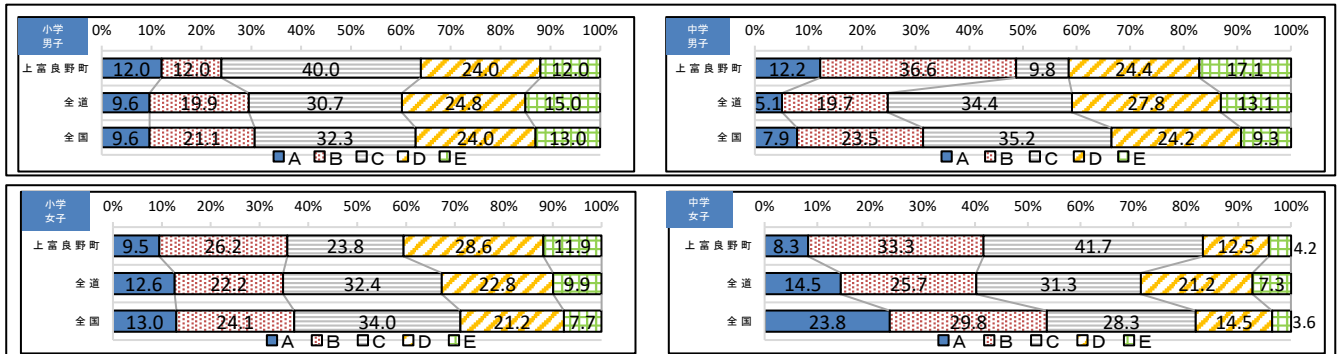
【中学校】



【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



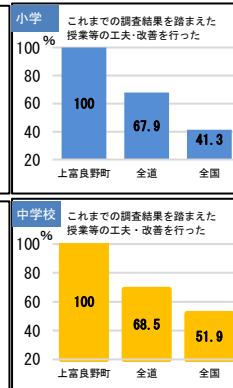
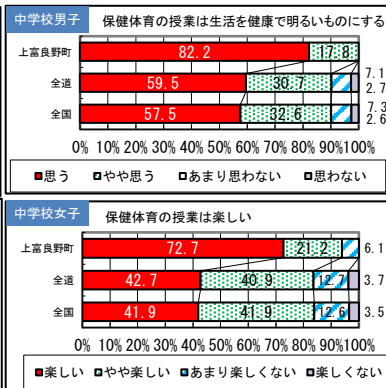
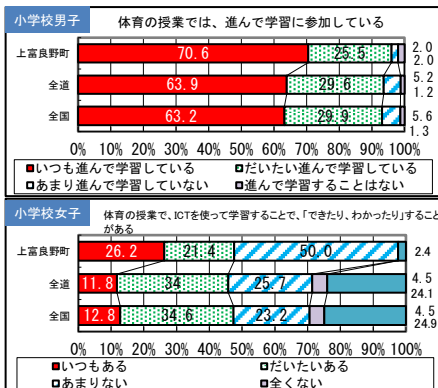
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】

【学校質問紙】

【分析】



**＜小学校＞**  
各学校において、これまでの調査結果を踏まえて授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、「体育の授業では、進んで学習に参加している」、「体育の授業で、ICTを使って学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した児童が、全国平均を上回ったと考える。

**＜中学校＞**  
学校において、これまでの調査結果を踏まえて授業改善等の工夫・改善を行ったことにより、「保健体育授業は生活を健康で明るいものにする」、「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒が、全国平均を上回ったと考える。

【上富良野町の体力向上策】

- ◎ 「柔軟性」や「走力」等、課題となった運動能力の向上を図るための体育科年間指導計画の見直し
- ◎ 体育や保健体育の授業における更なるICT機器の活用による、「体力や技能面での自己の変容を実感できる授業」「主体的・対話的で深い学び」への授業改善
- ◎ 各校の実態を踏まえた体力向上に向けての「1校1実践(マラソン、縄跳び等)」の推進と支援

■ 中富良野町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校4校・児童数37名、中学校1校・生徒数39名)

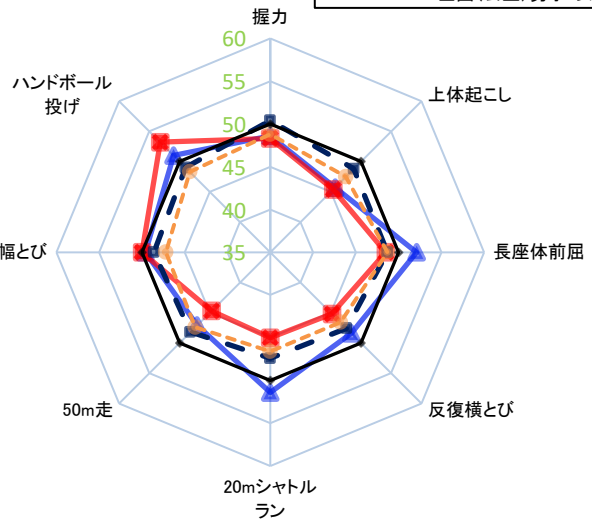
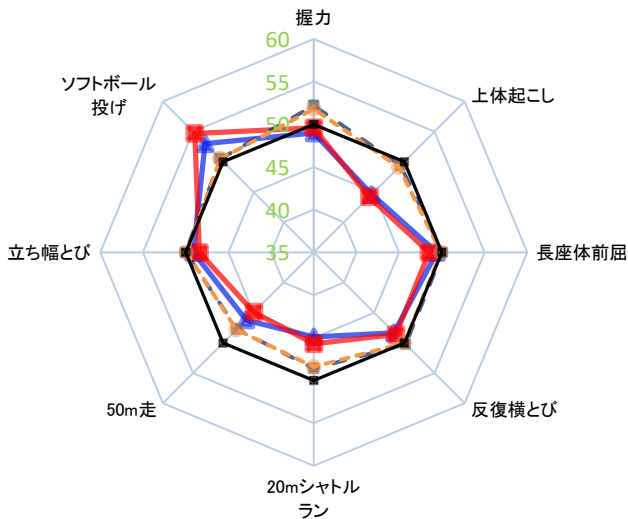
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

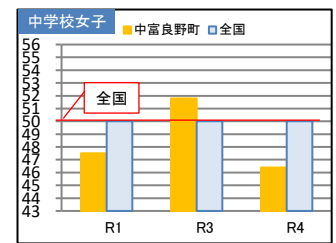
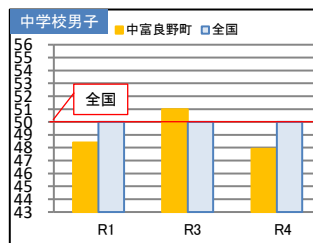
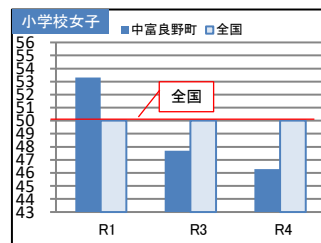
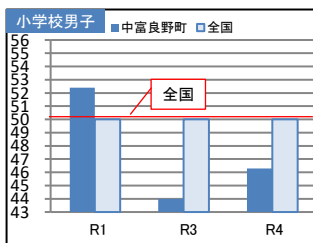


【小学校】

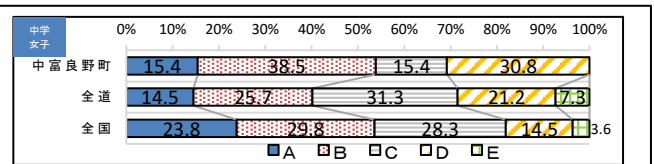
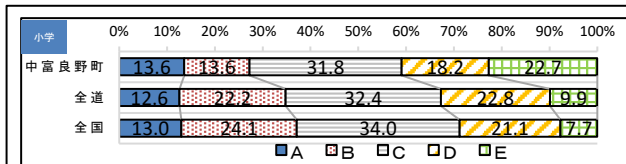
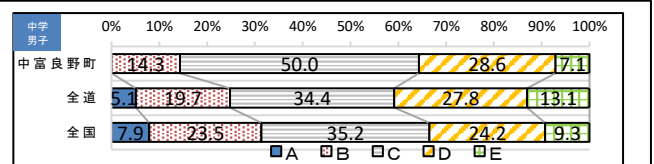
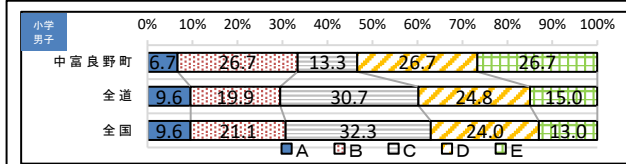
【中学校】



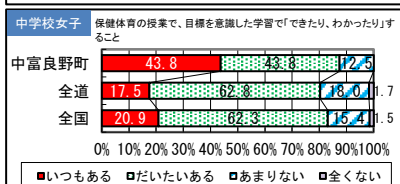
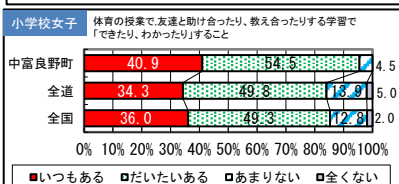
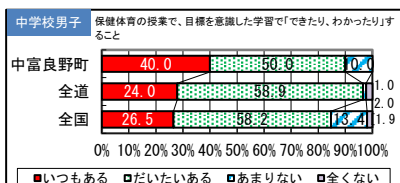
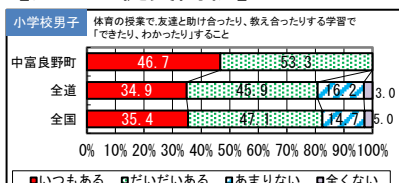
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



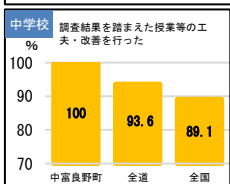
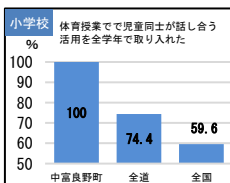
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育の授業で児童同士が話し合う活動を全学年で取り入れたことにより、体育の授業で友達と助け合ったり教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると回答した児童が、全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
学校において、前年度までの調査結果を踏まえ、授業等の工夫・改善を行ったことにより、保健体育の授業で目標を意識することで「できたり、わかったり」することがいつもあると回答した生徒が、全国平均を上回ったと考える。

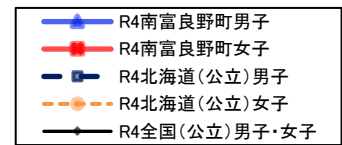
【中富良野町の体力向上策】

- ◎ 休み時間や放課後など、保健体育の授業以外の運動時間を確保する取組の推進
- ◎ 各学校や地域の特色を生かした体力・運動能力向上運動の推進
- ◎ 地域や家庭での運動習慣や意識の啓発及び、部活動、スポーツ少年団活動などの支援の推進

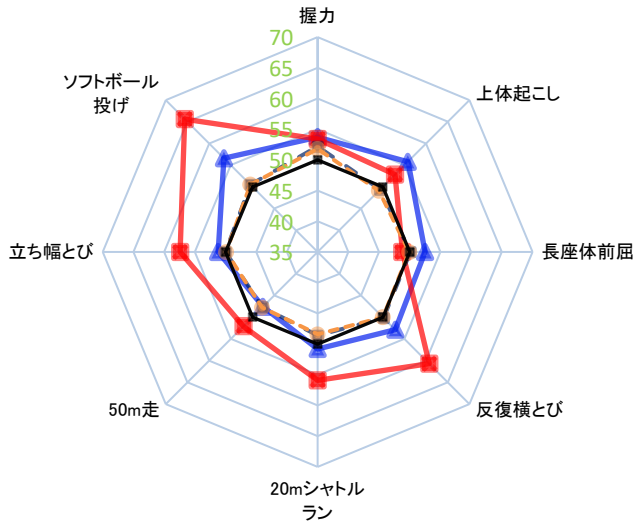
■ 南富良野町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数15名、中学校1校・生徒数12名)

【各種目の状況】

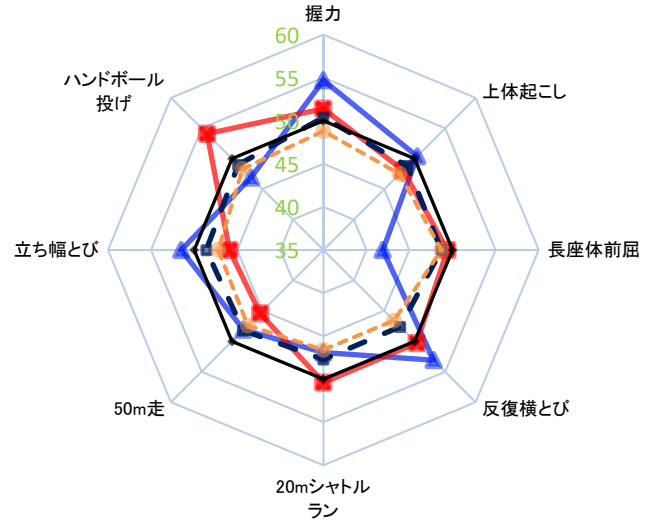
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



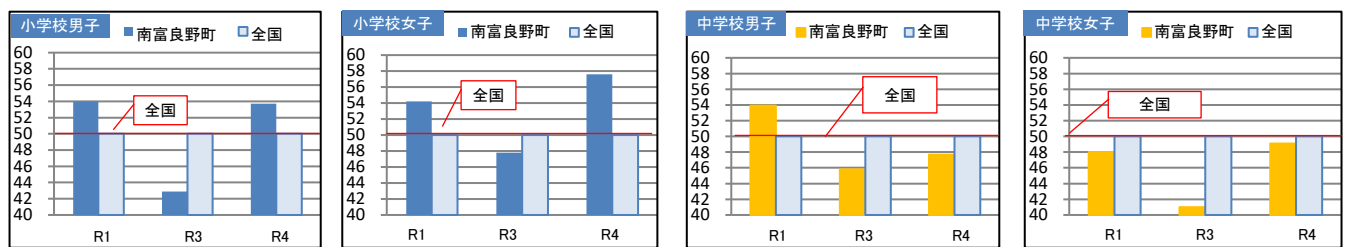
【小学校】



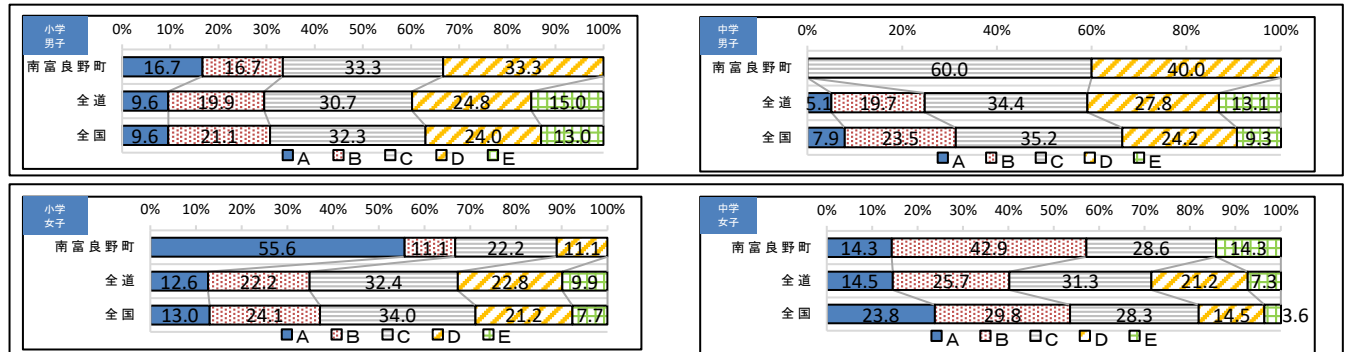
【中学校】



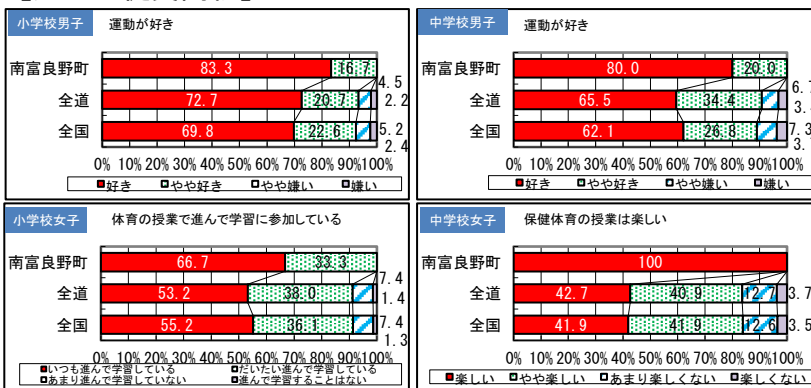
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



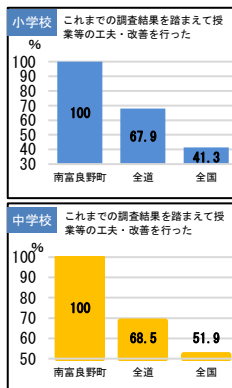
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、「運動が好き」、「体育の授業に進んで参加している」と回答した児童が全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、「運動が好き」、「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒が全国平均を上回ったと考える。

【南富良野町の体力向上策】

- ◎ ICTの効果的な活用、校内に体力向上を目的とした「遊び場」の設置
- ◎ 生徒会主体による昼休みを利用した体幹を鍛える取組の実施
- ◎ カヌー、カーリング、スキーなどを保健体育の授業に取り入れた取組の推進

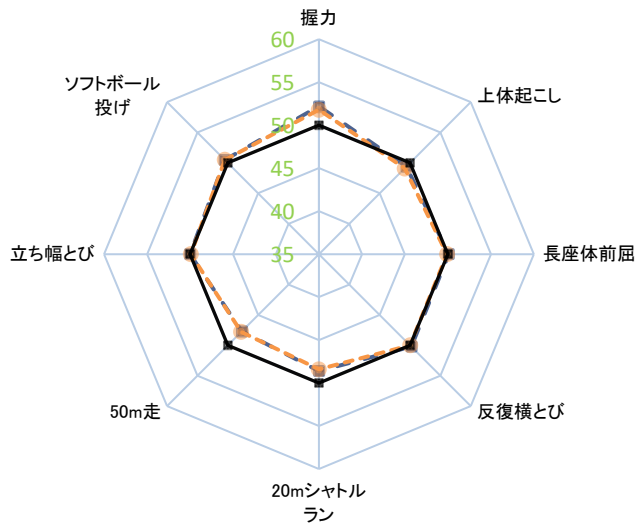
■ 占冠村内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数5名、中学校2校・生徒数11名)

児童・生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、占冠村の各種目のデータは掲載していない

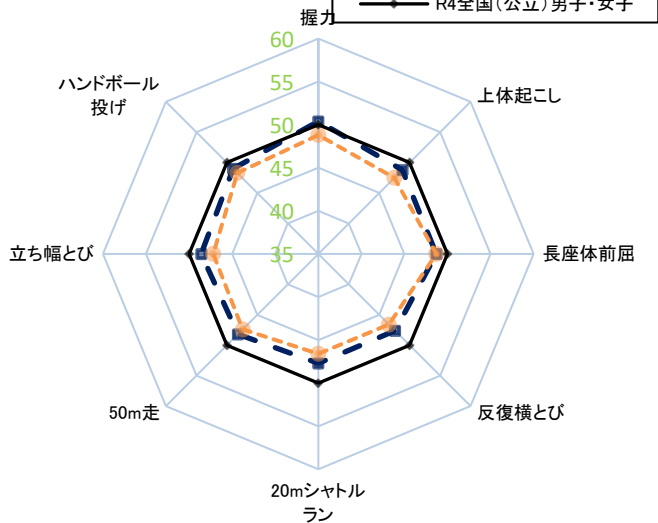
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

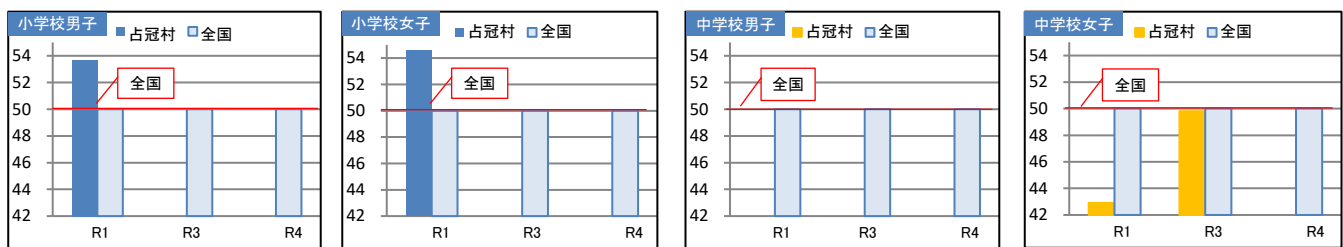
【小学校】



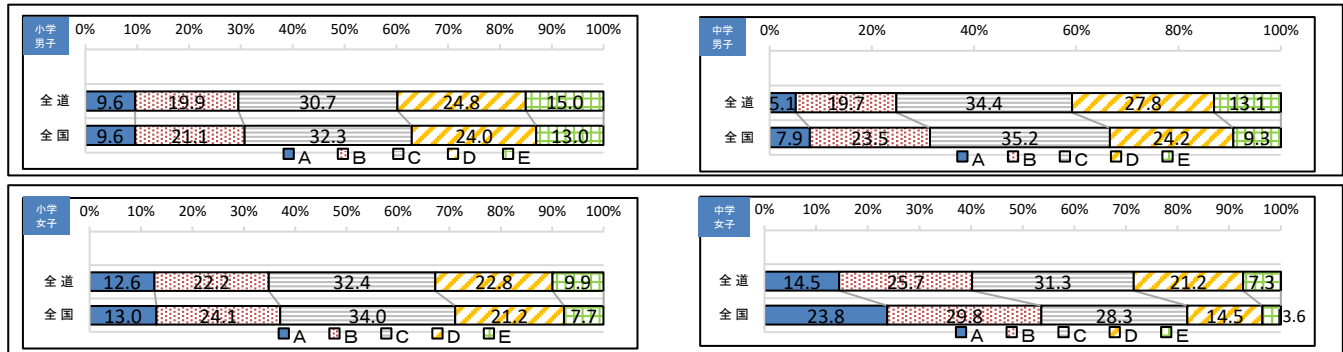
【中学校】



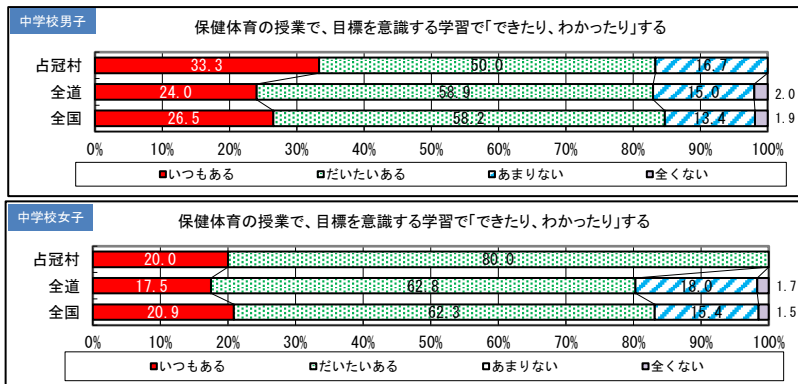
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】※5名以下の年は非表示



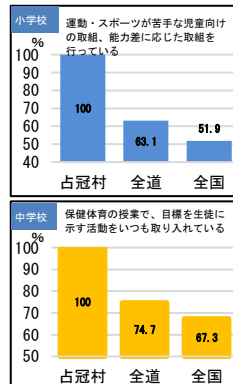
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育の授業において運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行うことにより、体育の授業は楽しいと回答した児童が全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育の授業で目標を示す活動をいつも取り入れたことにより、保健体育の授業で目標を意識して学習することで「できたり、わかったり」ことがいつもあると回答した生徒が多くなったと考える。

【占冠村の体力向上策】

- ◎ 自ら進んで運動を楽しむことのできる環境を友達や教師と関わりあいながら整える。
- ◎ 教育目標をもとに、個々の実態にあった具体的且つ実現性のある継続性のある目標を設定する。
- ◎ 日常的に学校外でも運動を親しむよう地域、家庭と連携を図る。

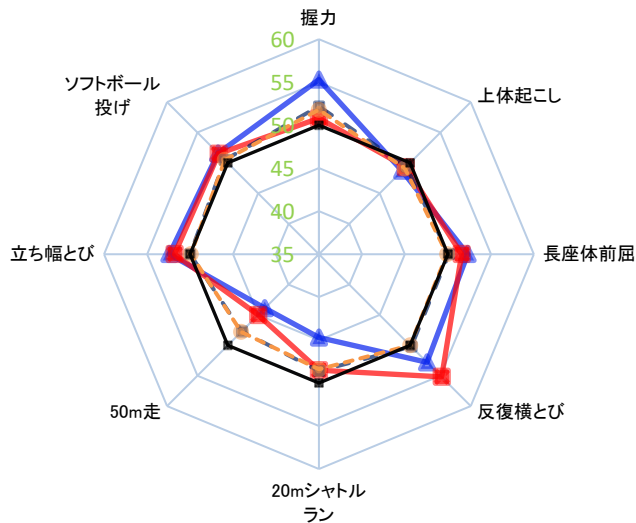


■ 和寒町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数23名、中学校1校・生徒数26名)

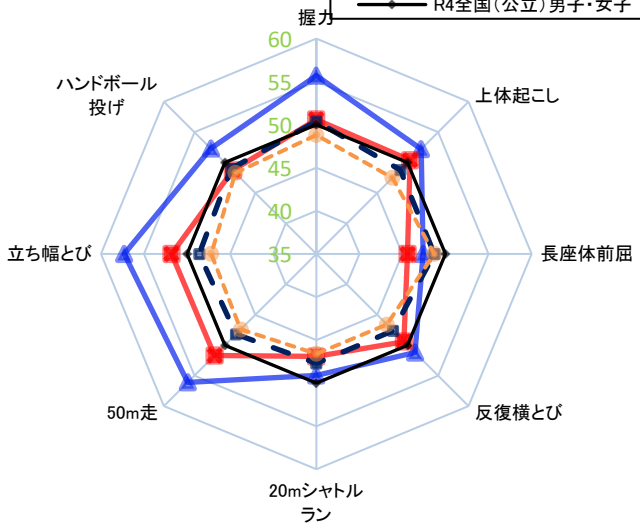
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

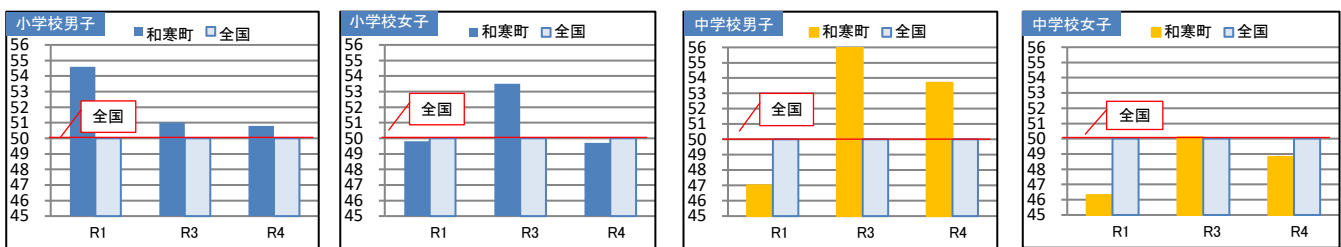
【小学校】



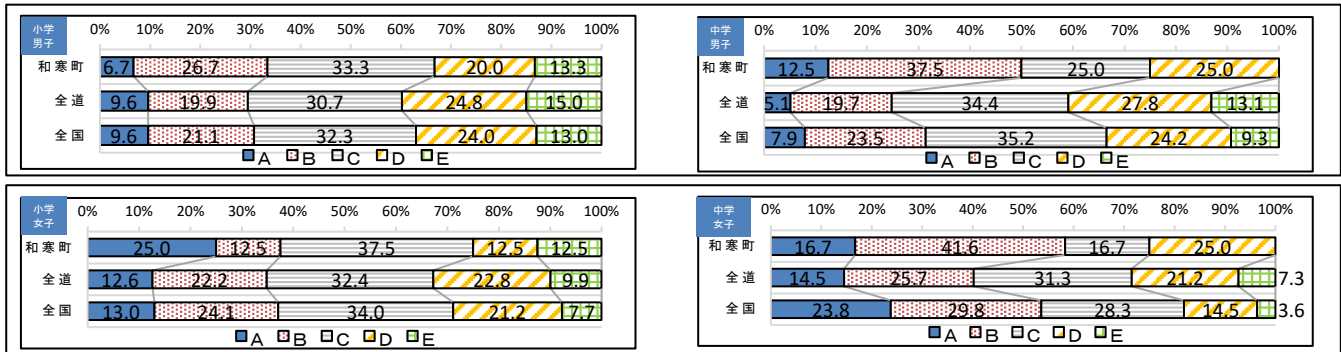
【中学校】



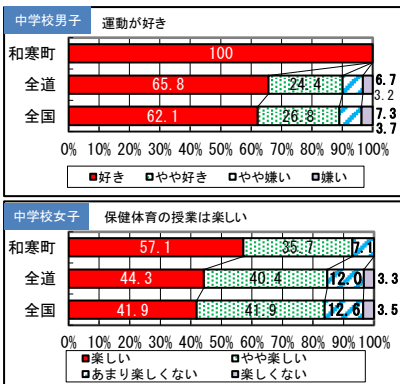
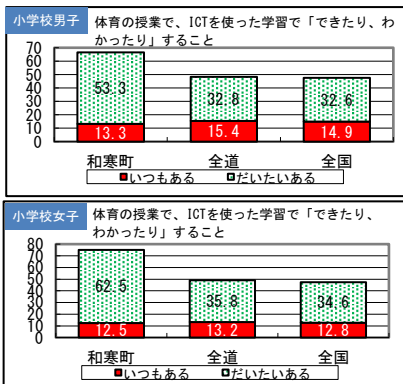
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



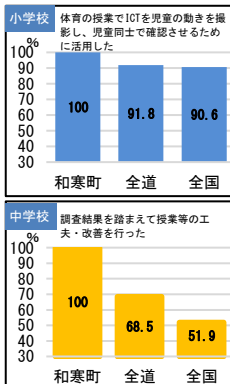
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
 体育の授業でICTを児童の動きを撮影し、児童同士で確認させるために活用したことにより、体育の授業でICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがあると回答した児童が全国平均以上となったと考える。

＜中学校＞  
 調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、運動が好き、保健体育の授業は楽しいと回答した生徒が全国平均以上となったと考える。

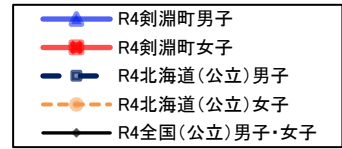
【和寒町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進(授業、業間活動、学校行事等)
- ◎ 「スポーツの町」宣言(39年目)～季節ごとのスポーツイベントの企画・実施(R4未実施の行事あり)
- ◎ 地域総合型スポーツクラブ「フレンドパーク」の実施(町教委主催、週1回実施)

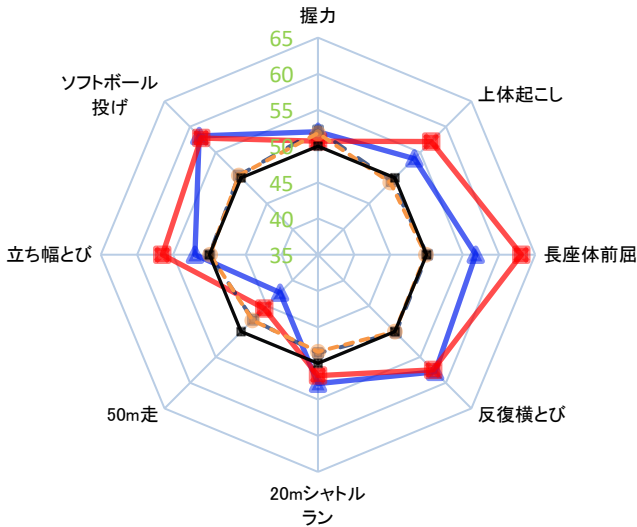
■ 剣淵町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数15名、中学校1校・生徒数12名)

【各種目の状況】

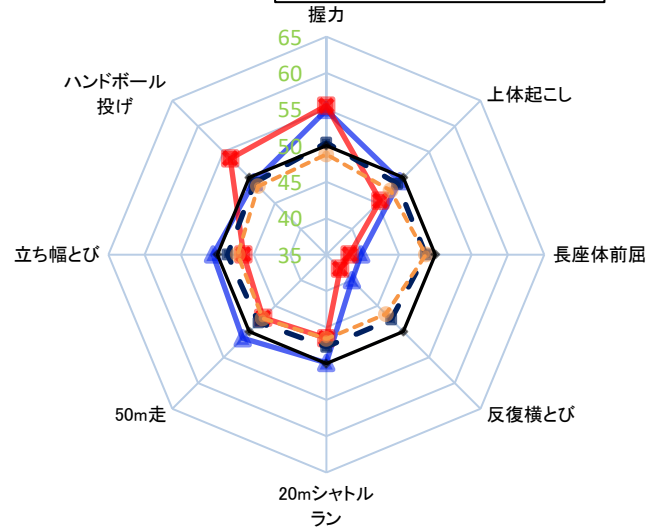
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



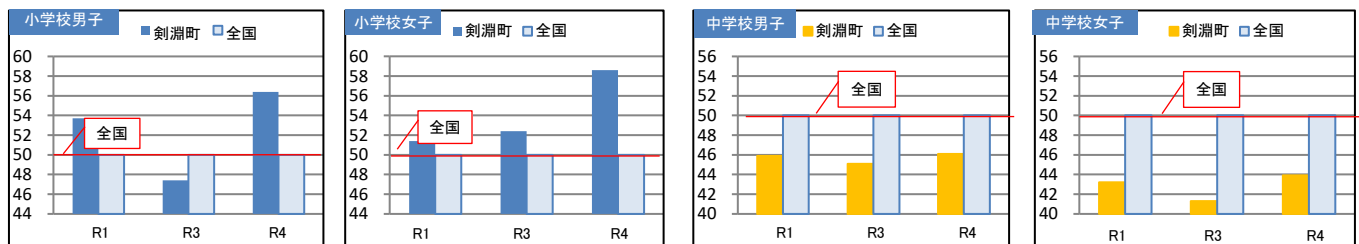
【小学校】



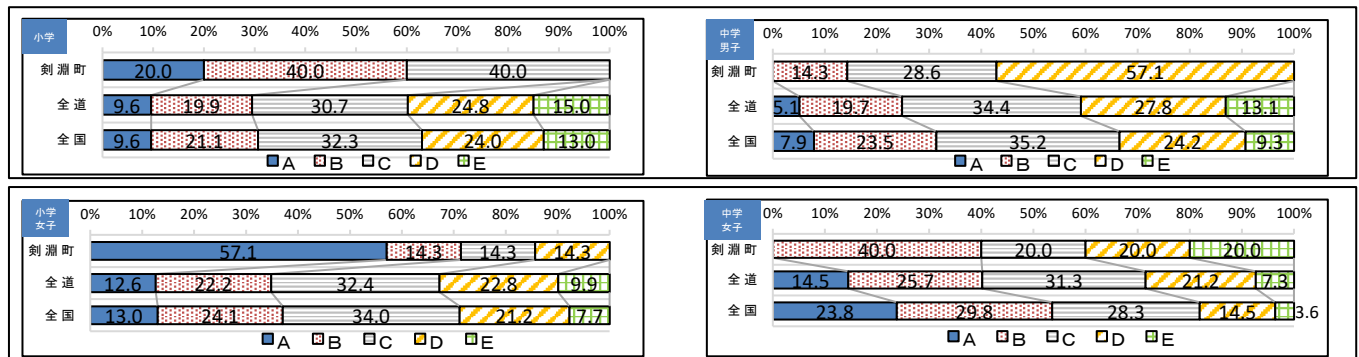
【中学校】



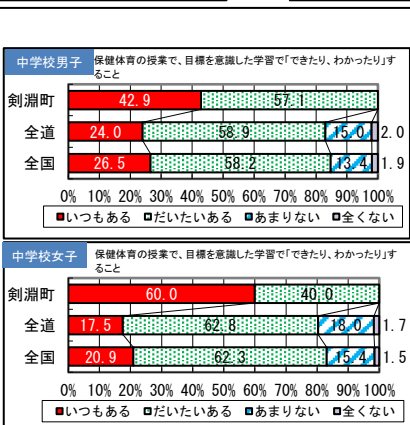
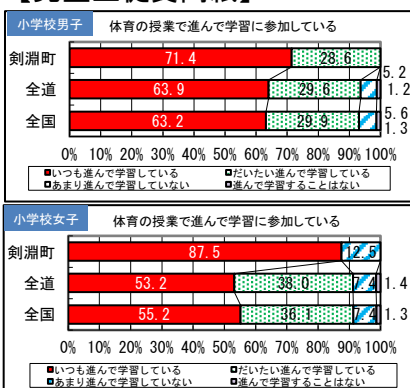
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



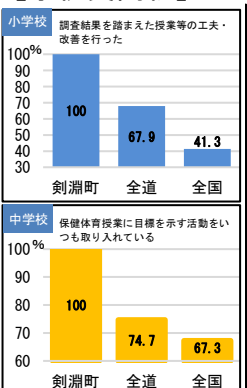
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、「体育の授業で進んで学習に参加している」と回答した児童が男女ともに全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
保健体育授業に目標を示す活動をいつも取り入れたことにより、保健体育の授業で、目標を意識した学習で「できたり、わかったりする」ことがいつもであると回答した生徒が男女ともに全国平均を上回ったと考える。

【剣淵町の体力向上策】

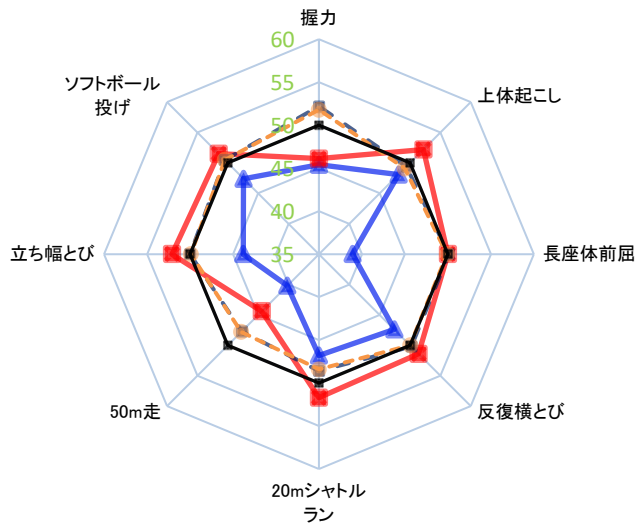
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 全学年における新体力テストの実施
- ◎ 学校ぐるみで運動に親しむための「体力向上1校1実践運動」の取組の推進
- ◎ 体力の向上を図る運動部活動や少年団活動の支援
- ◎ 体力向上を図る生徒会活動の推進(中学校)

■ 下川町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校1校・児童数12名、中学校1校・生徒数29名)

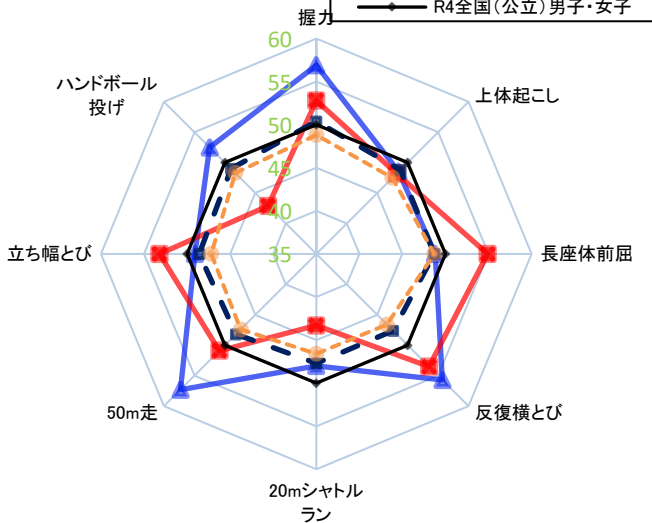
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

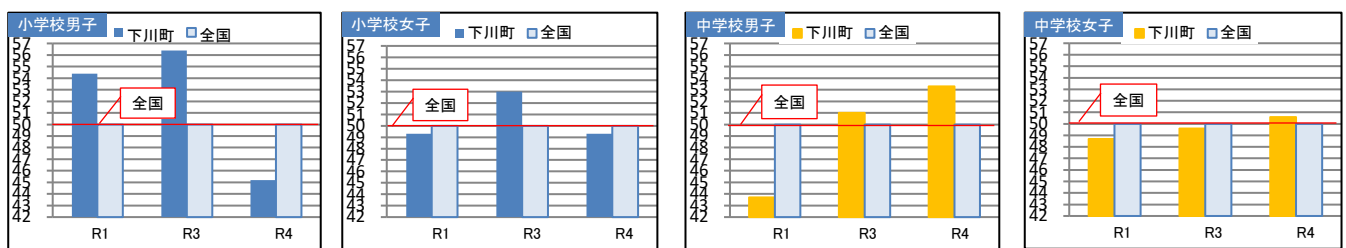
【小学校】



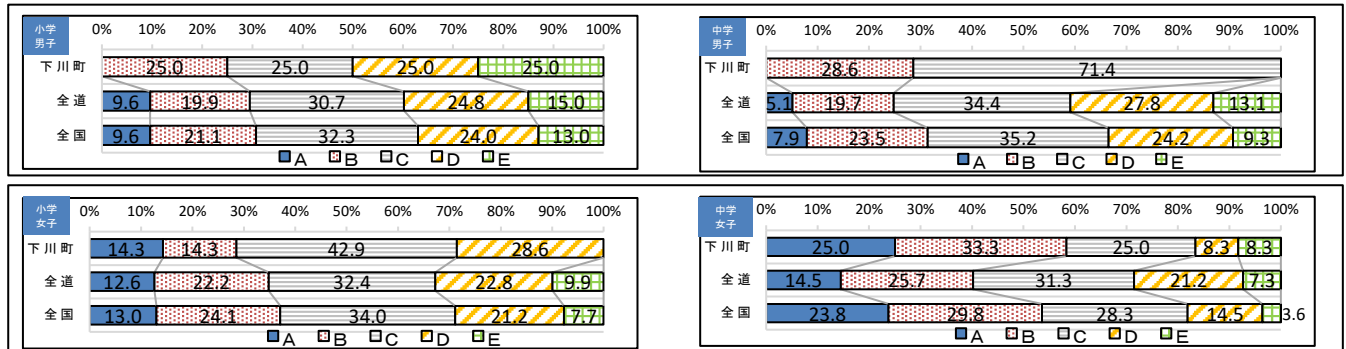
【中学校】



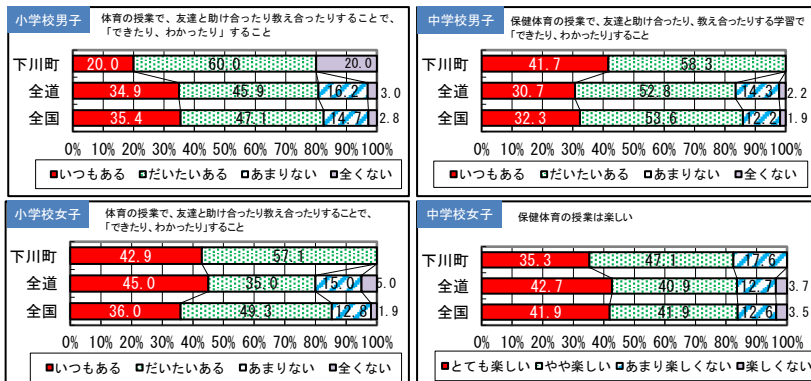
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



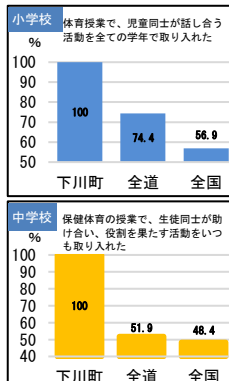
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育授業で児童同士が話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、体育の授業で友達と助け合ったり教え合ったりすることで「できたり、わかったり」することがあると回答した児童が全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
学校において、保健体育の授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れたことにより、保健体育の学習を楽しみ、さらに、友達と助け合ったり教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」と回答した生徒が多くなったと考える。

【下川町の体力向上策】

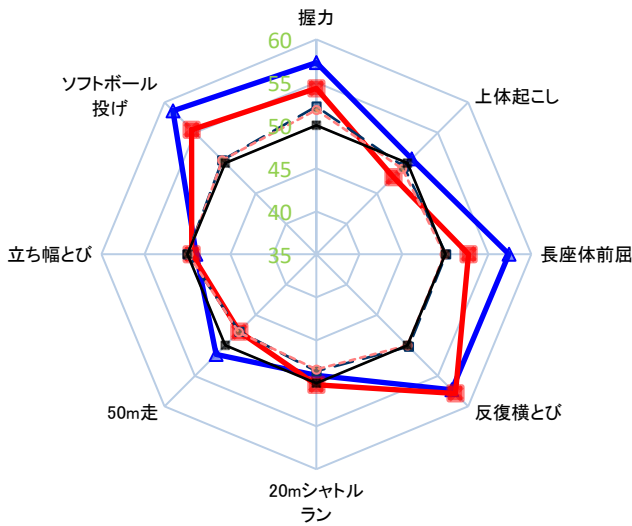
- ◎ 運動に親しむ環境づくりに努め、運動への関心を高め、運動への意欲を喚起し、資質・能力の向上を目指す
- ◎ 各種スポーツ少年団・部活動の全道・全国大会出場者への支援の充実を図る
- ◎ 小・中学校を対象とした放課後子ども教室において、子どもが楽しむことができる運動やスポーツプログラムの充実を図る

■ 美深町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校2校・児童数22名、中学校2校・生徒数27名)

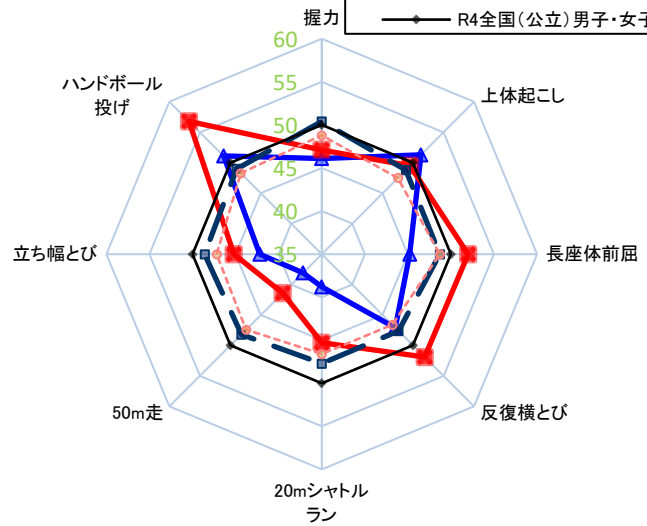
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

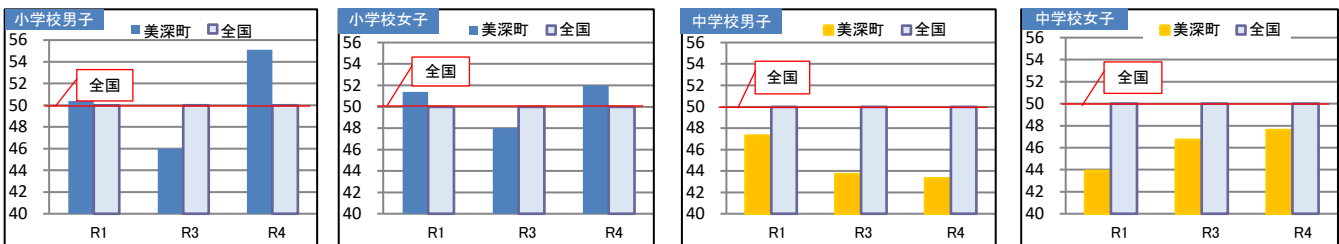
【小学校】



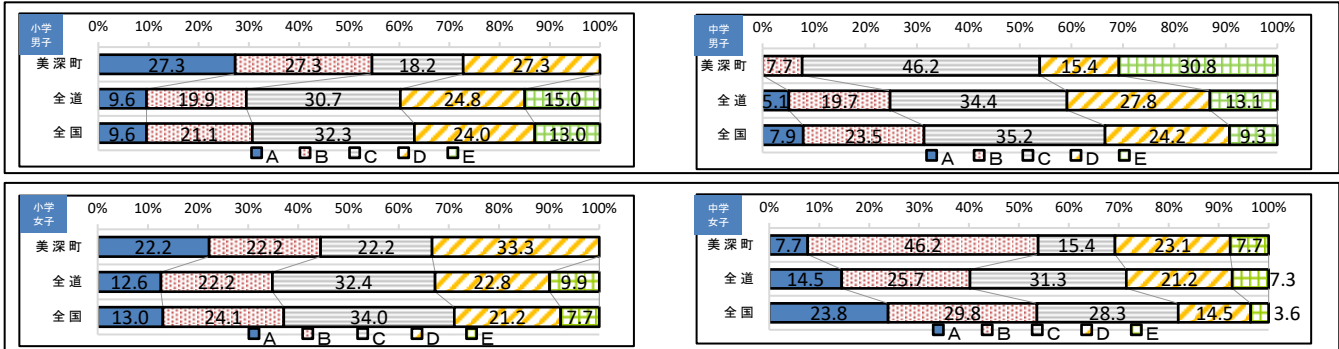
【中学校】



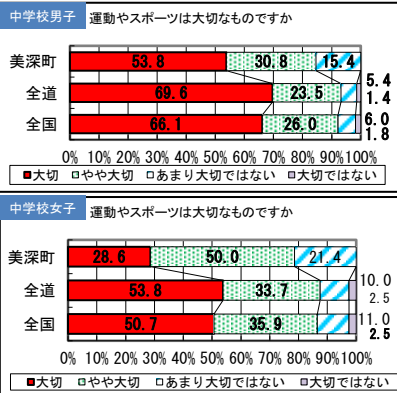
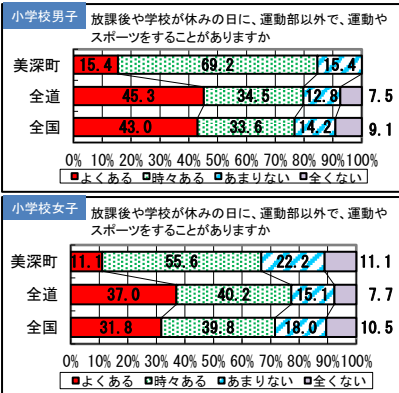
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



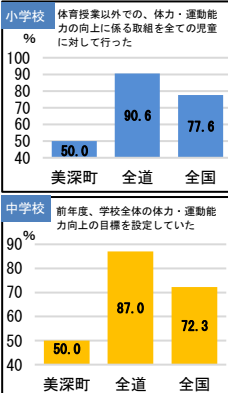
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
学校の授業以外のスポーツをする割合が、全国・全道を下回っている状況にある中、各学校においては運動やスポーツの大事さを引き続き体育授業等を通じて指導していく必要があると考える。

＜中学校＞  
生徒の運動やスポーツを大切だと思意識が全道・全国を下回っている状況にある中、各学校において明確な体力・運動能力向上の目標設定をすることで、生徒に運動の重要性を認識させる必要があると考える。

【美深町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ スポーツ少年団活動や、びふかスポーツクラブのプログラムを通して誰もが運動に親しむことができるスポーツ環境づくりの推進
- ◎ 「こどもスポーツ文化・未来基金」を活用した児童・生徒のスポーツ活動の支援

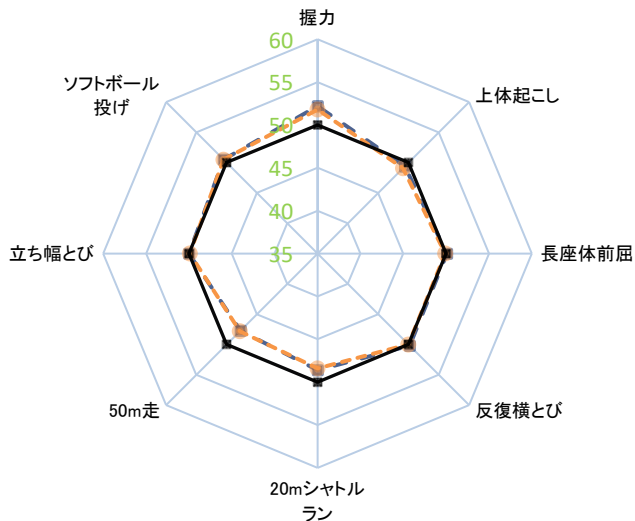
■ 音威子府村内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数1名、中学校1校・生徒数4名)

児童生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、音威子府村の各種目のデータは掲載していない

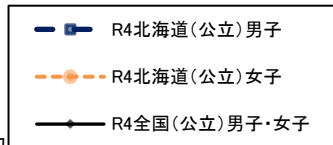
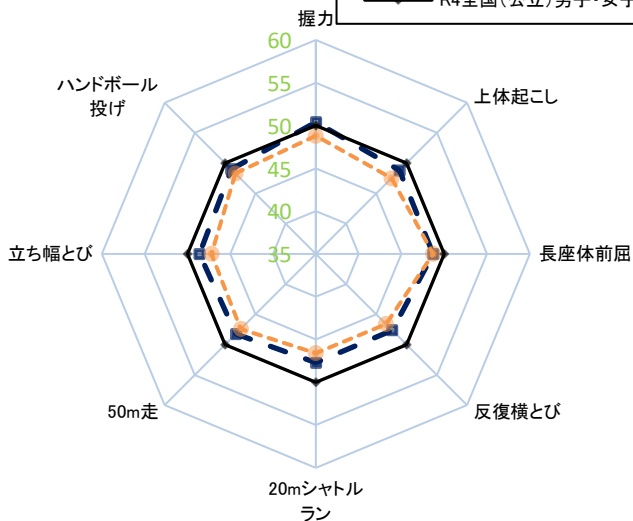
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

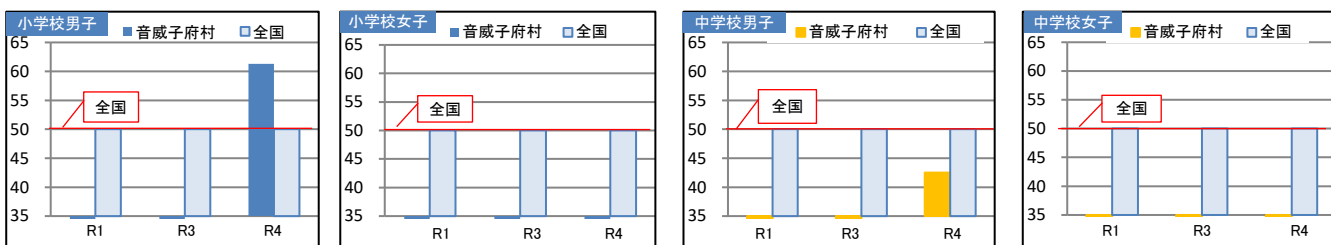
【小学校】



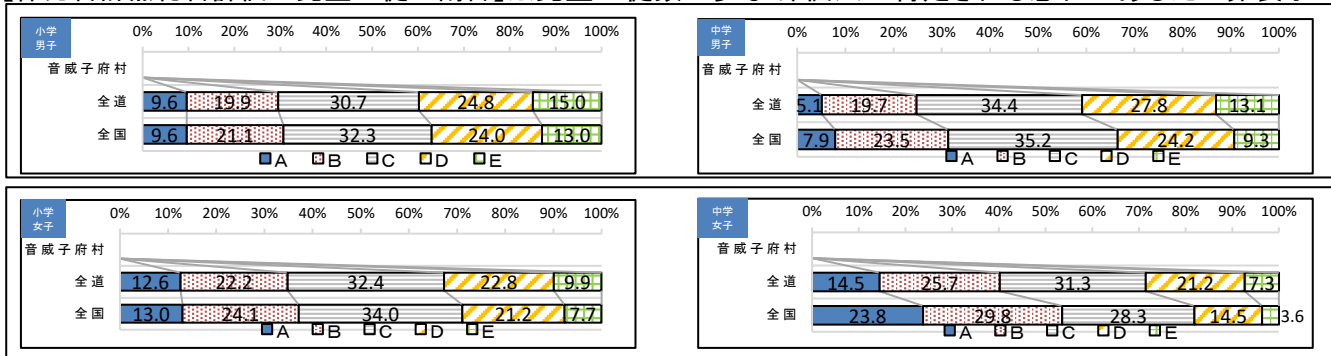
【中学校】



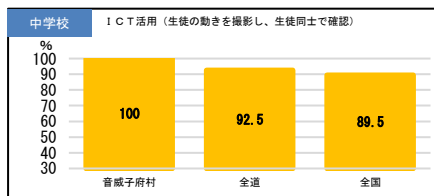
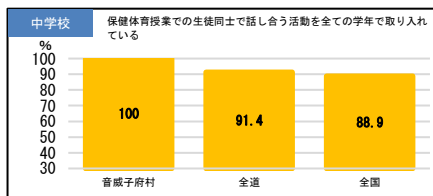
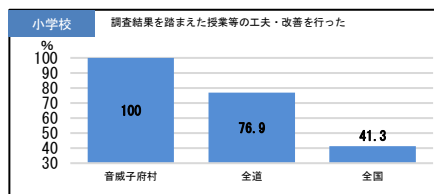
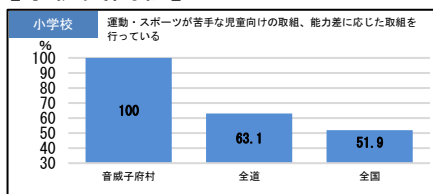
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】※児童生徒数が5名以下の年は非表示



【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】※児童生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため非表示



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組や調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、児童は、自分に合った練習の方法で「できたり、わかったり」することがいつもあると捉えている。

＜中学校＞  
保健体育授業での生徒同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れた、ICT活用として、「以前に撮影した動きと比較し、変容を確認すること」を行ったりしたことにより、生徒は、「友達と一緒にできるから」体育が楽しいと捉えている。

【音威子府村の体力向上策】

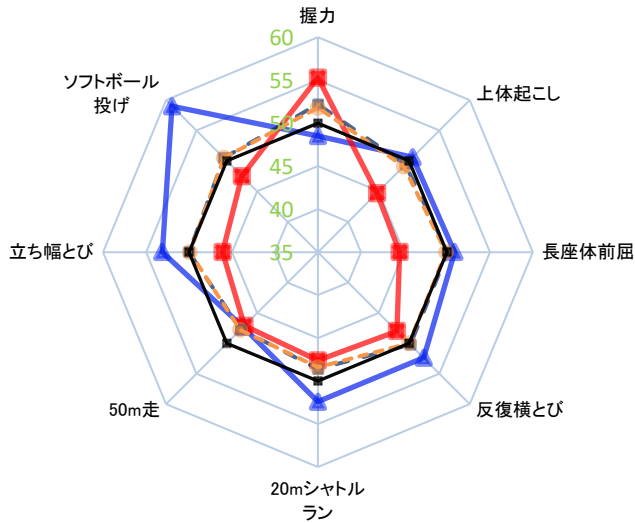
- ◎全校児童生徒が行った体力テストの結果を基にした体力向上策の検討及び共通理解
- ◎小学校における縄跳び検定や休み時間のボール遊びの推進
- ◎中学校の体育授業の「常時活動」における身体の各機能の動きを養う動き(走・跳)の継続的な取組

■ 中川町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数14名、中学校1校・生徒数8名)

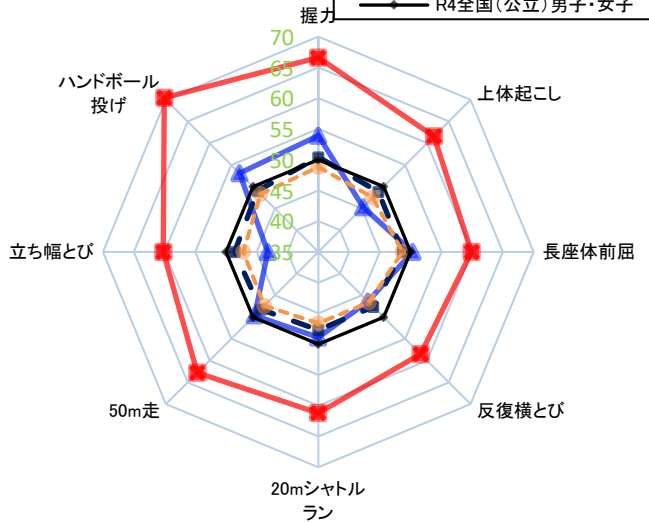
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

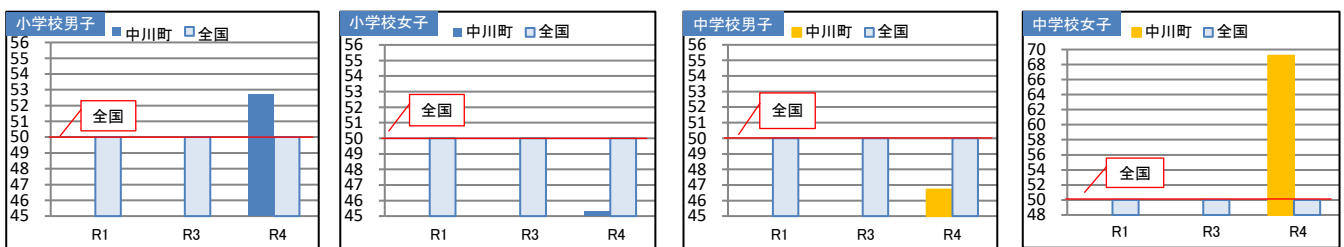
【小学校】



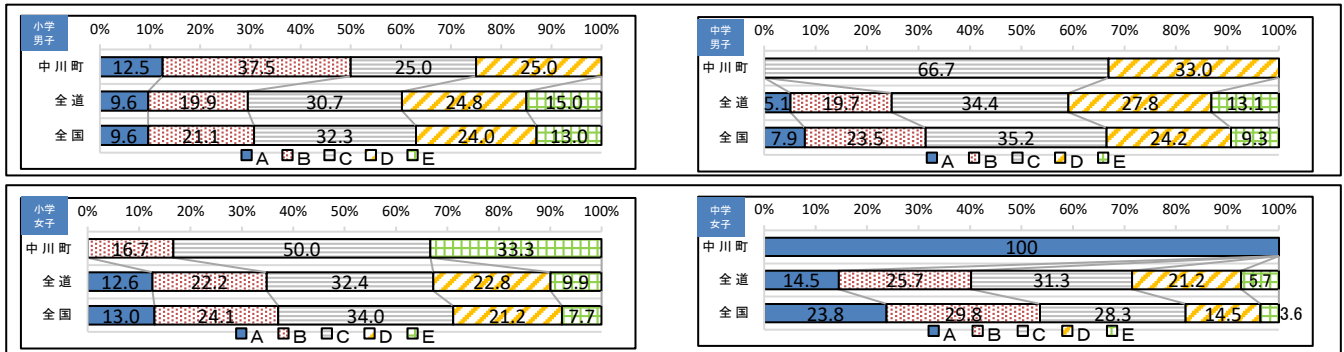
【中学校】



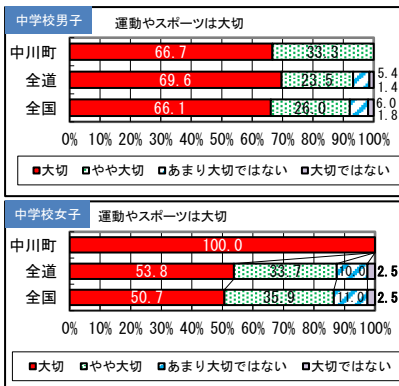
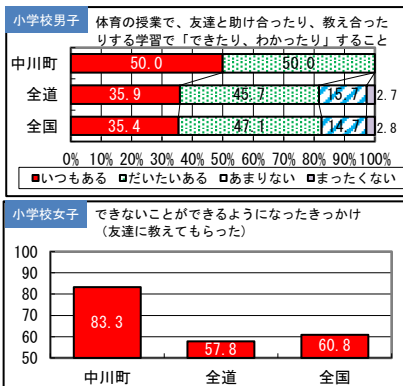
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



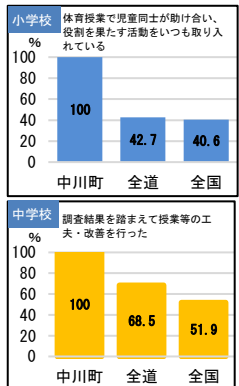
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
体育授業で児童同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れたことにより、「できたり、わかったり」することがある」「友達に教えてもらった」ように感じた」と回答した児童が全国平均以上となったと考える。

＜中学校＞  
調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、運動は大切と回答した生徒が全国平均以上となったと考える。

【中川町の体力向上策】

- ◎ 健康でたくましい心と体を育む「体力強化月間」におけるマラソン、縄跳び、コーディネーショントレーニングなどの取組みの推進
- ◎ 体力の向上を図る少年団活動及び学校部活動の支援
- ◎ 小中学校間の連携を図り、コーディネーショントレーニングを体育科、保健体育科の授業に取り入れ、運動学習能力を高め、身体能力及び集中力等の向上を図る取組の推進

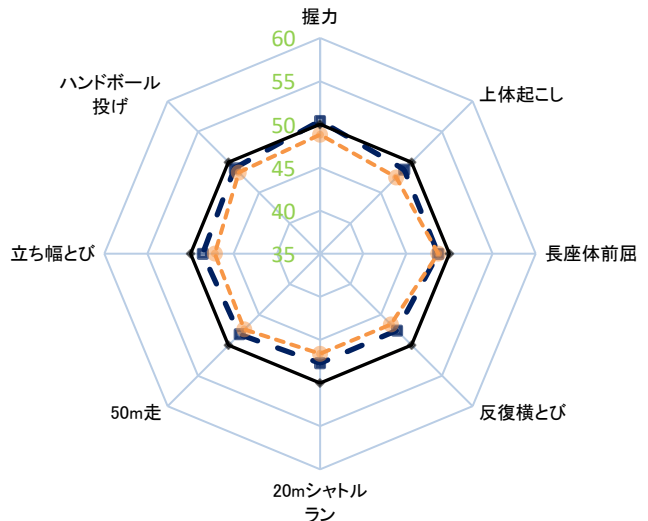
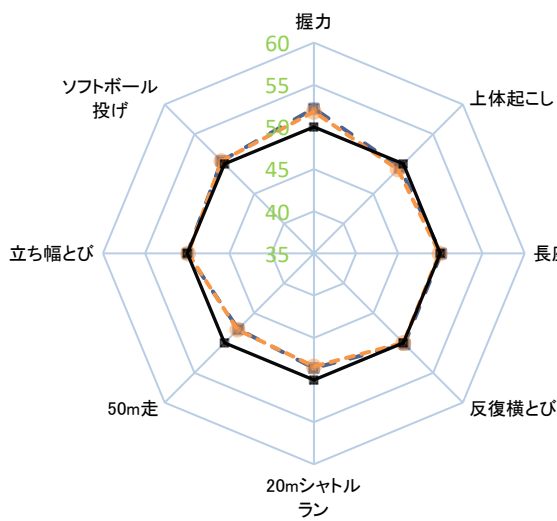
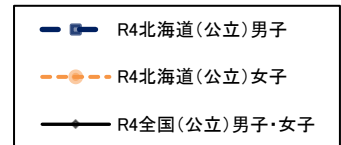
■ 幌加内町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数3名、中学校1校・生徒数8名)  
 児童生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、幌加内町の各種目のデータは掲載していない

【各種目の状況】

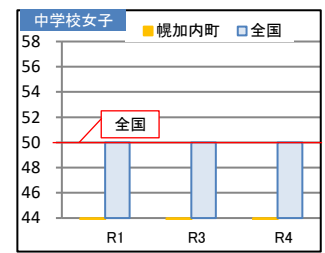
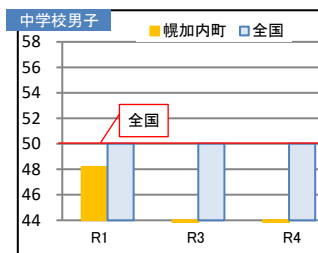
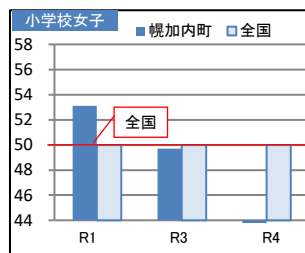
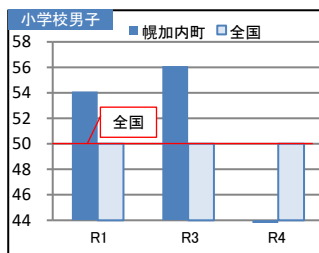
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

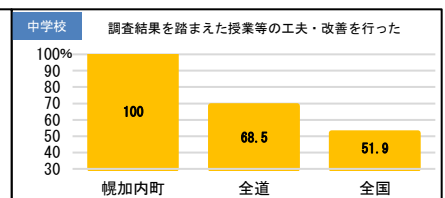
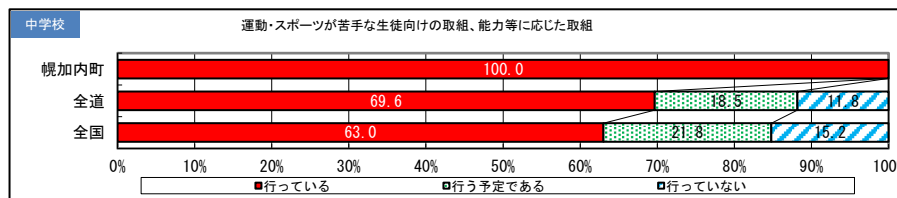
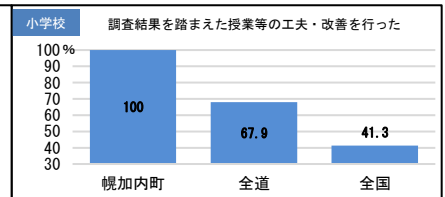
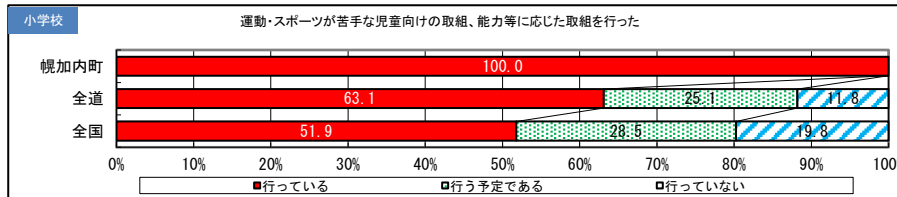
【中学校】



【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】※児童生徒数が5名以下の年は非表示



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>

<中学校>

各学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善や運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力等に応じた取組を行ったことにより、体育の授業が楽しいと感じる児童が増えている。

学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善や運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力等に応じた取組を行ったことにより、保健体育の授業が楽しいと感じる生徒が増えている。

【幌加内町の体力向上策】

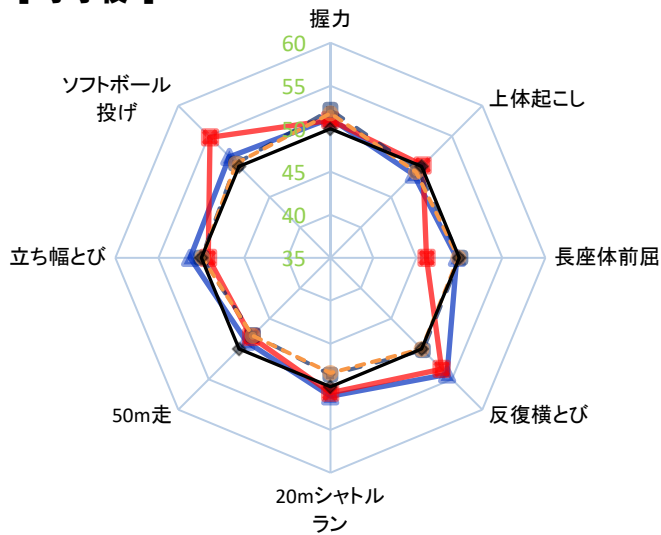
- ◎ テニス・水泳など学校ではできないスポーツの講習会開催による運動に対する意欲向上の取組
- ◎ スキー連盟指導員会と連携した地域の自然環境に関わりの深いスキー教室の開催

■ 留萌市内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校5校・児童数136名、中学校2校・生徒数121名)

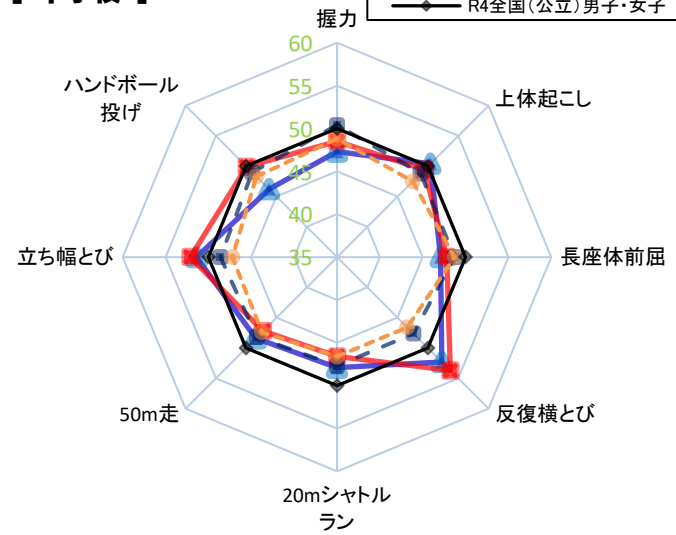
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

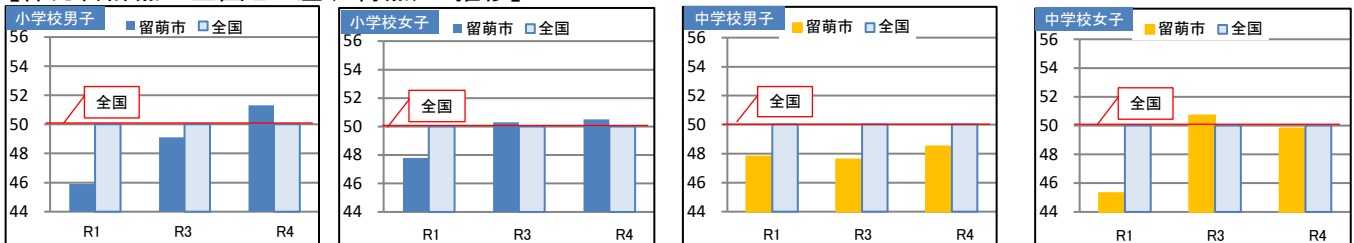
【小学校】



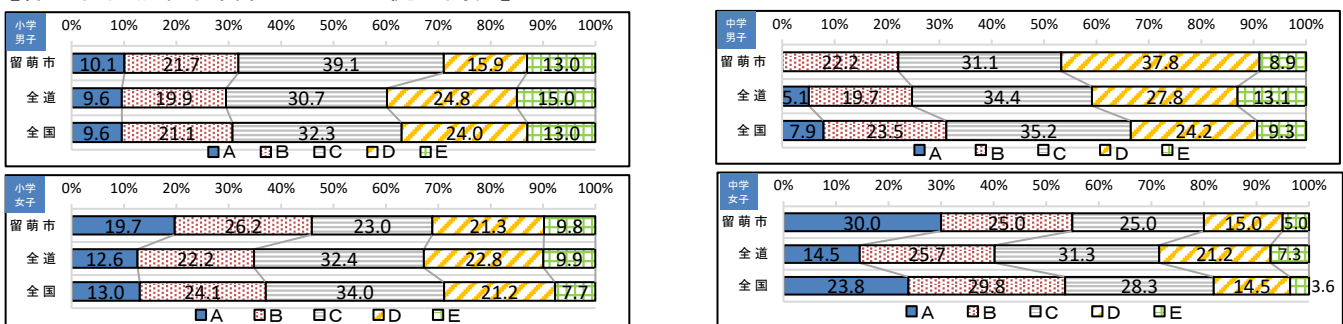
【中学校】



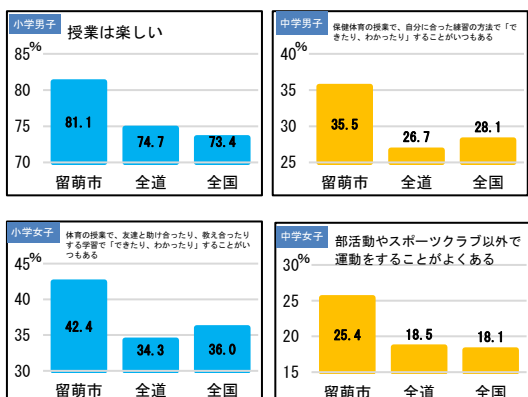
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



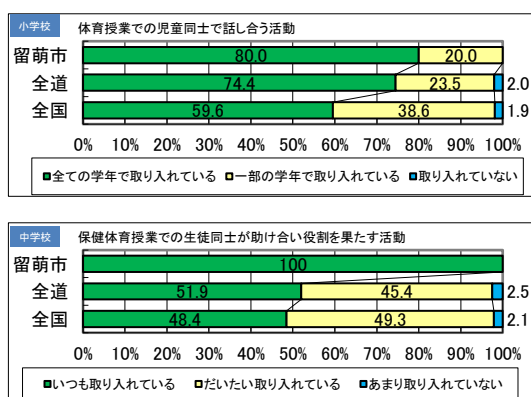
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒児童質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
授業の中で児童同士で話し合う活動の充実を図ったことにより、体育の授業で、自分に合った練習の方法で「できたり、わかったり」することがいつもあると回答した児童が全国平均を上回るとともに、男女ともに5種目において、全国平均を上回ったと考えられる。

<中学校>  
授業において生徒同士が助け合い役割を果たす活動の充実を図ったことにより、保健体育の授業で、自分に合った練習の方法で「できたり、わかったり」することがいつもあると回答した生徒が全国平均を上回るとともに、男子3種目、女子2種目において、全国平均を上回ったと考えられる。

【留萌市の体力向上策】

- ◎ 一人ひとりの体力・運動能力の状況を踏まえ、運動することの楽しさを味わう体育・保健体育の授業の充実
- ◎ 外部講師を活用したコーディネーショントレーニングの実施など、各校での特色のある体力づくりの取組の推進
- ◎ 地域や家庭と連携を図り運動やスポーツをする機会を確保する取組の充実

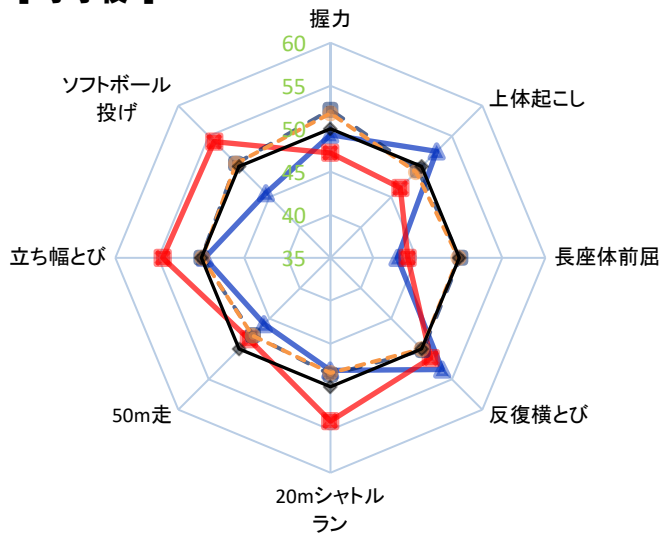


■ 増毛町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数30名、中学校1校・生徒数23名)

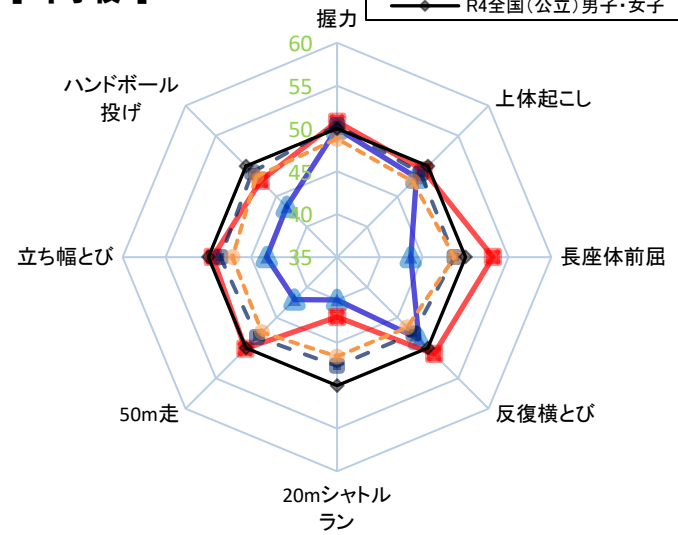
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

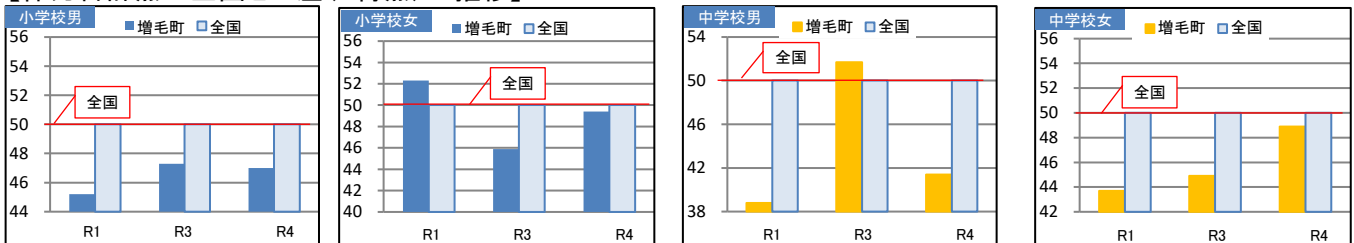
【小学校】



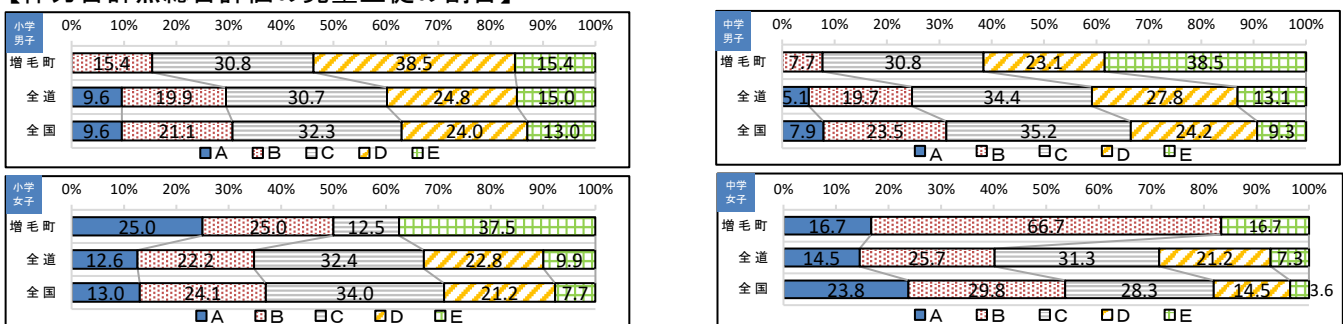
【中学校】



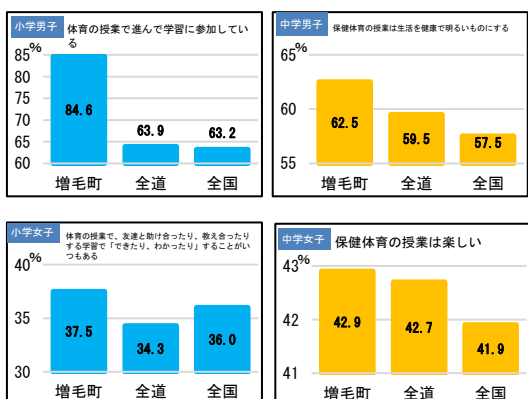
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



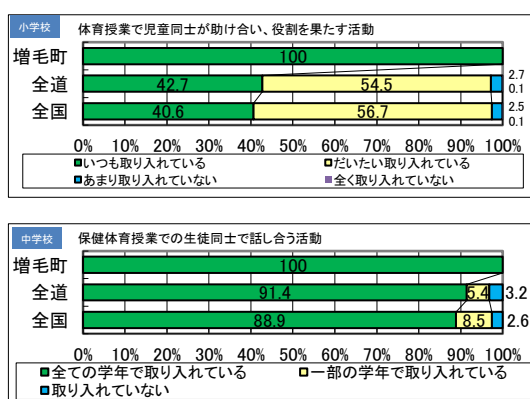
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒童質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
授業において児童同士が助け合い、役割を果たす活動の充実を図ったことにより、体育の授業で進んで学習に参加していると回答した児童が全国平均を上回るとともに、男子2種目、女子4種目において、全国平均を上回ったと考えられる。

<中学校>  
授業において生徒同士で話し合う活動の充実を図ったことにより、保健体育の授業は生活を健康で明るいものにする」と回答した男子が全国平均を上回るとともに、女子4種目において、全国平均を上回ったと考えられる。

【増毛町の体力向上策】

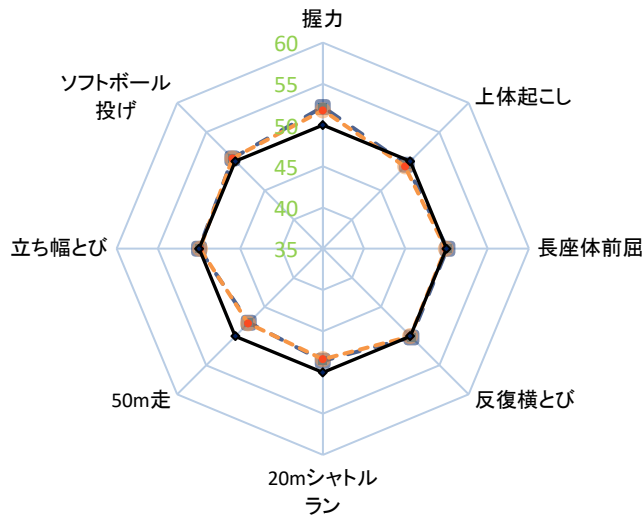
- ◎ 調査結果を踏まえた年間指導計画の改善など学校における体育・保健体育授業の充実
- ◎ どさん子元気アップチャレンジなどの体力向上の取組の推進
- ◎ 関連団体と連携を図った運動機会を確保する取組の充実

■ 小平町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校2校・児童数15名、中学校1校・生徒数22名)  
 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、小平町の各種目のデータは掲載していない

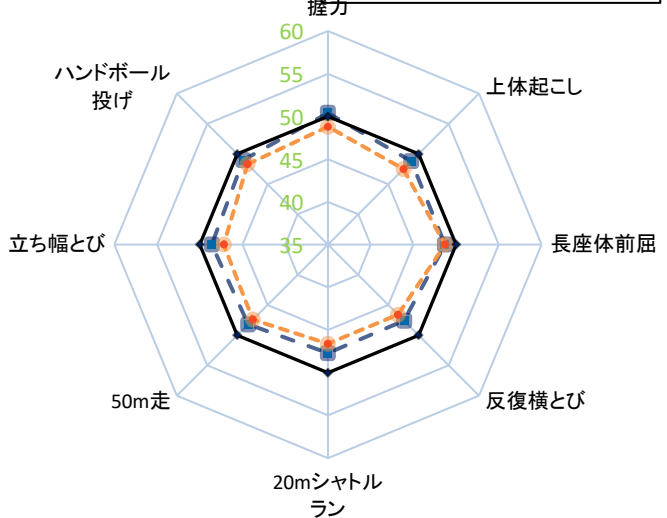
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

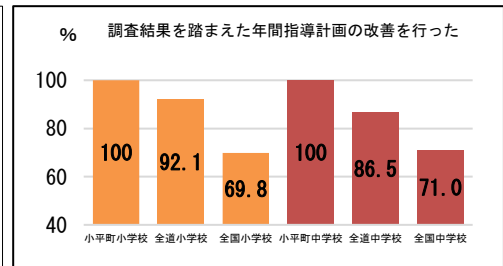
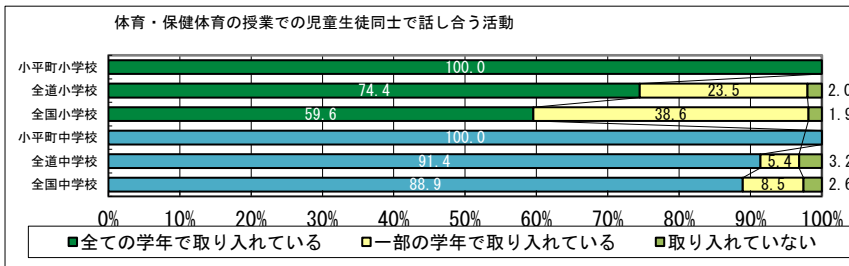
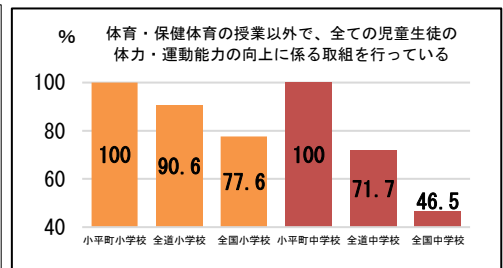
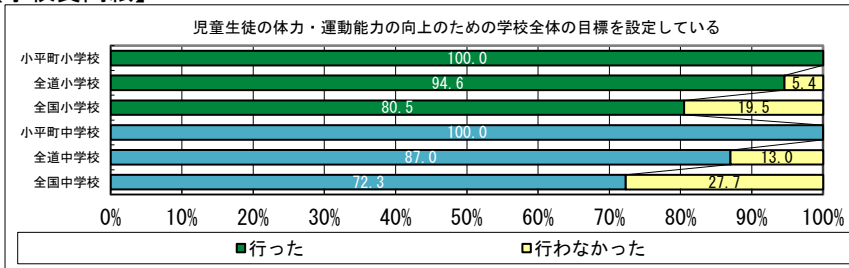
【小学校】



【中学校】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞

学校全体で体力・運動能力の向上に係る目標を設定し、体育の授業において児童が話し合う活動や、体育の授業以外で全ての児童生徒の体力・運動能力に係る取組を行うなど、体力・運動能力の向上に向けた取組が充実している。

＜中学校＞

学校全体で体力・運動能力の向上に係る目標を設定し、保健体育の授業において生徒が話し合う活動や、保健体育の授業以外で全ての生徒の体力・運動能力に係る取組を行うなど、体力・運動能力の向上に向けた取組が充実している。

【小平町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 児童・生徒が積極的に心と体の健康意識を高め、体力・運動能力の向上を図ることができる体育・保健体育の授業の充実
- ◎ 関係各所と連携した、子どもから大人までスポーツ活動を楽しめる環境の整備

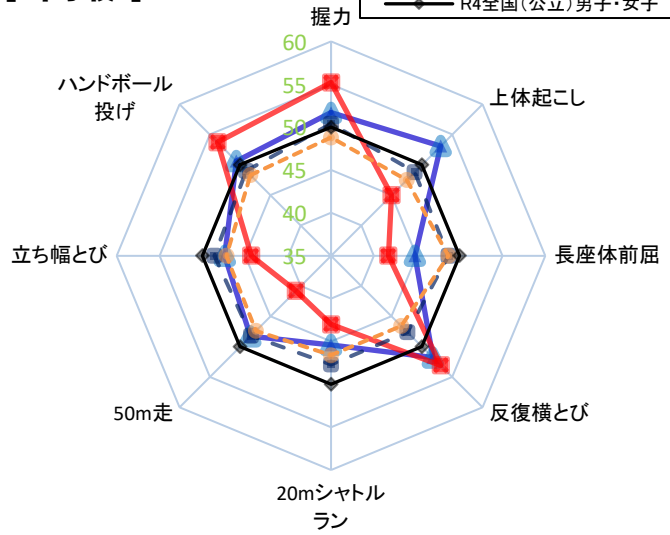
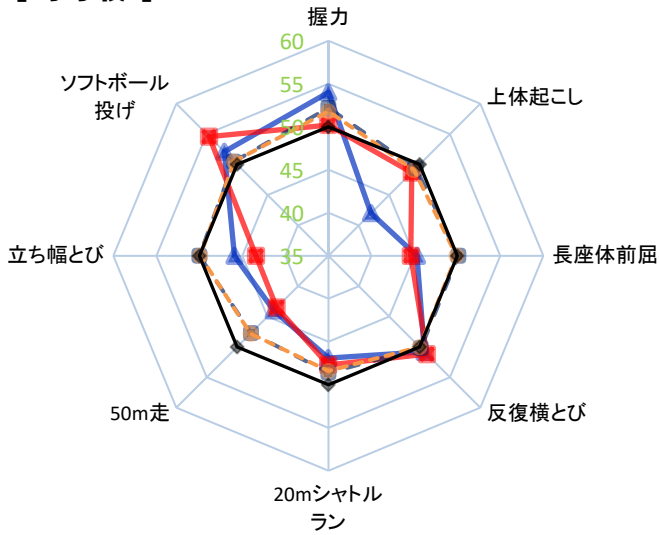
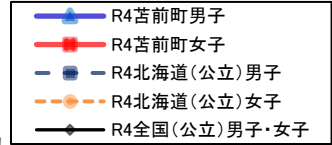
■ 苫前町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数20名、中学校2校・生徒数20名)

【各種目の状況】

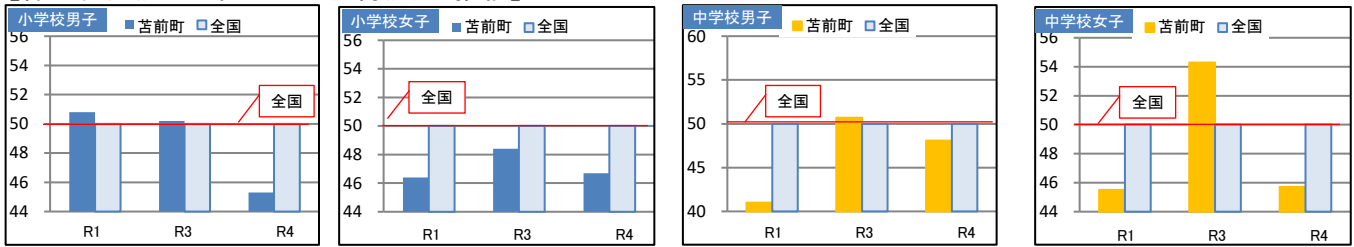
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

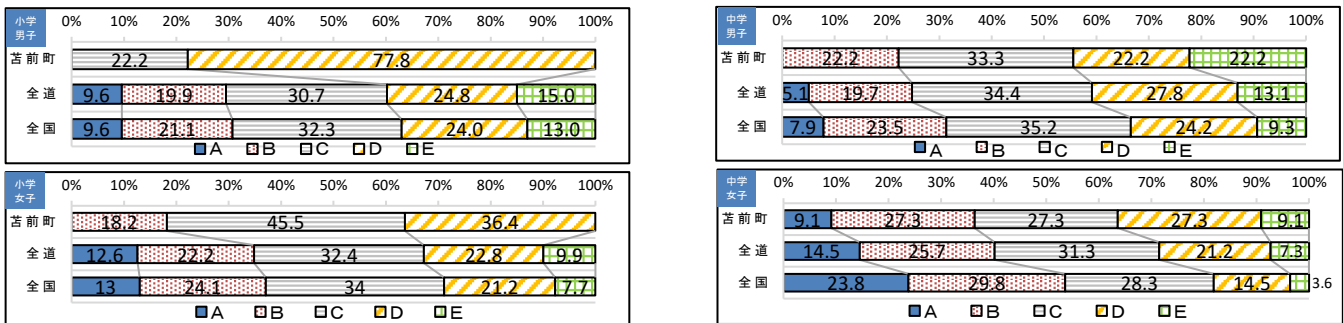
【中学校】



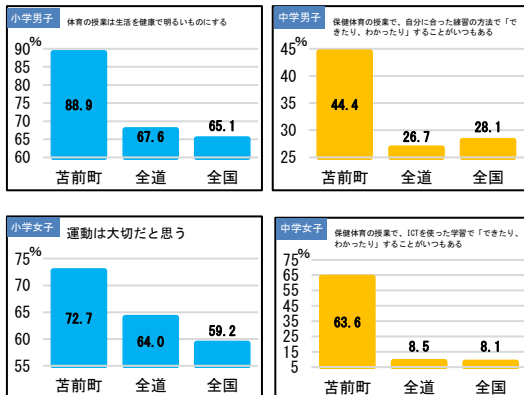
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



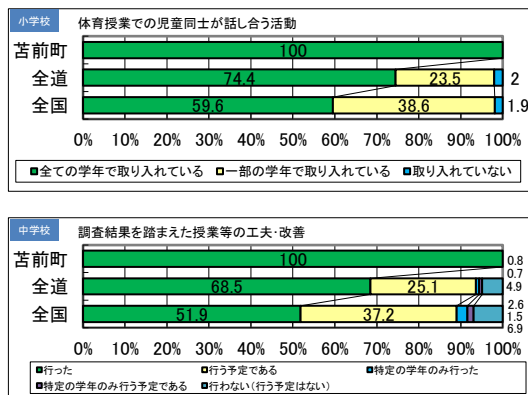
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒童質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
授業において児童同士が話し合う活動の充実を図ったことにより、体育の授業は生活を健康で明るいものにするに回答した児童が全国平均を上回るとともに、男子3種目、女子3種目において、全国平均を上回ったと考えられる。

<中学校>  
ICTを活用したり生徒に合った練習方法を取り入れたりするなど、調査結果を踏まえた授業等の工夫改善が図ったことにより、男子4種目、女子3種目において、全国平均を上回ったと考えられる。

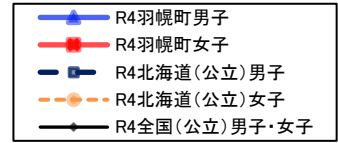
【苫前町の体力向上策】

- ◎ 全国調査の結果を踏まえた授業改善
- ◎ どさんこ元気アップチャレンジや「1校1実践」などの体力向上の取組の推進
- ◎ 児童生徒を含めた町民が運動やスポーツに気軽に参加できる環境整備の充実

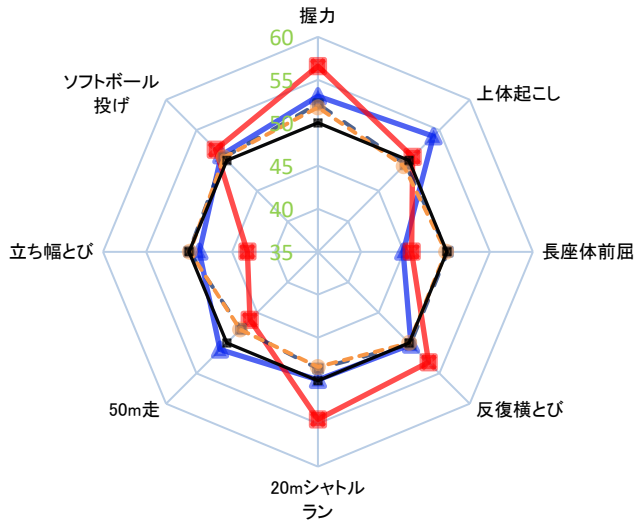
■ 羽幌町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校3校・児童数45名、中学校3校・生徒数48名)

【各種目の状況】

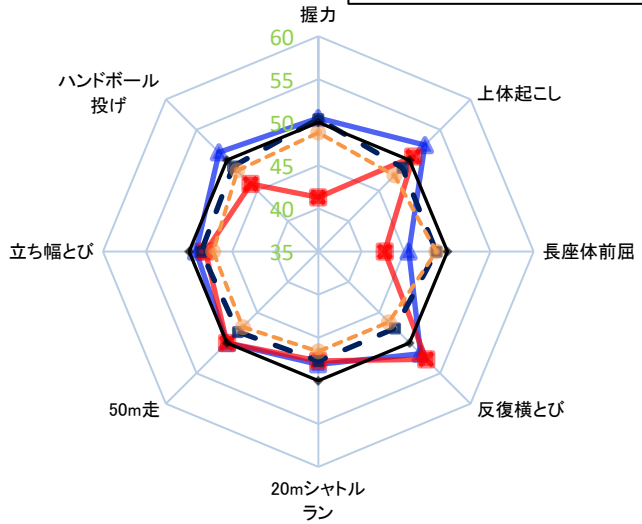
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



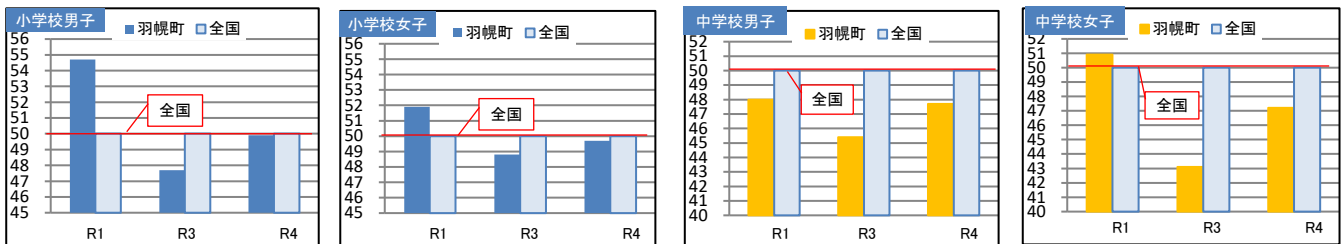
【小学校】



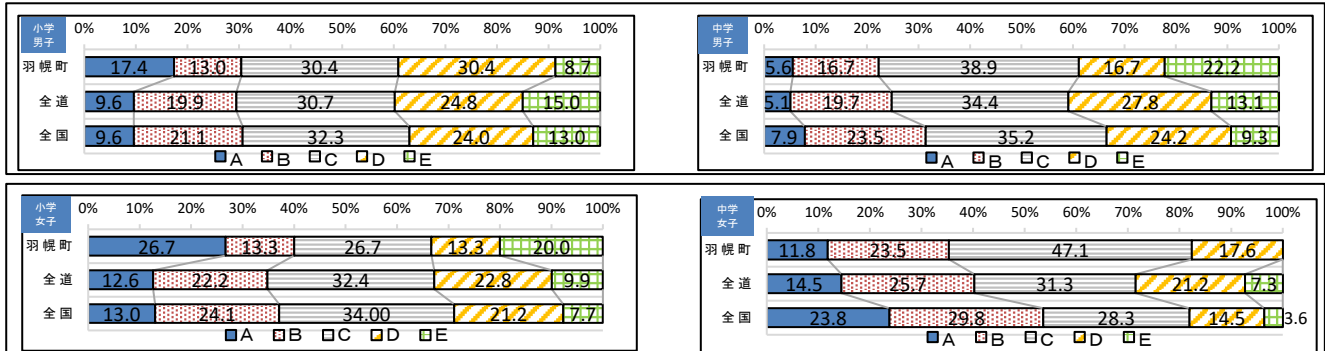
【中学校】



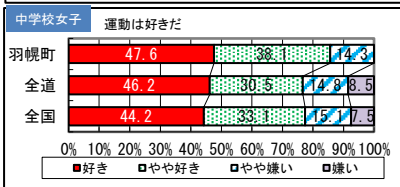
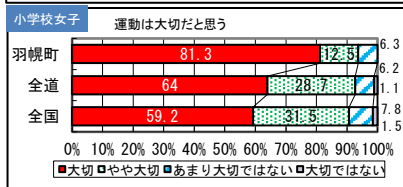
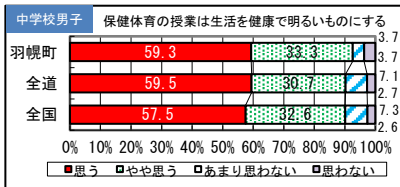
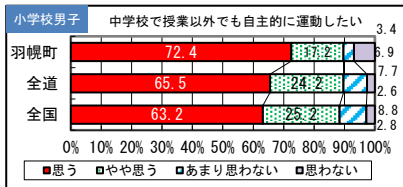
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



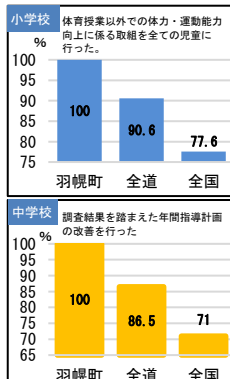
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

**<小学校>**  
各学校において、体育授業以外の体力・運動能力向上に係る取組を全ての児童に行ったことにより、男女とも運動に対して肯定的に捉えたとともに、A層の児童が全国平均を上回ったと考える。

**<中学校>**  
各学校において、調査結果を踏まえて年間指導計画の改善を行ったことにより、生徒は保健体育の授業や運動に対して肯定的に捉えたとともに、男子で4種目、女子で2種目全国平均を上回ったと考えられる。

【羽幌町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び新体力テスト結果を踏まえた授業改善の促進
- ◎ 地域及び羽幌町体育協会と連携を図った運動機会を確保する取組の充実
- ◎ 「早寝・早起き」など家庭と連携を図った規則正しい生活習慣の定着

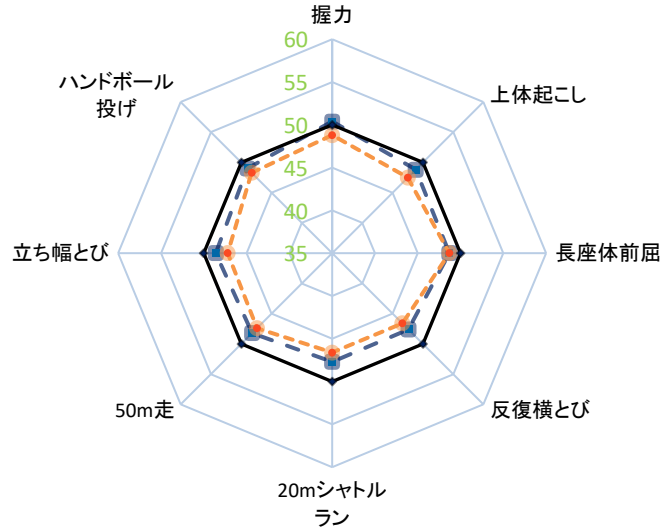
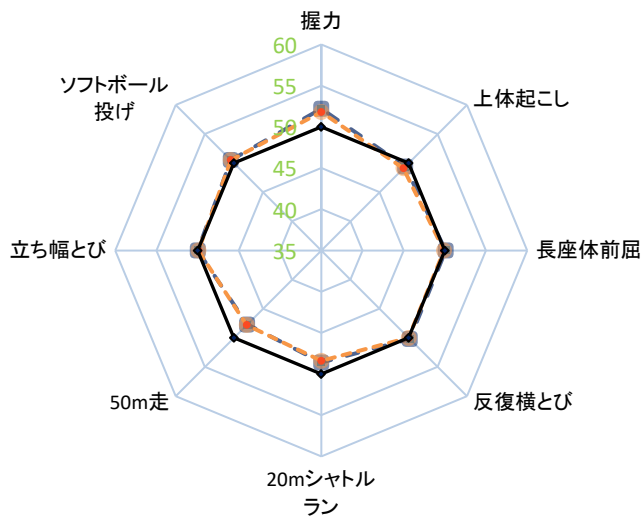
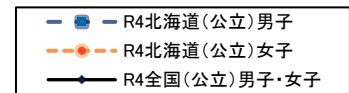
■ 初山別村内小学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数:7名、中学校1校・生徒数2名)  
 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、初山別村(村)の各種目のデータは掲載していない

【各種目の状況】

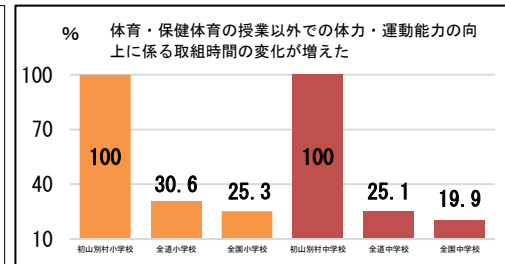
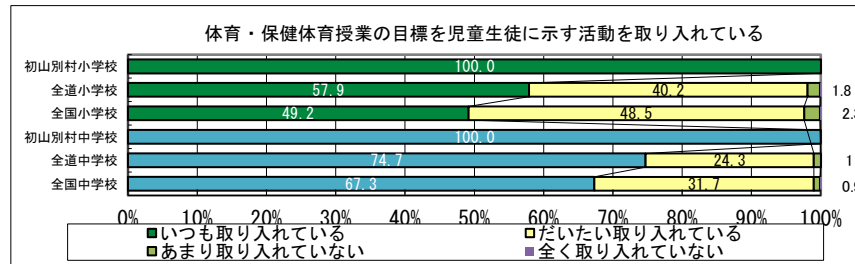
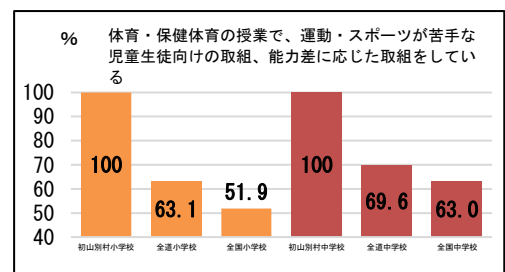
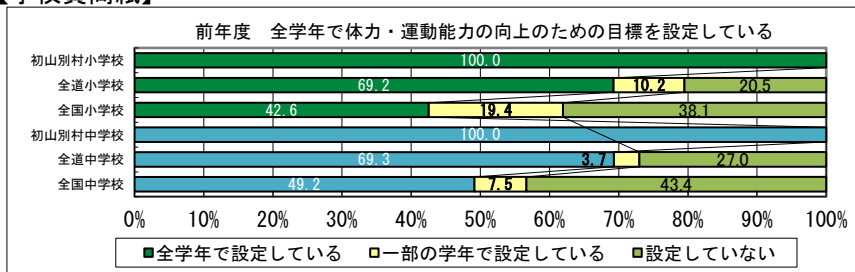
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

【中学校】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>

学校全体で全学年の体力・運動能力の向上に係る目標を設定し、体育の授業における運動やスポーツの苦手な児童に向けた取組及び授業以外での運動能力の向上に係る取組時間を増やすなど、体力・運動能力の向上に向けた取組が充実している。

<中学校>

学校全体で全学年の体力・運動能力の向上に係る目標を設定し、保健体育の授業では、目標を示す活動を取り入れ、運動やスポーツの苦手な生徒に向けた取組を行うなど、体力・運動能力の向上に向けた取組が充実している。

【初山別村の体力向上策】

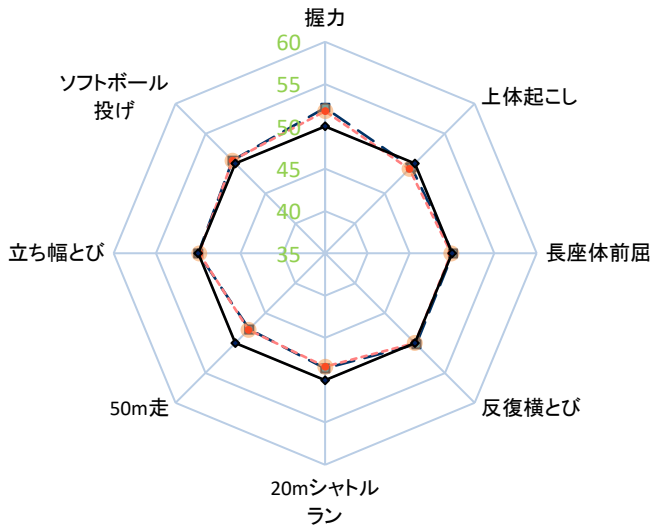
- ◎ 児童生徒の体力・運動能力の的確な把握及び課題の解決に向けた取組の推進
- ◎ スポーツ少年団活動や社会教育事業によるスポーツ活動の活性化
- ◎ 社会教育事業による生活習慣の確立に向けた取組と家庭と連携した児童生徒の生活環境づくり

■ 遠別町内小中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数:15名、中学校1校・生徒数12名)  
 児童生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、遠別町の各種目のデータは掲載していない

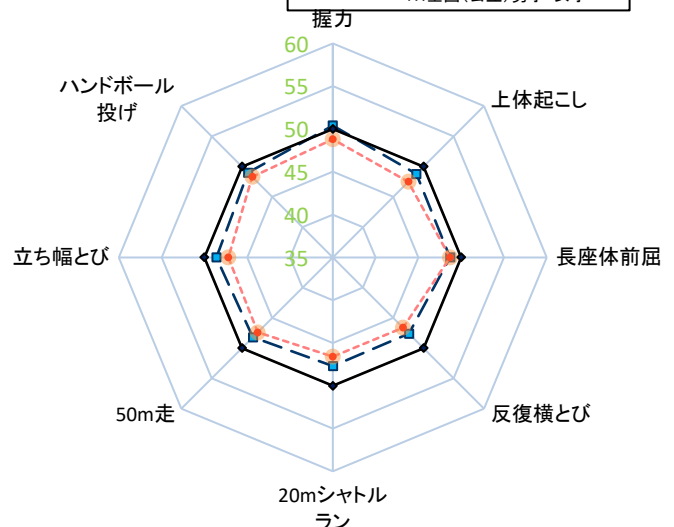
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

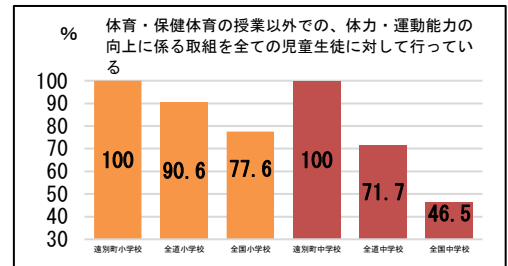
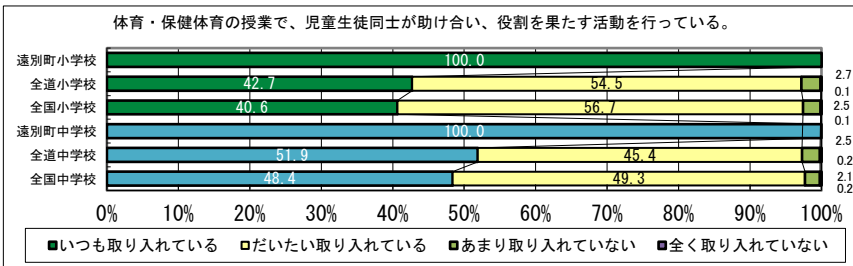
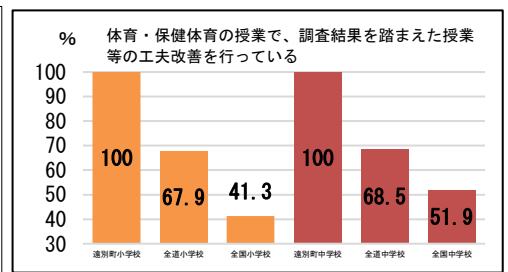
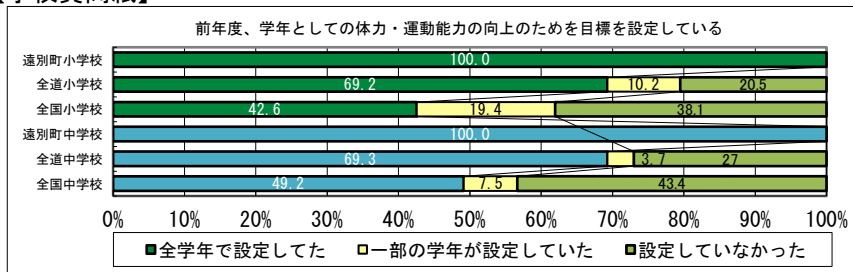
【小学校】



【中学校】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>

全ての学年で体力・運動能力の向上に係る目標を設定し、体育授業で児童同士が助け合い、役割を果たす活動いつも取り入れたり、授業以外での取組を全ての児童に行ったりするなど、体力・運動能力の向上に向けた取組が充実している。

<中学校>

全ての学年で体力・運動能力の向上に係る目標を設定し、保健体育授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動いつも取り入れるなど、体力・運動能力の向上に向け調査結果を踏まえた授業改善を進めている。

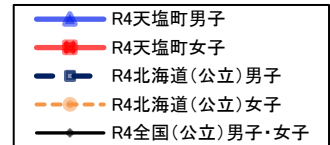
【遠別町の体力向上策】

- ◎ 小学校専科教諭や地域人材を活用した体力・運動能力の向上に向けた取組
- ◎ 町立学校全ての児童生徒の新体力テストの実施及び全国調査結果を踏まえた授業改善
- ◎ 遠別町スポーツ協会や各種団体との連携による子どもたちが色々なスポーツを体験する機会の充実

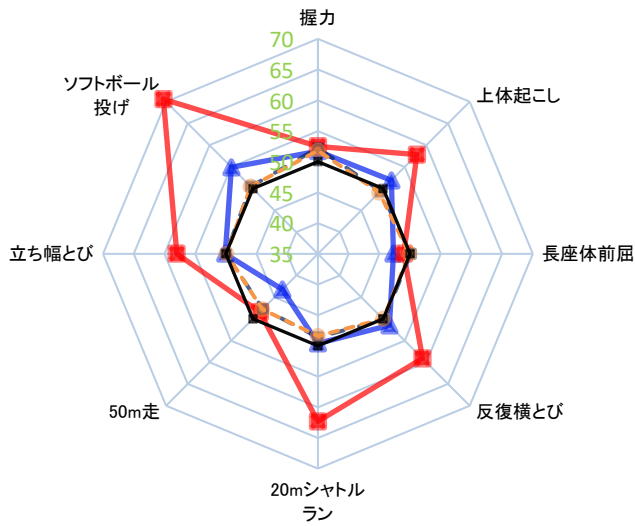
■ 天塩町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数20名、中学校1校・生徒数27名)

【各種目の状況】

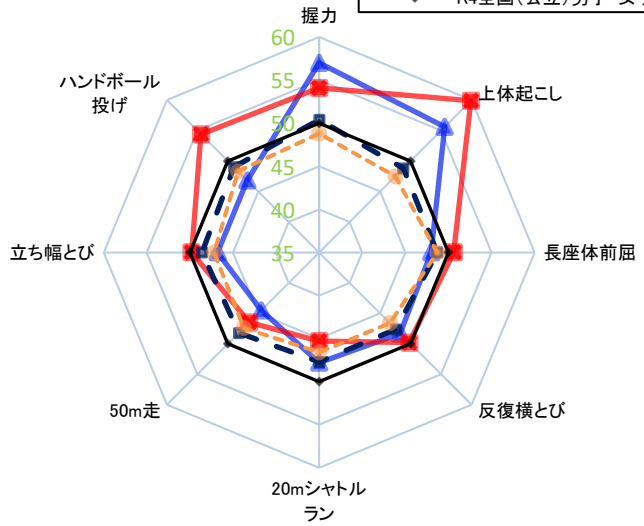
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



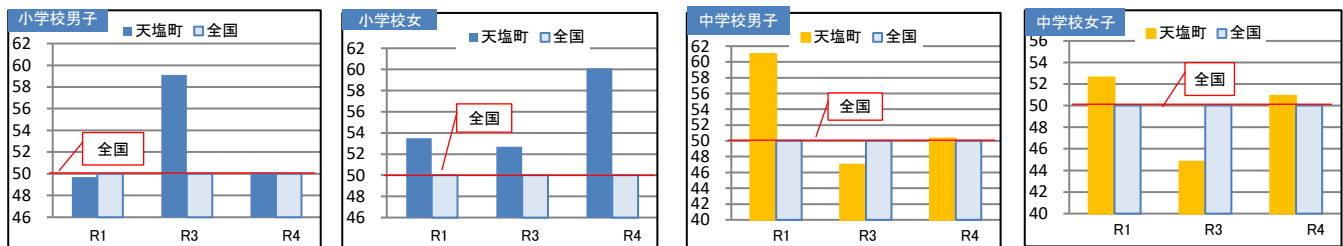
【小学校】



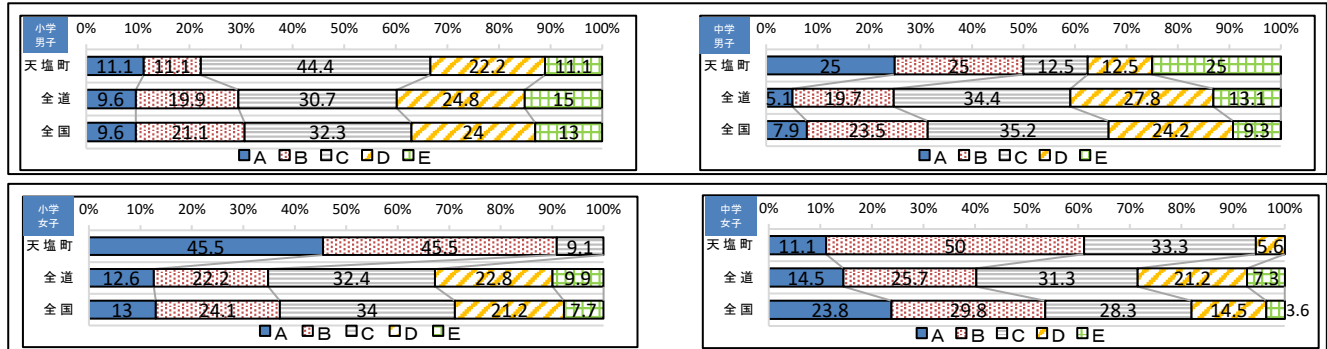
【中学校】



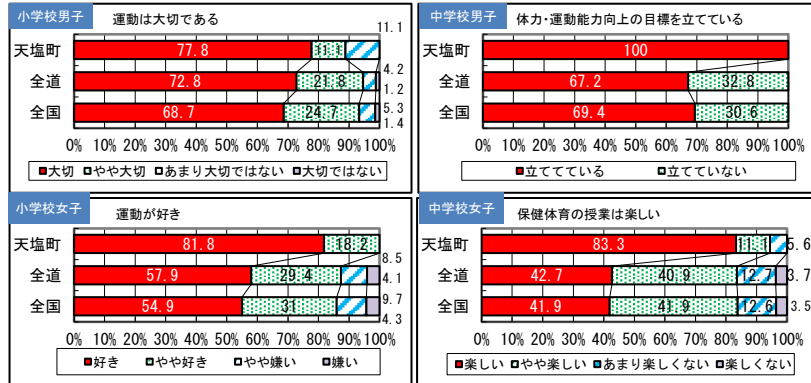
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



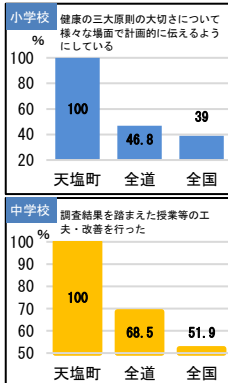
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、健康の三大原則の大切さについて計画的に様々な場面で伝えることにより、児童は運動に対して肯定的に捉えるとともに、男子は5種目、女子は6種目において全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行ったことにより、生徒は体力・運動能力の目標を立て、保健体育の授業を楽しく取り組み、男女ともに体力総合点が全国平均を上回ったと考えられる。

【天塩町の体力向上策】

- ◎ 全国調査の結果及び新体カテスト結果を踏まえた授業改善の促進
- ◎ スキー授業や水泳授業など地域人材を活用した体力・運動能力の向上に向けた取組の充実
- ◎ 食に関する正しい知識の習得や望ましい食習慣を身に付ける食育の充実

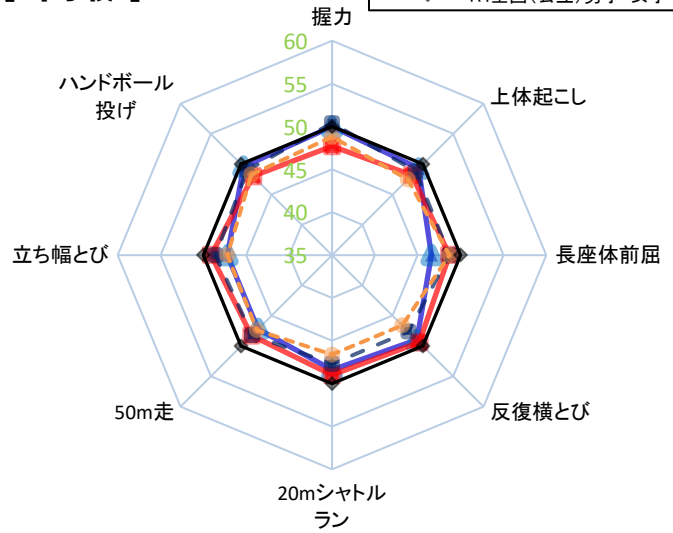
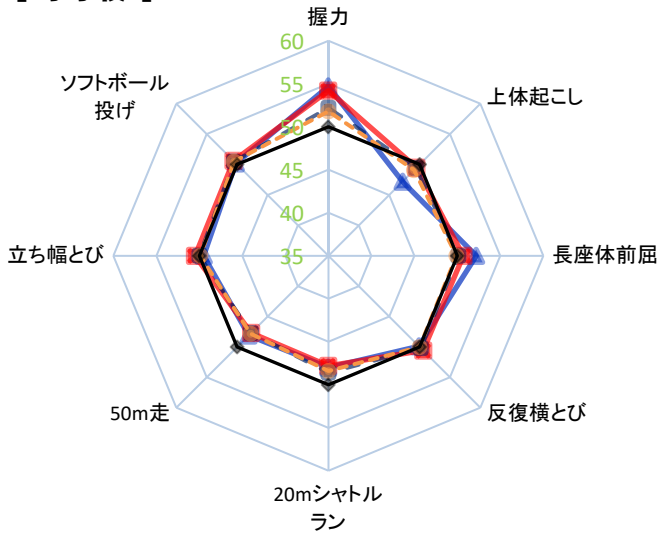
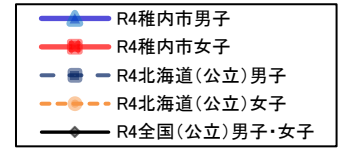
■ 稚内市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校11校・児童数210名、中学校7校・生徒数205名)

【各種目の状況】

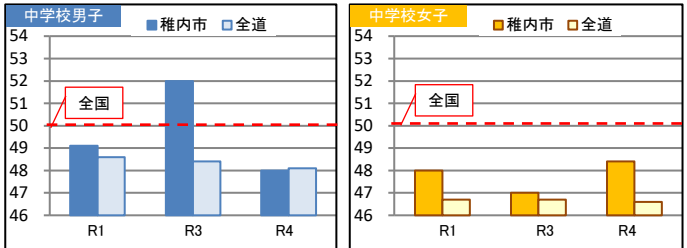
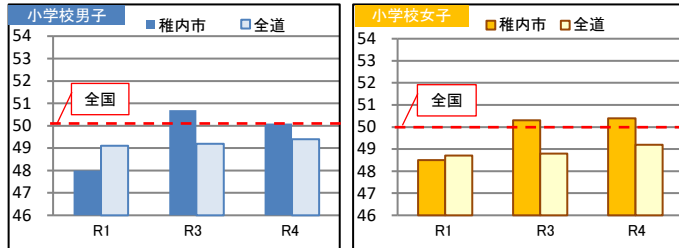
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

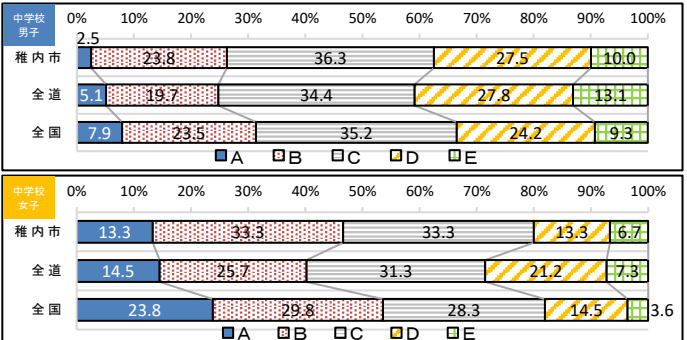
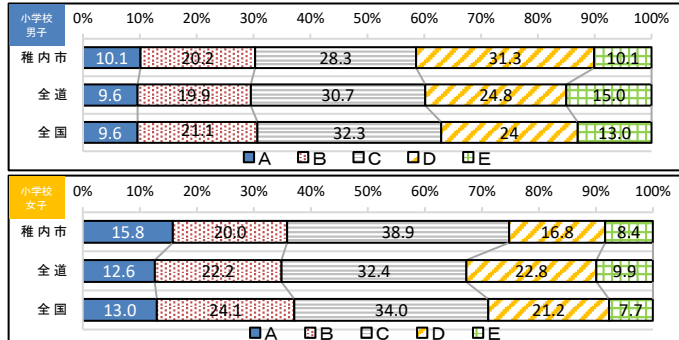
【中学校】



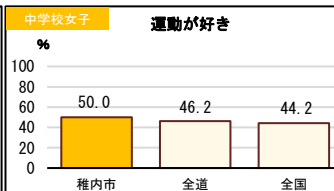
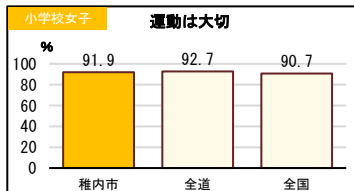
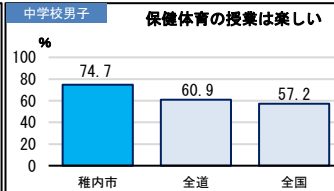
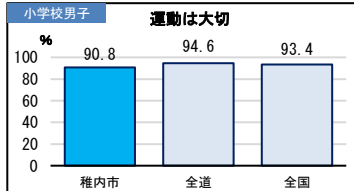
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



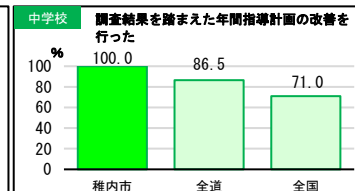
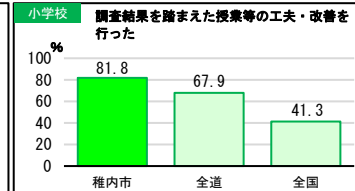
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、「運動は大切」と肯定的に回答した女子の割合及び体力合計点が、男女ともに全国平均を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を図ったことにより、「保健体育の授業は楽しい」と回答した男子の割合及び「運動が好き」と回答する女子の割合が、全国平均を上回ったと考えられる。

【稚内市の体力向上策】

- ◎ 運動習慣の定着を目的とした親子スポーツ教室やジュニアスポーツスクールの開催
- ◎ 子育て運動と連動した「早寝、早起き、朝ご飯」などの生活習慣確立の取組

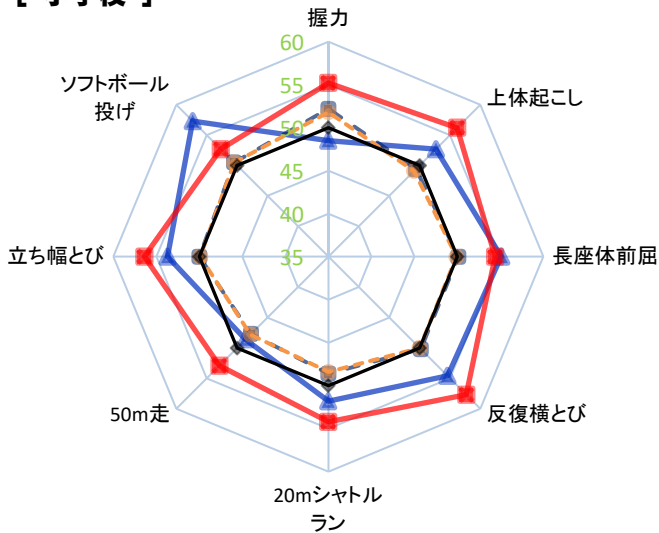


■ 猿払村内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校4校・児童数15名、中学校1校・生徒数28名)

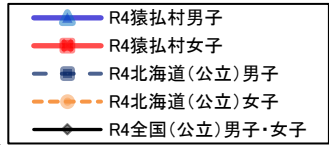
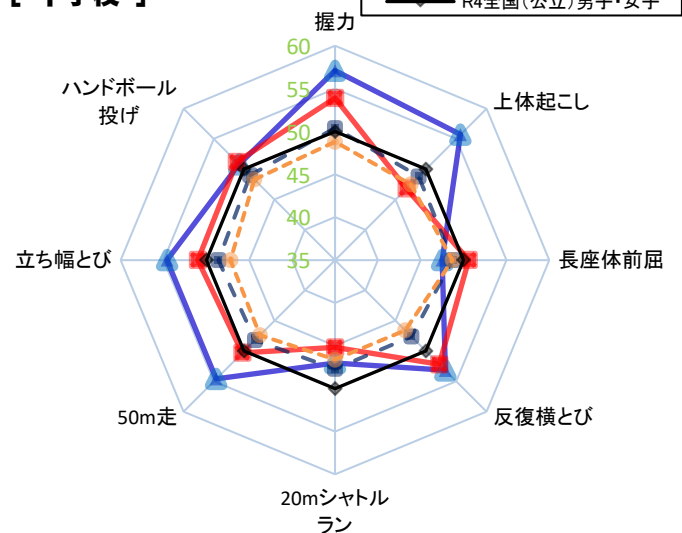
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

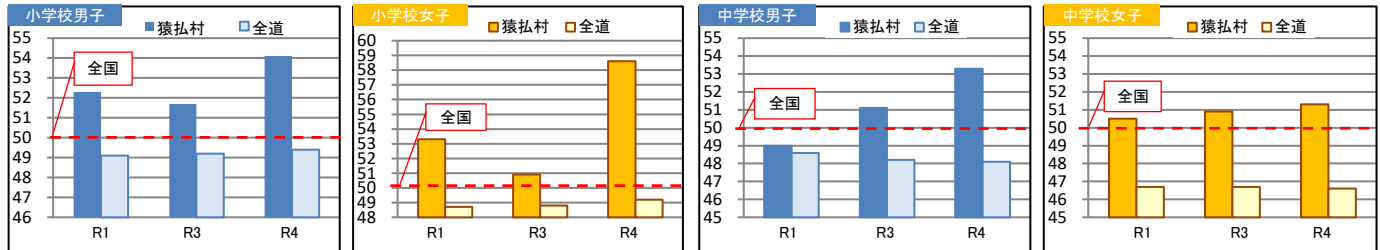
【小学校】



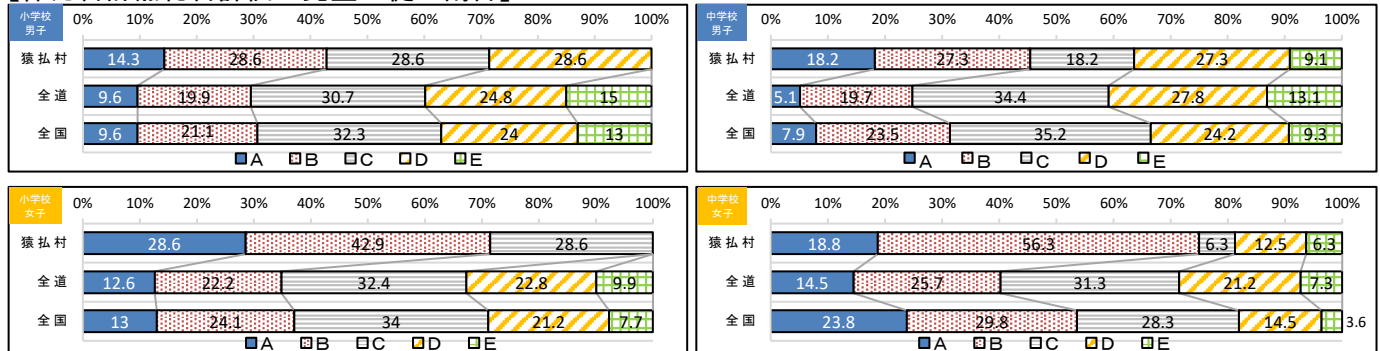
【中学校】



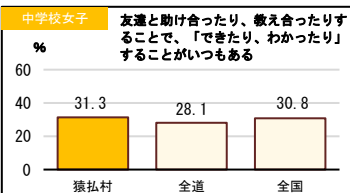
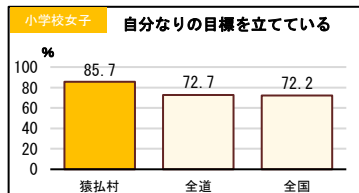
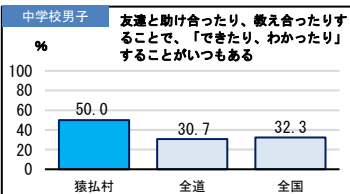
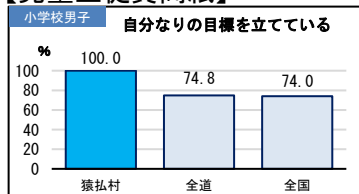
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



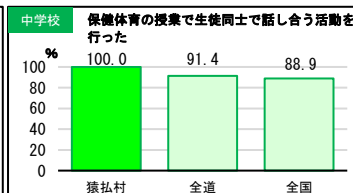
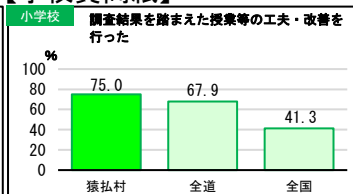
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、「自分なりの目標を立てている」と回答した児童の割合及び体力合計点が、男女ともに全国平均を上回ったと考えられる。

<中学校>  
学校において、保健体育の授業で生徒同士で話し合う活動を全学年で実施したことにより、「友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で『できたり、わかったり』することがいつもある」と回答した生徒の割合及び体力合計点が、男女ともに全国平均を上回ったと考えられる。

【猿払村の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果分析に基づく、体力向上に向けた取組の促進
- ◎ 体力テストの結果のデータ診断料の公費負担及び細かい分析の実施による運動指導の充実や児童生徒の意欲向上に向けた取組の推進

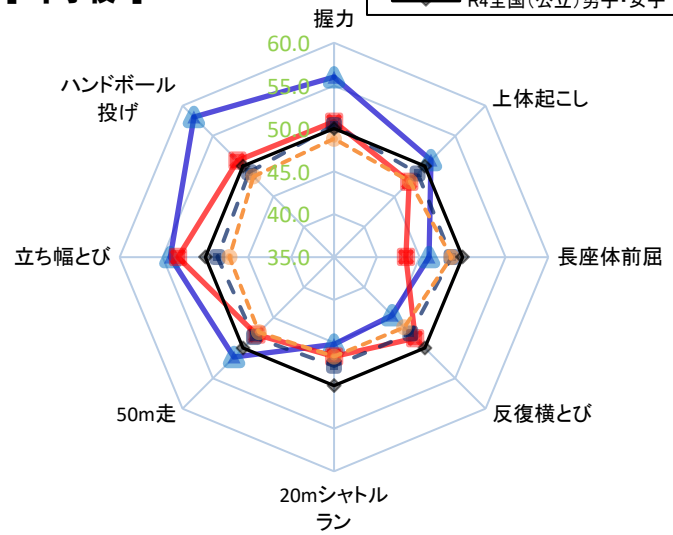
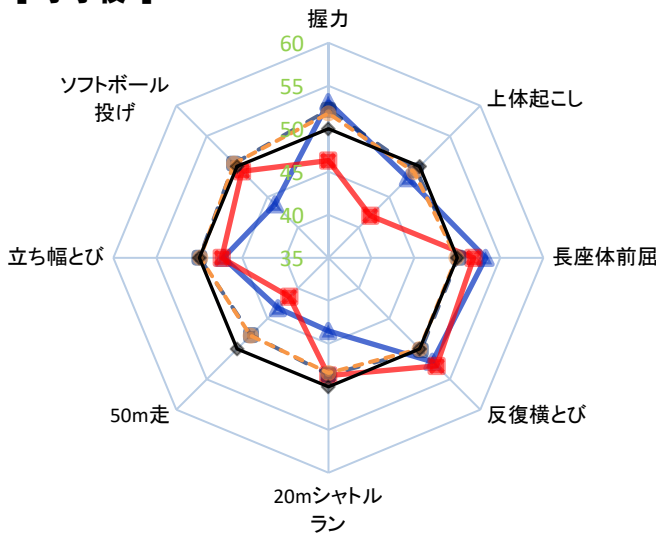
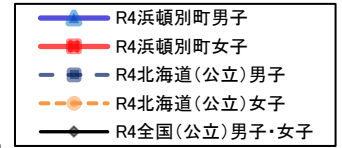
■ 浜頓別町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数16名、中学校1校・生徒数23名)

【各種目の状況】

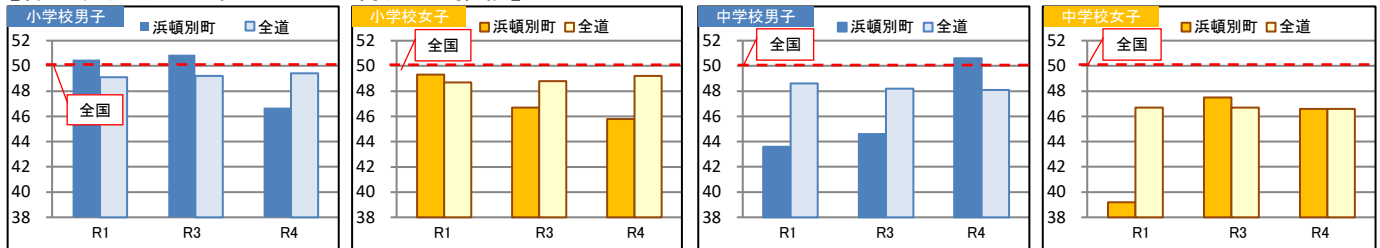
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

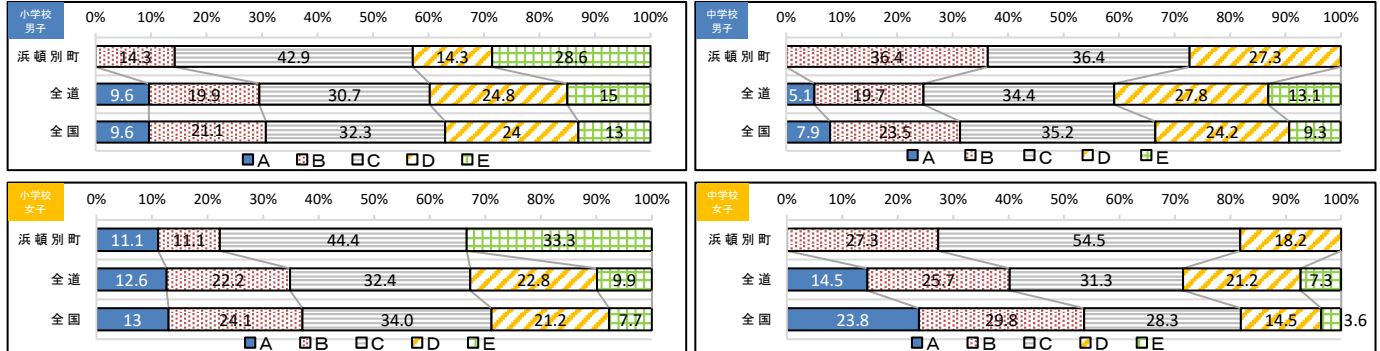
【中学校】



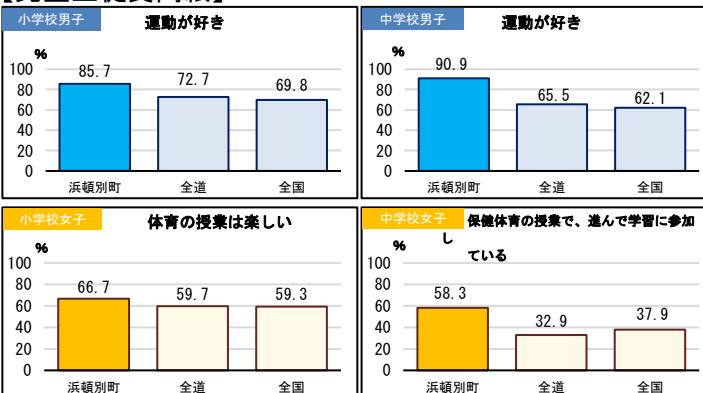
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



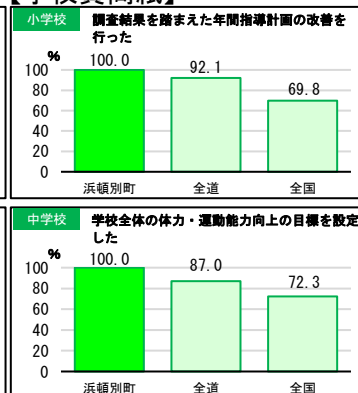
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
学校において、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を行ったことにより、「運動が好き」「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合が、全国平均を上回ったと考えられる。

<中学校>  
学校において、学校全体の体力・運動能力向上の目標設定を行ったことにより、「運動が好き」「体育の授業で、進んで学習に参加している」と回答した生徒の割合及び男子の体力合計点が、全国平均を上回ったと考えられる。

【浜頓別町の体力向上策】

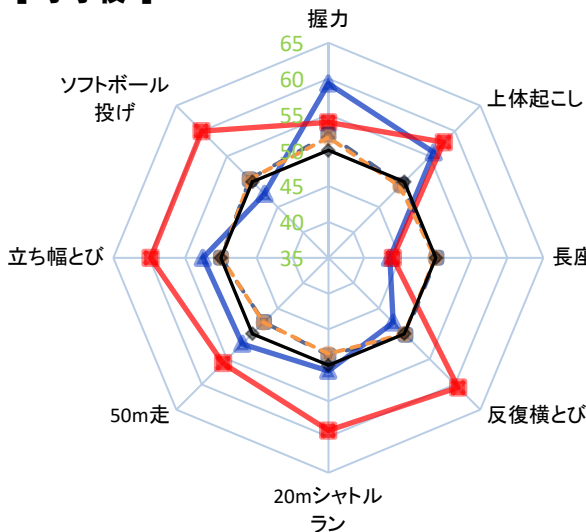
- ◎ 「放課後運動教室」をはじめとする、体力の向上を図る各種事業の実施
- ◎ 長期休業期間における水泳教室やスキー教室などの実施

■ 中頓別町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数14名、中学校1校・生徒数6名)

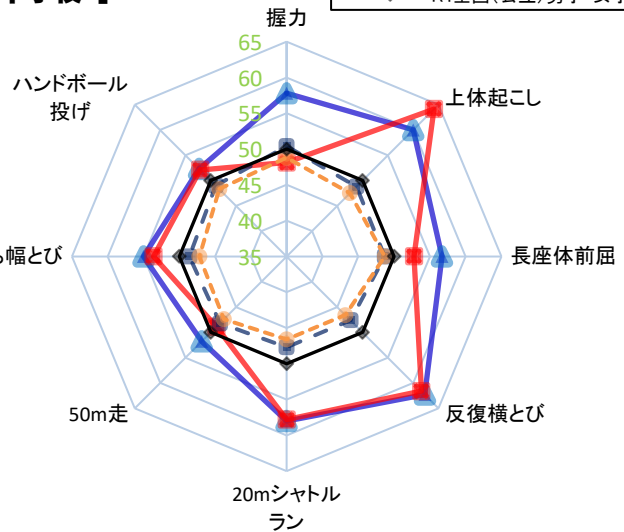
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

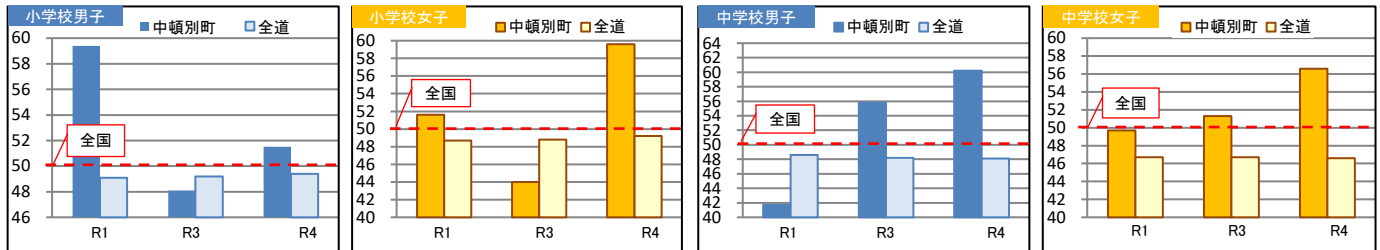
【小学校】



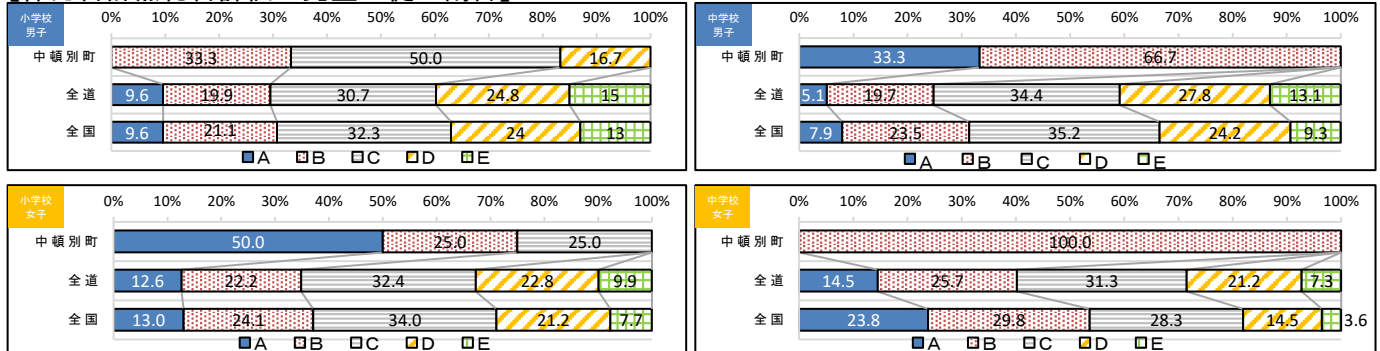
【中学校】



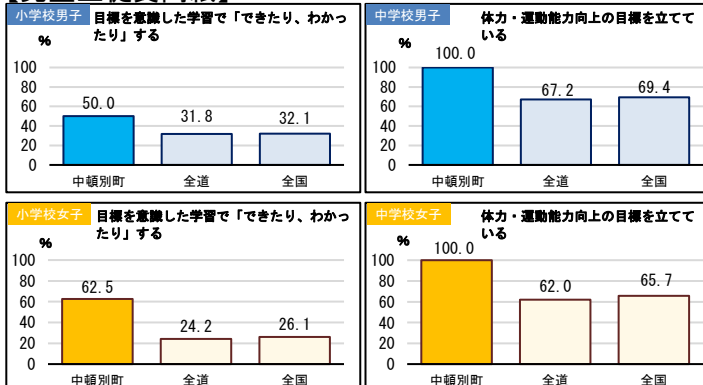
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



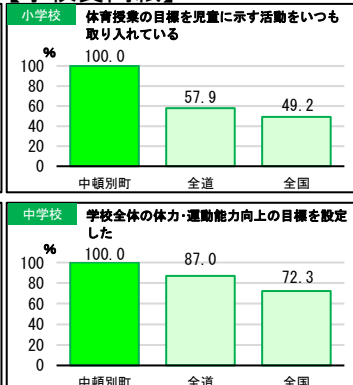
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
学校において、体育授業の目標を児童に示す活動をいつも取り入れたことにより、「目標を意識した学習で『できたり、わかったり』する」と回答した児童の割合及び体力合計点が、男女とも全国平均を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校において、学校全体の体力・運動能力向上の目標を設定したことにより、「体力・運動能力向上の目標を立てている」と回答した生徒の割合及び体力合計点が、男女とも全国平均を上回ったと考えられる。

【中頓別町の体力向上策】

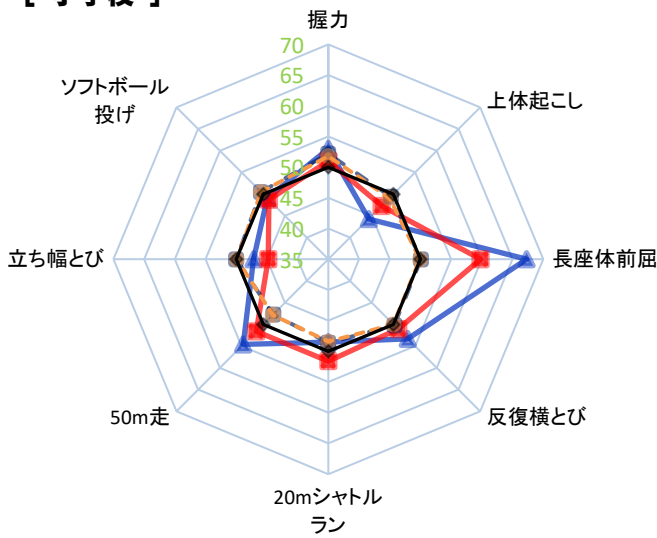
- ◎ 各種スポーツ団体と連携した授業づくりなど、学校における体育の授業改善に向けた取組
- ◎ 各種スポーツ教室や町主催のスポーツ大会の開催による運動機会の拡充

■ 枝幸町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校7校・児童数47名、中学校3校・生徒数56名)

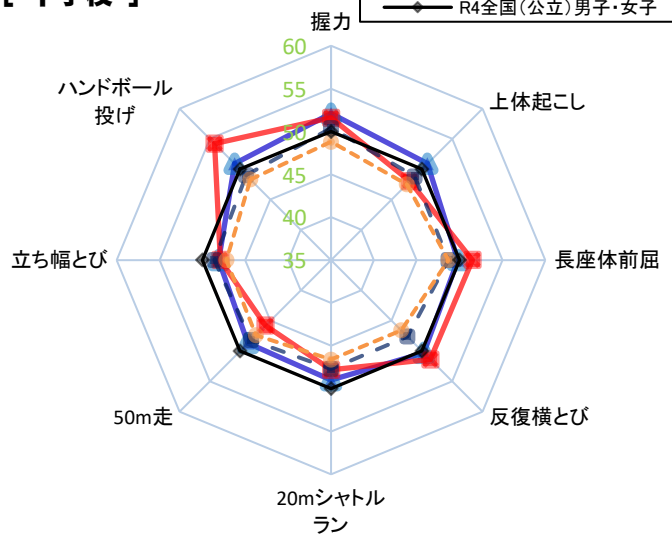
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

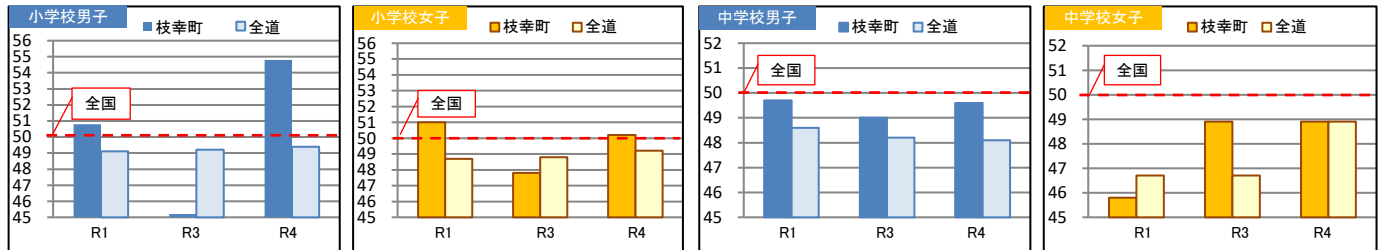
【小学校】



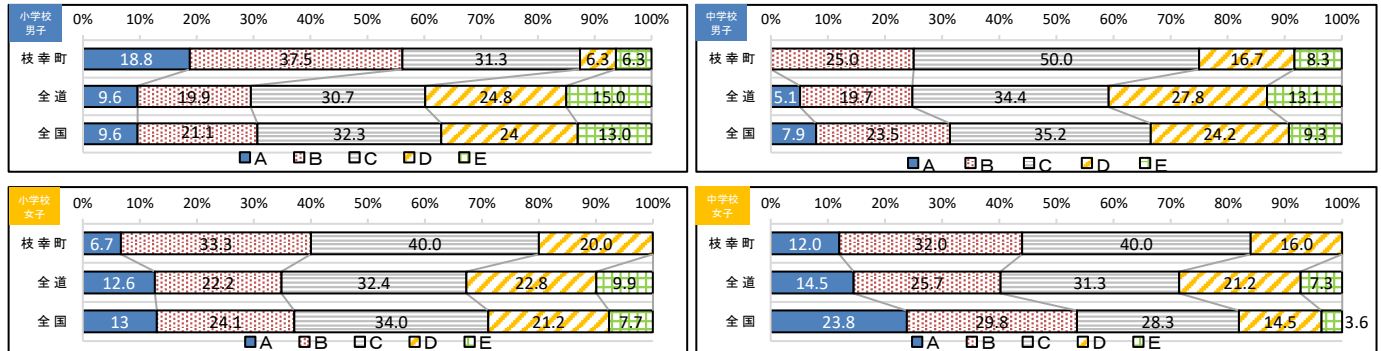
【中学校】



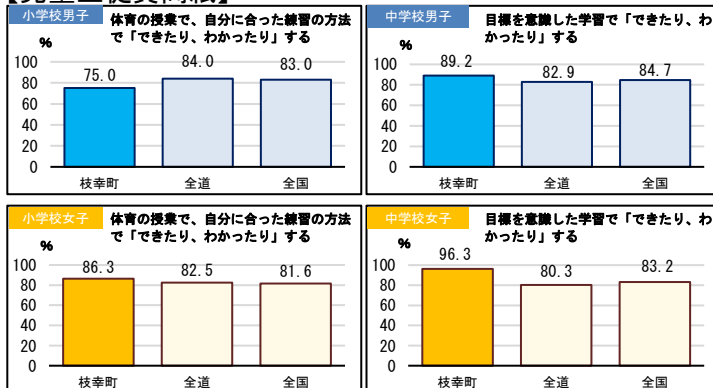
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



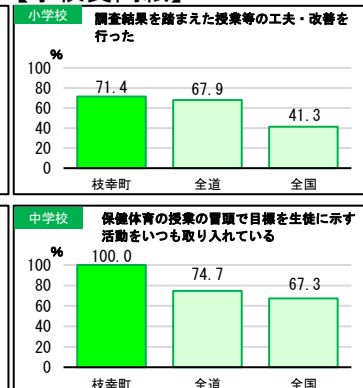
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、「体育の授業で自分に合った練習の方法で『できたり、わかったり』する」と肯定的な回答をした女子の割合及び体力合計得点が、男女とも全国平均を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育の授業の冒頭で目標を生徒に示す活動をいつも取り入れたことにより、「目標を意識した学習で『できたり、わかったり』する」と肯定的な回答をした生徒の割合が、全国平均を上回ったと考えられる。

【枝幸町の体力向上策】

◎ スポーツ推進委員や各種スポーツ団体と連携したスポーツに親しむ機会の拡充

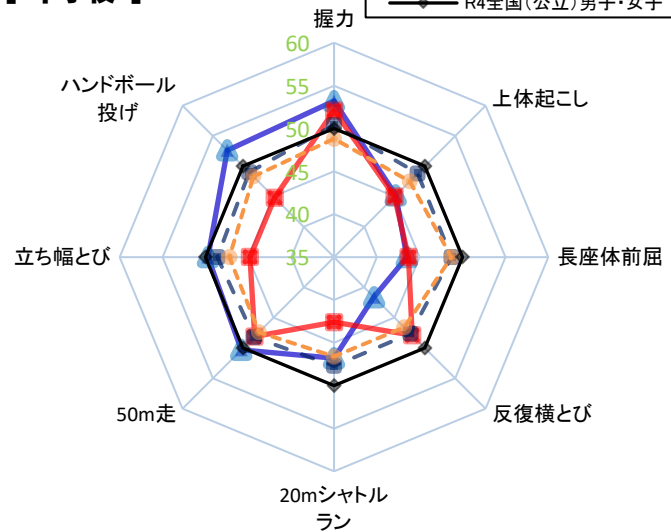
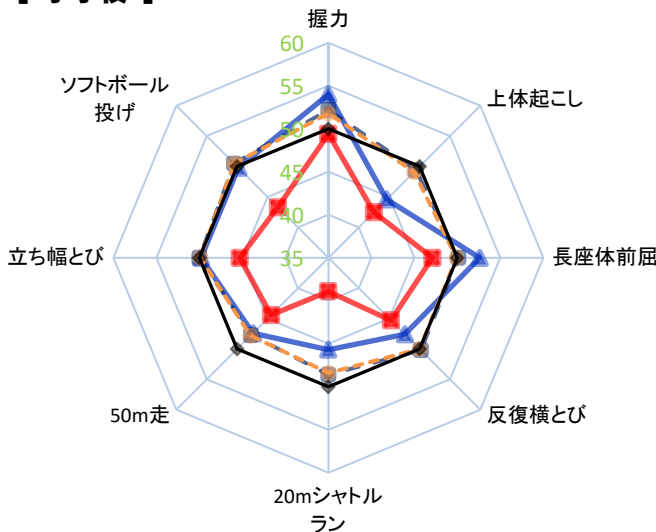
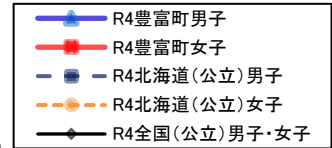
■ 豊富町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校2校・児童数29名、中学校2校・生徒数25名)

【各種目の状況】

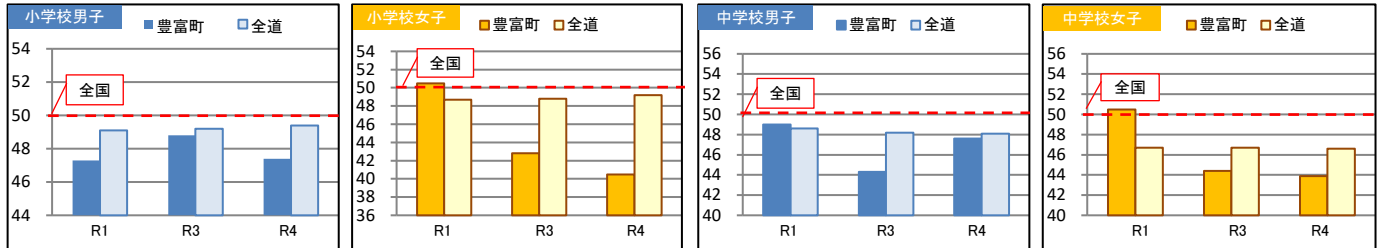
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

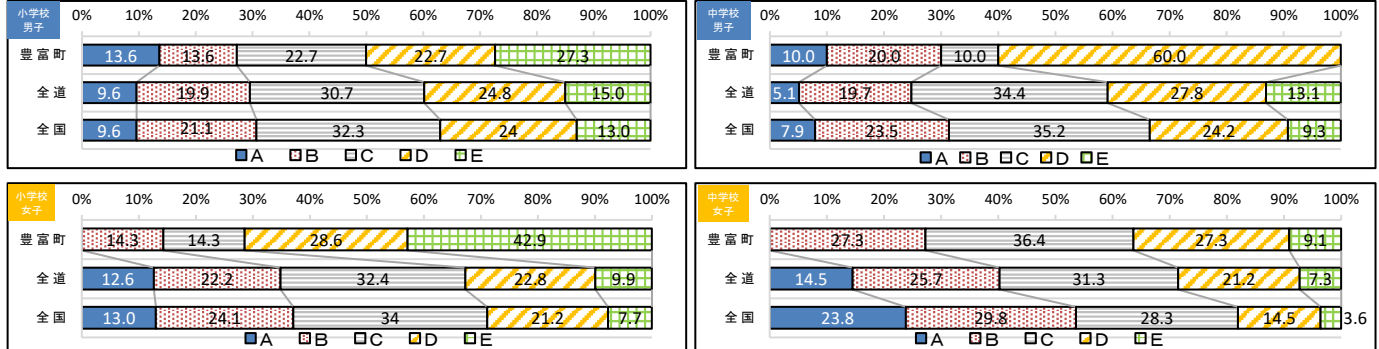
【中学校】



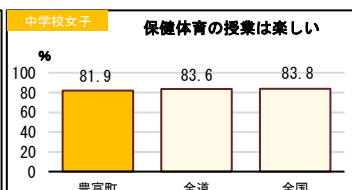
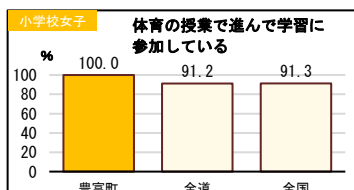
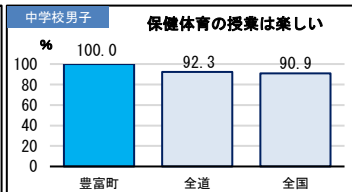
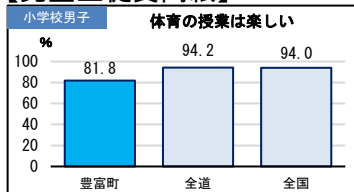
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



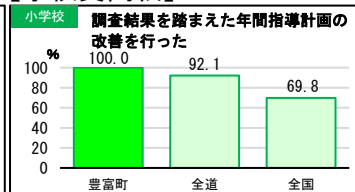
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善をしたことにより、「体育の授業で進んで学習に参加している」と肯定的に回答した女子の割合が、全国平均を上回り、「体育の授業は楽しい」と回答した男子の割合が、全国平均に近付いたと考えられる。

<中学校>  
各学校において、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善をしたことにより、「体育の授業は楽しい」と回答した男子の割合が、全国平均を上回り、女子の割合が、全国平均に近付いたと考えられる。

【豊富町の体力向上策】

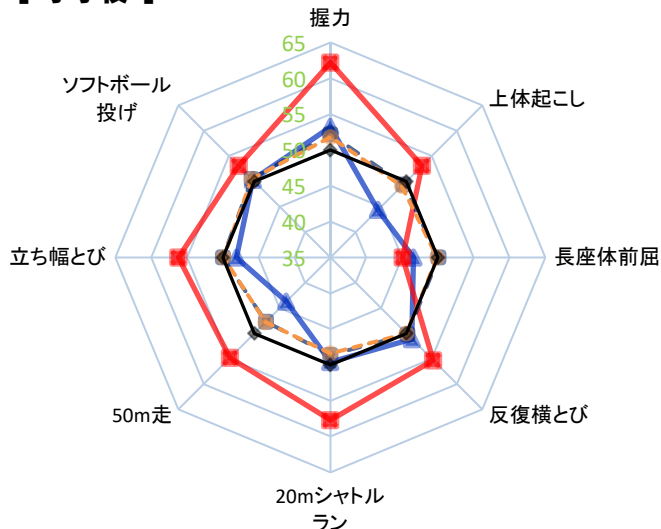
- ◎ 家庭や地域と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」の取組の促進
- ◎ 親子で参加できる健康づくり、体力づくり活動として「とよとみスポーツclub」の定期開催

■ 礼文町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校3校・児童数19名、中学校2校・生徒数23名)

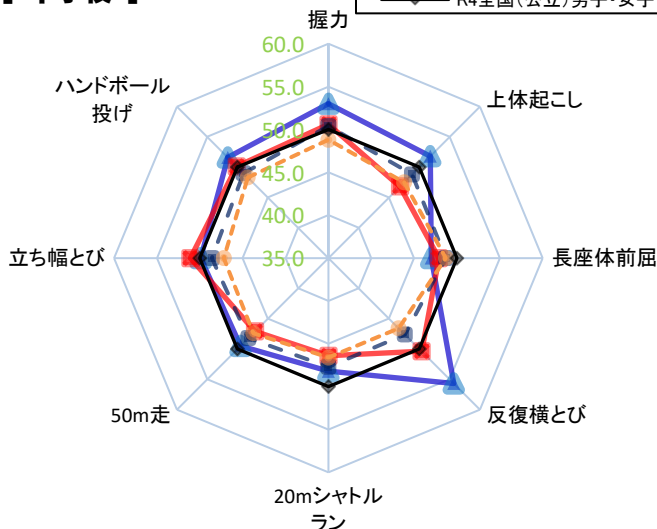
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

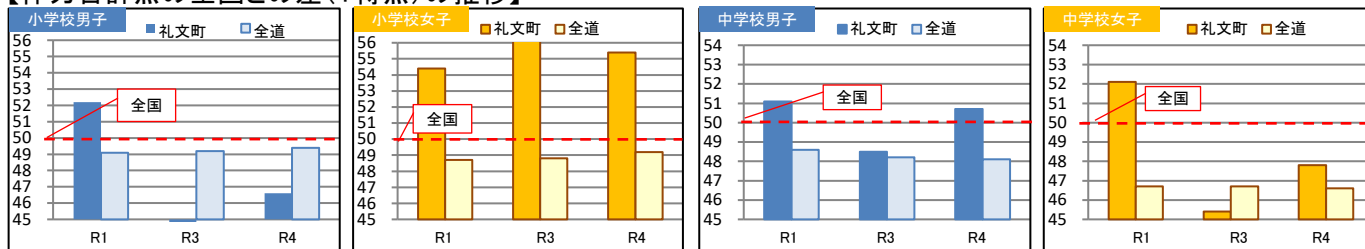
【小学校】



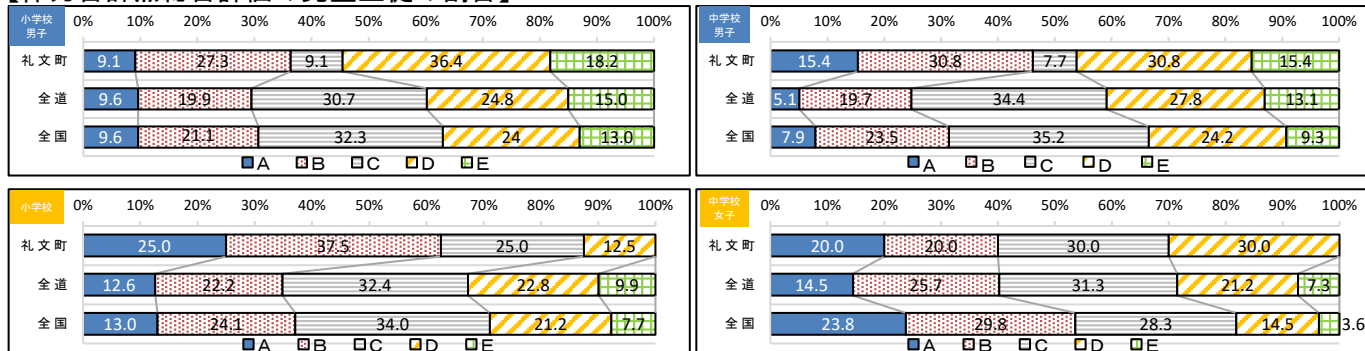
【中学校】



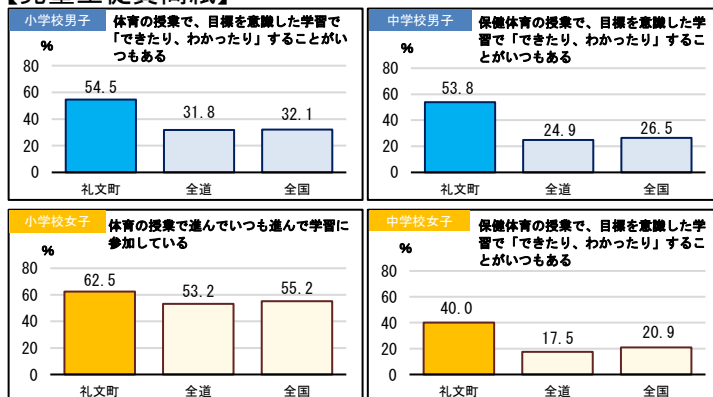
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



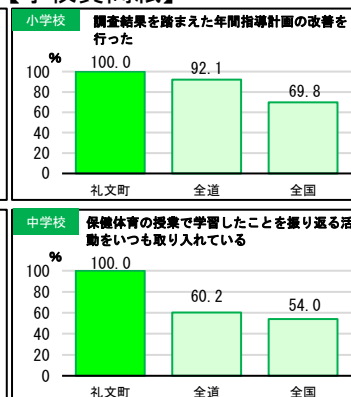
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を行ったことにより、「体育の授業で目標を意識した学習で『できたり、わかったり』することがいつもある」「体育の授業でいつも進んで学習に参加している」と回答した児童の割合及び女子の体力合計点が、全国平均を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育の授業で学習したことを振り返る活動をいつも取り入れたことにより、「保健体育の授業で、目標を意識した学習で『できたり、わかったり』することがいつもある」と回答した生徒の割合及び男子の体力合計点が、全国平均を上回ったと考えられる。

【礼文町の体力向上策】

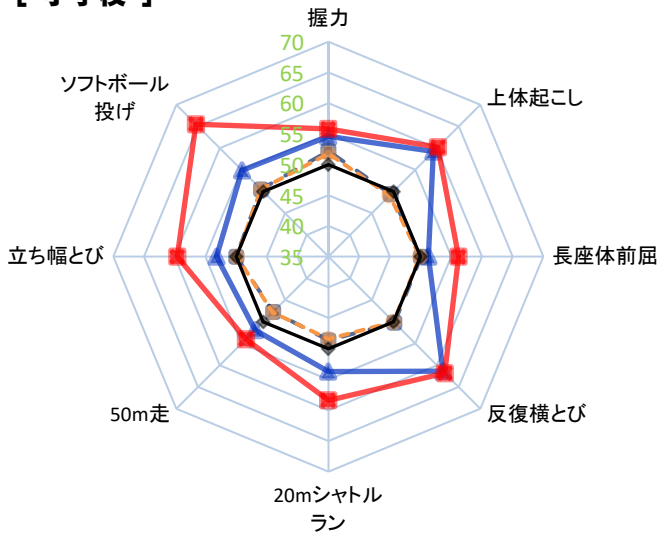
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた「体力向上プラン」の見直し
- ◎ 朝・放課後を利用したなわとびやマラソン等の実施

■ 利尻町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校2校・児童数11名、中学校1校・生徒数13名)

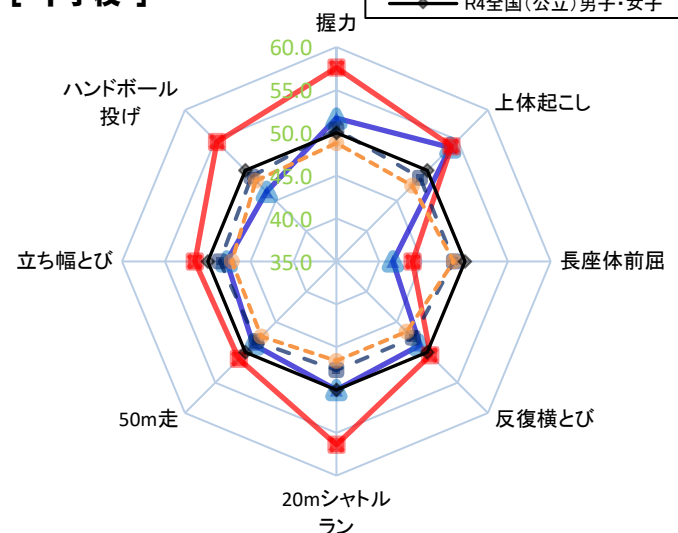
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

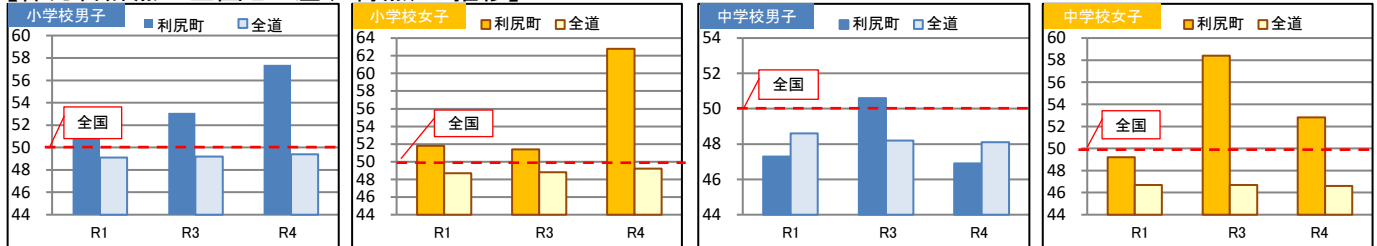
【小学校】



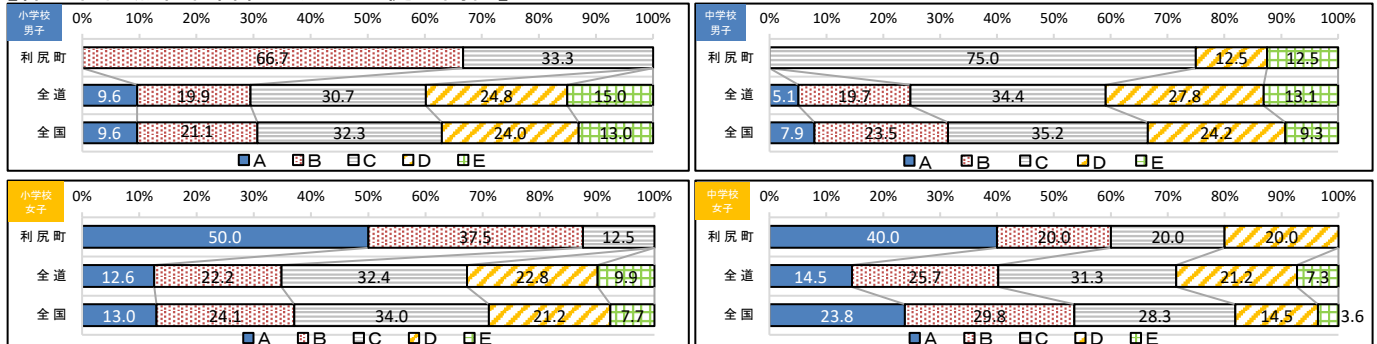
【中学校】



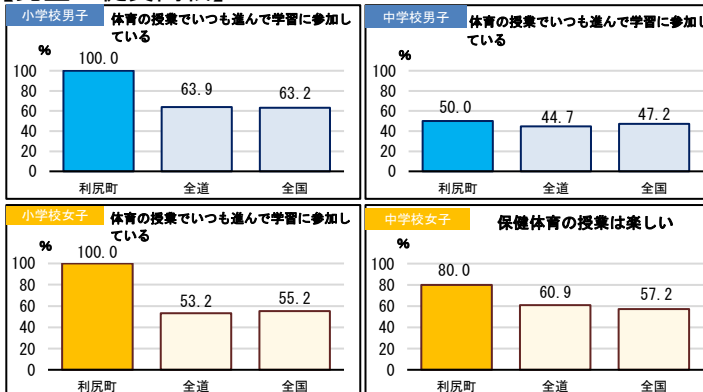
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



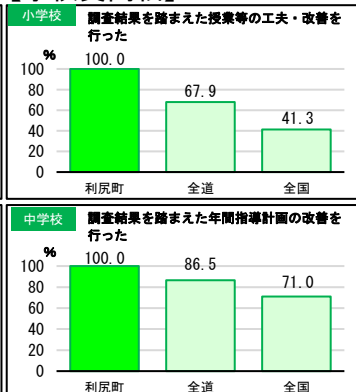
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、「体育の授業でいつも進んで学習に参加している」と回答した児童の割合及び体力合計点が、男女ともに全国平均を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校において、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を行ったことにより、「体育の授業でいつも進んで学習に参加している」「保健体育の授業は楽しい」と回答する生徒の割合及び女子の体力合計点が、全国平均を上回ったと考えられる。

【利尻町の体力向上策】

- ◎ 「子どもの体力向上ボトムアップ事業」を活用した、専門家と連携した体力向上の取組
- ◎ 「利尻島1周ふれあいサイクリング大会」や「しまっことはつらつマラソン大会」、「町民スキー大会」の開催など、社会教育プログラムの充実

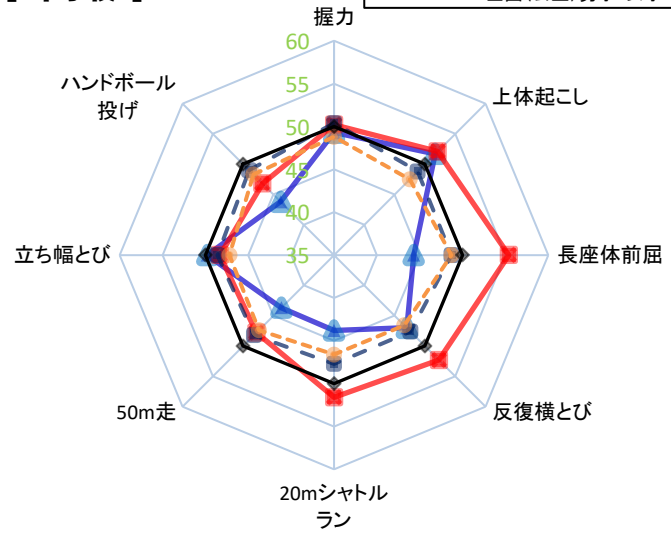
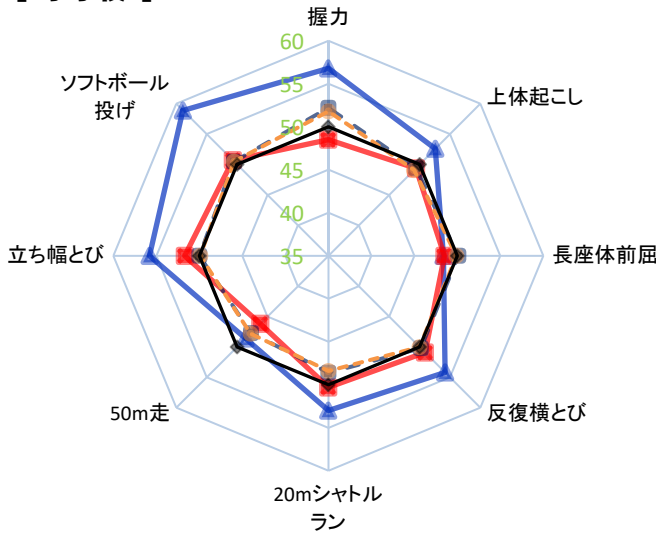
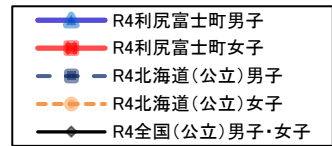
■ 利尻富士町(町村)内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数21名、中学校2校・生徒数16名)

【各種目の状況】

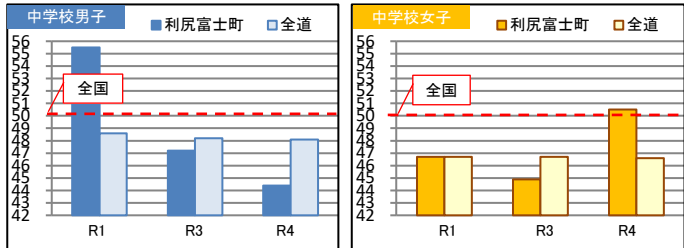
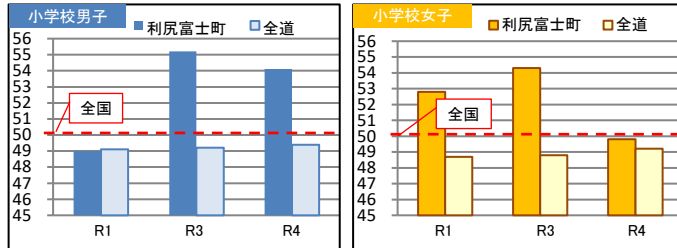
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

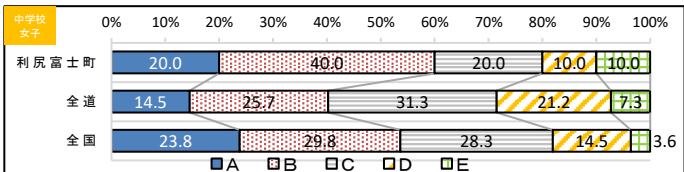
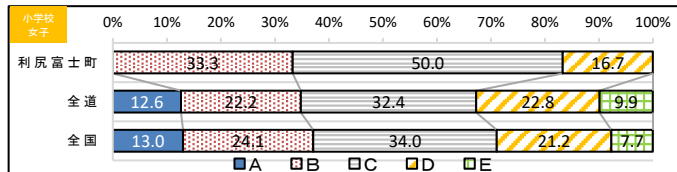
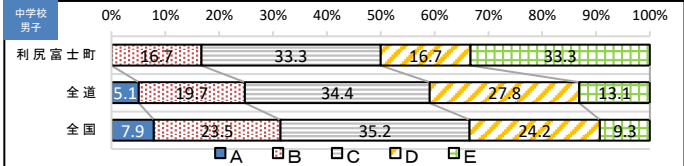
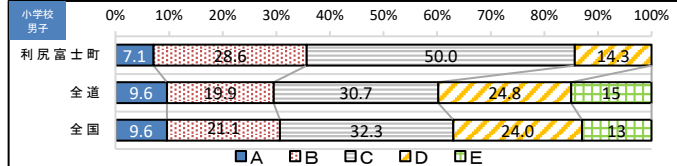
【中学校】



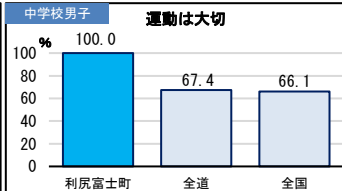
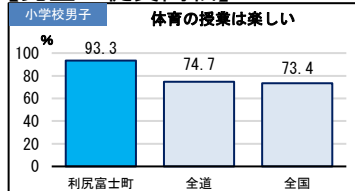
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



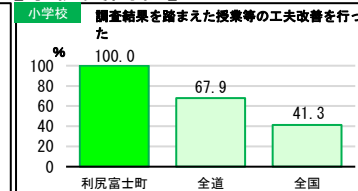
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】

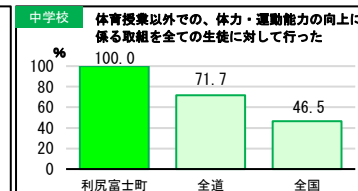
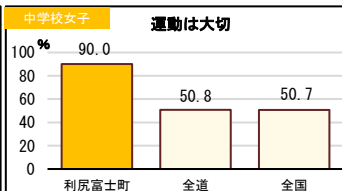
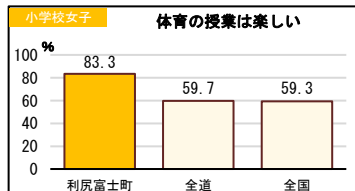


【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫改善を行ったことにより、「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合及び男子の体力合計点が、全国平均を上回ったと考えられる。



＜中学校＞  
各学校において体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を全ての生徒に対して行ったことにより、「運動は大切」と回答した生徒の割合及び男子の体力合計点が、全国平均を上回ったと考えられる。

【利尻富士町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 家庭や地域と連携を図った運動機会を確保する取組の充実

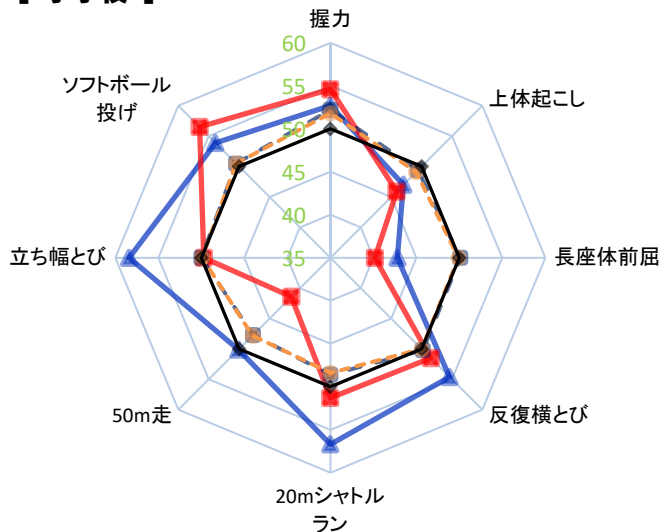


■ 幌延町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数20名、中学校2校・生徒数16名)

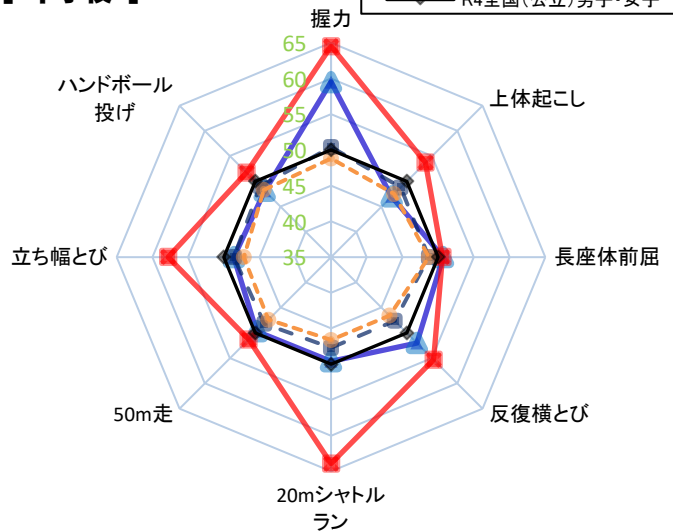
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

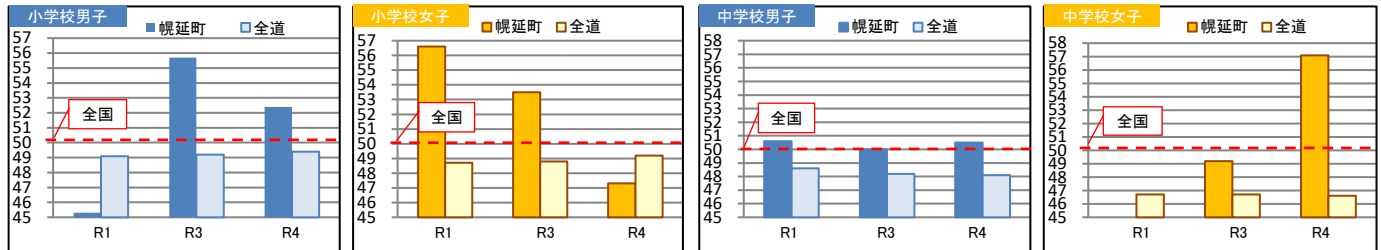
【小学校】



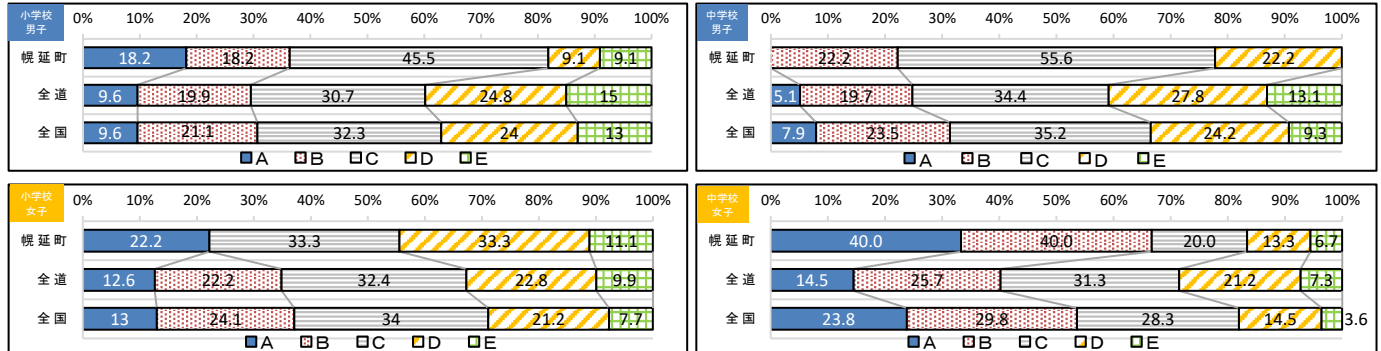
【中学校】



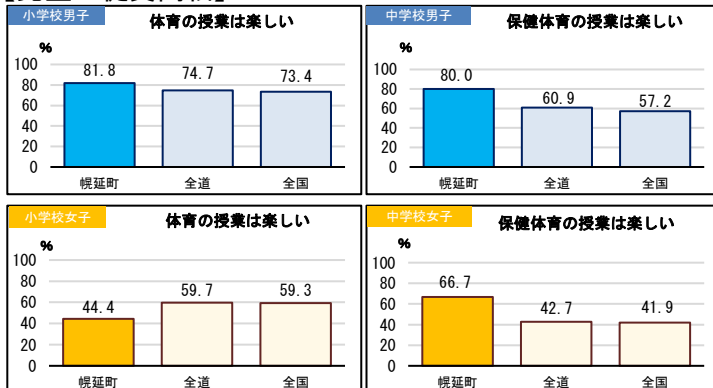
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



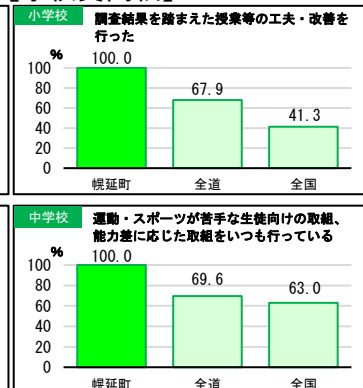
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、「体育の授業は楽しい」と回答した男子の割合及び男子の体力合計得点が、全国平均得点を上回ったと考えられる。

<中学校>  
各学校において、運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組をいつも行っていることにより、「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒の割合及び体力合計得点が、男女とも全国を上回ったと考えられる。

【幌延町の体力向上策】

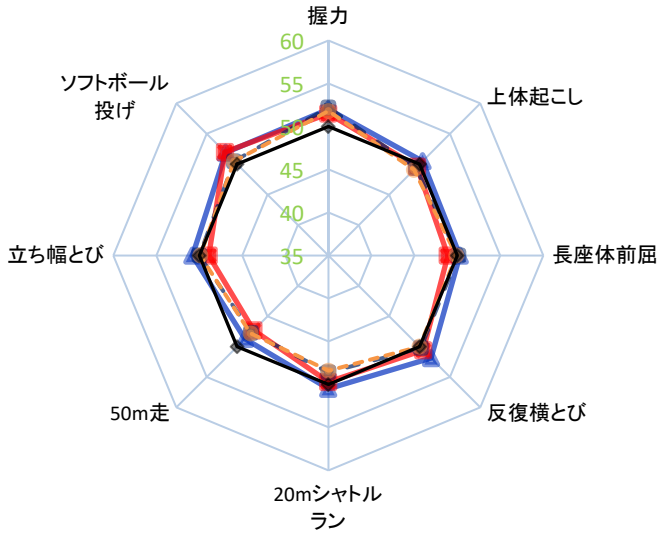
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 体育エキスパート教員巡回指導事業を導入することによる教員の指導力の向上の推進
- ◎ 家庭や地域と連携を図った運動機会を確保する取組の充実

■ 北見市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校24校・児童数801名、中学校14校・生徒数839名)

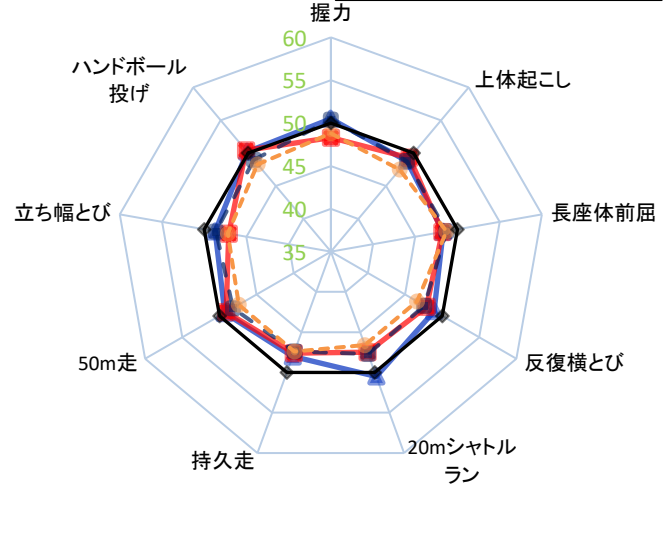
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

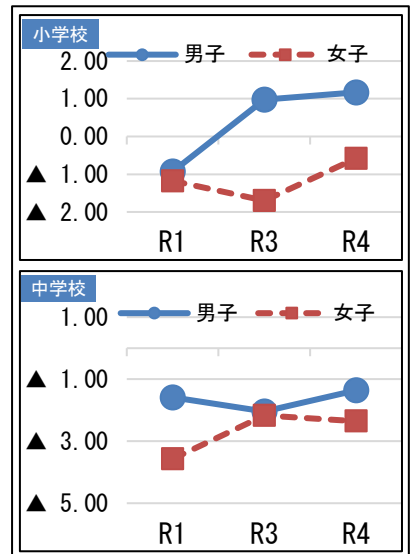
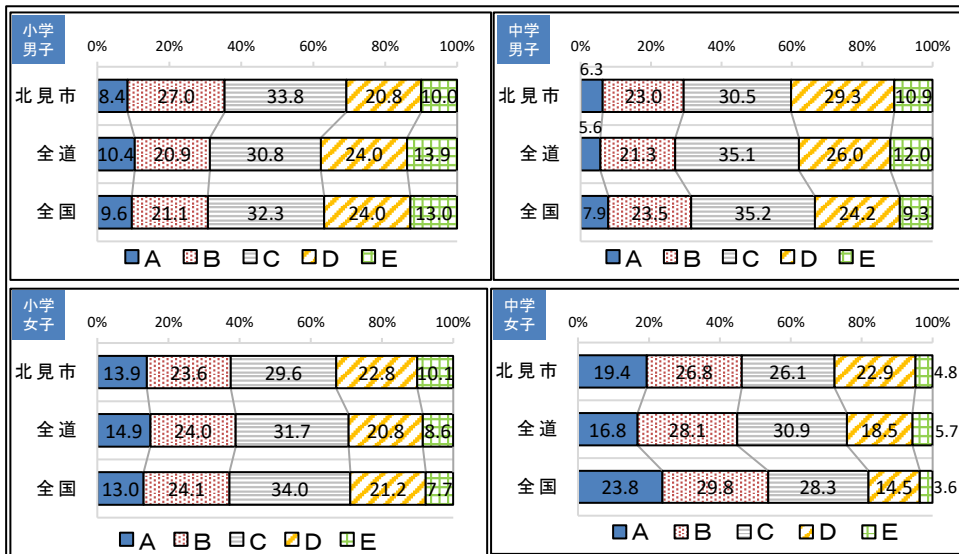


【中学校】



【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】

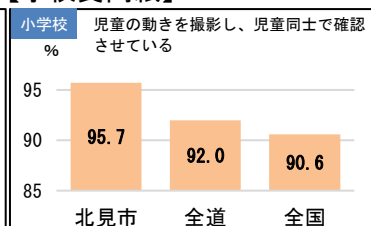
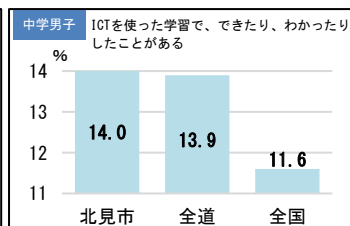
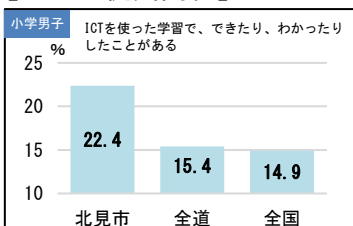
【体力合計点の全国との差の推移】



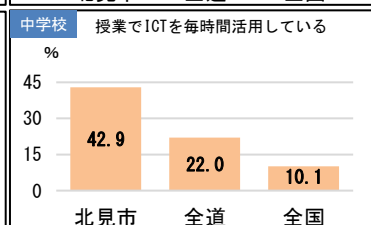
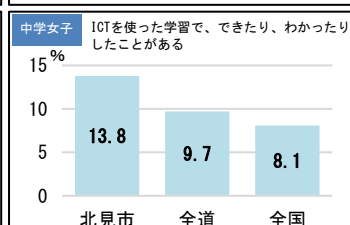
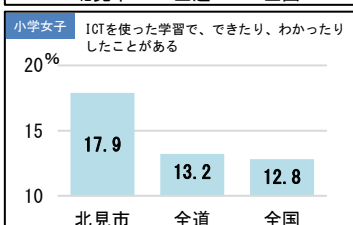
【児童生徒質問紙】

【学校質問紙】

【分析】



＜小学校＞  
各学校において、体育授業でICTを活用して児童の動きを撮影し、児童同士で確認する取組を行ったことにより、授業改善が図られ、男女ともに授業で「できたり、わかったりしたことがある」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。



＜中学校＞  
各学校において、保健体育授業でICTを毎時間活用することにより、授業改善が図られ、男女ともに授業で「できたり、わかったりしたことがある」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【北見市の体力向上策】

- ◎ 新体力テストの全学年実施と分析による指導計画「体力向上プラン」の改善と取組の推進
- ◎ 北見市体力向上推進委員会による、小・中学校及び幼稚園・認定こども園・保育園等の教職員を対象とした実技講習会の実施
- ◎ 体力・運動能力の向上のための目標(値)の設定

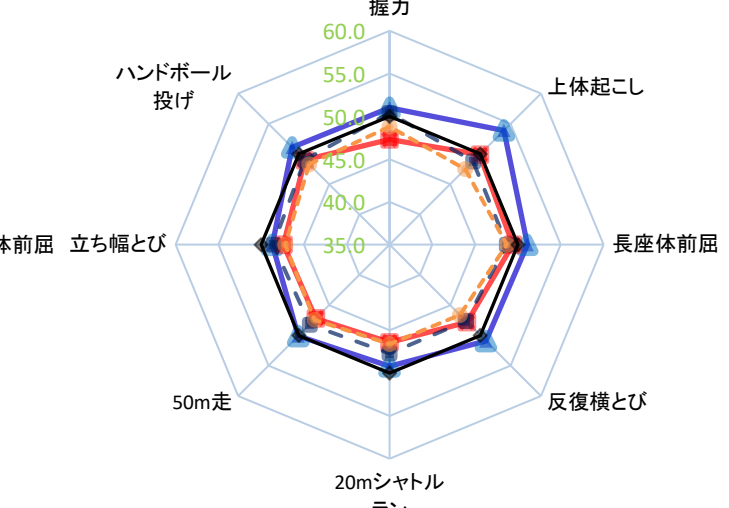
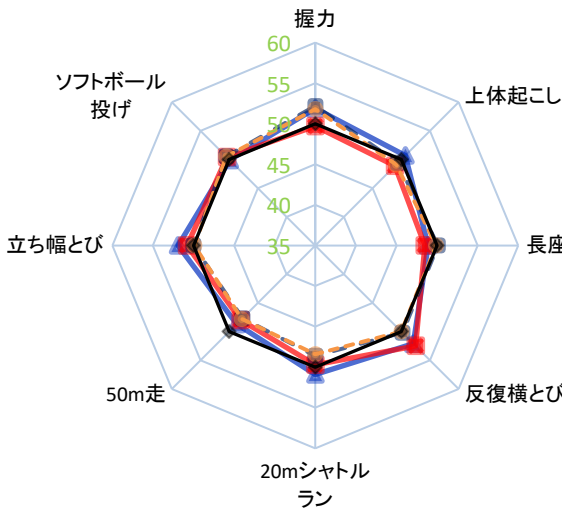
■ 網走市内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校9校・児童数268名、中学校6校・生徒数237名)

【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

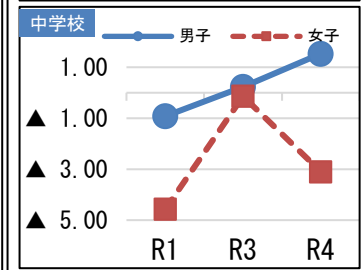
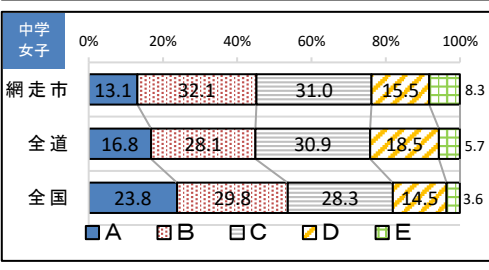
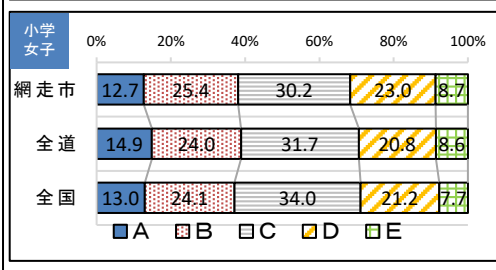
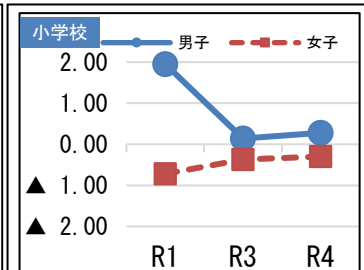
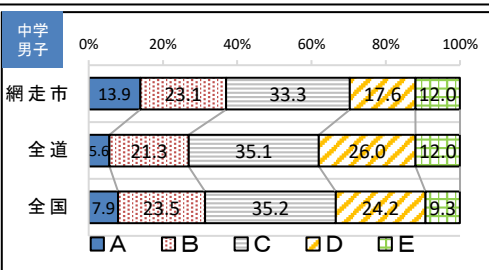
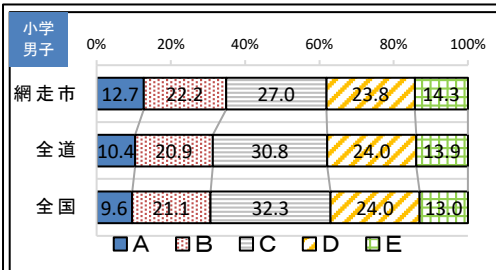
【小学校】

【中学校】



【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】

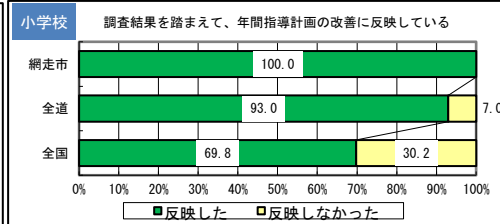
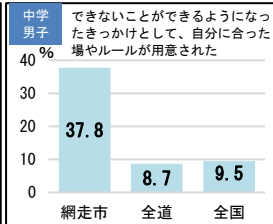
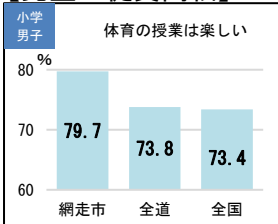
【体力合計点の全国との差の推移】



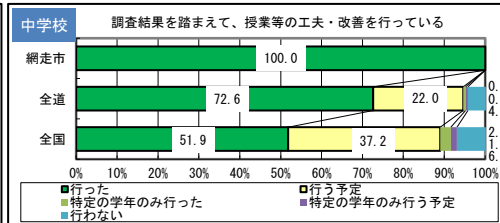
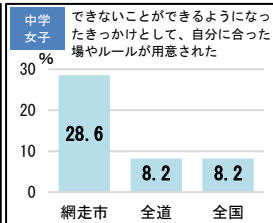
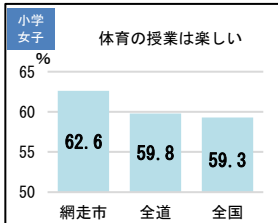
【児童生徒質問紙】

【学校質問紙】

【分析】



＜小学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映したことにより、授業改善が図られ、男女ともに授業は楽しいと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。



＜中学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったことにより、授業改善が図られ、男女ともにできないことができるようになったきっかけとして、自分に合った場やルールが用意されたと回答する生徒が全国及び全道平均を上回ったと考えられる。

【網走市の体力向上策】

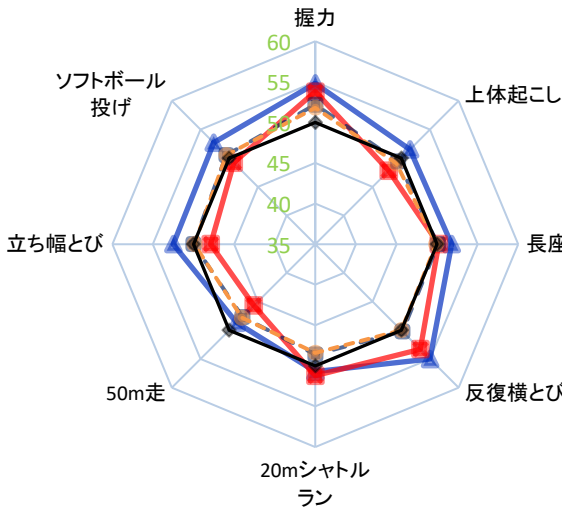
- ◎ 各学校における体力・運動能力の向上のための目標(値)の設定
- ◎ 1校1実践の取組の充実
- ◎ タグラグビーの取組の充実
- ◎ 「オホーツク網走マラソン」等、各種スポーツ大会への参加促進
- ◎ 大学教員による、児童を対象とした体育の授業を実施
- ◎ 教員を対象とした、体育授業改善研修会の開催
- ◎ 体育及び保健体育の授業におけるICT機器活用の促進

■ 紋別市内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校6校・児童数148名、中学校3校・生徒数114名)

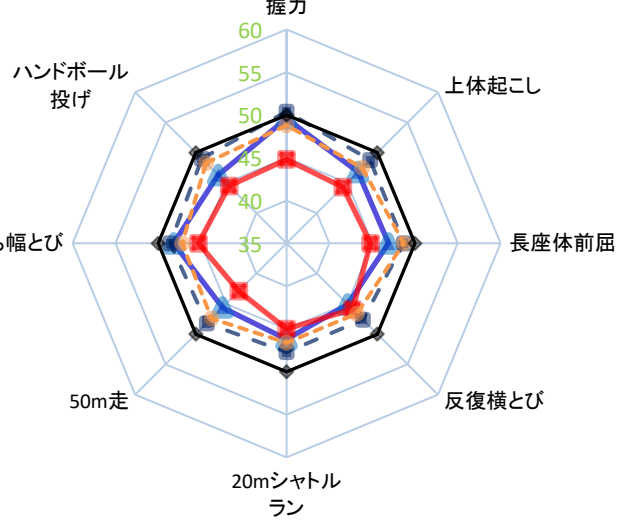
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

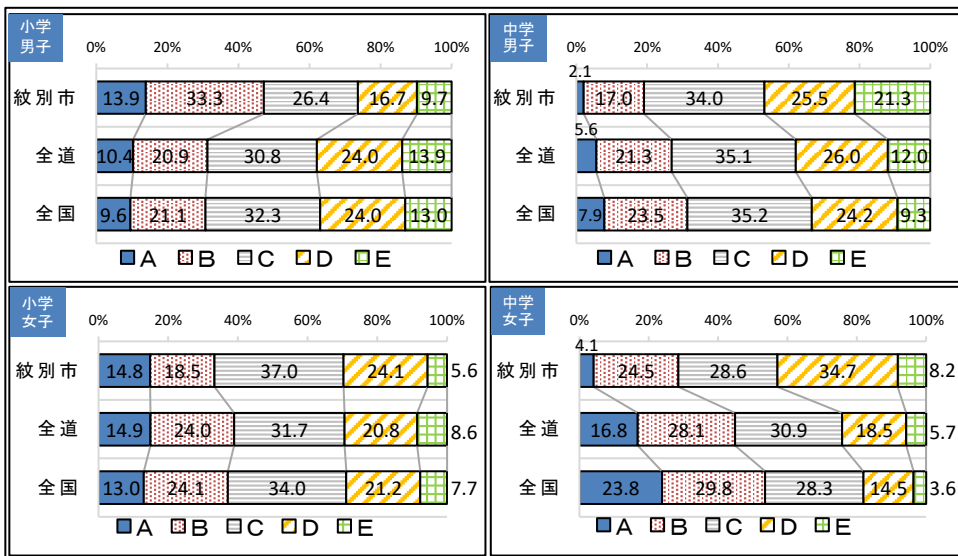
【小学校】



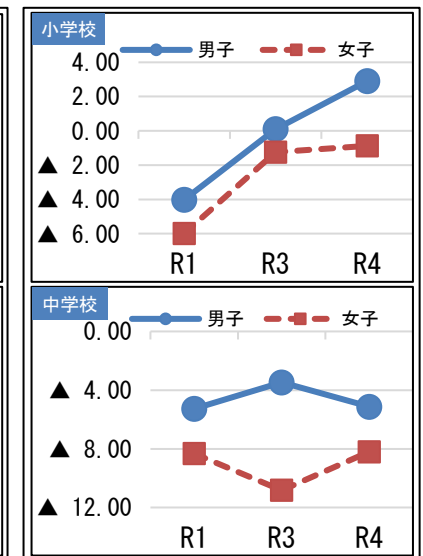
【中学校】



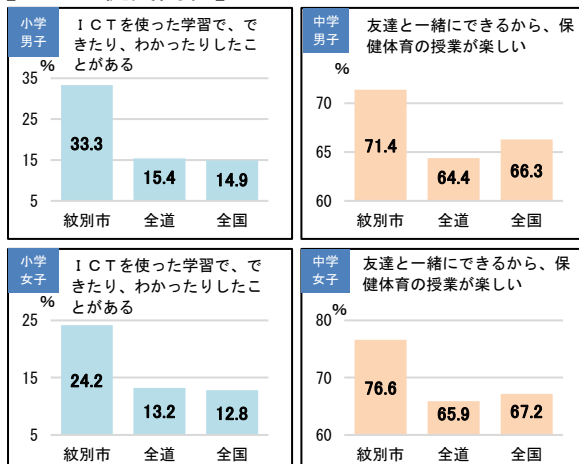
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



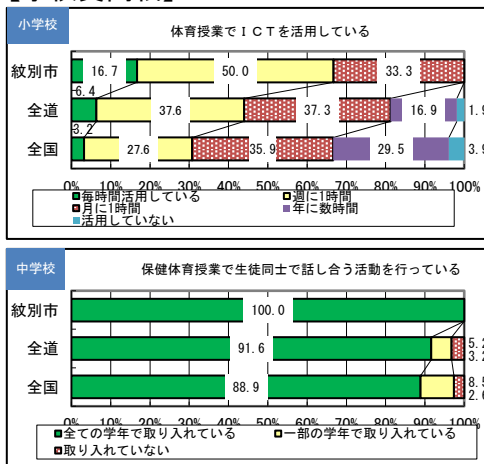
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育授業でICTを毎時間活用したことにより、ICTを使った学習で、できたり、わかったりしたことがあると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育授業で生徒同士で話し合う活動を行ったことにより、学び合いが増え、男女ともに友達と一緒にできるから、保健体育の授業が楽しいと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【紋別市の体力向上策】

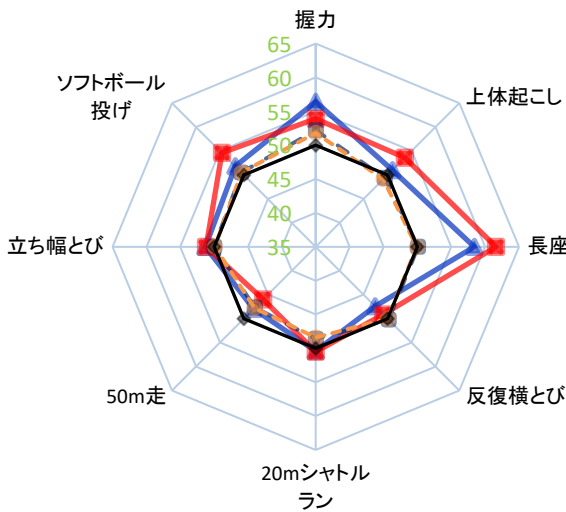
- ◎ スポーツ振興課コーチ(コンサドーレ札幌より派遣)による、体力の向上を図るための授業サポート及び教員向け研修会の実施
- ◎ 市広報誌を通した市全体の体力調査結果分析概要の公表
- ◎ 体育専科教員活用事業による体育授業の充実
- ◎ 「どさん子元気アップチャレンジ」を活用した縄跳び等、休み時間に取り組める運動の充実
- ◎ 体力・運動能力の向上のための目標(値)の設定

■ 美幌町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校3校・児童数128名、中学校2校・生徒数133名)

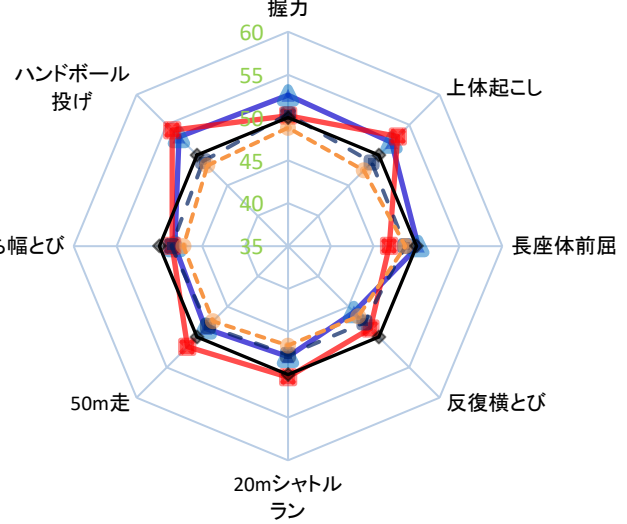
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

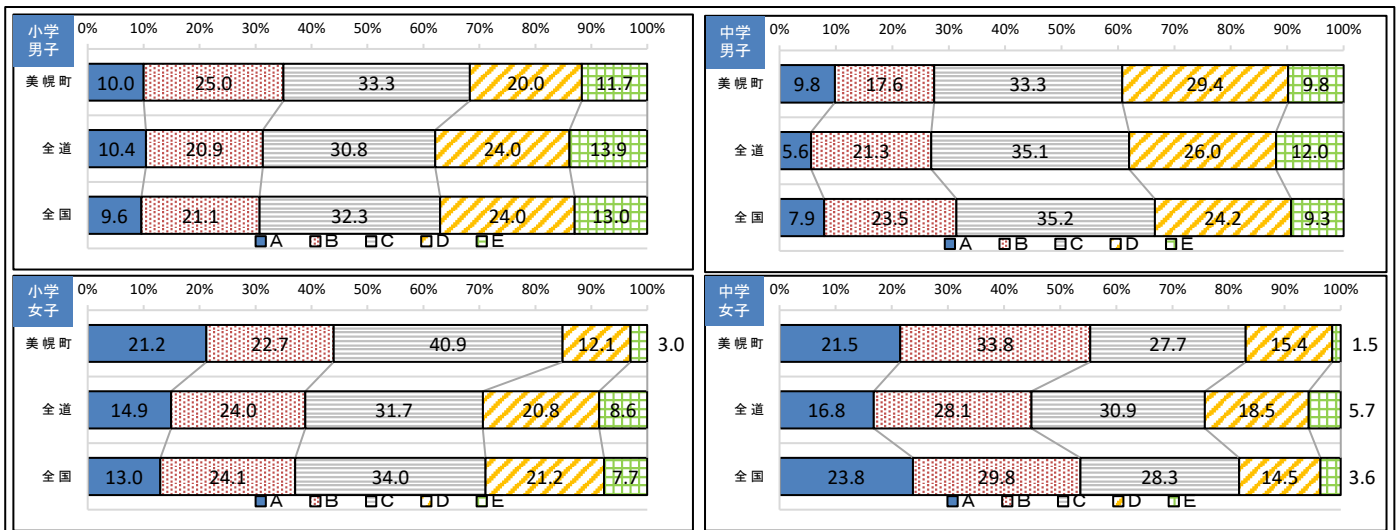
【小学校】



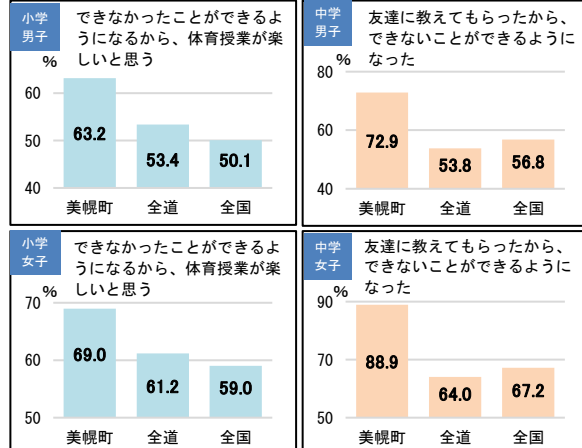
【中学校】



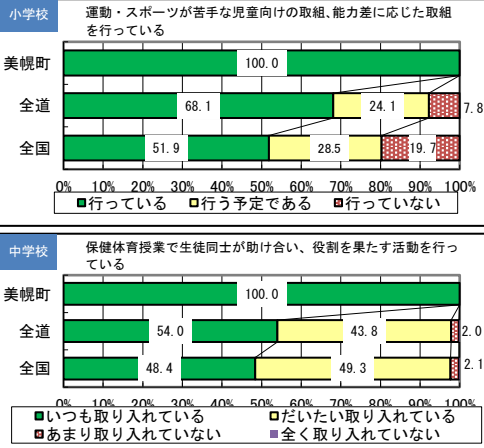
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、できなかったことができるようになるから、体育の授業が楽しいと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動を行ったことにより、学び合いが増え、男女ともに友達に教えてもらったから、できないことができるようになったと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【美幌町の体力向上策】

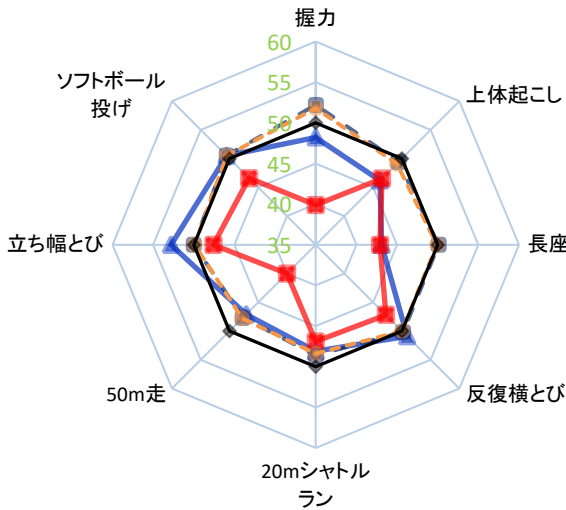
- ◎ 体育及び保健体育の研究等を柱とした授業改善
- ◎ 小学校のクラブ活動、中学校部活動への支援
- ◎ 家庭と連携した生活習慣等の改善
- ◎ 家庭・地域・社会の連携による運動する機会の確保

■ 津別町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数17名、中学校1校・生徒数20名)

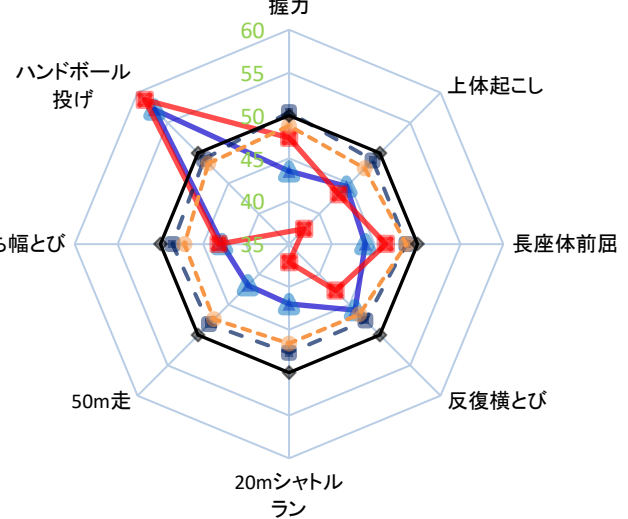
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

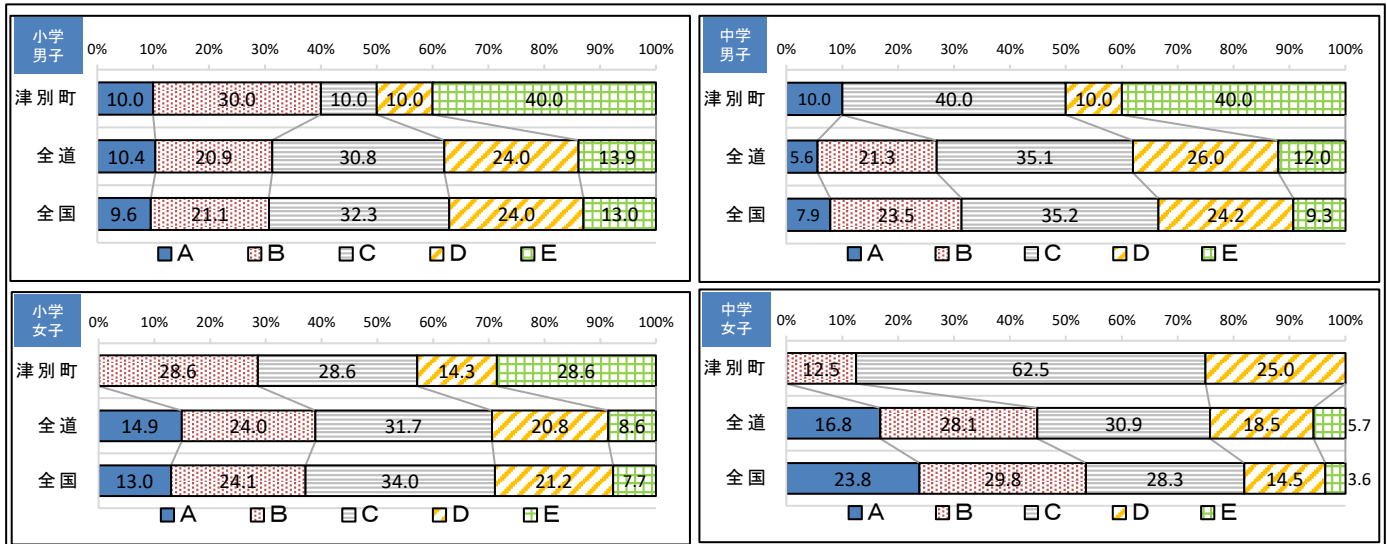
【小学校】



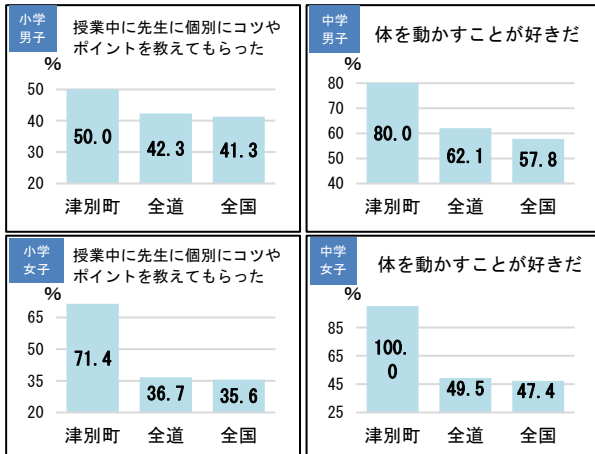
【中学校】



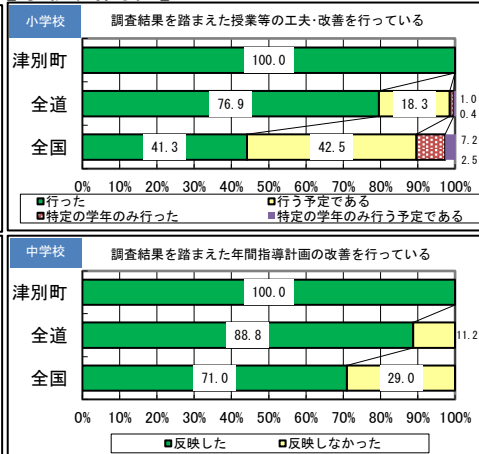
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
学校において、体育授業で、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、授業改善が図られ、授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらったと回答する児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校において、保健体育の授業で、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善の取組を行ったことにより、授業改善が図られ、体を動かすことが好きと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【津別町の体力向上策】

- ◎ 家庭における運動の習慣化の取組や社会教育事業との連携
- ◎ 徒歩通学及び自転車通学の推奨
- ◎ 体育専科教員(加配)を要とした基礎体力向上の取組や教職員向け研修の実施
- ◎ 学校における体力・運動能力の向上のための目標(値)の設定
- ◎ 「どさん子元気アップチャレンジ」を活用した縄跳び等、休み時間に取り組む運動の充実

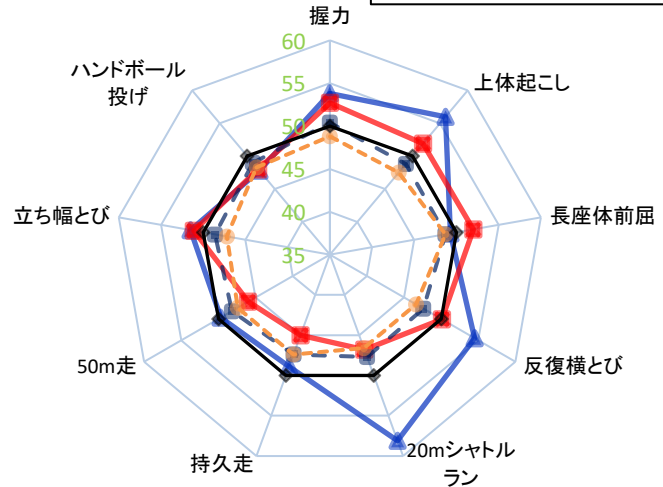
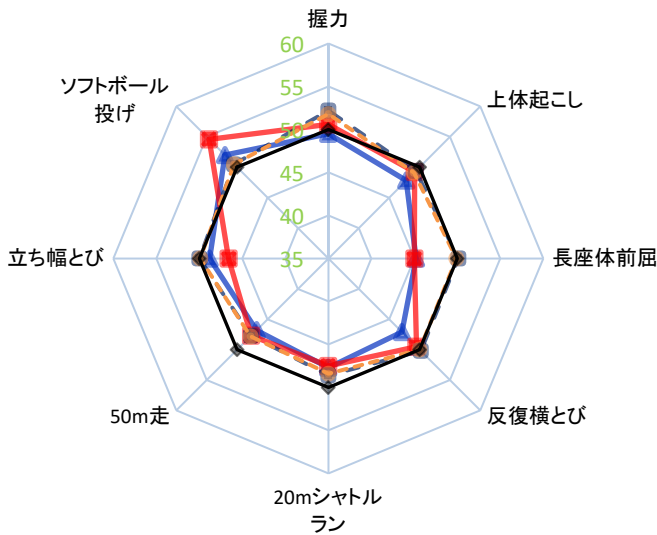
■ 斜里町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校3校・児童数106名、中学校2校・生徒数92名)

【各種目の状況】

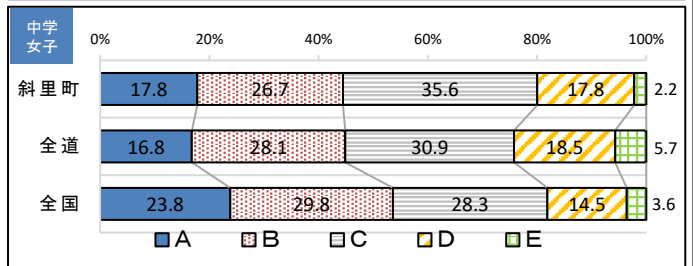
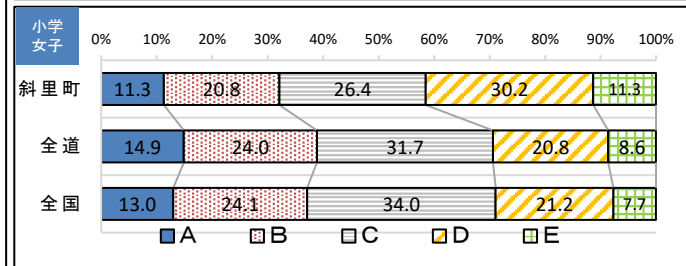
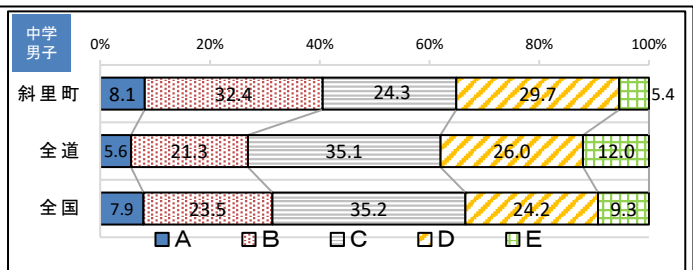
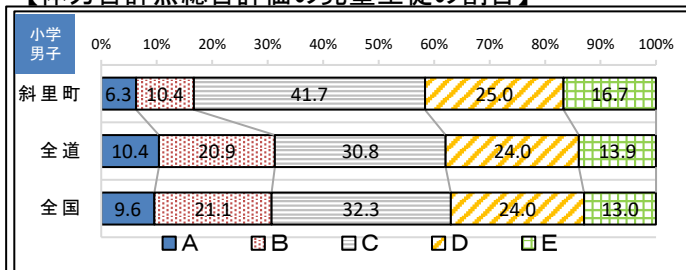
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

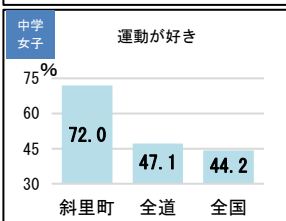
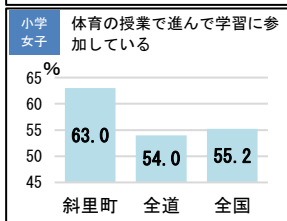
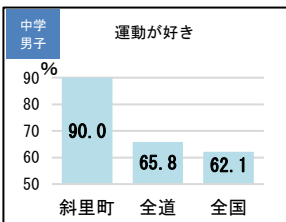
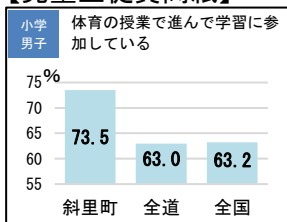
【中学校】



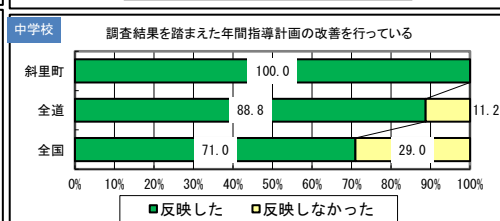
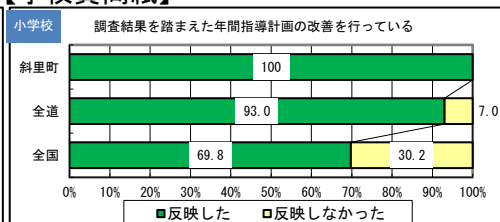
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育授業で、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を行ったことにより、授業改善が図られ、男女ともに体育の授業で進んで学習に参加していると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育授業で、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を行ったことにより、授業改善が図られ、男女ともに運動が好きと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【斜里町の体力向上策】

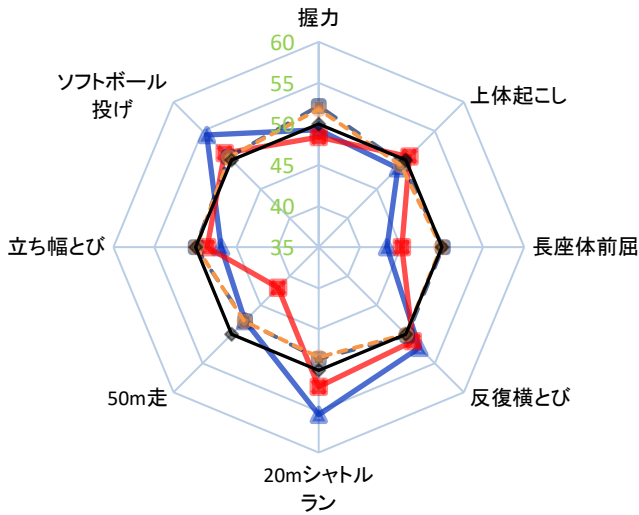
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果概要の町全体への周知
- ◎ 体力向上プランの見直し及び実践(体育科の授業改善、1校1実践等)
- ◎ 新体力テストのDE層に属する児童への重点的な支援
- ◎ 体力・運動能力向上のための目標(値)の設定

■ 清里町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数38名、中学校1校・生徒数34名)

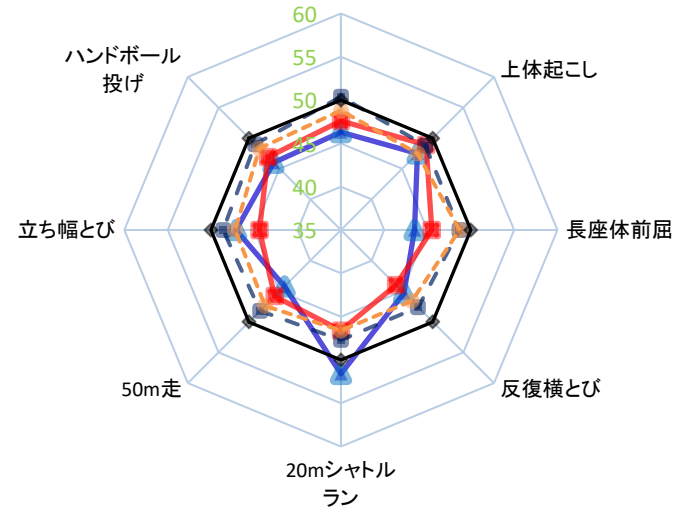
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

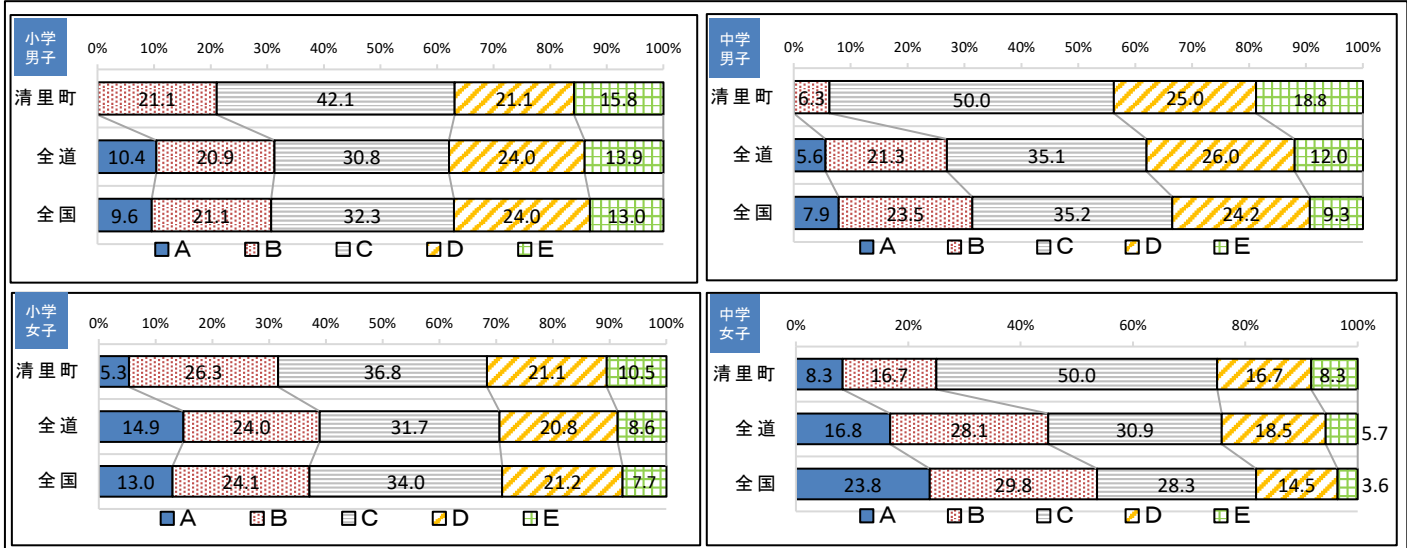
【小学校】



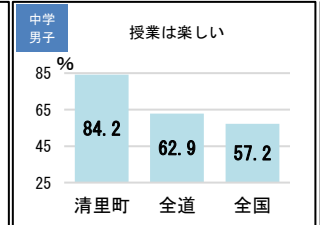
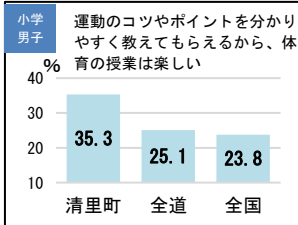
【中学校】



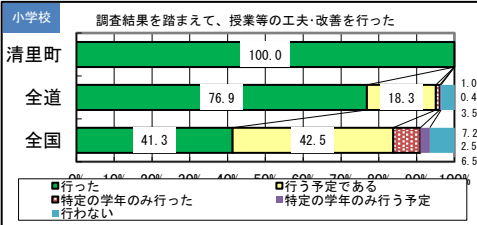
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
学校において、体育授業等で、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、男女ともに運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえるから、体育の授業は楽しいと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校において、体育授業等で、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、授業改善が図られ、男女ともに保健体育の授業が楽しいと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【清里町の体力向上策】

- ◎ 休み時間等を活用した体力づくりの推進(縄跳び、一輪車、竹馬など)
- ◎ 徒歩通学、外遊びの奨励
- ◎ スポーツ少年団加入の推奨
- ◎ 町内各スポーツ大会への参加奨励
- ◎ 体力向上運動器具の整備
- ◎ 新体力テスト指導改善研修、冬季スポーツ実技研修などの教員研修等の実施

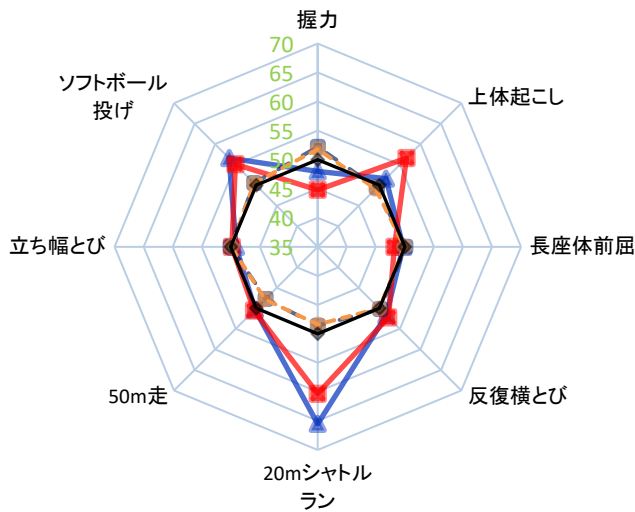


■ 小清水町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数36名、中学校1校・生徒数40名)

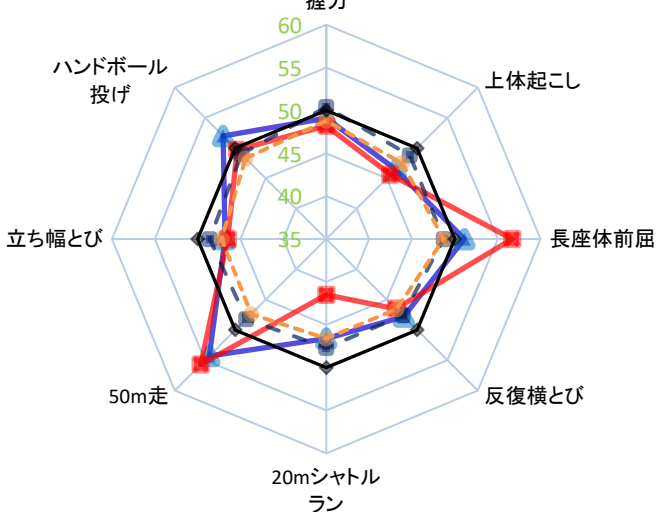
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

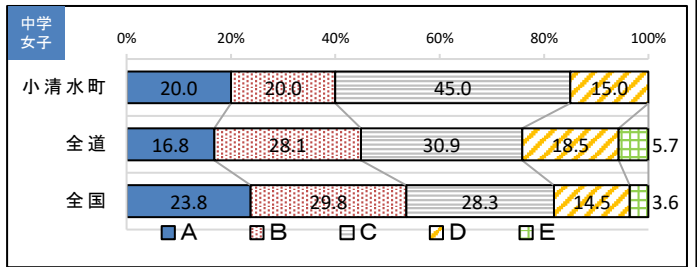
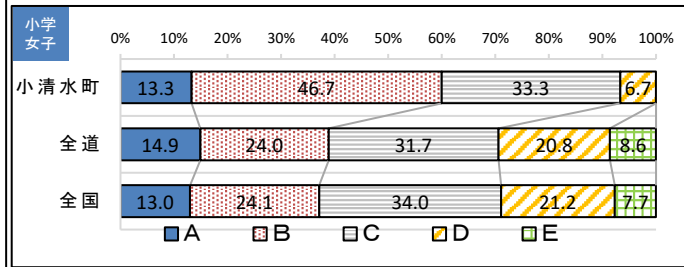
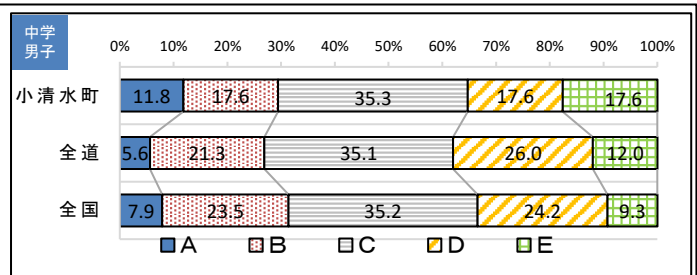
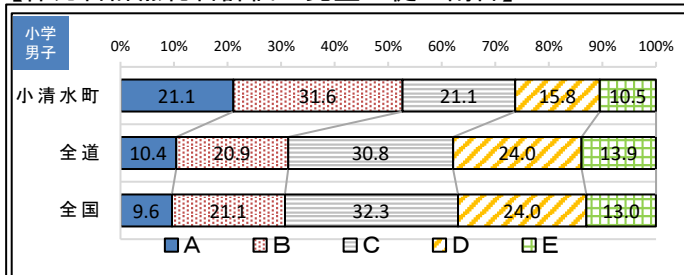
【小学校】



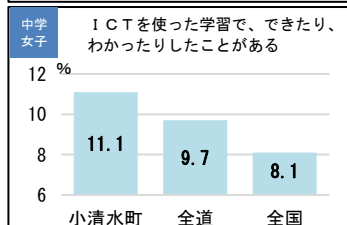
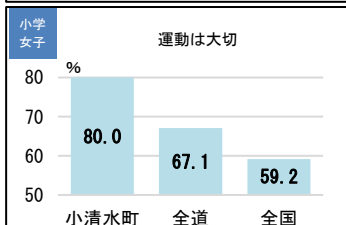
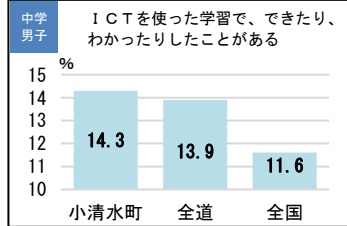
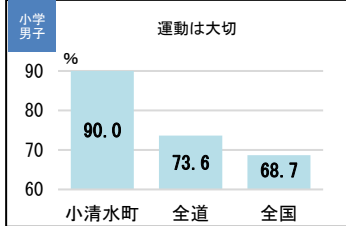
【中学校】



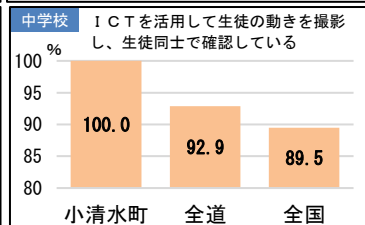
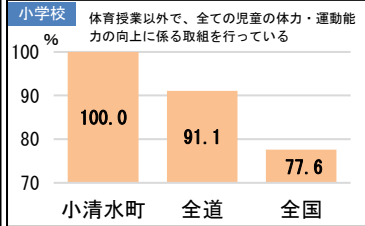
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
学校において、体育授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、運動する機会が増え、男女ともに運動は大切であると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校において、保健体育授業でICTを活用して、生徒の動きを撮影し、生徒同士で確認したことにより、男女ともにICTを使った学習でできたり、わかったりしたことがあると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【小清水町の体力向上策】

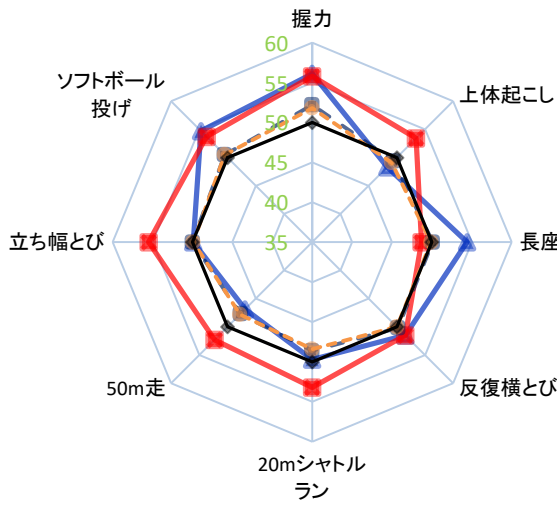
- ◎ 「どさん子元気アップチャレンジ」を活用した縄跳び等、休み時間に取り組める運動の充実
- ◎ 各学校における体力・運動能力の向上のための目標(値)の設定
- ◎ 体育授業におけるダッシュ等の基礎体力向上の取組の強化

■ 訓子府町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数42名、中学校1校・生徒数31名)

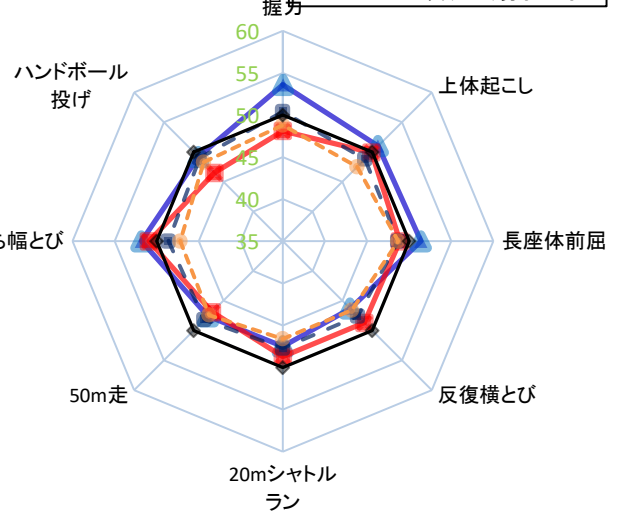
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

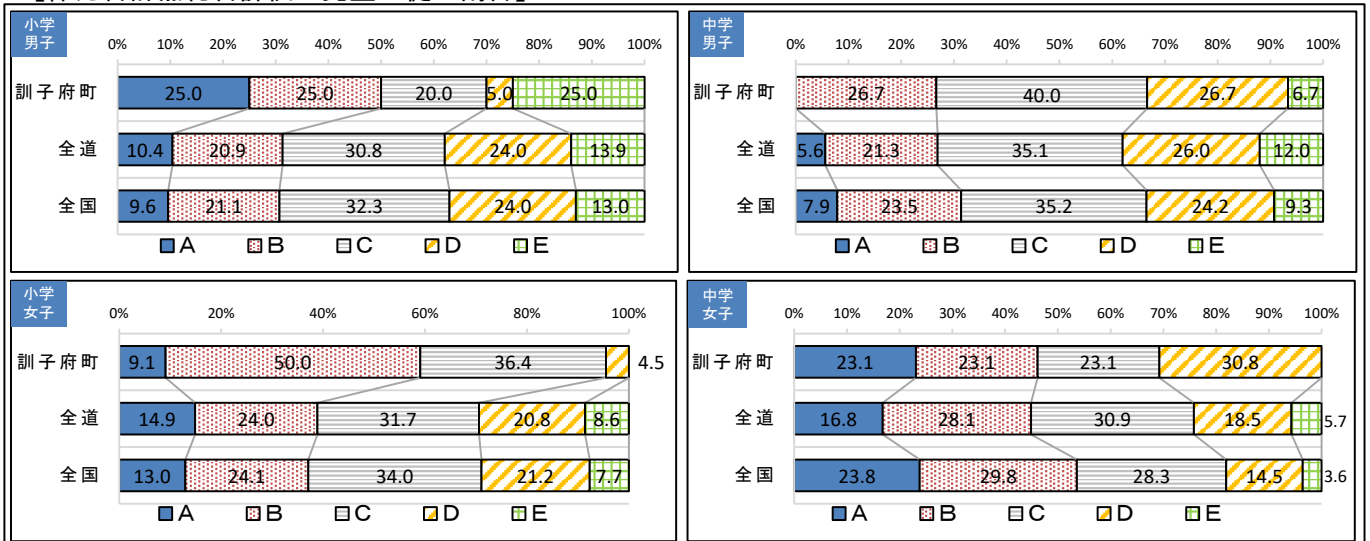
【小学校】



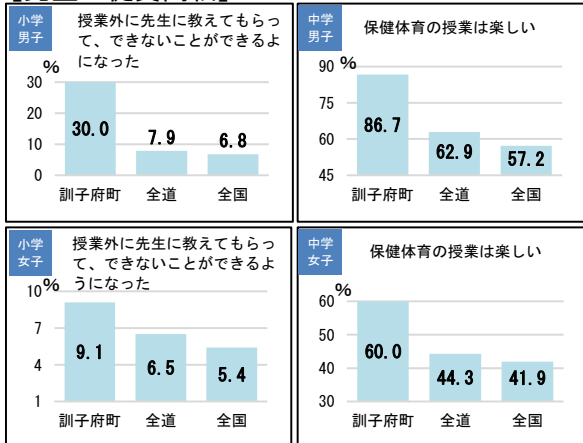
【中学校】



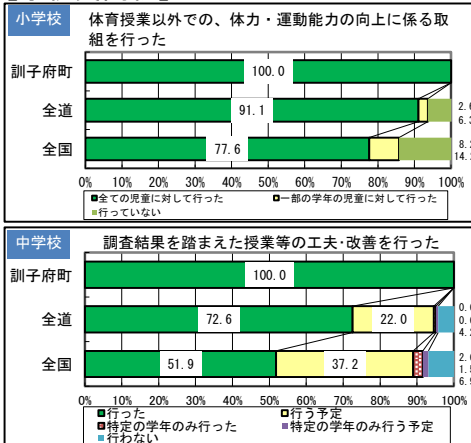
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、男女ともに、授業外に先生に教えてもらったから、できないことができるようになったと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校において、体育授業で、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、授業改善が図られ、男女ともに授業が楽しいと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【訓子府町の体力向上策】

- ◎ 体づくり運動の充実、持久力、瞬発力、柔軟性や敏捷性を高める運動の重視
- ◎ 地域の行事や各種大会・スポーツ活動への積極的参加の奨励
- ◎ 家庭と連携した基本的な生活習慣の定着

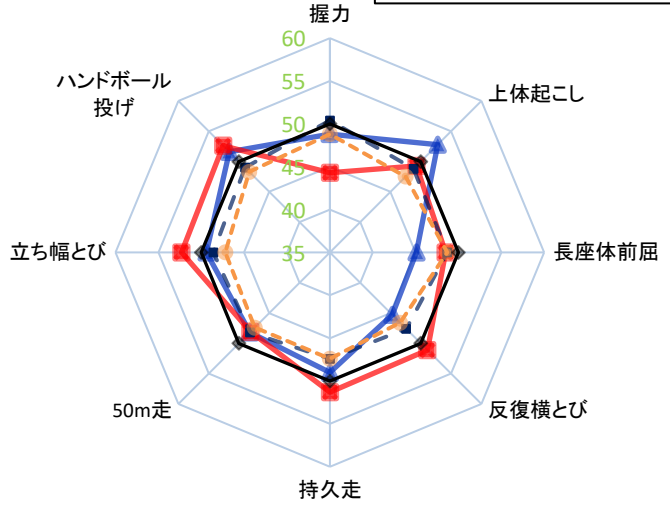
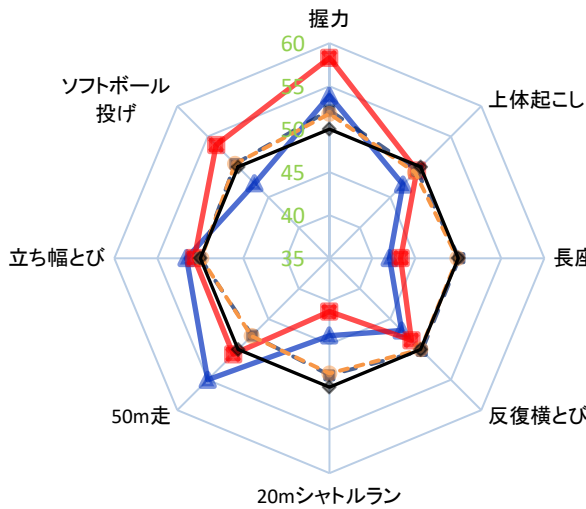
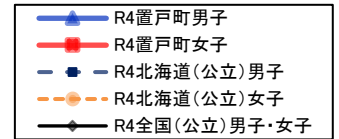
■ 置戸町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数17名、中学校1校・生徒数19名)

【各種目の状況】

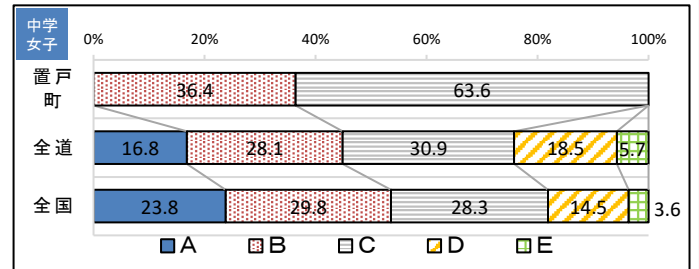
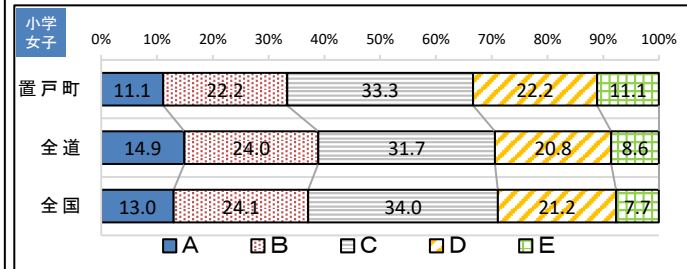
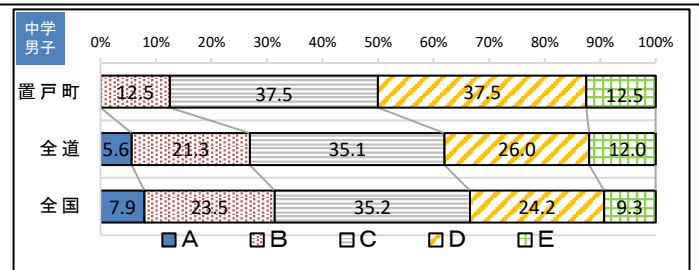
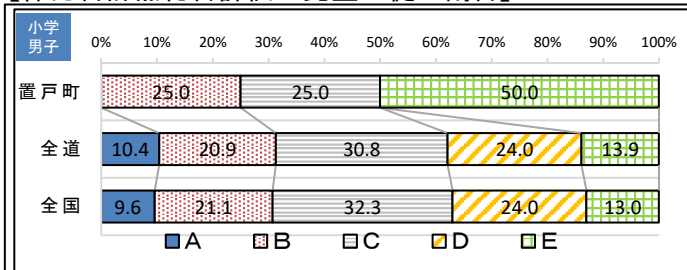
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

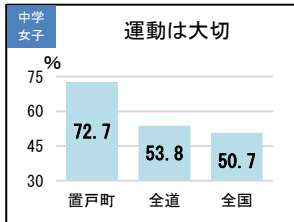
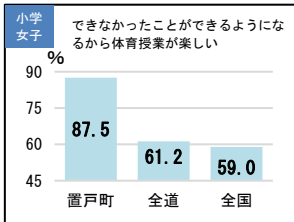
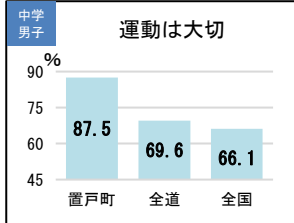
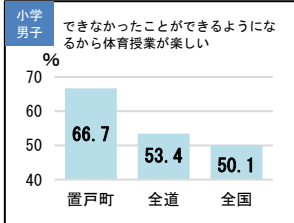
【中学校】



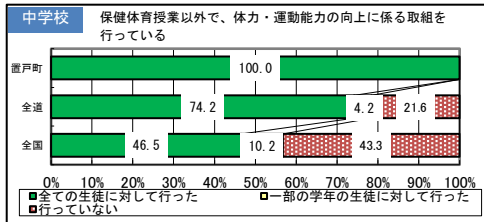
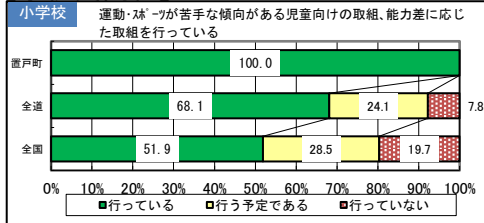
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
学校において、運動・スポーツが苦手の児童向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、男女ともに、できなかったことができるようになるから体育授業が楽しいと回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校において、保健体育の授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力向上に係る取組を行ったことにより、運動の機会が増え、男女ともに運動は大切であると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【置戸町の体力向上策】

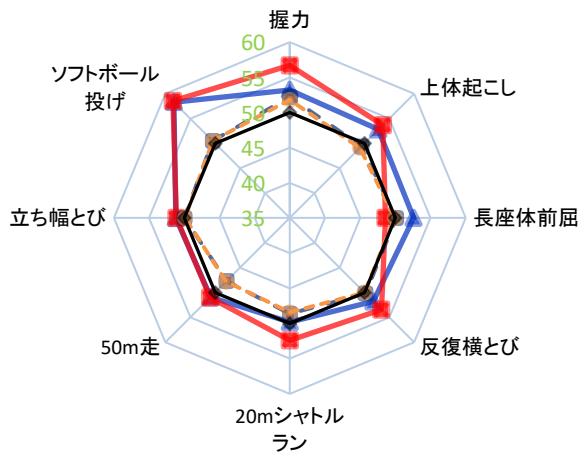
- ◎ 新体力テスト等の調査結果の分析による年間を通した体力・運動能力向上の取組
- ◎ 「わんぱくクラブ」「小・中学生向けスポーツ教室」などの社会教育事業と連携した運動機会の充実

■ 佐呂間町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数42名、中学校1校・生徒数37名)

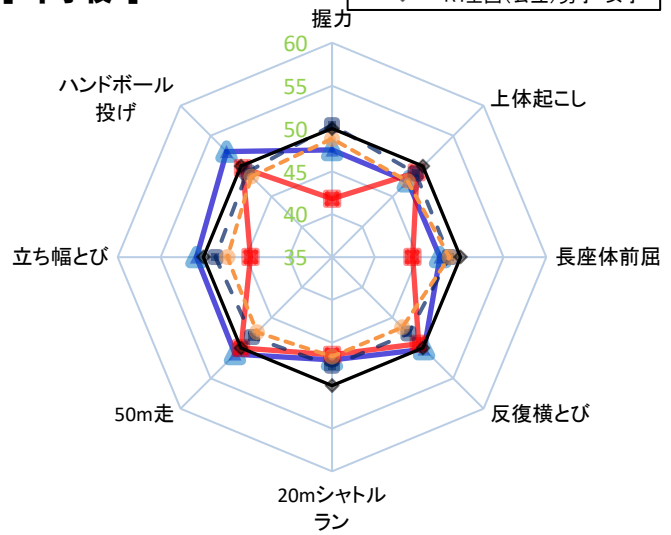
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

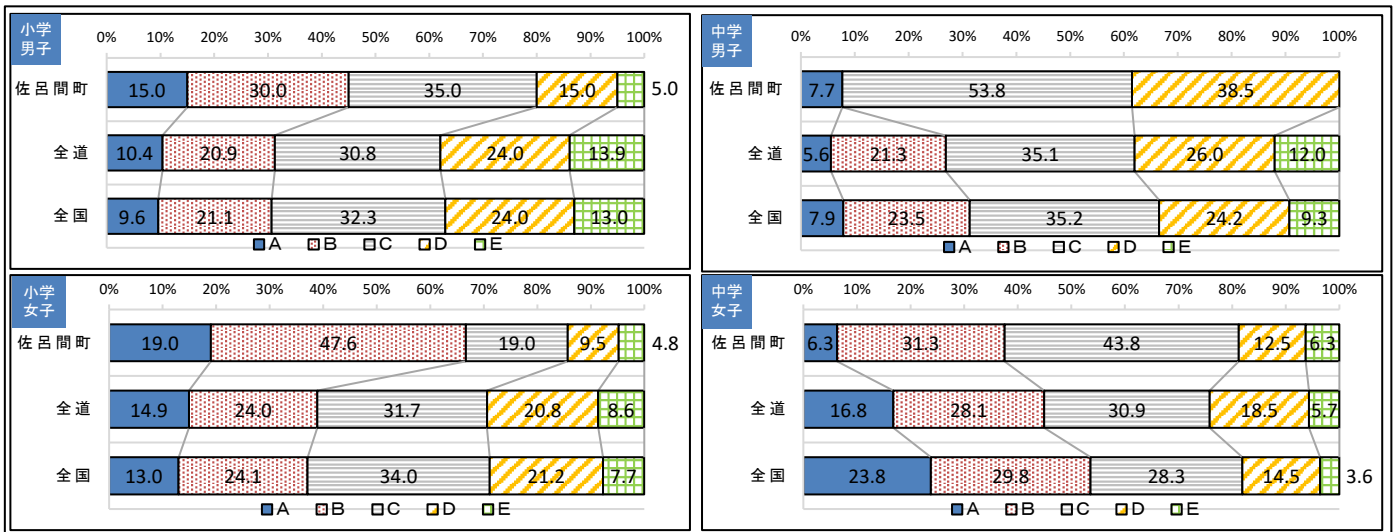
【小学校】



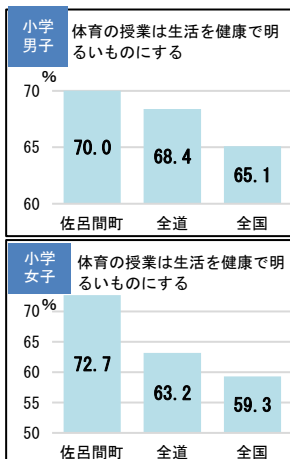
【中学校】



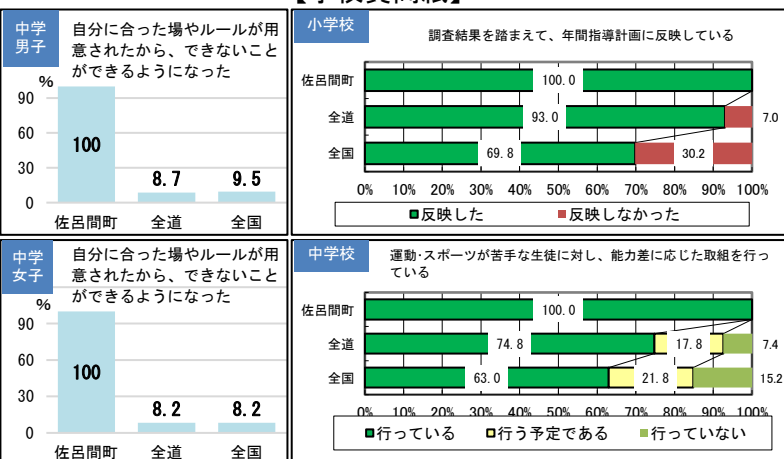
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえ年間指導計画を見直し、授業改善や授業以外の取組を推進したことにより、男女ともに体育の授業は生活を健康で明るいものにする回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校において、運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、男女ともに自分に合った場やルールが用意されたから、できないことができるようになったと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【佐呂間町の体力向上策】

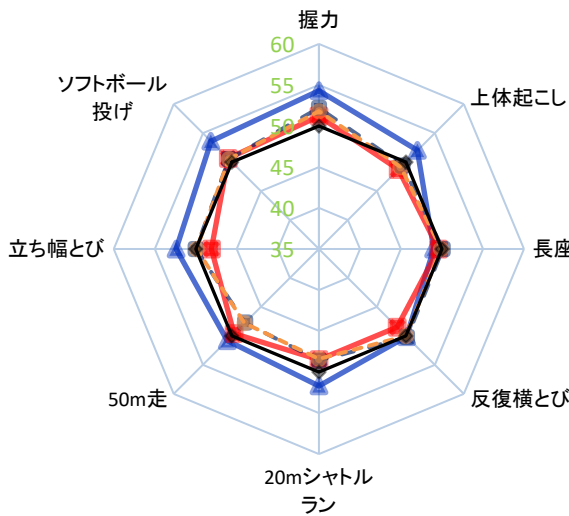
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ スポーツ少年団活動や社会教育を活用した運動機会の設定
- ◎ ICTのカメラ機能を利用し児童生徒各自の「よりよいパフォーマンス」を可視化することによる取組意欲の向上

■ 遠軽町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校8校・児童数156名、中学校7校・生徒数126名)

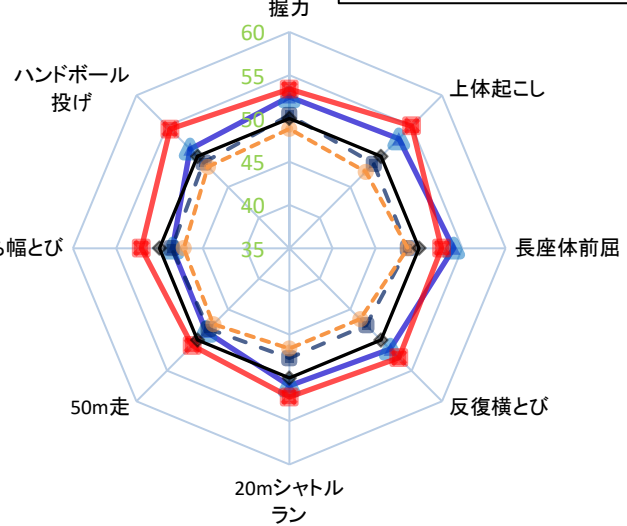
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

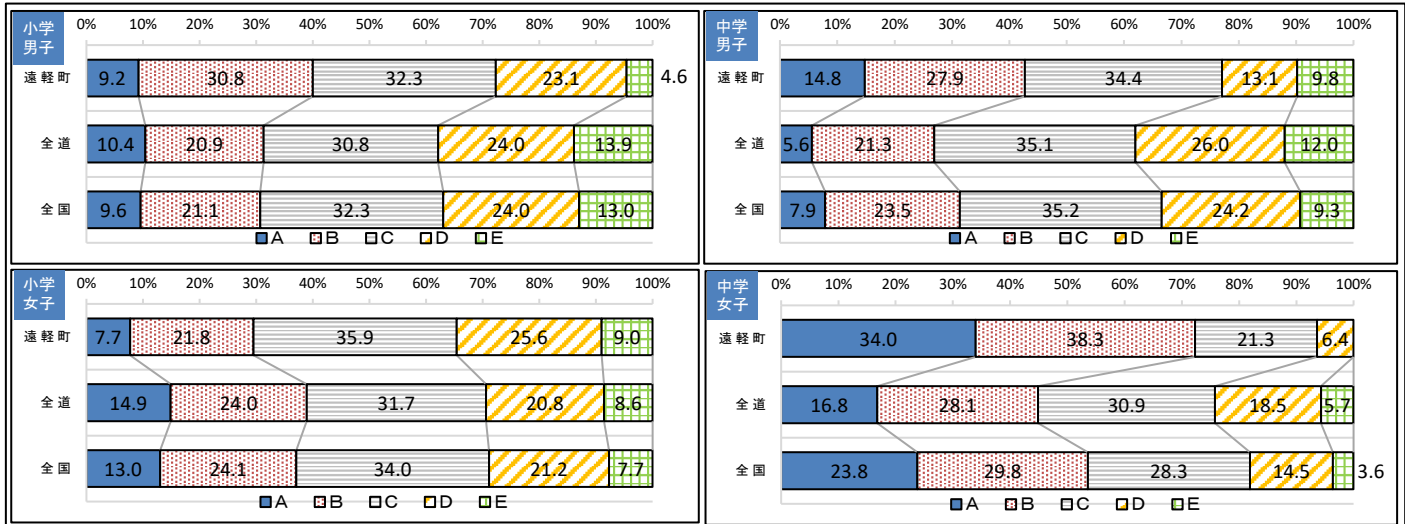
【小学校】



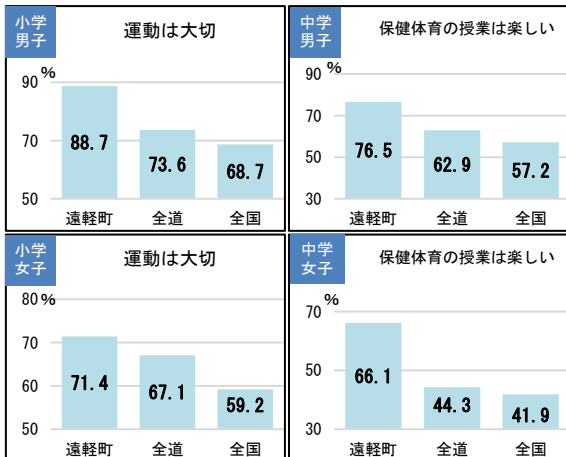
【中学校】



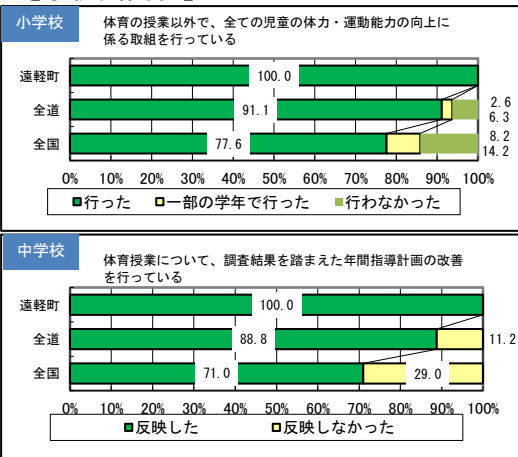
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育の授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、運動の機会が増え、男女ともに運動が大切と回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を行ったことにより、授業改善が図られ、男女ともに体力合計点総合評価のA層の生徒及び保健体育の授業は楽しいと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【遠軽町の体力向上策】

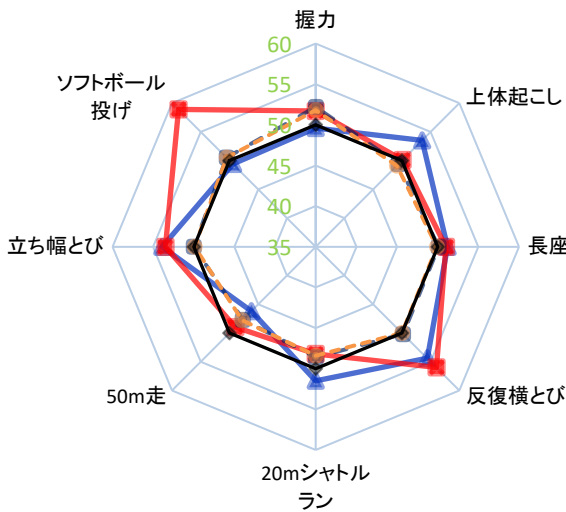
- ◎ 教育委員会が主催する新体カテストの実施
- ◎ 「どさん子元氣アップチャレンジ」を活用した、縄跳び等休み時間に取り組める運動の充実
- ◎ 体力・運動能力の向上のための目標(値)の設定・改善

■ 湧別町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校6校・児童数42名、中学校3校・生徒数51名)

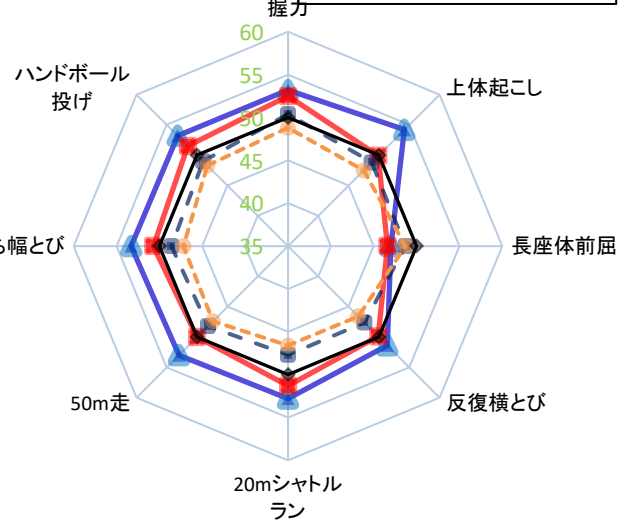
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

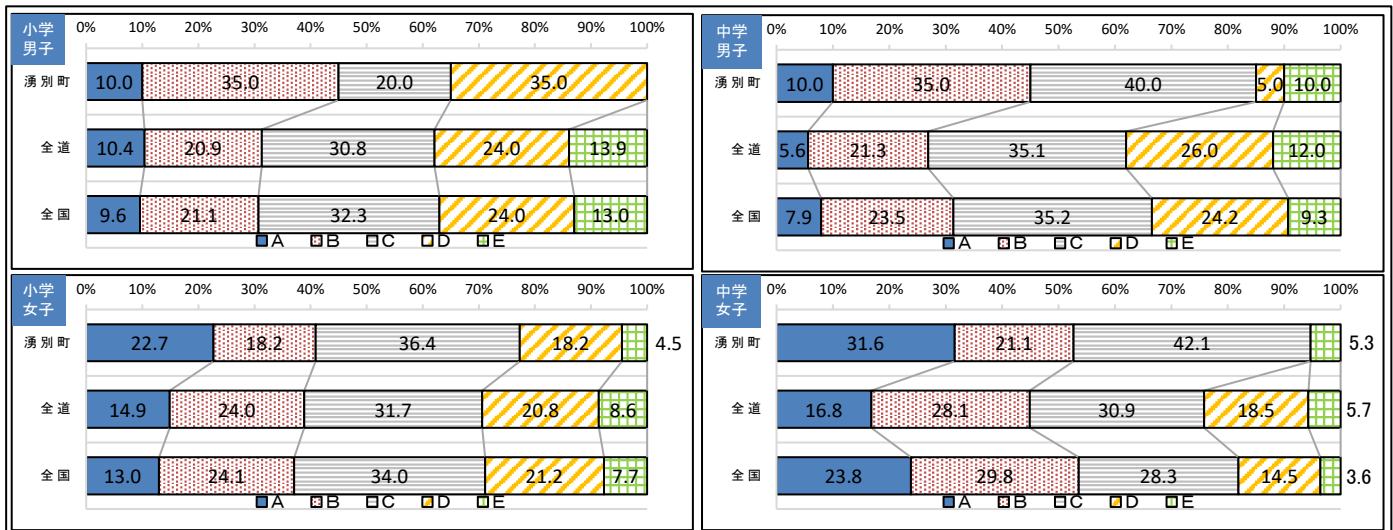
【小学校】



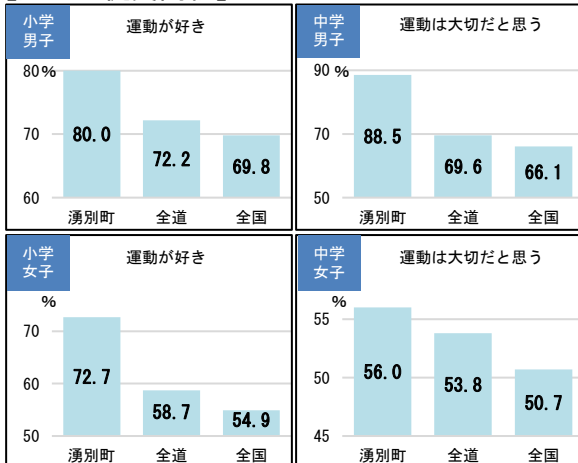
【中学校】



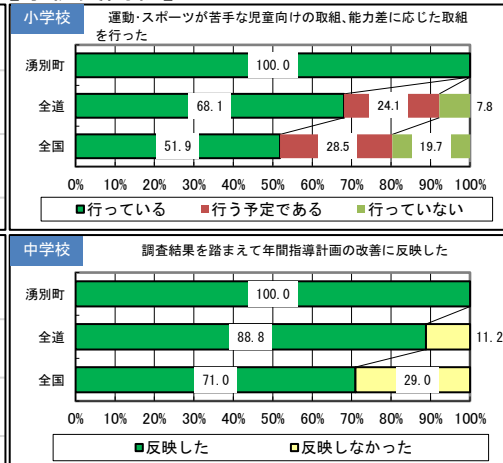
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、男女ともに運動が好きと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を行ったことにより、授業改善が図られ、男女ともに運動は大切であると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【湧別町の体力向上策】

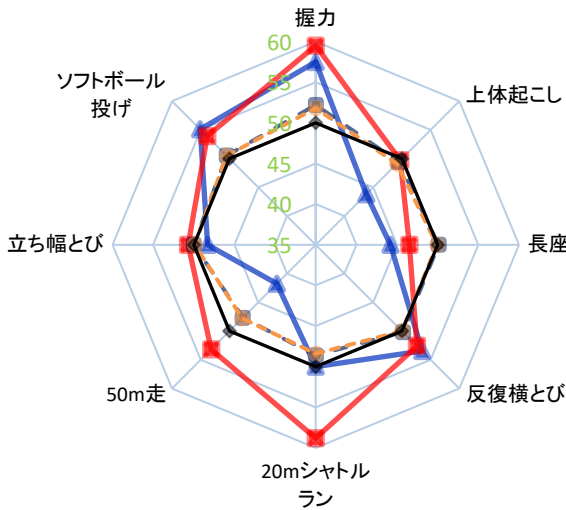
- ◎ 「どさん子元気アップチャレンジ」を活用した、縄跳び等休み時間に取り組める運動の充実
- ◎ 各学校における体力・運動能力の向上のための目標(値)の設定
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査等を活用した体育・保健体育授業の改善及び運動習慣の確立
- ◎ 各種社会体育事業による体育・運動能力向上活動の推進
- ◎ 1人1台端末を活用した体育・保健体育授業の工夫改善

■ 滝上町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数12名、中学校1校・生徒数12名)

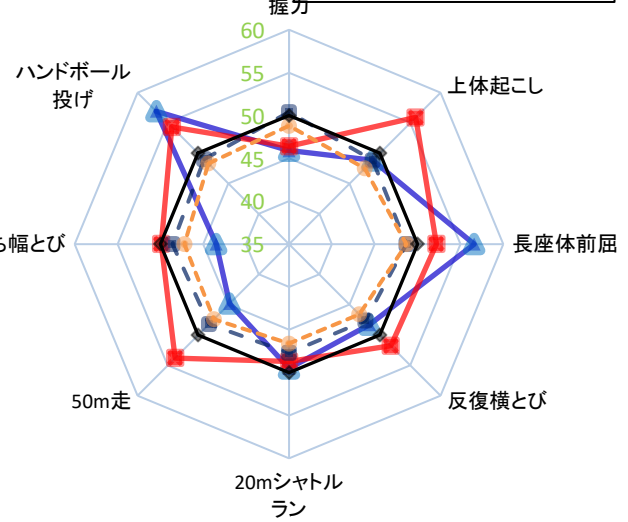
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

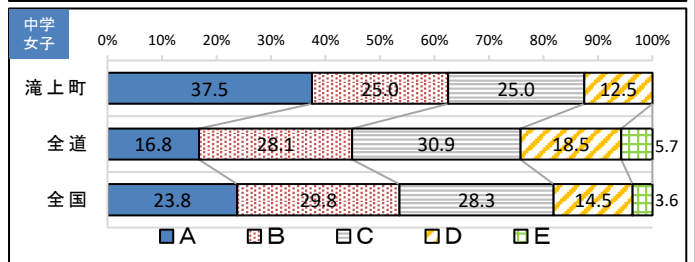
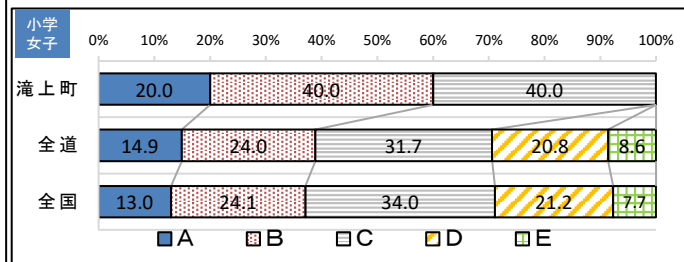
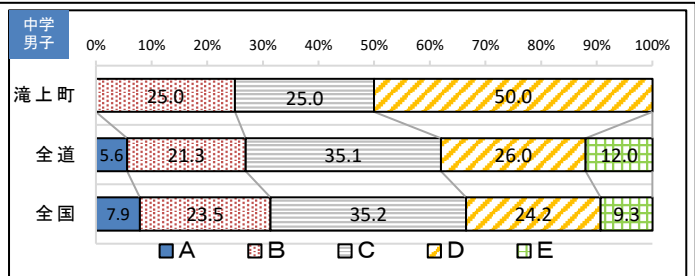
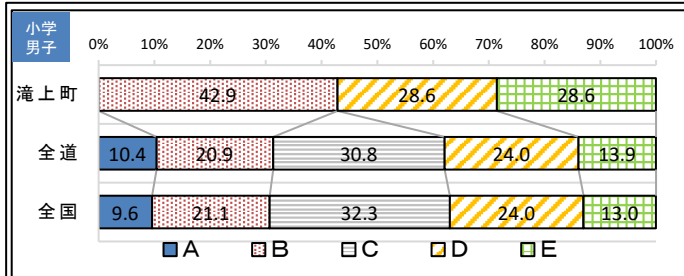
【小学校】



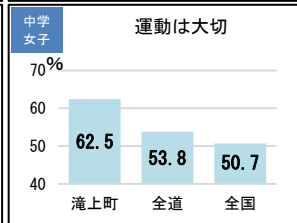
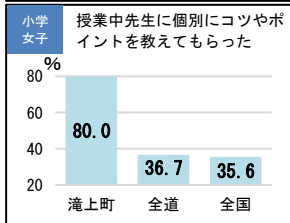
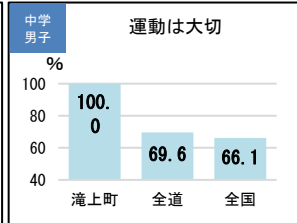
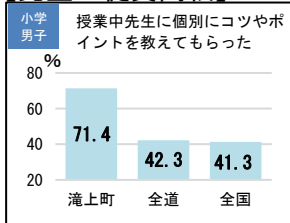
【中学校】



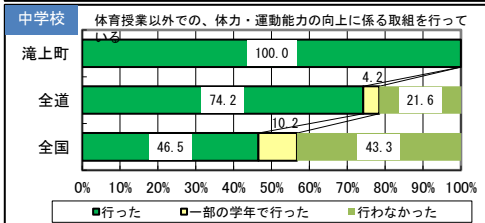
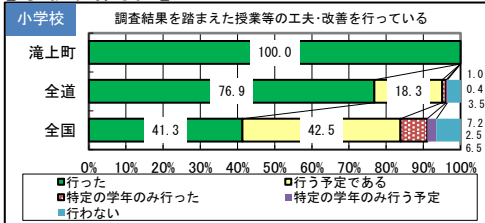
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育授業で、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、授業改善が図られ、男女ともに授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらったと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校において、保健体育の授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力向上に係る取組を行ったことにより、運動の機会が増え、男女ともに運動は大切であると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【滝上町の体力向上策】

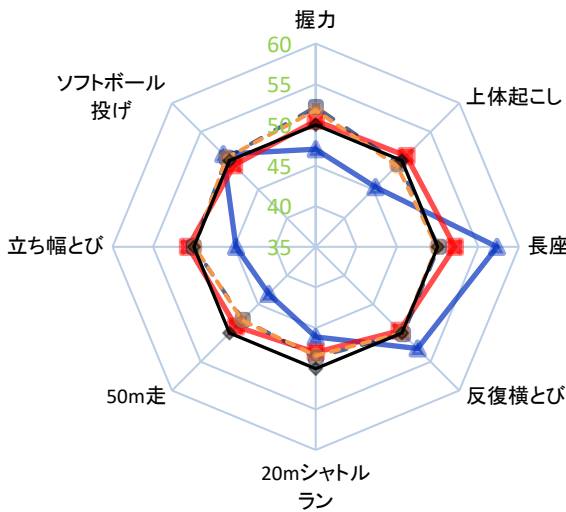
- ◎ 「どさん子元気アップチャレンジ」を活用した縄跳び等、休み時間に取り組める運動の充実
- ◎ 体力・運動能力の向上のための目標(値)の設定
- ◎ 教育委員会主催の体力テストの実施

■ 興部町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数31名、中学校1校・生徒数27名)

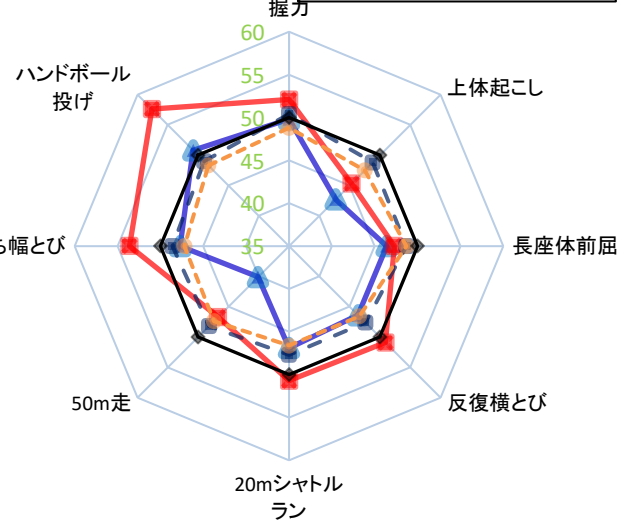
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

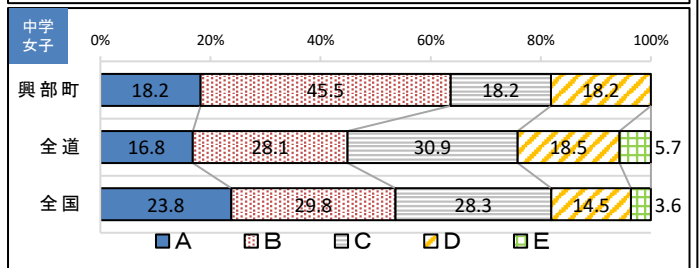
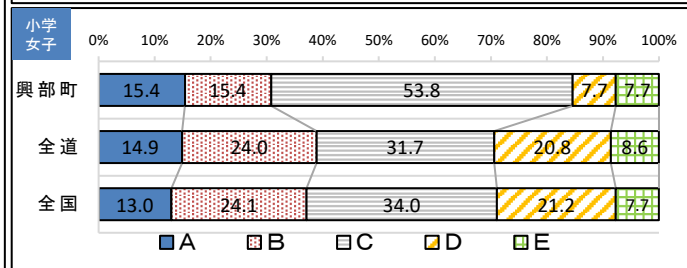
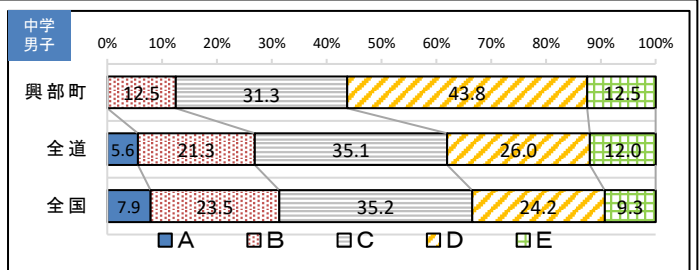
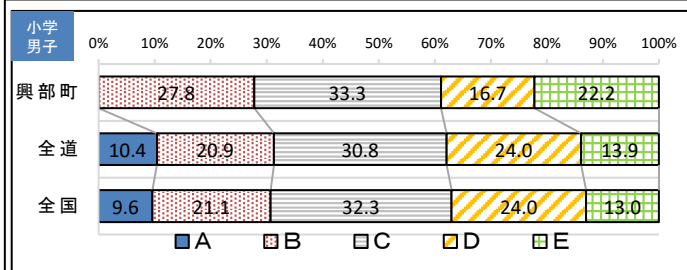
【小学校】



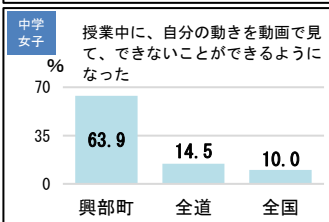
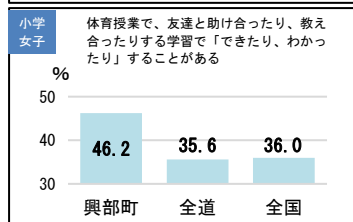
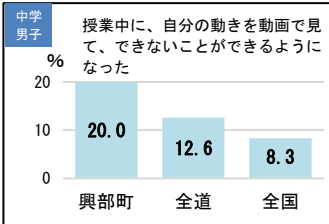
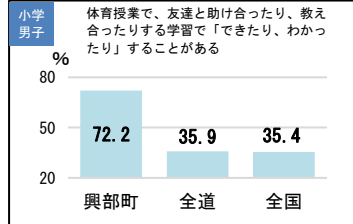
【中学校】



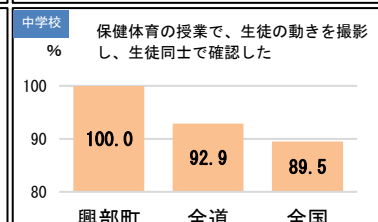
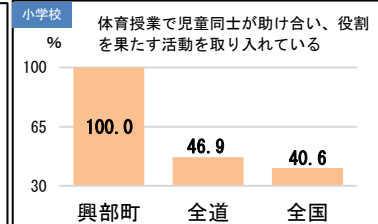
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育授業で児童同士が助け合い、役割を果たす活動を取り入れていることにより、授業改善が図られ、男女ともに体育授業で「できたり、わかったり」することがあると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校において、保健体育の授業で生徒の動きを撮影し、生徒同士で確認する取組を行ったことにより、男女ともに、授業で、自分の動きを動画で見て、できないことができるようになったと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【興部町の体力向上策】

- ◎ 「どさん子元気アップチャレンジ」を活用した縄跳び等、休み時間に取り組める運動の充実
- ◎ 各学校における体力・運動能力の向上のための目標(値)の設定
- ◎ 社会教育課の各種スポーツ事業と連携した体力づくりの推進

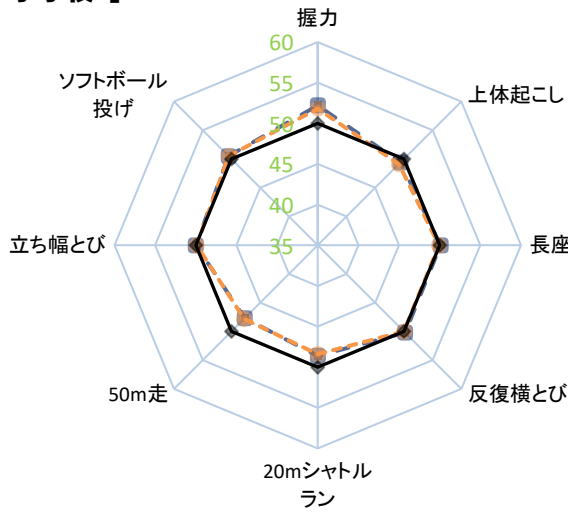


■ 西興部村内小学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数:5名、中学校1校・生徒数7名)  
 児童数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、西興部村の各種目のデータは掲載していない

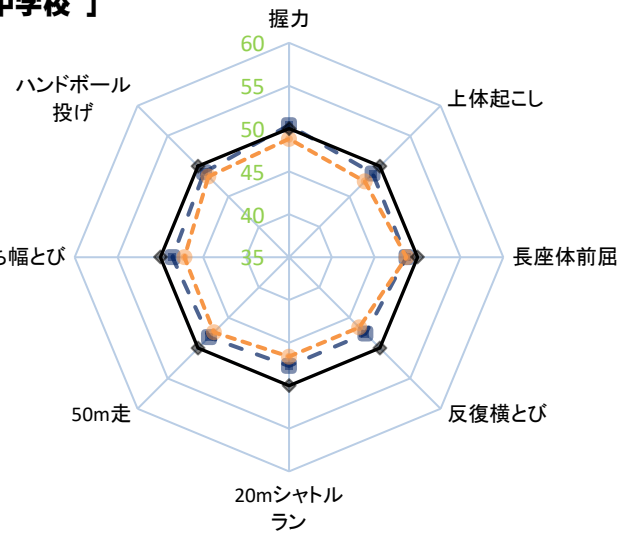
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

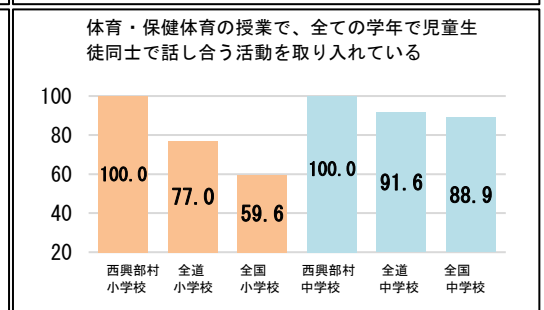
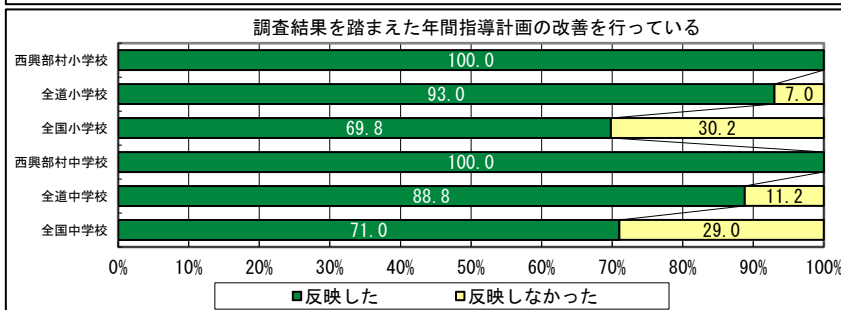
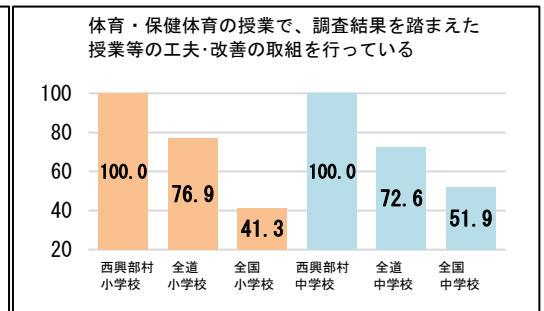
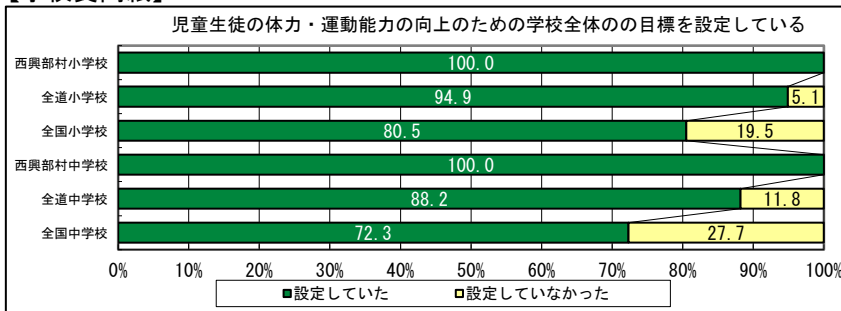
【小学校】



【中学校】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞

各学校において、児童の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定し、調査結果を踏まえた年間指導計画及び指導方法の工夫・改善を行うとともに、全ての学年で児童同士が話し合う活動を取り入れるなど、児童の体力向上を図っている。

＜中学校＞

学校において、生徒の体力・運動能力向上のための学校全体の目標を設定し、調査結果を踏まえた年間指導計画及び指導方法の工夫・改善を行うとともに、全ての学年で生徒同士が話し合う活動を取り入れるなど、生徒の体力向上を図っている。

【西興部村の体力向上策】

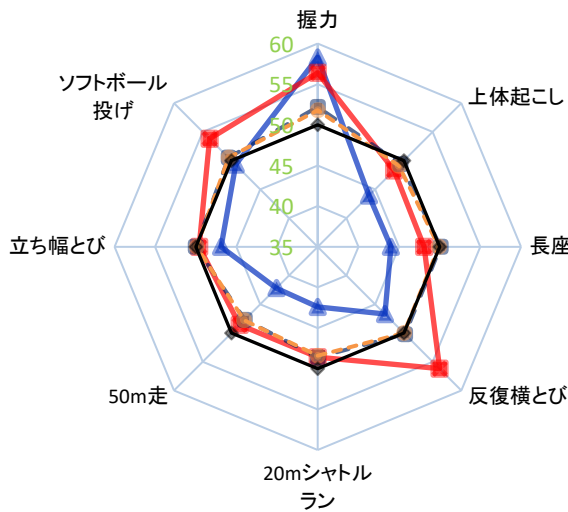
- ◎ 「どさん子元気アップチャレンジ」を活用した縄跳び等、休み時間に取り組める運動の充実
- ◎ 体力・運動能力の向上のための目標(値)の設定
- ◎ 朝のマラソン、一輪車による体力、バランス感覚の向上
- ◎ 社会教育事業、スポーツ団体による運動機会の設定
- ◎ 全学年による体力テストの実施

■ 雄武町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校3校・児童数33名、中学校1校・生徒数30名)

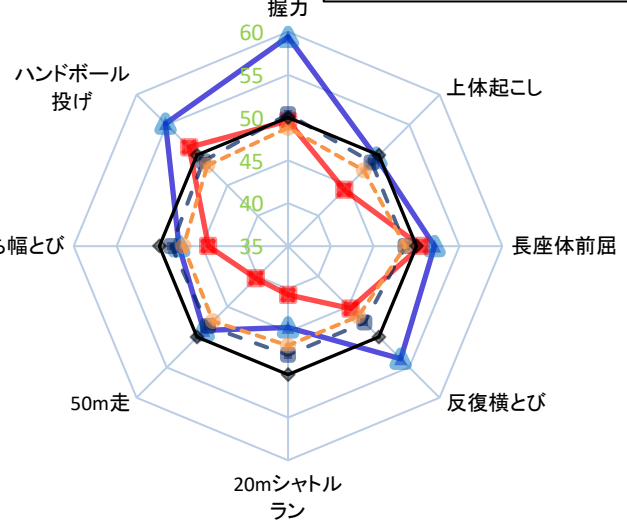
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

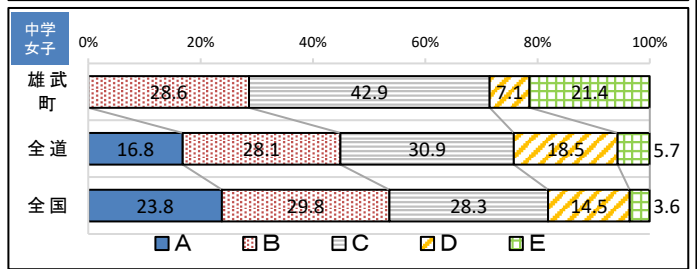
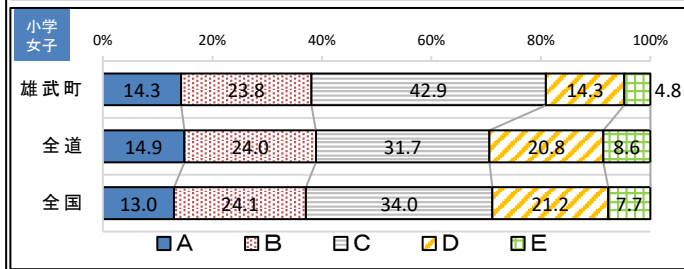
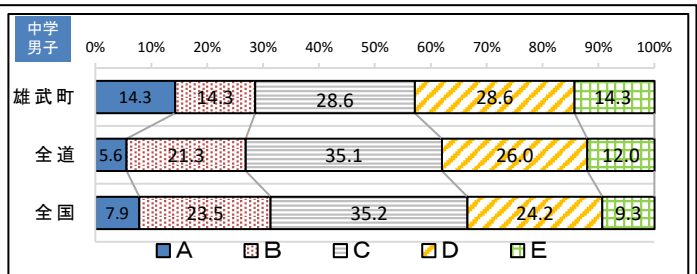
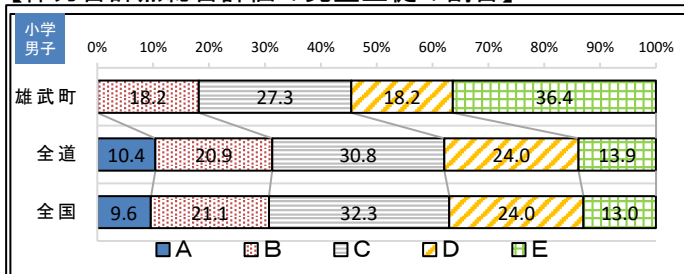
【小学校】



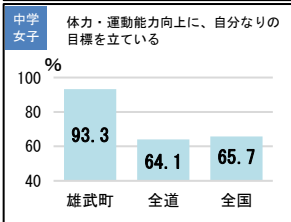
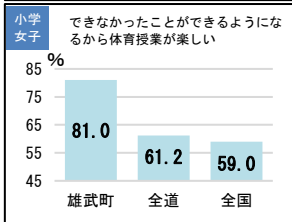
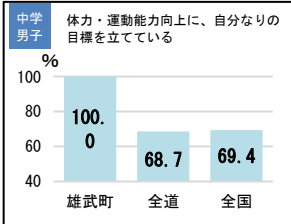
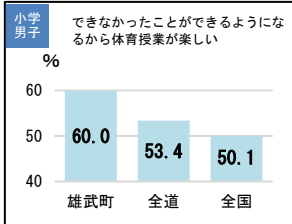
【中学校】



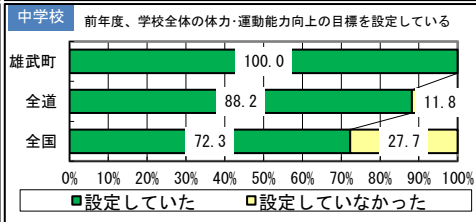
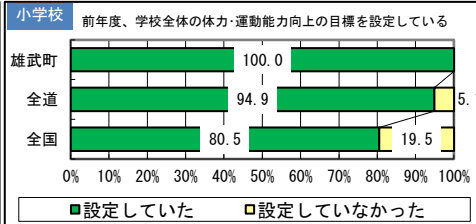
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標を設定したことにより、授業改善が図られ、できなかったことができるようになるから授業が楽しいと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校において、前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標を設定したことにより、授業改善が図られ、男女ともに体力・運動能力向上に、自分なりの目標を立てていると回答した生徒の割合が、全道及び全国を上回ったと考えられる。

【雄武町の体力向上策】

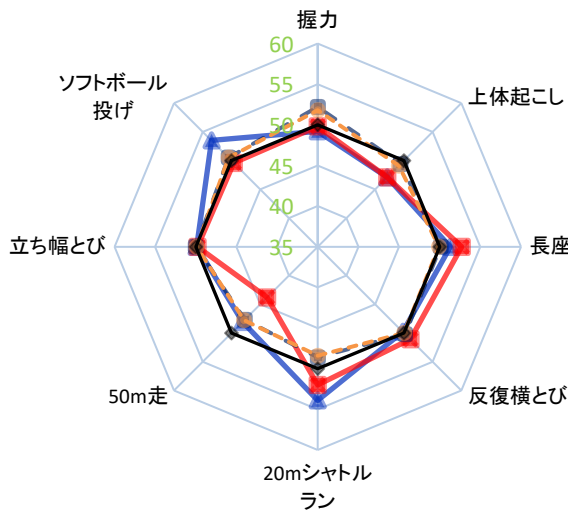
- ◎ 新体力テスト等の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 体力向上に関する校内研修の実施
- ◎ 1校1実践の取組の推進

■ 大空町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数55名、中学校2校・生徒数69名)

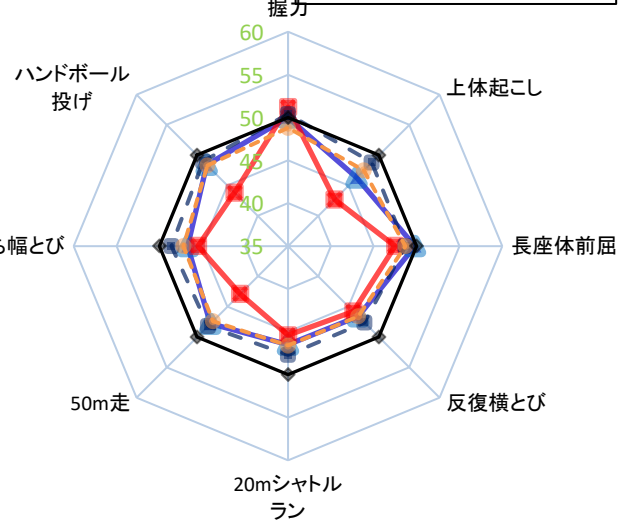
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

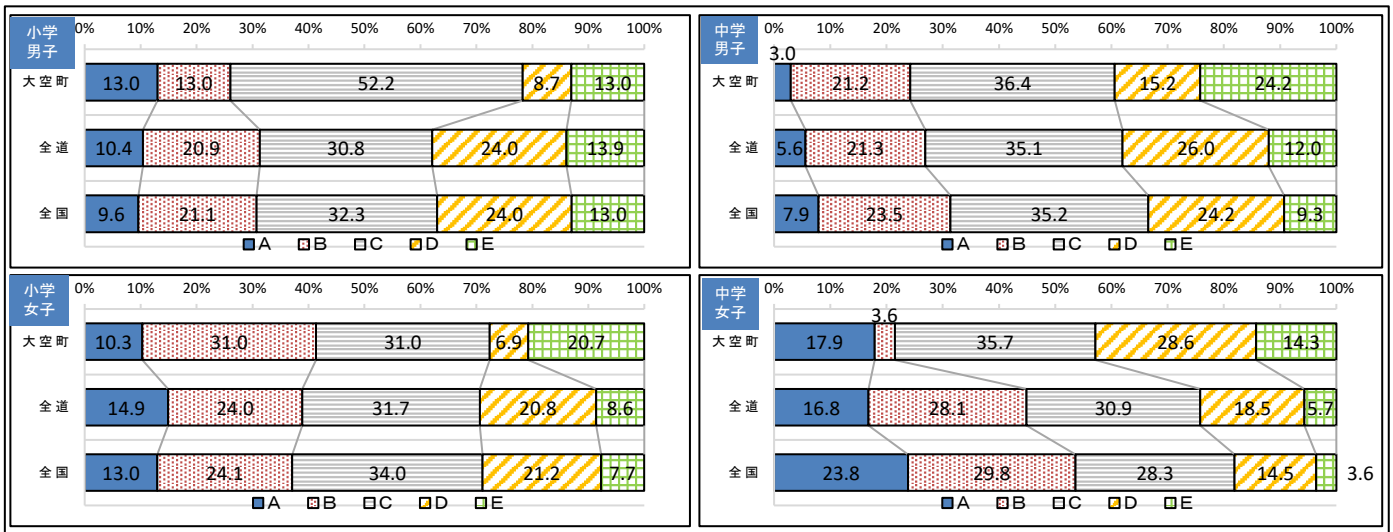
【小学校】



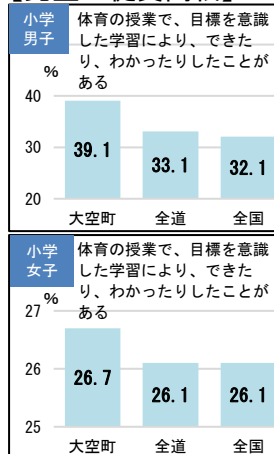
【中学校】



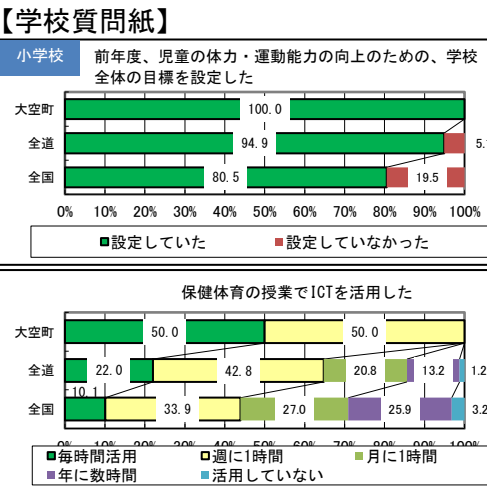
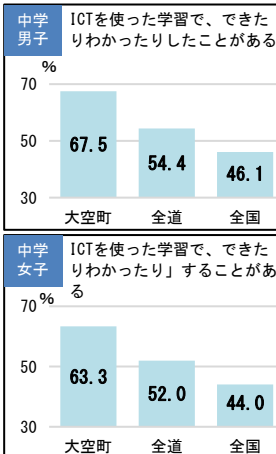
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標設定を行ったことにより、男女ともに体育の授業での目標を意識し、「できたり、わかったりした」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育授業でICTを毎時間活用したことにより、授業改善が図られ、男女ともに、ICTを使った保健体育の学習で「できたり、わかったりした」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【大空町の体力向上策】

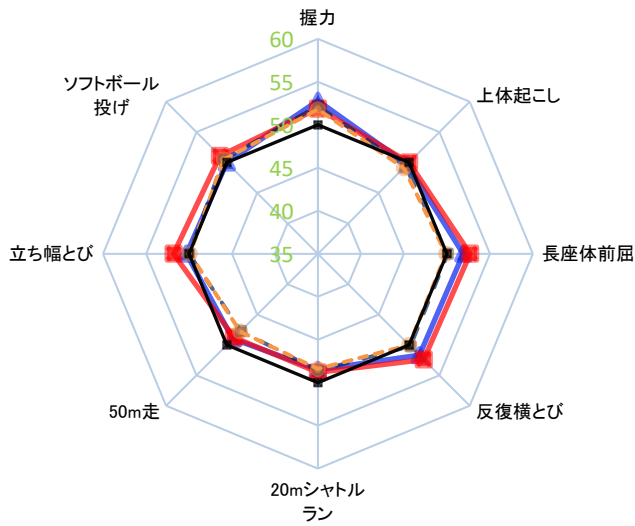
- ◎ 大空町体力向上プランによる、適切な運動量を確保した体育・保健体育の授業の取組
- ◎ 「体力手帳」の活用による児童自身の体力状況の把握
- ◎ 「どさん子元気アップチャレンジ」を活用した、縄跳び等休み時間に取り組み始める運動の充実
- ◎ 各学校における体力・運動能力の向上のための目標(値)の設定

■ 帯広市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校26校・児童数1354名、中学校14校・生徒数1341名)

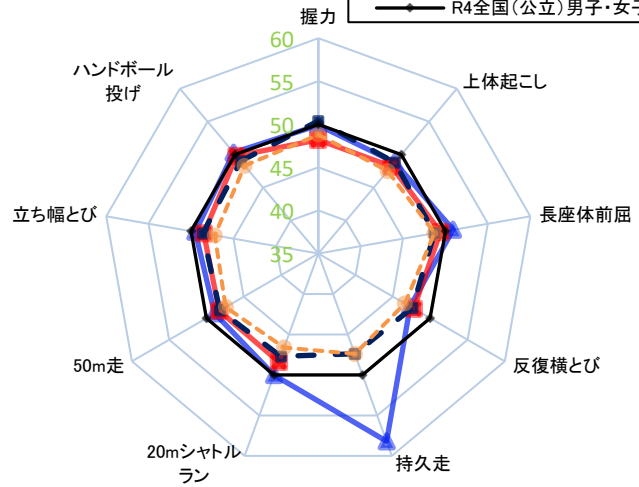
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

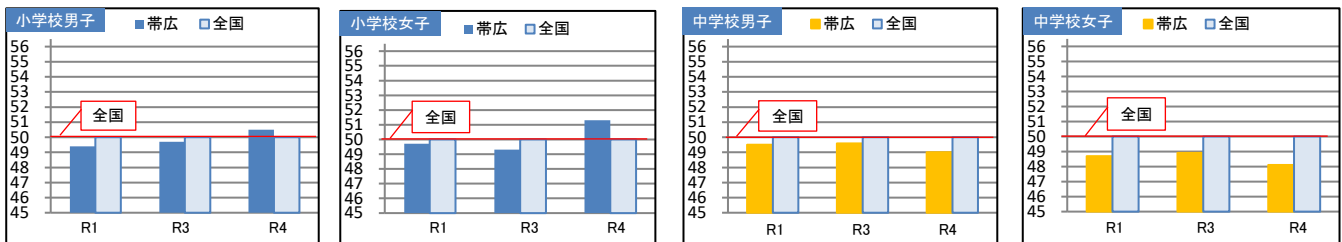
【小学校】



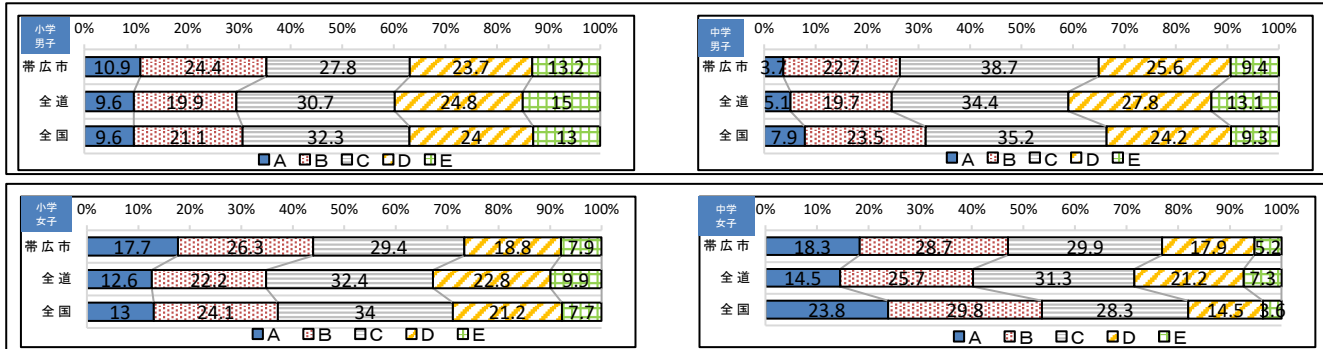
【中学校】



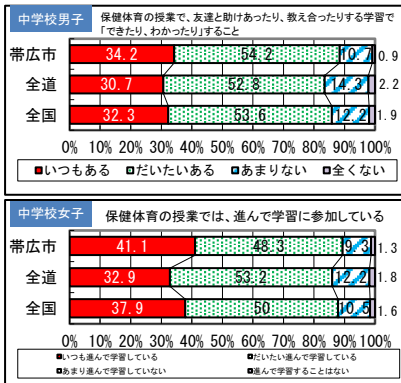
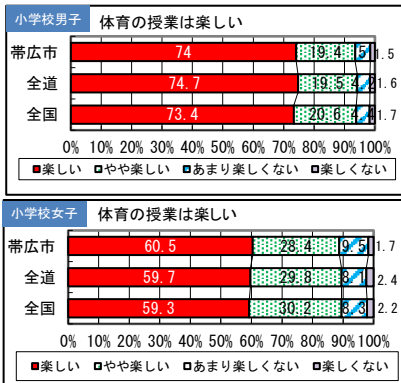
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



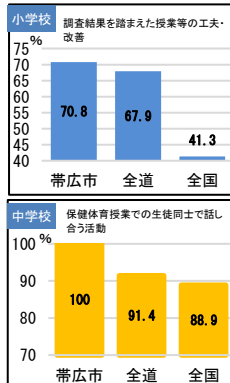
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組を行ったことにより、「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合が増加し、男女ともに複数の種目で全道及び全国平均を上回るとともに、体力合計点において全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育授業で生徒同士で話し合う活動を取り入れる授業改善等を行ったことにより、進んで学習に参加したり、助け合ったり教え合ったりすることを通じて、達成感や成就感を得た生徒の割合が高くなり、男女ともに、複数の種目で全道平均を上回ったと考える。

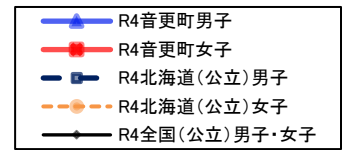
【帯広市の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び全学年実施による新体力テストの結果分析に基づく授業改善の推進
- ◎ 体力・運動能力の向上、運動習慣の改善に向けた1校1実践及び中学校区1エリア1実践の取組の推進
- ◎ 体力向上推進プロジェクトチームによるモデル授業の実施

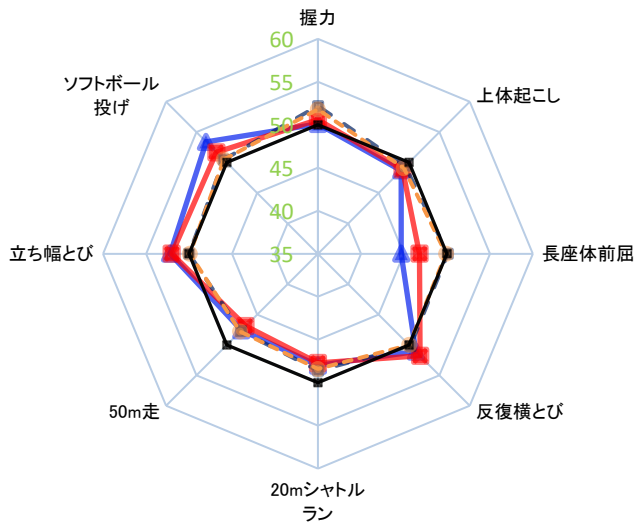
■ 音更町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校11校・児童数349名、中学校5校・生徒数460名)

【各種目の状況】

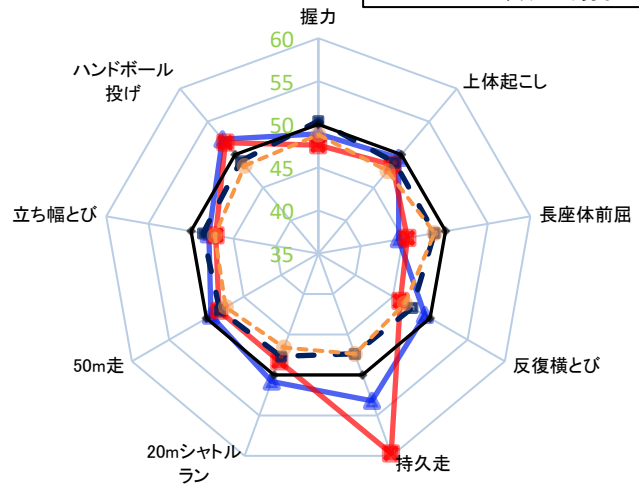
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



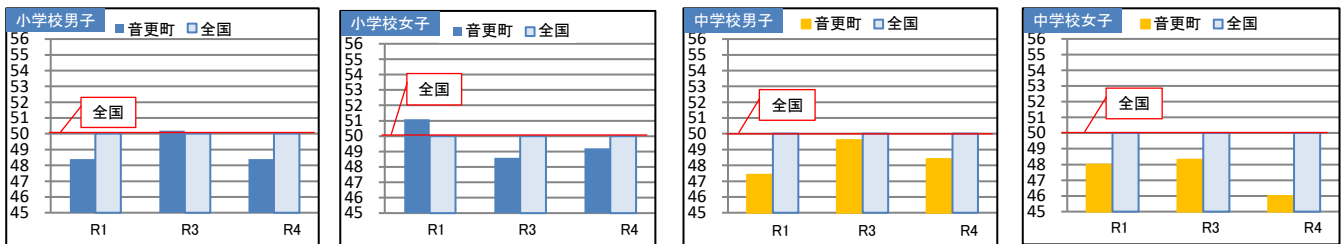
【小学校】



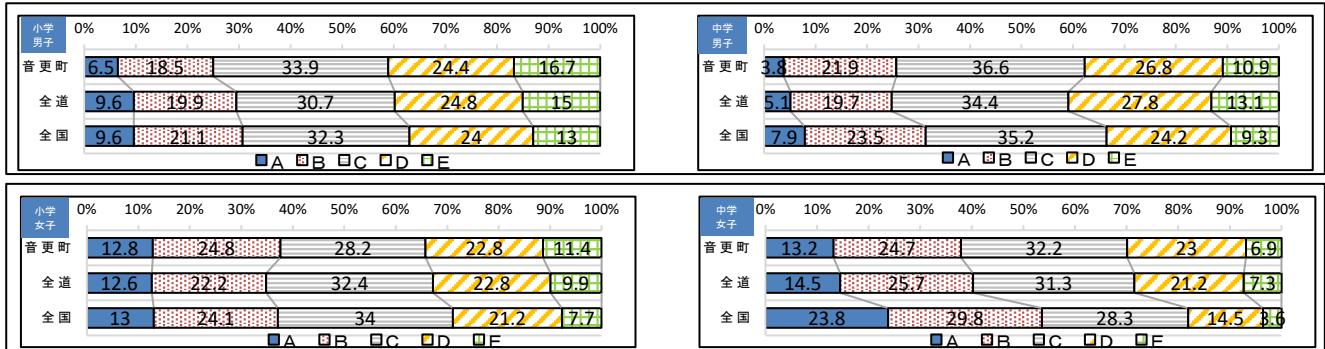
【中学校】



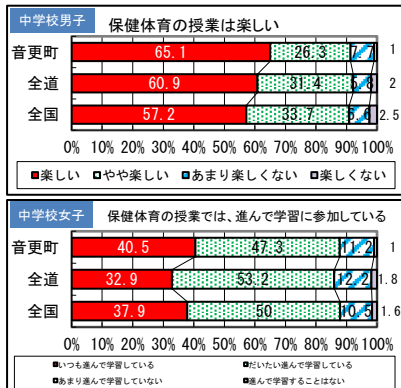
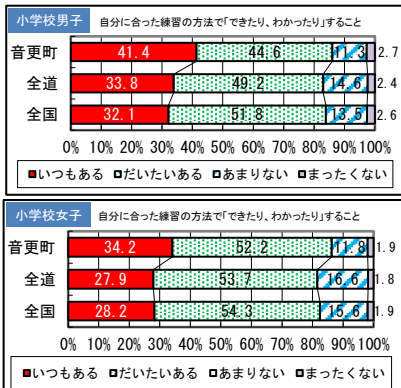
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



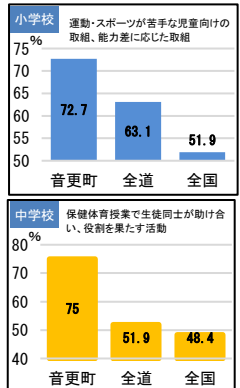
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を行ったことにより、自分に合った練習の方法で達成感や成就感を得ている児童の割合が増加し、男女ともに複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

<中学校>  
各学校において、保健体育授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動を取り入れた授業改善等を行ったことにより、男女ともに保健体育の授業に意欲的に参加している生徒の割合が高くなり、男女ともに、複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

【音更町の体力向上策】

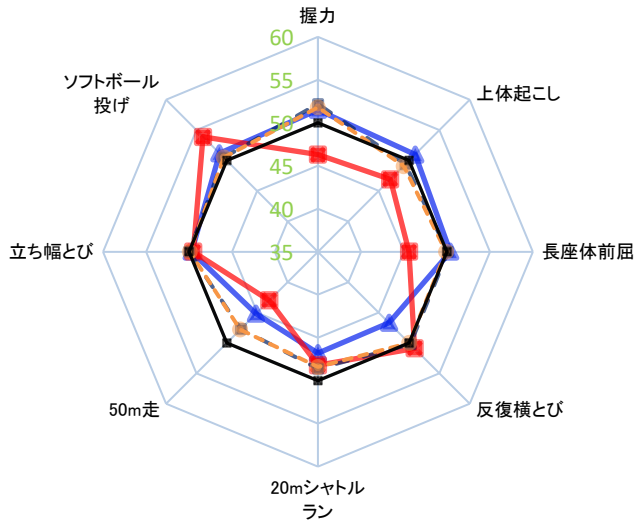
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 体力・運動能力の向上、運動習慣の改善に向けた教材・教具の充実
- ◎ 関係機関と連携した体力向上や運動習慣の確立に向けた取組の充実・普及

■ 士幌町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校3校・児童数45名、中学校1校・生徒数55名)

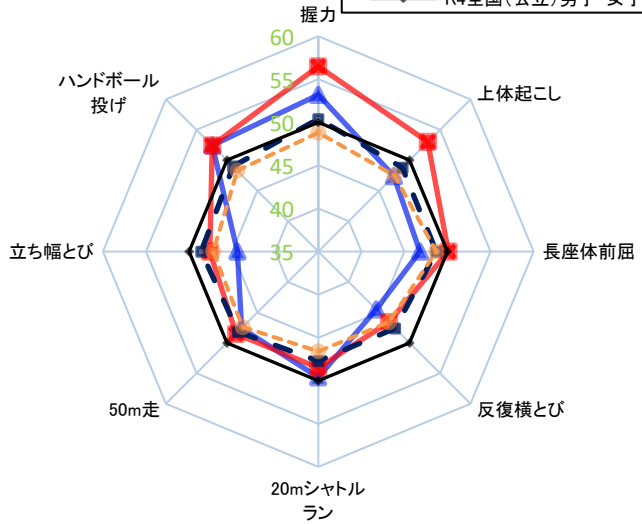
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

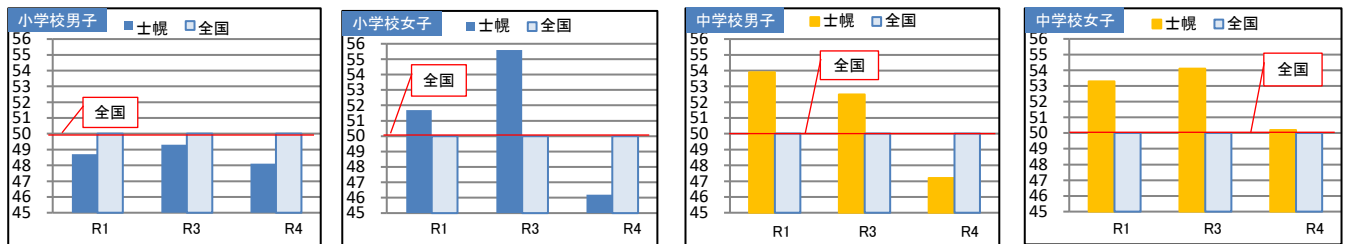
【小学校】



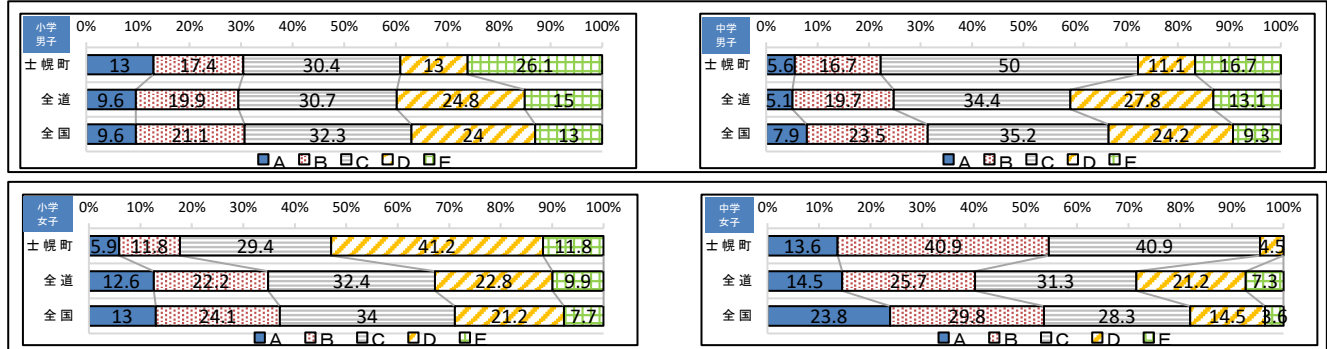
【中学校】



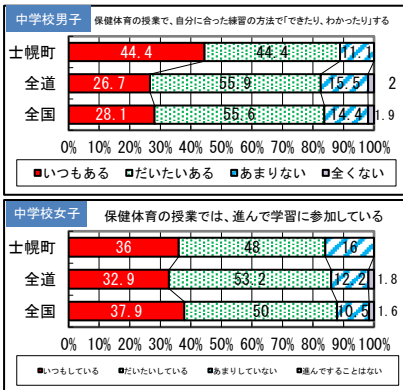
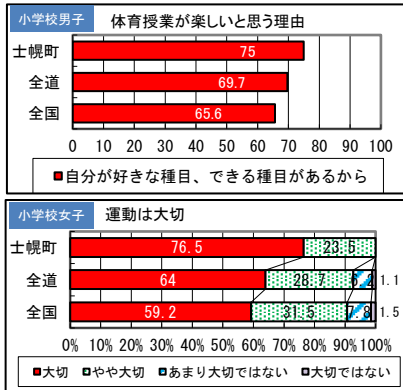
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



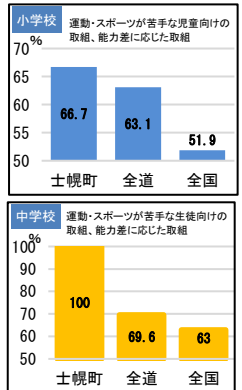
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組や能力差に応じた取組を行ったことにより、達成感や成就感を得て、運動の大切さを実感している児童の割合が高くなり、男女ともに複数の種目で全道平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
保健体育授業で運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組や能力差に応じた取組を行ったことにより、生徒が進んで授業に取り組むとともに、自分に合った練習の方法で達成感や成就感を得ている生徒の割合が高くなり、男女ともに複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

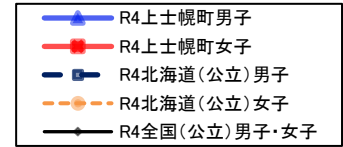
【士幌町の体力向上策】

- ◎ 児童生徒が、他者との協働や運動のよさを実感し、意欲を高めるためのICTを活用した授業等の工夫・改善
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の推進
- ◎ 学校・家庭・地域が連携した望ましい生活習慣の確立に向けた取組の推進

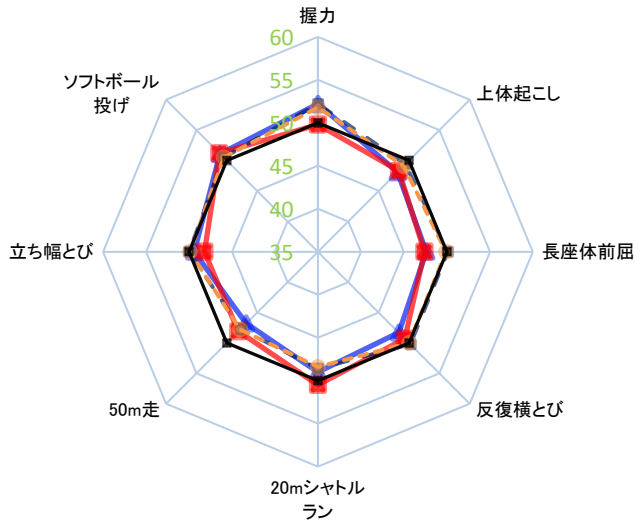
■ 上士幌町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数42名、中学校1校・生徒数36名)

【各種目の状況】

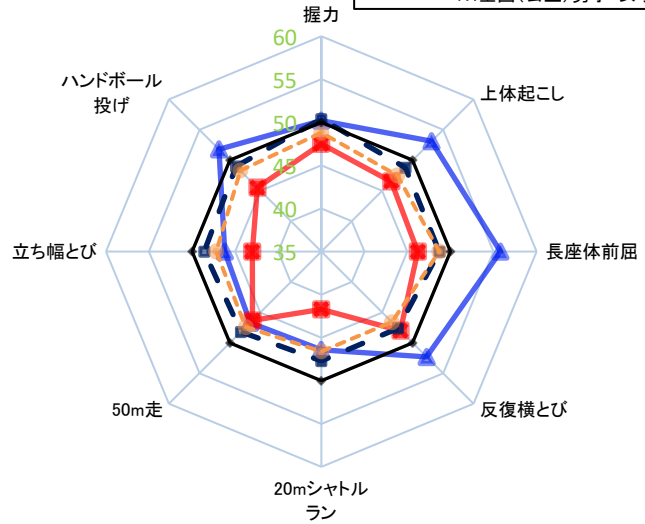
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



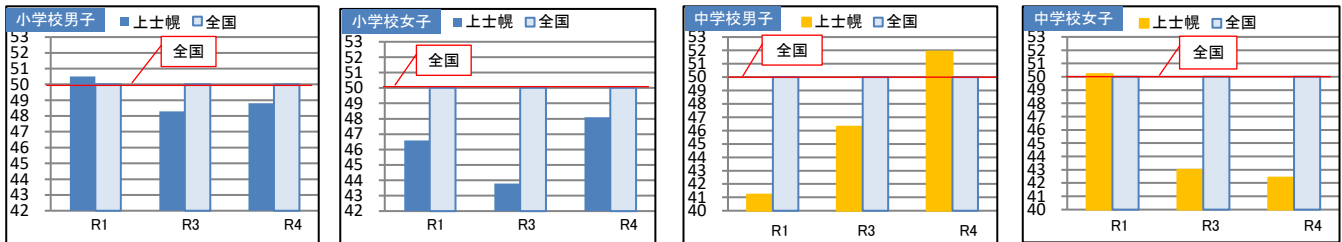
【小学校】



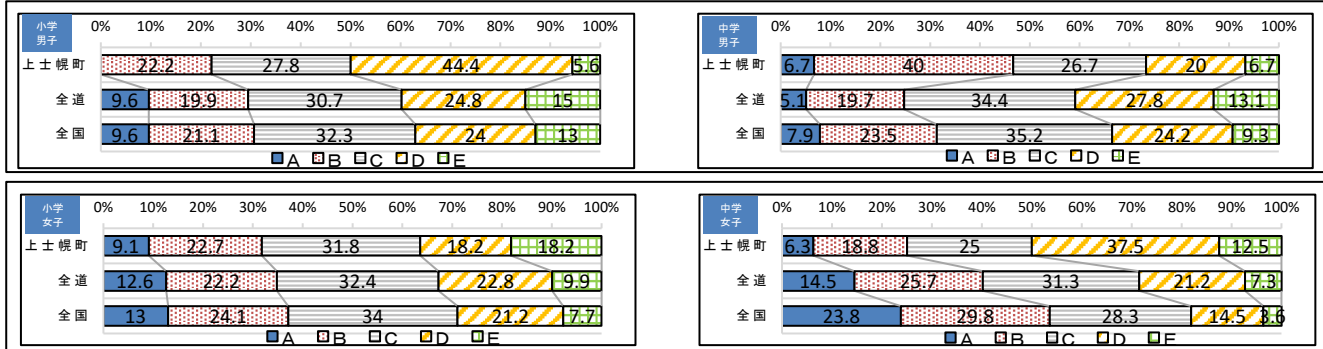
【中学校】



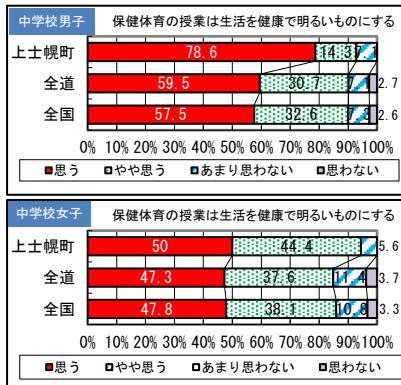
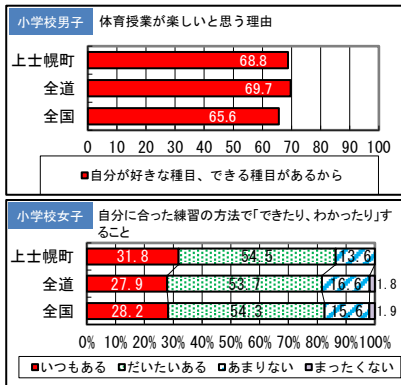
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



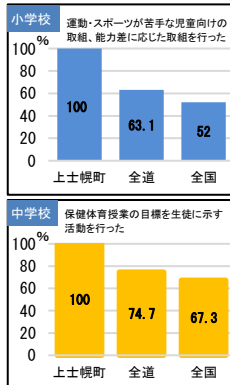
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

**<小学校>**  
 体育の授業で運動・スポーツが苦手な児童向けの取組や能力差に応じた取組を行ったことにより、達成感や成就感を得て、体育授業が好きだと回答する児童の割合が高くなり、男女ともに体力合計点が昨年度より増加したと考える。

**<中学校>**  
 保健体育授業の目標を生徒に示す活動を取り入れた授業改善を行ったことにより、自分との関わりを意識して運動に取り組み、保健体育の授業は生活を健康で明るいものにすると考えた生徒の割合が高くなり、複数の種目で全道平均を上回ったと考える。

【上士幌町の体力向上策】

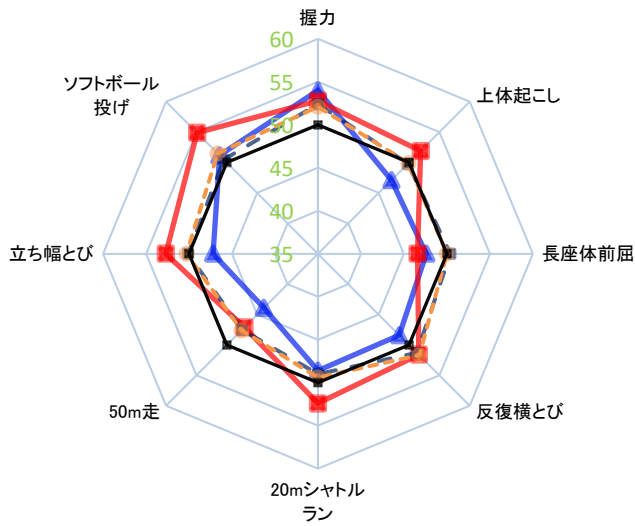
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた授業改善の推進
- ◎ ICT推進教諭と連携した、児童生徒が他者との協働や運動のよさを実感し意欲を高めるための効果的なICT活用の支援
- ◎ 地域・家庭と連携を図った運動の日常化の促進

鹿追町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校5校・児童数53名、中学校2校・生徒数50名)

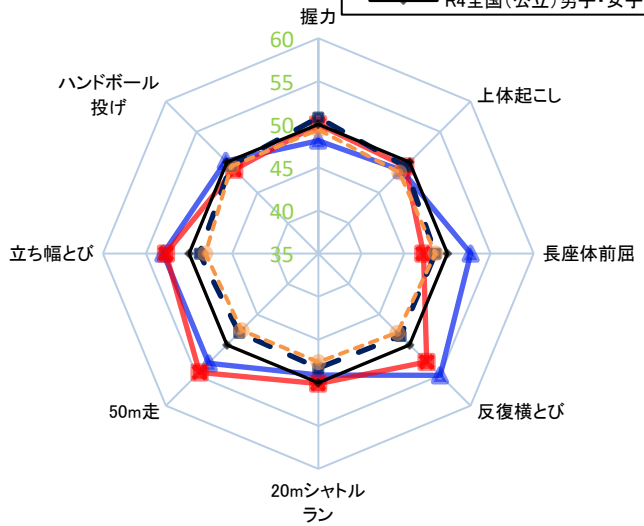
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

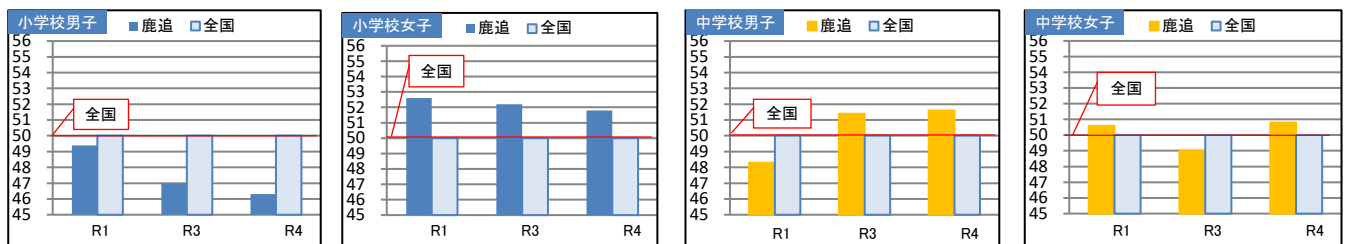
【小学校】



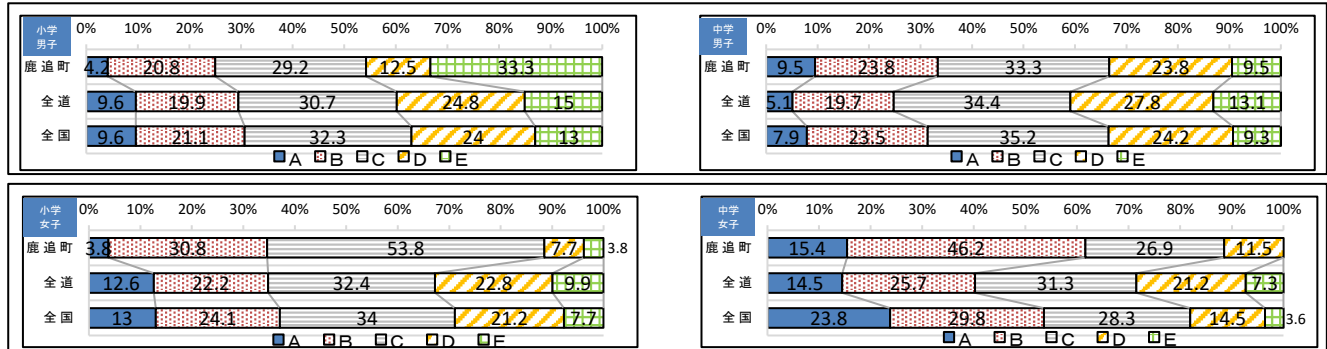
【中学校】



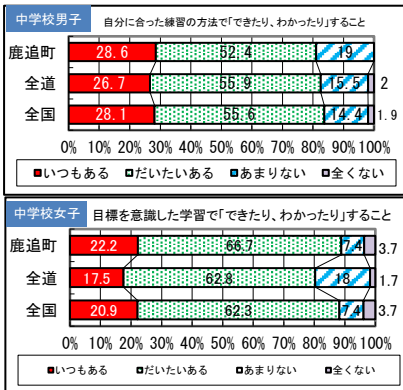
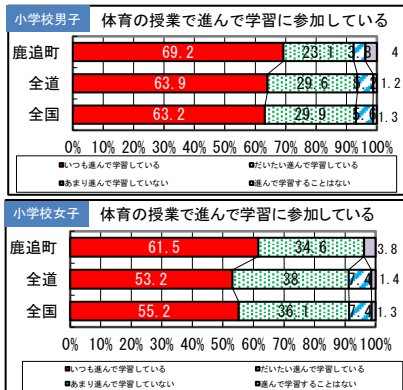
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



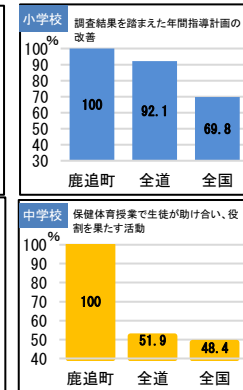
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、体育の授業について、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を行ったことにより、体育の授業に進んで参加している児童の割合が高くなり、男女ともに複数の種目において全国及び全道平均を上回ったと考える。

<中学校>  
各学校において、保健体育授業で生徒が助け合い、役割を果たす活動を行ったことにより、自分に合った練習の方法や目標を意識した学習で達成感や成就感を得ている生徒の割合が高くなり、男女とも複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

【鹿追町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 体力・運動能力の向上、運動習慣の改善に向けた教材・教具の充実
- ◎ 社会教育との連携による日常的な運動機会の創出

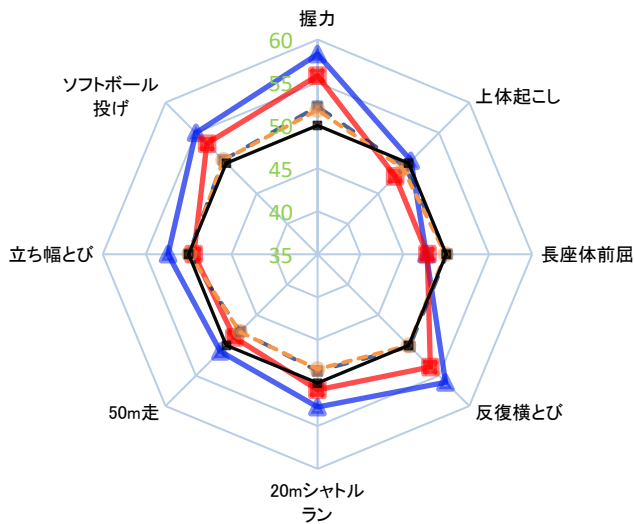


■ 新得町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校3校・児童数33名、中学校3校・生徒数24名)

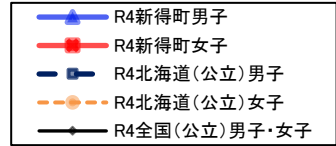
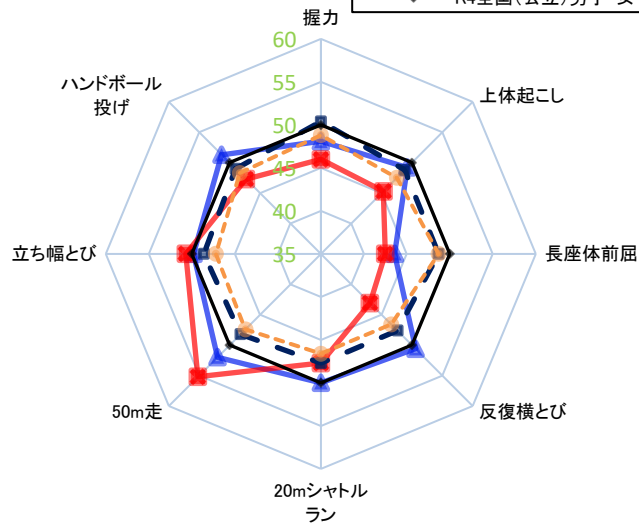
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

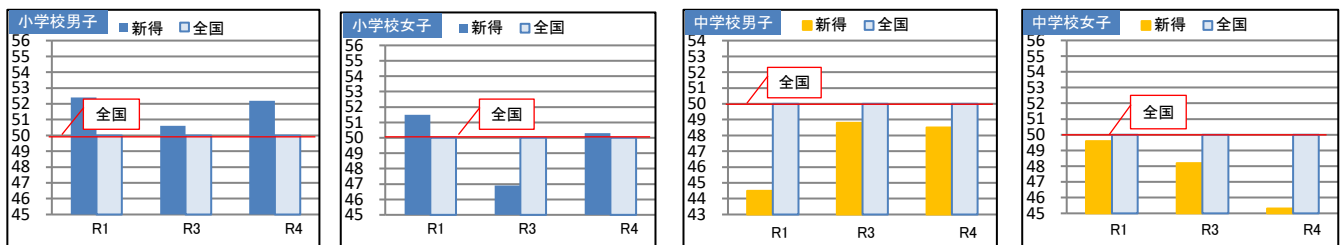
【小学校】



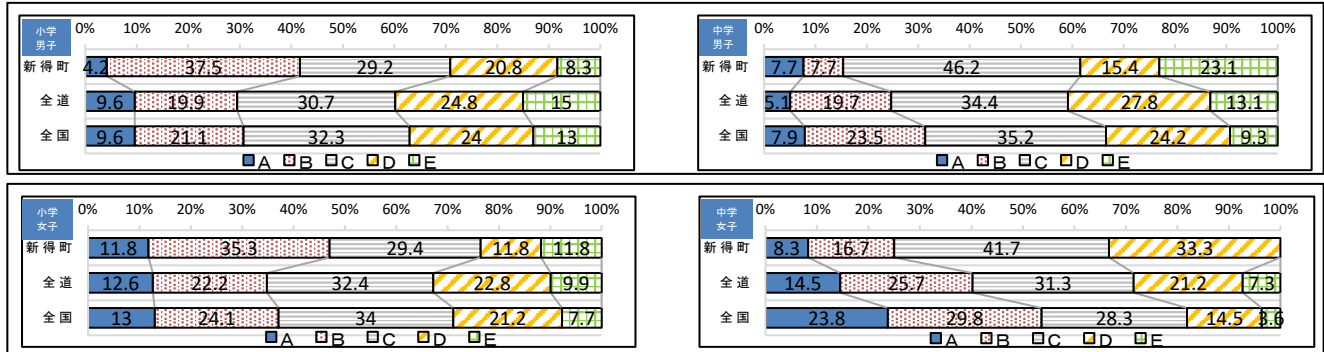
【中学校】



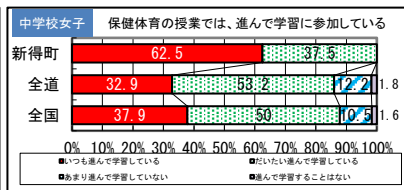
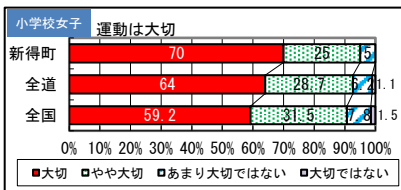
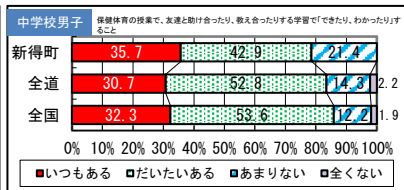
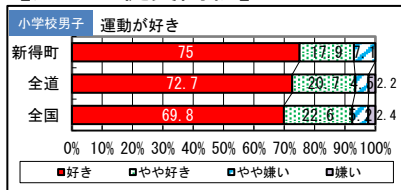
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



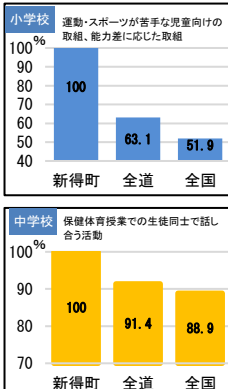
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組や能力差に応じた取組を行ったことにより、運動の楽しさや大切さを実感している児童の割合が増加し、男女ともに複数の種目、体力合計点において、全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育の授業で生徒同士で話し合う活動を取り入れた授業改善等を行ったことにより、体育の達成感や成就感を得て進んで学習に参加する生徒の割合が高くなり、男女ともに、複数の種目で全道平均を上回ったと考える。

【新得町の体力向上策】

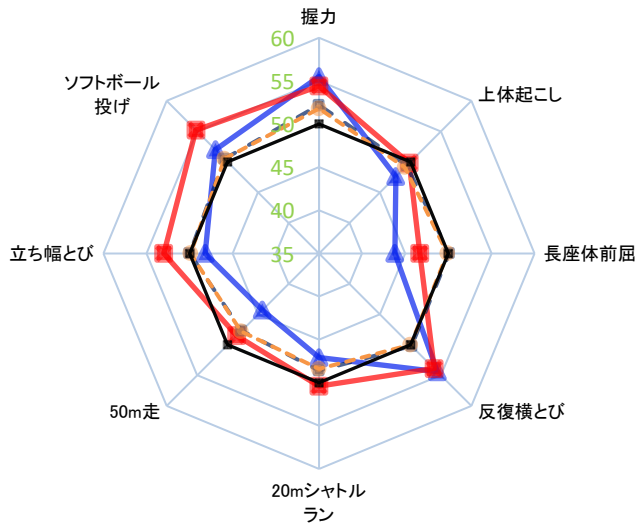
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた組織的、継続的な体力向上の取組の促進
- ◎ 学校、家庭、地域と連携した望ましい生活習慣の確立に向けた継続的な取組の促進
- ◎ 児童生徒が、自身の課題や目標を明確にし自身の変容等を自覚させるための授業等の工夫・改善

■ 清水町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数67名、中学校2校・生徒数71名)

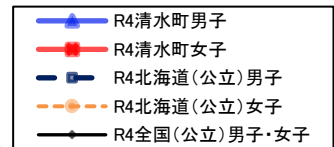
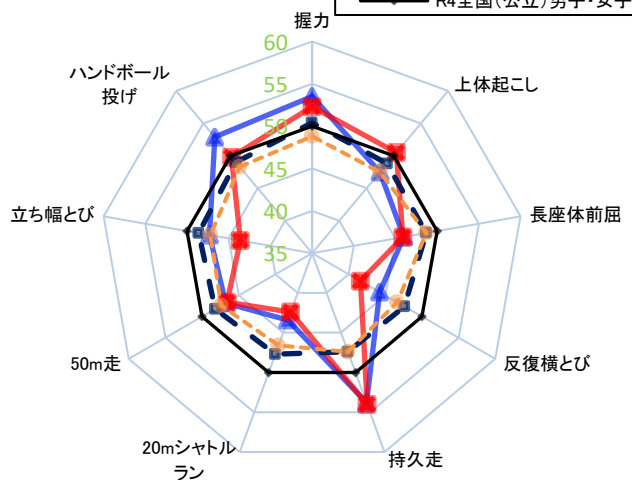
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

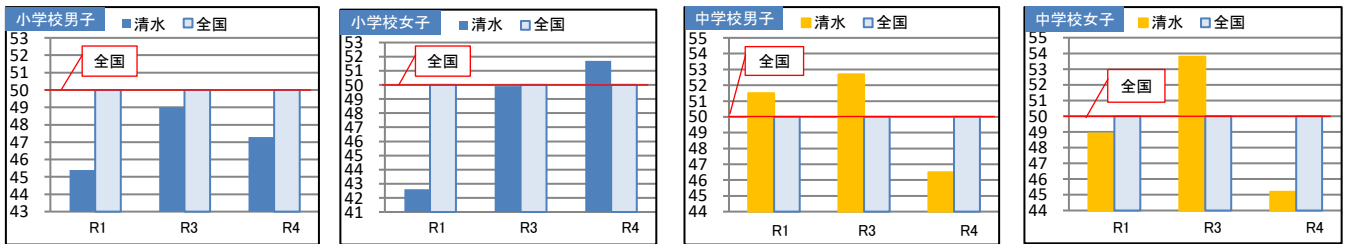
【小学校】



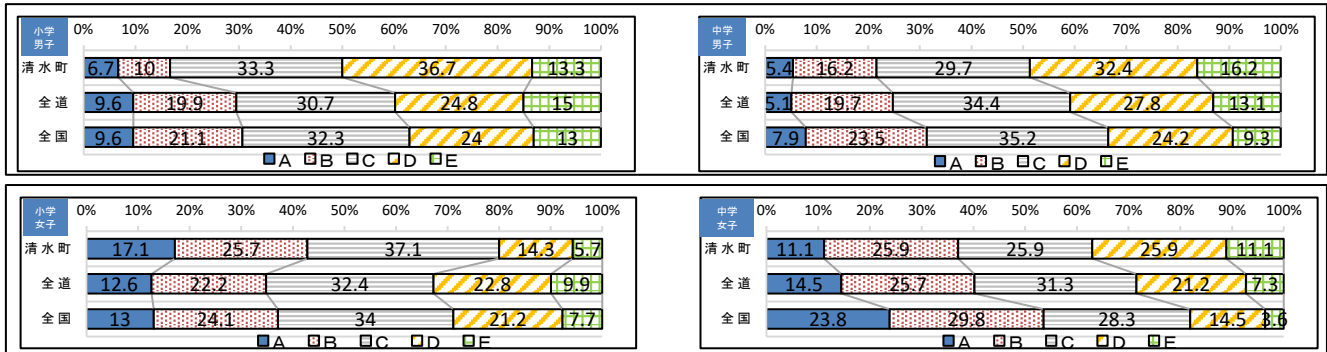
【中学校】



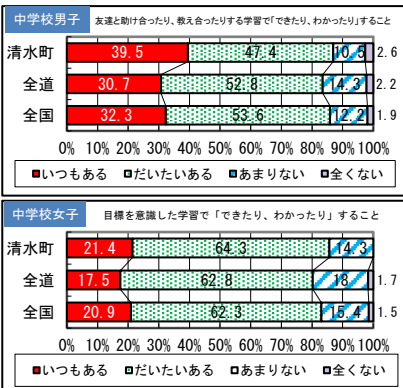
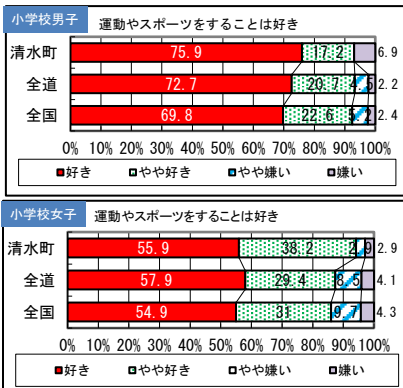
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



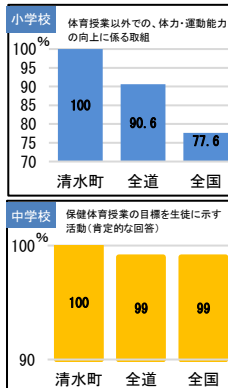
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、授業改善の取組に加えて、体育授業以外の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、運動やスポーツが好きと回答した児童の割合が増加し、男女ともに複数の種目で全道及び全国平均を上回ったと考える。

<中学校>  
各学校において、保健体育授業の目標を生徒に示す活動を取り入れた授業改善を行ったことにより、目標を意識するとともに、友達と協力的に学ぶことで達成感や成就感を得ている生徒の割合が高くなり、男女ともに複数の種目で全道平均を上回ったと考える。

【清水町の体力向上策】

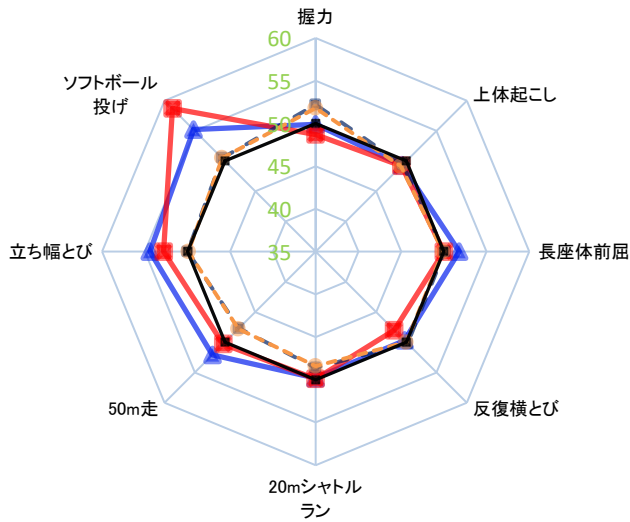
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 児童生徒が日常的に運動に親しむ環境整備の推進
- ◎ 小学校体育エキスパート教員を活用した小・中連携による授業改善に係る取組

■ 芽室町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校4校・児童数188名、中学校3校・生徒数196名)

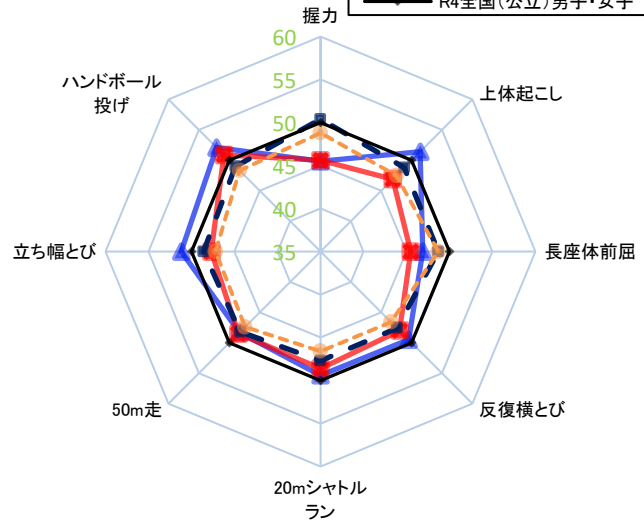
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

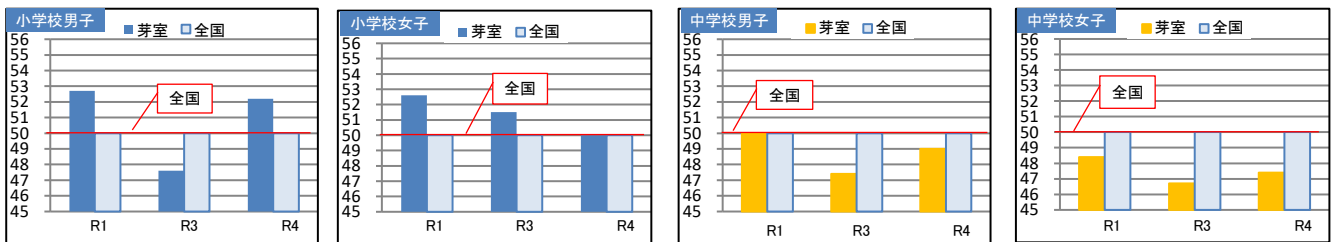
【小学校】



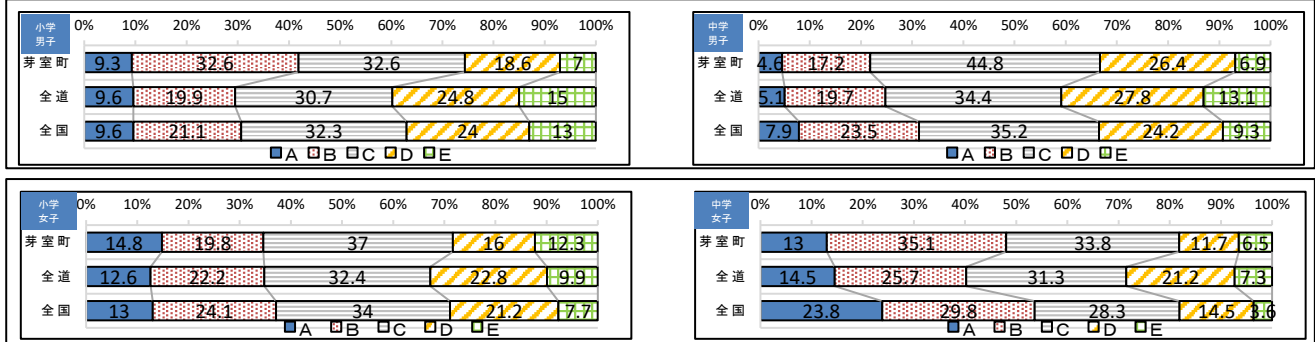
【中学校】



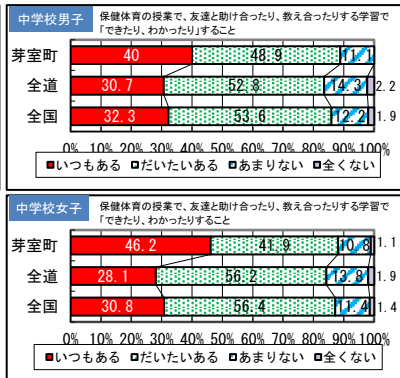
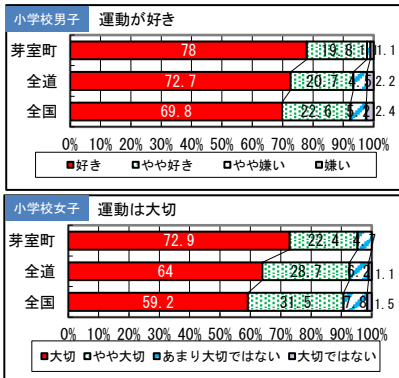
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



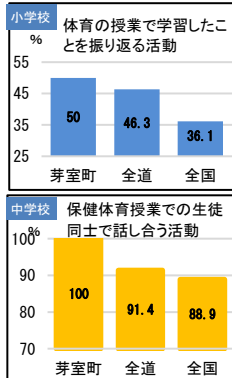
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
 各学校において、体育の授業で学習したことを振り返る活動を充実させたことにより、自身の学びの自覚を通して、運動の楽しさや大切さを感じる児童の割合が増加し、男女ともに複数の種目で全国平均を上回ったと考える。

<中学校>  
 各学校において、保健体育授業での生徒同士で話し合う活動を取り入れた授業改善等を行ったことにより、協働を通して学習の達成感や達成感を得ている生徒の割合が高くなり、男女ともに、複数の種目で全道平均を上回ったと考える。

【芽室町の体力向上策】

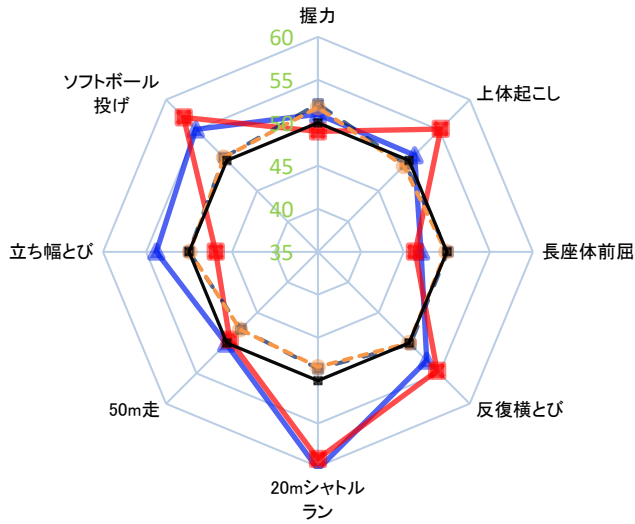
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた、計画的・継続的な体力向上に向けた取組の促進
- ◎ 小・中連携による他者との協働や運動のよさを実感し意欲を高めるためのICTを効果的に活用した授業改善
- ◎ 児童生徒質問紙において、「朝食を毎日食べる」と回答していない児童生徒に対する、家庭と連携した生活習慣の見直し

■ 中札内村内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校2校・児童数50名、中学校1校・生徒数35名)

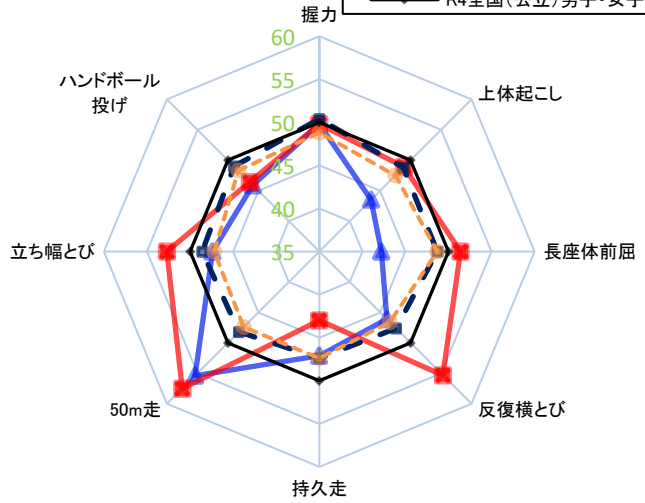
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

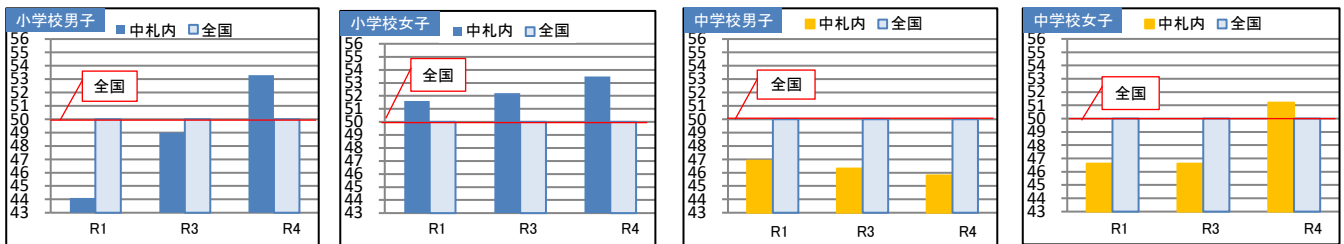
【小学校】



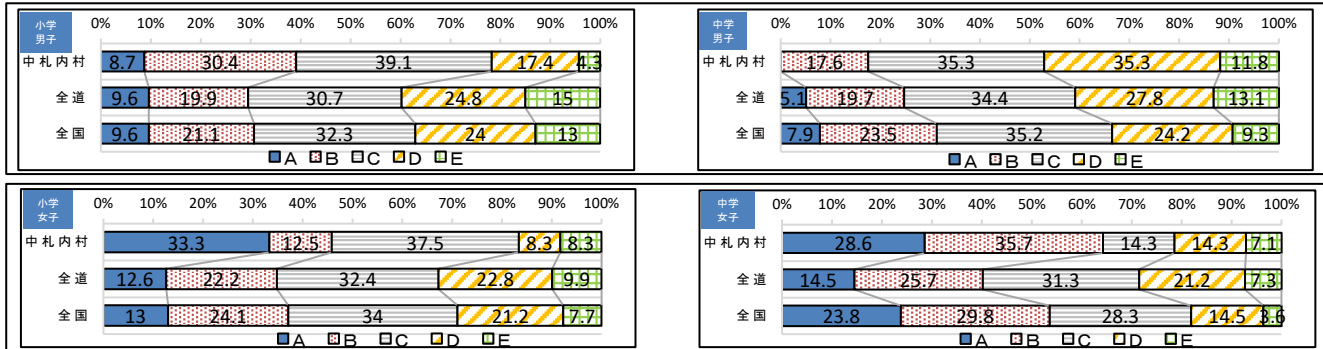
【中学校】



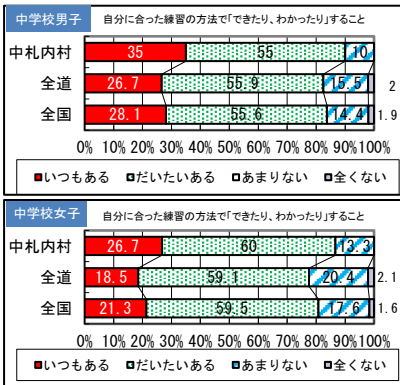
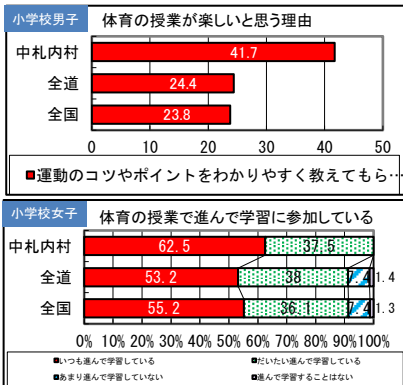
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



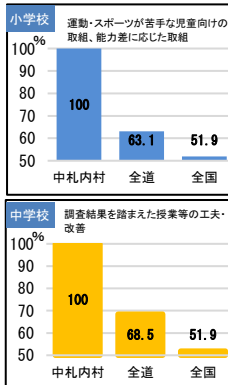
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組や能力差に応じた取組を行ったことにより、運動のコツをわかりやすく教えてもらえると感じる児童や進んで学習に参加する児童の割合が高くなり、男女ともに複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

<中学校>  
調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、自分にとって適切な練習の方法で課題解決に取り組む、達成感や成就感を得ている生徒の割合が高くなり、男女ともに全国平均や全道平均を上回る種目が複数あったと考える。

【中札内村の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 村教委主催の学力・体力向上等サポート会議の実施による村内の課題改善策の協議及び共有
- ◎ 学校、家庭、地域が連携した望ましい生活習慣の確立に向けた取組の推進

■ 更別村内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数25名、中学校1校・生徒数28名)

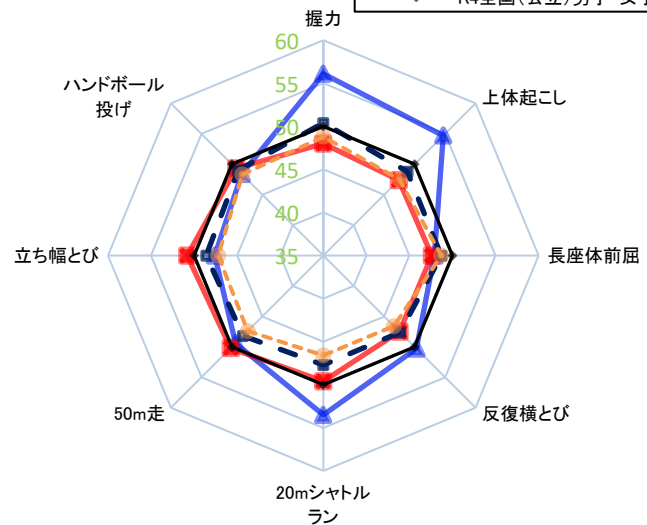
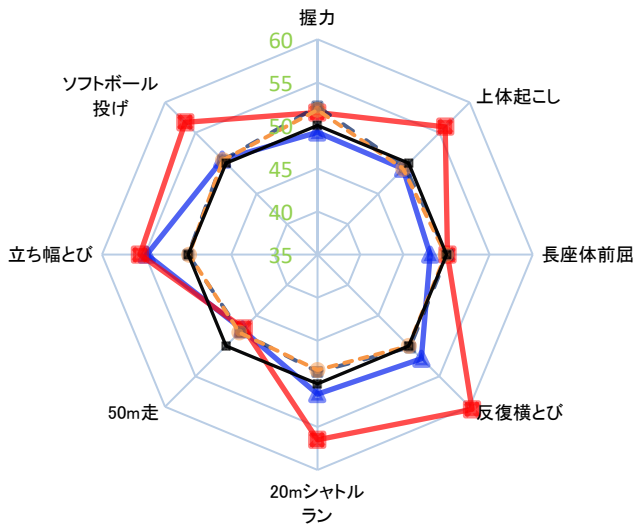
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

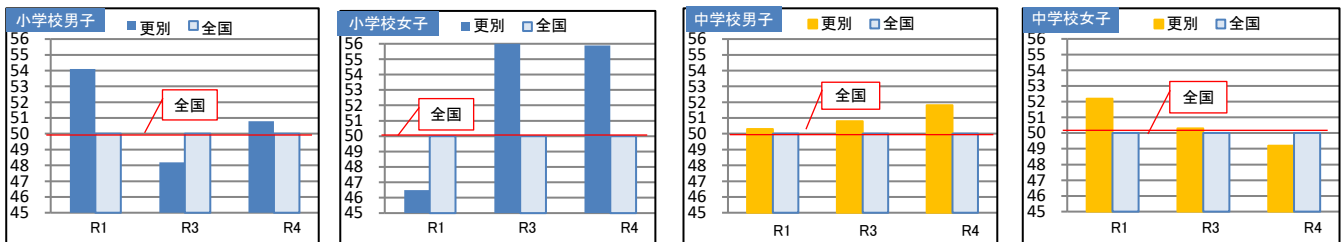


【小学校】

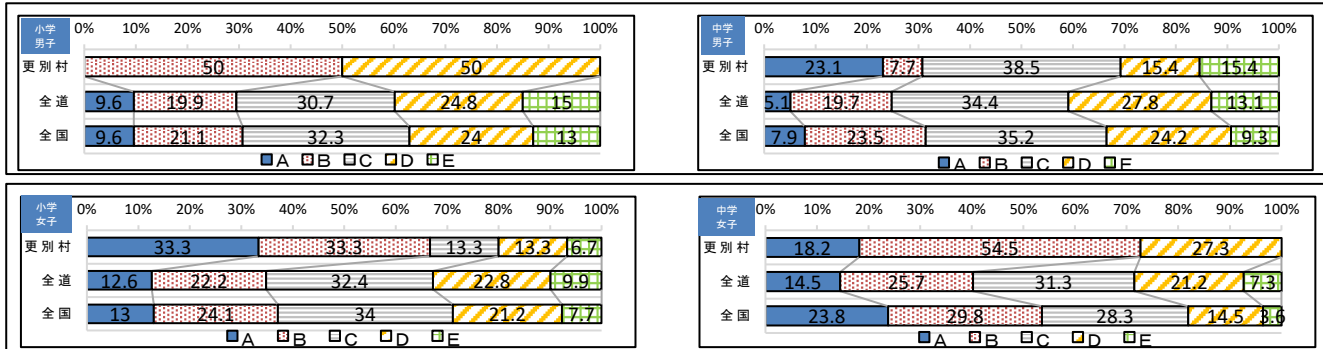
【中学校】



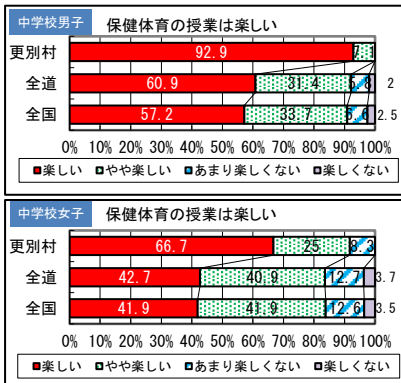
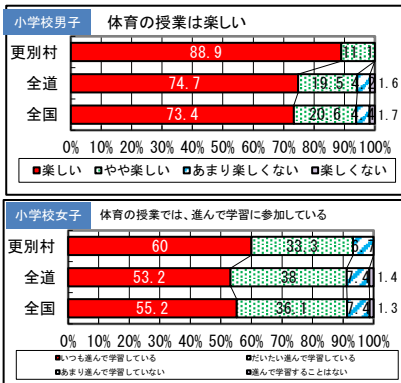
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



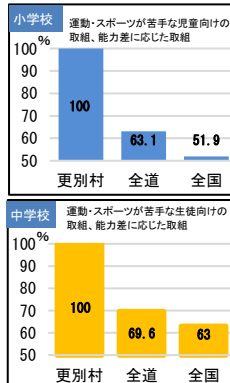
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、運動・スポーツが苦手な児童向けの取組や能力差に応じた取組を行ったことにより、体育の授業に楽しさを感じ、意欲的に参加している児童の割合が増加し、男女ともに複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組や能力差に応じた取組を行ったことにより、保健体育の授業に楽しさを感じている生徒の割合が増加し、男女ともに、複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

【更別村の体力向上策】

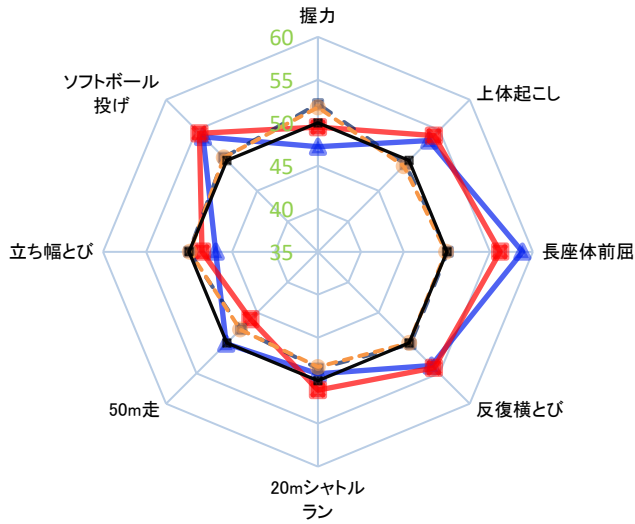
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた組織的・継続的な体力向上に向けた取組の推進
- ◎ 児童生徒が、他者との協働や運動のよさを実感し、意欲を高めるためのICTを活用した授業等の工夫・改善の充実
- ◎ 村教委主催の学力・体力向上等サポート会議の実施による村内の課題改善策の協議及び共有

■ 大樹町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数41名、中学校1校・生徒数46名)

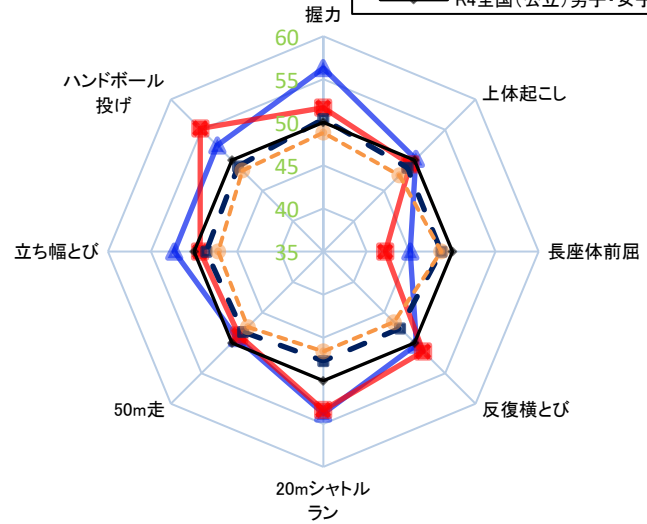
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

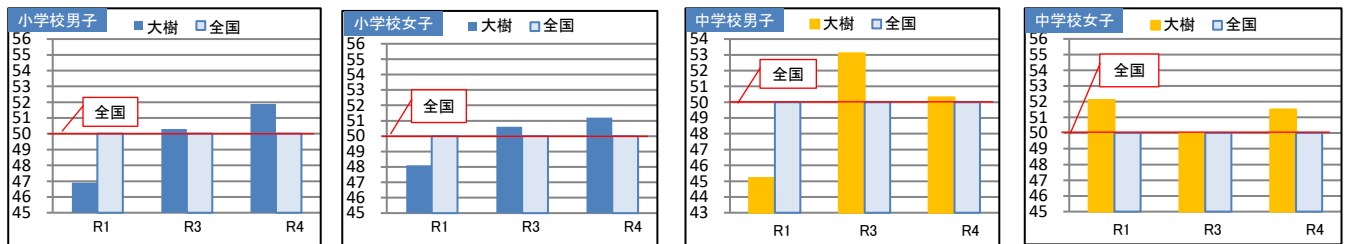
【小学校】



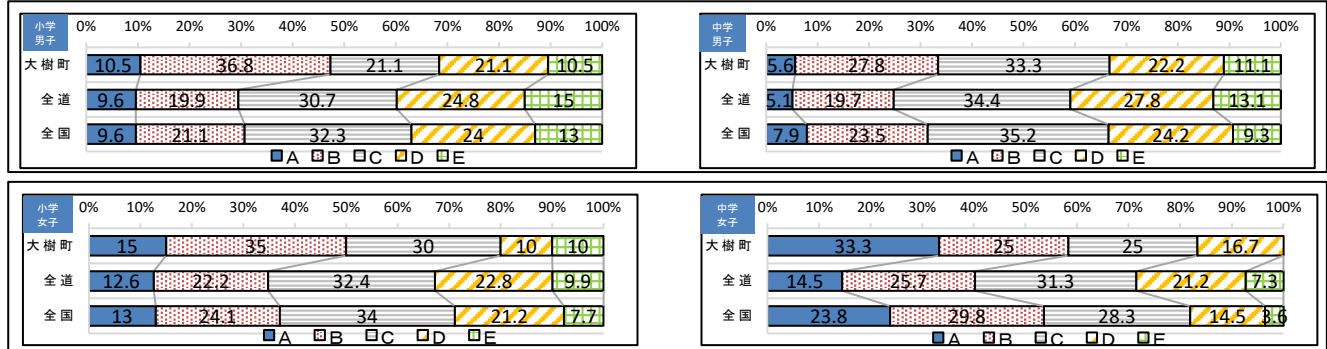
【中学校】



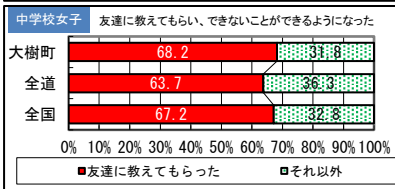
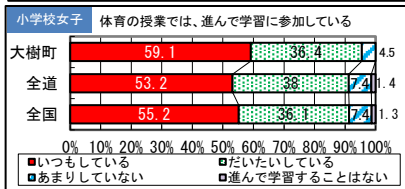
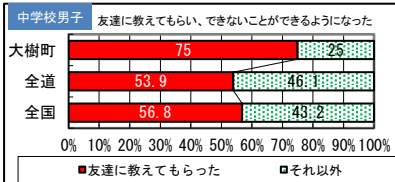
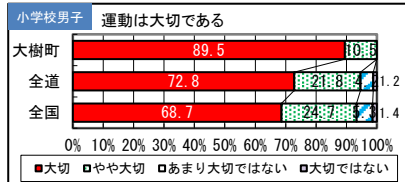
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



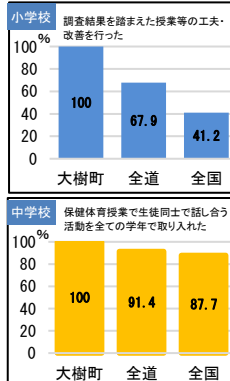
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
調査結果を踏まえた運動に対する意欲を高める体育の授業等の工夫・改善を行ったことにより、運動の大切さを理解するとともに、進んで学習に取り組んでいる児童の割合が増加し、男女ともに複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
保健体育の授業で生徒同士が話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、動きや運動のコツを友達に教えてもらい、できなかったことができるようになったと回答する生徒の割合が増加し、男女ともに、複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

【大樹町の体力向上策】

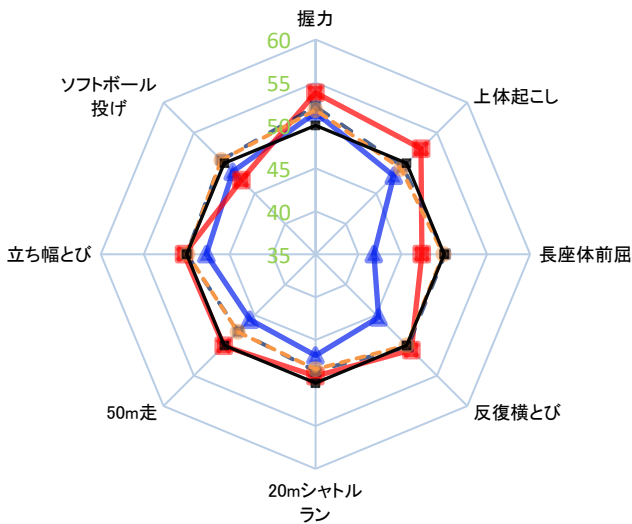
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた授業改善の推進
- ◎ 小・中連携による児童生徒の体力向上及び町のスポーツ推進員による学習改善の支援

■ 広尾町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校2校・児童数30名、中学校1校・生徒数37名)

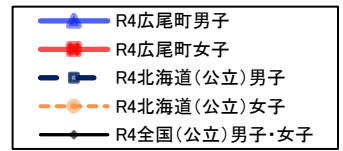
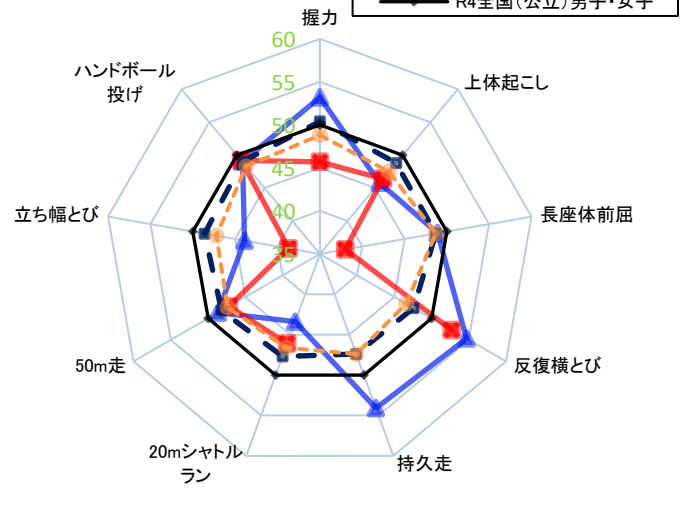
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

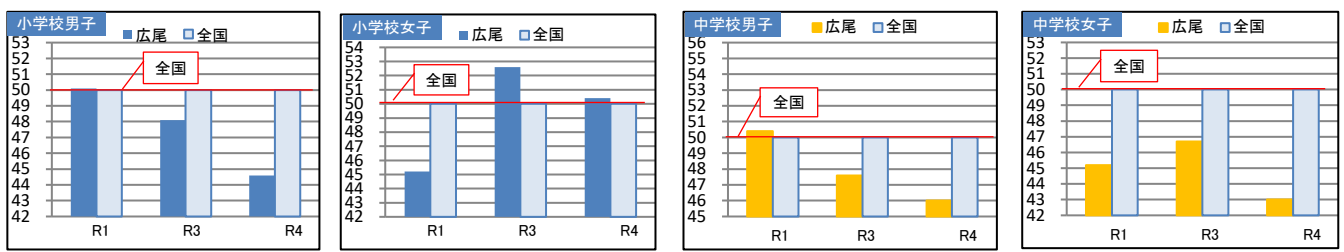
【小学校】



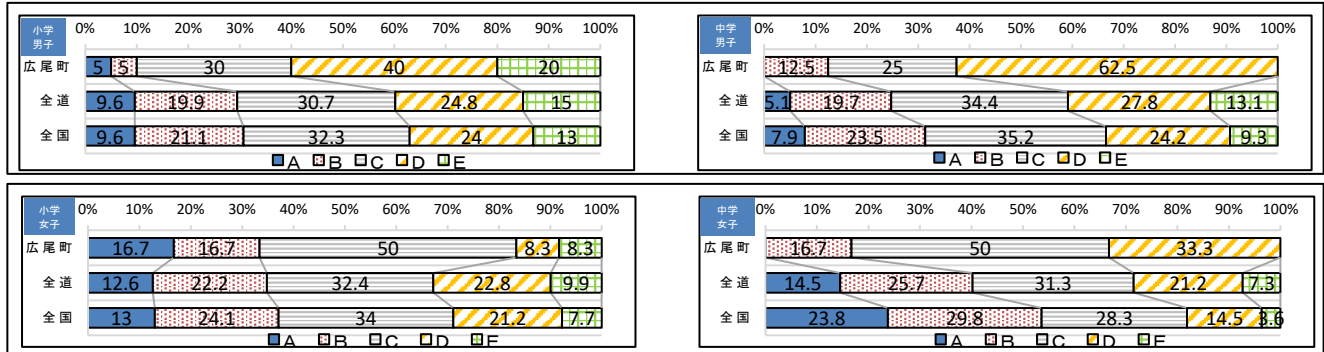
【中学校】



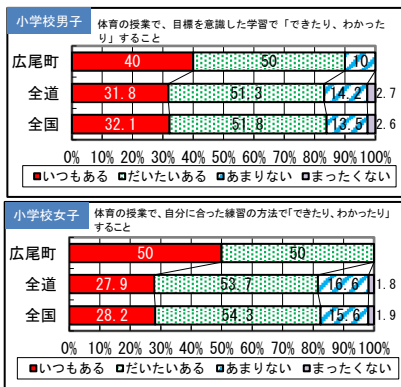
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



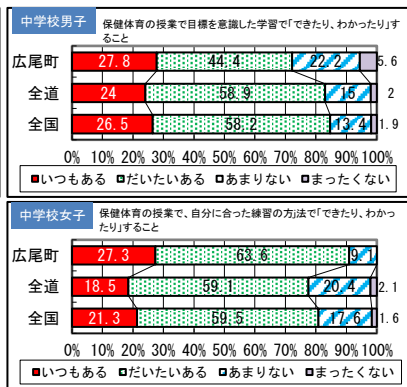
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



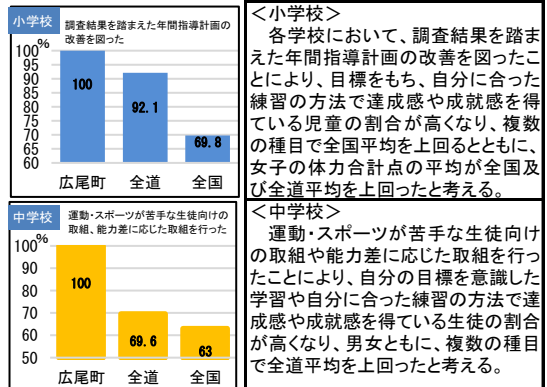
【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】



【広尾町の体力向上策】

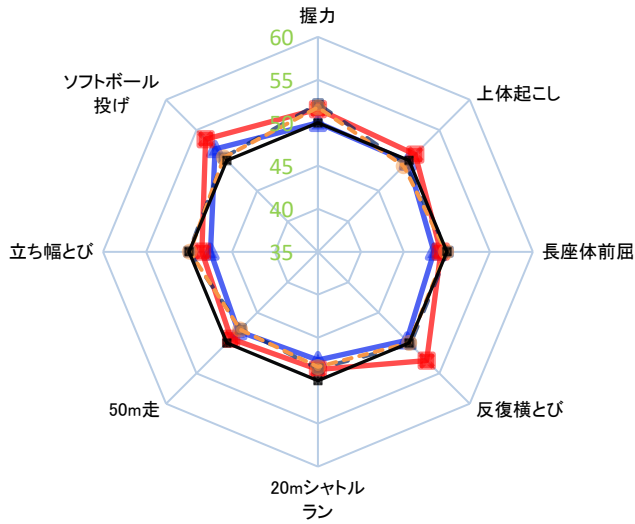
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた組織的、継続的な体力向上に向けた取組の充実
- ◎ 児童生徒が自身の課題や目標を明確にし自身の変容等を自覚させるためのICTを活用した授業等の工夫・改善の充実
- ◎ 学校、家庭、地域と連携した望ましい生活習慣の確立に向けた取組の推進

■ 幕別町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校9校・児童数262名、中学校5校・生徒数233名)

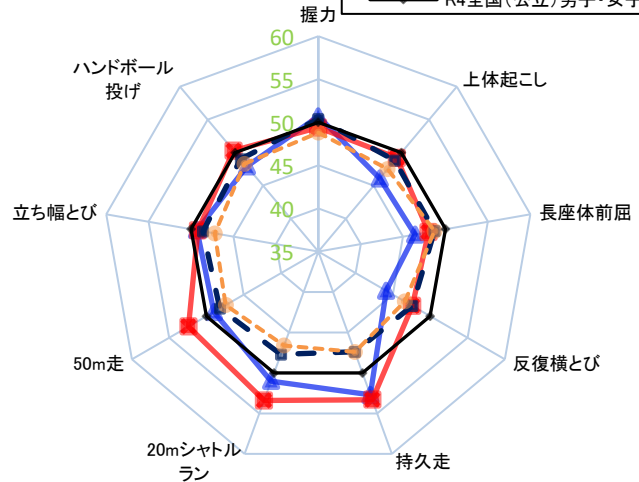
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

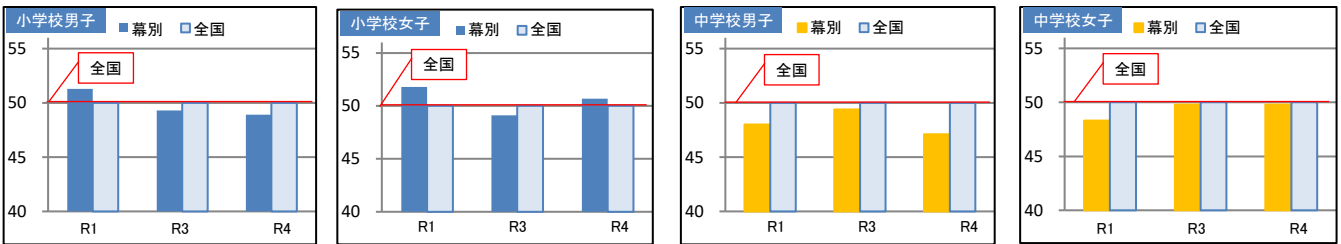
【小学校】



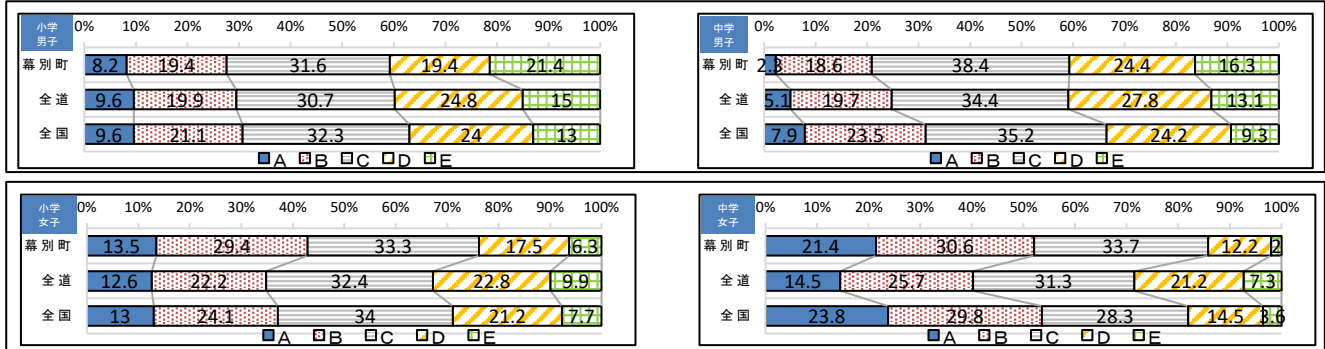
【中学校】



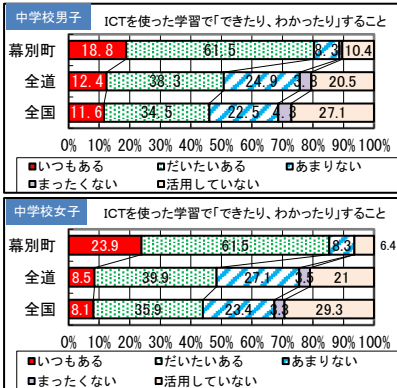
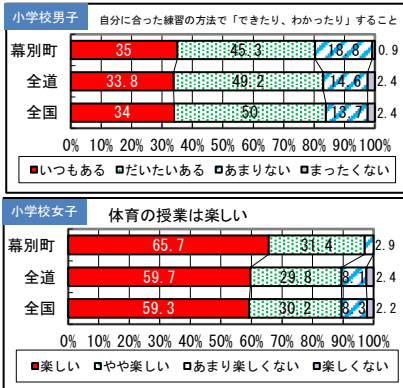
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



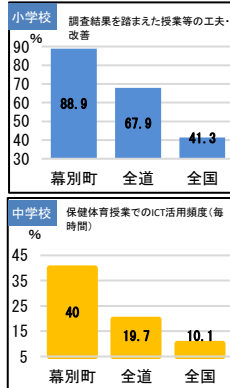
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、体育の授業に楽しさを感じたり、自分に合った練習の方法で達成感や成就感を得たりしている児童の割合が増加し、男女ともに複数の種目で全道平均を上回ったと考える。

<中学校>  
各学校において、保健体育科授業でICTを活用した授業改善の取組を推進したことにより、自分の動きや運動のコツの理解を深め、達成感や成就感を得ている生徒の割合が高くなり、男女ともに、複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

【幕別町の体力向上策】

- ◎ 児童生徒の発達の段階に応じた小・中連携による授業改善の取組の推進
- ◎ 学校、家庭、地域と連携した食育、生活習慣確立の取組の推進
- ◎ 地域と連携した部活動及び少年団等の活動支援

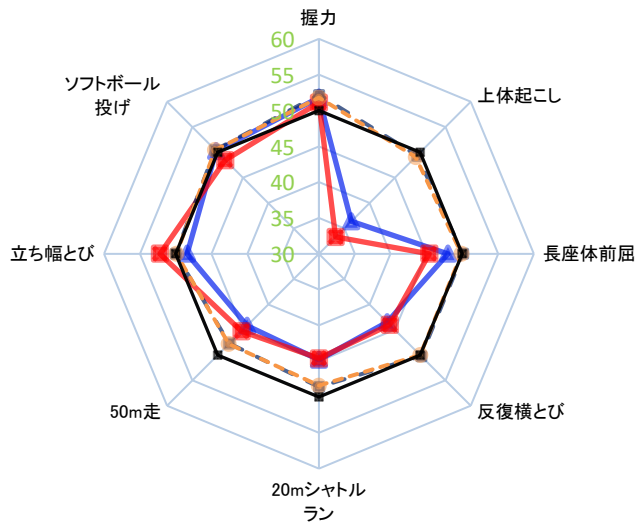


池田町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校1校・児童数43名、中学校1校・生徒数32名)

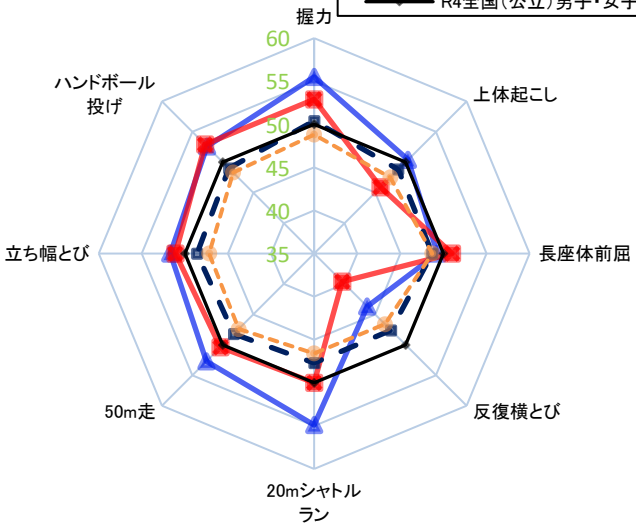
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

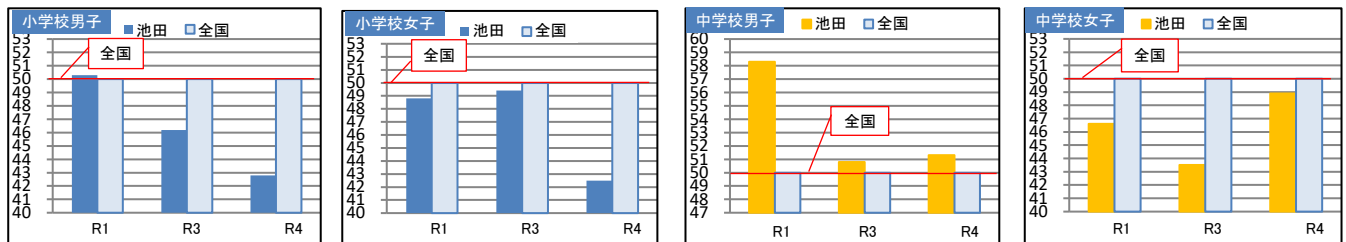
【小学校】



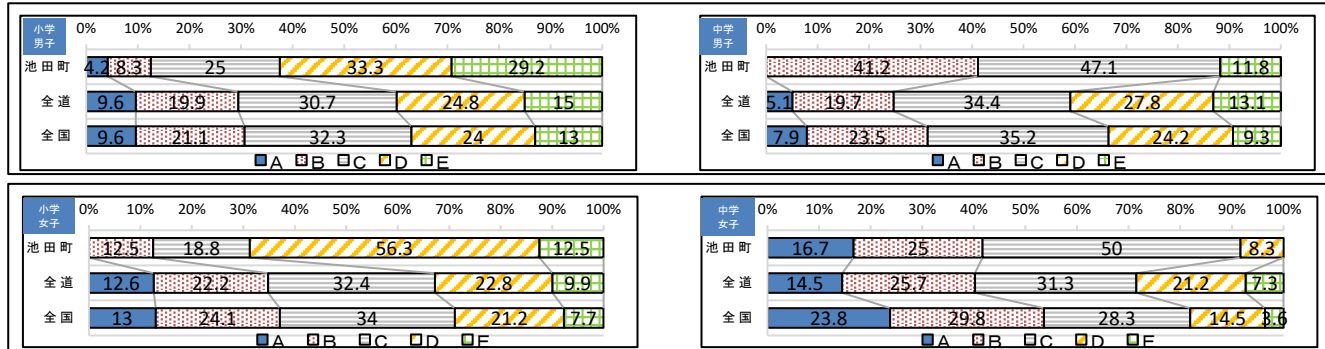
【中学校】



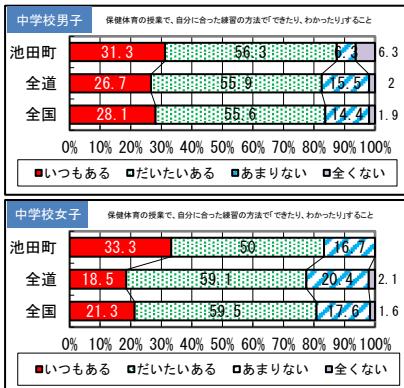
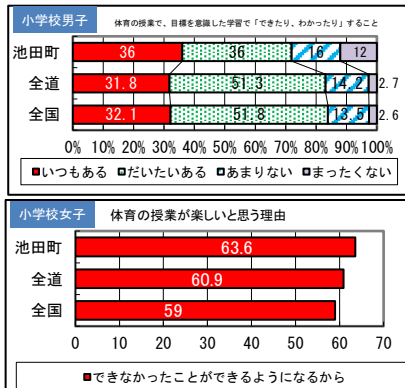
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



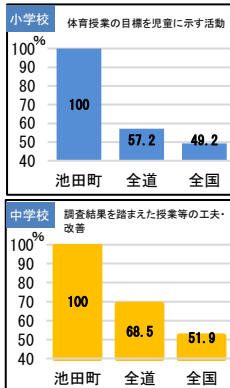
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
 体育授業の目標を児童に示す活動を取り入れたことにより、児童が目標を意識して学習で達成感や成就感を得るとともに、体育授業に楽しさを感じる児童の割合が高くなり、複数の種目で、全道平均と同程度になったと考える。

＜中学校＞  
 調査結果を踏まえた生徒の実態把握に基づく保健体育授業の工夫・改善を行ったことにより、男女ともに自分に合った練習の方法で達成感や成就感を得ている生徒の割合が増加し、男女ともに、複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

【池田町の体力向上策】

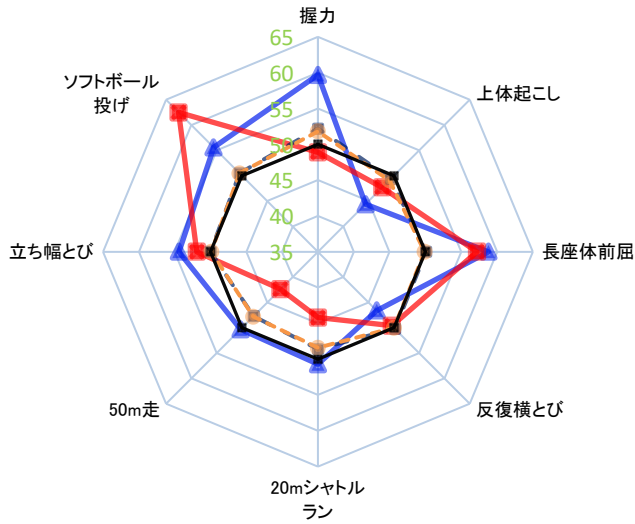
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 「運動が好き」と実感するための各種行事の設定による日常的な運動機会の創出
- ◎ 学校、家庭、地域が連携した望ましい生活習慣の確立に向けた取組の推進

■ 豊頃町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数18名、中学校1校・生徒数21名)

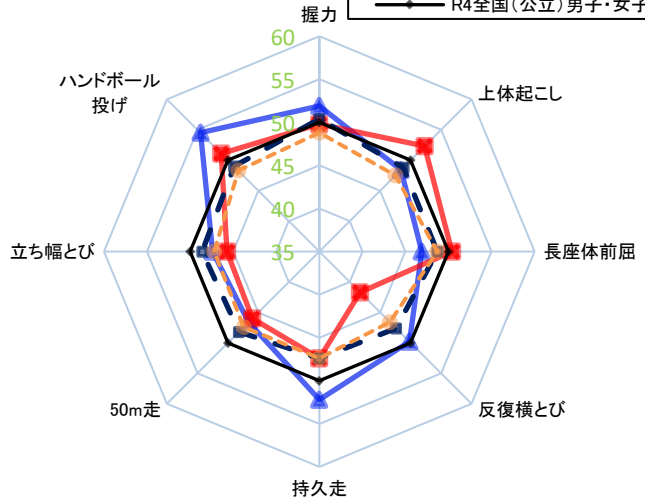
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

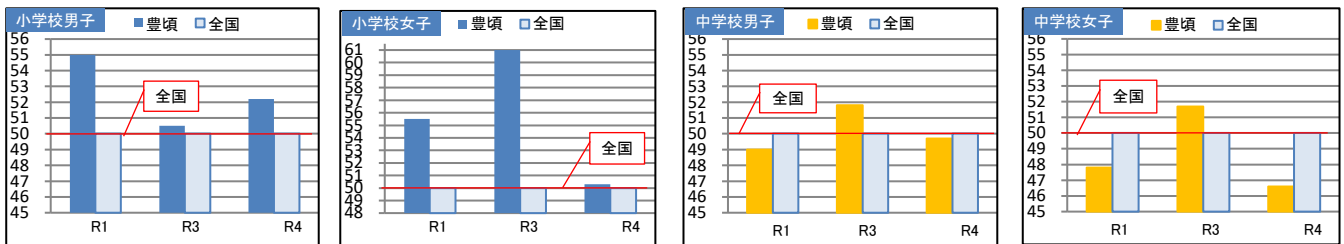
【小学校】



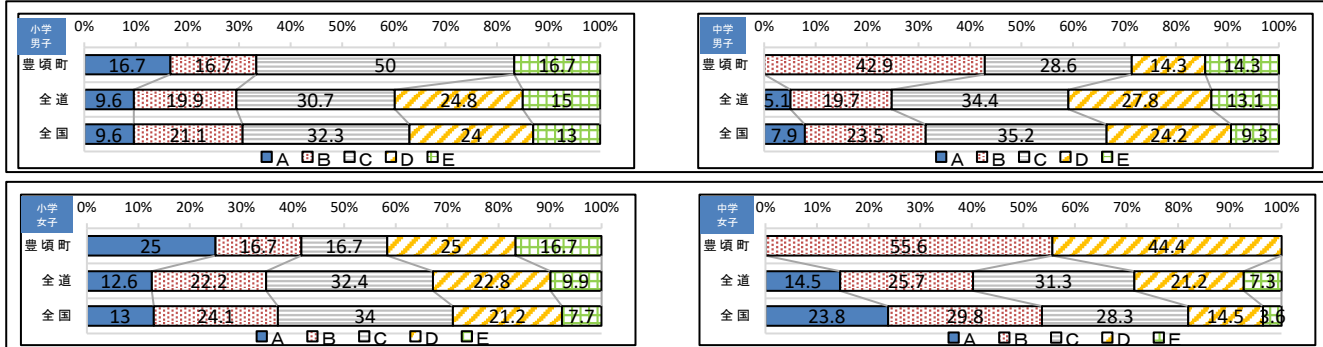
【中学校】



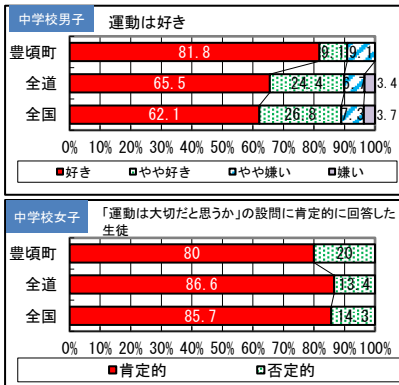
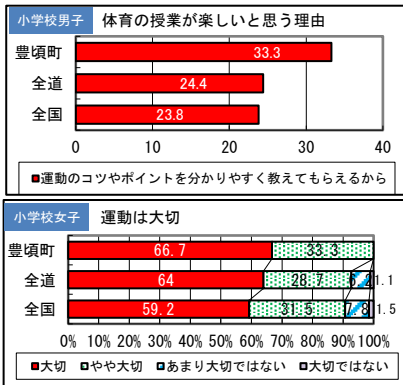
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



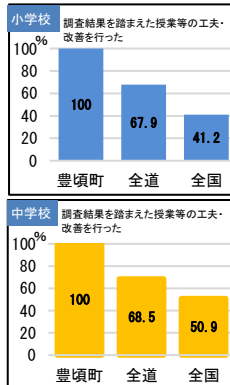
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえると感じている児童や運動は大切だと思う児童の割合が高くなり、男女ともに複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
調査結果を踏まえた保健体育の授業等の工夫・改善を行ったことにより、生徒の運動に対する意欲を高め、運動は好きだと思う生徒や大切だと思う生徒の割合が高くなり、男女ともに複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

【豊頃町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の推進
- ◎ 社会教育係が中心となった、体力・運動能力の向上、運動習慣の改善に向けた取組の推進
- ◎ 学校、家庭と連携した食育の推進

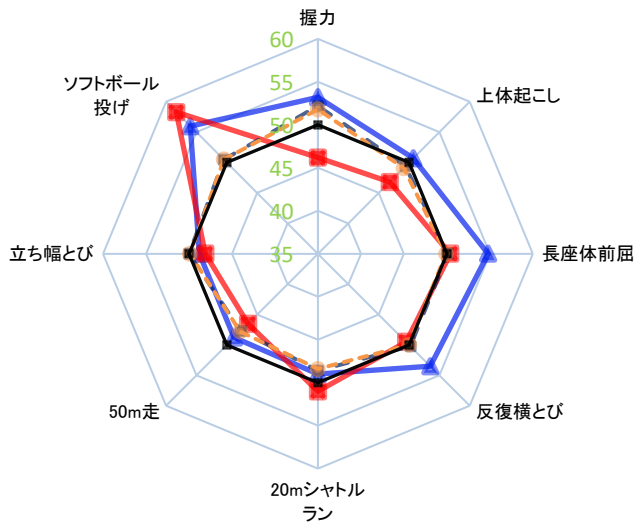
■ 本別町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校3校・児童数33名、中学校2校・生徒数47名)

【各種目の状況】

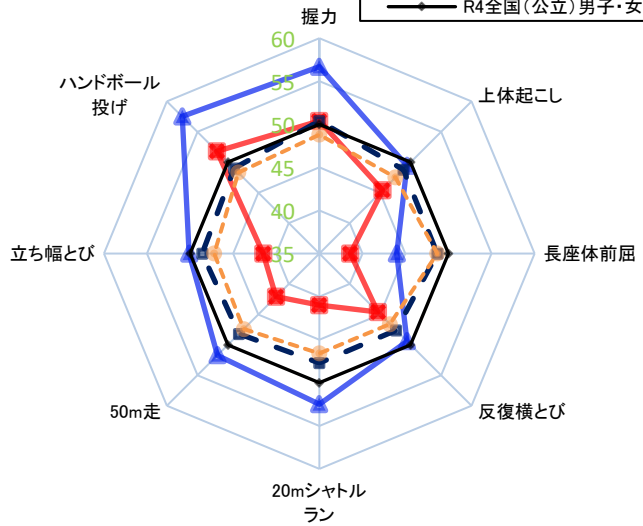
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



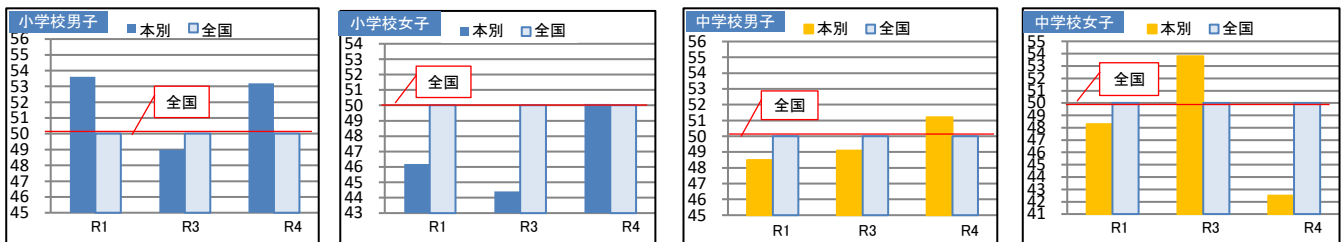
【小学校】



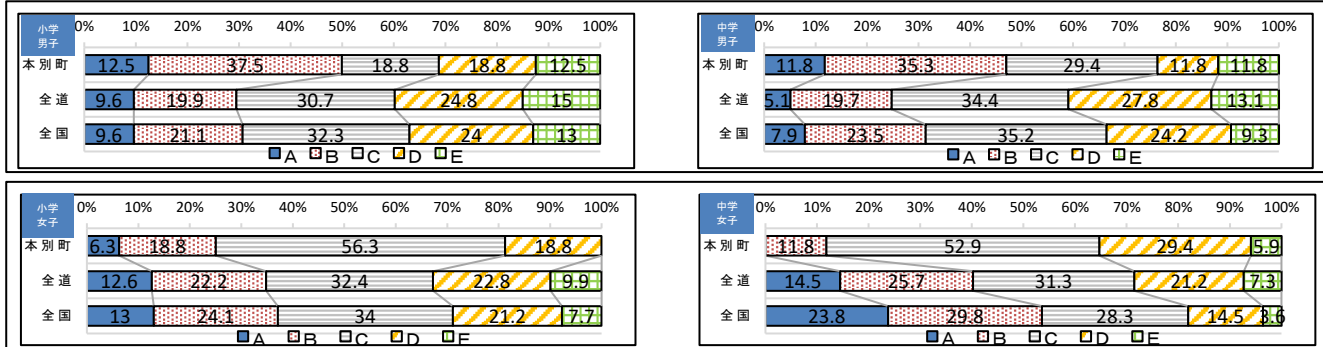
【中学校】



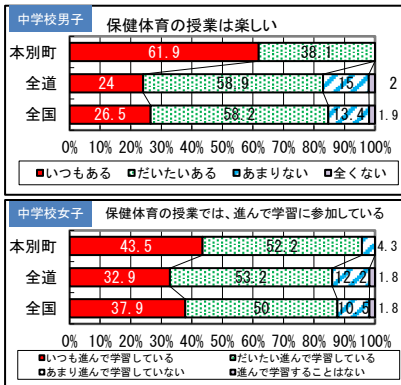
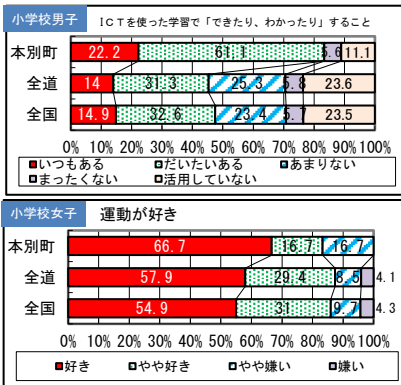
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



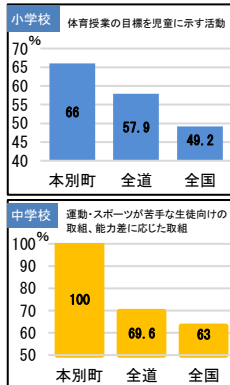
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育授業の目標を児童に示す活動を行ったことにより、児童が学習課題を明確にして、ICTを使った学習で達成感や成就感を得るとともに、運動が好きだと回答する児童の割合が高くなり、男女ともに、複数の種目で全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組や能力差に応じた取組を行ったことにより、体育の学習に楽しさを見いだし、進んで学習に参加する生徒の割合が高くなり、男女ともに、複数の種目で全国平均を上回ったと考える。

【本別町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた、体力合計点の下位層への継続的な体力向上策の促進
- ◎ 児童生徒が自身の課題及び目標を明確にし、授業を通して変容を客観的に自覚するための指導方法の工夫改善
- ◎ 体育専科教員を活用した、体育や保健の見方・考え方を働かせた授業改善及び教職員の指導力向上

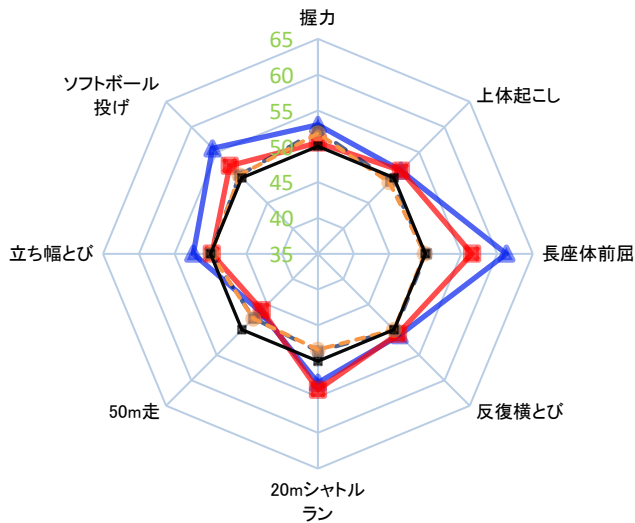
■ 足寄町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校4校・児童数47名、中学校1校・生徒数50名)

【各種目の状況】

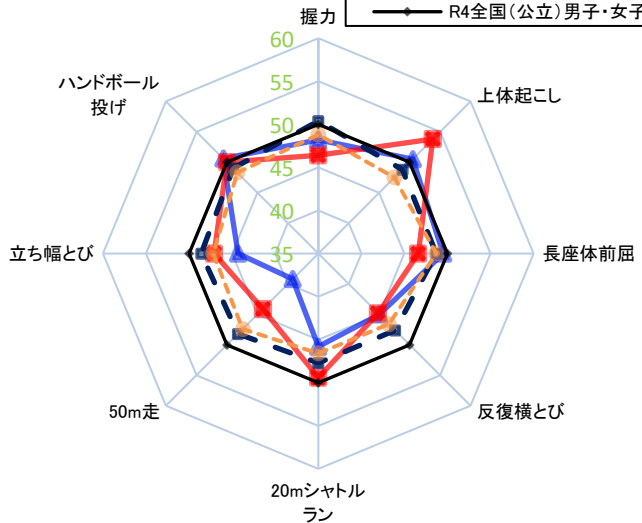
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示



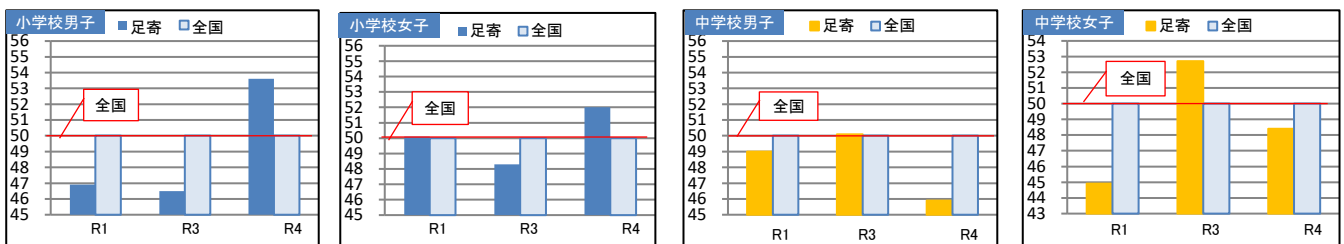
【小学校】



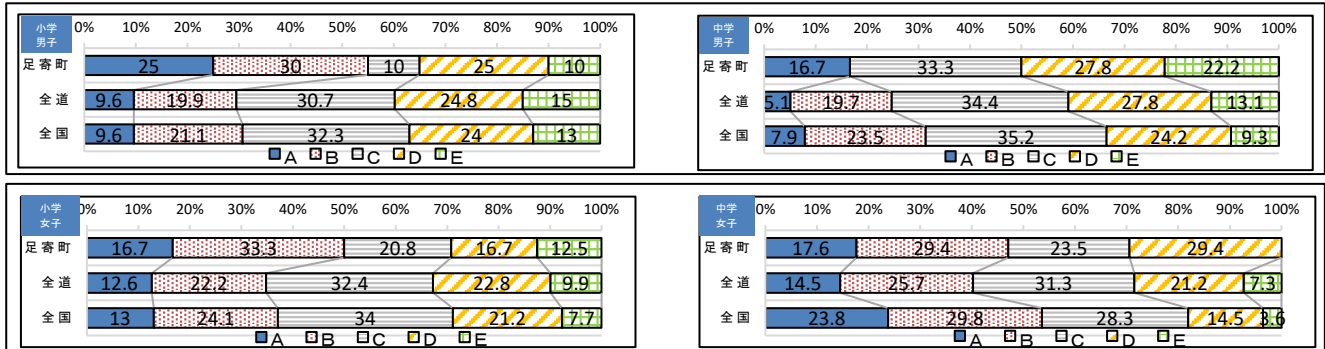
【中学校】



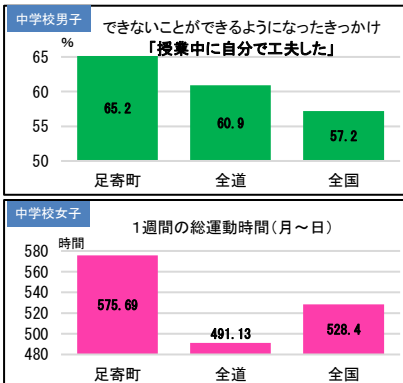
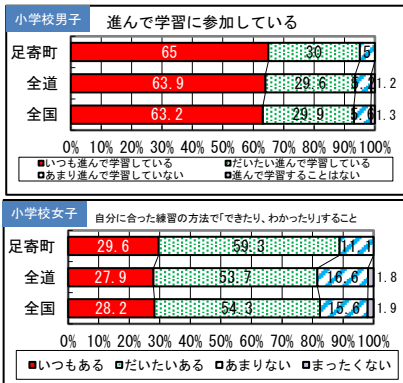
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



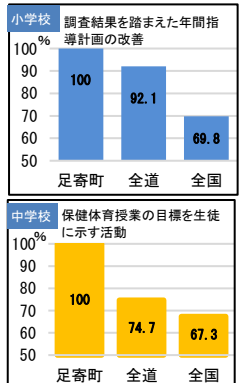
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を行ったことにより、進んで学習に参加する児童や、自分に合った練習の方法で達成感や成就感を得ている児童の割合が高くなり、男女ともに複数の種目で全国平均を上回ったと考える。

<中学校>  
保健体育授業の目標を生徒に示す活動を行ったことにより、1週間の総運動時間や自身の課題に対し、授業中に工夫することで達成感や成就感を得ている生徒の割合が増加し、男女ともに、複数の種目で全国平均を上回ったと考える。

【足寄町の体力向上策】

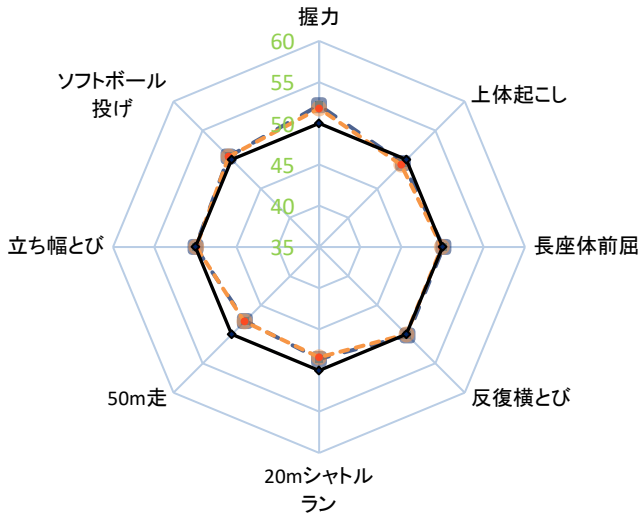
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた組織的・継続的な体力向上の取組の促進
- ◎ 児童生徒が、他者との協働や運動のよさを実感し意欲を高めるためのICTを活用した授業等の工夫改善の充実
- ◎ 学校、家庭、地域と連携した望ましい生活習慣の確立に向けた取組の推進

■ 陸別町内小学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校1校・児童数:21名、中学校1校・生徒数18名)  
 児童生徒数が少なく、個人が特定される恐れがあるため、陸別町の各種目のデータは掲載していない

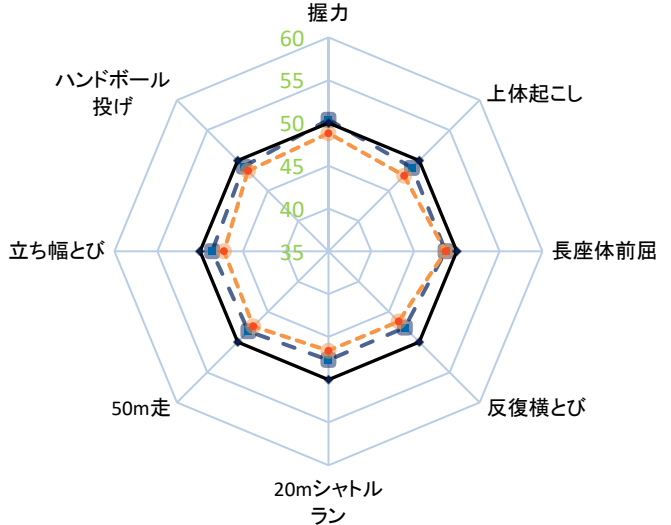
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

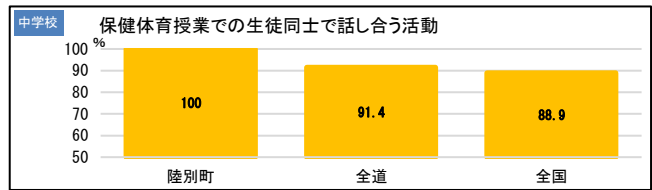
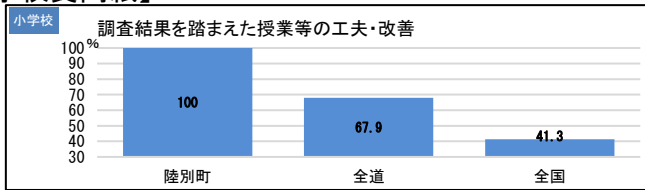
【小学校】



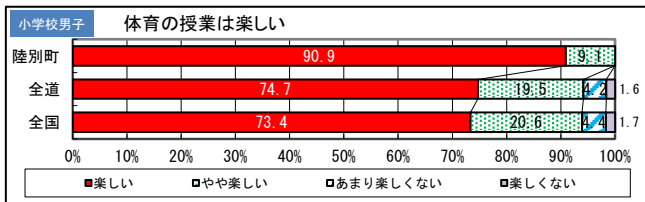
【中学校】



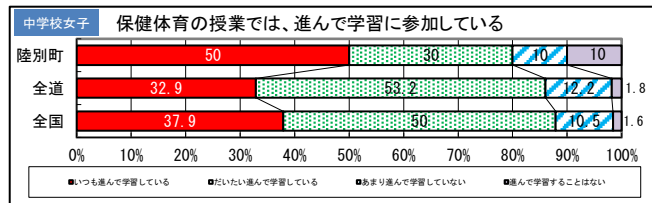
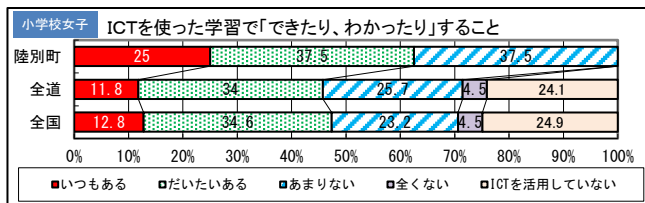
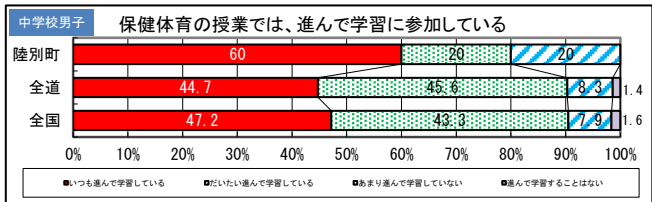
【学校質問紙】



【児童質問紙】



【生徒質問紙】



【分析】

＜小学校＞

調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、体育の授業に楽しさを感じ、意欲的に取り組むとともに、ICTを使った学習で達成感や成就感を得ている児童の割合が高くなり、男女ともに複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

＜中学校＞

保健体育授業で生徒同士で話し合う活動を取り入れ、生徒の運動に対する意欲を高める授業改善を行ったことにより、保健体育の授業に進んで取り組んでいる生徒の割合が増加し、男女ともに複数の種目で全国及び全道平均を上回ったと考える。

【陸別町の体力向上策】

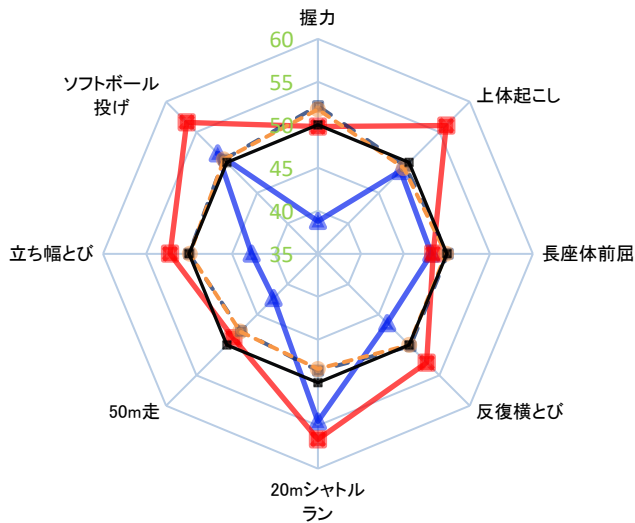
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 体力・運動能力の向上、運動習慣の改善に向けた教材・教具の充実
- ◎ 学校、家庭、地域が連携した望ましい生活習慣の確立に向けた取組の推進

浦幌町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数33名、中学校2校・生徒数24名)

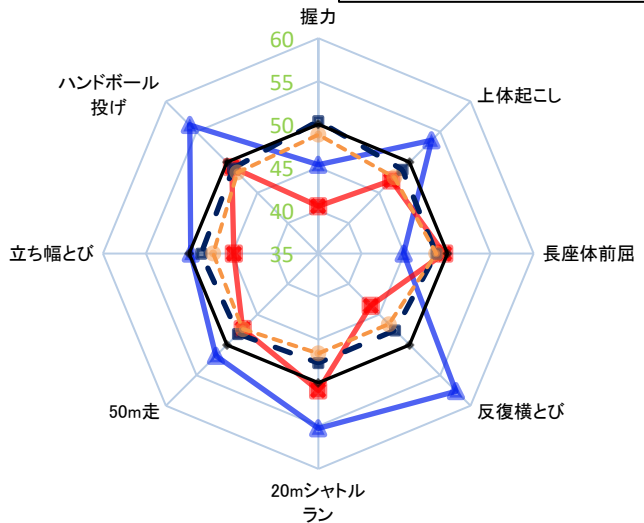
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

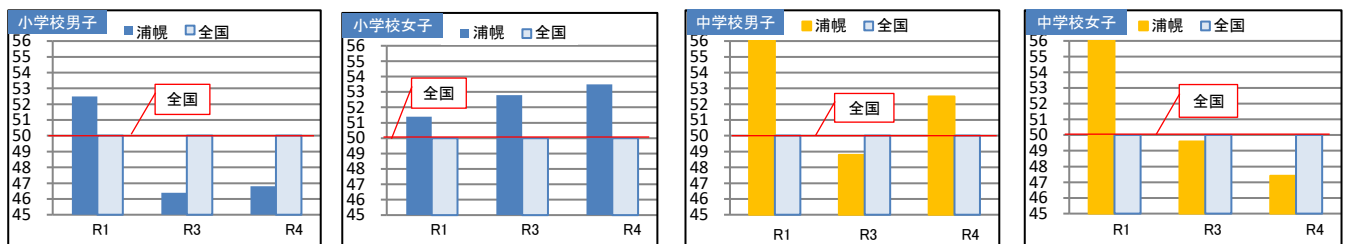
【小学校】



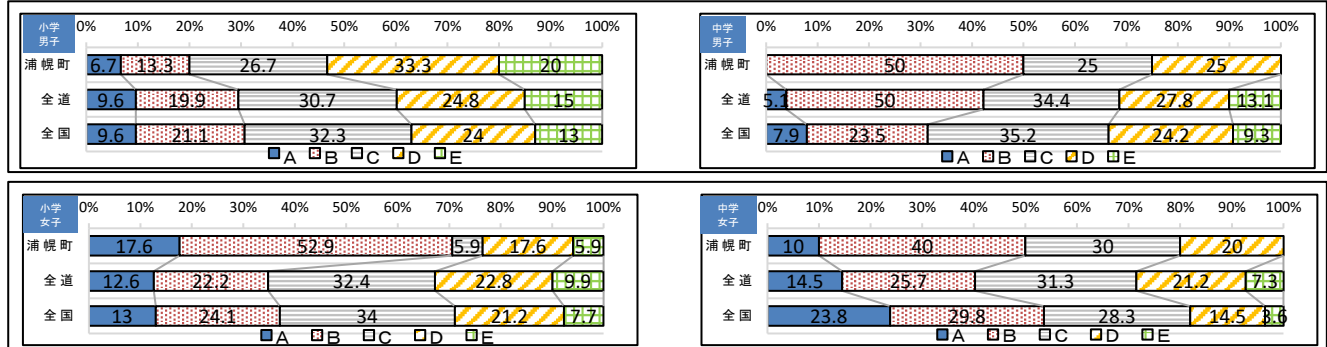
【中学校】



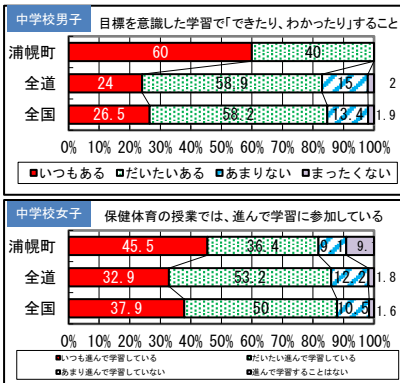
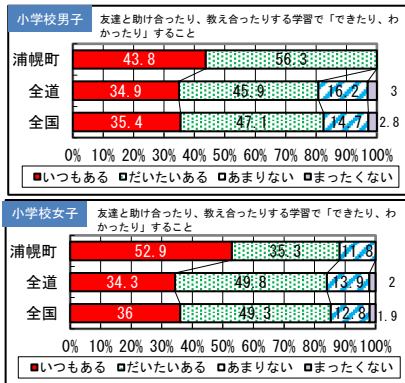
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



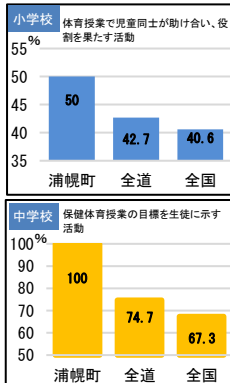
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育の授業で児童同士が助け合い、役割を果たす活動を行ったことにより、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習を通して達成感や成就感を得ている児童の割合が高くなり、男女ともに複数の種目で全道及び全国平均を上回ったと考える。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育授業の目標を生徒に示す活動を取り入れる授業改善を行ったことにより、進んで学習に参加したり、目標を意識した学習により達成感や成就感を得たりする生徒の割合が高くなり、複数の種目で全道及び全国平均を上回ったと考える。

【浦幌町の体力向上策】

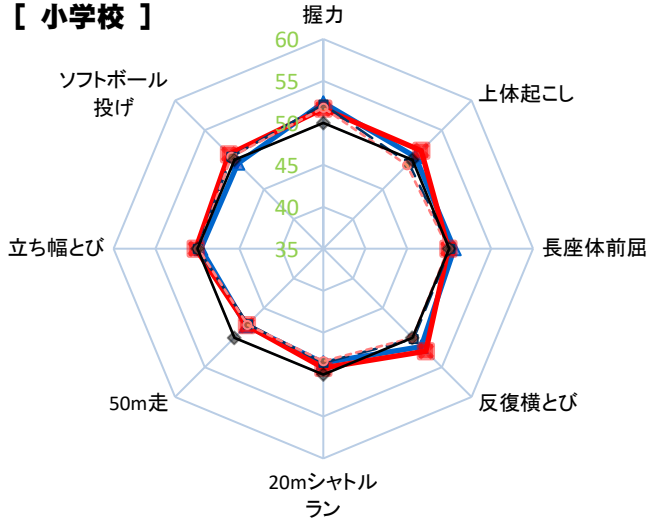
- ◎ 体力合計点の下位層の児童生徒への具体的な手立て及び主体的・対話的で深い学びの充実に向けた日常の授業改善
- ◎ 「スマホ・ゲーム機使用のルール」宣言に基づく生活リズム改善の取組の充実
- ◎ 運動習慣の確立に向けた地域・家庭と連携した継続的な取組の促進

■ 釧路市内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校26校・児童数1103名、中学校15校・生徒数994名)

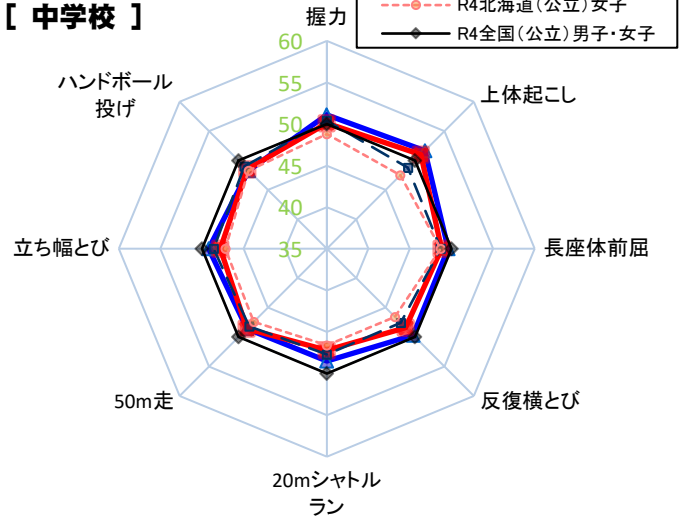
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

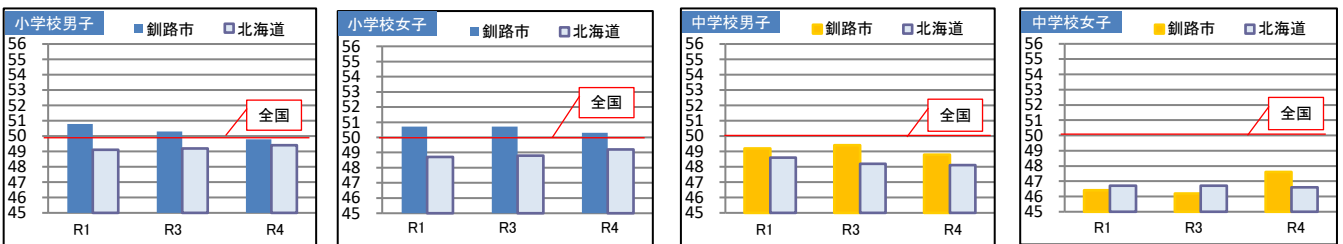
【小学校】



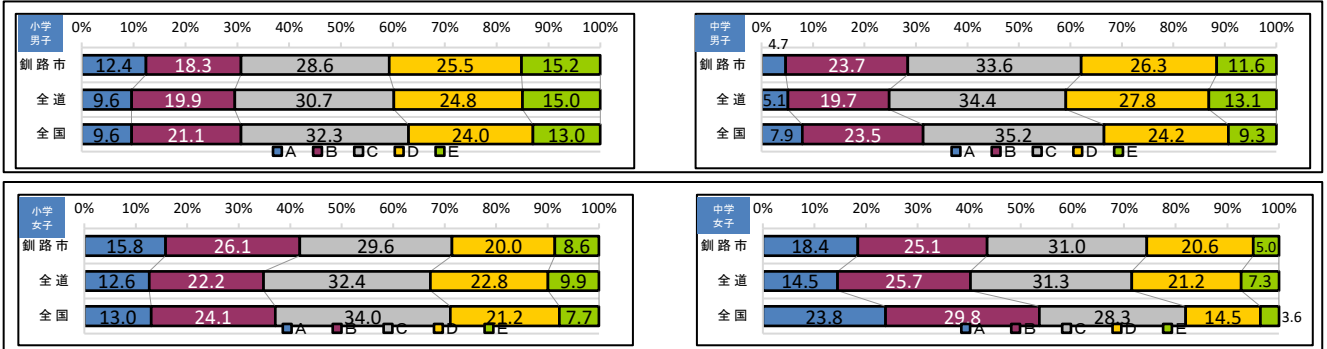
【中学校】



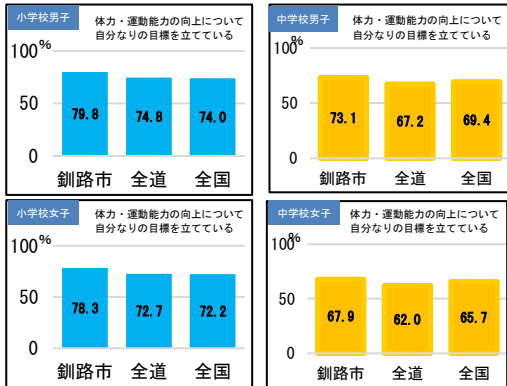
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



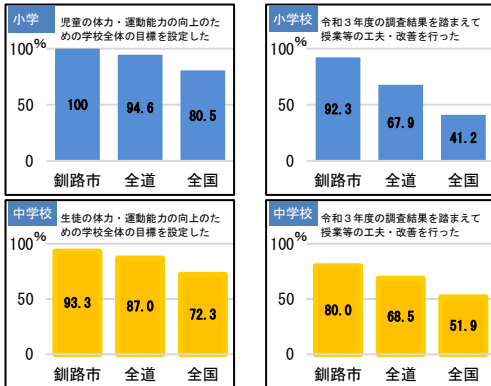
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定し、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行うとともに、児童も目標を設定し取り組むことで体力・運動能力の維持につながっていると考えられる。

<中学校>  
体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定し、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行うとともに、生徒も目標を設定し取り組むことで体力・運動能力の維持につながっていると考えられる。

【釧路市の体力向上策】

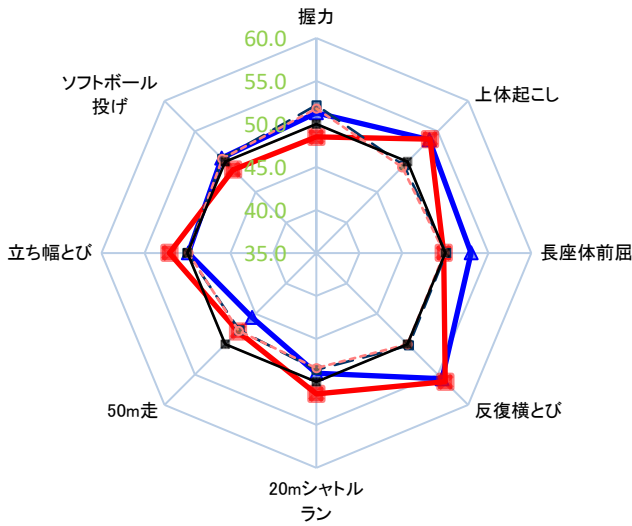
- ◎ 児童生徒の記録を経年比較できる個人票を作成し、各学校で活用できるように配付
- ◎ 北海道教育大学と連携した、体育・保健体育科の実践的指導力の向上に資する研修講座の実施
- ◎ 学校訪問等を通じ、体力向上に係る実技研修や授業参観などを実施

■ 釧路町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校5校・児童数122名、中学校4校・生徒数131名)

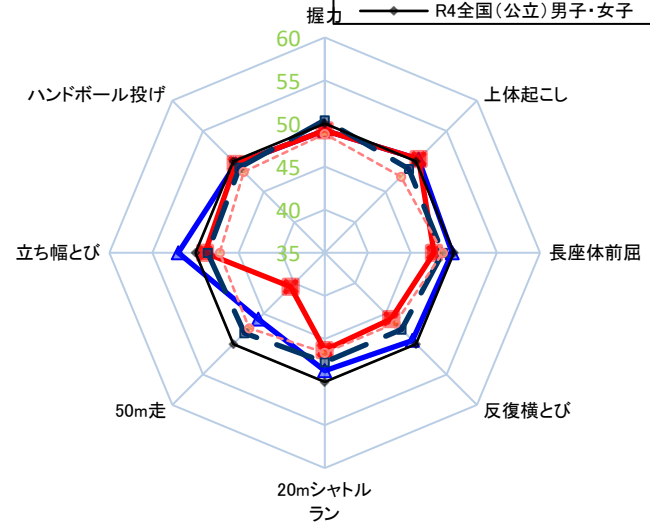
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

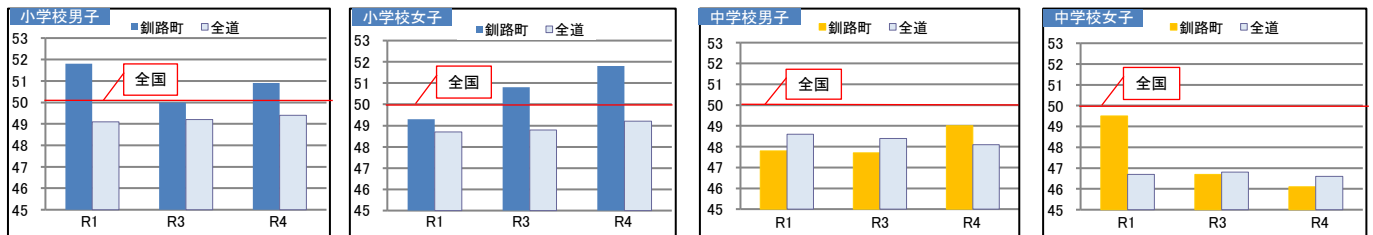
【小学校】



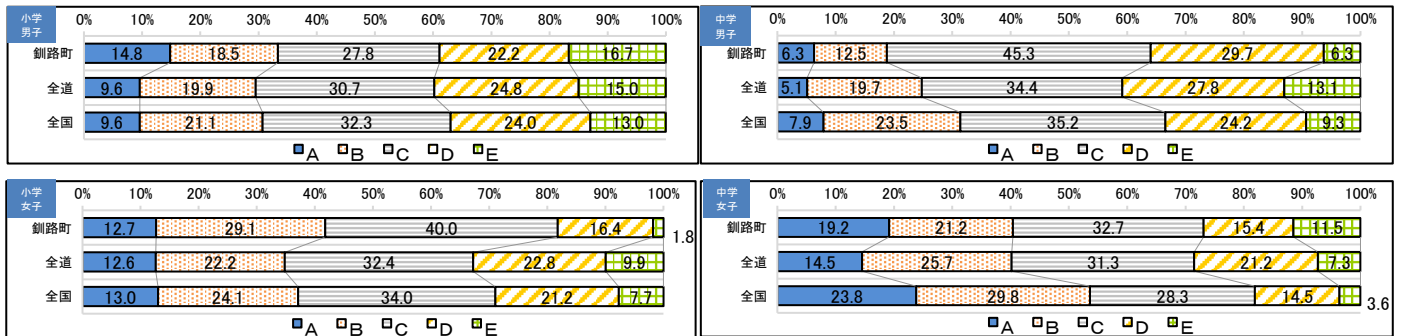
【中学校】



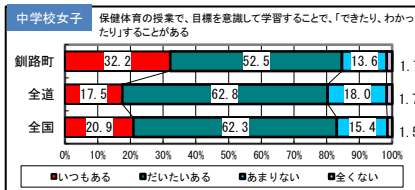
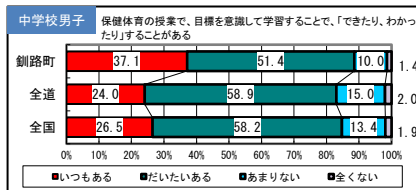
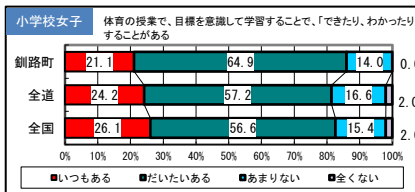
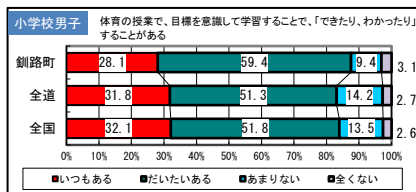
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



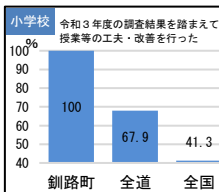
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

**＜小学校＞**  
 これまでの調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行ったことにより、男女ともに、体育の授業で、目標を意識した学習で「できたり、わかったり」することがあると考える児童が全国を上回るとともに、体力合計点が全国を上回ったと考えられる。

**＜中学校＞**  
 これまでの調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行ったことにより、男女ともに、保健体育の授業で、目標を意識した学習で「できたり、わかったり」することがあると考える生徒が全国を上回るとともに、男子で体力合計点総合評価のE層が減少したと考えられる。

【釧路町の体力向上策】

- ◎ 数値等による客観的な分析に基づく「学校体力向上計画」の作成と継続的な体力向上の取組
- ◎ 「体育専科教員活用事業」を活用した教員の指導力向上に向けた研修会の実施
- ◎ 各学校における、生活・運動習慣の改善に向けた家庭との連携を図った生活リズムチェックシートの活用
- ◎ 小学校における放課後の遊び場の保障や少年団活動に対する支援等、町教育委員会スポーツ係による体力向上の取組

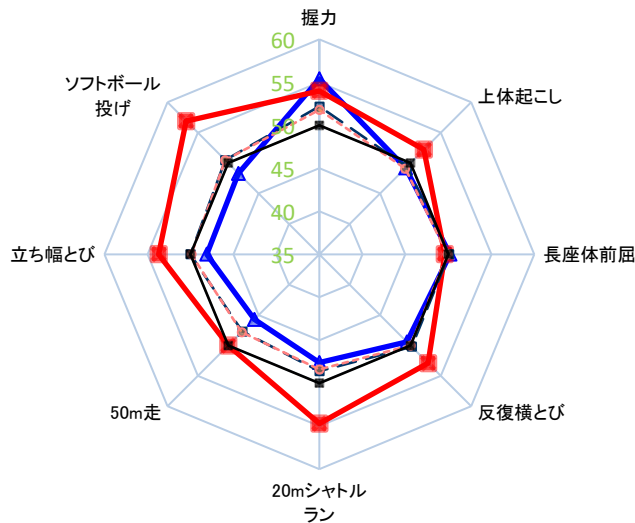


**厚岸町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数71名、中学校3校・生徒数50名)**

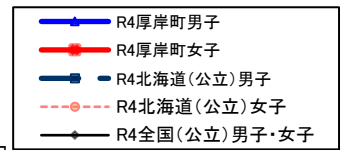
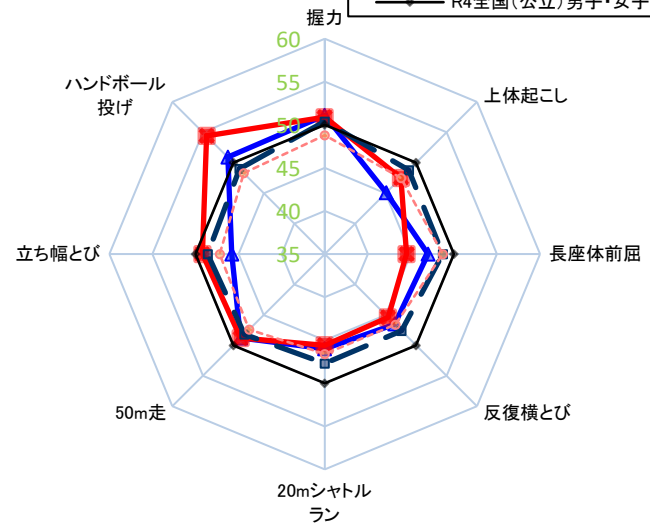
**【各種目の状況】**

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

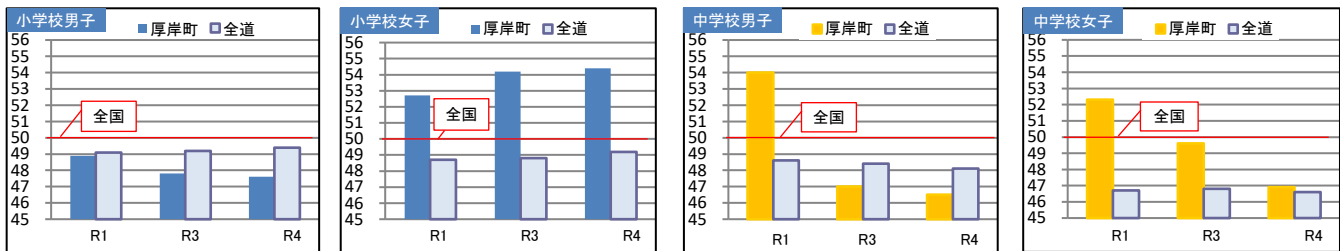
**【小学校】**



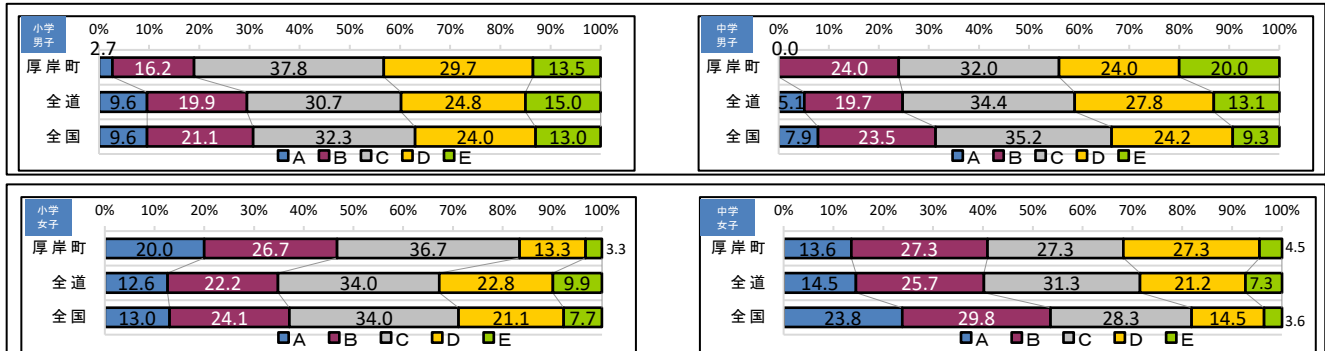
**【中学校】**



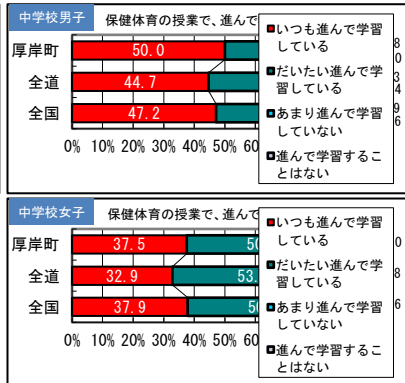
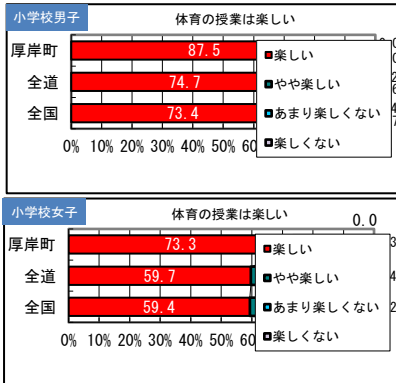
**【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】**



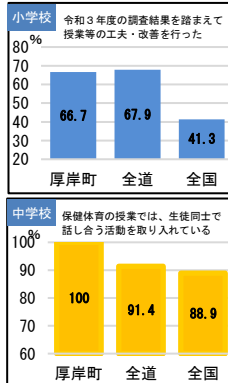
**【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】**



**【児童生徒質問紙】**



**【学校質問紙】**



**【分析】**

**<小学校>**  
 これまでの調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行ったことにより、体育の授業は楽しいと感じる児童の割合が増加し、男子では一部の実技で、女子では全ての実技で全国を上回ったと考える。

**<中学校>**  
 保健体育の授業では、生徒同士で話し合う活動を取り入れたことにより、保健体育の授業では、いつも進んで学習に参加していると感じる生徒が増加し、男女ともに一部の実技で全国を上回ったと考える。

**【厚岸町の体力向上策】**

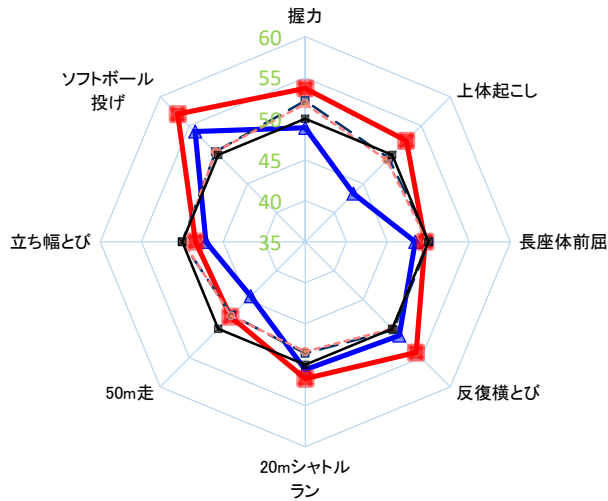
- ◎運動量と子ども同士の学び合いを観点とした授業改善
- ◎体力の向上や運動意欲の向上を図る校内の環境整備
- ◎学校と家庭が一体となった体力向上・生活習慣の改善の取組及び関係機関と連携した体力向上の取組

■浜中町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校4校・児童数35名、中学校4校・生徒数37名)

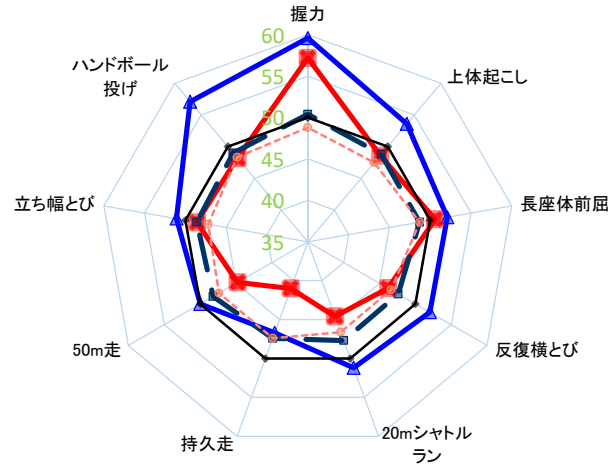
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

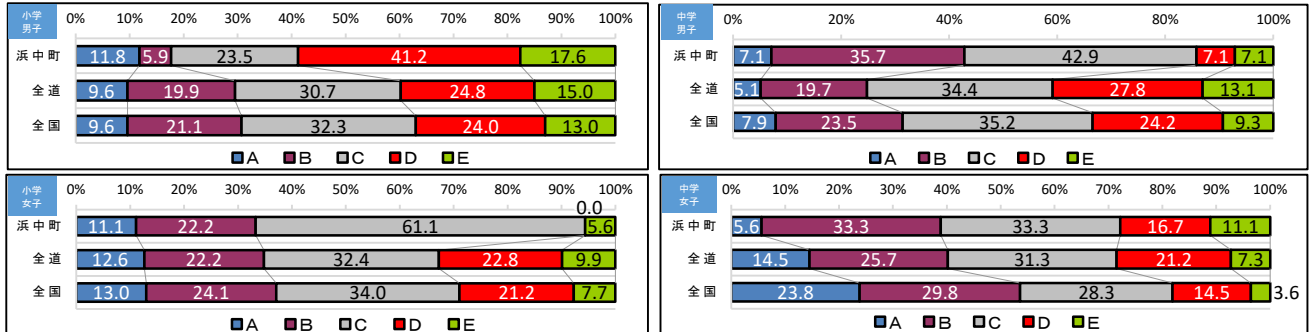
【小学校】



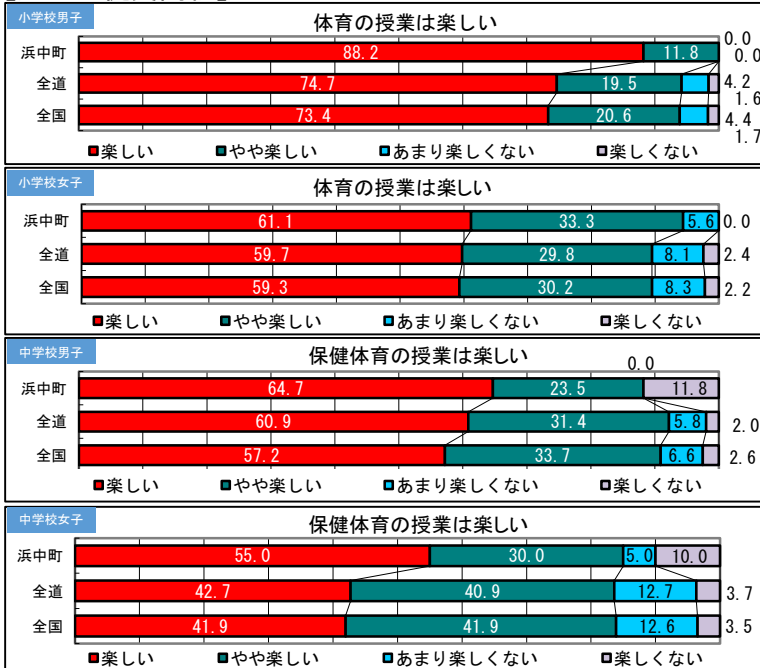
【中学校】



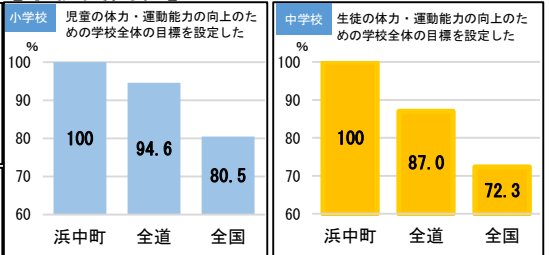
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



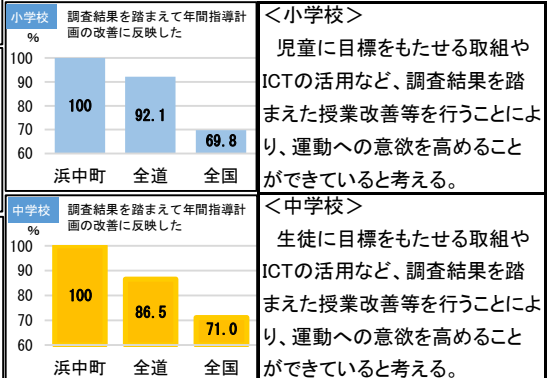
【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】



【浜中町の体力向上策】

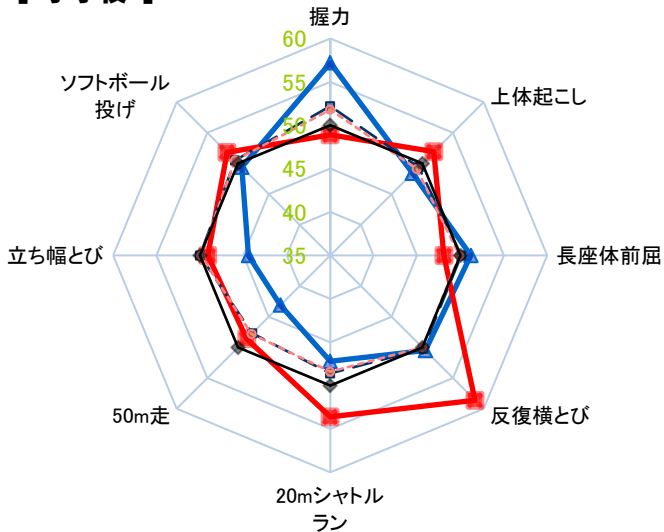
- ◎ 浜中町統一様式の「体力向上推進計画」に基づいた学校全体での体力向上の取組の促進
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果及び浜中町新体力テストの結果を踏まえた「体力向上推進計画」修正プランの策定
- ◎ 家庭や地域と連携を図った運動機会を確保する取組の充実

■ 標茶町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校6校・児童数55名、中学校4校・生徒数53名)

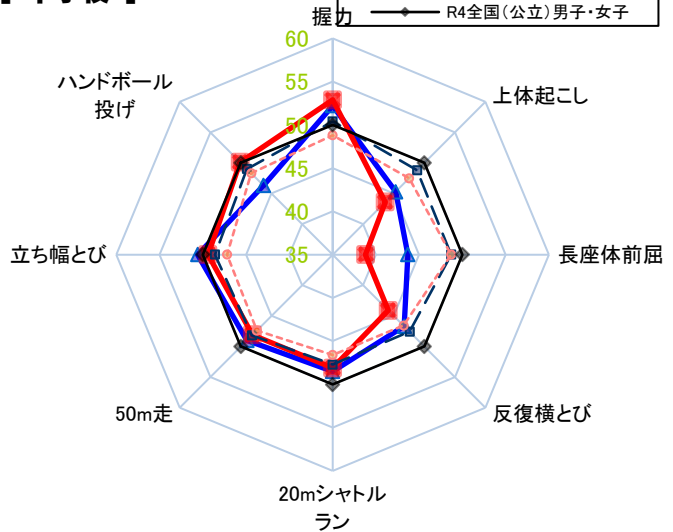
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

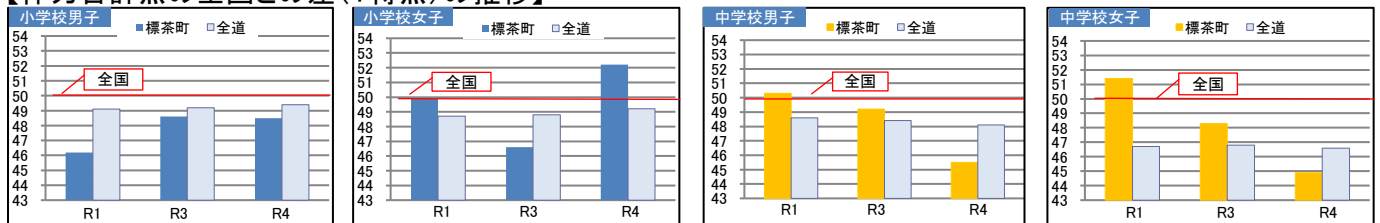
【小学校】



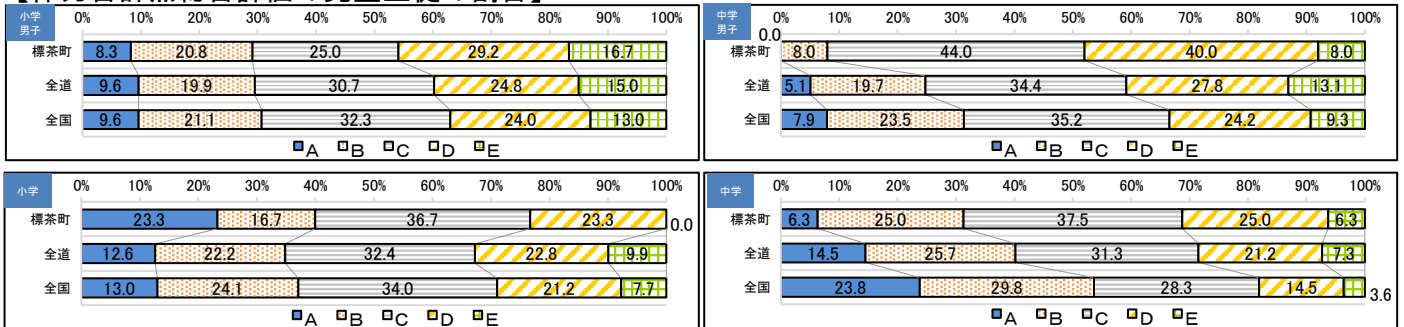
【中学校】



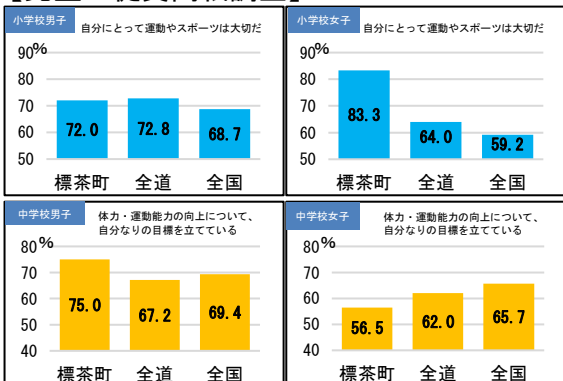
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



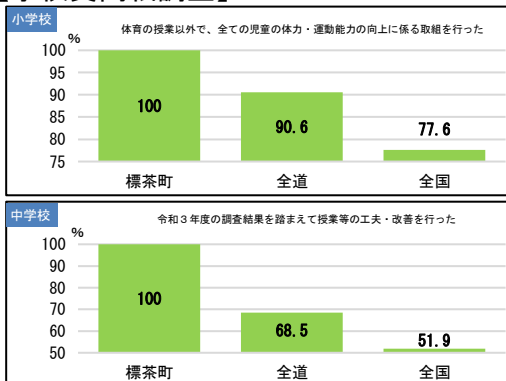
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

<小学校>  
 体育の授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を充実させたことにより、男女ともに、自分にとって運動やスポーツは大切だと考える児童が増加するとともに、体力合計点が高くなってきたと考えられる。

<中学校>  
 令和3年度の調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行ったことにより、男子で体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている生徒が増加するとともに、体力合計点総合評価のE層が減少したと考えられる。

【標茶町の体力向上策】

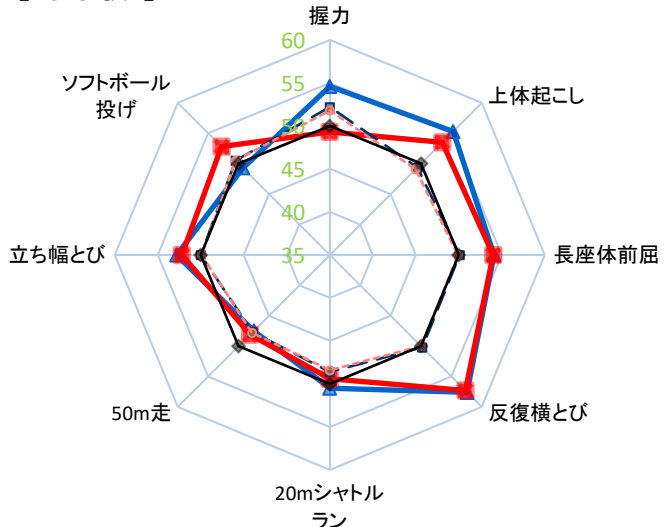
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上プランの作成及び年間指導計画の評価・改善
- ◎ 体育エキスパート教員を活用した、体育・保健体育の授業改善及び授業以外の体力向上に関する取組の推進

■ 弟子屈町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校4校・児童数38名、中学校2校・生徒数58名)

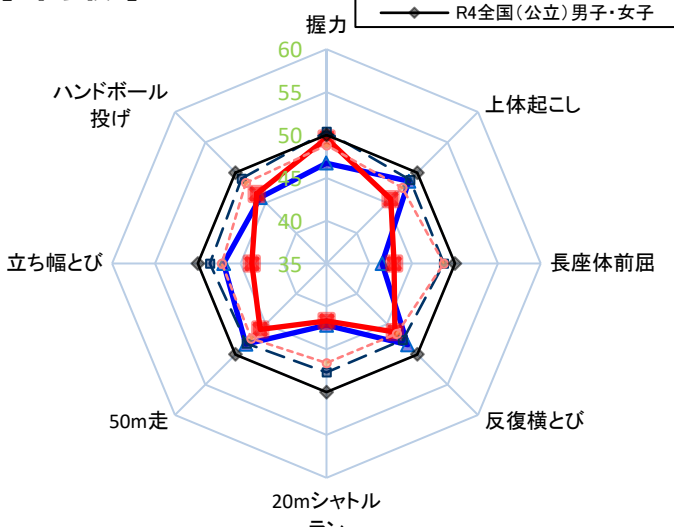
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

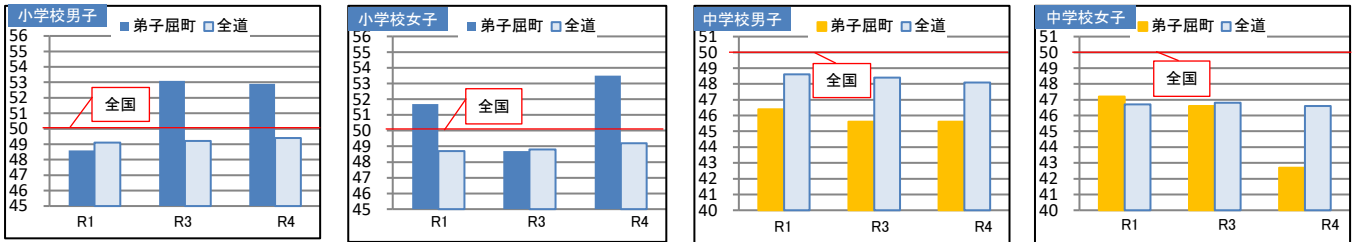
【小学校】



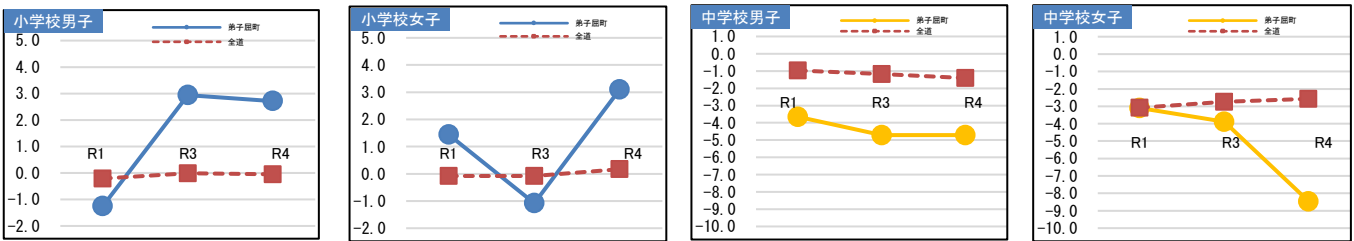
【中学校】



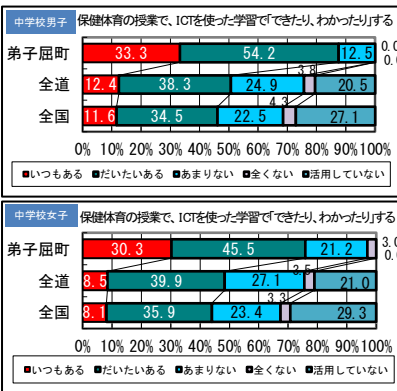
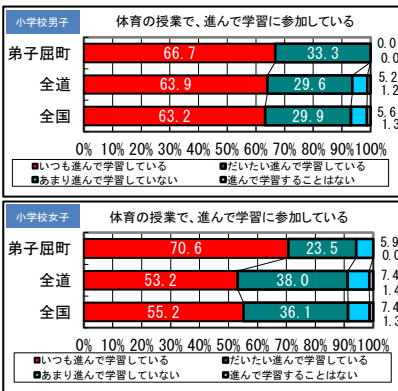
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



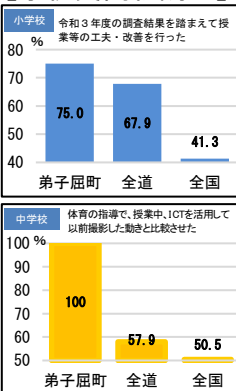
【体力合計点の全国との差の推移】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

＜小学校＞  
これまでの調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行ったことにより、体育の授業では、進んで学習に参加していると回答した児童が増加し、体力合計点も高くなってきたと考えられる。

＜中学校＞  
体育の指導で、授業中、ICTを活用して以前撮影した動きと比較させたことにより、保健体育の授業でICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると回答した生徒が増加したと考えられる。

【弟子屈町の体力向上策】

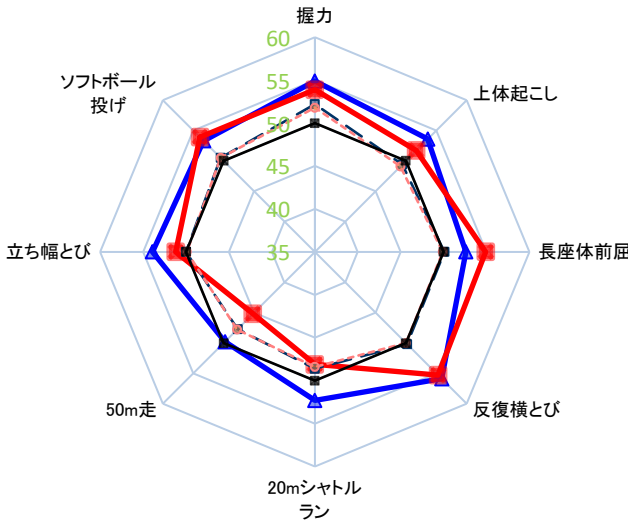
- ◎ 体育・保健体育授業の充実や体育の授業以外で運動に親しむ環境づくり
- ◎ 調査結果の分析に基づくPDCAサイクルの確立と検証
- ◎ 家庭や社会教育と連携を図った運動やスポーツをする機会の提供

■ 鶴居村内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数17名、中学校2校・生徒数26名)

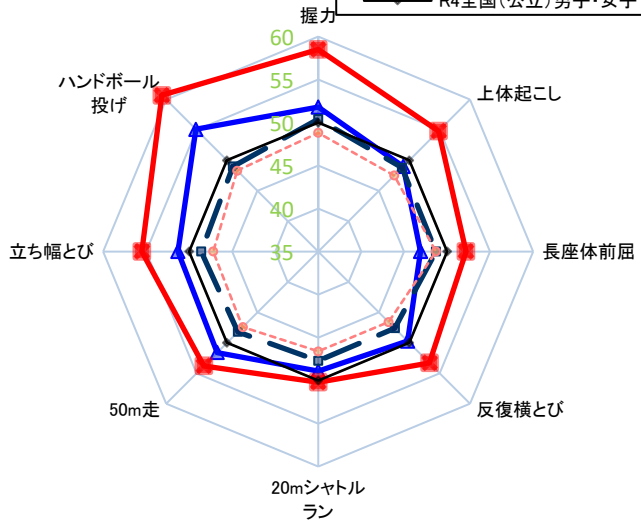
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

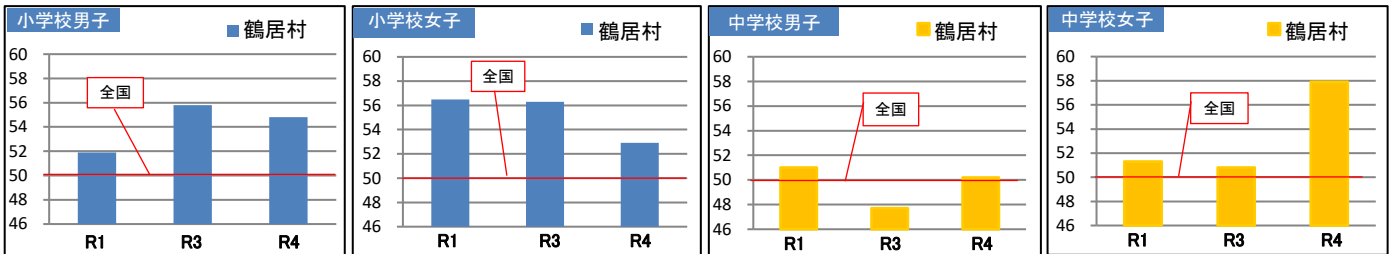
【小学校】



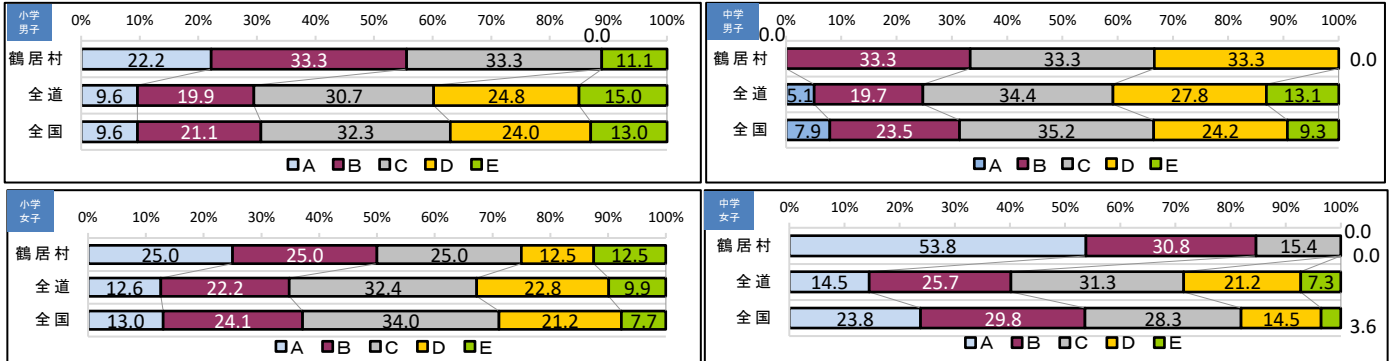
【中学校】



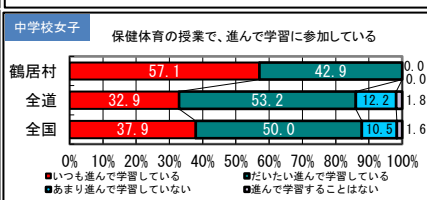
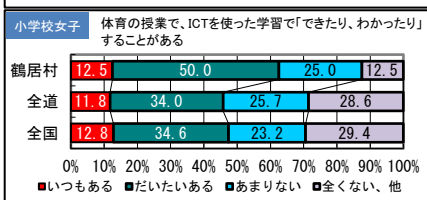
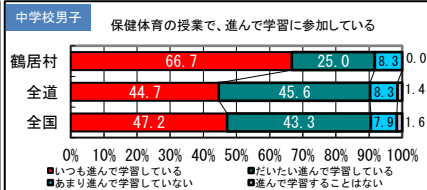
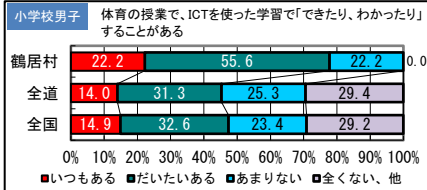
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



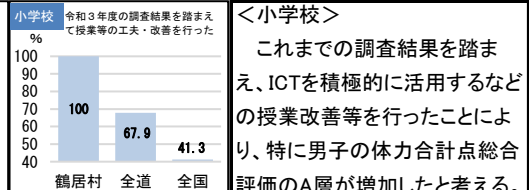
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】 【分析】



＜小学校＞  
これまでの調査結果を踏まえ、ICTを積極的に活用するなどの授業改善等を行ったことにより、特に男子の体力合計点総合評価のA層が増加したと考える。

＜中学校＞  
これまでの調査結果を踏まえた授業改善等を行ったことにより、生徒自身が授業に積極的に取り組むようになり、特に、女子の体力合計点総合評価のA層が大きく増加したと考える。

【鶴居村の体力向上策】

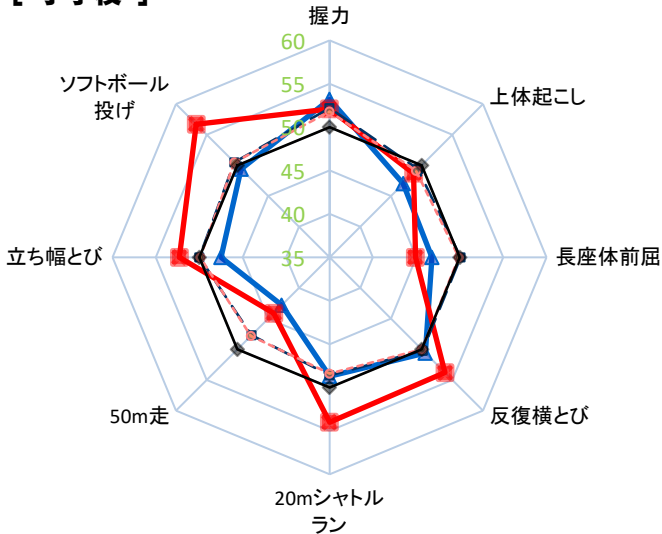
- ◎学校における体力・運動能力の向上及び運動習慣の確立に向けたPDCAサイクルの改善及びICTの活用
- ◎教職員の資質及び児童生徒の体力向上に係る取組の充実に向けた鶴居村教育研究所との連携体制の確立
- ◎家庭における児童生徒の運動習慣確立に向けた学校と家庭が一体となった取組の充実

■ 白糠町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校3校・児童数44名、中学校3校・生徒数48名)

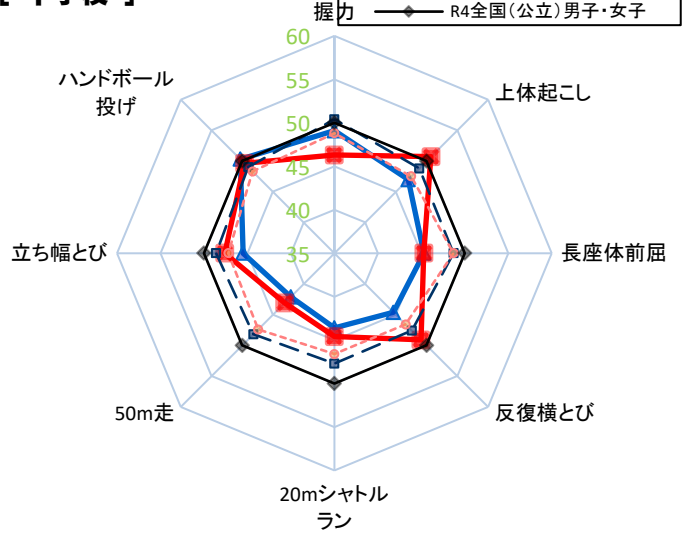
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

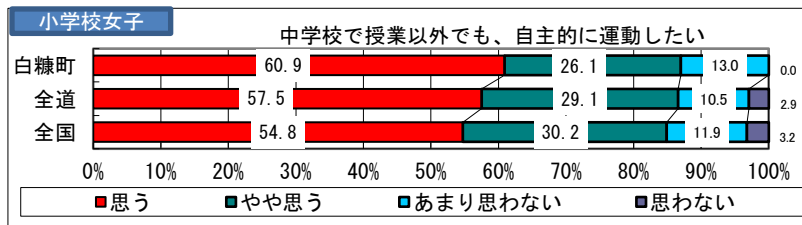
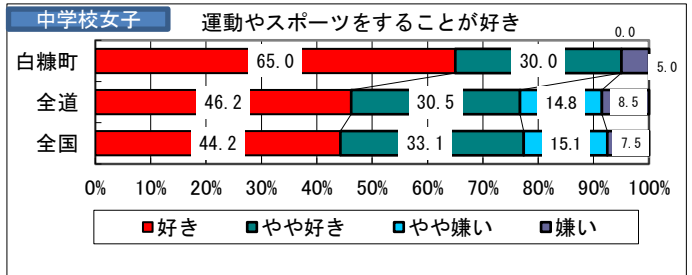
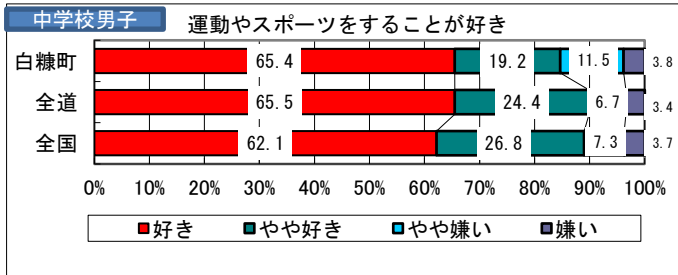
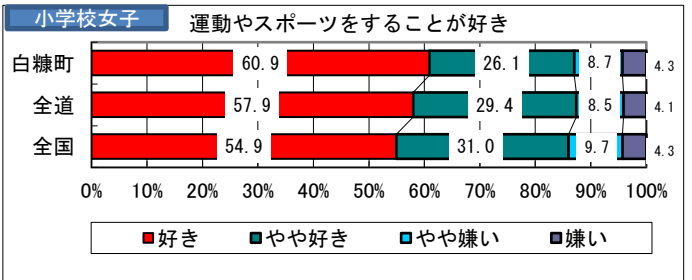
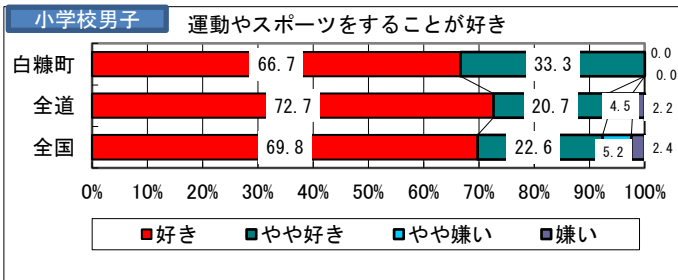
【小学校】



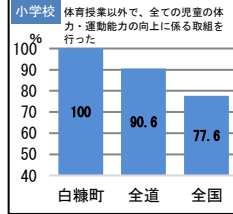
【中学校】



【児童生徒質問紙】

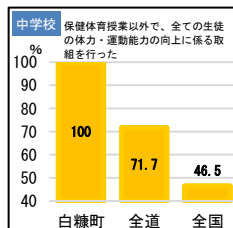
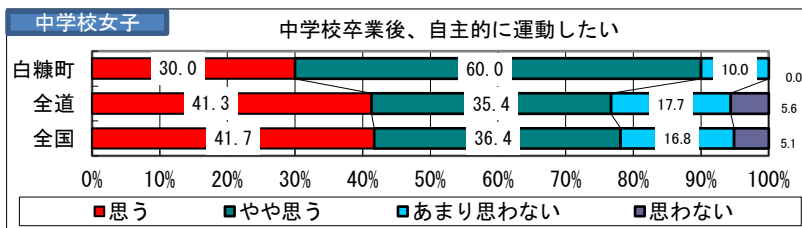


【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
体育授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、男女ともに運動やスポーツをすることが好き、やや好きと回答した児童の割合が全国を上回るとともに、女子では自主的な運動への意欲が高まったと考えられる。



＜中学校＞  
保健体育授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、男女ともに運動やスポーツをすることが好きと回答した生徒の割合が全国を上回るとともに、女子では自主的な運動への意欲が高まったと考えられる。

【白糠町の体力向上策】

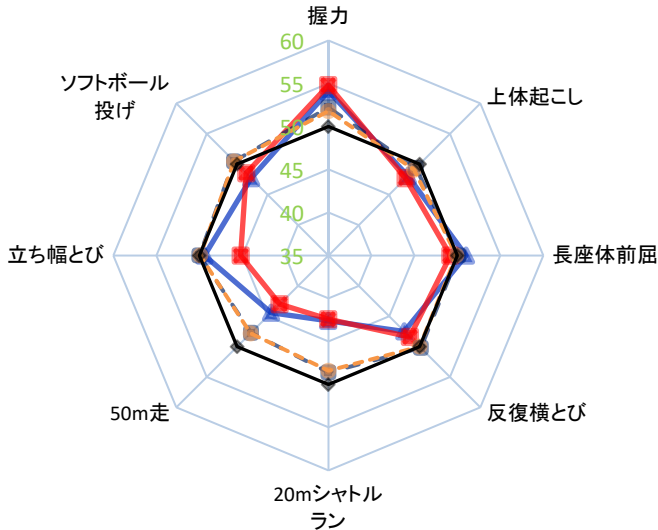
- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査等の結果を踏まえた学校全体の体力向上の取組の推進
- ◎ 義務教育9年間を通した指導計画に基づく系統的な指導の充実

■ 根室市内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校7校・児童数157名、中学校6校・生徒数161名)

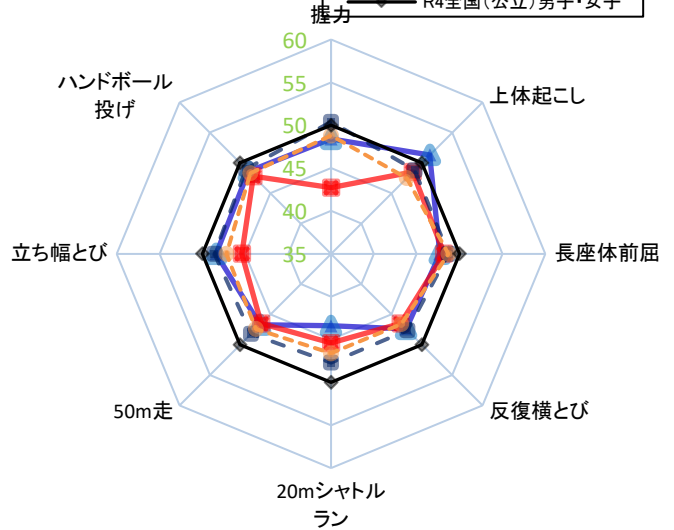
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

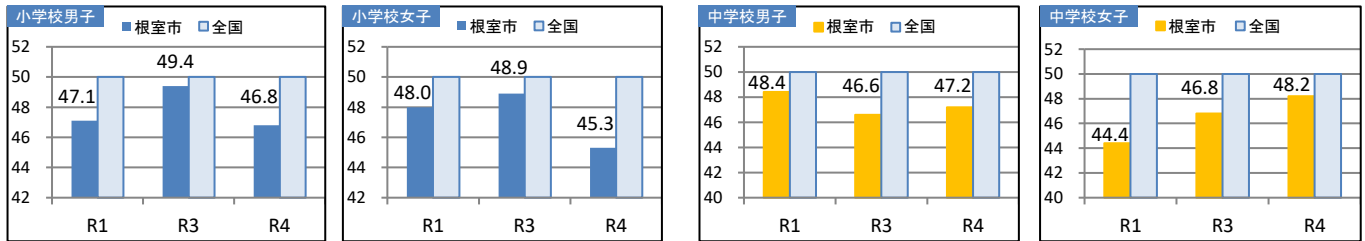
【小学校】



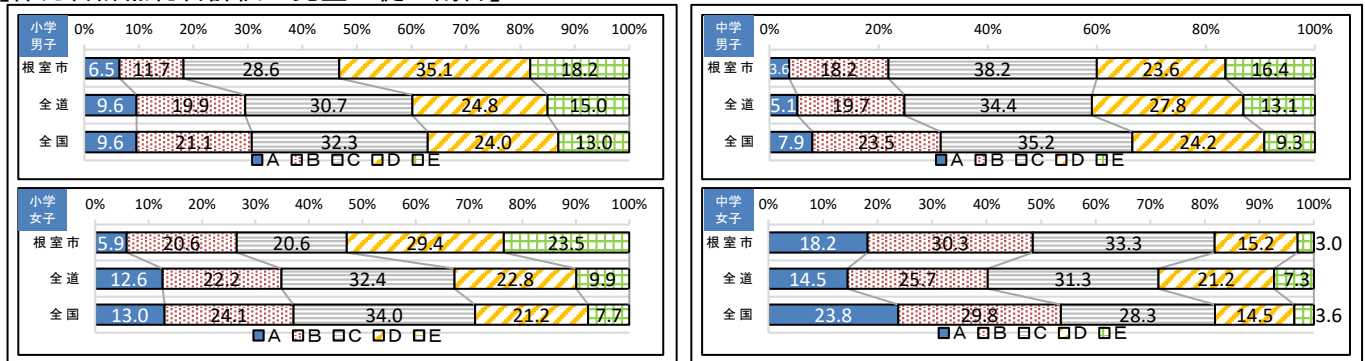
【中学校】



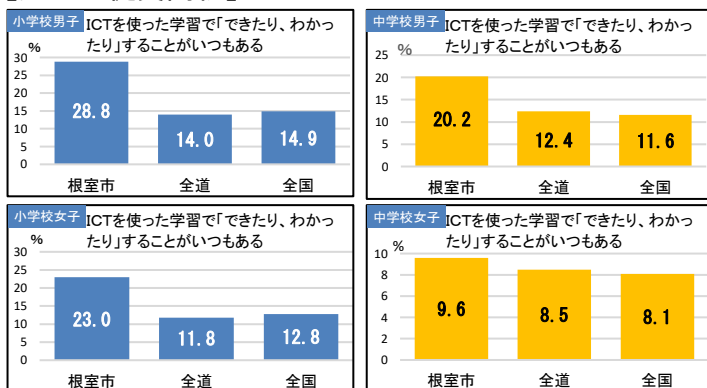
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



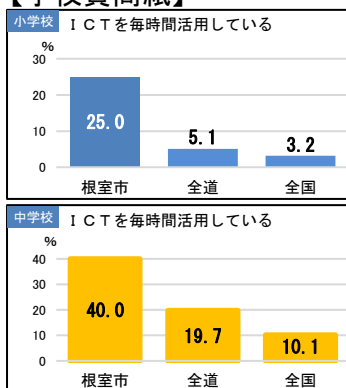
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、体育の授業においてICTを積極的に活用したことにより、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
各学校において、保健体育の授業においてICTを積極的に活用したことにより、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回り、男女ともに令和3年度から体力合計点が増えていると考えられる。

【根室市の体力向上策】

- ◎ タブレット端末を最大限に活用した授業改善を進化させるための教員研修の充実
- ◎ 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した、スポーツや遊びを通じた体力向上機会の創出

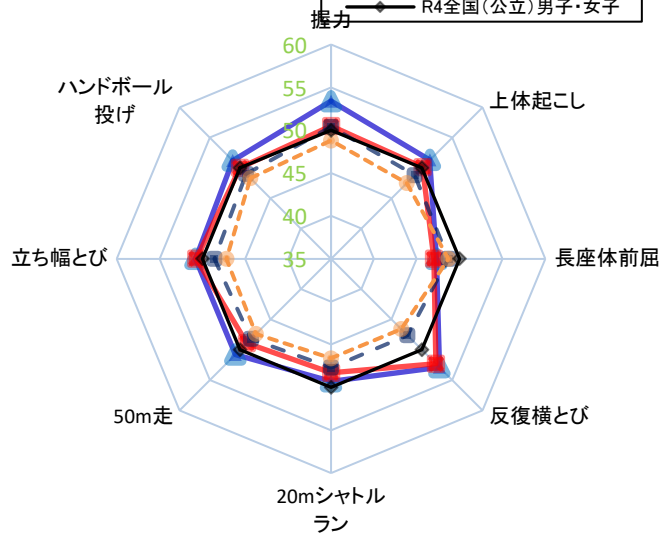
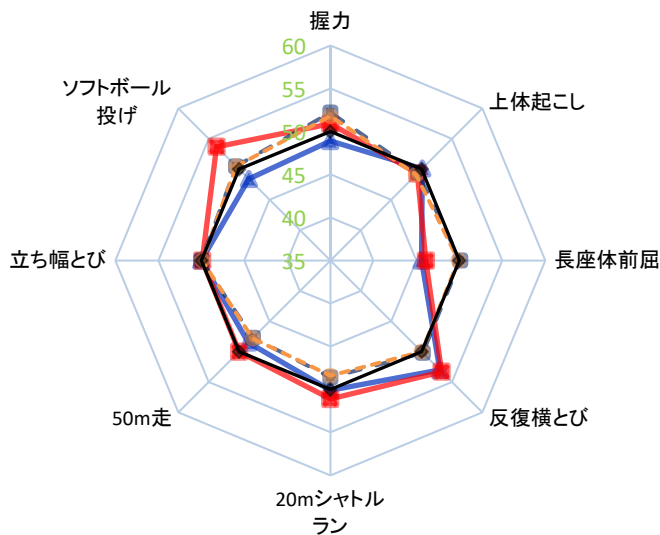
■ 別海町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数: 小学校8校・児童数144名、中学校8校・生徒数141名)

【各種目の状況】

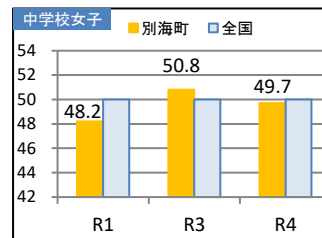
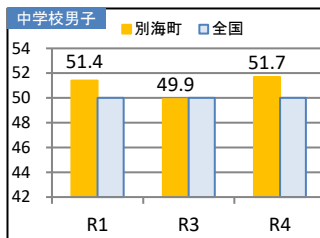
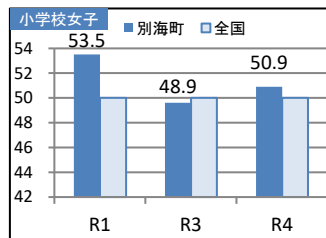
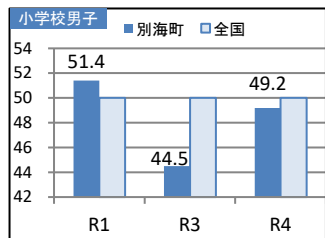
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

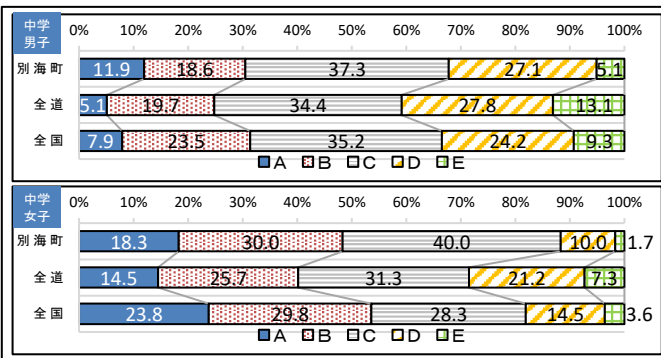
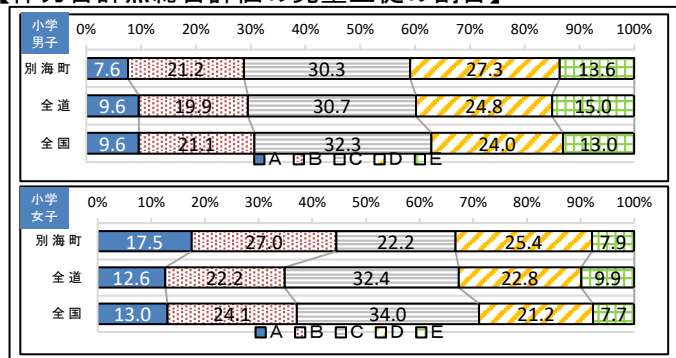
【中学校】



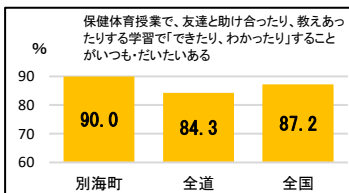
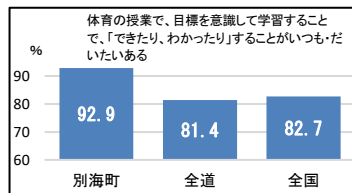
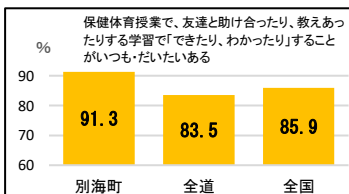
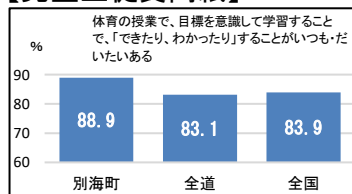
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



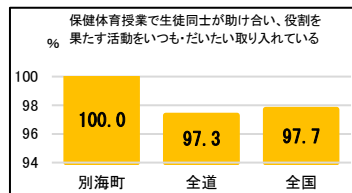
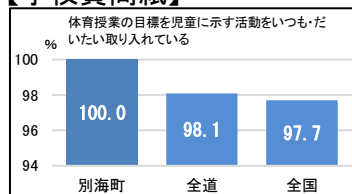
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、体育授業の目標を児童に示す活動をいつも、だいたい取り入れたことにより、体育の授業で、目標を意識して学習することで「できたり、わかったり」することがいつも、だいたいあると回答した児童が全国及び全道を上回り、男女ともに令和3年度から体力合計点が増えていると考えられる。

<中学校>  
各学校において、保健体育授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも、だいたい取り入れたことにより、「できたり、わかったり」することがいつも、だいたいあると回答した生徒や男子の体力合計点が全国及び全道を上回り、男女ともに体力合計点総合評価でDE層の生徒の割合が全国及び全道を下回っていると考えられる。

【別海町の体力向上策】

- ◎ 体育・保健体育の授業改善の推進及び調査結果を踏まえた教育活動全体を通じた運動の機会や場の設定
- ◎ 社会教育におけるアダプテッドスポーツの実施や国内外で活躍したスポーツ選手による指導の機会の提供

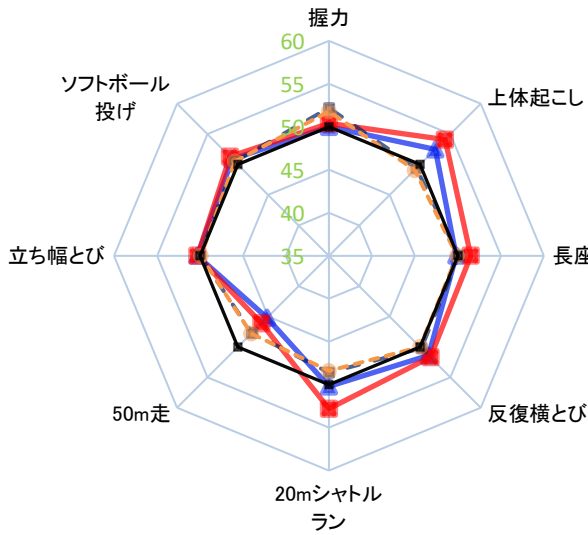


■ 中標津町内小・中学校の状況及び体力向上策(学校数:小学校4校・児童数217名、中学校3校・生徒数199名)

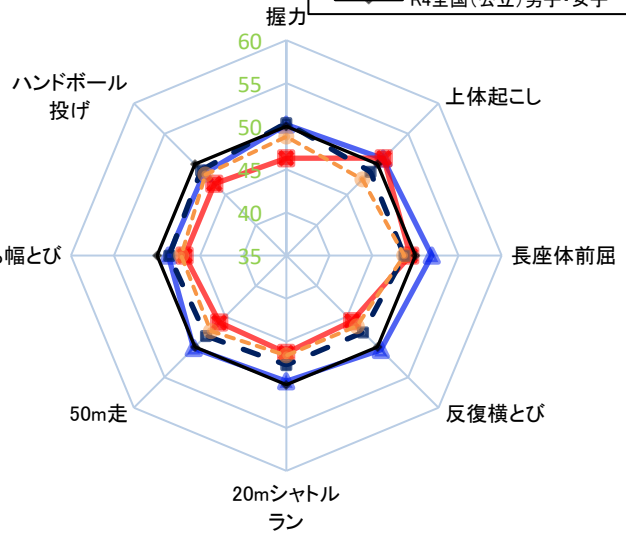
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

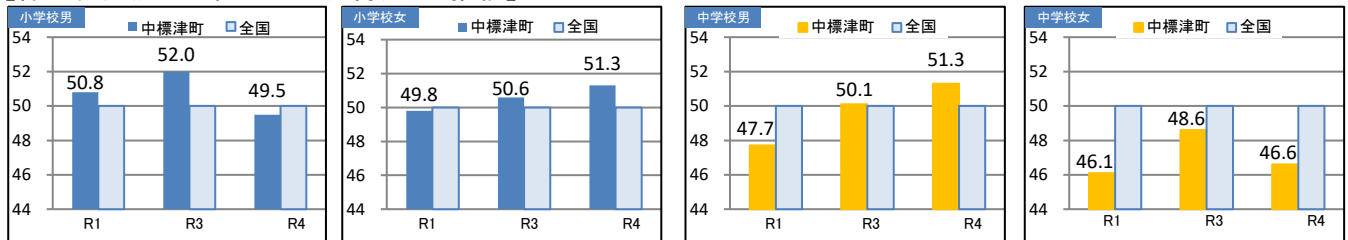
【小学校】



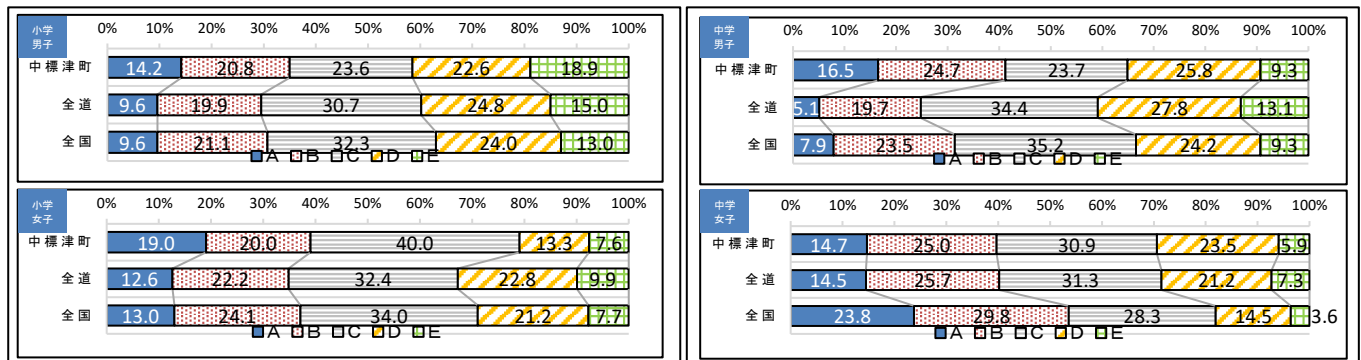
【中学校】



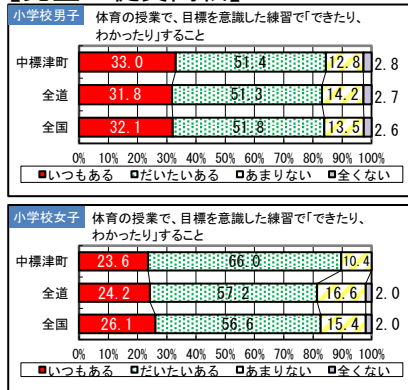
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



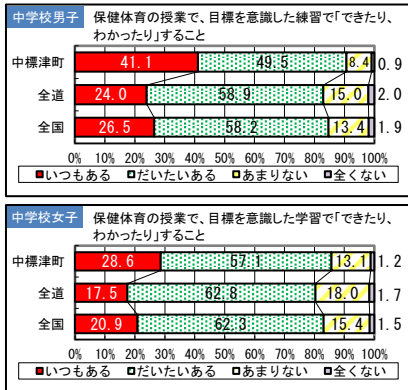
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



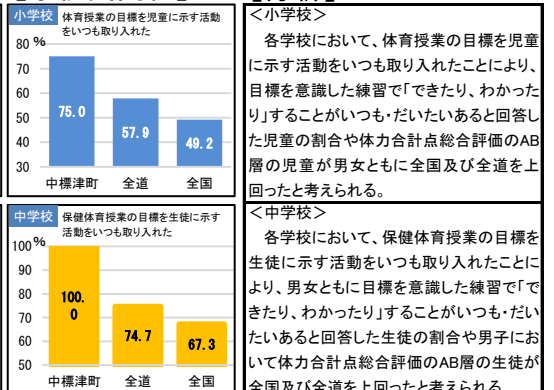
【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】



【中標津町の体力向上策】

- ◎ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果などの客観的資料を活用した体育授業の改善や運動習慣の定着に向けた取組の推進
- ◎ 各学園が設定する「教育目標」の実現に向けた小・中学校の接続を重視した9年間の系統的な教育活動の推進

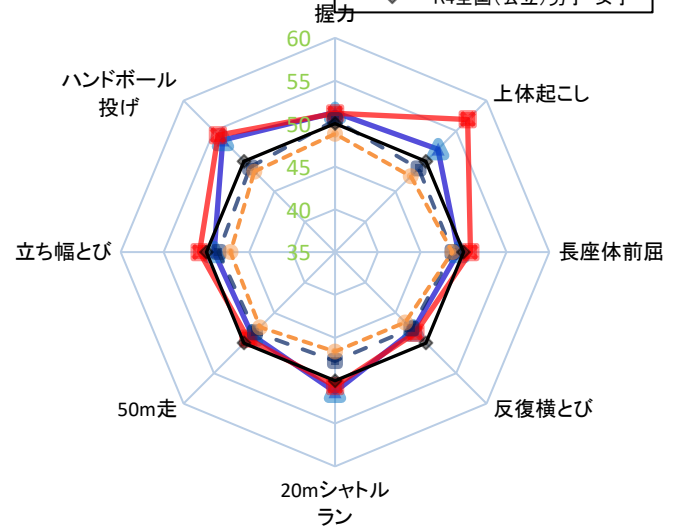
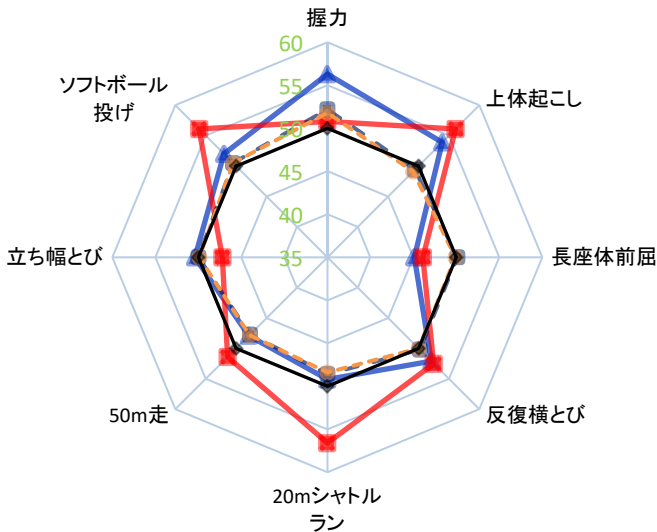
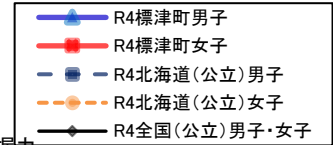
■ 標津町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数49名、中学校2校・生徒数37名)

【各種目の状況】

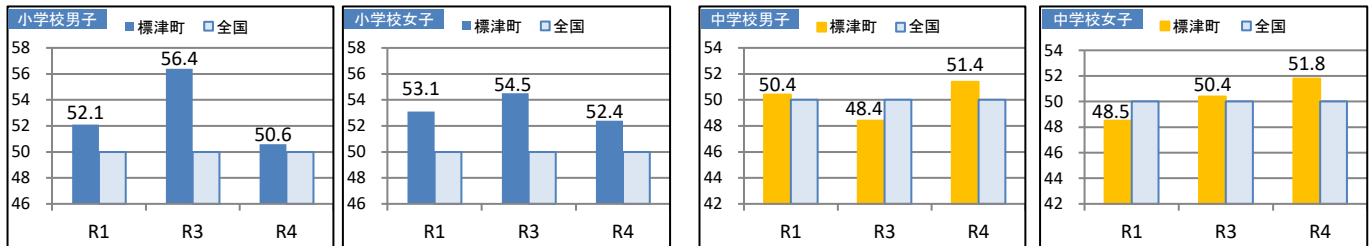
全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

【小学校】

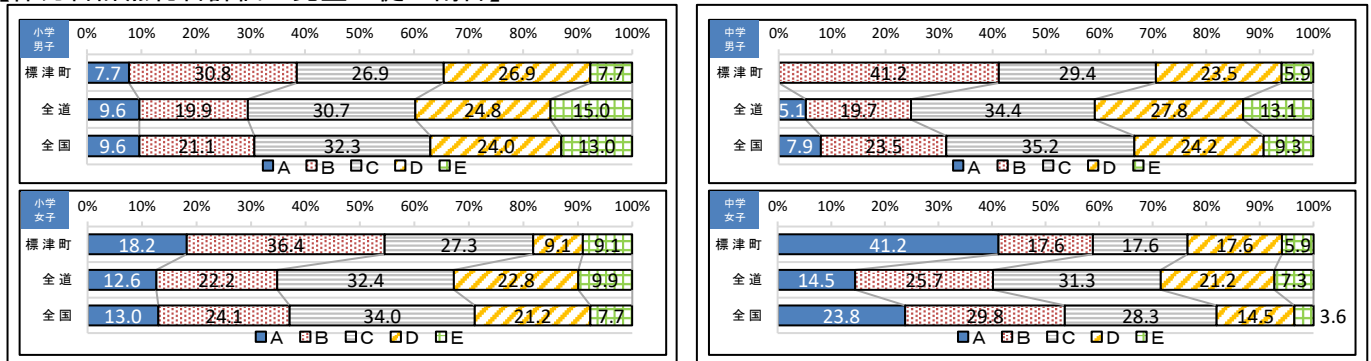
【中学校】



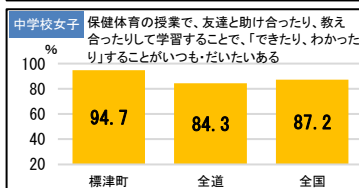
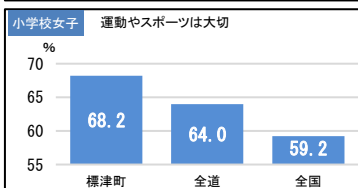
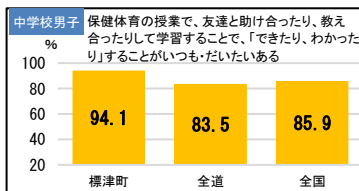
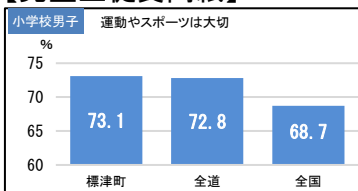
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



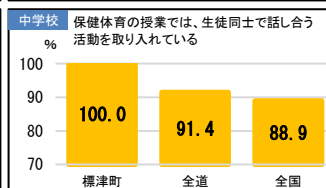
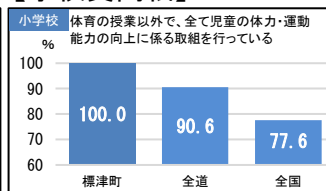
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

<小学校>  
各学校において、体育の授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を充実させたことにより、男女ともに運動やスポーツは大切と回答した児童の割合や、体力合計点及び体力合計点総合評価のAB層の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

<中学校>  
各学校において、保健体育の授業で、生徒同士で話し合う活動を取り入れたことにより、男女ともに「できたり、わかったり」することがいつも・だいたいあると回答した生徒の割合や、体力合計点及び体力合計点総合評価のAB層の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【標津町の体力向上策】

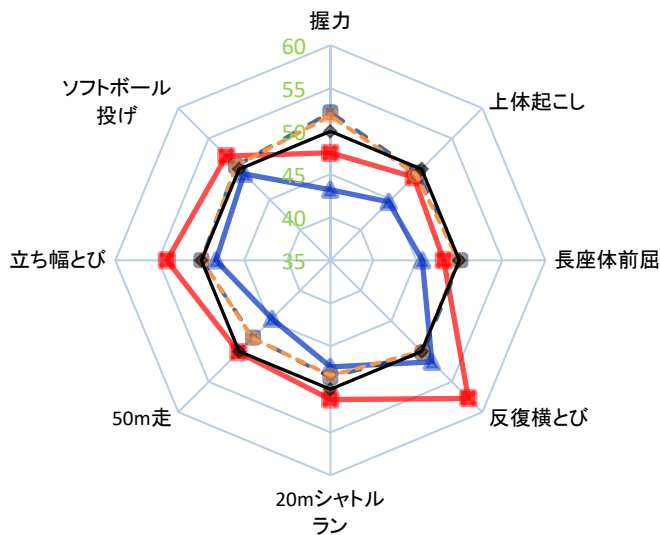
- ◎ 「標津型学習スタイル」による、子ども自らが主役になる「能動的な学び」への転換
- ◎ 調査結果を踏まえた体育・保健体育科の授業改善及び社会体育と連携した活動の推進
- ◎ 発達段階に応じた指導内容の系統性や、異校種による授業づくり等の校種間の連携の充実

■ 羅臼町内小・中学校の状況及び体力向上策 (学校数:小学校2校・児童数48名、中学校1校・生徒数35名)

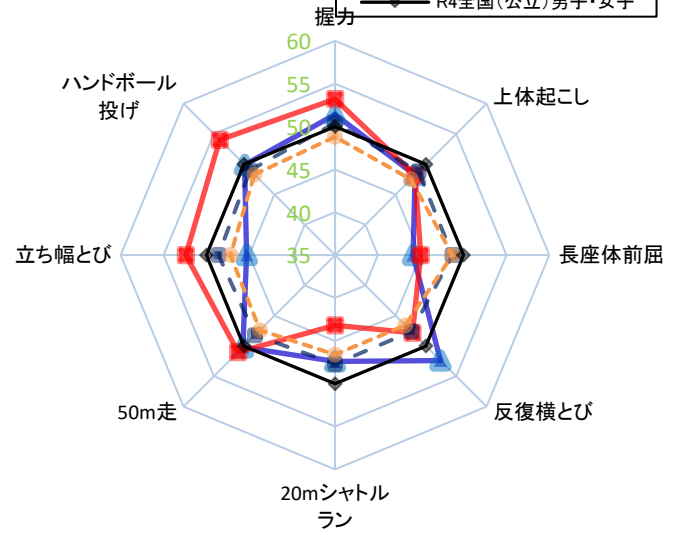
【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示

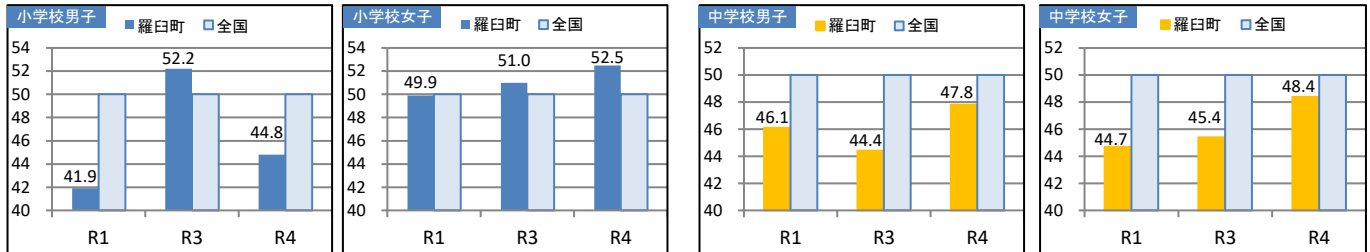
【小学校】



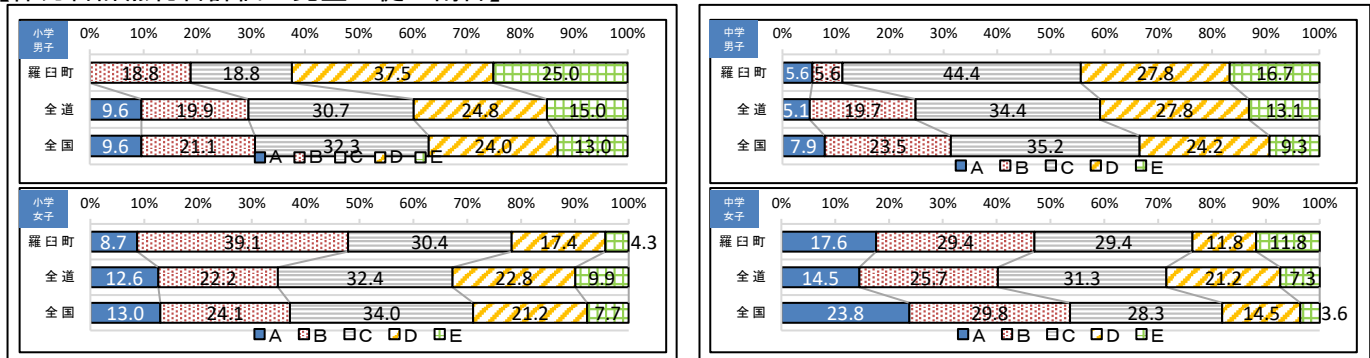
【中学校】



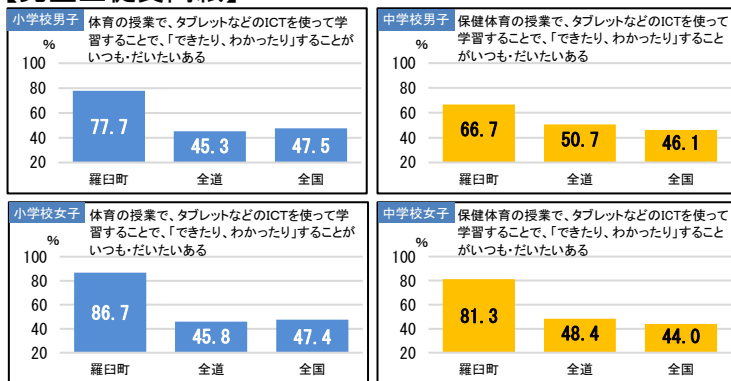
【体力合計点の全国との差(T得点)の推移】



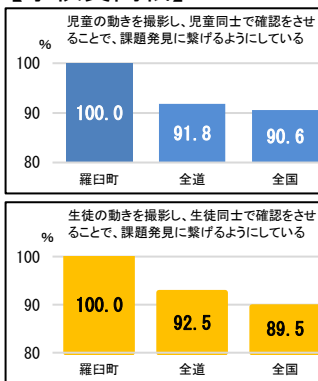
【体力合計点総合評価の児童生徒の割合】



【児童生徒質問紙】



【学校質問紙】



【分析】

＜小学校＞  
各学校において、児童の動きを撮影し、児童同士で確認をさせることで、課題発見に繋げるようにしたことにより、男女ともに「できたり、わかったり」することがいつも・だいたいであると回答した児童の割合が全国及び全道を上回り、女子において体力合計点が全国及び全道を上回ったと考えられる。

＜中学校＞  
学校において、生徒の動きを撮影し、生徒同士で確認をさせることで、課題発見に繋げるようにしたことにより、男女ともに「できたり、わかったり」することがいつも・だいたいであると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回り、女子において体力合計点が全道を上回ったと考えられる。

【羅臼町の体力向上策】

- ◎ 体育専科教員活用事業における、体育授業の指導方法の工夫改善及び中学校への成果普及
- ◎ 新体力テストの結果を踏まえた、体育・保健体育科の指導内容・指導方法の更なる工夫改善



---

# HOKKAIDO BOARD OF EDUCATION

---

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の全道や管内の詳細なデータは、  
北海道教育委員会のWebページに掲載しております。

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」

検索

をクリック！

